中医協　検－５－２
３．３．２４

令和２年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和２年度調査）の報告案について

○　医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査（その１）　（右下頁）

・報告書（案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１頁
・ＮＤＢデータ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５１頁
・調査票　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５６０頁

令和２年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和２年度調査）

医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

報告書

◇◆目　次◇◆

Ⅰ.　調査の概要 1
　１．　目的 1
　２．　調査対象 1
　３．　調査方法 1
　４．　調査項目 2
　５．　調査検討委員会 7
Ⅱ.　調査の結果 8
　１．　回収結果 8
　２．　施設票 9
　　（１）　施設の概要（令和２年 10 月末現在） 9
　　（２）　新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱い 101
　　（３）　診療報酬項目の施設基準の届出状況 190
　　（４）　医師の勤務状況等 235
　　（５）　医師の負担軽減策に関する取組状況等 254
　　（６）　看護職員や看護補助者の配置等 290
　　（７）　看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に係る取組 300
　　（８）　医療従事者の勤務環境改善マネジメント状況 306
　　（９）　記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況等 315
　　（１０）　新型コロナウイルス感染症の受け入れによる施設における影響 336
　　（１１）　医師の働き方改革に関する取り組み 350
　３．　医師票 357
　　（１）　医師の属性（令和２年 10 月末現在） 357
　　（２）　医師の勤務状況等 364
　　（３）　実施業務と負担感 389
　　（４）　病棟薬剤師による業務負担軽減等 412
　　（５）　勤務状況に関するご意見等 427
　４．　看護師長票 432
　　（１）　管理している病棟の概要 432
　　（２）　看護職員・看護補助者の勤務状況等 446
　　（３）　看護職員の負担軽減策の取組状況 472
　　（４）　多職種との連携の状況等 484
　　（５）　看護職員の負担軽減策に関する意見 501
　５．　薬剤部責任者票 512
　　（１）　施設の概要等 512
　　（２）　薬剤師の病棟業務等 528

Ⅰ. 調査の概要

１．目的

令和２年度診療報酬改定において、医師等の医療従事者の柔軟な働き方に対応する観点から、医療従事者の負担軽減に資する取組の実施を要件とする加算の新設及び評価の充実を実施するとともに、常勤配置に係る要件及び専従要件の見直しや、情報通信機器を用いたカンファレンス等に係る要件の見直し等が行われた。

本調査では、医療従事者の負担軽減に資する取組の実施状況や、常勤・専従要件の見直しの影響等について把握し、改定の結果検証を行った。

２．調査対象

本調査では、「施設票」「医師票」「看護師長票」および「薬剤部責任者票」の４つの調査を実施した。各調査の対象（抽出方法）は、次のとおりであった。

○施設票

・病院　1,500 施設（地域医療体制確保加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算の届出病院以外で医師事務作業補助体制加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算、医師事務作業補助体制加算のいずれも届出していない病院 500 件）

○医師票

・施設票の対象となった医療施設に勤務する医師１施設につき 4 名。

（調査対象病院に１年以上勤務する常勤医師（診療科：外科系１名、内科系１名、その他２名）を対象）。

○看護師長票

・施設票の対象となった医療施設に勤務する看護師長 1 施設につき 5 名。

（調査対象病院の病棟の中から選定した病棟に１年以上勤務する看護師長（病棟：一般病棟２名、療養病棟１名、精神病棟１名、特定入院料１名）を対象）。

④薬剤師責任者調査

・施設票の対象となった医療施設に勤務する薬剤部責任者１施設につき１名。

３．調査方法

本調査は、郵送発送による自記式アンケート調査方式により実施した。回答は、紙媒体（ID を印字した調査票）に記入後、郵送返送する方法と、回答者の負担軽減のため、専用ホームページより電子調査票をダウンロードし、入力の上、メールへの添付により返送する方法から選択できるようにした。

４．調査項目

調査項目は以下のとおりである。

区分	主な調査項目
(1)施設調査	○施設の概要 ・開設者、承認等の状況、標榜診療科、DPC 対応状況、紹介率・逆紹介率、入院基本料の届出、特定入院料、重症度・看護必要度の状況 ・許可病床数 ・職員体制 ・入院延べ患者数、一般病棟における入院延べ患者数、時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数、救急搬送により緊急入院した延べ患者数 ・外来延べ患者数、緊急自動車等により搬送された延べ患者数、時間外・休日・深夜加算の算定件数 ・分娩件数 ・全身麻酔による手術件数 ○新型コロナウイルス感染症関連受診者の動向 ・感染疑いの外来患者受入の有無、感染患者の入院患者の受入の有無、院内感染の有無 ・感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無、受入医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無、学校等の臨時休業により職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無、感染患者、又は濃厚接触者となり出勤不可能となった職員が在籍する保険医療機関等の該当有無、感染患者に院内トリアージ実施料算定する保険医療機関 ・新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無 ・感染症患者等受入に伴う各種配置要件や診療実績への影響（定数超過入院の発生有無、月平均夜勤時間数の１割以上の変動の発生有無、看護要員数と入院患者との比率の１割以上の変動の発生有無、DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合の発生有無、平均在院日数が施設基準等通知当該要件を満たさなくなった場合の発生有無、重症度、医療・看護必要度が施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無、在宅復帰率が施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無、医療区分２又は３の患者割合が施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無） ・医療提供状況の変化の状況(外来、入院、救急、化学療法、手術、緊急手術) ・緊急事態宣言期間中に行った受療行動の変化に際する対応と患者の健康影響(対応患者数、患者の健康への影響内容) ・新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受領行動の変化や患者への健康影響についての意見 ・感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況（電話等初診料、電話等再診料、オンライン診療料の算定回数） ・電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由 ・該当する ICT の活用方法 ○診療報酬項目の施設基準の届出状況及び算定件数等 ・地域医療体制確保加算の届出状況 ・救急用自動車・救急用医療用ヘリによる搬送受入れ件数 ・地域医療介護総合確保基金の対象の有無

区分	主な調査項目
	・地域医療体制確保加算について満たすことが困難な要件 ・総合入院体制加算の届出状況 ・総合入院体制加算 1 について満たすことが困難な要件 ・医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の内容 ・非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬の有無とその診療報酬項目 ・非常勤職員の配置を行ったことによる影響 ・常勤配置に関する要件の緩和を希望する診療報酬 ・医師事務作業補助体制加算の届出状況の変化、加算の種類、届出していない理由 ・体制の届出時期、医師事務作業補助者の配置人数、配置場所、一般病棟、精神病棟、療養病棟、その他の病棟の配置人数、 〇医師の勤務状況等 ・医師の勤務形態 ・常勤医師、非常勤医師の平均勤務時間、当直回数、連続当直を行った医師数 ・労働基準法の 36 協定の締結状況、夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況 〇医師の負担軽減策に関する取組状況等 ・医師の労働時間の把握方法、長時間労働者に対する医師の面接指導の実施状況、労働時間以外の勤務状況として把握している内容、医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無 ・勤務医の負担軽減策の取組状況、取組の効果 ・他実施している効果のある取組 ・多職種からなる役割分担推進のための委員会等の開催状況 〇看護職員の勤務状況や看護補助者の配置等 ・救急搬送看護体制加算の届出の有無、加算の算定件数、救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間の搬送件数、救急患者の対応に係る専任の看護師配置人数） ・看護職員や看護補助者等の配置状況（救急搬送看護体制加算、看護補助加算、急性期看護補助体制加算、夜間急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算、看護職員夜間配置加算） ・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関し、実施している具体的な取組内容 ・看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の達成状況 ・達成が困難である項目とその理由 〇勤務環境マネジメントの状況 ・勤務環境マネジメントシステムを推進するチームの有無 ・勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施の有無、実施頻度 ・勤務環境改善に係る計画の策定状況、見直し頻度 〇記録や会議に係る負担軽減の取組状況等 ・入院部門での電子カルテの導入、ICT を活用した業務の見直し・省力化の取組状況、ICT を活用していない理由、院内の会議に関する負担軽減のための取組状況、ビデオ通話を活用している具体的な場面、医師の書類作成に関する負担軽減のための取組状況、他の医療機関等との情報共有・連携のための ICT の活用状況、ICT を活用していない理由 〇新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた影響 ・感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響と悪い影響

区分	主な調査項目
	○医師の働き方改革に関する取組 ・医師の働き方改革に関する自施設の水準 ・各水準に該当する医師の有無 ・2024 年 4 月の労働時間上限規制適用後に予定している自施設の水準 ○医師、看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等にに関する意見
(2) 医師調査	○医師の基本属性等 ・性別、年齢、医師経験年数、対象病院での勤続年数 ・主たる所属診療科、担当する主な病棟、役職等、常勤・非常勤別、短時間勤務制度の利用状況、主治医の状況 ○勤務状況等 ・１週間の勤務時間、診療時間、事務処理に係る時間、当直回数、このうち連続当直回数、オンコール担当回数、このうち病院出勤回数 ・勤務時間の勤務先への申告方法 ・他病院での勤務状況、他医療機関数、１か月間の勤務時間、当直回数 ・１年前と比較した勤務時間、病棟の勤務状況、外来の勤務状況（診療時間内）、救急外来の勤務状況（診療時間外）、標榜診療時間外における手術回数、手術前日の当直回数、当直の回数、当直時の平均睡眠時間、オンコール担当回数、当直翌日の勤務状況、書類作成等の事務作業、総合的にみた勤務状況 ○業務と負担感等 ・負担軽減策の取組状況、取組の効果 ・医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務内容と改善された月当たりの時間数 ・医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療の有無 ・業務負担感、他職種との業務分担状況・期待度 ・負担に感じている業務のうち、他職種と役割分担ができる業務 ○病棟薬剤師による業務負担軽減等 ・病棟薬剤師の配置の有無 ・主な担当病棟での薬剤師の関与状況、その結果、医師の負担軽減・医療の質の向上への効果 ○勤務状況に関する考え等 ・現在の勤務状況についての認識、改善が必要と判断した場合の最大の理由 ・医師の負担軽減へ繋がる病院の取組
(3) 看護師長調査	○病棟の概要 ・病棟の主たる診療科、病棟種別、入院基本料の種類、特定入院料の有無、病床数、当該病棟の病床利用率 ・看護補助加算の届出状況（届出の種類、届出の予定、届出をしていない理由） ・急性期看護補助体制加算の届出状況（届出の種類、届出の予定、届出をしていない理由） ・夜間急性期看護補助体制加算の届出状況（届出の種類、届出の予定、届出をしていない理由） ・夜間看護体制加算の有無 ・看護職員夜間配置加算の届出状況（届出の種類、届出の予定、届出をしていない理由） ○看護職員・看護補助者の勤務状況等 ・看護師、このうち特定行為研修を修了した看護師数、このうち短時間

区分	主な調査項目
	勤務又は夜勤免除の看護師数、准看護師数、看護補助者数 ・特定行為区分の状況 ・看護職員の勤務時間（平均勤務時間、平均夜勤時間、最小、最大夜勤時間、平均勤務日数） ・看護補助者の平均勤務時間 ・看護師の常勤配置又は専従配置要件が緩和されたことで満たすことができた施設基準 ・看護職員の常勤配置又は専従配置要件緩和を希望する診療報酬項目 ・病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数 ・夜勤専従者の勤務時間等（平均勤務時間、平均夜勤時間、最小、最大夜勤時間） ・令和２年度診療報酬改定前と比較した看護職員数や夜勤に関する状況の変化 ・１年前と比較した看護職員の勤務状況の変化 ○看護記録に係る負担軽減策の取組の有無と実施時期 ・看護記録の負担軽減策の実施内容 ・看護職員の負担軽減に効果的なその他の取組 ○看護補助者との連携状況等 ・看護補助者の配置の有無、 ・業務負担感、看護補助者との業務分担状況、その負担軽減効果、今後の協働・分担予定、業務委譲により時間が増加した業務、看護職員と看護補助者との業務分担の課題 ○看護職員の負担軽減策に関する考え等 ・当該施設における看護職員の勤務負担軽減のための取組への評価 ・病棟における業務負担の要因 ・令和２年度診療報酬改定において重症度、医療・看護必要度のＢ項目に関し「根拠となる記録」の記載が不要となったことによる、看護必要度に係る変化状況（看護職員の記録時間、看護職員の業務負担） ・重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出時期と届出後の変化状況（看護職員の記録時間、看護職員の業務負担） ・業務負担軽減策が図られる取組 ・看護職員の勤務状況や負担軽減に関する今後の課題等
(4)薬剤部責任者調査	○施設の概要 ・薬剤師数、平均勤務時間、当直回数、オンコール担当回数等 ・外来の院外処方箋枚数、外来の院内処方箋枚数、入院患者の処方箋枚数 ・病棟数、このうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 ・療養病棟・精神病棟の病棟数、このうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 ・集中治療室等の病棟数、このうち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数 ・病棟専任の薬剤師数、このうち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数、このうち集中治療室等に配置されている薬剤師数 ○薬剤師の病棟業務 ・病棟薬剤業務実施加算の届出状況（届出加算別、届出のために行った対応、１年前と比較した薬剤師の業務の変化、病棟別の入院料の種類と病棟薬剤業務の延べ実施時間、令和２年４月以降の薬剤師増員の有無と増員した場合その理由、増員しなかった場合その理由、病棟薬剤業務実施加算の届出をしていない場合の薬剤師業務の変化、届出をし

区分	主な調査項目
	ていない理由） ・病棟薬剤業務実施加算を別途算定できない患者のみが入院している病棟で、最も多く算定している入院料 ・実施している病棟薬剤業務 ・薬剤総合評価調整加算の算定状況（算定の有無、算定できなかった理由） ・退院時薬剤情報連携加算の算定状況（算定の有無、算定できなった理由） ・薬剤師の負担の軽減につながる取組 ・病院全体の働き方改革に貢献できると思われる病院薬剤師の業務

５．調査検討委員会

本調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計・分析、報告書案等の検討を行うため、以下のとおり、調査検討委員会を設置・開催した。

【委 員】（○は委員長、五十音順、敬称略）

太田 圭洋　社会医療法人名古屋記念財団　理事長
一般社団法人日本医療法人協会　副会長
川上 純一　国立大学法人浜松医科大学　教授　医学部附属病院　薬剤部長
○関　ふ佐子　横浜国立大学大学院国際社会科学研究院　教授
髙村 洋子　公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院　看護本部長
津留 英智　社会医療法人水光会宗像水光会総合病院　理事長
全日本病院協会医療保険・診療報酬委員会　委員長
野村 幸世　東京大学医学部附属病院胃食道外科　准教授・がん相談支援センター長
宮下 恵里　社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院　副院長兼看護部長

オブザーバー
永瀬　伸子　お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系　教授

II. 調査の結果

１．回収結果

各調査票の回収結果は以下のとおりであった。

図表１-１　回収の状況

	発送数	回収数	有効回収数	有効回収率
施設票	1,500 件	404 件	404 件	26.9%
医師票	－	1,145 件	1,145 件	―
看護師長票	－	1,161 件	1,161 件	―
薬剤部責任者票	1,500 件	462 件	462 件	30.8%

２．施設票

【調査対象等】

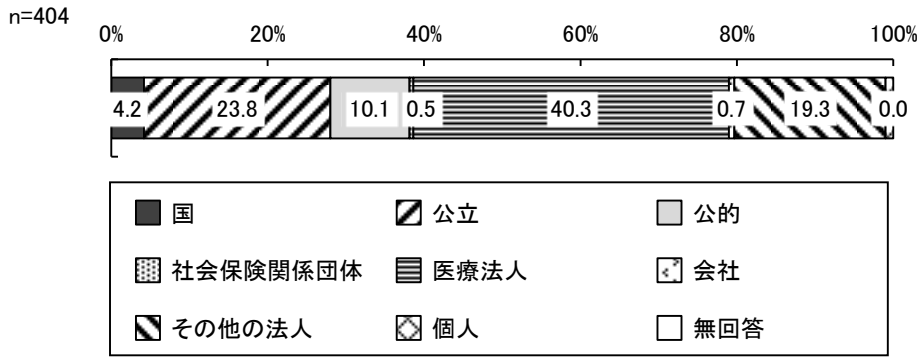
調査対象：	病院 1,500 施設（地域医療体制確保加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算の届出病院以外で医師事務作業補助体制加算を届出している病院 500 件、地域医療体制確保加算、医師事務作業補助体制加算のいずれも届出していない病院 500 件）
回 答 数：	404 施設
回 答 者：	管理者

（１）施設の概要（令和２年 10 月末現在）

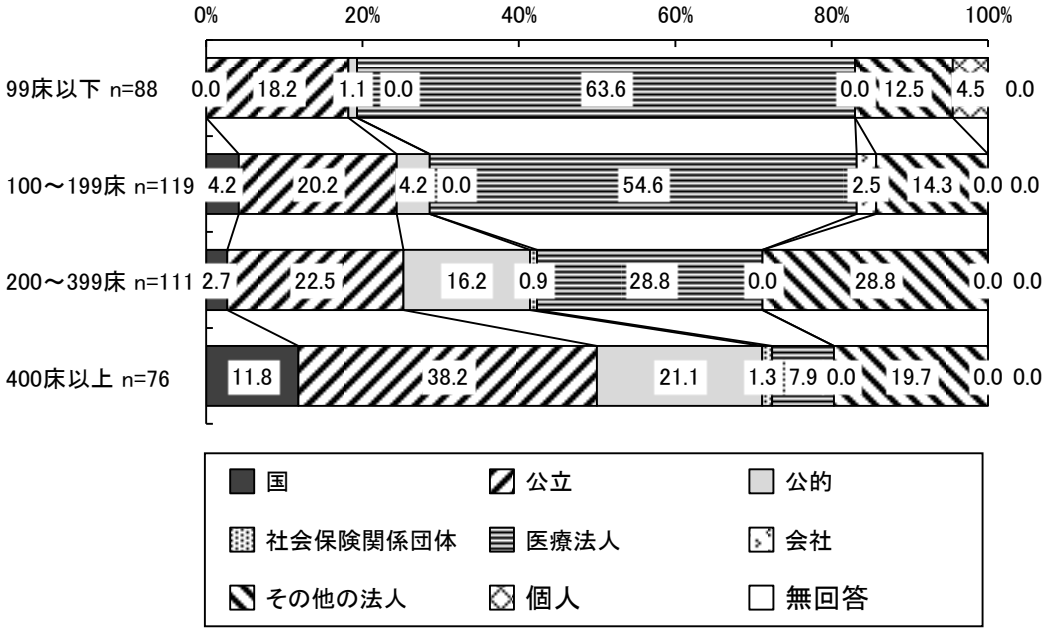
① 開設者

開設者についてみると、「国」4.2%、「公立」23.8%、、「公的」10.0%、「社会保険関係団体」0.5%、、「医療法人」40.3%等であった。

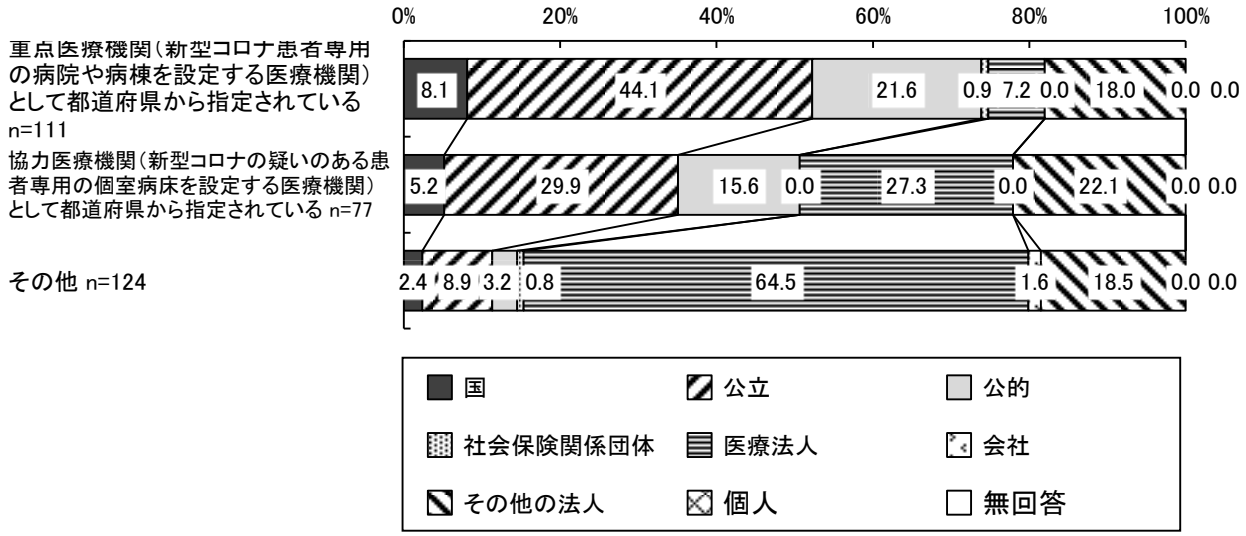
図表２－１　開設者



図表２－２　開設者（病床規模別）



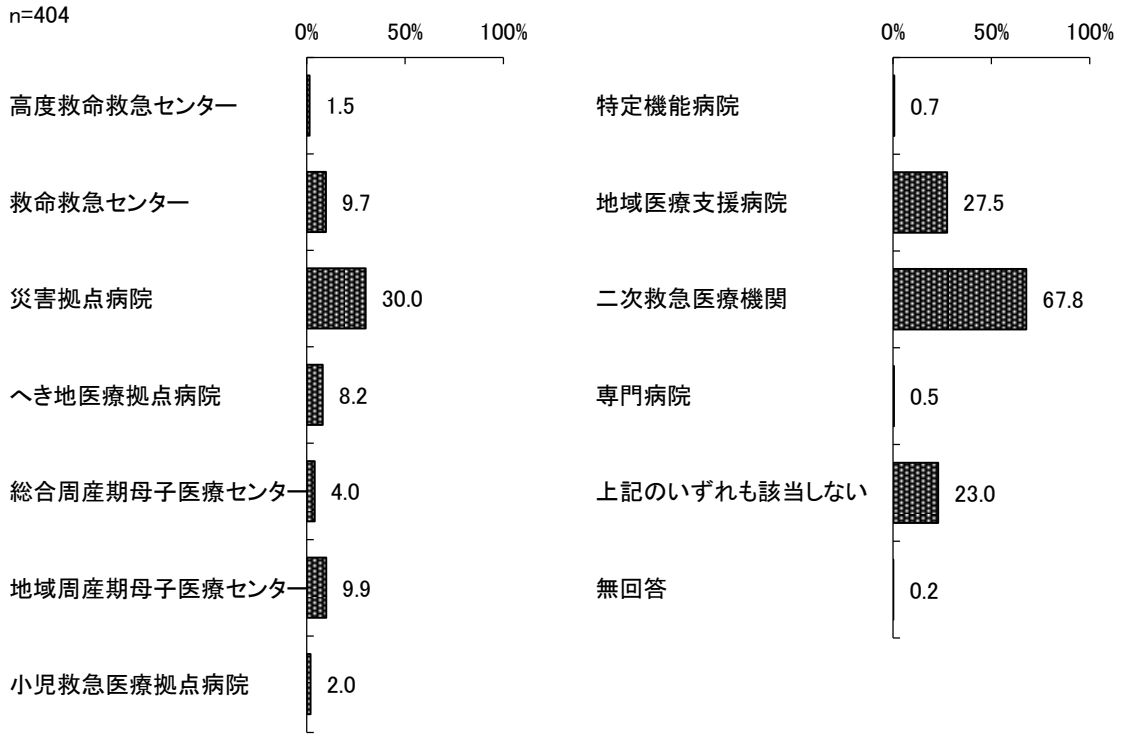
図表２－３　開設者
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



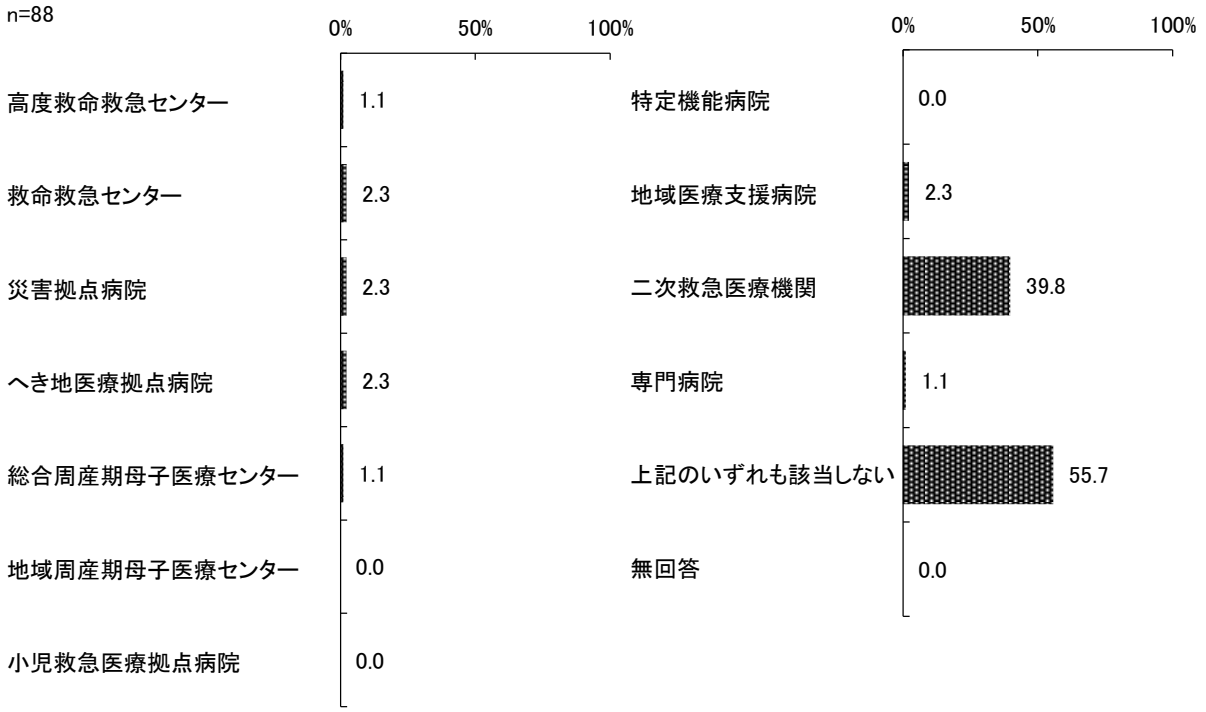
② 承認等の状況

承認等の状況では、「二次救急医療機関」（67.8%）が最も多く、次いで「災害拠点病院」（30.0%）であった。

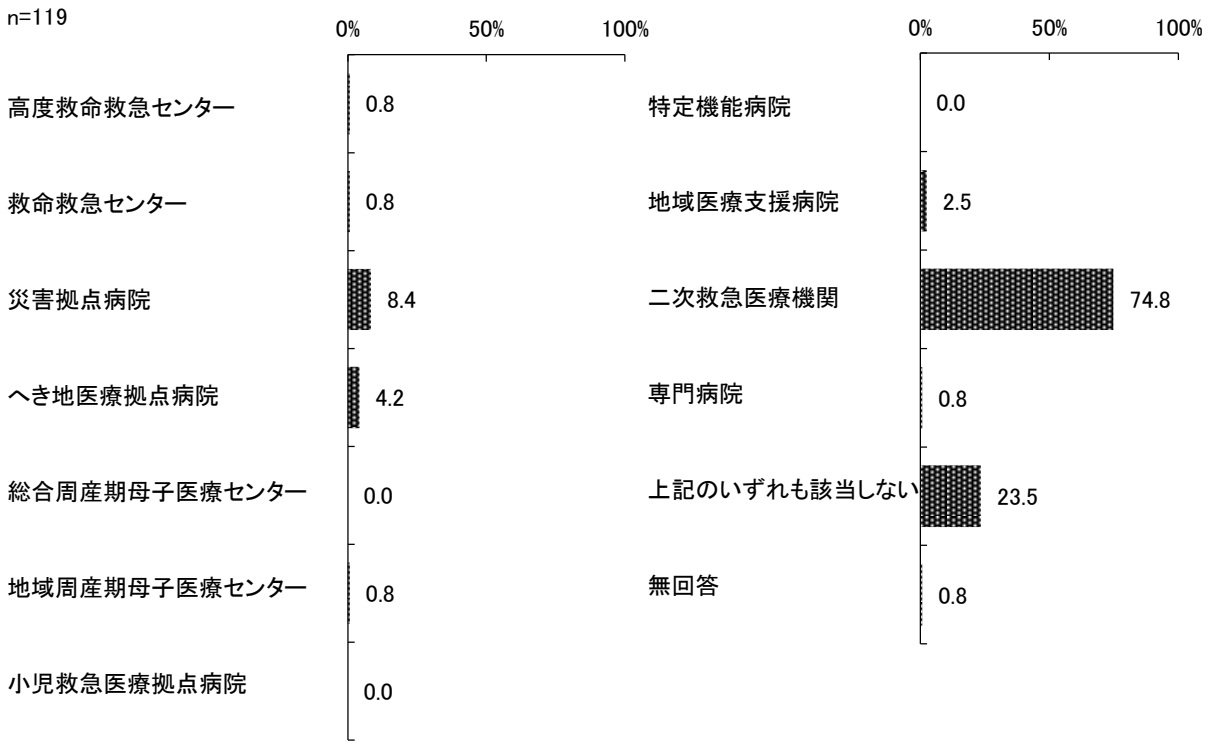
図表２－４　承認等の状況（複数回答）



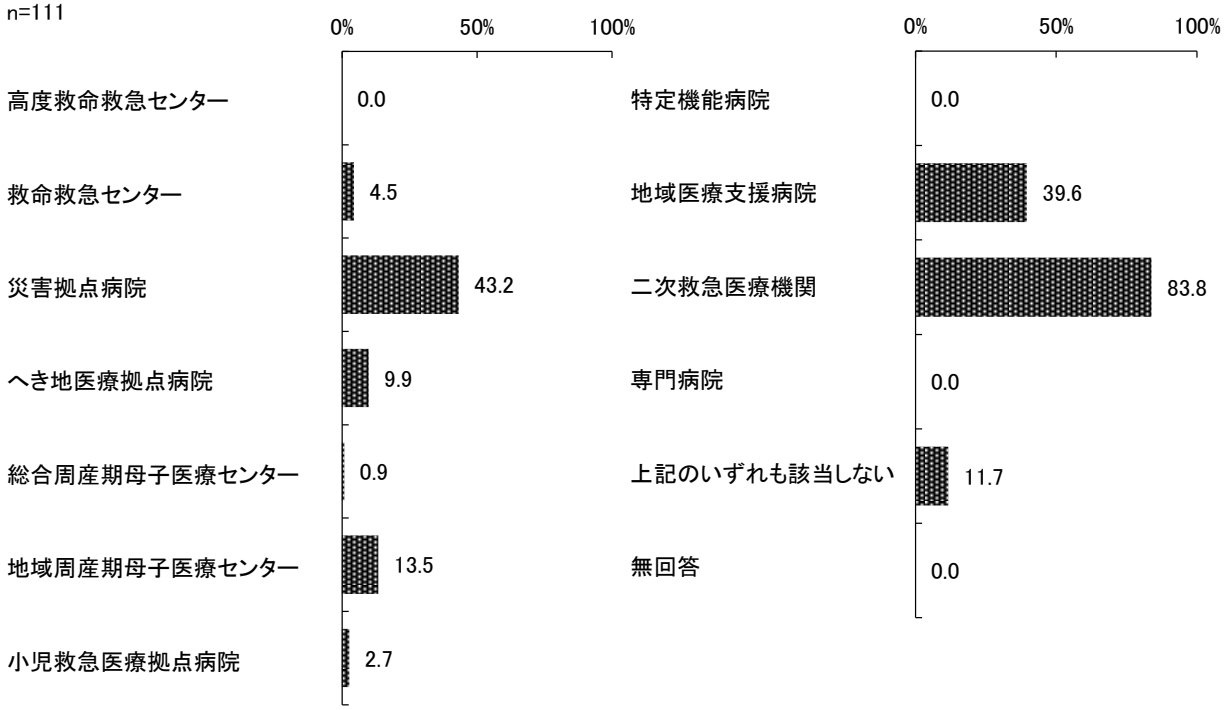
図表 2 - 5　承認等の状況【99 床以下】



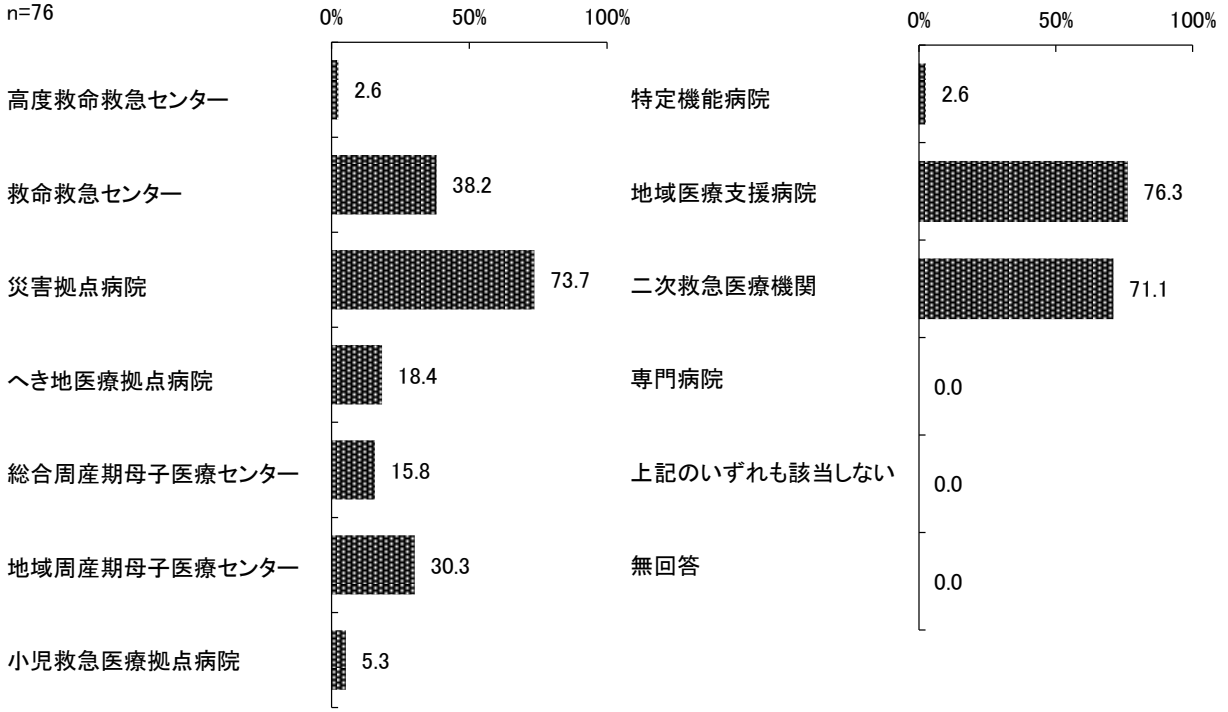
図表 2 - 6　承認等の状況【100～199 床以下】



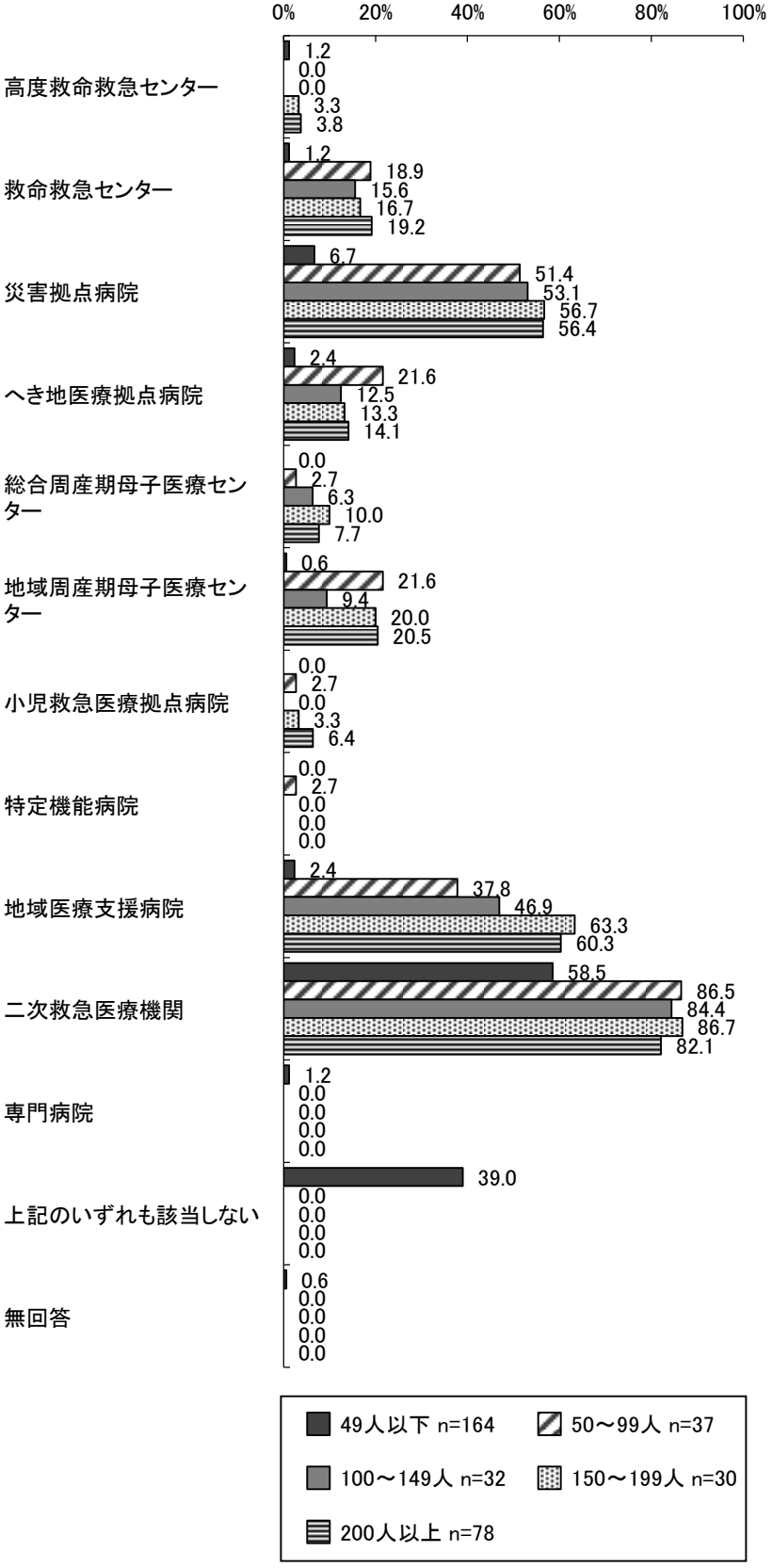
図表 2 - 7　承認等の状況【200～399 床以下】



図表 2 - 8　承認等の状況【400 床以上】



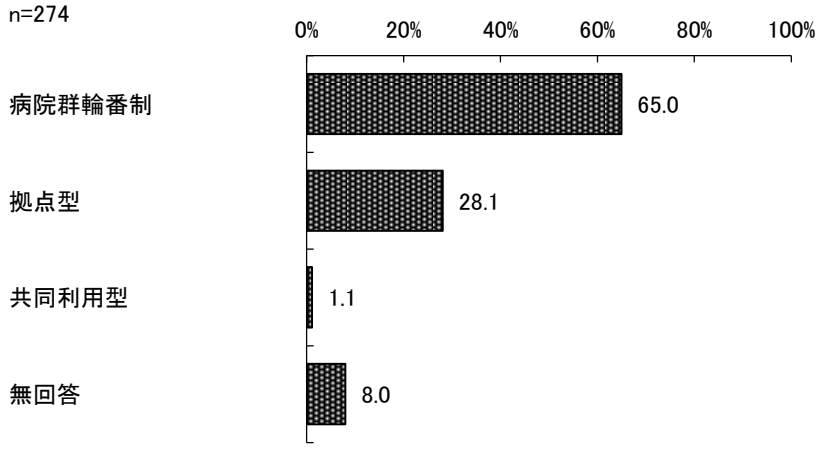
図表２－９　承認等の状況
（１か月間の緊急自動車等により搬送された延べ患者数別）（複数回答）



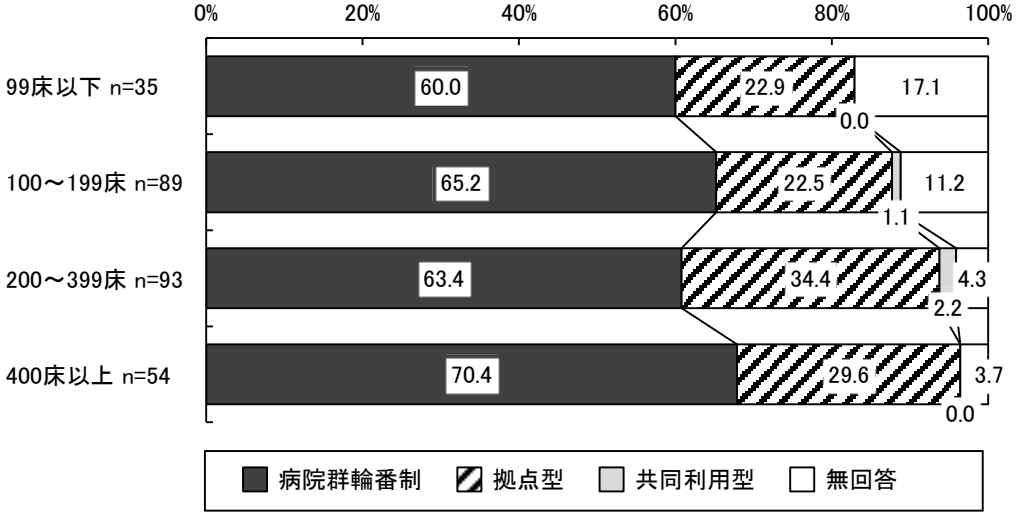
【二次救急医療機関の承認等を受けている施設の具体的体制】

二次救急医療体制の内訳は、「病院群輪番制」（65.0%）が最も多かった。

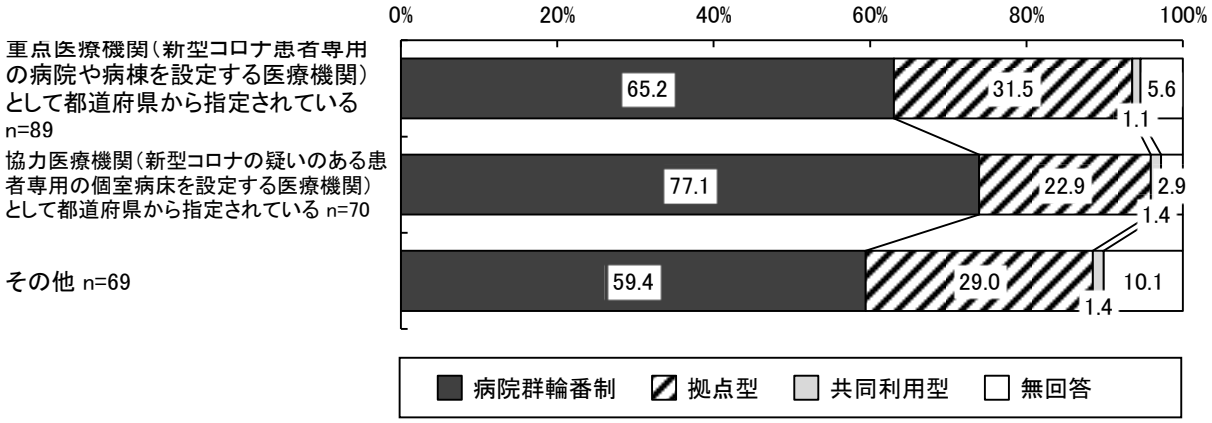
図表 2 - 10　二次救急医療体制の内訳



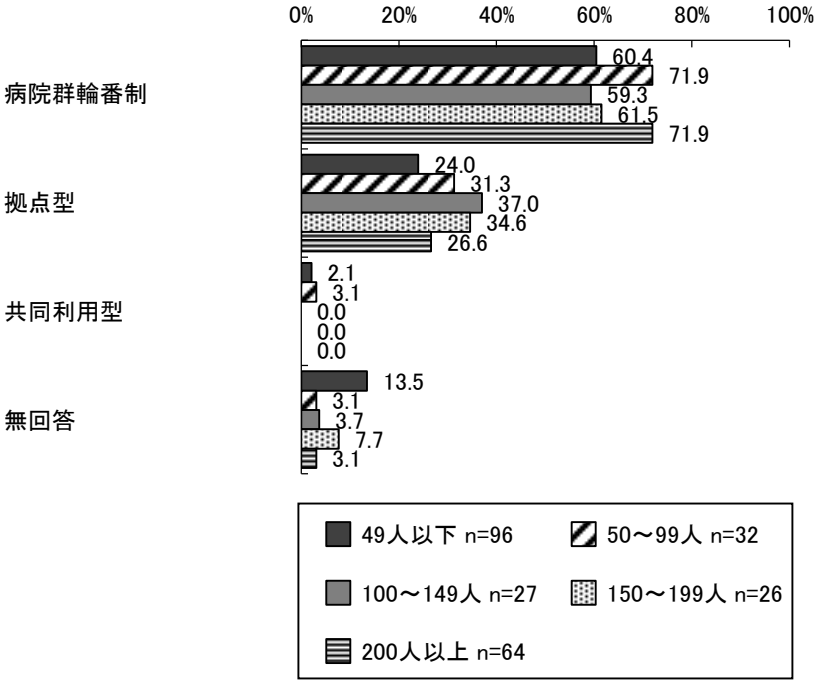
図表 2 - 11　二次救急医療体制の内訳
（病床規模別）



図表 2 - 12　二次救急医療体制の内訳
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



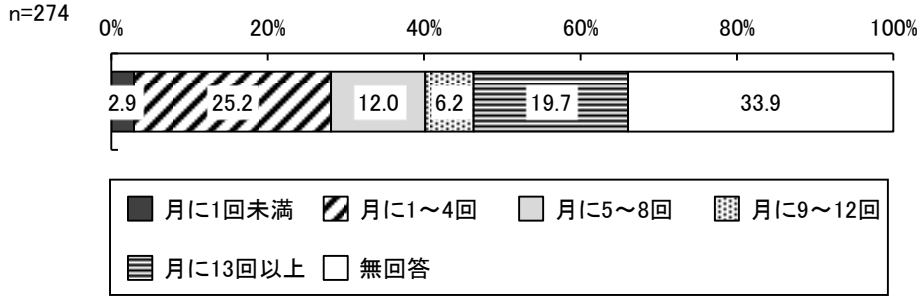
図表 2 - 13　二次救急医療体制の内訳
（１か月間の緊急自動車等により搬送された延べ患者数別）



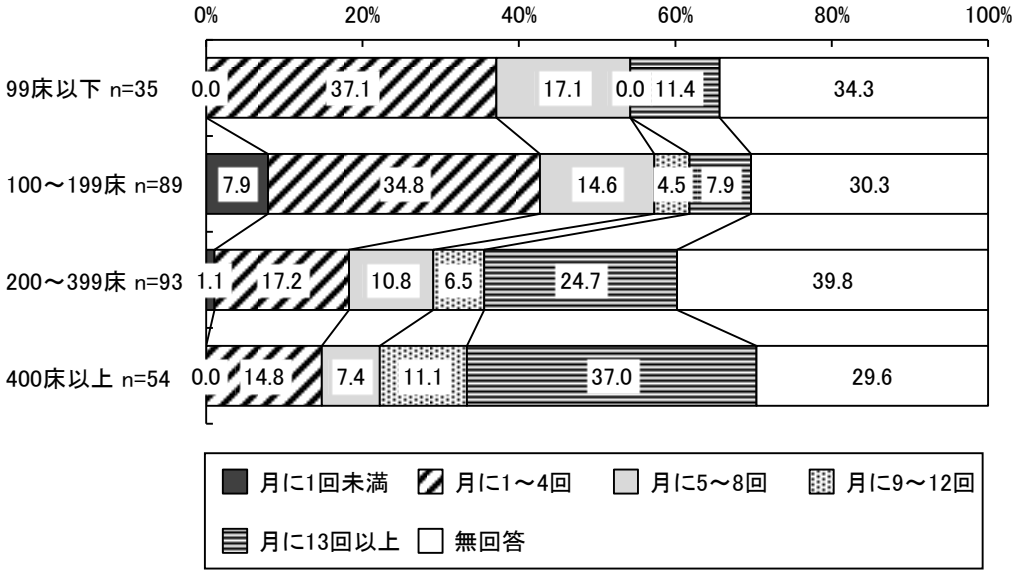
【二次救急医療機関の承認等を受けている施設の病院群輪番制の当番頻度】

病院群輪番制の当番頻度で最も多かったものは「月に１～４回」（25.2%）であった。

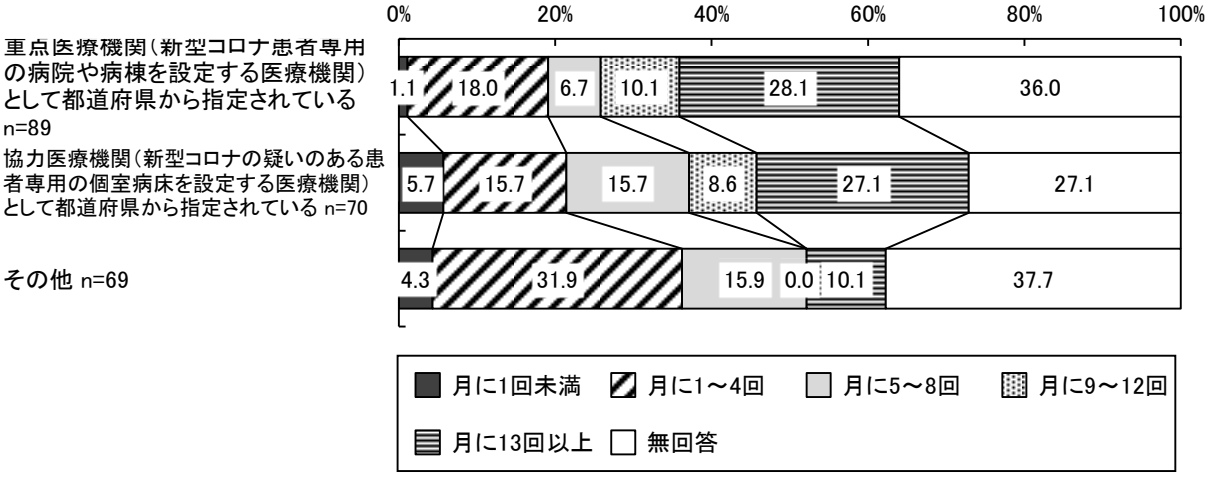
図表 2 - 14　病院群輪番制の場合、当番となる頻度



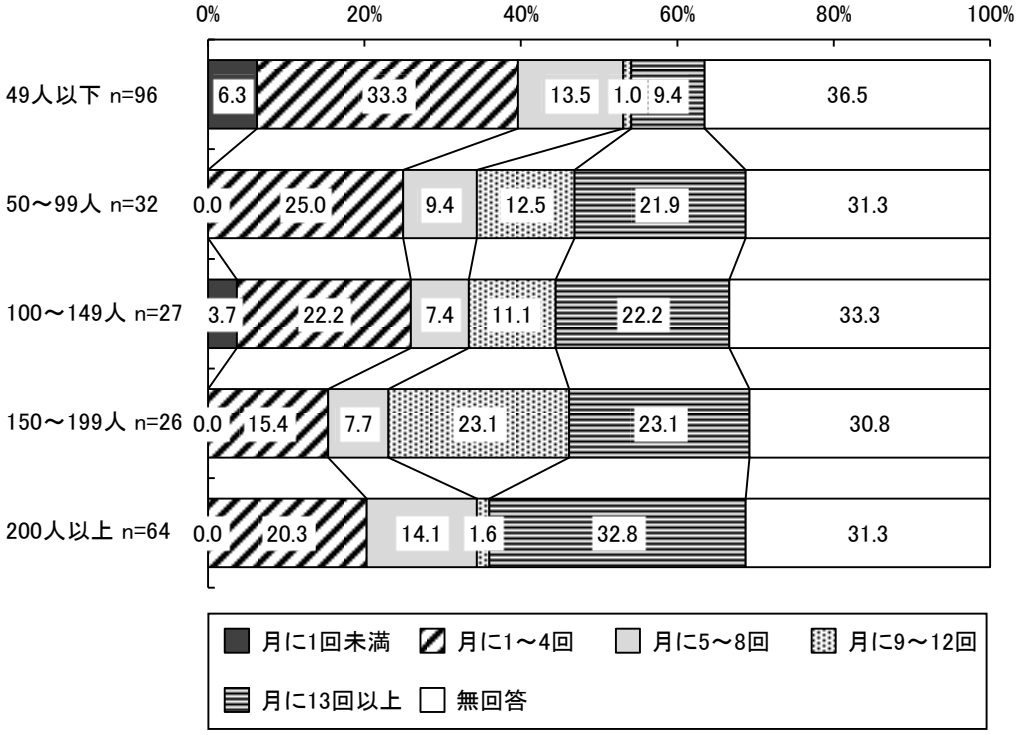
図表 2 - 15　病院群輪番制の場合、当番となる頻度
（病床規模別）



図表２－16　病院群輪番制の場合、当番となる頻度
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



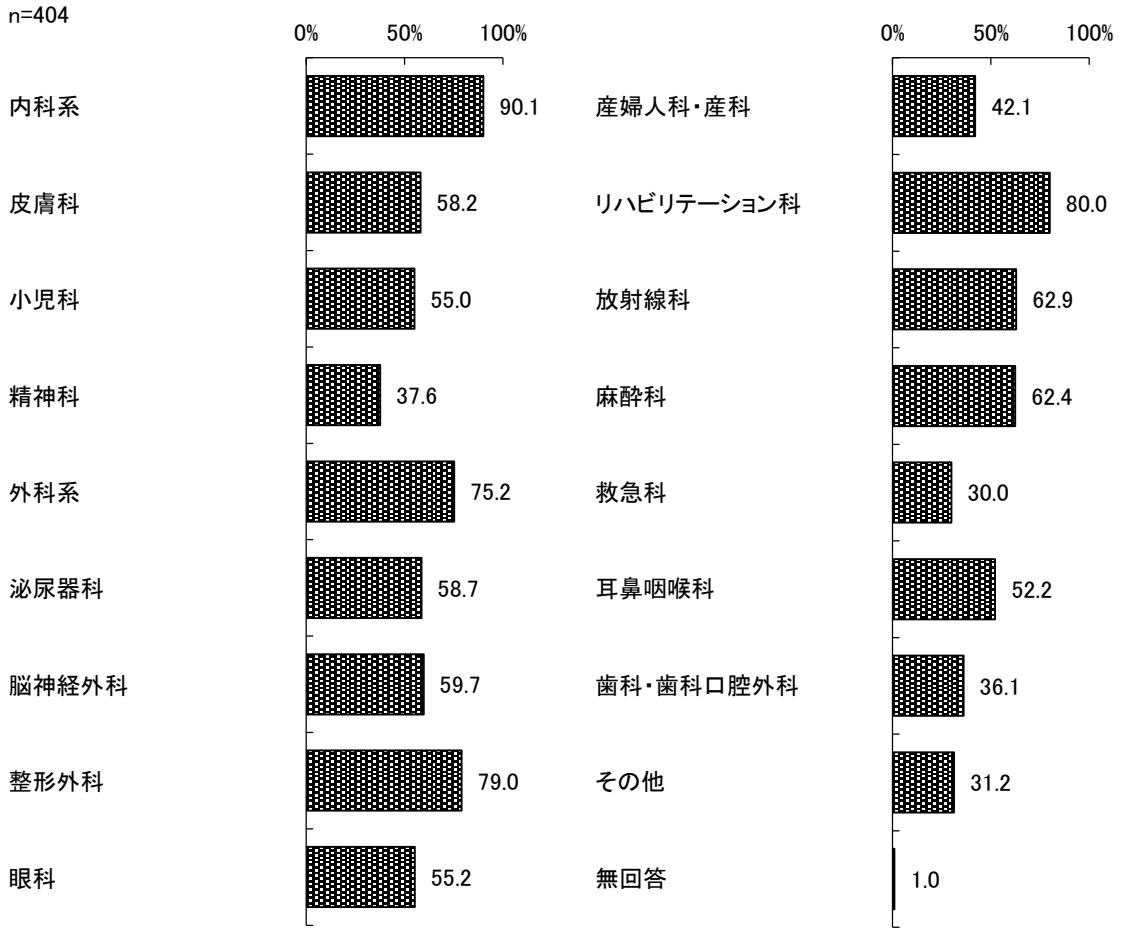
図表２－17　病院群輪番制の場合、当番となる頻度
（１か月間の緊急自動車等により搬送された延べ患者数別）



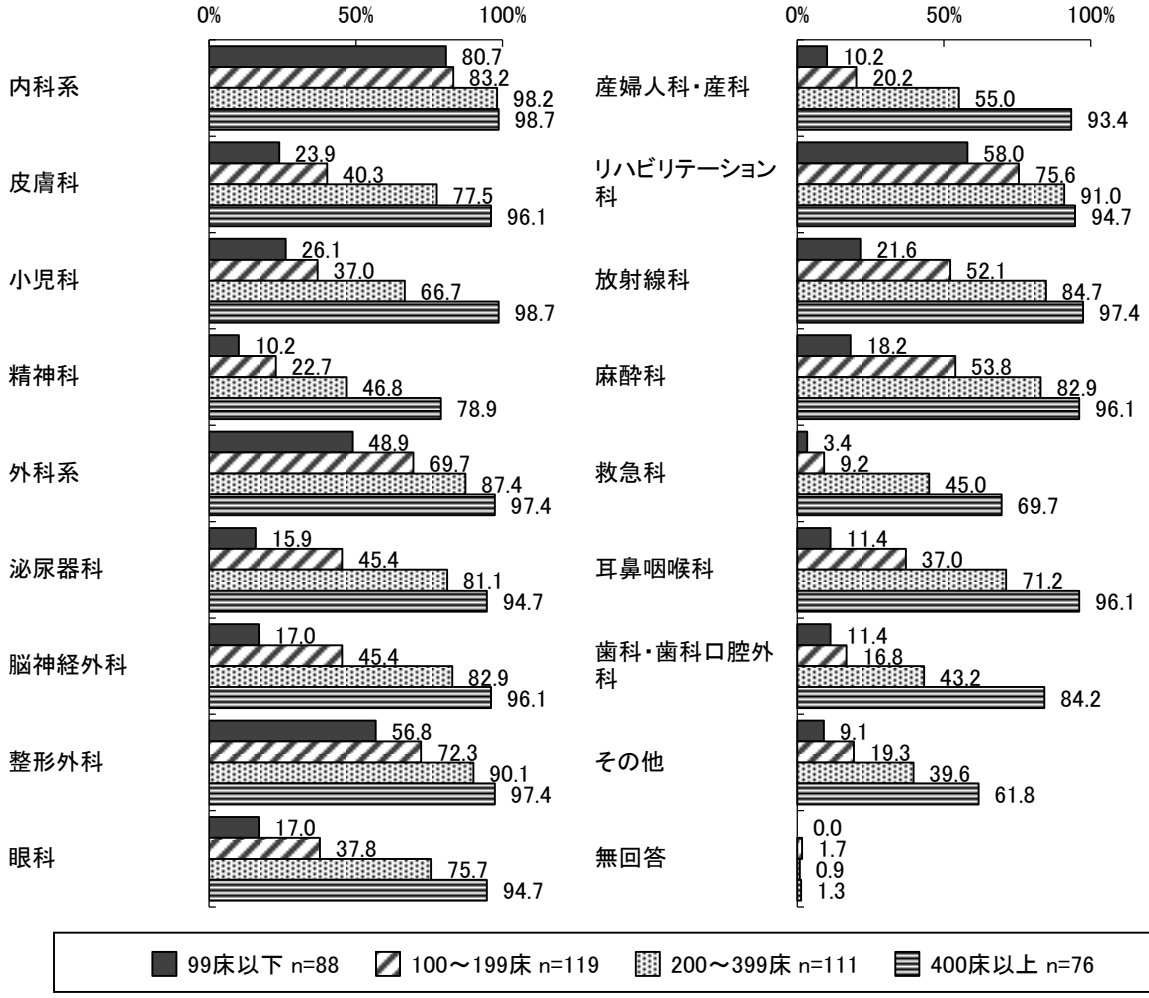
③ 標榜診療科

標榜診療科で最も多かったものは「内科系」（90.1%）であった。

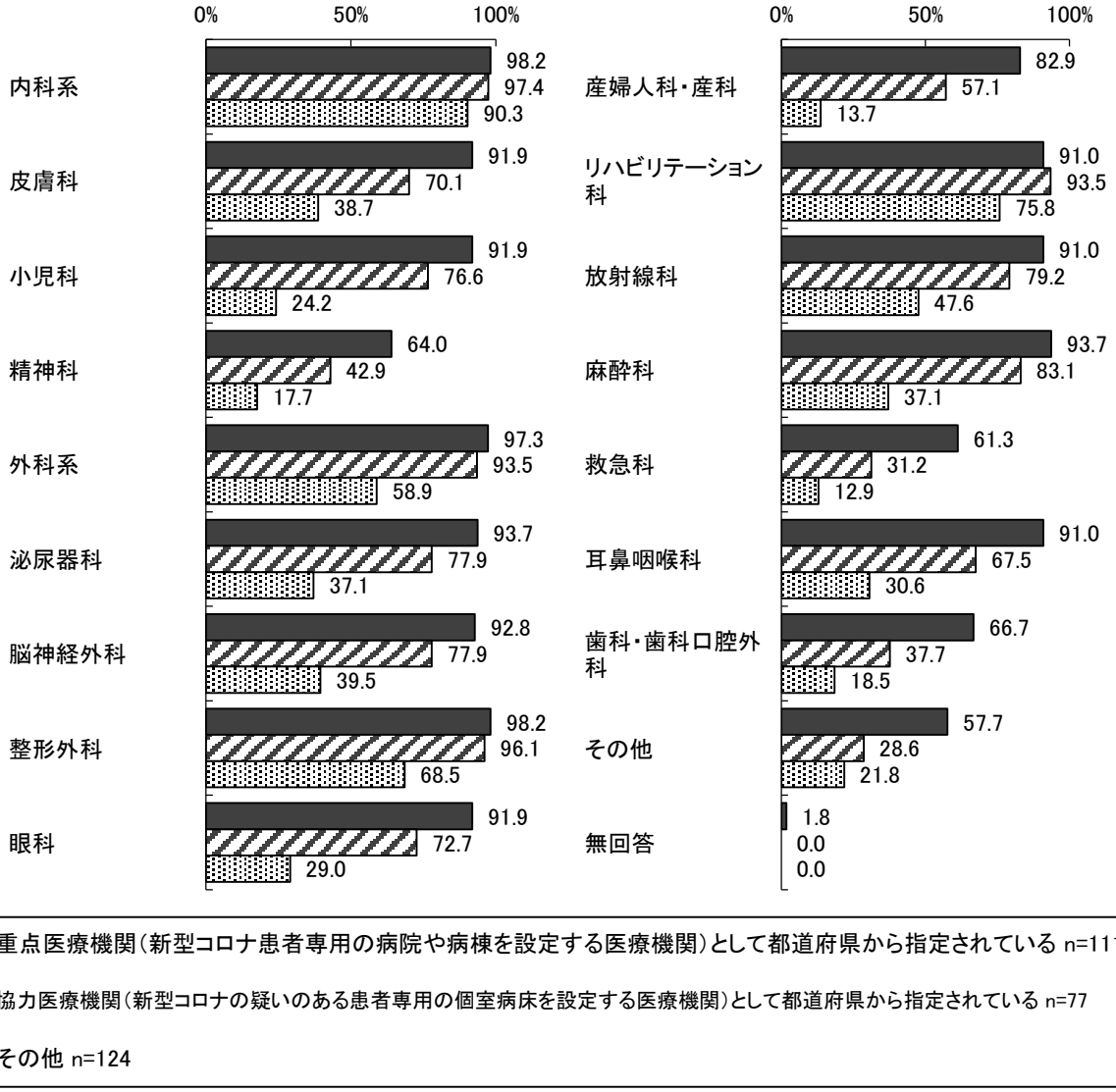
図表 2 - 18　標榜診療科（複数回答）



図表２－19　標榜診療科
（病床規模別）



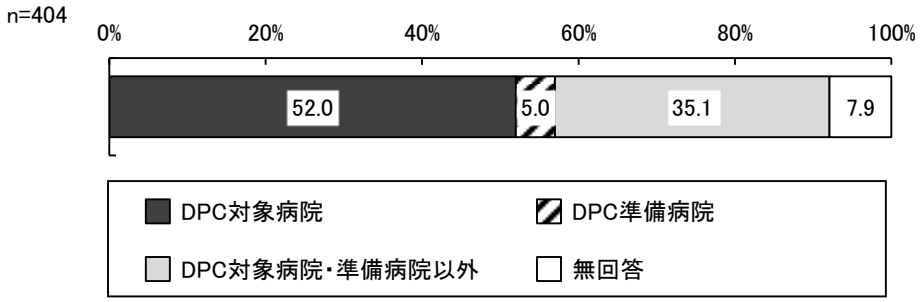
図表 2 - 20　標榜診療科
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



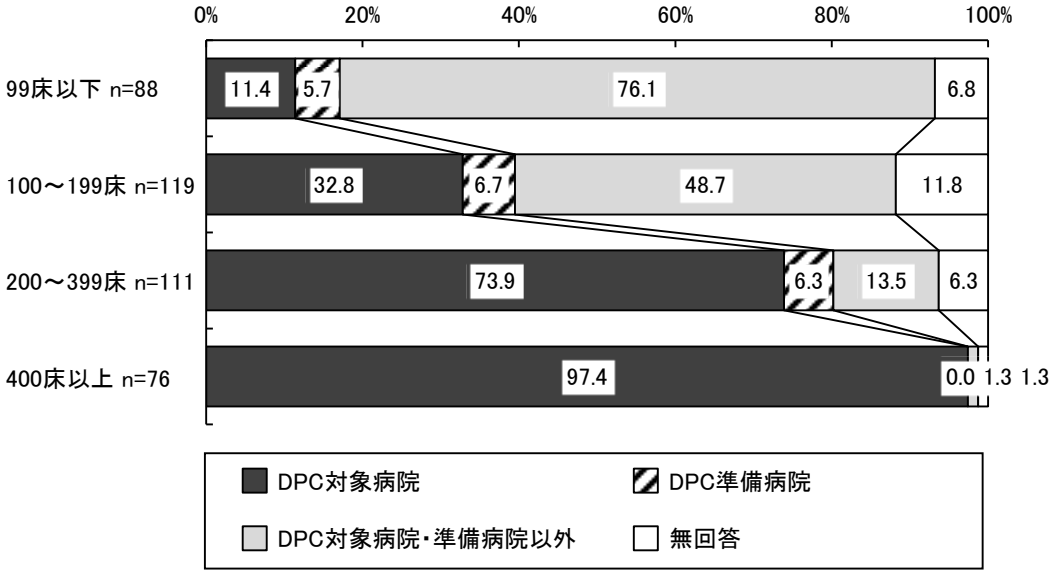
④ DPC 対応状況

DPC 対応状況で最も多かったものは「DPC 対象病院」(52.0%) であった。

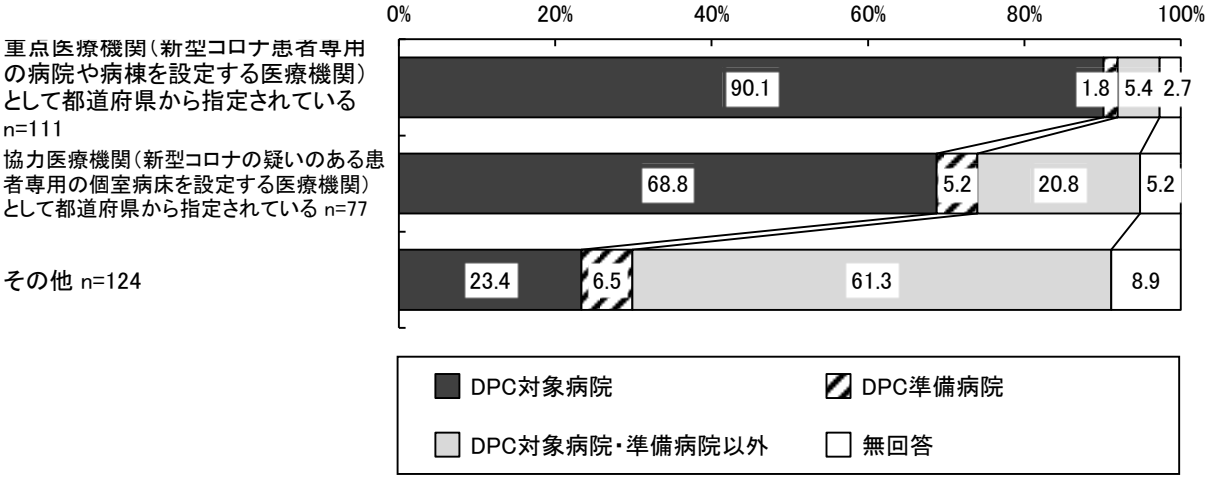
図表 2 - 21　DPC 対応状況



図表 2 - 22　DPC 対応状況
（病床規模別）



図表 2 - 23　DPC 対応状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



⑤ 紹介率･逆紹介率

紹介率・逆紹介率は、以下の通りであった。

図表 2 - 24　紹介率・逆紹介率

（単位：%）

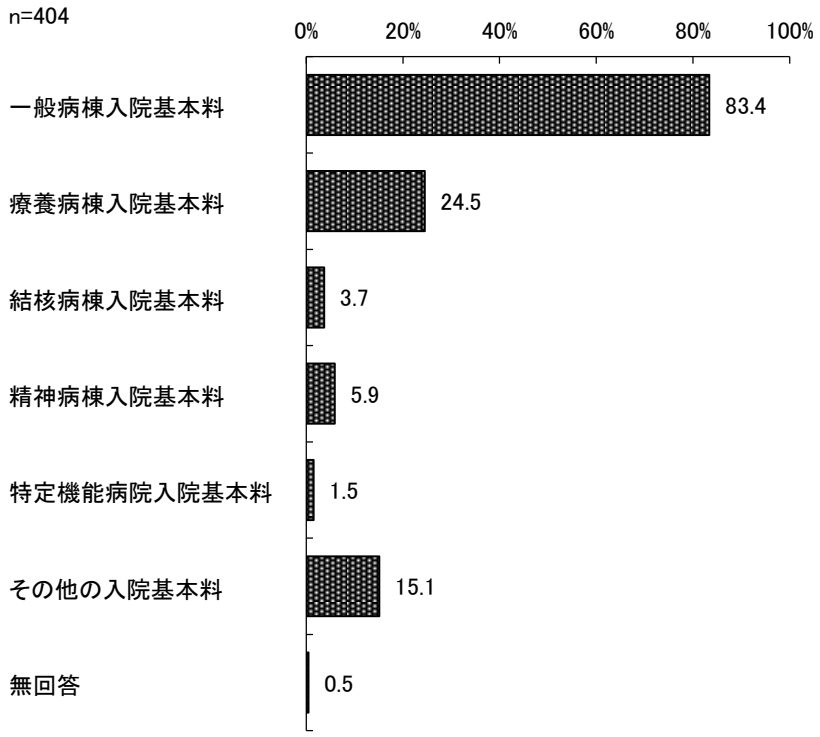
	令和2年10月の紹介率				令和2年10月の逆紹介率			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=313	52.6	29.3	53.5	n=306	51.6	37.1	45.0
99床以下	n=51	27.7	30.5	18.0	n=45	20.2	20.4	14.3
100～199床	n=88	38.8	23.7	38.2	n=85	29.9	25.6	21.9
200床以上	n=165	67.5	21.8	74.0	n=167	71.1	33.5	71.5

⑥ 届出を行っている入院基本料

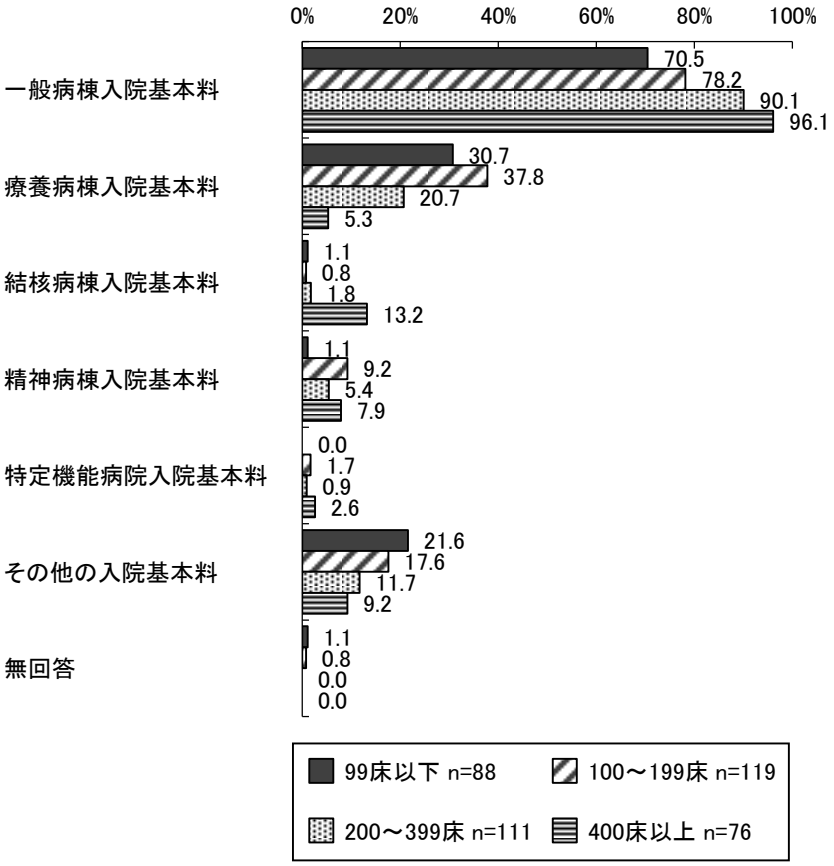
届出を行っている入院基本料で最も多かったものは「一般病棟入院基本料」（83.4%）であった。

図表 2 - 25　届出を行っている入院基本料

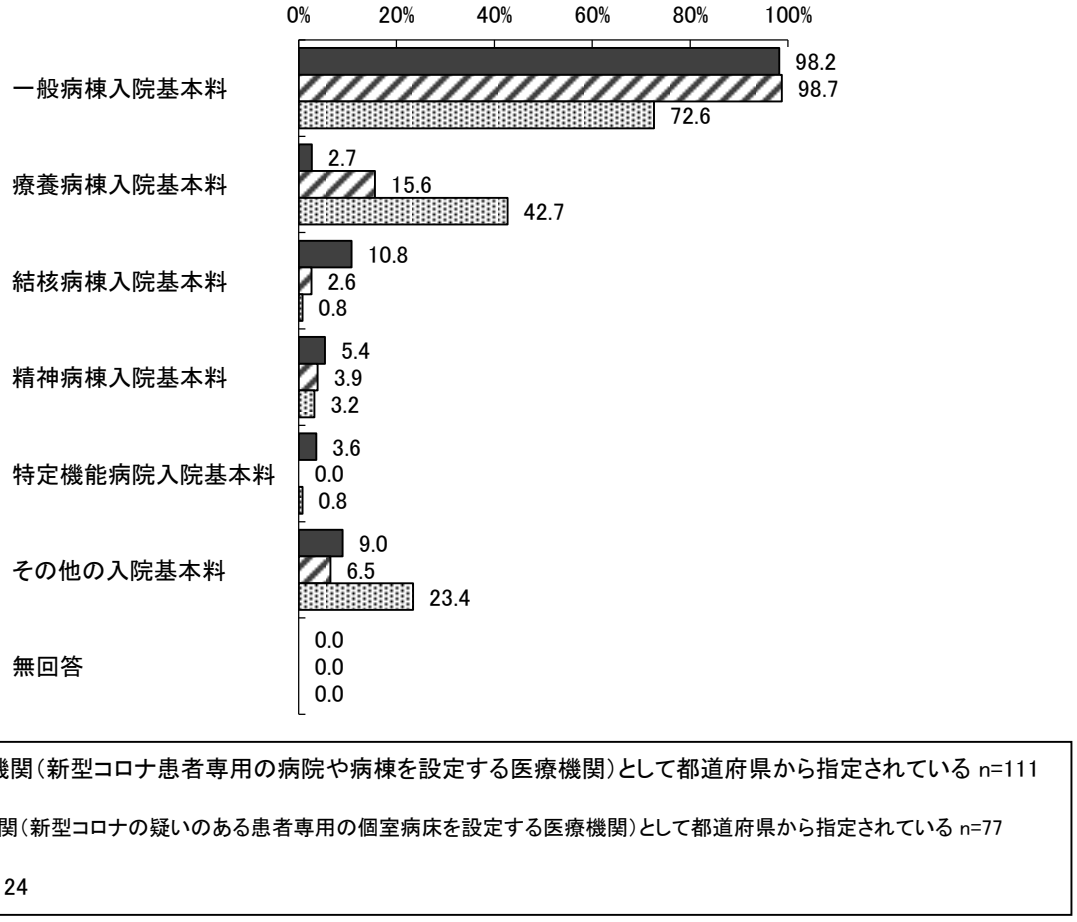
■入院基本料（複数回答）



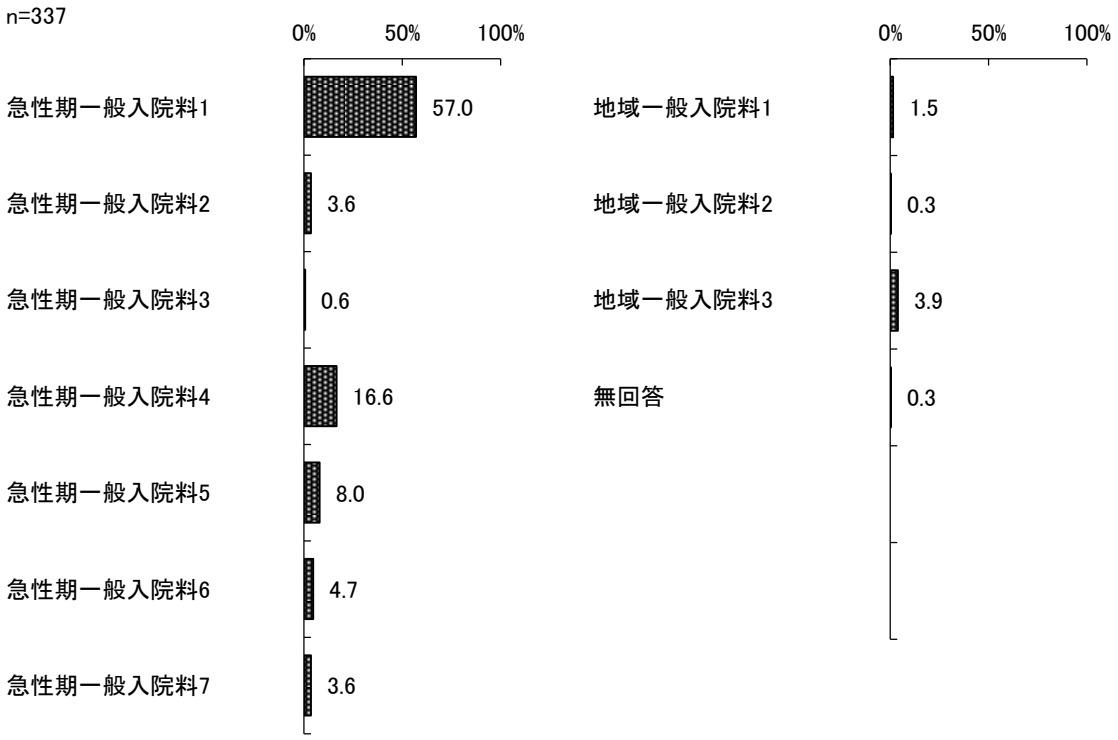
図表 2 - 26　届出を行っている入院基本料（病床規模別）



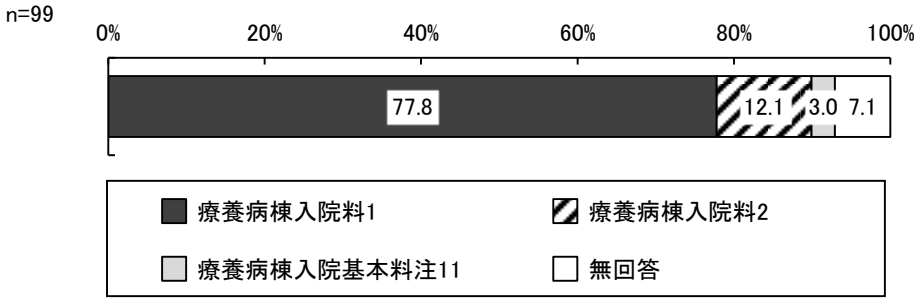
図表 2 - 27　届出を行っている入院基本料
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



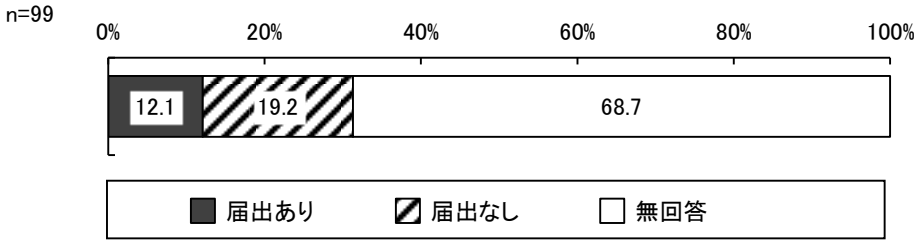
■一般病棟入院基本料の内訳



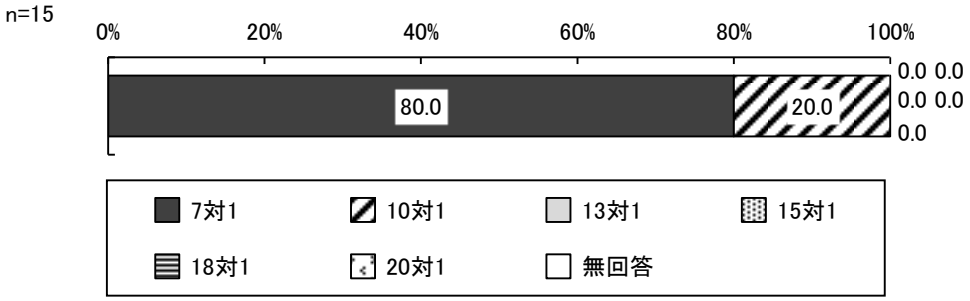
■療養病棟入院基本料の内訳



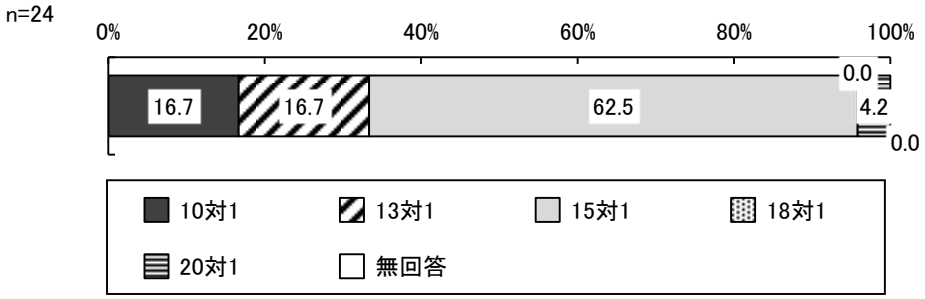
■療養病棟入院基本料の内訳（夜間看護加算の届出状況）



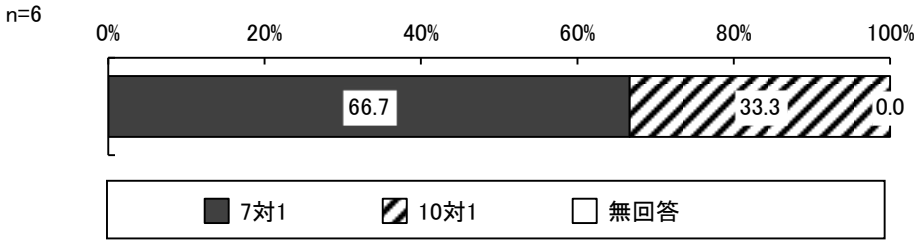
■結核病棟入院基本料の内訳



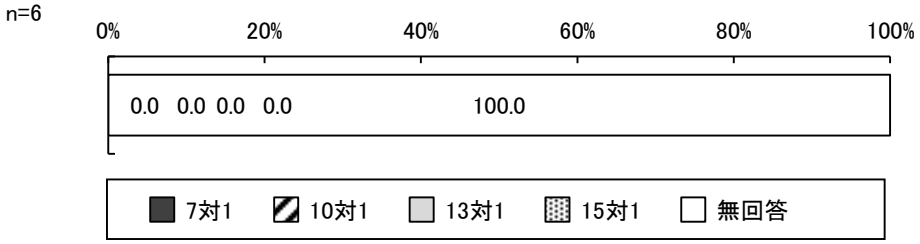
■精神病棟入院基本料の内訳



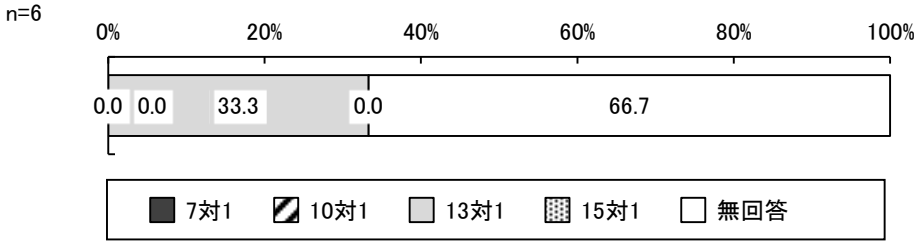
■特定機能病院入院基本料（一般病棟）の内訳



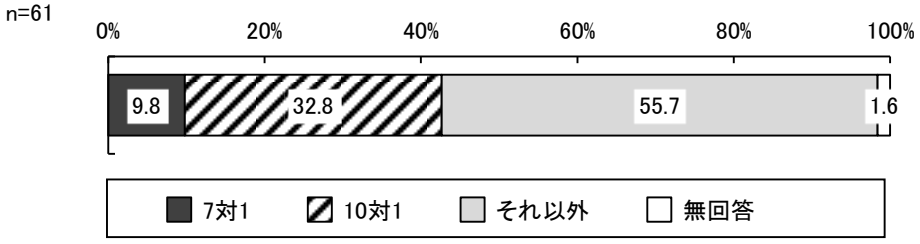
■特定機能病院入院基本料（結核病棟）の内訳



■特定機能病院入院基本料（精神病棟）の内訳

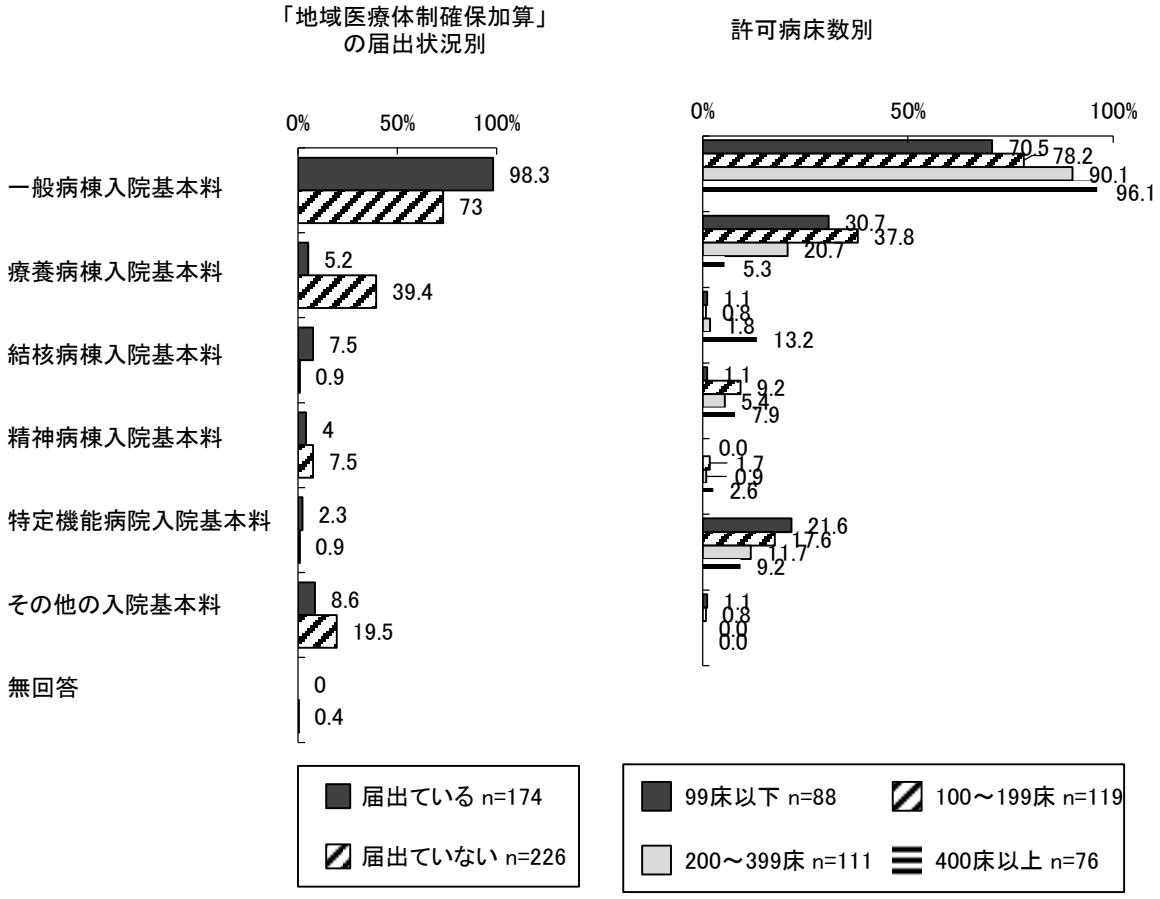


■その他の入院基本料の内訳

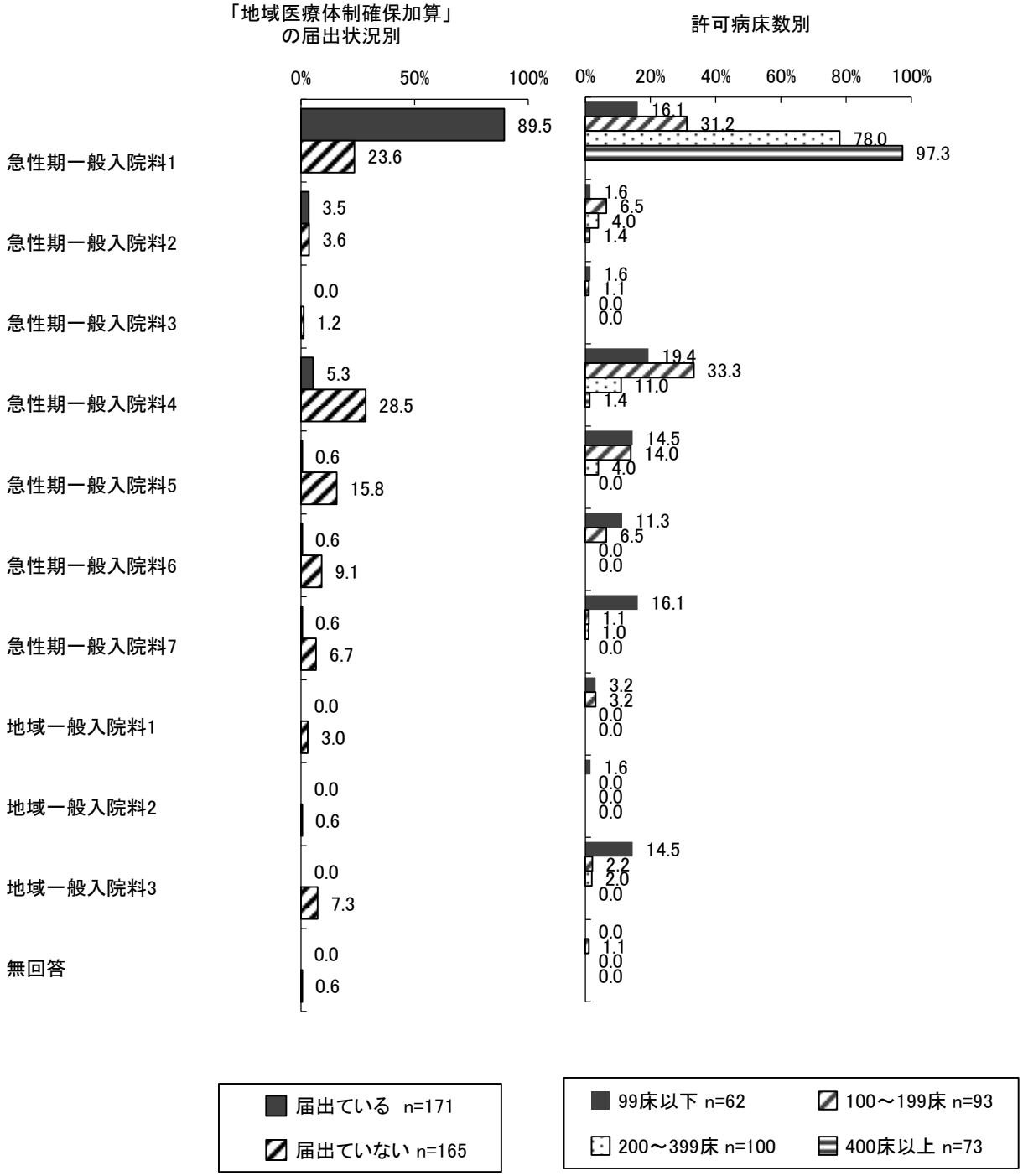


図表 2 - 28　届出を行っている入院基本料（地域医療体制確保加算の届出の有無・病床規模別）

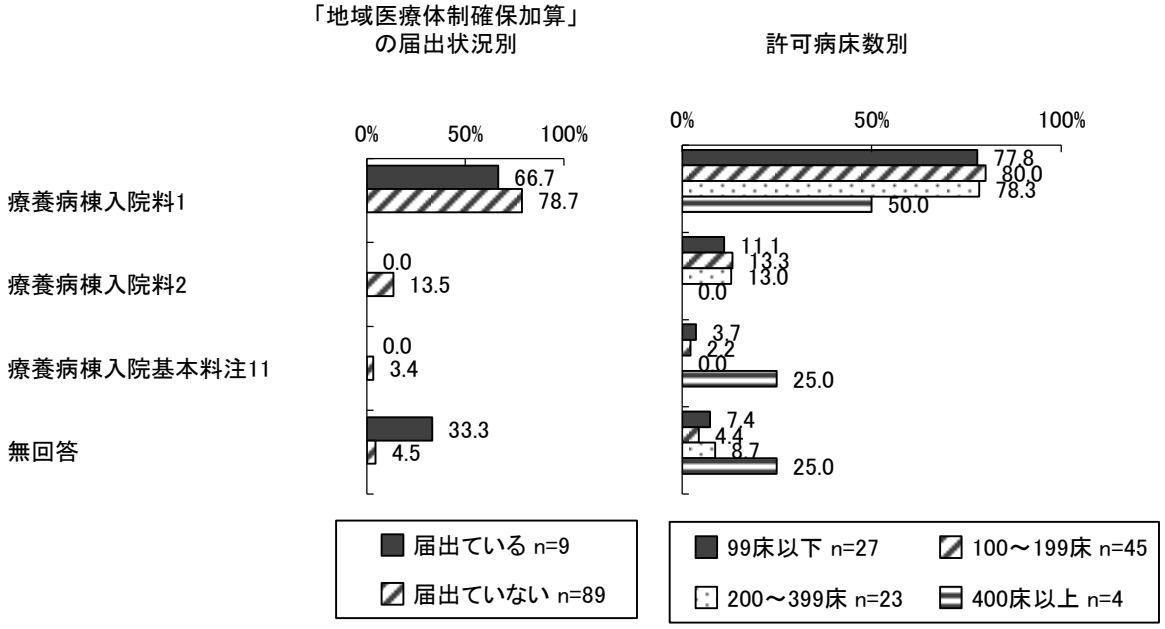
■入院基本料（複数回答）



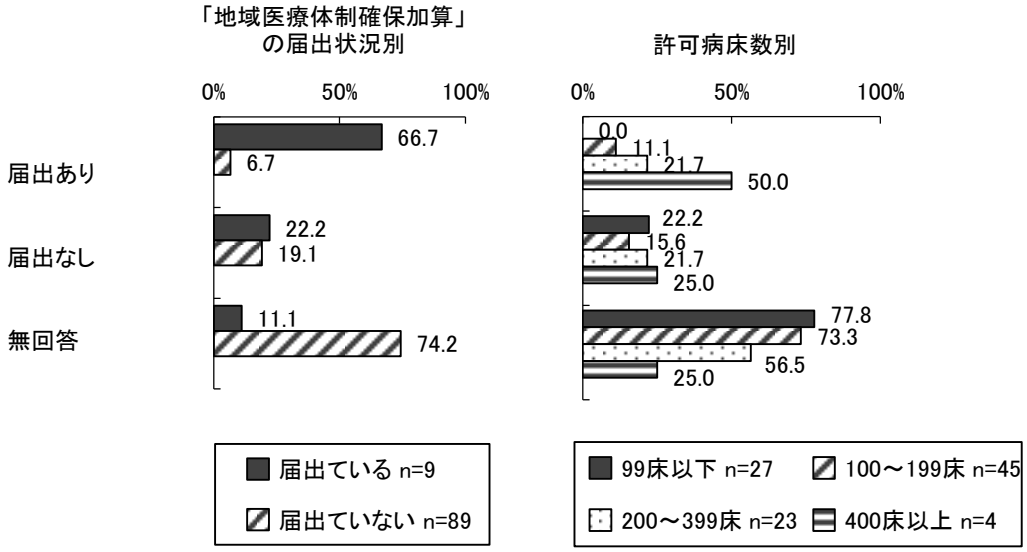
■一般病棟入院基本料の内訳



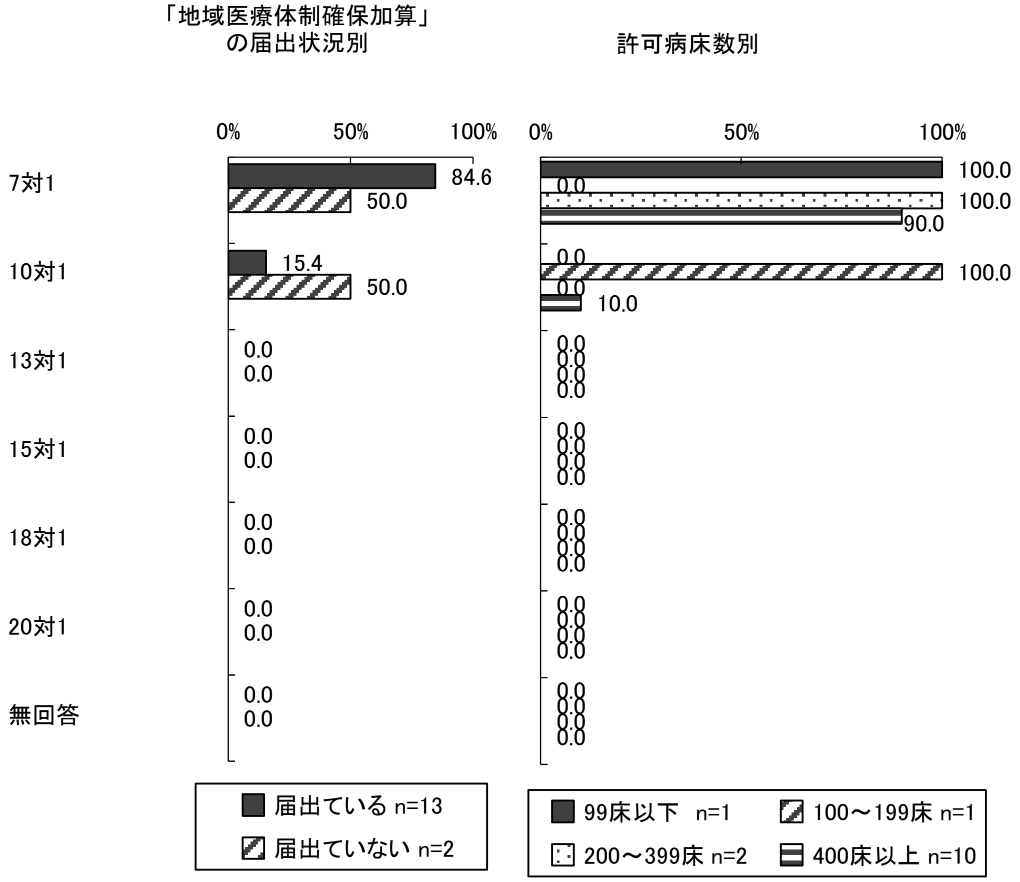
■療養病棟入院基本料の内訳



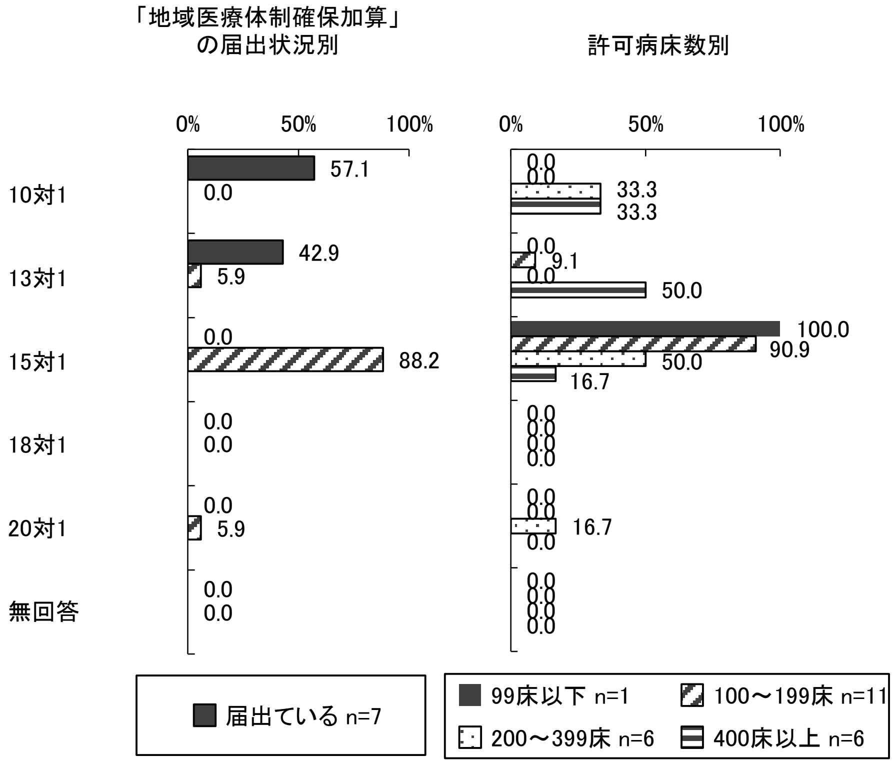
■療養病棟入院基本料の内訳（夜間看護加算の届出状況）



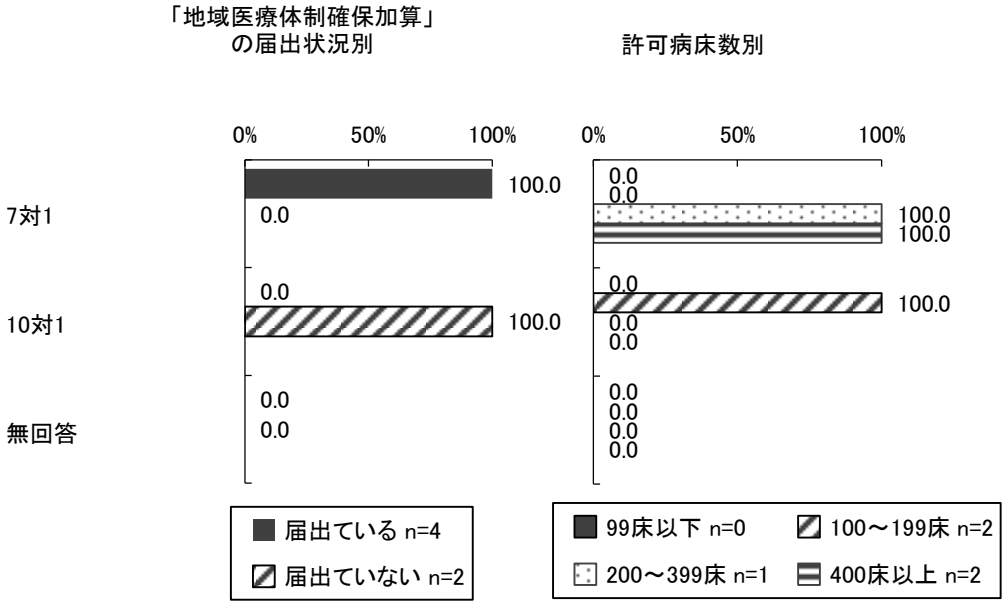
■結核病棟入院基本料の内訳



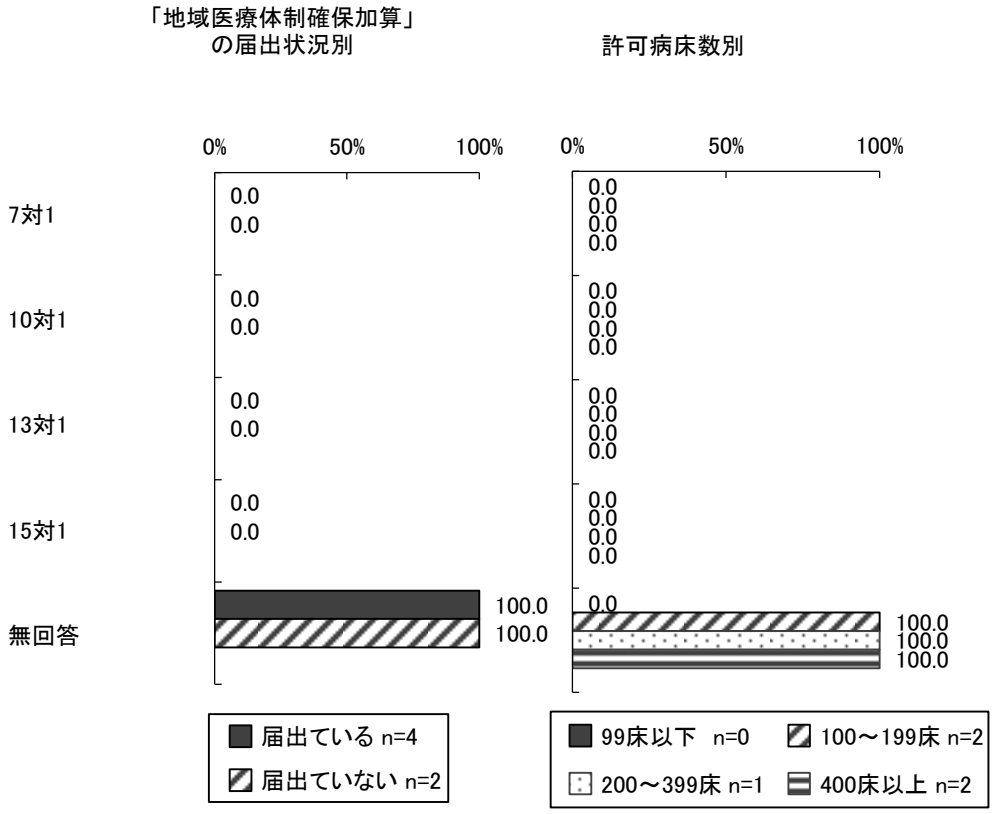
■精神病棟入院基本料の内訳



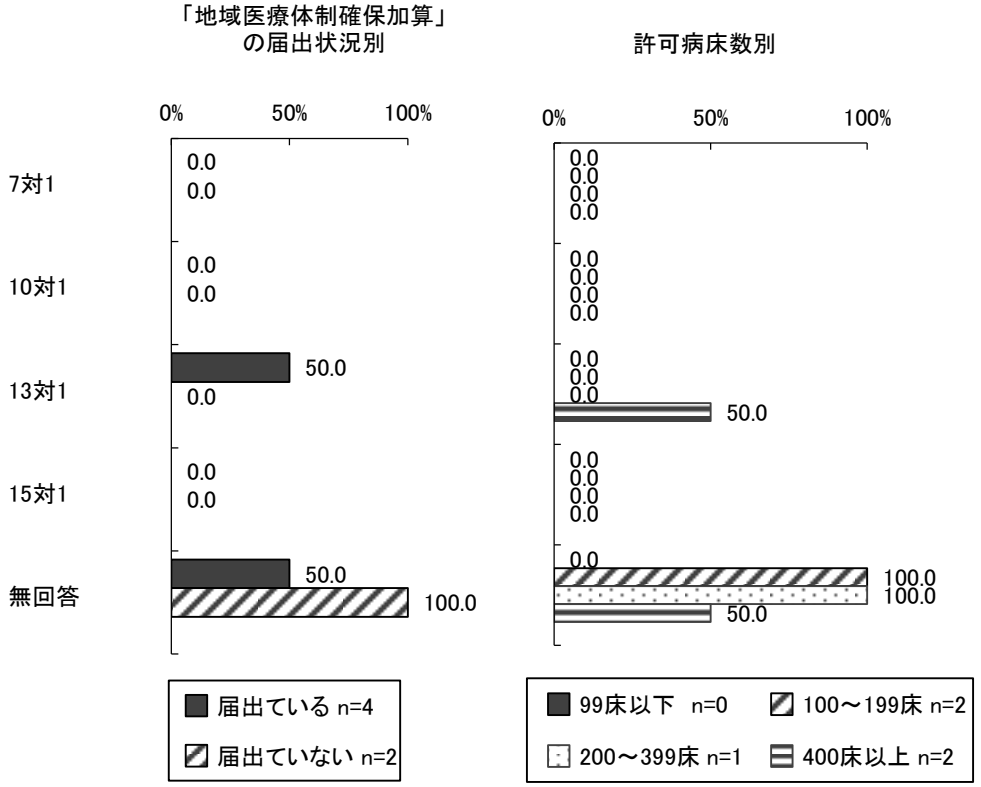
■特定機能病院入院基本料（一般病棟）の内訳



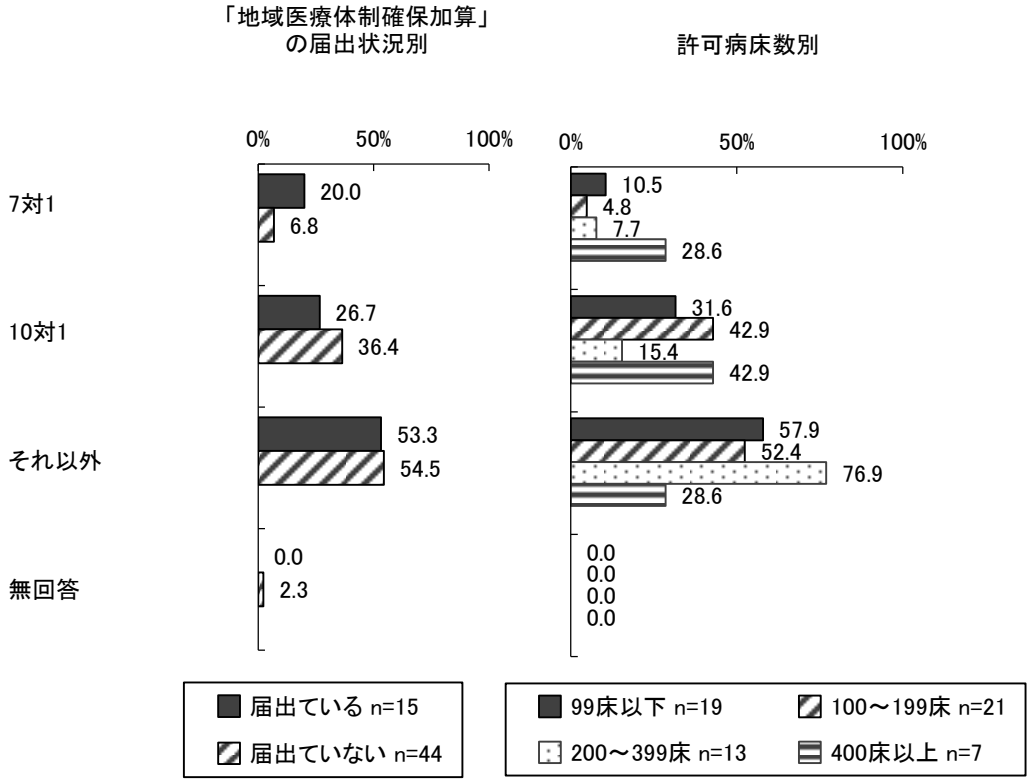
■特定機能病院入院基本料（結核病棟）の内訳



■特定機能病院入院基本料（精神病棟）の内訳



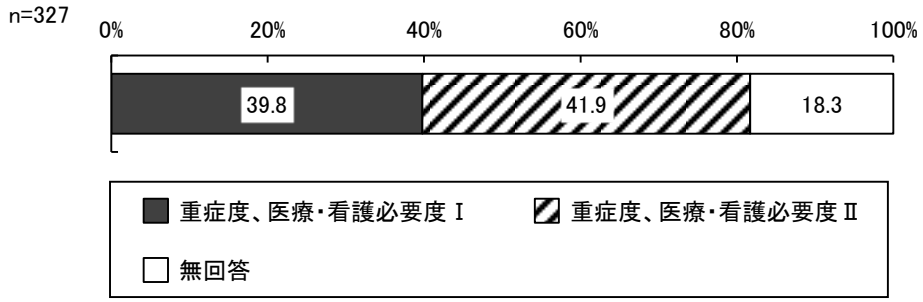
■その他の入院基本料の内訳



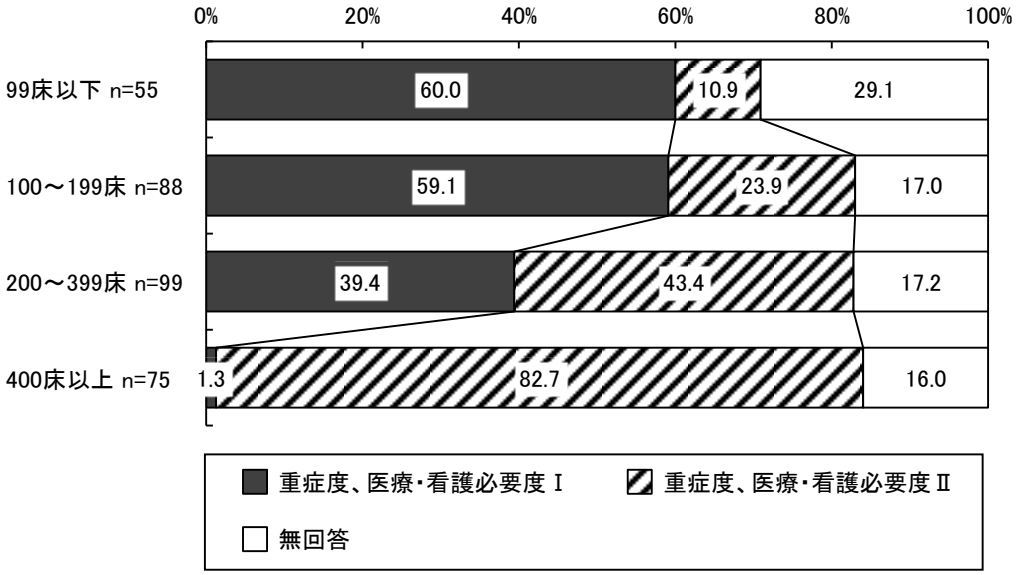
⑥－1 届出を行っている重症度、医療・看護必要度（令和2年 10 月末時点）
【重症度、医療・看護必要度の種類】

届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別についてみると、「重症度、医療・看護必要度Ⅰ」が 39.8%、「重症度、医療・看護必要度Ⅱ」が 41.9%であった。

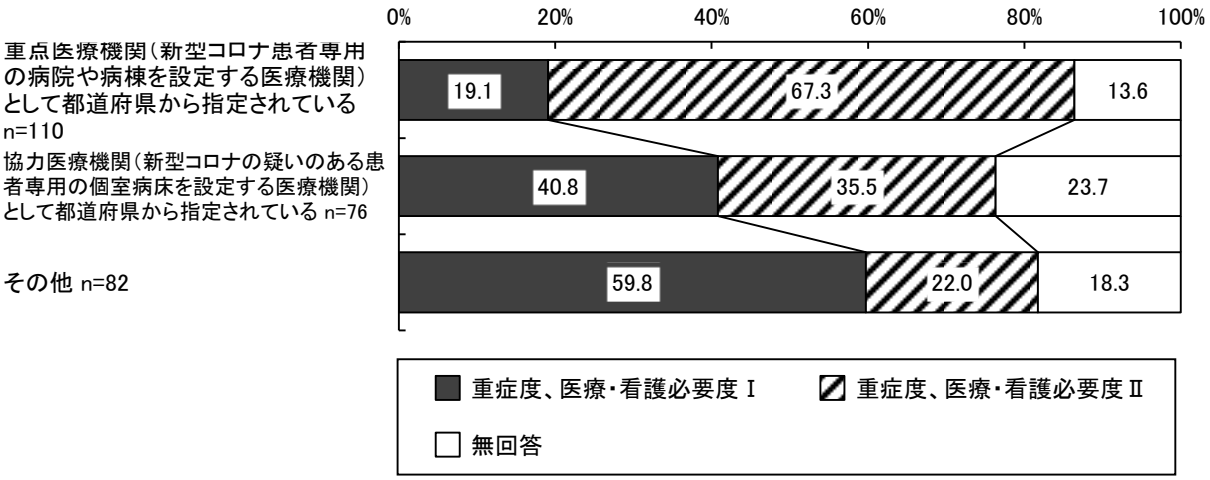
図表 2 - 29　届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別



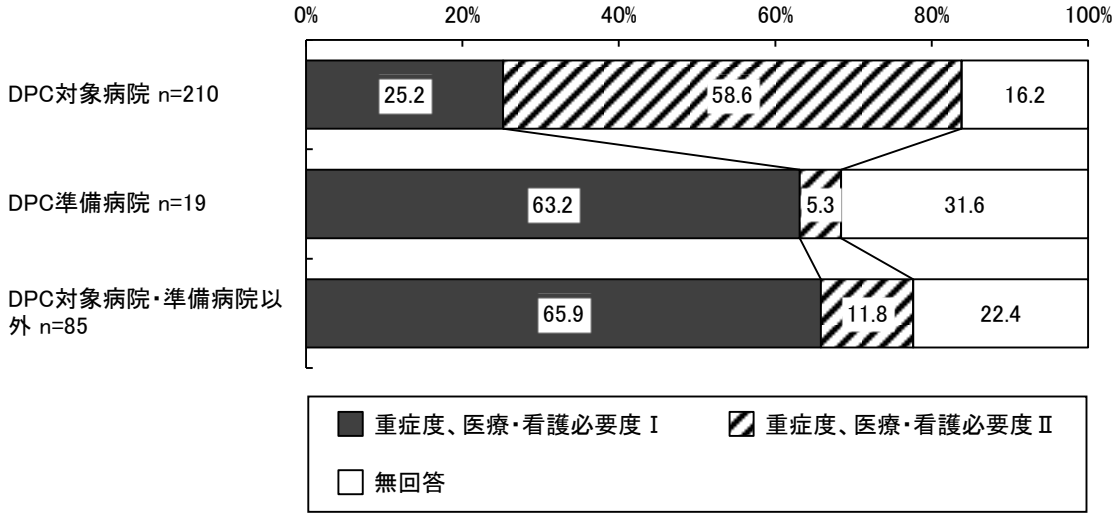
図表 2 - 30　届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別（病床規模別）



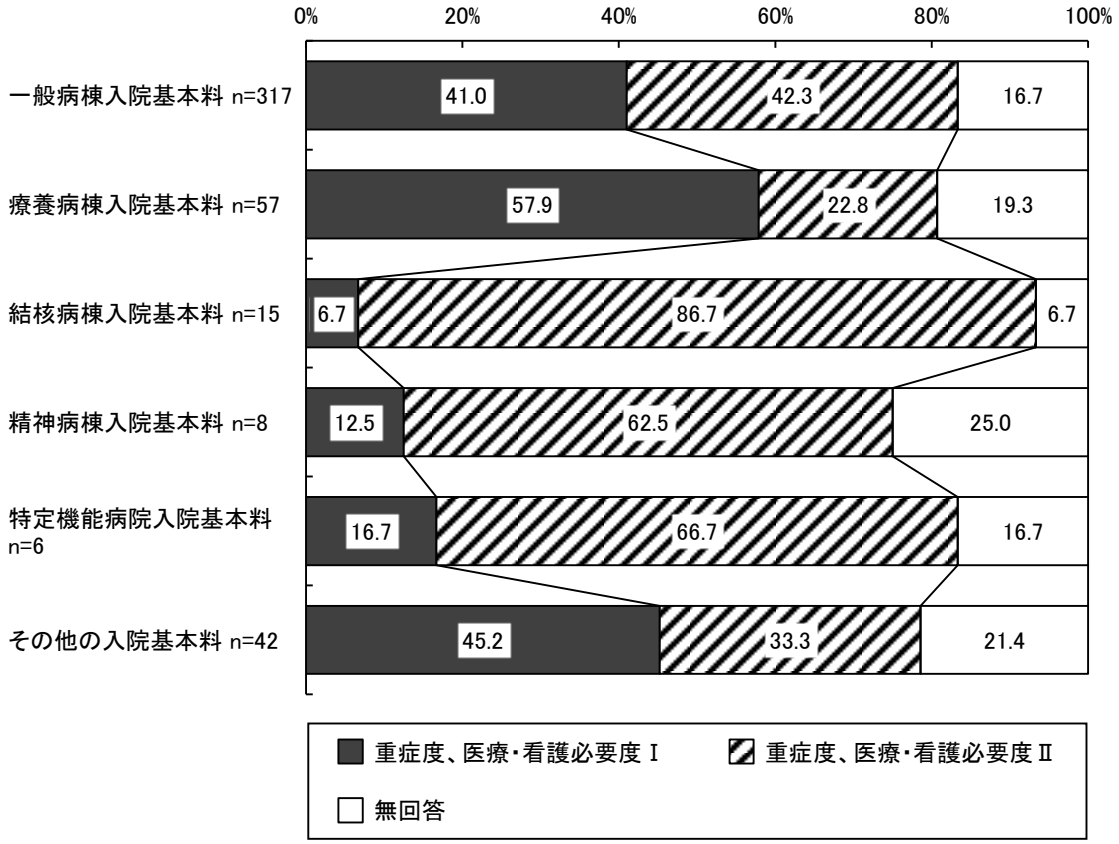
図表 2 - 31　届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



図表 2 - 32　届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
（DPC 対応状況別）



図表 2 - 33　届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別
（入院基本料別・抜粋）



【重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合】

重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合は、以下のとおりであった。

図表 2 - 34　重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合（病床規模別）

（単位：%）

重症度、医療・看護必要度Ⅰ		平均値	標準偏差	中央値
99床以下	n=30	25.9	13.9	25.1
100～199床	n=51	31.4	9.4	31.2
200～399床	n=34	33.1	9.5	35.4
400床以上	n=1	32.2	0.0	32.2

（単位：%）

重症度、医療・看護必要度Ⅱ		平均値	標準偏差	中央値
99床以下	n=6	36.6	10.4	39.4
100～199床	n=16	30.6	6.8	29.4
200～399床	n=41	36.5	4.5	36.5
400床以上	n=60	35.8	3.7	36.4

図表 2 - 35　重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合（DPC 対応状況別）

（単位：%）

重症度、医療・看護必要度Ⅰ		平均値	標準偏差	中央値
DPC 対象病院	n=47	33.5	8.7	34.0
DPC 準備病院	n=11	34.9	8.2	37.9
DPC 対象病院・準備病院以外	n=54	27.0	12.8	25.6

（単位：%）

重症度、医療・看護必要度Ⅱ		平均値	標準偏差	中央値
DPC対象病院	n=117	35.4	4.9	36.0
DPC準備病院	n=1	50.7	0.0	50.7
DPC対象病院・準備病院以外	n=6	33.4	8.4	32.9

図表 2 - 36　重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合（入院基本料別）

（単位：%）

重症度、医療・看護必要度Ⅰ		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=121	30.4	11.1	32.4
療養病棟入院基本料	n=31	27.4	11.7	27.0
結核病棟入院基本料	n=1	29.4	0.0	29.4
精神病棟入院基本料	n=1	38.7	0.0	38.7
特定機能病院入院基本料	n=1	40.3	0.0	40.3
その他の入院基本料	n=19	33.4	7.7	33.7

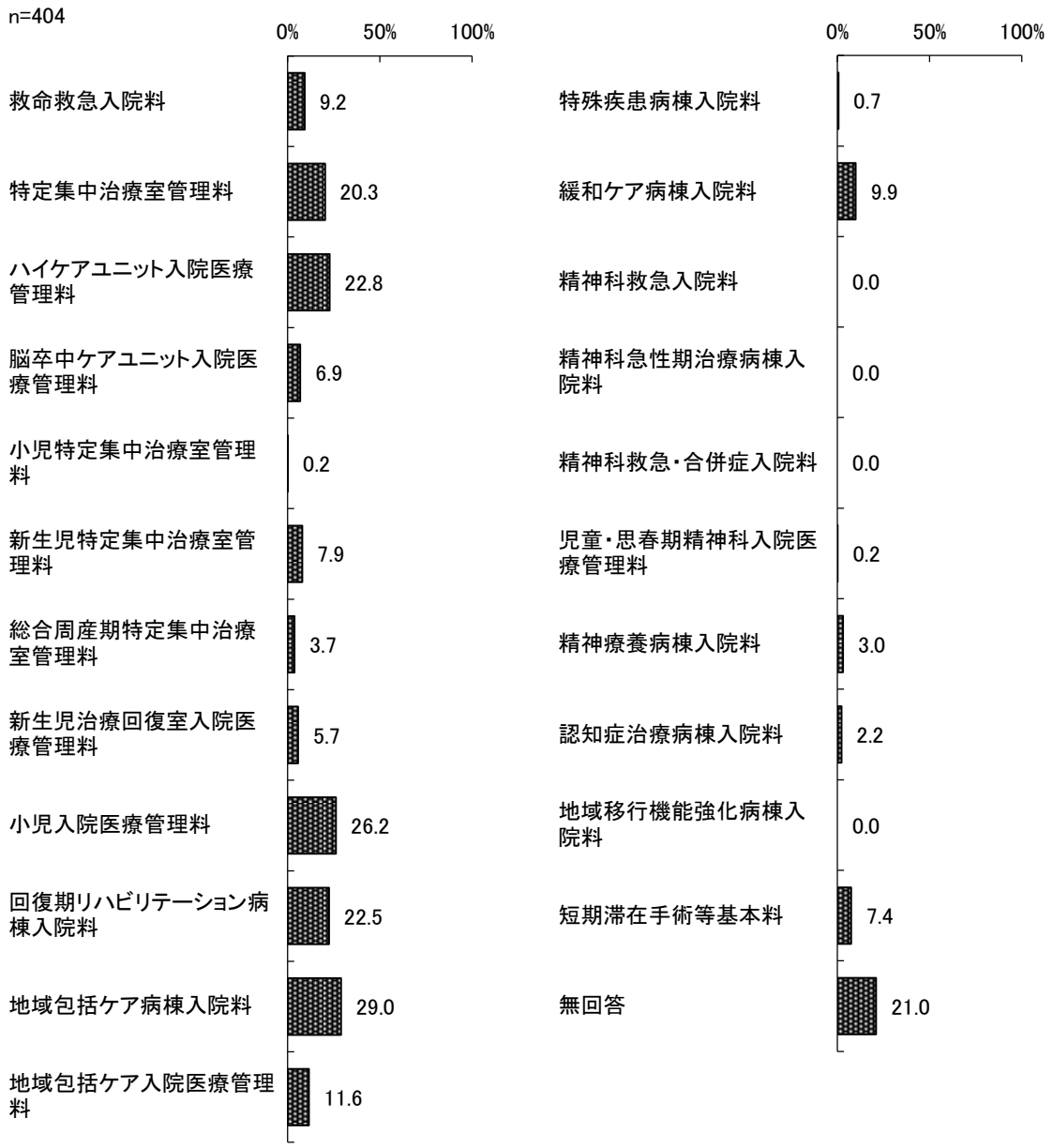
（単位：%）

重症度、医療・看護必要度Ⅱ		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=125	35.3	5.4	35.9
療養病棟入院基本料	n=11	36.6	4.6	36.5
結核病棟入院基本料	n=13	36.2	4.7	36.1
精神病棟入院基本料	n=5	36.3	4.9	38.0
特定機能病院入院基本料	n=3	30.2	7.5	32.5
その他の入院基本料	n=13	32.6	6.0	34.3

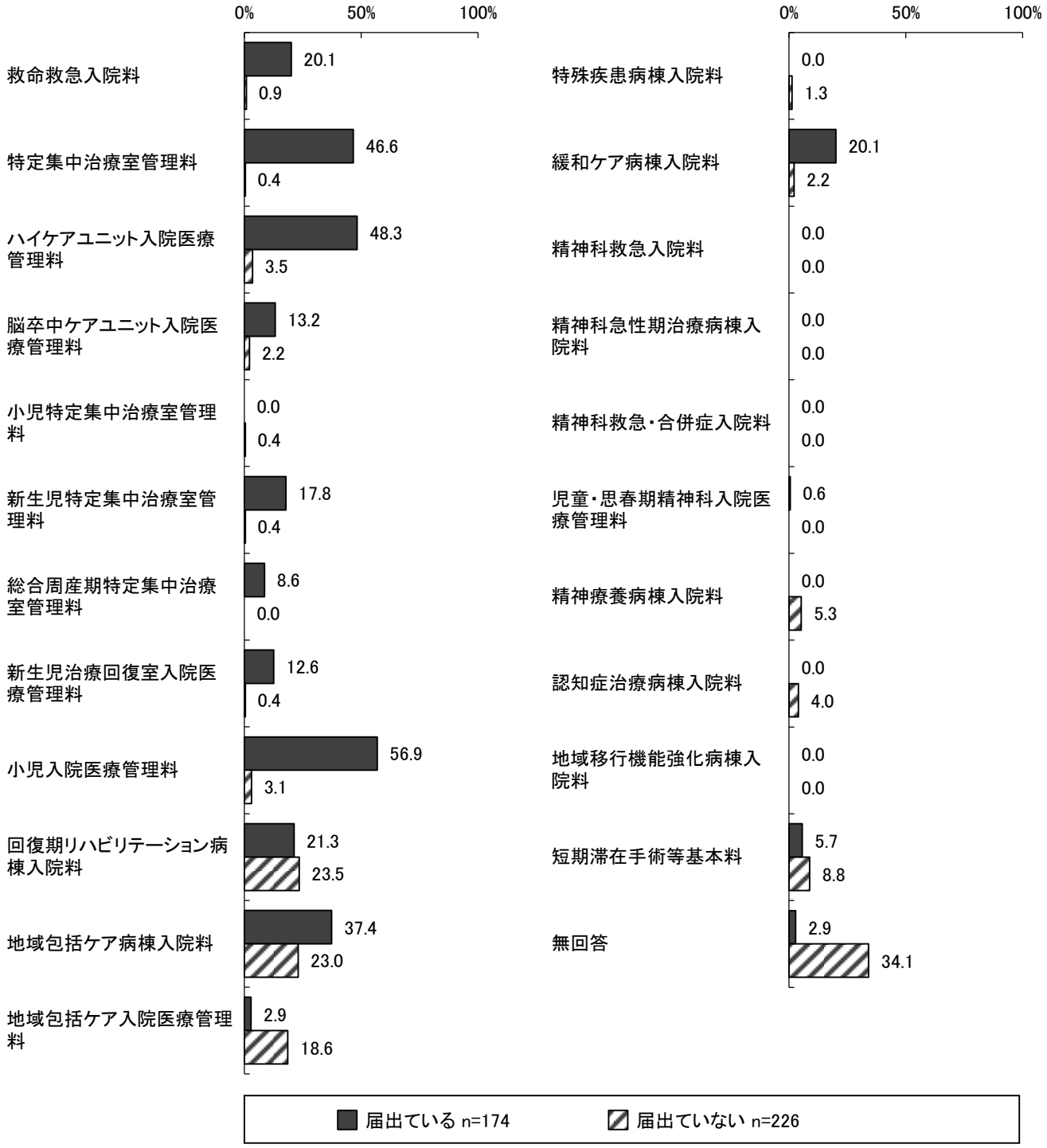
⑦ 届出を行っている特定入院料等

届出を行っている特定入院料等で最も多かったものは「地域包括ケア病棟入院料」(29.0%)、次いで「小児入院医療管理料」(26.2%) であった。

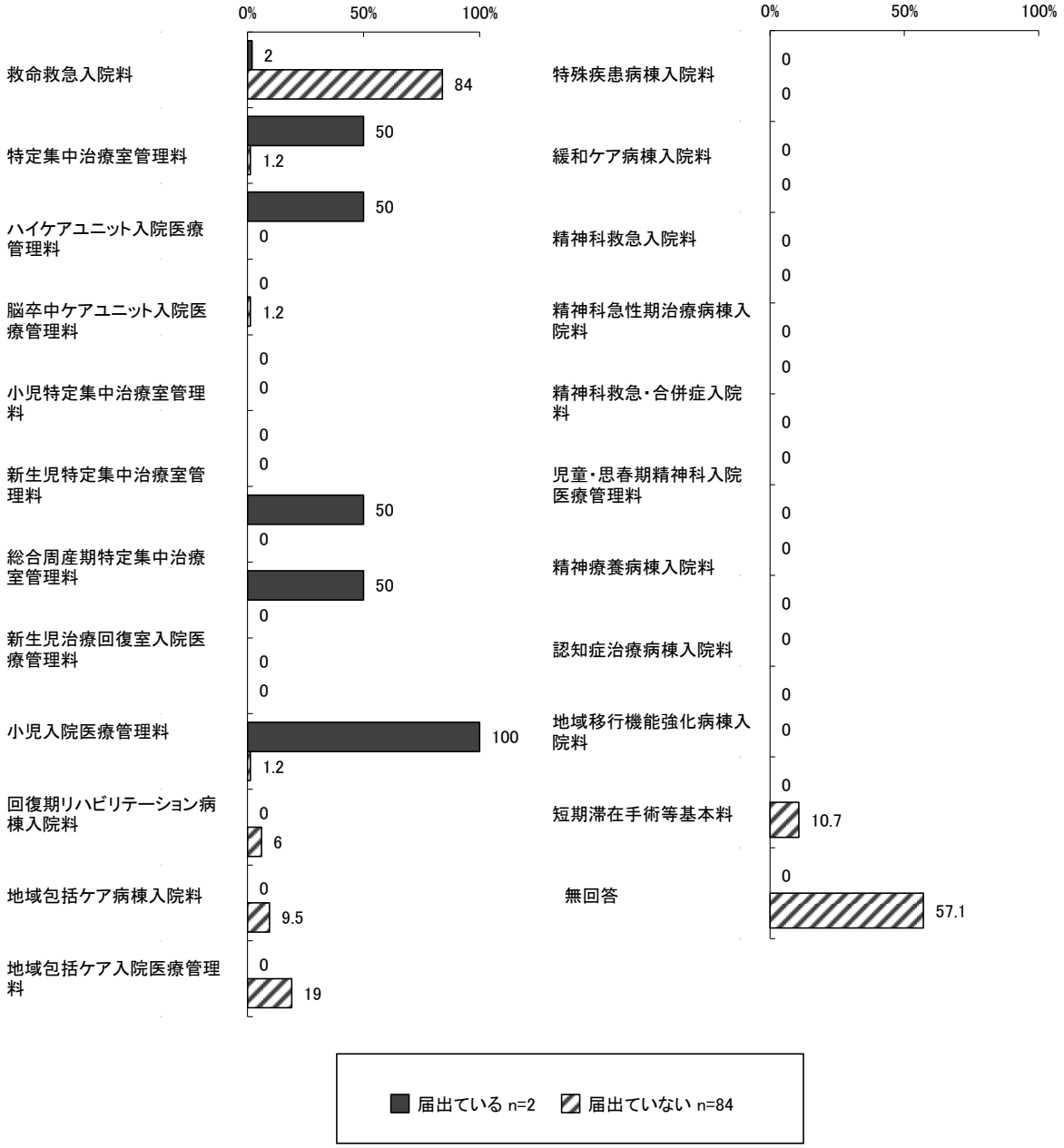
図表 2 - 37　届出を行っている特定入院料等（複数回答）



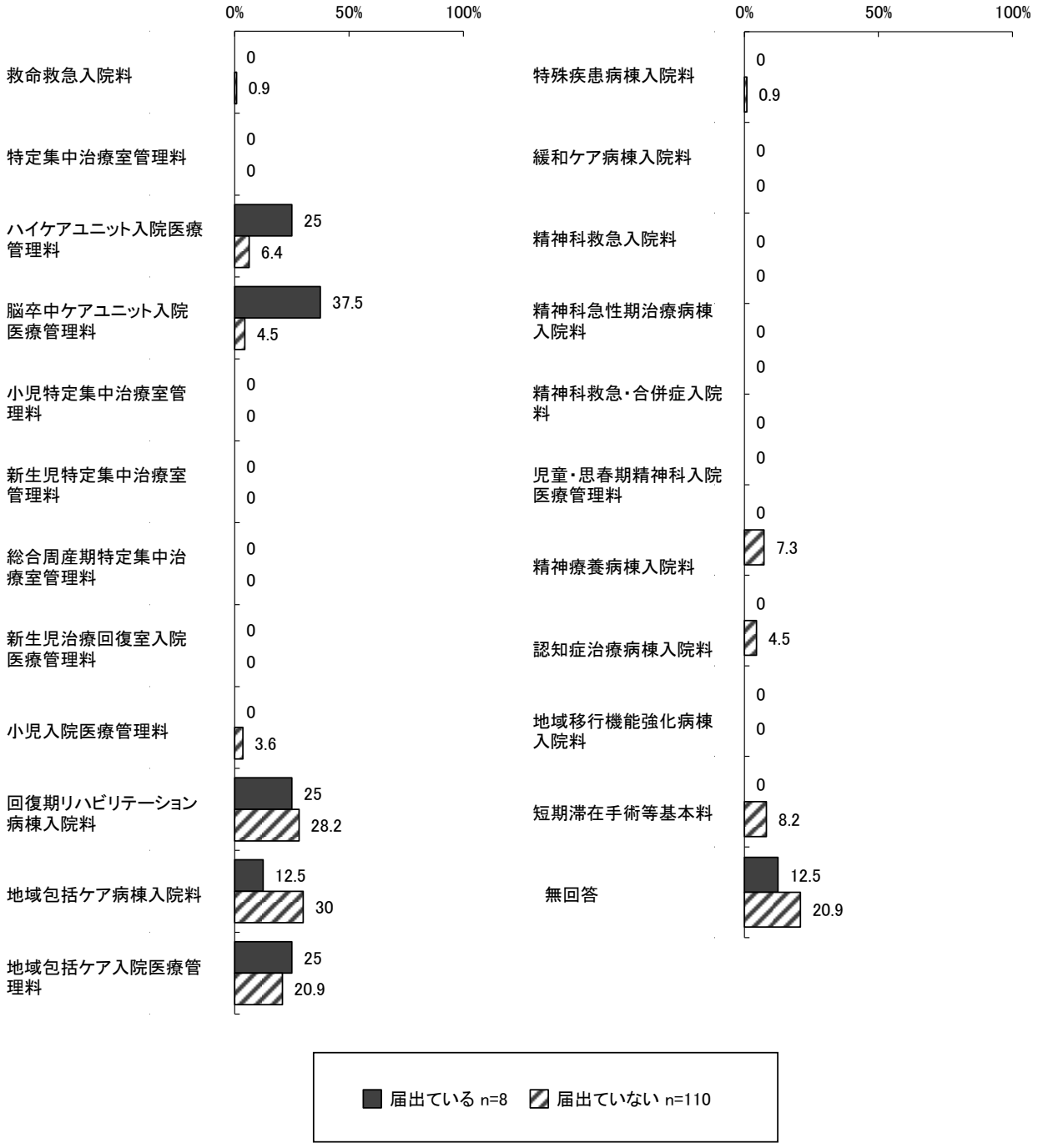
図表 2 - 38　届出を行っている特定入院料等（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無）



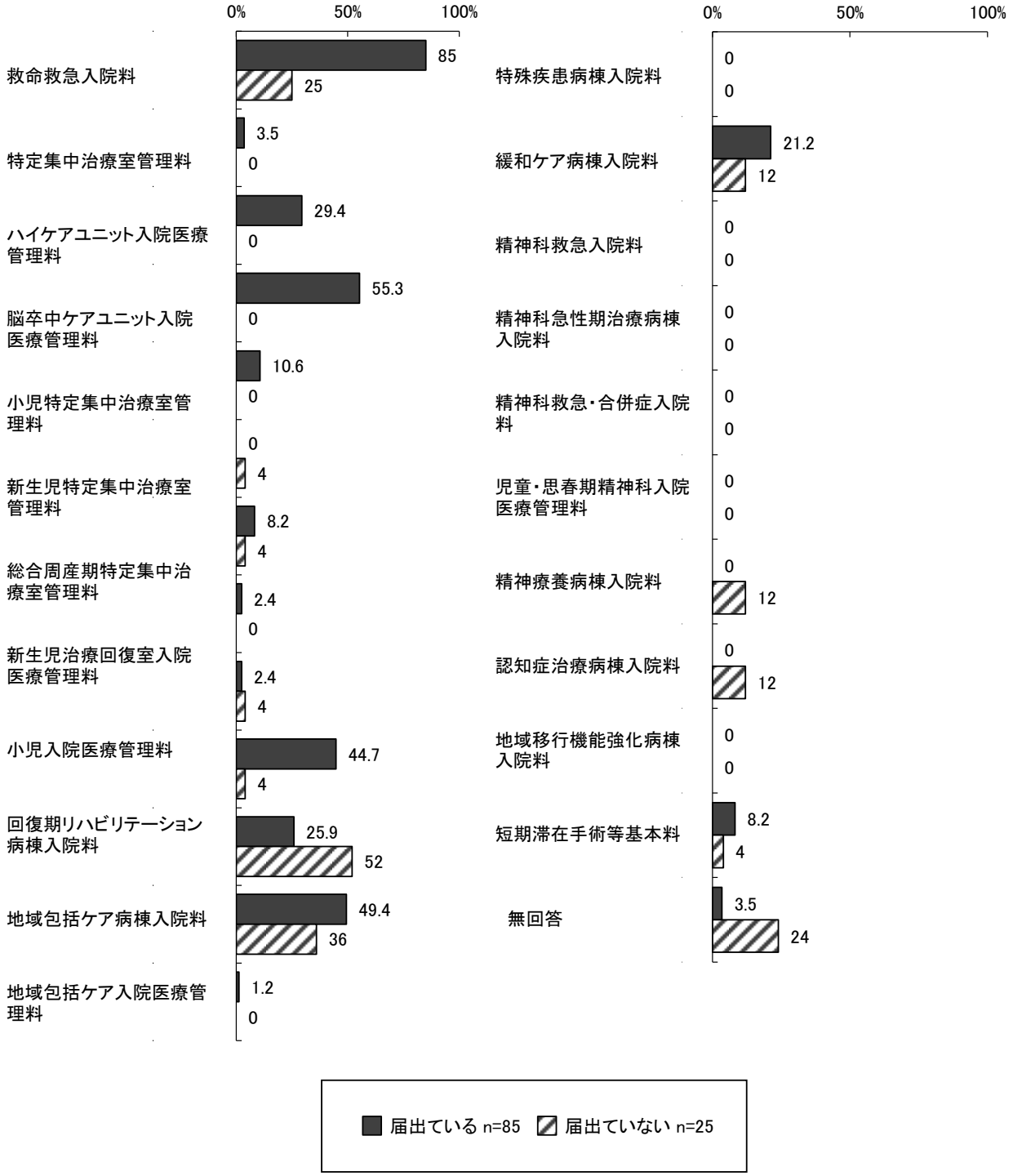
図表 2 - 39　届出を行っている特定入院料等【99 床以下】



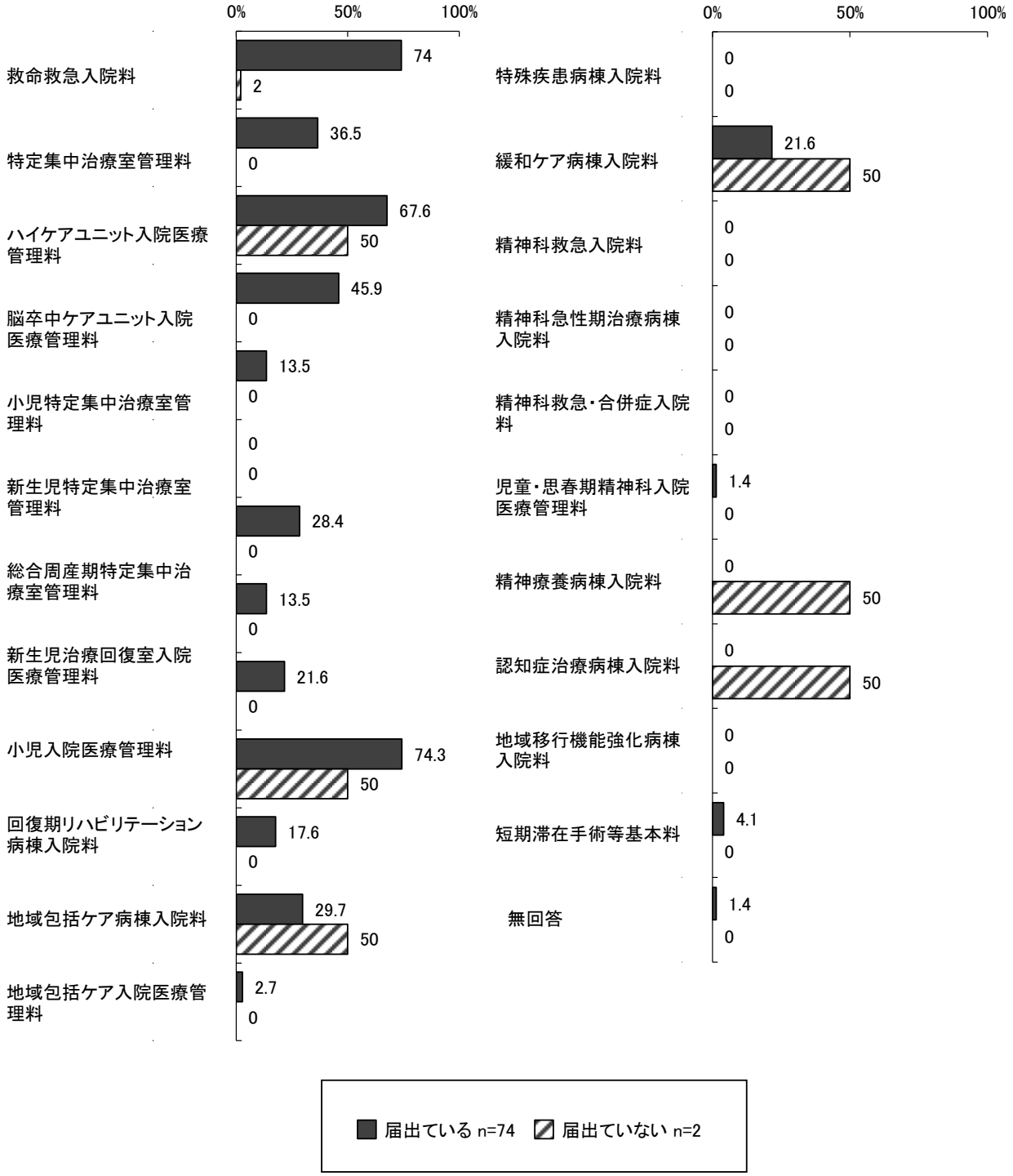
図表 2 - 40　届出を行っている特定入院料等【100 床～199 床以下】



図表 2 - 41　届出を行っている特定入院料等【200 床～399 床以下】



図表 2 - 42　届出を行っている特定入院料等【400 床以上】



⑧ 許可病床数

許可病床数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 43　許可病床数【全体】

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
1)一般病床	n=382	221.8	184.1	168.5
2)療養病床	n=252	31.1	47.9	0.0
3)精神病床	n=215	14.4	44.7	0.0
4)結核病床	n=205	0.5	2.0	0.0
5)感染症病床	n=232	1.0	2.0	0.0
6)病院全体	n=394	246.7	171.6	199.0

※各病床種別すべてについて有効回答のあったものについて集計。

図表 2 - 44　許可病床数【99 床以下】

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
1)一般病床	n=84	48.7	27.6	50.0
2)療養病床	n=63	17.4	22.1	0.0
3)精神病床	n=55	1.2	8.6	0.0
4)結核病床	n=54	0.0	0.0	0.0
5)感染症病床	n=54	0.0	0.0	0.0
6)病院全体	n=88	59.7	25.0	59.0

※すべての病棟種別について有効回答のあったものについて集計。

図表 2 - 45　許可病床数【100～199 床】

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
1)一般病床	n=110	113.5	59.0	118.5
2)療養病床	n=83	44.6	47.9	41.0
3)精神病床	n=59	34.9	66.1	0.0
4)結核病床	n=54	0.3	2.0	0.0
5)感染症病床	n=59	0.4	1.2	0.0
6)病院全体	n=119	153.7	32.6	150.0

※すべての病棟種別について有効回答のあったものについて集計。

図表 2 - 46　許可病床数【200～399 床以上】

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
1)一般病床	n=108	268.0	100.4	301.0
2)療養病床	n=65	42.9	65.5	0.0
3)精神病床	n=55	10.4	45.2	0.0
4)結核病床	n=55	0.4	1.8	0.0
5)感染症病床	n=66	1.0	1.8	0.0
6)病院全体	n=111	304.4	53.7	307.0

※すべての病棟種別について有効回答のあったものについて集計。

図表 2 - 47　許可病床数【400 床以上】

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
1)一般病床	n=75	515.2	103.6	501.0
2)療養病床	n=35	7.3	21.8	0.0
3)精神病床	n=40	8.8	21.1	0.0
4)結核病床	n=37	1.6	3.3	0.0
5)感染症病床	n=47	2.7	2.7	2.0
6)病院全体	n=76	524.8	99.0	502.5

※すべての病棟種別について有効回答のあったものについて集計。

⑨ 職員数（令和2年 10 月末時点）

職員数は、以下のとおりであった。

図表 2 -48　1 施設当たりの平均職員数【全体】

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=396	45.5	55.3	17.0	n=385	7.2	10.4	4.1
2）歯科医師	n=301	1.2	1.9	0.0	n=266	0.2	0.5	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=393	188.8	183.7	105.0	n=374	12.4	13.5	7.2
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=256	1.1	2.4	0.0	n=229	0.1	0.6	0.0
4）准看護師	n=379	7.5	8.5	5.0	n=342	2.2	3.3	1.1
5）看護補助者	n=379	20.8	18.1	16.0	n=363	7.8	10.9	3.5
6）歯科衛生士	n=302	1.6	1.9	1.0	n=264	0.3	0.8	0.0
7）薬剤師	n=395	11.3	11.5	6.0	n=322	0.7	1.0	0.4
8）臨床検査技師	n=376	14.9	14.8	9.0	n=324	1.5	2.3	0.7
9）管理栄養士	n=396	4.1	3.0	3.0	n=291	0.4	0.7	0.0
10）理学療法士	n=377	15.9	16.1	12.0	n=276	0.2	0.5	0.0
11）作業療法士	n=371	7.1	7.6	5.0	n=271	0.1	0.3	0.0
12）言語聴覚士	n=346	3.5	3.6	3.0	n=269	0.1	0.4	0.0
13）医師事務作業補助者	n=337	9.3	12.6	4.0	n=295	3.6	7.5	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=376	4.0	2.9	4.0	n=279	0.1	0.4	0.0
15）その他	n=375	62.5	57.0	46.0	n=345	11.2	13.1	6.1
16）合計	n=389	384.2	336.1	254.0	n=374	39.9	39.7	26.0

図表 2 - 49　1 施設当たりの平均職員数【99 床以下】

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=87	7.8	23.6	4.0	n=85	2.7	2.7	2.3
2）歯科医師	n=51	0.6	2.6	0.0	n=48	0.1	0.2	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=86	40.3	81.4	29.0	n=76	3.5	5.4	2.4
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=48	0.3	0.7	0.0	n=41	0.0	0.1	0.0
4）准看護師	n=82	6.2	4.6	5.0	n=70	1.6	2.1	0.8
5）看護補助者	n=81	9.2	7.0	9.0	n=74	2.6	3.6	1.5
6）歯科衛生士	n=49	0.4	1.0	0.0	n=48	0.2	0.7	0.0
7）薬剤師	n=87	2.4	5.4	2.0	n=69	0.5	0.7	0.2
8）臨床検査技師	n=76	3.4	5.3	2.0	n=63	0.4	0.5	0.0
9）管理栄養士	n=86	1.6	1.1	1.0	n=54	0.2	0.4	0.0
10）理学療法士	n=76	6.3	7.4	4.0	n=48	0.2	0.6	0.0
11）作業療法士	n=66	2.6	3.9	1.0	n=47	0.1	0.4	0.0
12）言語聴覚士	n=58	1.2	2.0	0.0	n=48	0.1	0.2	0.0
13）医師事務作業補助者	n=62	1.8	2.1	1.0	n=53	1.3	6.4	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=71	1.4	1.4	1.0	n=51	0.1	0.2	0.0
15）その他	n=75	18.8	17.8	16.0	n=61	4.0	5.7	2.0
16）合計	n=85	96.7	136.7	79.0	n=86	13.2	13.2	10.1

図表 2 - 50　1 施設当たりの平均職員数【100～199 床】

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=119	13.1	9.4	11.0	n=117	5.0	6.3	3.7
2）歯科医師	n=82	0.3	0.7	0.0	n=76	0.1	0.5	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=118	79.5	42.2	74.0	n=112	7.9	7.7	5.4
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=69	0.4	0.9	0.0	n=66	0.0	0.1	0.0
4）准看護師	n=114	9.6	8.9	8.0	n=102	2.1	4.0	1.3
5）看護補助者	n=114	19.7	12.3	18.0	n=108	5.5	5.9	3.2
6）歯科衛生士	n=82	0.7	1.5	0.0	n=77	0.2	0.3	0.0
7）薬剤師	n=118	4.8	3.1	4.0	n=94	0.7	0.9	0.5
8）臨床検査技師	n=111	6.3	4.5	6.0	n=94	0.5	0.7	0.3
9）管理栄養士	n=118	2.6	1.4	2.0	n=81	0.3	0.5	0.0
10）理学療法士	n=109	13.6	13.2	10.0	n=82	0.2	0.5	0.0
11）作業療法士	n=113	6.7	8.5	4.0	n=78	0.1	0.3	0.0
12）言語聴覚士	n=99	2.6	2.9	1.0	n=76	0.1	0.2	0.0
13）医師事務作業補助者	n=100	3.7	3.8	2.0	n=82	1.5	3.6	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=115	2.8	2.0	2.0	n=78	0.1	0.4	0.0
15）その他	n=115	35.8	25.3	28.0	n=105	8.0	9.4	3.7
16）合計	n=117	194.5	79.1	181.0	n=110	28.5	23.1	21.3

図表 2 - 51　1 施設当たりの平均職員数【200～399 床】

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=109	55.4	35.8	54.0	n=104	10.1	10.2	7.8
2）歯科医師	n=89	1.1	1.3	1.0	n=75	0.2	0.5	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=109	234.6	107.9	247.0	n=106	15.0	12.2	11.5
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=70	1.2	2.6	0.0	n=63	0.1	1.1	0.0
4）准看護師	n=106	8.1	9.7	5.0	n=95	2.4	3.0	1.2
5）看護補助者	n=105	25.5	17.6	25.0	n=103	10.1	10.4	6.0
6）歯科衛生士	n=91	1.8	2.0	1.0	n=75	0.4	1.1	0.0
7）薬剤師	n=109	14.7	7.4	14.0	n=88	0.9	1.2	0.5
8）臨床検査技師	n=107	18.3	10.3	18.0	n=89	1.9	2.5	1.0
9）管理栄養士	n=108	5.2	2.3	5.0	n=84	0.5	0.7	0.0
10）理学療法士	n=108	20.2	16.9	14.5	n=78	0.2	0.4	0.0
11）作業療法士	n=108	8.9	8.0	6.0	n=79	0.1	0.2	0.0
12）言語聴覚士	n=106	4.5	4.4	3.0	n=78	0.2	0.4	0.0
13）医師事務作業補助者	n=97	11.0	11.1	9.0	n=86	4.3	6.4	0.8
14）MSW（社会福祉士等）	n=108	5.2	2.4	5.0	n=84	0.3	0.5	0.0
15）その他	n=105	78.6	44.5	73.0	n=101	14.0	13.3	9.5
16）合計	n=106	487.1	194.9	498.0	n=103	51.9	40.5	38.4

図表 2 - 52　1 施設当たりの平均職員数【400 床以上】

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=72	123.6	52.7	124.0	n=69	12.2	17.1	7.3
2）歯科医師	n=71	2.8	2.0	3.0	n=58	0.2	0.4	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=71	464.3	134.9	435.0	n=70	24.5	16.5	21.4
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=60	2.2	3.4	1.0	n=51	0.0	0.0	0.0
4）准看護師	n=67	4.8	9.1	2.0	n=65	2.5	3.3	1.0
5）看護補助者	n=70	27.5	25.5	27.0	n=68	14.3	17.4	7.2
6）歯科衛生士	n=72	2.9	1.8	3.0	n=56	0.6	1.0	0.0
7）薬剤師	n=72	26.3	9.5	25.0	n=62	0.6	0.9	0.0
8）臨床検査技師	n=73	32.8	12.8	31.0	n=69	3.2	3.0	2.2
9）管理栄養士	n=74	7.7	3.0	8.0	n=63	0.7	1.0	0.0
10）理学療法士	n=74	21.8	20.0	16.5	n=59	0.2	0.4	0.0
11）作業療法士	n=74	8.5	5.3	7.0	n=58	0.1	0.2	0.0
12）言語聴覚士	n=74	4.8	3.3	4.0	n=58	0.1	0.4	0.0
13）医師事務作業補助者	n=68	20.4	17.4	18.5	n=65	7.7	11.1	2.9
14）MSW（社会福祉士等）	n=72	6.6	2.8	6.0	n=57	0.1	0.3	0.0
15）その他	n=71	123.8	67.4	112.0	n=68	18.4	16.8	13.3
16）合計	n=72	847.2	293.2	839.0	n=65	73.8	50.0	60.9

図表 2 - 53　1 施設当たりの平均職員数（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

（単位：人）

	常勤・届出をしている				常勤・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=285	58.8	56.9	43.0	n=101	6.5	10.4	4.0
2）歯科医師	n=233	1.4	1.8	1.0	n=60	0.6	2.2	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=283	240.4	186.1	218.0	n=100	40.9	40.2	31.5
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=198	1.3	2.6	0.0	n=52	0.1	0.4	0.0
4）准看護師	n=271	5.9	6.5	4.0	n=99	11.7	11.6	7.0
5）看護補助者	n=274	21.1	18.5	17.0	n=96	20.2	16.6	14.5
6）歯科衛生士	n=236	1.8	2.0	1.0	n=58	0.8	1.4	0.0
7）薬剤師	n=285	14.4	11.6	12.0	n=100	2.3	2.9	2.0
8）臨床検査技師	n=286	18.3	14.9	16.0	n=80	2.8	4.8	1.0
9）管理栄養士	n=286	4.9	3.1	4.0	n=100	1.9	1.3	2.0
10）理学療法士	n=283	17.7	16.5	13.0	n=84	9.7	13.7	5.0
11）作業療法士	n=276	7.3	6.9	5.0	n=85	6.3	9.5	4.0
12）言語聴覚士	n=270	3.7	3.6	3.0	n=67	2.3	3.4	1.0
13）医師事務作業補助者	n=271	11.2	13.2	6.0	n=57	0.7	2.1	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=280	4.5	2.9	4.0	n=86	2.4	2.3	1.5
15）その他	n=277	74.7	59.1	59.0	n=88	23.1	23.3	17.0
16）合計	n=280	475.9	340.6	414.5	n=99	119.7	95.9	91.0

	非常勤（常勤換算）・届出をしている				非常勤（常勤換算）・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=277	8.5	10.7	5.8	n=100	3.7	8.8	2.3
2）歯科医師	n=208	0.2	0.5	0.0	n=52	0.1	0.2	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=273	14.8	14.2	10.1	n=91	4.5	6.1	2.8
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=176	0.1	0.7	0.0	n=46	0.0	0.0	0.0
4）准看護師	n=249	2.2	3.1	1.1	n=84	2.1	3.9	1.3
5）看護補助者	n=265	9.1	11.9	4.3	n=88	4.0	5.7	1.7
6）歯科衛生士	n=203	0.4	0.9	0.0	n=53	0.2	0.6	0.0
7）薬剤師	n=237	0.8	1.1	0.4	n=76	0.6	0.6	0.4
8）臨床検査技師	n=250	1.8	2.5	0.9	n=65	0.3	0.7	0.0
9）管理栄養士	n=223	0.4	0.8	0.0	n=61	0.2	0.4	0.0
10）理学療法士	n=209	0.2	0.4	0.0	n=58	0.3	0.8	0.0
11）作業療法士	n=207	0.1	0.2	0.0	n=55	0.2	0.5	0.0
12）言語聴覚士	n=208	0.1	0.4	0.0	n=53	0.1	0.2	0.0
13）医師事務作業補助者	n=231	4.4	8.2	0.7	n=55	0.2	0.7	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=214	0.1	0.4	0.0	n=56	0.1	0.3	0.0
15）その他	n=259	13.2	14.2	7.9	n=78	5.1	5.8	2.6
16）合計	n=265	48.4	42.3	34.8	n=100	17.3	19.4	11.7

図表 2 - 54　1 施設当たりの平均職員数（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）【99 床以下】

（単位：人）

	常勤・届出をしている				常勤・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=38	13.0	35.0	6.0	n=48	3.9	2.4	3.0
2）歯科医師	n=22	0.5	1.7	0.0	n=28	0.8	3.1	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=38	64.4	117.0	43.5	n=47	20.9	14.4	17.0
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=23	0.4	0.9	0.0	n=25	0.2	0.5	0.0
4）准看護師	n=34	6.9	5.3	6.0	n=47	5.8	4.1	5.0
5）看護補助者	n=37	8.4	5.3	9.0	n=43	9.7	8.1	9.0
6）歯科衛生士	n=21	0.4	1.0	0.0	n=27	0.4	0.9	0.0
7）薬剤師	n=38	3.8	7.9	2.5	n=48	1.3	0.7	1.0
8）臨床検査技師	n=37	5.5	6.9	3.0	n=38	1.4	1.3	1.0
9）管理栄養士	n=37	2.2	1.4	2.0	n=48	1.2	0.5	1.0
10）理学療法士	n=34	8.0	8.1	4.0	n=41	4.3	5.3	2.0
11）作業療法士	n=30	2.5	3.3	1.0	n=35	2.0	2.7	1.0
12）言語聴覚士	n=27	1.2	1.9	0.0	n=30	1.0	2.0	0.0
13）医師事務作業補助者	n=36	2.9	2.1	3.0	n=25	0.2	0.8	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=34	1.7	1.5	1.0	n=36	1.0	1.2	1.0
15）その他	n=34	25.2	21.9	23.0	n=40	13.3	11.0	11.0
16）合計	n=37	142.0	195.0	112.0	n=47	59.9	28.6	55.0

	非常勤（常勤換算）・届出をしている				非常勤（常勤換算）・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=37	3.5	3.7	2.5	n=47	2.0	1.3	2.1
2）歯科医師	n=21	0.0	0.1	0.0	n=26	0.1	0.2	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=32	4.6	7.7	2.5	n=43	2.7	2.4	2.2
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=18	0.0	0.1	0.0	n=22	0.0	0.0	0.0
4）准看護師	n=28	1.8	2.5	0.9	n=41	1.5	1.8	0.8
5）看護補助者	n=31	3.0	4.5	1.5	n=42	2.3	2.7	1.4
6）歯科衛生士	n=20	0.2	0.7	0.0	n=27	0.2	0.7	0.0
7）薬剤師	n=30	0.6	0.8	0.4	n=38	0.5	0.6	0.2
8）臨床検査技師	n=28	0.5	0.6	0.2	n=34	0.3	0.4	0.0
9）管理栄養士	n=21	0.2	0.4	0.0	n=32	0.2	0.4	0.0
10）理学療法士	n=20	0.1	0.3	0.0	n=27	0.3	0.8	0.0
11）作業療法士	n=20	0.1	0.2	0.0	n=26	0.2	0.5	0.0
12）言語聴覚士	n=22	0.1	0.2	0.0	n=25	0.1	0.2	0.0
13）医師事務作業補助者	n=25	2.4	9.2	0.0	n=27	0.2	0.9	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=24	0.0	0.1	0.0	n=26	0.1	0.2	0.0
15）その他	n=28	3.8	5.6	1.4	n=32	4.1	5.7	2.1
16）合計	n=36	15.6	17.4	10.7	n=49	11.3	8.8	9.5

図表 2 - 55　1 施設当たりの平均職員数（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）【100～199 床】

（単位：人）

	常勤・届出をしている				常勤・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=82	16.4	9.4	14.0	n=34	5.5	3.5	4.0
2）歯科医師	n=60	0.3	0.8	0.0	n=20	0.4	0.6	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=81	93.4	41.0	83.0	n=34	45.6	23.0	42.0
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=52	0.4	1.0	0.0	n=17	0.1	0.2	0.0
4）准看護師	n=78	7.4	7.4	5.5	n=34	14.9	9.8	15.5
5）看護補助者	n=78	18.0	12.0	17.0	n=34	23.4	12.5	22.0
6）歯科衛生士	n=60	0.8	1.5	0.0	n=20	0.7	1.3	0.0
7）薬剤師	n=82	5.9	3.0	5.0	n=33	2.1	1.2	2.0
8）臨床検査技師	n=82	7.6	4.2	7.0	n=26	2.1	2.2	1.0
9）管理栄養士	n=81	2.9	1.5	3.0	n=34	2.0	0.8	2.0
10）理学療法士	n=81	13.1	10.7	10.0	n=25	15.9	19.4	8.0
11）作業療法士	n=78	5.5	5.2	4.0	n=32	9.8	13.1	5.0
12）言語聴覚士	n=75	2.4	2.6	2.0	n=22	3.2	3.9	1.0
13）医師事務作業補助者	n=78	4.5	3.9	3.0	n=20	0.8	1.5	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=80	2.8	1.9	2.0	n=32	2.7	2.0	2.0
15）その他	n=80	40.7	27.3	36.0	n=32	24.6	15.2	24.0
16）合計	n=80	216.5	75.3	206.5	n=34	144.9	67.1	129.0

	非常勤（常勤換算）・届出をしている				非常勤（常勤換算）・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）医師	n=81	5.2	4.5	4.3	n=34	4.0	8.9	2.0
2）歯科医師	n=58	0.2	0.6	0.0	n=17	0.0	0.1	0.0
3）保健師・助産師・看護師	n=79	8.9	7.4	6.7	n=30	5.6	8.4	3.4
3）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=50	0.0	0.1	0.0	n=16	0.0	0.0	0.0
4）准看護師	n=74	1.9	2.9	1.3	n=26	2.9	6.2	1.3
5）看護補助者	n=78	6.2	6.2	3.9	n=27	3.8	4.5	2.7
6）歯科衛生士	n=57	0.2	0.4	0.0	n=18	0.1	0.2	0.0
7）薬剤師	n=70	0.7	1.0	0.6	n=22	0.6	0.6	0.5
8）臨床検査技師	n=71	0.6	0.7	0.4	n=21	0.2	0.3	0.0
9）管理栄養士	n=62	0.3	0.5	0.0	n=18	0.3	0.5	0.0
10）理学療法士	n=61	0.2	0.4	0.0	n=19	0.3	0.8	0.0
11）作業療法士	n=58	0.1	0.2	0.0	n=18	0.2	0.4	0.0
12）言語聴覚士	n=57	0.1	0.2	0.0	n=18	0.1	0.2	0.0
13）医師事務作業補助者	n=62	1.9	4.0	0.0	n=18	0.1	0.3	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=59	0.1	0.2	0.0	n=17	0.1	0.2	0.0
15）その他	n=74	9.4	10.3	4.8	n=29	4.7	5.3	2.6
16）合計	n=75	32.5	21.9	27.8	n=32	20.0	23.8	12.4

図表 2 - 56　1 施設当たりの平均職員数（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）【200～399 床】

（単位：人）

	常勤・届出をしている				常勤・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）医師	n=89	63.4	33.3	59.0	n=16	16.3	22.8	8.0
2 ）歯科医師	n=76	1.2	1.3	1.0	n=10	0.6	0.9	0.0
3 ）保健師・助産師・看護師	n=89	263.7	91.7	266.0	n=16	87.5	69.9	60.5
3 ）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=58	1.4	2.8	0.0	n=8	0.1	0.3	0.0
4 ）准看護師	n=87	6.0	7.0	3.0	n=15	20.1	13.7	16.0
5 ）看護補助者	n=85	23.0	15.7	23.0	n=16	41.4	19.1	42.5
6 ）歯科衛生士	n=78	1.9	2.0	1.0	n=10	1.6	2.1	1.0
7 ）薬剤師	n=89	16.4	6.6	16.0	n=16	5.8	5.7	4.0
8 ）臨床検査技師	n=89	20.3	9.4	19.0	n=14	7.8	9.3	3.5
9 ）管理栄養士	n=89	5.5	2.2	5.0	n=15	3.5	2.1	3.0
10）理学療法士	n=89	21.2	17.5	16.0	n=15	14.5	12.7	13.0
11）作業療法士	n=89	8.9	8.4	6.0	n=15	9.0	6.5	8.0
12）言語聴覚士	n=89	4.6	4.5	3.0	n=13	3.9	4.2	2.0
13）医師事務作業補助者	n=84	12.3	11.2	10.0	n=9	0.2	0.6	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=89	5.3	2.4	5.0	n=15	5.0	2.5	5.0
15）その他	n=88	83.5	44.2	78.5	n=13	48.5	40.5	47.0
16）合計	n=87	534.8	172.3	525.0	n=15	241.7	136.8	231.0

	非常勤（常勤換算）・届出をしている				非常勤（常勤換算）・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）医師	n=84	10.6	8.6	9.5	n=16	8.3	16.8	3.7
2 ）歯科医師	n=65	0.2	0.5	0.0	n=7	0.1	0.4	0.0
3 ）保健師・助産師・看護師	n=87	15.8	12.6	12.7	n=15	8.3	6.7	6.5
3 ）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=53	0.2	1.2	0.0	n=6	0.0	0.0	0.0
4 ）准看護師	n=77	2.5	3.2	1.1	n=14	2.7	2.4	2.1
5 ）看護補助者	n=83	10.6	10.7	5.8	n=16	8.6	9.5	6.6
6 ）歯科衛生士	n=65	0.5	1.1	0.0	n=7	0.4	0.7	0.0
7 ）薬剤師	n=70	0.9	1.3	0.5	n=14	0.7	0.6	0.7
8 ）臨床検査技師	n=77	2.0	2.6	1.3	n=8	1.0	1.6	0.5
9 ）管理栄養士	n=71	0.5	0.7	0.0	n=9	0.3	0.4	0.0
10）理学療法士	n=64	0.2	0.4	0.0	n=10	0.3	0.6	0.0
11）作業療法士	n=66	0.1	0.2	0.0	n=9	0.1	0.3	0.0
12）言語聴覚士	n=66	0.2	0.5	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0
13）医師事務作業補助者	n=74	4.7	6.6	1.0	n=8	0.1	0.3	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=69	0.3	0.5	0.0	n=11	0.3	0.6	0.0
15）その他	n=83	15.0	14.1	10.2	n=14	7.9	6.3	7.2
16）合計	n=83	56.1	42.0	43.7	n=16	29.6	26.5	25.8

図表 2 - 57　1 施設当たりの平均職員数（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）【400 床以上】

（単位：人）

	常勤・届出をしている				常勤・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）医師	n=69	122.7	48.1	124.0	n=1	14.0	0.0	14.0
2 ）歯科医師	n=68	2.8	2.0	3.0	n=1	1.0	0.0	1.0
3 ）保健師・助産師・看護師	n=68	467.7	126.8	446.0	n=1	76.0	0.0	76.0
3 ）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=57	2.3	3.4	1.0	n=1	0.0	0.0	0.0
4 ）准看護師	n=64	3.7	4.2	2.0	n=1	70.0	0.0	70.0
5 ）看護補助者	n=67	27.3	25.5	27.0	n=1	34.0	0.0	34.0
6 ）歯科衛生士	n=69	2.9	1.8	3.0	n=1	3.0	0.0	3.0
7 ）薬剤師	n=69	26.4	9.0	25.0	n=1	2.0	0.0	2.0
8 ）臨床検査技師	n=70	33.2	12.5	30.5	n=1	3.0	0.0	3.0
9 ）管理栄養士	n=71	7.8	2.9	8.0	n=1	2.0	0.0	2.0
10）理学療法士	n=71	22.0	20.0	17.0	n=1	0.0	0.0	0.0
11）作業療法士	n=71	8.5	5.4	7.0	n=1	6.0	0.0	6.0
12）言語聴覚士	n=71	4.7	3.0	4.0	n=1	0.0	0.0	0.0
13）医師事務作業補助者	n=65	20.7	17.3	19.0	n=1	0.0	0.0	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=69	6.6	2.8	6.0	n=1	4.0	0.0	4.0
15）その他	n=68	123.7	68.1	112.0	n=1	62.0	0.0	62.0
16）合計	n=69	848.0	287.5	828.0	n=1	277.0	0.0	277.0

	非常勤（常勤換算）・届出をしている				非常勤（常勤換算）・届出をしていない			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）医師	n=67	12.5	17.3	7.6	n=1	2.2	0.0	2.2
2 ）歯科医師	n=56	0.3	0.4	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
3 ）保健師・助産師・看護師	n=67	24.4	16.4	21.2	n=1	2.1	0.0	2.1
3 ）-1うち特定行為研修修了者である看護師	n=48	0.0	0.0	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
4 ）准看護師	n=62	2.4	3.3	1.0	n=1	3.1	0.0	3.1
5 ）看護補助者	n=65	14.1	17.5	6.5	n=1	10.3	0.0	10.3
6 ）歯科衛生士	n=53	0.6	1.0	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
7 ）薬剤師	n=59	0.6	0.9	0.0	n=1	1.7	0.0	1.7
8 ）臨床検査技師	n=66	3.2	3.0	2.3	n=1	0.0	0.0	0.0
9 ）管理栄養士	n=61	0.7	1.0	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
10）理学療法士	n=56	0.2	0.4	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
11）作業療法士	n=55	0.1	0.2	0.0	n=1	0.2	0.0	0.2
12）言語聴覚士	n=55	0.1	0.3	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
13）医師事務作業補助者	n=62	7.8	11.3	2.9	n=1	0.0	0.0	0.0
14）MSW（社会福祉士等）	n=54	0.1	0.3	0.0	n=1	0.0	0.0	0.0
15）その他	n=66	18.7	17.0	13.6	n=1	6.4	0.0	6.4
16）合計	n=63	74.4	50.4	60.9	n=1	26.0	0.0	26.0

⑩ 入院患者数、外来患者数、分娩件数、全身麻酔による手術件数

1） 入院延べ患者数

入院延べ患者数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 58　各１か月間の入院延べ患者数【全体】

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=386	6108.1	4544.1	4872.5	4月	n=388	5352.5	3781.4	4479.0
		5月	n=385	6118.0	4403.2	4949.0	5月	n=389	5178.5	3605.3	4442.0
		6月	n=385	5927.8	4287.1	4696.0	6月	n=386	5237.5	3722.5	4370.5
		7月	n=387	6146.7	4430.1	5015.0	7月	n=388	5643.8	4035.1	4626.0
		8月	n=388	6238.4	4498.1	5166.5	8月	n=387	5713.3	4096.9	4728.0
		9月	n=388	5952.0	4289.4	4934.5	9月	n=388	5541.2	3961.3	4597.5
		10月	n=385	6119.5	4382.6	4988.0	10月	n=387	5800.9	4198.9	4863.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=347	4493.8	4187.4	2765.0	4月	n=349	3931.7	3609.8	2542.0
		5月	n=349	4594.5	4197.5	2964.0	5月	n=352	3791.1	3470.6	2568.5
		6月	n=348	4470.4	4127.3	2763.5	6月	n=349	3897.0	3582.9	2465.0
		7月	n=353	4610.2	4300.5	2872.0	7月	n=348	4179.4	3852.1	2504.0
		8月	n=353	4592.1	4266.4	2880.0	8月	n=347	4226.3	3902.7	2648.0
		9月	n=353	4416.5	4082.3	2759.0	9月	n=349	4116.9	3845.3	2480.0
		10月	n=350	4572.0	4221.3	2793.5	10月	n=347	4364.8	4050.5	2577.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=312	129.0	239.7	49.0	4月	n=314	116.6	245.3	39.0
		5月	n=311	163.3	356.3	53.0	5月	n=311	127.6	261.5	52.0
		6月	n=311	135.3	282.7	46.0	6月	n=316	152.0	367.1	47.0
		7月	n=310	132.4	263.6	51.5	7月	n=312	134.1	265.7	49.5
		8月	n=312	147.9	299.0	60.0	8月	n=312	144.0	285.0	59.0
		9月	n=310	142.9	291.1	49.0	9月	n=313	133.1	267.0	52.0
		10月	n=311	149.1	317.9	55.0	10月	n=312	135.1	276.7	52.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=324	155.3	377.2	50.5	4月	n=325	133.6	327.4	36.0
		5月	n=323	170.6	433.2	51.0	5月	n=320	134.5	331.8	40.5
		6月	n=323	149.7	381.5	46.0	6月	n=323	135.1	329.5	43.0
		7月	n=325	153.3	371.0	48.0	7月	n=326	166.5	420.5	48.0
		8月	n=325	171.9	439.2	54.0	8月	n=323	150.4	352.2	52.0
		9月	n=325	158.5	408.8	45.0	9月	n=326	159.4	399.6	48.0
		10月	n=324	164.3	419.8	50.0	10月	n=325	168.0	422.1	48.0

図表 2 - 59　各 1 か月間の入院延べ患者数【99 床以下】

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=85	1736.0	2274.9	1420.0	4月	n=85	1333.9	690.6	1313.0
		5月	n=83	1468.8	731.5	1418.0	5月	n=85	1313.4	698.6	1280.0
		6月	n=84	1435.2	709.0	1397.5	6月	n=85	1302.1	675.9	1305.0
		7月	n=84	1479.1	733.8	1469.5	7月	n=85	1362.7	694.0	1364.0
		8月	n=84	1498.0	743.1	1494.0	8月	n=85	1370.8	702.1	1314.0
		9月	n=84	1427.4	716.3	1358.0	9月	n=85	1337.8	688.4	1242.0
		10月	n=83	1460.2	725.4	1435.0	10月	n=85	1383.2	708.4	1330.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=68	847.6	658.4	760.5	4月	n=67	768.6	603.5	729.0
		5月	n=68	868.3	666.7	871.0	5月	n=67	738.9	585.3	670.0
		6月	n=68	844.2	654.6	834.0	6月	n=67	740.1	591.3	697.0
		7月	n=69	861.8	668.3	835.0	7月	n=67	771.5	611.3	704.0
		8月	n=69	888.9	682.5	910.0	8月	n=67	782.3	623.5	777.0
		9月	n=69	831.5	638.5	860.0	9月	n=67	766.7	614.6	790.0
		10月	n=68	836.0	645.7	815.0	10月	n=66	807.5	649.6	797.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=58	24.4	63.3	3.0	4月	n=58	17.7	43.8	3.0
		5月	n=58	29.5	74.2	5.0	5月	n=58	22.6	57.0	6.0
		6月	n=58	24.3	64.0	5.5	6月	n=58	23.0	61.9	5.5
		7月	n=58	24.9	66.6	4.5	7月	n=58	25.8	71.4	4.5
		8月	n=59	27.9	70.1	8.0	8月	n=58	25.8	66.6	3.5
		9月	n=58	26.4	67.8	7.0	9月	n=58	23.8	64.0	4.5
		10月	n=58	27.0	62.4	5.0	10月	n=58	21.2	56.8	3.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=62	28.7	90.6	4.0	4月	n=62	21.8	72.1	3.5
		5月	n=62	28.1	89.5	4.0	5月	n=60	23.4	72.8	5.0
		6月	n=62	24.3	77.0	4.0	6月	n=62	24.0	76.0	5.5
		7月	n=62	26.5	85.3	3.0	7月	n=62	25.8	82.9	5.0
		8月	n=62	29.6	91.5	5.5	8月	n=62	26.9	82.5	5.0
		9月	n=62	27.5	90.1	4.0	9月	n=62	26.0	85.6	3.5
		10月	n=62	27.7	81.6	5.0	10月	n=62	24.8	80.0	5.0

図表 2 - 60　各 1 か月間の入院延べ患者数【100～199 床】

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=114	3697.8	1220.8	3565.5	4月	n=114	3391.7	1047.1	3398.0
		5月	n=114	3765.3	1163.0	3723.0	5月	n=115	3360.5	1095.7	3409.0
		6月	n=114	3641.3	1130.1	3614.0	6月	n=115	3336.5	1035.4	3461.0
		7月	n=115	3776.6	1181.3	3684.0	7月	n=114	3505.6	1064.5	3520.5
		8月	n=115	3829.5	1153.4	3710.0	8月	n=114	3551.3	1067.6	3463.5
		9月	n=115	3645.8	1093.6	3595.0	9月	n=115	3486.4	1035.9	3475.0
		10月	n=114	3765.8	1172.6	3712.5	10月	n=113	3560.4	1079.4	3545.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=101	1913.5	1102.6	1982.0	4月	n=100	1689.0	1022.0	1657.0
		5月	n=101	1966.4	1151.3	2009.0	5月	n=102	1646.4	1031.7	1613.5
		6月	n=101	1907.0	1119.7	1947.0	6月	n=100	1674.1	990.8	1679.0
		7月	n=103	1957.0	1151.3	2103.0	7月	n=99	1759.2	1035.8	1760.0
		8月	n=103	1991.7	1176.7	2148.0	8月	n=99	1800.1	1067.4	1815.0
		9月	n=103	1884.4	1117.2	2042.0	9月	n=101	1755.3	1069.2	1784.0
		10月	n=101	1932.7	1147.7	2041.0	10月	n=99	1805.6	1093.2	1882.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=95	61.1	197.2	19.0	4月	n=95	51.4	165.6	15.0
		5月	n=94	77.0	243.1	22.5	5月	n=94	67.7	207.5	19.5
		6月	n=95	62.4	203.9	19.0	6月	n=94	61.5	180.0	18.5
		7月	n=95	65.6	199.4	21.0	7月	n=94	67.5	197.5	19.0
		8月	n=95	70.1	200.8	26.0	8月	n=94	77.0	231.3	22.0
		9月	n=94	70.2	205.8	23.0	9月	n=94	73.9	225.9	21.5
		10月	n=94	65.3	192.6	20.0	10月	n=93	72.7	215.7	17.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=98	64.8	260.7	19.0	4月	n=98	52.0	199.9	14.5
		5月	n=97	65.4	252.7	18.0	5月	n=98	58.9	195.7	16.5
		6月	n=98	61.3	257.4	18.0	6月	n=98	59.9	208.4	17.0
		7月	n=100	61.8	228.3	20.0	7月	n=98	64.6	238.4	16.0
		8月	n=100	63.1	227.6	21.0	8月	n=97	49.9	113.3	19.0
		9月	n=100	61.5	232.8	18.0	9月	n=98	71.7	261.3	17.5
		10月	n=99	63.7	237.9	20.0	10月	n=97	72.9	265.9	20.0

図表 2 - 61　各 1 か月間の入院延べ患者数【200～399 床】

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=104	7291.1	1620.7	7447.5	4月	n=106	6517.1	1492.9	6556.5
		5月	n=106	7448.4	1684.8	7525.0	5月	n=106	6348.4	1512.4	6404.0
		6月	n=106	7279.7	1667.0	7374.5	6月	n=105	6490.7	1557.6	6406.0
		7月	n=106	7544.1	1630.7	7668.0	7月	n=106	6992.1	1593.0	6947.5
		8月	n=106	7618.8	1600.4	7612.5	8月	n=105	7085.5	1591.5	6984.0
		9月	n=106	7287.7	1548.7	7280.5	9月	n=105	6838.9	1579.8	6694.0
		10月	n=106	7529.3	1626.9	7482.0	10月	n=106	7151.9	1656.3	7184.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=100	5340.8	2469.4	5838.5	4月	n=103	4697.8	2176.4	4812.0
		5月	n=102	5550.3	2440.2	5898.0	5月	n=103	4558.2	2124.4	4844.0
		6月	n=102	5412.1	2446.9	5656.0	6月	n=103	4718.3	2223.1	5014.0
		7月	n=103	5550.9	2538.0	5985.0	7月	n=103	5079.7	2362.6	5422.0
		8月	n=103	5546.3	2591.7	5879.0	8月	n=102	5101.9	2376.3	5325.5
		9月	n=103	5355.2	2443.5	5815.0	9月	n=101	4903.6	2319.2	4986.0
		10月	n=103	5535.8	2510.1	5876.0	10月	n=102	5230.8	2457.2	5768.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=89	160.2	284.4	99.0	4月	n=89	147.9	293.6	81.0
		5月	n=89	195.5	386.5	108.0	5月	n=88	136.5	249.6	84.0
		6月	n=89	180.1	348.4	98.0	6月	n=92	220.6	502.5	90.0
		7月	n=89	179.0	350.1	100.0	7月	n=89	161.6	315.9	94.0
		8月	n=89	187.1	353.0	115.0	8月	n=89	172.2	326.0	104.0
		9月	n=89	177.0	340.1	109.0	9月	n=90	152.8	287.8	91.5
		10月	n=89	182.1	363.7	107.0	10月	n=90	159.9	325.1	93.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=92	248.3	521.1	104.0	4月	n=93	238.2	498.6	81.0
		5月	n=93	291.1	623.1	107.0	5月	n=90	207.5	468.1	83.5
		6月	n=93	267.7	567.2	100.0	6月	n=91	214.0	467.7	88.0
		7月	n=93	266.6	550.8	102.0	7月	n=93	273.5	589.3	98.0
		8月	n=93	311.7	669.0	111.0	8月	n=92	246.5	515.1	107.0
		9月	n=93	285.3	622.5	101.0	9月	n=94	263.0	568.4	99.5
		10月	n=93	295.8	641.3	109.0	10月	n=94	275.6	594.2	100.5

図表 2 - 62　各 1 か月間の入院延べ患者数【400 床以上】

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=73	12702.5	2884.8	12506.0	4月	n=74	11037.1	2333.3	10837.5
		5月	n=73	12852.8	2794.2	12579.0	5月	n=74	10525.7	2316.2	10365.0
		6月	n=72	12473.9	2728.8	12480.5	6月	n=72	10841.2	2415.3	10724.5
		7月	n=73	12907.9	2833.0	12737.0	7月	n=74	11671.4	2624.9	11471.5
		8月	n=74	13086.9	2945.0	12908.0	8月	n=74	11802.9	2695.2	11783.5
		9月	n=74	12474.3	2795.2	12047.0	9月	n=74	11447.9	2678.2	11371.5
		10月	n=74	12807.0	2872.7	12245.0	10月	n=74	12067.4	2824.4	11747.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=70	10478.1	3565.4	10944.0	4月	n=71	8887.5	3168.8	9096.0
		5月	n=70	10564.2	3534.6	11030.5	5月	n=71	8439.0	2998.1	8574.0
		6月	n=69	10324.3	3534.0	10663.0	6月	n=71	8774.3	3191.2	8796.0
		7月	n=69	10647.3	3640.0	10640.0	7月	n=71	9423.4	3414.7	9584.0
		8月	n=70	10595.8	3772.5	10813.5	8月	n=71	9538.7	3449.2	10132.0
		9月	n=70	10236.3	3459.9	10504.0	9月	n=71	9288.6	3396.1	9585.0
		10月	n=70	10504.2	3581.5	10935.0	10月	n=71	9756.0	3523.5	10058.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=60	276.6	241.9	216.5	4月	n=62	249.5	292.1	173.5
		5月	n=60	353.6	468.6	241.5	5月	n=61	289.9	351.4	205.0
		6月	n=59	278.1	324.6	204.0	6月	n=62	301.4	435.8	187.0
		7月	n=58	252.8	205.5	209.5	7月	n=61	280.3	286.2	205.0
		8月	n=59	311.5	356.1	227.0	8月	n=61	299.2	316.6	215.0
		9月	n=59	299.8	346.7	216.0	9月	n=61	282.4	315.7	213.0
		10月	n=60	324.9	412.2	206.5	10月	n=61	287.0	318.5	199.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=62	292.3	401.8	186.0	4月	n=62	218.4	263.2	148.0
		5月	n=61	299.7	454.2	170.0	5月	n=62	256.1	369.4	157.5
		6月	n=60	244.9	328.2	172.5	6月	n=62	252.4	350.2	163.0
		7月	n=60	261.2	335.4	174.0	7月	n=63	306.1	475.9	177.0
		8月	n=60	285.5	406.9	184.0	8月	n=62	285.8	391.7	175.5
		9月	n=60	260.8	362.9	174.5	9月	n=62	275.9	410.4	166.5
		10月	n=60	266.3	363.5	190.5	10月	n=62	298.9	454.1	181.0

図表２－63　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=109	9991.5	4347.0	9062.0	4月	n=107	8541.5	3631.4	7843.0
		5月	n=107	9946.0	4101.7	9474.0	5月	n=108	8067.2	3476.5	7771.0
		6月	n=107	9726.3	4135.7	9233.0	6月	n=107	8333.7	3579.2	7952.0
		7月	n=107	10015.3	4232.1	9443.0	7月	n=108	9049.0	3890.2	8432.0
		8月	n=108	10224.9	4279.0	9602.5	8月	n=108	9158.6	3901.1	8479.0
		9月	n=108	9732.0	4065.7	9056.5	9月	n=107	8905.1	3835.9	8374.0
		10月	n=107	9911.6	4144.6	9339.0	10月	n=108	9353.1	4096.4	8601.5
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=102	8194.7	3892.1	7774.5	4月	n=103	6878.3	3442.6	6974.0
		5月	n=102	8286.1	3852.7	8144.5	5月	n=105	6563.2	3336.8	6413.0
		6月	n=102	8113.5	3904.1	7865.5	6月	n=104	6782.3	3444.9	6769.5
		7月	n=104	8360.4	4153.4	8087.5	7月	n=104	7295.0	3667.2	7132.0
		8月	n=103	8235.1	4052.1	8058.0	8月	n=104	7378.4	3686.6	7410.5
		9月	n=103	7934.7	3803.7	7937.0	9月	n=104	7291.7	3735.8	7131.5
		10月	n=103	8146.8	3945.4	8058.0	10月	n=105	7648.5	3920.3	7463.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=91	260.7	290.1	168.0	4月	n=93	238.4	335.2	140.0
		5月	n=91	343.4	509.9	193.0	5月	n=91	255.7	352.2	164.0
		6月	n=90	271.7	376.6	175.5	6月	n=95	305.0	476.5	150.0
		7月	n=89	261.2	335.4	175.0	7月	n=92	272.6	370.0	161.5
		8月	n=90	298.7	399.0	187.5	8月	n=92	294.0	389.0	168.0
		9月	n=90	286.3	386.3	175.5	9月	n=92	272.8	360.8	162.5
		10月	n=91	308.1	445.4	188.0	10月	n=92	276.1	382.4	159.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=95	320.6	511.6	136.0	4月	n=95	250.0	400.3	111.0
		5月	n=94	338.0	576.9	142.0	5月	n=94	294.2	498.2	125.0
		6月	n=93	288.3	486.9	132.0	6月	n=95	290.8	491.5	121.0
		7月	n=93	297.2	486.7	133.0	7月	n=96	338.6	590.0	134.0
		8月	n=93	332.0	569.4	145.0	8月	n=95	318.2	518.4	143.0
		9月	n=93	303.0	522.7	130.0	9月	n=95	319.4	537.7	134.0
		10月	n=93	306.9	511.1	133.0	10月	n=95	334.9	579.2	138.0

図表２－64　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=3	7888.7	9302.7	1420.0	4月	n=2	741.0	432.0	741.0
		5月	n=2	1356.0	36.0	1356.0	5月	n=2	821.5	410.5	821.5
		6月	n=2	1459.5	94.5	1459.5	6月	n=2	1010.5	439.5	1010.5
		7月	n=2	1486.0	0.0	1486.0	7月	n=2	973.0	307.0	973.0
		8月	n=2	1488.5	38.5	1488.5	8月	n=2	1011.0	146.0	1011.0
		9月	n=2	1264.0	34.0	1264.0	9月	n=2	994.5	235.5	994.5
		10月	n=2	966.0	395.0	966.0	10月	n=2	1061.5	222.5	1061.5
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=1	1420.0	0.0	1420.0	4月	n=1	309.0	0.0	309.0
		5月	n=1	1320.0	0.0	1320.0	5月	n=1	411.0	0.0	411.0
		6月	n=1	1554.0	0.0	1554.0	6月	n=1	571.0	0.0	571.0
		7月	n=1	1486.0	0.0	1486.0	7月	n=1	666.0	0.0	666.0
		8月	n=1	1527.0	0.0	1527.0	8月	n=1	865.0	0.0	865.0
		9月	n=1	1230.0	0.0	1230.0	9月	n=1	759.0	0.0	759.0
		10月	n=1	571.0	0.0	571.0	10月	n=1	839.0	0.0	839.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=2	215.0	215.0	215.0	4月	n=2	151.0	151.0	151.0
		5月	n=2	219.5	219.5	219.5	5月	n=2	191.0	191.0	191.0
		6月	n=2	199.5	199.5	199.5	6月	n=2	160.0	160.0	160.0
		7月	n=2	193.0	193.0	193.0	7月	n=2	183.0	183.0	183.0
		8月	n=2	222.0	222.0	222.0	8月	n=2	217.5	217.5	217.5
		9月	n=2	214.0	214.0	214.0	9月	n=2	193.0	193.0	193.0
		10月	n=2	173.5	173.5	173.5	10月	n=2	188.5	188.5	188.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=2	285.5	285.5	285.5	4月	n=2	218.0	218.0	218.0
		5月	n=2	304.0	304.0	304.0	5月	n=2	258.0	258.0	258.0
		6月	n=2	278.5	278.5	278.5	6月	n=2	238.5	238.5	238.5
		7月	n=2	283.0	283.0	283.0	7月	n=2	247.0	247.0	247.0
		8月	n=2	312.0	312.0	312.0	8月	n=2	302.0	302.0	302.0
		9月	n=2	294.5	294.5	294.5	9月	n=2	277.5	277.5	277.5
		10月	n=2	244.5	244.5	244.5	10月	n=2	288.5	288.5	288.5

図表２－65　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

100～199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=8	3511.1	1255.6	3129.0	4月	n=7	3219.6	1292.2	2772.0
		5月	n=8	3669.1	1387.0	3105.0	5月	n=8	3214.9	1186.6	3063.5
		6月	n=8	3350.1	1382.5	2964.5	6月	n=8	3102.9	1155.5	2710.5
		7月	n=8	3540.8	1392.3	3021.5	7月	n=8	3296.5	1333.4	2913.5
		8月	n=8	3696.1	1362.6	3241.5	8月	n=8	3374.3	1342.1	3034.0
		9月	n=8	3534.1	1262.8	3203.5	9月	n=8	3177.8	1299.8	2948.5
		10月	n=8	3494.0	1417.0	3101.5	10月	n=8	3300.9	1309.3	3016.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=8	2361.9	1125.4	2304.5	4月	n=7	1940.6	1017.1	1875.0
		5月	n=8	2413.9	1150.2	2340.0	5月	n=8	2090.0	1037.6	1975.5
		6月	n=8	2225.9	1172.2	2034.5	6月	n=8	2021.4	976.2	1890.5
		7月	n=8	2333.4	1156.4	2213.0	7月	n=8	2113.5	1061.1	1841.0
		8月	n=8	2438.0	1151.8	2296.0	8月	n=8	2213.6	1113.7	1939.5
		9月	n=8	2333.0	1132.0	2154.0	9月	n=8	2089.3	1129.0	1956.5
		10月	n=8	2270.3	1181.1	2076.0	10月	n=8	2173.0	1109.1	1975.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=8	207.6	312.0	47.5	4月	n=8	198.8	326.8	32.5
		5月	n=8	276.5	413.6	44.5	5月	n=8	282.6	468.0	41.0
		6月	n=8	186.4	266.0	46.5	6月	n=8	206.0	315.8	42.0
		7月	n=8	179.1	260.2	41.5	7月	n=8	224.6	338.5	42.0
		8月	n=8	208.1	302.6	57.0	8月	n=8	266.0	378.6	53.5
		9月	n=8	213.3	308.2	44.0	9月	n=8	249.8	363.0	50.0
		10月	n=8	192.8	278.1	53.5	10月	n=8	200.3	282.4	46.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=8	193.3	325.2	28.0	4月	n=8	161.3	251.4	22.0
		5月	n=8	188.9	317.6	32.0	5月	n=8	220.5	341.5	37.0
		6月	n=8	152.9	222.1	30.5	6月	n=8	174.0	276.9	32.0
		7月	n=8	151.8	228.2	38.0	7月	n=8	151.9	235.8	34.5
		8月	n=8	151.4	222.8	35.5	8月	n=8	206.9	309.8	38.5
		9月	n=8	163.8	253.8	28.5	9月	n=8	218.0	326.1	31.5
		10月	n=8	153.5	229.5	32.5	10月	n=8	172.9	241.6	30.5

図表２－66　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

200～399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=45	7664.7	1569.2	7760.0	4月	n=45	6584.9	1517.1	6795.0
		5月	n=45	7879.2	1632.1	8107.0	5月	n=45	6270.6	1548.4	6694.0
		6月	n=45	7675.8	1695.8	7846.0	6月	n=45	6572.8	1606.7	6650.0
		7月	n=45	7905.6	1609.3	8155.0	7月	n=45	7126.5	1599.7	7207.0
		8月	n=45	8056.0	1494.6	8135.0	8月	n=45	7224.0	1516.1	7296.0
		9月	n=45	7700.5	1472.6	7753.0	9月	n=44	6950.5	1511.5	7071.0
		10月	n=45	7934.5	1606.2	7873.0	10月	n=45	7278.4	1643.8	7457.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=43	6537.2	1661.4	6342.0	4月	n=44	5481.1	1758.2	5718.0
		5月	n=43	6693.5	1626.4	6582.0	5月	n=44	5221.5	1762.0	5456.5
		6月	n=43	6527.3	1786.7	6503.0	6月	n=44	5493.7	1896.4	5567.0
		7月	n=44	6582.3	1999.0	6764.5	7月	n=44	5927.3	1915.3	5790.0
		8月	n=44	6684.9	1938.3	6838.5	8月	n=44	5989.2	1895.9	5876.5
		9月	n=44	6388.5	1894.6	6562.5	9月	n=43	5777.3	1897.2	5698.0
		10月	n=44	6577.4	1929.9	6441.0	10月	n=44	6091.5	1997.3	5929.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=37	248.9	349.0	130.0	4月	n=37	215.9	360.0	100.0
		5月	n=37	311.8	506.9	149.0	5月	n=36	207.5	334.5	121.5
		6月	n=37	274.0	438.6	126.0	6月	n=38	282.7	492.0	108.5
		7月	n=37	284.0	444.2	138.0	7月	n=37	252.8	425.9	118.0
		8月	n=37	296.3	459.4	149.0	8月	n=37	267.3	422.3	134.0
		9月	n=37	281.9	441.9	131.0	9月	n=37	241.8	381.3	127.0
		10月	n=37	282.7	452.8	121.0	10月	n=37	259.8	444.1	122.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=39	382.5	637.9	118.0	4月	n=39	327.6	567.6	94.0
		5月	n=39	410.3	716.5	113.0	5月	n=38	369.3	655.9	102.0
		6月	n=39	381.4	661.3	113.0	6月	n=39	377.0	656.7	105.0
		7月	n=39	380.0	650.2	112.0	7月	n=39	399.5	707.8	103.0
		8月	n=39	435.8	752.5	119.0	8月	n=39	378.0	644.5	121.0
		9月	n=39	393.4	692.4	112.0	9月	n=39	385.2	666.8	103.0
		10月	n=39	391.7	673.7	115.0	10月	n=39	411.4	726.7	111.0

図表２－67　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=48	13050.9	2871.8	12957.5	4月	n=48	11152.5	2362.3	11219.5
		5月	n=47	13025.3	2691.7	12974.0	5月	n=48	10581.9	2377.3	10570.0
		6月	n=47	12767.3	2779.2	12784.0	6月	n=47	10941.0	2401.6	10998.0
		7月	n=47	13146.1	2908.6	12852.0	7月	n=48	11865.2	2694.7	12016.5
		8月	n=48	13375.2	3011.7	13253.0	8月	n=48	11945.0	2732.2	12024.0
		9月	n=48	12707.9	2864.5	12431.5	9月	n=48	11673.7	2690.5	11629.0
		10月	n=48	13025.8	2896.0	12883.5	10月	n=48	12315.0	2937.7	12157.5
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=46	10817.7	3369.7	11255.5	4月	n=47	8943.6	3070.3	9195.0
		5月	n=46	10871.8	3338.2	11239.0	5月	n=47	8452.6	2932.9	8874.0
		6月	n=46	10656.7	3406.6	11044.0	6月	n=47	8853.6	3133.5	9000.0
		7月	n=46	10949.2	3527.3	11238.5	7月	n=47	9517.7	3352.6	10019.0
		8月	n=46	10760.2	3751.6	11032.0	8月	n=47	9581.4	3366.8	10229.0
		9月	n=46	10444.9	3286.8	10679.0	9月	n=47	9418.8	3305.5	10218.0
		10月	n=46	10697.4	3368.8	11192.5	10月	n=47	9874.0	3504.0	10376.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=39	268.9	212.0	220.0	4月	n=41	253.6	309.4	174.0
		5月	n=39	361.3	510.8	244.0	5月	n=40	276.3	326.2	205.0
		6月	n=38	271.9	334.8	209.5	6月	n=42	345.3	508.2	188.5
		7月	n=37	227.0	108.6	212.0	7月	n=40	281.9	298.4	203.5
		8月	n=38	296.4	327.7	237.0	8月	n=40	304.9	346.4	212.5
		9月	n=38	282.4	324.3	219.5	9月	n=40	290.9	333.6	212.0
		10月	n=39	332.8	450.2	207.0	10月	n=40	294.1	340.4	200.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=41	302.7	429.4	188.0	4月	n=41	198.2	188.5	146.0
		5月	n=40	305.3	486.7	174.0	5月	n=41	249.7	362.3	162.0
		6月	n=39	233.9	308.6	182.0	6月	n=41	246.0	341.0	163.0
		7月	n=39	248.9	327.8	175.0	7月	n=42	328.8	545.3	176.0
		8月	n=39	273.5	405.5	185.0	8月	n=41	286.3	434.2	173.0
		9月	n=39	247.9	366.3	174.0	9月	n=41	286.2	456.7	161.0
		10月	n=39	257.2	363.1	190.0	10月	n=41	304.9	491.6	180.0

図表２－68　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=75	6393.7	3603.4	6200.0	4月	n=77	5802.2	3233.7	5258.0
		5月	n=76	6540.9	3643.2	6418.5	5月	n=77	5660.9	3120.6	5380.0
		6月	n=75	6301.8	3518.1	6142.0	6月	n=76	5681.5	3190.3	5597.5
		7月	n=77	6638.3	3717.3	6345.0	7月	n=76	6127.0	3393.5	6265.0
		8月	n=77	6641.7	3624.3	6404.0	8月	n=76	6252.7	3499.4	6309.5
		9月	n=77	6325.9	3503.9	6109.0	9月	n=77	5953.3	3325.2	5771.0
		10月	n=77	6573.5	3658.7	6494.0	10月	n=76	6259.5	3524.2	5873.5
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=70	4733.5	3457.3	3526.5	4月	n=72	4243.9	3137.6	3322.0
		5月	n=71	4887.3	3517.1	3846.0	5月	n=72	4142.1	2989.8	3354.0
		6月	n=70	4659.1	3349.5	3785.5	6月	n=72	4182.6	3053.4	3320.5
		7月	n=71	4801.2	3430.6	3693.0	7月	n=71	4490.6	3294.9	3650.0
		8月	n=72	4851.7	3504.5	3728.5	8月	n=71	4610.3	3385.6	3692.0
		9月	n=72	4684.1	3404.0	3511.0	9月	n=72	4385.6	3235.8	3393.0
		10月	n=72	4883.8	3555.6	3691.0	10月	n=71	4631.3	3428.7	3608.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=68	147.7	284.9	63.0	4月	n=68	133.9	256.9	51.5
		5月	n=68	171.0	338.5	70.0	5月	n=68	135.9	244.4	66.5
		6月	n=68	160.5	319.8	60.5	6月	n=69	163.2	378.8	65.0
		7月	n=68	157.3	317.2	74.0	7月	n=68	144.2	259.5	66.5
		8月	n=68	163.6	305.1	71.0	8月	n=68	161.1	307.8	74.5
		9月	n=68	159.3	311.3	69.5	9月	n=68	140.9	278.8	63.0
		10月	n=68	161.6	327.9	67.5	10月	n=68	143.5	279.0	67.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=70	182.3	440.7	68.0	4月	n=71	155.3	339.4	58.0
		5月	n=70	185.7	440.8	75.0	5月	n=70	121.8	249.1	60.0
		6月	n=70	174.0	419.6	75.5	6月	n=70	127.6	263.8	62.5
		7月	n=71	172.2	378.0	78.0	7月	n=71	169.6	379.8	71.0
		8月	n=71	195.2	468.6	86.0	8月	n=70	158.6	338.2	79.5
		9月	n=71	184.6	444.3	72.0	9月	n=71	165.0	384.7	69.0
		10月	n=71	198.2	499.7	75.0	10月	n=71	172.8	395.3	69.0

図表２－69　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=6	1607.3	794.2	1992.5	4月	n=6	1155.8	569.6	1254.0
		5月	n=6	1720.8	851.3	1972.5	5月	n=6	1143.7	560.0	1240.0
		6月	n=6	1577.8	809.9	1725.0	6月	n=6	1228.2	639.9	1274.0
		7月	n=6	1572.8	759.3	1732.5	7月	n=6	1403.8	701.7	1586.0
		8月	n=6	1663.7	833.2	1832.5	8月	n=6	1341.5	664.4	1441.0
		9月	n=6	1606.3	810.8	1885.5	9月	n=6	1299.8	617.2	1370.0
		10月	n=6	1574.2	789.3	1755.0	10月	n=6	1361.8	712.4	1520.5
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=5	914.4	452.8	1006.0	4月	n=5	608.6	383.4	685.0
		5月	n=5	1036.4	513.4	1157.0	5月	n=5	576.8	336.9	649.0
		6月	n=5	936.4	470.2	1013.0	6月	n=5	648.0	426.5	631.0
		7月	n=5	889.0	422.7	1006.0	7月	n=5	686.0	428.7	704.0
		8月	n=5	924.0	451.2	1040.0	8月	n=5	666.6	419.9	613.0
		9月	n=5	849.6	408.5	979.0	9月	n=5	655.4	397.8	790.0
		10月	n=5	820.8	401.4	842.0	10月	n=5	657.6	435.2	619.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=6	46.5	51.8	30.0	4月	n=6	28.7	30.9	19.0
		5月	n=6	51.3	63.8	28.5	5月	n=6	37.5	47.9	18.0
		6月	n=6	39.2	46.4	21.5	6月	n=6	48.2	67.5	24.0
		7月	n=6	39.0	45.1	19.5	7月	n=6	49.5	64.5	21.5
		8月	n=6	45.5	48.4	32.0	8月	n=6	48.0	51.9	26.0
		9月	n=6	40.2	49.2	23.5	9月	n=6	42.5	49.4	23.5
		10月	n=6	47.2	54.5	28.0	10月	n=6	44.0	56.5	20.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=6	23.5	16.0	24.0	4月	n=6	15.8	12.4	16.0
		5月	n=6	19.0	14.8	17.5	5月	n=6	16.5	14.9	13.0
		6月	n=6	18.7	14.7	18.0	6月	n=6	20.2	20.7	15.0
		7月	n=6	18.5	14.3	19.5	7月	n=6	21.8	22.5	16.0
		8月	n=6	19.0	14.5	16.0	8月	n=6	25.5	23.0	20.0
		9月	n=6	14.0	11.2	15.5	9月	n=6	23.0	19.3	23.5
		10月	n=6	18.7	14.3	19.0	10月	n=6	18.2	16.2	15.5

図表２－70　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

100～199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=24	3459.4	780.0	3365.0	4月	n=25	3274.3	745.5	3299.0
		5月	n=24	3528.3	822.5	3681.5	5月	n=25	3183.6	777.0	3283.0
		6月	n=24	3438.9	844.6	3470.0	6月	n=25	3210.4	776.1	3300.0
		7月	n=25	3591.8	797.3	3697.0	7月	n=24	3291.8	843.5	3248.5
		8月	n=25	3708.2	865.0	3544.0	8月	n=24	3419.5	902.0	3299.5
		9月	n=25	3435.5	751.2	3501.0	9月	n=25	3349.8	883.2	3305.0
		10月	n=25	3609.2	830.4	3571.0	10月	n=25	3451.2	907.1	3269.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=23	2288.3	581.1	2193.0	4月	n=24	2089.0	605.4	2004.5
		5月	n=23	2328.1	661.0	2181.0	5月	n=24	2043.3	662.8	1905.5
		6月	n=23	2249.1	625.7	2183.0	6月	n=24	2068.9	651.2	1931.0
		7月	n=24	2361.8	663.2	2300.5	7月	n=23	2057.0	602.5	1974.0
		8月	n=24	2428.7	714.8	2319.5	8月	n=23	2172.7	698.2	1996.0
		9月	n=24	2243.2	609.5	2165.0	9月	n=24	2134.8	683.2	2035.0
		10月	n=24	2371.2	615.9	2371.0	10月	n=24	2186.1	681.5	2043.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=23	109.1	330.7	33.0	4月	n=23	85.2	247.2	23.0
		5月	n=23	128.4	390.7	34.0	5月	n=23	95.4	263.6	33.0
		6月	n=23	112.9	358.9	31.0	6月	n=23	93.9	268.3	25.0
		7月	n=23	117.8	346.0	31.0	7月	n=23	105.2	298.9	26.0
		8月	n=23	122.0	335.1	43.0	8月	n=23	122.0	369.4	33.0
		9月	n=23	119.0	342.2	39.0	9月	n=23	116.7	360.6	31.0
		10月	n=23	111.5	323.7	36.0	10月	n=23	116.7	355.4	29.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=24	134.6	473.5	28.0	4月	n=25	101.4	354.0	22.0
		5月	n=24	129.3	455.0	28.0	5月	n=25	93.7	306.6	31.0
		6月	n=24	134.5	487.8	27.5	6月	n=25	104.1	356.6	28.0
		7月	n=25	125.3	419.3	30.0	7月	n=25	123.6	429.4	27.0
		8月	n=25	125.7	418.4	32.0	8月	n=24	40.3	31.1	28.5
		9月	n=25	122.9	423.2	29.0	9月	n=25	126.6	456.9	26.0
		10月	n=25	128.2	437.3	34.0	10月	n=25	135.2	479.6	33.0

図表２－71　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

200～399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=29	6904.6	1241.3	7052.0	4月	n=30	6260.6	1039.3	6431.0
		5月	n=30	7049.0	1235.7	7021.5	5月	n=30	6168.7	1019.0	6312.0
		6月	n=30	6899.2	1257.7	6901.0	6月	n=29	6190.9	1141.6	6359.0
		7月	n=30	7229.4	1206.0	7346.5	7月	n=30	6759.3	1177.5	6970.0
		8月	n=30	7195.1	1156.6	7386.5	8月	n=30	6816.0	1267.7	6926.5
		9月	n=30	6888.4	1133.8	7086.0	9月	n=30	6557.2	1283.6	6549.0
		10月	n=30	7166.1	1167.7	7250.0	10月	n=29	6909.2	1382.4	6989.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=27	5152.3	1783.2	5222.0	4月	n=28	4623.3	1594.9	4861.5
		5月	n=28	5359.6	1852.3	5679.5	5月	n=28	4582.4	1615.5	4956.0
		6月	n=28	5223.8	1807.3	5288.0	6月	n=28	4606.2	1607.3	4780.0
		7月	n=28	5418.3	1817.2	5807.0	7月	n=28	5028.9	1725.0	5122.0
		8月	n=28	5220.3	1972.4	5497.5	8月	n=28	5073.5	1814.0	5025.0
		9月	n=28	5171.4	1781.5	5802.0	9月	n=28	4899.4	1764.7	5164.0
		10月	n=28	5413.6	1837.2	5681.5	10月	n=27	5203.6	1876.0	5903.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=25	143.5	283.1	77.0	4月	n=25	156.8	306.6	69.0
		5月	n=25	165.6	327.8	102.0	5月	n=25	121.2	198.1	75.0
		6月	n=25	178.2	337.1	85.0	6月	n=26	216.7	528.2	80.0
		7月	n=25	155.0	327.9	86.0	7月	n=25	138.6	239.7	94.0
		8月	n=25	159.4	302.8	88.0	8月	n=25	155.0	286.1	99.0
		9月	n=25	148.6	294.4	87.0	9月	n=25	132.4	234.9	76.0
		10月	n=25	164.4	362.7	89.0	10月	n=25	131.2	236.7	77.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=26	243.7	531.4	102.0	4月	n=26	216.5	410.6	80.5
		5月	n=26	254.8	544.7	104.5	5月	n=25	130.7	243.5	89.0
		6月	n=26	230.4	478.5	99.5	6月	n=25	134.1	209.6	92.0
		7月	n=26	220.7	429.7	101.0	7月	n=26	216.2	425.1	105.0
		8月	n=26	279.6	622.3	111.0	8月	n=26	246.4	498.7	126.5
		9月	n=26	252.0	557.1	98.0	9月	n=26	210.8	423.4	102.0
		10月	n=26	292.8	675.9	104.0	10月	n=26	213.7	420.9	107.0

図表２－72　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=16	11664.3	2677.0	10468.0	4月	n=16	10635.0	2340.7	9298.5
		5月	n=16	11914.6	2685.1	10583.5	5月	n=16	10273.6	2203.6	9207.0
		6月	n=15	11577.3	2595.0	10292.0	6月	n=16	10289.6	2491.3	9368.5
		7月	n=16	12189.6	2639.7	10676.0	7月	n=16	10965.3	2503.2	9956.0
		8月	n=16	12054.6	2581.8	10738.5	8月	n=16	11287.9	2595.4	10280.0
		9月	n=16	11557.4	2485.2	10162.0	9月	n=16	10633.8	2731.2	9359.0
		10月	n=16	11968.7	2771.9	10394.5	10月	n=16	11306.8	2548.7	10497.5
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=15	9002.3	4111.3	7730.0	4月	n=15	8195.3	3762.0	8101.0
		5月	n=15	9213.1	4156.3	8403.0	5月	n=15	7866.4	3431.6	7812.0
		6月	n=14	8818.4	4051.2	7877.0	6月	n=15	7952.1	3651.3	7761.0
		7月	n=14	9145.9	4117.8	8057.0	7月	n=15	8485.4	3848.2	8688.0
		8月	n=15	9349.6	3972.9	8653.0	8月	n=15	8797.9	3882.5	8720.0
		9月	n=15	8958.3	3987.2	8359.0	9月	n=15	8271.2	3913.0	8180.0
		10月	n=15	9269.3	4284.9	8601.0	10月	n=15	8837.9	3922.8	8808.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=14	261.7	224.4	200.5	4月	n=14	217.8	187.7	172.0
		5月	n=14	302.1	292.6	237.5	5月	n=14	270.6	282.0	199.0
		6月	n=14	259.2	247.1	151.0	6月	n=14	226.8	213.9	176.5
		7月	n=14	277.0	276.4	179.0	7月	n=14	259.1	237.2	195.0
		8月	n=14	289.9	279.7	190.0	8月	n=14	284.8	255.5	206.0
		9月	n=14	295.7	308.1	224.5	9月	n=14	238.2	223.0	176.0
		10月	n=14	287.9	297.2	194.0	10月	n=14	252.1	227.3	183.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=14	218.0	197.8	159.0	4月	n=14	197.7	158.4	176.5
		5月	n=14	225.4	193.8	152.0	5月	n=14	201.2	154.5	173.0
		6月	n=14	203.8	165.6	138.0	6月	n=14	203.9	174.5	163.0
		7月	n=14	231.6	214.1	152.0	7月	n=14	228.7	214.0	182.5
		8月	n=14	238.3	211.2	165.0	8月	n=14	255.4	229.9	183.0
		9月	n=14	242.8	271.5	175.0	9月	n=14	209.4	166.8	183.5
		10月	n=14	224.4	190.8	175.5	10月	n=14	230.2	182.5	193.0

図表２－73　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=114	3822.7	3000.0	3141.5	4月	n=117	3525.2	2707.4	3025.0
		5月	n=115	4010.4	3324.9	3384.0	5月	n=117	3489.9	2648.1	2990.0
		6月	n=116	3817.8	2975.1	3223.0	6月	n=117	3501.3	2725.5	2917.0
		7月	n=116	3948.9	3110.7	3281.0	7月	n=117	3700.9	2930.1	2965.0
		8月	n=116	3980.5	3196.9	3272.0	8月	n=117	3733.8	2959.1	3036.0
		9月	n=116	3829.0	3074.9	3097.0	9月	n=118	3690.9	2890.3	3010.0
		10月	n=115	3988.8	3155.9	3268.0	10月	n=117	3775.2	2994.2	3061.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=104	2174.5	2778.2	1159.5	4月	n=105	1970.0	2411.9	1121.0
		5月	n=105	2254.1	2800.8	1237.0	5月	n=106	1894.7	2327.5	1134.0
		6月	n=105	2196.1	2708.7	1203.0	6月	n=104	1952.0	2465.6	1080.0
		7月	n=107	2236.6	2817.7	1243.0	7月	n=104	2098.1	2700.1	1169.0
		8月	n=107	2264.5	2918.2	1253.0	8月	n=104	2092.3	2674.8	1178.5
		9月	n=107	2175.7	2776.2	1150.0	9月	n=105	2019.8	2566.3	1083.0
		10月	n=105	2273.0	2869.7	1216.0	10月	n=102	2139.9	2744.3	1205.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=93	33.9	56.8	8.0	4月	n=94	25.7	45.3	5.5
		5月	n=93	40.1	66.5	10.0	5月	n=93	32.7	55.3	9.0
		6月	n=93	34.0	60.4	8.0	6月	n=93	31.2	55.5	8.0
		7月	n=93	36.5	62.6	10.0	7月	n=93	36.0	66.5	8.0
		8月	n=94	39.2	62.4	11.5	8月	n=93	39.3	66.8	9.0
		9月	n=92	39.3	65.8	9.5	9月	n=94	36.2	65.0	7.0
		10月	n=92	38.8	66.0	10.0	10月	n=93	36.4	70.5	6.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=94	35.7	67.4	8.0	4月	n=95	28.1	53.9	7.0
		5月	n=94	36.0	63.3	7.5	5月	n=94	29.9	48.4	9.0
		6月	n=94	31.0	52.9	5.5	6月	n=95	31.9	58.4	7.0
		7月	n=95	36.0	63.8	9.0	7月	n=95	35.3	65.3	8.0
		8月	n=95	38.4	65.6	9.0	8月	n=95	38.8	63.5	8.0
		9月	n=95	35.8	65.4	8.0	9月	n=96	35.4	65.6	7.0
		10月	n=94	37.3	65.8	7.5	10月	n=95	37.3	62.5	8.0

図表２－74　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=40	1433.5	937.2	1265.5	4月	n=41	1241.3	552.4	1180.0
		5月	n=39	1316.1	598.6	1255.0	5月	n=41	1240.0	594.2	1223.0
		6月	n=40	1311.8	596.4	1164.5	6月	n=41	1214.6	573.3	1191.0
		7月	n=40	1351.9	633.4	1256.5	7月	n=41	1254.7	579.8	1183.0
		8月	n=40	1368.0	621.4	1259.0	8月	n=41	1263.9	593.7	1153.0
		9月	n=40	1295.4	585.9	1190.0	9月	n=41	1233.7	588.6	1156.0
		10月	n=39	1355.5	596.1	1242.0	10月	n=41	1257.7	578.9	1221.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=35	745.9	524.8	725.0	4月	n=35	711.3	483.9	730.0
		5月	n=35	768.9	546.7	783.0	5月	n=35	690.5	498.0	670.0
		6月	n=35	758.6	541.7	826.0	6月	n=35	668.9	497.1	716.0
		7月	n=36	780.3	560.8	801.0	7月	n=35	695.0	520.7	723.0
		8月	n=36	814.9	565.5	856.5	8月	n=35	705.7	511.8	777.0
		9月	n=36	763.4	524.5	831.5	9月	n=35	688.1	516.8	777.0
		10月	n=35	786.7	550.6	814.0	10月	n=34	719.0	538.1	744.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=29	13.2	31.9	2.0	4月	n=29	9.5	21.6	2.0
		5月	n=29	21.1	59.3	2.0	5月	n=29	14.9	33.3	3.0
		6月	n=29	16.6	48.8	1.0	6月	n=29	17.2	56.7	6.0
		7月	n=29	17.6	57.7	3.0	7月	n=29	20.2	69.2	4.0
		8月	n=30	19.4	52.3	3.0	8月	n=29	17.6	44.5	3.0
		9月	n=29	18.8	49.7	5.0	9月	n=29	17.3	52.2	3.0
		10月	n=29	20.2	53.9	3.0	10月	n=29	11.1	29.9	1.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=31	22.8	79.9	2.0	4月	n=31	16.6	66.8	2.0
		5月	n=31	21.3	68.0	3.0	5月	n=30	15.7	44.7	3.0
		6月	n=31	15.4	47.0	1.0	6月	n=31	17.5	66.6	3.0
		7月	n=31	19.2	68.4	1.0	7月	n=31	21.2	78.7	4.0
		8月	n=31	22.9	69.1	4.0	8月	n=31	17.8	47.5	3.0
		9月	n=31	22.0	74.6	3.0	9月	n=31	19.7	72.0	3.0
		10月	n=31	23.8	77.1	3.0	10月	n=31	15.6	49.1	2.0

図表２－75　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

100～199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=50	3922.9	1441.6	3583.5	4月	n=50	3535.4	1043.2	3548.5
		5月	n=50	3976.8	1280.2	3777.5	5月	n=50	3528.0	1094.7	3609.5
		6月	n=50	3846.6	1225.0	3643.5	6月	n=50	3504.8	1025.8	3495.5
		7月	n=50	3969.6	1342.3	3700.0	7月	n=50	3684.4	1035.6	3623.0
		8月	n=50	3958.5	1292.2	3796.5	8月	n=50	3698.1	1030.2	3543.5
		9月	n=50	3820.5	1233.9	3634.5	9月	n=50	3650.9	998.5	3640.0
		10月	n=50	3975.6	1299.9	3765.0	10月	n=49	3723.7	1077.0	3706.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=44	1697.7	1236.7	1524.0	4月	n=44	1508.8	1156.9	1395.0
		5月	n=44	1765.2	1288.7	1525.5	5月	n=45	1439.9	1143.1	1429.0
		6月	n=44	1719.2	1259.8	1511.5	6月	n=43	1452.7	1122.9	1381.0
		7月	n=45	1723.2	1313.5	1547.0	7月	n=43	1573.1	1205.3	1411.0
		8月	n=45	1711.8	1309.1	1487.0	8月	n=43	1562.7	1184.7	1388.0
		9月	n=45	1664.5	1291.3	1379.0	9月	n=44	1538.8	1199.0	1366.0
		10月	n=44	1753.0	1314.6	1509.5	10月	n=42	1570.3	1244.9	1406.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=40	28.8	44.3	12.5	4月	n=41	21.9	40.4	6.0
		5月	n=40	32.3	49.9	13.5	5月	n=40	25.9	38.4	10.0
		6月	n=40	27.3	45.7	12.5	6月	n=40	25.8	39.5	10.0
		7月	n=40	30.6	44.4	13.5	7月	n=40	28.3	46.5	9.5
		8月	n=40	31.8	41.3	16.5	8月	n=40	36.4	62.0	12.5
		9月	n=39	34.3	50.9	16.0	9月	n=40	34.7	61.1	9.5
		10月	n=39	32.6	53.3	12.0	10月	n=39	39.0	79.6	9.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=39	26.5	40.6	11.0	4月	n=40	21.3	29.7	10.5
		5月	n=39	27.3	43.8	10.0	5月	n=40	24.2	32.9	11.5
		6月	n=39	23.4	38.0	10.0	6月	n=40	26.3	38.4	8.0
		7月	n=40	26.0	38.2	11.5	7月	n=40	28.2	42.5	13.0
		8月	n=40	27.0	40.1	11.0	8月	n=40	35.9	58.4	13.5
		9月	n=40	25.8	38.3	12.5	9月	n=40	32.0	51.5	11.5
		10月	n=39	26.9	37.6	11.0	10月	n=39	35.7	54.4	12.0

図表２－76　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

200～399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=17	7052.7	2143.6	6808.0	4月	n=18	6642.7	2122.3	6434.0
		5月	n=18	7157.5	2242.6	6795.0	5月	n=18	6650.2	2130.7	6476.5
		6月	n=18	6963.6	2130.5	6593.5	6月	n=18	6649.9	2120.1	6369.5
		7月	n=18	7211.6	2193.9	6796.5	7月	n=18	7063.1	2259.0	6621.5
		8月	n=18	7269.1	2173.4	6769.0	8月	n=18	7204.1	2212.2	6753.5
		9月	n=18	6986.3	2108.4	6749.5	9月	n=19	7022.1	2128.5	6690.0
		10月	n=18	7202.7	2141.2	6843.5	10月	n=19	7171.3	2136.2	6570.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=17	3885.2	2878.0	3304.0	4月	n=18	3574.9	2627.8	3065.5
		5月	n=18	4084.3	2921.7	3543.5	5月	n=18	3546.0	2558.2	3135.5
		6月	n=18	3945.9	2861.0	3266.0	6月	n=18	3670.2	2679.2	3141.0
		7月	n=18	4089.0	2972.6	3397.0	7月	n=18	3907.5	2932.3	3112.0
		8月	n=18	4098.1	3015.8	3524.5	8月	n=18	3879.3	2831.9	3456.5
		9月	n=18	3933.4	2829.1	3391.5	9月	n=18	3648.2	2655.8	3340.0
		10月	n=18	4039.9	2923.7	3392.5	10月	n=18	3970.7	2939.5	3552.5
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=17	48.1	48.6	22.0	4月	n=17	40.5	41.5	13.0
		5月	n=17	59.5	59.4	31.0	5月	n=17	49.3	51.3	17.0
		6月	n=17	47.8	50.1	17.0	6月	n=17	42.4	44.3	16.0
		7月	n=17	52.4	54.5	18.0	7月	n=17	51.7	54.8	12.0
		8月	n=17	59.1	58.4	28.0	8月	n=17	52.9	55.4	13.0
		9月	n=17	52.1	53.0	20.0	9月	n=18	44.4	50.4	16.5
		10月	n=17	53.9	55.3	16.0	10月	n=18	45.9	52.2	10.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=17	52.5	54.0	45.0	4月	n=17	44.6	44.4	29.0
		5月	n=17	56.1	55.2	40.0	5月	n=17	45.9	48.7	19.0
		6月	n=17	51.1	50.8	37.0	6月	n=17	47.7	49.0	34.0
		7月	n=17	61.6	61.5	49.0	7月	n=17	53.5	53.8	25.0
		8月	n=17	63.7	61.9	50.0	8月	n=17	56.1	55.8	22.0
		9月	n=17	55.6	56.1	33.0	9月	n=18	46.5	52.6	24.0
		10月	n=17	59.5	59.4	36.0	10月	n=18	54.4	59.8	21.0

図表２－77　各１か月間の入院延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=4	13095.0	3547.7	11570.0	4月	n=5	11113.4	2191.5	10892.0
		5月	n=5	14490.8	3615.1	11903.0	5月	n=5	10410.6	2431.2	9962.0
		6月	n=5	12548.2	2706.1	10943.0	6月	n=5	11166.6	2369.8	10622.0
		7月	n=5	13120.4	2785.5	12137.0	7月	n=5	12173.2	2437.3	11512.0
		8月	n=5	13731.2	3172.5	11965.0	8月	n=5	12219.6	2563.6	10903.0
		9月	n=5	13208.4	2896.3	12042.0	9月	n=5	11926.0	2469.1	10734.0
		10月	n=5	13506.4	3026.9	12175.0	10月	n=5	12345.0	2739.2	10899.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=5	11169.2	2942.1	11129.0	4月	n=5	9551.4	1784.1	9053.0
		5月	n=5	11115.4	2793.2	10810.0	5月	n=5	9019.0	2070.9	7826.0
		6月	n=5	10790.4	2447.3	10280.0	6月	n=5	9622.4	1992.8	8796.0
		7月	n=5	11337.0	2493.8	10640.0	7月	n=5	10592.2	2258.2	10332.0
		8月	n=5	11845.8	2937.1	11302.0	8月	n=5	10573.2	2365.4	10179.0
		9月	n=5	11299.2	2606.1	10655.0	9月	n=5	10299.6	2208.4	9585.0
		10月	n=5	11608.6	2690.1	11030.0	10月	n=5	10641.0	2375.4	10129.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=4	196.8	80.5	180.5	4月	n=4	135.0	75.1	121.0
		5月	n=4	200.3	77.4	187.0	5月	n=4	179.8	105.0	146.0
		6月	n=4	190.0	87.5	164.5	6月	n=4	160.8	67.8	149.5
		7月	n=4	189.8	79.8	171.0	7月	n=4	186.5	83.1	174.5
		8月	n=4	204.0	80.0	193.5	8月	n=4	195.5	91.2	177.5
		9月	n=4	208.5	104.8	174.0	9月	n=4	174.3	89.4	168.5
		10月	n=4	195.8	94.9	176.0	10月	n=4	177.5	96.2	165.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=4	178.5	66.1	171.5	4月	n=4	131.3	58.6	126.0
		5月	n=4	172.8	56.0	171.0	5月	n=4	143.3	54.0	140.5
		6月	n=4	158.3	52.0	153.0	6月	n=4	155.3	52.9	156.0
		7月	n=4	180.0	47.5	180.0	7月	n=4	162.3	49.8	166.5
		8月	n=4	191.0	52.0	195.0	8月	n=4	182.8	66.7	193.0
		9月	n=4	182.3	63.8	175.5	9月	n=4	164.0	65.7	159.5
		10月	n=4	170.8	60.0	169.5	10月	n=4	168.0	78.8	165.0

図表２－78　各１か月間の入院延べ患者数
（医師事務作業補助体制加算の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出有り

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=283	7085.8	4662.5	6493.0	4月	n=283	6159.1	3850.7	5698.0
		5月	n=282	7093.7	4481.5	6526.0	5月	n=284	5901.7	3656.5	5590.0
		6月	n=281	6881.2	4362.7	6492.0	6月	n=281	6008.3	3795.4	5459.0
		7月	n=283	7123.6	4504.2	6646.0	7月	n=283	6502.5	4111.7	6369.0
		8月	n=284	7242.0	4572.7	6887.5	8月	n=282	6594.7	4177.4	6306.5
		9月	n=284	6908.8	4359.1	6514.0	9月	n=282	6379.9	4034.6	6048.5
		10月	n=281	7115.9	4441.0	6789.0	10月	n=283	6703.9	4280.8	6376.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=264	5447.4	4214.8	4464.5	4月	n=266	4752.6	3628.4	4109.0
		5月	n=265	5562.0	4216.0	4670.0	5月	n=269	4559.6	3484.9	3918.0
		6月	n=264	5410.3	4148.6	4540.5	6月	n=266	4704.2	3603.4	4002.0
		7月	n=268	5574.5	4336.9	4714.0	7月	n=265	5053.0	3870.8	4535.0
		8月	n=268	5554.0	4302.6	4731.5	8月	n=264	5111.2	3922.8	4518.0
		9月	n=268	5350.0	4104.4	4522.5	9月	n=266	4976.6	3875.1	4290.0
		10月	n=265	5555.3	4235.4	4945.0	10月	n=265	5280.8	4067.6	4653.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=239	163.7	263.3	83.0	4月	n=241	147.9	271.8	66.0
		5月	n=239	206.0	395.5	102.0	5月	n=239	160.1	288.7	78.0
		6月	n=238	171.3	313.3	82.5	6月	n=244	191.0	407.9	75.5
		7月	n=237	166.3	291.0	86.0	7月	n=240	167.5	291.9	87.0
		8月	n=238	186.8	331.1	97.0	8月	n=240	180.9	314.0	87.0
		9月	n=237	181.0	322.1	93.0	9月	n=240	167.5	294.3	74.5
		10月	n=238	188.9	352.8	88.0	10月	n=240	169.4	304.7	84.5
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=249	197.4	420.8	84.0	4月	n=252	168.7	364.0	65.0
		5月	n=249	215.8	483.7	87.0	5月	n=249	167.7	368.4	73.0
		6月	n=248	190.1	426.7	80.5	6月	n=250	169.1	366.1	76.5
		7月	n=250	193.0	413.8	86.0	7月	n=253	208.7	467.5	83.0
		8月	n=249	218.1	491.7	95.0	8月	n=250	188.6	391.0	89.5
		9月	n=249	201.3	457.7	86.0	9月	n=252	200.5	445.0	83.0
		10月	n=249	207.8	469.5	93.0	10月	n=252	210.6	469.4	94.0

■医師事務作業補助体制加算の届出無し

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
入院延べ患者数		4月	n=94	3119.8	2415.8	2299.5	4月	n=96	2933.6	2304.0	2085.5
		5月	n=94	3133.9	2397.8	2343.5	5月	n=96	2975.1	2352.0	2171.5
		6月	n=95	3053.0	2332.1	2233.0	6月	n=96	2917.4	2295.2	2135.5
		7月	n=95	3166.4	2407.7	2387.0	7月	n=96	3046.3	2385.7	2224.0
		8月	n=95	3182.4	2430.6	2393.0	8月	n=96	3074.5	2425.0	2203.5
		9月	n=95	3042.6	2335.9	2311.0	9月	n=97	3049.0	2439.7	2138.0
		10月	n=95	3120.4	2413.5	2346.0	10月	n=95	3060.6	2446.9	2163.0
	うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=74	1016.2	1248.4	753.5	4月	n=74	940.6	1199.7	659.0
		5月	n=75	1106.2	1364.2	890.0	5月	n=74	939.3	1193.7	664.5
		6月	n=75	1089.1	1360.4	840.0	6月	n=74	943.9	1189.0	773.5
		7月	n=76	1124.5	1396.7	902.0	7月	n=74	993.7	1271.9	790.5
		8月	n=76	1133.1	1432.7	908.5	8月	n=74	1020.2	1343.7	823.5
		9月	n=76	1059.5	1326.6	853.0	9月	n=74	969.5	1232.3	796.5
		10月	n=76	1076.1	1390.4	823.0	10月	n=73	992.2	1328.1	742.0
	うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=65	8.4	25.6	0.0	4月	n=65	7.4	23.3	0.0
		5月	n=64	13.6	44.1	0.0	5月	n=64	13.6	56.6	0.0
		6月	n=65	12.1	43.7	0.0	6月	n=64	14.7	70.1	0.0
		7月	n=65	14.8	58.2	0.0	7月	n=64	16.8	74.6	0.0
		8月	n=66	15.5	55.3	0.0	8月	n=64	14.6	55.7	0.0
		9月	n=65	13.0	50.4	0.0	9月	n=65	14.7	63.9	0.0
		10月	n=65	12.2	46.2	0.0	10月	n=64	16.1	73.2	0.0
	うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=67	9.3	29.1	0.0	4月	n=65	7.6	25.2	0.0
		5月	n=66	12.1	38.6	0.0	5月	n=63	12.7	49.9	0.0
		6月	n=67	11.1	37.8	0.0	6月	n=65	14.6	61.9	0.0
		7月	n=67	14.8	52.1	0.0	7月	n=65	15.5	66.1	0.0
		8月	n=68	14.4	51.2	0.0	8月	n=65	14.7	54.7	0.0
		9月	n=68	13.3	49.0	0.0	9月	n=66	15.1	62.2	0.0
		10月	n=67	13.6	48.1	0.0	10月	n=65	16.7	71.8	0.0

2）外来延べ患者数

外来患者数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 79　各 1 か月間の外来延べ患者数【全体】

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=383	8915.7	7947.4	6208.0	4月	n=387	7316.9	6546.1	5099.0
		5月	n=383	8891.0	7895.0	6060.0	5月	n=386	6646.9	5884.2	4735.0
		6月	n=383	8849.4	7883.8	6142.0	6月	n=387	8122.6	7342.0	5598.0
		7月	n=384	9593.4	8544.0	6650.0	7月	n=386	8414.2	7529.5	5913.0
		8月	n=384	9132.5	8116.6	6404.0	8月	n=386	8038.5	7181.9	5625.0
		9月	n=384	8772.8	7790.7	5979.5	9月	n=387	8214.4	7377.7	5730.0
		10月	n=383	9407.3	8336.9	6502.0	10月	n=386	8828.8	7841.3	6205.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=340	118.7	131.7	61.5	4月	n=346	92.7	107.0	47.0
		5月	n=342	123.0	138.5	61.0	5月	n=343	93.5	107.1	47.0
		6月	n=340	117.2	133.1	61.0	6月	n=345	100.6	115.4	51.0
		7月	n=341	129.4	146.8	62.0	7月	n=345	108.8	123.3	54.0
		8月	n=344	147.9	166.3	78.5	8月	n=343	127.6	142.9	69.0
		9月	n=343	125.0	141.8	63.0	9月	n=344	107.5	120.0	58.0
		10月	n=343	122.9	139.5	68.0	10月	n=341	110.4	123.7	59.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=330	260.0	329.2	122.0	4月	n=333	157.1	192.4	77.0
		5月	n=329	310.3	377.4	165.0	5月	n=336	199.4	239.6	101.0
		6月	n=329	234.7	293.8	106.0	6月	n=333	167.4	204.0	78.0
		7月	n=330	252.4	316.5	117.5	7月	n=335	216.7	267.4	98.0
		8月	n=334	300.1	380.0	147.0	8月	n=334	237.4	277.6	119.5
		9月	n=331	267.6	329.9	126.0	9月	n=336	206.8	253.0	101.5
		10月	n=333	245.2	307.9	121.0	10月	n=332	182.0	224.1	85.0

図表 2 - 80　各 1 か月間の外来延べ患者数【99 床以下】

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=83	2506.9	1721.1	2286.0	4月	n=84	1921.5	1279.5	1798.5
		5月	n=83	2455.4	1687.7	2230.0	5月	n=83	1726.2	1191.0	1495.0
		6月	n=83	2441.2	1679.9	2150.0	6月	n=84	2097.7	1383.1	1965.5
		7月	n=83	2620.9	1771.1	2335.0	7月	n=84	2174.7	1425.2	2038.5
		8月	n=83	2474.8	1726.7	2152.0	8月	n=84	2105.5	1423.5	1950.5
		9月	n=83	2428.7	1671.4	2072.0	9月	n=84	2138.2	1448.3	1921.0
		10月	n=82	2541.7	1733.5	2276.0	10月	n=84	2394.5	1603.8	2029.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=62	31.6	89.2	4.5	4月	n=63	21.8	60.5	5.0
		5月	n=62	31.6	89.8	3.0	5月	n=63	22.6	66.1	5.0
		6月	n=62	29.0	91.5	4.0	6月	n=63	26.0	72.0	5.0
		7月	n=62	30.8	93.0	4.0	7月	n=63	26.8	76.8	6.0
		8月	n=62	34.4	101.6	5.0	8月	n=62	20.7	42.0	6.5
		9月	n=62	29.9	87.9	6.5	9月	n=62	17.9	37.3	4.5
		10月	n=62	29.4	83.6	5.0	10月	n=61	20.0	40.2	6.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=59	59.0	187.9	17.0	4月	n=61	56.8	162.1	10.0
		5月	n=59	79.6	228.7	22.0	5月	n=61	70.8	192.2	17.0
		6月	n=59	56.1	185.0	19.0	6月	n=61	63.5	184.7	13.0
		7月	n=59	59.1	189.3	13.0	7月	n=61	83.9	240.5	12.0
		8月	n=60	100.9	320.3	13.0	8月	n=60	72.0	205.6	13.0
		9月	n=59	65.5	198.3	16.0	9月	n=61	81.2	236.7	16.0
		10月	n=59	57.1	163.1	13.0	10月	n=61	74.4	223.7	10.0

図表 2 - 81　各 1 か月間の外来延べ患者数【100～199 床】

（単位：人）

100床以上199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=115	4556.8	3127.0	4224.0	4月	n=116	3765.8	2520.1	3504.5
		5月	n=114	4498.8	3069.1	4209.0	5月	n=116	3464.9	2346.1	3259.5
		6月	n=114	4472.4	3047.6	4197.0	6月	n=116	4064.8	2764.8	3827.0
		7月	n=115	4884.3	3309.2	4609.0	7月	n=116	4283.1	2879.0	4037.5
		8月	n=115	4639.6	3152.0	4379.0	8月	n=116	4111.4	2800.7	3869.0
		9月	n=115	4444.9	2997.7	4283.0	9月	n=116	4184.2	2822.8	3984.5
		10月	n=115	4768.3	3223.6	4534.0	10月	n=116	4559.8	3111.6	4255.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=102	39.4	63.1	21.0	4月	n=104	30.6	45.2	17.0
		5月	n=103	39.6	65.4	24.0	5月	n=103	31.5	46.2	17.0
		6月	n=102	37.6	58.4	19.5	6月	n=104	32.2	48.0	15.0
		7月	n=103	42.4	64.6	25.0	7月	n=104	35.7	54.3	20.0
		8月	n=103	48.7	72.1	28.0	8月	n=103	47.9	75.8	26.0
		9月	n=104	40.6	62.2	22.5	9月	n=104	37.3	57.1	18.5
		10月	n=104	39.4	61.7	23.0	10月	n=103	39.0	60.7	18.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=101	80.9	83.7	54.0	4月	n=101	51.3	57.4	33.0
		5月	n=102	108.1	111.0	70.0	5月	n=103	66.8	73.8	48.0
		6月	n=101	70.7	75.6	50.0	6月	n=103	52.6	59.1	35.0
		7月	n=102	76.1	78.4	49.0	7月	n=103	65.8	70.5	43.0
		8月	n=103	91.0	93.1	61.0	8月	n=102	78.9	88.0	53.5
		9月	n=102	83.7	86.2	57.0	9月	n=103	68.0	75.6	46.0
		10月	n=103	73.6	76.3	48.0	10月	n=102	59.8	69.3	38.5

図表 2 - 82　各 1 か月間の外来延べ患者数【200～399 床】

（単位：人）

200床以上399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=106	11033.2	6027.4	11105.5	4月	n=106	8938.7	4727.9	8776.0
		5月	n=106	11029.7	5875.3	10961.0	5月	n=106	8175.6	4333.3	8038.5
		6月	n=106	10993.6	5900.1	10858.0	6月	n=106	10007.9	5295.7	9663.0
		7月	n=106	11913.2	6361.7	11918.0	7月	n=106	10510.4	5497.3	10163.5
		8月	n=106	11411.2	6087.7	11113.5	8月	n=106	10030.9	5278.2	9756.5
		9月	n=106	10896.5	5817.9	10615.0	9月	n=107	10186.3	5516.7	10032.0
		10月	n=106	11724.5	6150.6	11573.5	10月	n=107	10997.1	5873.5	10690.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=100	169.4	119.6	161.0	4月	n=102	136.2	103.0	110.5
		5月	n=100	176.9	126.9	164.5	5月	n=101	137.5	102.4	123.0
		6月	n=100	167.9	119.8	159.5	6月	n=102	149.8	110.5	130.5
		7月	n=100	186.1	132.4	179.5	7月	n=102	158.0	115.7	136.0
		8月	n=102	217.2	161.5	203.5	8月	n=101	187.6	136.3	167.0
		9月	n=100	180.2	130.5	164.5	9月	n=102	158.0	117.4	135.0
		10月	n=101	179.7	132.7	161.0	10月	n=102	160.4	118.2	138.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=96	323.1	294.7	256.5	4月	n=96	190.7	162.7	151.0
		5月	n=95	396.3	338.1	333.0	5月	n=97	247.0	209.5	204.0
		6月	n=96	295.5	248.6	251.0	6月	n=97	211.7	174.4	186.0
		7月	n=96	319.9	271.3	255.0	7月	n=97	271.5	238.1	244.0
		8月	n=97	378.4	335.6	299.0	8月	n=97	295.9	227.9	262.0
		9月	n=96	337.3	282.8	282.0	9月	n=98	252.2	211.2	217.5
		10月	n=97	315.6	280.4	241.0	10月	n=98	226.3	192.2	191.0

図表 2 - 83　各 1 か月間の外来延べ患者数【400 床以上】

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=72	20075.0	6708.0	19555.0	4月	n=74	16632.4	5530.9	15925.5
		5月	n=73	19923.4	6693.6	19461.0	5月	n=74	14934.4	4918.4	13983.0
		6月	n=73	19813.3	6757.2	19050.0	6月	n=74	18594.7	6334.9	17679.0
		7月	n=73	21520.4	7345.3	20515.0	7月	n=73	19047.2	6366.1	18228.0
		8月	n=73	20430.3	6885.0	19981.0	8月	n=73	18190.7	6130.9	17300.0
		9月	n=73	19681.6	6617.1	19066.0	9月	n=73	18707.8	6223.6	17672.0
		10月	n=73	21006.1	7137.8	19838.0	10月	n=72	19902.4	6555.7	19161.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=66	240.9	118.3	231.5	4月	n=67	186.6	108.1	176.0
		5月	n=67	250.8	128.3	222.0	5月	n=66	187.3	105.6	177.5
		6月	n=66	241.5	126.9	219.5	6月	n=66	199.3	112.2	186.0
		7月	n=66	266.2	141.2	235.5	7月	n=66	223.5	117.5	205.5
		8月	n=67	294.7	149.3	281.0	8月	n=67	255.0	140.7	220.0
		9月	n=67	257.9	136.7	236.0	9月	n=66	221.3	109.3	211.0
		10月	n=66	252.0	130.8	226.5	10月	n=65	226.3	120.0	199.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=66	628.2	376.7	556.0	4月	n=67	363.3	212.1	339.0
		5月	n=65	720.7	434.4	650.0	5月	n=67	456.4	260.9	434.0
		6月	n=65	567.7	338.2	528.0	6月	n=64	388.9	215.6	372.5
		7月	n=65	611.5	367.7	567.0	7月	n=66	501.4	279.3	492.0
		8月	n=66	701.5	423.0	613.5	8月	n=67	550.1	300.5	523.0
		9月	n=66	640.3	379.4	596.0	9月	n=66	479.2	272.3	449.0
		10月	n=66	585.9	353.5	544.5	10月	n=63	419.4	230.8	405.0

図表２－84　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=105	15848.7	7795.7	14233.0	4月	n=107	12963.1	6493.0	11912.0
		5月	n=106	15835.5	7782.3	14468.0	5月	n=107	11670.1	5680.4	10745.0
		6月	n=106	15698.6	7826.7	14327.0	6月	n=107	14561.0	7268.7	13035.0
		7月	n=106	17056.0	8493.9	15592.5	7月	n=106	14978.0	7376.8	13348.5
		8月	n=106	16232.7	7971.4	14996.0	8月	n=107	14340.0	7023.8	13145.0
		9月	n=106	15588.0	7652.6	14340.0	9月	n=106	14687.8	7190.4	13397.0
		10月	n=106	16663.6	8219.8	15717.5	10月	n=105	15680.6	7683.7	14403.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=100	201.7	121.7	185.0	4月	n=103	156.8	106.0	144.0
		5月	n=101	209.9	131.1	182.0	5月	n=100	151.0	94.1	142.5
		6月	n=100	199.1	121.3	174.5	6月	n=101	169.6	108.0	156.0
		7月	n=100	220.7	137.5	214.0	7月	n=101	182.5	115.5	171.0
		8月	n=103	257.0	166.2	230.0	8月	n=100	207.1	122.7	188.0
		9月	n=101	212.3	134.0	186.0	9月	n=99	181.9	110.1	160.0
		10月	n=101	208.0	132.4	185.0	10月	n=98	185.4	114.3	168.5
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=98	484.3	378.3	361.0	4月	n=100	279.0	206.7	235.0
		5月	n=97	561.3	425.2	444.0	5月	n=100	348.4	244.4	286.0
		6月	n=97	441.9	338.2	363.0	6月	n=97	295.9	211.0	237.0
		7月	n=97	473.1	366.3	388.0	7月	n=99	380.8	278.8	289.0
		8月	n=99	562.0	435.1	441.0	8月	n=99	419.7	280.8	344.0
		9月	n=98	494.0	376.0	372.0	9月	n=99	368.5	268.1	297.0
		10月	n=99	453.9	360.0	348.0	10月	n=96	322.4	235.5	252.0

図表２－85　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=2	2894.5	1298.5	2894.5	4月	n=2	1968.5	1224.5	1968.5
		5月	n=2	2730.5	1276.5	2730.5	5月	n=2	2066.5	1509.5	2066.5
		6月	n=2	2785.0	1353.0	2785.0	6月	n=2	2334.0	1283.0	2334.0
		7月	n=2	2961.5	1317.5	2961.5	7月	n=2	2311.0	1240.0	2311.0
		8月	n=2	2936.0	1338.0	2936.0	8月	n=2	2381.0	1333.0	2381.0
		9月	n=2	2657.5	1207.5	2657.5	9月	n=2	2362.0	1323.0	2362.0
		10月	n=2	2439.0	1586.0	2439.0	10月	n=2	2598.0	1471.0	2598.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=2	300.0	300.0	300.0	4月	n=2	223.5	223.5	223.5
		5月	n=2	299.5	299.5	299.5	5月	n=2	245.0	245.0	245.0
		6月	n=2	300.5	300.5	300.5	6月	n=2	259.0	259.0	259.0
		7月	n=2	318.0	318.0	318.0	7月	n=2	277.5	277.5	277.5
		8月	n=2	357.0	357.0	357.0	8月	n=1	0.0	0.0	0.0
		9月	n=2	310.0	310.0	310.0	9月	n=1	0.0	0.0	0.0
		10月	n=2	276.0	276.0	276.0	10月	n=1	0.0	0.0	0.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=2	725.0	725.0	725.0	4月	n=2	385.5	385.5	385.5
		5月	n=2	876.5	876.5	876.5	5月	n=2	520.5	520.5	520.5
		6月	n=2	712.0	712.0	712.0	6月	n=2	488.0	488.0	488.0
		7月	n=2	730.5	730.5	730.5	7月	n=2	580.0	580.0	580.0
		8月	n=2	886.0	886.0	886.0	8月	n=1	0.0	0.0	0.0
		9月	n=2	764.0	764.0	764.0	9月	n=2	602.5	602.5	602.5
		10月	n=2	624.5	624.5	624.5	10月	n=2	532.0	532.0	532.0

図表２－86　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

100床以上199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=8	6354.1	2514.1	6578.0	4月	n=8	5364.0	2191.7	5137.0
		5月	n=8	6378.5	2414.2	6763.0	5月	n=8	5045.5	2084.0	4983.0
		6月	n=8	6200.6	2396.4	6621.0	6月	n=8	5881.5	2354.5	5972.0
		7月	n=8	6812.5	2676.0	7103.0	7月	n=8	6218.4	2431.0	6370.0
		8月	n=8	6592.4	2611.0	6832.0	8月	n=8	6007.1	2365.5	6243.5
		9月	n=8	6245.5	2440.4	6363.0	9月	n=8	5950.9	2291.9	6151.0
		10月	n=8	6580.3	2584.1	6716.0	10月	n=8	6424.5	2470.8	6585.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=8	44.6	39.3	31.0	4月	n=8	31.0	23.2	22.5
		5月	n=8	45.5	38.4	36.0	5月	n=8	37.5	31.9	25.0
		6月	n=8	45.6	44.5	29.5	6月	n=8	42.1	31.4	34.0
		7月	n=8	49.6	34.8	36.0	7月	n=8	38.4	26.7	31.0
		8月	n=8	57.9	42.8	43.0	8月	n=8	53.4	32.9	41.0
		9月	n=8	49.9	32.6	39.0	9月	n=8	42.3	37.6	27.5
		10月	n=8	39.3	25.7	30.0	10月	n=8	49.1	40.3	35.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=8	185.8	94.7	218.5	4月	n=8	95.4	57.2	100.0
		5月	n=8	213.8	126.0	195.5	5月	n=8	142.0	75.5	139.5
		6月	n=8	160.3	82.2	181.5	6月	n=8	114.5	56.2	111.5
		7月	n=8	172.9	88.9	179.0	7月	n=8	145.9	73.3	140.0
		8月	n=8	218.9	121.4	210.0	8月	n=8	177.8	100.1	166.5
		9月	n=8	193.1	107.8	200.0	9月	n=8	145.0	76.2	143.0
		10月	n=8	149.0	89.6	151.0	10月	n=8	138.8	83.2	141.5

図表２－87　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

200床以上399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=45	12916.2	5162.0	12685.0	4月	n=45	10280.3	4029.8	9469.0
		5月	n=45	12901.4	5178.3	12483.0	5月	n=45	9317.2	3507.8	8582.0
		6月	n=45	12753.6	5198.7	12175.0	6月	n=45	11532.1	4470.1	10868.0
		7月	n=45	13847.1	5587.0	13450.0	7月	n=45	12107.6	4588.1	11672.0
		8月	n=45	13269.5	5329.4	13052.0	8月	n=45	11450.4	4365.5	11245.0
		9月	n=45	12702.7	5073.8	12313.0	9月	n=45	11852.7	4556.0	11537.0
		10月	n=45	13600.1	5253.2	13100.0	10月	n=45	12759.4	4908.9	12504.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=42	200.2	98.0	185.0	4月	n=43	155.5	91.0	144.0
		5月	n=42	206.5	105.0	180.0	5月	n=42	152.7	76.3	147.0
		6月	n=42	195.0	99.3	173.0	6月	n=43	174.7	92.6	156.0
		7月	n=42	218.3	111.9	214.0	7月	n=43	180.4	96.2	164.0
		8月	n=44	263.8	158.4	227.0	8月	n=42	216.3	106.3	189.5
		9月	n=42	206.5	109.4	183.5	9月	n=42	185.4	100.7	156.5
		10月	n=43	210.3	122.5	182.0	10月	n=42	188.6	100.8	170.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=40	371.5	270.6	297.5	4月	n=41	222.2	144.6	185.0
		5月	n=40	464.6	312.6	385.5	5月	n=41	280.8	175.4	246.0
		6月	n=40	352.7	243.9	285.5	6月	n=41	245.5	160.3	197.0
		7月	n=40	380.8	271.4	308.0	7月	n=41	297.6	197.8	248.0
		8月	n=41	471.8	361.5	357.0	8月	n=41	347.3	204.5	286.0
		9月	n=40	392.4	267.6	328.0	9月	n=41	293.3	182.8	243.0
		10月	n=41	374.0	302.9	275.0	10月	n=41	263.6	187.6	217.0

図表２－88　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=47	20737.8	6792.1	20615.0	4月	n=49	17075.5	5703.1	16133.0
		5月	n=48	20668.2	6839.6	20099.5	5月	n=49	15283.2	5067.3	14837.0
		6月	n=48	20526.5	6936.7	19902.0	6月	n=49	19272.5	6507.7	18729.0
		7月	n=48	22306.2	7555.1	21627.0	7月	n=48	19580.8	6604.0	18393.0
		8月	n=48	21127.4	7069.8	20830.0	8月	n=49	18836.6	6270.0	17644.0
		9月	n=48	20347.0	6731.9	20029.5	9月	n=48	19327.0	6379.0	18765.0
		10月	n=48	21743.7	7332.4	21110.5	10月	n=47	20515.1	6777.8	19412.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=43	219.8	108.7	209.0	4月	n=45	172.7	102.5	165.0
		5月	n=44	233.1	123.6	214.5	5月	n=43	159.7	85.3	170.0
		6月	n=43	220.4	108.3	205.0	6月	n=43	176.7	96.7	170.0
		7月	n=43	241.1	125.2	219.0	7月	n=43	201.6	107.2	180.0
		8月	n=44	274.0	142.6	258.5	8月	n=44	223.3	119.2	194.5
		9月	n=44	237.5	127.0	217.0	9月	n=43	203.2	102.4	185.0
		10月	n=43	228.5	117.7	202.0	10月	n=42	205.9	112.1	176.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=44	647.0	405.7	583.5	4月	n=45	368.3	221.7	350.0
		5月	n=43	723.6	456.1	650.0	5月	n=45	451.4	254.7	436.0
		6月	n=43	582.2	357.5	549.0	6月	n=42	382.3	213.1	388.5
		7月	n=43	621.7	390.3	583.0	7月	n=44	508.1	289.2	530.0
		8月	n=44	717.7	446.6	676.0	8月	n=45	555.0	302.6	574.0
		9月	n=44	650.1	401.6	621.5	9月	n=44	483.5	281.6	476.0
		10月	n=44	594.9	370.6	563.0	10月	n=41	419.3	234.8	422.0

図表２－89　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=76	10770.5	6415.3	10417.5	4月	n=77	8979.9	5334.0	8164.0
		5月	n=76	10718.8	6207.2	10081.0	5月	n=77	8190.9	4926.8	7650.0
		6月	n=76	10685.7	6275.1	10287.5	6月	n=77	9810.6	5950.0	9087.0
		7月	n=77	11554.7	6767.4	10703.0	7月	n=77	10298.8	6146.7	9537.0
		8月	n=77	11008.8	6480.4	10272.0	8月	n=77	9834.1	5893.7	8755.0
		9月	n=77	10554.3	6207.3	9857.0	9月	n=77	9991.3	6008.1	8861.0
		10月	n=77	11411.1	6646.7	10704.0	10月	n=77	10836.7	6398.8	9900.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=72	153.4	140.0	95.5	4月	n=73	120.8	111.6	82.0
		5月	n=72	159.8	148.9	108.5	5月	n=74	130.6	123.1	85.0
		6月	n=72	155.0	149.7	99.0	6月	n=74	133.2	124.4	96.0
		7月	n=73	168.1	159.9	106.0	7月	n=74	144.0	131.9	100.0
		8月	n=73	184.0	166.5	126.0	8月	n=74	169.2	156.5	116.5
		9月	n=73	162.8	154.0	114.0	9月	n=74	143.9	130.2	97.0
		10月	n=73	159.8	150.8	101.0	10月	n=74	146.7	132.0	97.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=68	303.0	274.9	214.0	4月	n=69	180.1	173.2	125.0
		5月	n=68	388.0	357.0	247.0	5月	n=70	249.9	243.8	168.5
		6月	n=68	278.4	266.2	184.5	6月	n=70	217.6	212.1	149.5
		7月	n=69	293.4	283.5	185.0	7月	n=70	274.9	276.2	176.0
		8月	n=70	361.9	364.5	238.5	8月	n=70	293.1	268.7	210.5
		9月	n=69	315.0	295.9	205.0	9月	n=70	255.2	242.0	163.0
		10月	n=69	295.0	279.7	188.0	10月	n=70	228.9	221.6	151.0

図表２－90　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=6	3199.3	1365.8	2872.0	4月	n=6	2117.8	854.7	2194.0
		5月	n=6	3193.8	1495.8	2798.5	5月	n=6	1886.3	742.4	1886.0
		6月	n=6	2984.5	1334.5	2686.0	6月	n=6	2251.3	904.6	2200.5
		7月	n=6	3195.8	1365.2	2928.0	7月	n=6	2561.2	1119.6	2543.5
		8月	n=6	3057.5	1419.9	2710.0	8月	n=6	2473.2	1038.0	2548.0
		9月	n=6	3031.2	1435.1	2591.5	9月	n=6	2472.5	1043.7	2503.5
		10月	n=6	3136.5	1350.4	2919.5	10月	n=6	2804.2	1293.1	2851.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=6	59.5	63.7	41.0	4月	n=6	53.0	57.6	27.0
		5月	n=6	57.0	69.9	29.0	5月	n=6	50.2	57.3	28.0
		6月	n=6	50.7	65.6	24.5	6月	n=6	58.0	61.9	32.5
		7月	n=6	53.0	62.3	33.0	7月	n=6	59.5	76.3	20.0
		8月	n=6	53.5	53.5	41.5	8月	n=6	73.7	89.3	30.5
		9月	n=6	45.8	49.1	33.0	9月	n=6	62.0	76.7	28.5
		10月	n=6	42.5	42.5	28.0	10月	n=6	64.2	70.3	34.5
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=5	75.2	51.3	84.0	4月	n=6	145.2	222.1	57.5
		5月	n=5	108.6	80.7	119.0	5月	n=6	163.3	238.7	82.5
		6月	n=5	63.4	52.8	60.0	6月	n=6	168.3	277.6	62.5
		7月	n=5	77.2	67.1	77.0	7月	n=6	223.5	370.7	71.5
		8月	n=6	390.2	646.9	119.5	8月	n=6	235.0	357.8	101.5
		9月	n=5	80.6	75.1	86.0	9月	n=6	219.2	355.9	79.0
		10月	n=5	78.6	66.4	91.0	10月	n=6	205.0	347.6	63.0

図表２－91　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

100床以上199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=24	6279.1	2560.8	5423.5	4月	n=25	5364.5	2175.6	4430.0
		5月	n=24	6139.8	2484.5	5298.5	5月	n=25	4866.4	1898.0	4230.0
		6月	n=24	5989.4	2413.3	5398.5	6月	n=25	5631.6	2257.6	5054.0
		7月	n=25	6610.8	2649.7	5736.0	7月	n=25	5883.4	2320.4	5303.0
		8月	n=25	6257.2	2456.7	5655.0	8月	n=25	5660.1	2237.8	4994.0
		9月	n=25	5975.4	2351.5	5302.0	9月	n=25	5720.2	2274.8	5076.0
		10月	n=25	6515.9	2601.7	5792.0	10月	n=25	6239.0	2526.5	5746.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=24	54.8	56.3	37.0	4月	n=25	48.2	42.9	30.0
		5月	n=24	54.0	49.6	34.5	5月	n=25	51.8	45.1	31.0
		6月	n=24	53.6	51.4	42.0	6月	n=25	51.4	45.5	27.0
		7月	n=25	61.1	55.3	49.0	7月	n=25	55.6	49.3	38.0
		8月	n=25	70.8	64.9	57.0	8月	n=25	68.7	61.0	42.0
		9月	n=25	56.7	47.2	47.0	9月	n=25	58.8	56.5	39.0
		10月	n=25	58.7	54.3	44.0	10月	n=25	59.0	51.3	44.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=23	123.0	90.8	123.0	4月	n=24	79.7	65.7	70.5
		5月	n=23	160.8	120.4	139.0	5月	n=24	119.3	93.3	102.0
		6月	n=23	109.5	80.4	95.0	6月	n=24	92.5	77.5	79.5
		7月	n=24	113.0	81.9	102.5	7月	n=24	106.5	85.8	95.0
		8月	n=24	137.8	88.4	141.5	8月	n=24	134.5	107.2	112.5
		9月	n=24	128.3	84.8	103.5	9月	n=24	119.0	96.3	101.0
		10月	n=24	119.7	77.7	111.0	10月	n=24	101.2	85.3	80.5

図表２－92　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

200床以上399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=30	11258.5	4184.1	11206.5	4月	n=30	9416.8	3243.2	9252.0
		5月	n=30	11428.0	3738.8	10924.0	5月	n=30	8648.7	3198.1	8219.0
		6月	n=30	11465.9	3690.1	11049.5	6月	n=30	10462.1	3576.2	9757.5
		7月	n=30	12433.0	4026.9	11918.0	7月	n=30	11004.5	3647.6	10154.0
		8月	n=30	11859.5	3893.5	11172.0	8月	n=30	10531.4	3585.3	9741.5
		9月	n=30	11366.7	3728.8	10615.0	9月	n=30	10679.8	3628.1	10067.5
		10月	n=30	12393.5	4042.5	11477.0	10月	n=30	11601.7	3764.3	10915.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=28	187.9	119.4	174.5	4月	n=29	151.9	95.8	138.0
		5月	n=28	203.0	134.8	189.0	5月	n=29	159.6	110.9	160.0
		6月	n=28	191.4	122.7	186.0	6月	n=29	164.7	107.7	175.0
		7月	n=28	205.2	128.6	198.0	7月	n=29	174.6	112.2	184.0
		8月	n=28	229.1	139.3	233.5	8月	n=29	199.1	131.1	168.0
		9月	n=28	203.7	128.2	186.0	9月	n=29	177.2	120.0	158.0
		10月	n=28	197.8	125.3	174.0	10月	n=29	174.9	113.3	191.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=26	355.7	242.7	321.0	4月	n=25	183.2	115.1	146.0
		5月	n=26	463.5	335.1	401.5	5月	n=26	265.2	204.4	214.5
		6月	n=26	321.9	220.6	271.5	6月	n=26	239.3	169.3	197.5
		7月	n=26	334.9	222.1	313.0	7月	n=26	323.1	263.3	286.0
		8月	n=26	390.4	269.7	360.5	8月	n=26	318.3	204.5	295.0
		9月	n=26	358.6	246.3	310.0	9月	n=26	270.2	186.9	242.0
		10月	n=26	337.8	225.4	274.0	10月	n=26	243.2	164.1	234.0

図表２－93　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=16	19431.7	4991.5	17864.0	4月	n=16	16382.9	4035.7	14772.0
		5月	n=16	19079.4	4814.1	17782.0	5月	n=16	14891.4	3786.7	13573.0
		6月	n=16	19155.0	4889.7	17765.5	6月	n=16	17953.3	4723.2	16710.0
		7月	n=16	20767.1	5255.6	19206.0	7月	n=16	18776.3	4720.0	17391.5
		8月	n=16	19819.8	5051.4	18578.0	8月	n=16	17808.6	4774.0	16580.5
		9月	n=16	19006.8	4824.7	17710.5	9月	n=16	18193.3	4762.1	16738.5
		10月	n=16	20321.0	5137.3	19198.0	10月	n=16	19598.4	4978.7	18511.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=14	293.9	150.1	286.0	4月	n=13	222.3	140.5	224.0
		5月	n=14	299.1	156.7	322.0	5月	n=14	245.6	144.2	241.5
		6月	n=14	300.6	180.6	315.5	6月	n=14	246.6	152.2	220.5
		7月	n=14	334.3	191.2	319.0	7月	n=14	275.0	151.5	246.0
		8月	n=14	351.6	186.1	360.0	8月	n=14	327.4	186.9	283.5
		9月	n=14	320.4	177.7	298.5	9月	n=14	261.9	139.7	232.0
		10月	n=14	314.5	173.8	339.5	10月	n=14	280.4	150.2	297.5
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=14	582.1	297.0	528.0	4月	n=14	361.9	211.4	318.5
		5月	n=14	720.6	387.9	717.5	5月	n=14	482.4	305.4	365.5
		6月	n=14	551.6	317.3	454.5	6月	n=14	412.8	247.9	331.5
		7月	n=14	603.1	345.9	500.0	7月	n=14	496.1	279.7	400.5
		8月	n=14	681.1	383.1	599.5	8月	n=14	543.2	317.1	421.5
		9月	n=14	637.8	342.5	504.0	9月	n=14	476.1	275.9	386.5
		10月	n=14	593.1	342.9	503.0	10月	n=14	431.4	248.2	362.5

図表２－94　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

全体

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=115	4653.3	5479.7	2949.0	4月	n=116	3776.5	4387.4	2441.0
		5月	n=114	4579.0	5319.1	2970.0	5月	n=115	3493.1	4050.5	2226.0
		6月	n=114	4601.4	5393.0	2896.0	6月	n=116	4165.7	4917.1	2606.0
		7月	n=114	4975.9	5787.9	3153.0	7月	n=116	4338.9	5136.8	2705.5
		8月	n=114	4711.0	5539.7	2879.5	8月	n=116	4147.6	4918.8	2593.0
		9月	n=114	4550.4	5331.9	2786.0	9月	n=117	4241.3	5060.7	2750.0
		10月	n=114	4856.3	5589.1	3019.0	10月	n=117	4616.1	5384.6	2993.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=101	57.1	105.2	7.0	4月	n=103	44.1	84.6	8.0
		5月	n=102	57.4	105.6	6.5	5月	n=102	45.4	87.2	6.5
		6月	n=101	54.1	100.0	8.0	6月	n=102	48.3	92.9	7.0
		7月	n=101	60.8	113.2	7.0	7月	n=102	53.4	100.3	8.5
		8月	n=101	67.7	122.2	10.0	8月	n=102	64.8	124.9	11.0
		9月	n=101	60.0	110.8	8.0	9月	n=103	50.7	92.4	7.0
		10月	n=102	57.9	107.0	7.0	10月	n=102	54.0	101.8	7.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=102	103.2	232.2	29.0	4月	n=101	59.5	114.8	17.0
		5月	n=102	114.8	222.8	34.5	5月	n=103	73.6	139.0	21.0
		6月	n=102	84.8	168.4	23.5	6月	n=103	58.8	116.3	16.0
		7月	n=102	95.0	187.3	29.0	7月	n=103	79.7	160.2	25.0
		8月	n=103	105.6	207.9	35.0	8月	n=102	88.8	176.8	22.5
		9月	n=102	103.2	203.7	32.0	9月	n=104	77.4	161.2	22.0
		10月	n=103	87.8	173.6	27.0	10月	n=103	67.3	132.3	17.0

図表２－95　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

99床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=39	2234.3	1535.9	1790.0	4月	n=40	1851.6	1273.1	1652.0
		5月	n=39	2191.0	1477.3	1973.0	5月	n=39	1706.6	1169.8	1416.0
		6月	n=39	2176.8	1491.9	1766.0	6月	n=40	2023.4	1379.8	1661.0
		7月	n=39	2376.8	1603.3	1873.0	7月	n=40	2054.1	1355.5	1716.5
		8月	n=39	2209.6	1518.8	1804.0	8月	n=40	1992.9	1358.7	1630.5
		9月	n=39	2174.3	1458.2	1845.0	9月	n=40	2038.7	1396.0	1672.0
		10月	n=39	2345.5	1572.0	1928.0	10月	n=40	2300.0	1528.5	1841.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=30	10.0	18.0	1.5	4月	n=31	8.3	12.8	3.0
		5月	n=30	10.2	19.1	2.0	5月	n=31	8.8	14.7	2.0
		6月	n=30	7.2	11.1	2.5	6月	n=31	9.6	15.5	2.0
		7月	n=30	8.7	15.2	1.5	7月	n=31	10.4	15.3	2.0
		8月	n=30	11.1	18.5	2.5	8月	n=31	10.0	13.7	3.0
		9月	n=30	11.4	20.0	2.5	9月	n=31	9.0	12.8	2.0
		10月	n=30	10.2	18.2	2.5	10月	n=30	9.9	15.8	2.5
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=31	28.5	44.1	10.0	4月	n=31	16.7	22.1	6.0
		5月	n=31	39.0	57.0	14.0	5月	n=31	25.4	33.9	11.0
		6月	n=31	27.5	47.0	13.0	6月	n=31	18.9	24.1	11.0
		7月	n=31	27.4	38.2	11.0	7月	n=31	24.8	35.8	9.0
		8月	n=31	32.3	48.2	12.0	8月	n=31	26.9	41.3	8.0
		9月	n=31	32.9	41.9	13.0	9月	n=31	22.6	34.1	13.0
		10月	n=31	26.2	36.9	9.0	10月	n=31	20.5	28.0	9.0

図表２－96　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

100床以上199床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=51	3835.1	3272.3	3364.0	4月	n=51	3101.6	2530.8	2821.0
		5月	n=50	3805.6	3188.7	3416.5	5月	n=51	2863.8	2396.0	2391.0
		6月	n=50	3839.4	3252.7	3324.5	6月	n=51	3385.7	2867.6	3022.0
		7月	n=50	4154.5	3474.6	3696.0	7月	n=51	3575.7	2992.9	3124.0
		8月	n=50	3922.8	3325.6	3402.0	8月	n=51	3400.5	2893.8	2859.0
		9月	n=50	3792.9	3175.4	3236.5	9月	n=51	3526.9	2947.4	3041.0
		10月	n=50	4068.3	3392.7	3463.0	10月	n=51	3865.6	3262.6	3495.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=45	39.9	80.7	9.0	4月	n=46	28.3	55.7	8.5
		5月	n=46	41.5	86.9	8.0	5月	n=45	27.4	55.2	7.0
		6月	n=45	37.4	73.6	10.0	6月	n=45	28.9	58.6	7.0
		7月	n=45	41.9	83.4	8.0	7月	n=45	34.3	68.9	8.0
		8月	n=45	47.2	91.1	12.0	8月	n=45	40.9	83.3	12.0
		9月	n=45	41.4	82.6	12.0	9月	n=45	35.1	69.4	6.0
		10月	n=46	39.2	79.3	7.5	10月	n=45	35.9	77.5	7.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=46	53.2	63.9	33.5	4月	n=45	36.2	53.4	19.0
		5月	n=47	74.6	91.8	37.0	5月	n=47	41.0	49.8	20.0
		6月	n=46	45.9	61.3	24.0	6月	n=47	30.5	38.6	19.0
		7月	n=46	50.0	60.7	30.5	7月	n=47	40.9	50.9	25.0
		8月	n=47	59.1	72.5	35.0	8月	n=46	46.9	59.5	23.5
		9月	n=46	54.8	66.4	35.0	9月	n=47	40.9	51.9	25.0
		10月	n=47	47.4	59.2	34.0	10月	n=46	35.1	46.7	24.5

図表２－97　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

200床以上399床以下

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=18	9139.8	8686.0	5830.0	4月	n=18	7257.1	6810.3	4721.0
		5月	n=18	8887.9	8317.3	5828.5	5月	n=18	6816.2	6424.8	4572.5
		6月	n=18	9018.3	8533.9	5911.0	6月	n=18	8134.1	7697.0	5238.0
		7月	n=18	9605.4	9092.9	6237.0	7月	n=18	8479.4	8003.2	5557.5
		8月	n=18	9171.2	8678.4	5979.0	8月	n=18	8221.9	7802.6	5394.0
		9月	n=18	8720.4	8289.6	5628.5	9月	n=19	7974.6	8031.8	4741.0
		10月	n=18	9300.9	8777.7	5986.5	10月	n=19	8535.8	8535.0	5208.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=18	123.7	144.3	60.5	4月	n=18	100.9	127.1	44.0
		5月	n=18	122.3	138.3	64.0	5月	n=18	101.7	124.8	53.5
		6月	n=18	118.7	136.4	69.0	6月	n=18	109.4	133.9	42.0
		7月	n=18	134.4	159.6	66.5	7月	n=18	121.8	146.5	60.5
		8月	n=18	146.0	165.6	81.0	8月	n=18	149.4	179.7	74.5
		9月	n=18	134.3	160.7	64.0	9月	n=19	106.8	124.0	37.0
		10月	n=18	128.7	150.4	51.5	10月	n=19	117.7	141.7	41.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=18	238.5	368.5	81.5	4月	n=18	136.8	167.9	77.5
		5月	n=17	204.4	236.5	108.0	5月	n=18	163.5	190.4	83.0
		6月	n=18	186.3	220.8	73.5	6月	n=18	134.7	159.2	67.0
		7月	n=18	218.1	262.1	95.0	7月	n=18	188.8	236.5	94.5
		8月	n=18	220.2	252.3	102.0	8月	n=18	203.4	241.9	100.5
		9月	n=18	238.7	287.9	124.5	9月	n=19	174.9	243.1	84.0
		10月	n=18	206.1	239.7	108.5	10月	n=19	153.7	187.3	103.0

図表２－98　各１か月間の外来延べ患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
その他

（単位：人）

400床以上

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=4	18593.3	3615.1	17548.5	4月	n=4	15830.8	2913.8	14433.0
		5月	n=4	18299.0	3345.9	17779.0	5月	n=4	13972.8	1855.2	13116.0
		6月	n=4	18119.5	3379.2	17366.0	6月	n=4	17486.5	2762.1	16514.0
		7月	n=4	19865.8	3652.8	18865.0	7月	n=4	18384.0	3141.2	17311.5
		8月	n=4	18979.8	3498.5	17869.5	8月	n=4	16975.5	3024.8	15838.0
		9月	n=4	18575.8	4043.9	17193.5	9月	n=4	17764.8	2803.9	16858.0
		10月	n=4	19285.5	2910.5	18778.0	10月	n=4	18749.0	2954.9	17711.5
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=5	282.2	62.3	289.0	4月	n=5	228.2	55.8	232.0
		5月	n=5	281.8	65.7	295.0	5月	n=5	251.4	67.8	254.0
		6月	n=5	278.2	56.9	289.0	6月	n=5	266.8	64.6	303.0
		7月	n=5	306.8	45.7	276.0	7月	n=5	270.8	60.1	300.0
		8月	n=5	343.0	58.8	332.0	8月	n=5	346.0	88.2	342.0
		9月	n=5	283.0	52.3	294.0	9月	n=5	261.0	52.7	286.0
		10月	n=5	289.0	52.4	299.0	10月	n=5	266.0	58.9	290.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=4	717.5	404.4	680.5	4月	n=4	345.8	197.1	350.0
		5月	n=4	870.3	477.2	818.5	5月	n=4	467.8	267.1	487.5
		6月	n=4	575.3	330.7	597.0	6月	n=4	401.5	211.9	428.5
		7月	n=4	635.0	329.7	596.0	7月	n=4	518.0	280.8	545.5
		8月	n=4	757.8	435.6	788.0	8月	n=4	586.8	344.8	630.5
		9月	n=4	659.3	397.3	646.5	9月	n=4	519.0	268.0	532.5
		10月	n=4	569.0	343.2	556.0	10月	n=4	434.8	225.9	468.5

図表２－99　各１か月間の外来延べ患者数
（医師事務作業補助体制加算の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出有り

（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=280	11154.1	7830.5	9246.5	4月	n=283	9159.6	6469.9	7849.0
		5月	n=281	11107.3	7783.1	9325.0	5月	n=282	8313.3	5770.7	7082.0
		6月	n=281	11043.9	7776.0	9152.0	6月	n=283	10161.1	7257.1	8667.0
		7月	n=282	11968.4	8433.8	9935.0	7月	n=282	10528.6	7419.3	8929.5
		8月	n=282	11401.1	7988.8	9583.5	8月	n=282	10065.7	7074.5	8628.0
		9月	n=282	10949.1	7673.7	9227.5	9月	n=282	10310.1	7258.5	8629.0
		10月	n=281	11750.8	8207.4	10185.0	10月	n=281	11060.2	7710.2	9421.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=263	146.2	133.9	119.0	4月	n=267	114.2	109.7	83.0
		5月	n=264	152.0	141.1	120.0	5月	n=265	115.0	109.4	84.0
		6月	n=263	144.6	135.9	112.0	6月	n=266	124.2	118.0	99.0
		7月	n=264	159.5	149.9	117.0	7月	n=266	134.7	125.9	104.5
		8月	n=267	182.0	169.5	136.0	8月	n=265	157.7	145.6	123.0
		9月	n=265	154.4	144.9	122.0	9月	n=264	134.0	122.1	110.0
		10月	n=265	151.6	142.5	108.0	10月	n=262	137.1	126.1	103.5
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=254	320.7	343.3	209.5	4月	n=258	191.1	199.0	117.0
		5月	n=252	383.5	390.4	245.0	5月	n=259	243.0	245.2	156.0
		6月	n=253	289.1	304.9	191.0	6月	n=256	204.8	210.4	132.0
		7月	n=254	309.8	328.7	194.0	7月	n=258	265.8	277.2	170.5
		8月	n=257	370.3	396.7	242.0	8月	n=258	292.1	285.7	207.5
		9月	n=255	328.5	341.9	217.0	9月	n=258	255.2	261.8	163.0
		10月	n=256	301.8	320.9	189.5	10月	n=255	223.5	232.1	150.0

■医師事務作業補助体制加算の届出無し

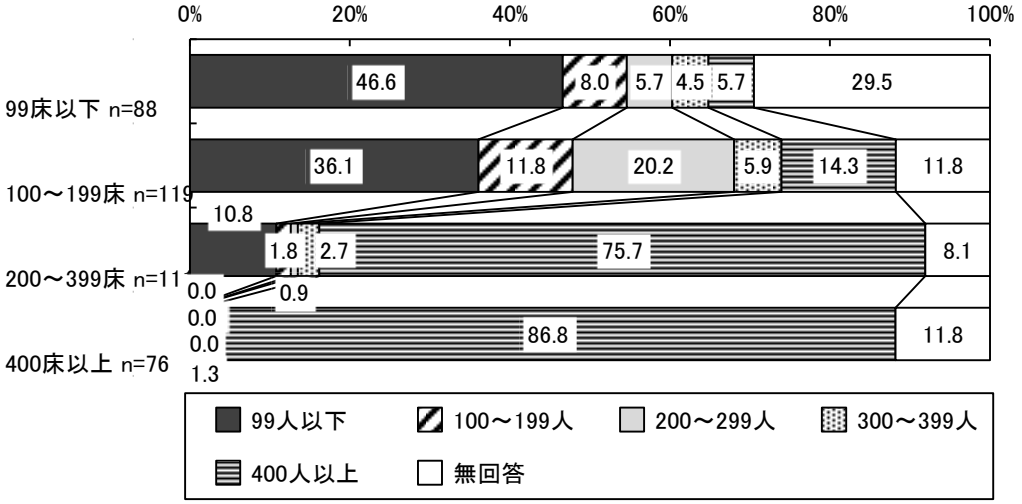
（単位：人）

		令和元年					令和2年				
				平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
外来延べ患者数		4月	n=94	2146.9	2486.9	1396.5	4月	n=95	1735.5	1947.5	1194.0
		5月	n=93	2117.8	2463.2	1396.0	5月	n=95	1572.3	1810.7	1096.0
		6月	n=93	2118.5	2447.6	1396.0	6月	n=95	1916.5	2226.7	1253.0
		7月	n=93	2297.8	2667.1	1494.0	7月	n=95	1996.0	2331.4	1319.0
		8月	n=93	2145.8	2554.6	1473.0	8月	n=95	1886.7	2191.0	1230.0
		9月	n=93	2077.0	2417.4	1442.0	9月	n=96	1912.8	2266.5	1223.0
		10月	n=93	2230.8	2586.3	1443.0	10月	n=96	2129.7	2483.8	1357.0
	うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=68	12.0	36.2	0.0	4月	n=70	9.9	34.9	0.0
		5月	n=69	11.6	38.9	0.0	5月	n=69	9.9	35.3	0.0
		6月	n=68	10.6	38.8	0.0	6月	n=70	11.1	38.6	0.0
		7月	n=68	12.2	42.5	0.0	7月	n=70	10.6	37.0	0.0
		8月	n=68	15.3	56.7	0.0	8月	n=69	12.4	44.6	0.0
		9月	n=69	11.9	40.5	0.0	9月	n=71	9.9	34.8	0.0
		10月	n=69	11.4	38.5	0.0	10月	n=70	10.9	36.9	0.0
	うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=67	33.2	119.2	1.0	4月	n=66	22.3	80.8	2.0
		5月	n=68	45.4	169.4	2.0	5月	n=68	28.3	116.3	1.5
		6月	n=67	28.6	112.9	1.0	6月	n=68	21.9	82.2	1.0
		7月	n=67	33.8	124.9	1.0	7月	n=68	28.0	105.4	1.0
		8月	n=68	36.7	132.7	1.5	8月	n=67	27.6	103.2	2.0
		9月	n=67	35.3	127.6	1.0	9月	n=69	24.6	97.3	1.0
		10月	n=68	33.0	117.8	1.0	10月	n=68	23.7	91.7	1.0

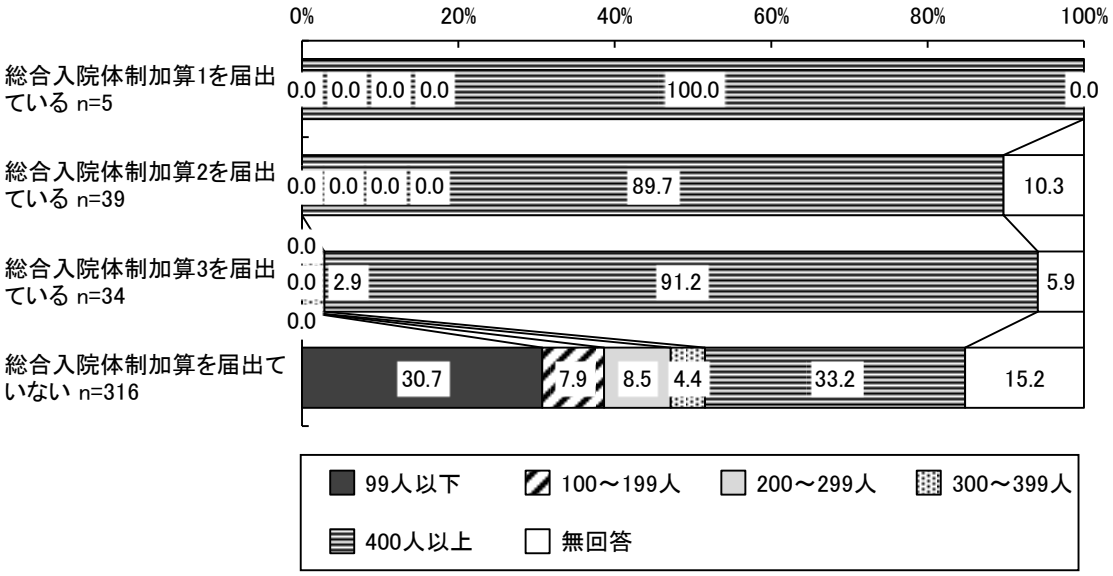
【うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数】

うち緊急自動者等により搬送された延べ患者数についてみると、99 床以下は「99 人以下」（46.6%）、100～199 床でも同じく「99 人以下」（36.1%）が最も多かった。200～399 床では「400 人以上」（75.7%）、400 床以上でも同じく「400 人以上」（86.8%）が最も多かった。

図表 2 - 100　うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数（病床数別）



図表 2 - 101　緊急自動車等により搬送された延べ患者数（総合入院体制加算届出有無別）



3） 分娩件数

分娩件数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 102　各 1 か月間の分娩件数

（単位:件）

	令和元年					令和2年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
分娩件数	4月	n=322	14.3	25.6	0.0	4月	n=323	13.5	23.1	0.0
	5月	n=322	15.8	33.4	0.0	5月	n=323	13.1	23.7	0.0
	6月	n=322	14.2	24.8	0.0	6月	n=323	14.2	25.7	0.0
	7月	n=323	14.9	26.5	0.0	7月	n=323	14.2	25.8	0.0
	8月	n=323	15.3	27.6	0.0	8月	n=324	13.6	24.1	0.0
	9月	n=323	14.7	27.3	0.0	9月	n=321	13.5	24.2	0.0
	10月	n=323	15.0	26.8	0.0	10月	n=323	13.5	23.6	0.0

図表 2 - 103　各 1 か月間の分娩件数（病床数別）【99 床以下】

（単位:件）

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
分娩件数	4月	n=61	5.6	20.8	0.0	4月	n=61	5.3	19.7	0.0
	5月	n=61	6.4	24.1	0.0	5月	n=61	5.4	21.6	0.0
	6月	n=61	5.6	20.6	0.0	6月	n=61	5.9	21.9	0.0
	7月	n=61	5.8	21.0	0.0	7月	n=61	6.7	25.9	0.0
	8月	n=61	5.7	20.2	0.0	8月	n=61	6.0	22.2	0.0
	9月	n=61	5.3	19.3	0.0	9月	n=61	5.7	20.9	0.0
	10月	n=61	5.2	20.9	0.0	10月	n=61	5.3	20.3	0.0

図表 2 - 104　各 1 か月間の分娩件数（病床数別）【100～199 床以下】

（単位:件）

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
分娩件数	4月	n=85	1.3	5.9	0.0	4月	n=86	0.8	3.6	0.0
	5月	n=85	1.1	5.3	0.0	5月	n=86	1.0	4.7	0.0
	6月	n=85	1.3	6.2	0.0	6月	n=86	1.0	4.2	0.0
	7月	n=86	1.1	5.2	0.0	7月	n=86	1.2	4.9	0.0
	8月	n=86	1.6	7.0	0.0	8月	n=86	1.3	5.8	0.0
	9月	n=86	1.3	5.8	0.0	9月	n=84	0.9	4.4	0.0
	10月	n=86	1.1	5.1	0.0	10月	n=86	1.2	5.3	0.0

図表 2 - 105　各 1 か月間の分娩件数（病床数別）【200～399 床以下】

（単位:件）

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
分娩件数	4月	n=93	14.8	22.8	0.0	4月	n=93	15.3	24.2	0.0
	5月	n=93	15.4	24.5	0.0	5月	n=93	14.2	25.3	0.0
	6月	n=93	14.6	23.5	0.0	6月	n=93	15.3	28.7	0.0
	7月	n=93	15.7	25.2	0.0	7月	n=93	14.6	25.2	0.0
	8月	n=93	16.1	27.8	0.0	8月	n=94	15.0	25.9	0.0
	9月	n=93	15.4	25.8	0.0	9月	n=94	15.1	26.0	0.0
	10月	n=93	15.3	25.1	0.0	10月	n=93	15.0	24.8	0.0

図表２-106　各１か月間の分娩件数（病床数別）【400 床以上】

（単位：件）

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
分娩件数	4月	n=74	34.1	32.0	25.0	4月	n=74	30.9	23.9	28.5
	5月	n=74	38.8	50.3	28.0	5月	n=74	30.1	24.4	25.0
	6月	n=74	34.3	29.1	28.0	6月	n=74	33.1	26.4	31.5
	7月	n=74	35.2	31.4	28.0	7月	n=74	32.9	27.9	27.0
	8月	n=74	36.3	33.0	28.5	8月	n=74	30.5	24.6	25.0
	9月	n=74	35.4	35.3	26.0	9月	n=73	30.7	25.4	25.0
	10月	n=74	36.4	31.8	30.0	10月	n=74	30.8	25.7	24.5

図表２-107　各１か月間の分娩件数（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：件）

	令和元年					令和2年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	4月	n=102	30.0	32.9	22.5	4月	n=102	27.6	27.7	21.5
	5月	n=102	33.5	47.4	22.0	5月	n=102	25.7	28.4	19.5
	6月	n=102	29.7	30.6	21.5	6月	n=102	28.6	32.6	22.5
	7月	n=102	31.0	33.3	25.5	7月	n=102	27.4	30.5	19.0
	8月	n=102	31.5	35.7	23.0	8月	n=102	27.0	29.4	19.5
	9月	n=102	30.9	35.8	23.5	9月	n=101	26.6	29.7	20.0
	10月	n=102	31.4	33.9	24.0	10月	n=102	26.6	28.4	19.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	4月	n=67	10.5	15.8	0.0	4月	n=68	10.6	16.9	0.0
	5月	n=67	10.9	16.6	0.0	5月	n=68	10.5	16.9	0.0
	6月	n=67	10.3	15.7	0.0	6月	n=68	11.3	17.7	0.0
	7月	n=68	11.2	17.4	0.0	7月	n=68	11.7	19.3	0.0
	8月	n=68	11.8	17.8	0.0	8月	n=68	10.7	16.9	0.0
	9月	n=68	10.5	16.3	0.0	9月	n=67	10.5	16.9	0.0
	10月	n=68	11.2	16.9	0.0	10月	n=68	11.1	18.1	0.0
その他	4月	n=92	5.0	16.7	0.0	4月	n=92	4.8	16.0	0.0
	5月	n=92	5.5	18.9	0.0	5月	n=92	4.8	16.7	0.0
	6月	n=92	5.0	17.0	0.0	6月	n=92	5.2	17.1	0.0
	7月	n=92	5.3	17.7	0.0	7月	n=92	5.9	20.0	0.0
	8月	n=92	5.4	17.8	0.0	8月	n=93	5.3	17.7	0.0
	9月	n=92	5.1	17.2	0.0	9月	n=93	5.4	18.0	0.0
	10月	n=92	5.2	17.0	0.0	10月	n=92	5.1	17.0	0.0

4）全身麻酔による手術件数

全身麻酔による手術件数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 108　各１か月間の全身麻酔による手術件数

（単位：件）

	令和元年					令和2年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
全身麻酔による手術件数	4月	n=352	88.7	105.9	47.0	4月	n=354	78.1	94.2	40.0
	5月	n=353	83.0	97.8	44.0	5月	n=354	62.9	75.2	34.0
	6月	n=353	89.0	104.4	46.0	6月	n=353	82.9	98.5	44.0
	7月	n=354	97.2	115.1	47.5	7月	n=354	91.9	110.5	45.0
	8月	n=353	95.5	113.1	46.0	8月	n=354	88.2	105.9	41.0
	9月	n=354	85.7	100.7	42.5	9月	n=355	87.6	105.9	43.0
	10月	n=354	95.0	111.7	47.5	10月	n=355	96.6	115.5	49.0

図表 2 - 109　各１か月間の全身麻酔による手術件数（病床別）【99 床以下】

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
全身麻酔による手術件数	4月	n=70	14.8	43.7	1.0	4月	n=70	12.1	40.0	0.0
	5月	n=70	13.6	39.5	0.0	5月	n=70	10.3	32.6	0.0
	6月	n=70	14.0	43.5	0.0	6月	n=70	12.5	37.8	0.0
	7月	n=70	15.2	46.8	1.0	7月	n=70	12.1	36.9	0.0
	8月	n=70	15.3	49.1	0.0	8月	n=70	11.7	37.6	0.0
	9月	n=70	13.1	42.1	0.0	9月	n=70	13.1	41.7	0.0
	10月	n=70	15.1	44.5	0.5	10月	n=70	13.9	41.1	0.0

図表 2 - 110　各１か月間の全身麻酔による手術件数（病床別）【100～199 床以下】

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
全身麻酔による手術件数	4月	n=98	24.0	37.7	15.0	4月	n=99	22.0	34.6	13.0
	5月	n=98	22.8	34.6	13.0	5月	n=99	18.0	28.3	10.0
	6月	n=98	23.9	34.0	13.5	6月	n=99	23.6	35.8	15.0
	7月	n=99	25.3	35.3	16.0	7月	n=99	24.6	37.8	15.0
	8月	n=98	24.2	34.5	14.0	8月	n=99	23.0	33.8	13.0
	9月	n=99	22.7	34.5	12.0	9月	n=99	23.5	34.9	17.0
	10月	n=99	26.3	39.2	14.0	10月	n=99	25.6	38.3	17.0

図表 2 - 111　各１か月間の全身麻酔による手術件数（病床別）【200～399 床以下】

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
全身麻酔による手術件数	4月	n=99	101.5	70.0	93.0	4月	n=100	89.9	62.7	87.0
	5月	n=100	98.7	69.8	92.0	5月	n=100	73.1	53.9	62.5
	6月	n=100	104.1	72.0	96.0	6月	n=100	95.6	67.2	86.5
	7月	n=100	114.6	82.0	106.5	7月	n=100	107.0	76.8	92.5
	8月	n=100	110.4	77.3	103.5	8月	n=100	103.4	72.6	96.0
	9月	n=100	100.6	70.8	94.5	9月	n=101	100.2	72.6	93.0
	10月	n=100	111.4	76.4	103.0	10月	n=101	111.5	77.1	103.0

図表 2 - 112　各１か月間の全身麻酔による手術件数（病床別）【400 床以上】

	令和元年					令和２年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
全身麻酔による手術件数	4月	n=75	209.4	96.7	194.0	4月	n=75	184.1	88.9	171.0
	5月	n=75	191.7	89.4	177.0	5月	n=75	147.4	69.0	144.0
	6月	n=75	209.0	93.2	193.0	6月	n=74	197.9	91.4	180.0
	7月	n=75	228.9	103.1	215.0	7月	n=75	220.2	103.8	210.0
	8月	n=75	226.8	97.2	213.0	8月	n=75	210.5	99.4	196.0
	9月	n=75	202.6	87.2	189.0	9月	n=75	210.4	101.3	197.0
	10月	n=75	220.9	98.1	206.0	10月	n=75	231.8	109.5	222.0

図表 2 - 113　各１か月間の全身麻酔による手術件数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

	令和元年					令和2年				
			平均値	標準偏差	中央値			平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	4月	n=107	172.4	110.2	159.0	4月	n=108	149.4	97.1	133.0
	5月	n=108	160.8	100.4	145.0	5月	n=108	118.4	77.8	103.5
	6月	n=108	173.6	107.9	156.5	6月	n=108	158.6	98.2	143.5
	7月	n=108	189.8	119.6	175.0	7月	n=108	174.5	109.9	157.5
	8月	n=108	186.6	113.2	166.0	8月	n=108	168.9	103.8	148.0
	9月	n=108	168.1	100.8	147.0	9月	n=108	169.6	105.0	150.0
	10月	n=108	184.0	113.9	161.0	10月	n=108	185.6	114.2	160.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	4月	n=71	84.7	79.7	64.0	4月	n=72	81.9	89.5	55.5
	5月	n=71	80.8	76.6	58.0	5月	n=72	66.0	68.8	51.0
	6月	n=71	85.7	79.2	61.0	6月	n=72	84.9	90.1	71.0
	7月	n=72	93.9	87.1	69.0	7月	n=72	94.5	101.7	70.0
	8月	n=71	91.6	85.3	64.0	8月	n=72	89.5	98.3	56.0
	9月	n=72	81.4	76.8	61.5	9月	n=72	87.8	99.5	60.5
	10月	n=72	92.2	85.7	67.0	10月	n=72	96.8	106.2	65.0
その他	4月	n=103	34.0	64.1	7.0	4月	n=103	30.4	54.3	6.0
	5月	n=103	31.5	59.5	6.0	5月	n=103	24.9	45.2	4.0
	6月	n=103	33.8	61.5	5.0	6月	n=102	30.9	56.1	6.0
	7月	n=103	36.2	68.2	7.0	7月	n=103	36.1	67.9	7.0
	8月	n=103	35.4	68.7	7.0	8月	n=103	33.5	61.8	6.0
	9月	n=103	32.8	62.1	7.0	9月	n=104	32.7	59.7	5.5
	10月	n=103	36.1	68.1	7.0	10月	n=104	37.5	67.8	6.5

図表２－114　各１か月における入院延べ患者数、外来延べ患者数、分娩件数、全身麻酔による手術件数の総合計（２ヶ年、全項目回答ありの施設対象）

		N	合計		指数		
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準
入院延べ患者数	4月	n=218	1,347,019	1,185,250	88.0%	1.00	0.88
	5月	n=218	1,358,891	1,142,681	84.1%	1.01	0.85
	6月	n=218	1,325,431	1,170,290	88.3%	0.98	0.87
	7月	n=218	1,368,469	1,252,078	91.5%	1.02	0.93
	8月	n=218	1,376,088	1,268,375	92.2%	1.02	0.94
	9月	n=218	1,312,002	1,220,444	93.0%	0.97	0.91
	10月	n=218	1,350,429	1,280,896	94.9%	1.00	0.95
うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=218	942,638	814,773	86.4%	1.00	0.86
	5月	n=218	959,692	778,553	81.1%	1.02	0.83
	6月	n=218	937,253	810,107	86.4%	0.99	0.86
	7月	n=218	966,305	868,613	89.9%	1.03	0.92
	8月	n=218	955,676	880,808	92.2%	1.01	0.93
	9月	n=218	924,667	850,337	92.0%	0.98	0.90
	10月	n=218	950,869	895,290	94.2%	1.01	0.95
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=218	23,643	19,155	81.0%	1.00	0.81
	5月	n=218	27,956	22,979	82.2%	1.18	0.97
	6月	n=218	23,790	20,532	86.3%	1.01	0.87
	7月	n=218	25,274	23,261	92.0%	1.07	0.98
	8月	n=218	27,220	25,562	93.9%	1.15	1.08
	9月	n=218	25,792	22,720	88.1%	1.09	0.96
	10月	n=218	25,754	23,816	92.5%	1.09	1.01
うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=218	23,567	19,859	84.3%	1.00	0.84
	5月	n=218	25,166	21,202	84.2%	1.07	0.90
	6月	n=218	22,730	22,034	96.9%	0.96	0.93
	7月	n=218	24,299	23,559	97.0%	1.03	1.00
	8月	n=218	26,232	25,334	96.6%	1.11	1.07
	9月	n=218	24,367	22,978	94.3%	1.03	0.98
	10月	n=218	26,242	24,948	95.1%	1.11	1.06

外来延べ患者数	4月	n=218	2,129,389	1,729,822	81.2%	1.00	0.81
	5月	n=218	2,108,002	1,574,605	74.7%	0.99	0.74
	6月	n=218	2,092,833	1,918,754	91.7%	0.98	0.90
	7月	n=218	2,266,190	2,006,341	88.5%	1.06	0.94
	8月	n=218	2,152,477	1,898,540	88.2%	1.01	0.89
	9月	n=218	2,068,773	1,956,974	94.6%	0.97	0.92
	10月	n=218	2,217,917	2,117,919	95.5%	1.04	0.99
うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=218	23,679	18,141	76.6%	1.00	0.77
	5月	n=218	24,279	18,986	78.2%	1.03	0.80
	6月	n=218	23,355	20,108	86.1%	0.99	0.85
	7月	n=218	25,801	21,901	84.9%	1.09	0.92
	8月	n=218	28,757	26,233	91.2%	1.21	1.11
	9月	n=218	24,673	21,926	88.9%	1.04	0.93
	10月	n=218	24,321	22,568	92.8%	1.03	0.95
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=218	51,257	30,016	58.6%	1.00	0.59
	5月	n=218	63,350	38,333	60.5%	1.24	0.75
	6月	n=218	47,493	33,120	69.7%	0.93	0.65
	7月	n=218	51,148	42,032	82.2%	1.00	0.82
	8月	n=218	58,327	47,003	80.6%	1.14	0.92
	9月	n=218	53,150	39,917	75.1%	1.04	0.78
	10月	n=218	47,832	35,996	75.3%	0.93	0.70
分娩件数	4月	n=218	2,274	2,217	97.5%	1.00	0.97
	5月	n=218	2,384	2,082	87.3%	1.05	0.92
	6月	n=218	2,274	2,260	99.4%	1.00	0.99
	7月	n=218	2,384	2,251	94.4%	1.05	0.99
	8月	n=218	2,336	2,220	95.0%	1.03	0.98
	9月	n=218	2,186	2,122	97.1%	0.96	0.93
	10月	n=218	2,228	2,175	97.6%	0.98	0.96
全身麻酔による手術件数	4月	n=218	18,053	15,529	86.0%	1.00	0.86
	5月	n=218	16,858	12,567	74.5%	0.93	0.70
	6月	n=218	18,097	16,547	91.4%	1.00	0.92
	7月	n=218	19,661	18,135	92.2%	1.09	1.00
	8月	n=218	19,216	17,494	91.0%	1.06	0.97
	9月	n=218	17,275	17,293	100.1%	0.96	0.96
	10月	n=218	19,083	19,254	100.9%	1.06	1.07

図表 2 - 115　各 1 か月における入院延べ患者数、外来延べ患者数、分娩件数、全身麻酔による手術件数の総合計（2 ヶ年、全項目回答ありの施設対象）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

【重点医療機関】

		N	合計		指数		
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準
入院延べ患者数	4月	n=64	615,589	526,770	85.6%	1.00	0.86
	5月	n=64	621,888	493,853	79.4%	1.01	0.80
	6月	n=64	608,445	519,763	85.4%	0.99	0.84
	7月	n=64	626,360	560,368	89.5%	1.02	0.91
	8月	n=64	629,480	566,412	90.0%	1.02	0.92
	9月	n=64	600,545	545,465	90.8%	0.98	0.89
	10月	n=64	616,156	575,863	93.5%	1.00	0.94
うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=64	501,457	422,422	84.2%	1.00	0.84
	5月	n=64	503,715	396,076	78.6%	1.00	0.79
	6月	n=64	494,499	418,098	84.5%	0.99	0.83
	7月	n=64	508,815	449,914	88.4%	1.01	0.90
	8月	n=64	499,564	454,319	90.9%	1.00	0.91
	9月	n=64	485,850	440,545	90.7%	0.97	0.88
	10月	n=64	497,984	463,670	93.1%	0.99	0.92
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=64	13,996	11,350	81.1%	1.00	0.81
	5月	n=64	16,620	13,445	80.9%	1.19	0.96
	6月	n=64	14,164	11,809	83.4%	1.01	0.84
	7月	n=64	14,622	13,143	89.9%	1.04	0.94
	8月	n=64	15,961	14,616	91.6%	1.14	1.04
	9月	n=64	15,044	13,047	86.7%	1.07	0.93
	10月	n=64	14,780	13,806	93.4%	1.06	0.99
うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=64	14,070	11,873	84.4%	1.00	0.84
	5月	n=64	15,259	12,681	83.1%	1.08	0.90
	6月	n=64	13,668	13,145	96.2%	0.97	0.93
	7月	n=64	14,098	13,833	98.1%	1.00	0.98
	8月	n=64	15,549	14,534	93.5%	1.11	1.03
	9月	n=64	14,337	13,763	96.0%	1.02	0.98
	10月	n=64	14,907	15,002	100.6%	1.06	1.07

外来延べ患者数	4月	n=64	1,058,823	856,778	80.9%	1.00	0.81
	5月	n=64	1,045,064	773,684	74.0%	0.99	0.73
	6月	n=64	1,032,040	958,090	92.8%	0.97	0.90
	7月	n=64	1,120,288	998,639	89.1%	1.06	0.94
	8月	n=64	1,063,825	937,567	88.1%	1.00	0.89
	9月	n=64	1,023,752	973,045	95.0%	0.97	0.92
	10月	n=64	1,095,420	1,041,437	95.1%	1.03	0.98
うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=64	11,566	8,344	72.1%	1.00	0.72
	5月	n=64	11,760	8,583	73.0%	1.02	0.74
	6月	n=64	11,486	9,600	83.6%	0.99	0.83
	7月	n=64	12,595	10,359	82.2%	1.09	0.90
	8月	n=64	14,110	12,101	85.8%	1.22	1.05
	9月	n=64	11,882	10,583	89.1%	1.03	0.92
	10月	n=64	11,762	10,786	91.7%	1.02	0.93
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=64	28,567	15,702	55.0%	1.00	0.55
	5月	n=64	33,559	19,676	58.6%	1.17	0.69
	6月	n=64	26,639	17,808	66.8%	0.93	0.62
	7月	n=64	28,475	21,770	76.5%	1.00	0.76
	8月	n=64	32,631	25,186	77.2%	1.14	0.88
	9月	n=64	28,971	21,098	72.8%	1.01	0.74
	10月	n=64	25,508	19,166	75.1%	0.89	0.67
分娩件数	4月	n=64	1,530	1,512	98.8%	1.00	0.99
	5月	n=64	1,638	1,350	82.4%	1.07	0.88
	6月	n=64	1,552	1,474	95.0%	1.01	0.96
	7月	n=64	1,634	1,432	87.6%	1.07	0.94
	8月	n=64	1,557	1,414	90.8%	1.02	0.92
	9月	n=64	1,526	1,340	87.8%	1.00	0.88
	10月	n=64	1,507	1,409	93.5%	0.98	0.92
全身麻酔による手術件数	4月	n=64	10,944	9,395	85.8%	1.00	0.86
	5月	n=64	10,273	7,440	72.4%	0.94	0.68
	6月	n=64	11,028	9,932	90.1%	1.01	0.91
	7月	n=64	11,925	10,869	91.1%	1.09	0.99
	8月	n=64	11,720	10,483	89.4%	1.07	0.96
	9月	n=64	10,561	10,535	99.8%	0.97	0.96
	10月	n=64	11,498	11,558	100.5%	1.05	1.06

【協力医療機関】

		N	合計		指数		
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準
入院延べ患者数	4月	n=48	299,965	268,545	89.5%	1.00	0.90
	5月	n=48	306,299	263,729	86.1%	1.02	0.88
	6月	n=48	299,226	264,662	88.4%	1.00	0.88
	7月	n=48	312,313	283,818	90.9%	1.04	0.95
	8月	n=48	311,939	289,380	92.8%	1.04	0.96
	9月	n=48	295,005	276,290	93.7%	0.98	0.92
	10月	n=48	306,843	291,030	94.8%	1.02	0.97
うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=48	212,507	184,567	86.9%	1.00	0.87
	5月	n=48	218,277	181,373	83.1%	1.03	0.85
	6月	n=48	212,408	184,478	86.9%	1.00	0.87
	7月	n=48	220,783	196,658	89.1%	1.04	0.93
	8月	n=48	215,391	203,284	94.4%	1.01	0.96
	9月	n=48	208,013	193,724	93.1%	0.98	0.91
	10月	n=48	217,217	204,867	94.3%	1.02	0.96
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=48	6,228	4,918	79.0%	1.00	0.79
	5月	n=48	7,171	5,832	81.3%	1.15	0.94
	6月	n=48	6,087	5,151	84.6%	0.98	0.83
	7月	n=48	6,717	6,131	91.3%	1.08	0.98
	8月	n=48	7,037	6,744	95.8%	1.13	1.08
	9月	n=48	6,759	5,672	83.9%	1.09	0.91
	10月	n=48	7,031	5,886	83.7%	1.13	0.95
うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=48	6,068	5,047	83.2%	1.00	0.83
	5月	n=48	6,220	5,138	82.6%	1.03	0.85
	6月	n=48	5,774	5,248	90.9%	0.95	0.86
	7月	n=48	6,372	5,857	91.9%	1.05	0.97
	8月	n=48	6,635	6,607	99.6%	1.09	1.09
	9月	n=48	6,372	5,354	84.0%	1.05	0.88
	10月	n=48	7,484	5,721	76.4%	1.23	0.94

外来延べ患者数	4月	n=48	516,333	433,288	83.9%	1.00	0.84
	5月	n=48	518,709	395,251	76.2%	1.00	0.77
	6月	n=48	515,140	471,375	91.5%	1.00	0.91
	7月	n=48	560,254	496,030	88.5%	1.09	0.96
	8月	n=48	532,915	473,481	88.8%	1.03	0.92
	9月	n=48	510,398	481,709	94.4%	0.99	0.93
	10月	n=48	549,735	526,419	95.8%	1.06	1.02
うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=48	6,725	5,447	81.0%	1.00	0.81
	5月	n=48	6,960	5,841	83.9%	1.03	0.87
	6月	n=48	6,693	5,902	88.2%	1.00	0.88
	7月	n=48	7,369	6,368	86.4%	1.10	0.95
	8月	n=48	8,174	7,489	91.6%	1.22	1.11
	9月	n=48	7,130	6,329	88.8%	1.06	0.94
	10月	n=48	7,010	6,507	92.8%	1.04	0.97
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=48	12,574	7,386	58.7%	1.00	0.59
	5月	n=48	16,434	10,047	61.1%	1.31	0.80
	6月	n=48	11,430	8,542	74.7%	0.91	0.68
	7月	n=48	12,178	11,342	93.1%	0.97	0.90
	8月	n=48	14,147	11,953	84.5%	1.13	0.95
	9月	n=48	13,072	10,194	78.0%	1.04	0.81
	10月	n=48	12,180	9,094	74.7%	0.97	0.72
分娩件数	4月	n=48	392	366	93.4%	1.00	0.93
	5月	n=48	392	393	100.3%	1.00	1.00
	6月	n=48	375	408	108.8%	0.96	1.04
	7月	n=48	418	413	98.8%	1.07	1.05
	8月	n=48	420	400	95.2%	1.07	1.02
	9月	n=48	360	375	104.2%	0.92	0.96
	10月	n=48	389	394	101.3%	0.99	1.01
全身麻酔による手術件数	4月	n=48	3,754	3,413	90.9%	1.00	0.91
	5月	n=48	3,509	2,763	78.7%	0.93	0.74
	6月	n=48	3,759	3,519	93.6%	1.00	0.94
	7月	n=48	4,176	3,917	93.8%	1.11	1.04
	8月	n=48	4,023	3,720	92.5%	1.07	0.99
	9月	n=48	3,551	3,561	100.3%	0.95	0.95
	10月	n=48	4,065	4,030	99.1%	1.08	1.07

【その他】

		N	合計		指数		
			令和元年	令和2年	前年比率 R2年/R1年	令和元年 R1年4月基準	令和2年 R1年4月基準
入院延べ患者数	4月	n=67	278,718	251,154	90.1%	1.00	0.90
	5月	n=67	274,840	248,847	90.5%	0.99	0.89
	6月	n=67	266,238	249,706	93.8%	0.96	0.90
	7月	n=67	273,609	263,768	96.4%	0.98	0.95
	8月	n=67	275,022	266,926	97.1%	0.99	0.96
	9月	n=67	266,363	258,041	96.9%	0.96	0.93
	10月	n=67	274,761	267,170	97.2%	0.99	0.96
うち一般病棟における入院延べ患者数	4月	n=67	138,666	123,673	89.2%	1.00	0.89
	5月	n=67	141,069	119,450	84.7%	1.02	0.86
	6月	n=67	136,505	123,671	90.6%	0.98	0.89
	7月	n=67	140,716	132,738	94.3%	1.01	0.96
	8月	n=67	141,603	132,584	93.6%	1.02	0.96
	9月	n=67	137,191	128,991	94.0%	0.99	0.93
	10月	n=67	141,170	134,893	95.6%	1.02	0.97
うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	4月	n=67	1,926	1,533	79.6%	1.00	0.80
	5月	n=67	2,261	1,790	79.2%	1.17	0.93
	6月	n=67	1,843	1,733	94.0%	0.96	0.90
	7月	n=67	2,030	1,932	95.2%	1.05	1.00
	8月	n=67	2,214	2,290	103.4%	1.15	1.19
	9月	n=67	2,133	2,088	97.9%	1.11	1.08
	10月	n=67	2,113	2,146	101.6%	1.10	1.11
うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	4月	n=67	1,978	1,598	80.8%	1.00	0.81
	5月	n=67	2,059	1,698	82.5%	1.04	0.86
	6月	n=67	1,778	1,865	104.9%	0.90	0.94
	7月	n=67	2,064	2,011	97.4%	1.04	1.02
	8月	n=67	2,202	2,402	109.1%	1.11	1.21
	9月	n=67	2,006	2,085	103.9%	1.01	1.05
	10月	n=67	2,091	2,281	109.1%	1.06	1.15

外来延べ患者数	4月	n=67	331,911	264,257	79.6%	1.00	0.80
	5月	n=67	324,471	246,927	76.1%	0.98	0.74
	6月	n=67	326,932	293,565	89.8%	0.98	0.88
	7月	n=67	349,839	306,935	87.7%	1.05	0.92
	8月	n=67	332,061	294,182	88.6%	1.00	0.89
	9月	n=67	318,702	301,967	94.7%	0.96	0.91
	10月	n=67	342,053	331,931	97.0%	1.03	1.00
うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	4月	n=67	3,635	2,917	80.2%	1.00	0.80
	5月	n=67	3,690	2,964	80.3%	1.02	0.82
	6月	n=67	3,481	2,990	85.9%	0.96	0.82
	7月	n=67	3,853	3,413	88.6%	1.06	0.94
	8月	n=67	4,237	4,164	98.3%	1.17	1.15
	9月	n=67	3,849	3,197	83.1%	1.06	0.88
	10月	n=67	3,644	3,426	94.0%	1.00	0.94
うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	4月	n=67	5,881	3,623	61.6%	1.00	0.62
	5月	n=67	7,743	4,691	60.6%	1.32	0.80
	6月	n=67	5,434	3,759	69.2%	0.92	0.64
	7月	n=67	5,987	5,033	84.1%	1.02	0.86
	8月	n=67	6,751	5,668	84.0%	1.15	0.96
	9月	n=67	6,459	4,896	75.8%	1.10	0.83
	10月	n=67	5,750	4,366	75.9%	0.98	0.74
分娩件数	4月	n=67	258	231	89.5%	1.00	0.90
	5月	n=67	263	221	84.0%	1.02	0.86
	6月	n=67	248	270	108.9%	0.96	1.05
	7月	n=67	252	289	114.7%	0.98	1.12
	8月	n=67	245	269	109.8%	0.95	1.04
	9月	n=67	218	274	125.7%	0.84	1.06
	10月	n=67	241	246	102.1%	0.93	0.95
全身麻酔による手術件数	4月	n=67	1,726	1,602	92.8%	1.00	0.93
	5月	n=67	1,582	1,251	79.1%	0.92	0.72
	6月	n=67	1,765	1,658	93.9%	1.02	0.96
	7月	n=67	1,837	1,800	98.0%	1.06	1.04
	8月	n=67	1,769	1,759	99.4%	1.02	1.02
	9月	n=67	1,672	1,679	100.4%	0.97	0.97
	10月	n=67	1,880	1,999	106.3%	1.09	1.16

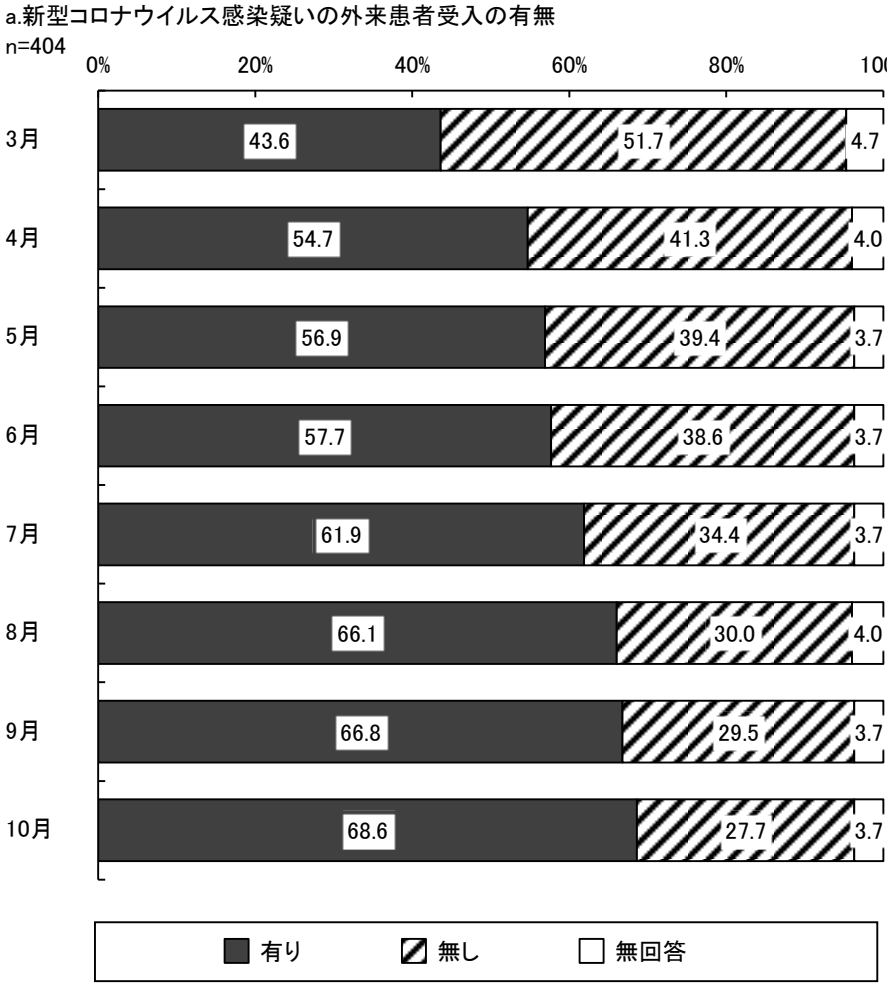
（２）新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱い

① 新型コロナウイルス感染症関連受診者の動向

新型コロナウイルス感染疑いの外来患者の受入状況についてみると 3 月は「有り」(43.6%)、「無し」(51.7%) であった。

一方、10 月は「有り」(68.6%)、「無し」(27.7%) であった。

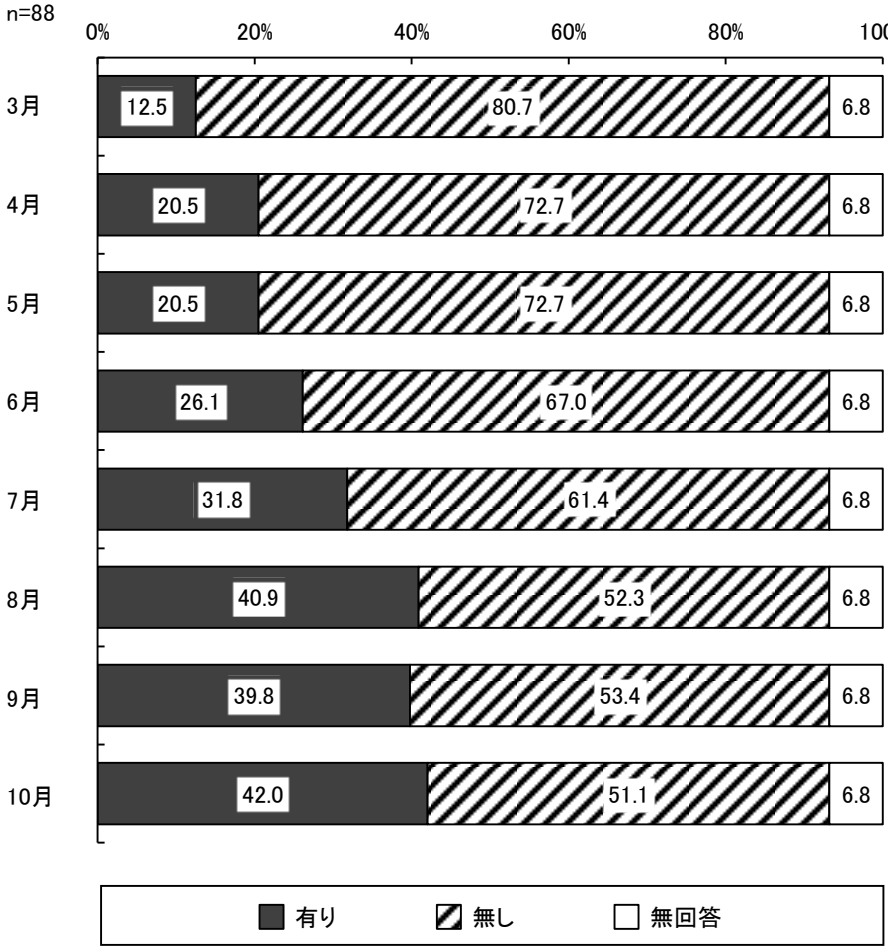
図表 2 - 116　a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無



99床以下

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無

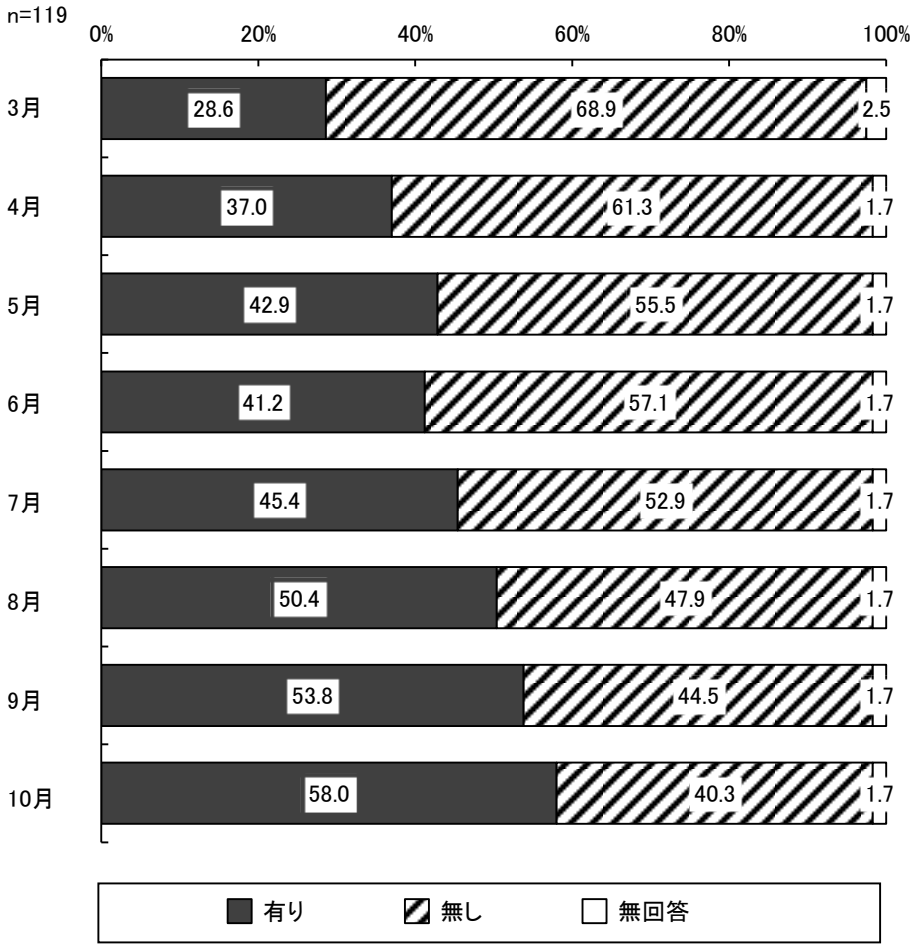
n=88



100 ～199 床

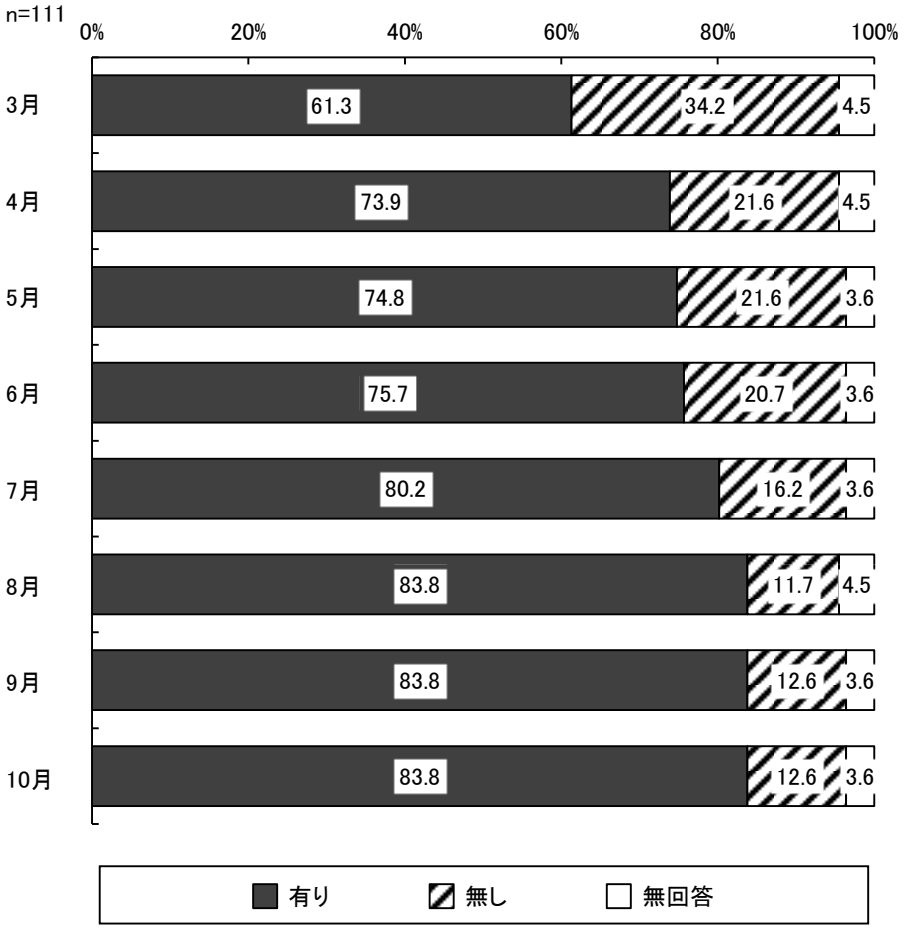
a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無

n=119



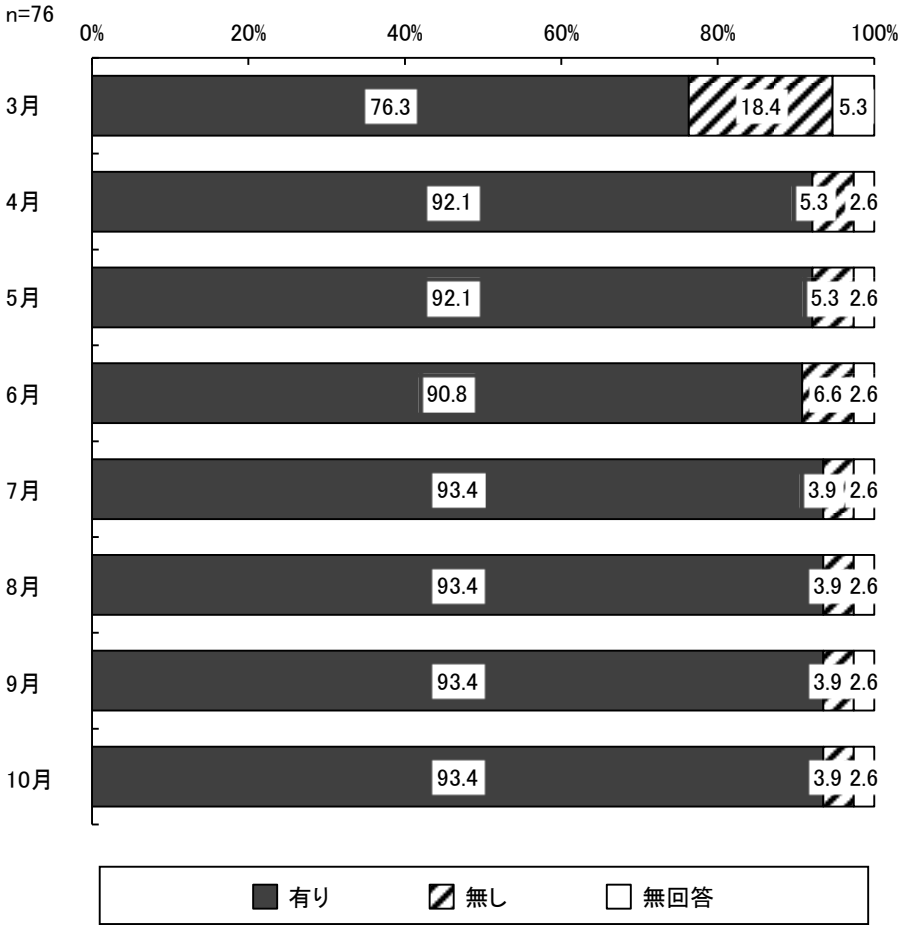
200～399床

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無

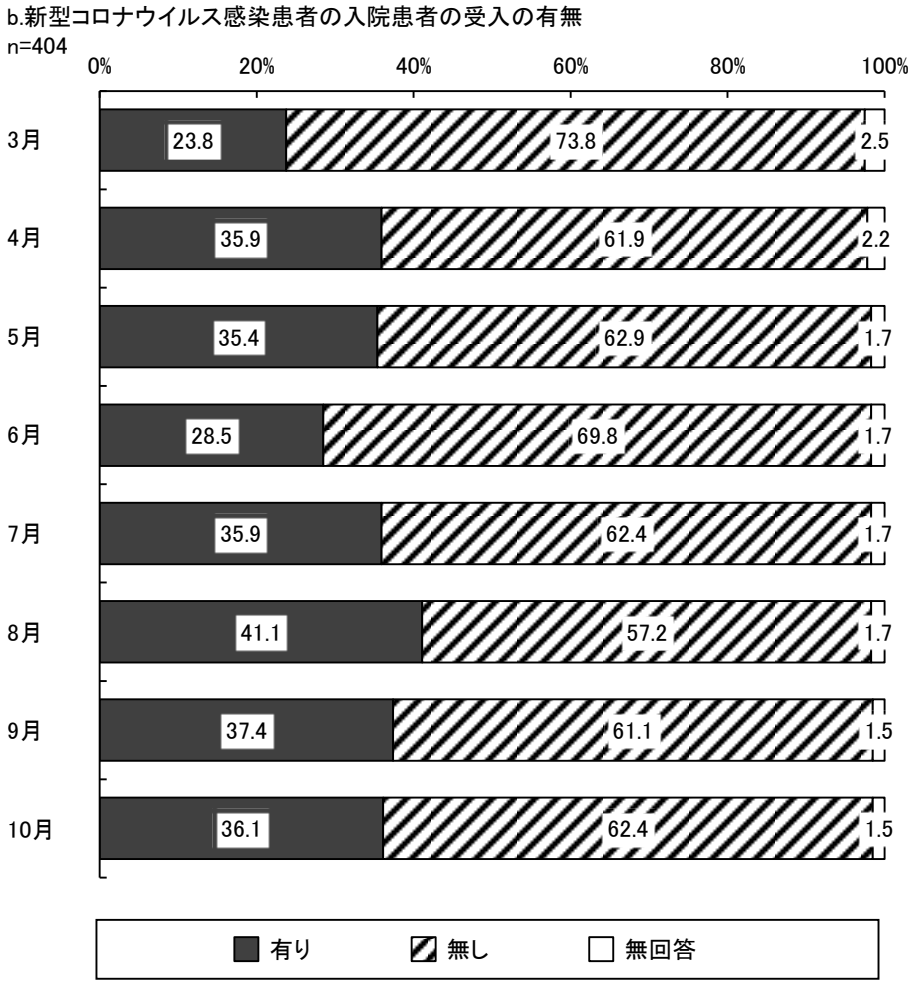


400床以上

a.新型コロナウイルス感染疑いの外来患者受入の有無



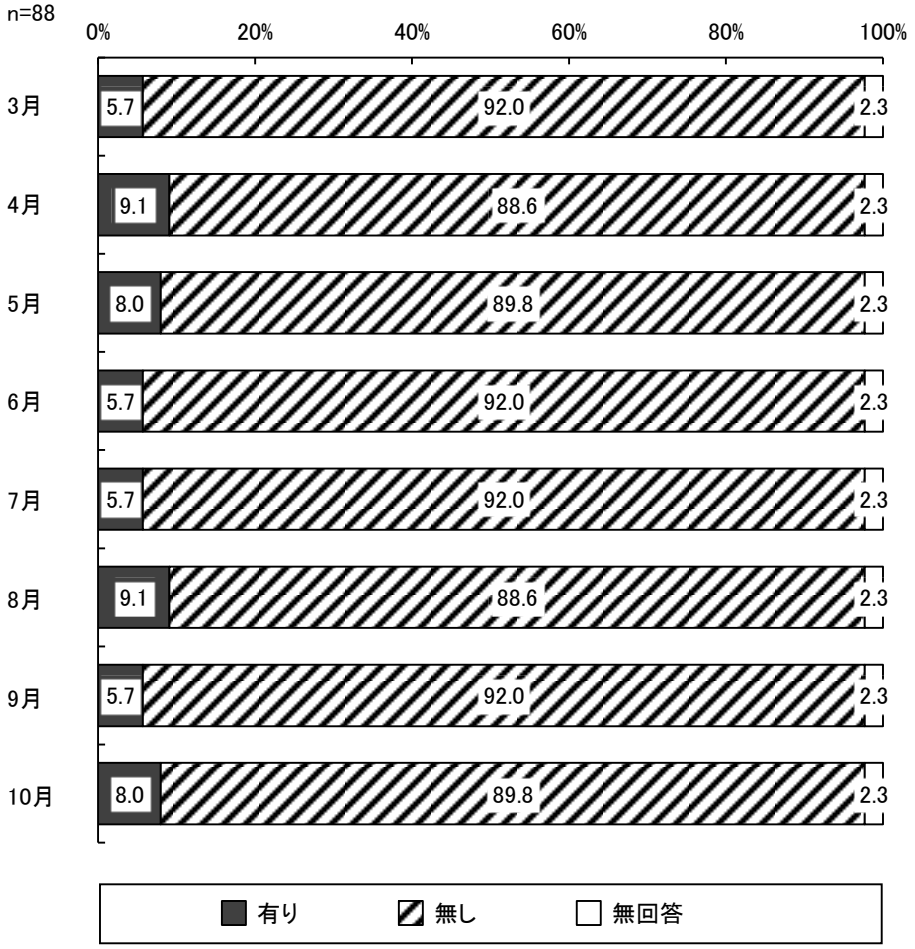
図表 2 - 117　b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無



99床以下

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無

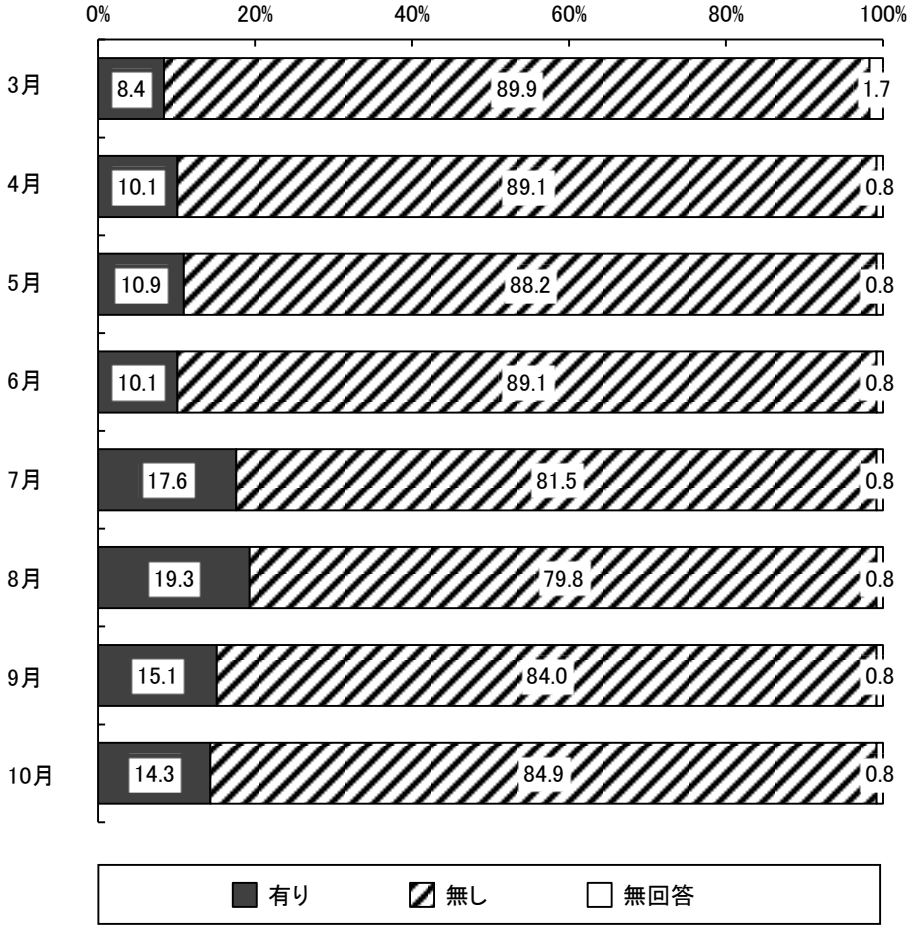
n=88



100 ～199 床

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無

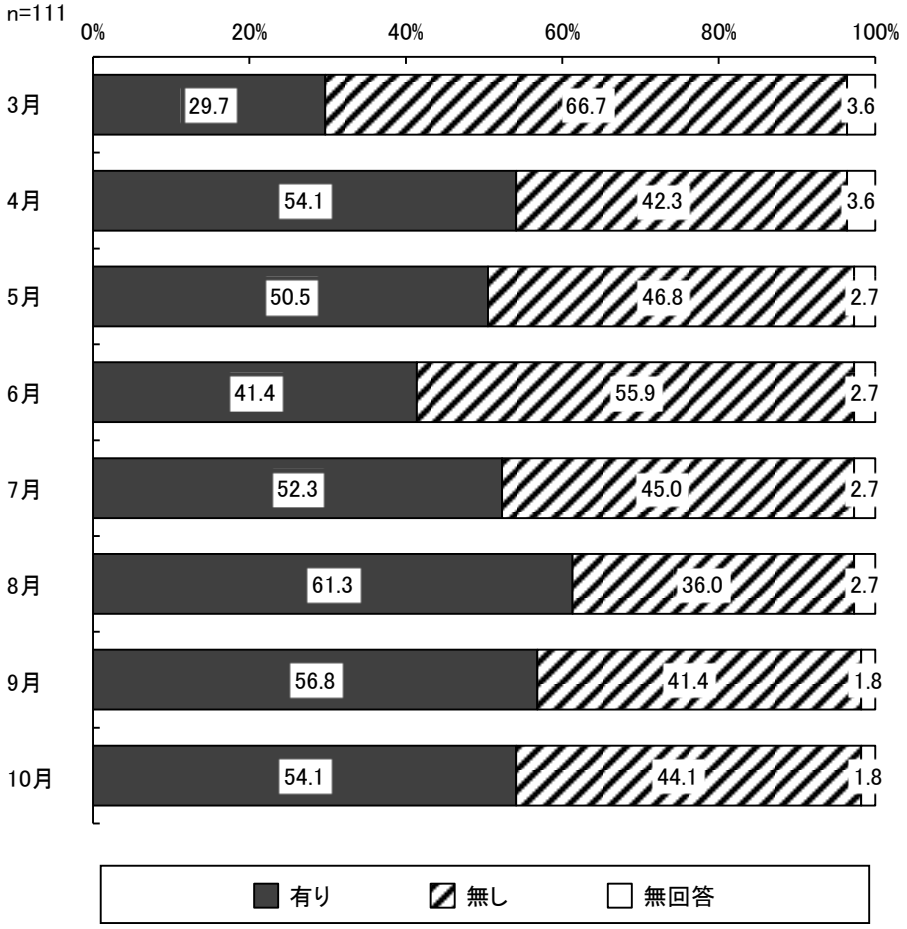
n=119



200～399床

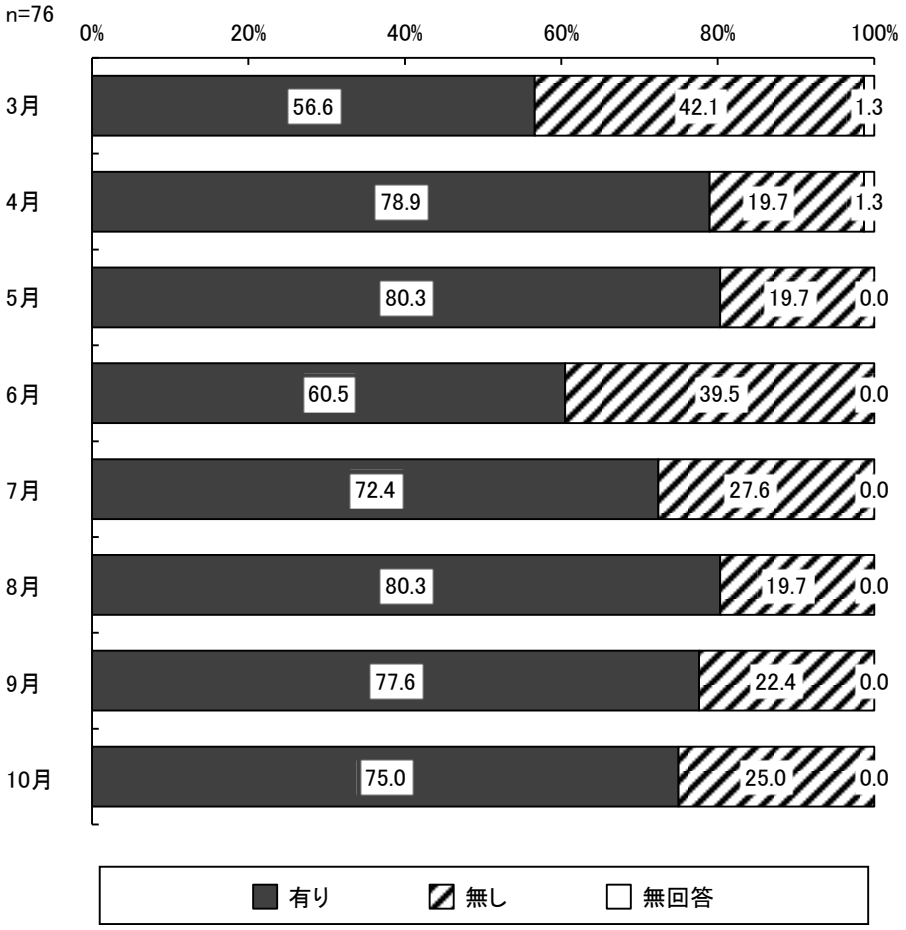
b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無

n=111

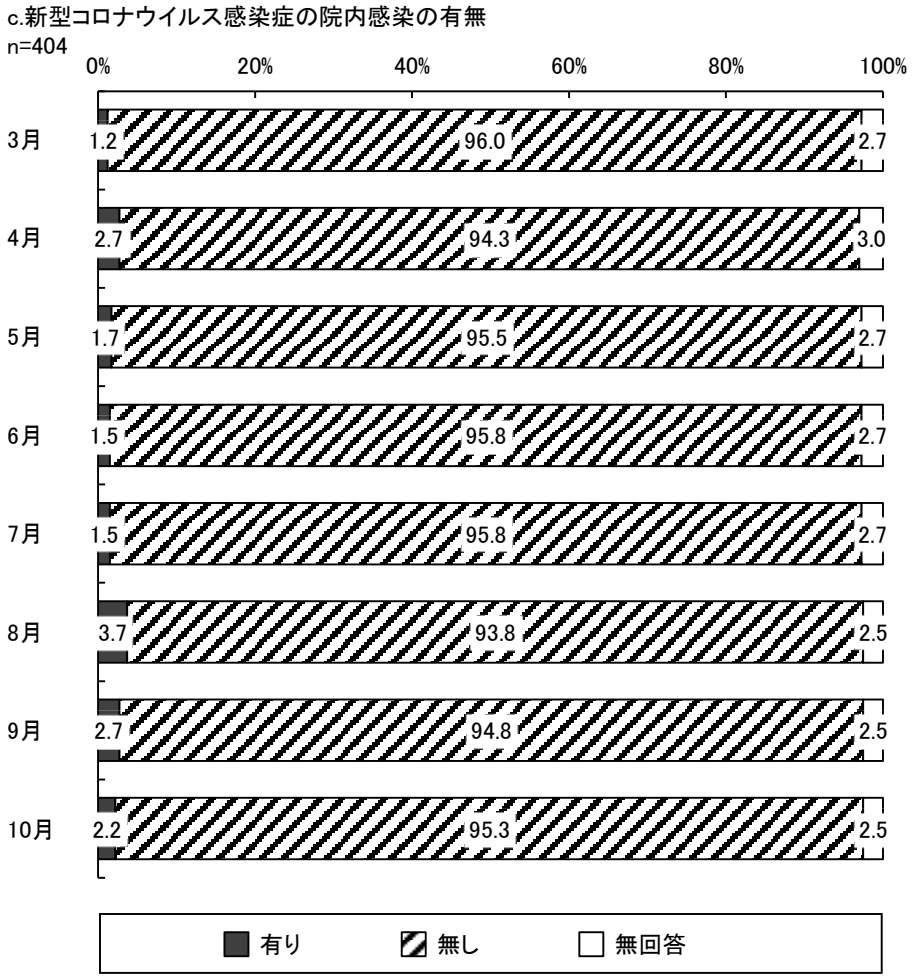


400床以上

b.新型コロナウイルス感染患者の入院患者の受入の有無



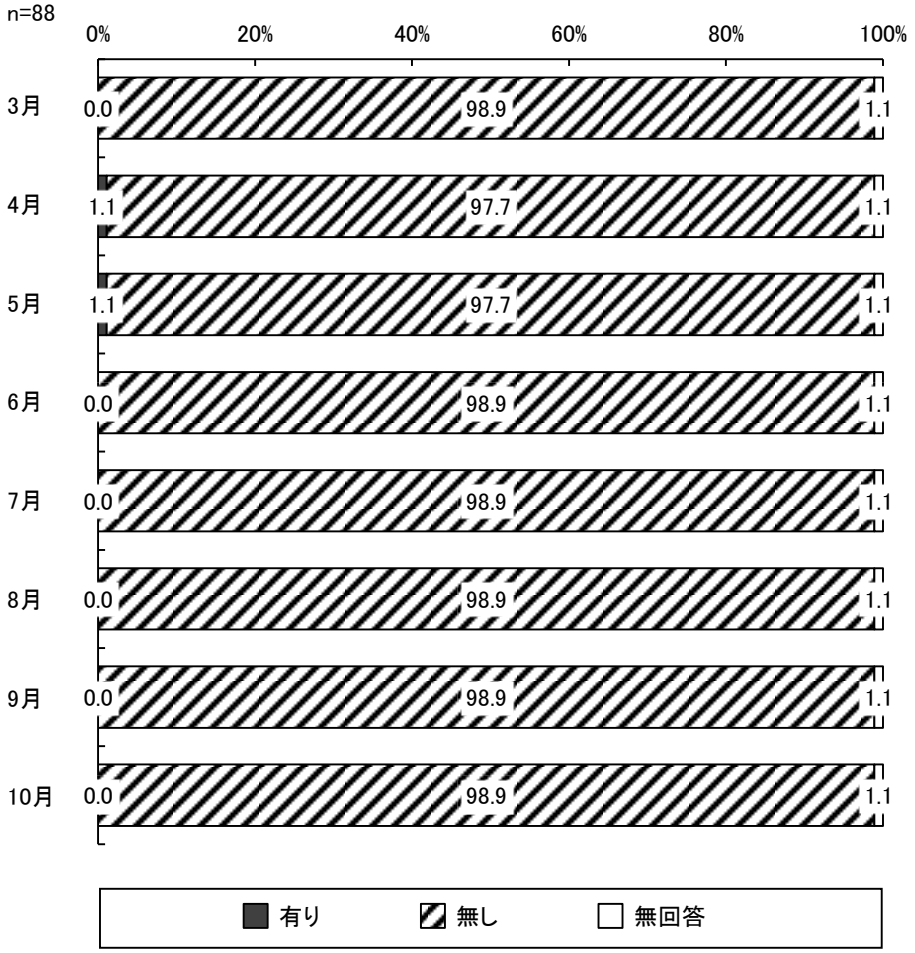
図表 2 - 118　c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無



99床以下

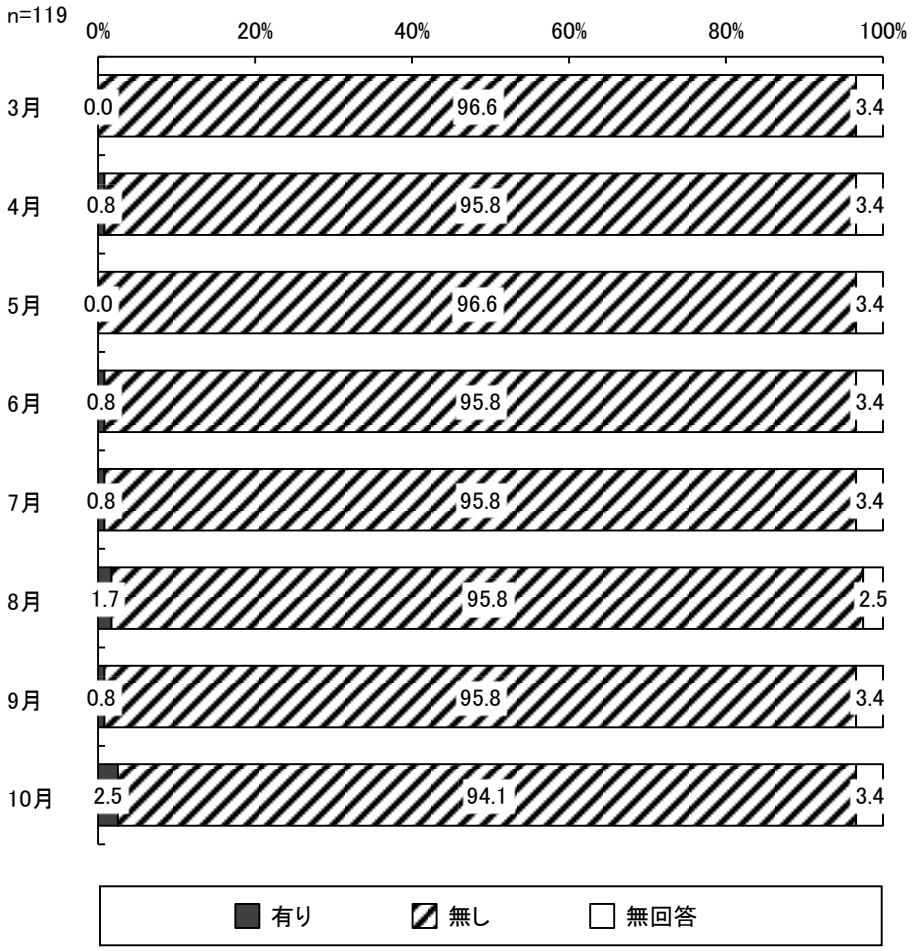
c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無

n=88



100 ～199 床

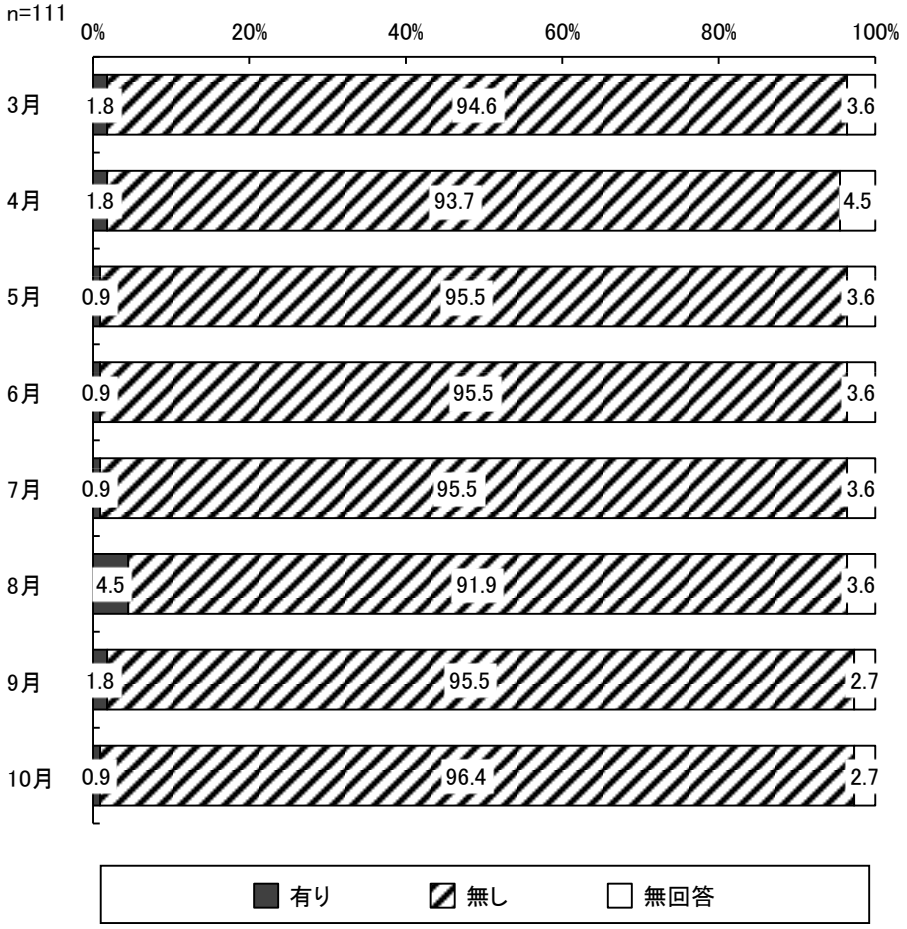
c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無



200～399床

c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無

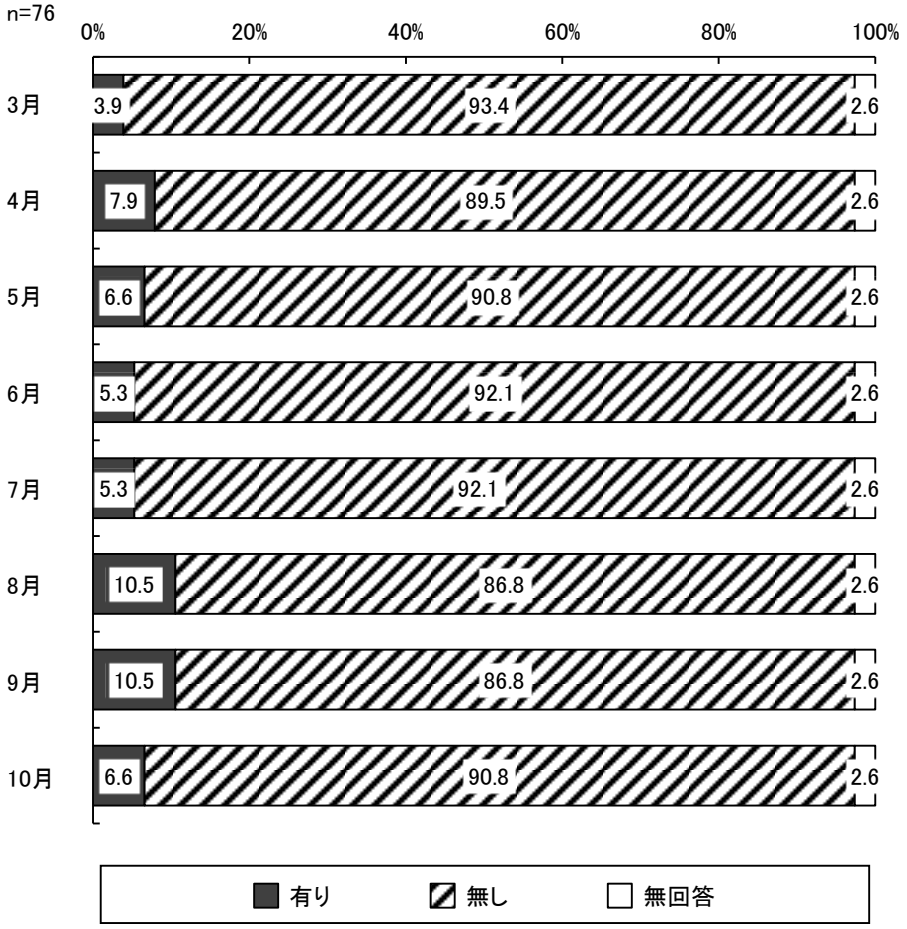
n=111



400床以上

c.新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無

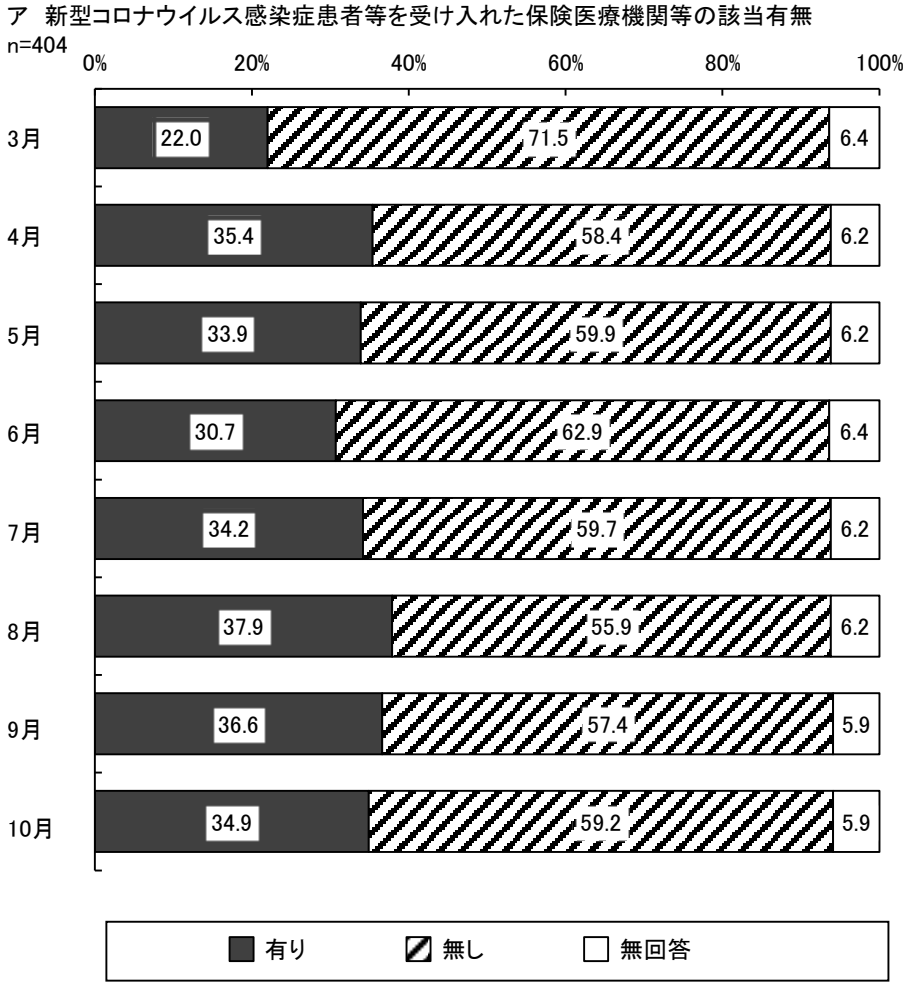
n=76



② 施設基準等の臨時的な取り扱い状況（令和 2 年 3 月～10 月）

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における臨時的な取り扱いの該当状況について、新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保健医療機関等の状況についてみると、「有り」は 8 月（37.9%）が最も多かったが、4 月から 10 月の間において、大きな差はみられなかった。

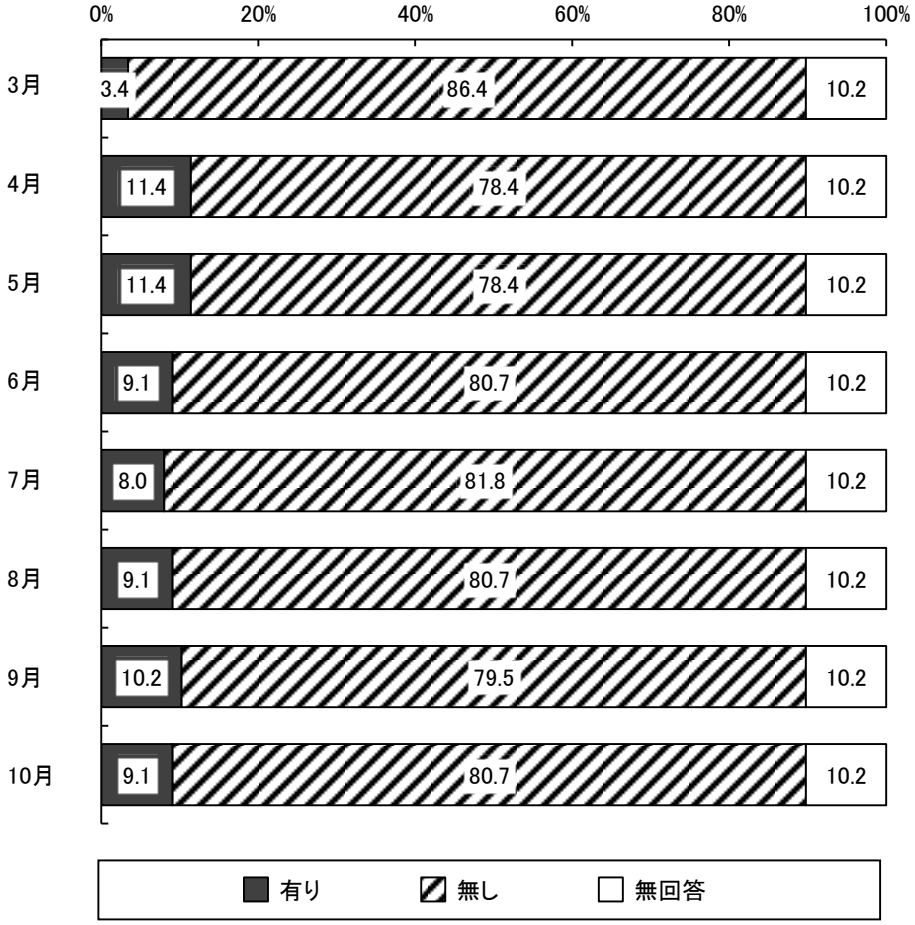
図表 2 - 119　ア　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無



99床以下

ア　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無

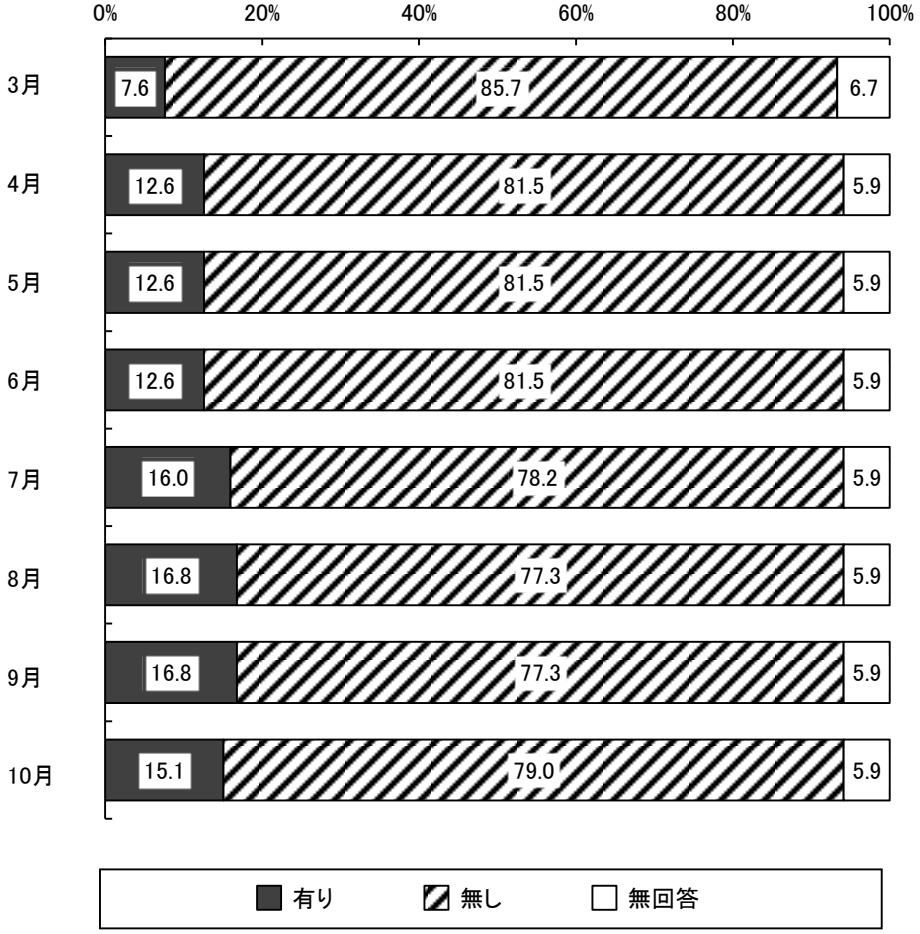
n=88



100 ～199 床

ア　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無

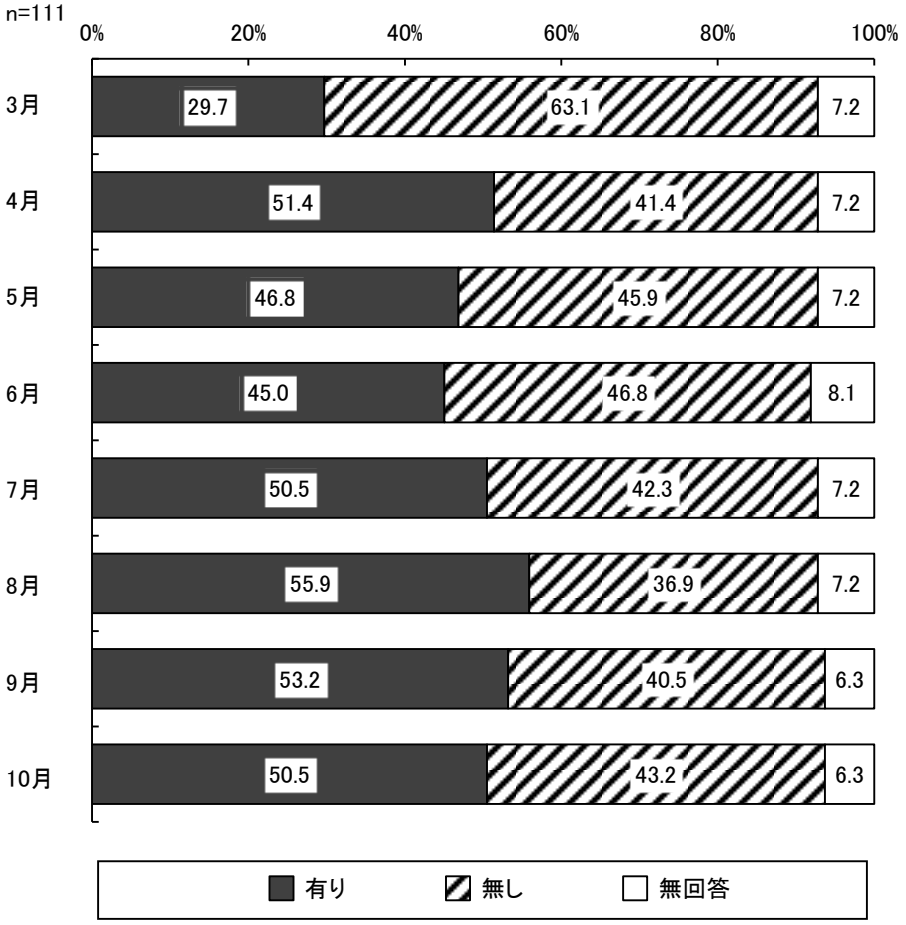
n=119



200～399床

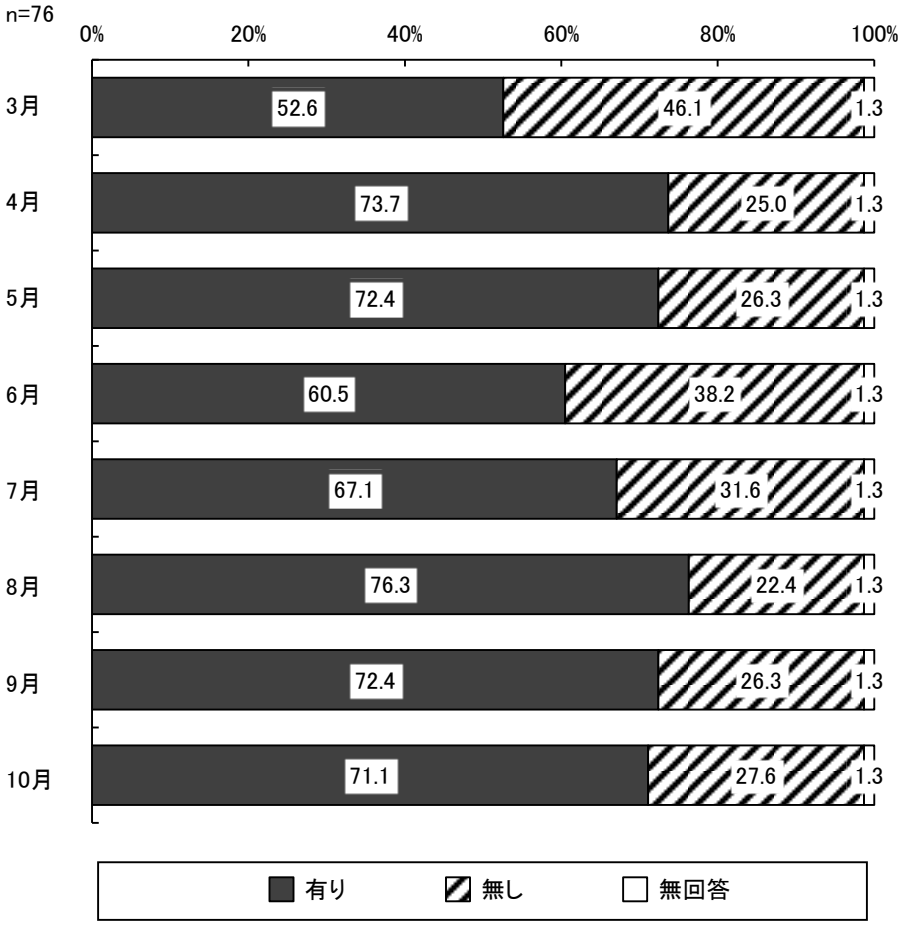
ア　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無

n=111

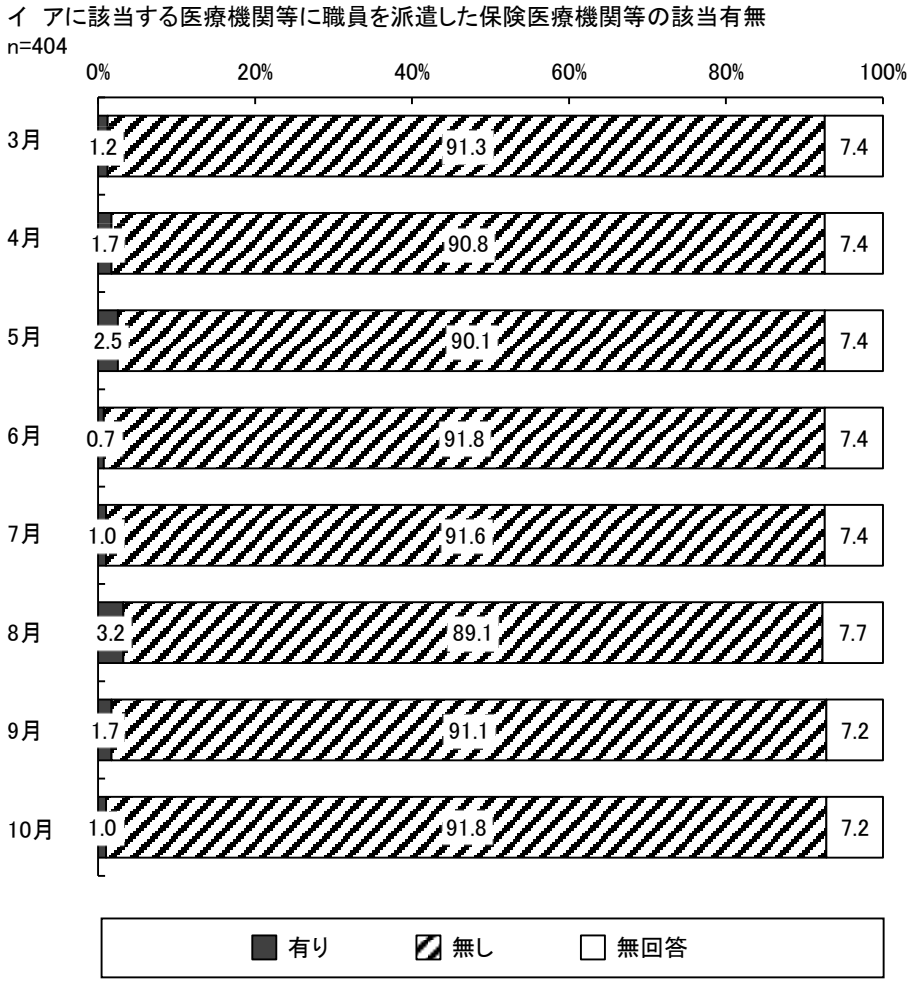


400床以上

ア　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無



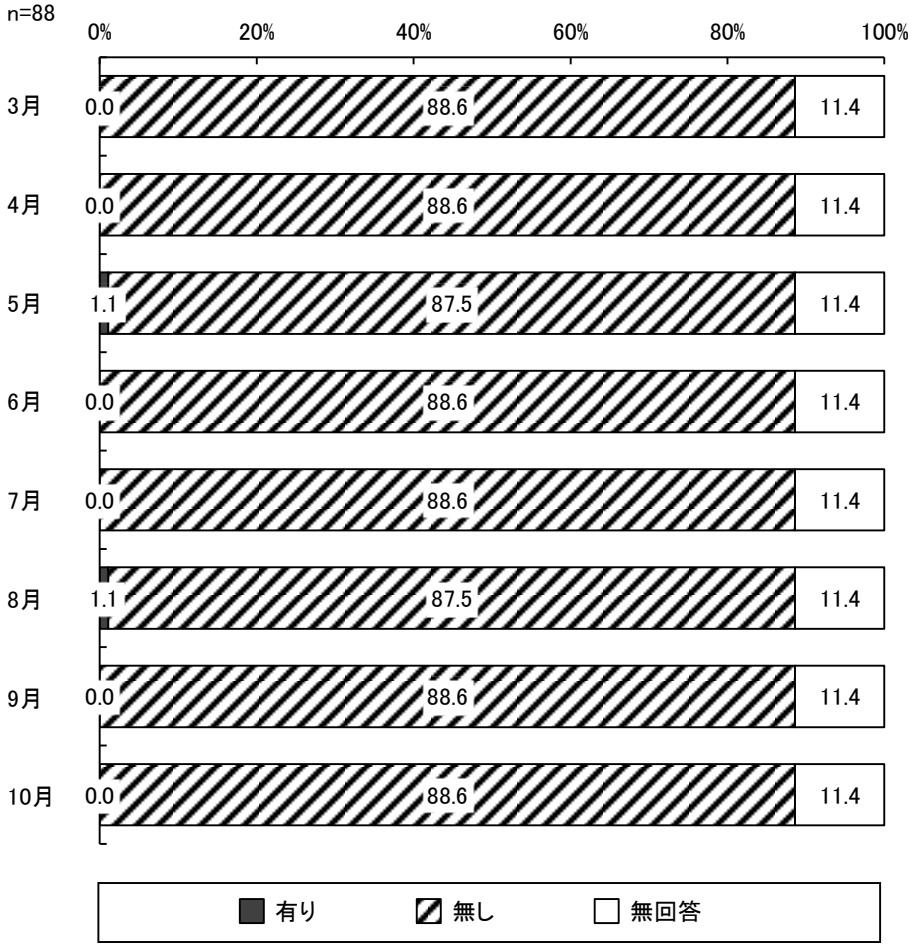
図表 2 - 120　イ　アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無



99床以下

イ　アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

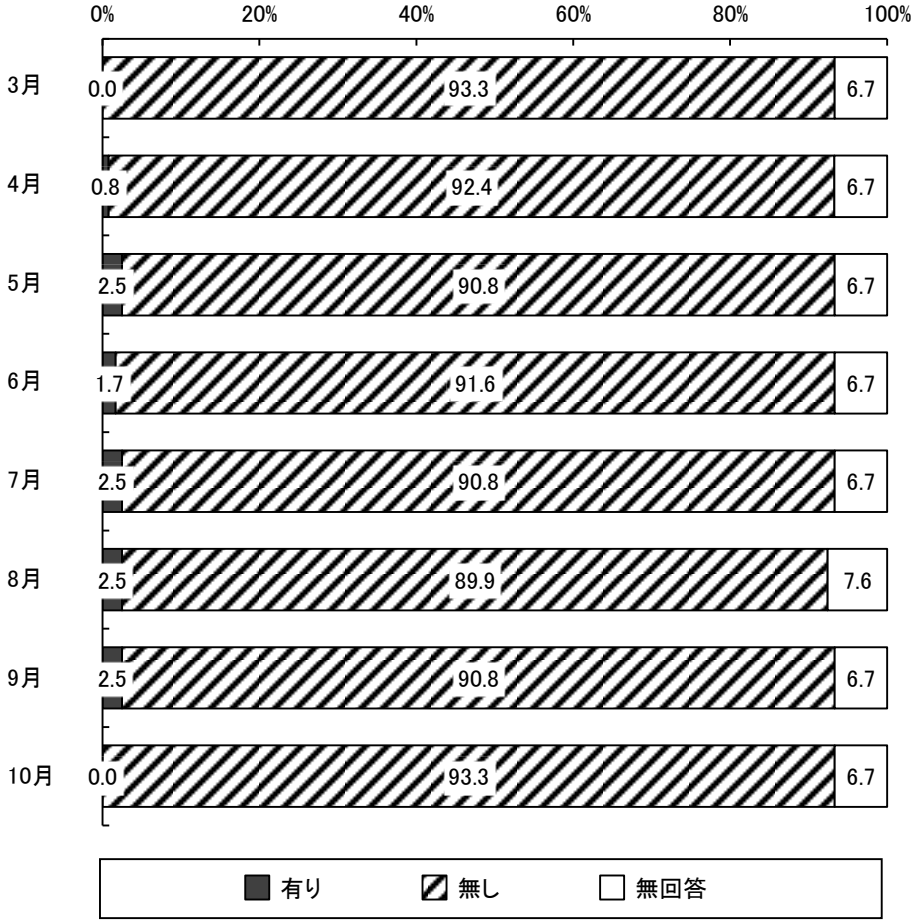
n=88



100 ～199 床

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

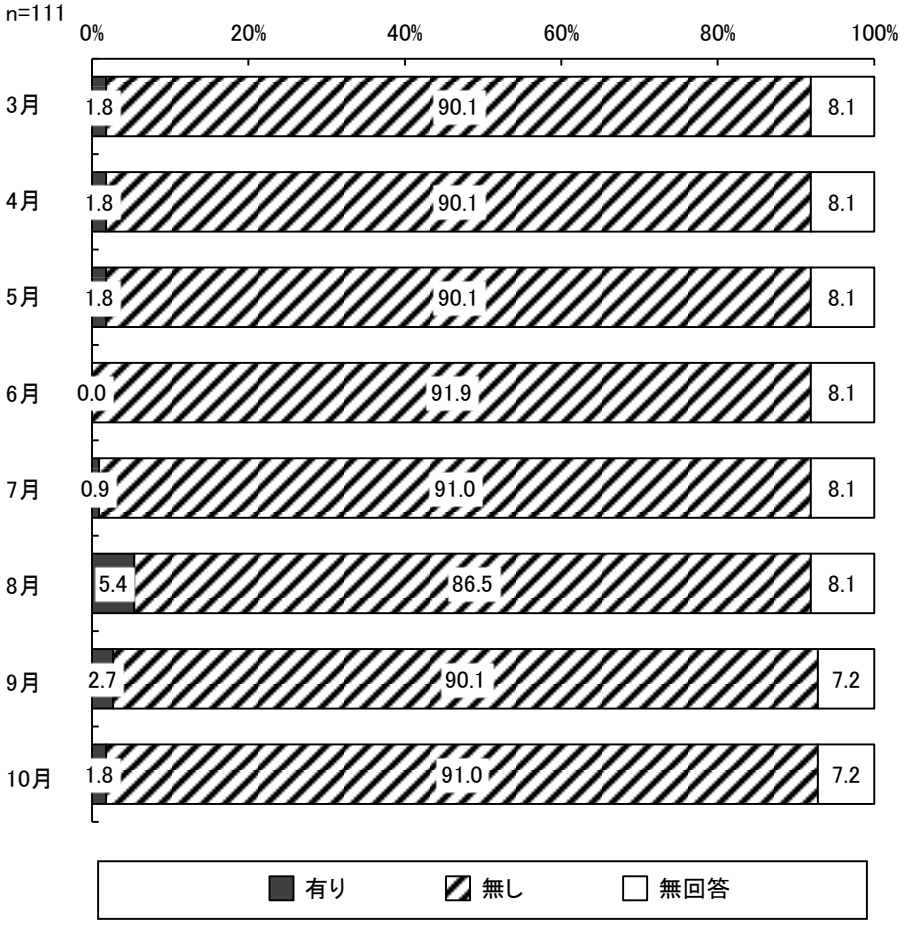
n=119



200～399床

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

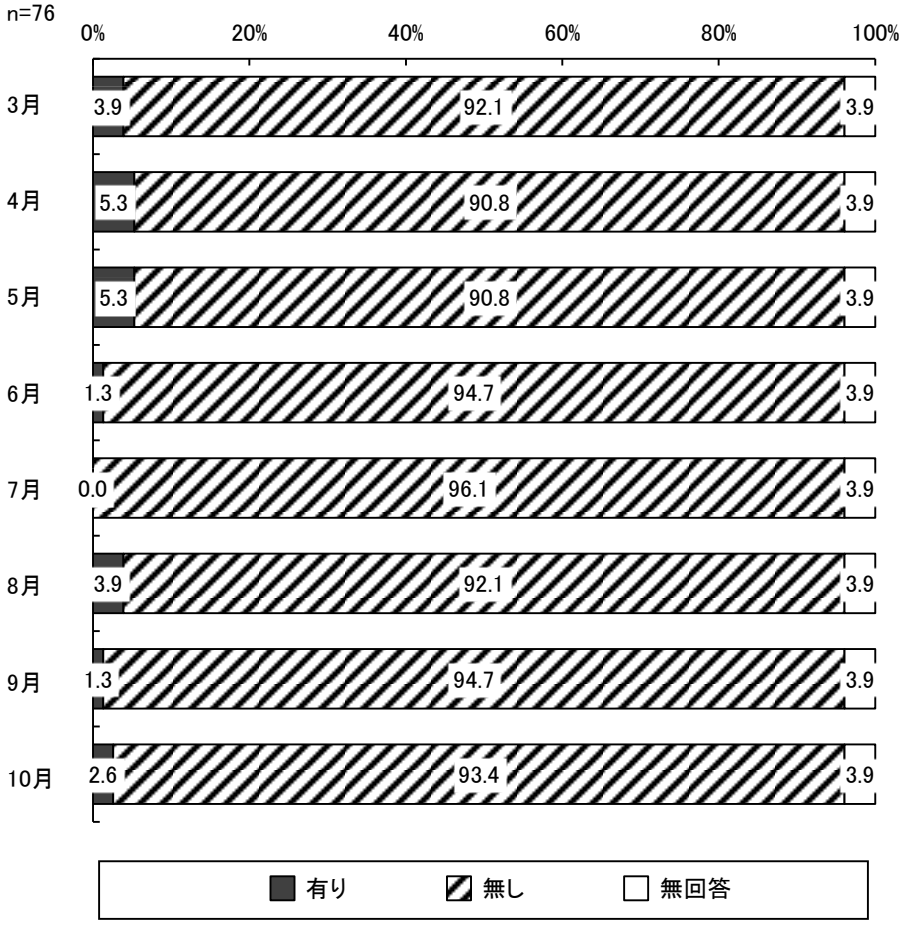
n=111



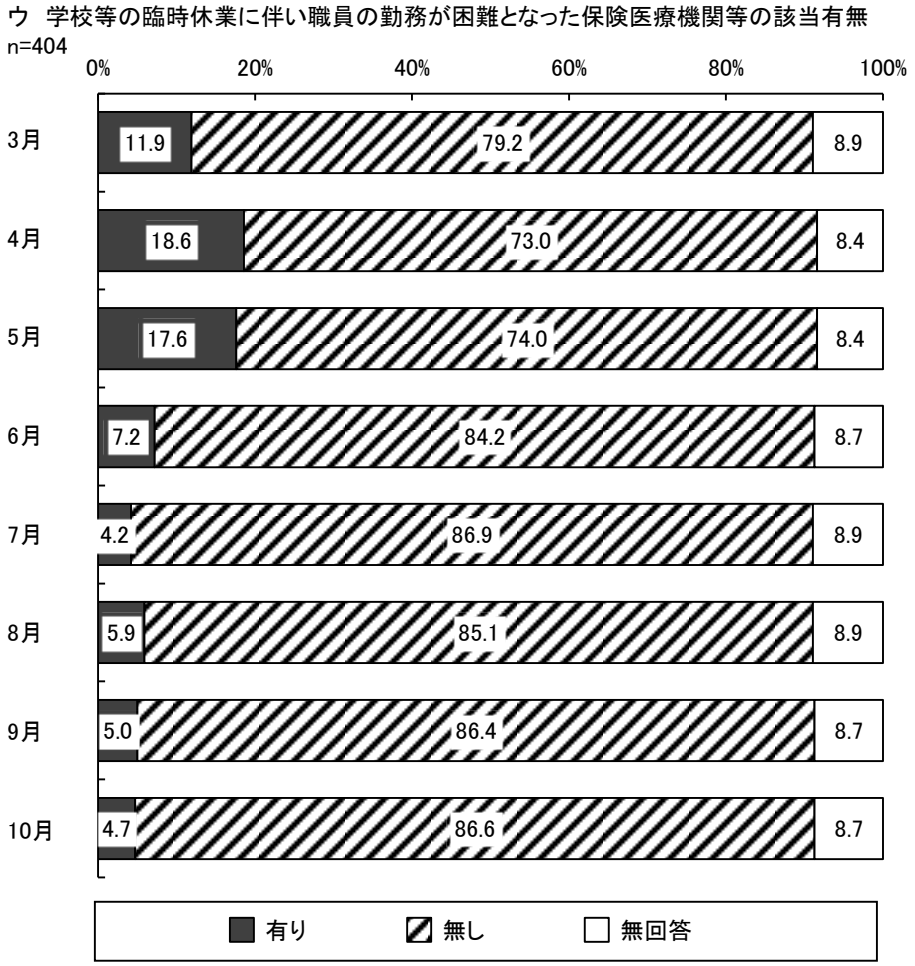
400床以上

イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無

n=76



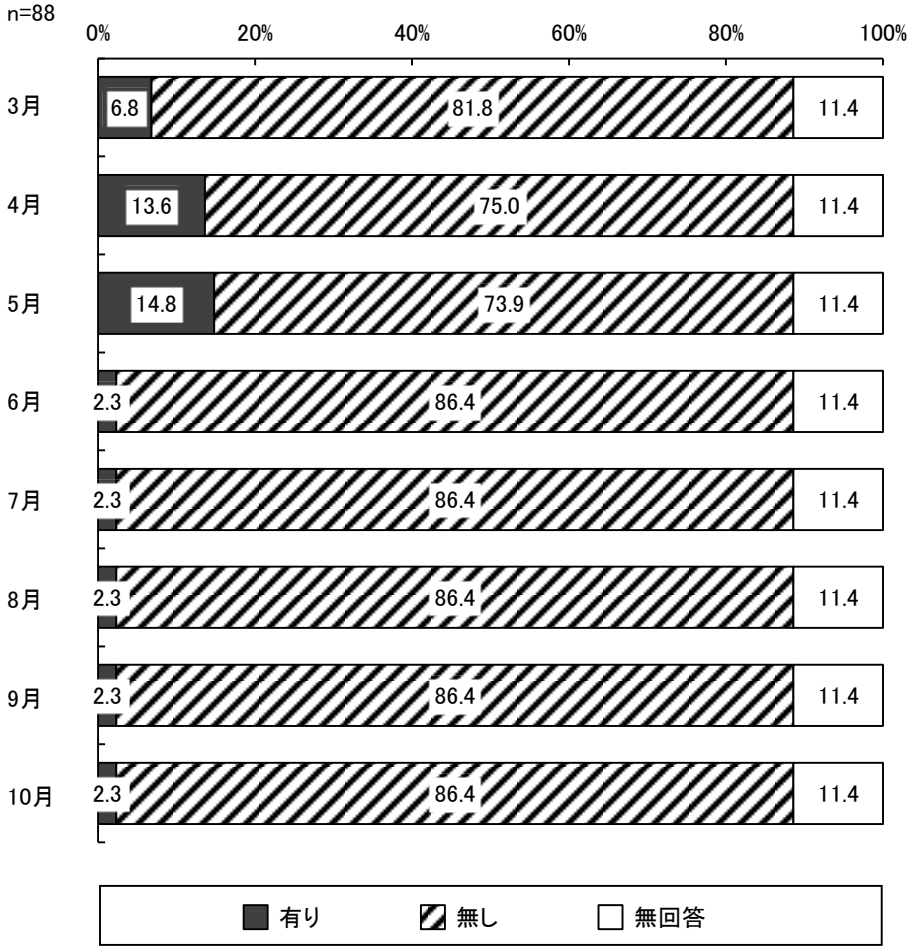
図表２－121　ウ　学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無



99床以下

ウ　学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

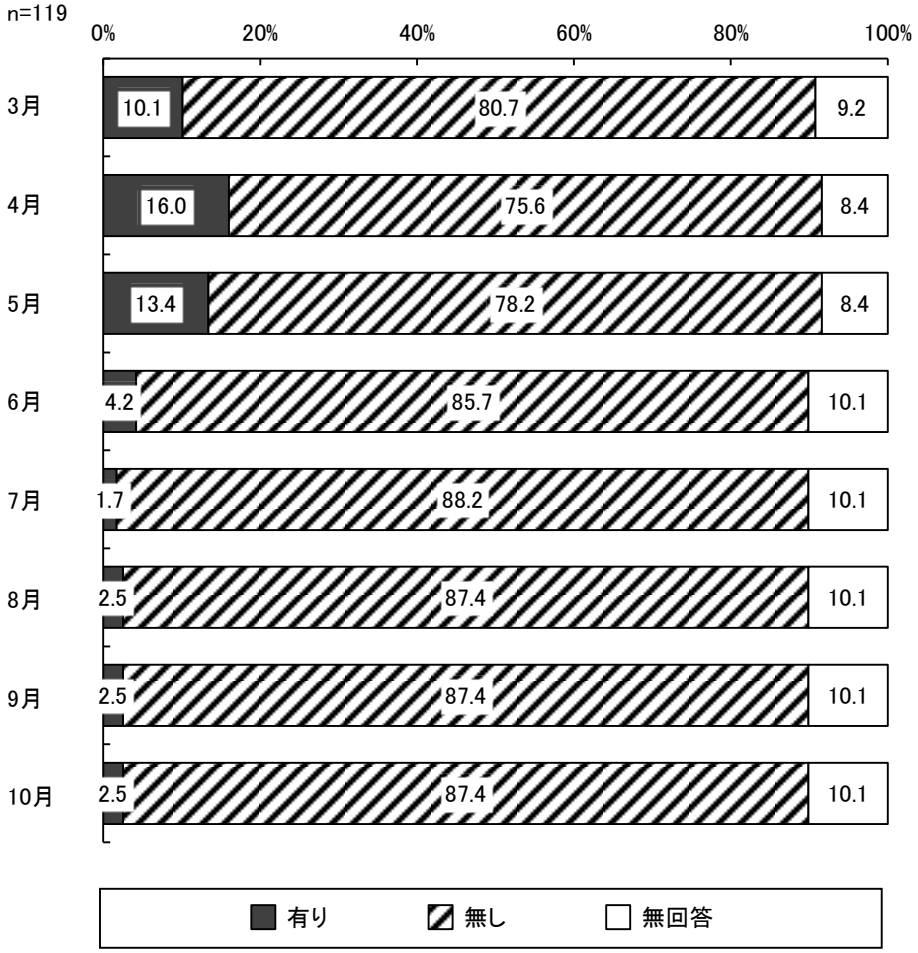
n=88



100 ～199 床

ウ　学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

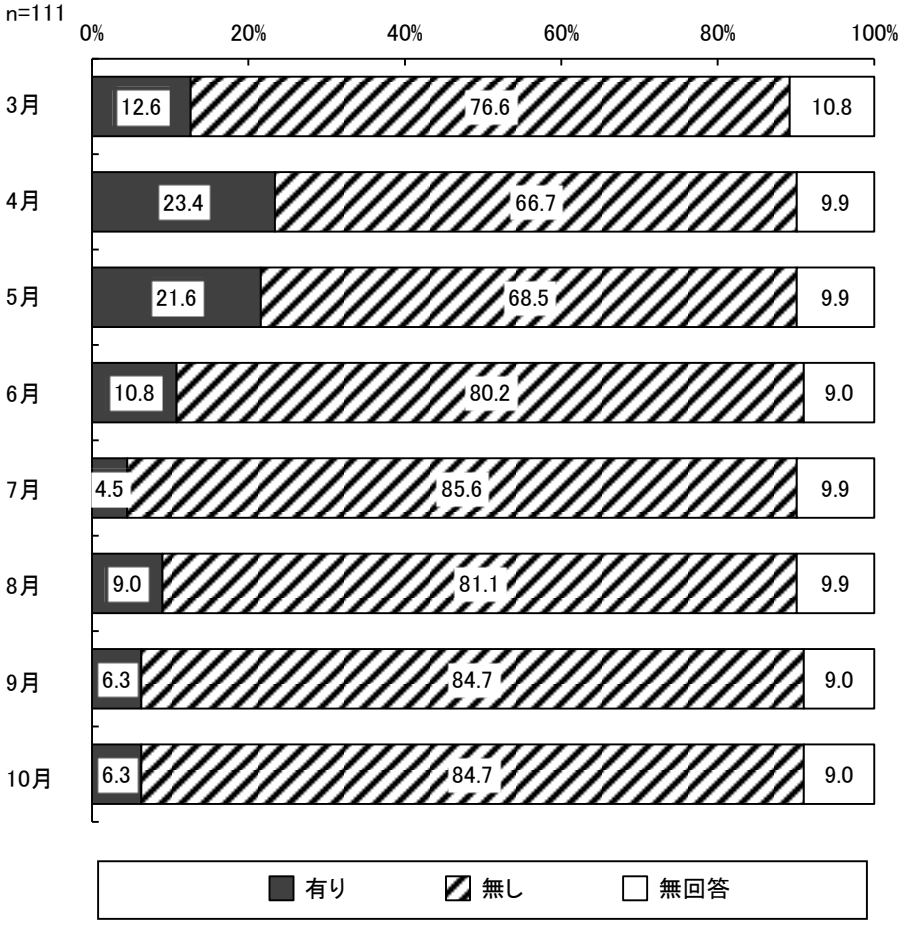
n=119



200～399床

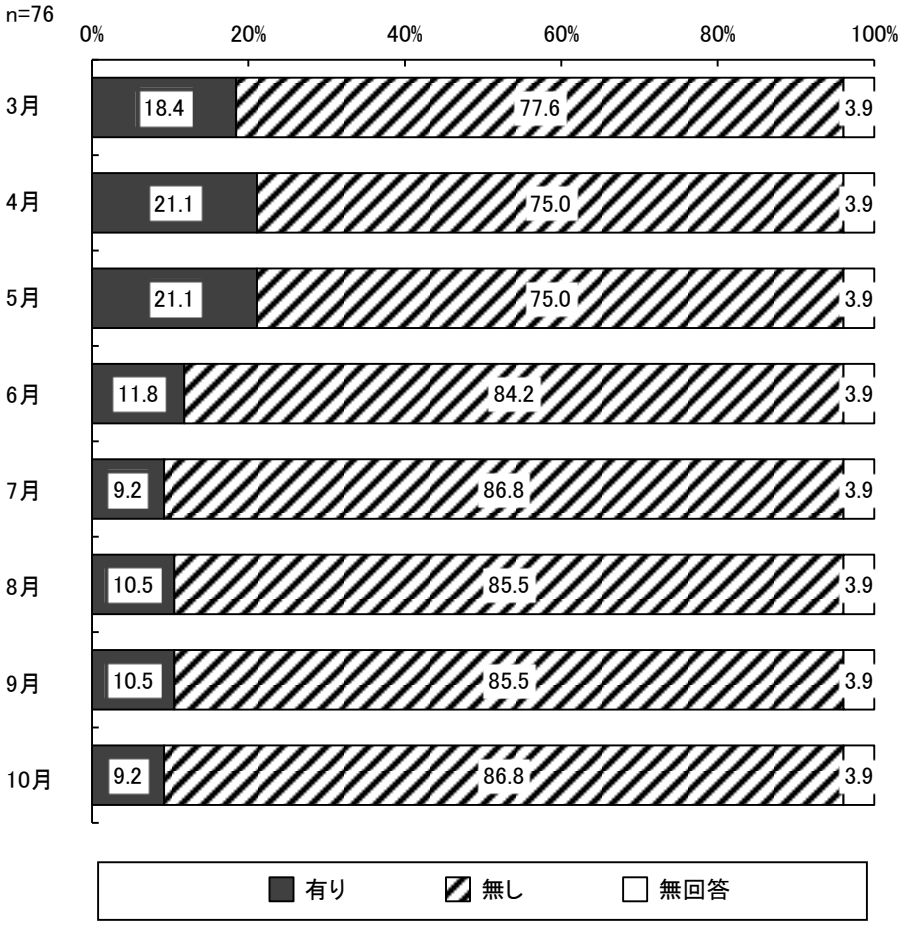
ウ　学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無

n=111

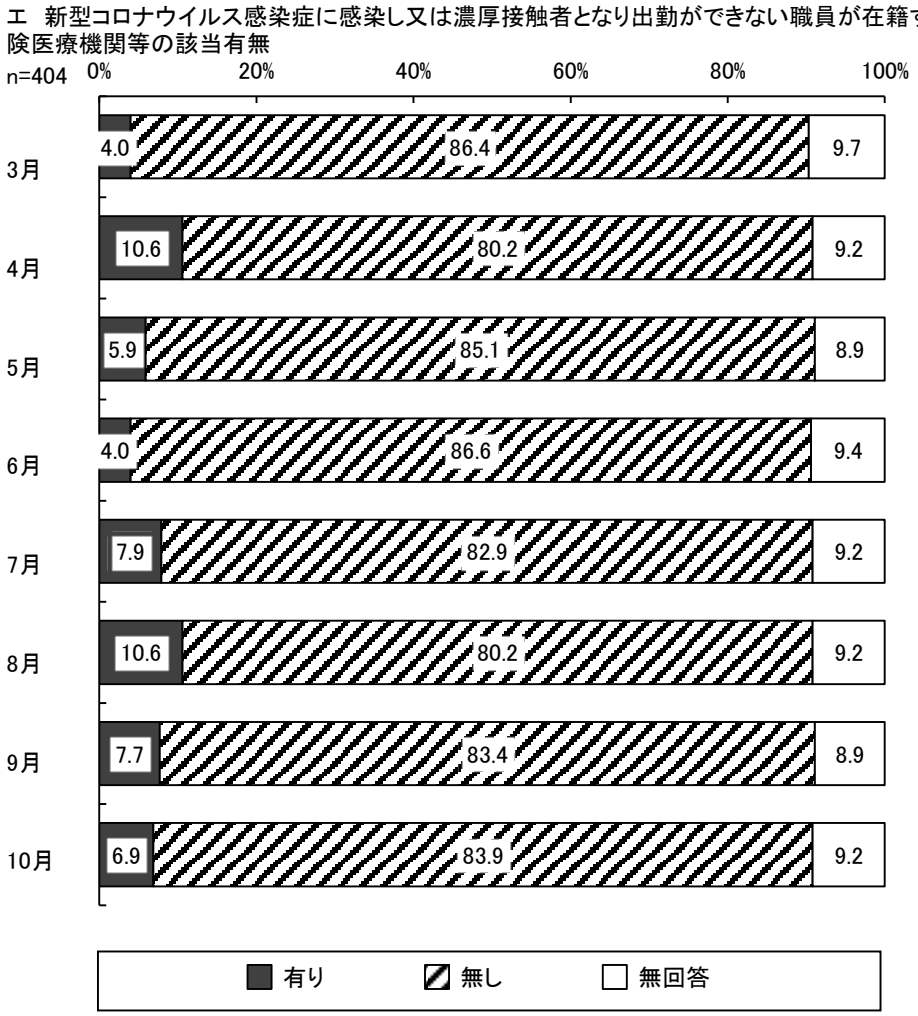


400床以上

ウ　学校等の臨時休業に伴い職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無



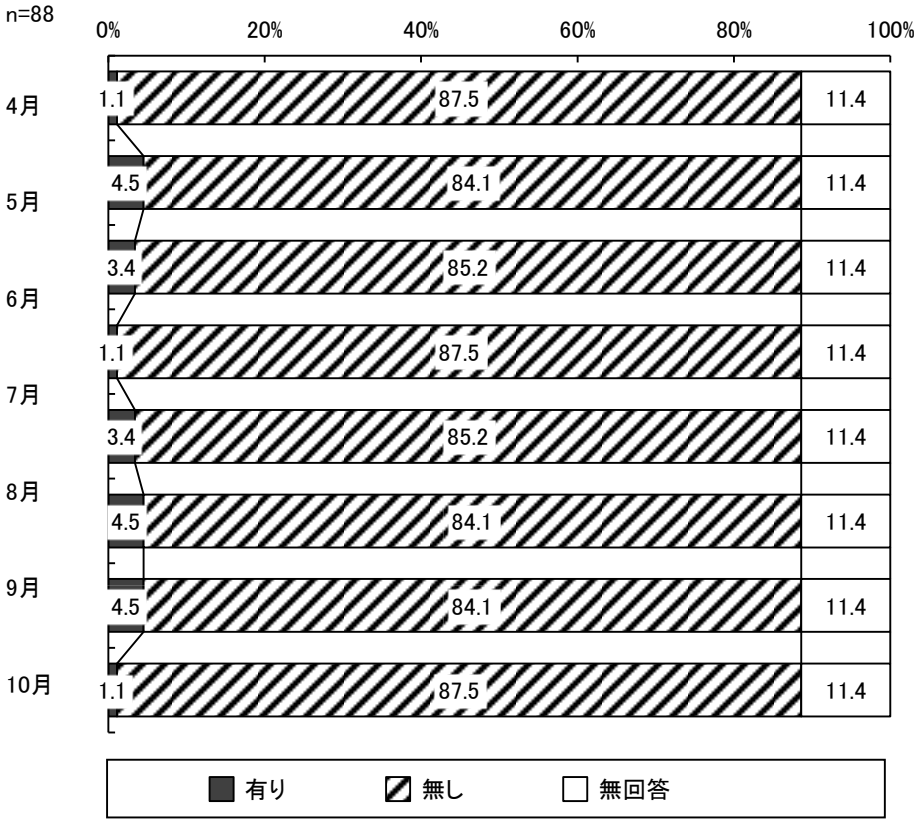
図表 2 - 122　エ　新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無



99床以下

エ　新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無

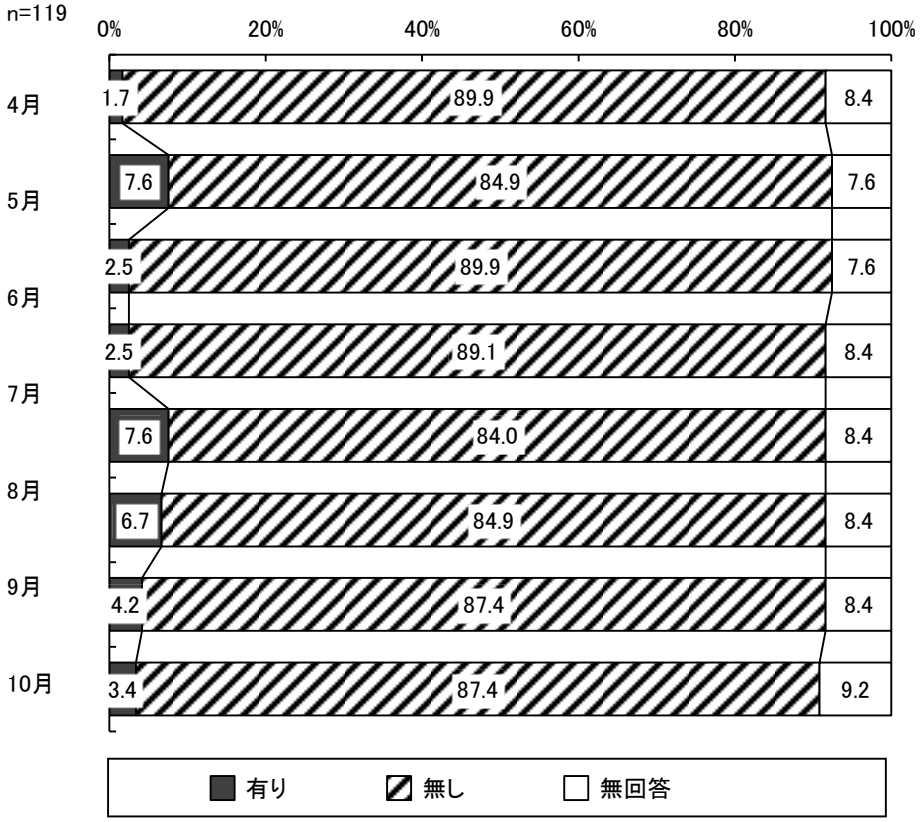
n=88



100 ～199 床

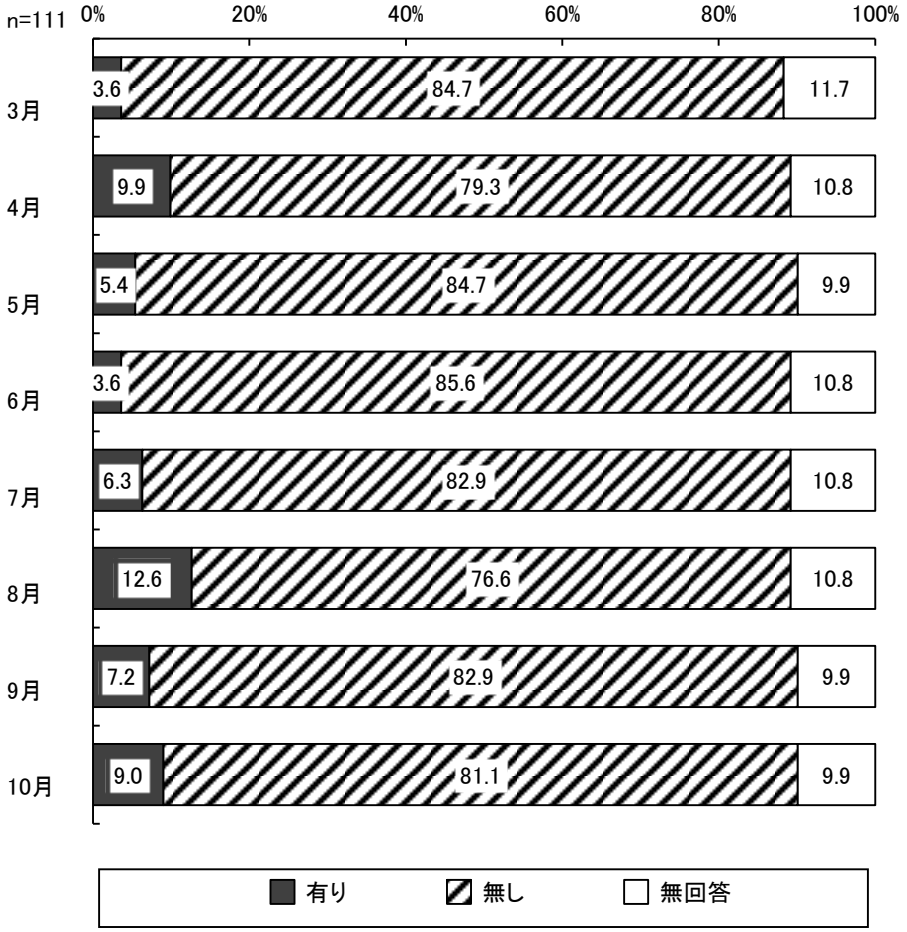
エ　新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無

n=119



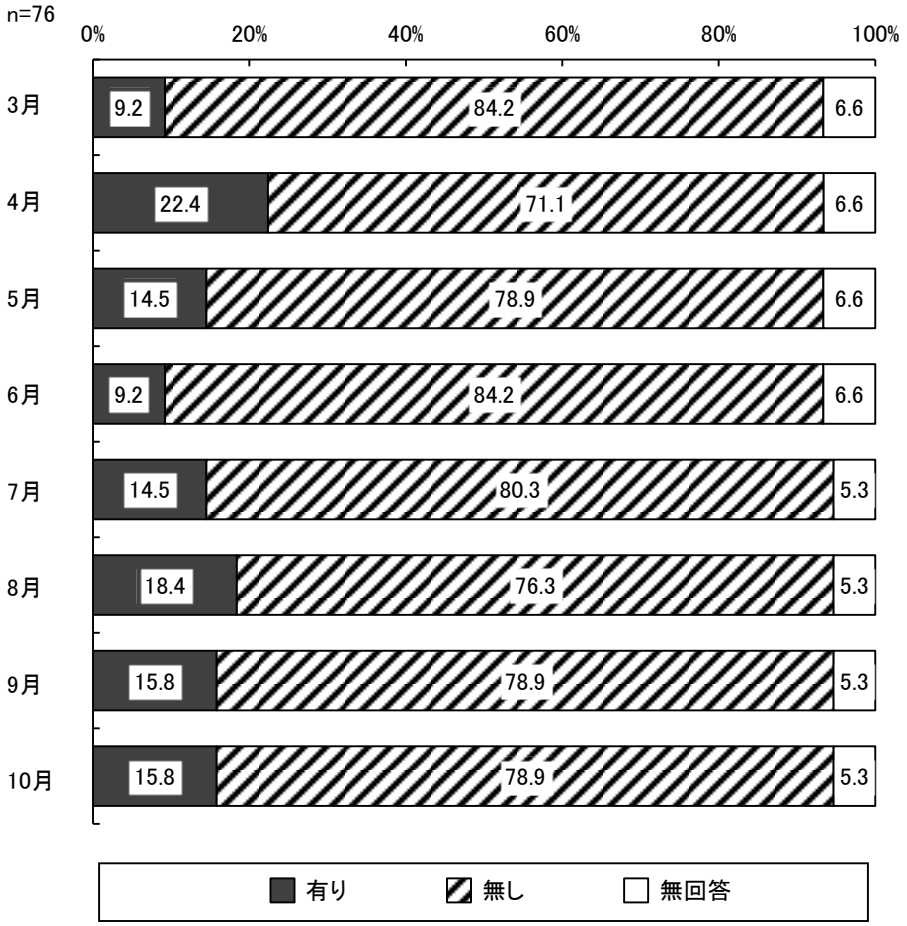
200～399床

エ　新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が
在籍する保険医療機関等の該当有無

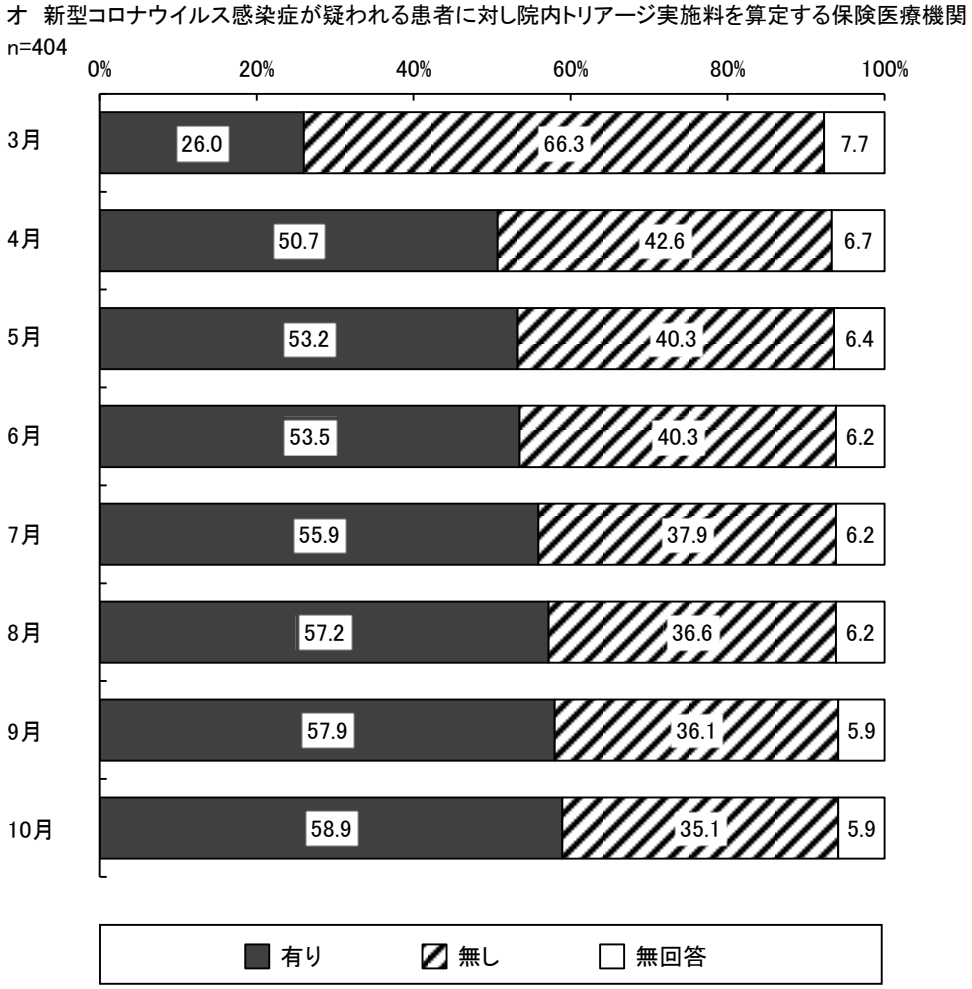


400床以上

エ　新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が
在籍する保険医療機関等の該当有無



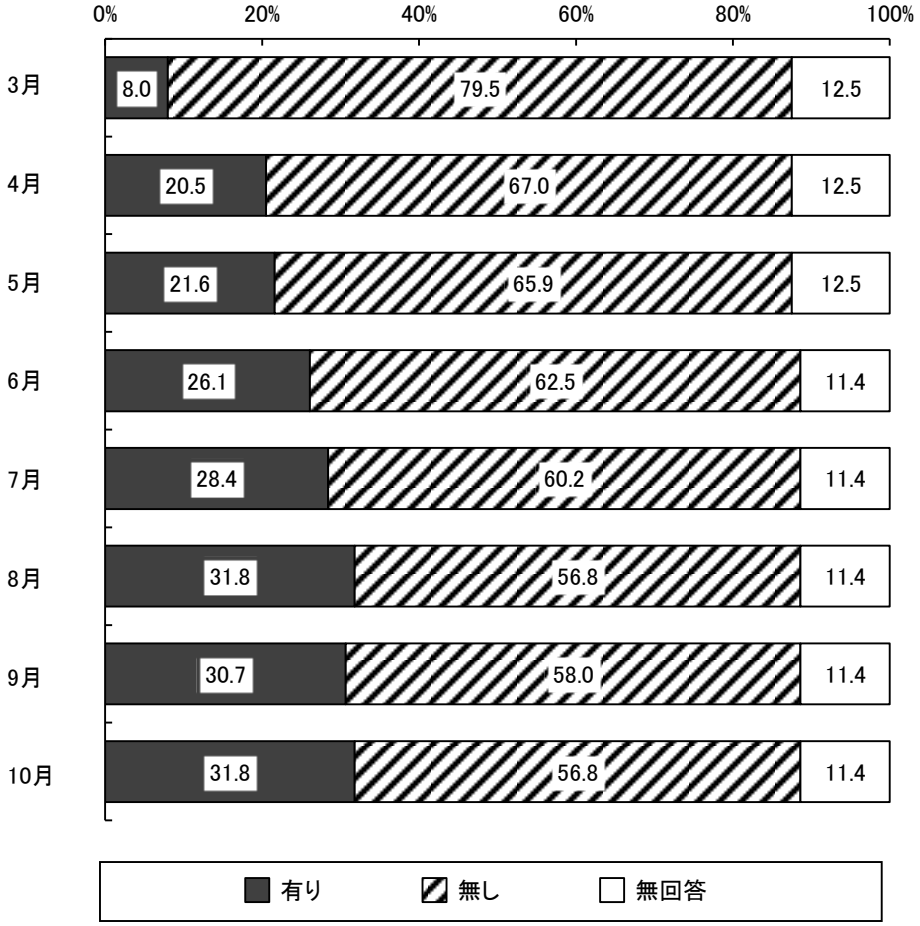
図表 2 - 123　オ　新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関



99床以下

オ　新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関

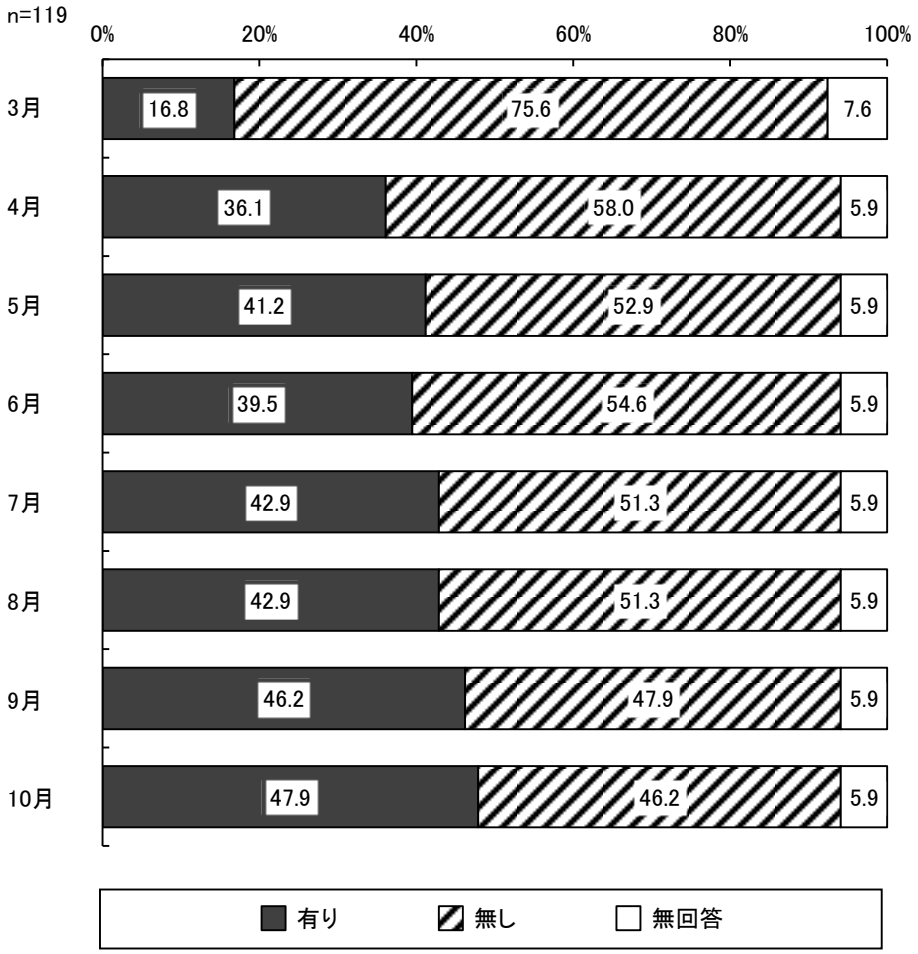
n=88



100 ～199 床

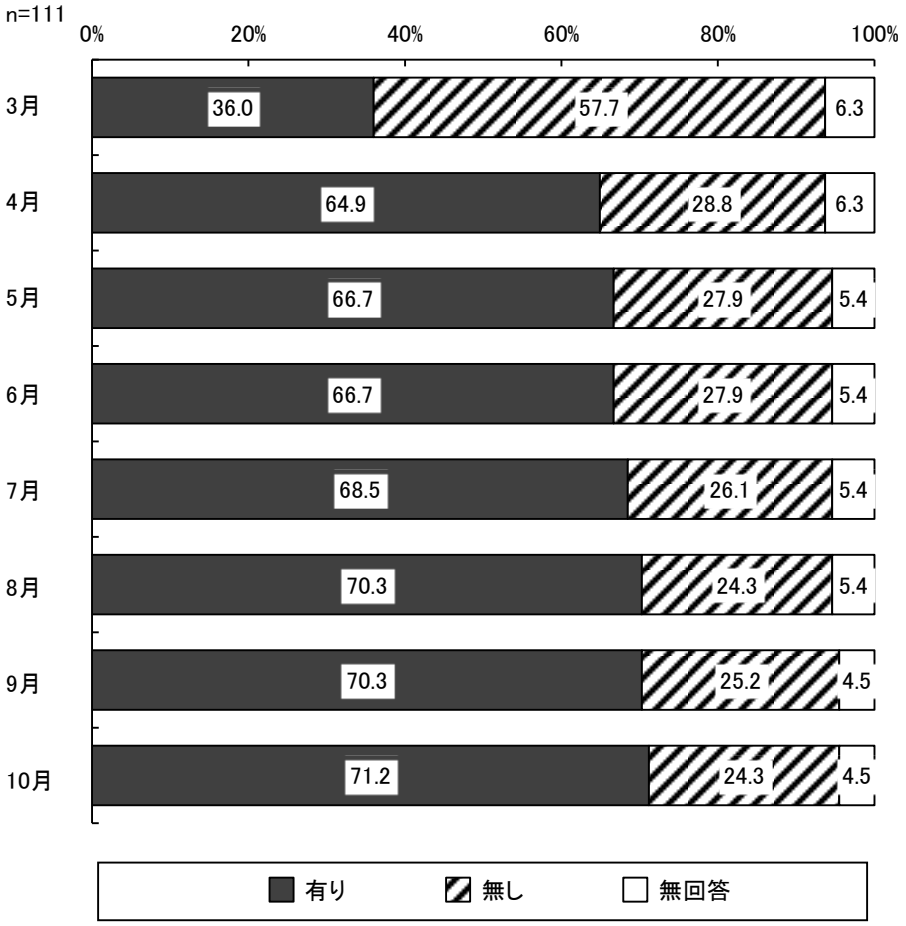
オ　新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関

n=119



200～399床

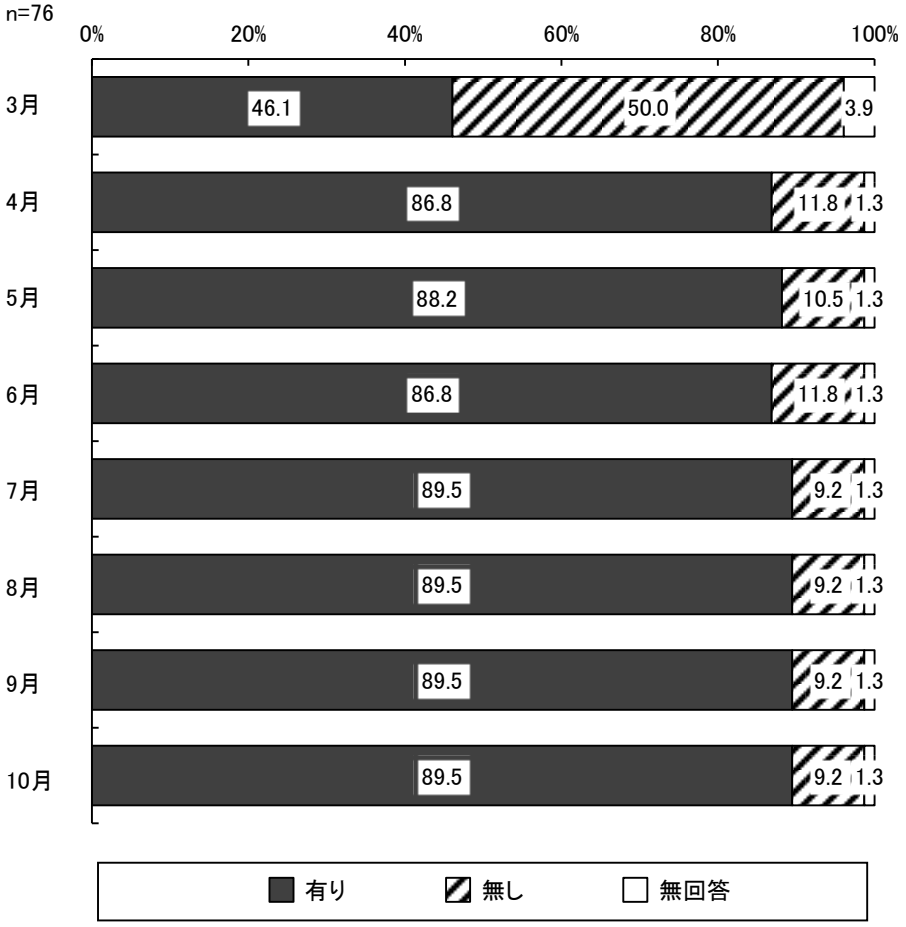
オ　新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関



400床以上

オ　新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し院内トリアージ実施料を算定する保険医療機関

n=76



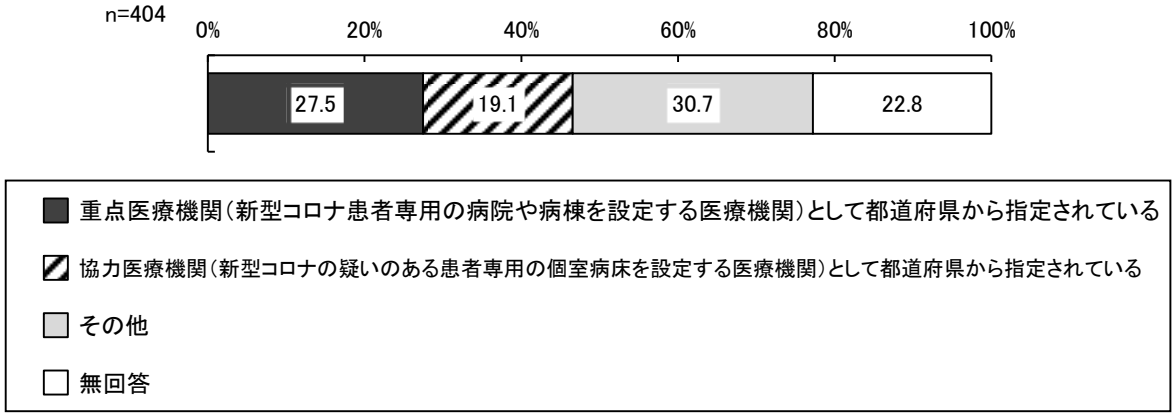
③ 新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無（令和 2 年 11 月 1 日時点）

重点医療機関等の指定の有無で最も多かったものは「重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている」（27.5%）であった。

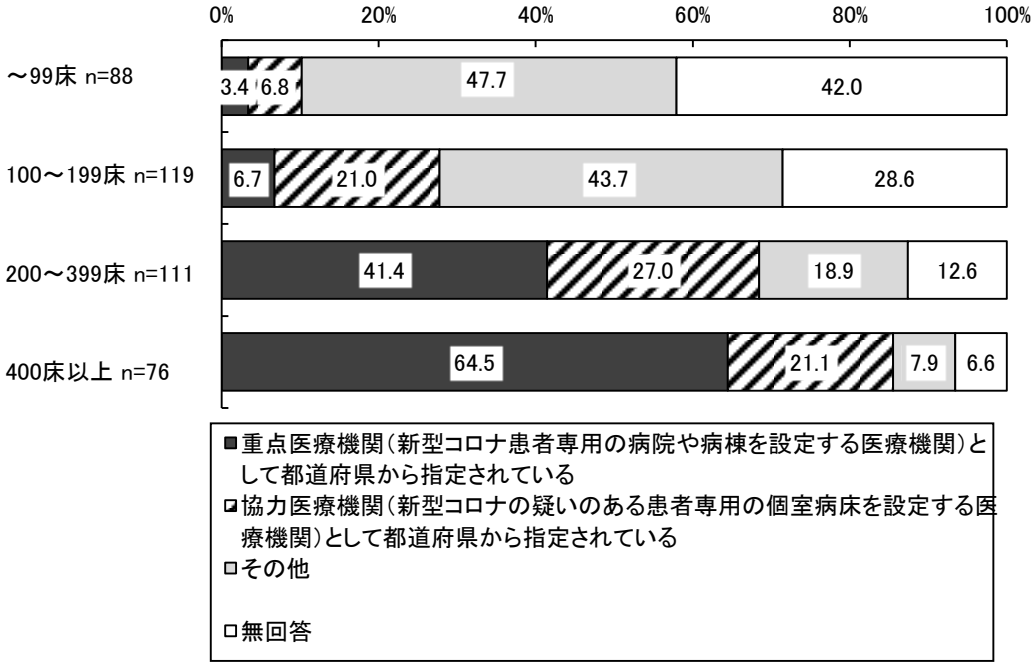
病床規模別にみると、病床数が～99 床においては、「重点医療機関」が 3.4%であったのに対して、400 床以上では、64.5%が「重点医療機関」であった。地域医療体制確保加算を届出ている医療機関のうち、「重点医療機関」は 56.3%であった。

なお、「その他」では「診療・検査医療機関」、「重点医療機関と協力医療機関の両方の指定を受けている」、「帰国者・接触者外来」等の回答があった。

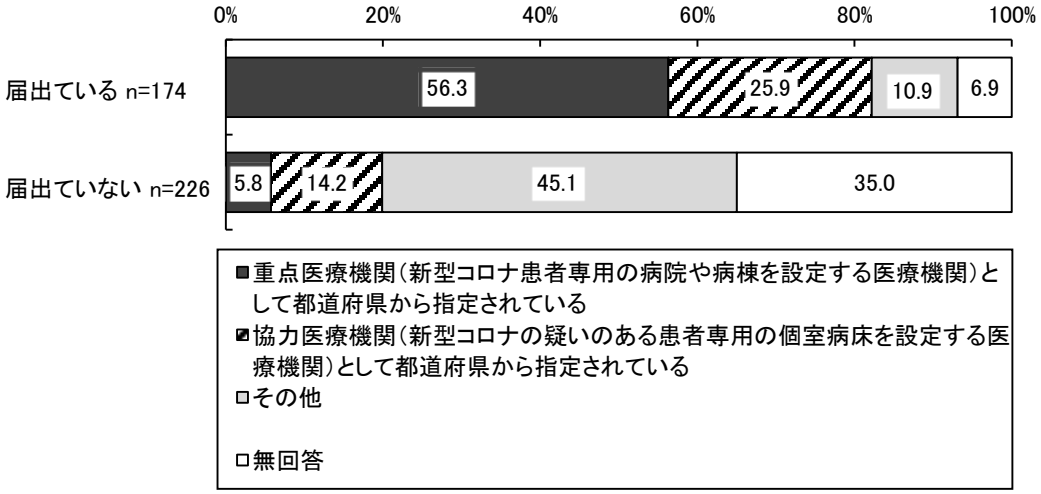
図表 2 - 124　重点医療機関等の指定の有無



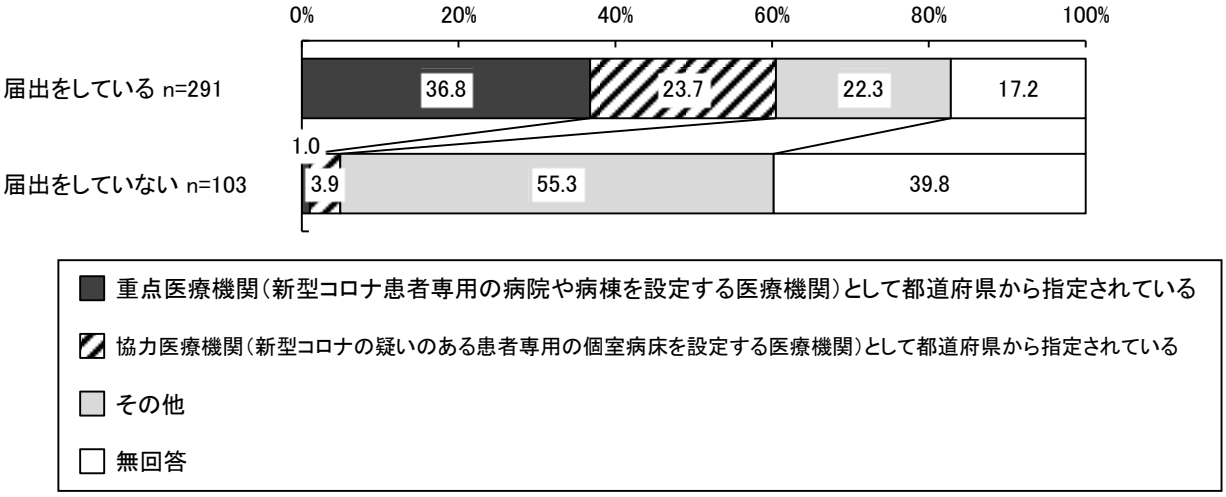
図表 2 - 125　重点医療機関等の指定の有無【病床別】



図表 2 - 126　重点医療機関等の指定の有無
（地域医療体制確保加算の有無別）



図表 2 - 127　重点医療機関等の指定の有無
（医師事務補助体制加算の有無別）

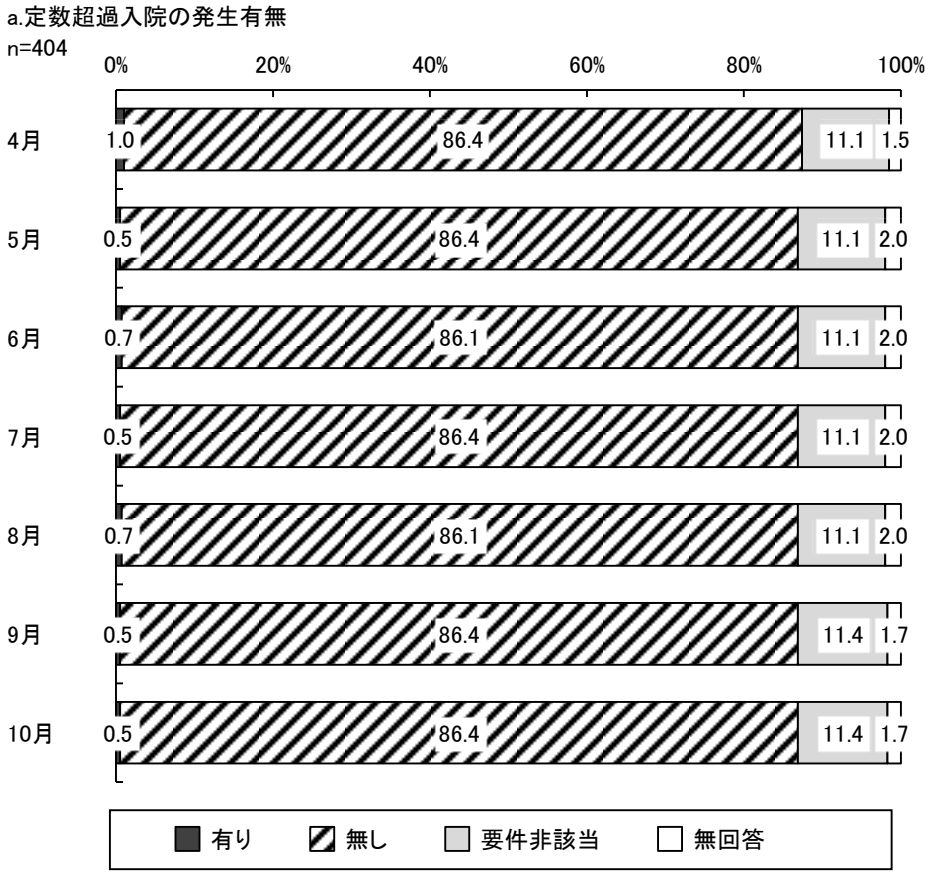


④　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い」に関連し、届出ている施設基準等で求められている各種の配置要件や診療実績への影響の状況（令和 2 年 4 月以降）

新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況について、定数超過入院の発生有無についてみると、4 月から 10 月の間に大差はなく、「有り」が約 86%であった。

a.定額超過入院の発生有無

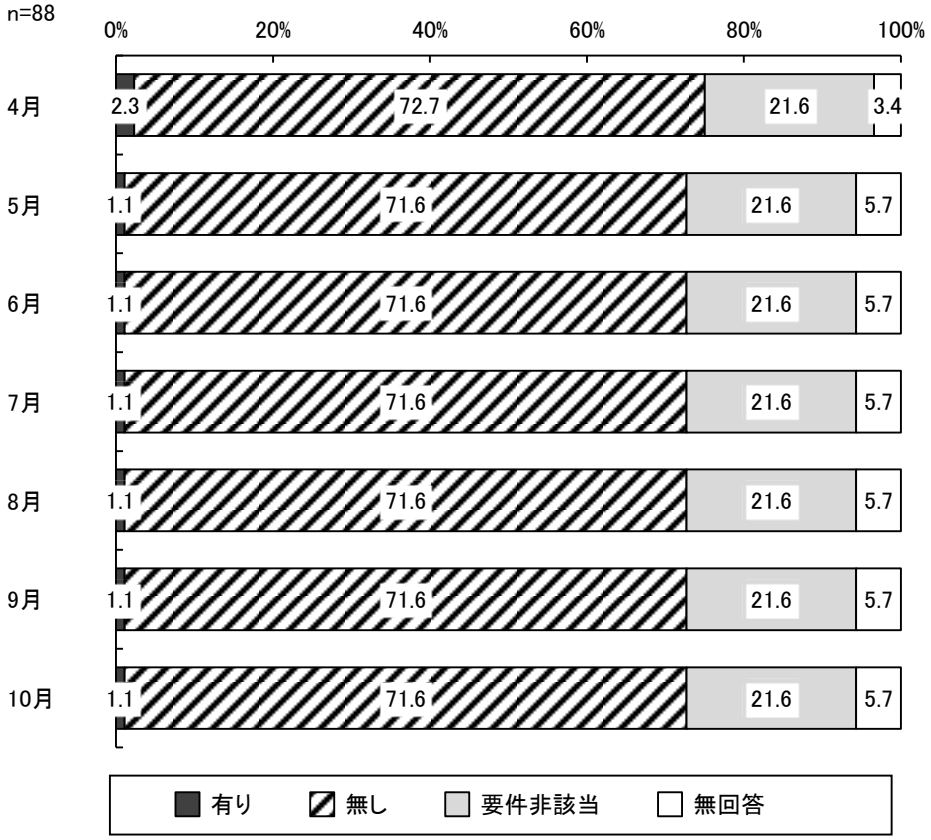
図表 2 - 128　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



99床以下

a.定数超過入院の発生有無

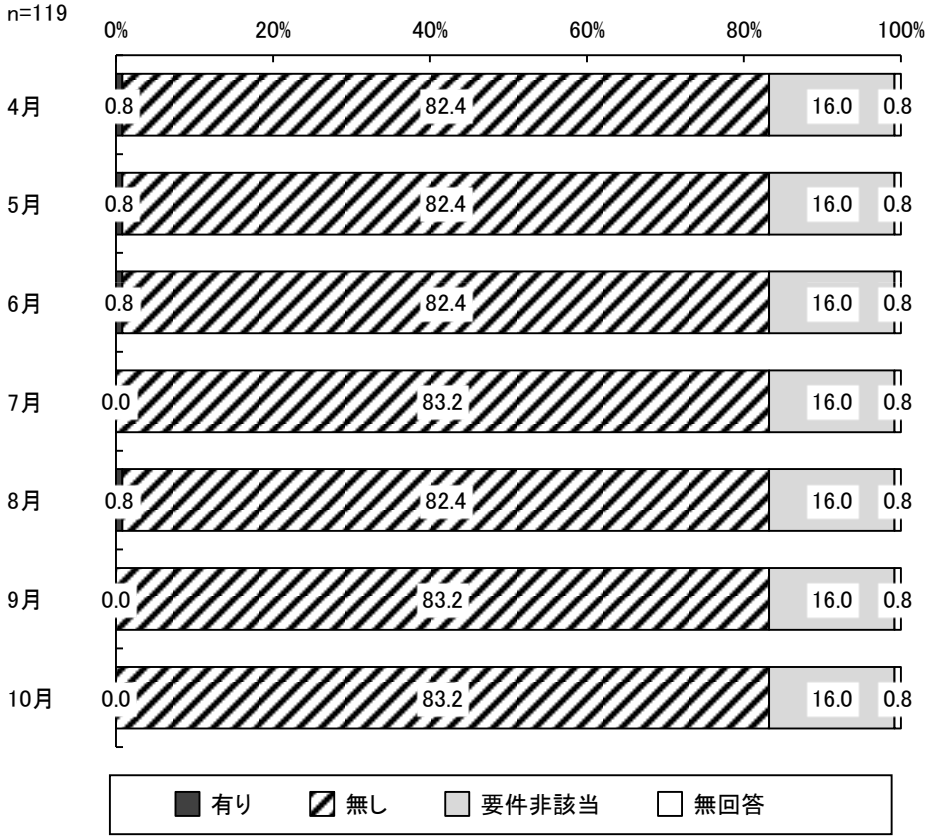
n=88



100 ～199 床

a.定数超過入院の発生有無

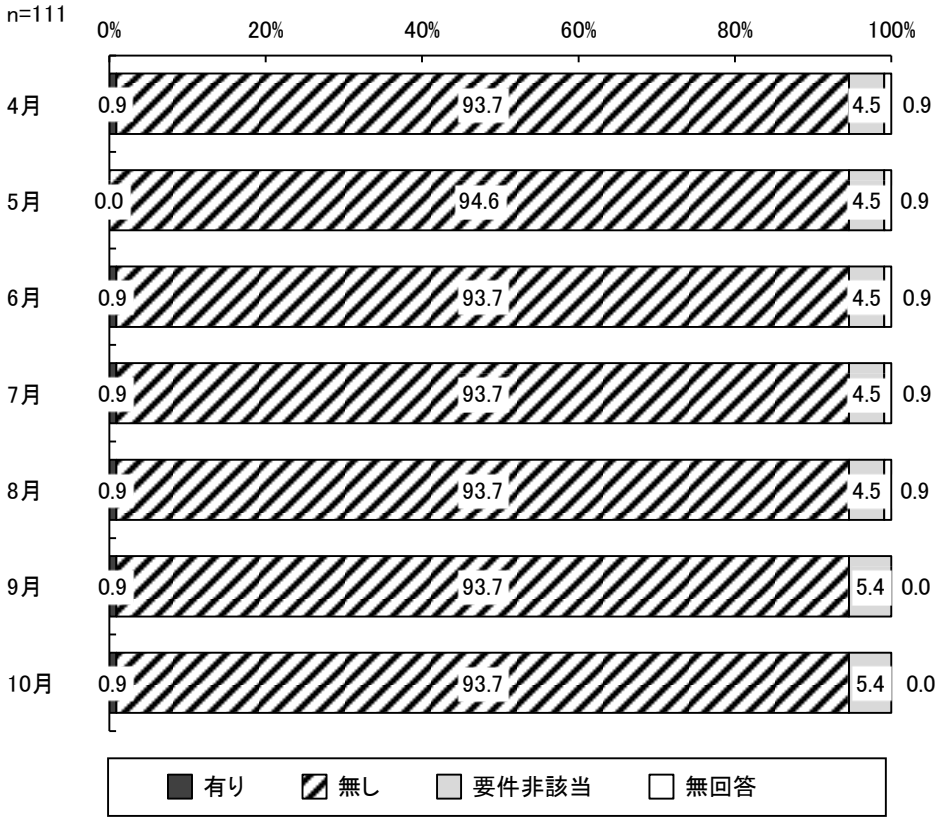
n=119



200～399床

a.定数超過入院の発生有無

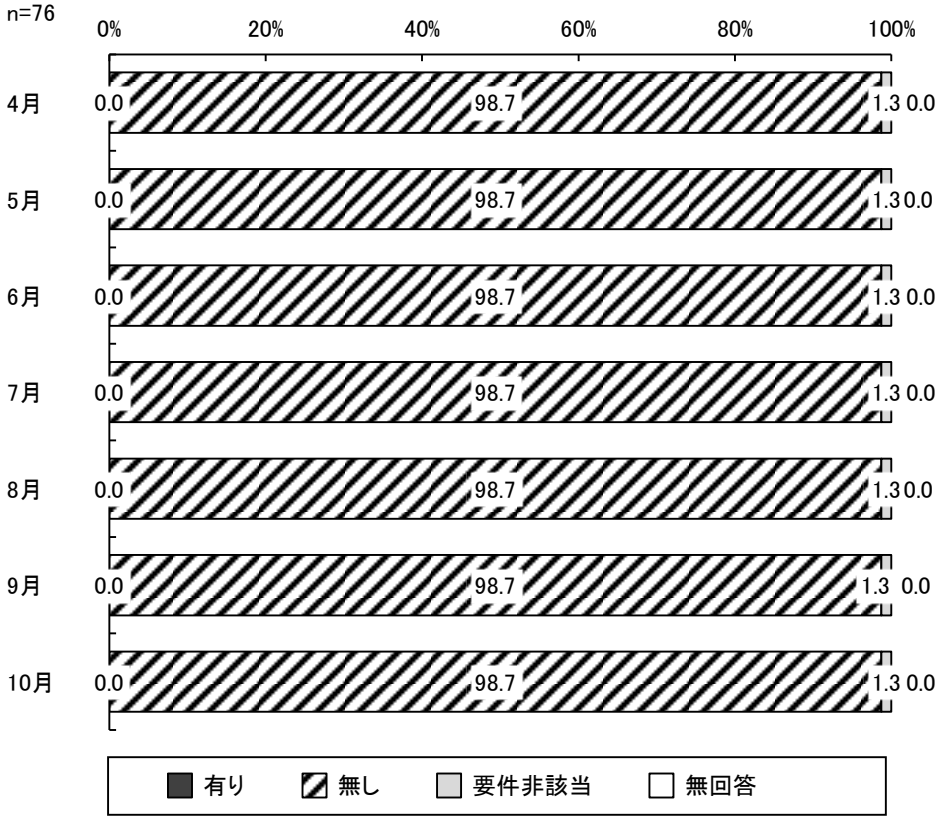
n=111



400床以上

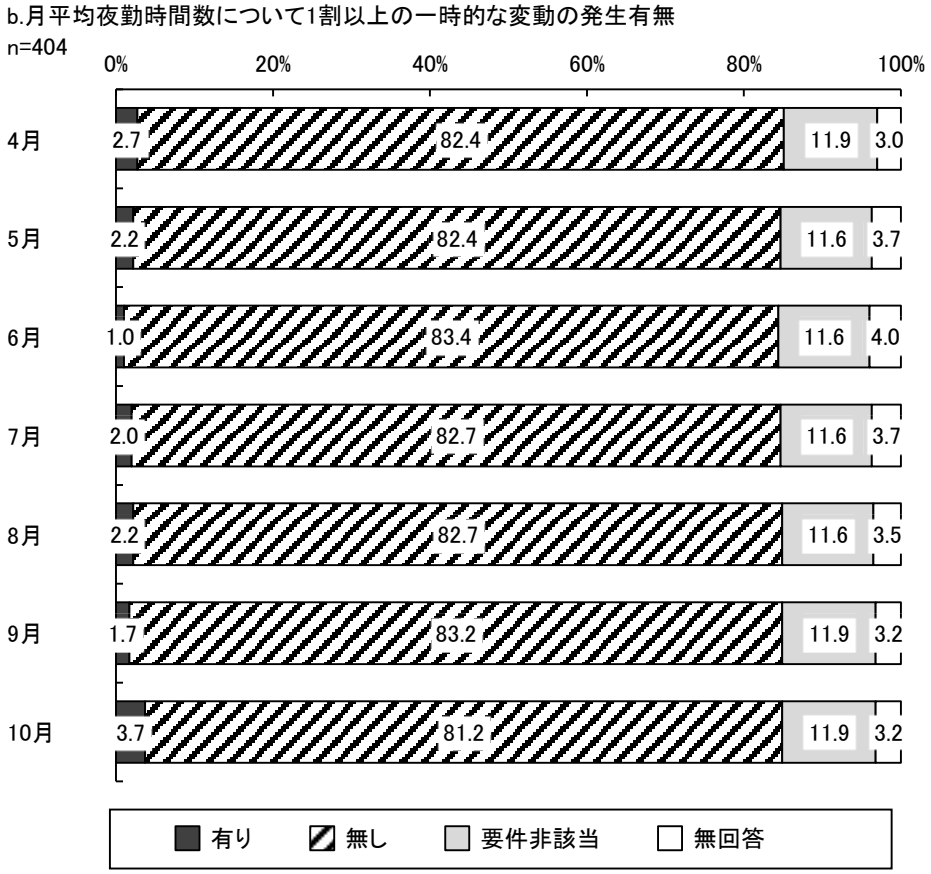
a.定数超過入院の発生有無

n=76



b.月平均夜勤時間数について１割以上の一時的な変動の発生有無

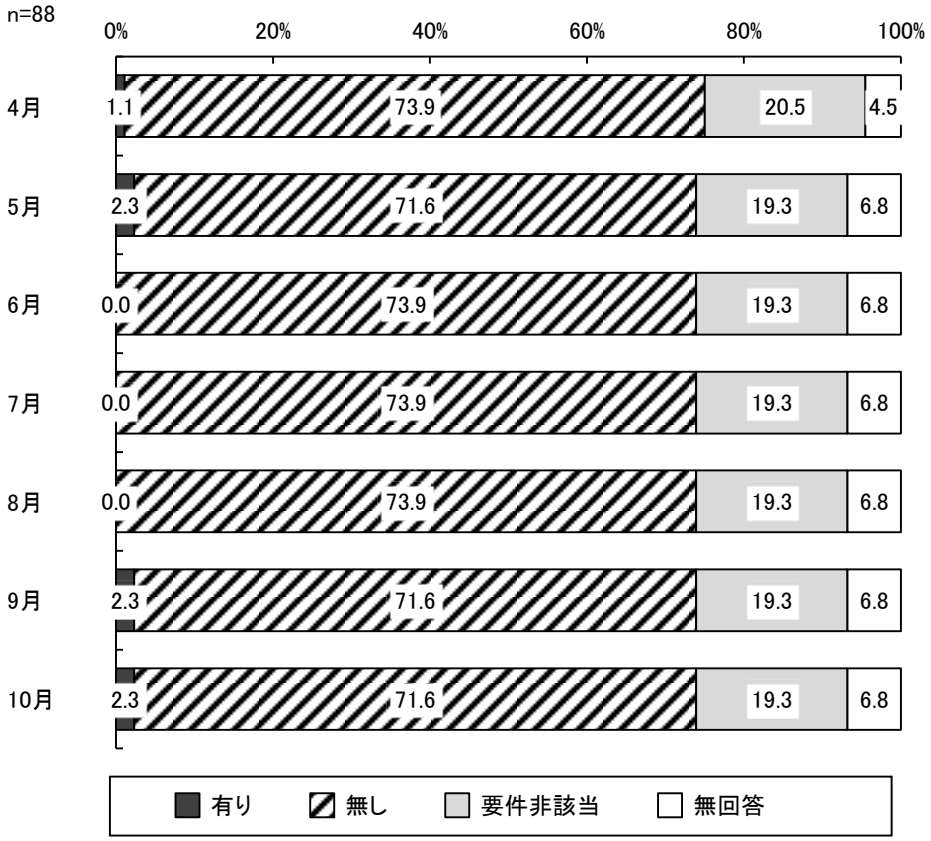
図表２－129　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



99床以下

b.月平均夜勤時間数について1割以上の一時的な変動の発生有無

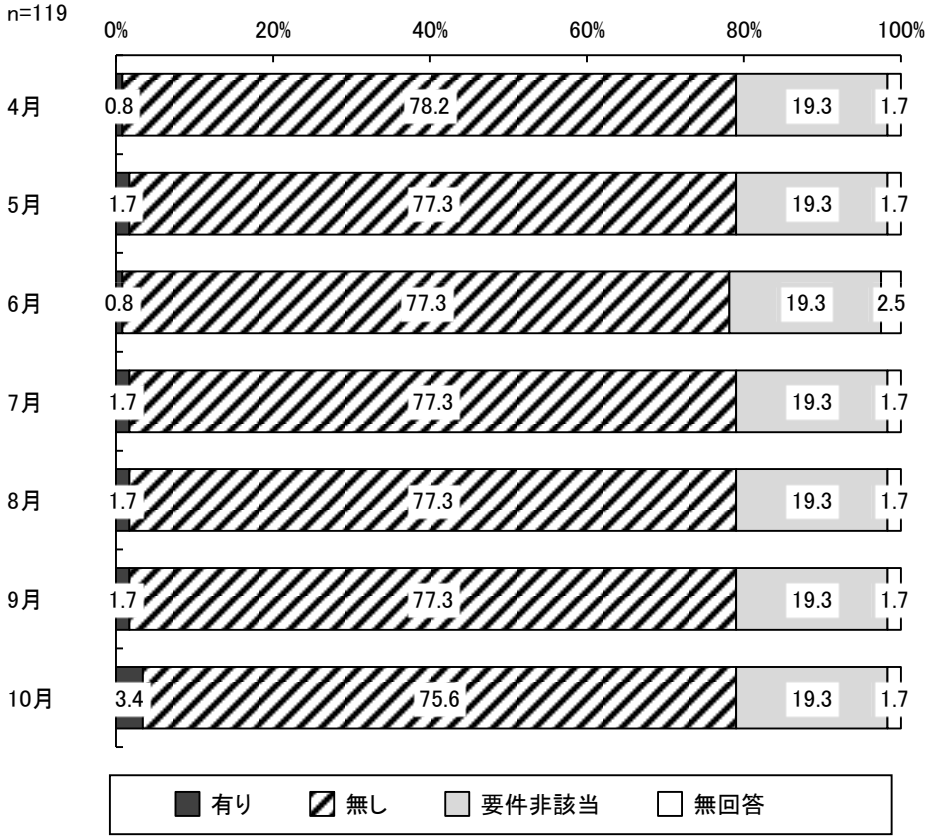
n=88



100 ～199 床

b.月平均夜勤時間数について1割以上の一時的な変動の発生有無

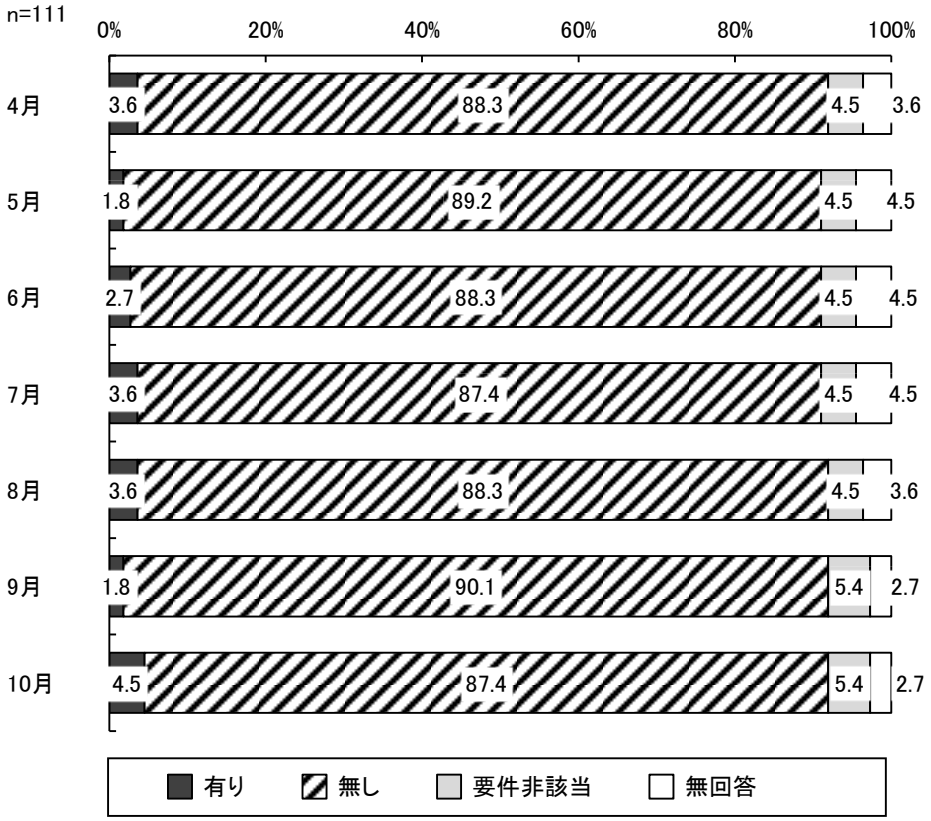
n=119



200～399床

b.月平均夜勤時間数について1割以上の一時的な変動の発生有無

n=111



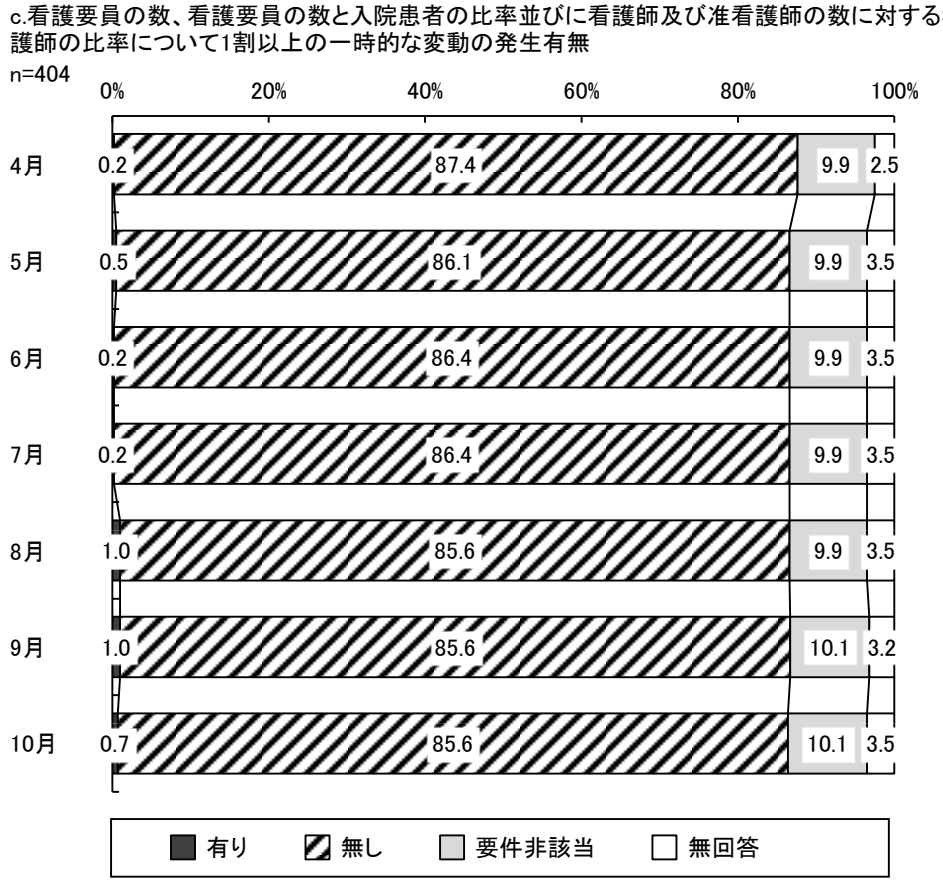
400床以上

b.月平均夜勤時間数について1割以上の一時的な変動の発生有無

n=76

c.看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について１割以上の一時的な変動の発生有無

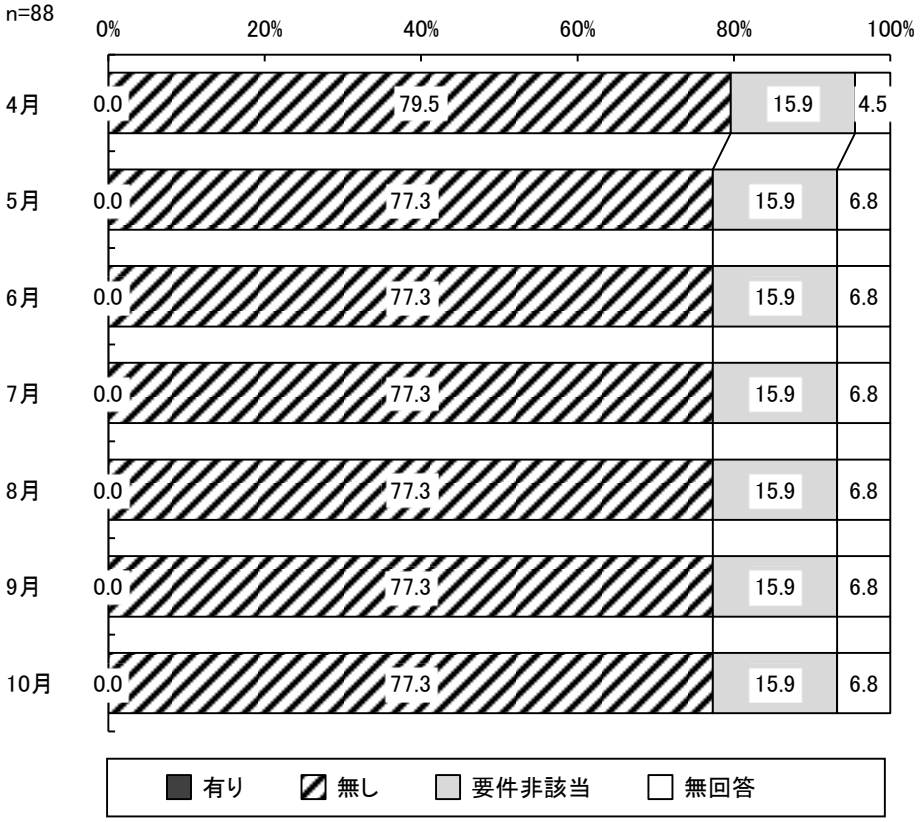
図表２－130　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



99床以下

c.看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について1割以上の一時的な変動の発生有無

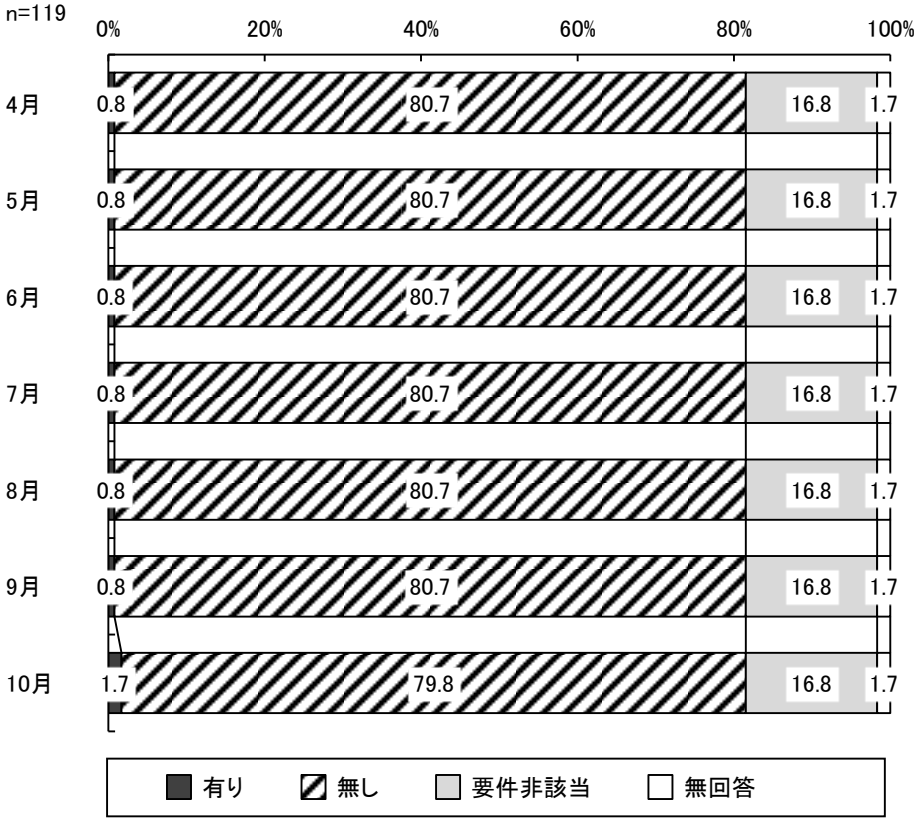
n=88



100 ～199 床

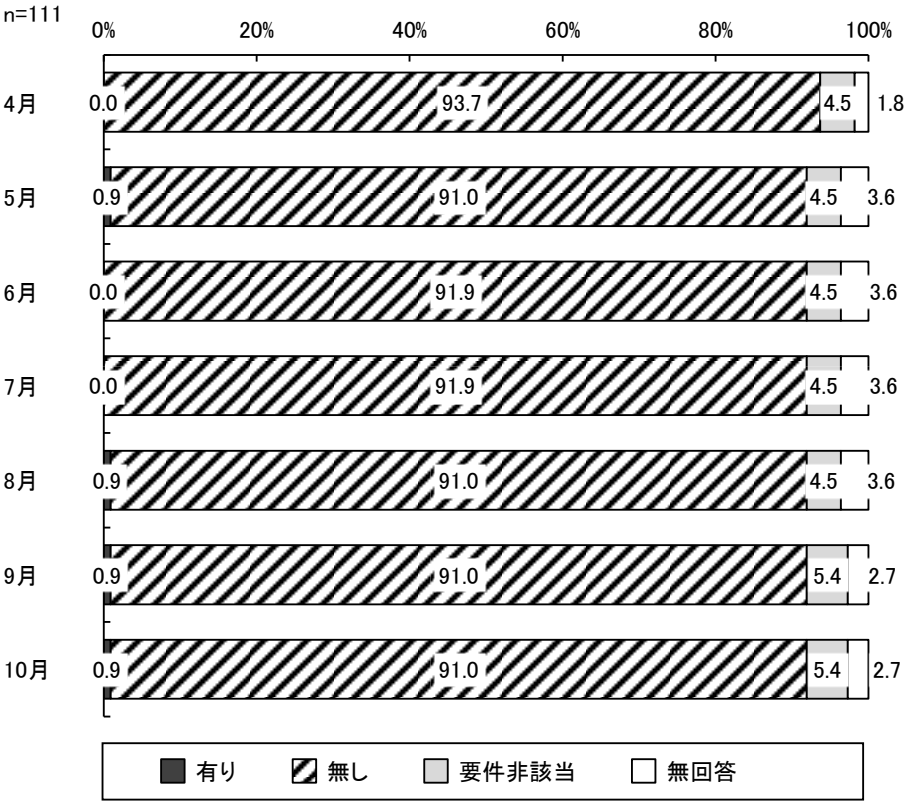
c.看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について1割以上の一時的な変動の発生有無

n=119



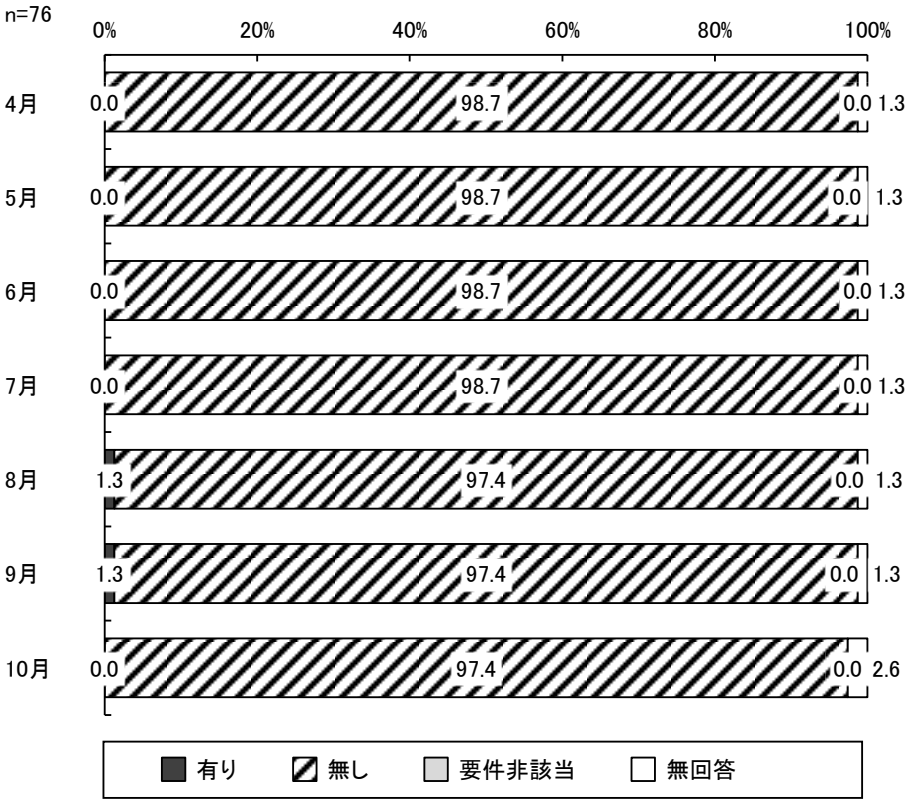
200～399床

c.看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について1割以上の一時的な変動の発生有無



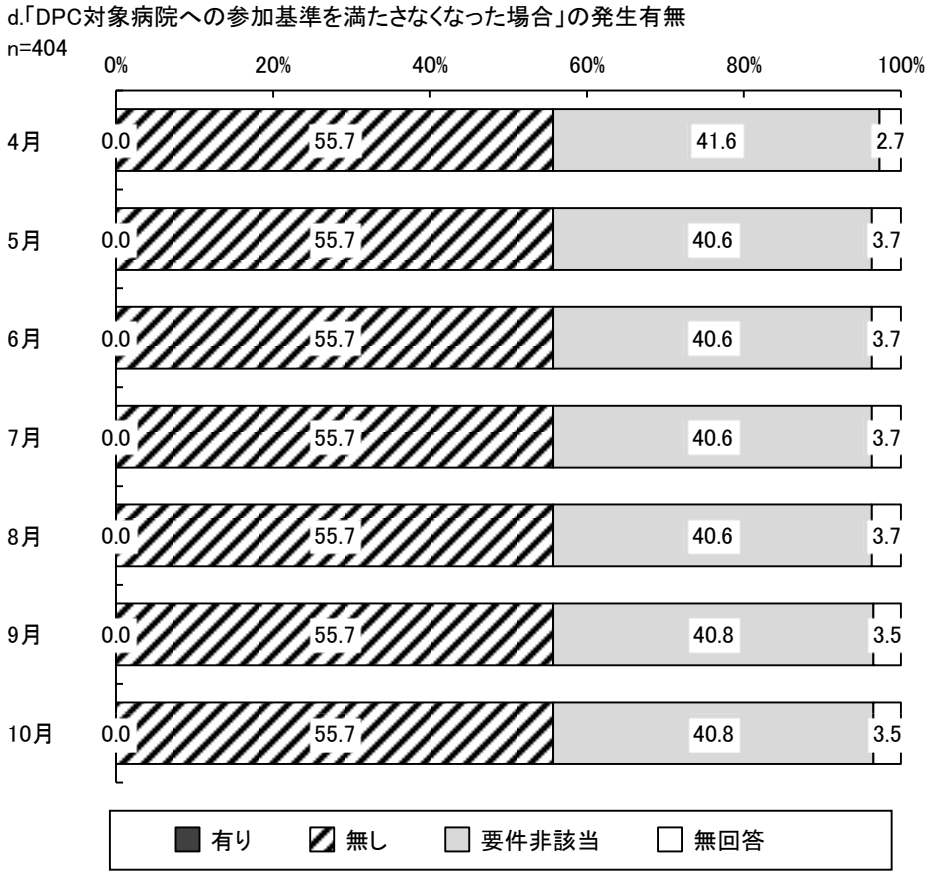
400床以上

c.看護要員の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について1割以上の一時的な変動の発生有無



d.「DPC 対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無

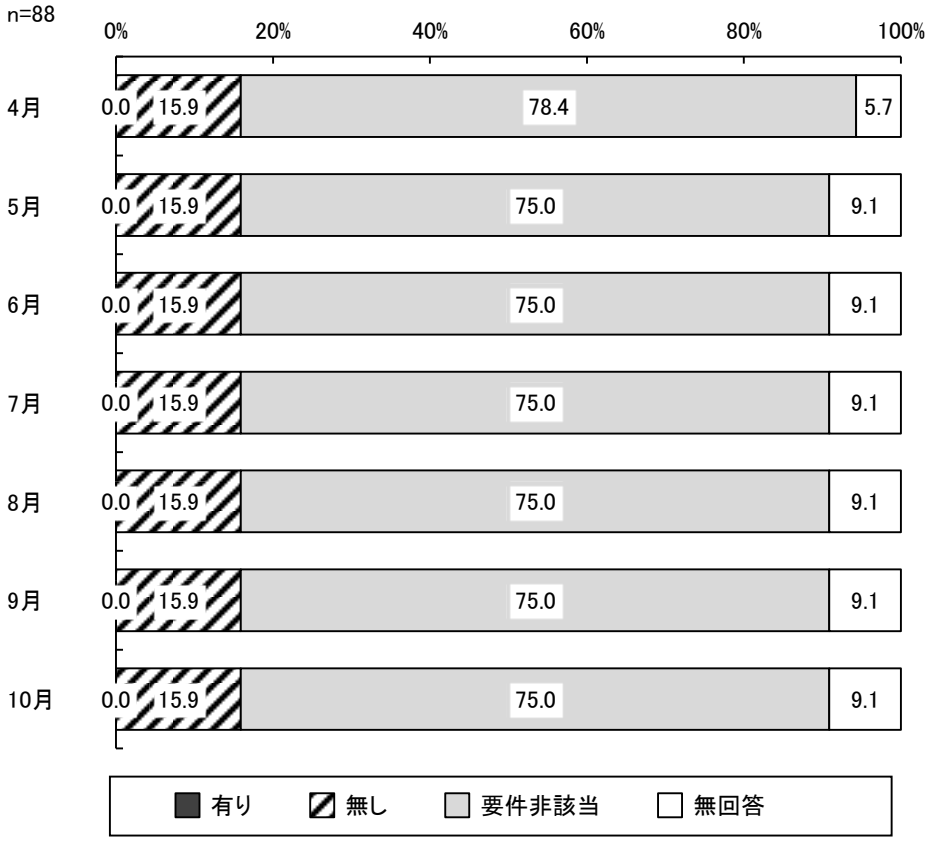
図表 2 - 131　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



99床以下

d.「DPC対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無

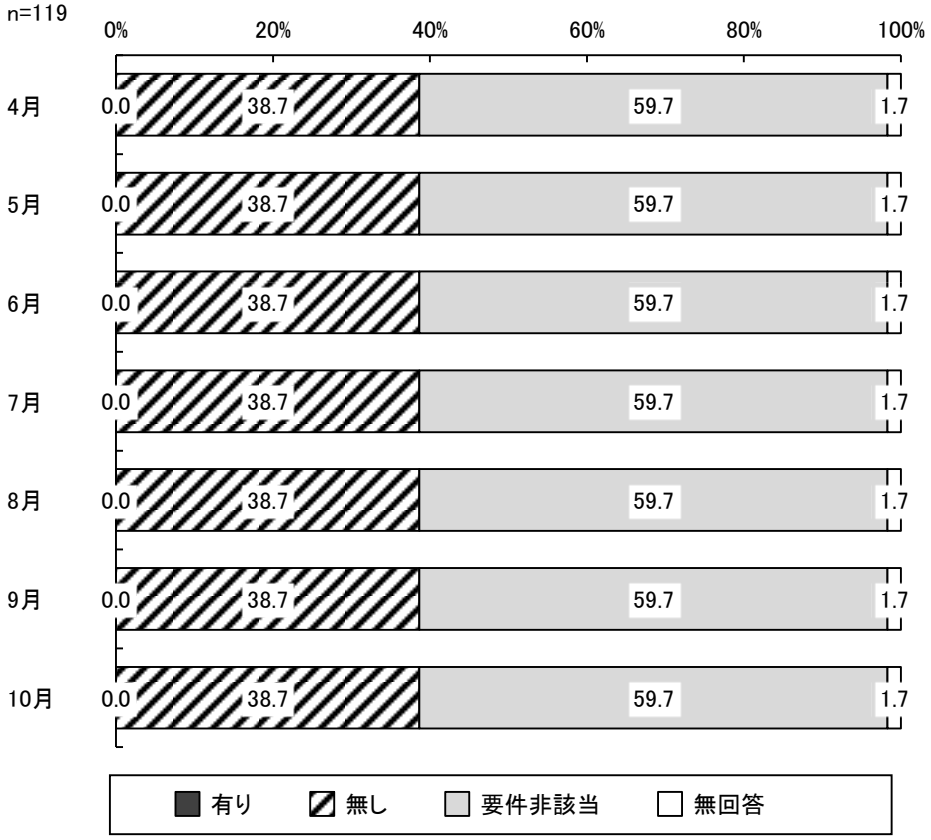
n=88



100 ～199 床

d.「DPC対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無

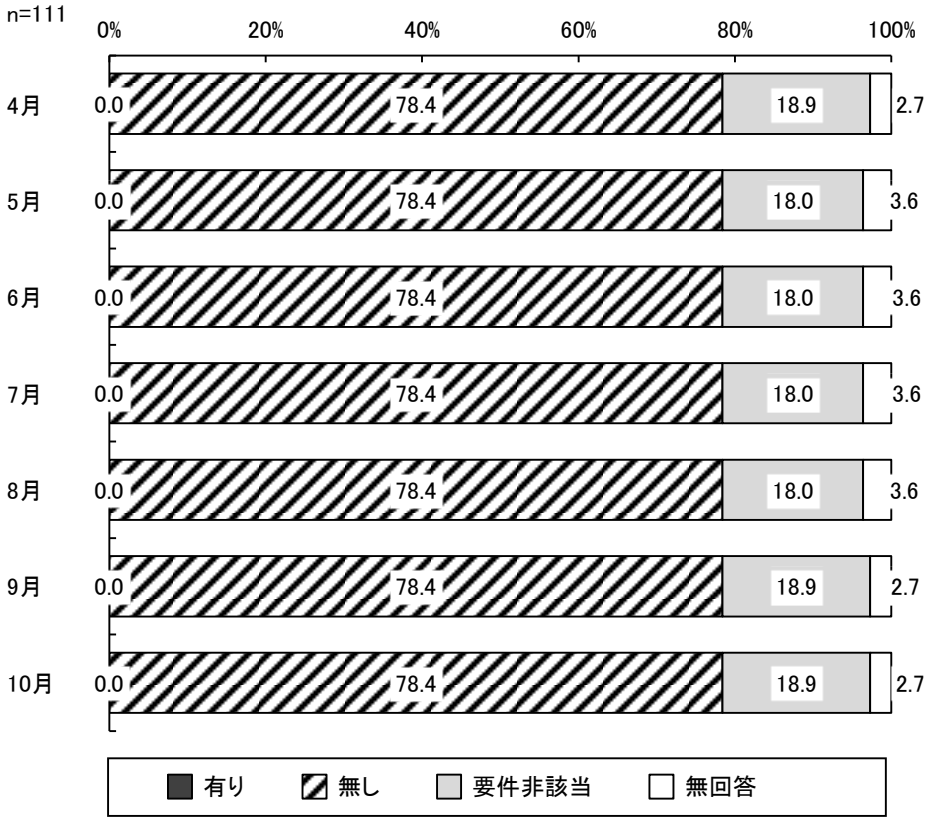
n=119



200～399床

d.「DPC対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無

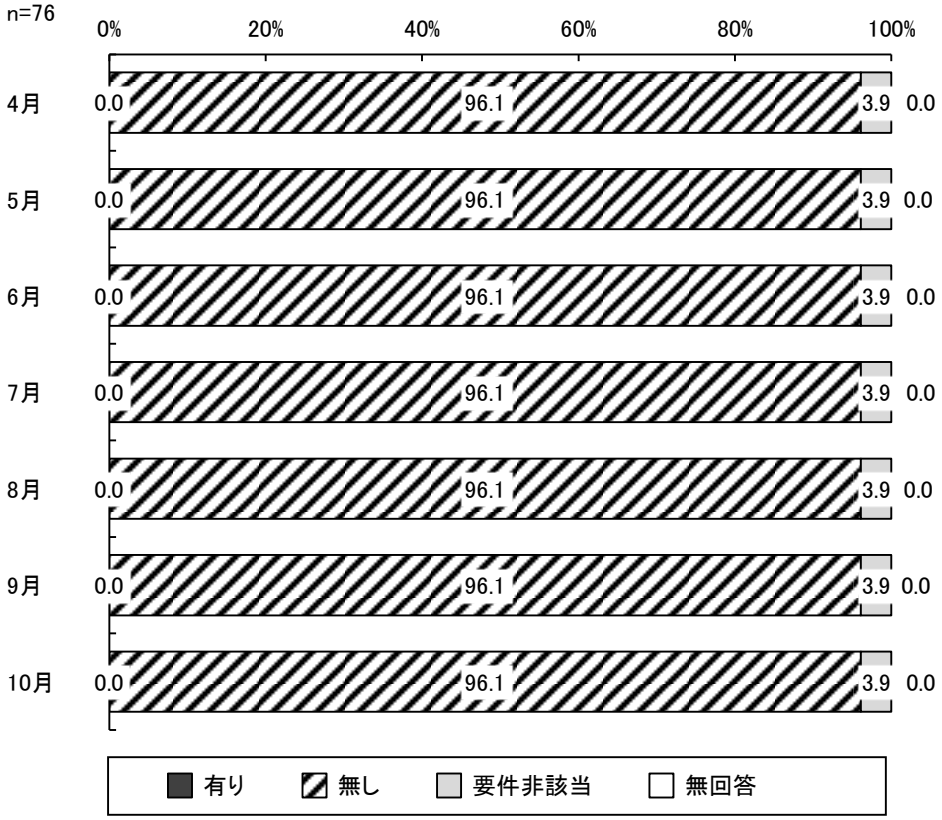
n=111



400床以上

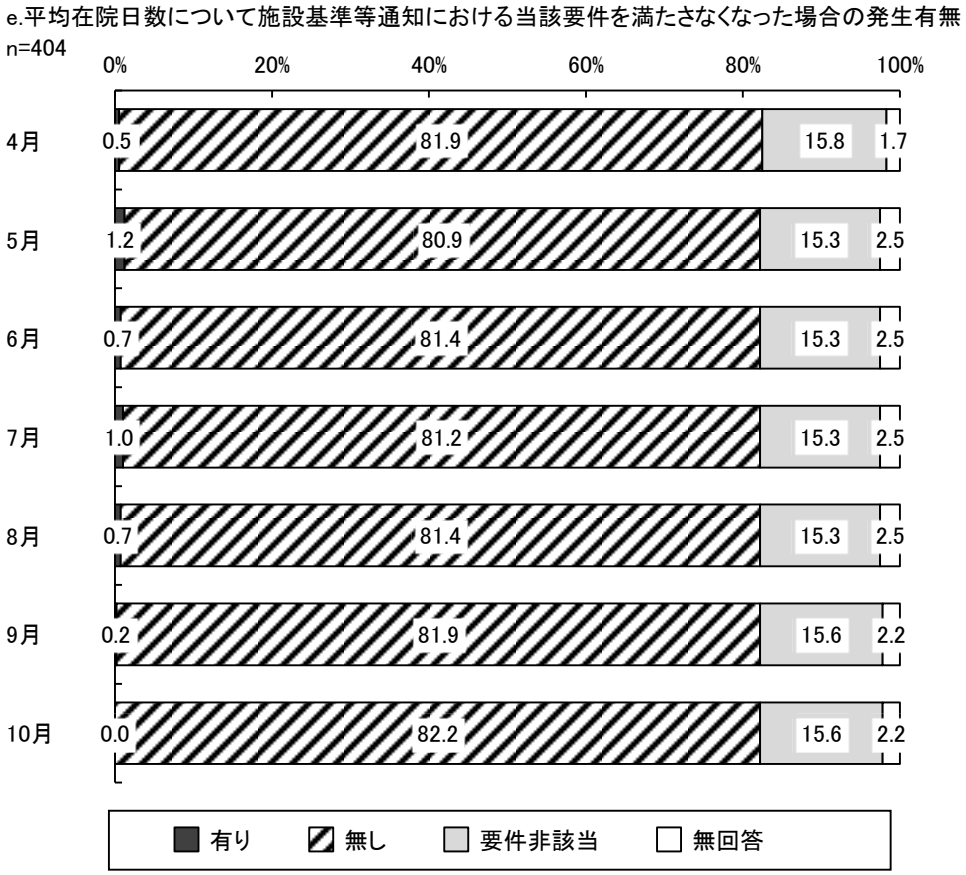
d.「DPC対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」の発生有無

n=76



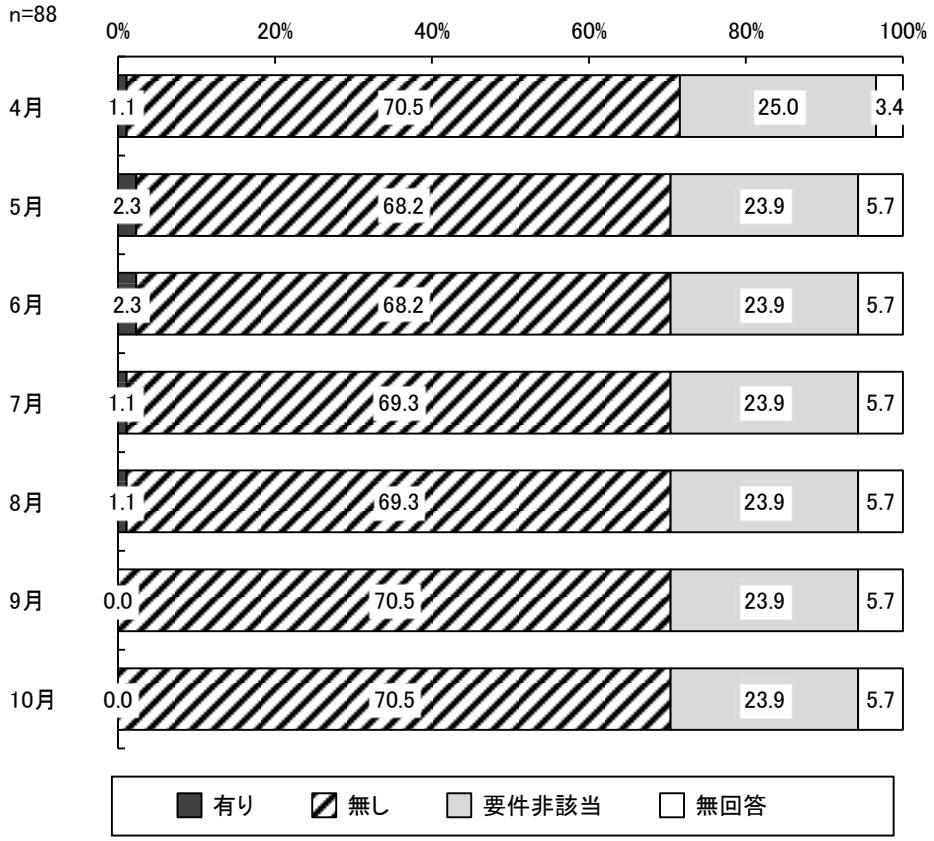
e.平均在院日数について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

図表 2 - 132　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



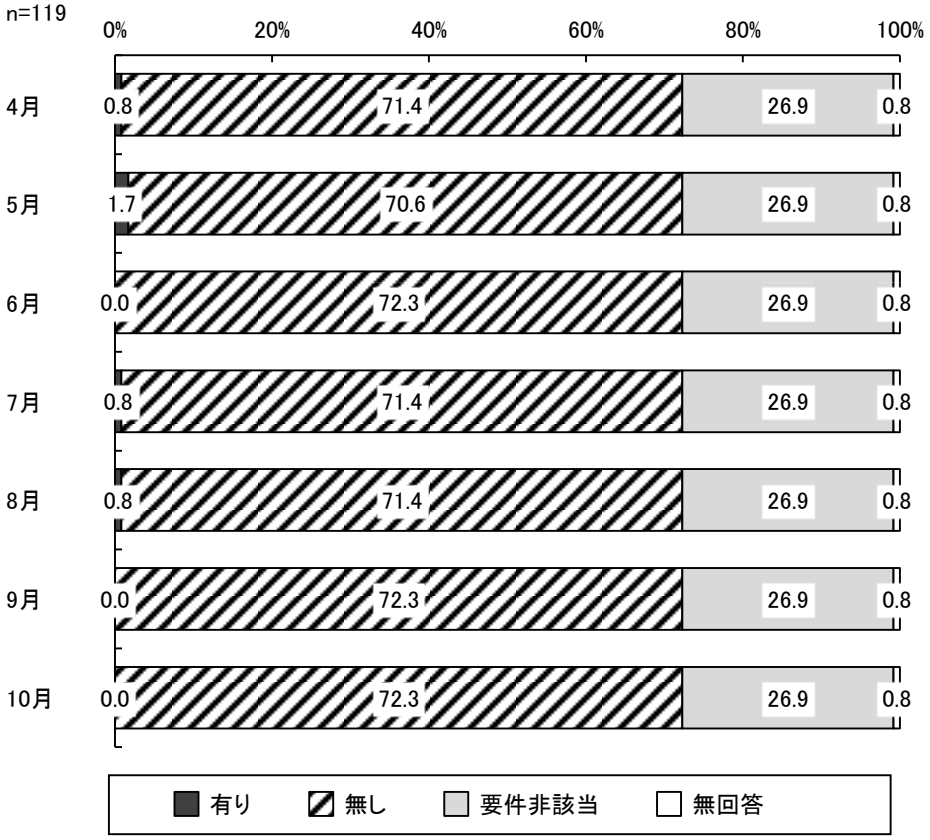
99床以下

e.平均在院日数について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=88



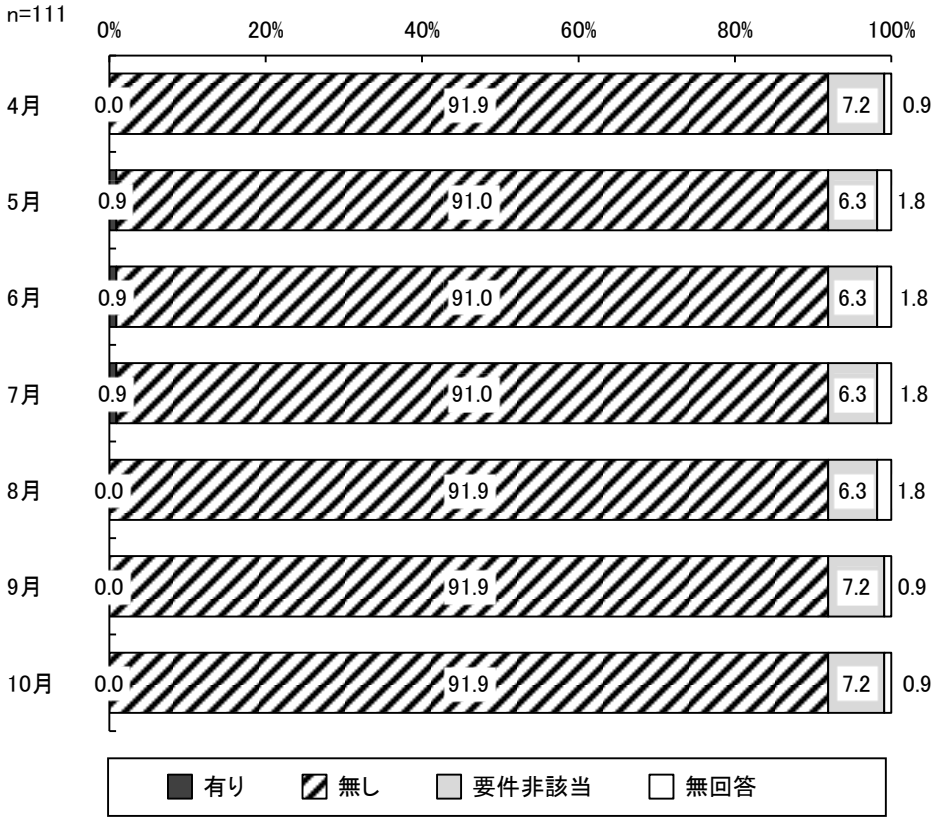
100 ～199 床

e.平均在院日数について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=119



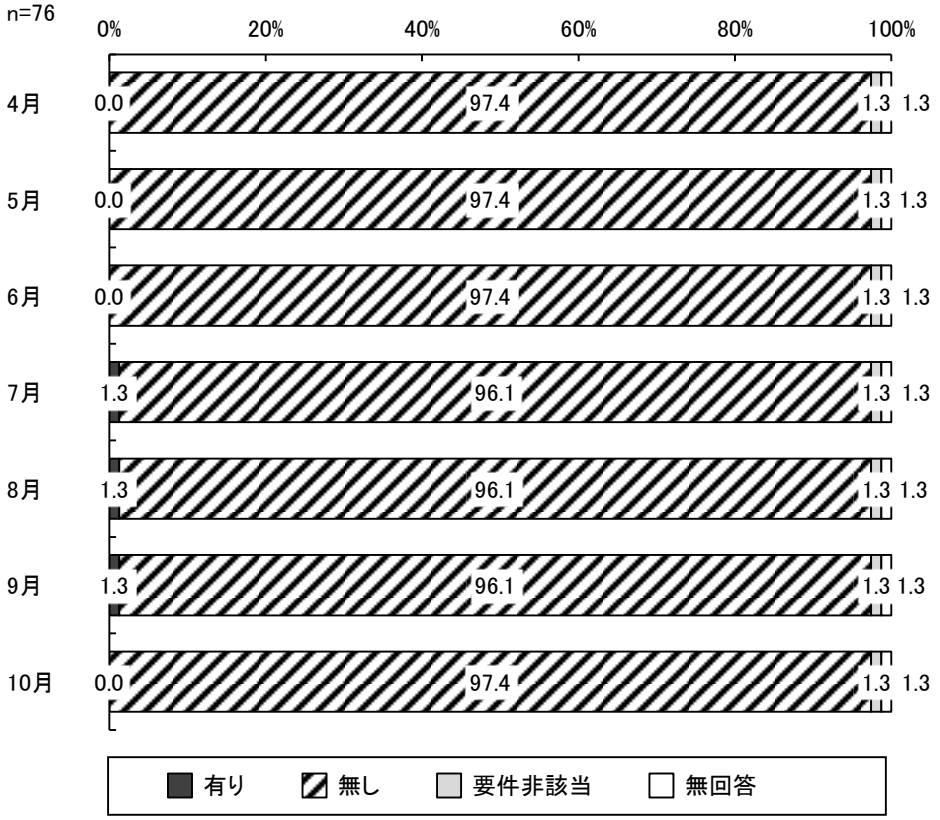
200～399床

e.平均在院日数について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=111



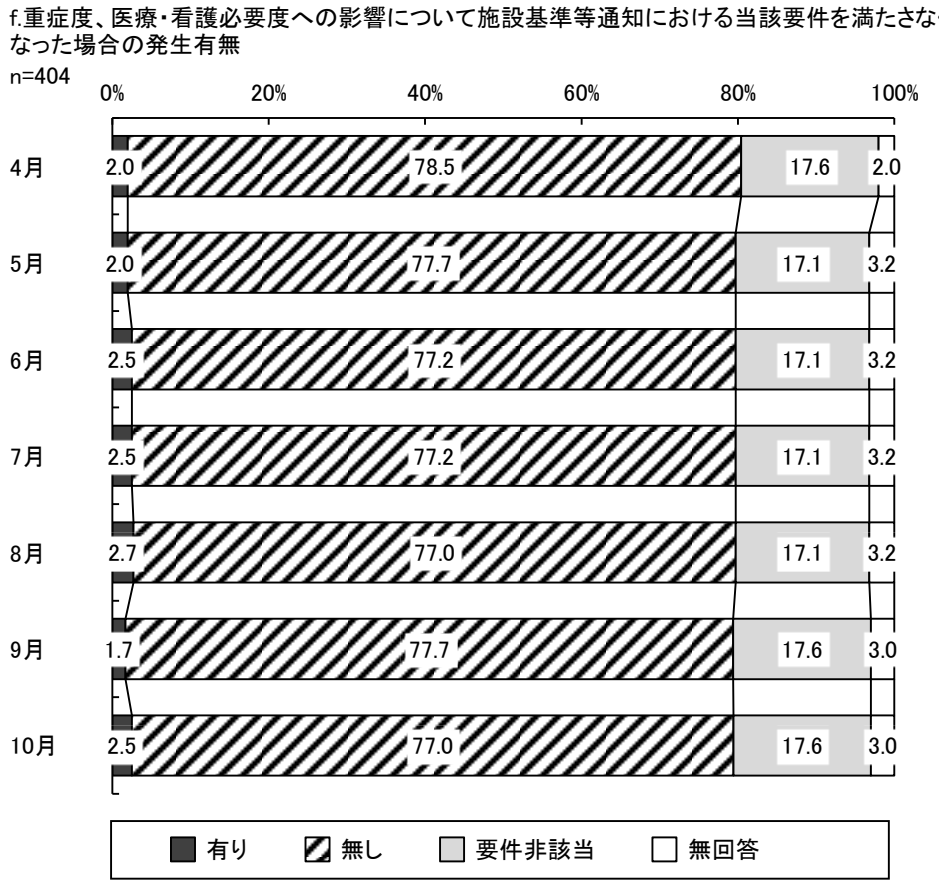
400床以上

e.平均在院日数について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=76



f.重症度、医療・看護必要度への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

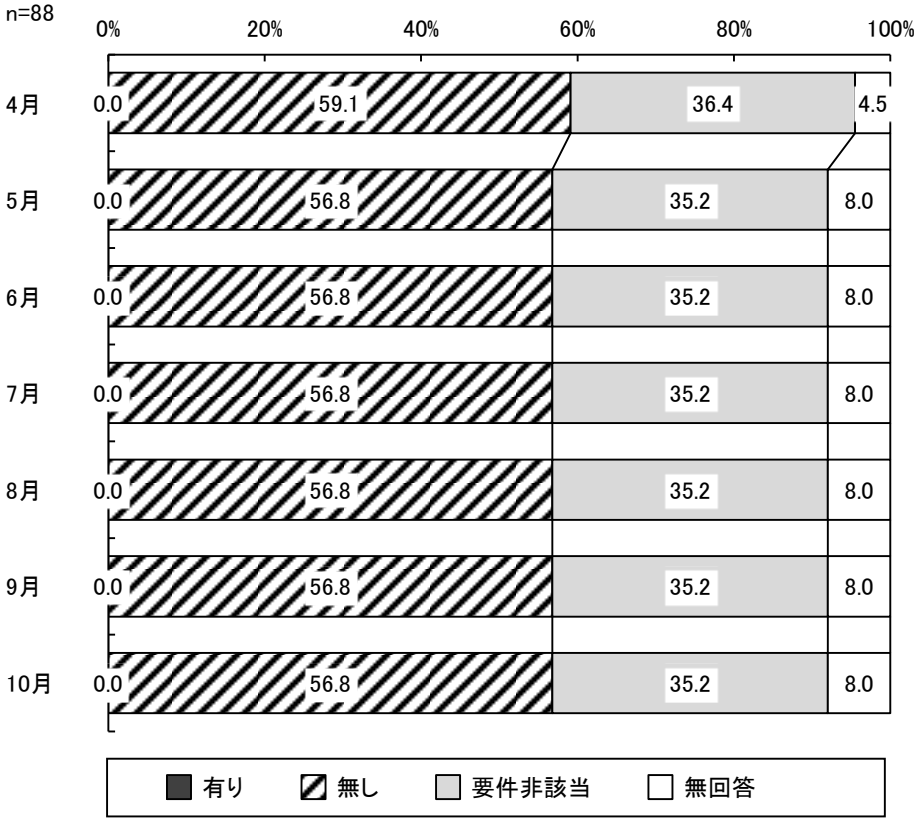
図表 2 - 133　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



99床以下

f.重症度、医療・看護必要度への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

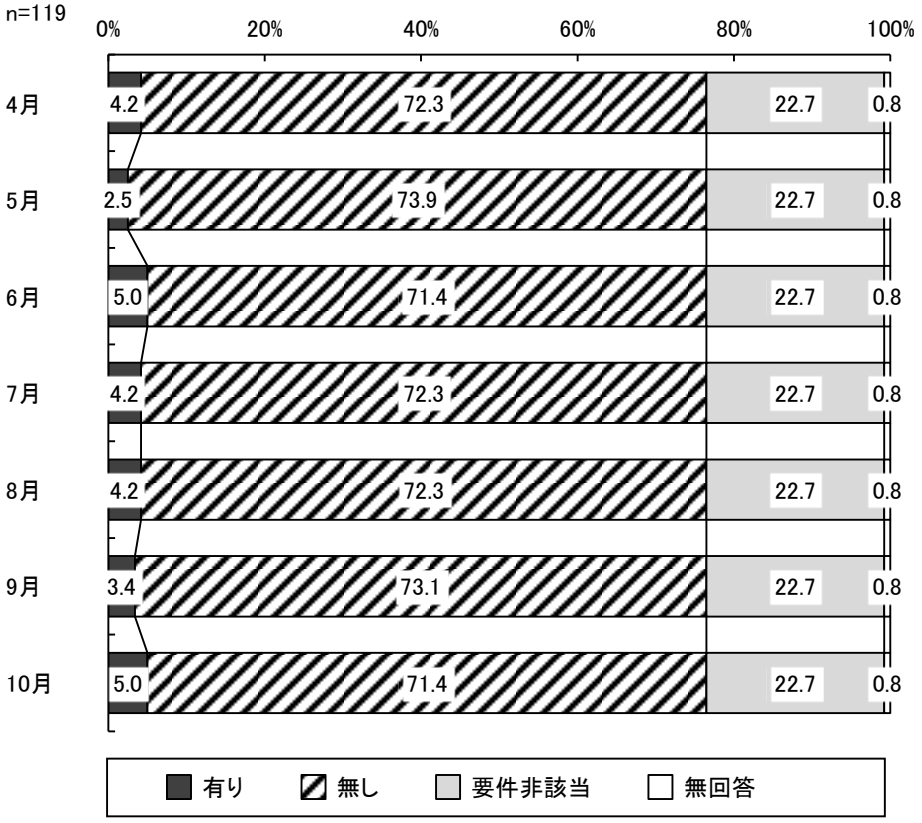
n=88



100 ～199 床

f.重症度、医療・看護必要度への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

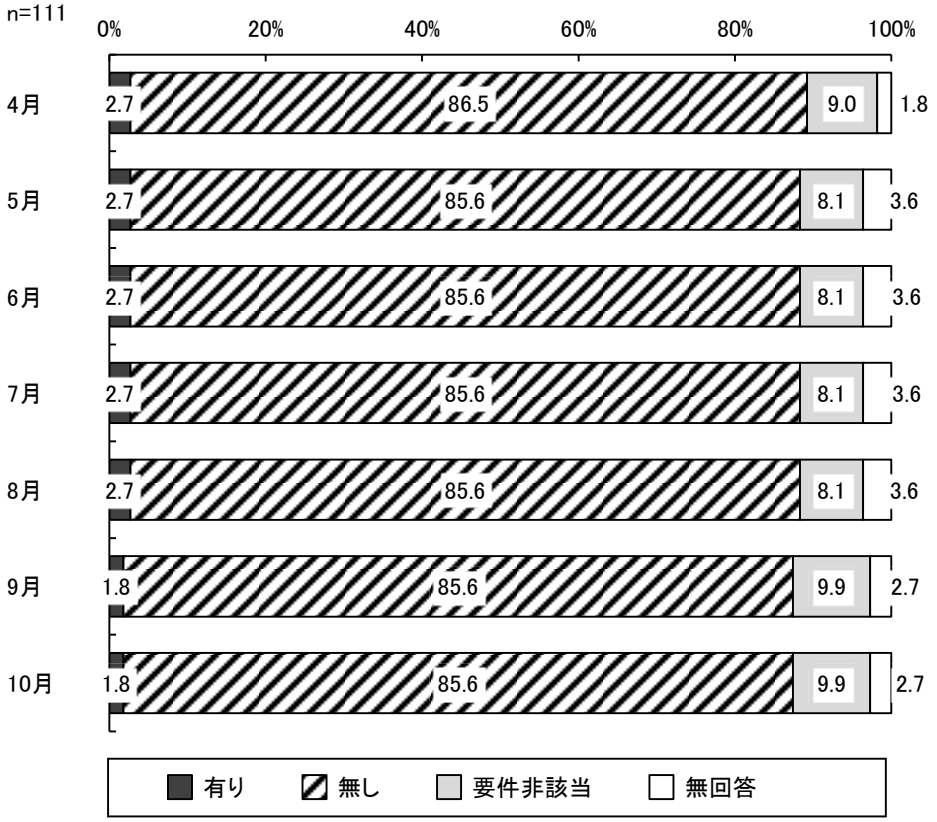
n=119



200～399床

f.重症度、医療・看護必要度への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

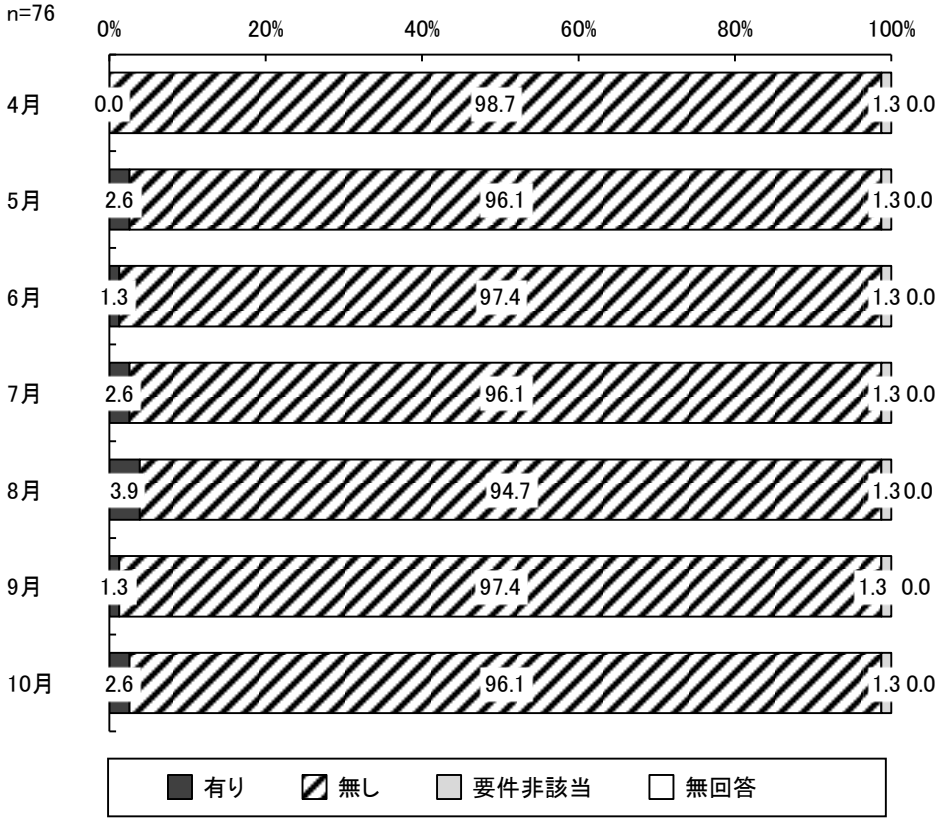
n=111



400床以上

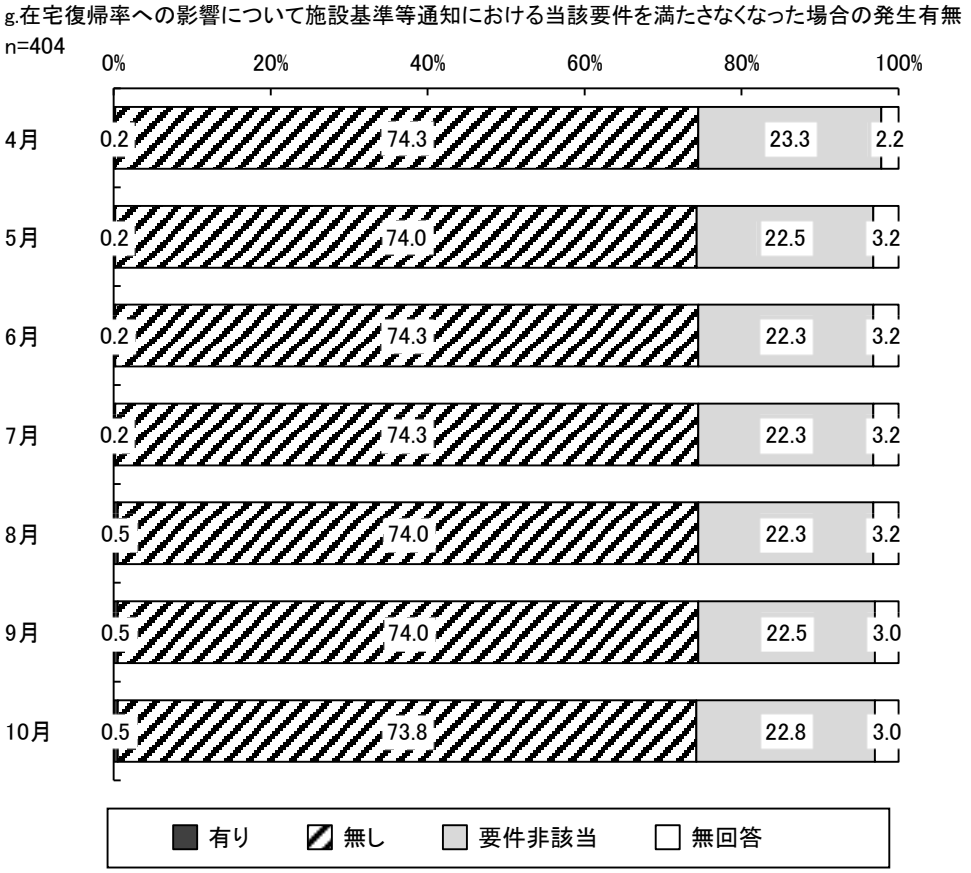
f.重症度、医療・看護必要度への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

n=76



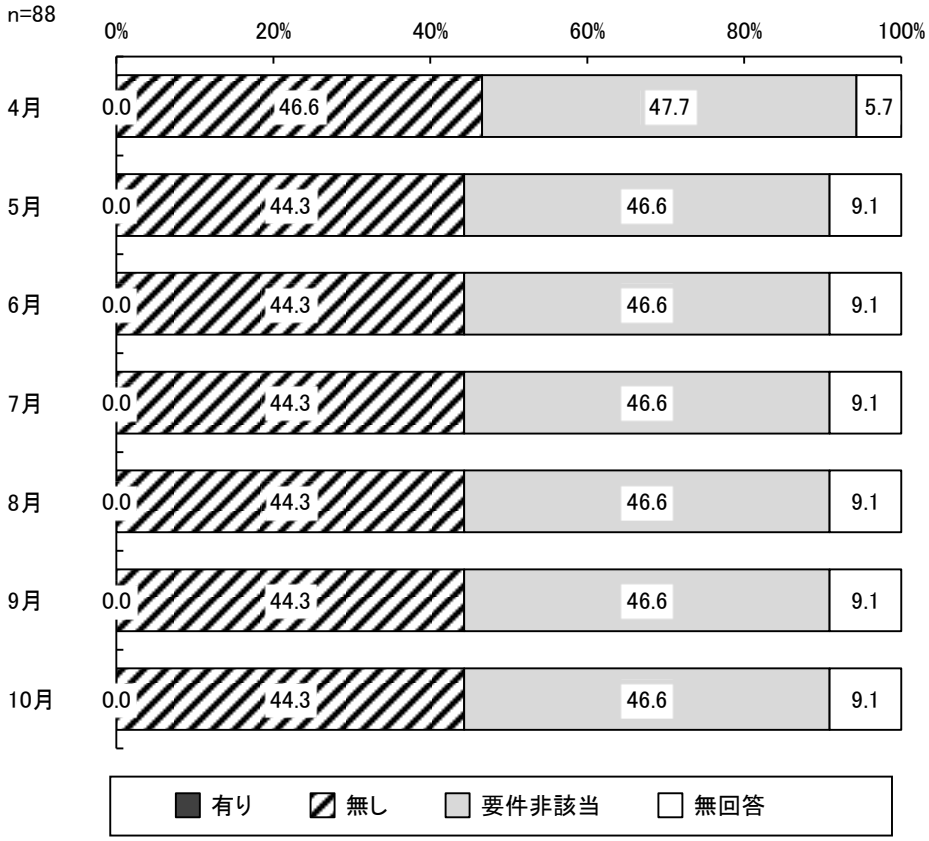
g.在宅復帰率への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

図表 2 - 134　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における
各種配置要件や診療実績への影響の状況



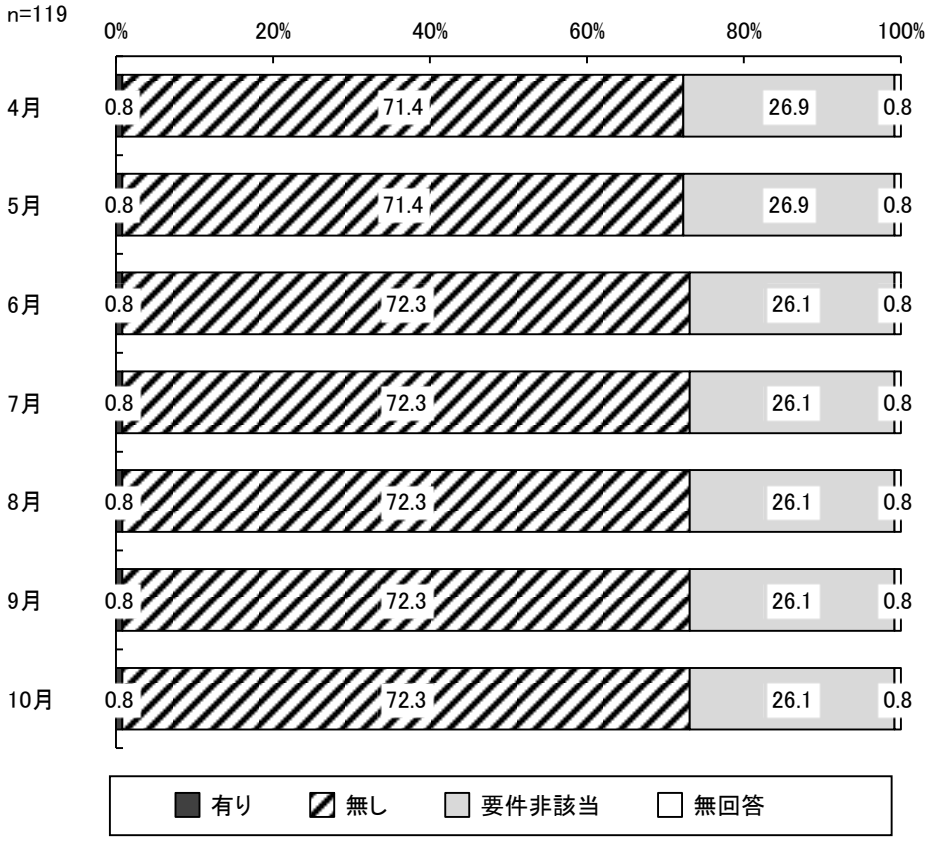
99床以下

g.在宅復帰率への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=88



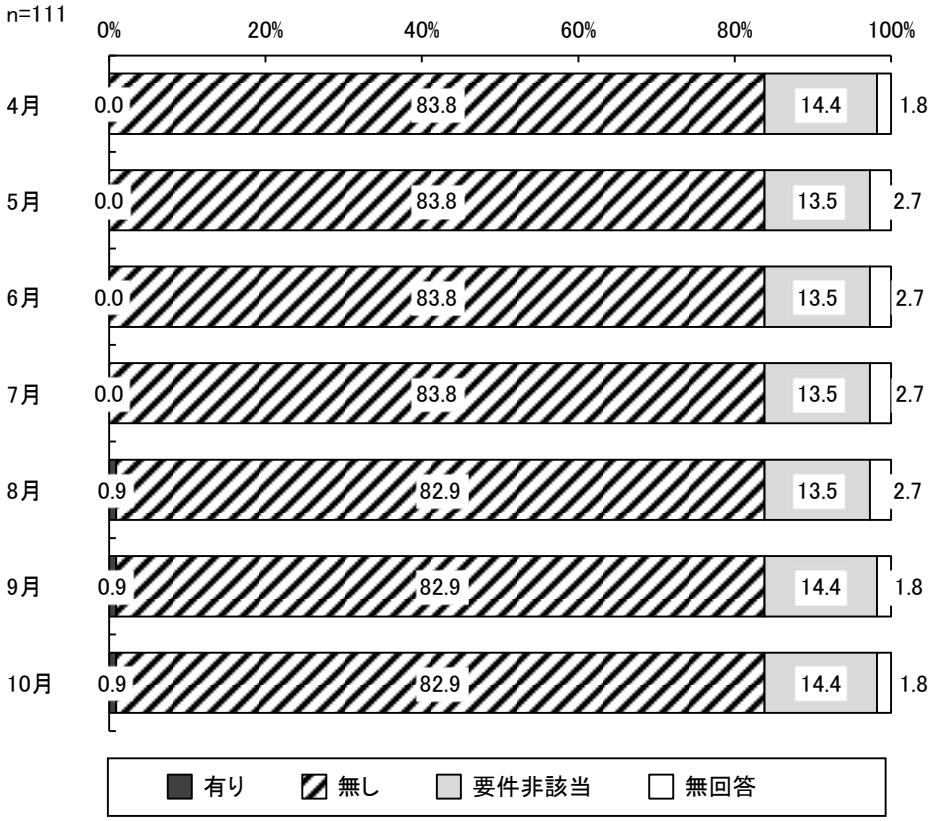
100 ～199 床

g.在宅復帰率への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=119



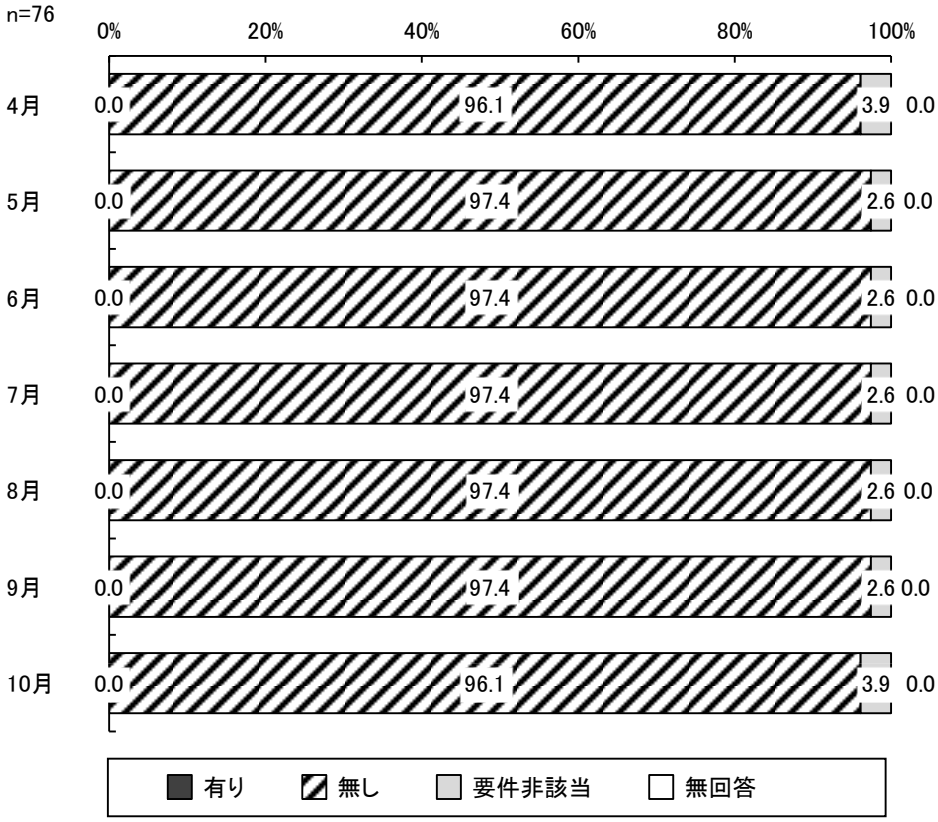
200～399床

g.在宅復帰率への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=111



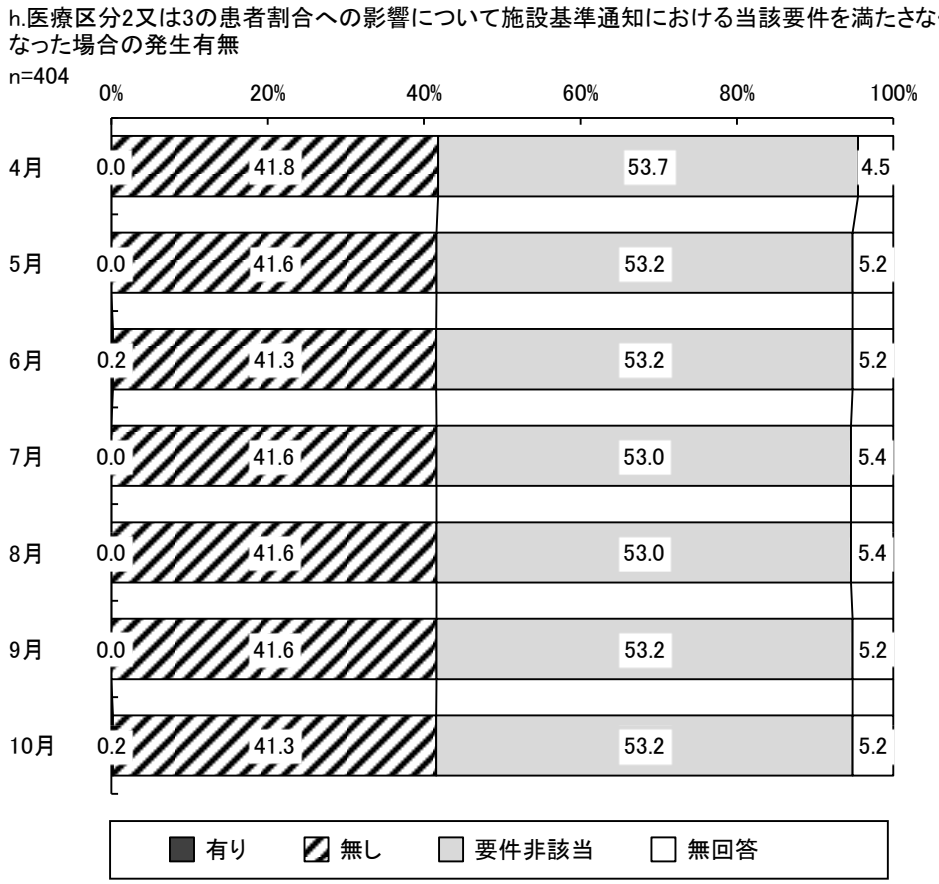
400床以上

g.在宅復帰率への影響について施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無
n=76



h.医療区分 2 又は 3 の患者割合への影響について施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

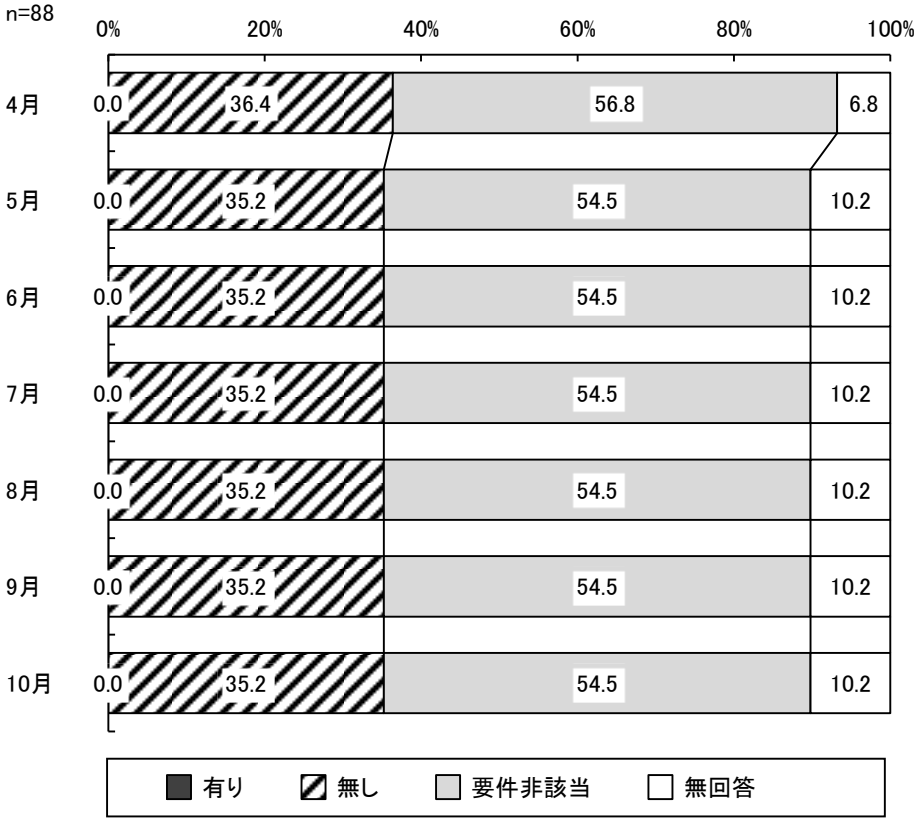
図表 2 - 135　新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における各種配置要件や診療実績への影響の状況



99床以下

h.医療区分2又は3の患者割合への影響について施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

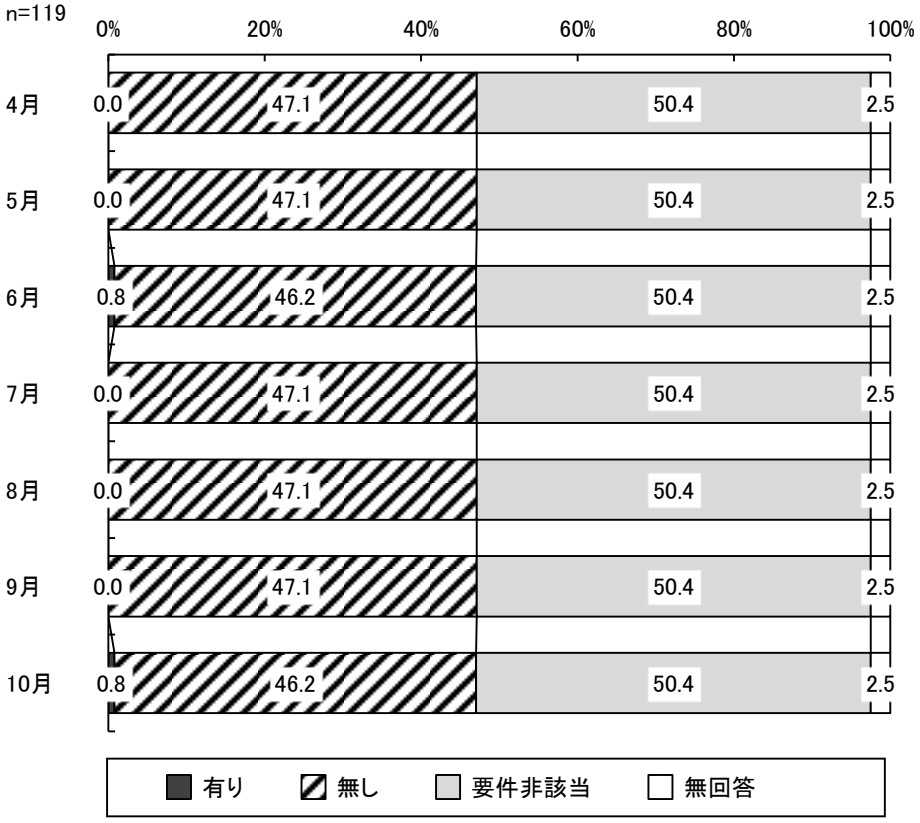
n=88



100 ～199 床

h.医療区分2又は3の患者割合への影響について施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

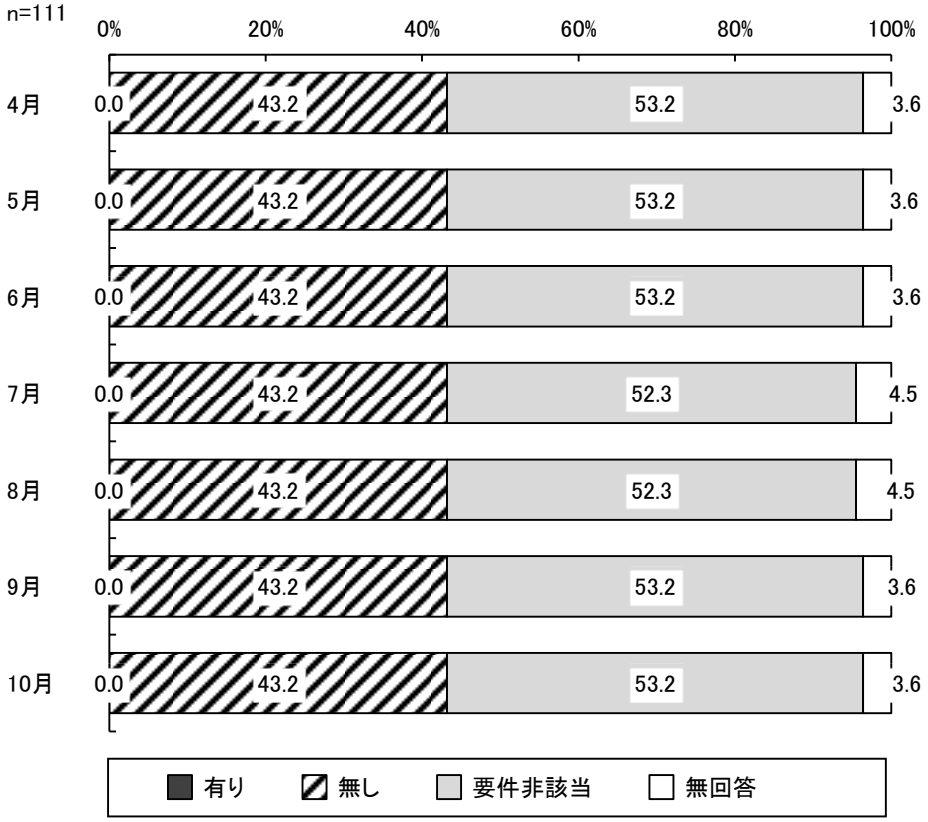
n=119



200～399床

h.医療区分2又は3の患者割合への影響について施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

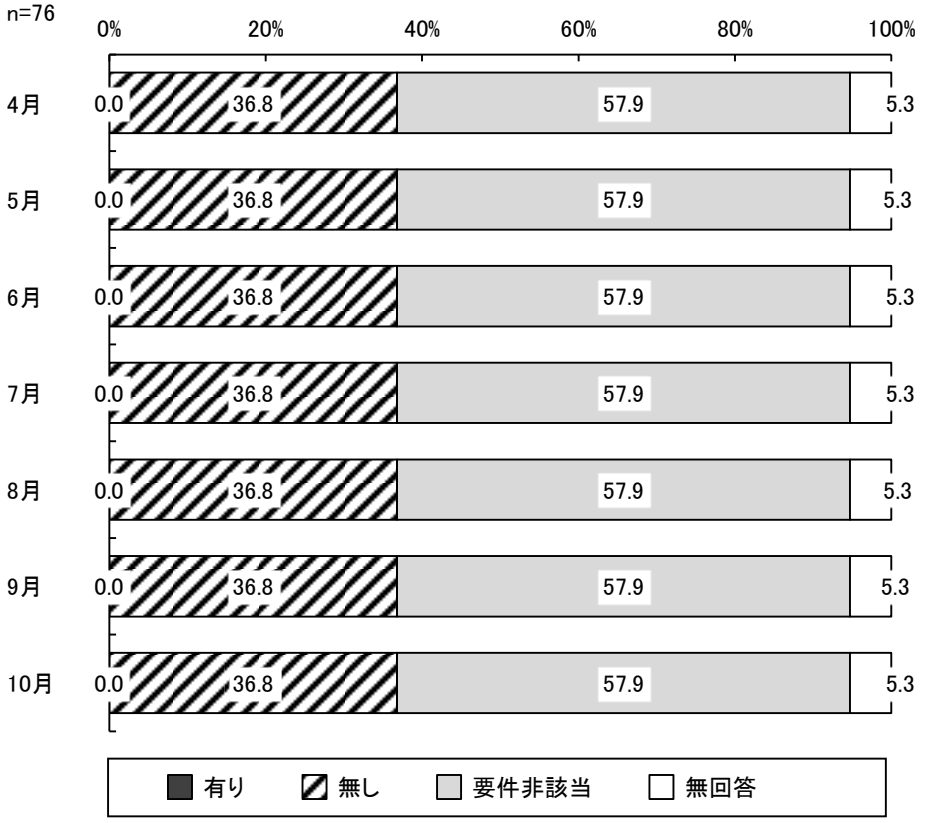
n=111



400床以上

h.医療区分2又は3の患者割合への影響について施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無

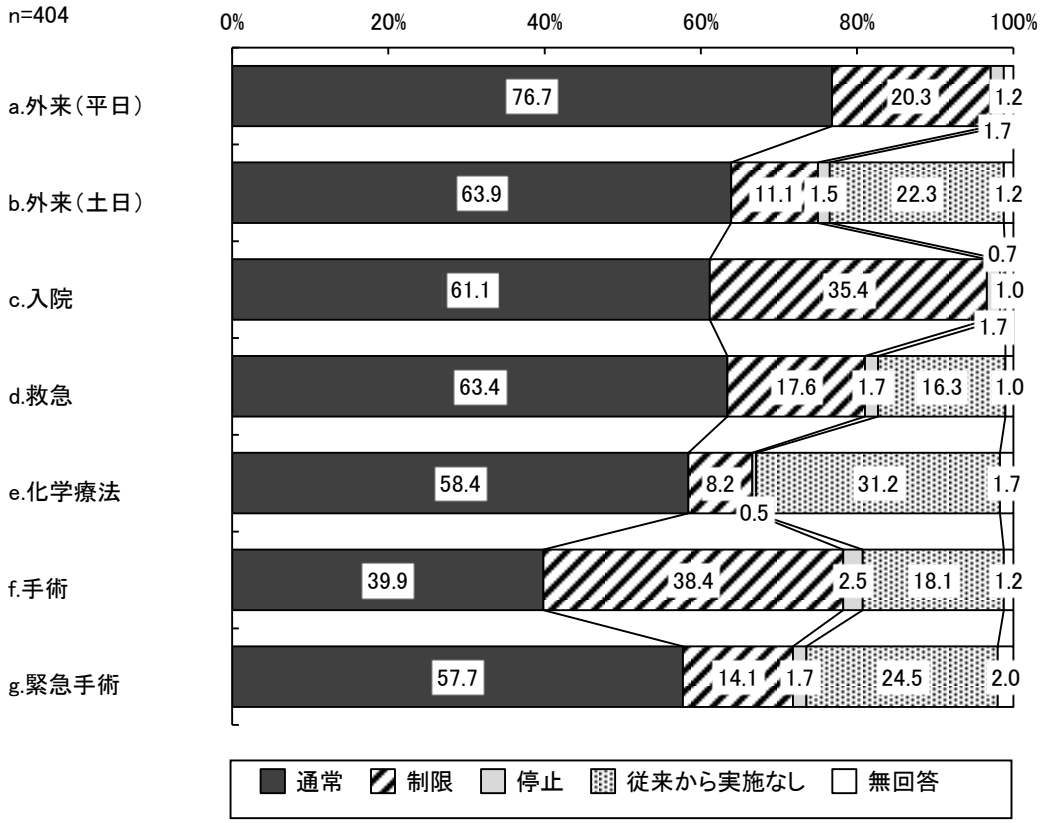
n=76



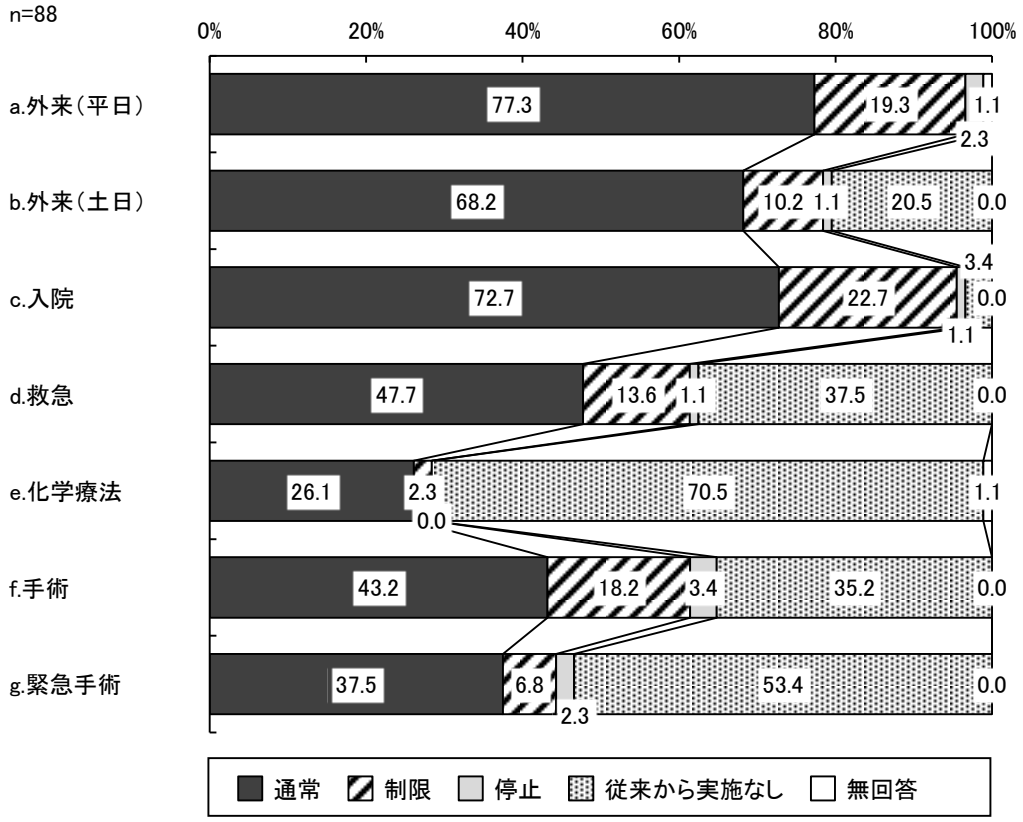
⑤ 医療提供状況への変化の影響（令和 2 年 4 月から 11 月 1 日までの間）

医療提供状況への変化の影響についてみると、手術以外で「通常」が半数を超えていた。一方、手術においては「通常」、「制限」（39.9、38.4%）がほぼ同率であった。

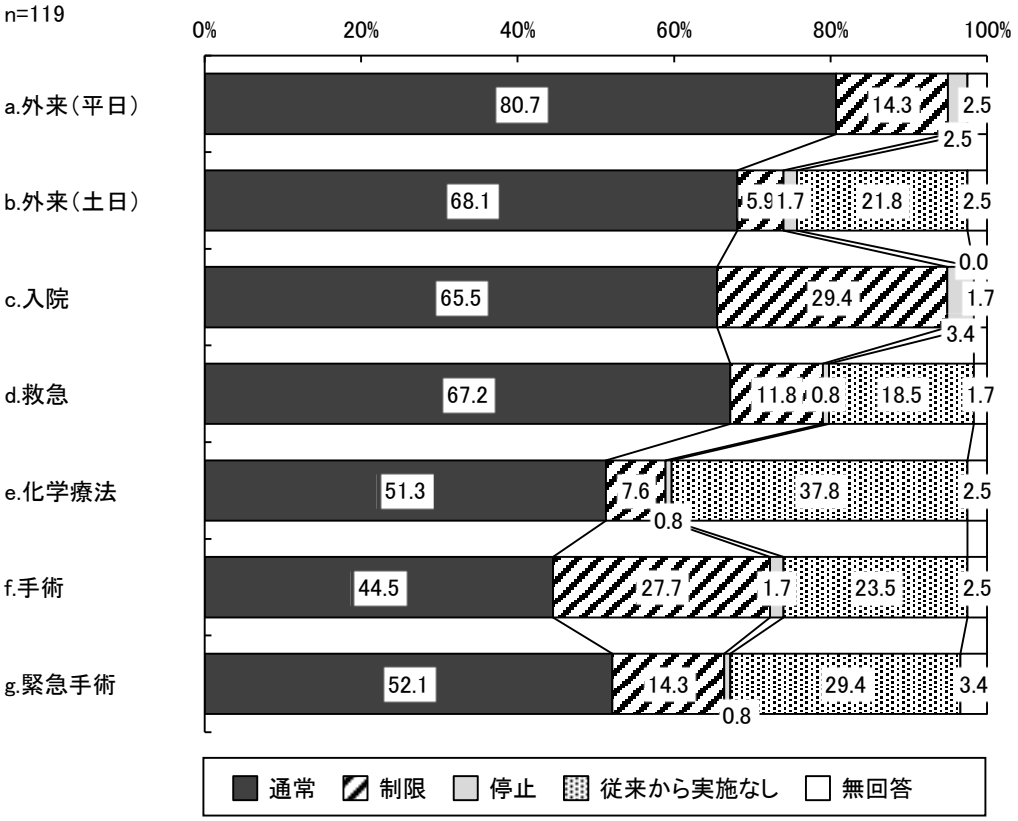
図表 2 - 136　医療提供状況への変化の影響



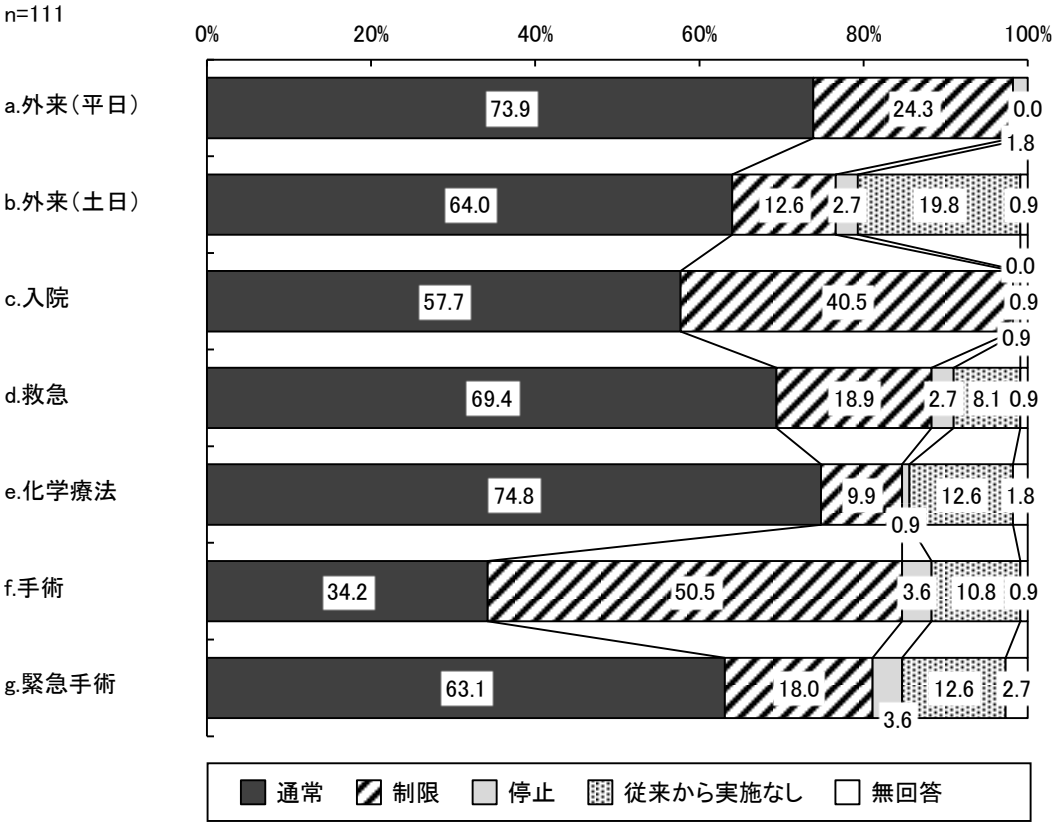
図表 2 - 137　医療提供状況への変化の影響【99 床以下】



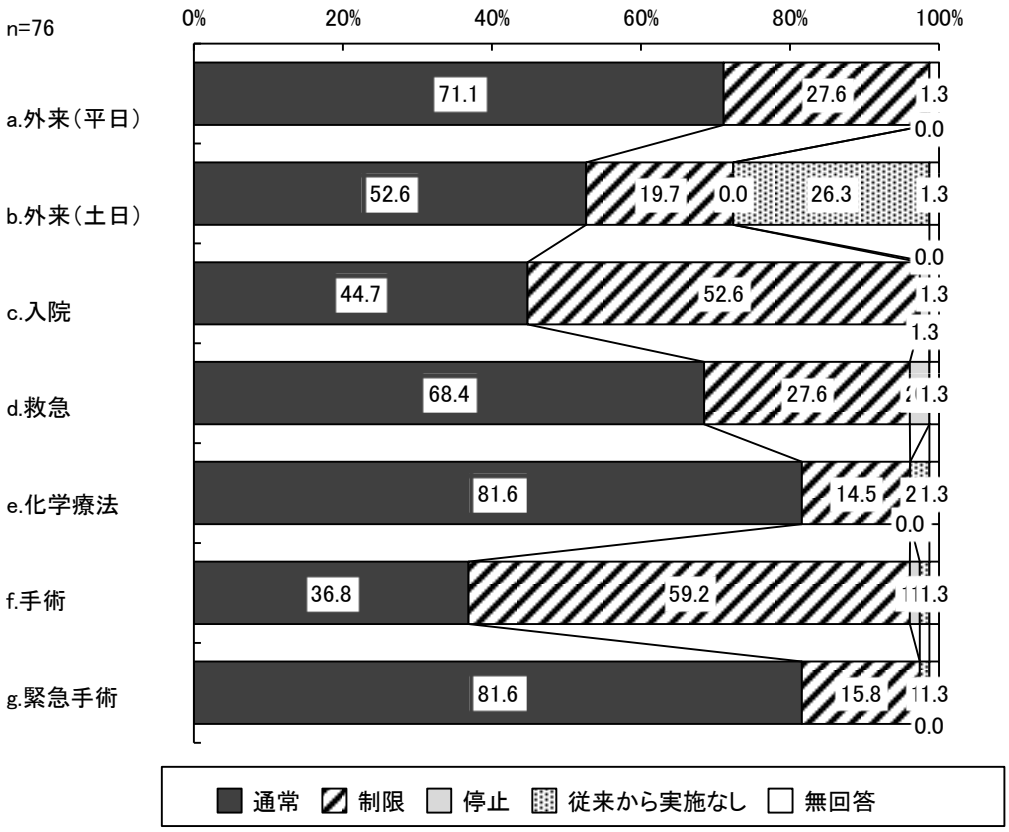
図表 2 - 138　医療提供状況への変化の影響【100～199 床】



図表 2 - 139　医療提供状況への変化の影響【200～399 床】

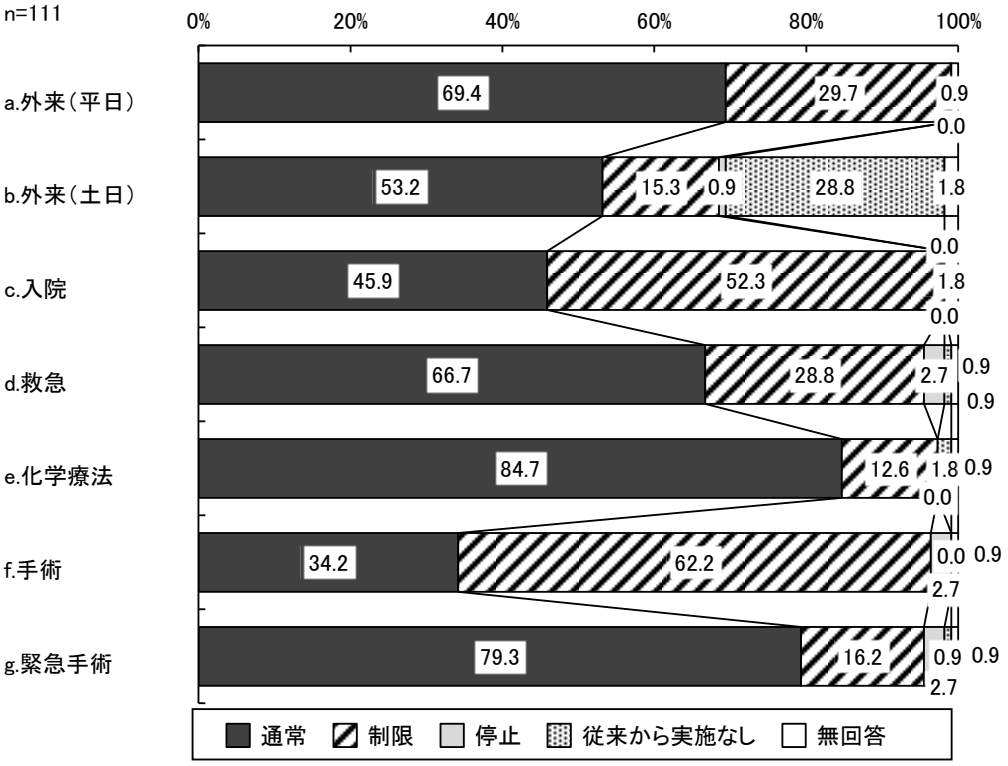


図表 2 - 140　医療提供状況への変化の影響【400 床以上】

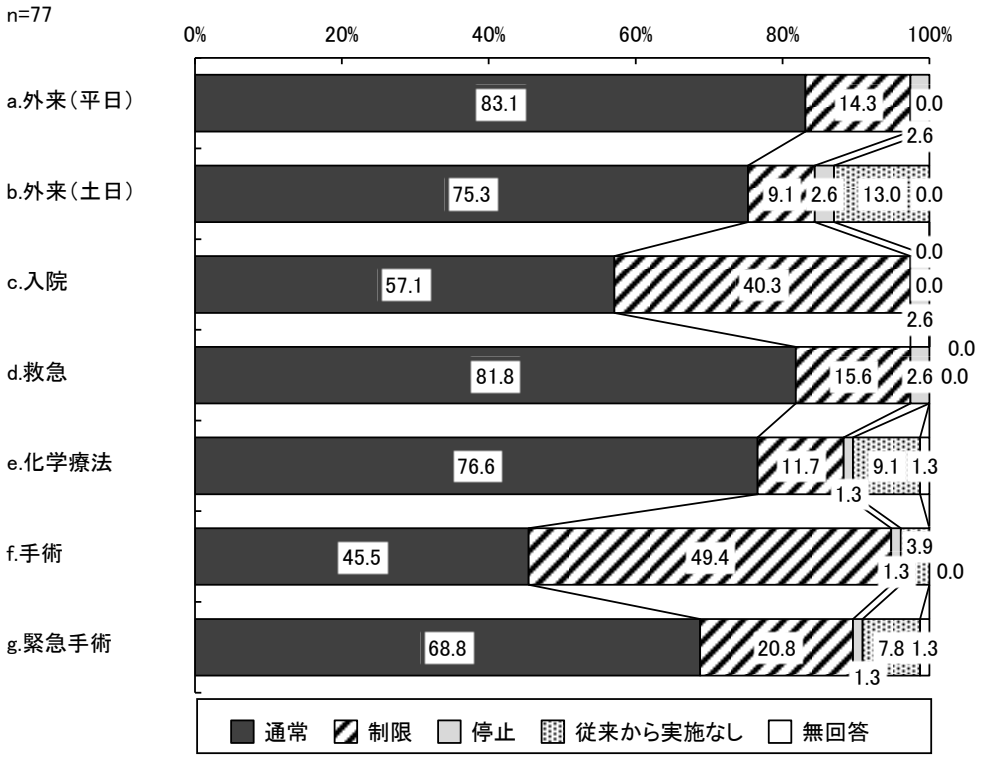


図表 2 - 141　医療提供状況への変化の影響
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

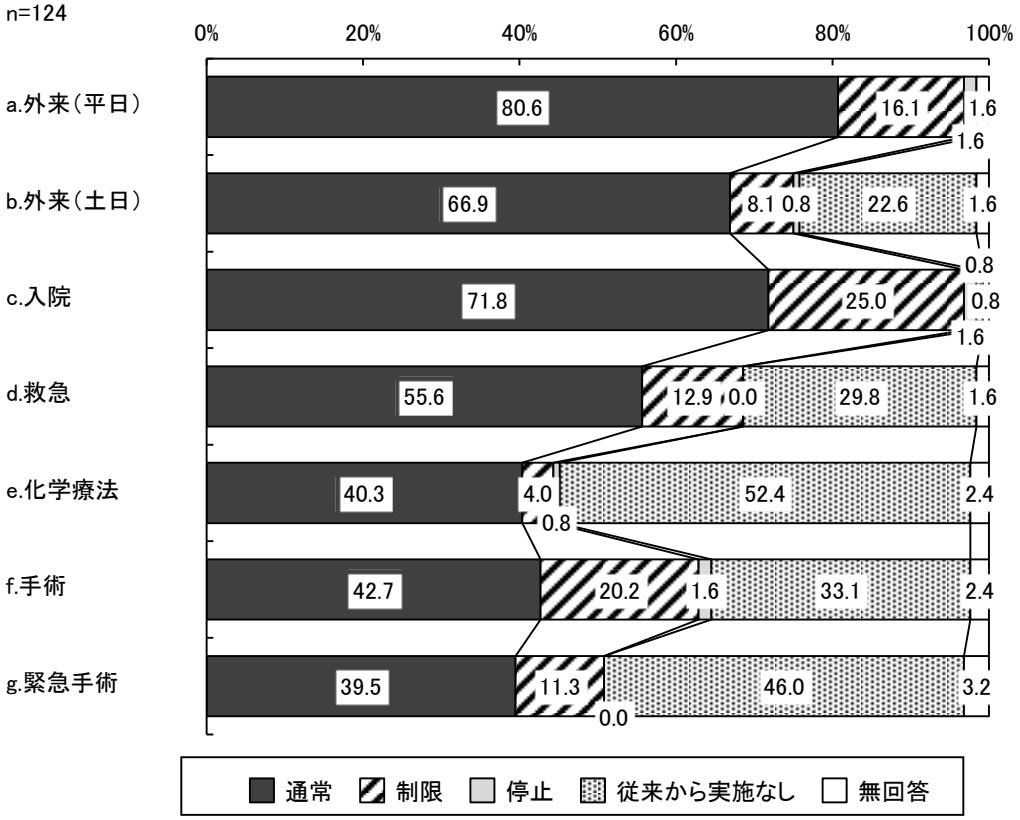


協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている



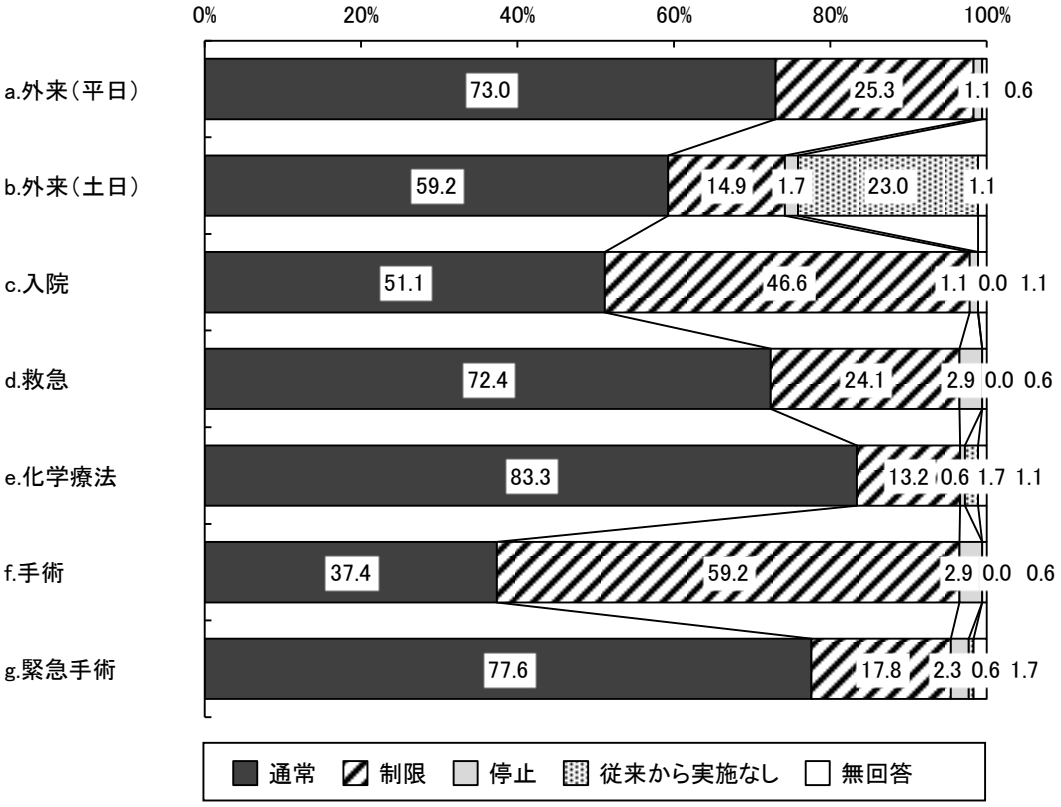
その他

n=124

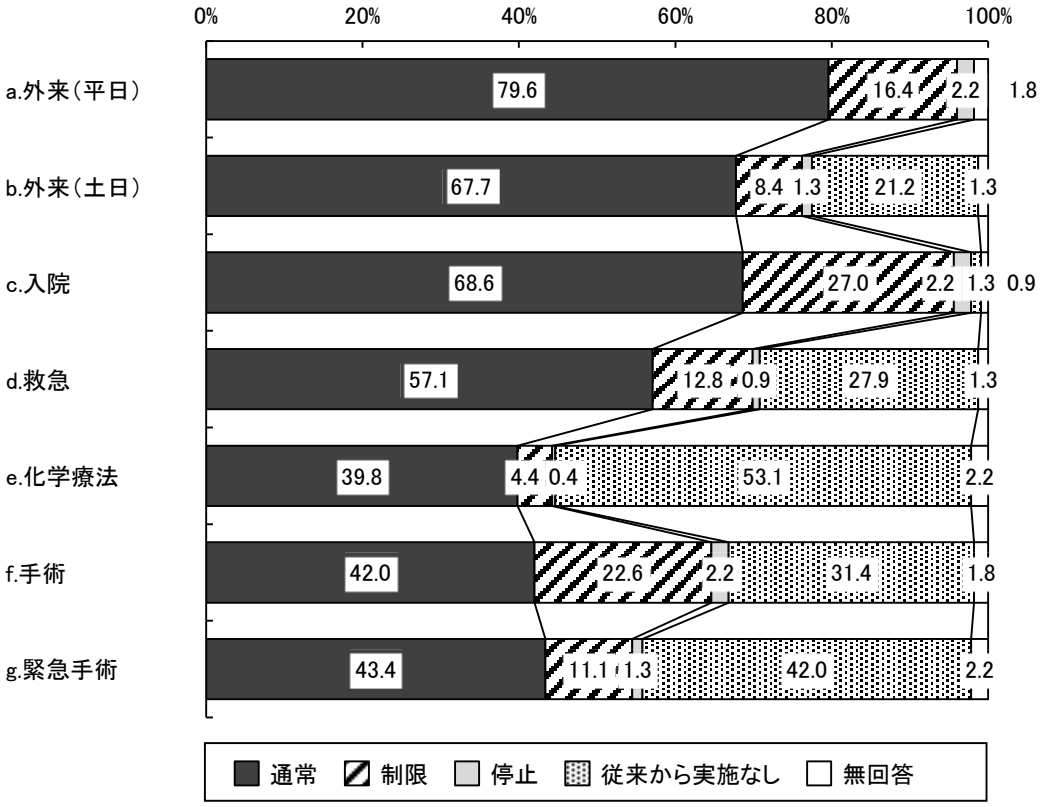

0%
20%
40%
60%
80%
100%
a.外来（平日）
80.6
16.1
1.6
1.6
b.外来（土日）
66.9
8.1
0.8
22.6
1.6
0.8
c.入院
71.8
25.0
0.8
1.6
d.救急
55.6
12.9
0.0
29.8
1.6
e.化学療法
40.3
4.0
52.4
2.4
0.8
f.手術
42.7
20.2
1.6
33.1
2.4
g.緊急手術
39.5
11.3
46.0
3.2
0.0
通常
制限
停止
従来から実施なし
無回答

図表 2 - 142　医療提供状況への変化の影響
（地域医療体制確保加算の有無別）

届出ている n=174

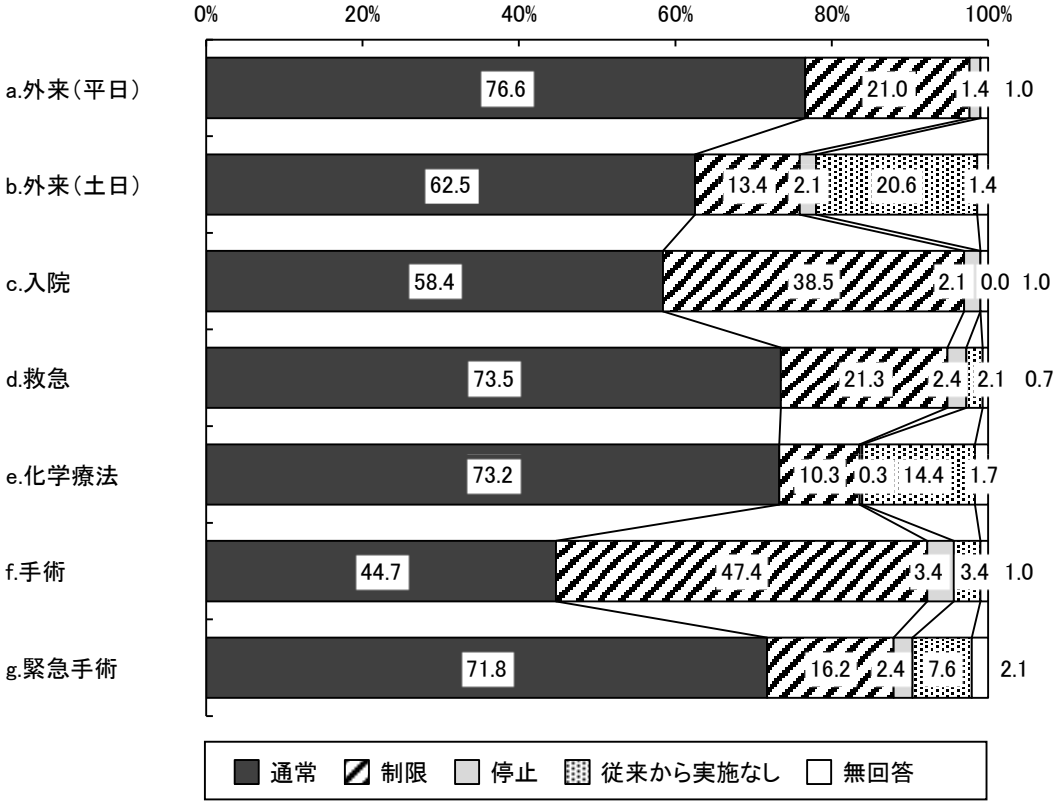


届出ていない n=226

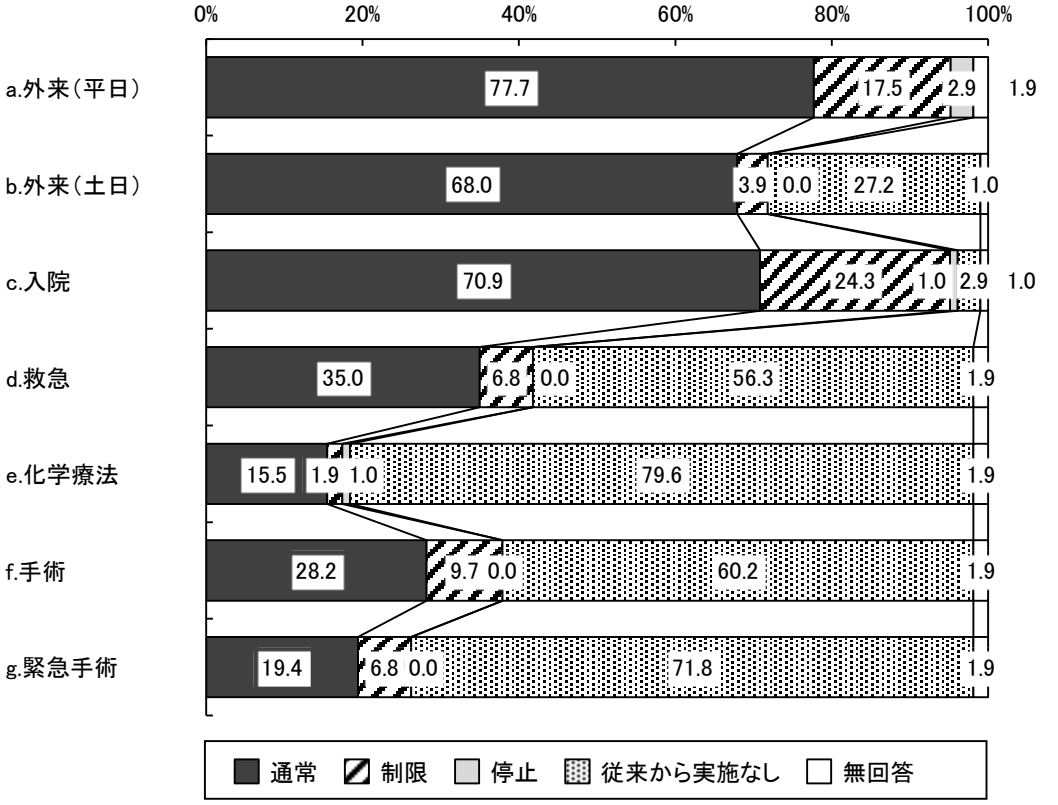


図表 2 - 143　医療提供状況への変化の影響
（医師事務補助体制加算の有無別）

届出をしている n=291



届出をしていない n=103



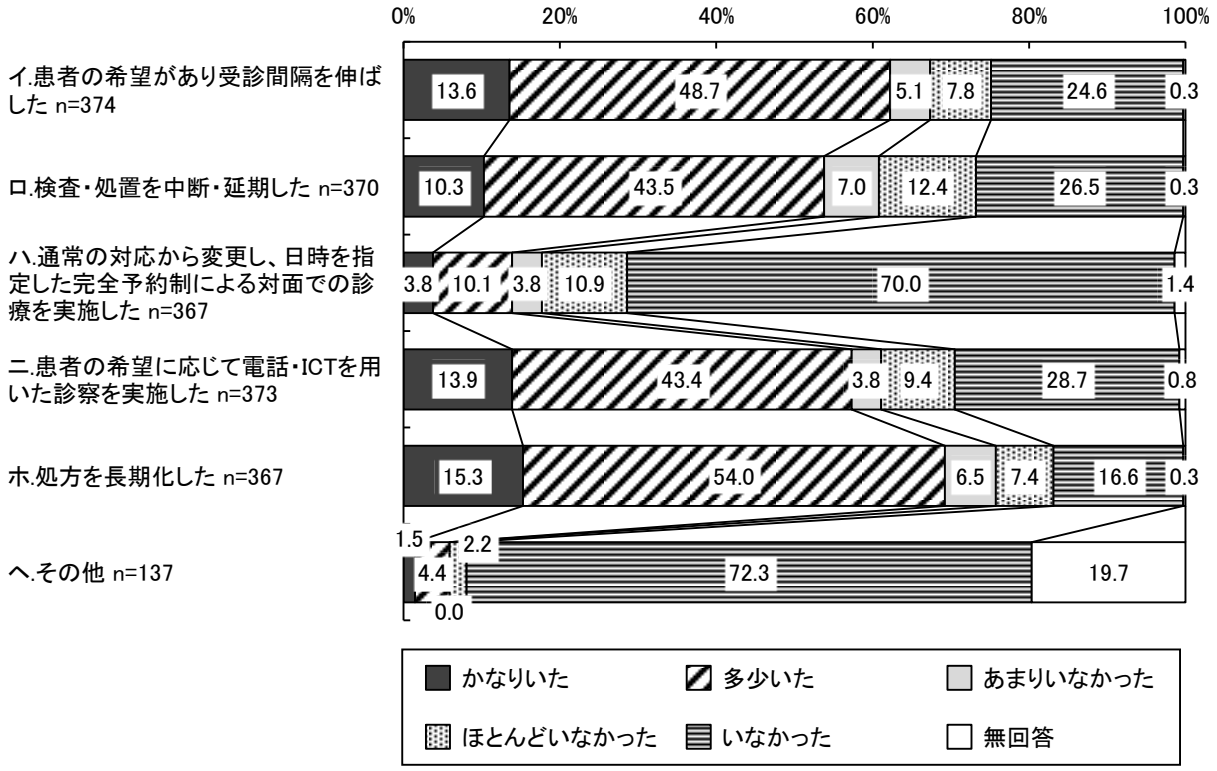
⑥ 緊急事態宣言期間中に行った受療行動の変化に際して行った対応と患者の健康影響等（令和2年 4 月 1 日～5 月 31 日）

緊急事態宣言期間中に行った受療行動の変化に際して行った対応、患者の健康影響等は、以下のとおりであった。

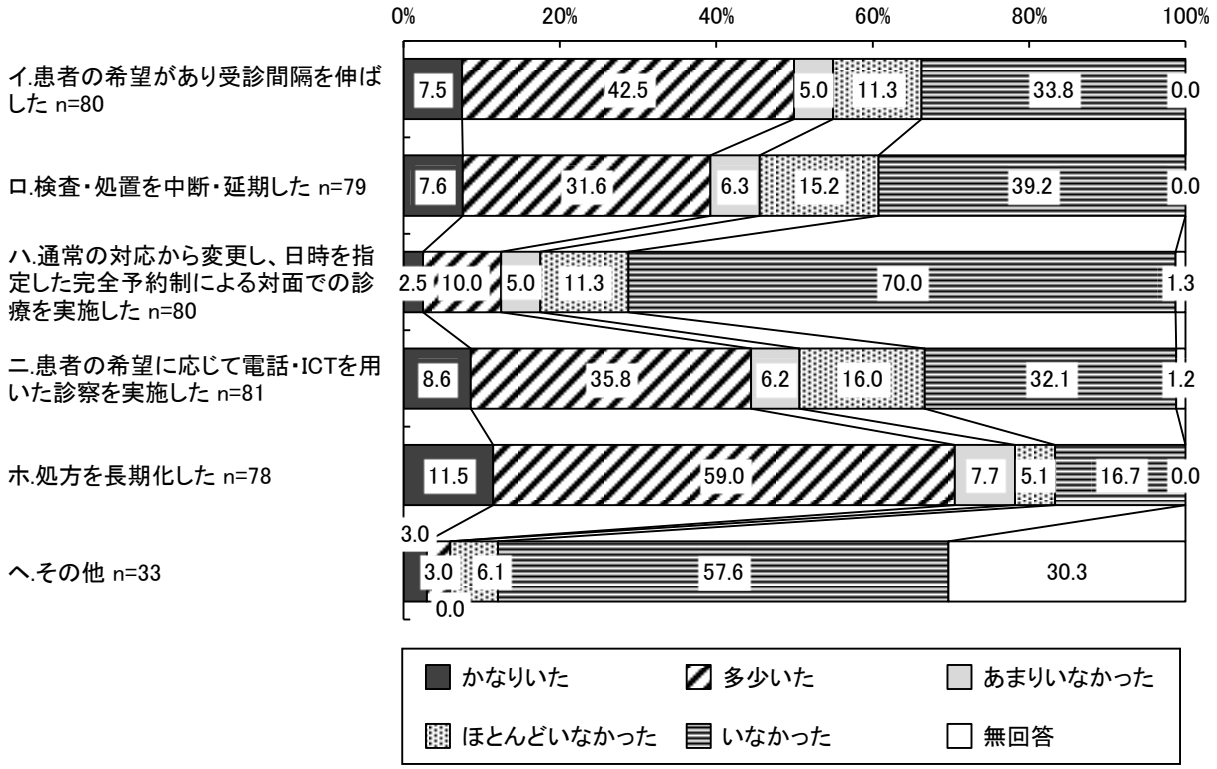
なお、「その他」の対応としては、「健康診断の実施を延期した」、「電話再診、電話対応にて薬を処方した」などの回答があった。

【施設として行った対応】

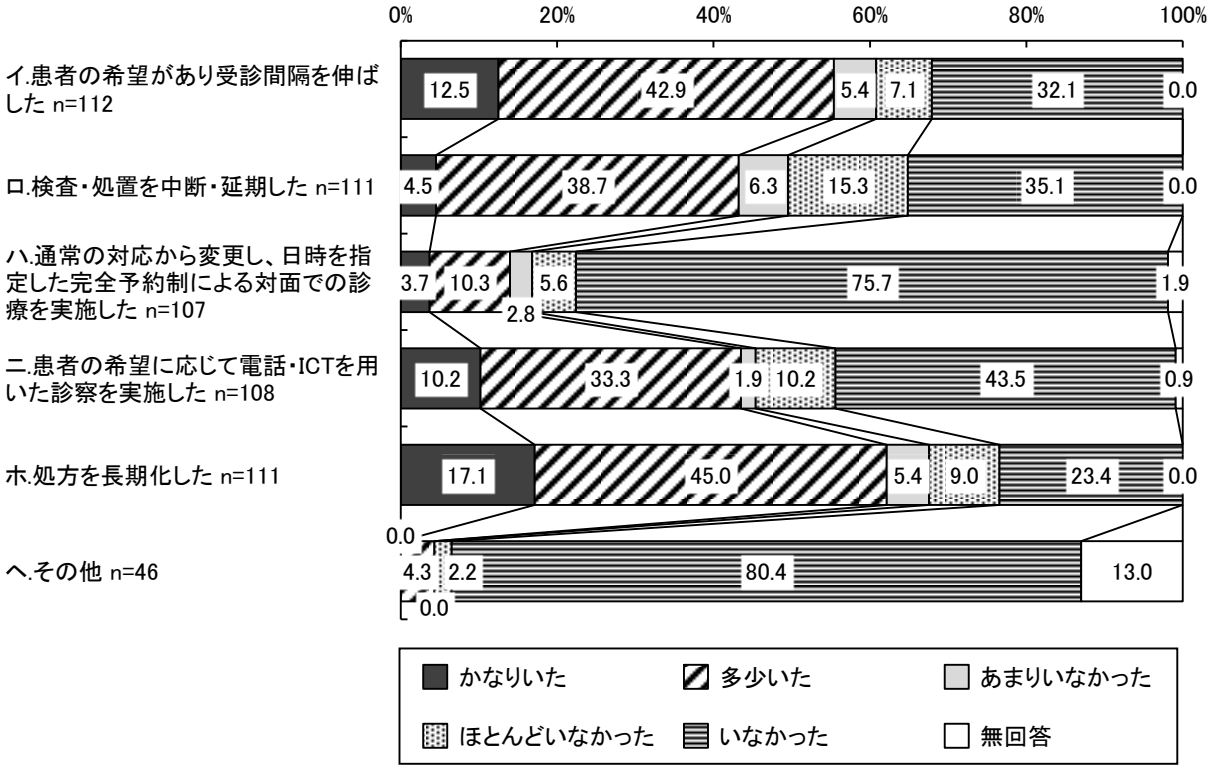
図表 2 - 144　緊急事態宣言期間中に施設として行った対応



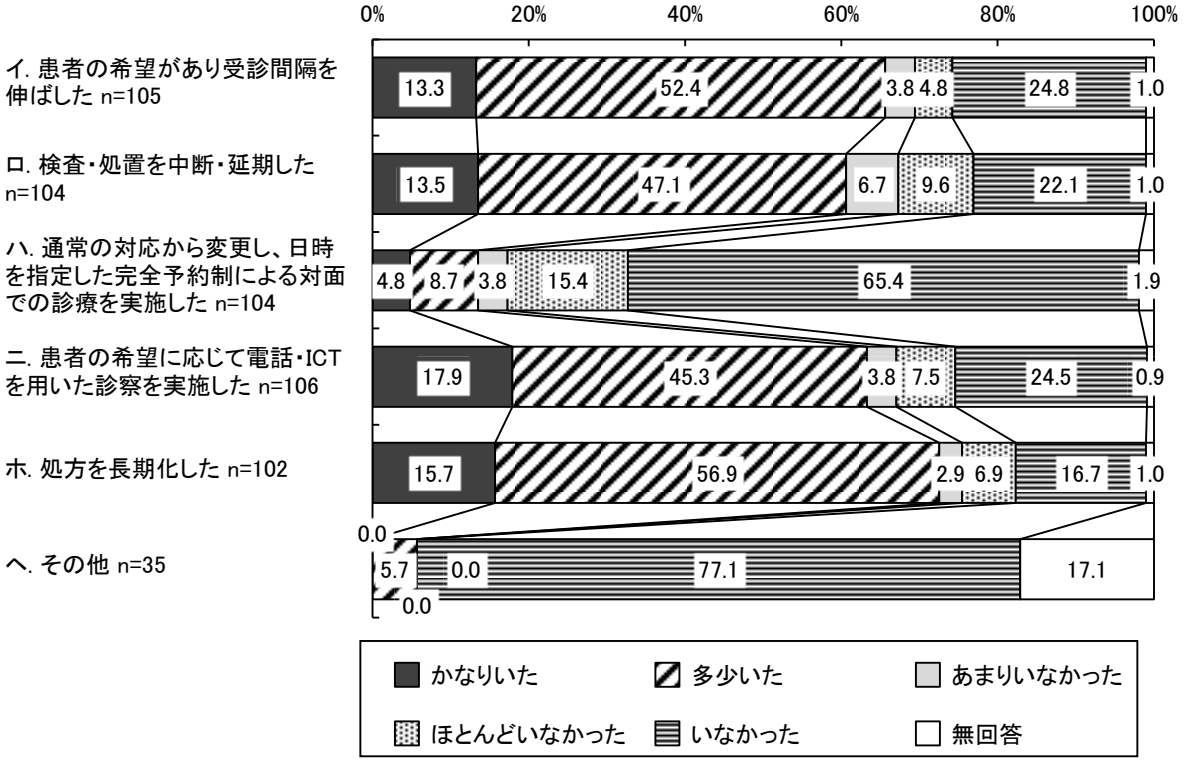
図表 2 - 145　緊急事態宣言期間中に施設として行った対応【99 床以下】



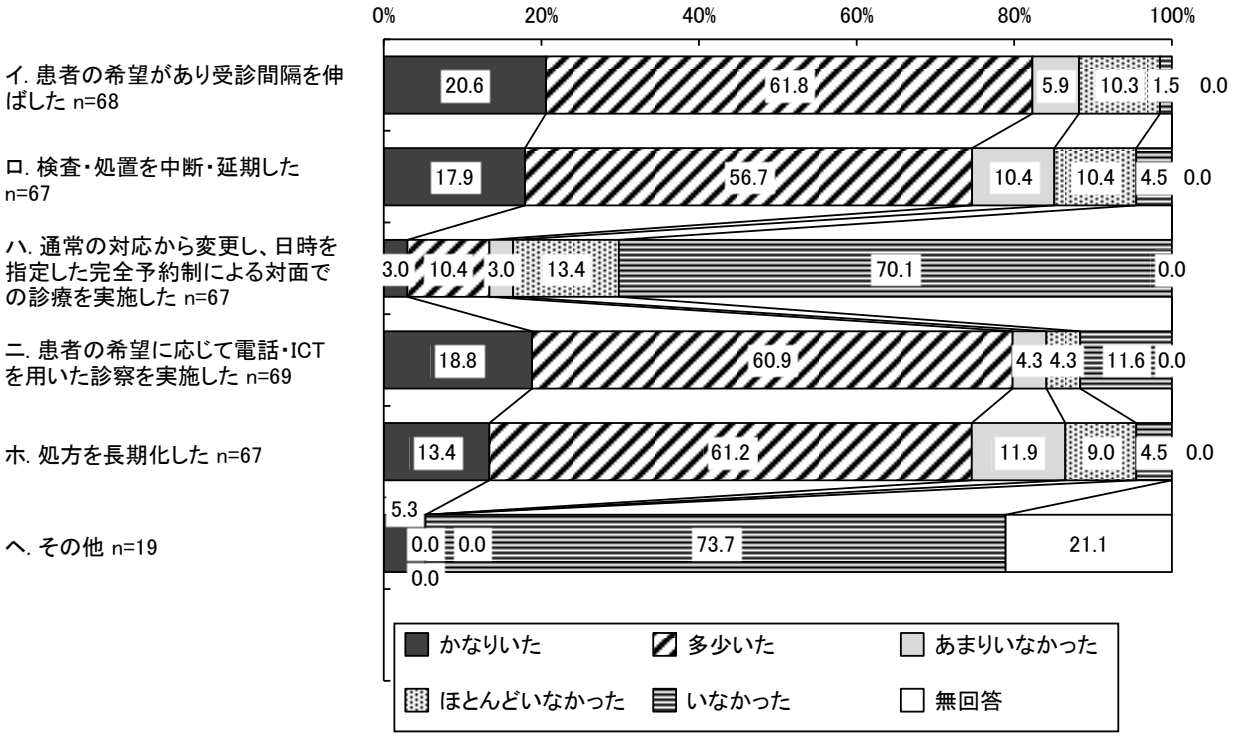
図表 2 - 146　緊急事態宣言期間中に施設として行った対応【100～199 床】



図表 2 - 147　緊急事態宣言期間中に施設として行った対応【200～399 床】

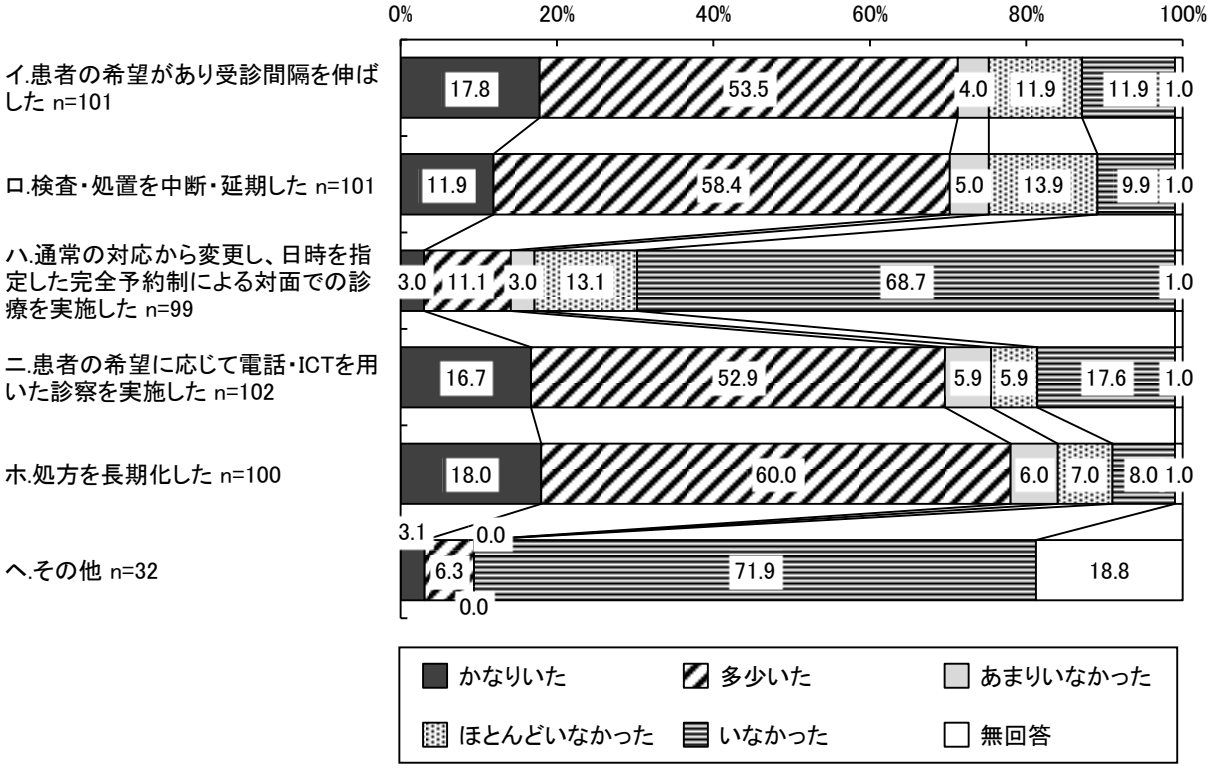


図表 2 - 148　緊急事態宣言期間中に施設として行った対応【400 床以上】

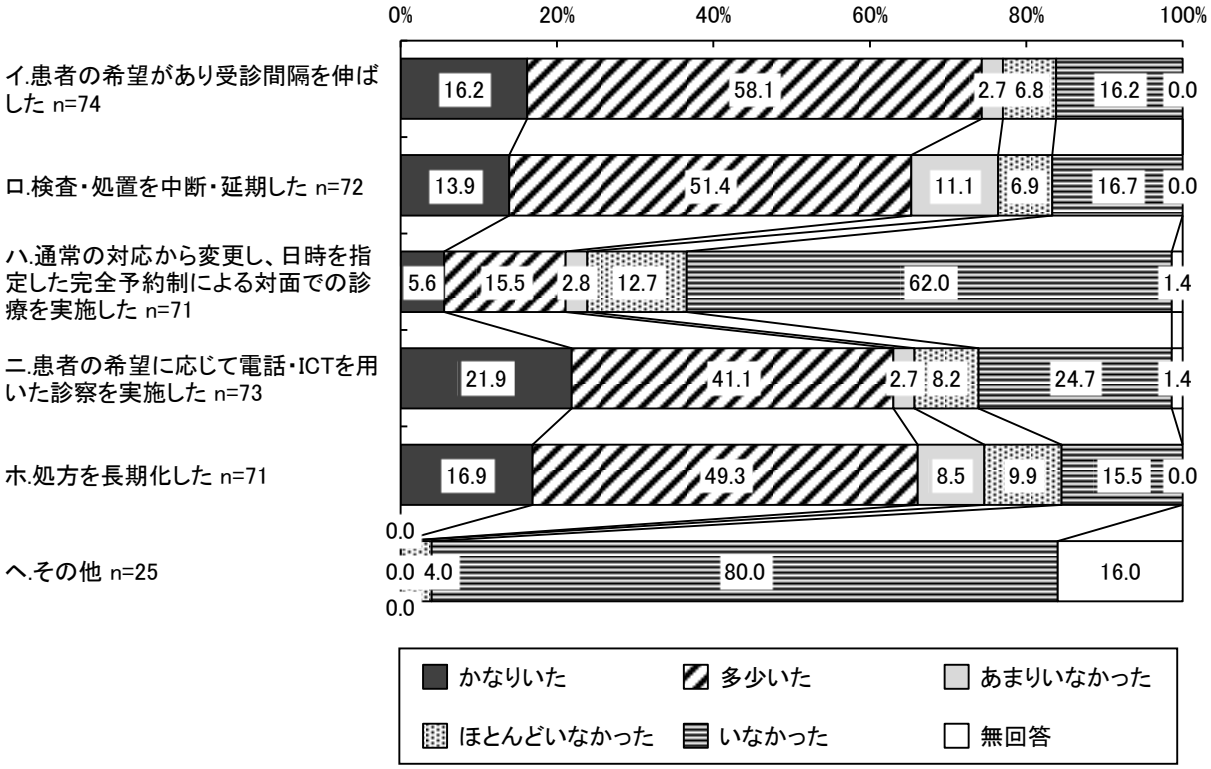


図表 2 - 149　緊急事態宣言期間中に施設として行った対応
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

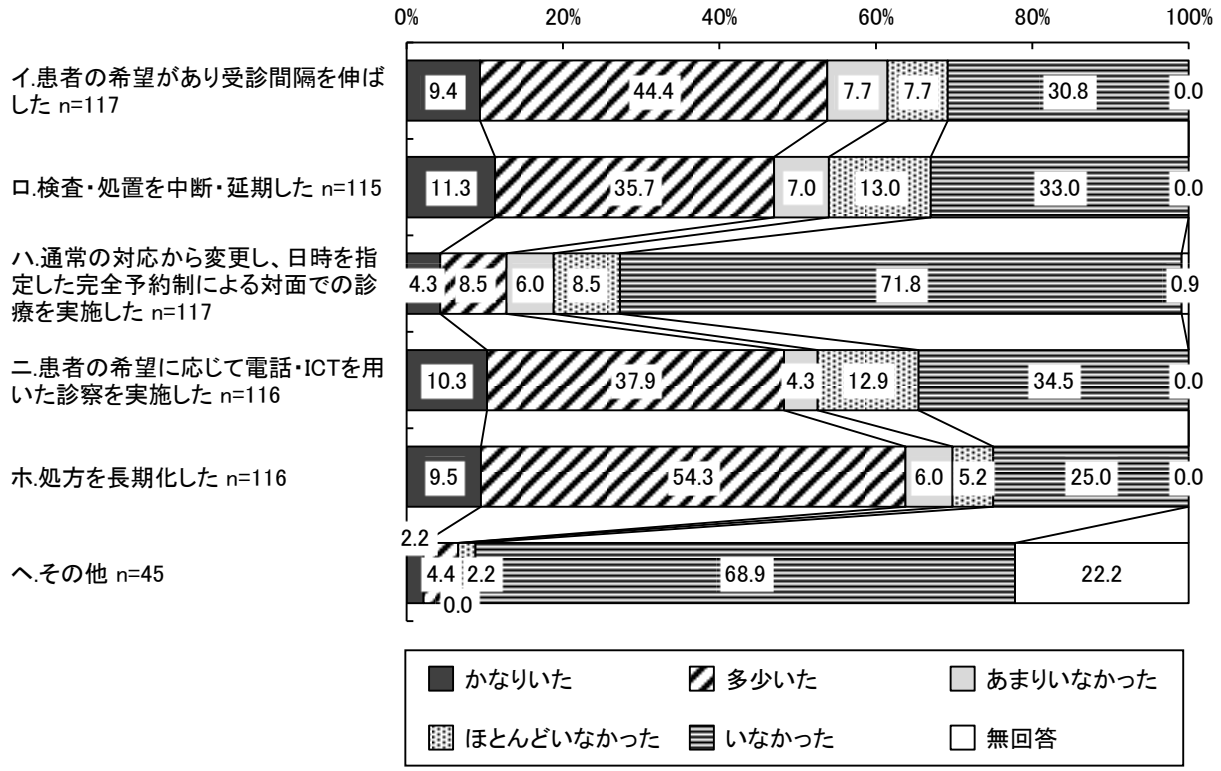
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている



協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている



その他


0%
20%
40%
60%
80%
100%
イ.患者の希望があり受診間隔を伸ばした n=117
9.4
44.4
7.7
7.7
30.8
0.0
ロ.検査・処置を中断・延期した n=115
11.3
35.7
7.0
13.0
33.0
0.0
ハ.通常の対応から変更し、日時を指定した完全予約制による対面での診療を実施した n=117
4.3
8.5
6.0
8.5
71.8
0.9
ニ.患者の希望に応じて電話・ICTを用いた診察を実施した n=116
10.3
37.9
4.3
12.9
34.5
0.0
ホ.処方を長期化した n=116
9.5
54.3
6.0
5.2
25.0
0.0
ヘ.その他 n=45
2.2
4.4
2.2
68.9
22.2
0.0
かなりいた
多少いた
あまりいなかった
ほとんどいなかった
いなかった
無回答

【各対応を行った患者がいた場合の患者の健康影響】

図表 2 - 150　緊急事態宣言期間中に各対応を行った患者がいた場合の患者の健康影響

（単位：施設）

	調査数	かなりあった	多少あった	あまりなかった	ほとんどなかった	無回答
イ. 患者の希望があり受診間隔を伸ばした	281	1	12	9	242	17
ロ. 検査・処置を中断・延期した	271	1	9	13	232	16
ハ. 通常の対応から変更し、日時を指定した完全予約制による対面での診療を実施した	105	－	2	10	81	12
ニ. 患者の希望に応じて電話・ICT を用いた診察を実施した	263	1	6	12	224	20
ホ. 処方を長期化した	305	2	5	14	264	20
ヘ. その他	11	－	－	1	9	1

【前問で健康影響があった場合：患者の健康影響に関する具体的内容】

図表 2 - 151　患者の健康影響の具体的内容（最もあてはまるもの）

（単位：施設）

	調査数	救急外来を受診した	入院加療が必要となった	重篤な疾患の発見が遅れた	通常以上の運動機能の低下がみられた	通常以上の認知機能の低下がみられた	無回答
イ. 患者の希望があり受診間隔を伸ばした	22	9	－	1	2	2	8
ロ. 検査・処置を中断・延期した	23	7	1	1	1	－	13
ハ. 通常の対応から変更し、日時を指定した完全予約制による対面での診療を実施した	12	3	1	－	1	－	7
ニ. 患者の希望に応じて電話・ICT を用いた診察を実施した	19	4	－	－	3	－	12
ホ. 処方を長期化した	21	3	1	－	6	1	10
ヘ. その他	1	1	－	－	－	－	－

⑦ 新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受領行動の変化や患者への健康影響についての意見（自由記述）

・リハビリテーションは密接療養となるため停止したが、患者さんに健康影響があったと思う。
・患者本人が外来をキャンセルした例が多少あった。
・受診控えにより病気の発見が遅れる懸念がある。
・事前に電話連絡がないまま、直接来院の発熱患者数が増えた。
・特に新型コロナウイルス感染症による患者の受診抑制が働くことで、高齢者を中心に受診を控えるケースが目立った。
・事前に患者から健康状態を電話で聞き取りを行っていたので、影響は特になかった。
・長年通院している患者の行動はあまり変化がないよう感じる。
・手術延期に関する患者からの苦情があった。
・妊婦については、健診間隔の変更はあまりなかった。
・オンラインや電話での外来診療は今後も継続していくとよいと考える。しかし地域の特性により高齢夫婦のみの世帯や一人暮らしの高齢者が増加しているため、対応が困難な事も多い。システムを簡略化し、高齢者でも対応できるよう早期改善が必要であると考える。

⑧ 新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話･情報通信機器を用いた診療の実施状況

新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況は、以下のとおりであった。

図表 2 - 152　新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況

		令和元年								令和2年							
		5月中				9月中				5月中				9月中			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）電話等初診料（214点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=326	0.0	0.3	0.0	n=329	0.0	0.1	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=318	0.0	0.0	0.0	n=321	0.0	0.0	0.0
2）電話等再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）	n=336	0.2	1.0	0.0	n=336	0.1	0.5	0.0	n=342	78.7	137.4	12.0	n=343	18.7	36.9	3.0
	情報通信機器（ビデオ通話）	n=330	0.0	0.0	0.0	n=331	0.0	0.0	0.0	n=327	0.0	0.4	0.0	n=329	0.0	0.4	0.0
2)-1（うち）診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=230	67.5	114.5	2.0	n=232	16.4	31.6	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=258	0.0	0.0	0.0	n=259	0.0	0.0	0.0
2)-1-1（うち）2）－1の算定を行う前はオンライン診療料を算定していた診療を置き換えた回数	電話（音声通話のみ）									n=241	0.0	0.1	0.0	n=242	0.0	0.1	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=255	0.0	0.0	0.0	n=256	0.0	0.0	0.0
2)-2 診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際の管理料（147点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=293	9.7	23.7	0.0	n=289	1.7	5.2	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=298	0.0	0.0	0.0	n=297	0.0	0.0	0.0
3）オンライン診療料の算定回数（71点）（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=316	0.0	0.0	0.0	n=316	0.0	0.0	0.0	n=316	0.0	0.0	0.0	n=314	0.0	0.0	0.0
3）-1 個別の医学管理料における情報通信機器を用いて行った場合の評価（100点）の算定回数（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=298	0.0	0.0	0.0	n=298	0.0	0.0	0.0	n=301	0.0	0.0	0.0	n=302	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 153　新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況【99 床以下】

		令和元年								令和2年							
		5月中				9月中				5月中				9月中			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）電話等初診料（214点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=70	0.1	0.4	0.0	n=71	0.0	0.2	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=66	0.0	0.0	0.0	n=65	0.0	0.0	0.0
2）電話等再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）	n=73	0.1	0.6	0.0	n=73	0.1	0.6	0.0	n=74	36.7	77.2	6.0	n=74	10.7	19.4	2.0
	情報通信機器（ビデオ通話）	n=71	0.0	0.0	0.0	n=71	0.0	0.0	0.0	n=69	0.1	0.5	0.0	n=68	0.0	0.1	0.0
2)-1（うち）診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=36	22.4	62.3	0.5	n=37	7.0	20.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=48	0.0	0.0	0.0	n=47	0.0	0.0	0.0
2)-1-1（うち）2）－1の算定を行う前はオンライン診療料を算定していた診療を置き換えた回数	電話（音声通話のみ）									n=48	0.0	0.2	0.0	n=48	0.0	0.1	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=49	0.0	0.0	0.0	n=49	0.0	0.0	0.0
2)-2 診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際の管理料（147点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=61	10.7	21.6	0.0	n=60	2.6	6.3	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=62	0.0	0.0	0.0	n=61	0.0	0.0	0.0
3）オンライン診療料の算定回数（71点）（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=69	0.0	0.0	0.0	n=69	0.0	0.0	0.0	n=69	0.0	0.0	0.0	n=69	0.0	0.0	0.0
3）-1 個別の医学管理料における情報通信機器を用いて行った場合の評価（100点）の算定回数（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=64	0.0	0.0	0.0	n=64	0.0	0.0	0.0	n=64	0.0	0.0	0.0	n=64	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 154　新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況【100～199 床】

		令和元年								令和2年							
		5月中				9月中				5月中				9月中			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）電話等初診料（214点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=100	0.0	0.1	0.0	n=100	0.0	0.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=97	0.0	0.0	0.0	n=98	0.0	0.0	0.0
2）電話等再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）	n=101	0.3	1.5	0.0	n=101	0.2	0.8	0.0	n=105	46.2	69.3	8.0	n=105	10.2	19.5	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）	n=96	0.0	0.0	0.0	n=97	0.0	0.0	0.0	n=98	0.0	0.0	0.0	n=99	0.0	0.0	0.0
2)-1（うち）診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=65	32.3	54.6	0.0	n=68	7.9	17.4	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=77	0.0	0.0	0.0	n=78	0.0	0.0	0.0
2)-1-1（うち）2）－1の算定を行う前はオンライン診療料を算定していた診療を置き換えた回数	電話（音声通話のみ）									n=72	0.0	0.0	0.0	n=72	0.0	0.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=77	0.0	0.0	0.0	n=77	0.0	0.0	0.0
2)-2 診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際の管理料（147点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=88	13.4	28.5	0.0	n=86	1.7	4.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=89	0.0	0.0	0.0	n=89	0.0	0.0	0.0
3）オンライン診療料の算定回数（71点）（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=94	0.0	0.0	0.0	n=94	0.0	0.0	0.0	n=94	0.0	0.0	0.0	n=94	0.0	0.0	0.0
3）-1個別の医学管理料における情報通信機器を用いて行った場合の評価（100点）の算定回数（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=90	0.0	0.0	0.0	n=90	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 155　新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況【200～399 床】

		令和元年								令和2年							
		5月中				9月中				5月中				9月中			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）電話等初診料（214点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=91	0.0	0.2	0.0	n=93	0.0	0.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=89	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0
2）電話等再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）	n=93	0.1	0.8	0.0	n=93	0.0	0.0	0.0	n=92	105.3	168.5	27.5	n=94	20.3	34.5	2.0
	情報通信機器（ビデオ通話）	n=92	0.0	0.0	0.0	n=92	0.0	0.0	0.0	n=90	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0
2)-1（うち）診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=72	88.4	132.4	10.0	n=73	21.4	38.8	1.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=77	0.0	0.0	0.0	n=78	0.0	0.0	0.0
2)-1-1（うち）2）－1の算定を行う前はオンライン診療料を算定していた診療を置き換えた回数	電話（音声通話のみ）									n=71	0.0	0.0	0.0	n=72	0.0	0.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=75	0.0	0.0	0.0	n=76	0.0	0.0	0.0
2)-2 診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際の管理料（147点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=82	4.6	16.2	0.0	n=84	1.0	4.1	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=88	0.0	0.0	0.0	n=89	0.0	0.0	0.0
3）オンライン診療料の算定回数（71点）（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=90	0.0	0.0	0.0	n=90	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0	n=89	0.0	0.0	0.0
3）-1個別の医学管理料における情報通信機器を用いて行った場合の評価（100点）の算定回数（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=85	0.0	0.0	0.0	n=85	0.0	0.0	0.0	n=86	0.0	0.0	0.0	n=87	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 156　新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況【400 床以上】

		令和元年								令和2年							
		5月中				9月中				5月中				9月中			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1）電話等初診料（214点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=57	0.0	0.3	0.0	n=57	0.0	0.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=59	0.0	0.0	0.0	n=59	0.0	0.0	0.0
2）電話等再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）	n=61	0.0	0.0	0.0	n=61	0.0	0.0	0.0	n=63	140.8	183.3	79.0	n=62	38.8	61.8	10.5
	情報通信機器（ビデオ通話）	n=63	0.0	0.0	0.0	n=63	0.0	0.0	0.0	n=62	0.1	0.8	0.0	n=63	0.1	1.0	0.0
2)-1 （うち）診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診料（73点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=51	107.1	134.7	34.0	n=48	25.2	35.2	4.5
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=50	0.0	0.0	0.0	n=50	0.0	0.0	0.0
2)-1-1 （うち）2）－1の算定を行う前はオンライン診療料を算定していた診療を置き換えた回数	電話（音声通話のみ）									n=45	0.0	0.0	0.0	n=45	0.0	0.0	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=49	0.0	0.0	0.0	n=49	0.0	0.0	0.0
2)-2 診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際の管理料（147点）の算定回数	電話（音声通話のみ）									n=55	9.7	25.5	0.0	n=53	1.9	6.6	0.0
	情報通信機器（ビデオ通話）									n=52	0.0	0.0	0.0	n=51	0.0	0.0	0.0
3）オンライン診療料の算定回数（71点）（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=55	0.0	0.0	0.0	n=55	0.0	0.0	0.0	n=54	0.0	0.0	0.0	n=54	0.0	0.0	0.0
3）-1 個別の医学管理料における情報通信機器を用いて行った場合の評価（100点）の算定回数（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）	情報通信機器（ビデオ通話）	n=52	0.0	0.0	0.0	n=52	0.0	0.0	0.0	n=53	0.0	0.0	0.0	n=53	0.0	0.0	0.0

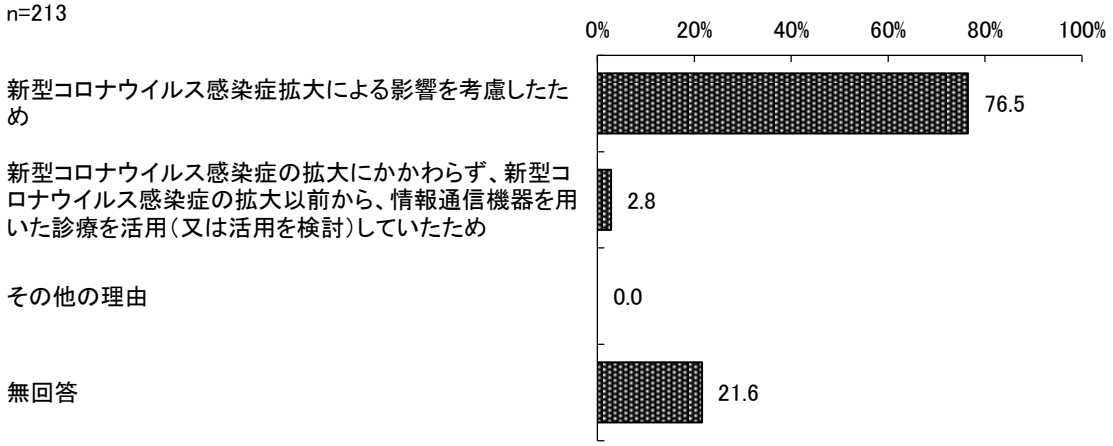
⑧-1 電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由

【令和2年 5 月に電話または情報通信機器を用いた診療(ビデオ通話)を行い、電話等初診料または電話等再診料もしくはオンライン診療料を 1 回以上算定した施設が回答】

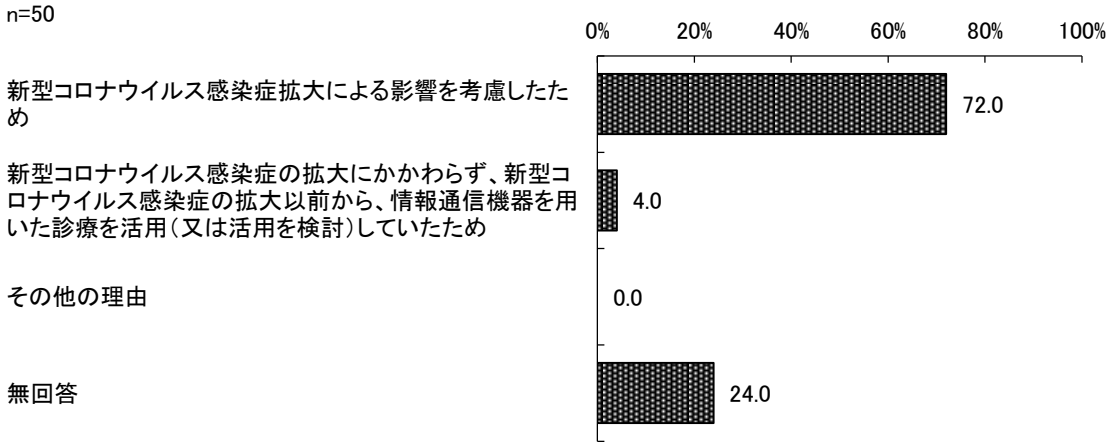
電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由をたずねたところ、「新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮したため」(76.5%) が最も多かった。

病床規模別にみると、「99 床以下」「100 床～199 床」「200 床～399 床」「400 床以上」では「新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮したため」(72.0%、83.9%、74.5%、70.7%) が最も多かった。

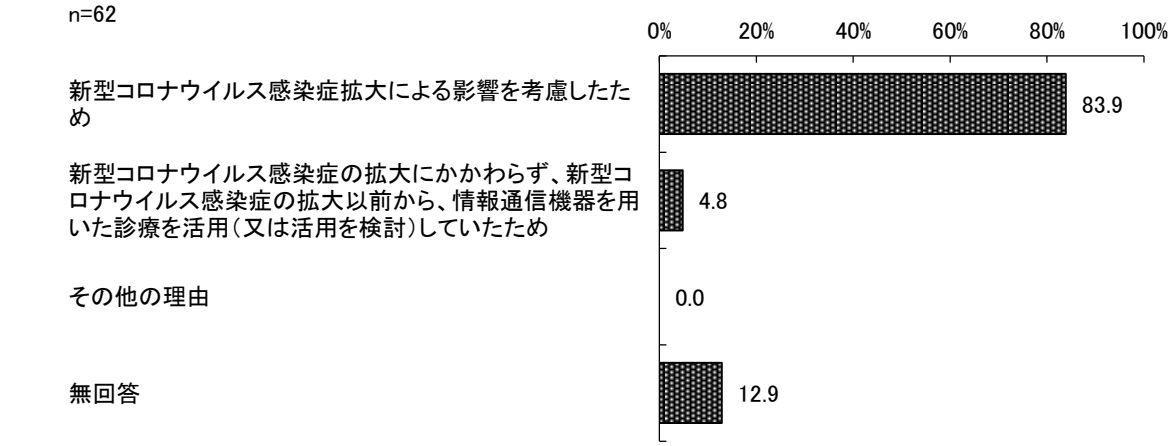
図表 2 - 157　電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由



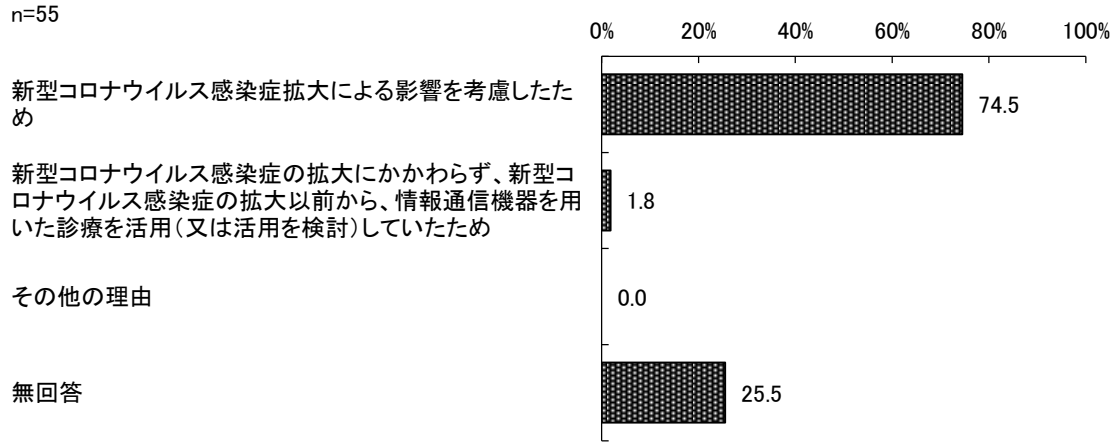
図表 2 - 158　電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由【99 床以下】



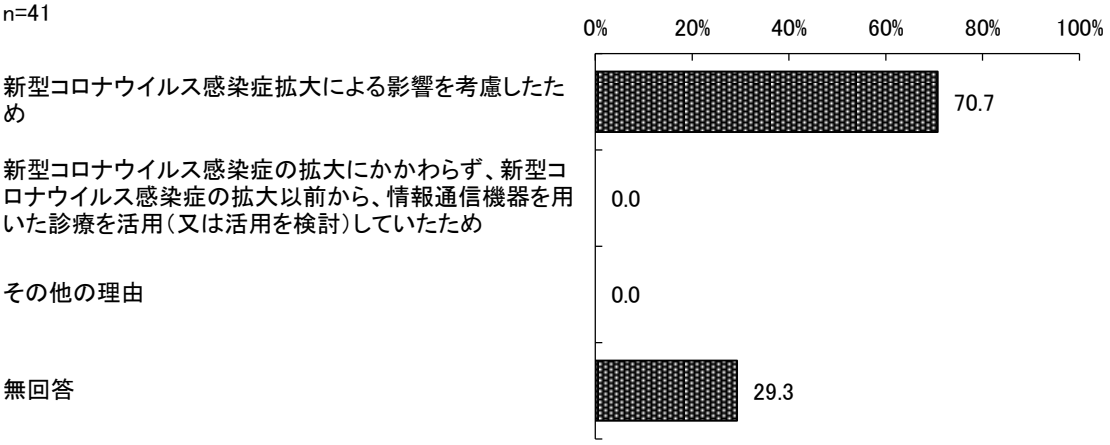
図表 2 - 159　電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由【100～199 床】



図表 2 - 160　電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由【200～399 床】

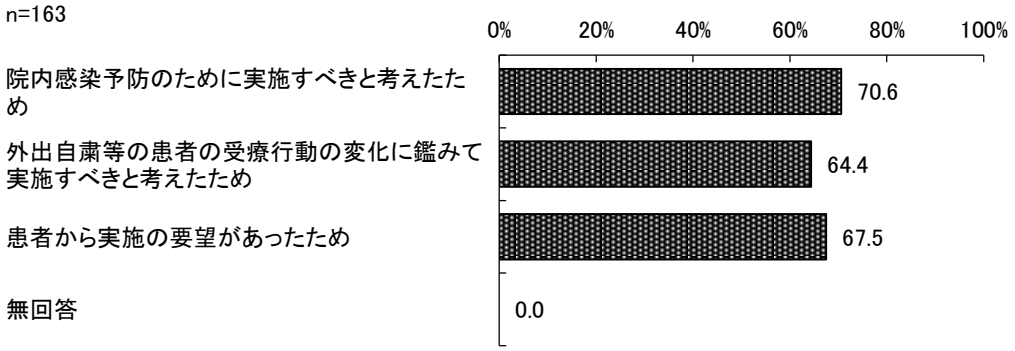


図表 2 - 161　電話または情報通信機器を用いた診療の実施理由【400 床以上】



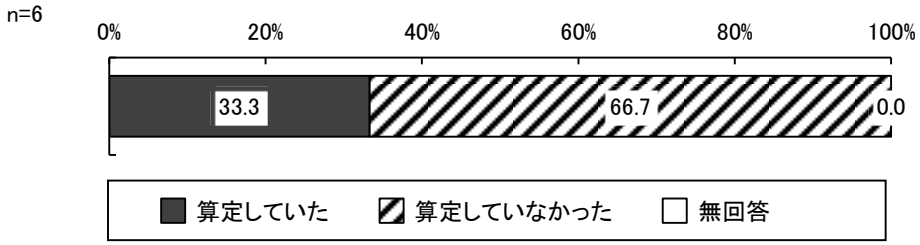
【新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮したためを選んだ施設の理由】

図表 2 - 162　新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮したための詳しい理由



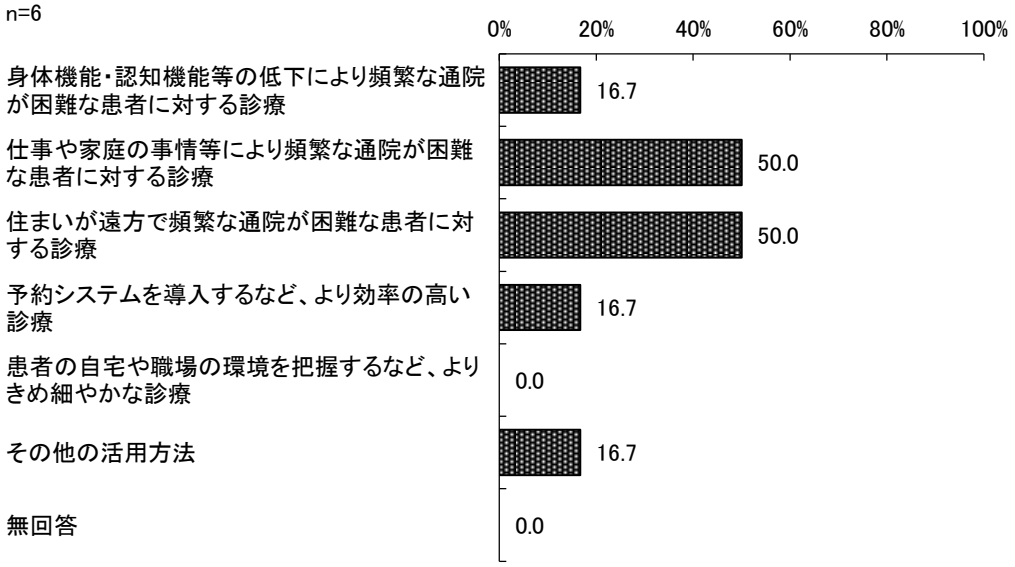
【新型コロナウイルス感染症の拡大にかかわらず、新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、情報通信機器を用いた診療を活用（又は活用を検討）していたためを選んだ場合：新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、オンライン診療料を算定していたか】

図表 2 - 163　新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、オンライン診療料を算定していたか



【新型コロナウイルス感染症の拡大にかかわらず、新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、情報通信機器を用いた診療を活用（又は活用を検討）していたためを選んだ場合：具体的にどのような診療に対して活用（又は活用を検討）していたか】

図表 2 - 164　具体的にどのような診療に対して活用（又は活用を検討）していたか



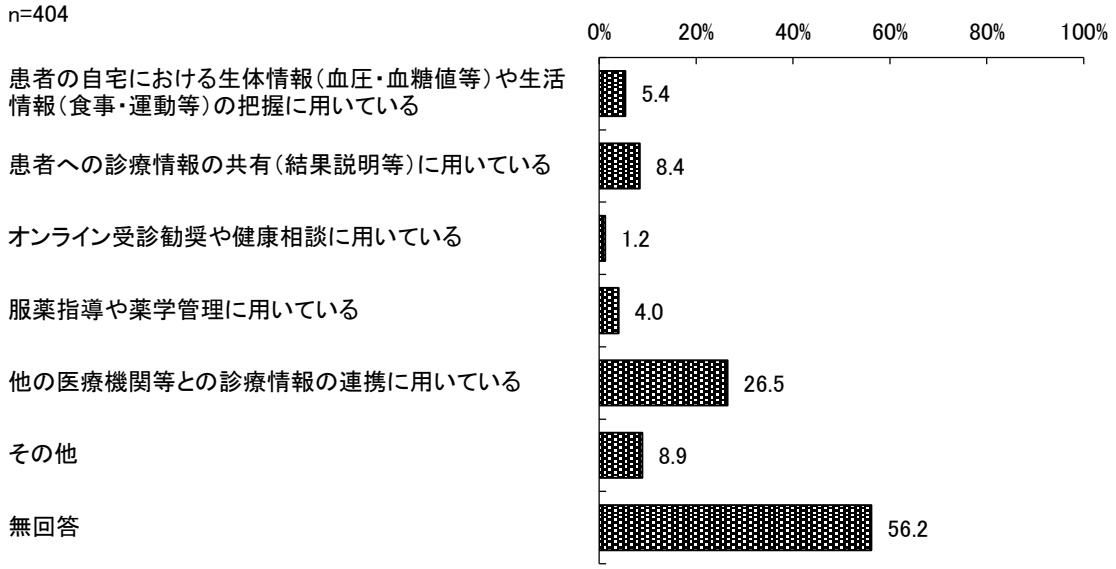
⑨ 情報通信機器・電話を用いた診療以外で、患者に対するICTの活用方法

該当するICTの活用方法で最も多かったものは「他の医療機関との診療情報の連携に用いている」（26.5%）であった。

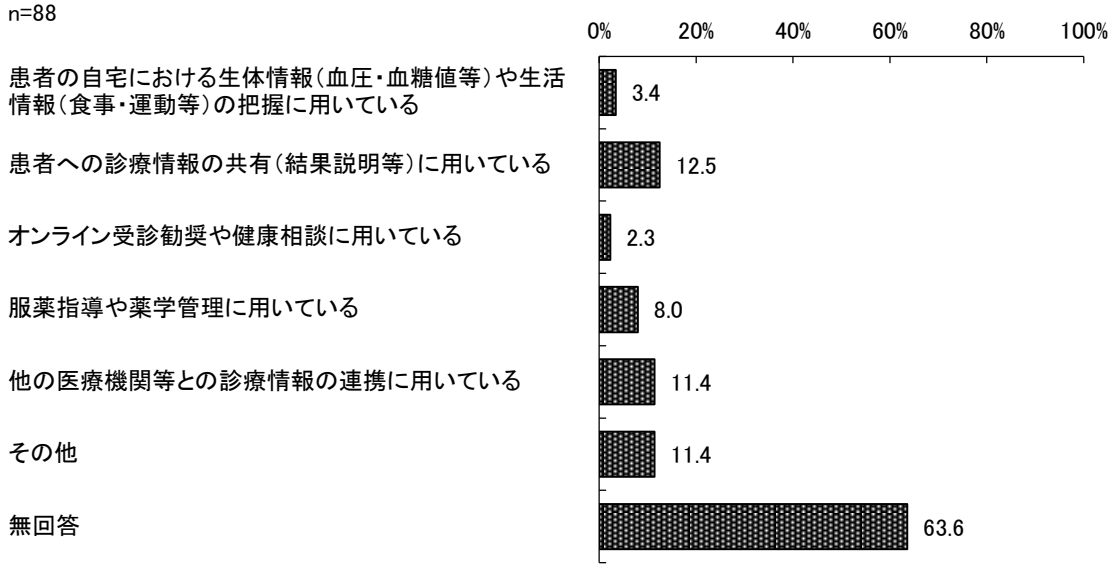
病床規模別にみると、「99床以下」では「患者への診療情報の共有（結果説明等）に用いている」（12.5%）、「100床～199床以下」「200床～399床以下」「400床以上」では「他の医療機関との診療情報の連携に用いている」（27.7%、27.9%、42.1%）が最も多かった。

なお、「その他」には「オンラインによる面会」、「心臓ペースメーカーの遠隔モニタリング」等の回答があった。

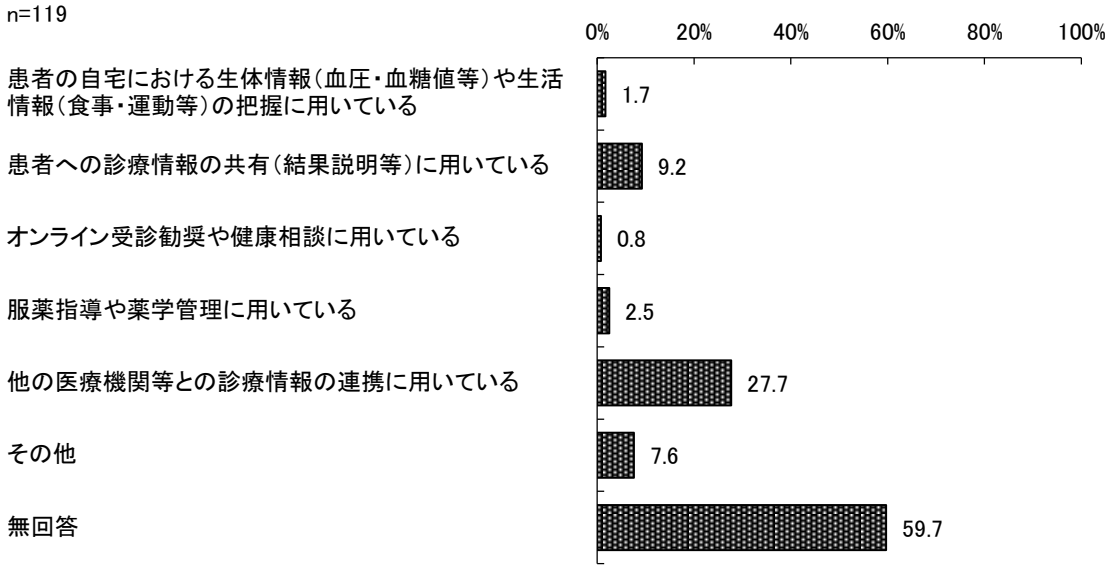
図表2－165　該当するICTの活用方法（複数回答）



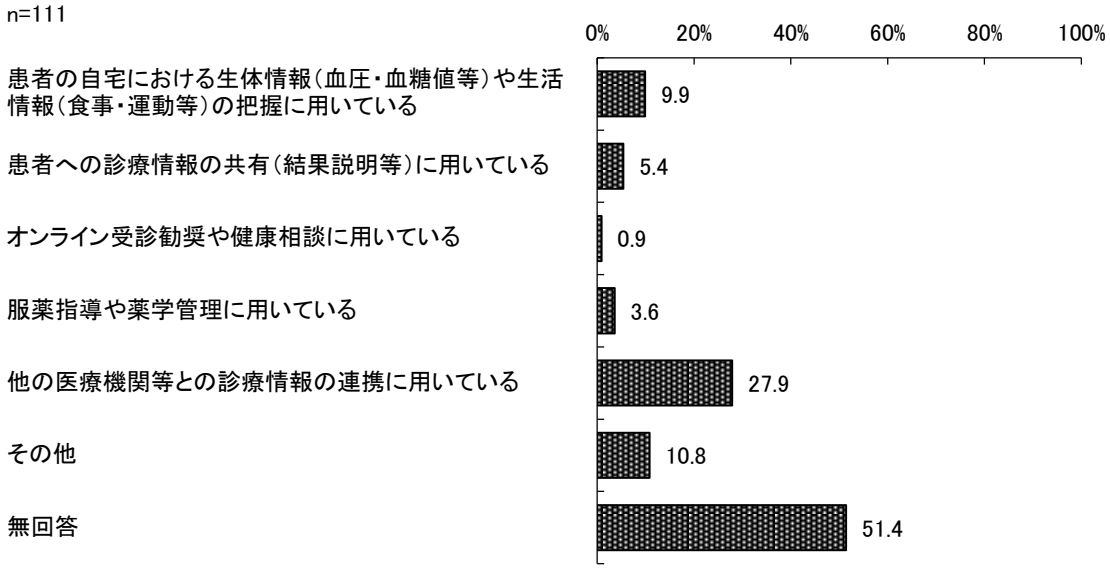
図表2－166　該当するICTの活用方法（複数回答）
【99床以下】



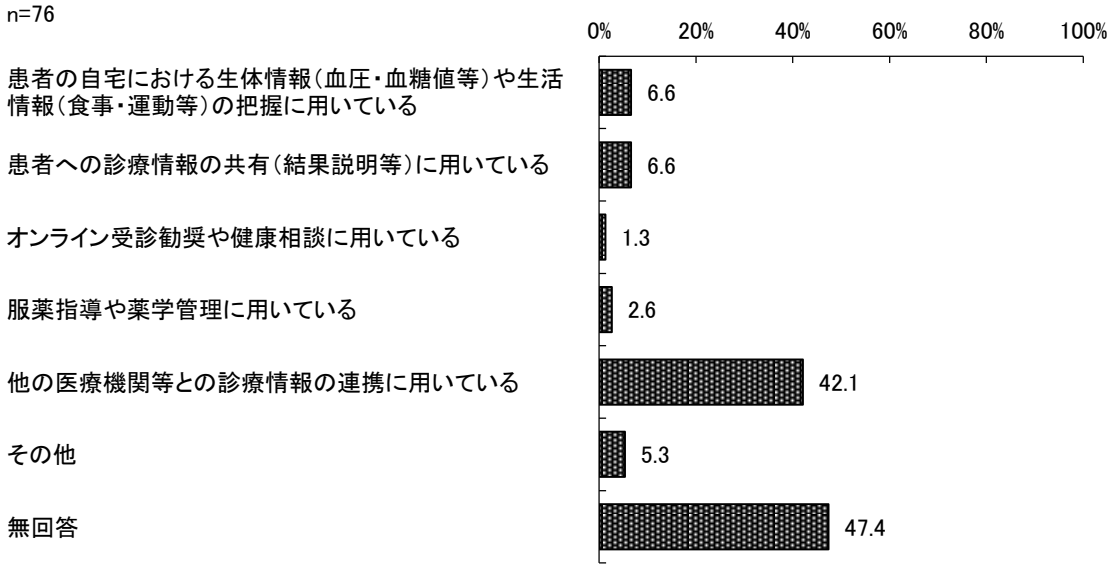
図表 2 - 167　該当する ICT の活用方法（複数回答）
【100～199 床】



図表 2 - 168　該当する ICT の活用方法（複数回答）
【200～399 床】



図表 2 - 169　該当する ICT の活用方法（複数回答）
【400 床以上】

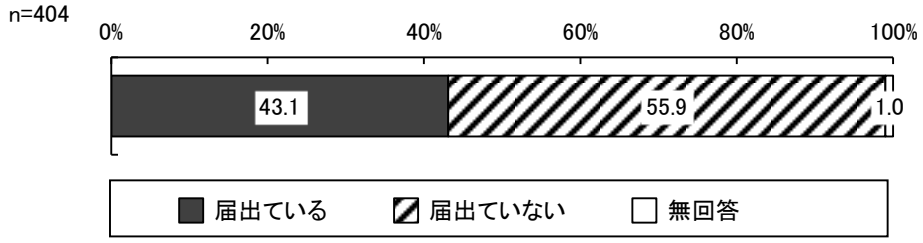


（３）診療報酬項目の施設基準の届出状況

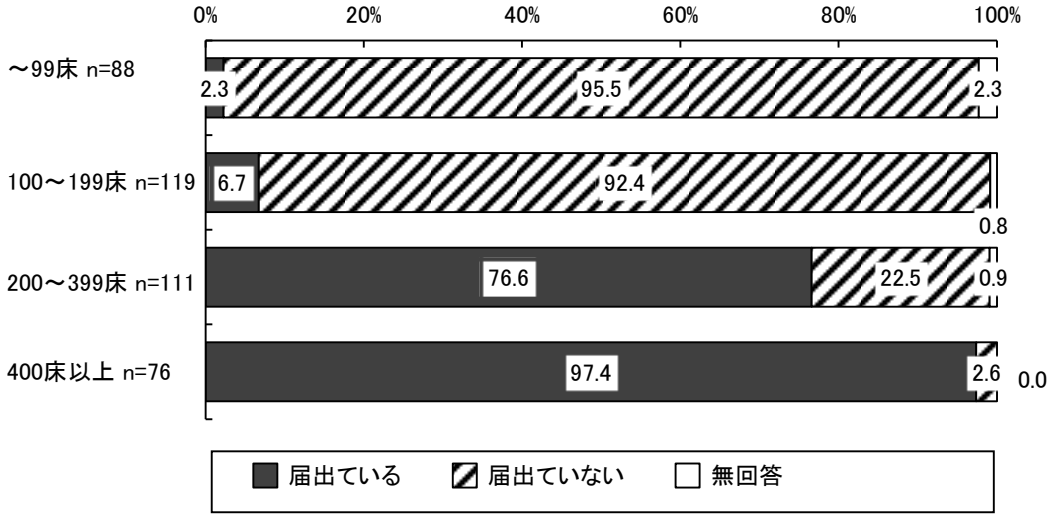
① 地域医療体制確保加算の届出状況

地域医療体制確保加算の届出状況についてみると、「届出ている」（43.1%）、「届出ていない」（55.9%）であった。病床規模別にみると、200～399 床の医療機関においては、76.6%が届出をしており、400 床以上の医療機関においては、97.4%が届出をしていた。また、新型コロナウイルス感染症対応の重点医療機関においては、88.3%が地域医療体制確保加算を届出ていた。

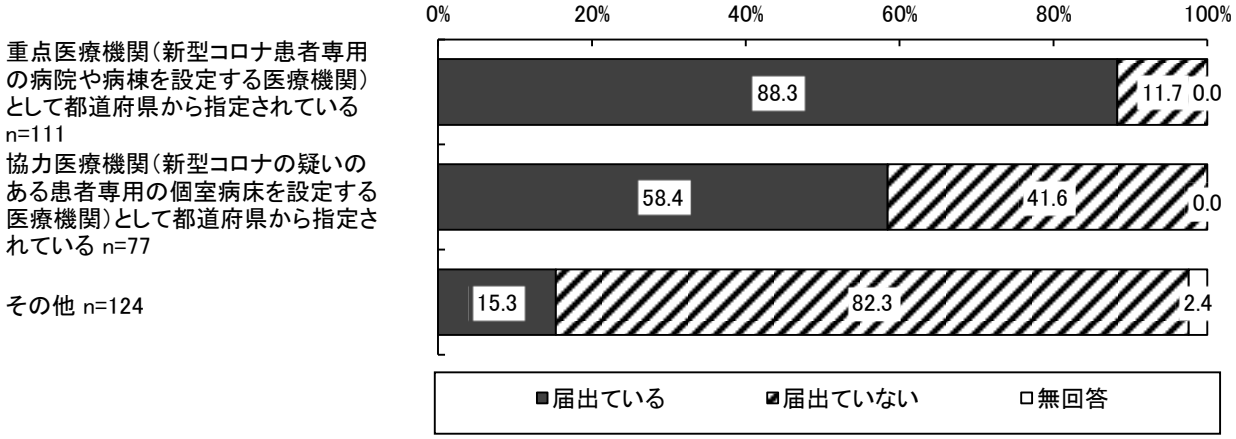
図表 2 - 170　地域医療体制確保加算の届出状況



図表 2 - 171　地域医療体制確保加算の届出状況
（病床規模別）



図表 2 - 172　地域医療体制確保加算の届出状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）

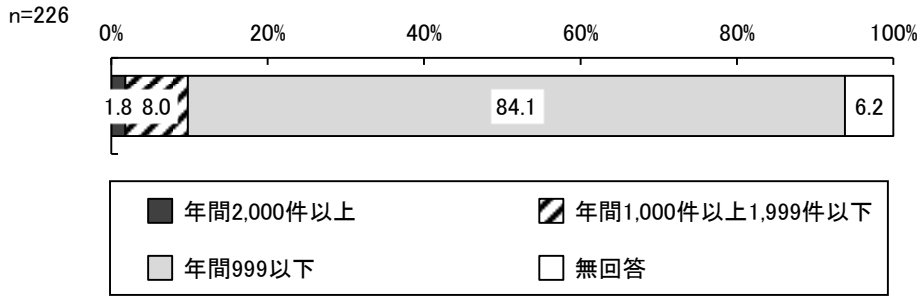


①-1 救急用自動車・救急用医療用ヘリによる搬送受入れ件数

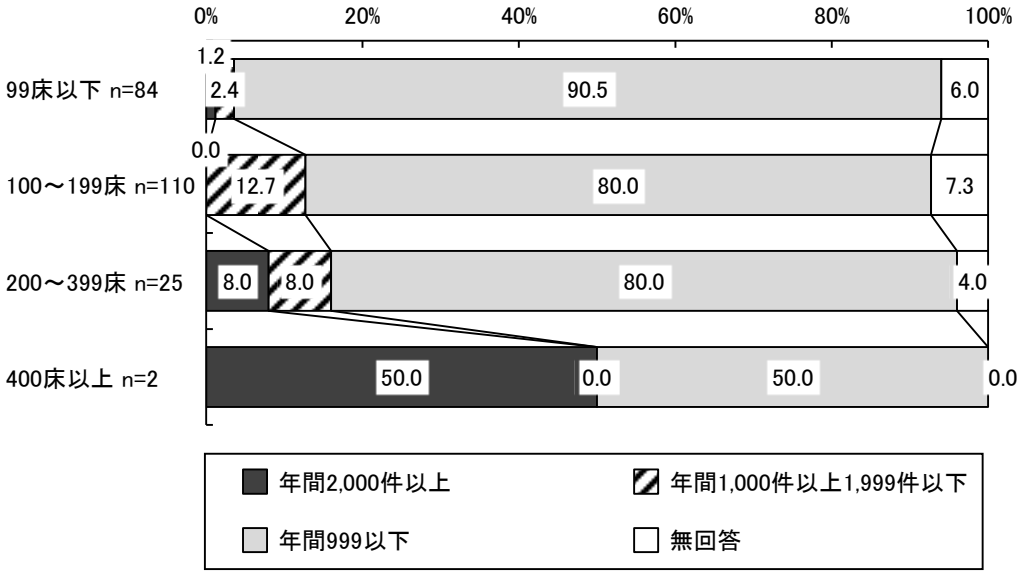
【①で「届出ていない」と回答した施設】

救急用自動車・救急用医療用ヘリによる搬送受入れ件数についてみると、「年間 999 以下」（84.1%）が最も多かった。

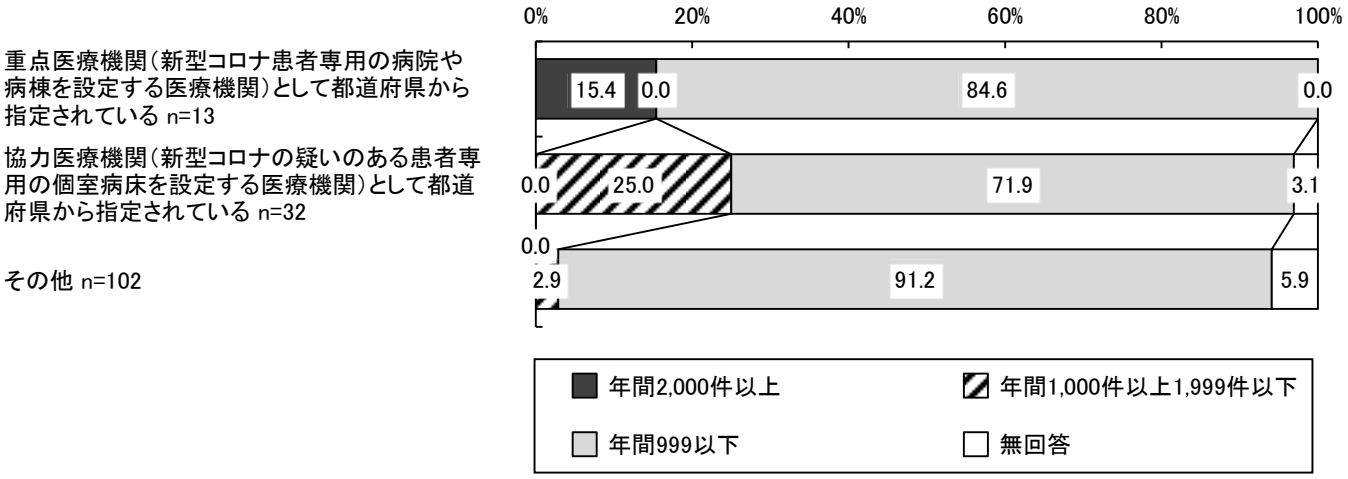
図表 2 - 173　救急用自動車・救急用医療用ヘリによる搬送受入れ件数



図表 2 - 174　救急用自動車・救急用医療用ヘリによる搬送受入れ件数（病床規模別）



図表 2 - 175　救急用自動車・救急用医療用ヘリによる搬送受入れ件数（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

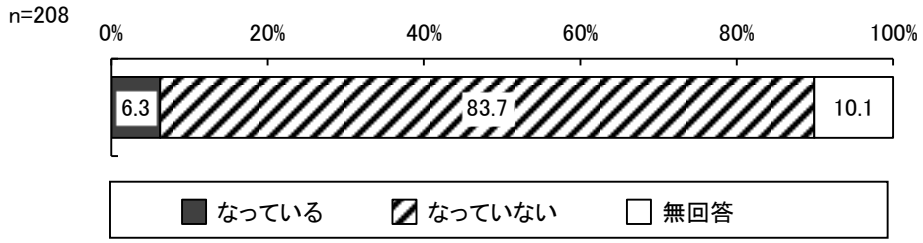


①-2 地域医療介護総合確保基金の対象の有無

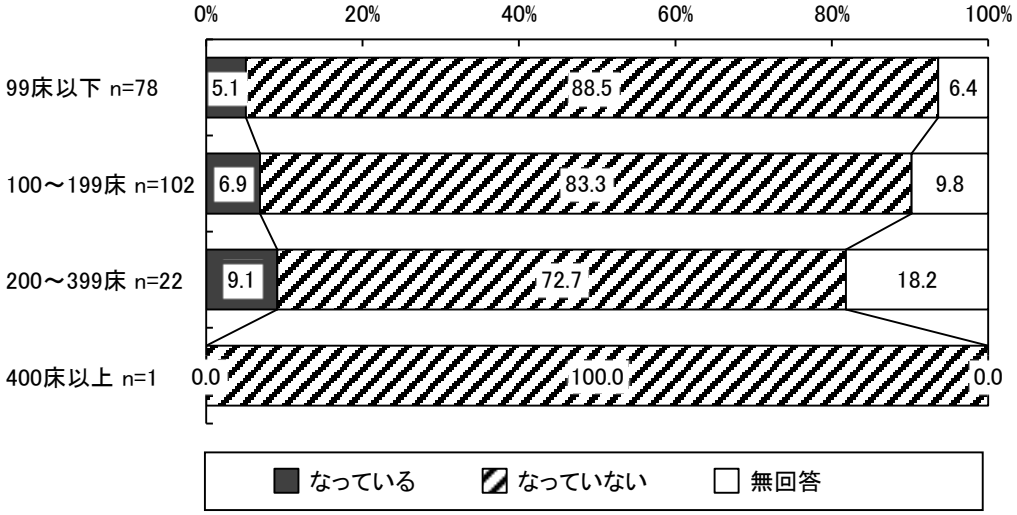
地域医療介護総合確保基金の対象の有無についてみると、「なっている」（6.3%）、「なっていない」（83.7%）であった。

【①-1 で「年間 1,000 件以上 1,999 件以下」もしくは「年間 999 件以下」と回答した施設】

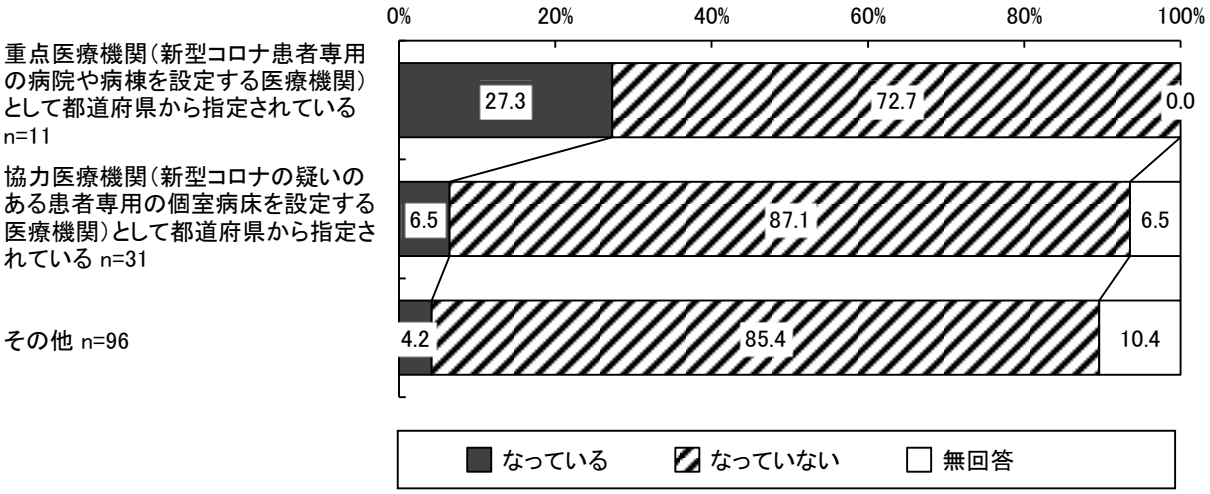
図表 2 - 176　地域医療介護総合確保基金の対象の有無



図表 2 - 177　地域医療介護総合確保基金の対象の有無（病床規模別）



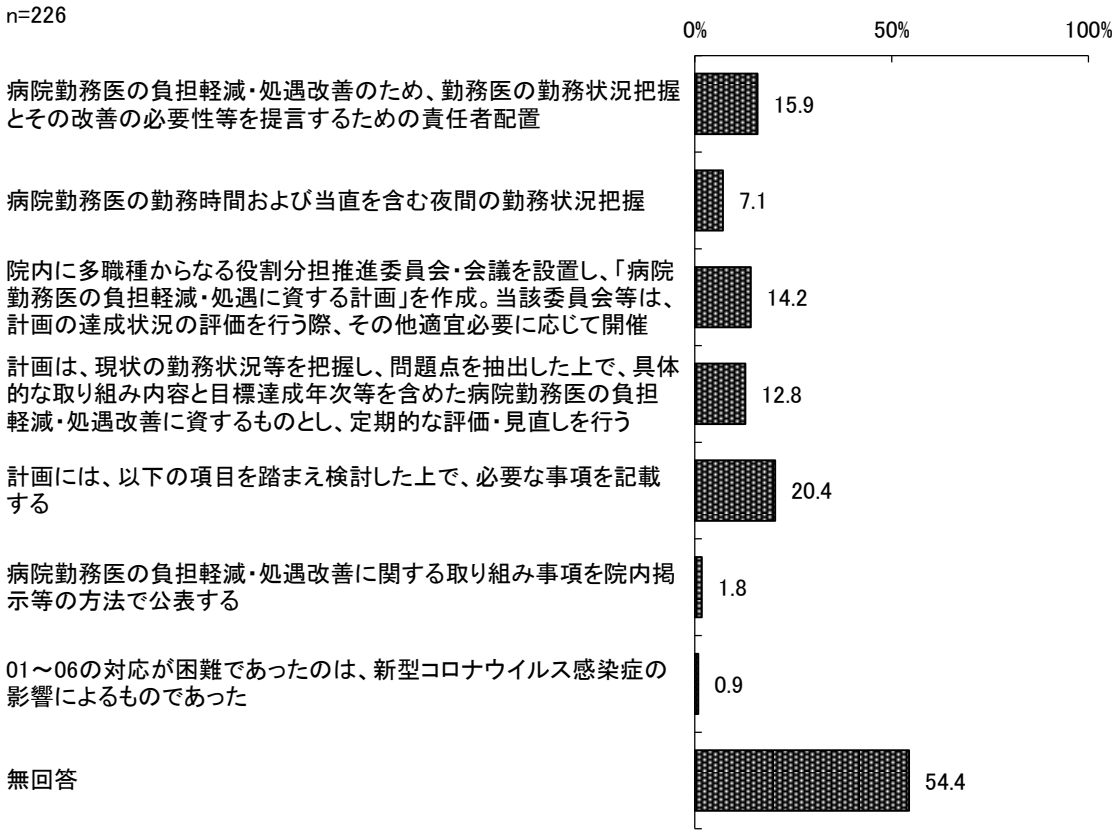
図表 2 - 178　地域医療介護総合確保基金の対象の有無（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



①-3 地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件
【①で「届出ていない」と回答した施設】

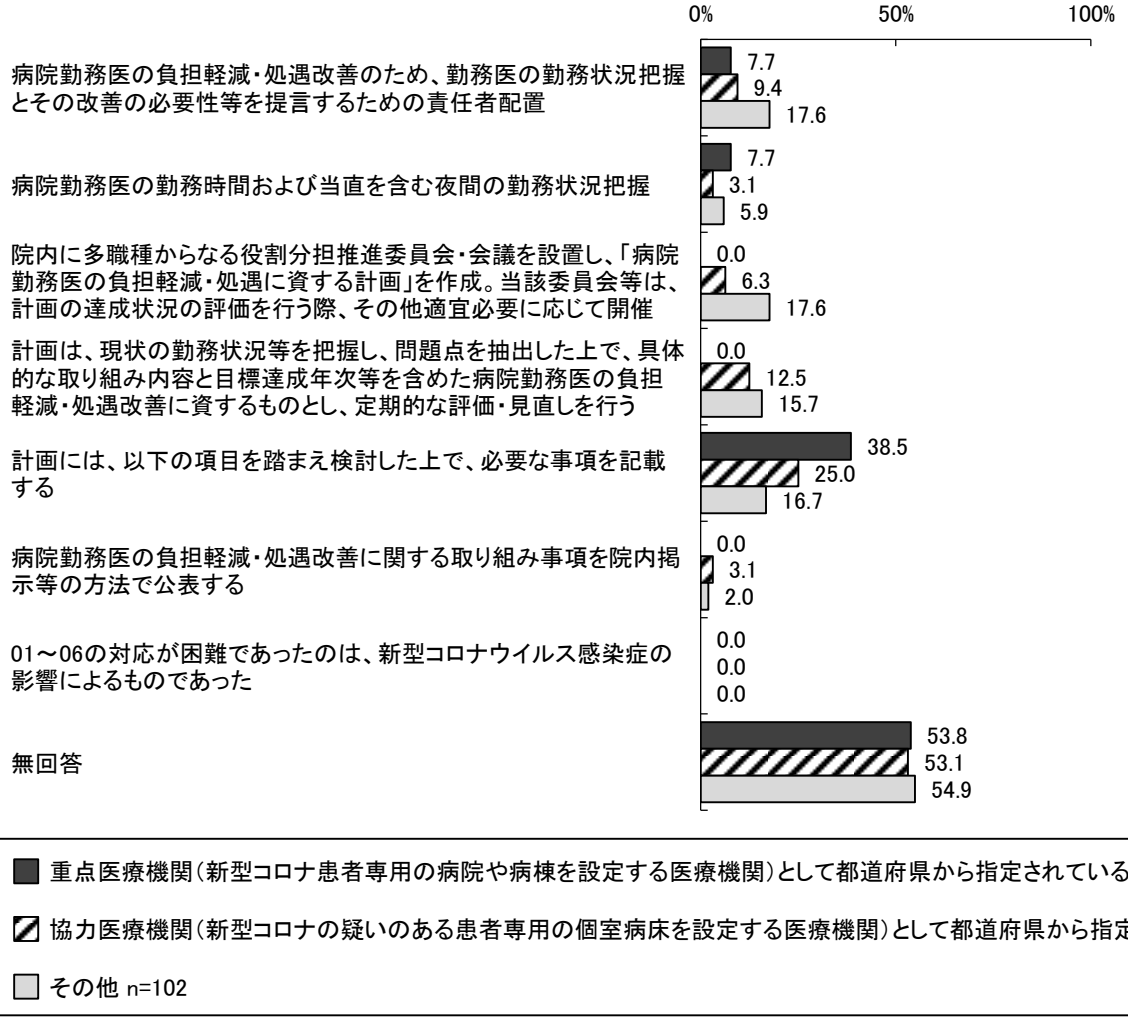
地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件で最も多かったものは「計画には、以下の項目を踏まえ検討した上で、必要な事項を記載する」（20.4%）であった。

図表 2 - 179　地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件（複数回答）



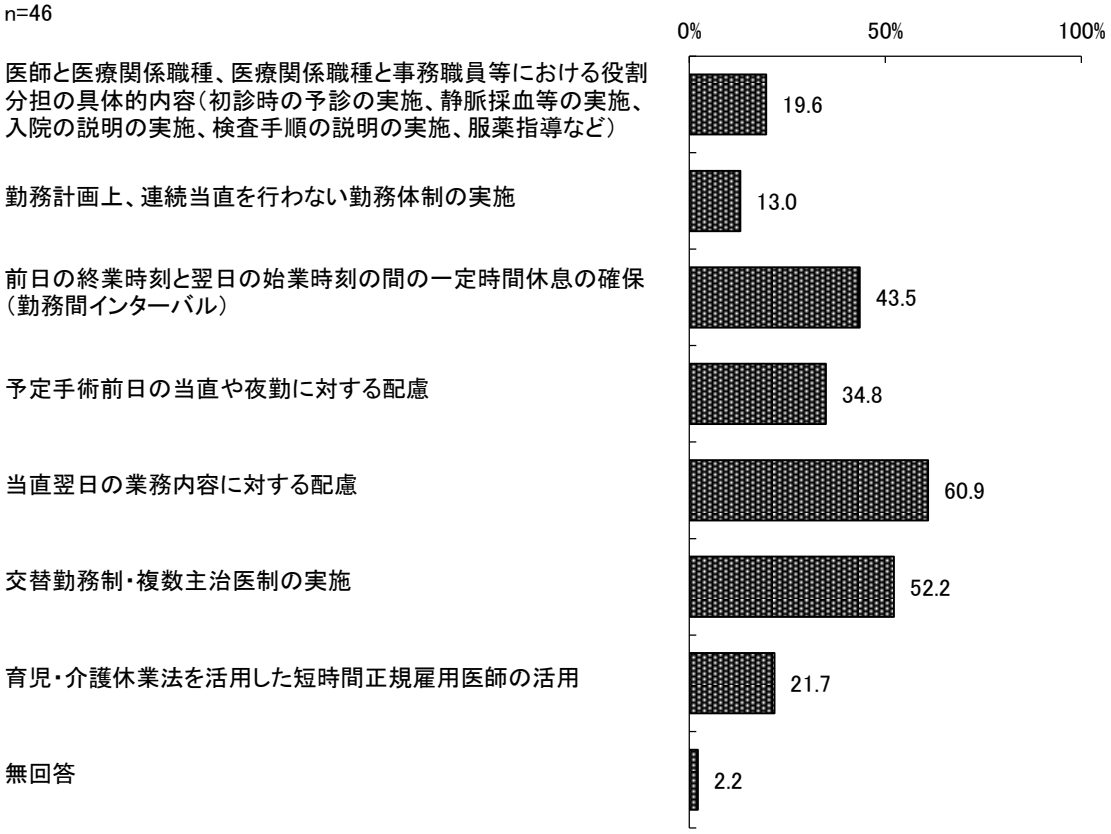
新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別の地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件は、以下のとおりであった。

図表 2 - 180　地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



また、前問で、「計画には、以下の項目を踏まえ検討した上で、必要な事項を記載する」を選択した場合の該当するものとしては、「当直翌日の業務内容に対する配慮」(60.9%)、「交替勤務制・複数主治医制の実施」(52.2%) の順に多くなっていた。

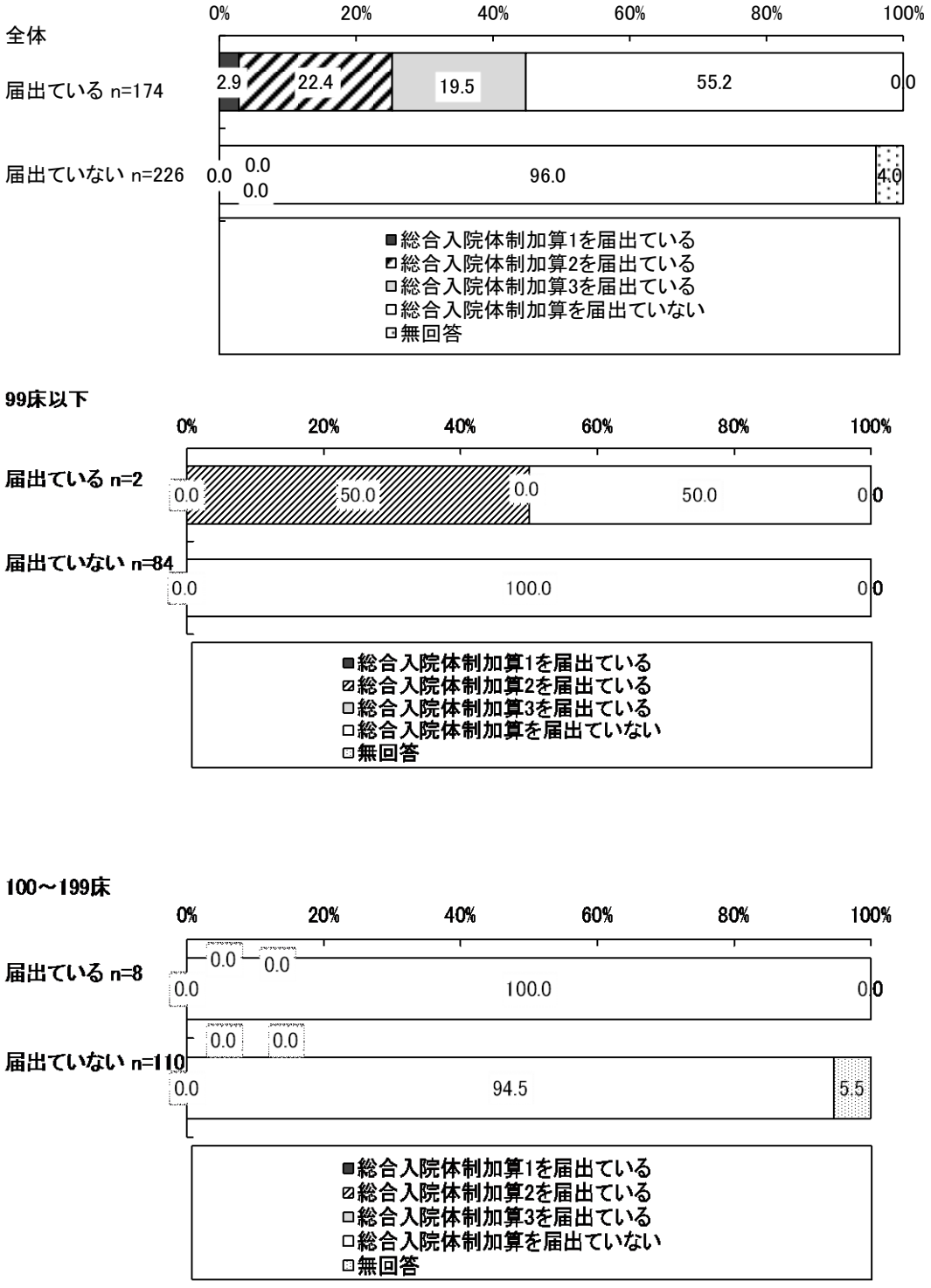
図表 2 - 181　地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件として「計画には、以下の項目を踏まえ検討した上で、必要な事項を記載する」を選択した場合の該当するもの（複数回答）



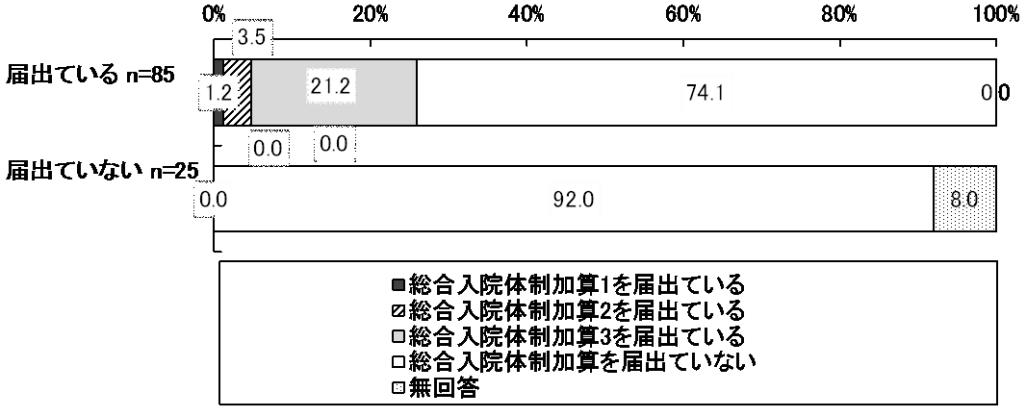
② 総合入院体制加算の届出状況

令和２年 10 月末時点の総合入院体制加算の届出状況は、以下のとおりであった。地域医療体制確保加算を届出ている医療機関のうち、2.9%が「総合入院体制加算１」を、22.4%が「総合入院体制加算２」を、19.5%が「総合入院体制加算３」を届出ていた。

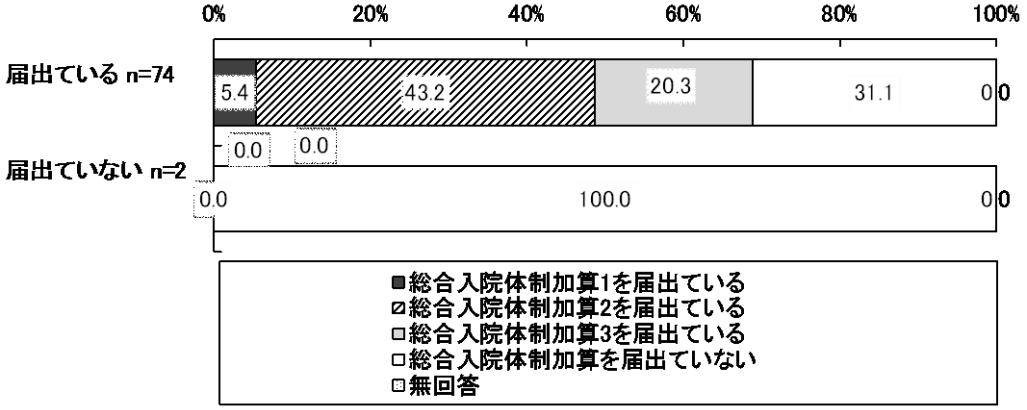
図表 2 - 182　届出のある施設基準等
（病床規模・地域医療体制確保加算別）



200～399床



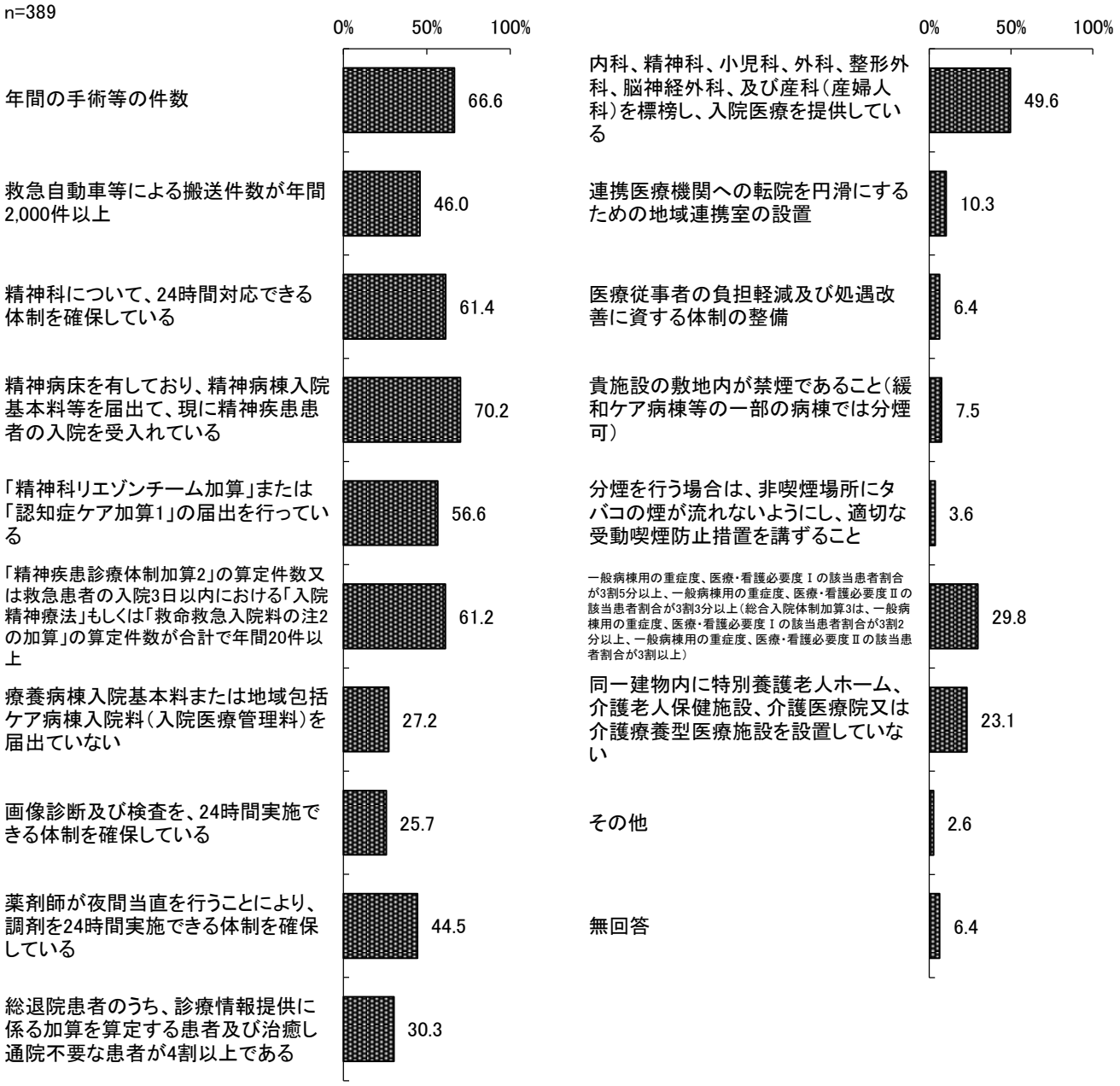
400床以上



②-1 総合入院体制加算 1 について満たすことが困難な要件
【②で総合入院体制加算 2、3 および届出ていないと回答した場合】

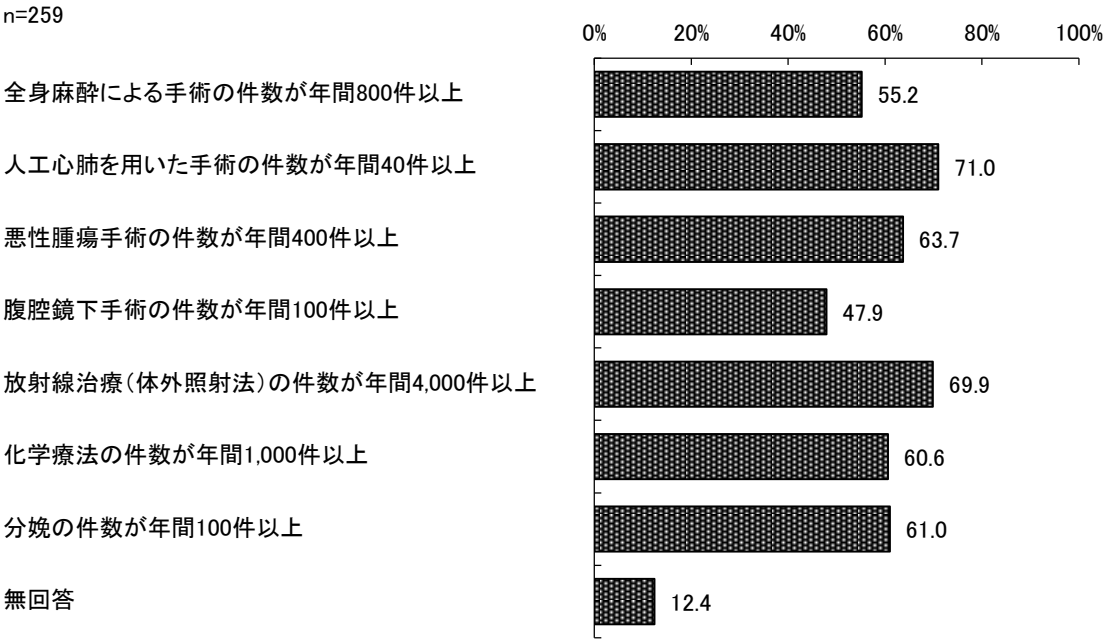
地域医療体制確保加算を満たすことが困難な要件で最も多かったものは「精神病床を有しており、精神病棟入院基本料等を届出て、現に精神疾患患者の入院を受け入れている」（70.2%）が最も多く、次いで「年間の手術等の件数」（66.6%）であった。

図表 2 - 183　「総合入院体制加算１」を満たすことが困難な要件（複数回答）



要件を満たすことが難しい「年間の手術等の件数」の内訳は、以下のとおりであった。

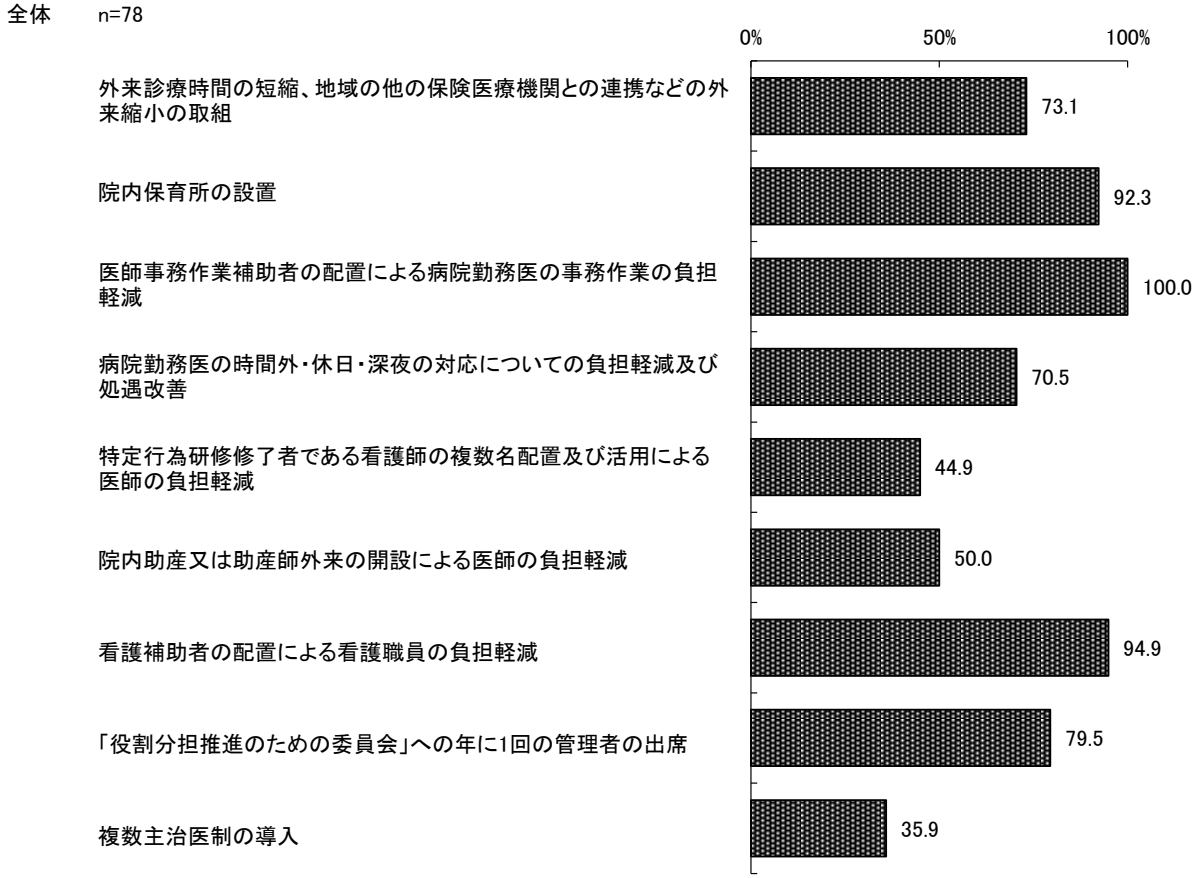
図表 2 - 184　要件を満たすことが難しい「年間の手術等の件数」の内訳（複数回答）



②-2 医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容
【②で総合入院体制加算 1、2、3 のいずれかを届出ていると回答した場合】

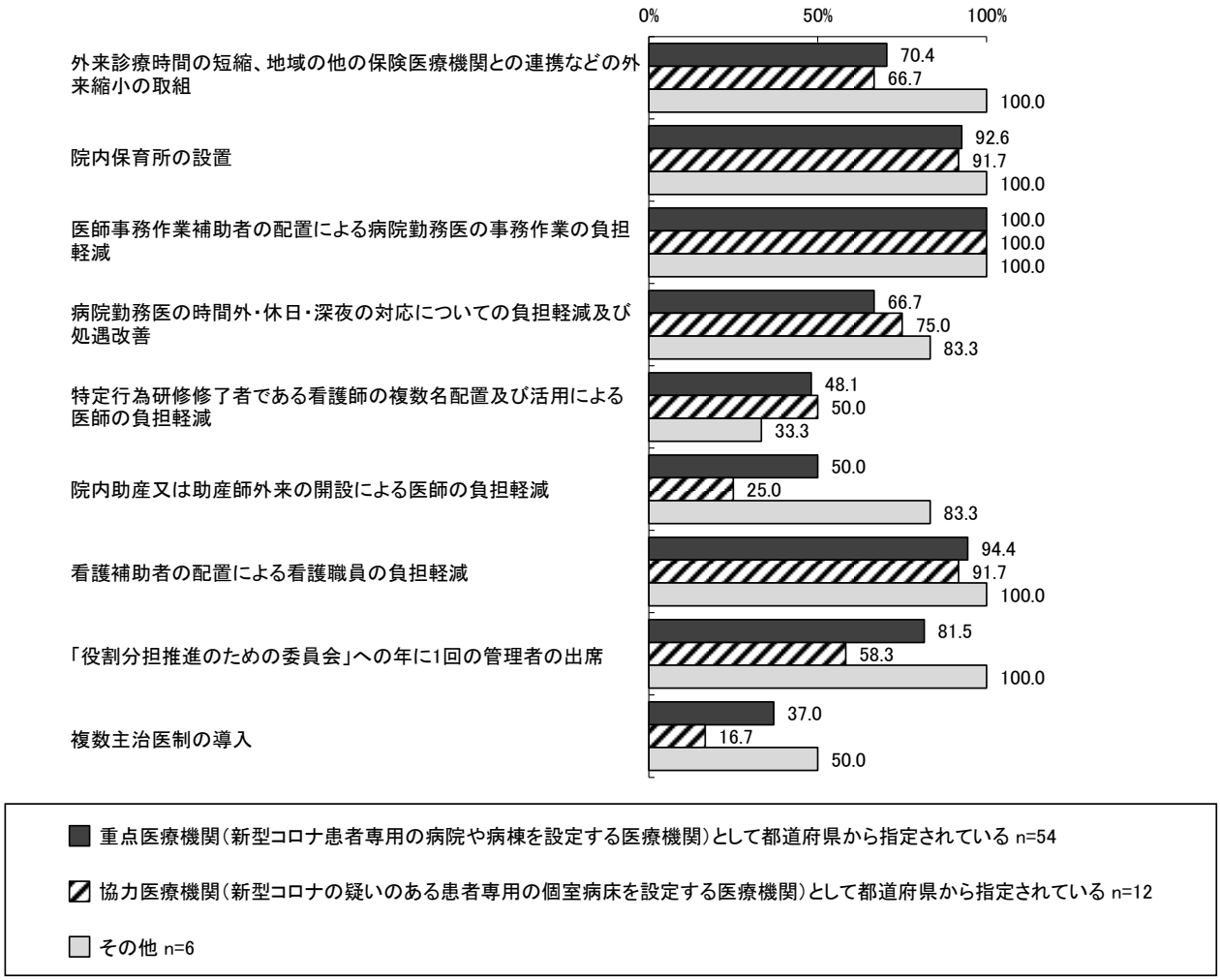
医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容で最も多かったものは「医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減」（100.0%）であった。

図表 2 - 185　医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容（複数回答）



新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別の医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容は、以下のとおりであった。

図表 2 - 186　医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



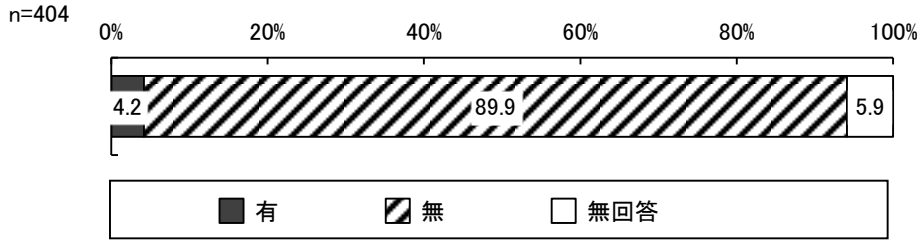
③ 非常勤職員の配置

【非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無】

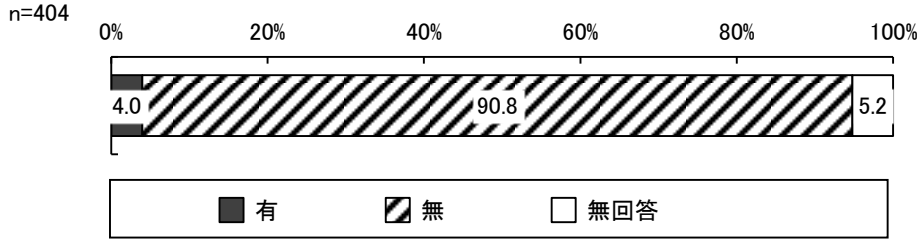
非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無について職種別にみると、以下のとおりであった。

具体的な診療報酬項目としては、「医師」においては「療養病棟療養環境加算」、「入院基本料療養環境加算」、「医師」「看護職員」「その他」職種において「医療療養病棟 1」、といった回答があった。

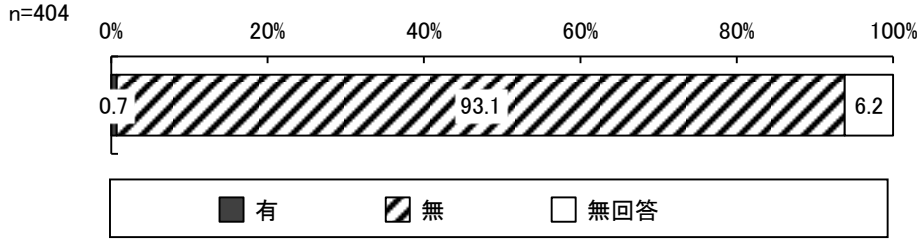
図表 2 - 187　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無（医師）



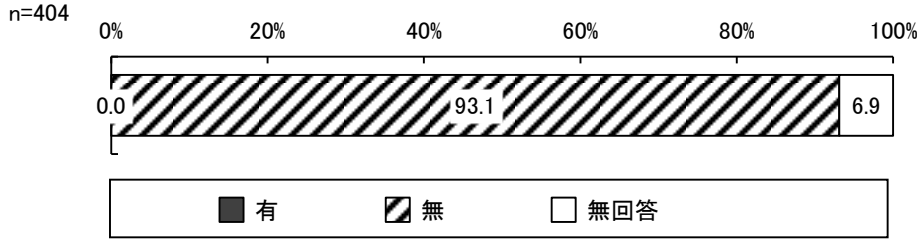
図表 2 - 188　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無（看護職員）



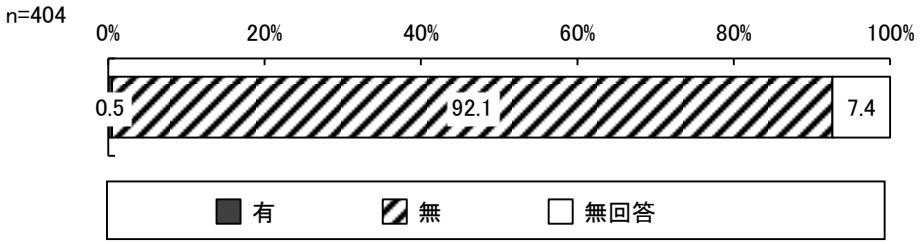
図表 2 - 189　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無（薬剤師）



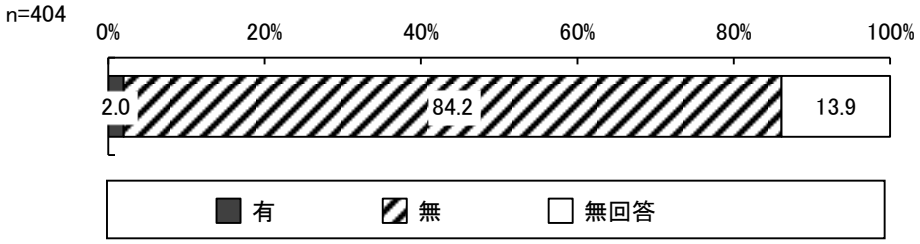
図表 2 - 190　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無（理学療法士）



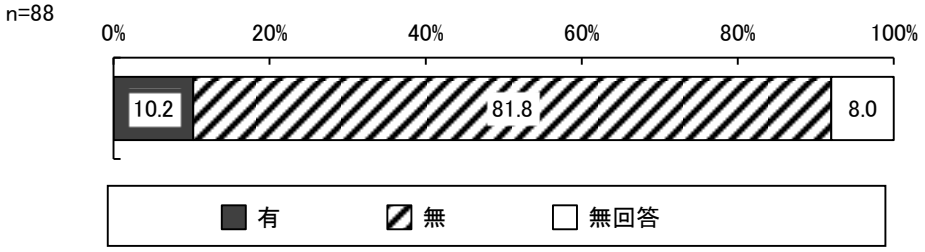
図表 2 - 191　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無（作業療法士）



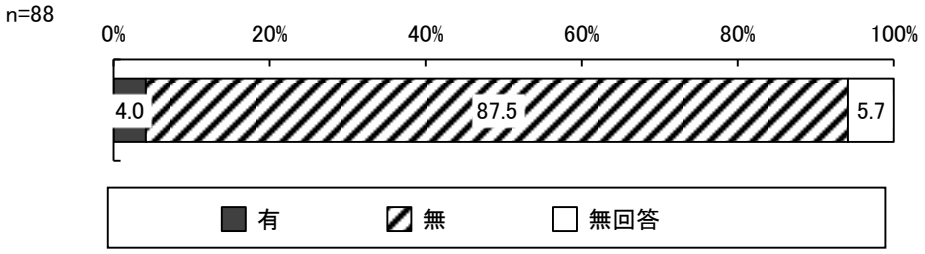
図表 2 - 192　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無（その他）



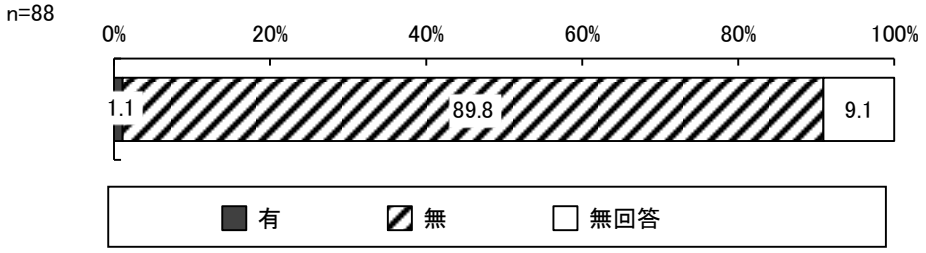
図表 2 - 193　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：医師）【99 床以下】



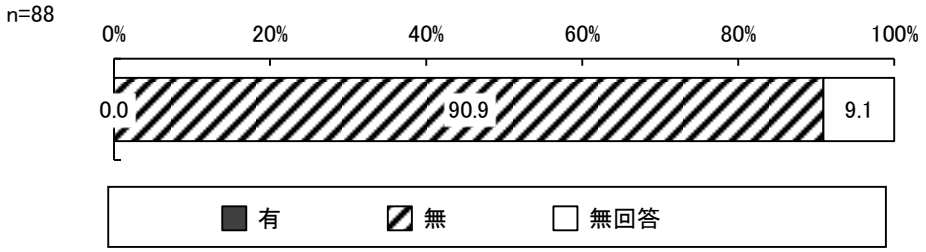
図表 2 - 194　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：看護師）【99 床以下】



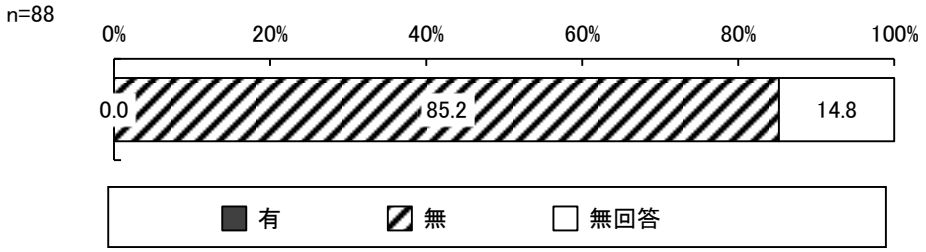
図表 2 - 195　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：薬剤師）【99 床以下】



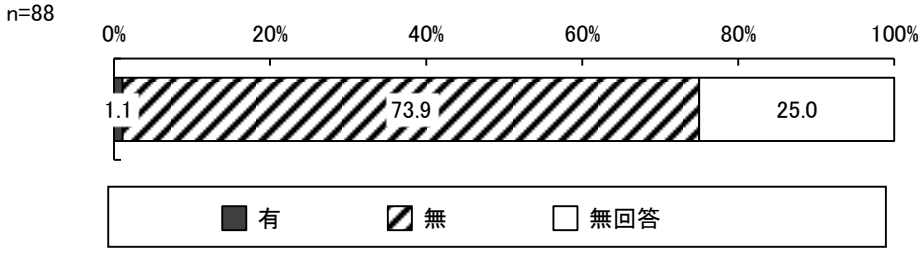
図表 2 - 196　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：理学療法士）【99 床以下】



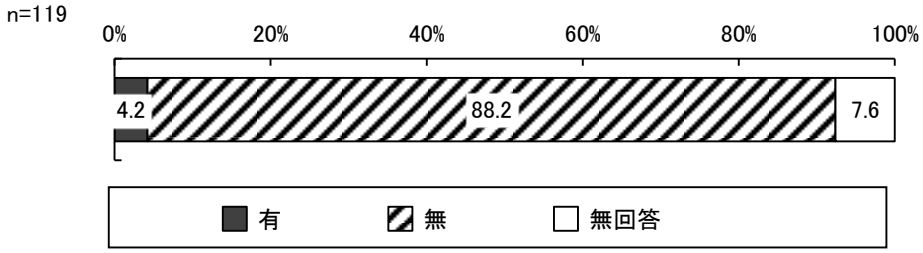
図表 2 - 197　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：作業療法士）【99 床以下】



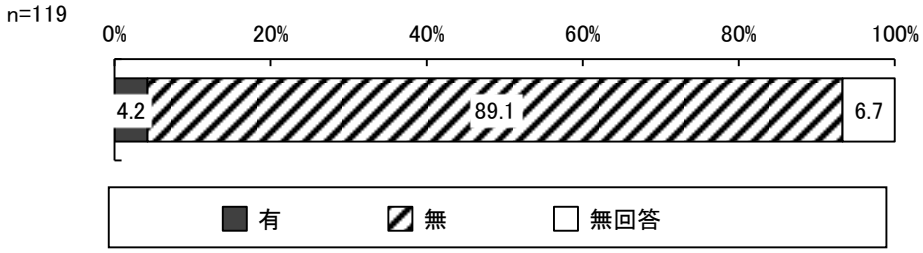
図表 2 - 198　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：その他）【99 床以下】



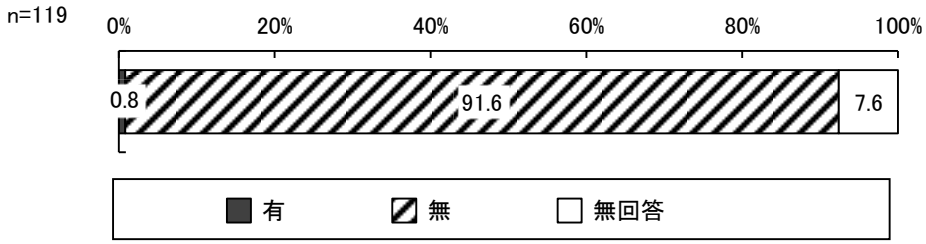
図表 2 - 199　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：医師）【100～199 床以下】



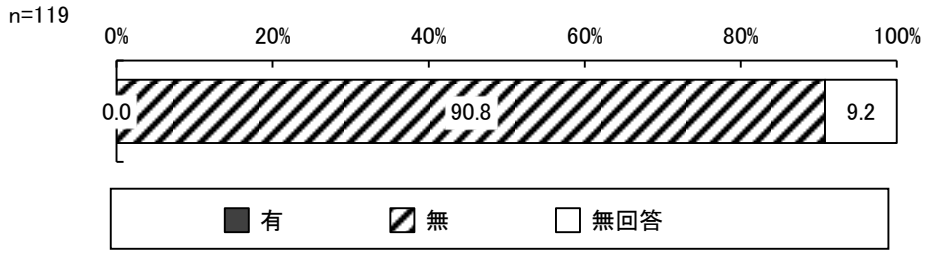
図表 2 - 200　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：看護師）【100～199 床以下】



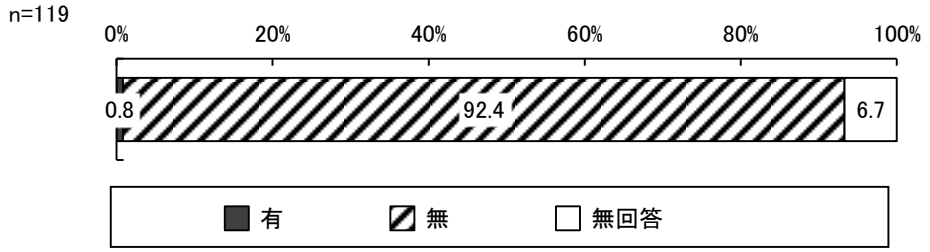
図表 2 - 201　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：薬剤師）【100～199 床以下】



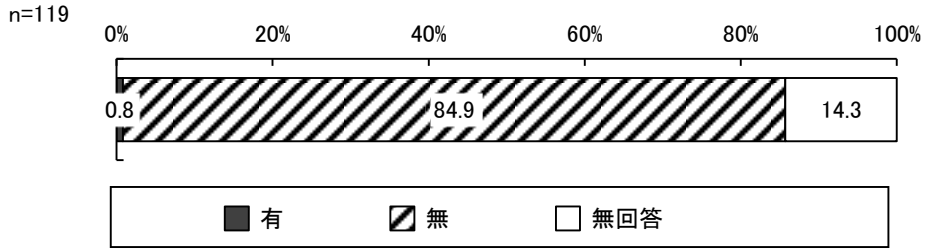
図表 2 - 202　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：理学療法士）【100～199 床以下】



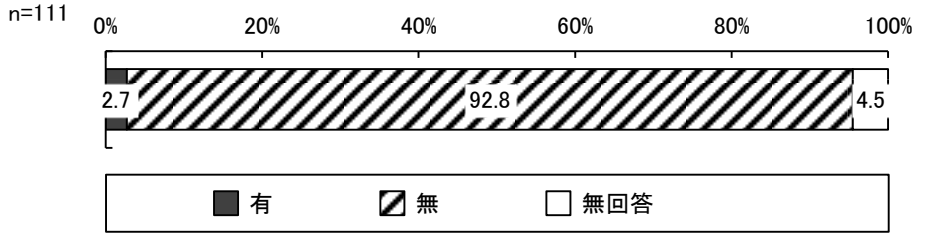
図表 2 - 203　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：作業療法士）【100～199 床以下】



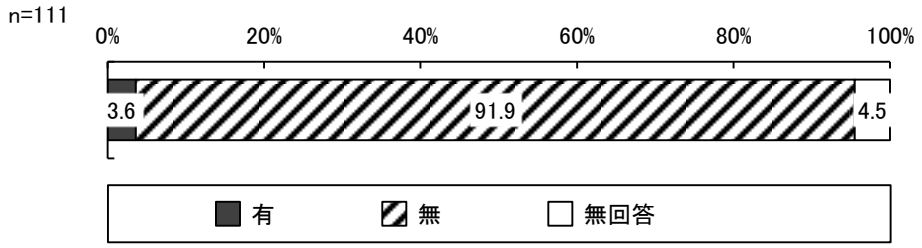
図表 2 - 204　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：その他）【100～199 床以下】



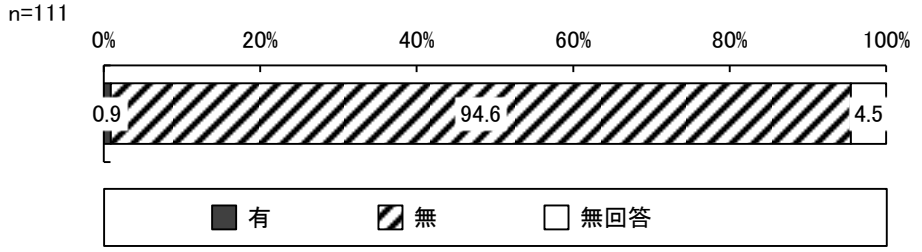
図表 2 - 205　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：医師）【200～399 床以下】



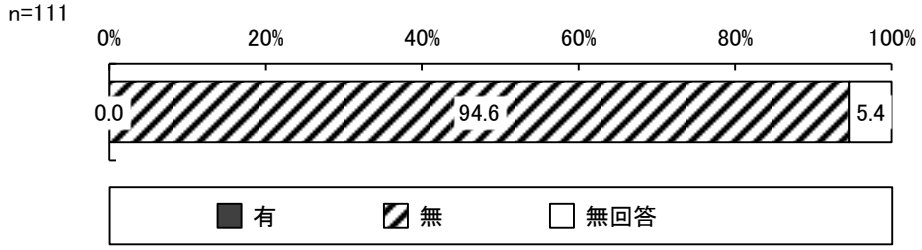
図表 2 - 206　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：看護師）【200～399 床以下】



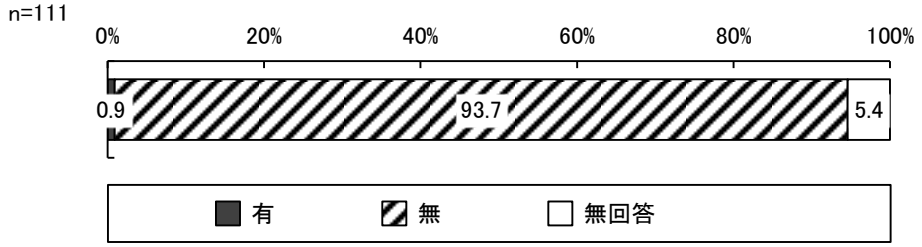
図表 2 - 207　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：薬剤師）【200～399 床以下】



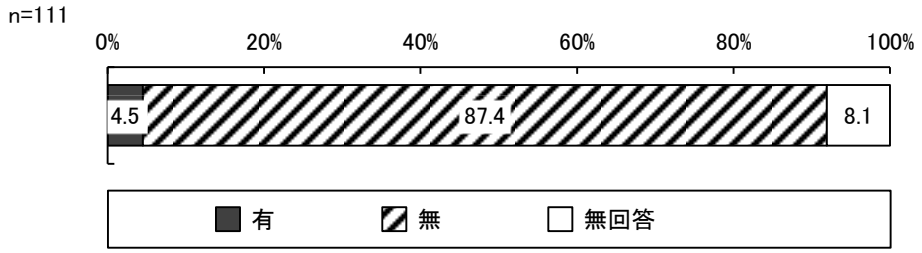
図表 2 - 208　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：理学療法士）【200～399 床以下】



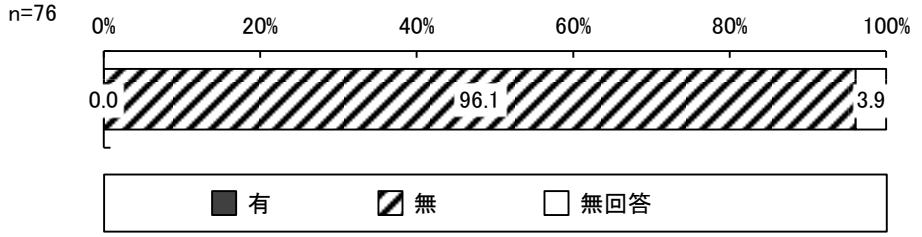
図表 2 - 209　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：作業療法士）【200～399 床以下】



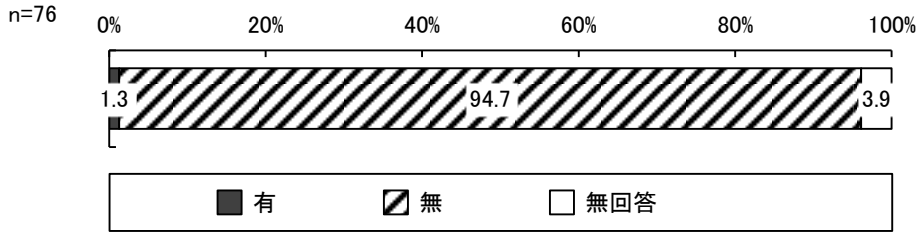
図表 2 - 210　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：その他）【200～399 床以下】



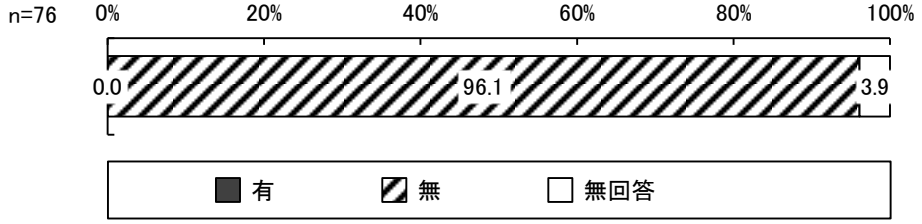
図表 2 - 211　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：医師）【400 床以上】



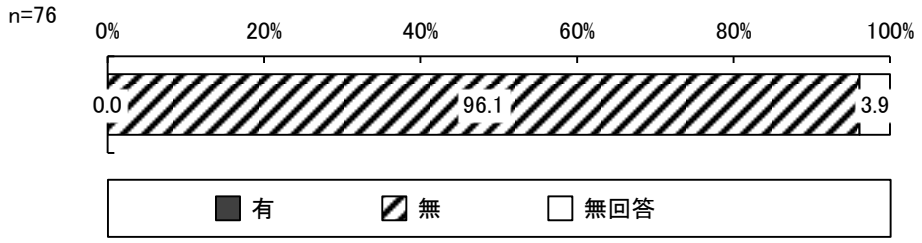
図表 2 - 212　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：看護師）【400 床以上】



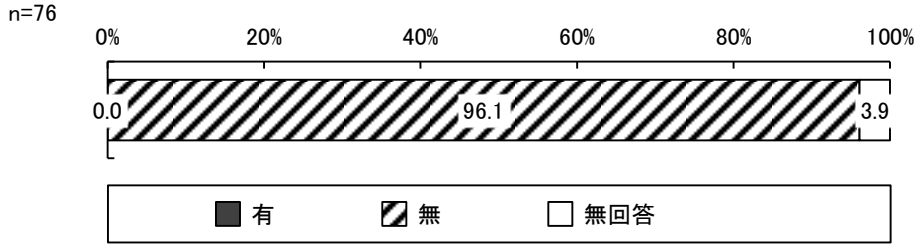
図表 2 - 213　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：薬剤師）【400 床以上】



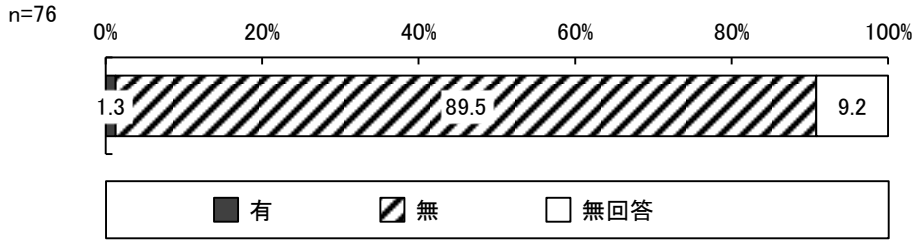
図表 2 - 214　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：理学療法士）【400 床以上】



図表 2 - 215　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：作業療法士）【400 床以上】



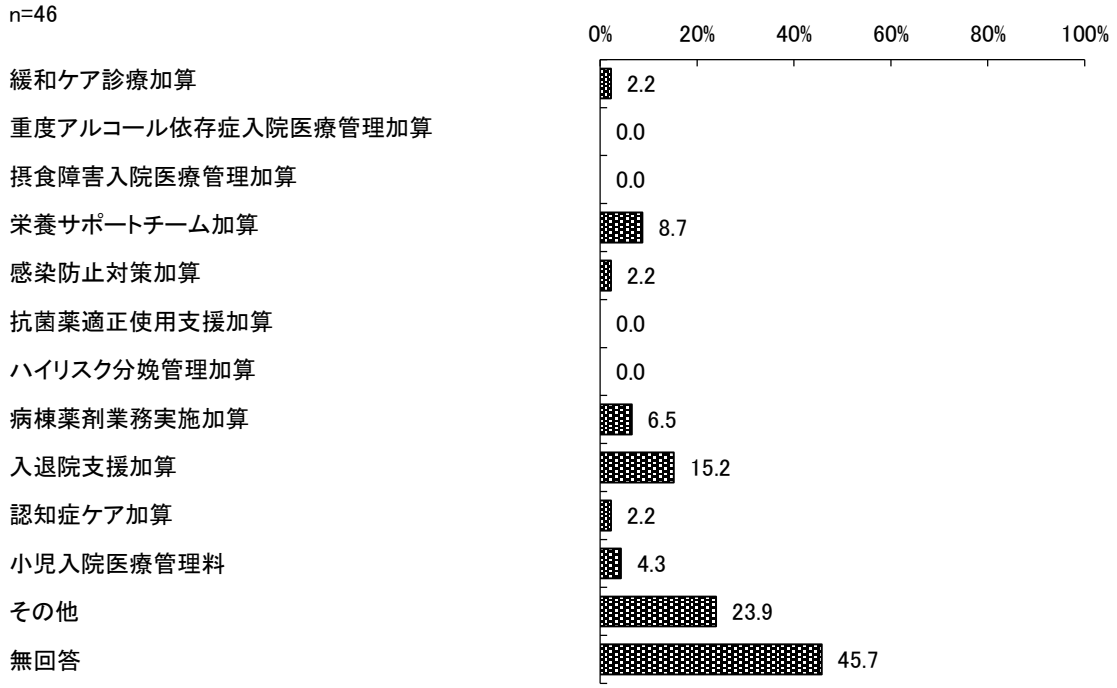
図表 2 - 216　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無
（病床規模別：その他）【400 床以上】



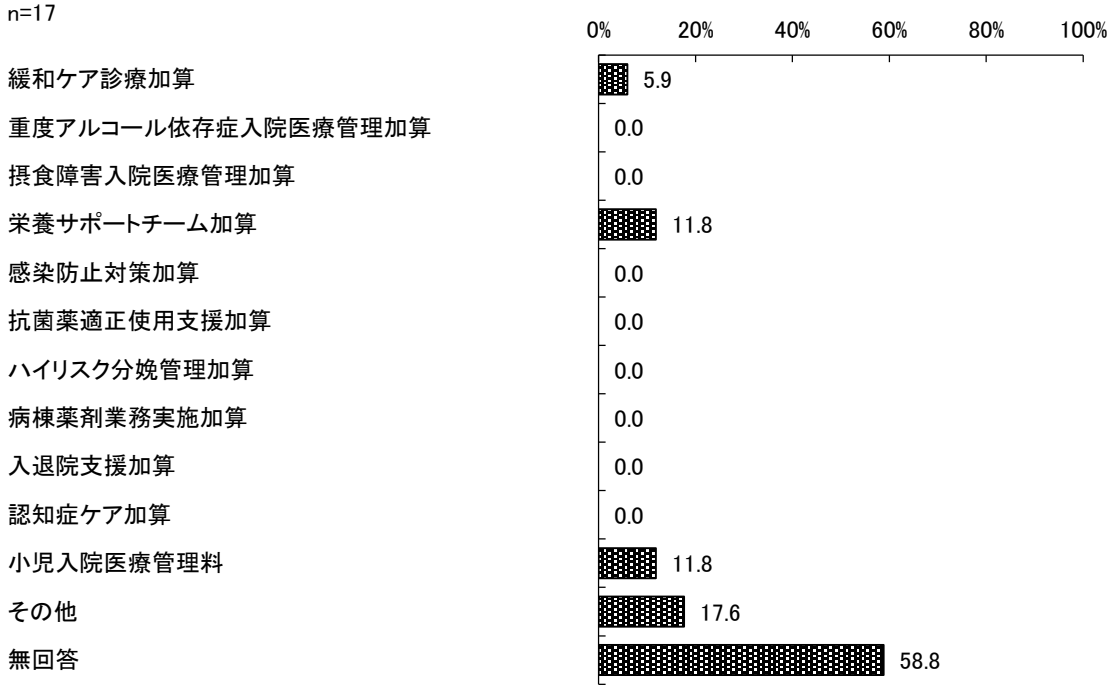
【非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目】

非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目で最も多かったものは「入退院支援加算」（15.2%）であった。

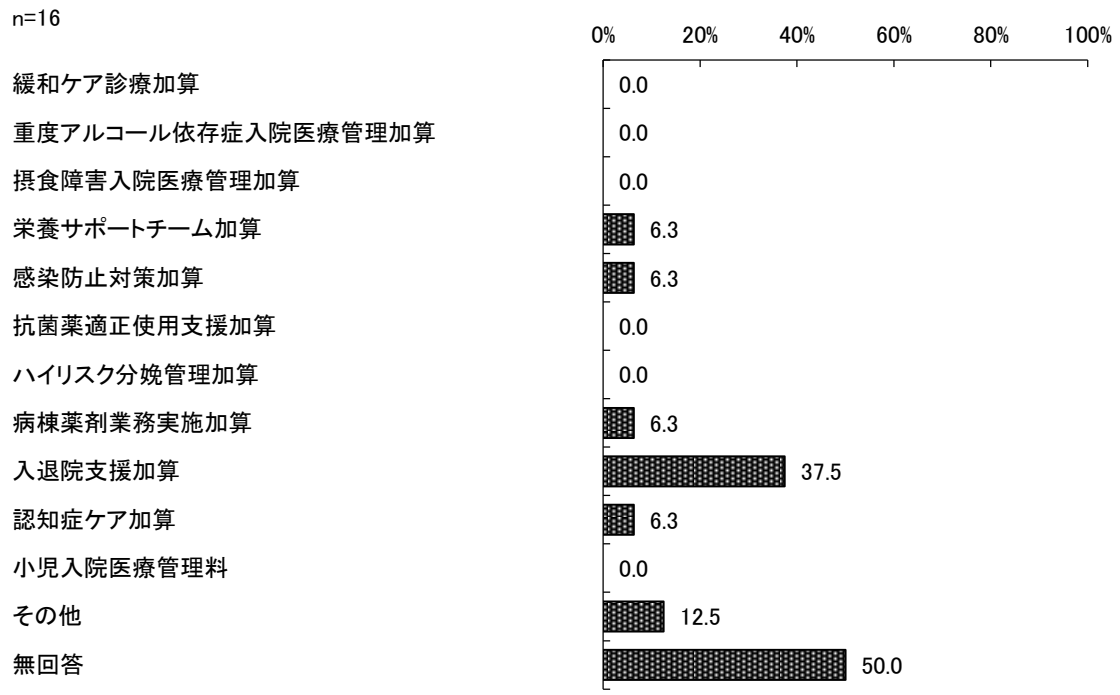
図表 2 - 217　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目（複数回答）



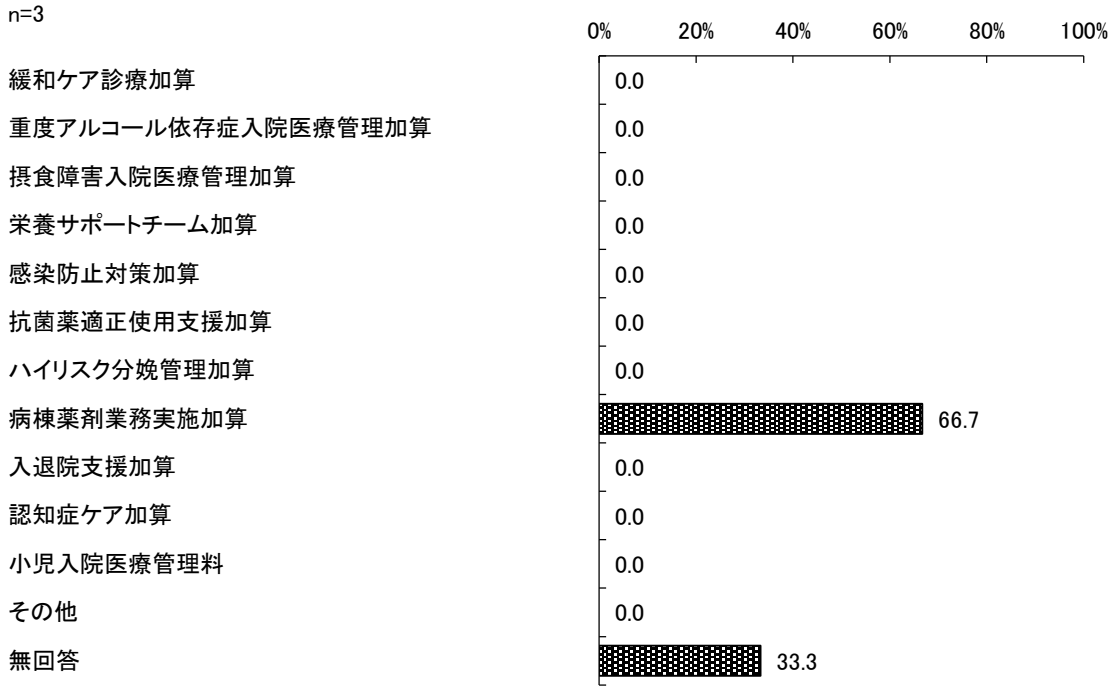
図表 2 - 218　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目（医師・複数回答）



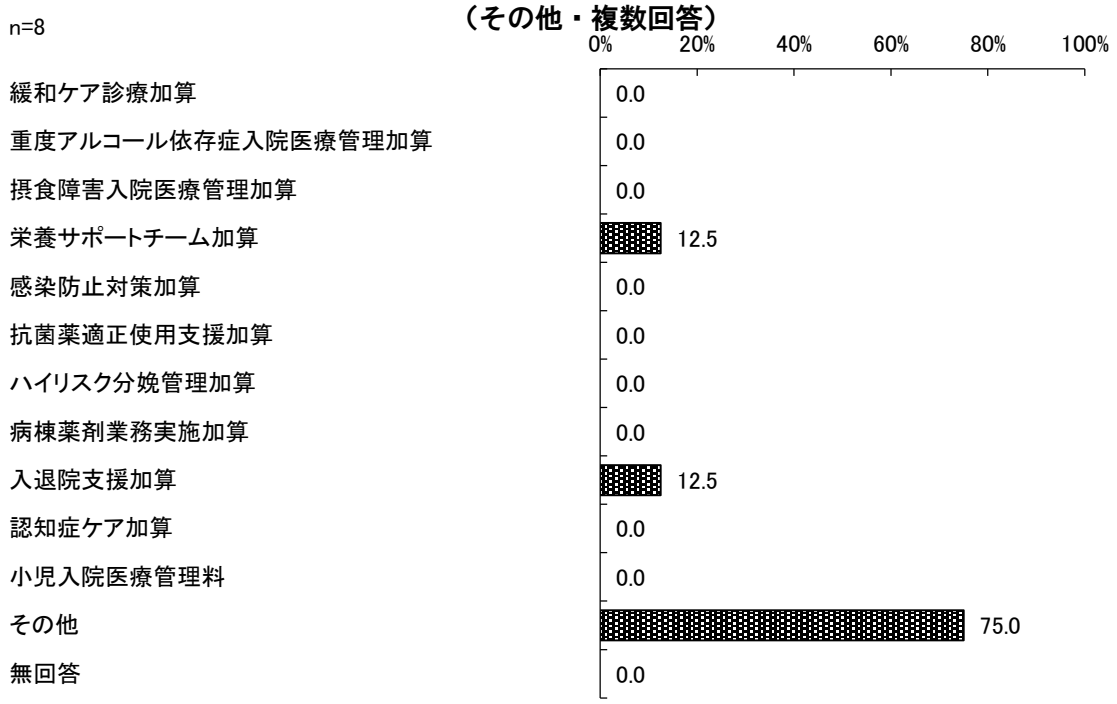
図表 2 - 219　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目（看護職員・複数回答）



図表 2 - 220　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目（薬剤師・複数回答）



図表 2 - 221　非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目（その他・複数回答）

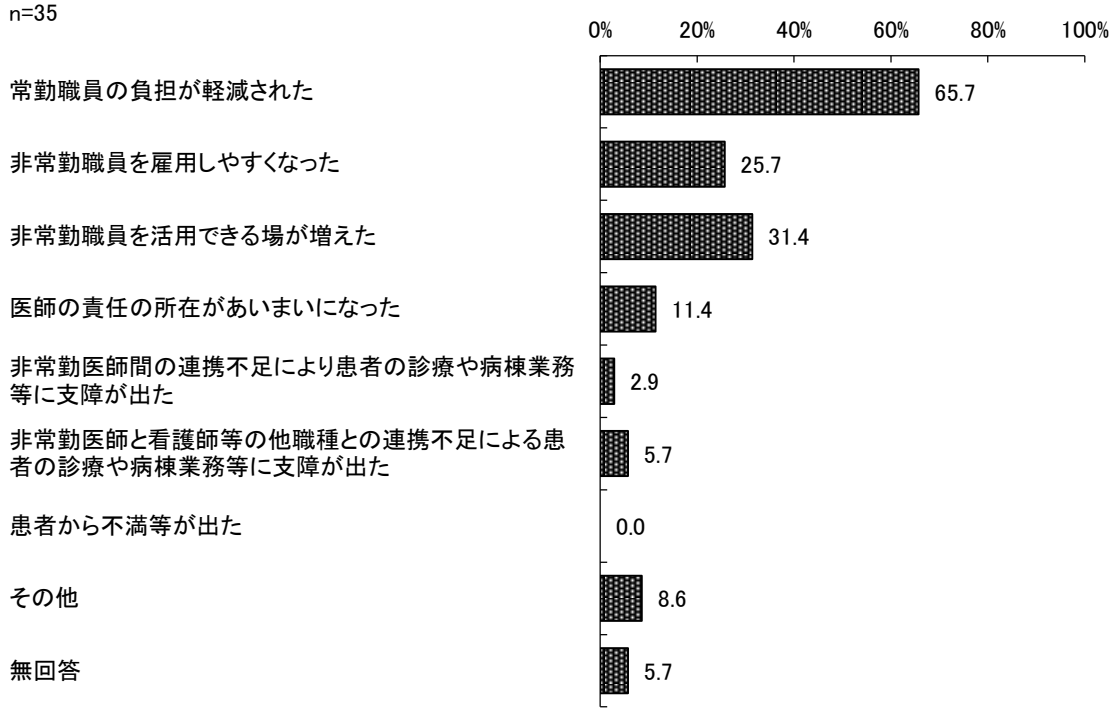


③-1 非常勤職員の配置を行ったことによる影響

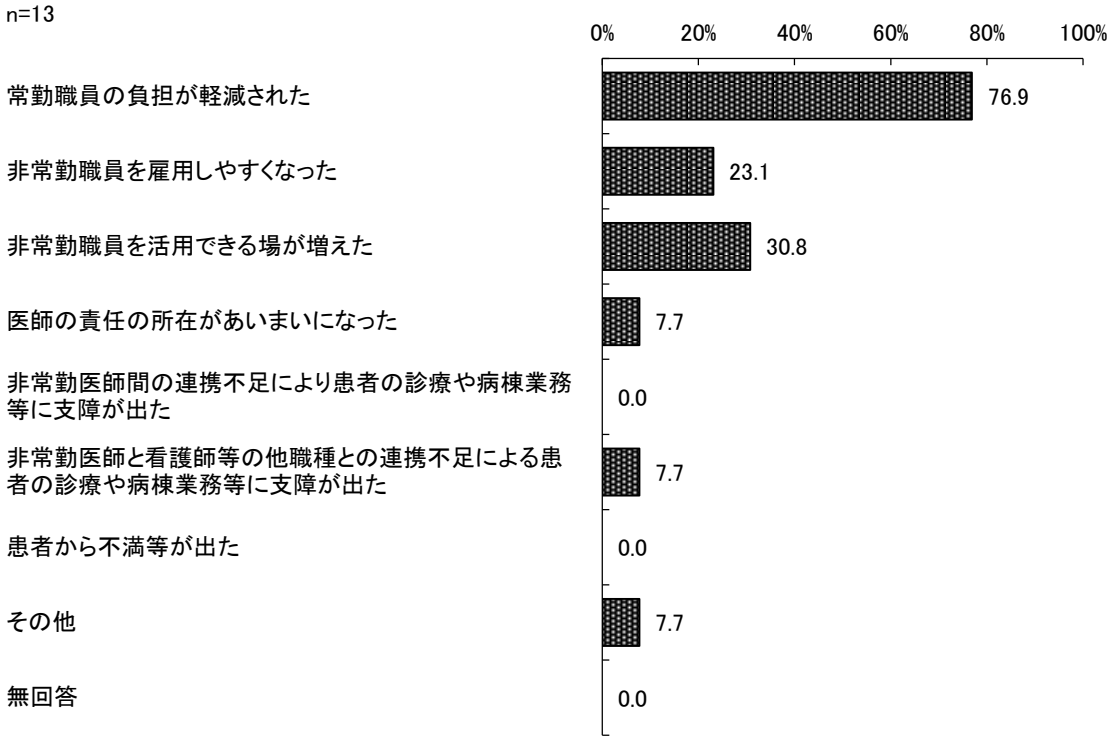
非常勤職員の配置を行ったことによる影響で最も多かったものは「常勤職員の負担が軽減された」（65.7%）であった。

病床規模別にみると、「99 床以下」「100～199 床以下」「200～399 床以下」では「常勤職員の負担が軽減された」（76.9%、70.0%、50.0%）が最も多かった。また、「400 床以上」では「非常勤職員を雇用しやすくなった」（100.0%）が最も多かった。

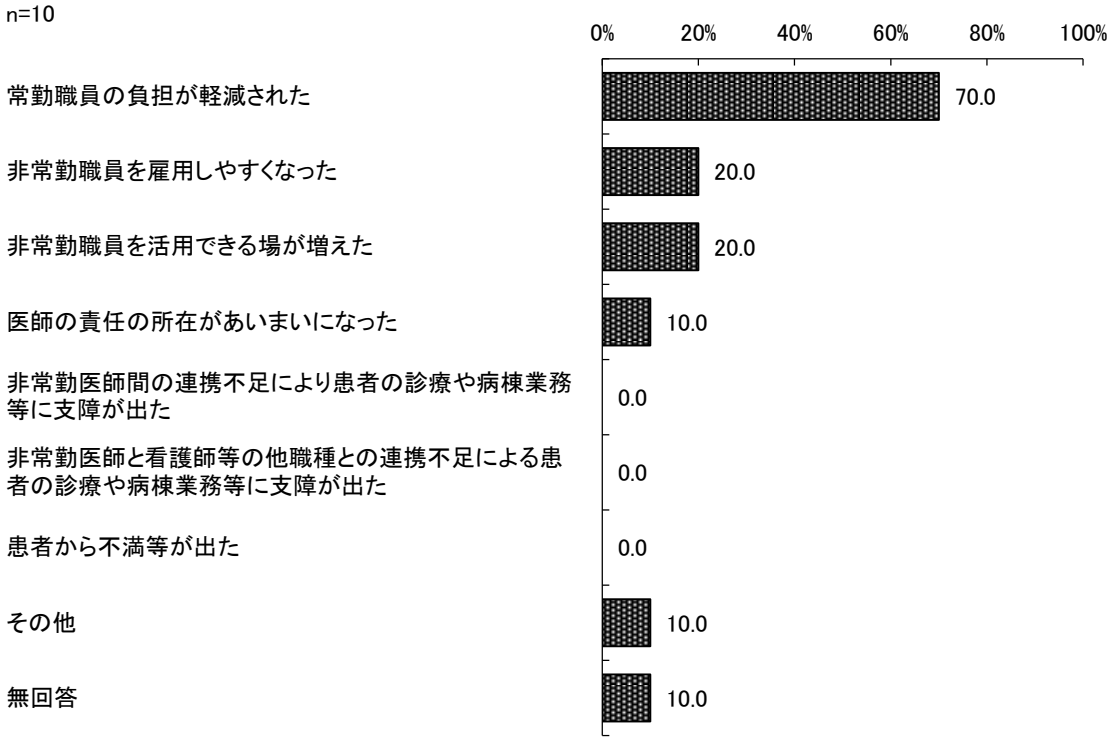
図表 2 - 222　非常勤職員の配置を行ったことによる影響（複数回答）



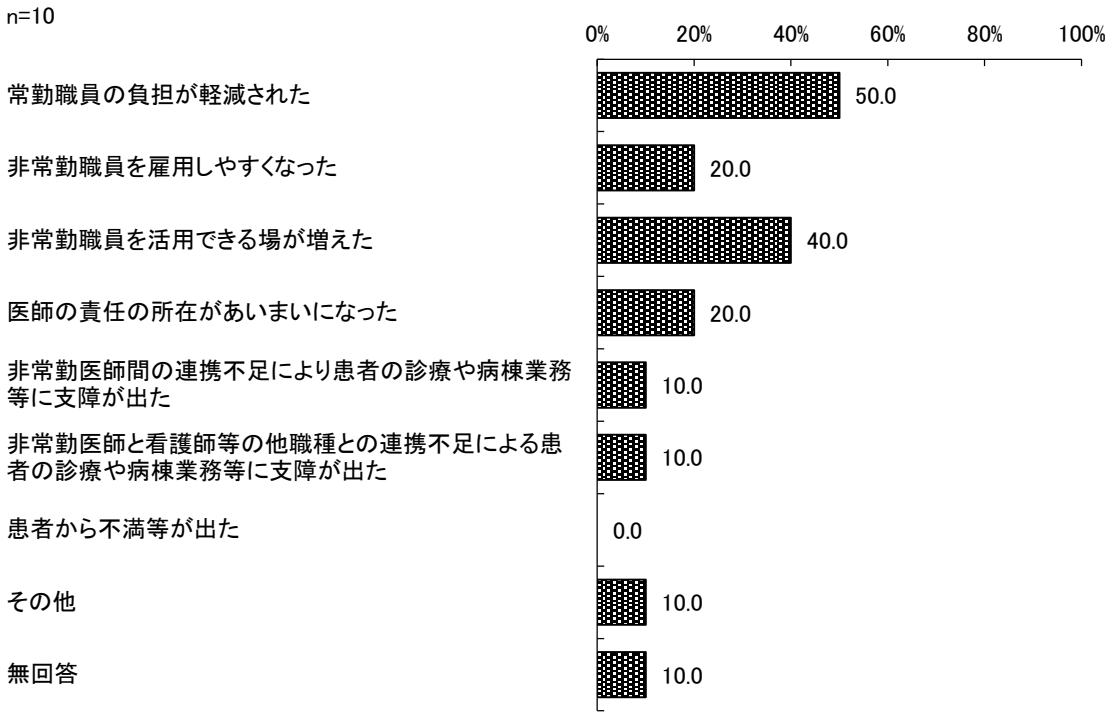
図表 2 - 223　非常勤職員の配置を行ったことによる影響（病床規模別）【99 床以下】



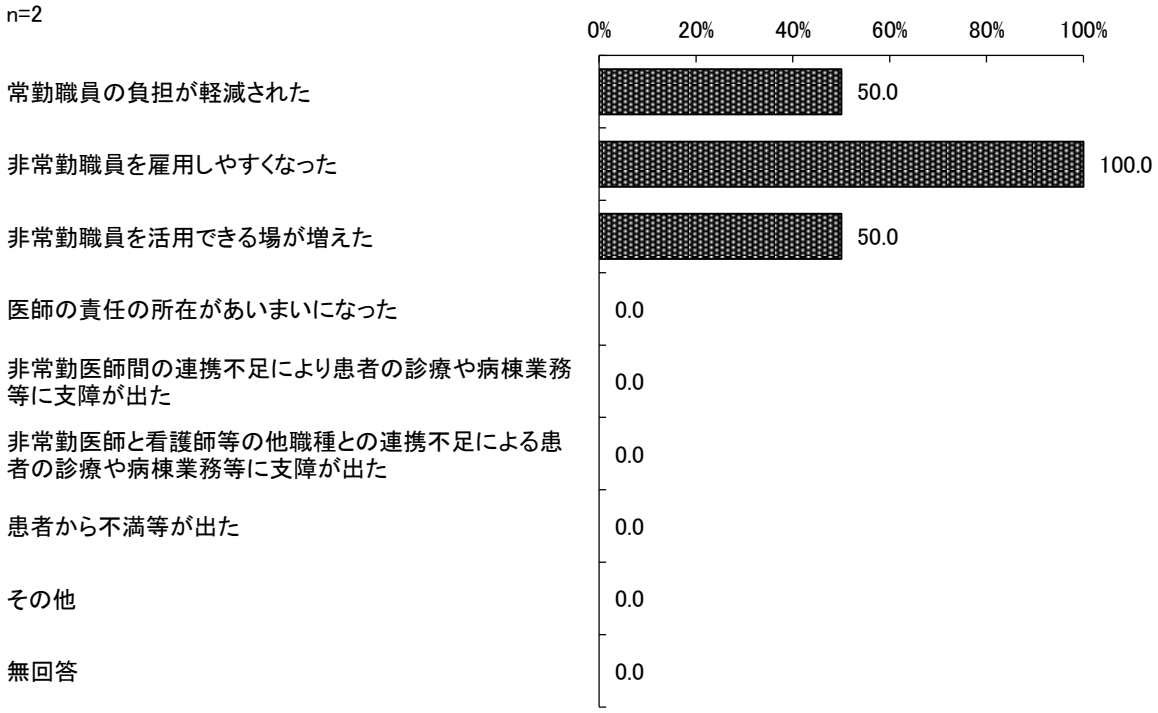
図表 2 - 224　非常勤職員の配置を行ったことによる影響（病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 225　非常勤職員の配置を行ったことによる影響（病床規模別）【200～399 床以下】



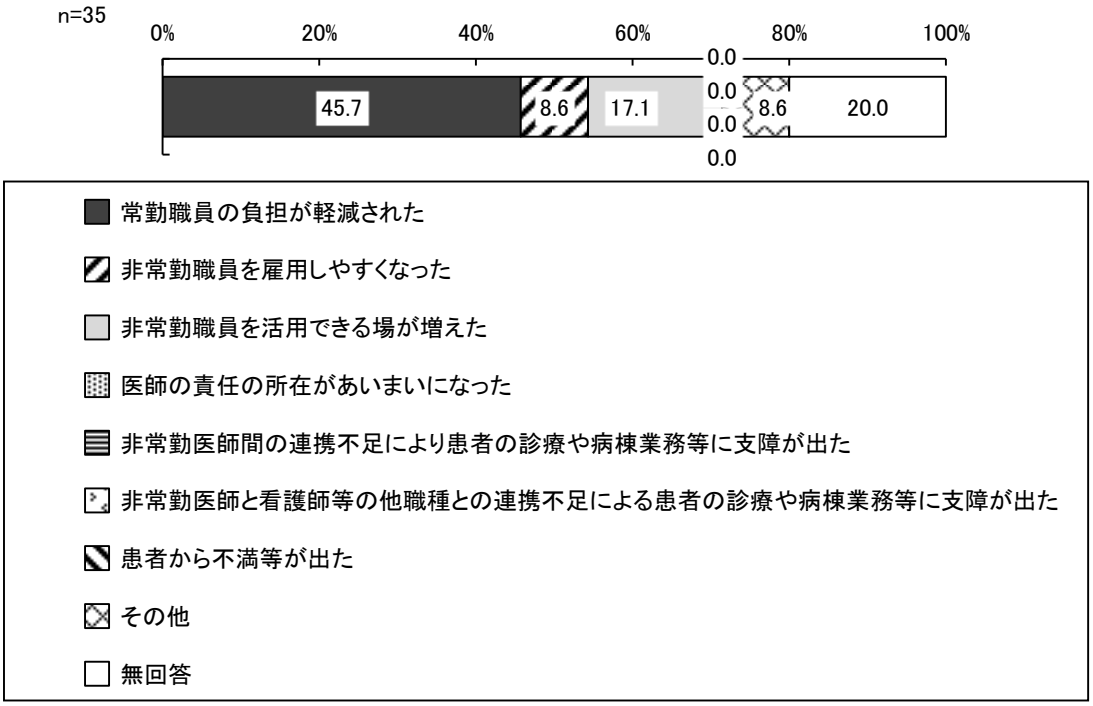
図表 2 - 226　非常勤職員の配置を行ったことによる影響（病床規模別）【400 床以上】



【非常勤職員の配置を行ったことによる影響（最もあてはまるもの）】

非常勤職員の配置を行ったことによる影響（最もあてはまるもの）で最も多かったものは「常勤職員の負担が軽減された」（45.7%）であった。

図表 2 - 227　非常勤職員の配置を行ったことによる影響（最もあてはまるもの）



④ 要件の緩和を希望する診療報酬項目

1）常勤配置

「常勤配置」においては、認知症ケア加算、画像診断管理加算２、診療録管理体制加算1などは複数から回答があった。

・感染防止対策加算
・画像診断管理加算 2
・ハイケアユニット入院医療管理料
・検体検査管理加算 4
・回復期リハビリテーション入院料（体制強化加算）
・精神療養病棟入院料
・認知症ケア加算
・排尿自立支援加算
・回復期リハビリテーション病棟入院料 1
・診療録管理体制加算 1
・病棟薬剤業務実施加算
・医師事務作業補助体制加算
・麻酔管理料（1）
・薬剤管理指導料
・急性期看護補助体制加算における主として事務的業務を行う看護補助者の 200 対 1 配置要件
・緩和ケア診療加算
・外来緩和ケア管理料
・ハイケアユニット入院医療管理料１
・栄養サポートチーム加算
・入退院支援加算
・がん患者リハビリテーション料
・特定集中治療室管理料 3
・せん妄ハイリスク患者ケア加算

2）専従配置

「専従配置」においては、入退院支援加算、体制強化加算、医師事務補助体制加算、褥瘡ハイリスク患者ケア加算等に複数回答が見られた。

・認知症ケア加算
・医療安全対策加算 1
・診療録管理体制加算 1
・地域包括ケア入院医療管理料
・入退院支援加算
・医師事務補助体制加算
・外来放射線照射診療科
・地域移行機能強化病棟入院料、精神保健福祉士配置の緩和
・医師事務作業補助体制加算
・入退院支援加算 1-3 及び入院時支援加算
・回復期リハビリテーション病棟入院料１の体制強化加算
・栄養サポートチーム加算
・画像診断管理加算（1, 2, 3）
・感染対策加算
・医療安全対策加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算

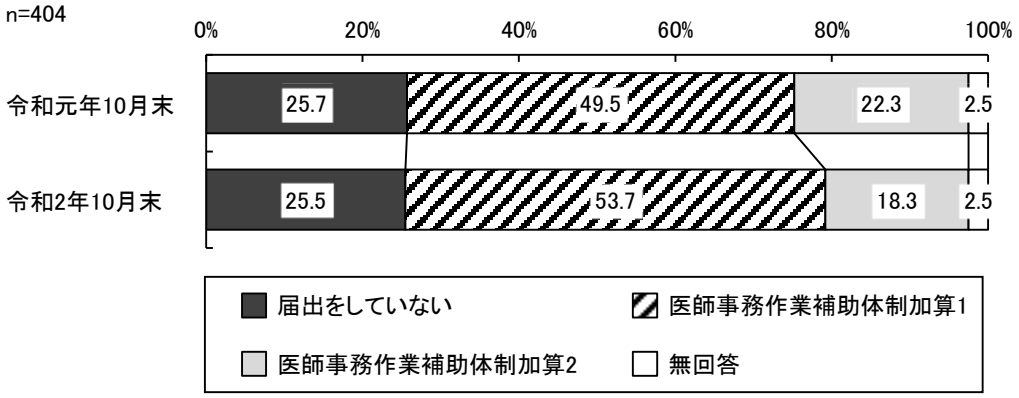
⑤ 医師事務作業補助体制加算の届出状況

5） 医師事務作業補助体制加算の届出状況

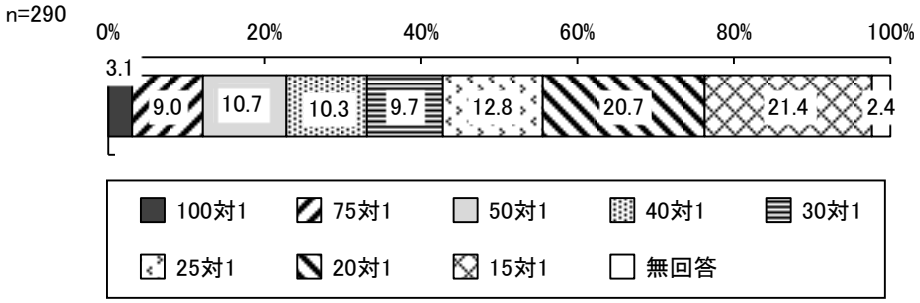
医師事務作業補助体制加算の届出状況をみると、令和２年10月では、「医師事務作業補助体制加算１」53.7%、「医師事務作業補助体制加算２」18.3%、および「届出をしていない」が25.5%であった。

病床規模別にみると、「99床以下」では「届出をしていない」（55.7%）、「100～199床以下」「200床～399床以下」「400床以上」では「医師事務作業補助体制加算１」（47.1%、64.0%、73.7%）が最も多かった。

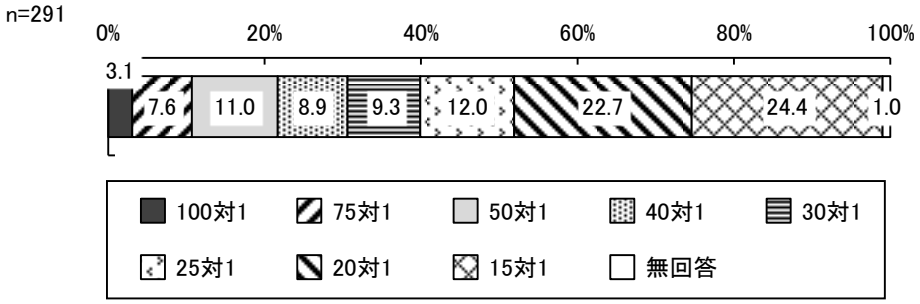
図表２－228　医師事務作業補助体制加算の届出状況



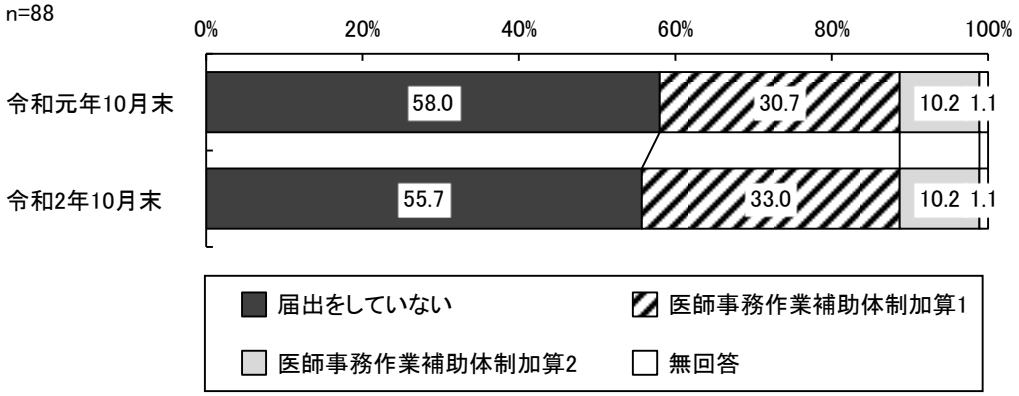
図表２－229　医師事務作業補助体制加算の届出状況（令和元年10月末）届出をしている場合の内訳



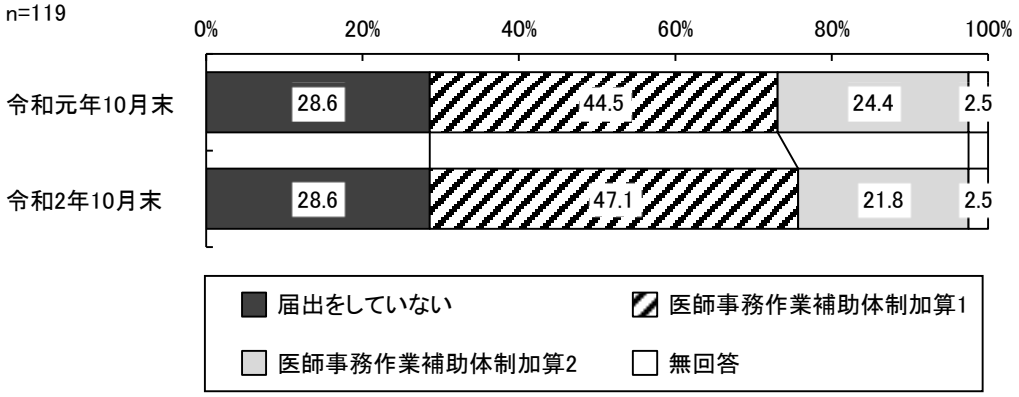
図表２－230　医師事務作業補助体制加算の届出状況（令和２年10月末）届出をしている場合の内訳



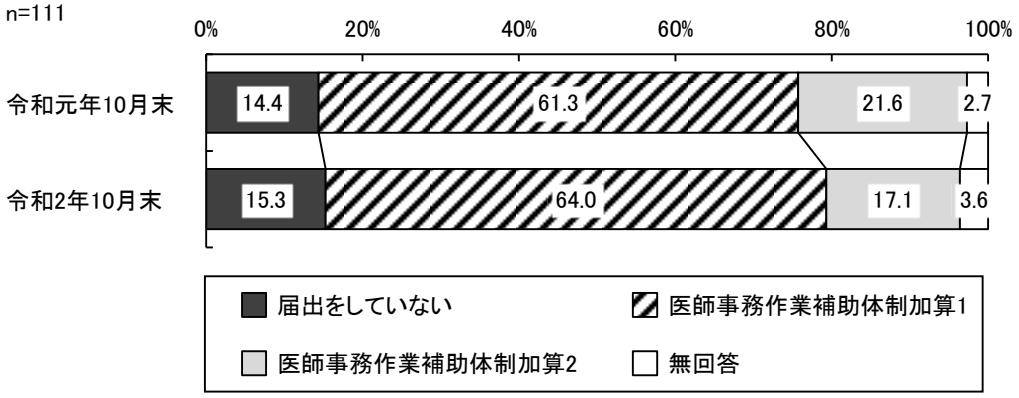
図表 2 - 231　医師事務作業補助体制加算の届出状況
（病床規模別）【99 床】



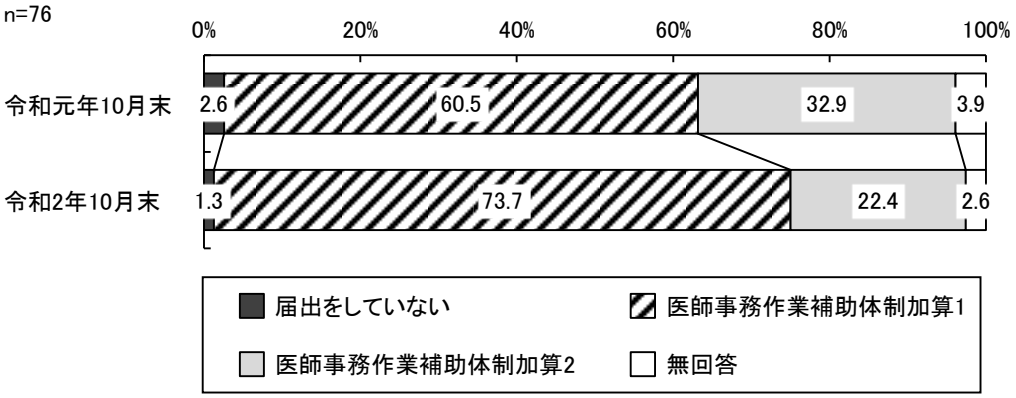
図表 2 - 232　医師事務作業補助体制加算の届出状況
（病床規模別）【100～199 床以下】



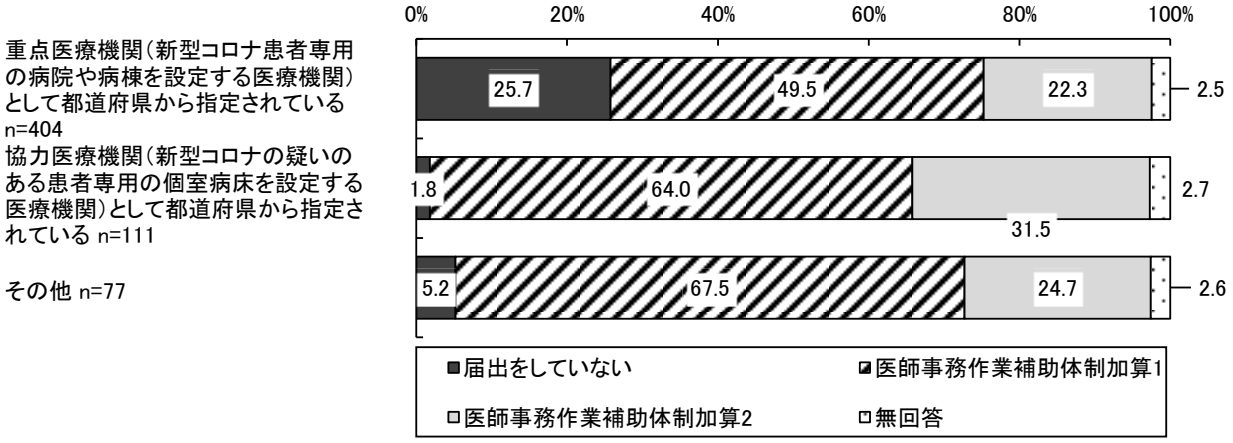
図表 2 - 233　医師事務作業補助体制加算の届出状況
（病床規模別）【200～399 床以下】



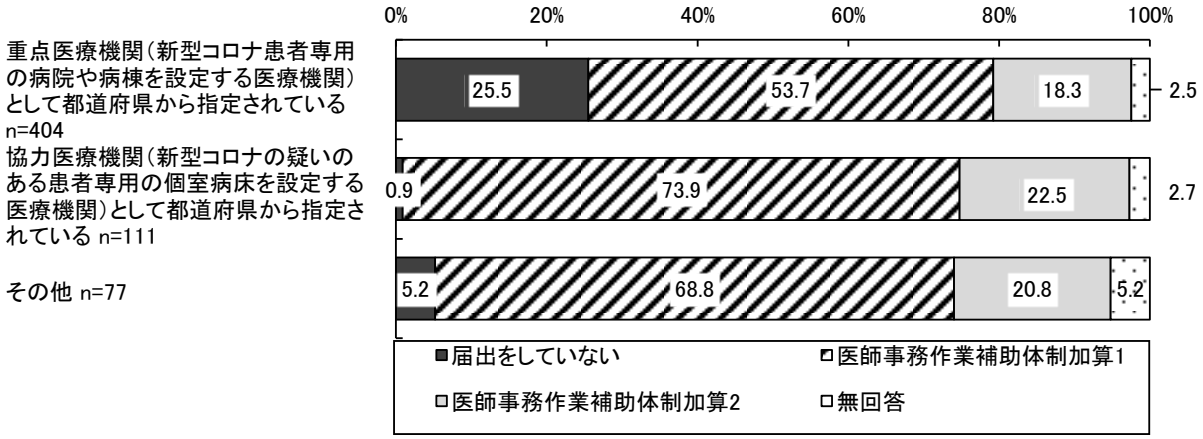
図表 2 - 234　医師事務作業補助体制加算の届出状況
（病床規模別）【400 床以上】



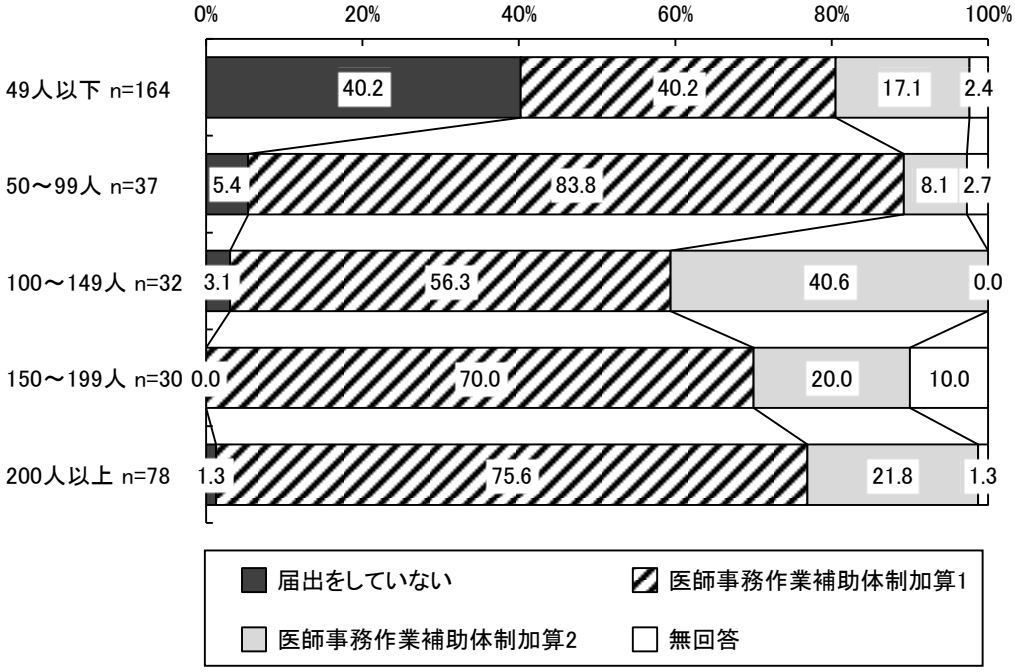
図表 2 - 235　医師事務作業補助体制加算の届出状況（令和元年 10 月末）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



図表 2 - 236　医師事務作業補助体制加算の届出状況（令和 2 年 10 月末）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）



図表 2 - 237　医師事務作業補助体制加算の届出状況（令和 2 年 10 月末）
（1 か月間の緊急自動車等により搬送された延べ患者数（令和 2 年 10 月）別）



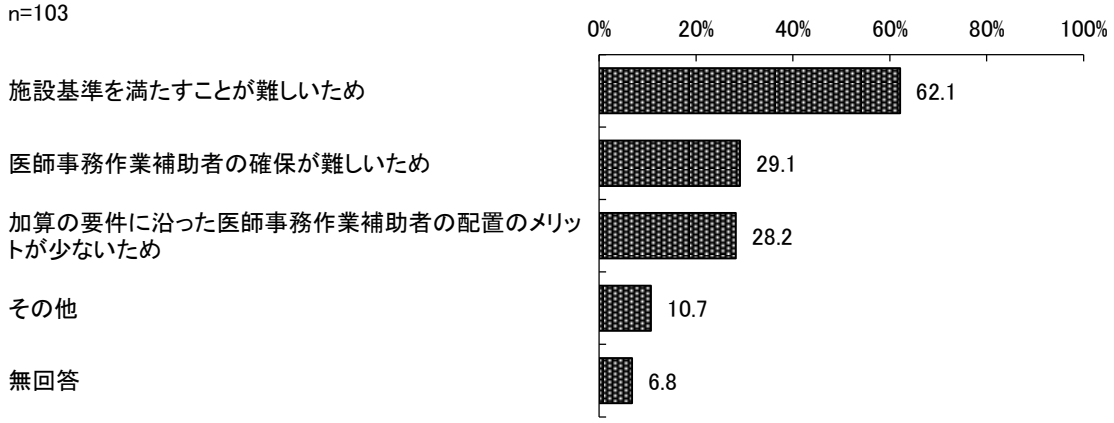
⑤-1 医師事務作業補助体制加算を届出していない理由
【令和 2 年 10 月末時点において届出をしていないと回答した場合】

医師事務作業補助体制加算を届出していない理由で最も多かったものは「施設基準を満たすことが難しいため」（62.1%）であった。

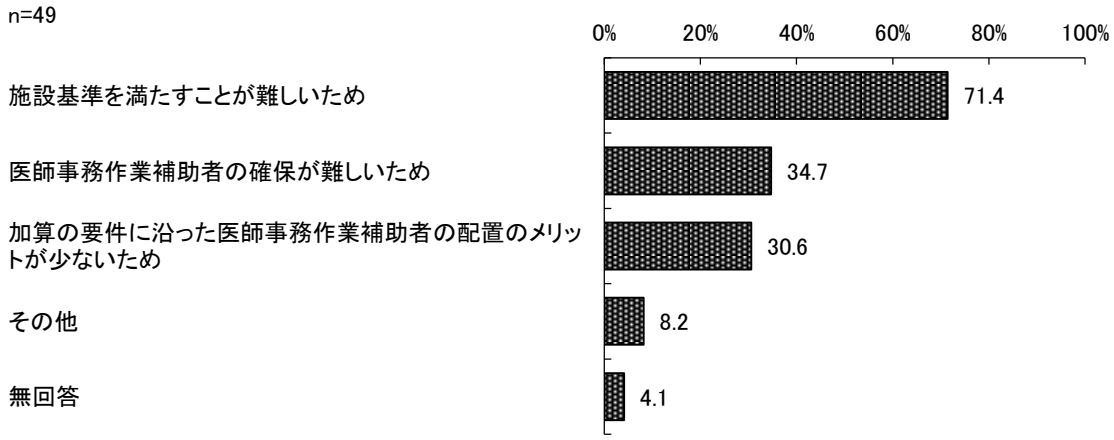
病床規模別にみると、「99 床以下」「100～199 床以下」「200～399 床以下」「400 床以上」では「施設基準を満たすことが難しいため」（71.4%、58.8%、47.1%、100%）が最も多かった。

なお、「その他」の回答には、「医師以外のスタッフで医師の補助業務を行っており専任の医師事務作業補助者を雇用するニーズが少ない」、「十分まかなえている」、「体制の不備」といった回答があった。

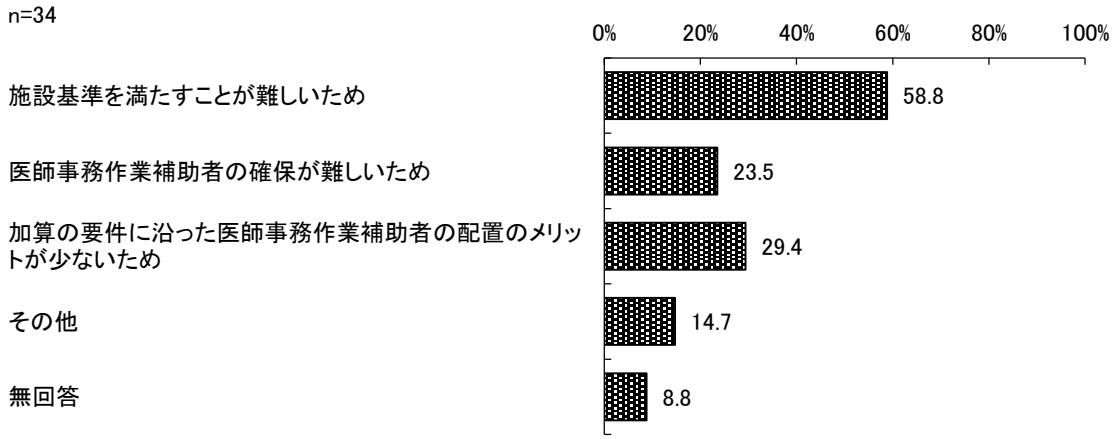
図表 2 - 238　医師事務作業補助体制加算を届出していない理由（複数回答）



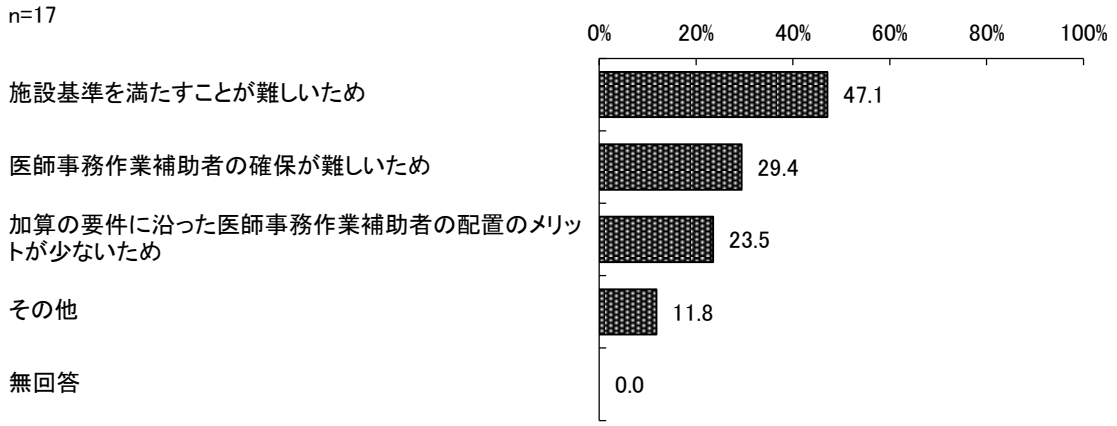
図表 2 - 239　医師事務作業補助体制加算を届出していない理由（病床規模別）【99 床以下】



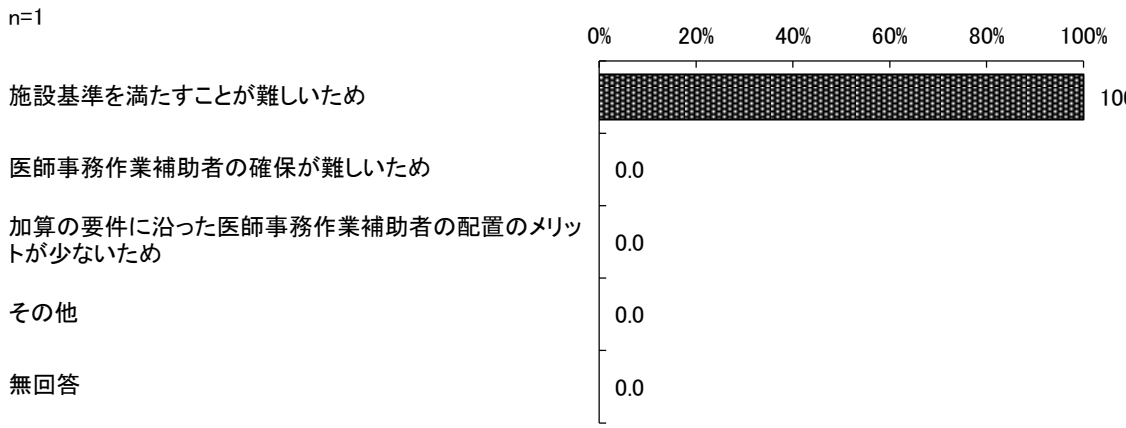
図表 2 - 240　医師事務作業補助体制加算を届出していない理由（病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 241　医師事務作業補助体制加算を届出していない理由（病床規模別）【200～399 床以下】



図表 2 - 242　医師事務作業補助体制加算を届出していない理由（病床規模別）【400 床以上】

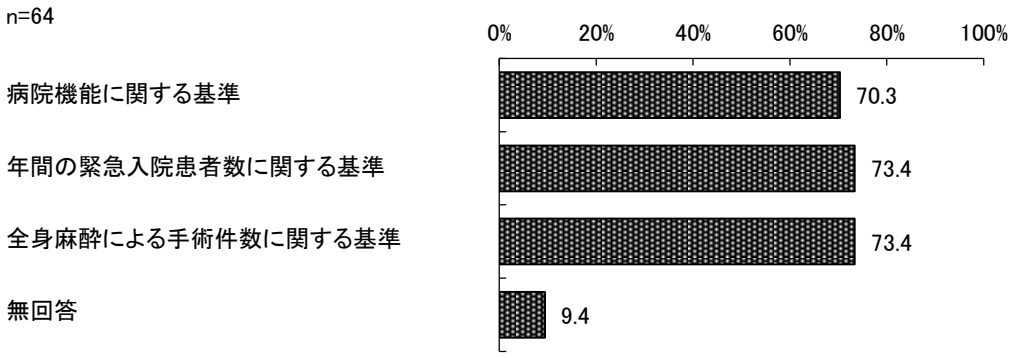


【⑤-1 で「施設基準を満たすことが難しいため」を選んだ場合：満たすことが難しい基準の内訳】

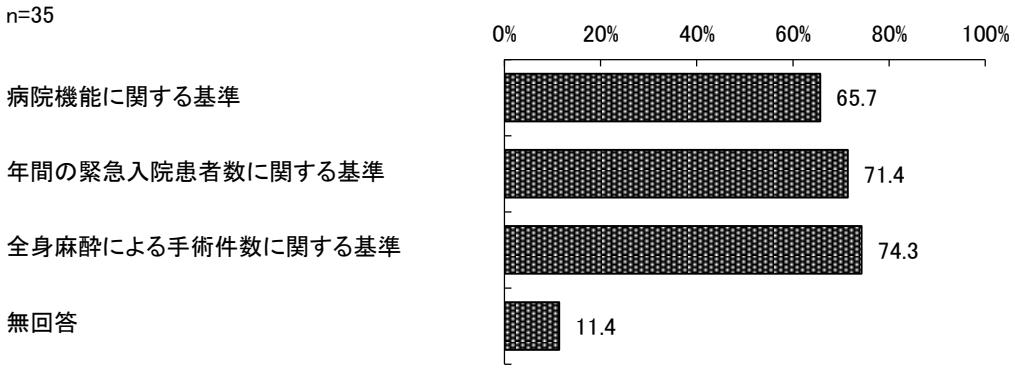
満たすことが難しい施設基準の内訳で最も多かったものは「年間の緊急入院患者に関する基準」「全身麻酔による手術件数に関する基準」（いずれも 73.4%）であった。

病床規模別にみると、「99 床以下」では「全身麻酔による手術件数に関する基準」（74.3%）、「100～199 床以下」では「病院機能に関する基準」「年間の緊急入院患者に関する基準」（いずれも 80.0%）、「200～399 床以下」では「全身麻酔による手術件数に関する基準」（75.0%）が最も多かった。

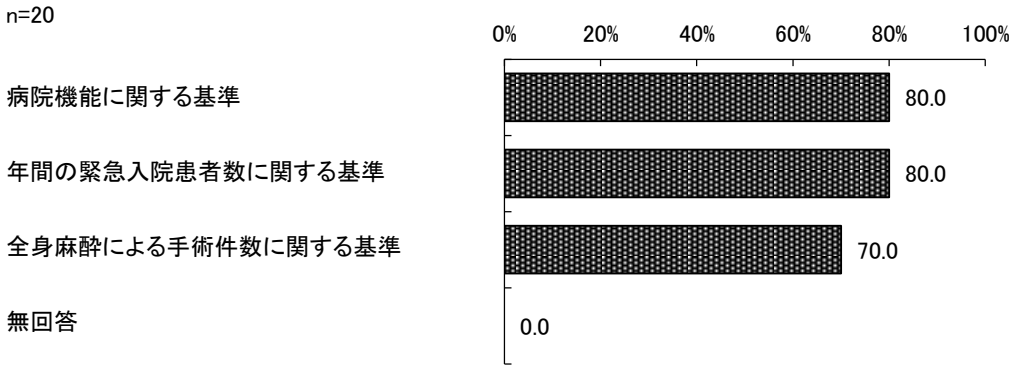
図表 2 - 243　満たすことが難しい施設基準の内訳（複数回答）



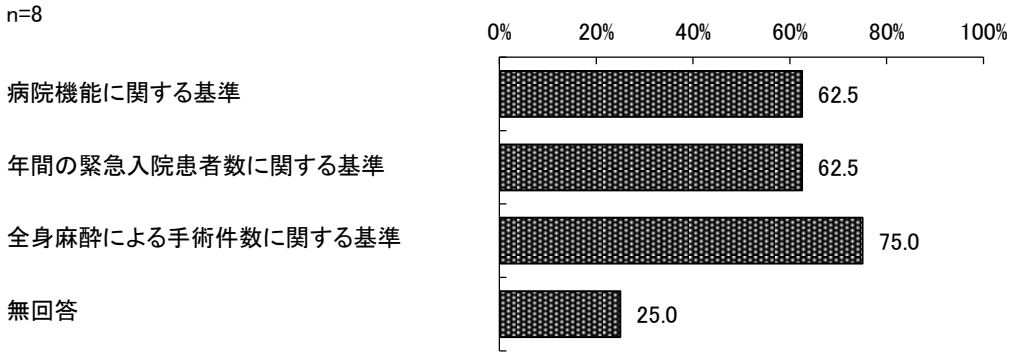
図表 2 - 244　満たすことが難しい施設基準の内訳（病床規模別）【99 床以下】



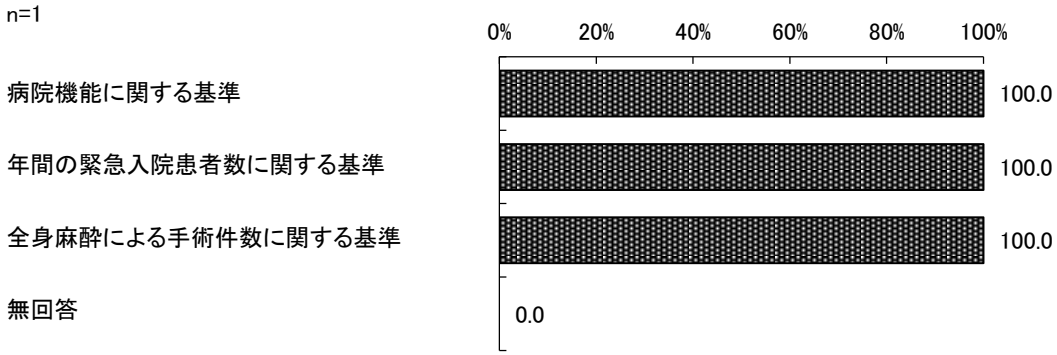
図表 2 - 245　満たすことが難しい施設基準の内訳（病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 246　満たすことが難しい施設基準の内訳（病床規模別）【200～399 床以下】



図表 2 - 247　満たすことが難しい施設基準の内訳（病床規模別）【400 床以上】



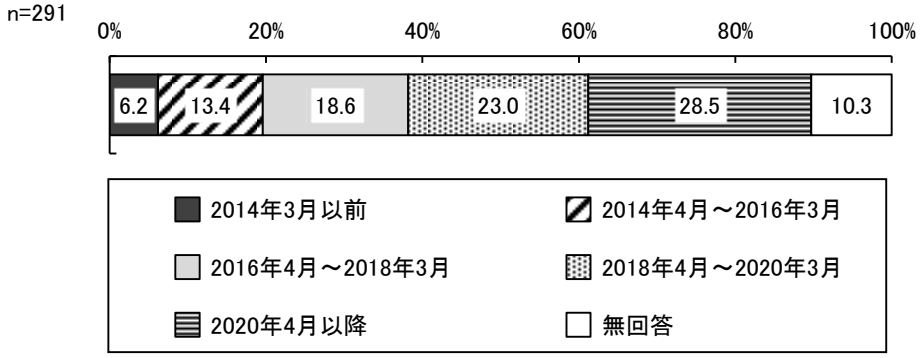
⑤-2 現在の体制の届出時期

【令和 2 年 10 月末時点において届出をしていると回答した場合】

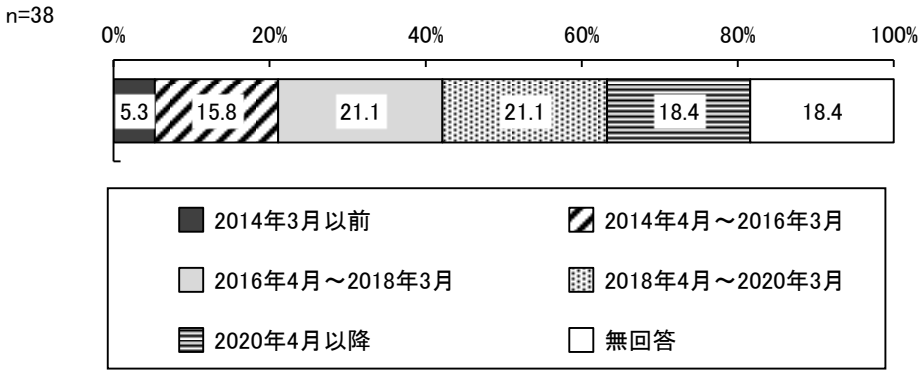
現在の体制の届出時期で最も多かったものは「2020 年 4 月以降」（28.5%）であった。

病床規模別にみると、「99 床以下」では「2016 年 4 月～2018 年 3 月」「2018 年 4 月～2020 年 3 月」（いずれも 21.1%）、「100～199 床以下」「200～399 床以下」「400 床以上」では「2020 年 4 月以降」（40.2%、26.7%、27.4%）が最も多かった。

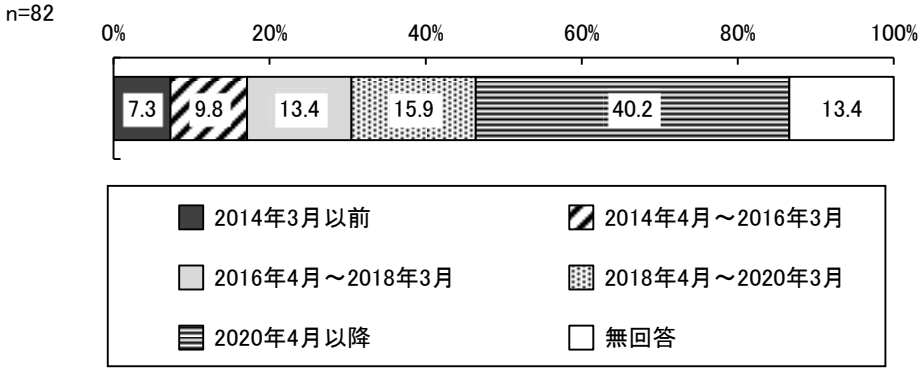
図表 2 - 248　現在の体制の届出時期（令和 2 年 10 月末）



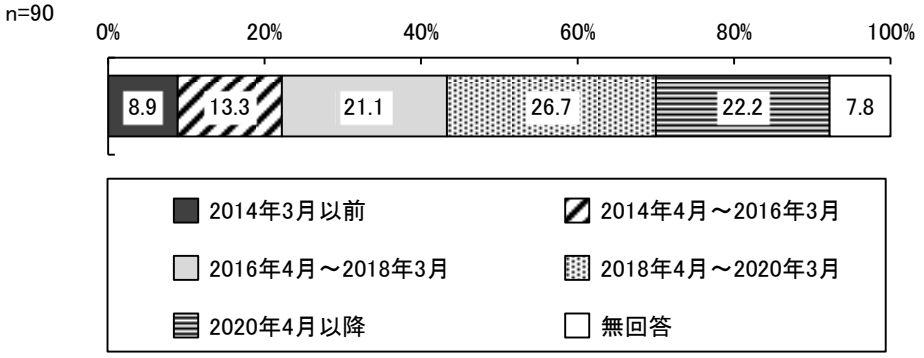
図表 2 - 249　現在の体制の届出時期（令和 2 年 10 月末）
（病床規模別）【99 床以下】



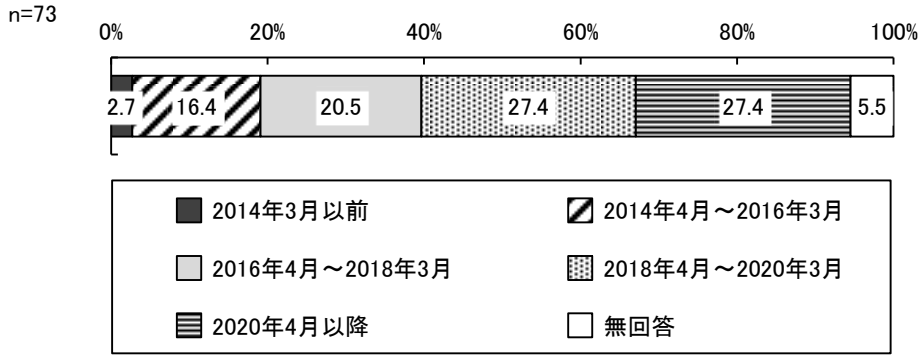
図表 2 - 250　現在の体制の届出時期（令和 2 年 10 月末）
（病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 251　現在の体制の届出時期（令和 2 年 10 月末）
（病床規模別）【200～399 床以下】



図表 2 - 252　現在の体制の届出時期（令和 2 年 10 月末）（病床規模別）【400 床以上】



⑤-3 医師事務作業補助者の配置人数（令和 2 年 10 月末）【令和 2 年 10 月末時点において届出をしていると回答した場合】

医師事務作業補助者の配置人数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 253　医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数【全体】

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
1）外来	n=239	11.5	11.7	8.0
2）病棟	n=206	1.7	2.9	0.0
3）医局・事務室等	n=211	3.9	5.7	2.0
4）合計	n=257	15.6	13.2	11.5

※令和 2 年 10 月について「医師事務作業補助体制加算１」または「医師事務作業補助体制加算２」と回答したものについて集計。

図表 2 - 254　医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数【99 床以下】

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
1）外来	n=29	1.8	1.5	1.5
2）病棟	n=25	0.7	0.9	0.5
3）医局・事務室等	n=21	0.6	1.0	0.0
4）合計	n=31	2.7	1.7	2.0

※令和 2 年 10 月について「医師事務作業補助体制加算１」または「医師事務作業補助体制加算２」と回答したものについて集計。

図表 2 - 255　医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数【100～199 床以下】

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
1）外来	n=64	4.4	3.7	3.0
2）病棟	n=58	1.3	1.8	0.0
3）医局・事務室等	n=54	1.3	1.7	1.0
4）合計	n=71	5.9	3.8	6.0

※令和 2 年 10 月について「医師事務作業補助体制加算１」または「医師事務作業補助体制加算２」と回答したものについて集計。

図表 2 - 256　医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数【200～399 床以下】

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
1)外来	n=76	11.4	8.2	11.0
2)病棟	n=64	1.3	2.5	0.0
3)医局・事務室等	n=72	4.0	4.2	2.8
4)合計	n=82	15.4	7.2	15.5

※令和 2 年 10 月について「医師事務作業補助体制加算１」または「医師事務作業補助体制加算２」と回答したものについて集計。

図表 2 - 257　医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数【400 床以上】

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
1)外来	n=63	22.3	13.1	20.0
2)病棟	n=53	2.8	4.1	0.0
3)医局・事務室等	n=59	7.1	8.2	5.0
4)合計	n=66	31.0	12.0	28.5

※令和 2 年 10 月について「医師事務作業補助体制加算１」または「医師事務作業補助体制加算２」と回答したものについて集計。

⑤-4 各病棟における医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数（令和元年 10 月末、令和 2 年 10 月末）

【令和 2 年 10 月末時点において届出をしていると回答した場合】

各病棟における医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数は、以下のとおりであった。

a.全病棟

図表 2 - 258　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【全体】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=199	2.5	4.5	0.0	n=206	2.6	4.7	1.0
非常勤（実人数）	n=160	1.4	3.5	0.0	n=162	1.5	3.8	0.0
非常勤（常勤換算）	n=155	0.9	2.5	0.0	n=160	1.1	3.0	0.0

図表 2 - 259　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【99 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=25	1.3	1.3	1.0	n=30	2.4	5.5	1.0
非常勤（実人数）	n=15	1.1	4.0	0.0	n=15	1.1	3.7	0.0
非常勤（常勤換算）	n=15	0.1	0.2	0.0	n=15	0.1	0.3	0.0

図表 2 - 260　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【100～199 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=61	2.0	2.5	1.0	n=63	2.1	2.8	1.0
非常勤（実人数）	n=46	1.0	2.6	0.0	n=46	1.0	2.5	0.0
非常勤（常勤換算）	n=45	0.6	1.8	0.0	n=46	0.5	1.6	0.0

図表 2 - 261　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【200～399 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=62	2.4	4.1	0.0	n=63	2.9	4.7	0.0
非常勤（実人数）	n=51	1.5	4.0	0.0	n=54	1.9	4.6	0.0
非常勤（常勤換算）	n=49	1.2	3.5	0.0	n=53	1.8	4.4	0.0

図表 2 - 262　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【400 床以上】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=45	4.0	7.3	0.0	n=44	3.1	6.3	0.0
非常勤（実人数）	n=43	1.7	3.7	0.0	n=42	1.6	3.7	0.0
非常勤（常勤換算）	n=41	0.9	2.2	0.0	n=41	0.9	2.2	0.0

b.一般病棟

図表 2 - 263　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【全体】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=172	2.3	3.5	1.0	n=170	2.3	3.5	1.0
非常勤（実人数）	n=129	1.4	3.3	0.0	n=128	1.4	3.3	0.0
非常勤（常勤換算）	n=125	0.9	2.5	0.0	n=126	1.0	2.5	0.0

図表 2 - 264　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【99 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=27	2.0	3.3	1.0	n=27	1.4	1.5	1.0
非常勤（実人数）	n=13	1.3	4.3	0.0	n=13	1.2	4.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=13	0.1	0.2	0.0	n=13	0.1	0.3	0.0

図表 2 - 265　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【100～199 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=53	2.1	2.7	1.0	n=52	2.2	2.9	1.0
非常勤（実人数）	n=37	1.0	2.5	0.0	n=36	0.9	2.3	0.0
非常勤（常勤換算）	n=36	0.6	2.0	0.0	n=36	0.6	1.7	0.0

図表 2 - 266　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【200～399 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=50	2.8	4.2	0.0	n=49	2.9	4.6	0.0
非常勤（実人数）	n=40	1.3	3.1	0.0	n=41	1.4	3.1	0.0
非常勤（常勤換算）	n=39	1.3	3.2	0.0	n=40	1.3	3.3	0.0

図表 2 - 267　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【400 床以上】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=37	2.5	3.7	0.0	n=37	2.4	3.6	0.0
非常勤（実人数）	n=35	1.9	4.0	0.0	n=34	1.8	4.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=33	1.1	2.4	0.0	n=33	1.1	2.4	0.0

c.精神病棟

図表 2 - 268　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【全体】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=90	0.0	0.0	0.0	n=103	0.0	0.0	0.0
非常勤（実人数）	n=90	0.0	0.0	0.0	n=90	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=91	0.0	0.0	0.0	n=90	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 269　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【99 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=10	0.0	0.0	0.0	n=14	0.0	0.0	0.0
非常勤（実人数）	n=8	0.0	0.0	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=8	0.0	0.0	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 270　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【100～199 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=28	0.0	0.0	0.0	n=31	0.0	0.0	0.0
非常勤（実人数）	n=28	0.0	0.0	0.0	n=28	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=28	0.0	0.0	0.0	n=28	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 271　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【200～399 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=27	0.0	0.0	0.0	n=32	0.0	0.0	0.0
非常勤（実人数）	n=29	0.0	0.0	0.0	n=29	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=30	0.0	0.0	0.0	n=29	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 272　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【400 床以上】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=23	0.0	0.0	0.0	n=24	0.0	0.0	0.0
非常勤（実人数）	n=23	0.0	0.0	0.0	n=23	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=23	0.0	0.0	0.0	n=23	0.0	0.0	0.0

d.療養病棟

図表 2 - 273　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【全体】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=97	0.1	0.3	0.0	n=106	0.1	0.3	0.0
非常勤（実人数）	n=91	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=92	0.0	0.0	0.0	n=91	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 274　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【99 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=10	0.0	0.0	0.0	n=14	0.1	0.3	0.0
非常勤（実人数）	n=8	0.0	0.0	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=8	0.0	0.0	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 275　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【100～199 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=32	0.2	0.4	0.0	n=33	0.2	0.4	0.0
非常勤（実人数）	n=28	0.0	0.0	0.0	n=28	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=28	0.0	0.0	0.0	n=28	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 276　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【200～399 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=30	0.1	0.3	0.0	n=33	0.0	0.2	0.0
非常勤（実人数）	n=30	0.0	0.0	0.0	n=30	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=31	0.0	0.0	0.0	n=30	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 277　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【400 床以上】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=23	0.0	0.0	0.0	n=24	0.0	0.0	0.0
非常勤（実人数）	n=23	0.0	0.0	0.0	n=23	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=23	0.0	0.0	0.0	n=23	0.0	0.0	0.0

e.その他

図表 2 - 278　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【全体】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=103	0.8	2.8	0.0	n=116	0.6	2.1	0.0
非常勤（実人数）	n=92	0.0	0.2	0.0	n=91	0.0	0.2	0.0
非常勤（常勤換算）	n=95	0.1	0.3	0.0	n=93	0.0	0.2	0.0

図表 2 - 279　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【99 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=10	0.2	0.4	0.0	n=14	0.1	0.4	0.0
非常勤（実人数）	n=8	0.0	0.0	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=8	0.0	0.0	0.0	n=8	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 280　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【100～199 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=32	0.3	0.8	0.0	n=36	0.3	0.7	0.0
非常勤（実人数）	n=28	0.1	0.4	0.0	n=27	0.1	0.4	0.0
非常勤（常勤換算）	n=30	0.1	0.4	0.0	n=28	0.1	0.3	0.0

図表 2 - 281　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【200～399 床以下】

（単位：人）

	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=32	0.8	2.5	0.0	n=36	0.9	2.7	0.0
非常勤（実人数）	n=29	0.0	0.0	0.0	n=29	0.0	0.0	0.0
非常勤（常勤換算）	n=29	0.0	0.0	0.0	n=29	0.0	0.0	0.0

図表 2 - 282　医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数【400 床以上】

（単位：人）

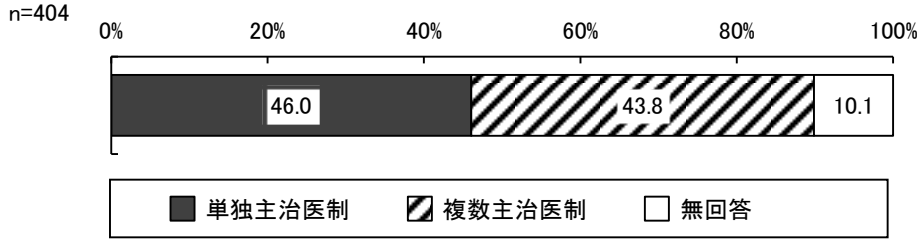
	令和元年10月末				令和2年10月末			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
常勤	n=26	1.5	4.7	0.0	n=27	0.7	2.7	0.0
非常勤（実人数）	n=25	0.0	0.2	0.0	n=25	0.0	0.2	0.0
非常勤（常勤換算）	n=26	0.1	0.3	0.0	n=26	0.1	0.3	0.0

（４）医師の勤務状況等

（ア）医師の勤務形態

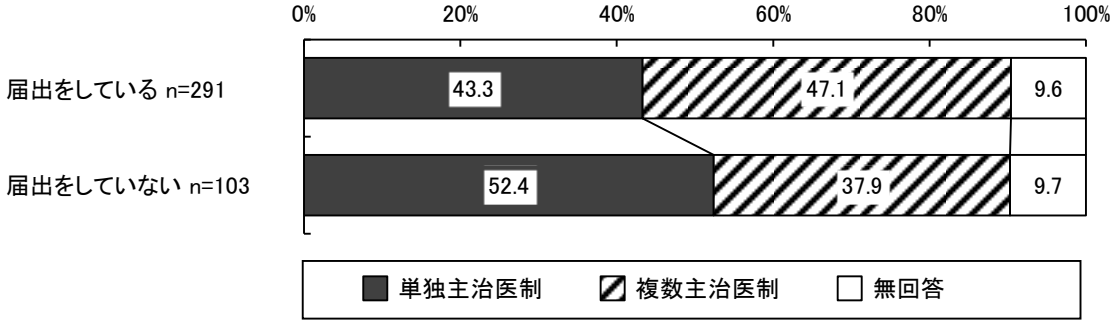
医師の勤務形態で最も多かったものは「単独主治医体制」(46.0%)、次に多かったものは「複数主治医体制」(43.8%) であった。

図表 2 - 283　医師の勤務形態

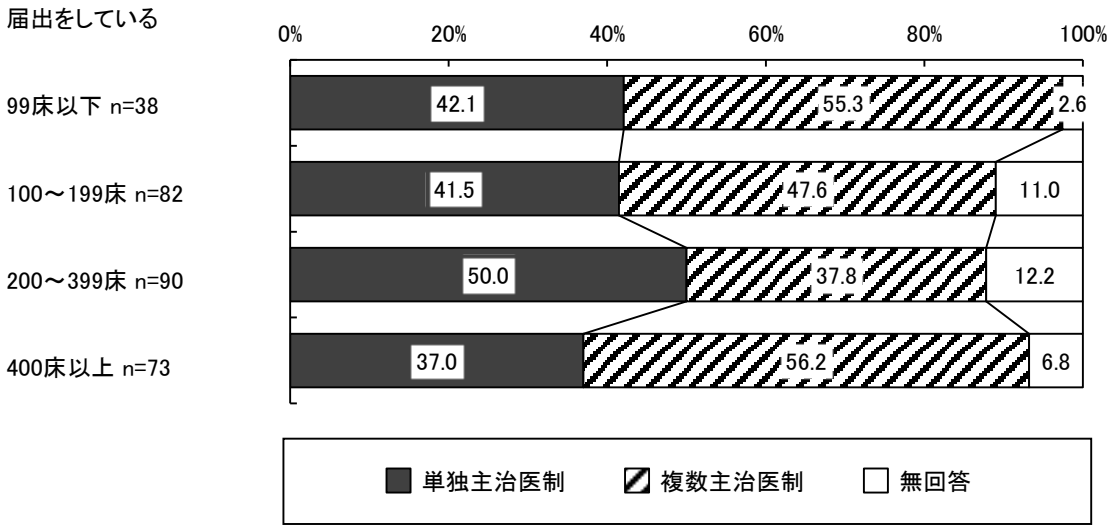


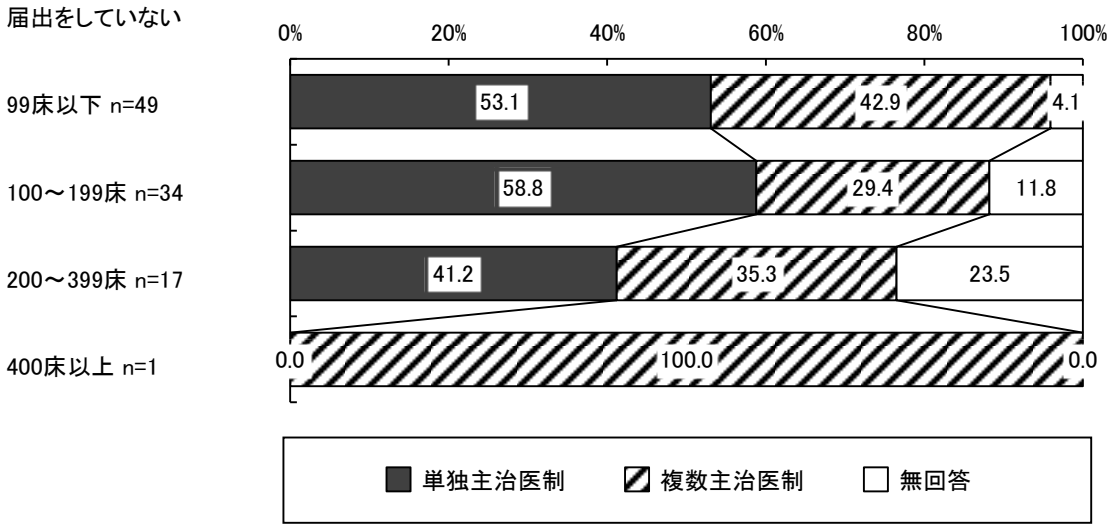
図表 2 - 284　医師の勤務形態（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別





② 医師の勤務実績

6） １か月間の１人あたり平均勤務時間

１か月間の平均勤務時間は、以下のとおりであった。

【常勤医師　１人あたり平均勤務時間／月】

図表 2 - 285　１か月間の１人あたり平均勤務時間（病床規模別）【常勤】

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=262	180.4	24.0	179.4	n=267	183.4	25.3	180.0
99床以下	n=47	171.2	26.2	165.0	n=47	176.5	27.5	172.0
100～199床	n=78	172.3	21.7	168.5	n=80	173.0	24.2	171.0
200～399床	n=74	181.0	21.0	181.9	n=77	184.4	20.6	185.2
400床以上	n=57	197.7	18.1	199.8	n=57	201.8	19.0	203.1

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 286　１か月間の１人あたり平均勤務時間
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）【常勤】

全体

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=262	180.4	24.0	179.4	n=267	183.4	25.3	180.0
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=88	192.7	18.7	191.9	n=87	196.4	19.5	193.6
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=49	181.3	25.3	173.4	n=51	183.4	24.6	177.8
その他	n=77	169.7	20.7	166.0	n=78	173.5	23.8	171.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

99 床以下

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=47	171.2	26.2	165.0	n=47	176.5	27.5	172.0
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=2	175.1	19.1	175.1	n=2	176.0	20.0	176.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=3	202.7	51.2	168.0	n=3	200.7	48.3	168.0
その他	n=25	163.4	15.9	160.8	n=23	169.6	21.2	170.5

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

100～199 床

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=78	172.3	21.7	168.5	n=80	173.0	24.2	171.0
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=7	176.6	7.6	180.5	n=7	179.9	9.1	180.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=17	176.1	21.7	168.0	n=18	175.5	22.2	171.2
その他	n=33	173.3	23.1	170.2	n=33	175.0	27.3	171.6

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

200～399 床

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=74	181.0	21.0	181.9	n=77	184.4	20.6	185.2
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=36	186.6	17.6	186.0	n=36	189.3	16.4	188.6
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=19	181.3	22.4	179.5	n=20	187.1	21.8	187.3
その他	n=12	165.6	17.0	165.5	n=14	168.6	15.6	165.3

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

400 床以上

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=57	197.7	18.1	199.8	n=57	201.8	19.0	203.1
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=40	200.7	16.1	202.4	n=39	206.0	17.6	207.9
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=10	183.9	20.4	178.7	n=10	184.7	17.6	181.4
その他	n=4	196.8	15.1	202.7	n=5	200.2	13.2	197.5

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 287　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間
（地域医療体制確保加算の有無別）【常勤】

全体

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=262	180.4	24.0	179.4	n=267	183.4	25.3	180.0
届出ている	n=131	190.3	20.7	189.8	n=135	193.2	21.3	192.4
届出ていない	n=129	170.7	23.0	165.0	n=130	173.5	25.0	170.5

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

99 床以下

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=47	171.2	26.2	165.0	n=47	176.5	27.5	172.0
届出ている	n=1	－	－	－	n=1	－	－	－
届出ていない	n=44	171.3	26.6	163.8	n=44	177.0	27.8	171.3

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

100～199 床

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=78	172.3	21.7	168.5	n=80	173.0	24.2	171.0
届出ている	n=7	175.5	19.7	180.8	n=7	176.2	16.7	180.0
届出ていない	n=71	172.0	21.9	168.0	n=73	172.7	24.8	170.5

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

200～399 床

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=74	181.0	21.0	181.9	n=77	184.4	20.6	185.2
届出ている	n=63	184.3	20.3	184.9	n=67	187.0	20.4	187.0
届出ていない	n=11	162.1	13.9	162.7	n=10	166.9	11.4	165.4

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

400 床以上

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=57	197.7	18.1	199.8	n=57	201.8	19.0	203.1
届出ている	n=57	197.7	18.1	199.8	n=57	201.8	19.0	203.1
届出ていない	n=－	－	－	－	n=－	－	－	－

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 288　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間
（医師事務作業補助体制加算の有無別）【常勤】

全体

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=262	180.4	24.0	179.4	n=267	183.4	25.3	180.0
届出をしている	n=203	183.8	22.7	182.4	n=207	186.4	23.0	185.2
届出をしていない	n=52	168.4	25.2	161.1	n=52	171.0	29.1	164.7

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

99 床以下

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=47	171.2	26.2	165.0	n=47	176.5	27.5	172.0
届出をしている	n=24	166.1	16.6	163.8	n=24	175.3	21.5	172.6
届出をしていない	n=22	177.9	32.6	168.0	n=22	179.4	32.4	170.5

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

100～199 床

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=78	172.3	21.7	168.5	n=80	173.0	24.2	171.0
届出をしている	n=55	176.5	22.4	175.1	n=56	176.4	22.0	174.5
届出をしていない	n=21	161.8	15.2	160.0	n=22	164.7	28.1	160.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

200～399 床

（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=74	181.0	21.0	181.9	n=77	184.4	20.6	185.2
届出をしている	n=64	183.7	20.7	185.1	n=67	185.6	19.4	186.8
届出をしていない	n=8	161.0	13.3	162.8	n=7	165.9	10.5	165.8

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

400 床以上

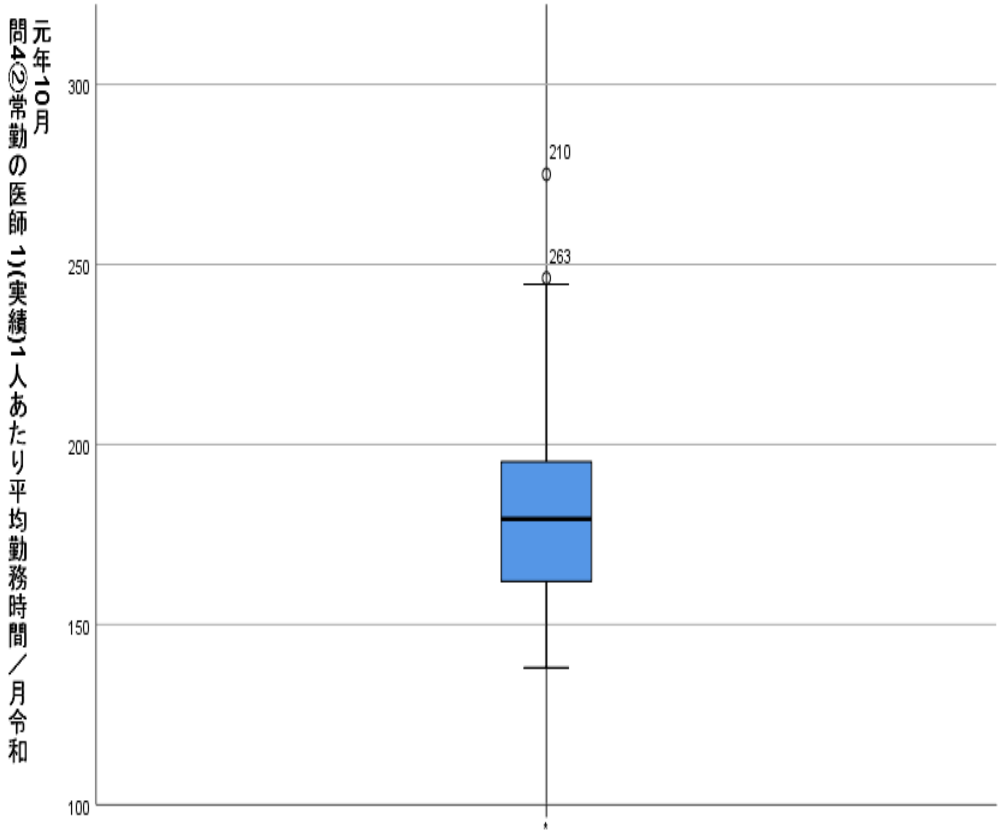
（単位：時間）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=57	197.7	18.1	199.8	n=57	201.8	19.0	203.1
届出をしている	n=55	198.2	18.1	200.0	n=55	202.0	19.2	203.1
届出をしていない	n=-	-	-	-	n=-	-	-	-

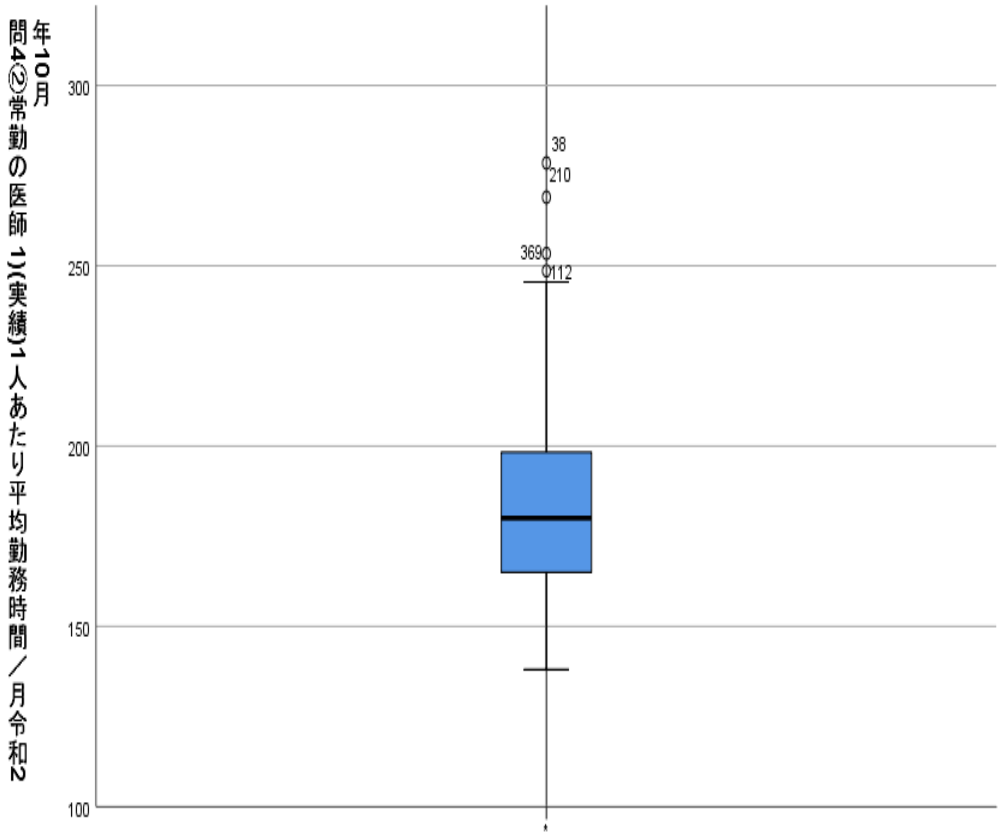
※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 289　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間【常勤】

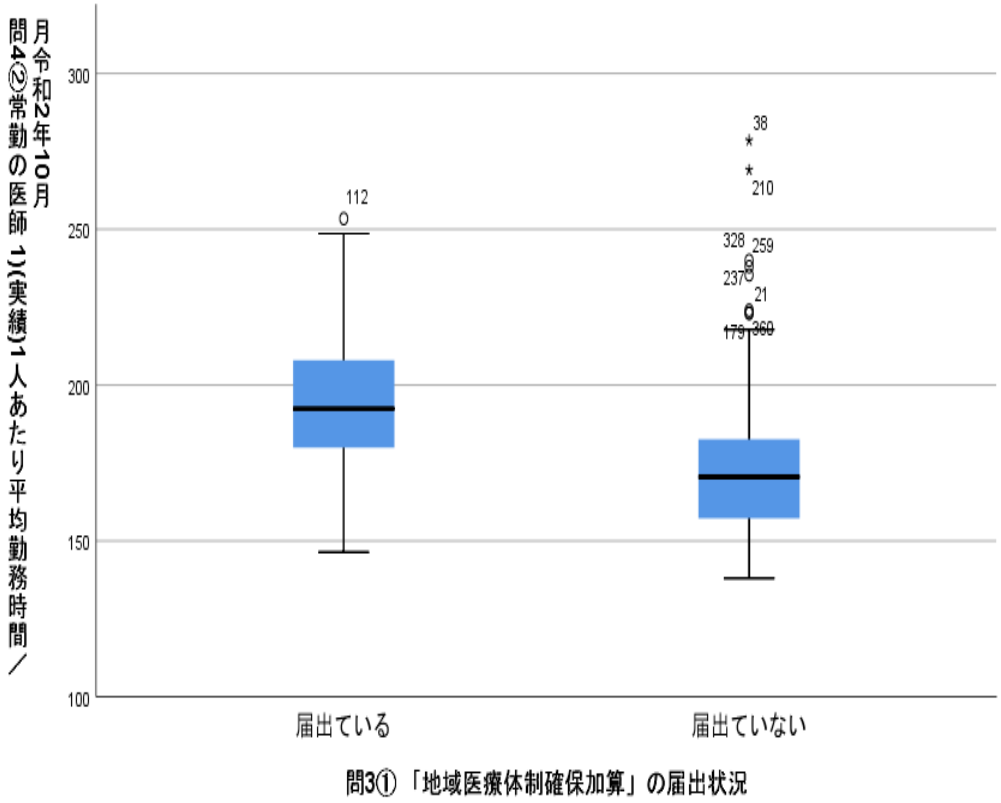
【令和元年 10 月】



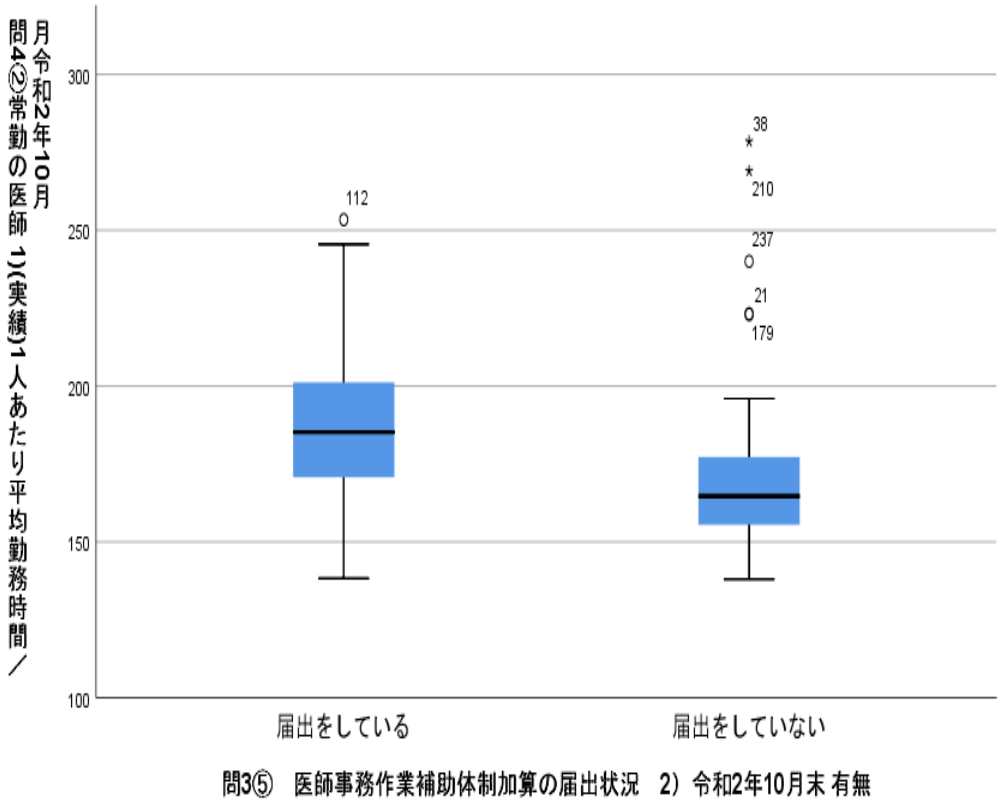
【令和２年 10 月】



図表 2 - 290　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間【常勤】
（地域医療体制確保加算の有無別）



図表 2 - 291　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間【常勤】
（医師事務補助体制加算の有無別）



【非常勤医師 1 人あたり平均勤務時間／月】

図表 2 - 292　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間（病床規模別）【非常勤】

（単位：時間）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=243	40.5	38.1	25.0	n=247	41.2	39.5	25.0
99床以下	n=51	34.8	30.9	25.6	n=51	34.6	30.2	24.8
100～199床	n=78	40.0	35.9	25.0	n=78	40.7	37.6	26.4
200～399床	n=63	37.6	33.8	24.6	n=67	39.8	38.1	24.3
400床以上	n=43	53.7	51.5	25.6	n=43	52.4	50.3	23.4

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 293　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）【非常勤】

（単位：時間）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=243	40.5	38.1	25.0	n=247	41.2	39.5	25.0
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=69	50.8	48.4	25.1	n=68	50.7	48.6	25.1
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=44	35.0	33.2	24.5	n=44	30.2	27.4	22.2
その他	n=76	40.2	35.1	25.4	n=80	43.5	39.4	26.3

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 294　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間（地域医療体制確保加算の有無別）【非常勤】

（単位：時間）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=243	40.5	38.1	25.0	n=247	41.2	39.5	25.0
届出ている	n=100	45.5	44.6	24.7	n=104	46.4	46.1	23.7
届出ていない	n=141	37.2	32.4	25.5	n=141	37.7	33.6	25.5

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 295　1 か月間の 1 人あたり平均勤務時間（医師事務作業補助体制加算の有無別）【非常勤】

（単位：時間）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=243	40.5	38.1	25.0	n=247	41.2	39.5	25.0
届出をしている	n=176	40.7	39.3	24.6	n=180	42.2	41.2	24.6
届出をしていない	n=63	39.6	33.7	29.0	n=63	39.7	35.3	28.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

7） 1か月間における平均当直回数

【常勤医師 1人あたり平均当直回数／月】

図表 2 - 296 1か月間の1人あたり平均当直回数（病床規模別）【常勤】

（単位：回）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=348	2.3	1.6	2.1	n=355	2.3	1.4	2.0
99床以下	n=70	3.0	2.2	3.4	n=71	2.7	2.0	3.0
100～199床	n=109	2.4	1.6	2.0	n=111	2.4	1.6	2.0
200～399床	n=92	2.0	1.0	2.0	n=97	2.0	1.0	2.0
400床以上	n=68	2.1	0.8	2.1	n=67	2.0	0.7	2.0

※令和元年10月、令和2年10月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 297 1か月間の1人あたり平均当直回数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）【常勤】

（単位：回）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=348	2.3	1.6	2.1	n=355	2.3	1.4	2.0
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=99	2.1	0.9	2.2	n=97	2.1	0.9	2.1
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=70	2.1	1.2	1.9	n=71	2.2	1.3	1.9
その他	n=106	2.6	2.0	2.2	n=111	2.4	1.8	2.0

※令和元年10月、令和2年10月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 298 1か月間の1人あたり平均当直回数
（地域医療体制確保加算の有無別）【常勤】

（単位：回）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=348	2.3	1.6	2.1	n=355	2.3	1.4	2.0
届出ている	n=153	2.1	0.8	2.0	n=156	2.1	0.9	2.0
届出ていない	n=193	2.5	1.9	2.2	n=196	2.5	1.8	2.3

※令和元年10月、令和2年10月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 299 1か月間の1人あたり平均当直回数
（医師事務作業補助体制加算の有無別）【常勤】

（単位：回）

常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=348	2.3	1.6	2.1	n=355	2.3	1.4	2.0
届出をしている	n=260	2.2	1.2	2.1	n=263	2.2	1.2	2.0
届出をしていない	n=81	2.7	2.4	2.2	n=84	2.5	2.1	2.3

※令和元年10月、令和2年10月ともに記入のあったものを集計。

【非常勤医師　1 人あたり平均当直回数／月】

図表 2 - 300　1 か月間の 1 人あたり平均当直回数（病床規模別）【非常勤】

（単位：回）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=315	1.2	1.3	1.0	n=324	1.2	1.3	1.0
99床以下	n=64	1.5	1.3	1.0	n=65	1.5	1.4	1.0
100～199床	n=102	1.3	1.2	1.0	n=104	1.4	1.2	1.0
200～399床	n=86	1.1	1.3	0.5	n=91	1.1	1.4	0.5
400床以上	n=54	0.9	1.3	0.2	n=55	0.8	1.0	0.2

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 301　1 か月間の 1 人あたり平均当直回数（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）【非常勤】

（単位：回）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=315	1.2	1.3	1.0	n=324	1.2	1.3	1.0
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=85	1.0	1.4	0.2	n=85	0.9	1.3	0.2
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=61	1.2	1.2	1.0	n=62	1.2	1.2	1.0
その他	n=97	1.5	1.3	1.0	n=103	1.5	1.3	1.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 302　1 か月間の 1 人あたり平均当直回数（地域医療体制確保加算の有無別）【非常勤】

（単位：回）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=315	1.2	1.3	1.0	n=324	1.2	1.3	1.0
届出ている	n=133	0.9	1.2	0.3	n=138	0.9	1.2	0.3
届出ていない	n=180	1.4	1.3	1.0	n=183	1.4	1.3	1.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 303　1 か月間の 1 人あたり平均当直回数（医師事務作業補助体制加算の有無別）【非常勤】

（単位：回）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=315	1.2	1.3	1.0	n=324	1.2	1.3	1.0
届出をしている	n=231	1.0	1.2	0.5	n=236	1.0	1.2	0.5
届出をしていない	n=79	1.9	1.4	2.0	n=82	1.9	1.4	1.8

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

8） 1か月間における連続当直を行った医師数

【常勤医師　連続当直を行った医師数／月】

図表 2 - 304　1か月間の連続当直を行った医師数（病床規模別）【常勤】

（単位：人）

	常勤の医師							
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=308	0.4	1.3	0.0	n=317	0.4	1.3	0.0
99床以下	n=55	0.2	0.6	0.0	n=57	0.2	0.6	0.0
100～199床	n=97	0.3	0.7	0.0	n=100	0.3	0.8	0.0
200～399床	n=86	0.5	1.9	0.0	n=89	0.6	2.0	0.0
400床以上	n=63	0.5	1.5	0.0	n=63	0.4	0.9	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 305　1か月間の連続当直を行った医師数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）【常勤】

（単位：人）

	常勤の医師							
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=308	0.4	1.3	0.0	n=317	0.4	1.3	0.0
届出ている	n=143	0.5	1.8	0.0	n=147	0.5	1.7	0.0
届出ていない	n=164	0.2	0.7	0.0	n=168	0.3	0.7	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 306　1か月間の連続当直を行った医師数
（地域医療体制確保加算の有無別）【常勤】

（単位：人）

	常勤の医師							
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=308	0.4	1.3	0.0	n=317	0.4	1.3	0.0
届出ている	n=143	0.5	1.8	0.0	n=147	0.5	1.7	0.0
届出ていない	n=164	0.2	0.7	0.0	n=168	0.3	0.7	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 307　1か月間の連続当直を行った医師数
（医師事務作業補助体制加算の有無別）【常勤】

（単位：人）

	常勤の医師							
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=308	0.4	1.3	0.0	n=317	0.4	1.3	0.0
届出をしている	n=240	0.4	1.4	0.0	n=243	0.4	1.4	0.0
届出をしていない	n=62	0.4	0.8	0.0	n=66	0.4	0.7	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

【非常勤医師　連続当直を行った医師数／月】

図表 2 - 308　1 か月間の連続当直を行った医師数（病床規模別）【非常勤】

（単位：人）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=219	0.5	1.1	0.0	n=223	0.5	1.0	0.0
99床以下	n=46	0.7	1.4	0.0	n=45	0.5	1.2	0.0
100～199床	n=82	0.6	1.1	0.0	n=82	0.6	1.1	0.0
200～399床	n=55	0.4	0.9	0.0	n=59	0.4	0.9	0.0
400床以上	n=30	0.4	1.0	0.0	n=31	0.2	0.5	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 309　1 か月間の連続当直を行った医師数（新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無別）【非常勤】

（単位：人）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=219	0.5	1.1	0.0	n=223	0.5	1.0	0.0
届出ている	n=76	0.4	1.0	0.0	n=80	0.3	0.9	0.0
届出ていない	n=141	0.6	1.2	0.0	n=140	0.5	1.0	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 310　1 か月間の連続当直を行った医師数（地域医療体制確保加算の有無別）【非常勤】

（単位：人）

非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=219	0.5	1.1	0.0	n=223	0.5	1.0	0.0
届出ている	n=76	0.4	1.0	0.0	n=80	0.3	0.9	0.0
届出ていない	n=141	0.6	1.2	0.0	n=140	0.5	1.0	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

図表 2 - 311　1 か月間の連続当直を行った医師数（医師事務作業補助体制加算の有無別）【非常勤】

（単位：人）

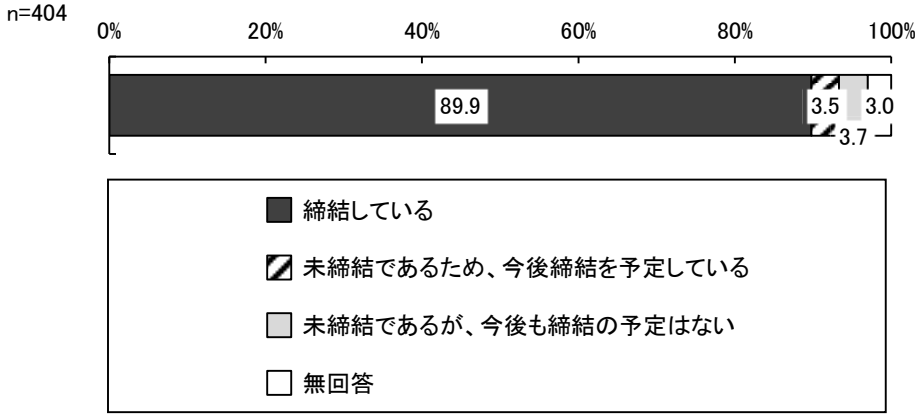
非常勤の医師								
	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
全体	n=219	0.5	1.1	0.0	n=223	0.5	1.0	0.0
届出をしている	n=152	0.6	1.2	0.0	n=152	0.5	1.0	0.0
届出をしていない	n=63	0.5	1.1	0.0	n=66	0.5	0.9	0.0

※令和元年 10 月、令和 2 年 10 月ともに記入のあったものを集計。

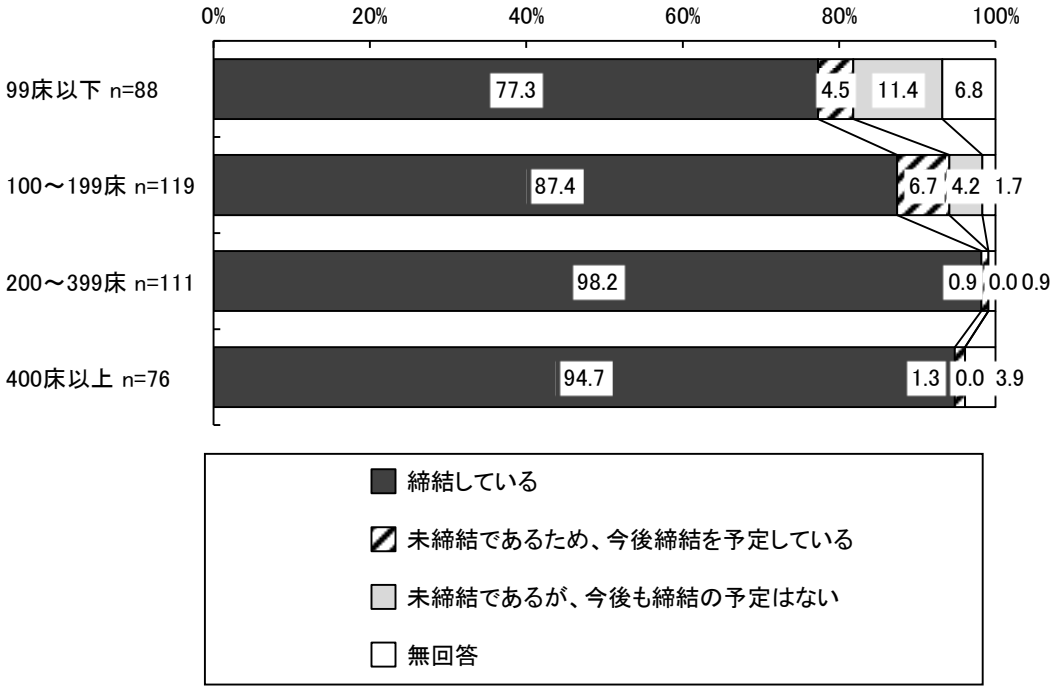
③ 労働基準法の 36(サブロク)協定の締結状況

労働基準法の 36（サブロク）協定の締結状況で最も多かったものは「締結している」(89.9%）であった。

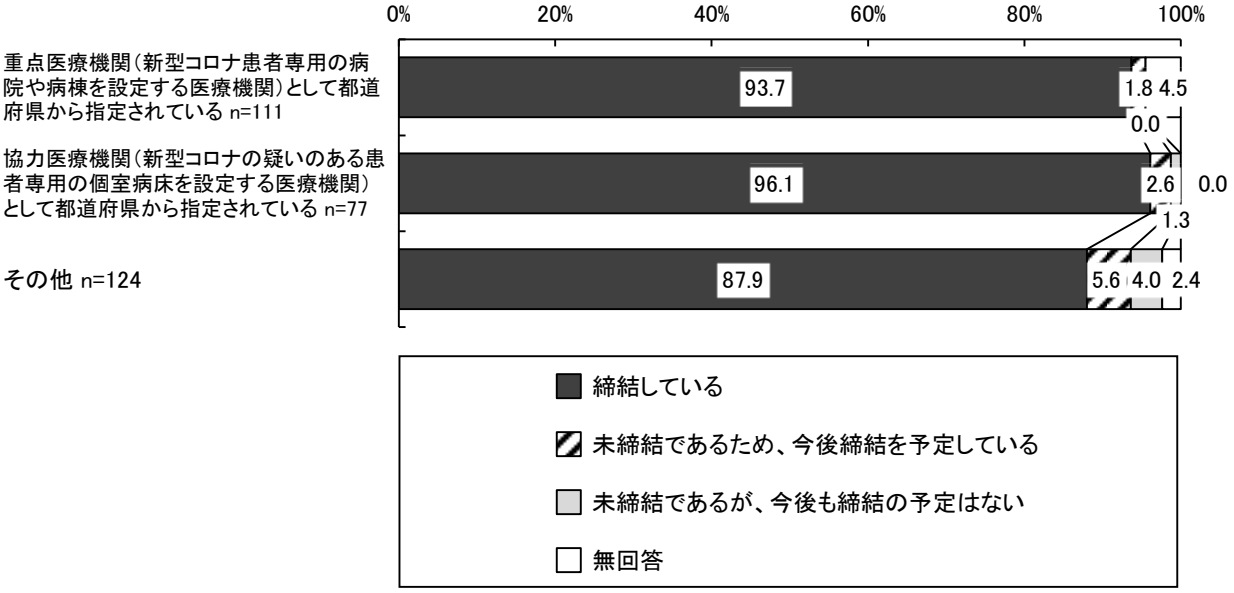
図表 2 - 312　労働基準法の 36（サブロク）協定の締結状況



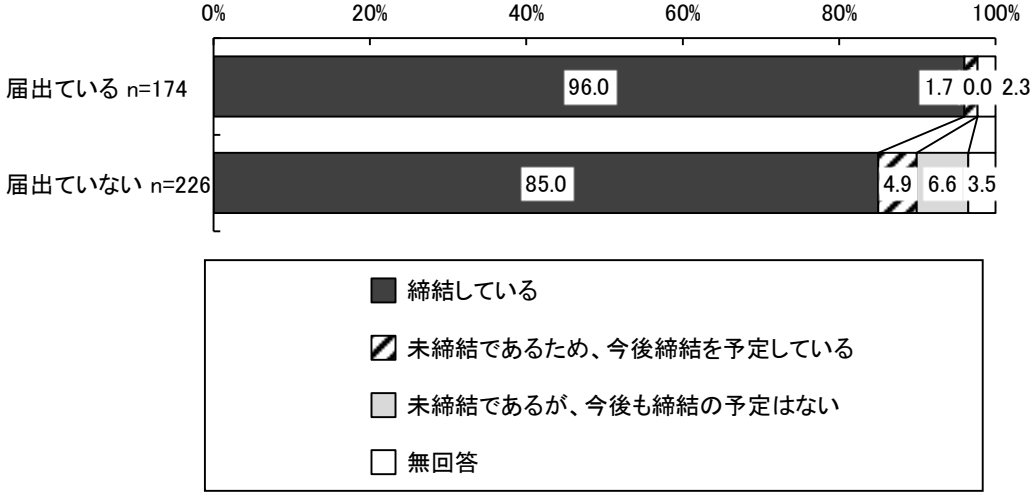
図表 2 - 313　労働基準法の 36（サブロク）協定の締結状況（病床規模別）



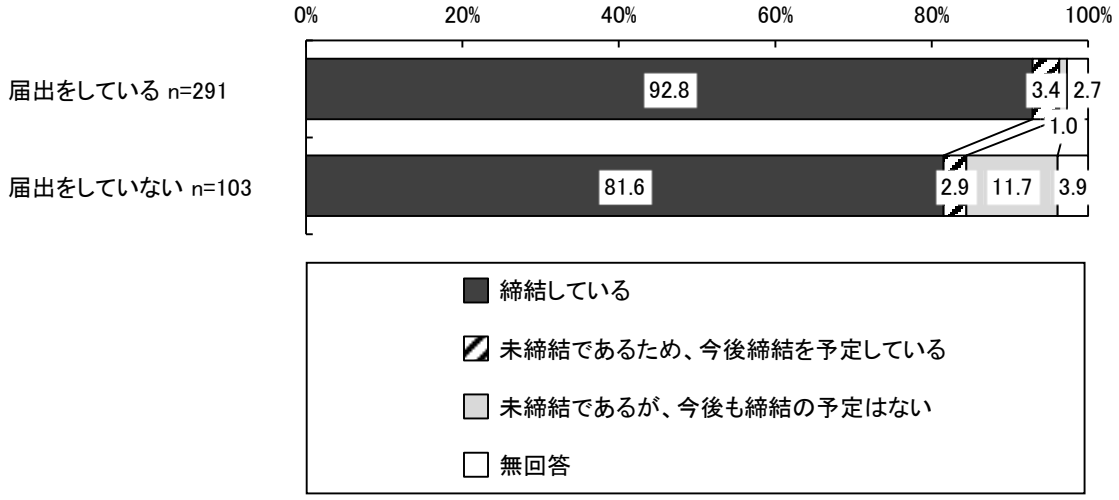
図表 2 - 314　労働基準法の 36（サブロク）協定の締結状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



図表 2 - 315　労働基準法の 36（サブロク）協定の締結状況
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）



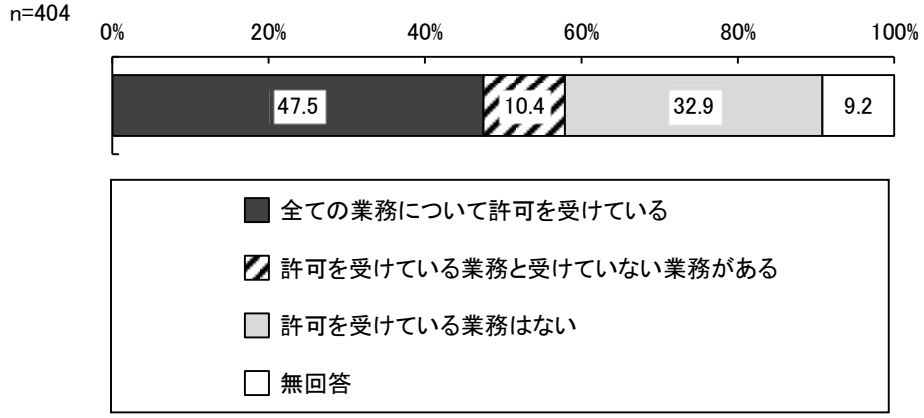
図表 2 - 316　労働基準法の 36（サブロク）協定の締結状況
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



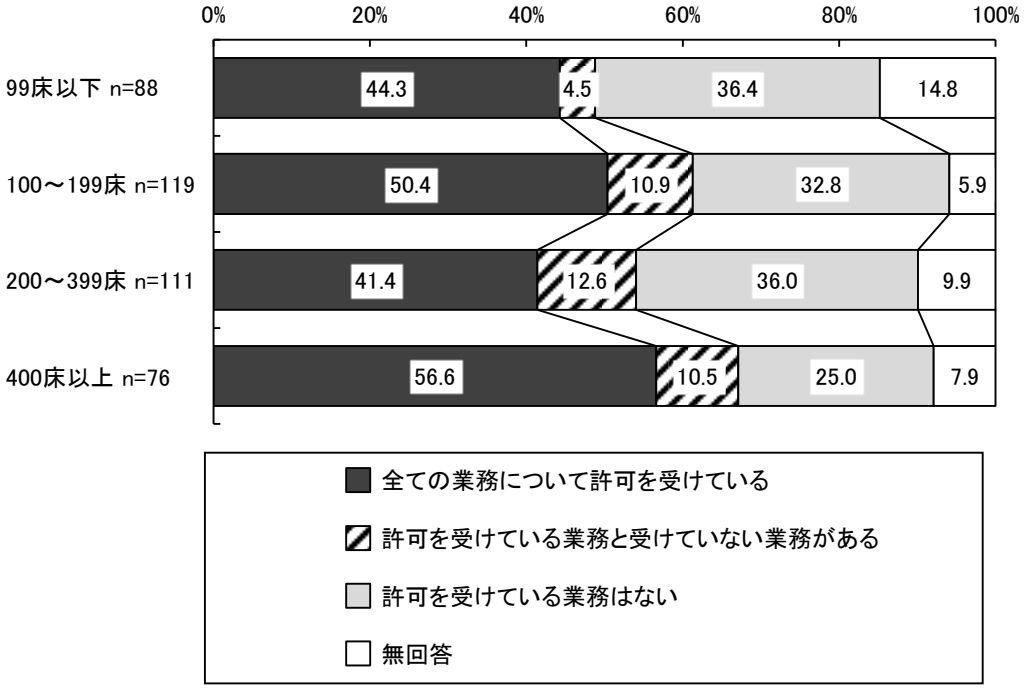
④　夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況

夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可の状況で最も多かったものは「全ての業務について許可を受けている」（47.5%）であった。

図表 2 - 317　夜 間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可状況

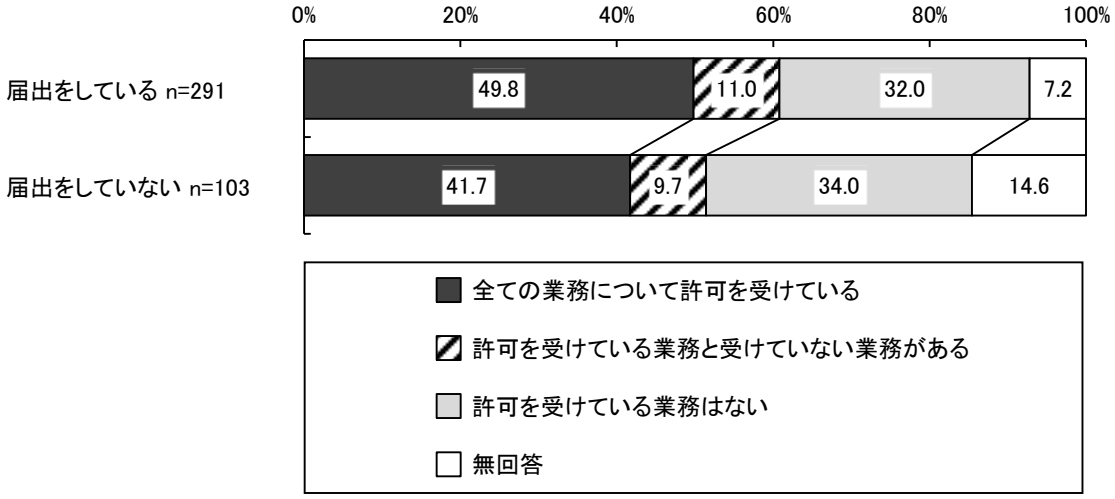


図表 2 - 318　夜 間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可状況
（病床規模別）

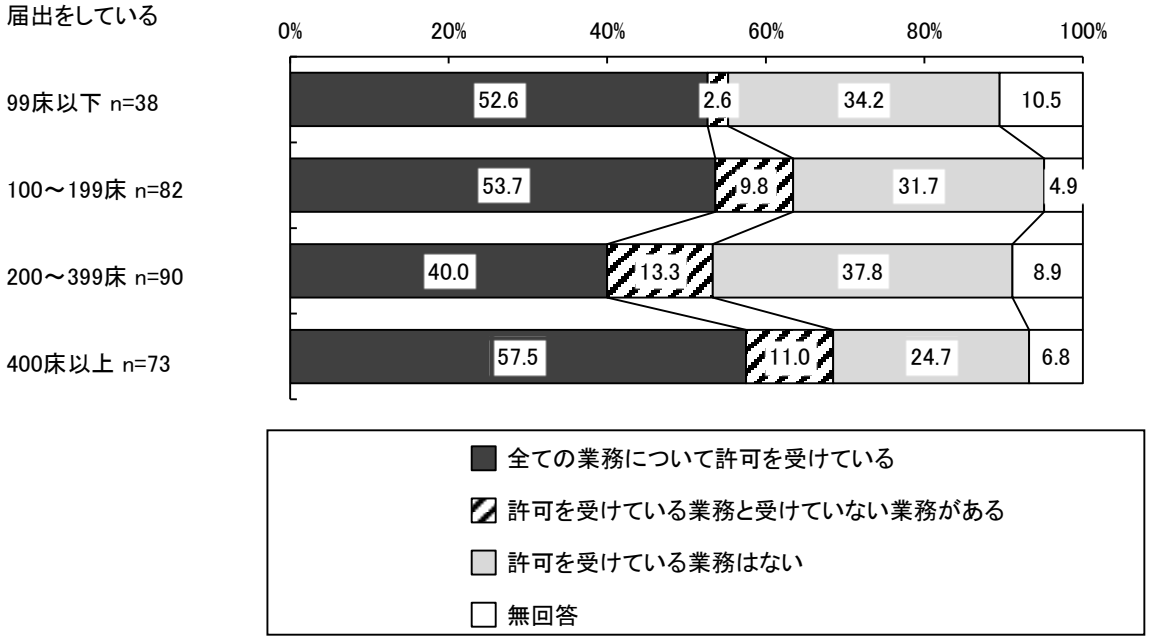


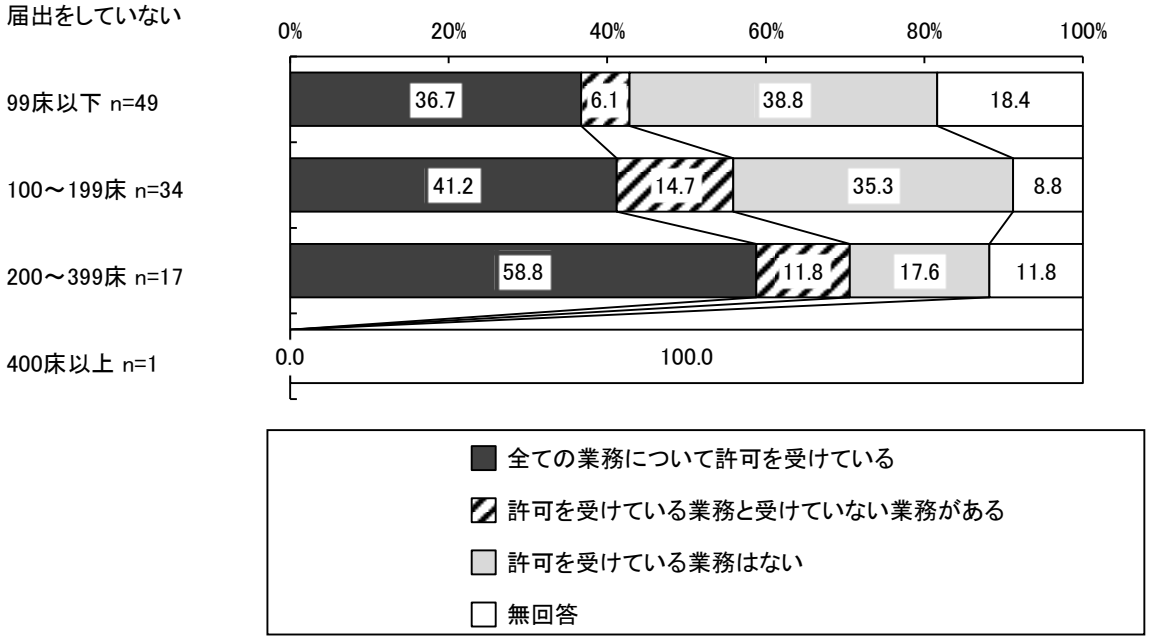
図表 2 - 319　夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可状況
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別

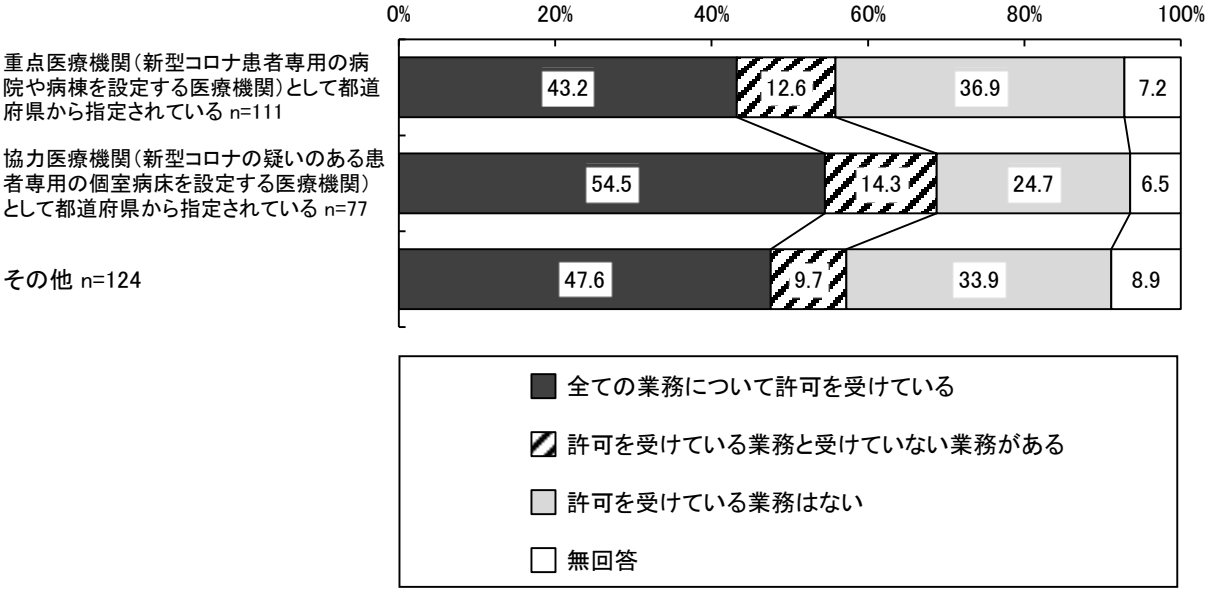


■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別





図表 2 - 320　夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



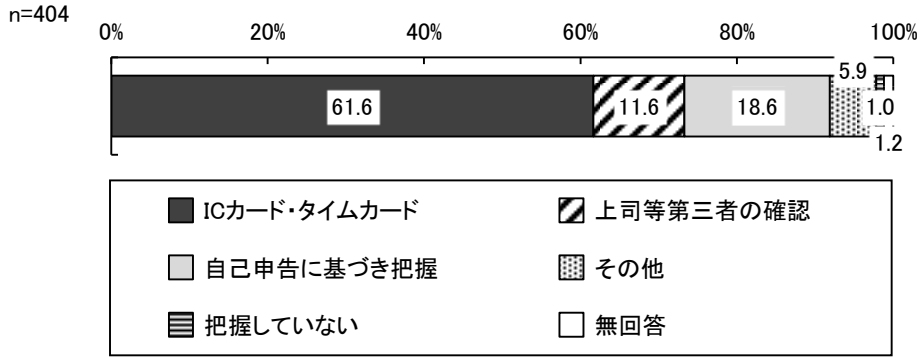
（５）医師の負担軽減策に関する取組状況等

（ア）医師の労働時間の把握方法

医師の労働時間の把握方法で最も多かったものは「IC カード・タイムカード」(61.6%)であった。

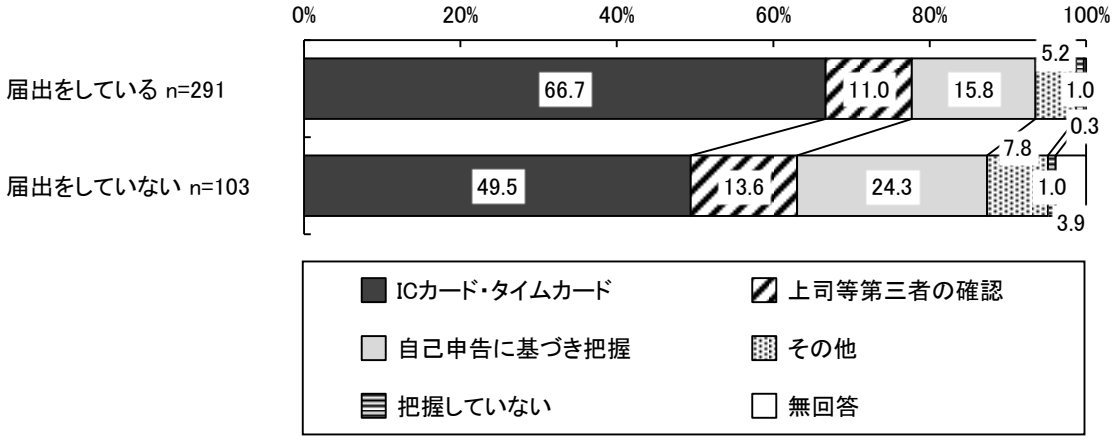
なお、「その他」の回答の中には、「勤怠管理システム」、「セキュリティカード、静脈認証による打刻にて確認」、「電子カルテのアクセスログ、ログインログアウト記録」といったものがあった。

図表 2 - 321　医師の労働時間の把握方法



図表 2 - 322　医師の労働時間の把握方法
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

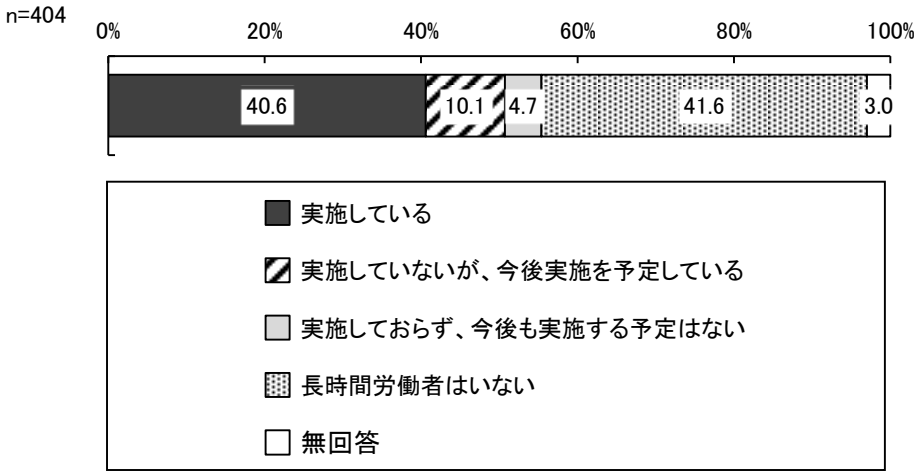
■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



(イ)長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況

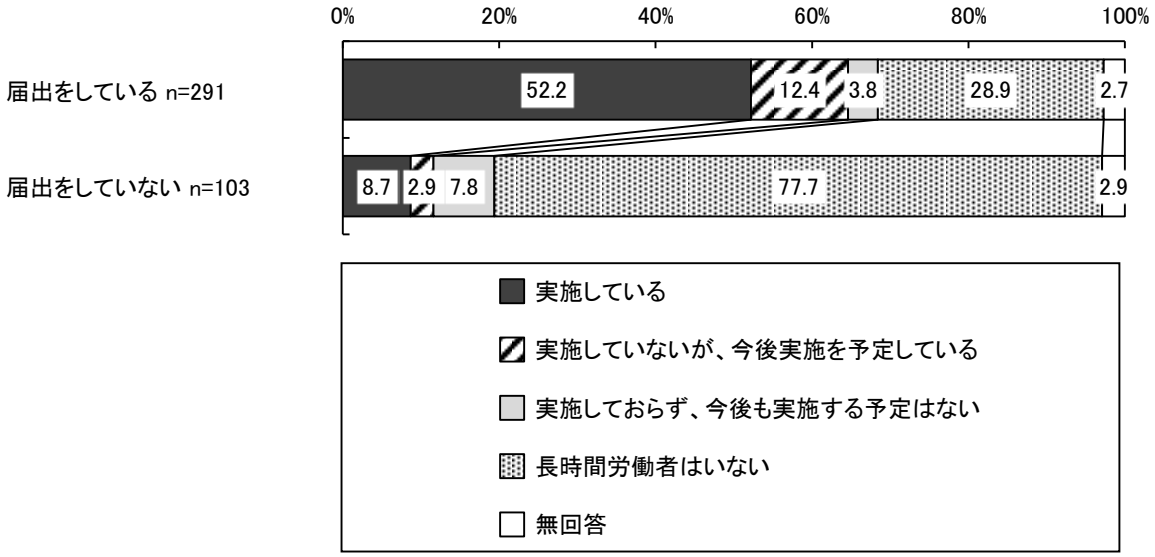
長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況で最も多かったものは「長時間労働はしない」(41.6%)、次に多かったものは「実施している」(40.6%) であった。

図表 2 - 323　長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況

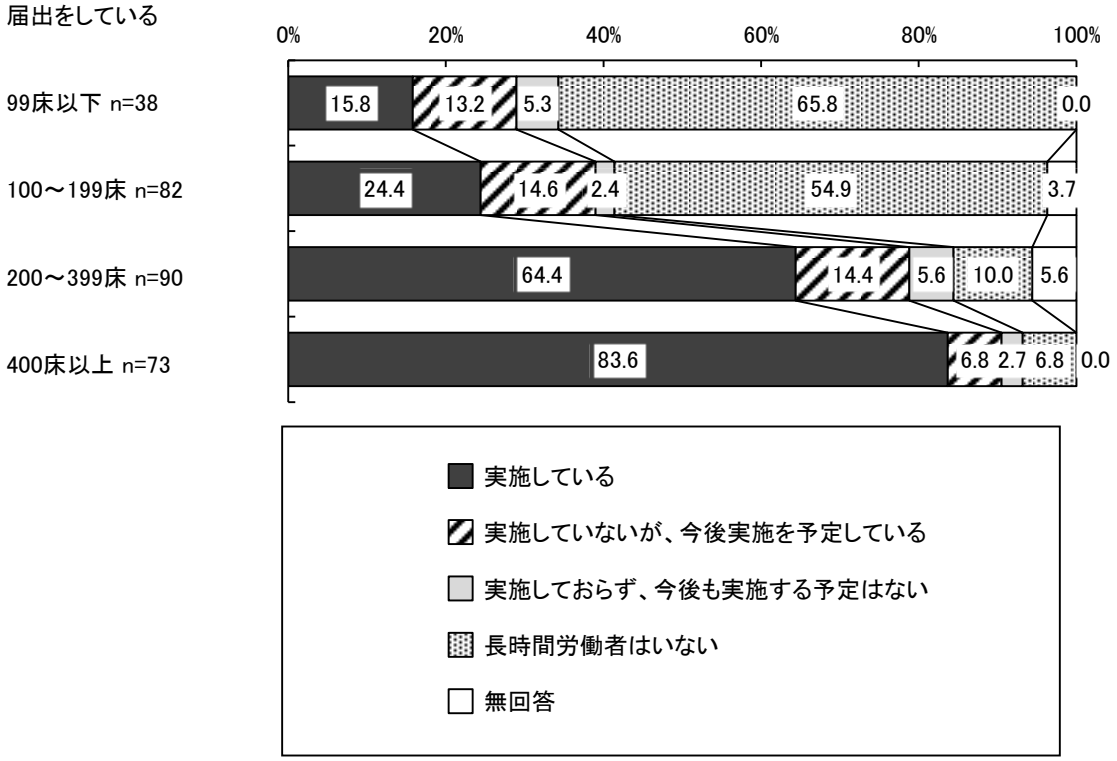


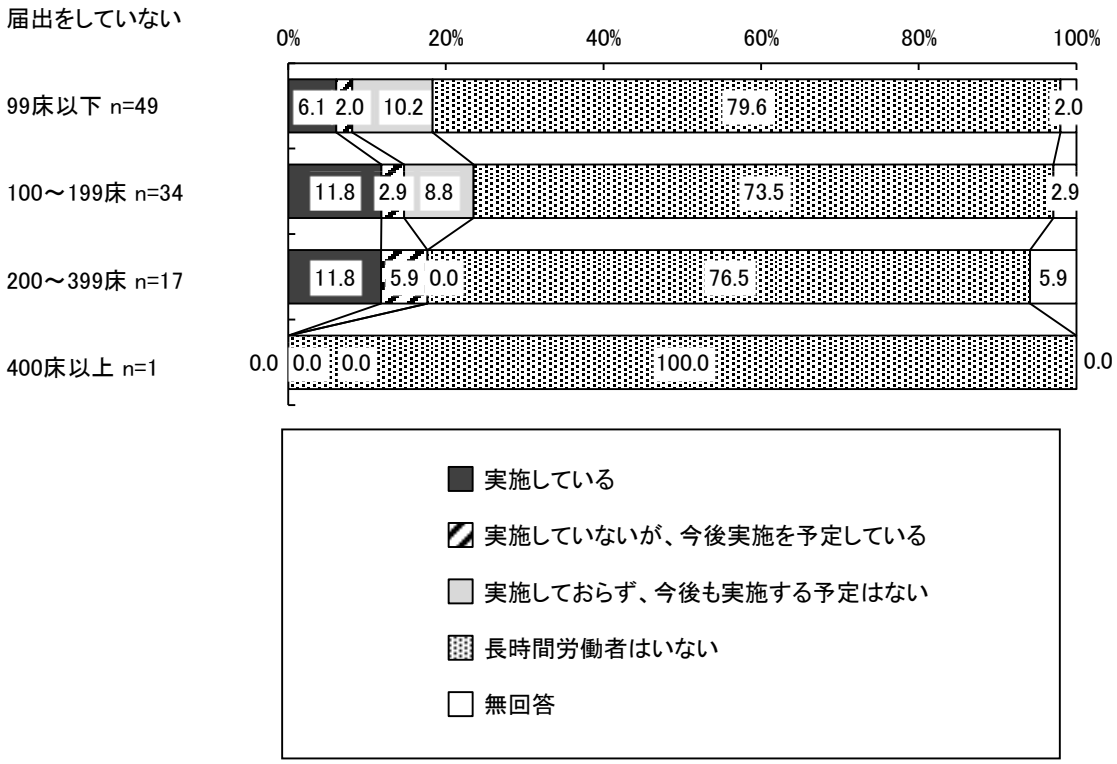
図表 2 - 324　長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別

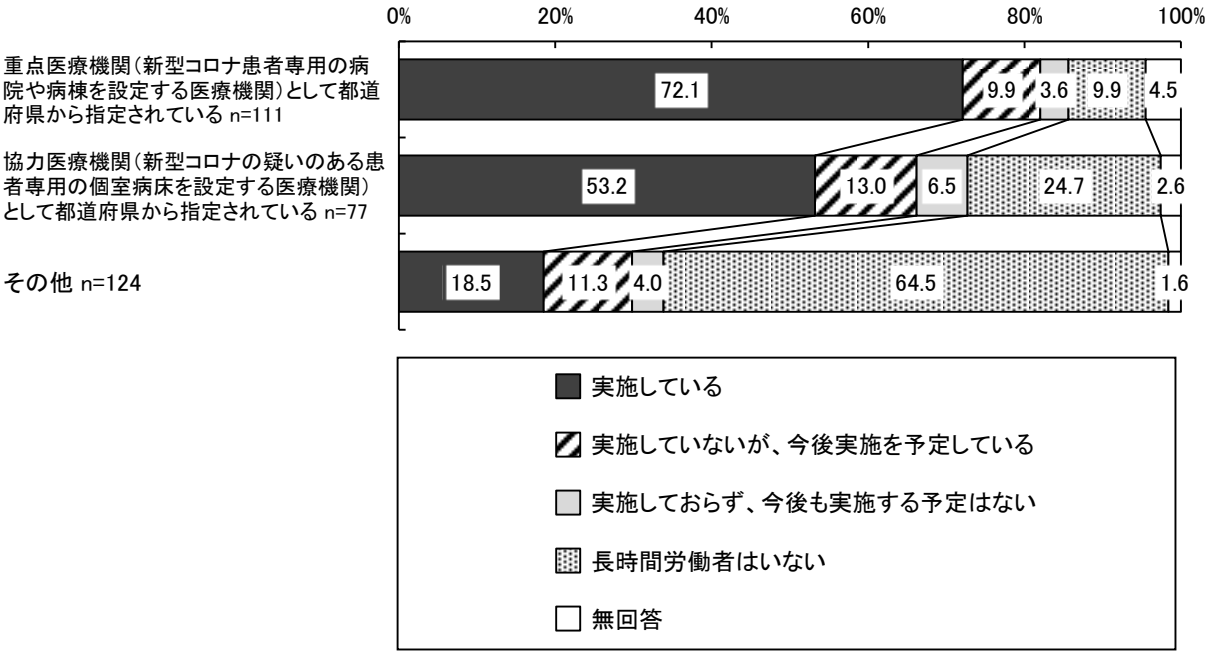


■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別





図表 2 - 325　長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

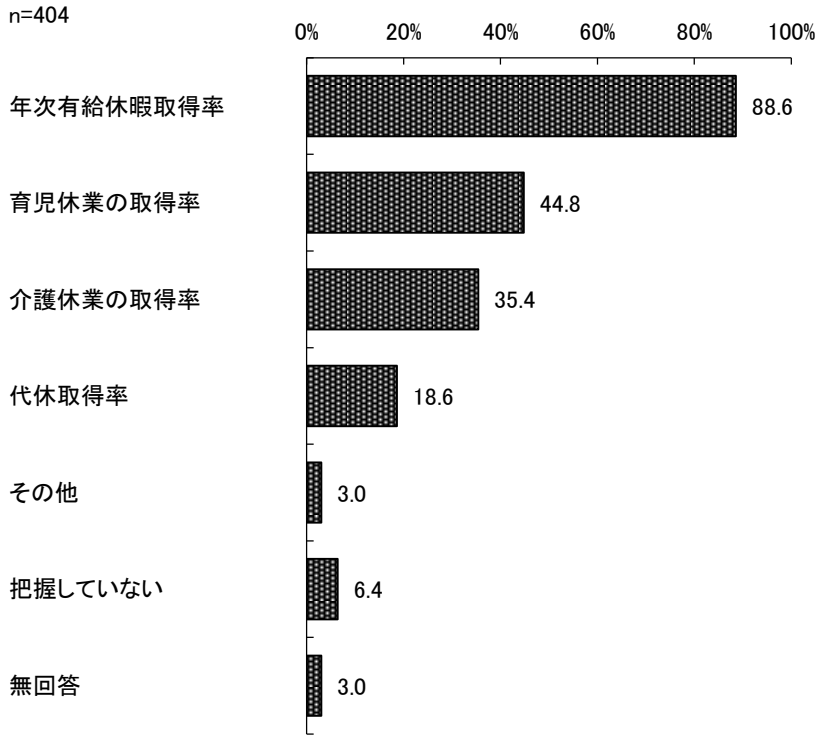


（ウ）労働時間以外の勤務状況として把握している内容

労働時間以外の勤務状況として把握している内容で最も多かったものは「年次有給休暇取得率」（88.6%）であった。

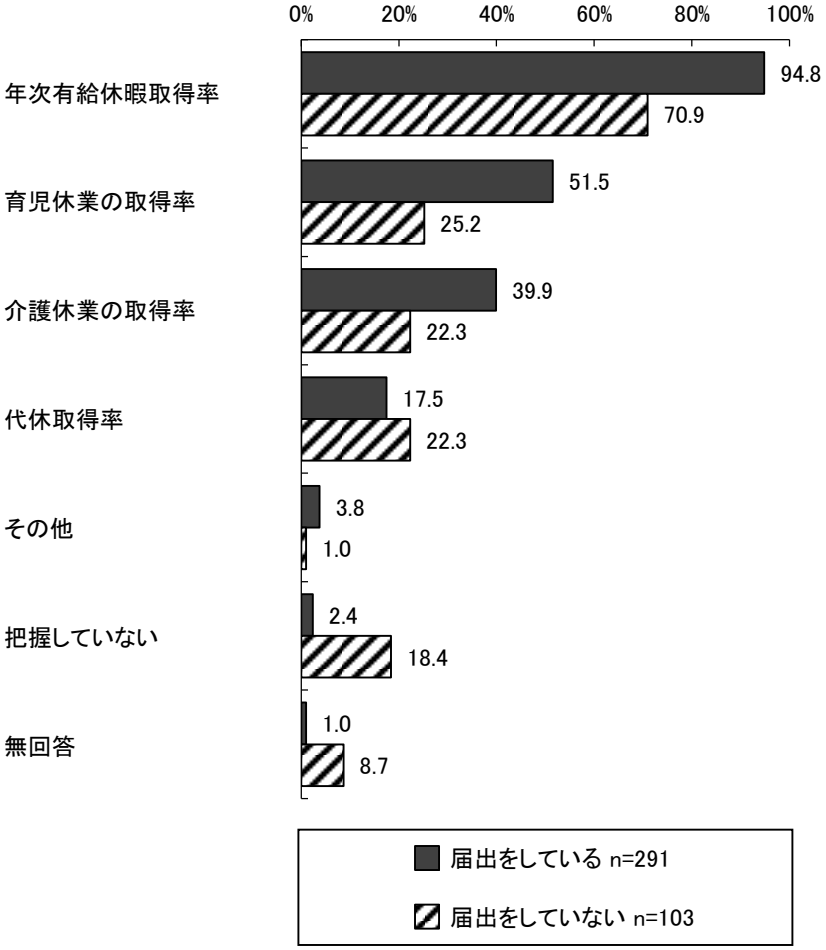
なお、「その他」の回答には、「夏季休暇取得率」、「長期休暇取得状況」、「時短勤務実施者数」、「外勤表勤務状況」。「院内在院時間」等があった。

図表 2 - 326　労働時間以外の勤務状況として把握している内容（複数回答）

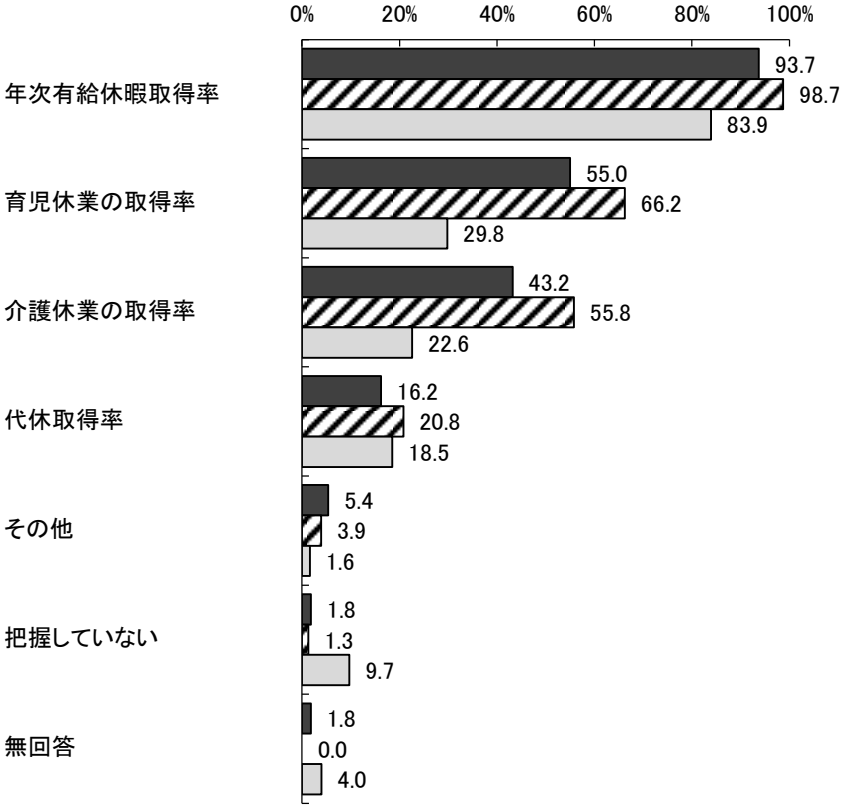


図表２－327　労働時間以外の勤務状況として把握している内容（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



図表 2 - 328　労働時間以外の勤務状況として把握している内容（複数回答）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



■ 重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている n=111

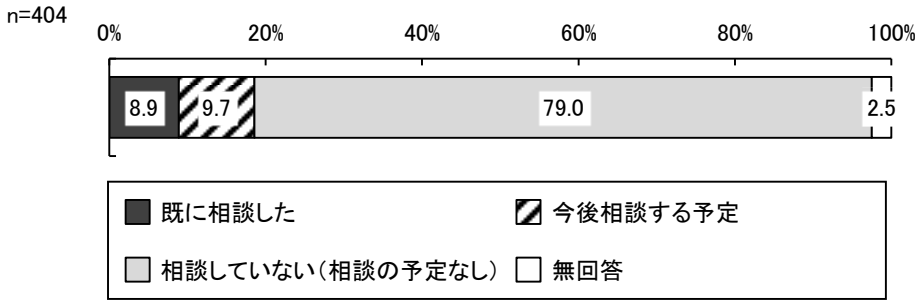
▨ 協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている n=77

□ その他 n=124

（エ）医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無

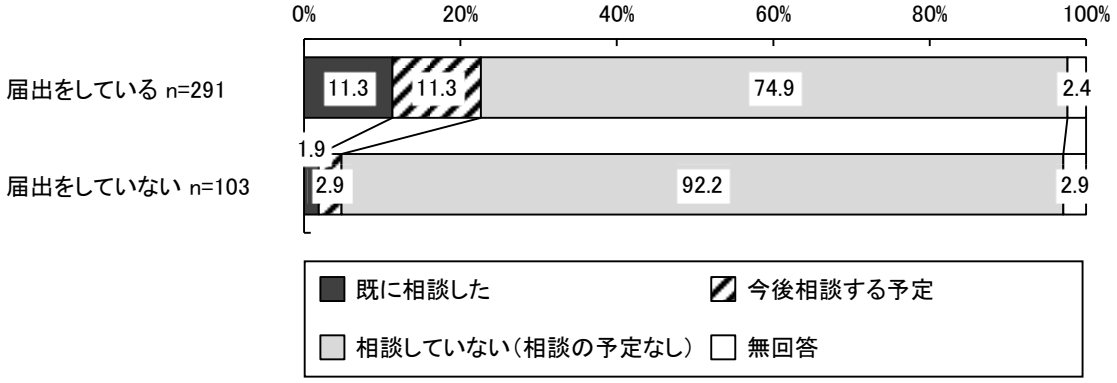
医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無で最も多かったものは「相談していない（相談の予定なし）」（79.0%）であった。

図表 2 - 329　医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無

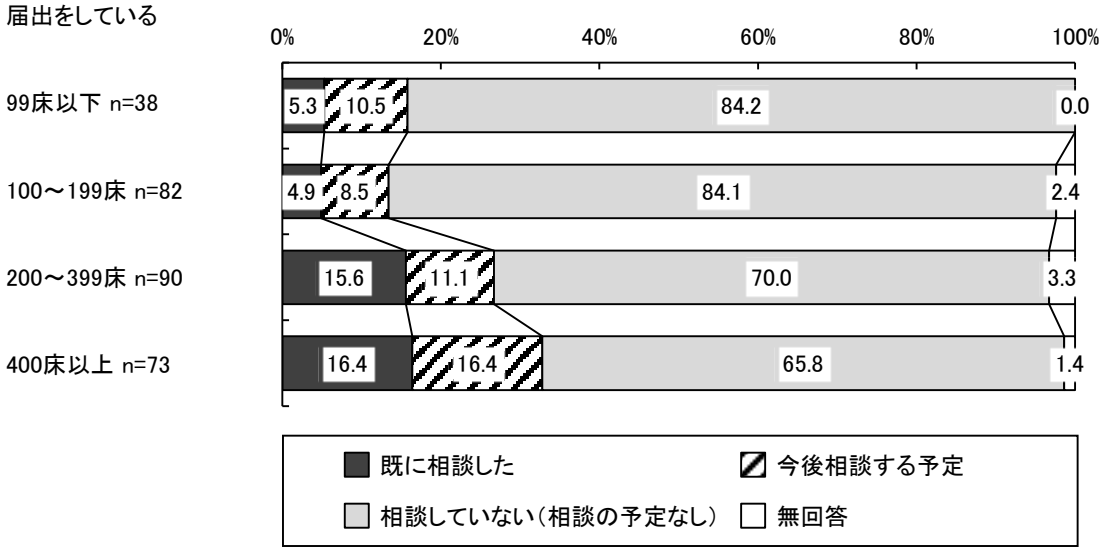


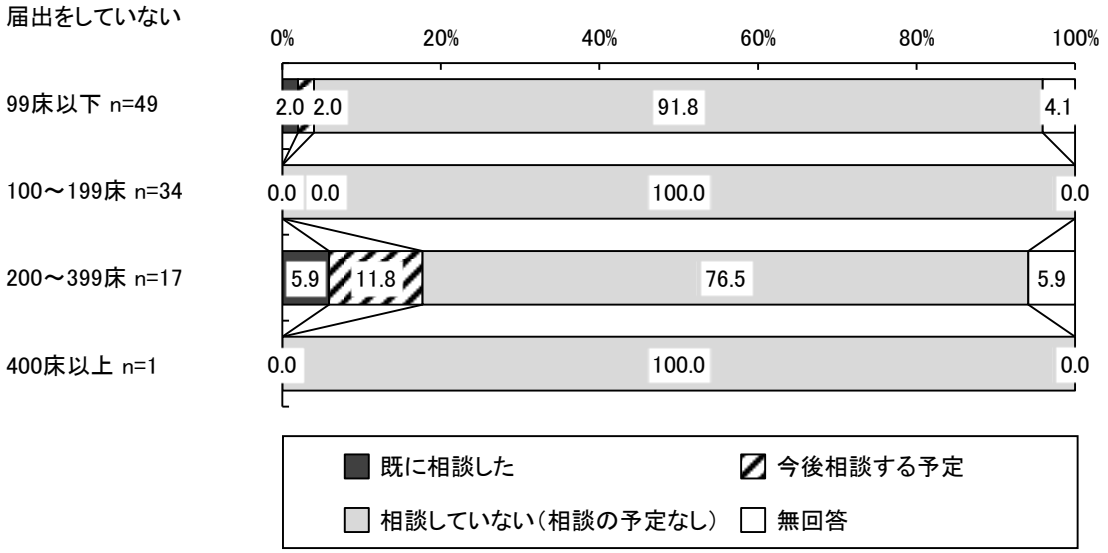
図表 2 - 330　医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別

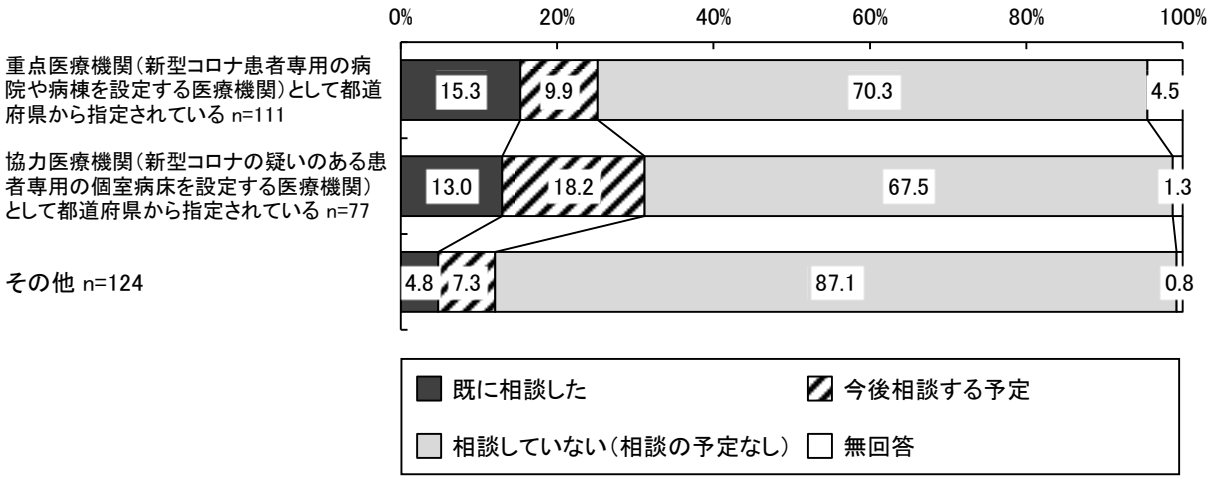


■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別





図表 2 - 331　医療勤務環境改善支援センターへの相談の有無
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

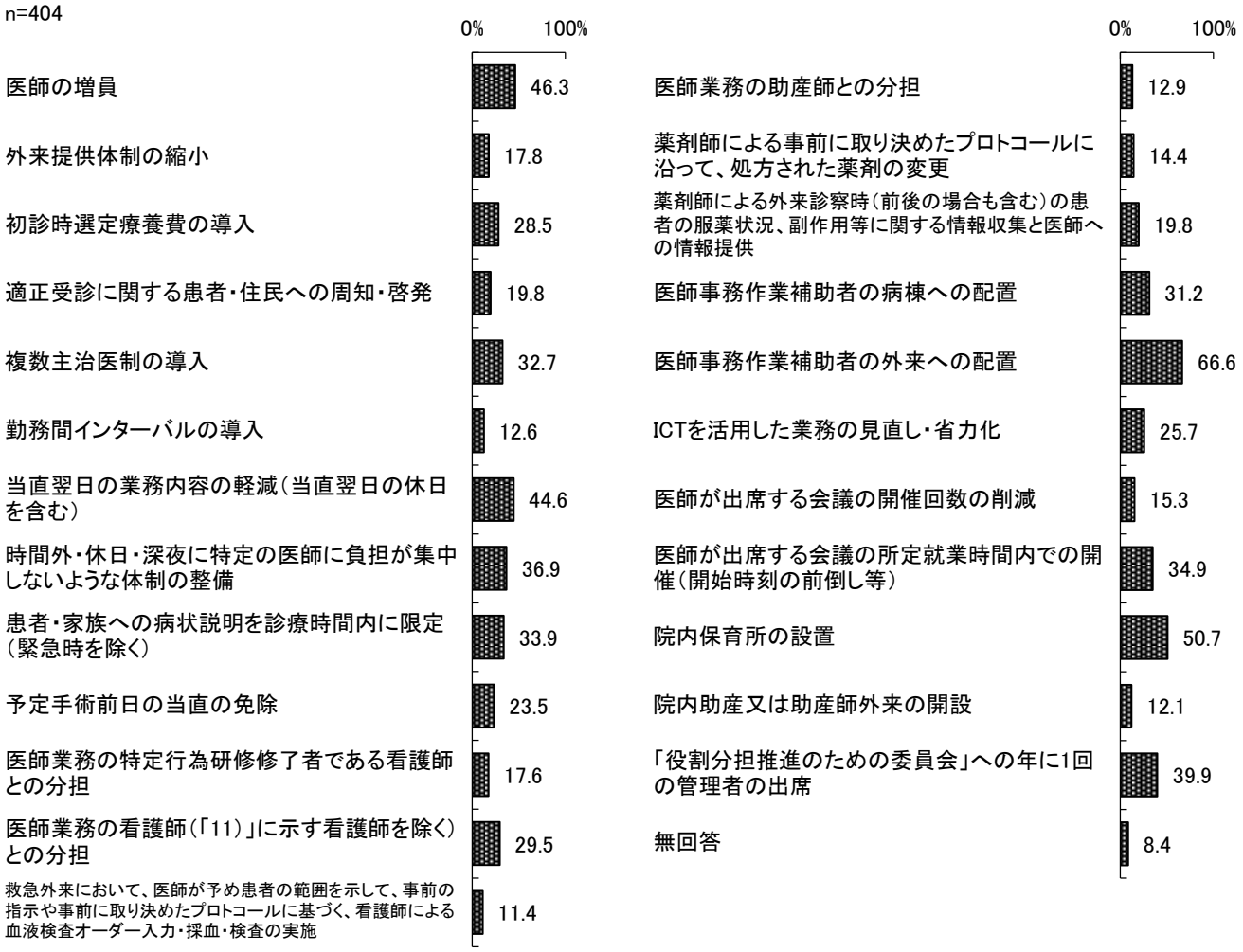


⑤ 医師の負担軽減策として実施している取組

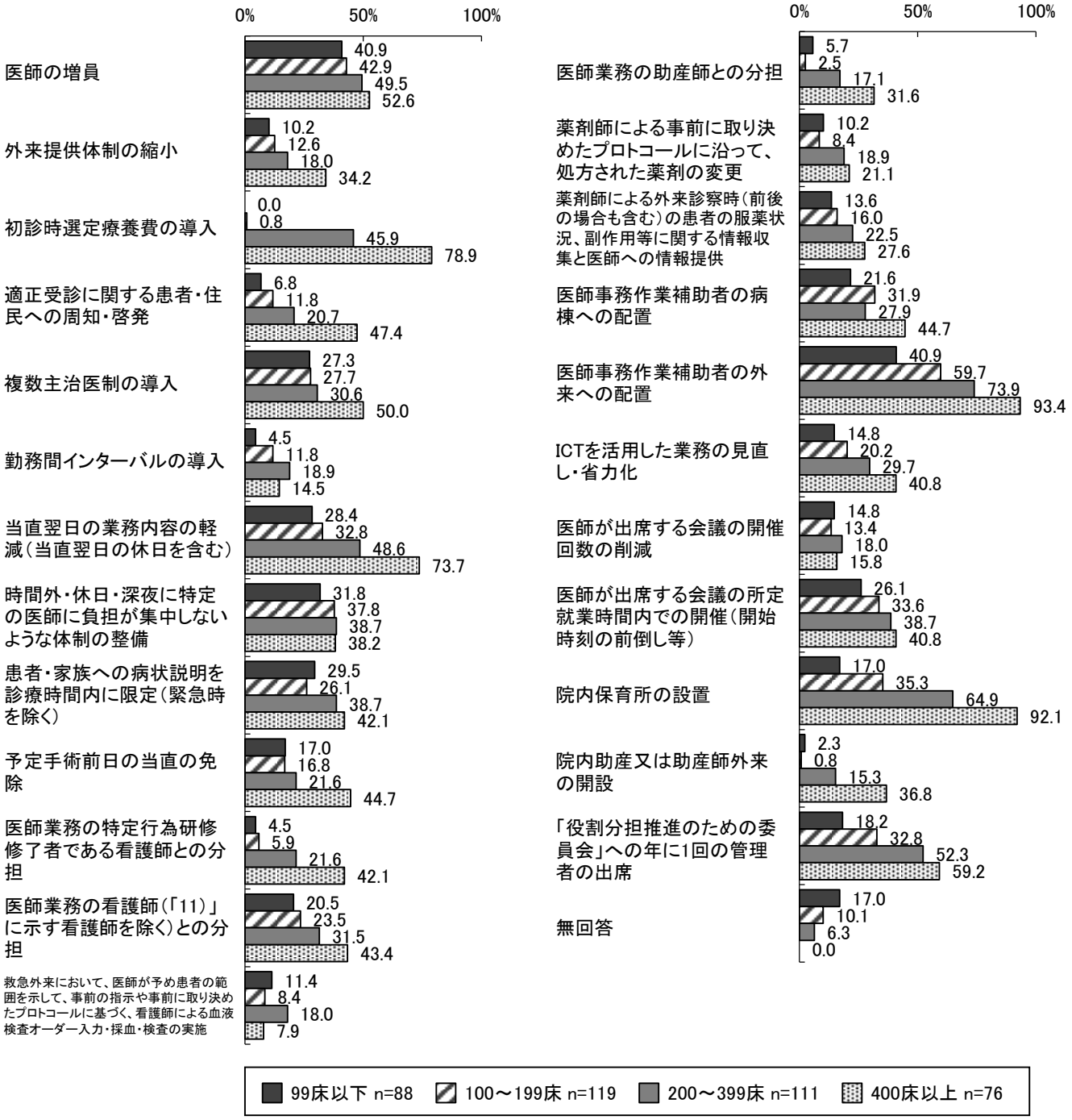
【医師の負担軽減策として実施している取組】

実施している医師の負担軽減策で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置」（66.6%）であった。また、地域医療体制確保加算を届出ている施設において、「医師事務作業補助者の外来への配置」が 87.9%で、「院内保育園の設置」が 79.9%で、「当直翌日の業務内容の軽減（当直翌日の休日を含む）」が 66.7%で実施されていた。

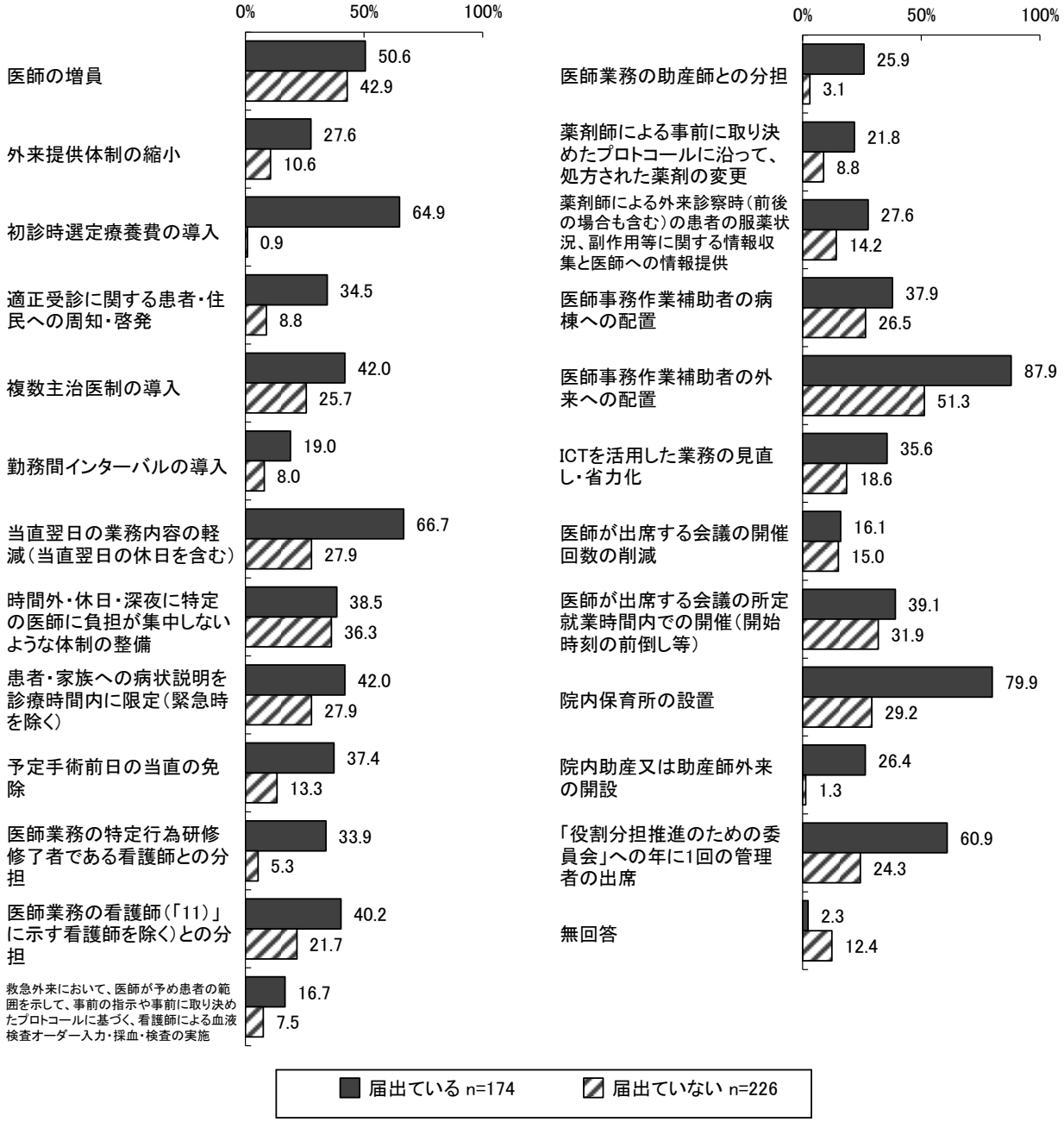
図表 2 - 332　実施している医師の負担軽減策（複数回答）



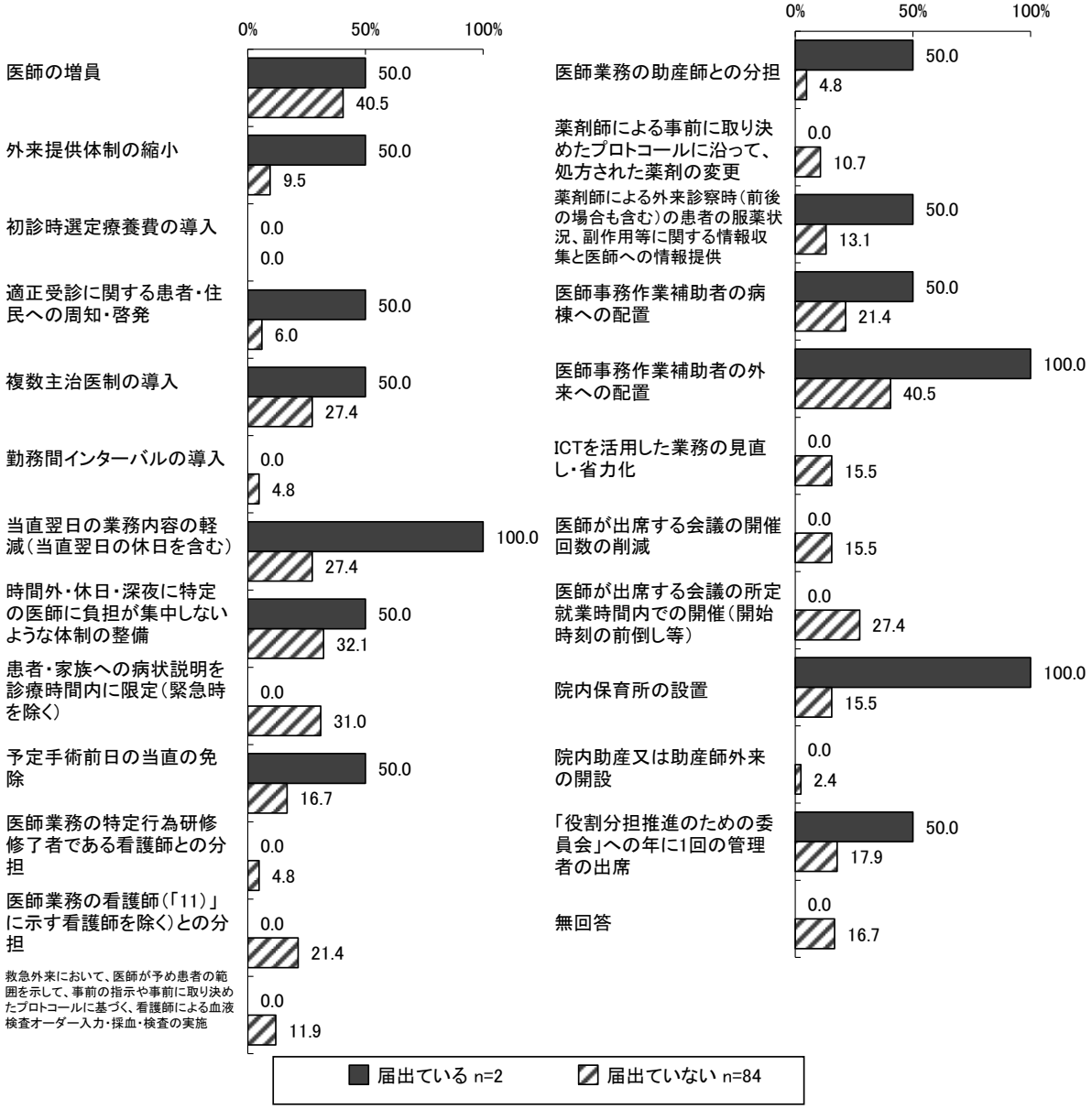
図表 2 - 333　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（病床規模別）



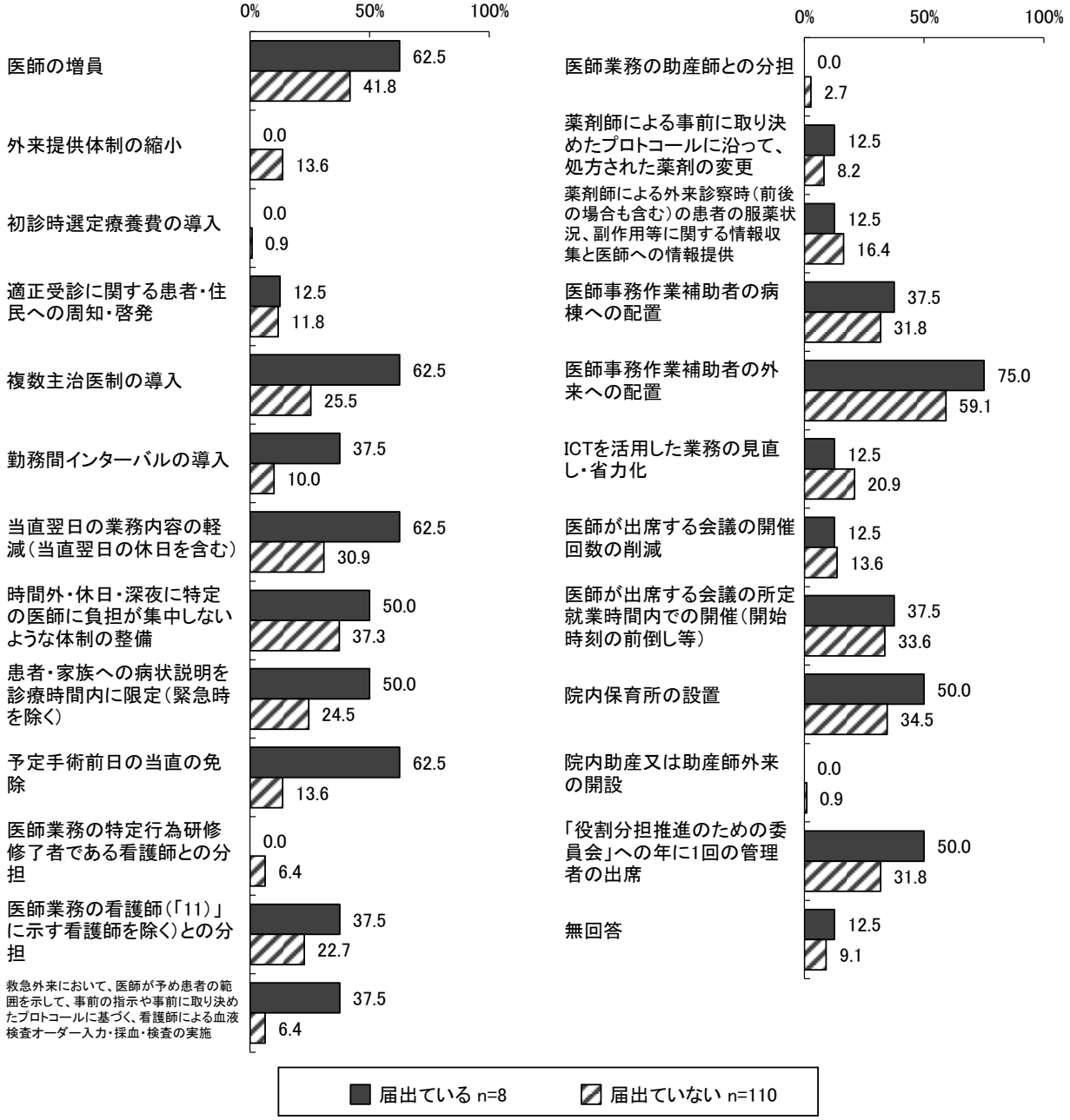
図表 2 - 334　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）



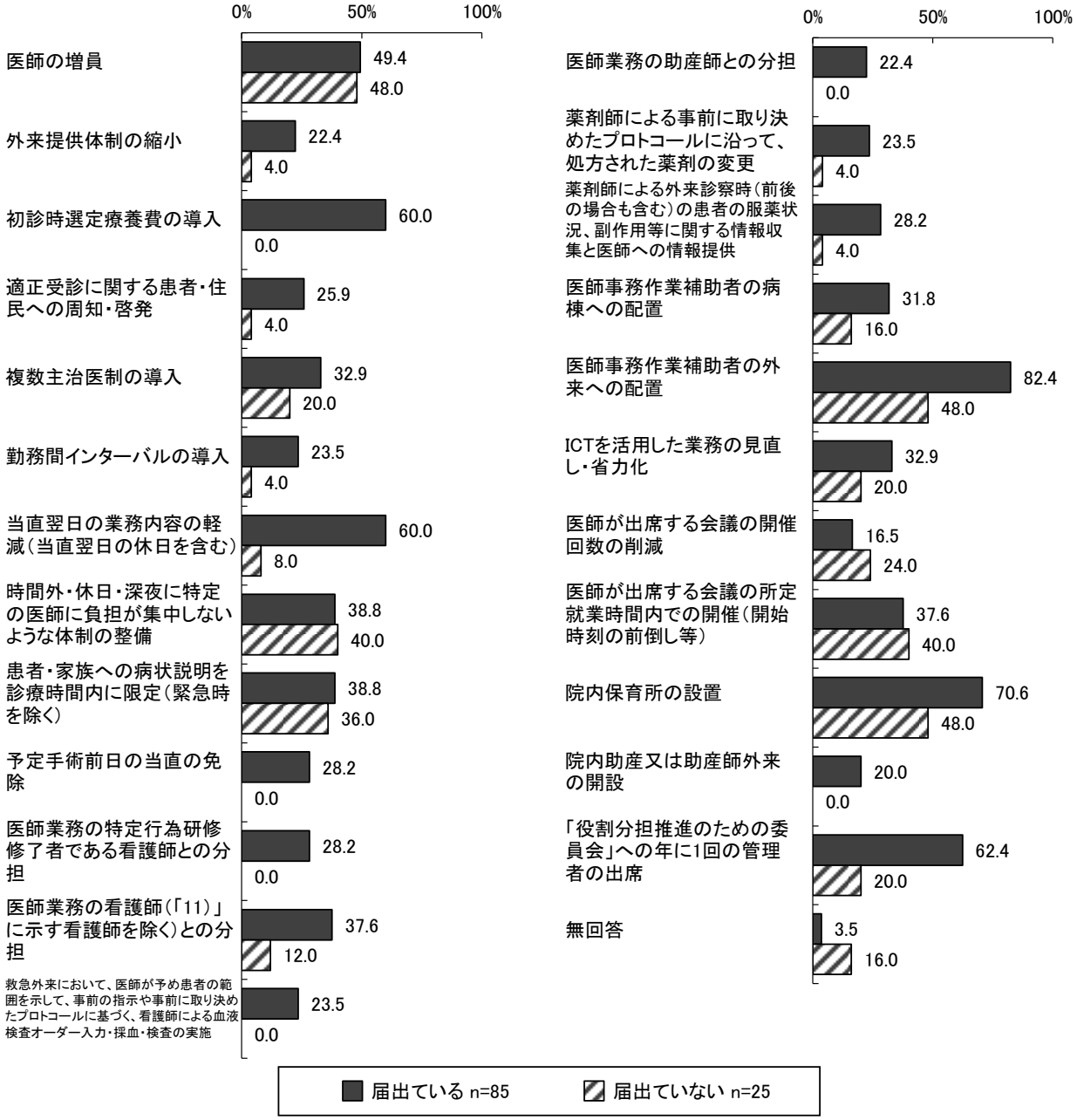
図表 2 - 335　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【99 床以下】



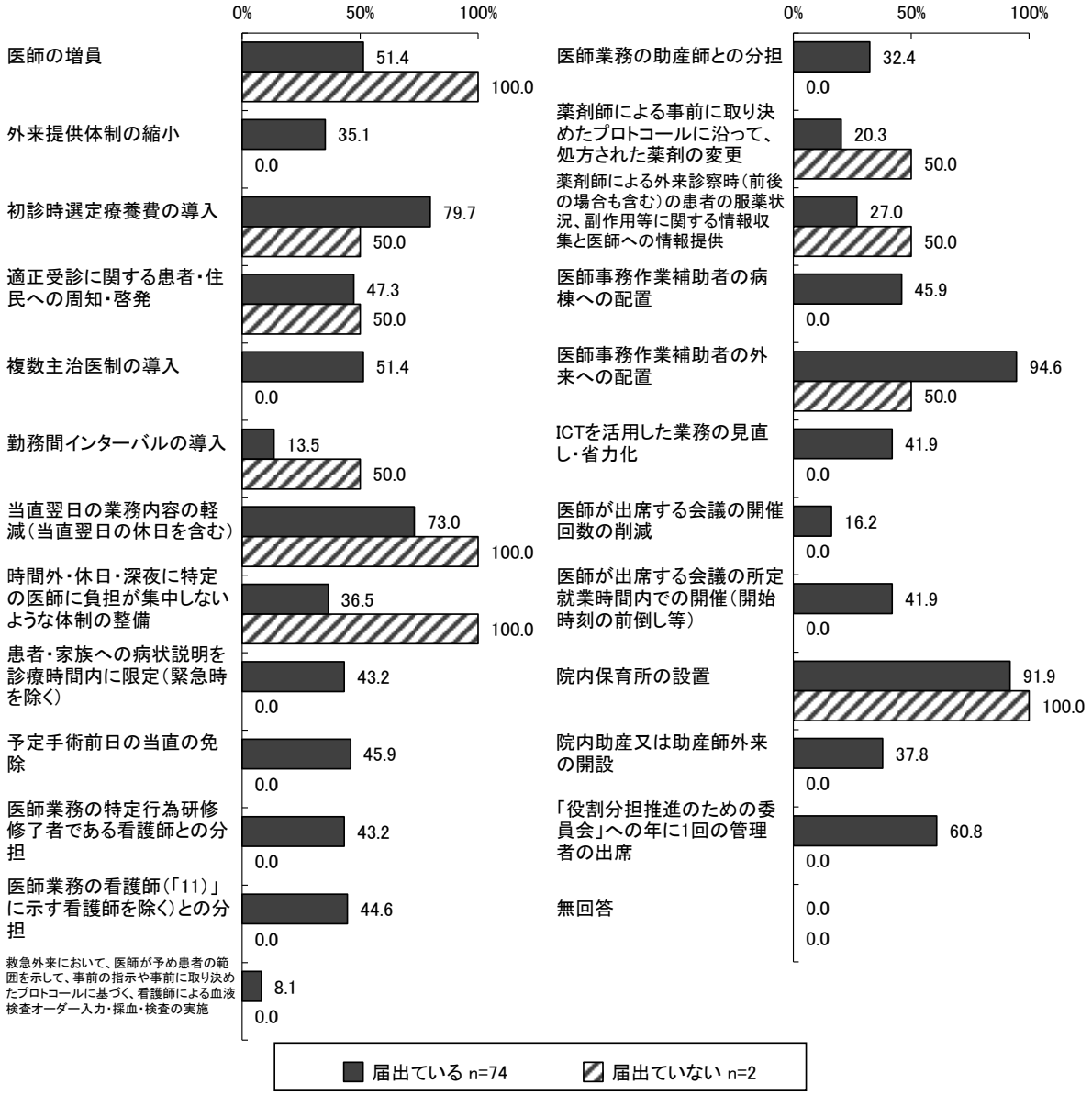
図表 2 - 336　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199 床以下】



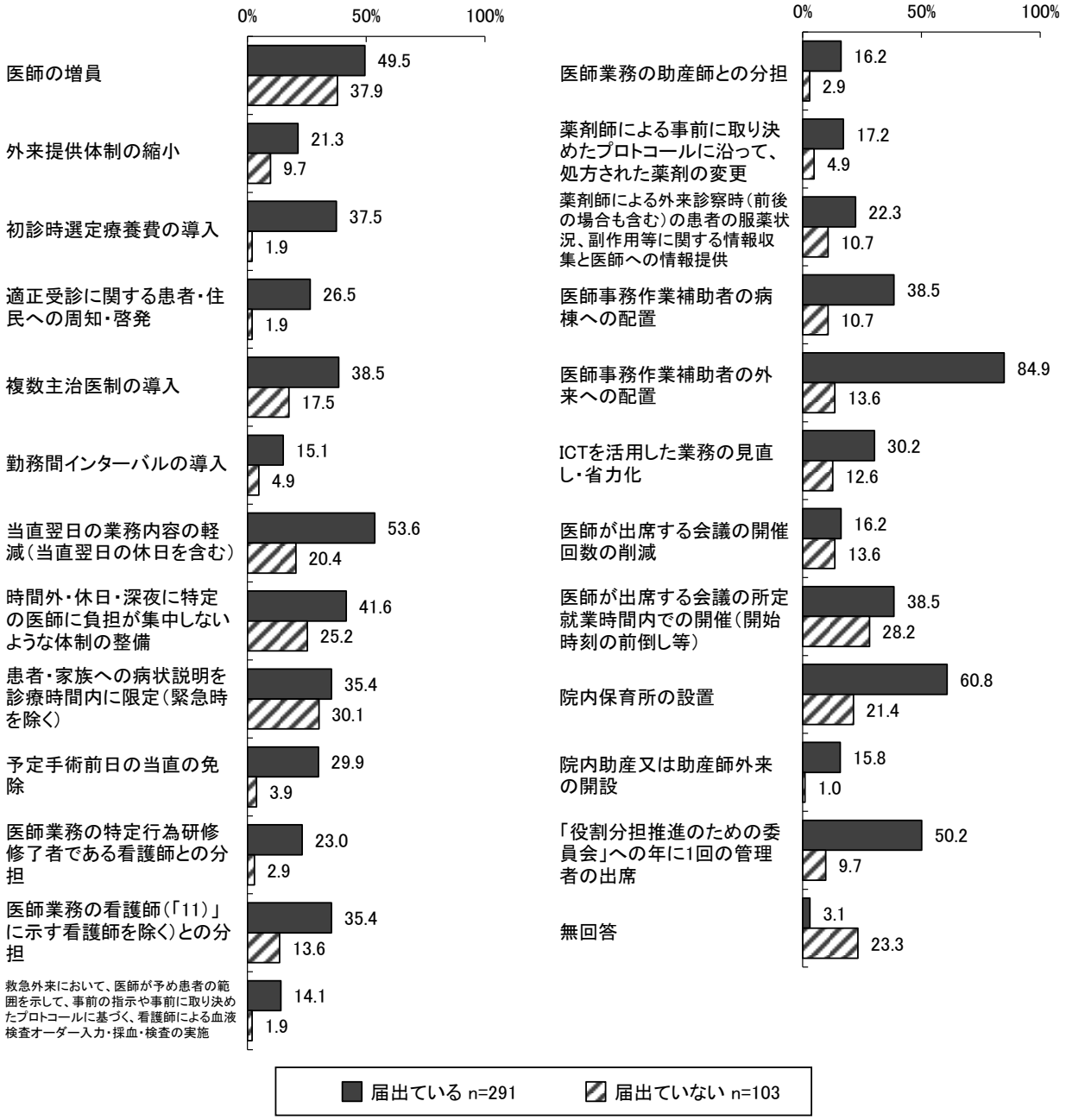
図表 2 - 337　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



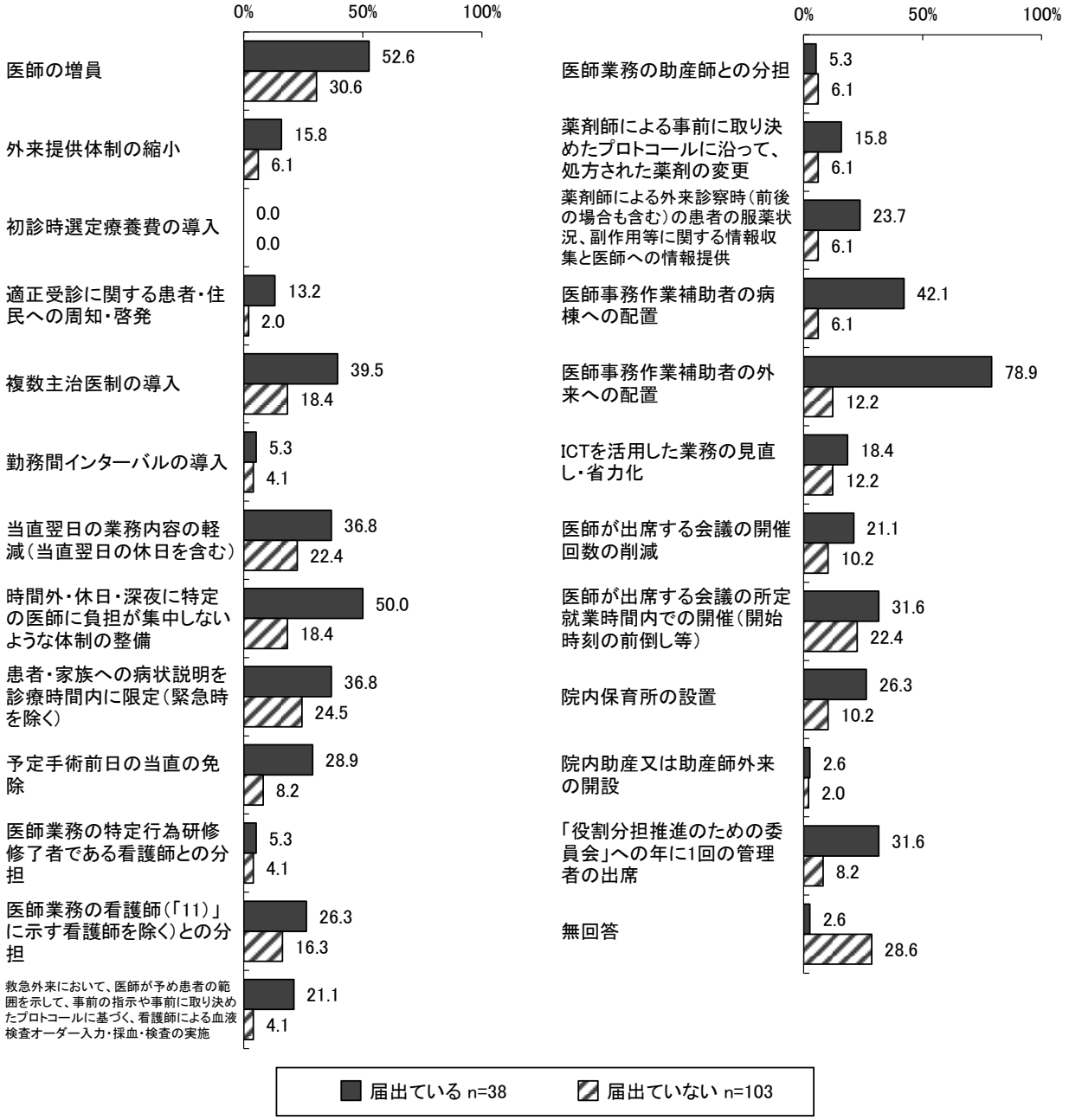
図表 2 - 338　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【400 床以上】



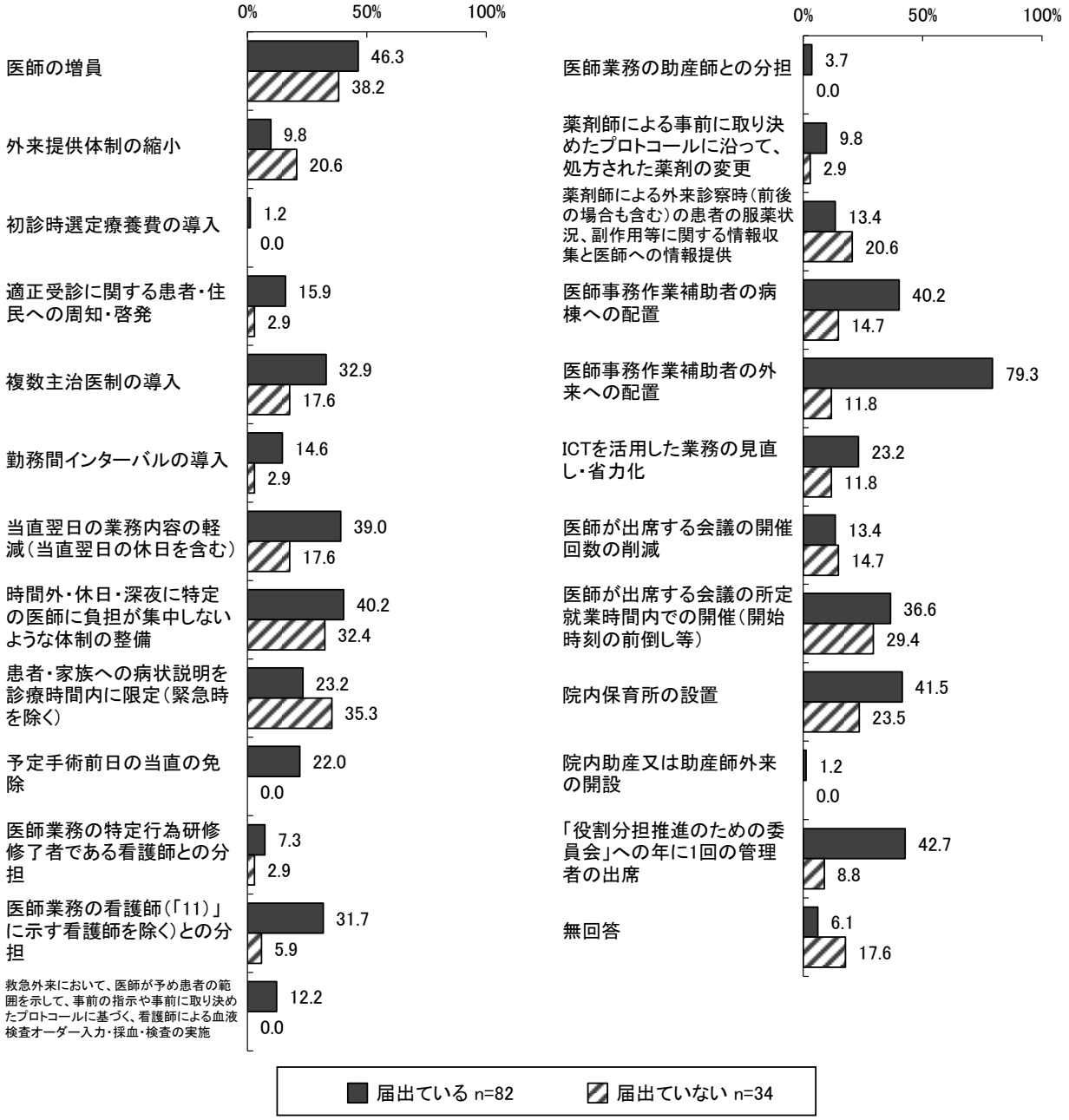
図表 2 - 339　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助加算の届出の有無別）



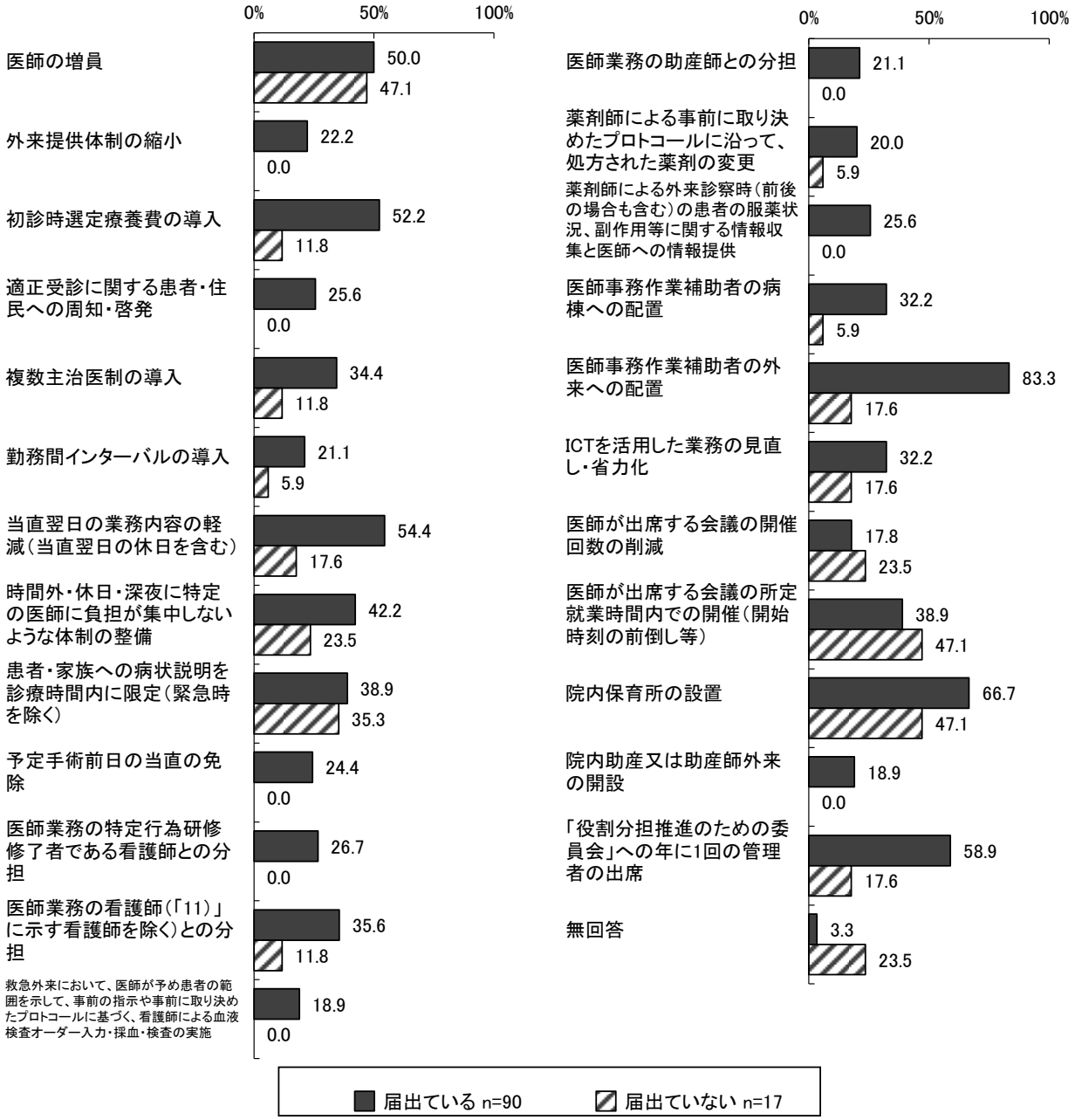
図表 2 - 340　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助加算の届出の有無別、病床規模別）【99 床以下】



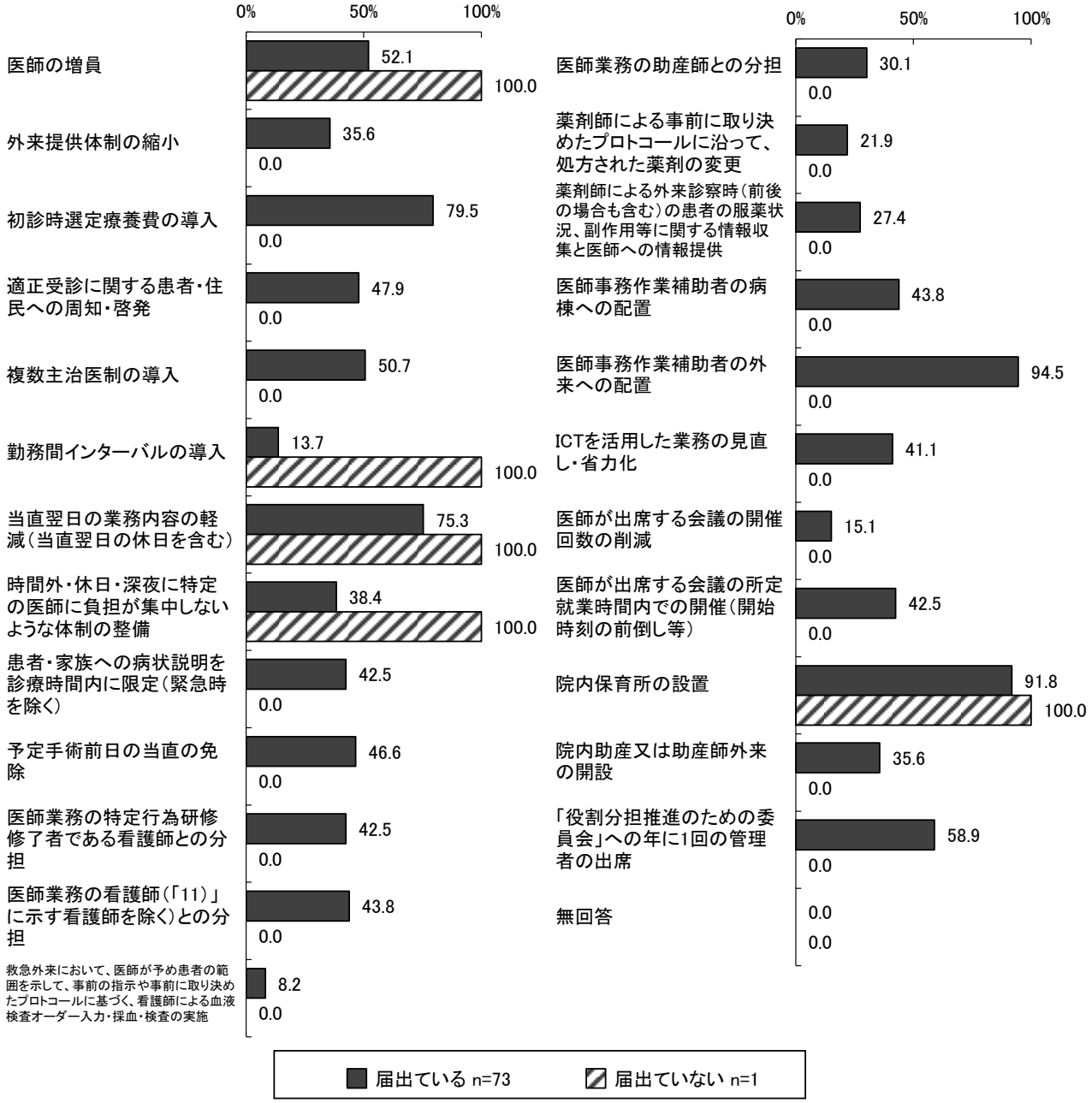
図表 2 - 341　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 342　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



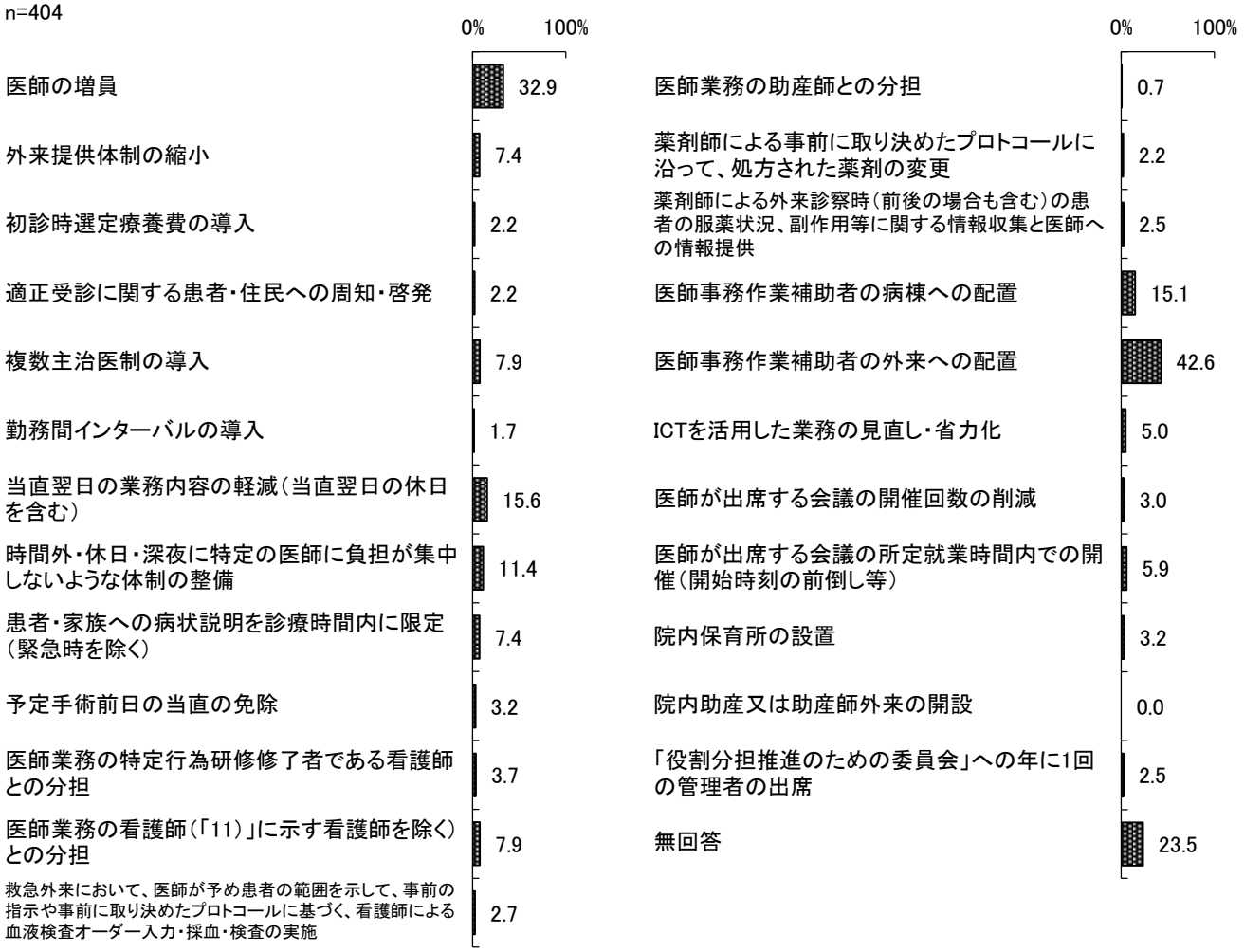
図表 2 - 343　実施している医師の負担軽減策（複数回答）
（医師事務作業補助加算の届出の有無別、病床規模別）【400 床以上】



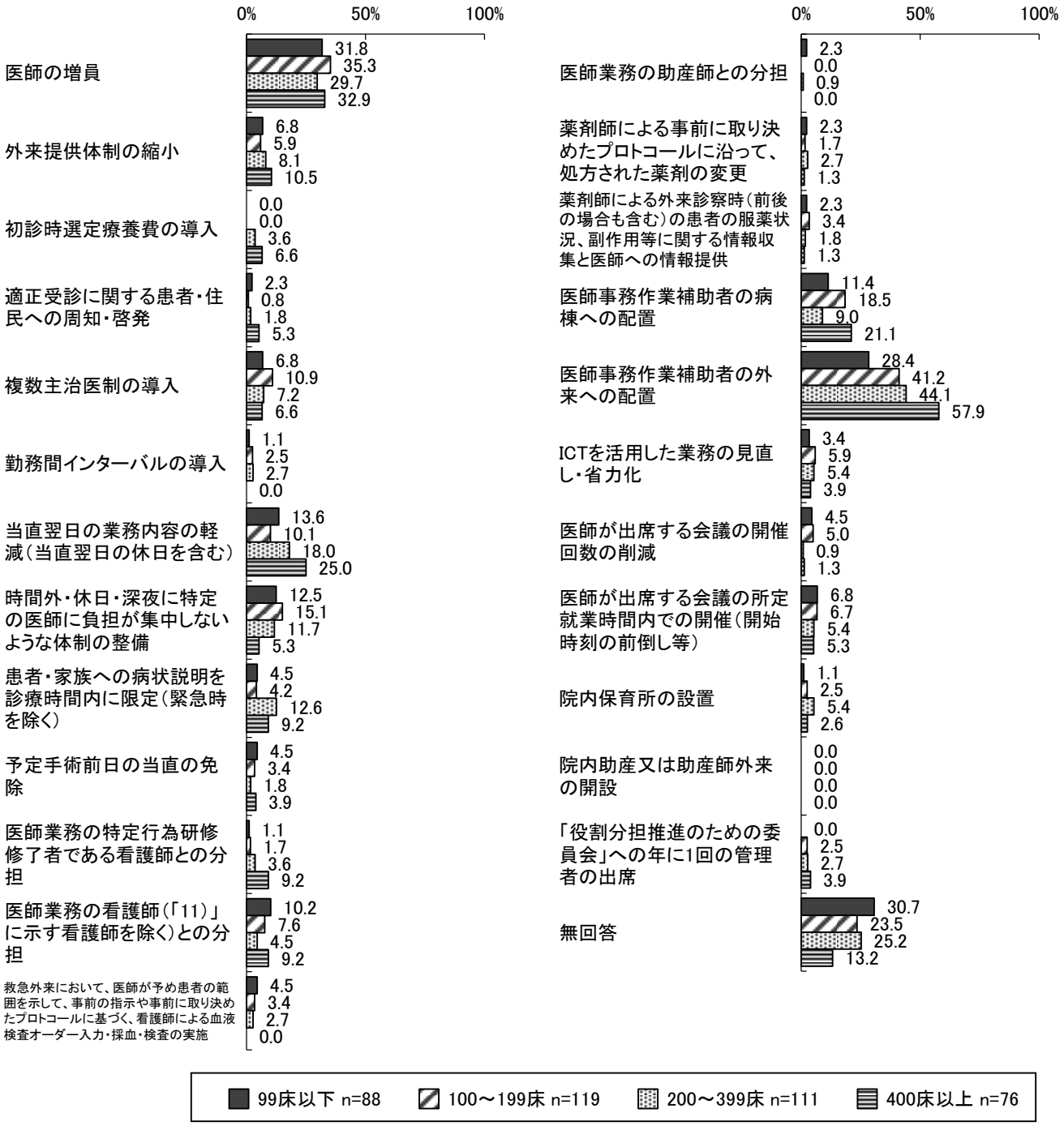
【医師の負担軽減策として特に効果がある取組】

医師の負担軽減策として特に効果のある取組で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置」（42.6%）であった。また、地域医療体制確保加算を届出ている施設において、「医師事務作業補助者の外来への配置」が 53.4%で、「医師の増員」が 29.9%で「当直翌日の業務内容の軽減（当直翌日の休日を含む）」が 22.4%であった。

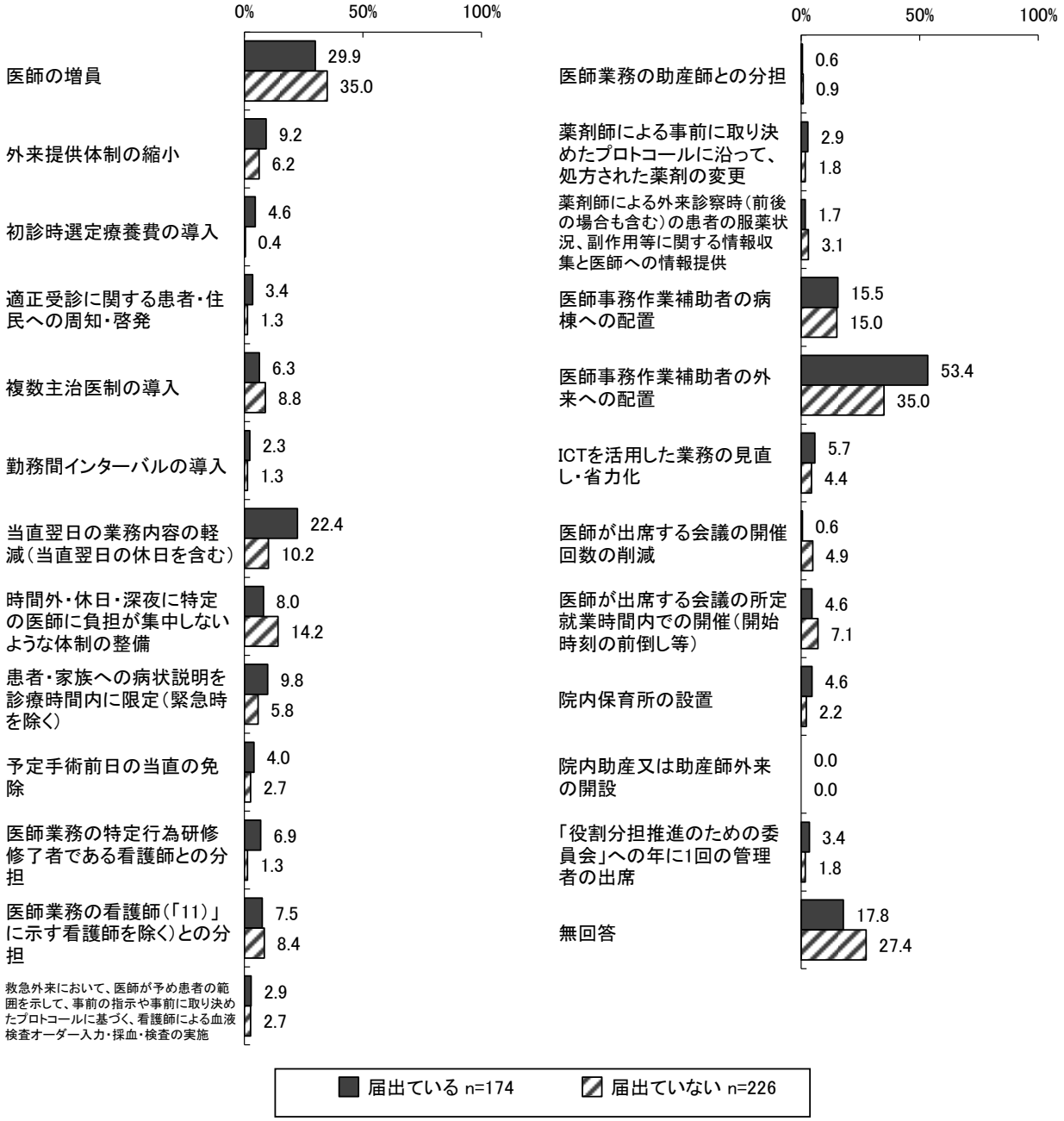
図表 2 - 344　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）



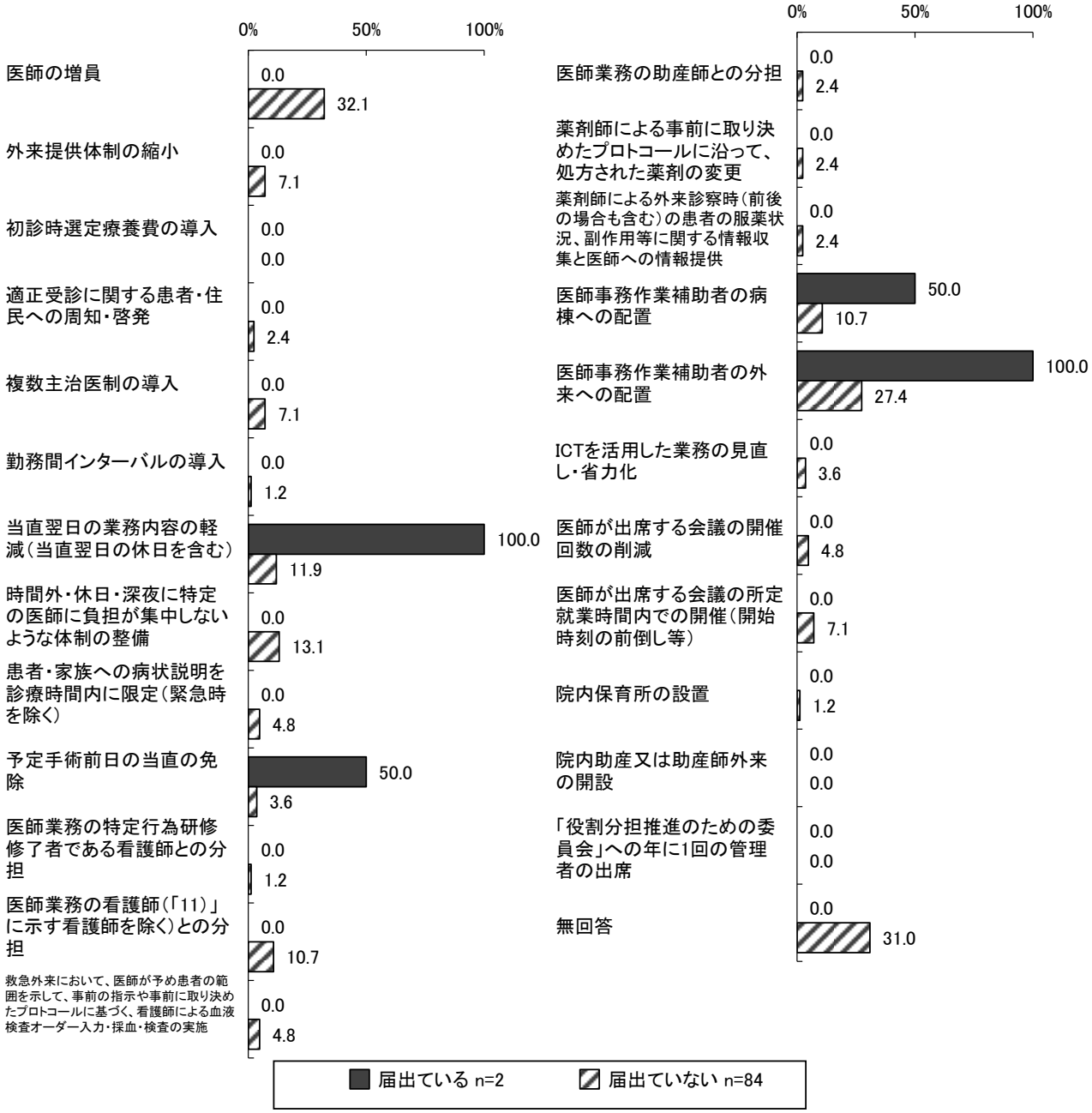
図表 2 - 345　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（病床規模別）



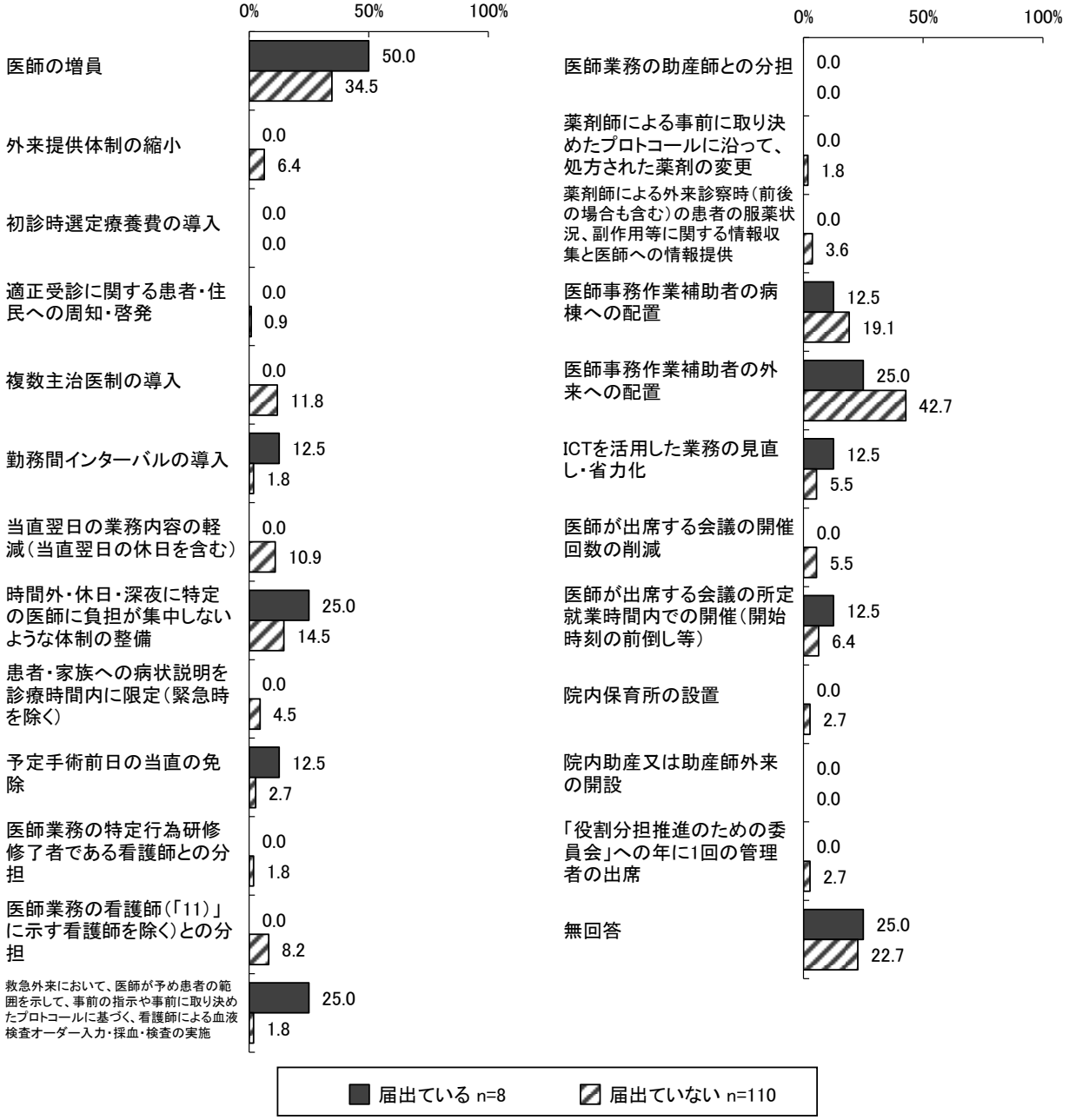
図表 2 - 346　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別）



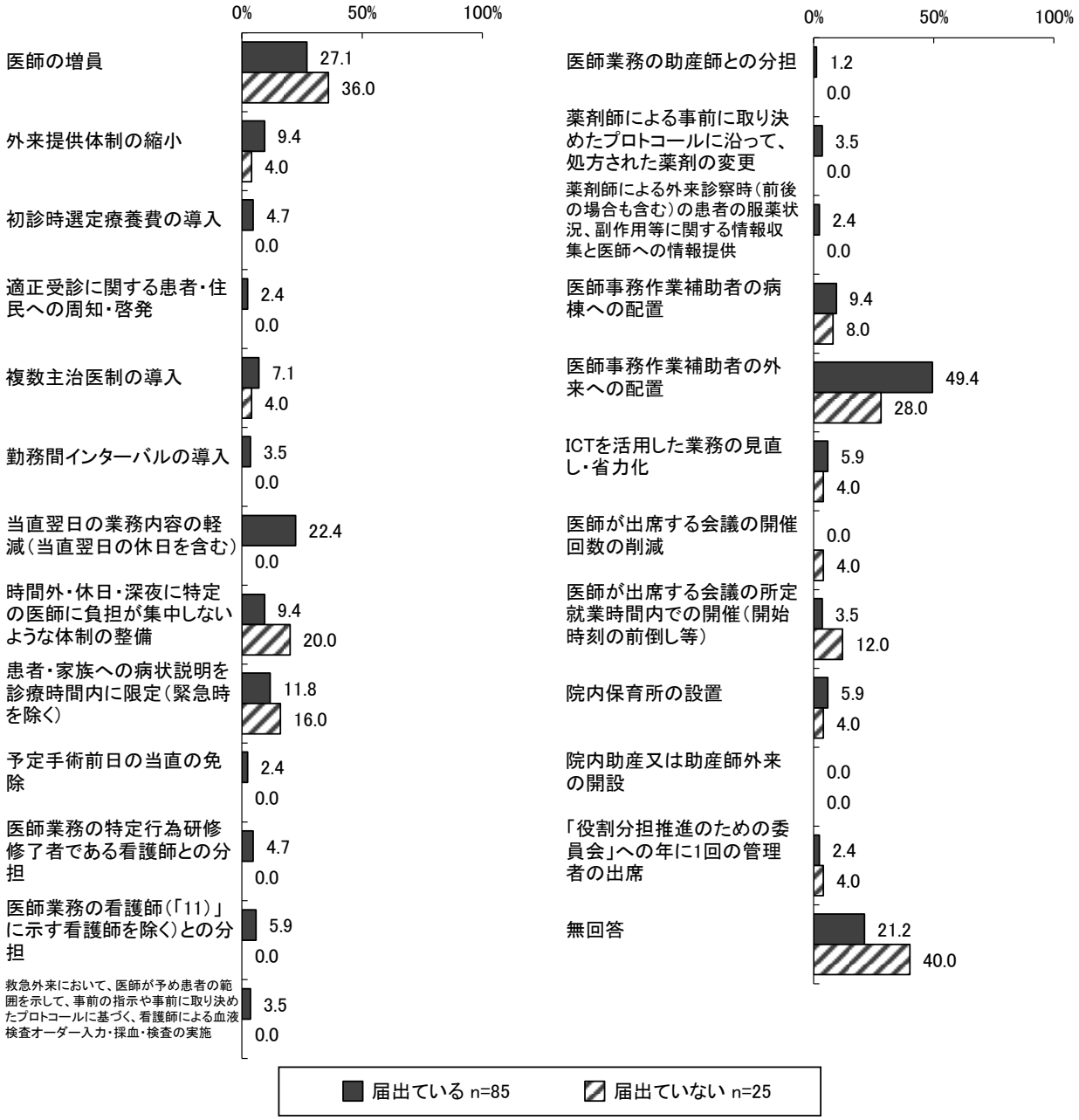
図表 2 - 347　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【99 床以下】）



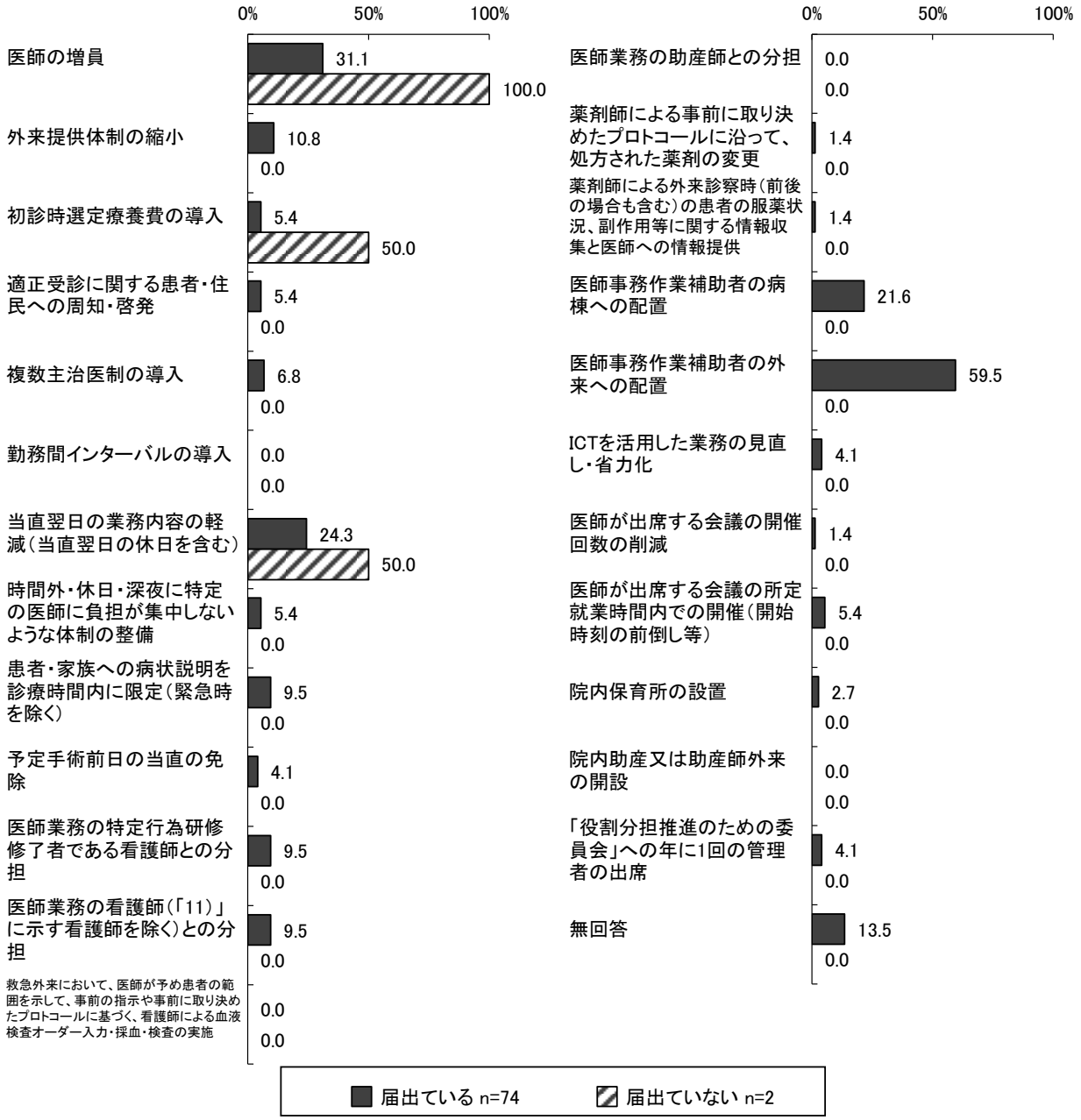
図表 2 - 348　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199 床】以下）



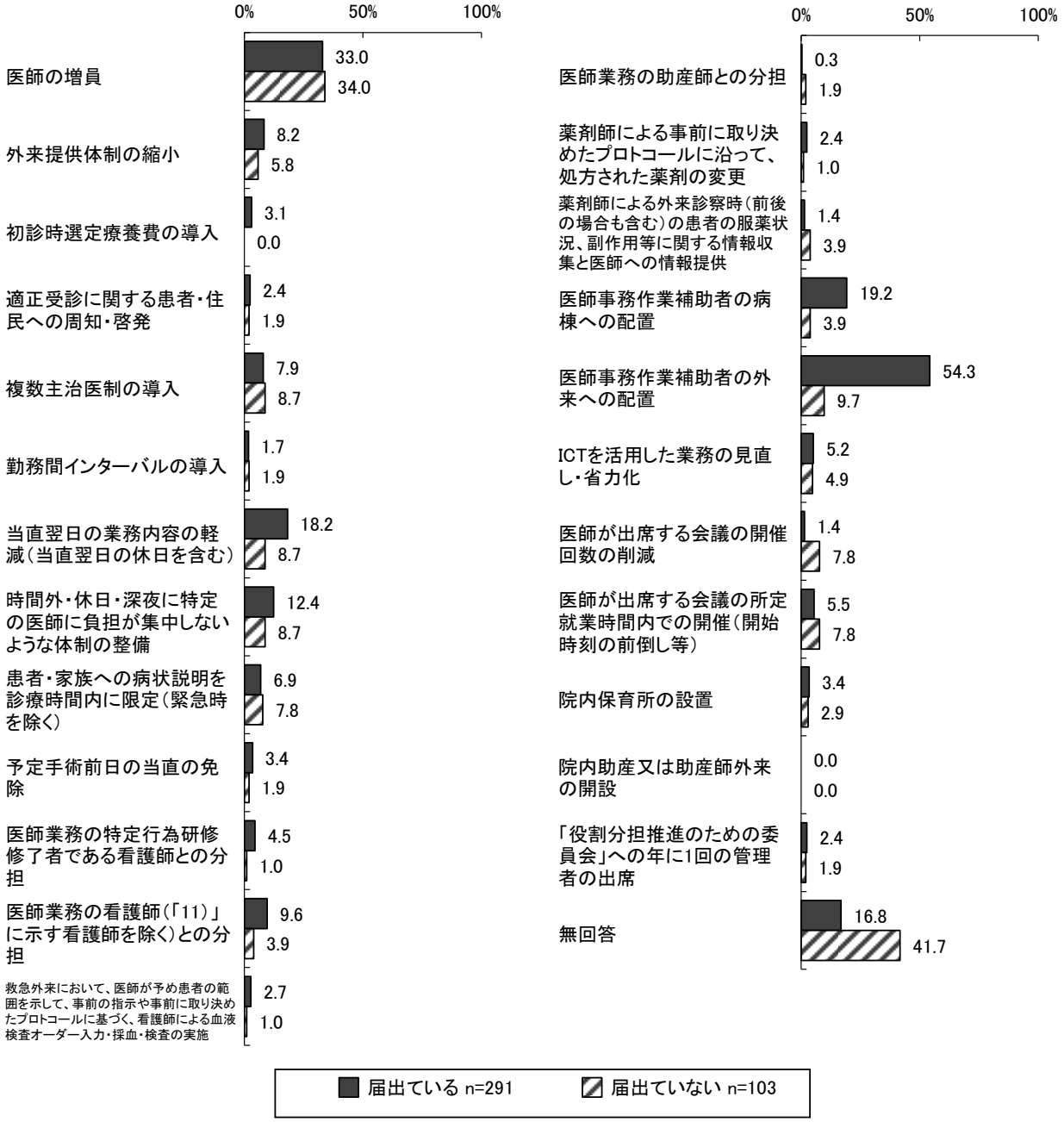
図表 2 - 349　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】）



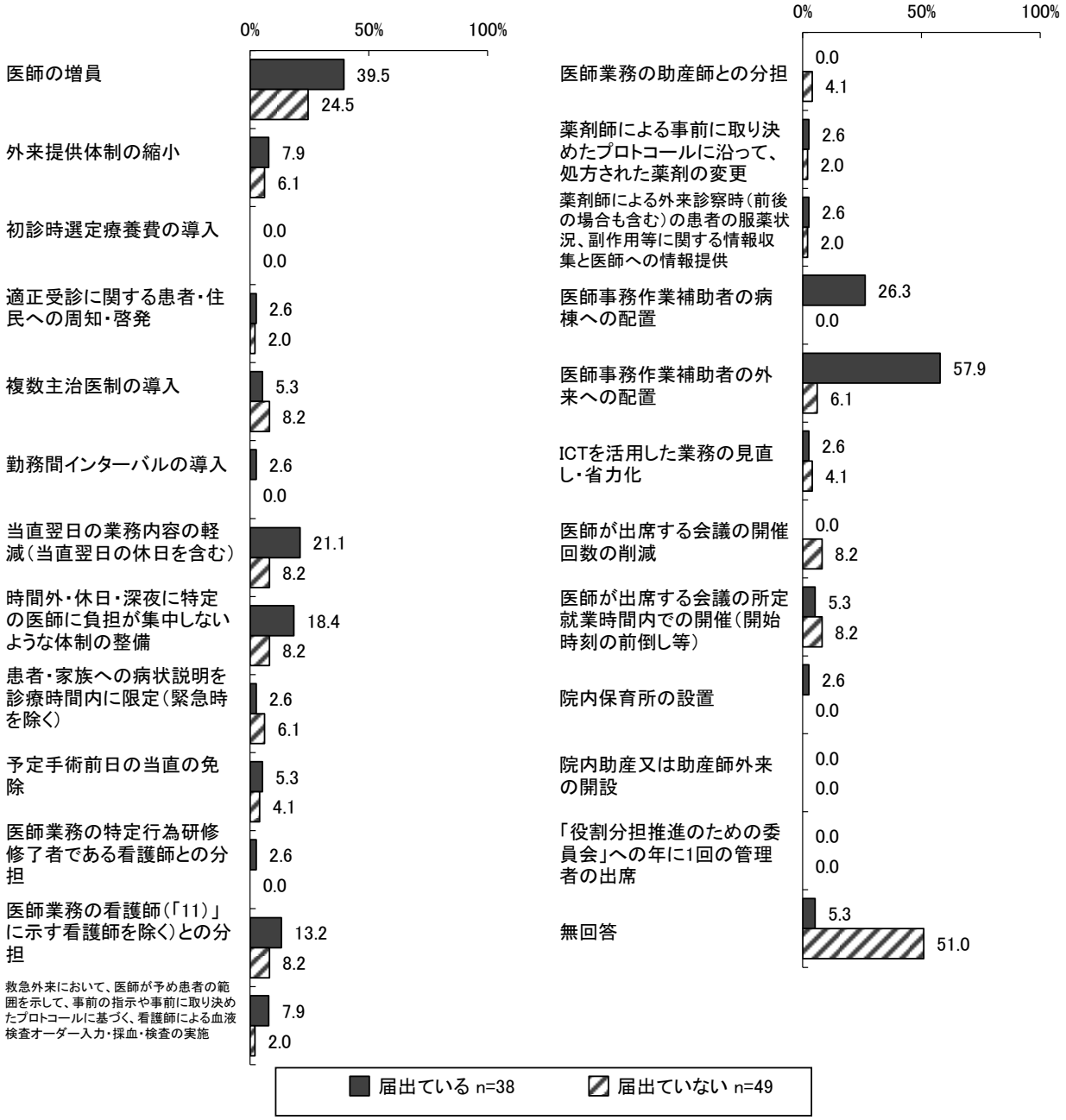
図表 2 - 350　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（地域医療体制確保加算の届出の有無別、病床規模別）【400 床以上】）



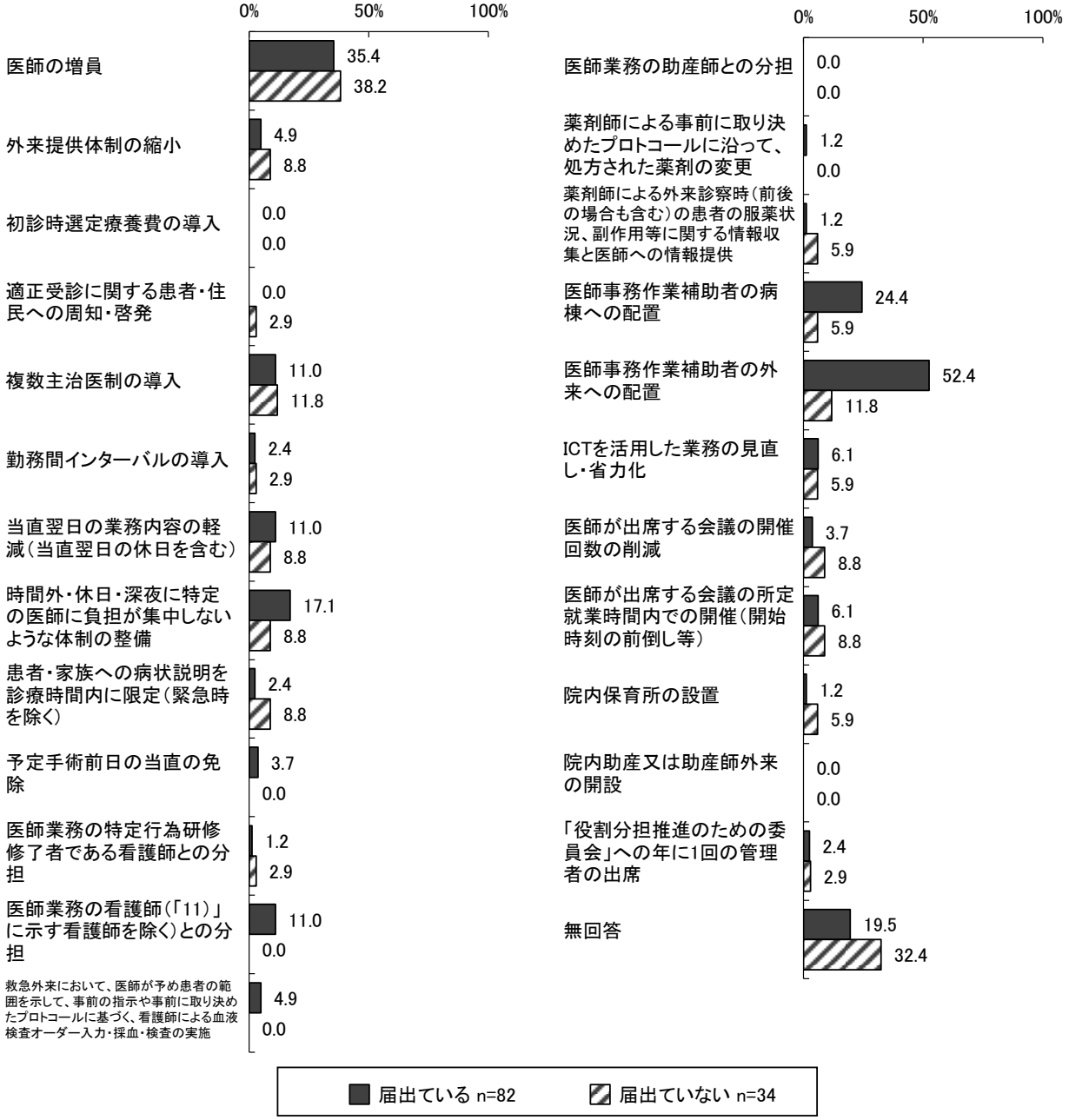
図表 2 - 351　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



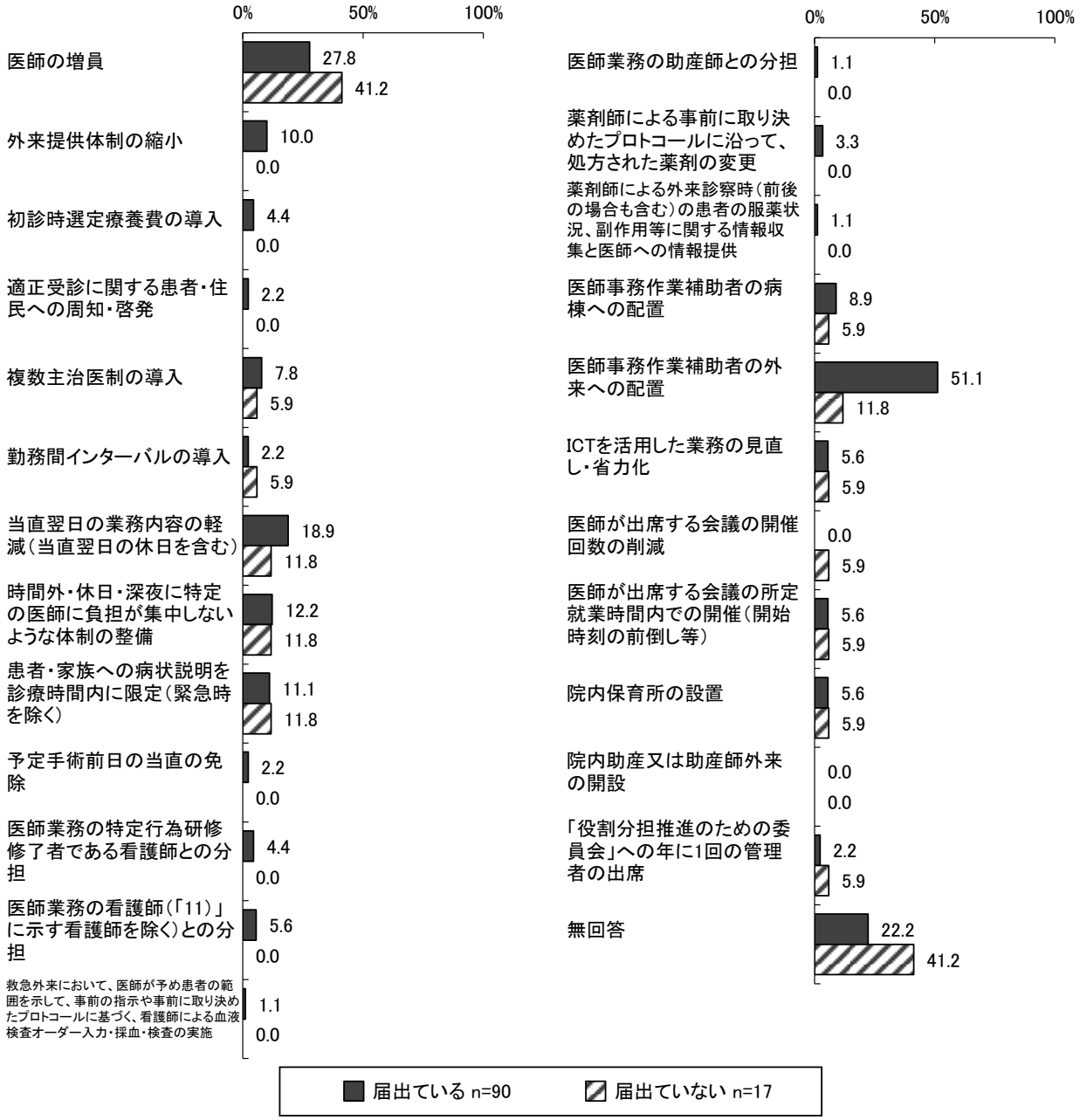
図表 2 - 352　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【99 床以下】



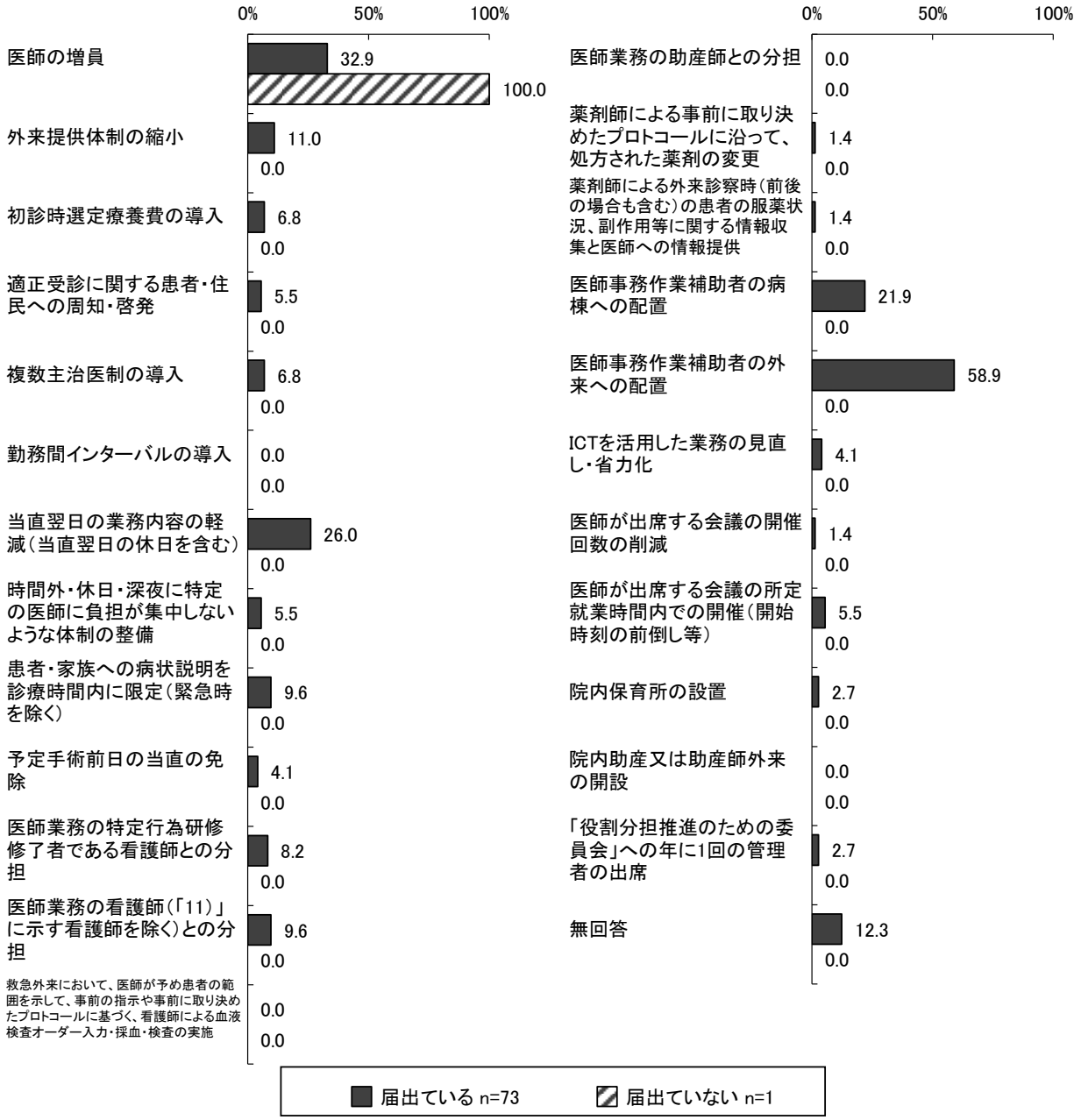
図表 2 - 353　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 354　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



図表 2 - 355　特に医師の負担軽減効果がある取組（３つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別、病床規模別）【400 床以上】



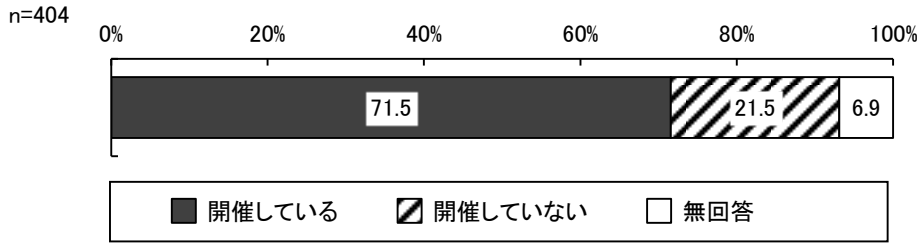
⑥ その他に実施している医師の負担軽減策で効果がある取組（自由回答）

・入院時、書類の簡略化。
・変形労働時間の導入。
・予定入院の説明を事務担当者が行う。
・逆紹介の拡大。
・予定入院の患者に対する入退院支援センター（多職種）による事前面談の導入。
・休日・祝日の日直・当直のパート医師の導入。
・各診療科で業務が片寄らないよう、時間外勤務状況を医師に公開し、負担を調整できる体制をとっている。
・勤務環境改善委員会の開催。
・１か月変形労働時間制を活用した柔軟なシフト勤務体制の構築に取組んでいる。　等

⑦ 多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況

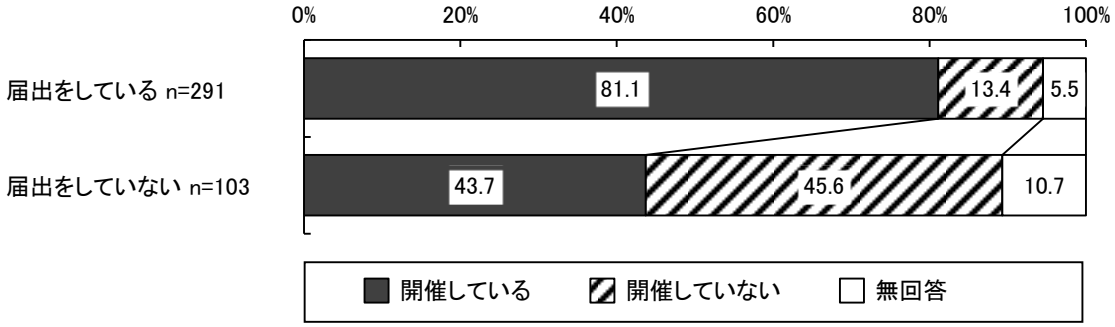
多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況は「開催している」(71.5%)、「開催していない」(21.5%) であった。

図表 2 - 356　多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況

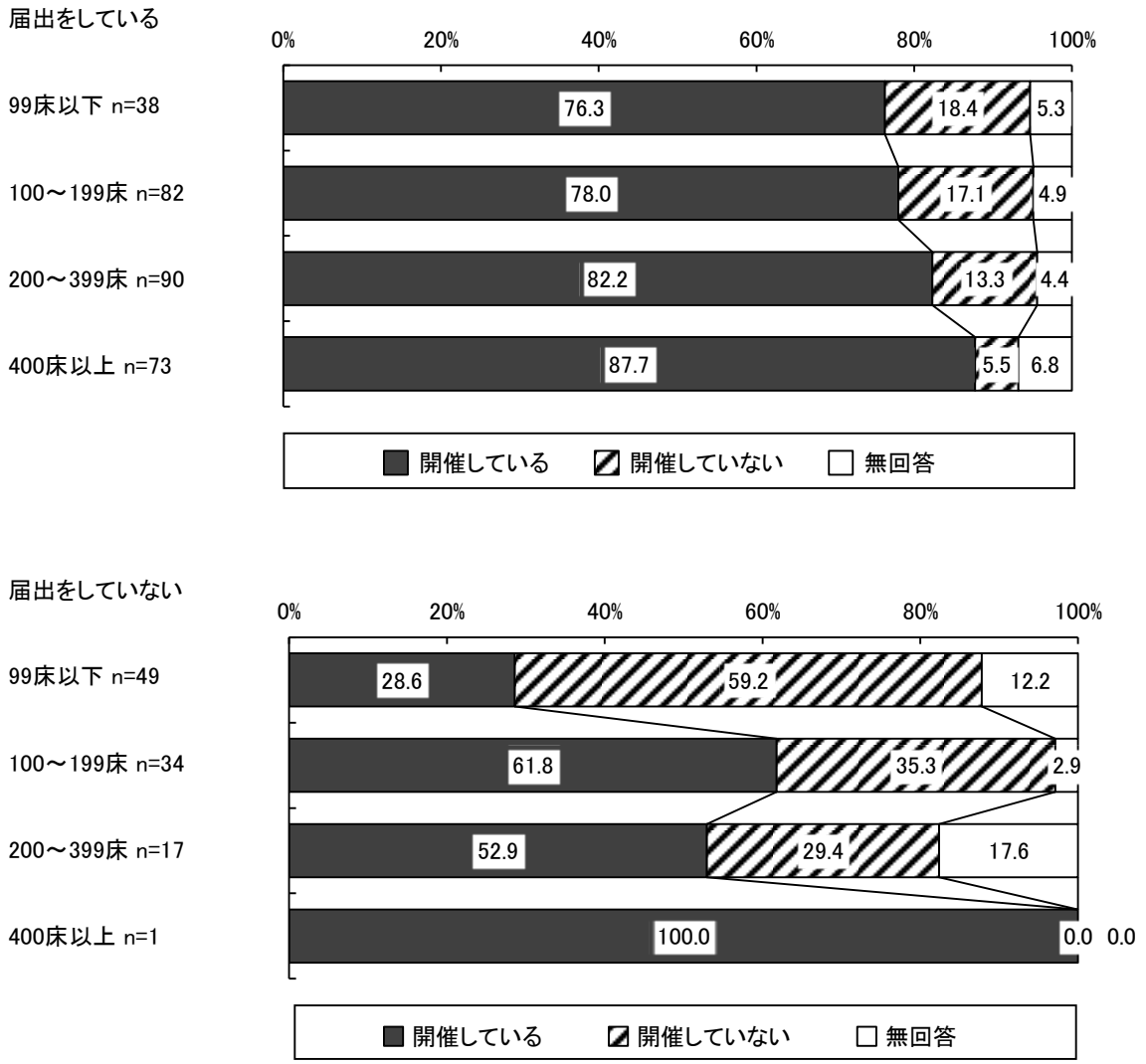


図表 2 - 357　多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

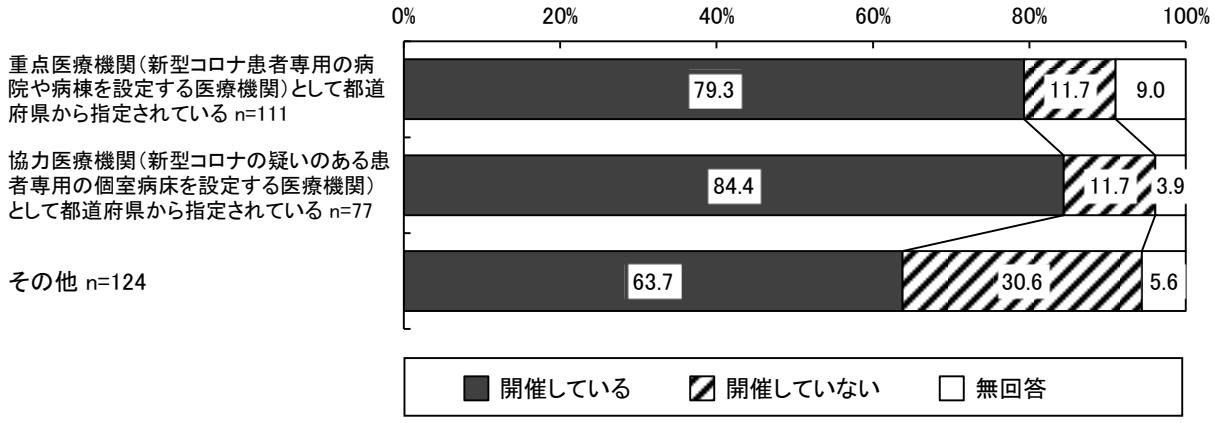
■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別



図表 2 - 358　多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



【開催している場合:年間開催回数】

開催している場合の年間開催回数は、以下のとおりであった。

図表 2 - 359　多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催回数

（単位:回）

	平均値	標準偏差	中央値
n=279	5.4	5.3	3.0

図表 2 - 360　多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議の開催回数（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

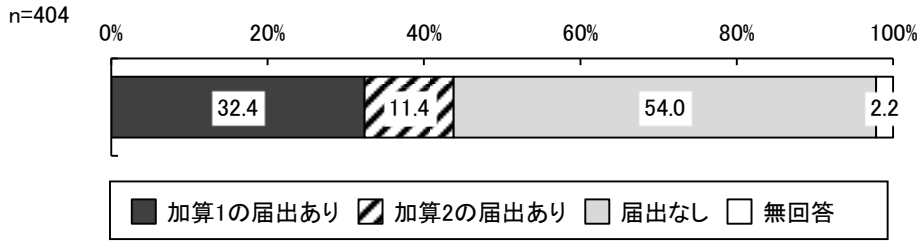
		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=84	4.5	4.3	2.5
協力医療機関(新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=64	5.3	6.9	3.0
その他	n=76	6.1	5.0	4.0

（６）看護職員や看護補助者の配置等

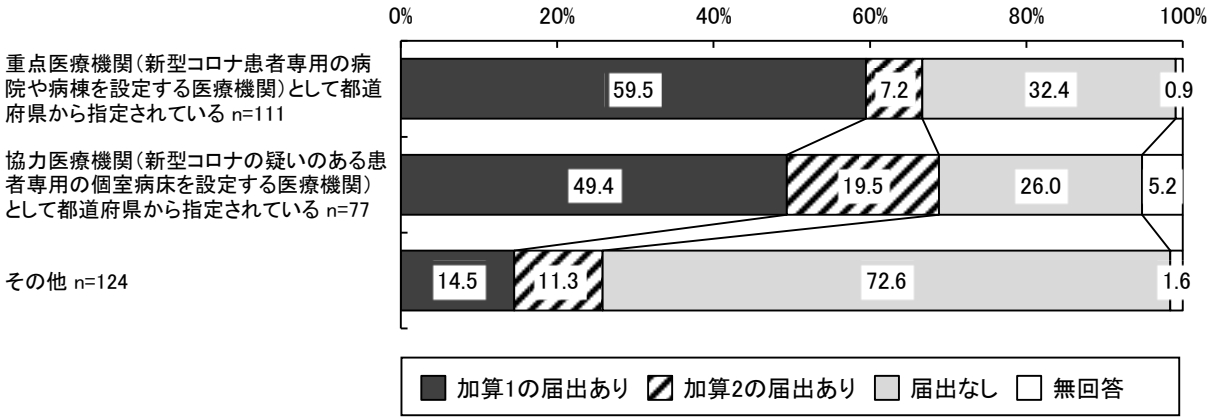
（ア）救急搬送看護体制加算の届出状況

救急搬送看護体制加算の届出状況をみると、「加算１の届出あり」が 32.4%、「加算２の届出あり」が 11.4%であった。

図表 2 - 361　救急搬送看護体制加算の届出状況



図表 2 - 362　救急搬送看護体制加算の届出状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



【救急搬送看護体制加算の算定件数（令和 2 年 10 月 1 か月】

救急搬送看護体制加算の算定件数（令和 2 年 10 月 1 か月）は、以下のとおりであった。

図表 2 - 363　救急搬送看護体制加算の算定件数（令和 2 年 10 月）

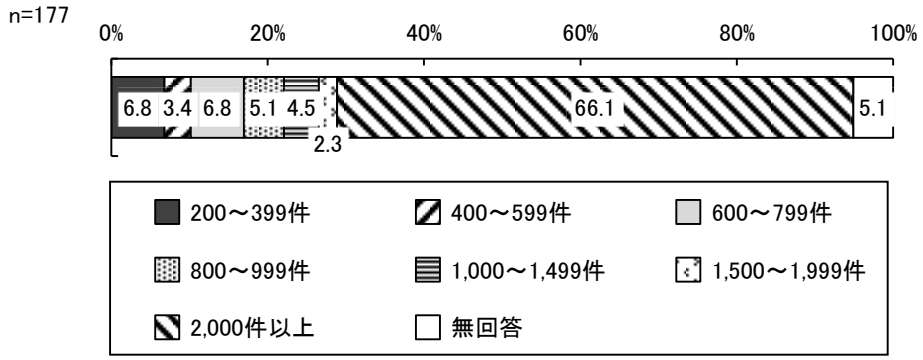
※救急搬送看護体制加算について「届出あり」と回答したものについて集計。

		平均値	標準偏差	中央値
救急搬送看護体制加算1	n=122	107.0	64.8	93.0
救急搬送看護体制加算2	n=45	23.9	29.9	15.0

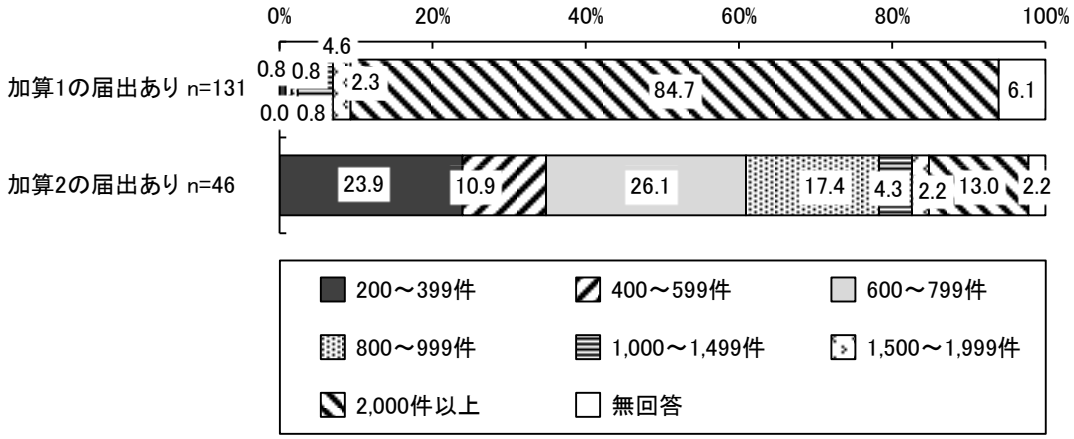
【救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間搬送件数】

救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間搬送件数で最も多かったものは「2,000 件以上」（66.1%）であった。

図表 2 - 364　救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間の搬送件数



図表 2 - 365　救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる年間の搬送件数
（救急搬送看護体制加算 1.2 別）



【救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数】

救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数については、「加算１の届出あり」では平均 20 名以上、「加算２の届出あり」では平均 10 名弱であった。

図表 2 - 366　救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数

		平均値	標準偏差	中央値
救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数	n=155	19.9	18.2	15.0
うち院内トリアージ実施料に係る専任の看護師と兼ねている人数	n=143	14.0	16.9	9.0

図表 2 - 367　救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数
（救急搬送看護体制加算 1.2 別）

	加算1の届出あり				加算2の届出あり			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数	n=115	23.5	19.3	19.0	n=40	9.5	8.1	8.5
うち院内トリアージ実施料に係る専任の看護師と兼ねている人数	n=107	17.3	18.0	12.0	n=36	4.4	6.3	0.0

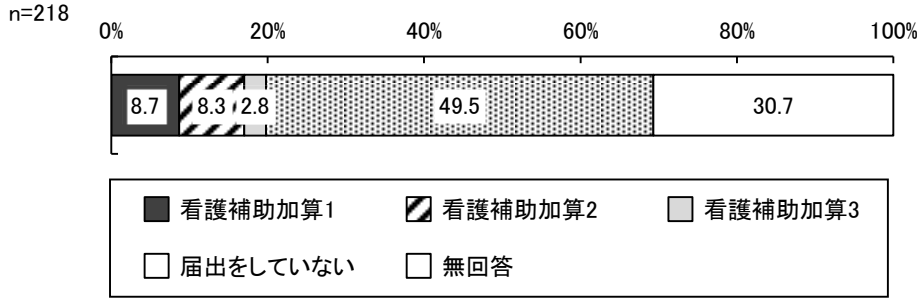
② 看護補助加算の届出状況

【救急搬送看護体制加算の届出なしの場合】

【看護補助加算の届出状況】

看護補助加算の届出状況をみると、最も多かったものは「看護補助加算 3」（49.5%）であった。

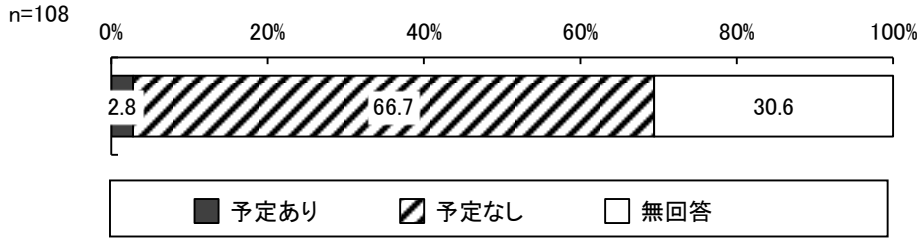
図表 2 - 368　看護補助加算の届出状況



【看護補助加算の届出なしの場合:届出の予定】

看護補助加算の届出なしの場合、**届出の予定**は「予定あり」(2.8%)、「予定なし」(66.7%)であった。

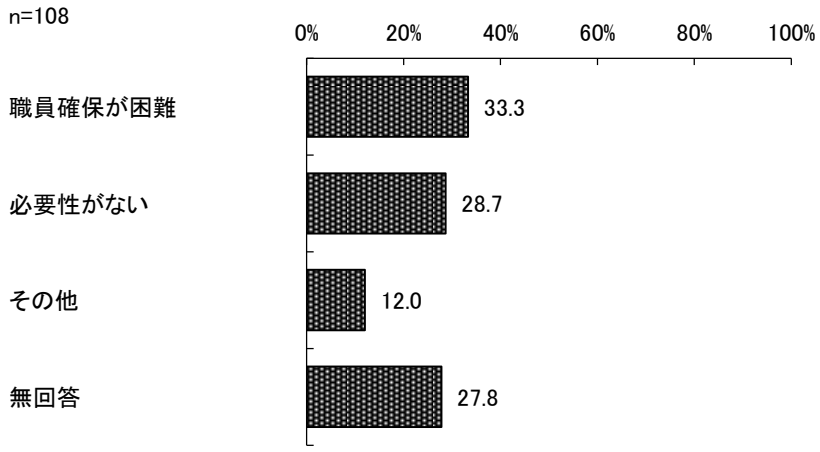
図表 2 - 369　看護補助加算の届出の予定の有無



【看護補助加算の届出なしの場合:届出をしていない理由】

看護補助加算の届出なしの場合、**届出をしていない理由**で最も多かったものは「職員確保が困難」（33.3%）であった。なお、「その他」の理由には、「小規模のため、夜間増員の必要性が低い」、「算定対象の入院料なし」、「緊急入院 200 名以上を満たさない」「回復期リハビリテーション入院料算定のため」といった回答があった。

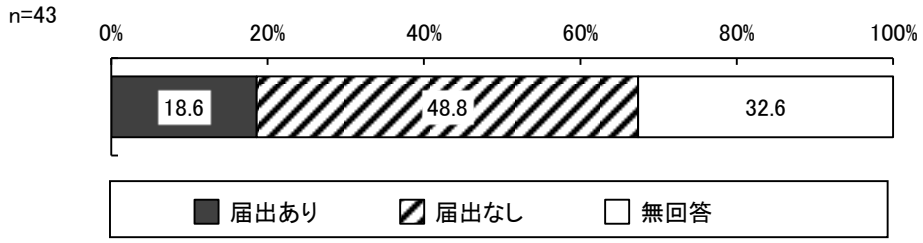
図表 2 - 370　看護補助加算の届出をしていない理由（複数回答）



【夜間 75 対 1 看護補助加算(50 点)の届出状況】

夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）の届出状況は「届出あり」(18.6%)、「届け出なし」(48.8%）であった。

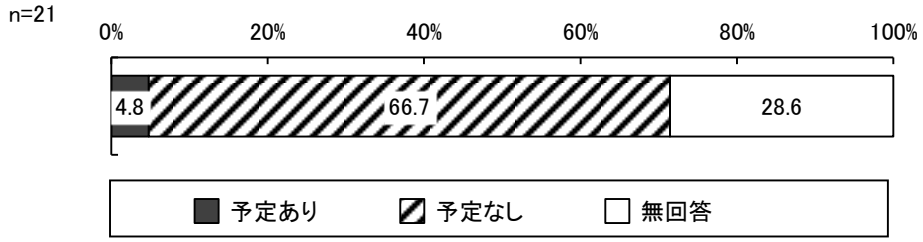
図表 2 - 371　夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）の届出状況



【夜間 75 対 1 看護補助加算(50 点)の届出なしの場合:届出の予定】

夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）の届出なしの場合の届出の予定は「予定あり」(4.8%)、「予定なし」(66.7%）であった。

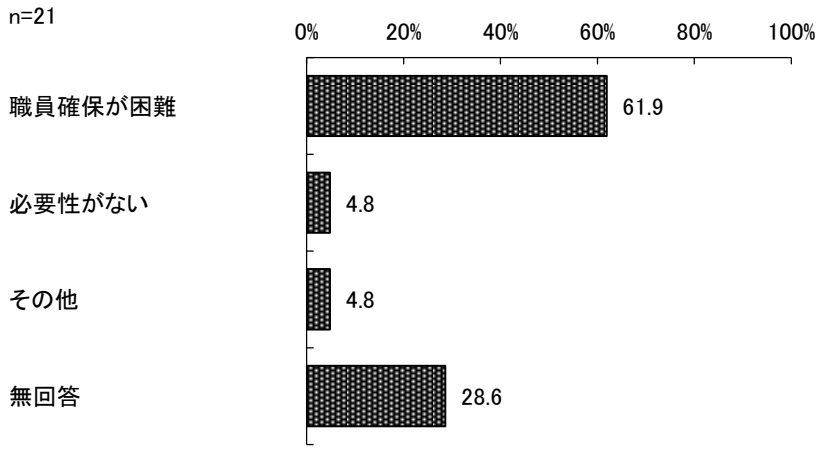
図表 2 - 372　夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）の届出の予定の有無



【夜間 75 対 1 看護補助加算(50 点)の届出なしの場合:届出をしていない理由】

夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）の届出なしの場合の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(61.9%）であった。

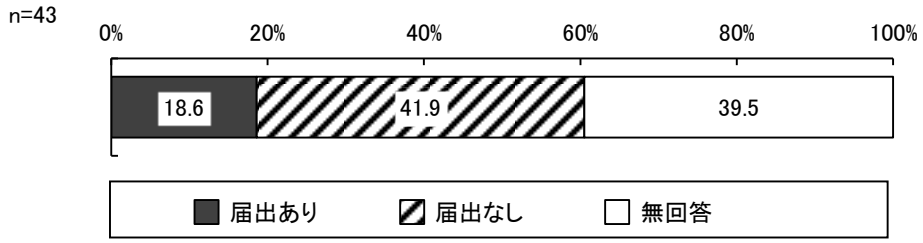
図表 2 - 373　夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）の届出をしていない理由（複数回答）



【夜間看護体制加算(165 点)の届出状況】

夜間看護体制加算（165 点）の届出状況は「届出あり」(18.6%)、「届出なし」(41.9%）であった。

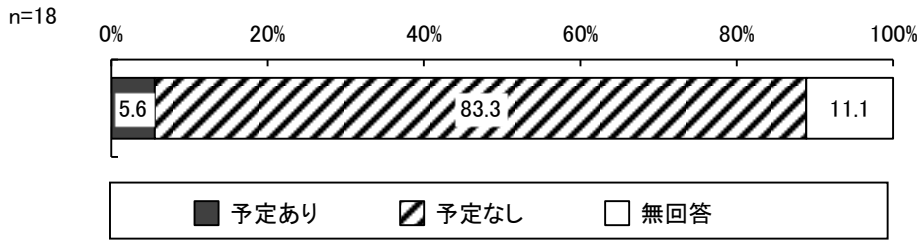
図表 2 - 374　夜間看護体制加算（165 点）の届出状況



【夜間看護体制加算の届出をしていない場合:届出の予定】

夜間看護体制加算の届出をしていない場合の届出の予定は「予定あり」(5.6%)、「予定なし」(83.3%）であった。

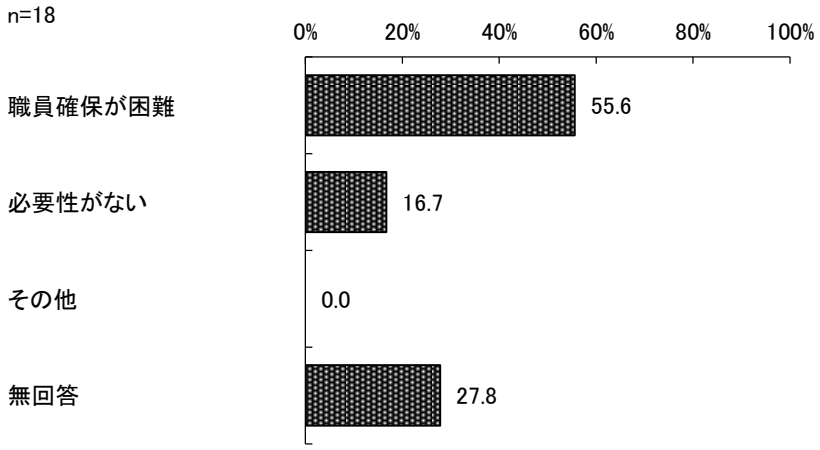
図表 2 - 375　夜間看護体制加算（165 点）の届出の予定の有無



【夜間看護体制加算の届出をしていない場合:届出をしていない理由】

夜間看護体制加算の届出をしていない場合の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(55.6%）であった。

図表 2 - 376　夜間看護体制加算の届出をしていない理由（複数回答）

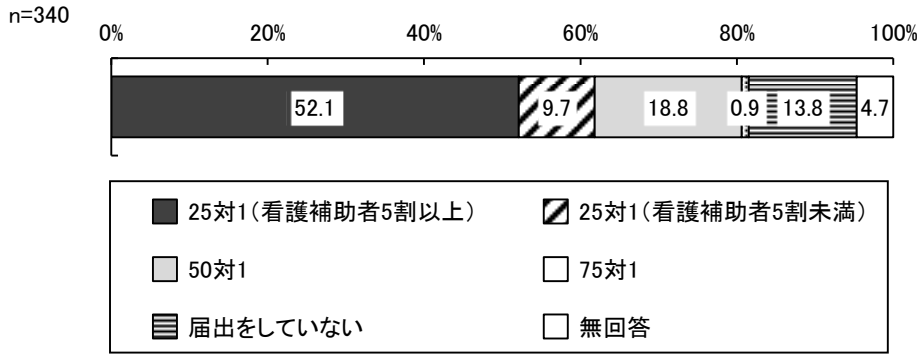


③ 急性期看護補助体制加算の届出状況

【一般病棟がある場合のみ回答】

急性期看護補助体制加算の届出状況で最も多かったものは「25 対 1【看護補助者 5 割以上】」（52.1%）であった。

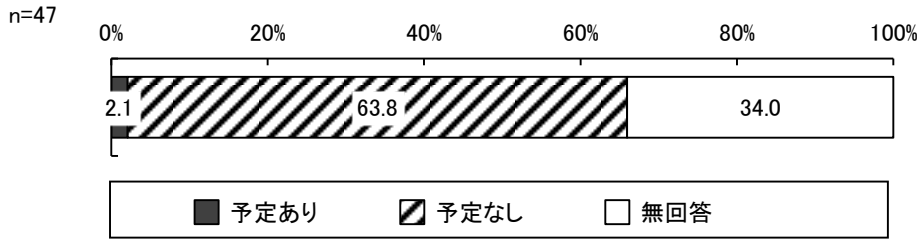
図表 2 - 377　急性期看護補助体制加算の届出状況



【急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合：届出の予定】

急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合の届出の予定は「予定あり」（2.1%）、「予定なし」（63.8%）であった。

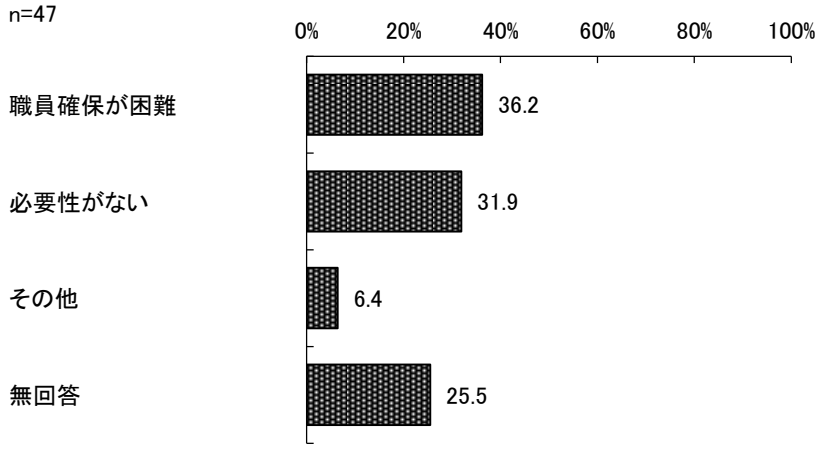
図表 2 - 378　急性期看護補助体制加算の届出の予定の有無



【急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合：届出をしていない理由】

急性期看護補助体制加算の届出状況で最も多かったものは「職員確保が困難」（36.2%）、次に多かったものは「必要性がない」（31.9%）であった。

図表 2 - 379　急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）

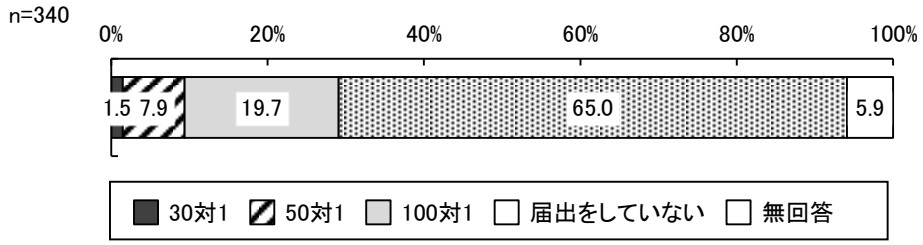


④ 夜間急性期看護補助体制加算の届出状況

【一般病棟がある場合のみ回答:夜間急性期看護補助体制加算の届出状況】

夜間急性期看護補助体制加算の届出状況をみると、「30 対 1」(1.5%)、「50 対 1」(7.9%)、「100 対 1」(19.7%) であった。

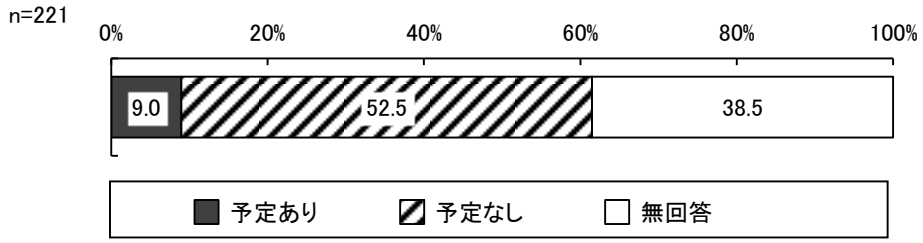
図表 2 - 380　夜間急性期看護補助体制加算の届出状況



【夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合:届出の予定】

夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合の届出の予定は「予定あり」(9.0%)、「予定なし」(52.5%) であった。

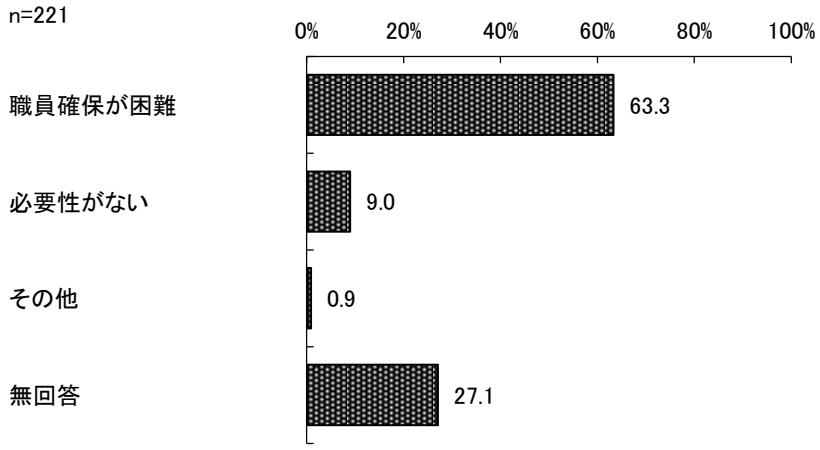
図表 2 - 381　夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定の有無



【夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合:届出ていない理由】

夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(63.3%) であった。

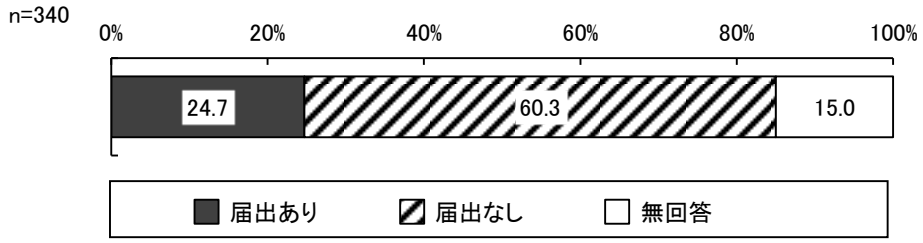
図表 2 - 382　夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）



⑤ 夜間看護体制加算の届出状況

夜間看護体制加算の届出状況は「届出あり」(24.7%)、「届出なし」(60.3%) であった。

図表 2 - 383　夜間看護体制加算の届出状況

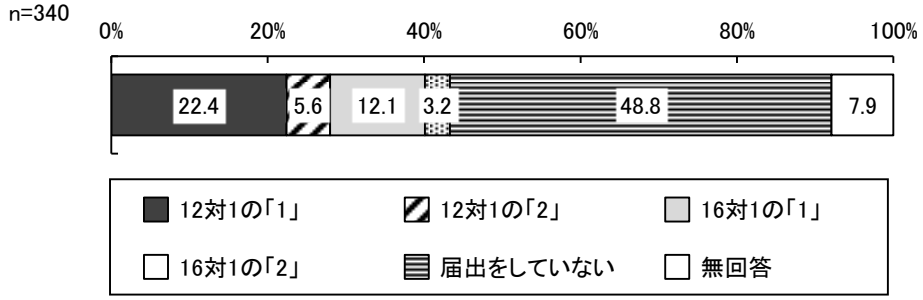


⑥ 看護職員夜間配置加算の届出状況

【一般病棟がある施設が回答】

看護職員夜間配置加算の届出状況みると、「届出をしていない」(48.8%) であった。

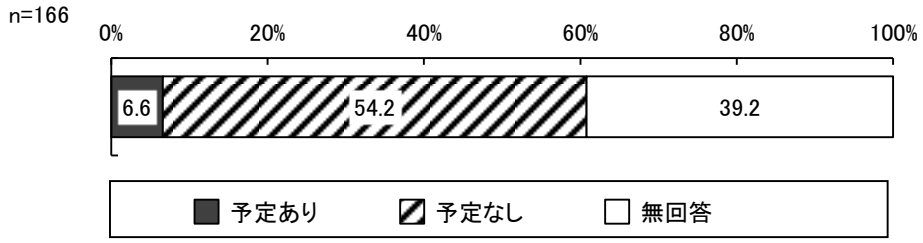
図表 2 - 384　看護職員夜間配置加算の届出状況



【看護職員夜間配置加算の届出をしていない場合:届出の予定】

看護職員夜間配置加算の届出の予定の有無で最も多かったものは「予定なし」(54.2%) であった。

図表 2 - 385　看護職員夜間配置加算の届出の予定の有無

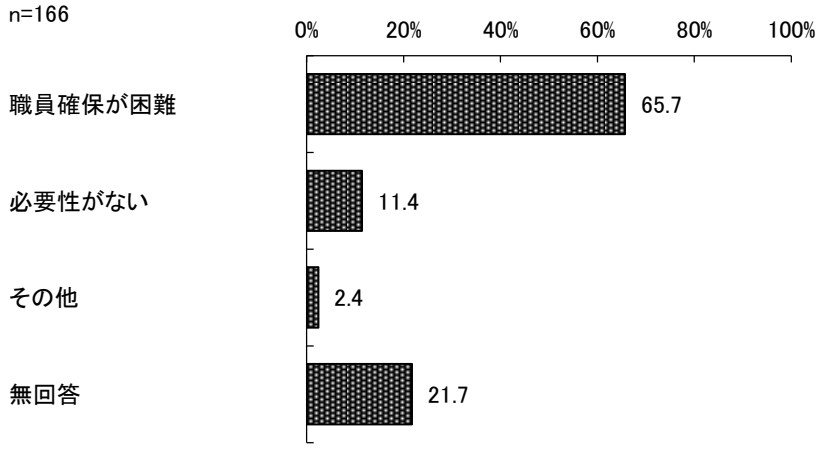


【看護職員夜間配置加算の届出をしていない場合:届出をしていない理由】

看護職員夜間配置加算の届出をしていない理由で最も多かったものは「職員確保が困難」（65.7%）であった。

なお、「その他」の理由としては「夜勤後の暦日の休日確保が困難」といった回答があった。

図表 2 - 386　看護職員夜間配置加算の届出をしていない理由（複数回答）



（７）看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に係る取組

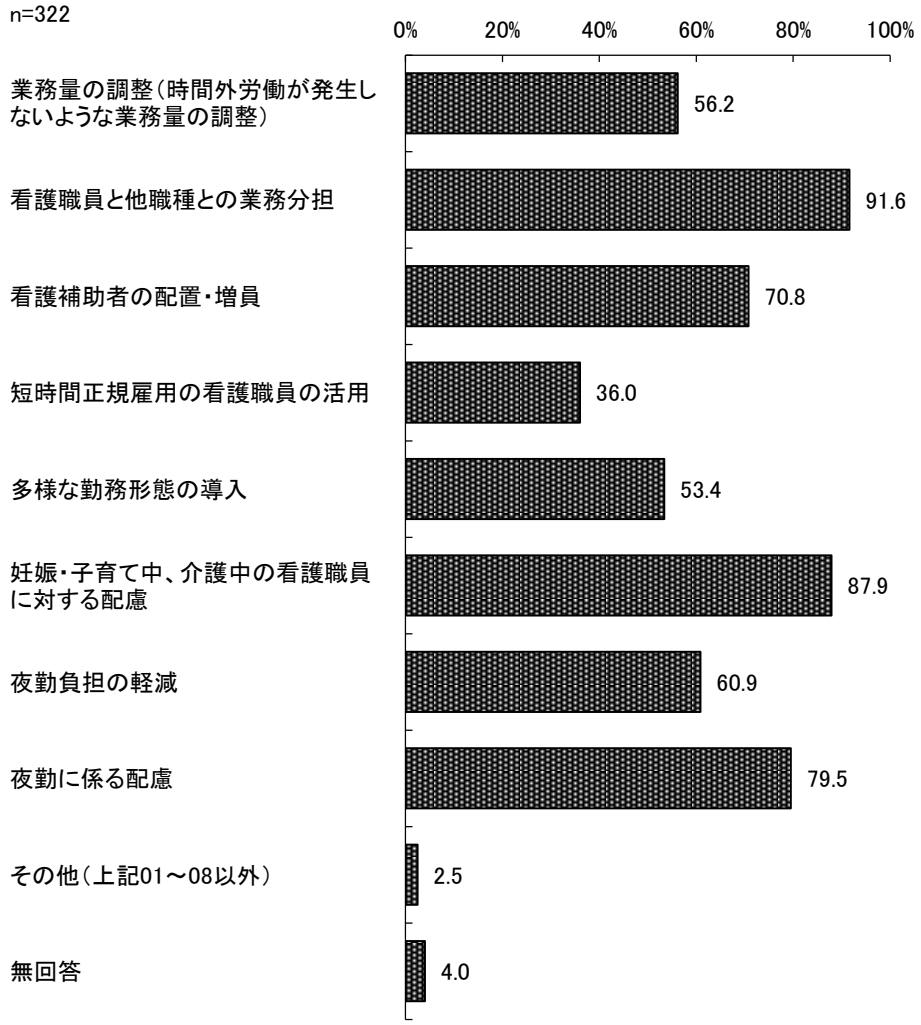
※（７）に関する調査は、急性期看護補助体制加算、看護職員夜間配置加算、看護補助加算、療養病棟入院基本料注１２（夜間看護加算）のいずれかを届け出ている施設のみ回答を依頼した。

① 看護職員の負担軽減および処遇改善に関し実施している取組

看護職員の負担軽減および処遇改善に関し実施している取組で最も多かったものは「看護師と他職種との業務分担」（91.6%）であった。

なお、「その他」の回答の中には、「シーツ交換などの業務委託」、「一時あずかり保育、お泊り保育、夜間保育」、「夜勤の連続回数が２連続（２回）まで、正循環勤務の採用」、「精神保健福祉士による入院に関する書類説明、入院患者情報の作成」等があった。

図表２－387　看護職員の負担軽減および処遇改善に関し実施している取組（複数回答）

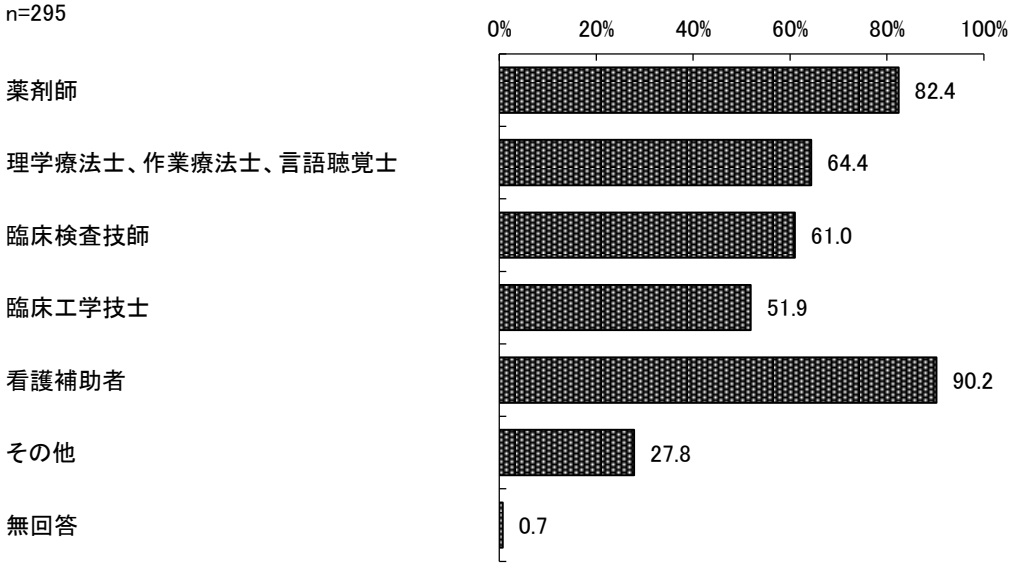


【①で「看護職員と他職種との業務分担」を選択した場合：業務分担をしている職種】

①で「看護職員と他職種との業務分担」を選択した場合の業務分担をしている職種で最も多かったものは「看護補助者」（90.2%）、次に多かったものは「薬剤師」（82.4%）であった。

なお、「その他」には「クラーク業務（病棟、外来、医療、看護）」、「医師事務作業補助者」、「社会福祉士」、「管理栄養士」、「歯科衛生士」、「保育士」、「MSW、PSW」、「介護員」の回答があった。

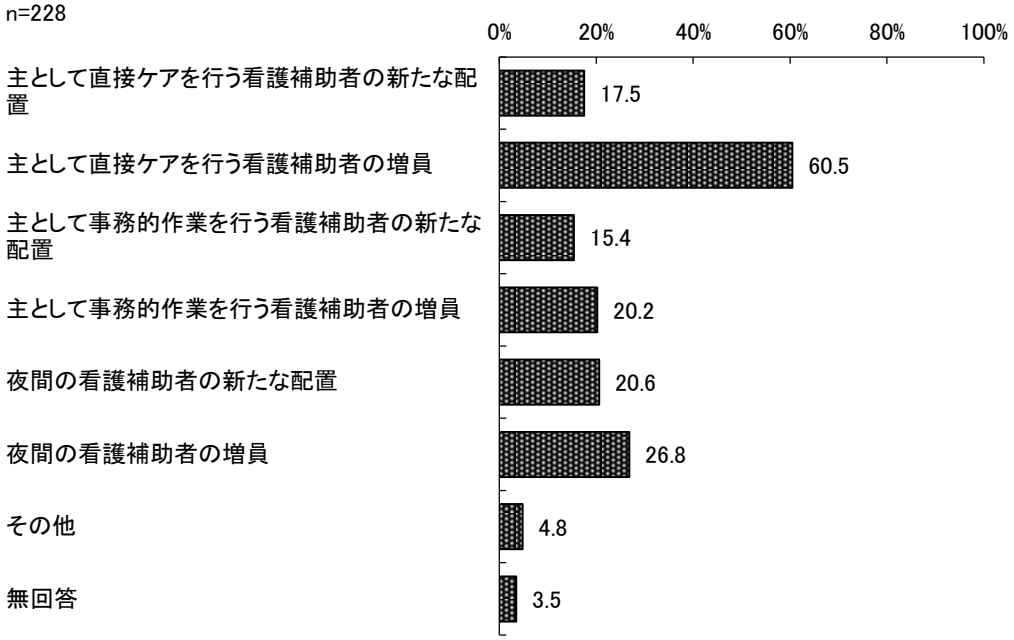
図表 2 - 388　「看護職員と他職種との業務分担」を選択した場合：業務分担をしている職種



【①で「看護補助者の配置・増員」を選択した場合：具体的内容】

①で「看護職員と他職種との業務分担」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「主として直接ケアを行う看護補助者の増員」（60.5%）であった。

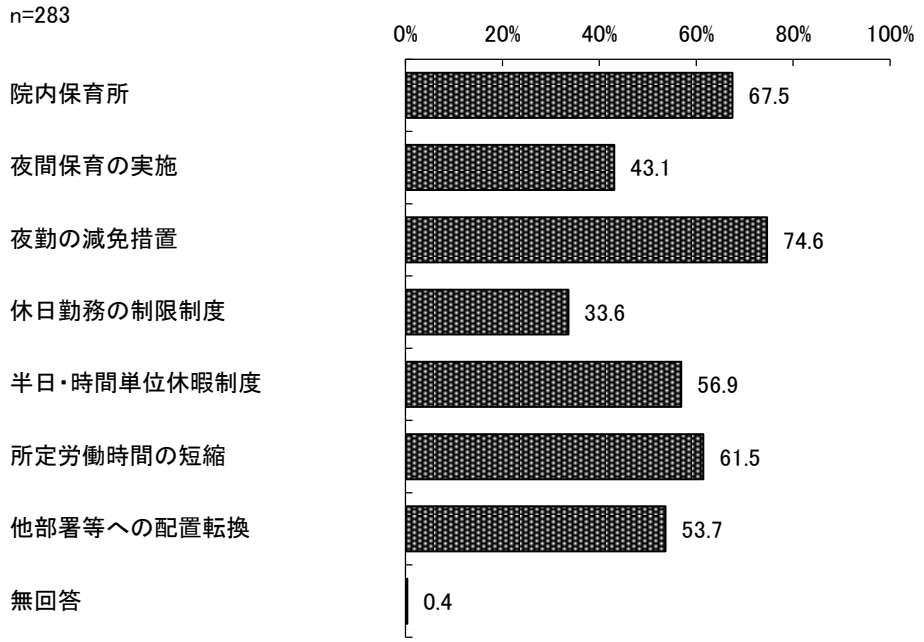
図表 2 - 389　「看護補助者の配置・増員」を選択した場合：具体的内容



【①で「妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮」を選択した場合：具体的内容】

①で「妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「夜勤の減免措置」（74.6%）であった。

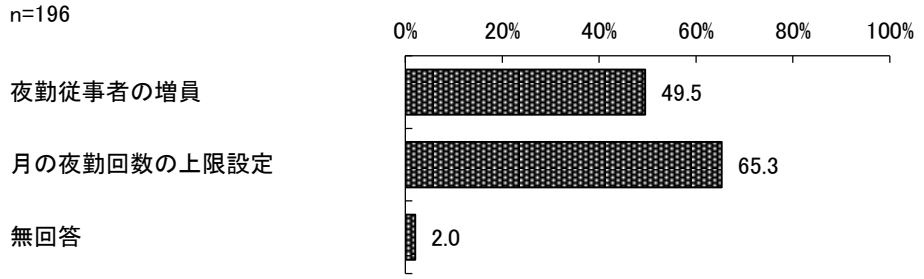
図表 2 - 390　「妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮」を選択した場合：具体的内容



【①で「夜勤負担の軽減」を選択した場合：具体的内容】

①で「夜勤負担の軽減」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「月の夜勤回数の上限設定」（65.3%）であった。

図表 2 - 391　「夜勤負担の軽減」を選択した場合：具体的内容

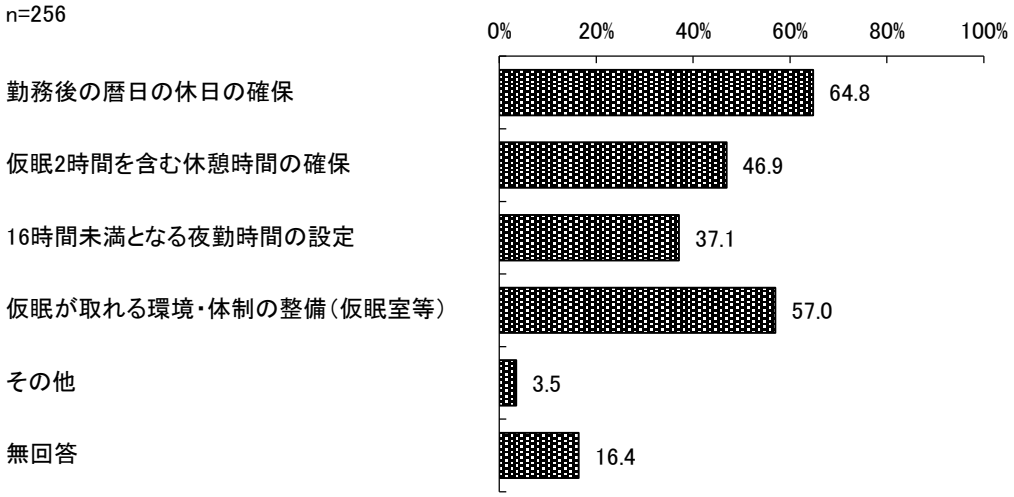


【①で「夜勤に係る配慮」を選択した場合：2 交代の勤務を実施している場合の具体的内容】

①で「夜勤に係る配慮」を選択した場合の 2 交代の勤務を実施している場合の具体的内容で最も多かったものは「勤務後の暦日の休日の確保」（64.8%）であった。

なお、「その他」には「11 時間以上の勤務間隔の確保」、「3 連続以上の夜勤禁止」、「夕、朝食の提供」、「3 人態勢の導入」などの回答があった。

図表 2 - 392　「夜勤に係る配慮」を選択した場合：2 交代の勤務を実施している場合の具体的内容

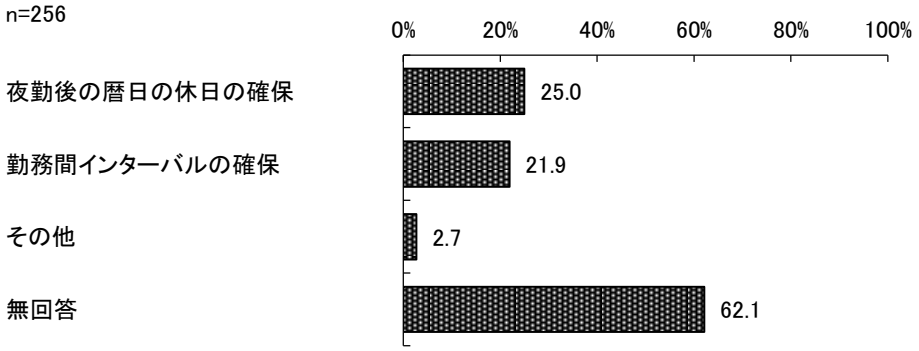


【①で「夜勤に係る配慮」を選択した場合：3 交代の勤務を実施している場合の具体的内容】

①で「夜勤に係る配慮」を選択した場合の 3 交代の勤務を実施している場合の具体的内容で最も多かったものは「夜勤後の暦日の休日の確保」（25.0%）であった。

なお、「その他」には、「夜勤連続回数 2 回まで」、「早出、遅出等の柔軟な勤務体制」、「準夜・日勤のシフト回避」等の回答があった。

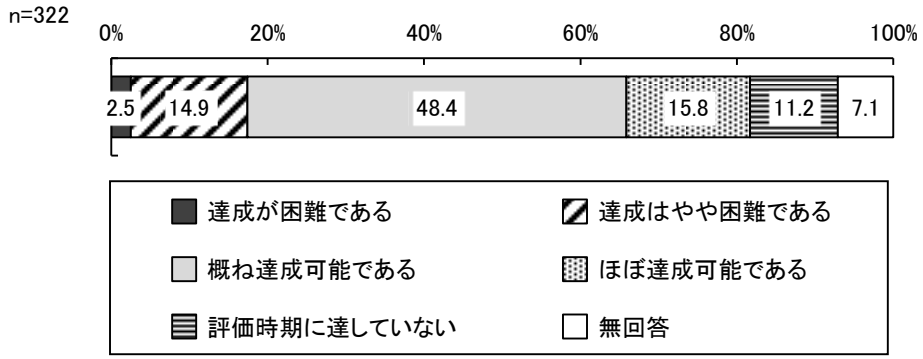
図表 2 - 393　「夜勤に係る配慮」を選択した場合：3 交代の勤務を実施している場合の具体的内容



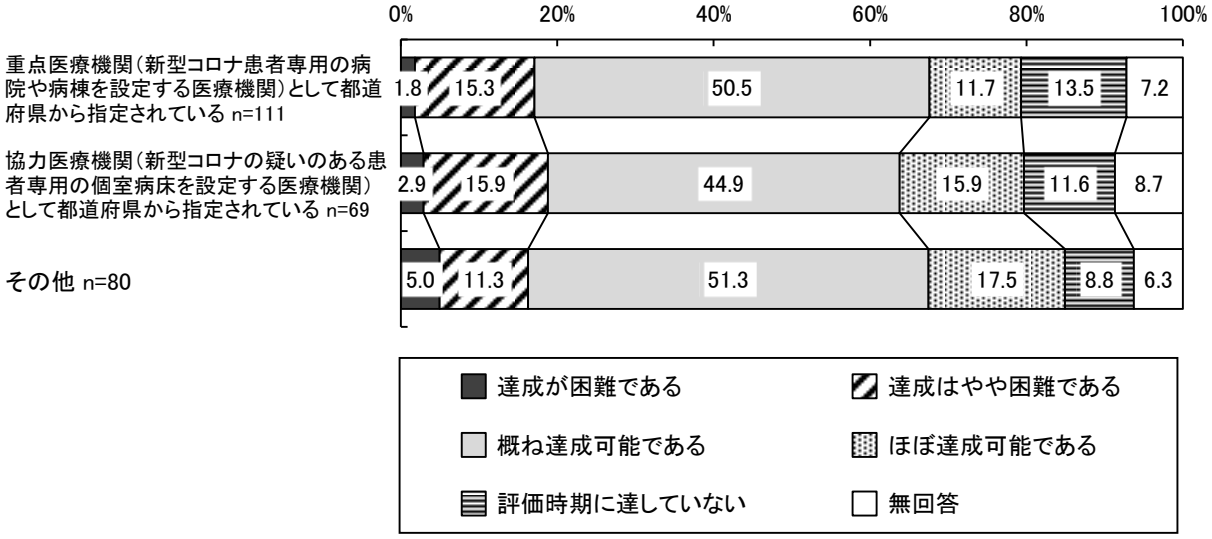
② 看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況

看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況で最も多かったものは「概ね達成可能である」（48.4%）であった。

図表 2 - 394　看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況



図表 2 - 395　看護職員の負担軽減および処遇改善に関する計画の達成状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



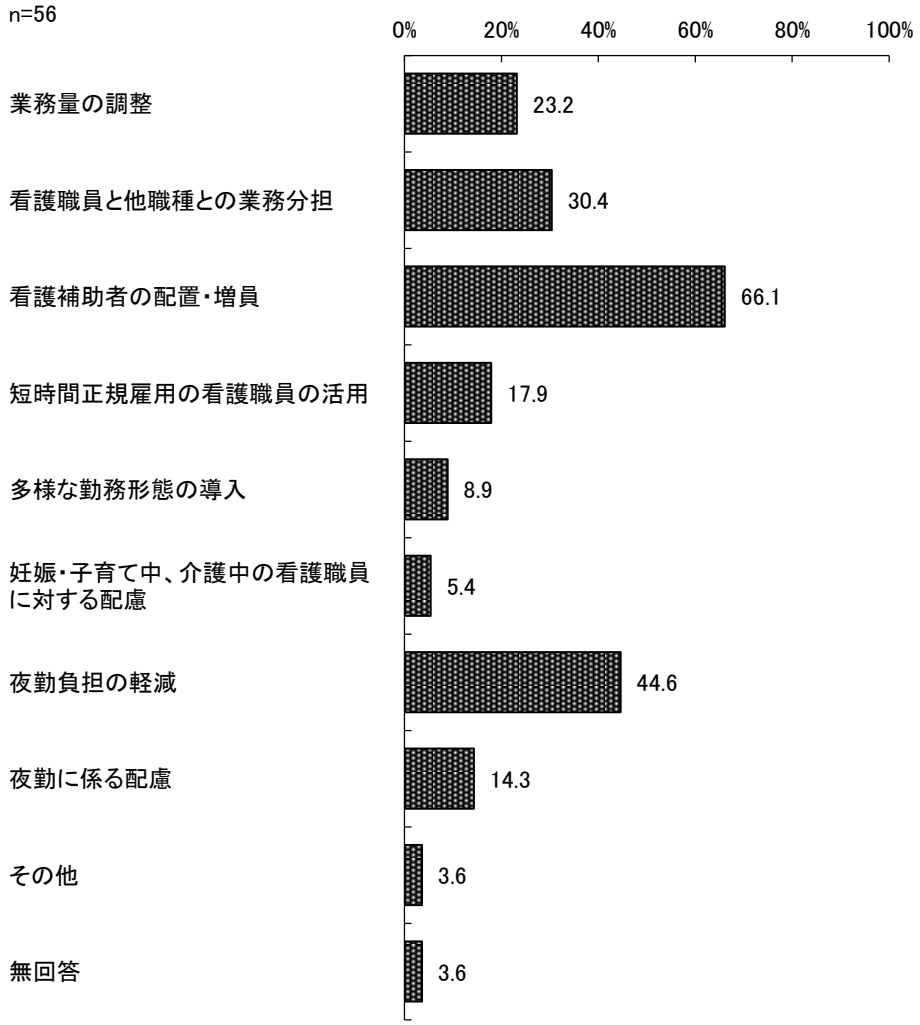
②-1 処遇改善に関する計画の達成が困難である理由

【②で「達成が困難である」又は「達成はやや困難である」を選択した場合】

処遇改善に関する計画の達成が困難である理由で最も多かったものは「看護補助者の配置・増員」（66.1%）であった。

なお、「看護補助者の配置・増員」が困難である理由としては、「募集しているが応募がない、補充困難」、「扶養範囲での勤務希望が多い」といった回答があった。また、「夜勤負担の軽減」の達成が困難である理由としては、「看護師の確保、増員が困難」、「増員に伴う人件費の増加」、「夜勤の制限のある看護師の増加」といった回答があった。

図表 2 - 396　処遇改善に関する計画の達成が困難である項目（複数回答）

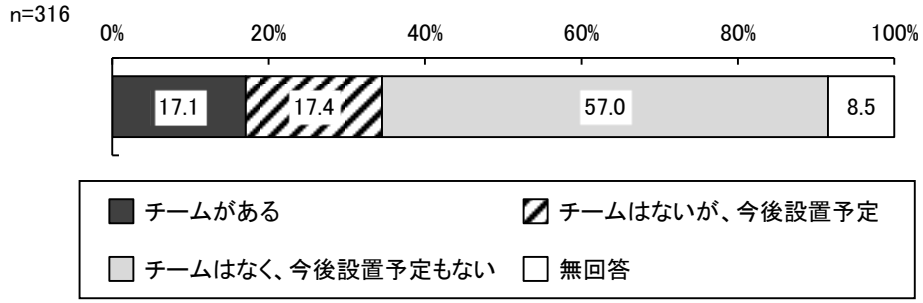


（８）医療従事者の勤務環境改善マネジメント状況

① 勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況

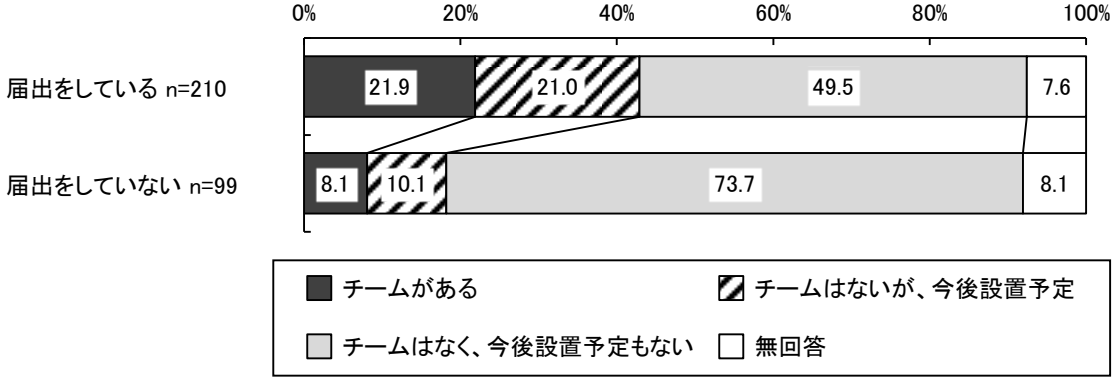
勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況で最も多かったものは「チームはなく、今後設置予定もない」（57.0%）であった。

図表 2 - 397　勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況

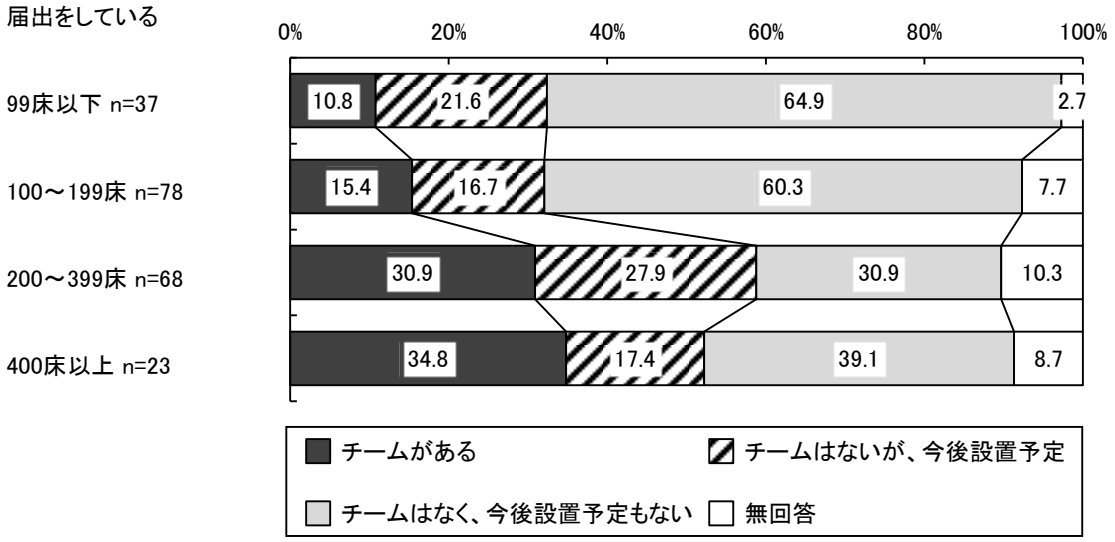


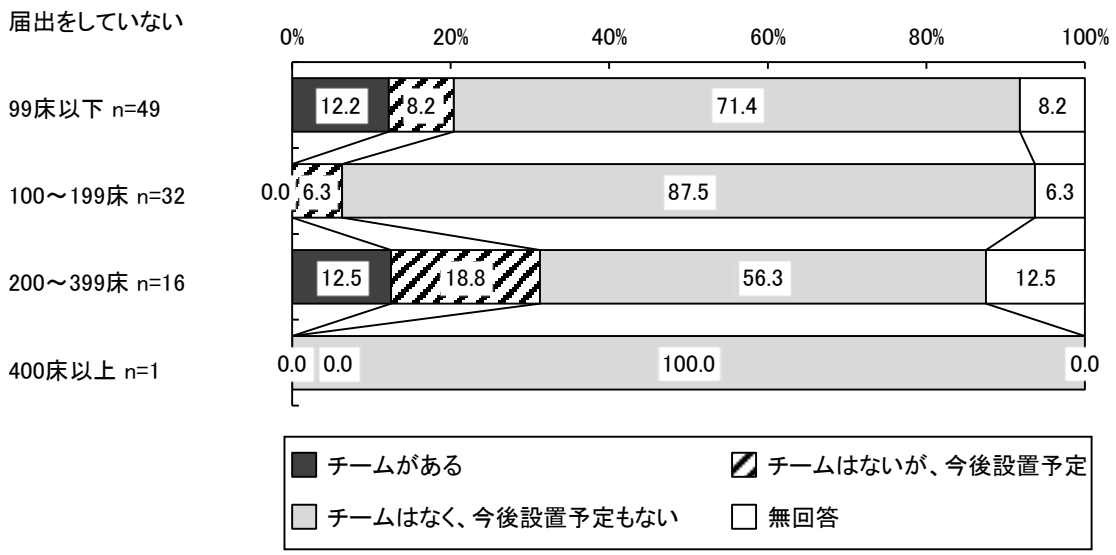
図表 2 - 398　勤務環境改善マネジメントシステムを推進するチームの設置状況（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別

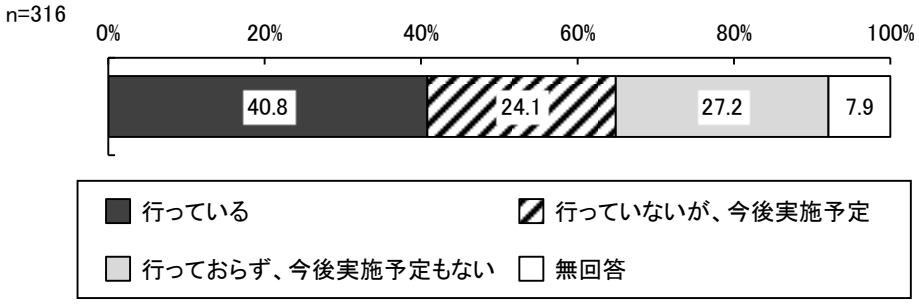




② 勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況と分析

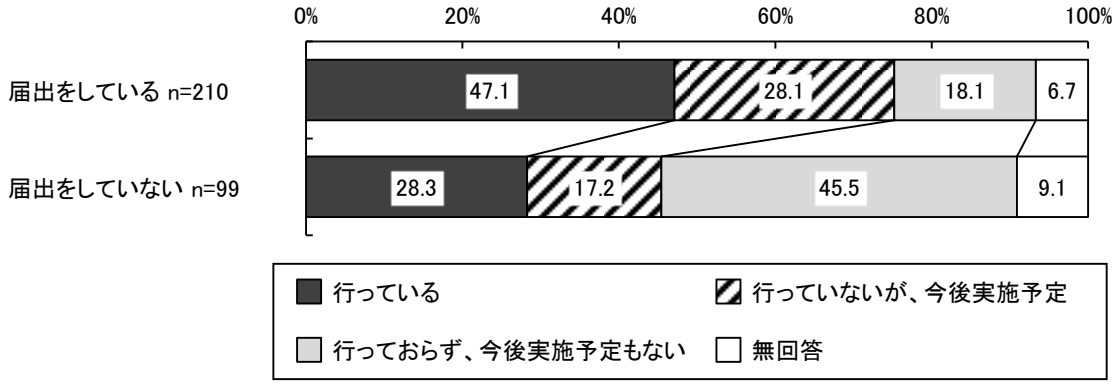
勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況で最も多かったものは「行っている」（40.8%）であった。

図表 2 - 399　勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況

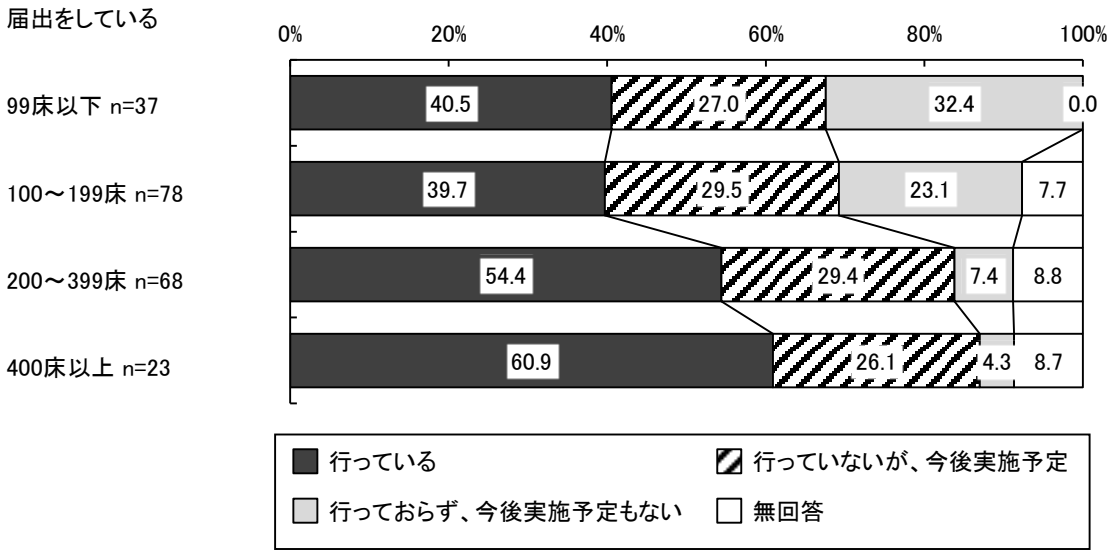


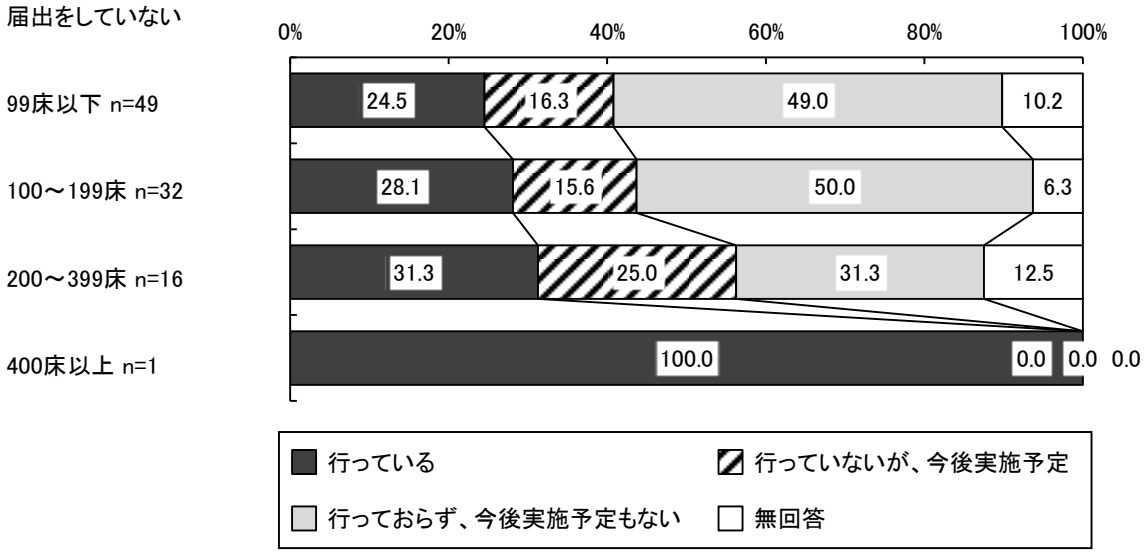
図表 2 - 400　勤務環境の現状に関する実態把握や分析の実施状況
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別

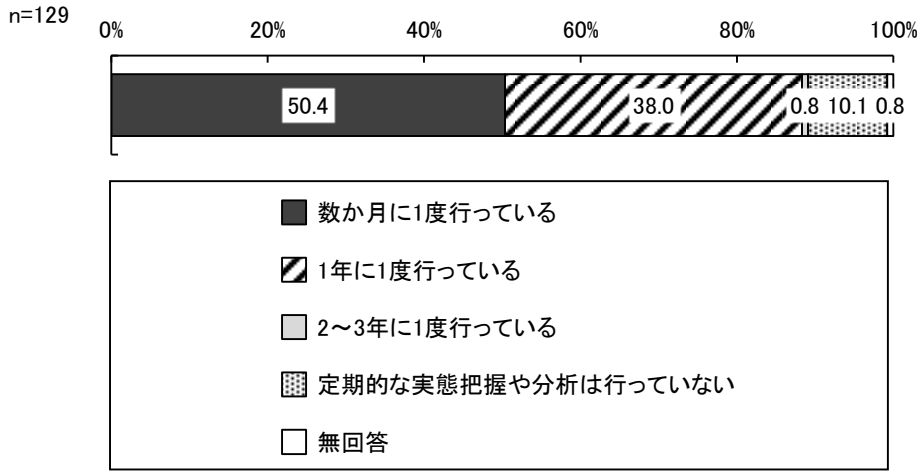




【②で「行っている」と回答した場合】

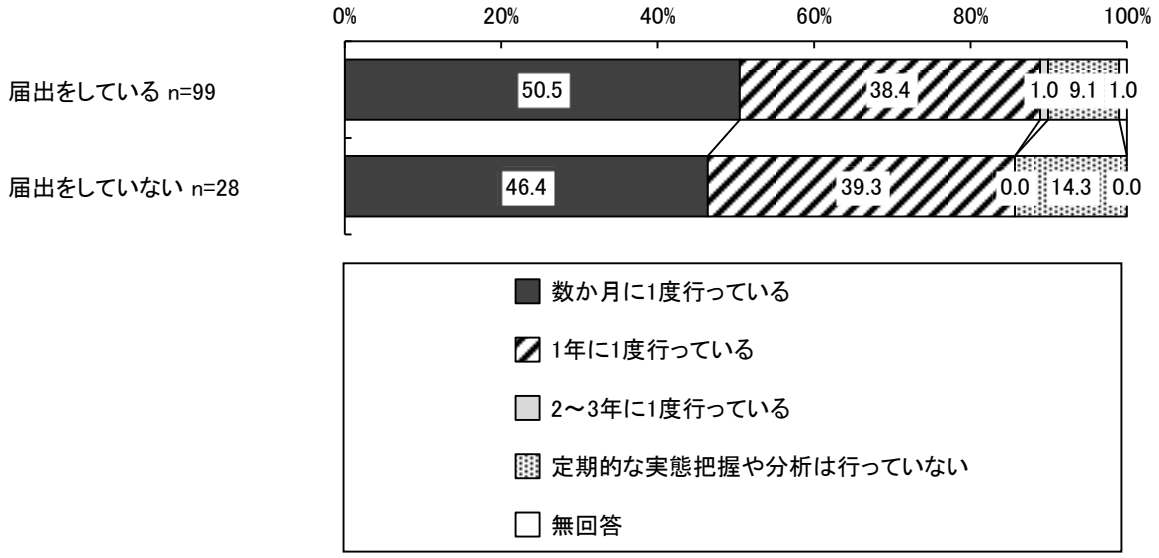
②で「行っている」と回答した場合の、勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度で最も多かったものは「数か月に１度行っている」（50.4%）であった。

図表２－401　勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度

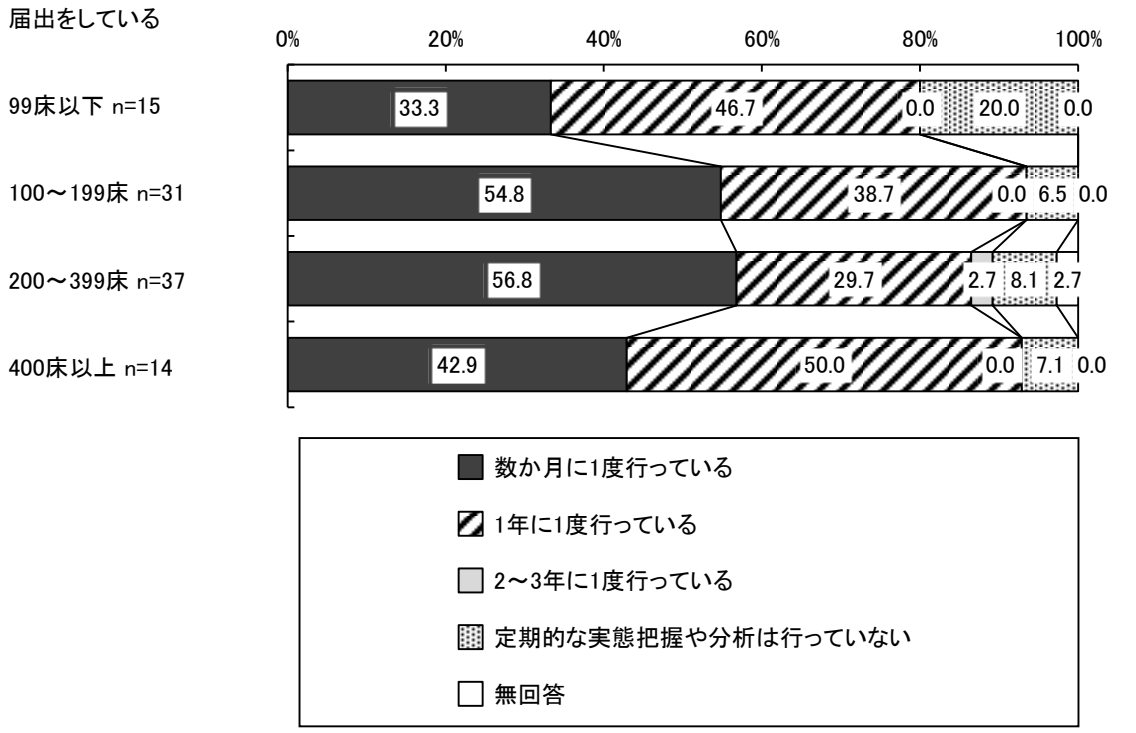


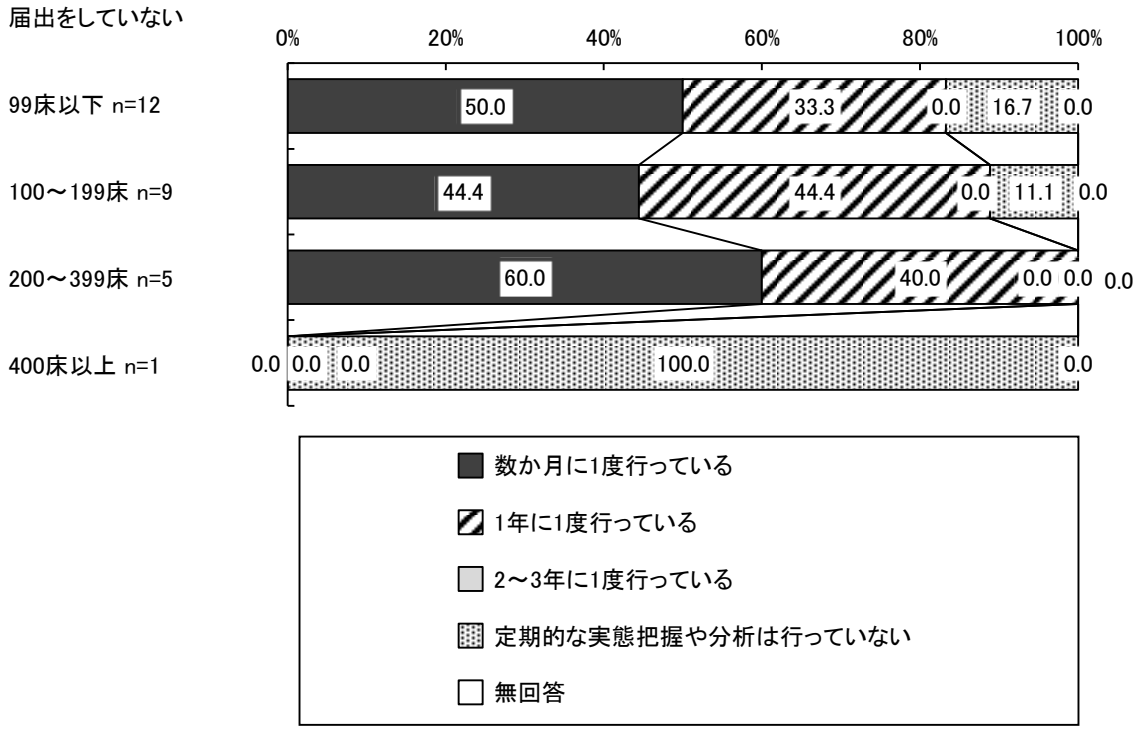
図表２－402　勤務環境の現状に関する実態把握や分析の頻度
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別



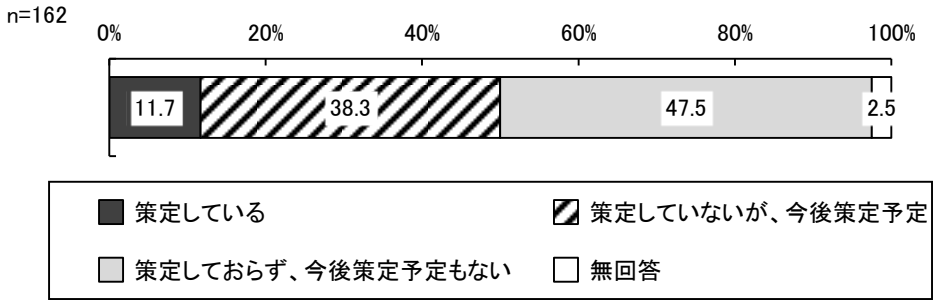


③ 勤務環境改善の取組について、計画策定の有無

【②で「行っていないが、今後実施予定」又は「行っておらず、今後実施予定もない」と回答した場合】

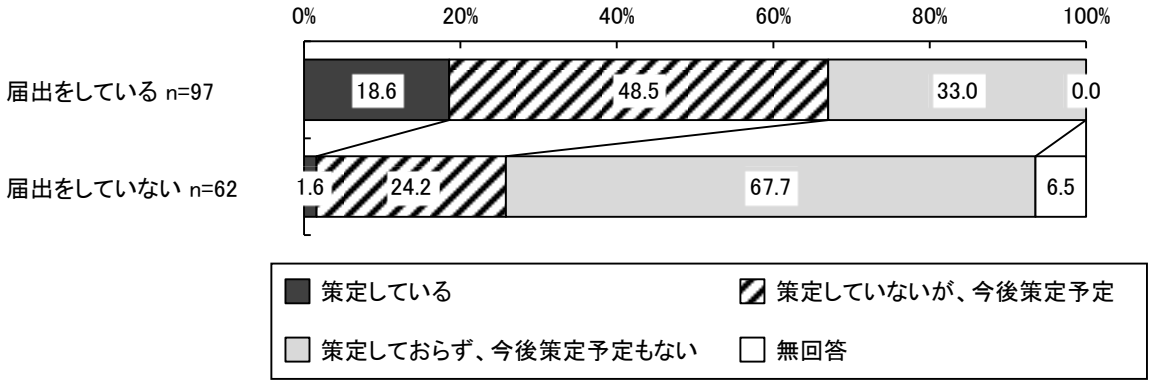
②で「行っていないが、今後実施予定」又は「行っておらず、今後実施予定もない」と回答した場合で最も多かったものは「策定しておらず、今後策定予定もない」(47.5%)であった。

図表 2 - 403　勤務環境改善の取組について、計画策定の有無



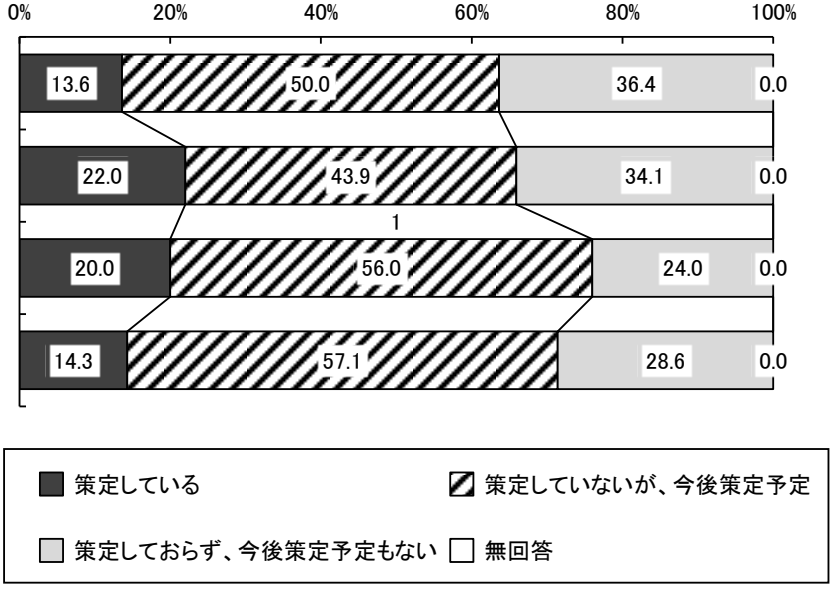
図表 2 - 404　勤務環境改善の取組について、計画策定の有無
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別

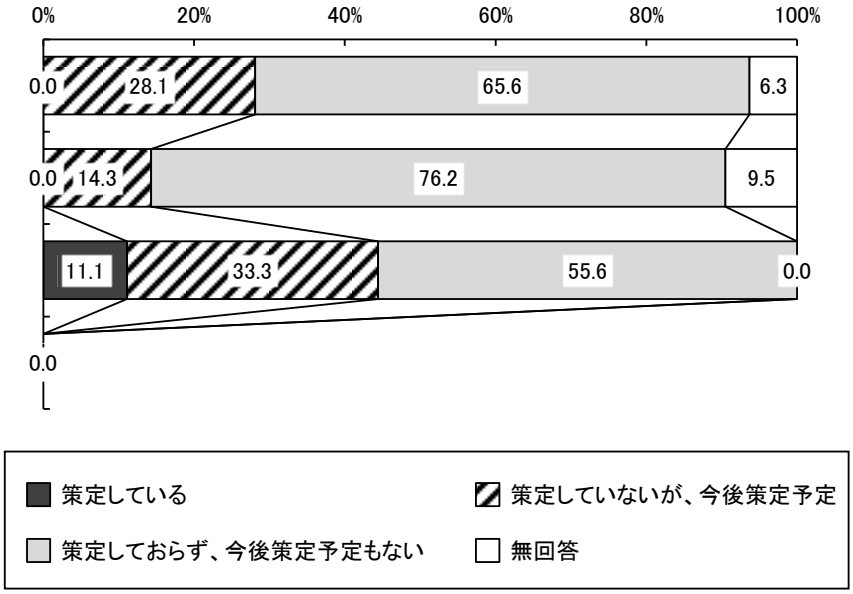


■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別

届出をしている



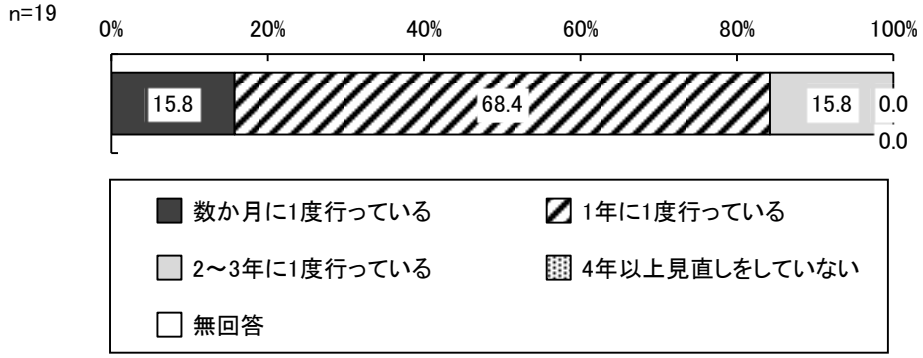
届出をしていない



【③で「策定している」と回答した場合】

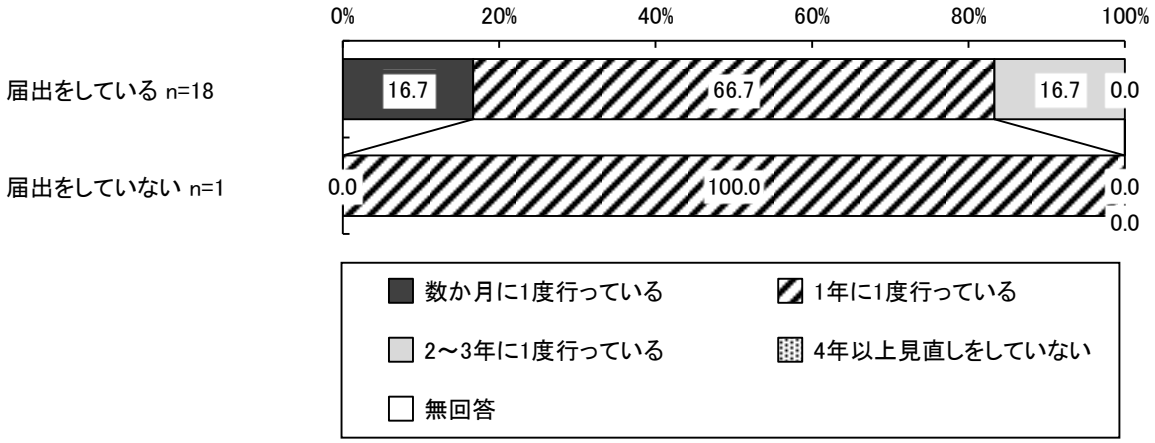
③で「策定している」と回答した場合で最も多かったものは「1 年に 1 度行っている」（68.4%）であった。

図表 2 - 405　勤務環境改善の取組について、計画の見直しの頻度

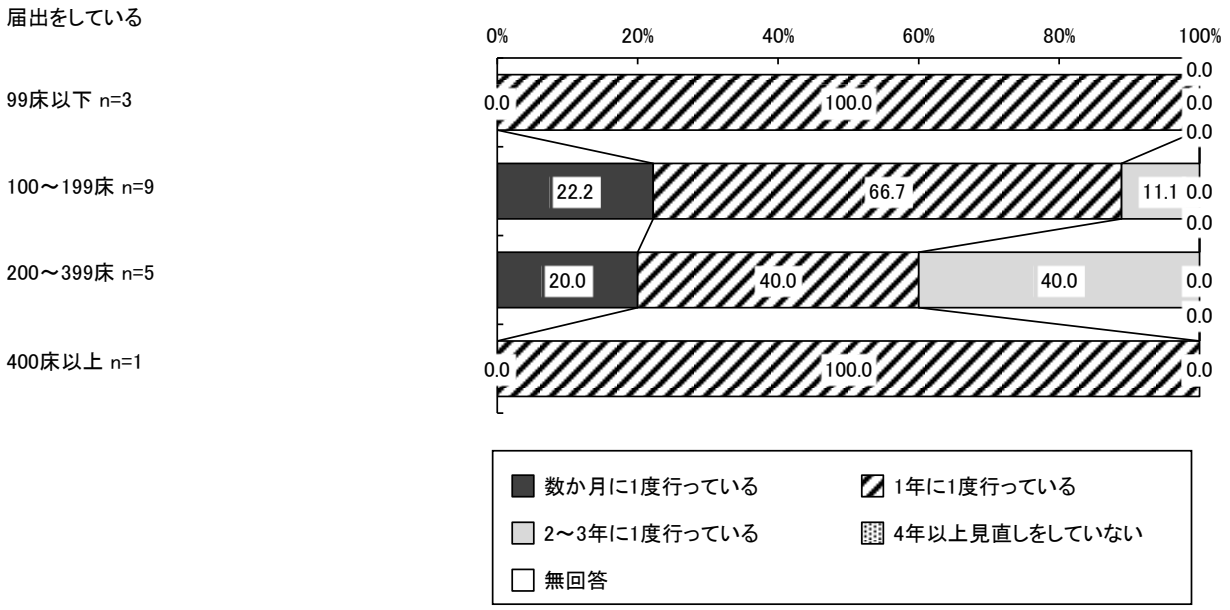


図表 2 - 406　勤務環境改善の取組について、計画の見直しの頻度
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別

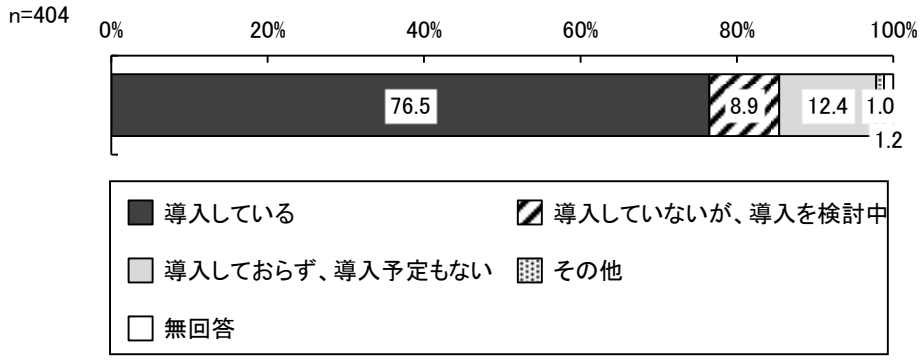


（９）記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況等

① 入院部門における電子カルテの導入状況

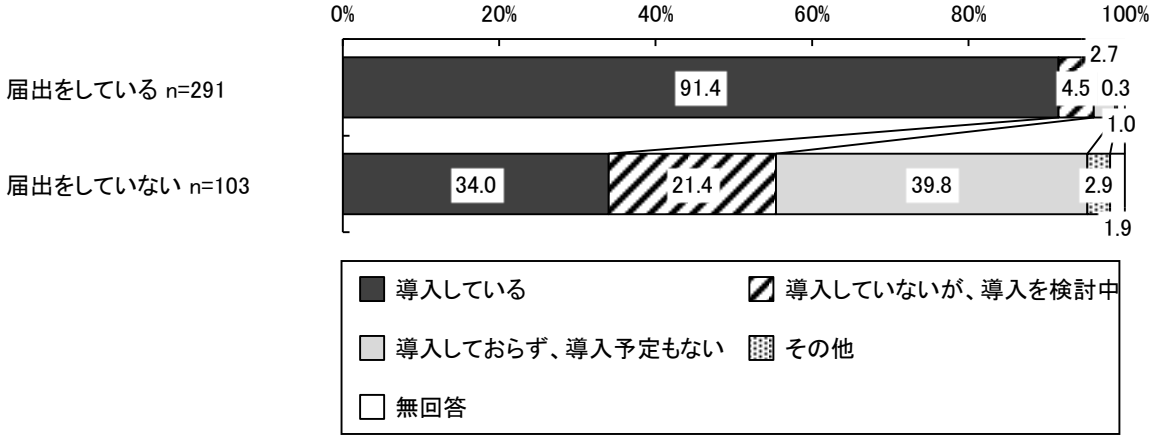
入院部門における電子カルテの導入状況で最も多かったものは「導入している」(76.5%)であった。

図表 2 - 407　入院部門における電子カルテの導入状況



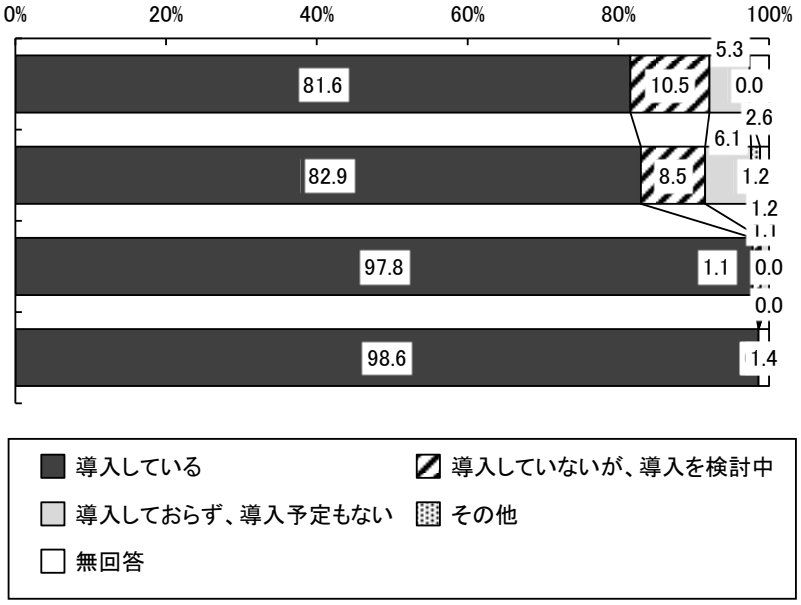
図表 2 - 408　入院部門で電子カルテの導入状況（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別

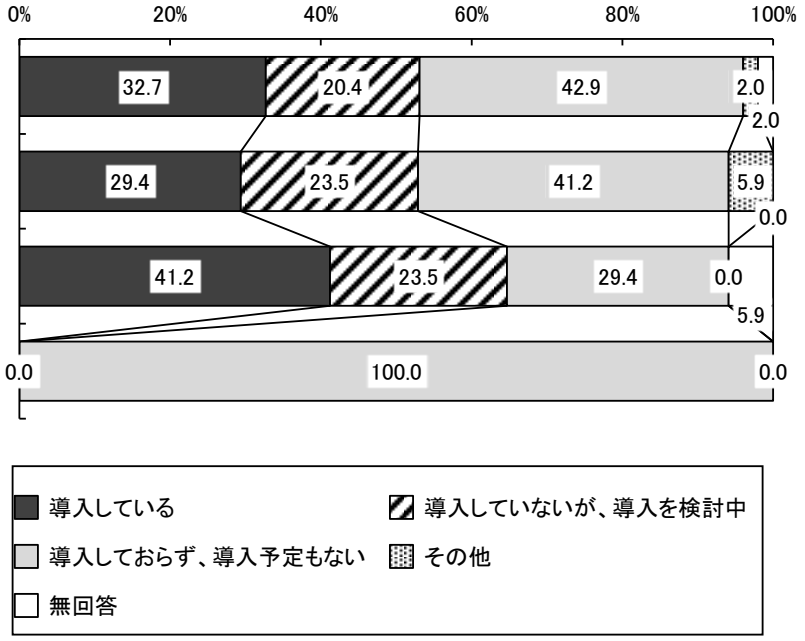


■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別

届出をしている



届出をしていない

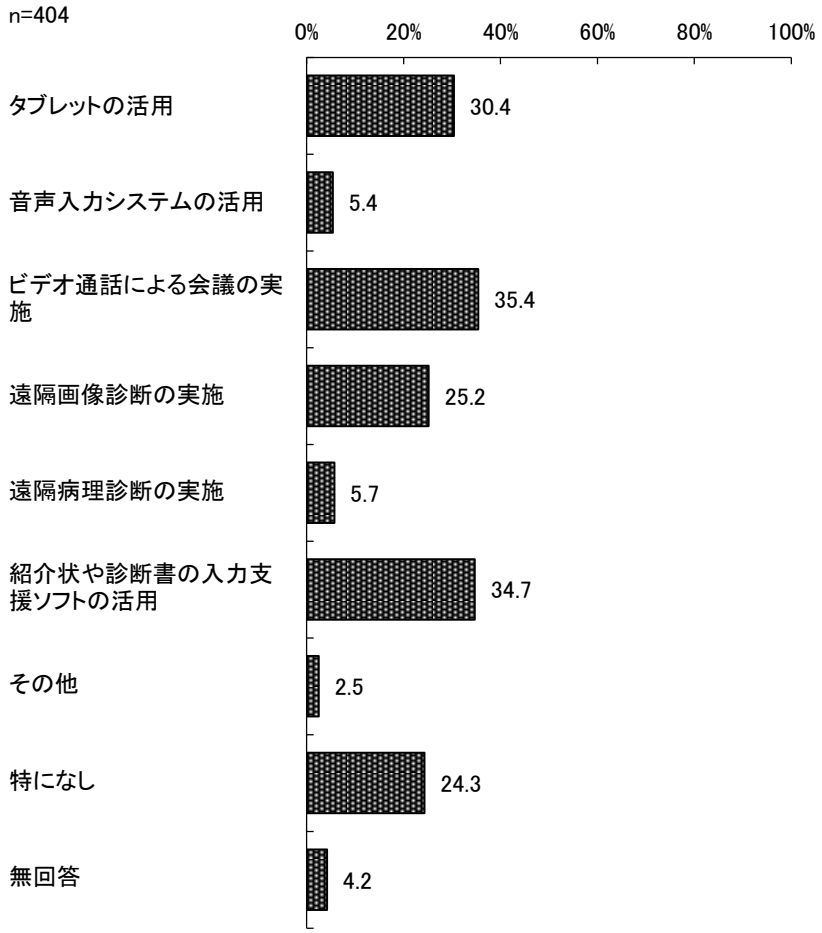


② ICT を活用した業務の見直し･省力化としての取組

ICT を活用した業務の見直し・省力化としての取組で最も多かったものは「ビデオ通話による会議の実施」(35.54%)、次に多かったものは「紹介状や診断書の入力支援ソフトの活用」(34.7%) であった。

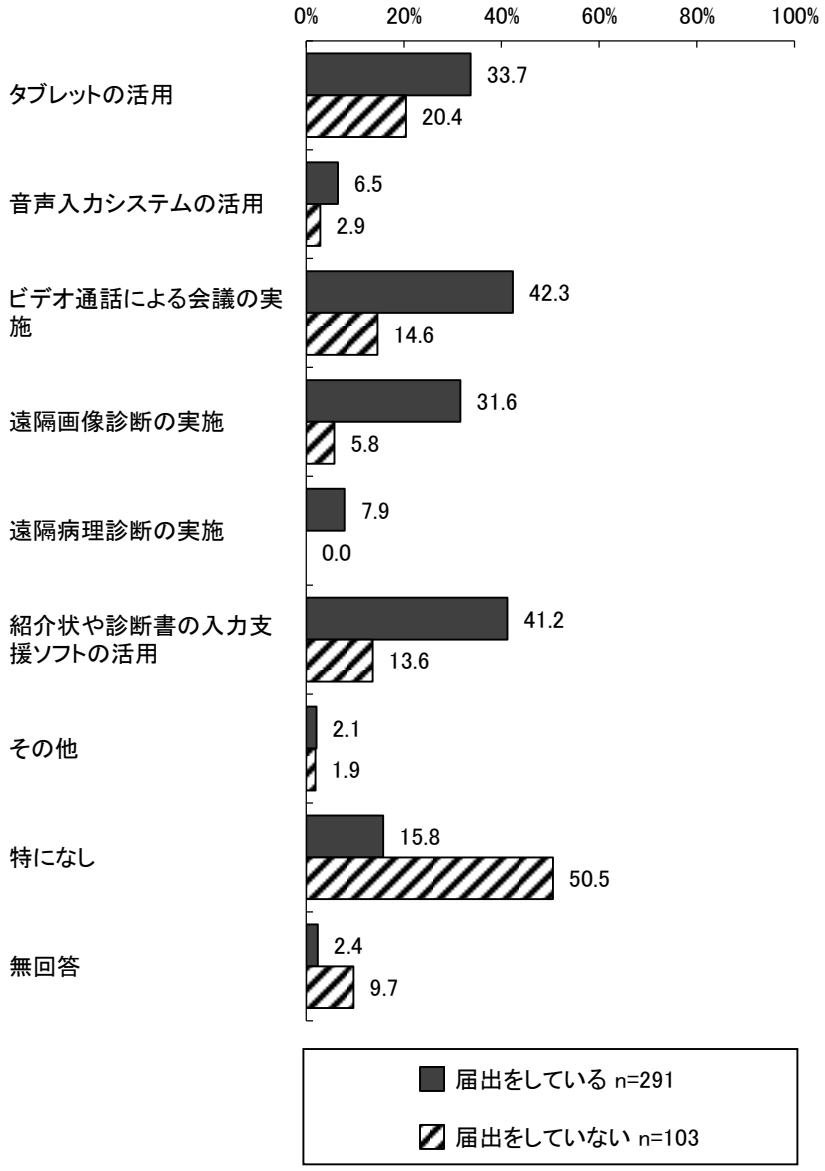
なお、「その他」の回答には「オーダリングシステム」、「ＡＩ問診」等があった。

図表 2 - 409　ICT を活用した業務の見直し・省力化としての取組（複数回答）

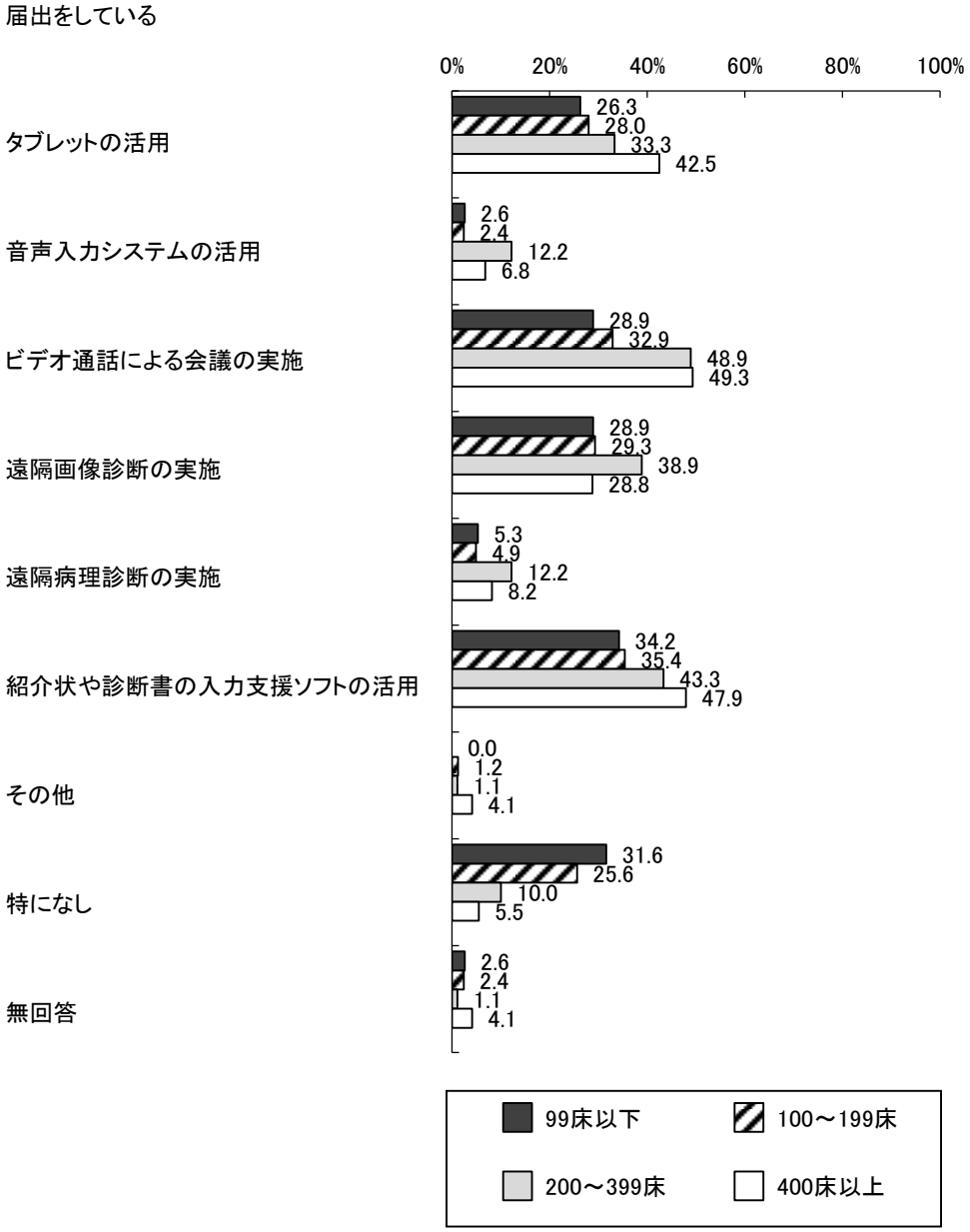


図表 2 - 410　ICT を活用した業務の見直し・省力化としての取組（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

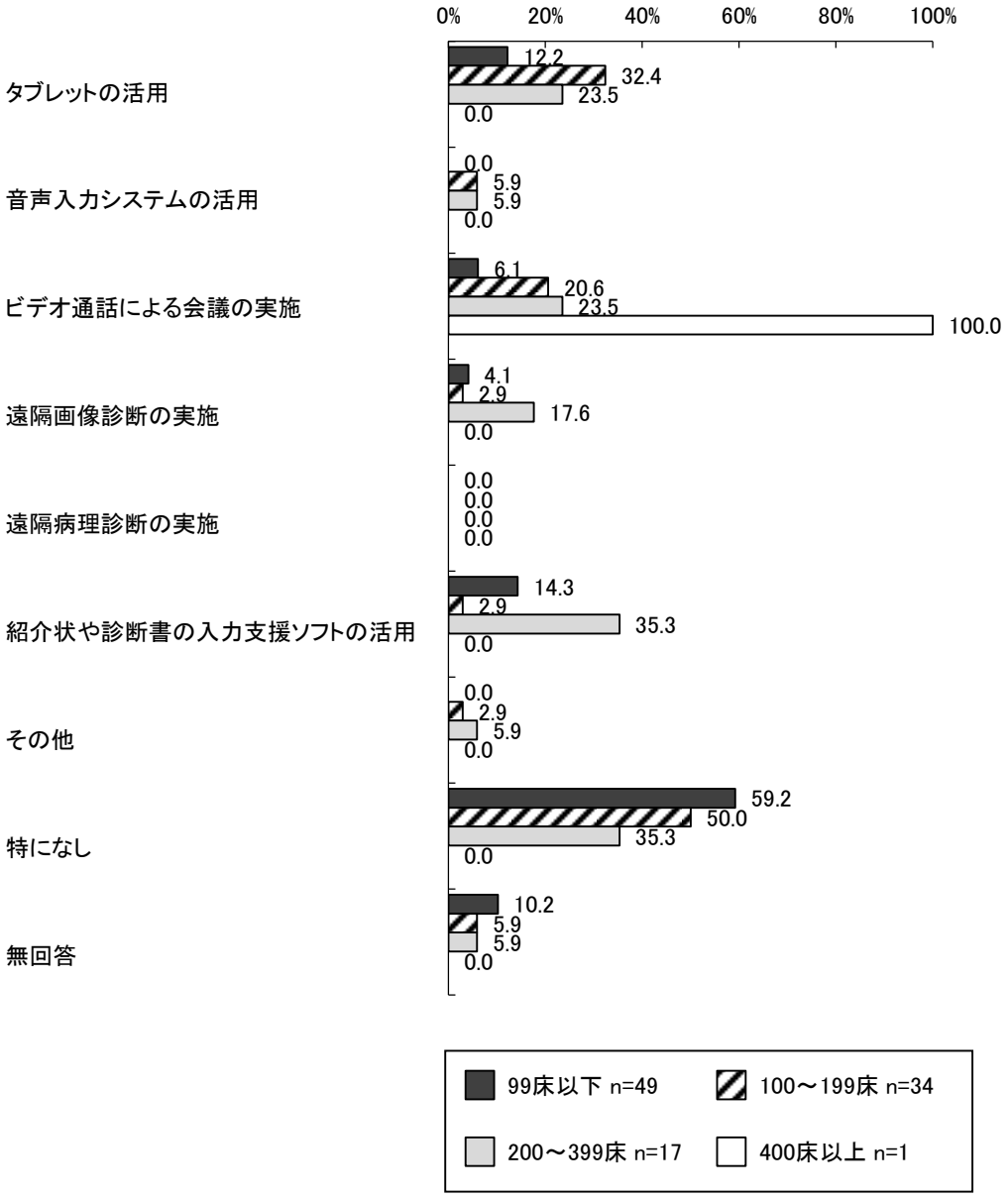
■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別



届出をしていない


0%
20%
40%
60%
80%
100%
タブレットの活用
12.2
32.4
23.5
0.0
音声入力システムの活用
0.0
5.9
5.9
0.0
ビデオ通話による会議の実施
6.1
20.6
23.5
100.0
遠隔画像診断の実施
4.1
2.9
17.6
0.0
遠隔病理診断の実施
0.0
0.0
0.0
0.0
紹介状や診断書の入力支援ソフトの活用
14.3
2.9
35.3
0.0
その他
0.0
2.9
5.9
0.0
特になし
59.2
50.0
35.3
0.0
無回答
10.2
5.9
5.9
0.0
99床以下 n=49
100～199床 n=34
200～399床 n=17
400床以上 n=1

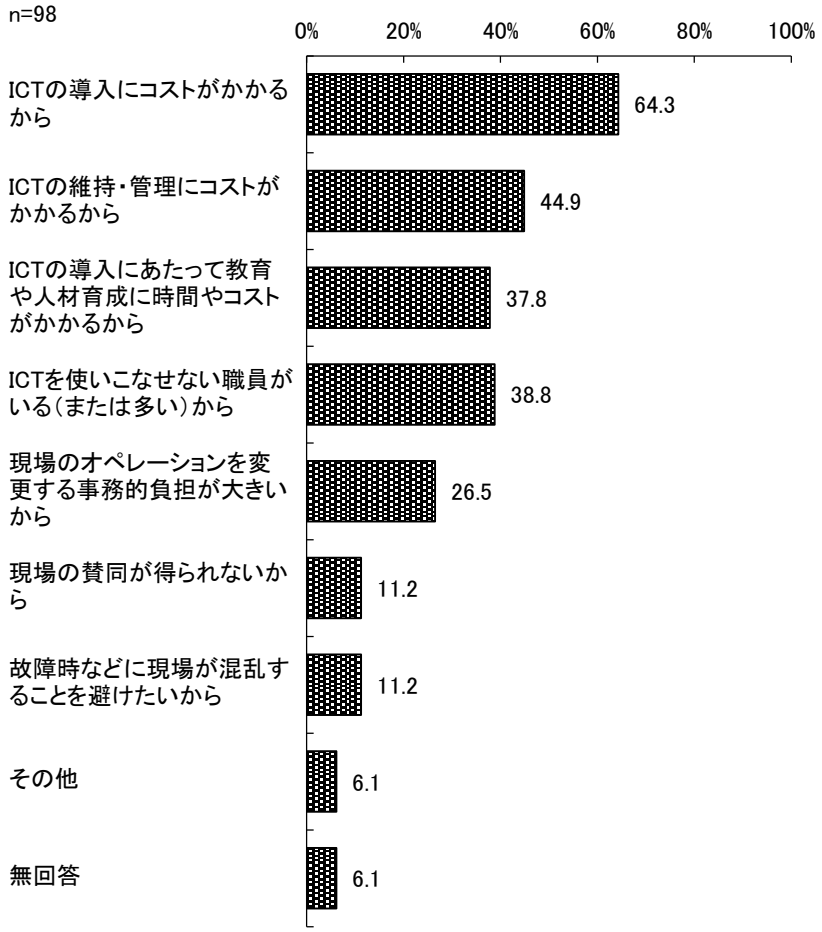
②-1 ICT を活用していない理由

【②で「特になし」と回答した場合】

②で「特になし」と回答した場合の、ICT を活用していない理由で最も多かったものは「ICT の導入にコストがかかるから」(64.3%) であった。

なお、「その他」には「電子カルテの導入を優先的に行いたい」、「セキュリティの問題がある」等の回答があった。

図表 2 - 411　ICT を活用していない理由（複数回答）

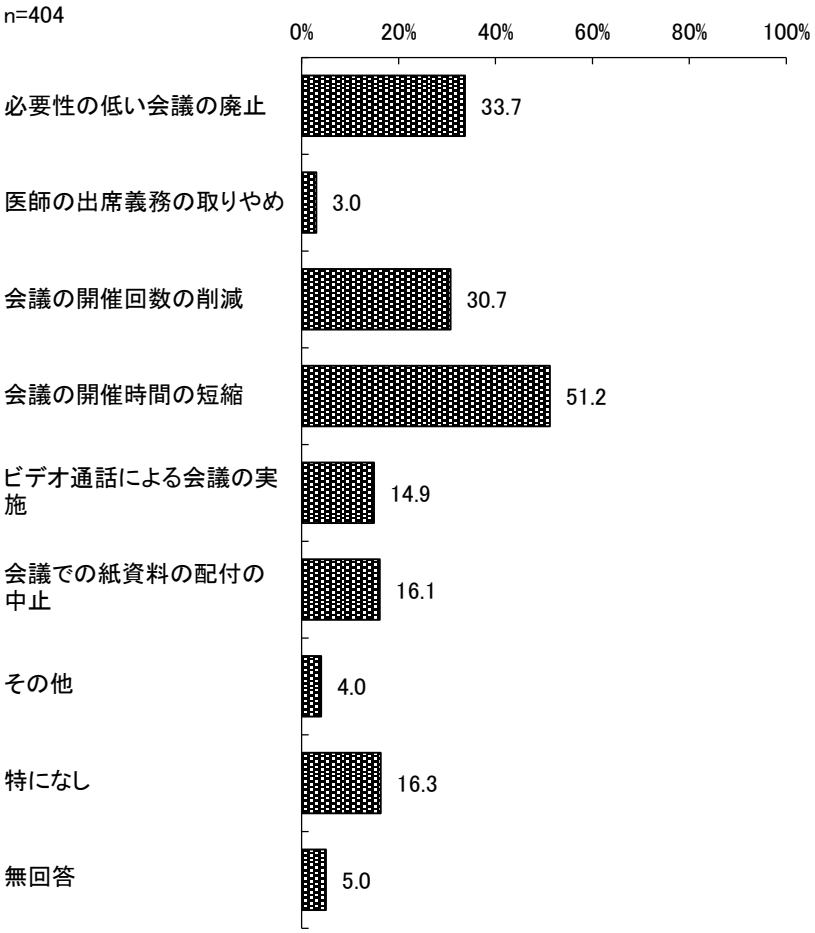


③ 院内の会議に関する負担軽減のための取組

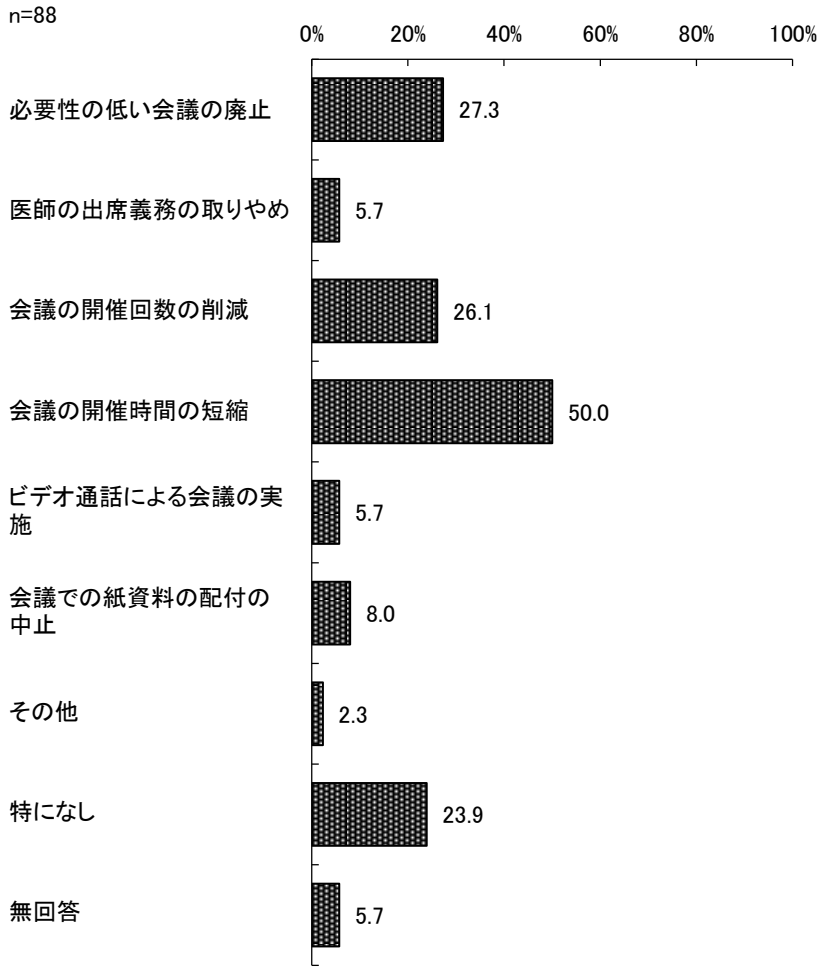
院内の会議に関する負担軽減のための取組で最も多かったものは「会議開催時間の短縮」（51.2%）であった。

なお、「その他」には、「共通の会議を統合し、回数を削減」、「電子会議、メール会議の開催」、「時間外会議の削減」等の回答があった。

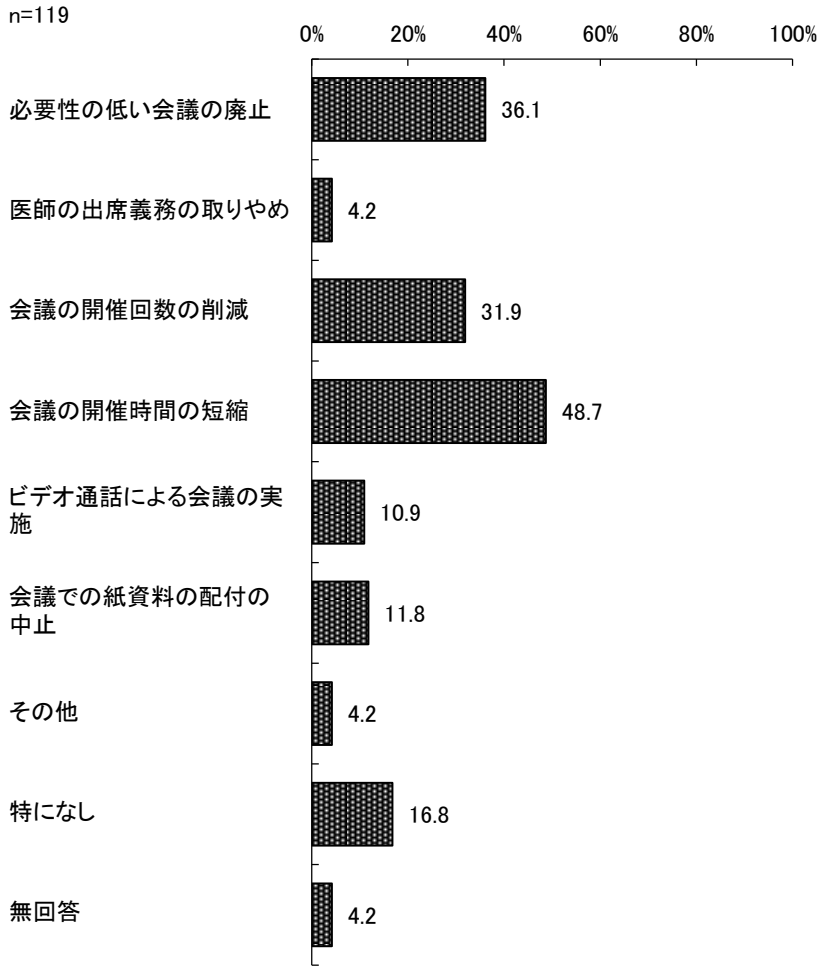
図表 2 - 412　院内の会議に関する負担軽減のための取組（複数回答）



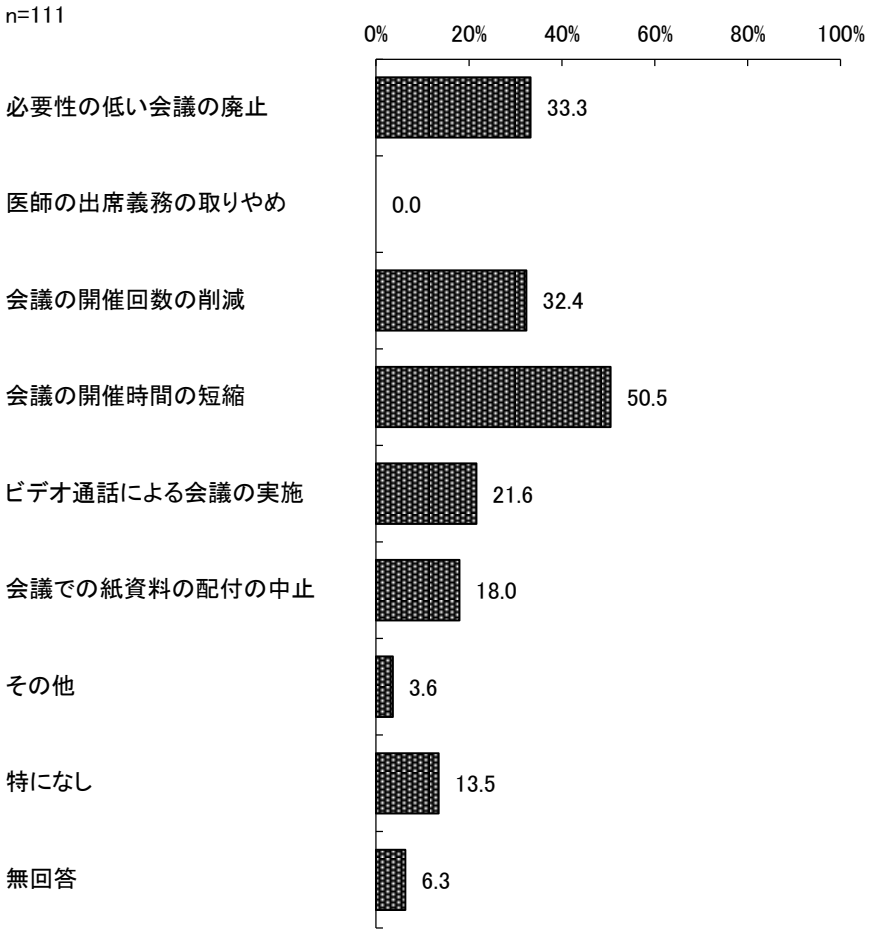
図表 2 - 413　院内の会議に関する負担軽減の取組（病床規模別）【99 床以下】



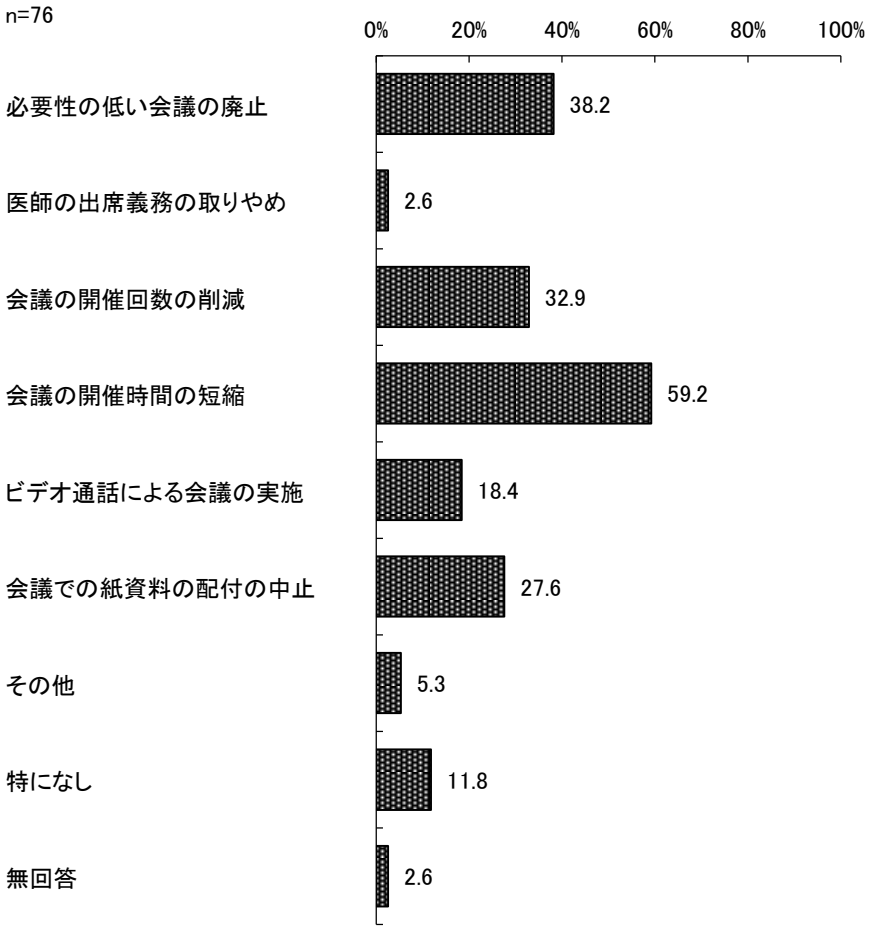
図表 2 - 414　院内の会議に関する負担軽減の取組（病床規模別）【100～199 床以下】



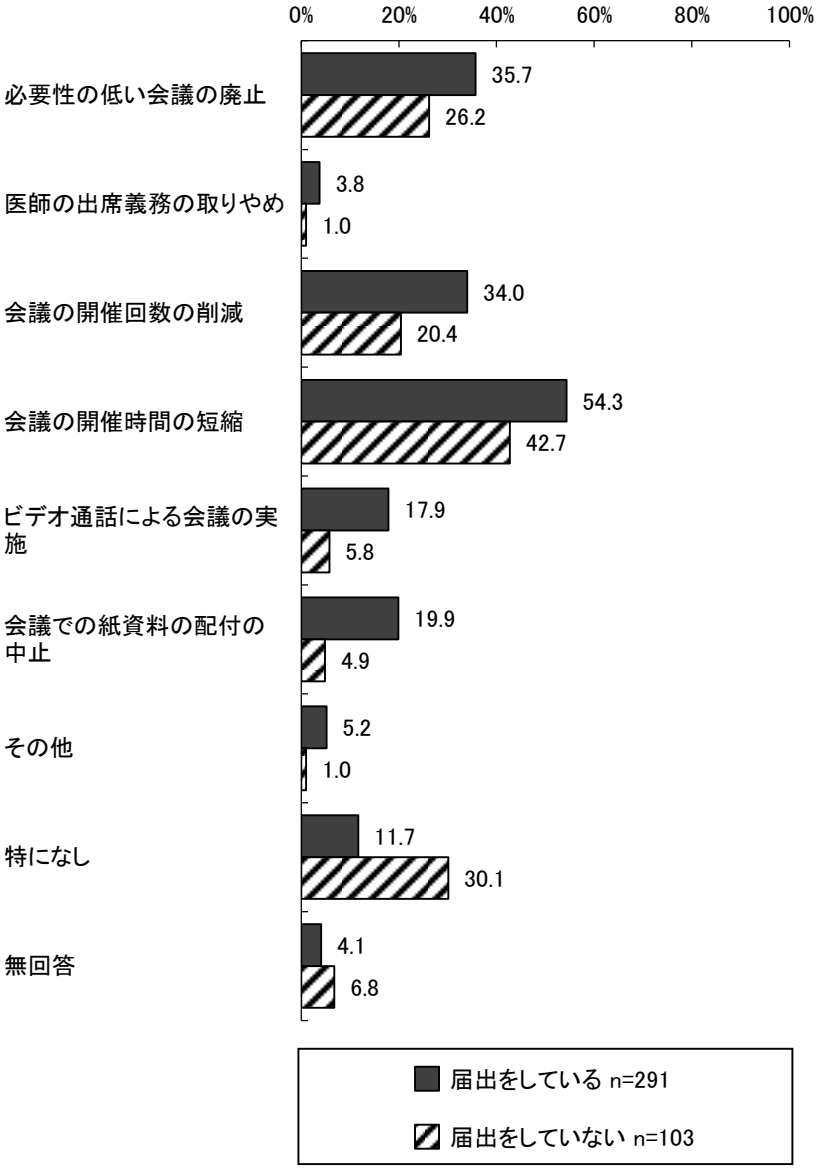
図表 2 - 415　院内の会議に関する負担軽減の取組（病床規模別）【200～399 床以下】



図表 2 - 416　院内の会議に関する負担軽減の取組（病床規模別）【400 床以上】



図表 2 - 417　院内の会議に関する負担軽減の取組（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）



④ ビデオ通話を活用している具体的な場面（自由回答）

ビデオ通話を活用している具体的な場面としては以下のような回答があった。

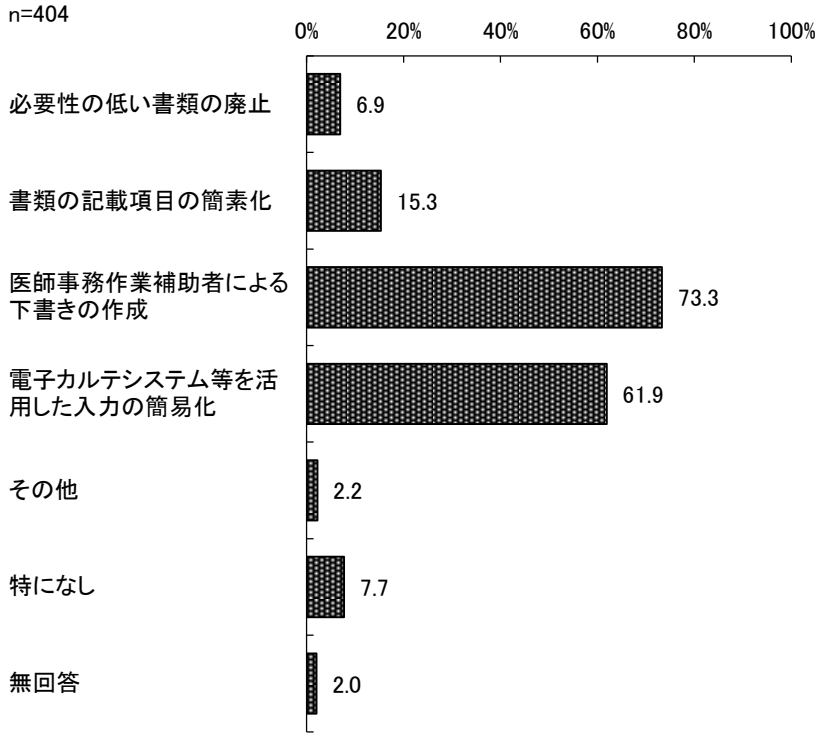
・複数部署との会議
・外部の遠隔施設や看護部会、関連医療機関との合同会議、カンファレンス
・法人グループ内の研修・都道府県との会議、委員会等
・採用面接、学会研修等

⑤ 医師の書類作成に関する負担軽減のための取組

医師の書類作成に関する負担軽減のための取組で最も多かったものは「医師事務作業補助者による下書きの作成」（73.3%）であった。

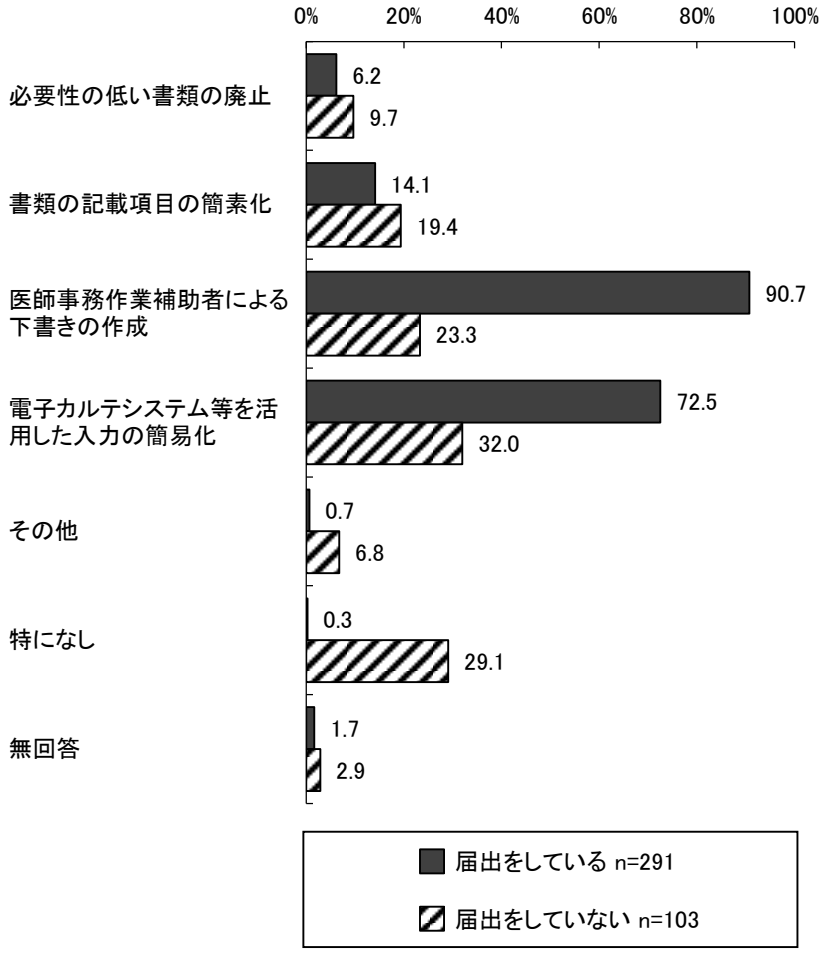
なお、「その他」には「主治医意見書問診表の活用」、「医療事務、専門職、他職種による下書きの作成」等の回答があった。

図表 2 - 418　医師の書類作成に関する負担軽減のための取組（複数回答）

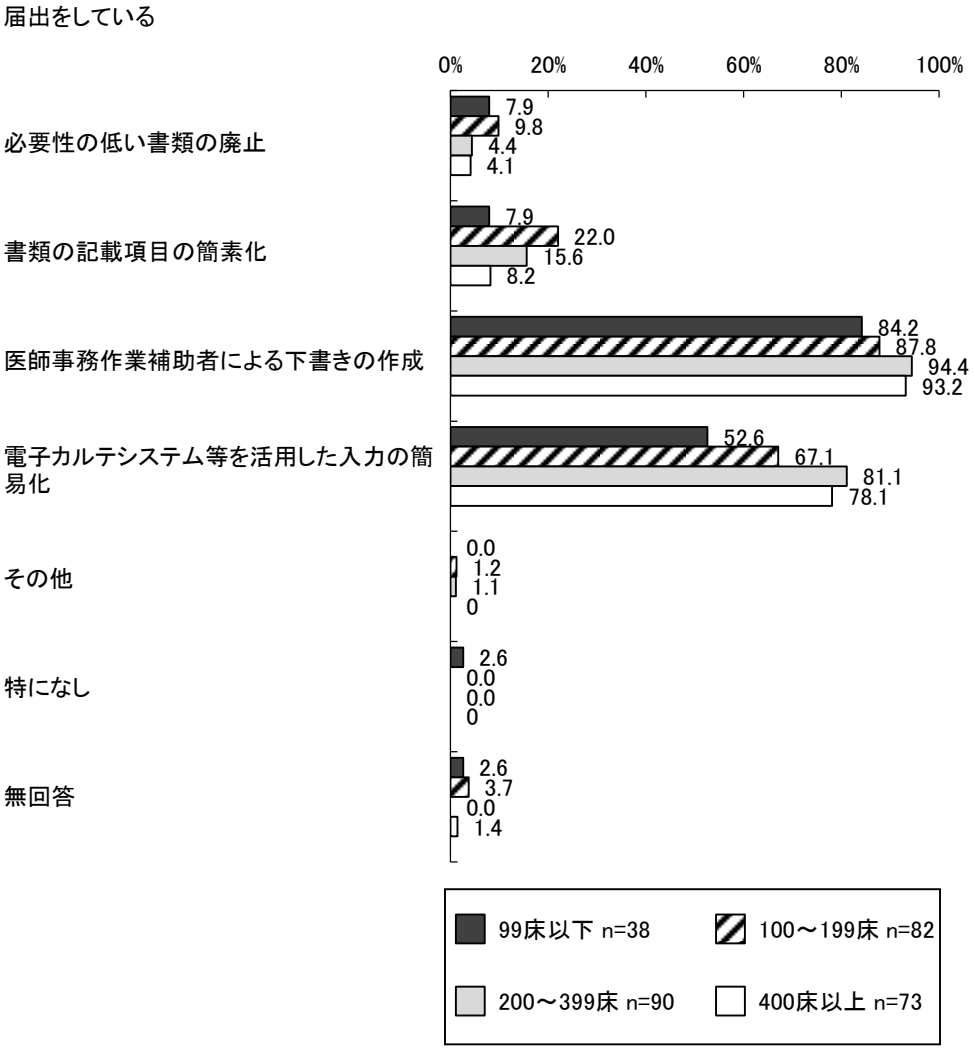


図表 2 - 419　医師の書類作成に関する負担軽減のための取組（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

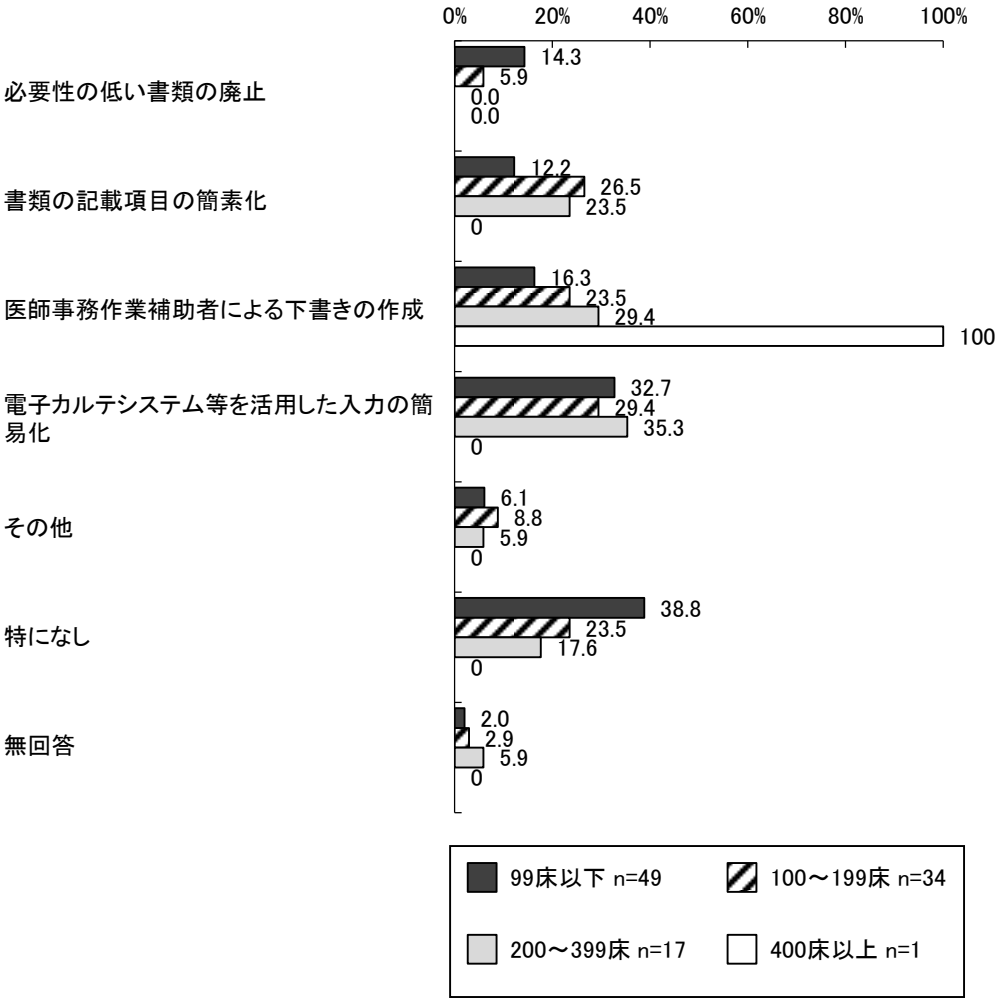
■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別



■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別



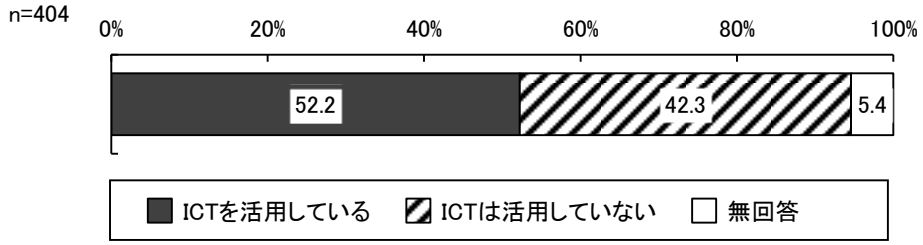
届出をしていない


0%
20%
40%
60%
80%
100%
必要性の低い書類の廃止
14.3
5.9
0.0
0.0
書類の記載項目の簡素化
12.2
26.5
23.5
0
医師事務作業補助者による下書きの作成
16.3
23.5
29.4
100
電子カルテシステム等を活用した入力の簡易化
32.7
29.4
35.3
0
その他
6.1
8.8
5.9
0
特になし
38.8
23.5
17.6
0
無回答
2.0
2.9
5.9
0
99床以下 n=49
100～199床 n=34
200～399床 n=17
400床以上 n=1

⑥他の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携を行うための ICT（情報通信技術）の活用状況

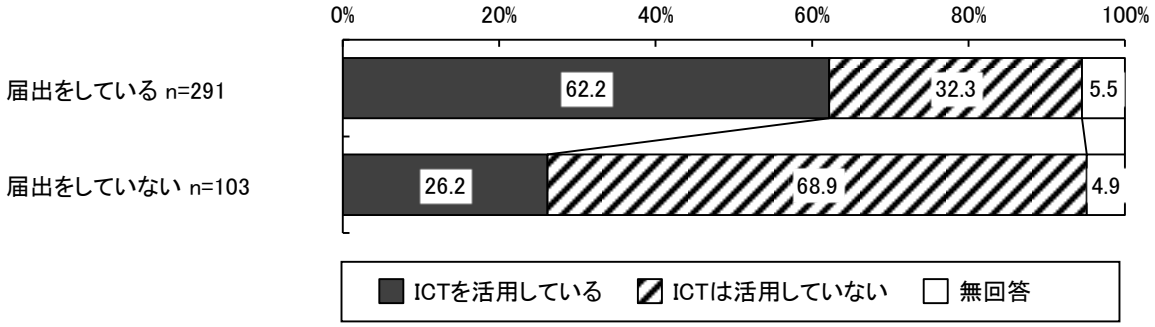
他の医療機関、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携を行うための ICT（情報通信技術）の活用状況で最も多かったものは「ICTを活用している」（52.2%）であった。

図表 2 - 420　情報共有・連携を行うためのICT の活用状況



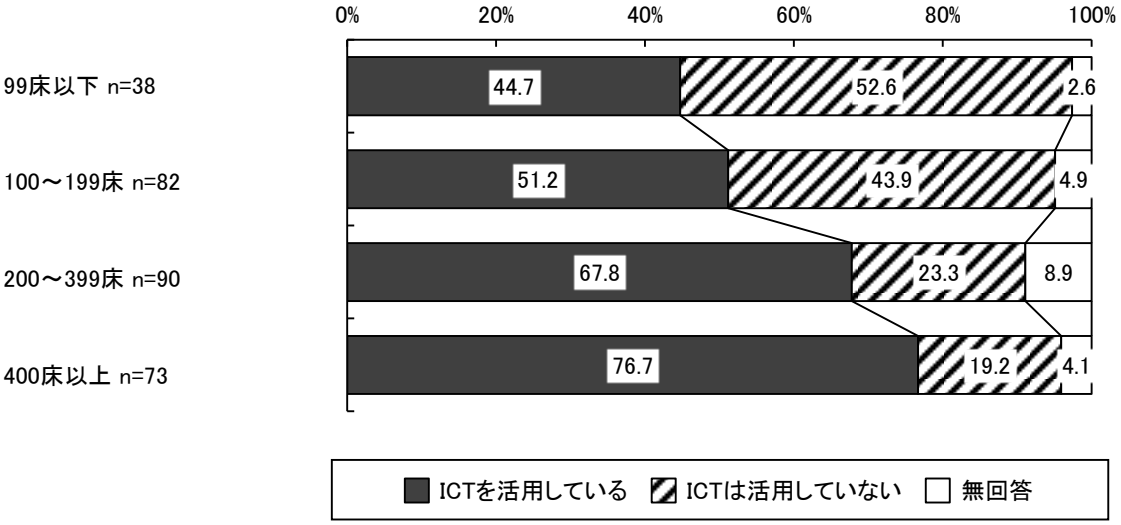
図表 2 - 421　情報共有・連携を行うためのICT の活用状況
（医師事務作業補助体制加算の届出の有無別）

■医師事務作業補助体制加算の届出の有無別

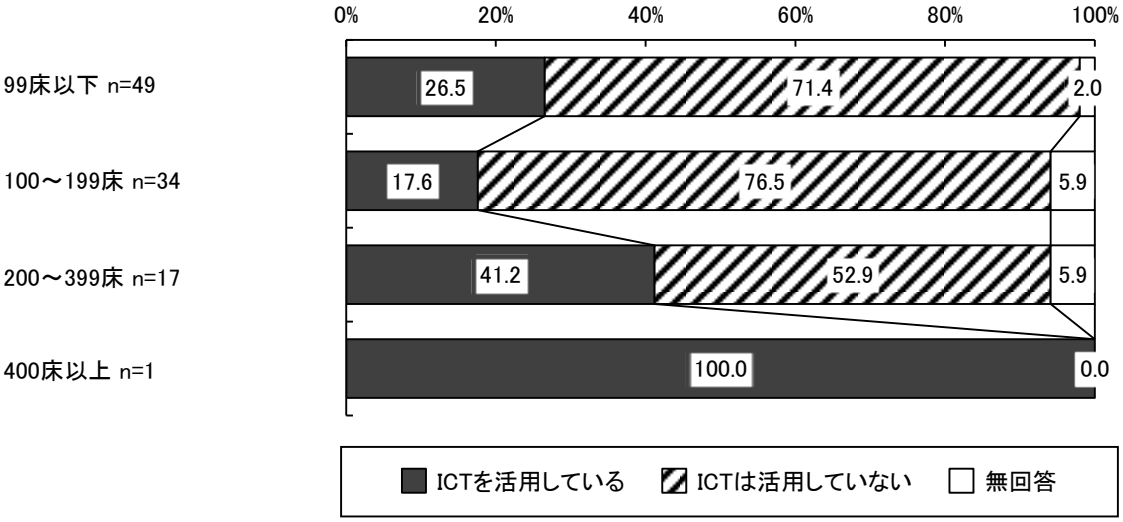


■医師事務作業補助体制加算の届出の有無・病床規模別

届出をしている



届出をしていない

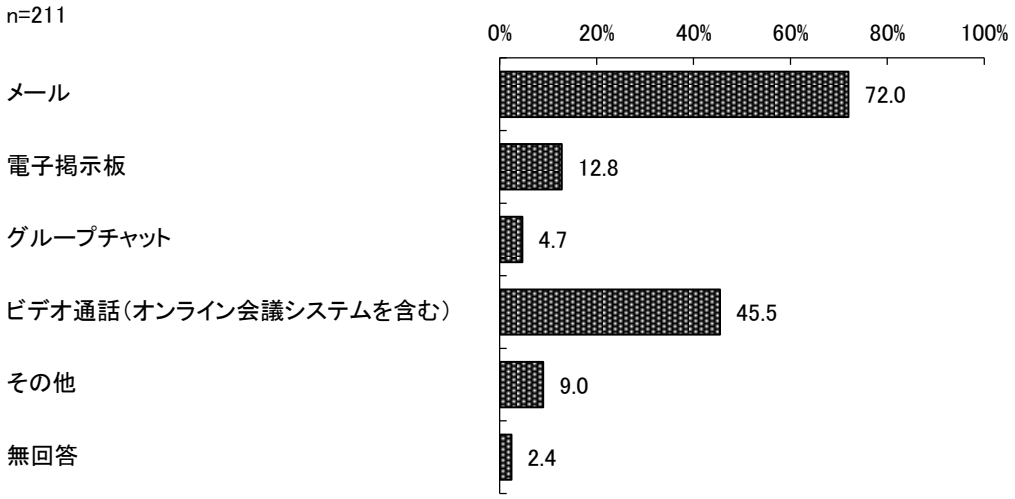


【⑥で「ICTを活用している」と回答した場合：活用しているICTの種類】

⑥で「ICT を活用している」と回答した場合の活用しているＩＣＴの種類で最も多かったものは「メール」（72.0%）であった。

なお、「その他」の回答としては、「地域医療連携システム」、「遠隔画像診断」等があった。

図表 2 - 422　「ICT を活用している」場合:活用している ICT の種類（複数回答）



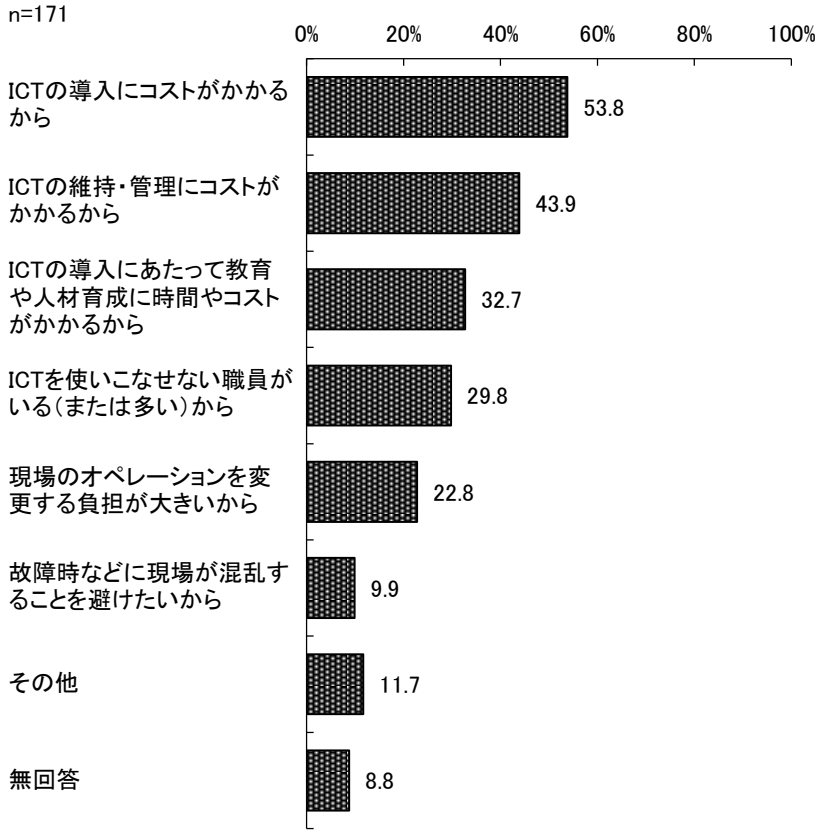
⑥-1 ICT を活用していない理由

【⑥で「ICTは活用していない」と回答した場合】

⑥で「ICT は活用していない」と回答した場合で最も多かったものは「ICT の導入にコストがかかるから」（53.8%）であった。

なお、「その他」としては、「情報セキュリティ上の問題」、「各病院で導入しているシステムが異なる」、「電子カルテと二重に登録しなければならないため、手間が増える」等の回答があった。

図表 2 - 423　ICT を活用していない理由（複数回答）



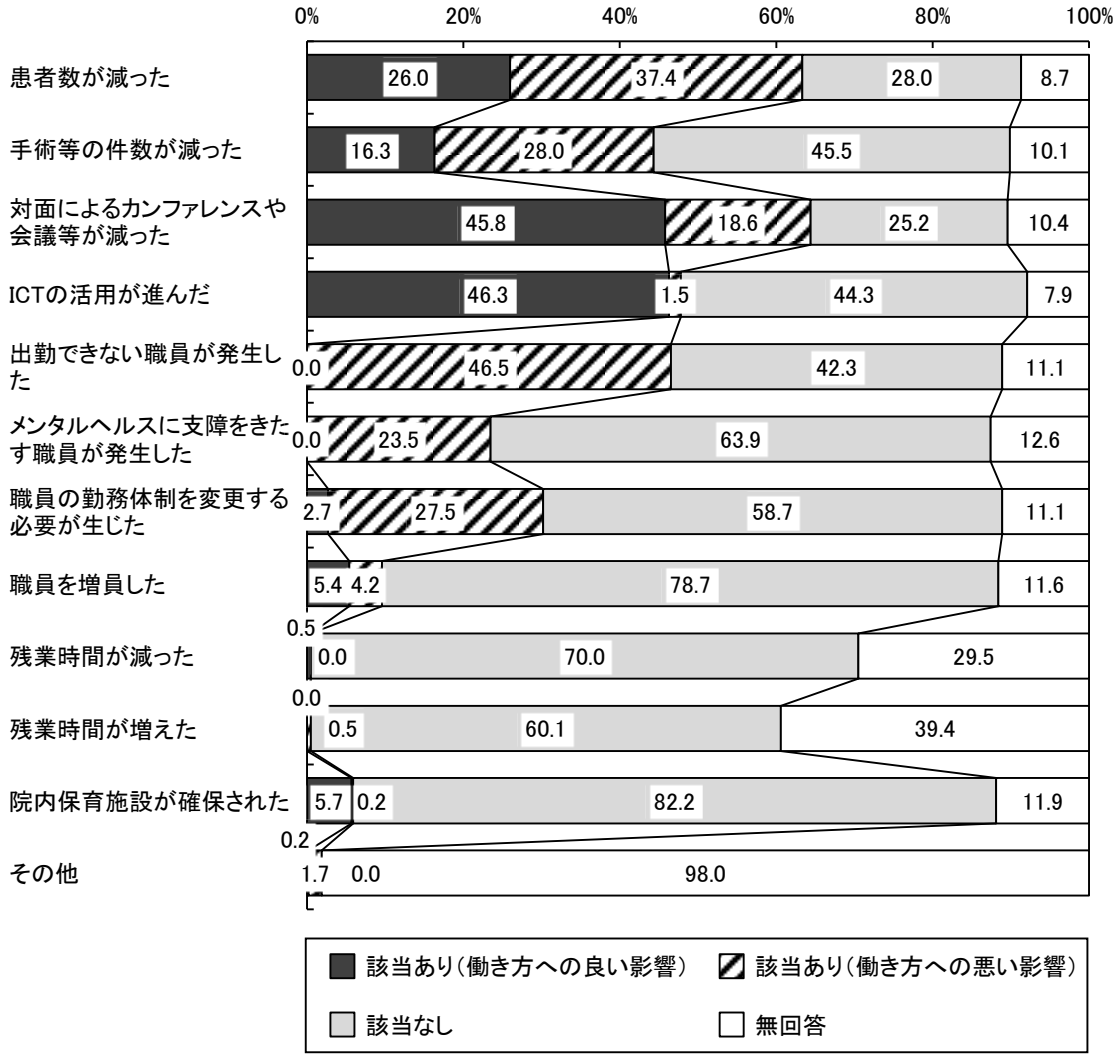
（１０）新型コロナウイルス感染症の受け入れによる施設における影響

（ア）新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた影響

新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた影響で「該当あり（働き方への良い影響）」で最も多かったものは「ICT の活用が進んだ」(46.3%)、次いで「対面によるカンファレンスや会議等が減った」(45.8%) であった。

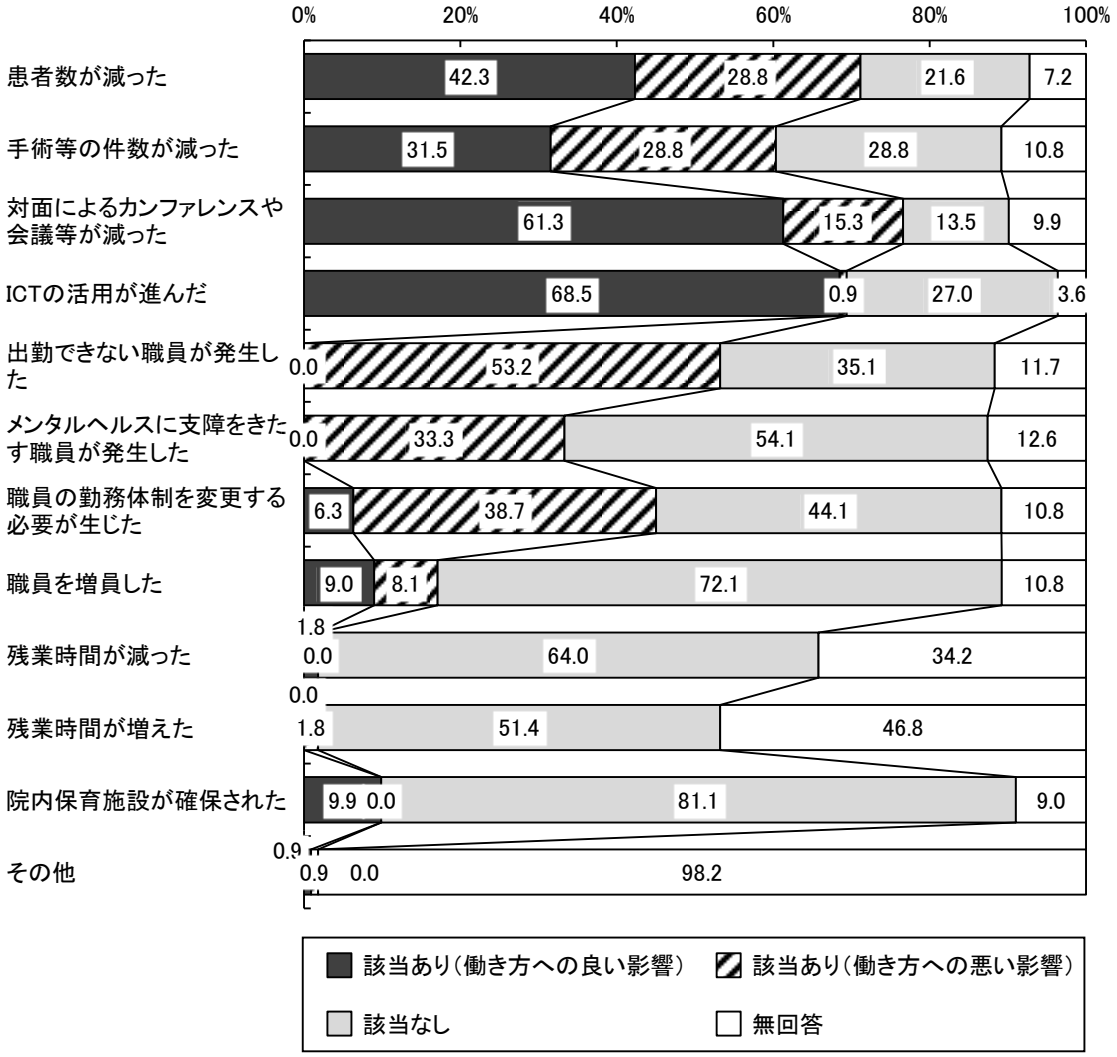
「該当あり（働き方への悪い影響）」で最も多かったものは「出勤できない職員が発生した」(46.5%)、次に多かったものは「患者数が減った」(37.4%) であった。

図表 2 - 424　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた影響

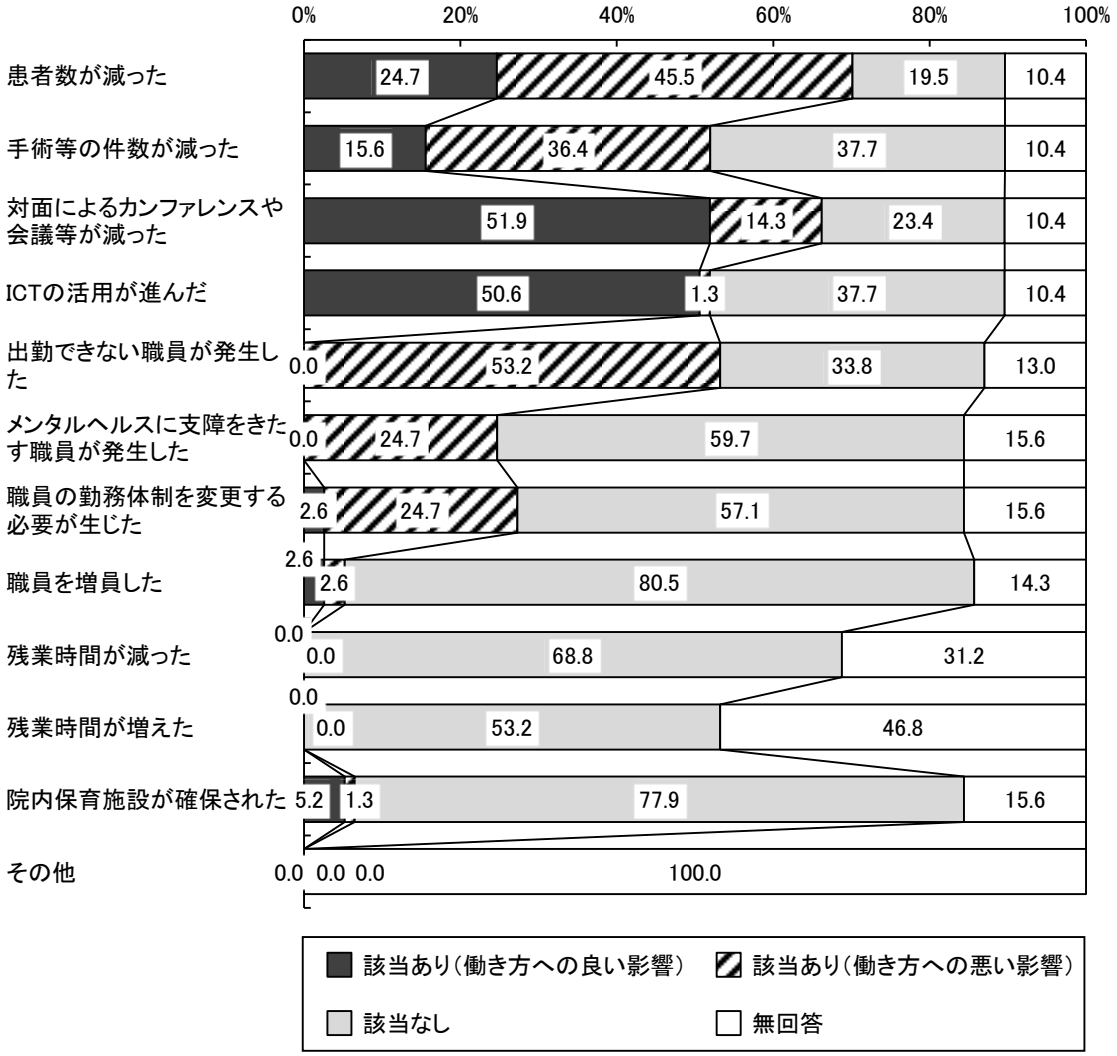


図表 2 - 425　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた影響（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

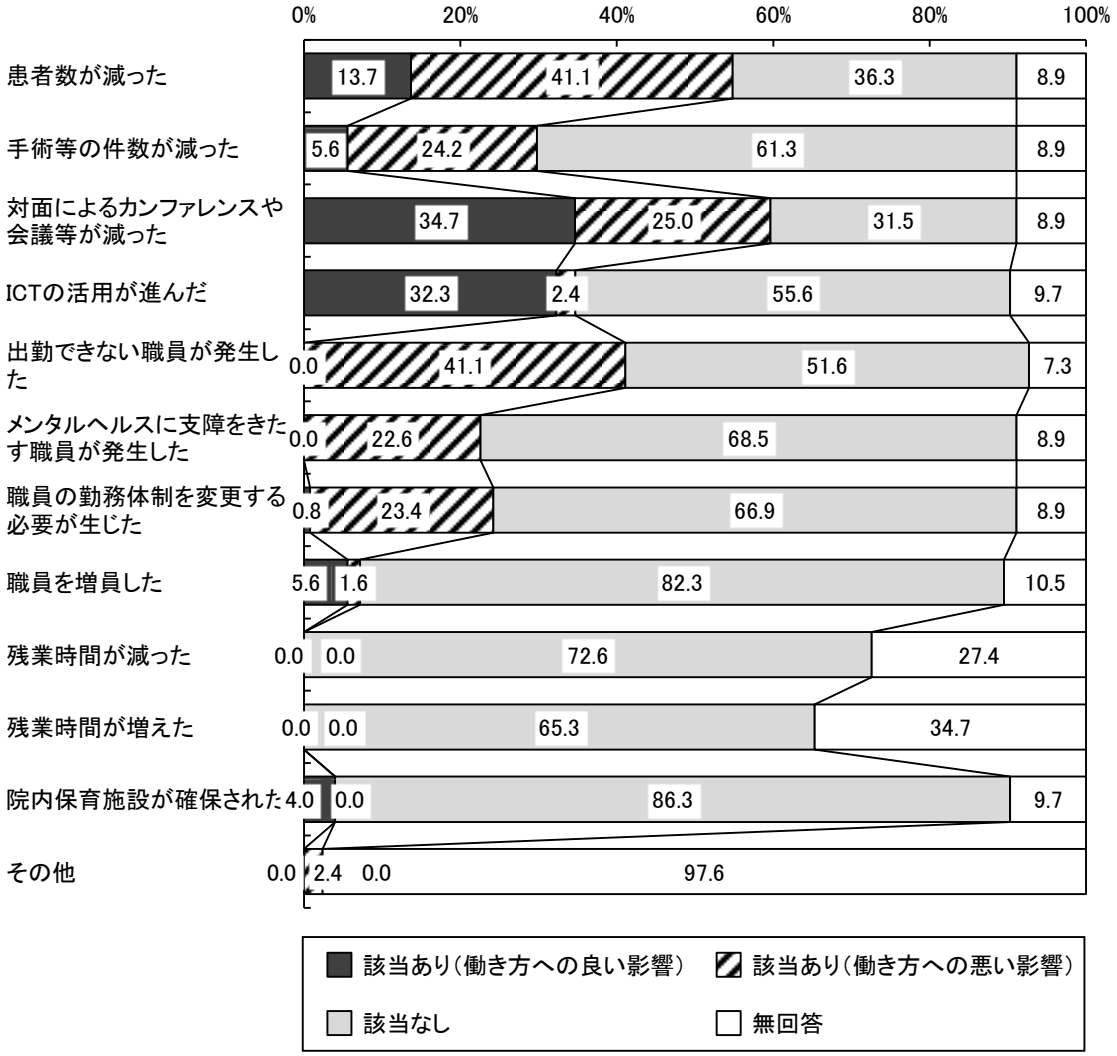
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている



協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている



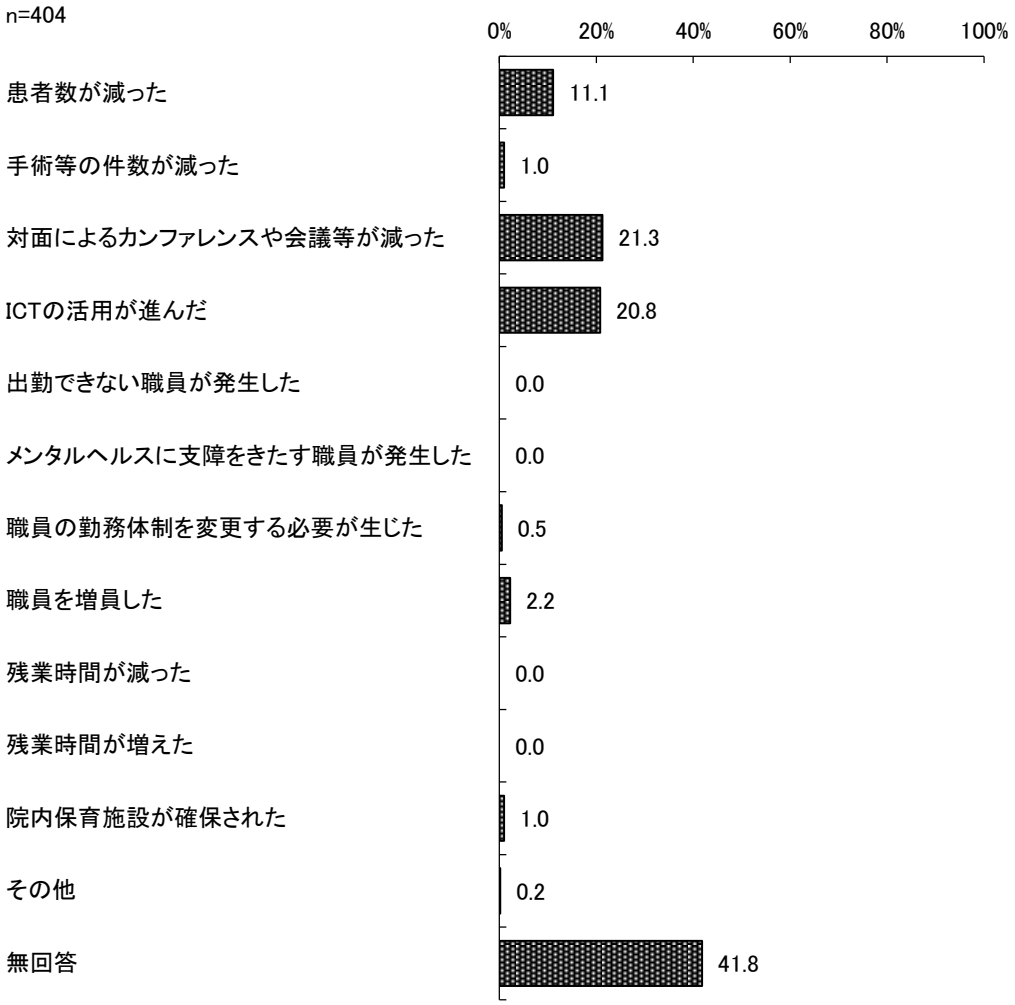
その他


0%
20%
40%
60%
80%
100%
患者数が減った
13.7
41.1
36.3
8.9
手術等の件数が減った
5.6
24.2
61.3
8.9
対面によるカンファレンスや会議等が減った
34.7
25.0
31.5
8.9
ICTの活用が進んだ
32.3
2.4
55.6
9.7
出勤できない職員が発生した
0.0
41.1
51.6
7.3
メンタルヘルスに支障をきたす職員が発生した
0.0
22.6
68.5
8.9
職員の勤務体制を変更する必要が生じた
0.8
23.4
66.9
8.9
職員を増員した
5.6
1.6
82.3
10.5
残業時間が減った
0.0
0.0
72.6
27.4
残業時間が増えた
0.0
0.0
65.3
34.7
院内保育施設が確保された
4.0
0.0
86.3
9.7
その他
0.0
2.4
0.0
97.6
該当あり（働き方への良い影響）
該当あり（働き方への悪い影響）
該当なし
無回答

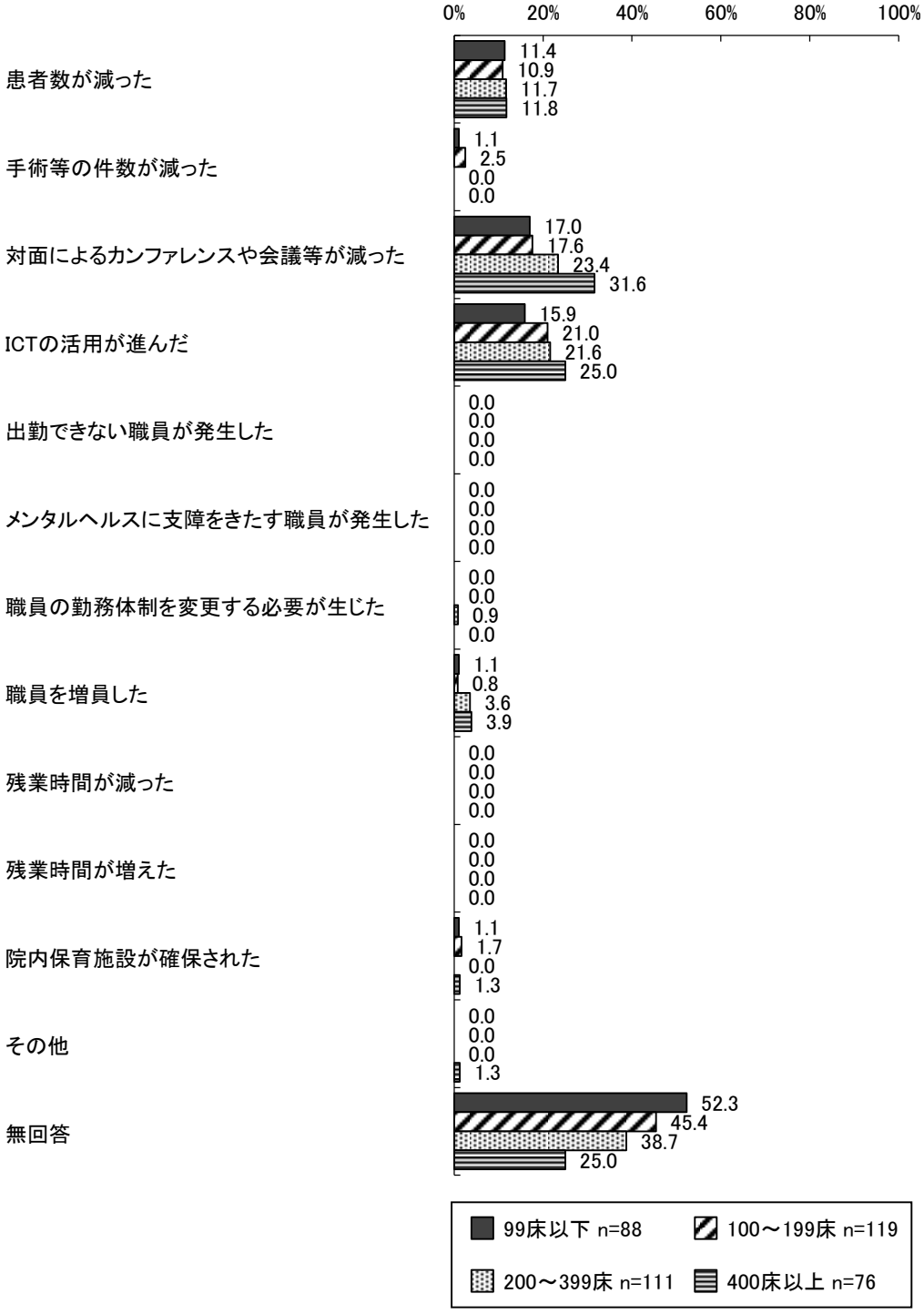
① -1 新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響

新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響で最も多かったものは「対面によるカンファレンスや会議等が減った」(21.3%)、次に多かったものは「ICT の活用が進んだ」(20.8%) であった。また、地域医療体制確保加算を届出ている施設では、「対面によるカンファレンスや会議が減った」ことを 28.2%の施設が、「ICT の活用が進んだ」ことを 23.6%の施設があげていた。

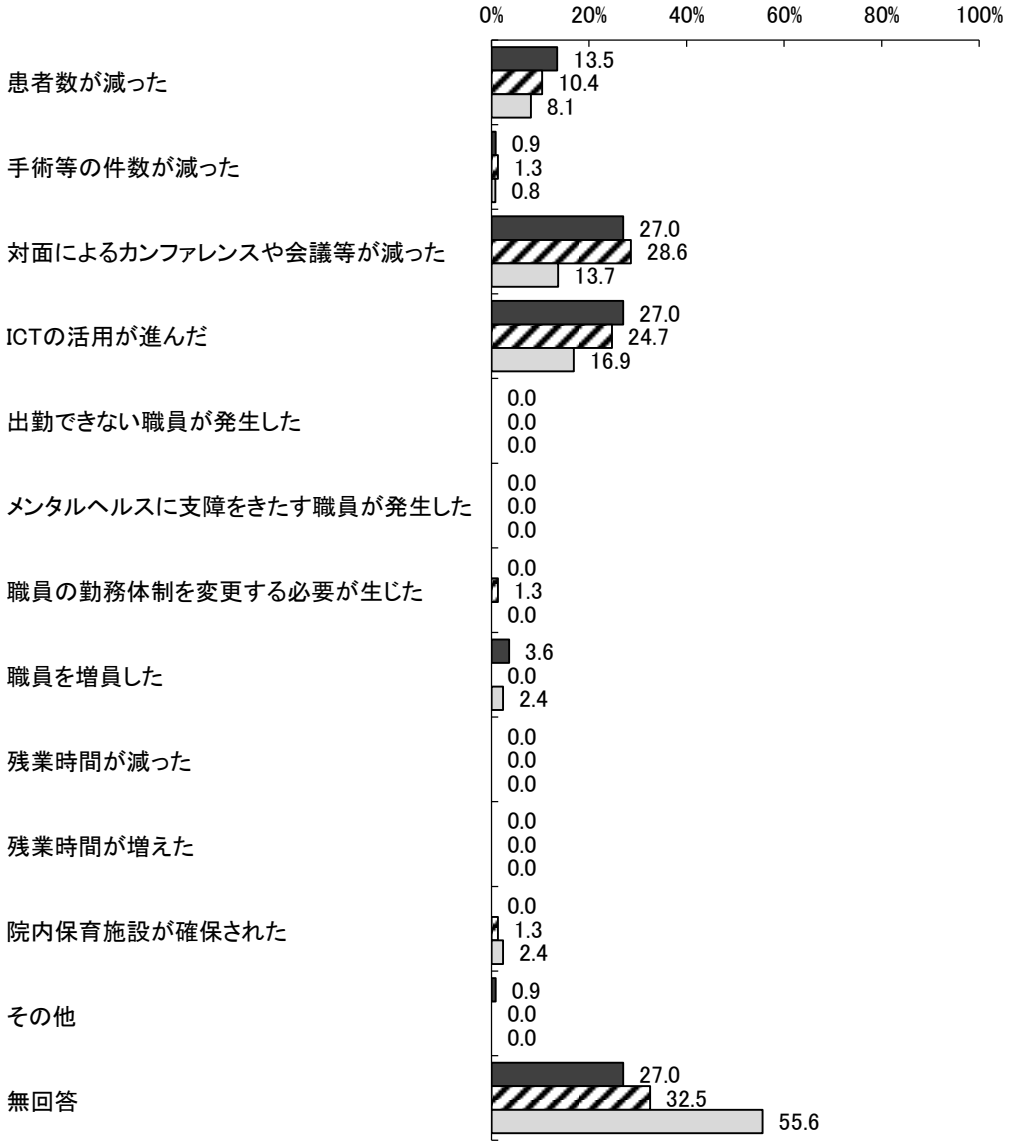
図表 2 - 426　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響



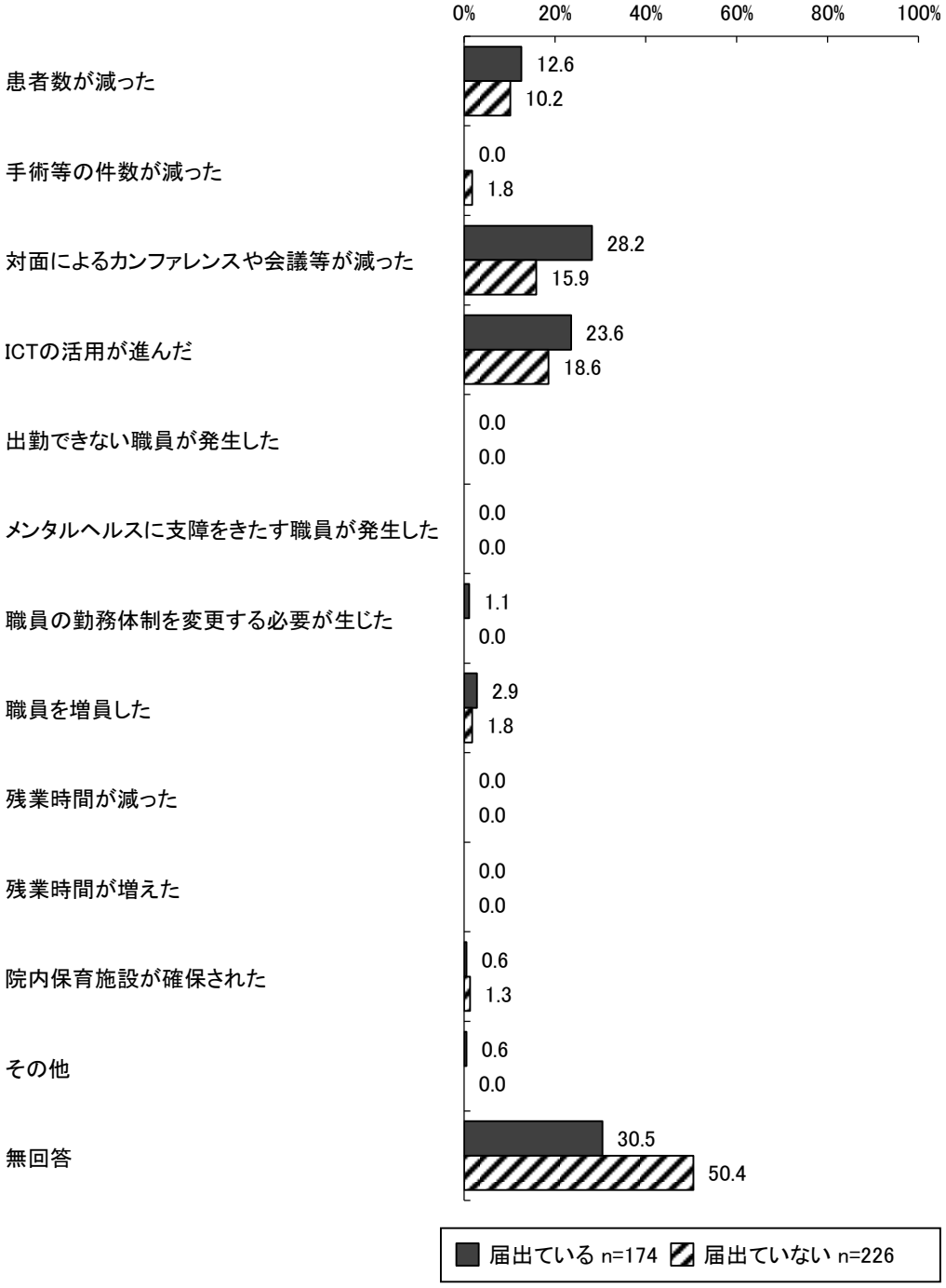
図表 2 - 427　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響
（病床規模別）



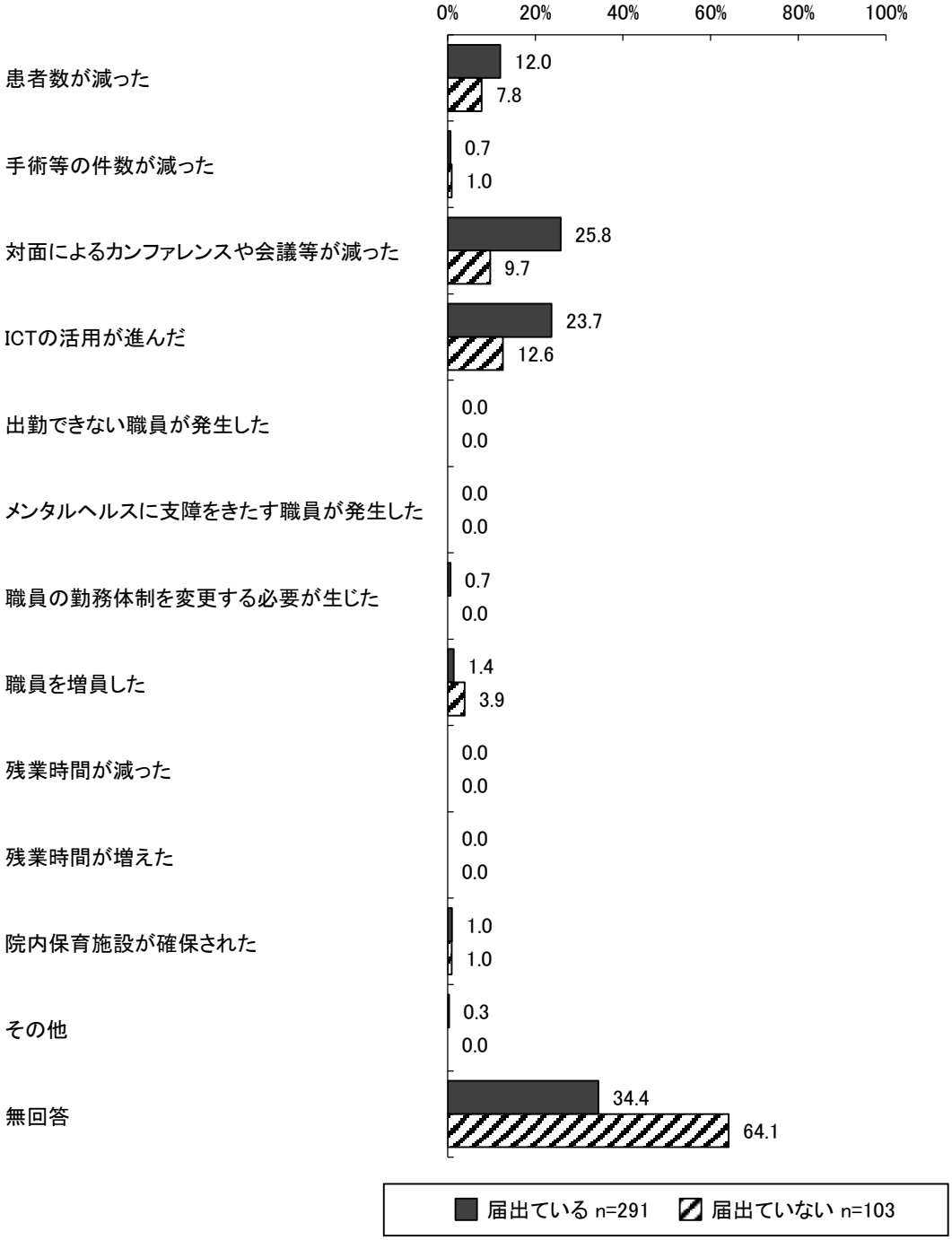
図表 2 - 428　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



図表 2 - 429　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



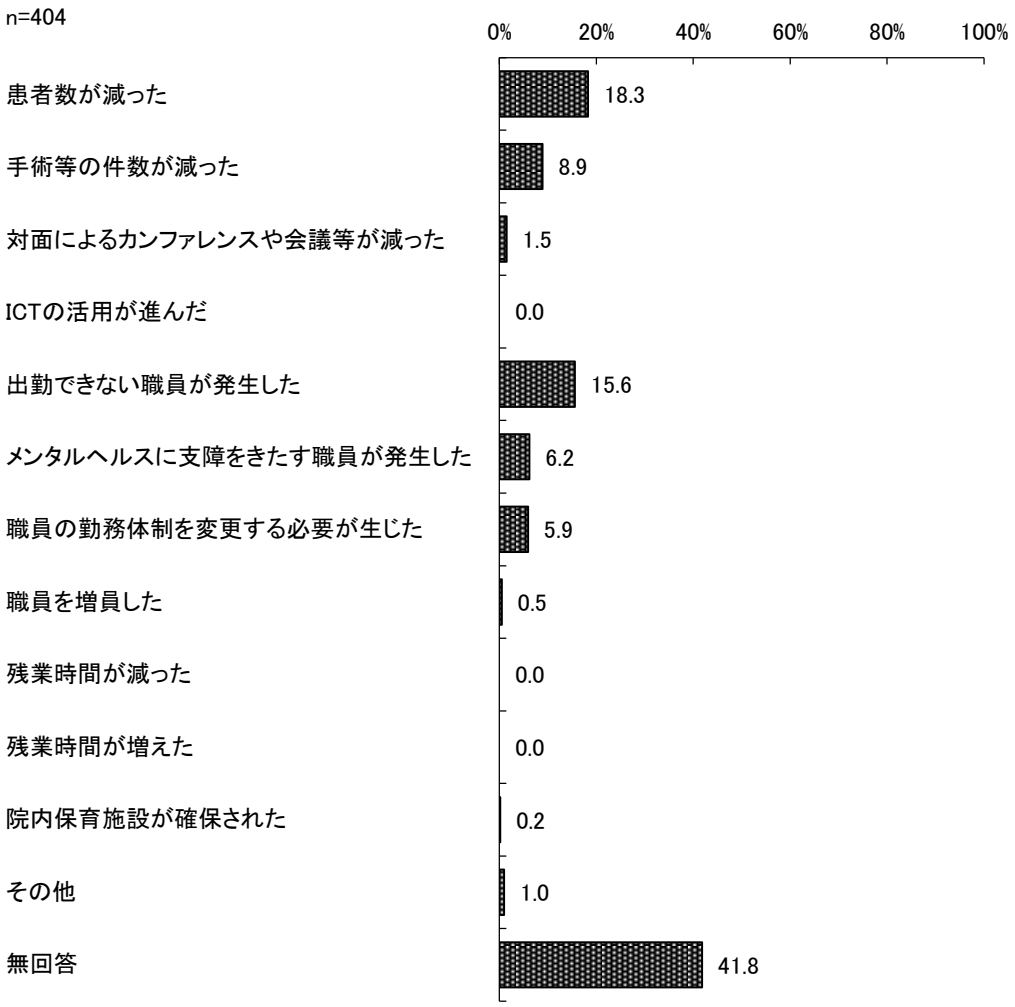
図表 2 - 430　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も良い影響
（医師事務作業補助加算の届出の有無別）



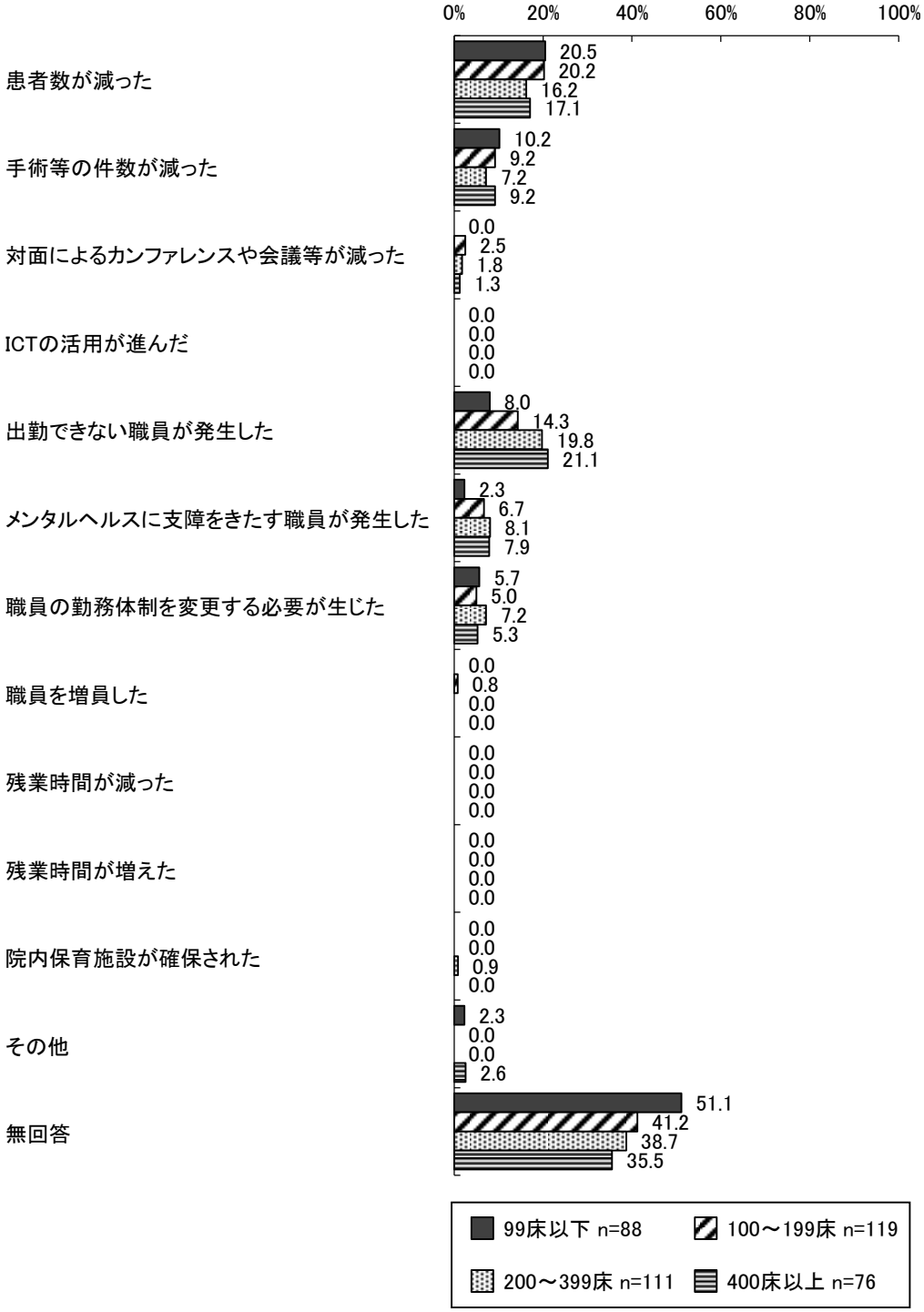
① -2 新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響

新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響で最も多かったものは「患者数が減った」（18.3%）であった。また、地域医療体制確保加算を届出ている施設では、「出勤できない職員が発生した」ことを 20.7%の施設があげていた。

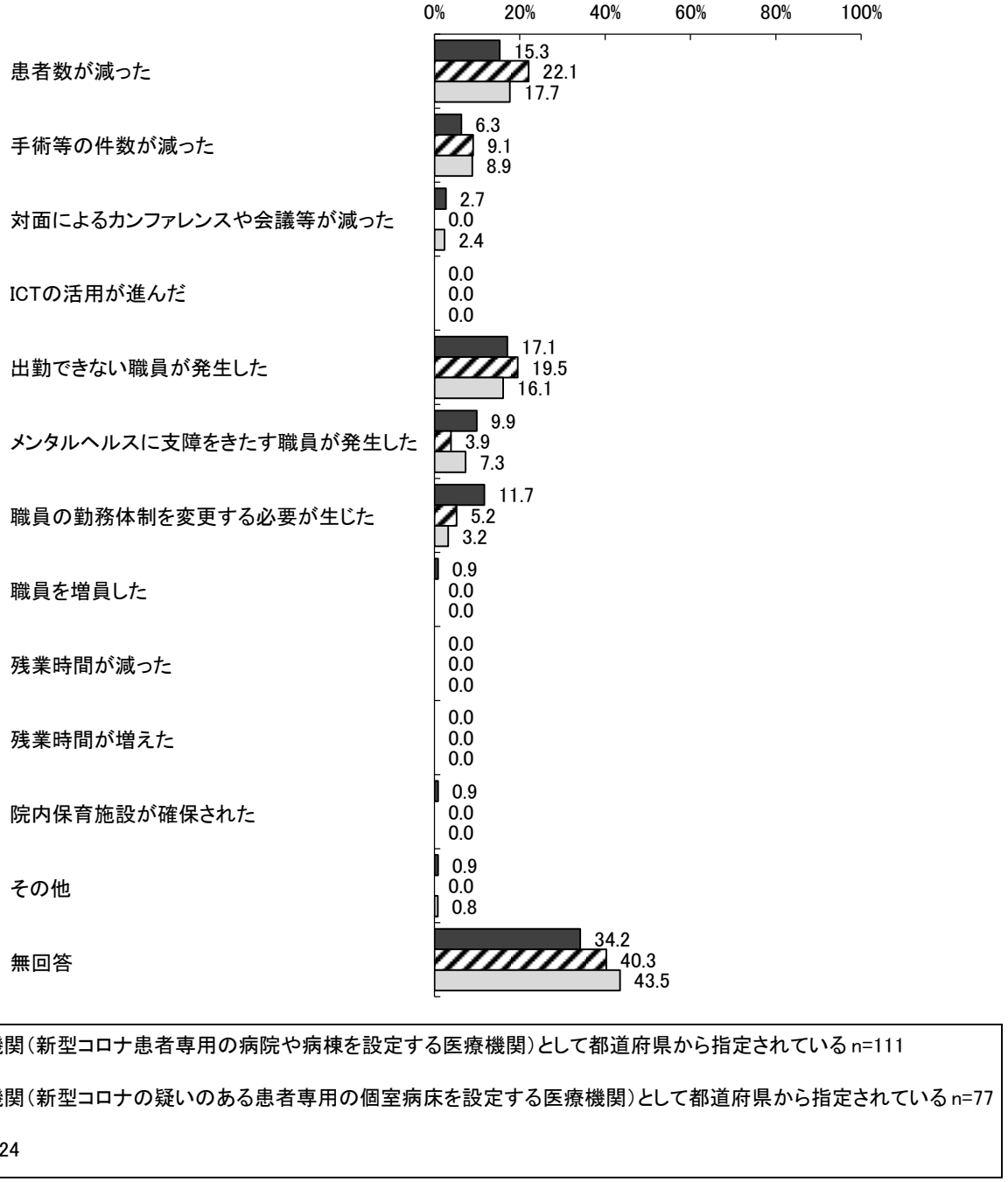
図表 2 - 431　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響



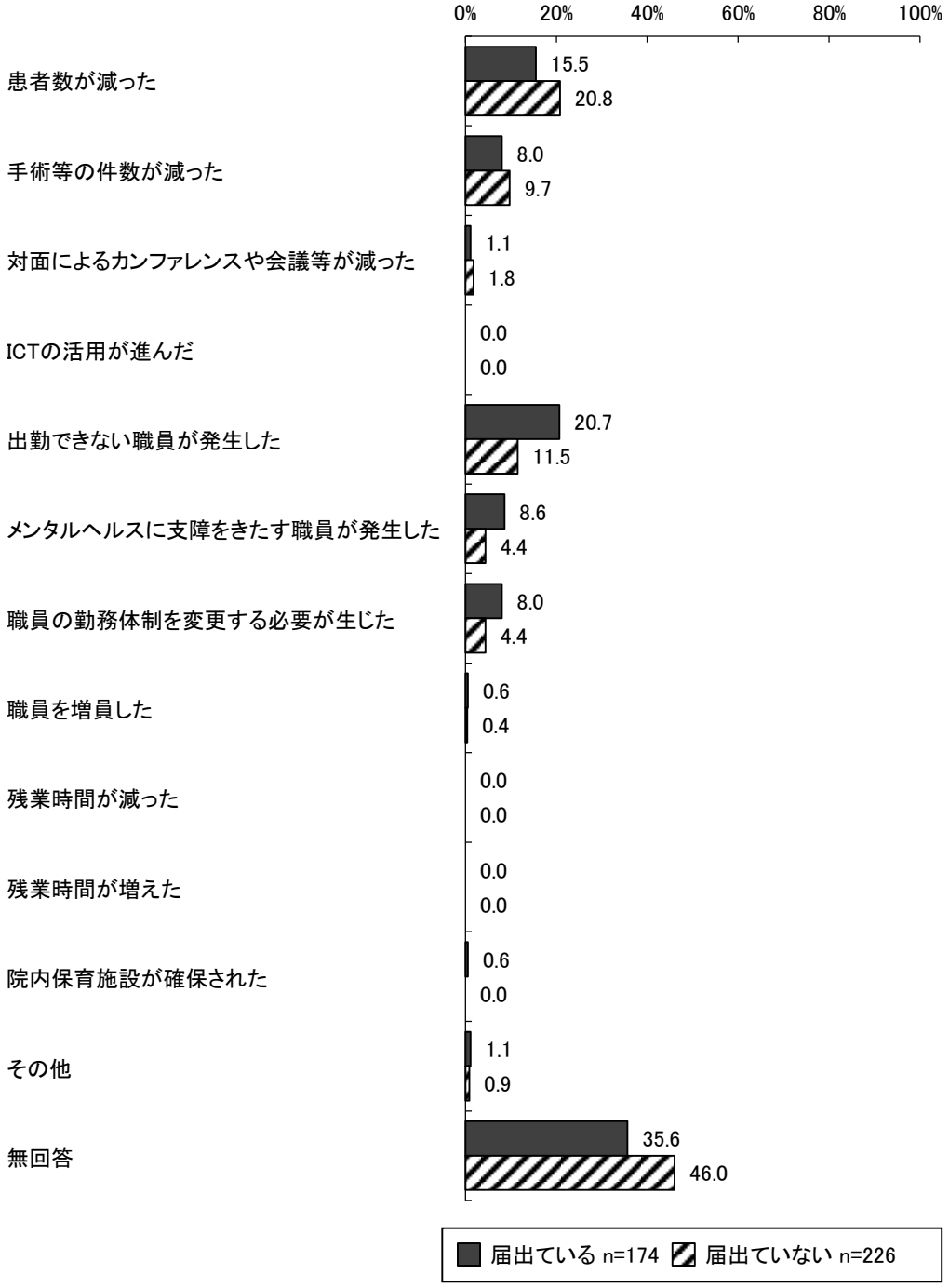
図表 2 - 432　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響（病床規模別）



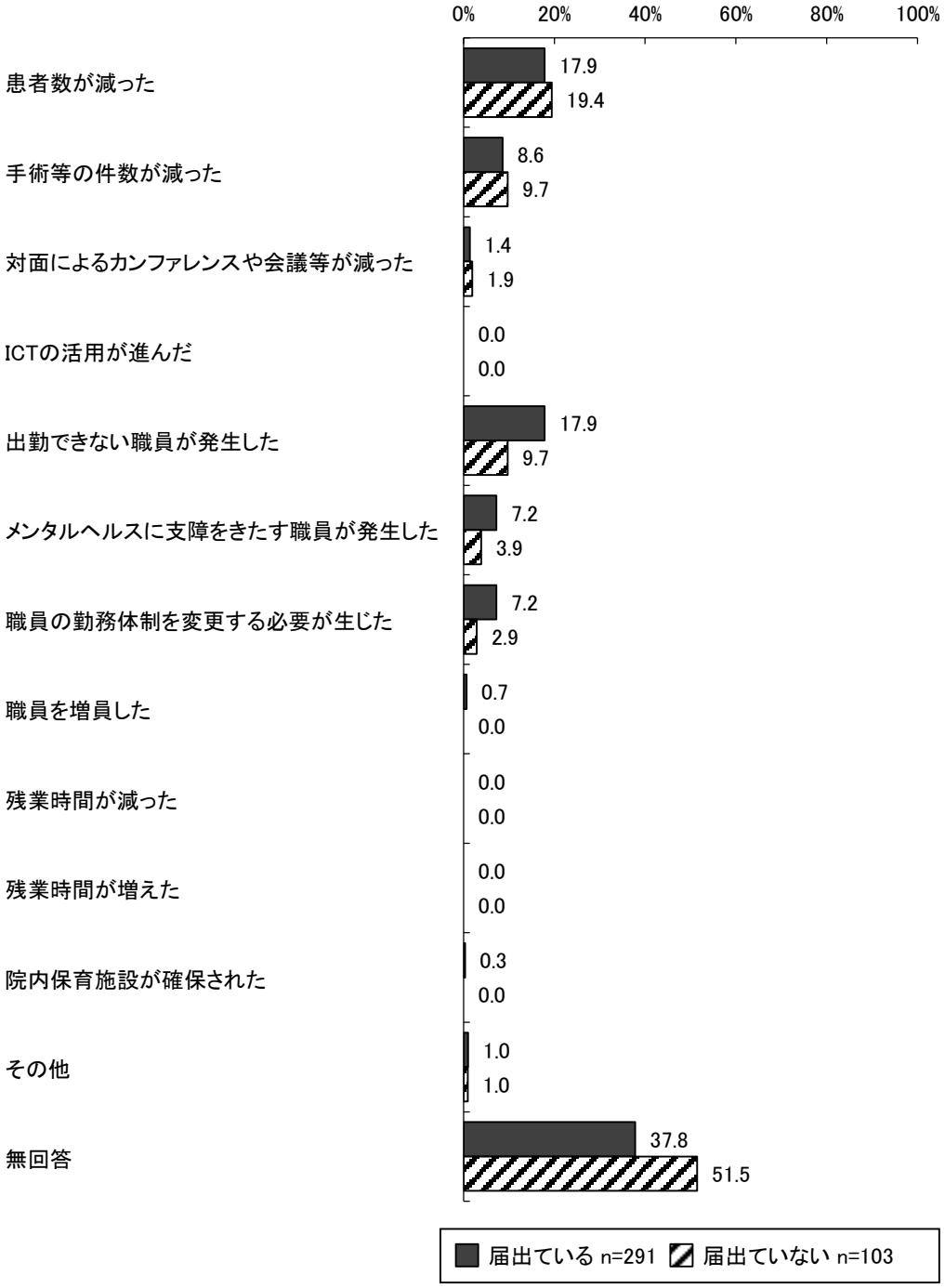
図表 2 - 433　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



図表 2 - 434　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 2 - 435　新型コロナウイルス感染症拡大が医療従事者の働き方に与えた最も悪い影響
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）

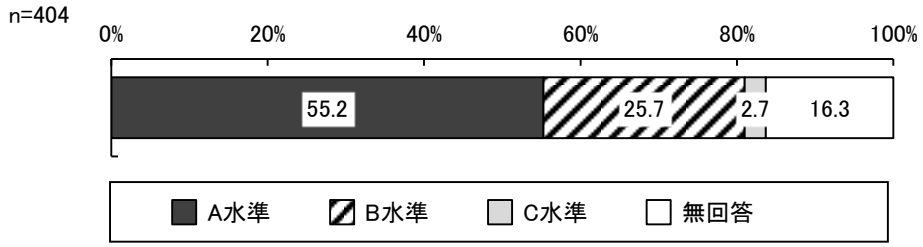


（１１）医師の働き方改革に関する取り組み

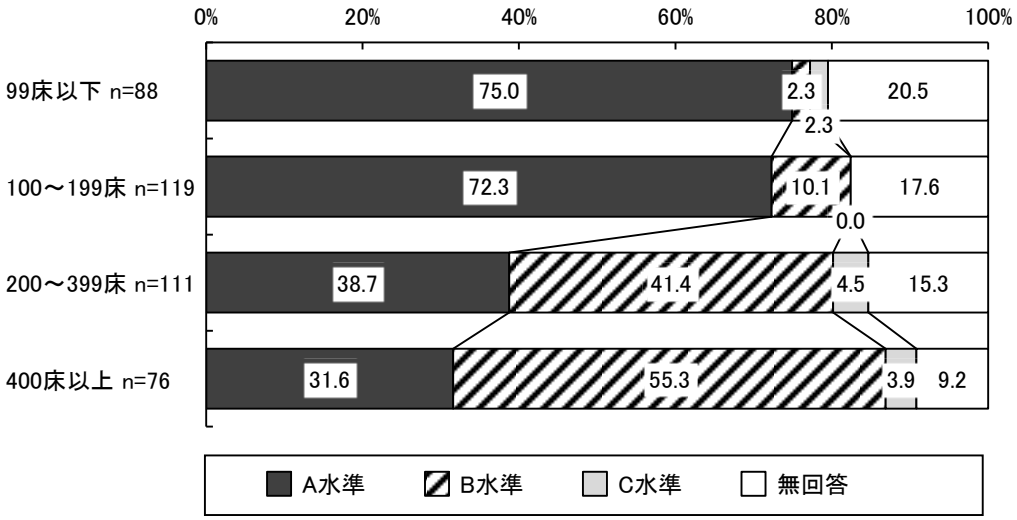
① 医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準

医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準で最も多かったものは「A 水準」（55.2%）であった。

図表 2 - 436　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準

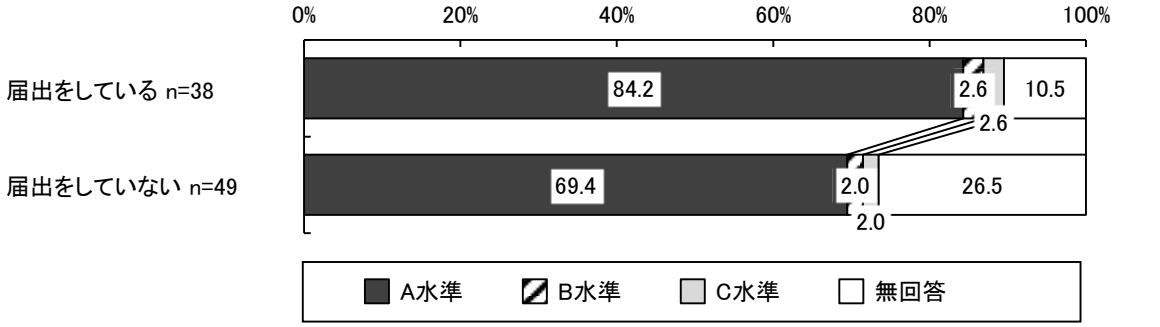


図表 2 - 437　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準（病床規模別）

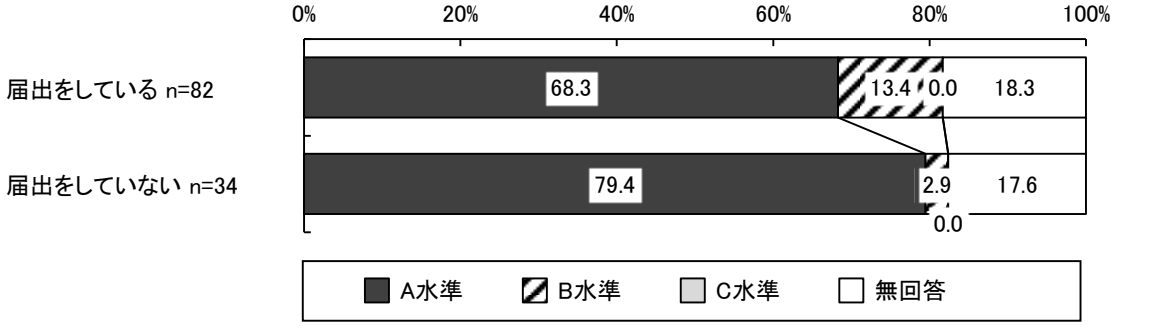


図表 2 - 438　医医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（総合入院体制加算別）

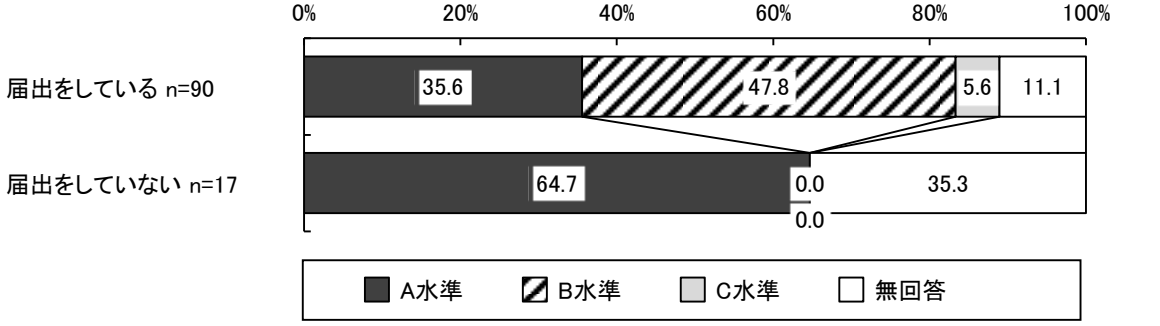
99床以下



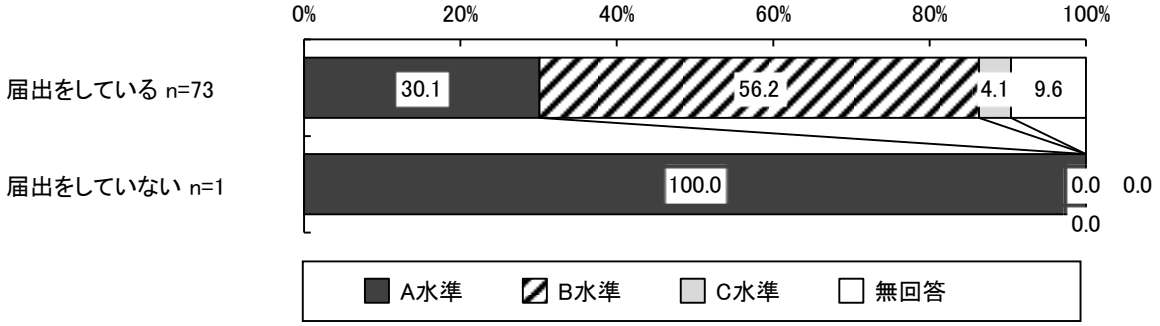
100 ～199 床



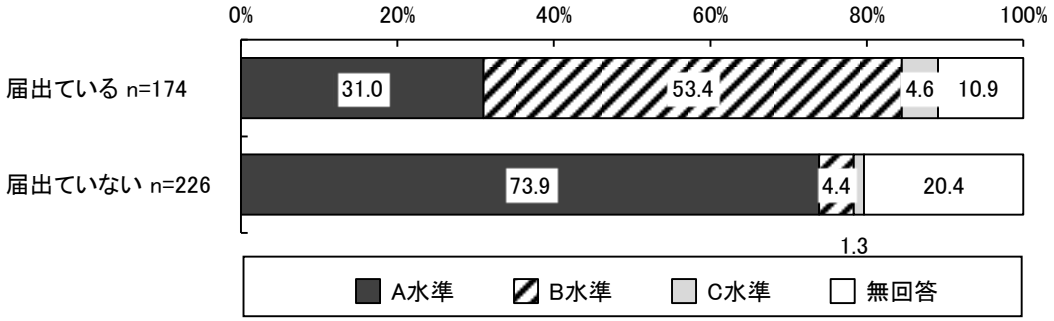
200 ～399 床



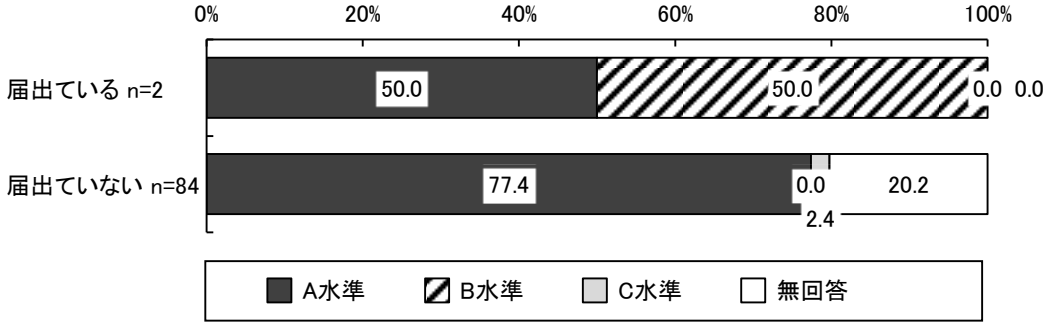
400 床以上



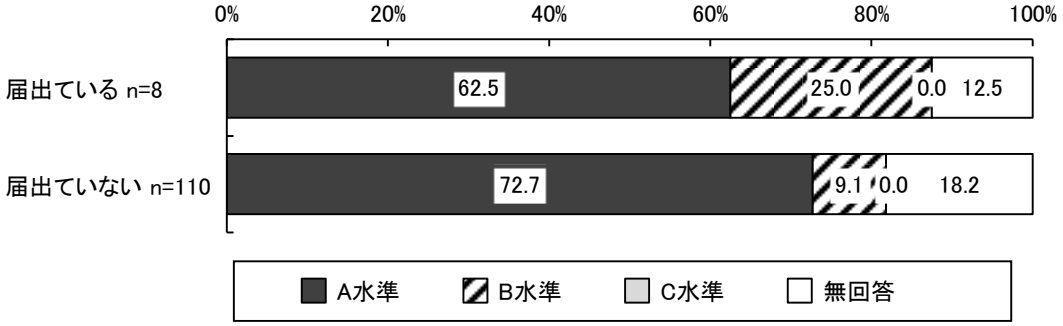
図表 2 - 439　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（地域医療体制確保加算別）



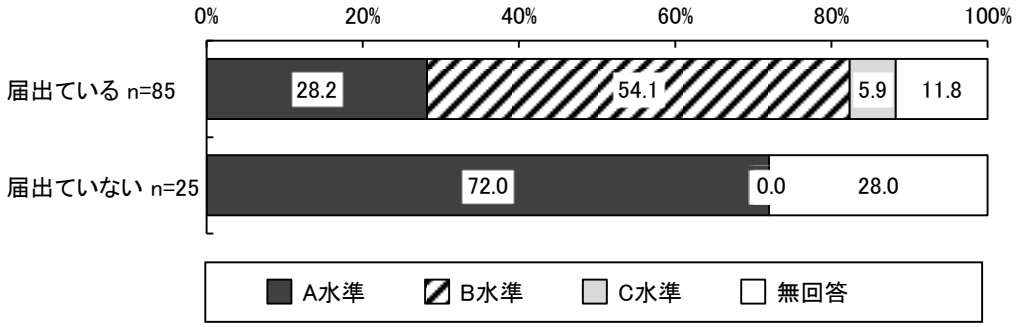
図表 2 - 440　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（地域医療体制確保加算別、病床規模別）【99 床以下】



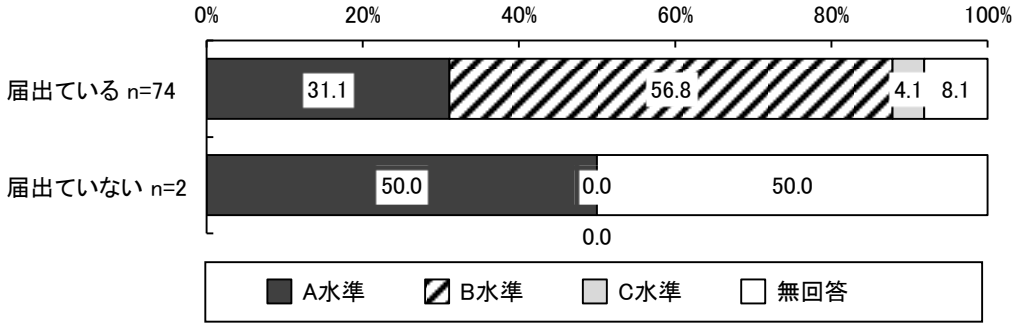
図表 2 - 441　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（地域医療体制確保加算別、病床規模別）【100～199 床以下】



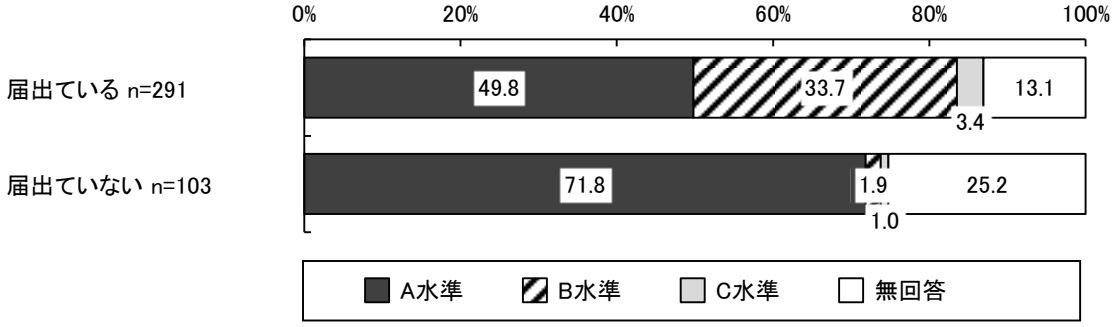
図表 2 - 442　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（地域医療体制確保加算別、病床規模別）【200～399 床以下】



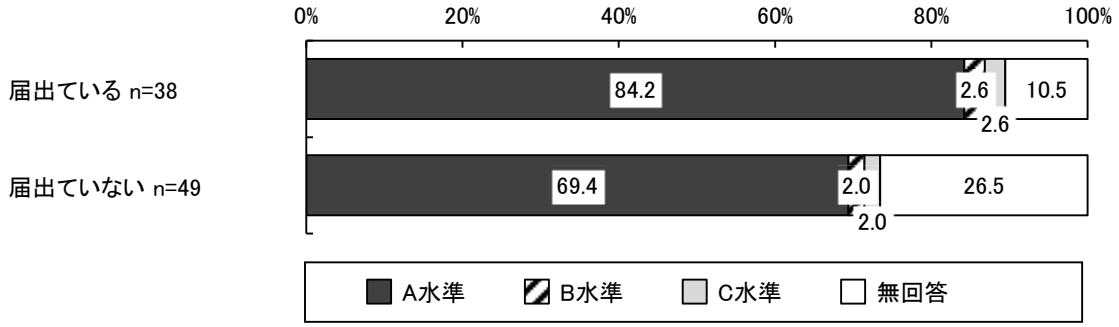
図表 2 - 443　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（地域医療体制確保加算別、病床規模別）【400 床以上】



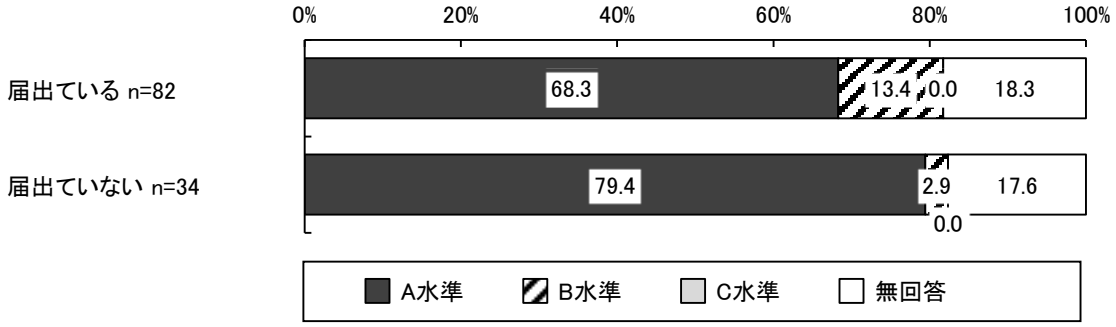
図表 2 - 444　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



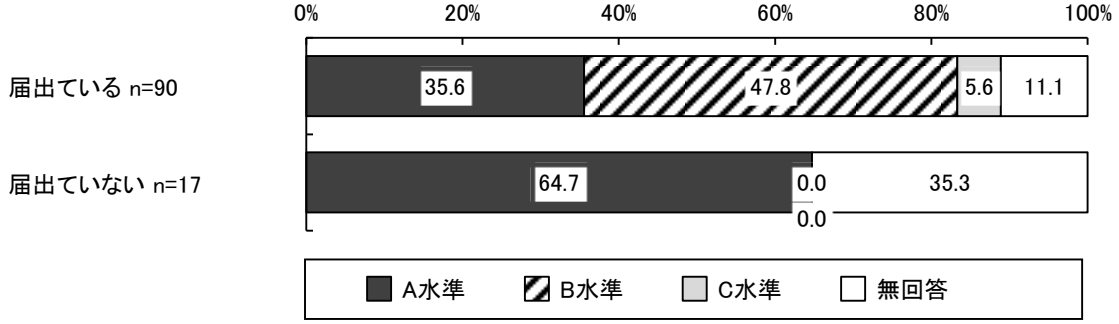
図表 2 - 445　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別、病床規模別）【99 床以下】



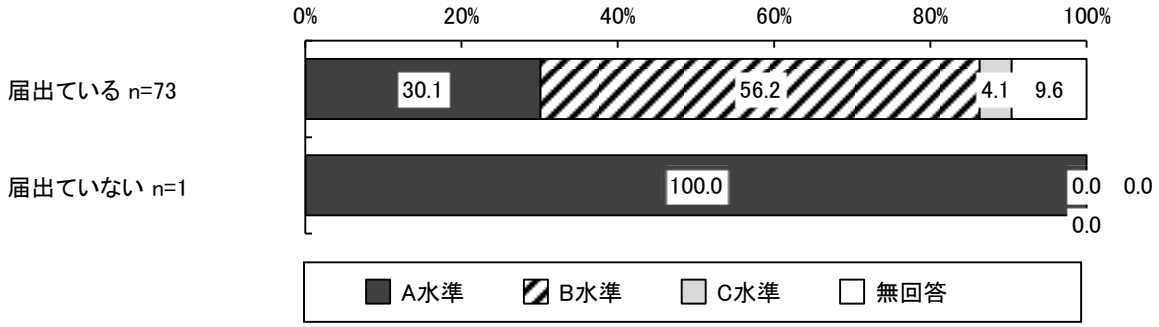
図表 2 - 446　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別、病床規模別）【100～199 床以下】



図表 2 - 447　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別、病床規模別）【200～399 床以下】



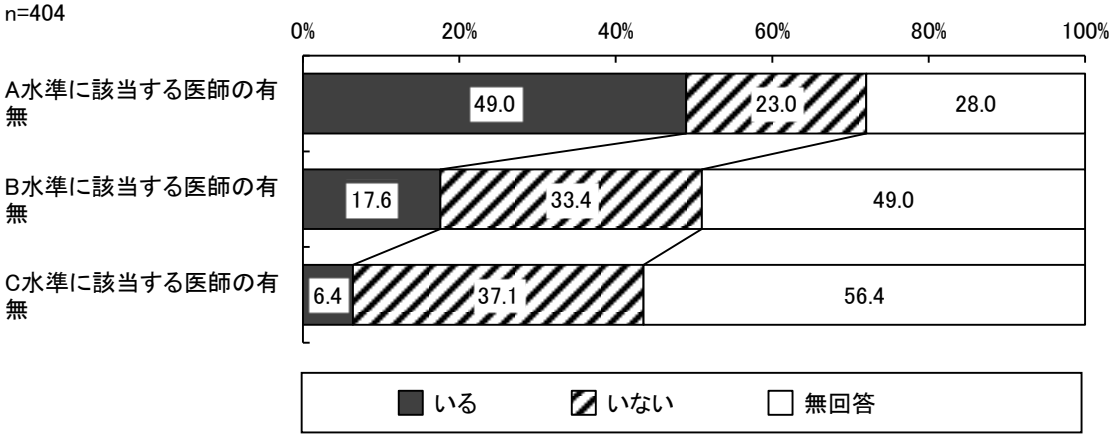
図表 2 - 448　医師の働き方改革に関する検討会に基づく現時点の水準
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別、病床規模別）【400 床以上】



② 各水準に該当する医師の有無と人数

各水準に該当する医師の有無と人数については、以下のとおりであった。

図表 2 - 449　該当する医師の有無



図表 2 - 450　該当する医師の人数

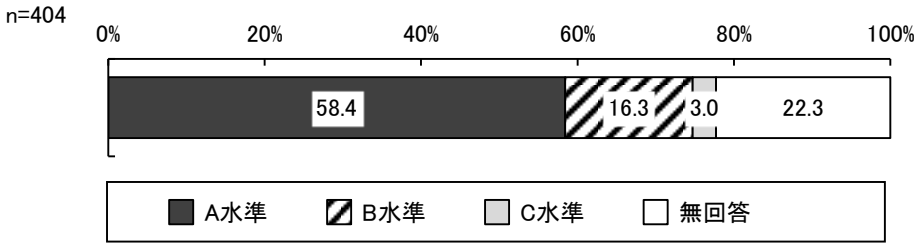
（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
A水準に該当する医師の人数	n=145	32.6	48.5	10.0
B水準に該当する医師の人数	n=47	27.7	42.2	10.0
C水準に該当する医師の人数	n=19	29.1	24.7	24.0

③　2024 年 4 月の労働時間上限規制の適用後に予定している水準

2024 年 4 月の労働時間上限規制の適用後に予定している水準で最も多かったものは「A 水準」（58.4%）であった。

図表 2 - 451　　2024 年 4 月の労働時間上限規制の適用後に予定している水準



④ 医師、看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等に関する意見（自由回答）

・電子カルテ等の ICT 化、デジタル化を早急に進めること。
・24 時間 365 日体制を堅持するため専門のグループ診療を以前から行っているが、人件費がかかるためその評価が必要であること。
・チーム医療を進めるためには、システム面と人材確保の 2 つの課題があること。
・医師、看護師の負担軽減策を推進していく中で、負担が軽減される職種と、負担が増える職種や部署もある。タスクシフトの進め方や考え方を十分に熟知するとともに、職員全体に周知徹底が必要と考える。

３．医師票

【調査対象等】

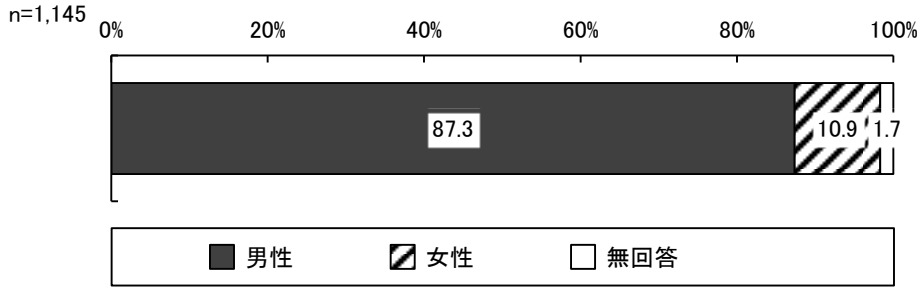
調査対象：施設票の対象となった医療施設に勤務する医師１施設につき4名（調査対象病院に１年以上勤務する常勤医師を対象（診療科：外科系1名、内科系1名、その他2名））。
回答数：1,145名
回答者：医師

（１）医師の属性（令和２年10月末現在）

①性別

性別についてみると、「男性」(87.3%)、「女性」(10.9%）であった。

図表３－１　性別



②年齢

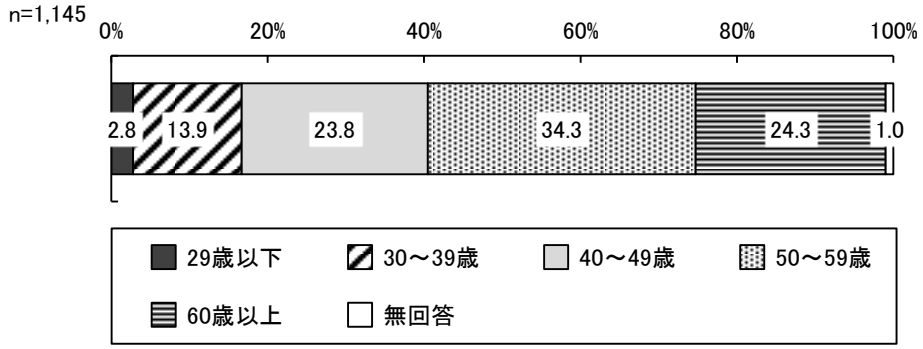
年齢は、以下のとおりであった。年齢分布では、「50～59才」が34.3%で最も多かった。

図表３－２　年齢

（単位：歳）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
年齢	n=1,134	51.4	11.1	52.5

図表３－３　年齢（分布）



③医師経験年数

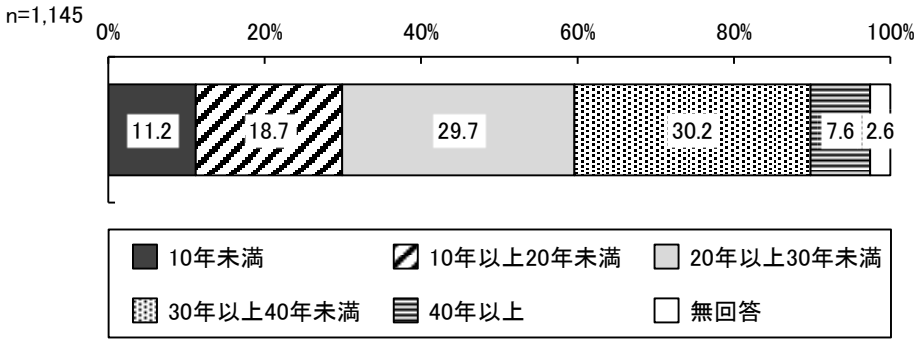
医師経験年数は、以下のとおりであった。

図表３－４　医師経験年数

（単位：年）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
医師経験年数	n=1,115	25.5	11.0	26.5

図表３－５　医師経験年数（分布）



④対象施設での勤続年数

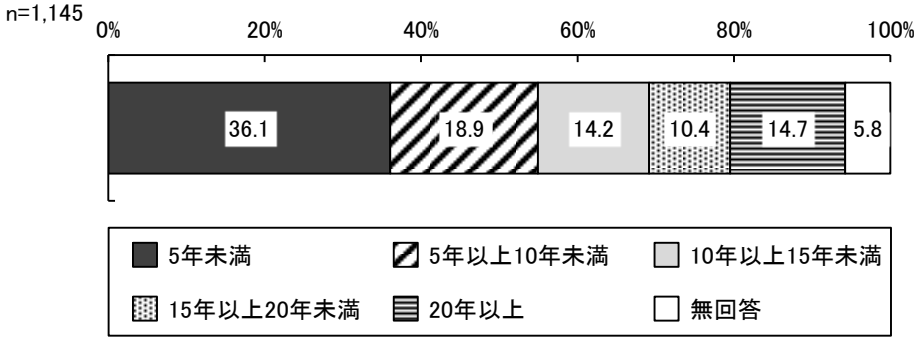
対象施設での勤続年数は、以下のとおりであった。

図表３－６　対象施設での勤続年数

（単位：年）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
調査対象施設での勤続年数	n=1,079	10.1	8.8	7.5

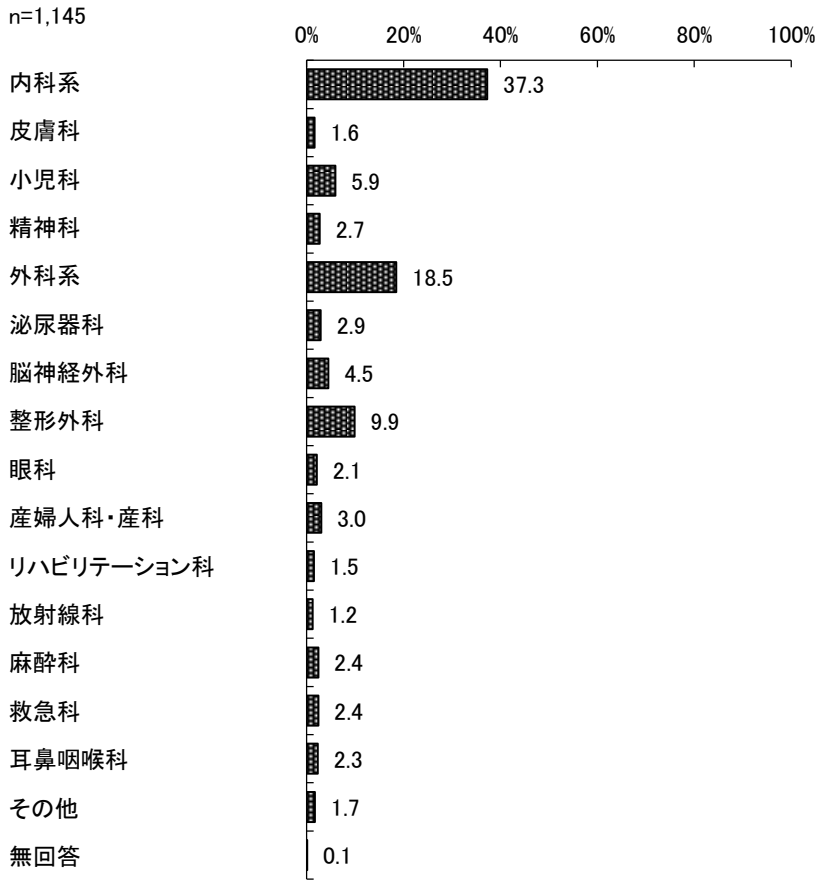
図表３－７　対象施設での勤続年数（分布）



⑤主たる所属診療科

主たる所属診療科で最も多かったものは「内科系」（37.3%）であった。

図表３－８　主たる所属診療科



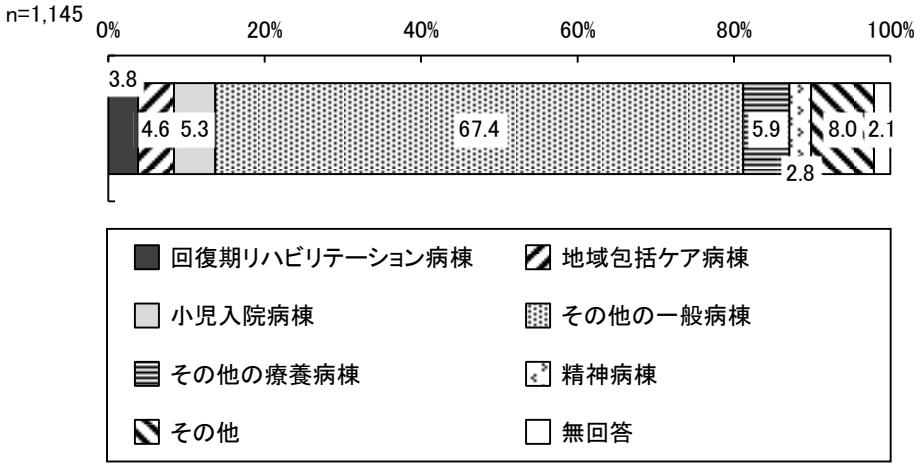
注：内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等
外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等

⑥担当する主な病棟

担当する主な病棟で最も多かったものは「その他の一般病棟」(67.4%) であった。

なお、「その他」の回答には、「救急病棟、救命救急センター」、「集中治療室、ICU、HCU、ECU」、NICU」、「急性期病棟」、「緩和ケア病棟」、「介護療養病床」、「外科病棟」、「透析室」、「人間ドッグ」等があった。

図表 3 - 9　担当する主な病棟

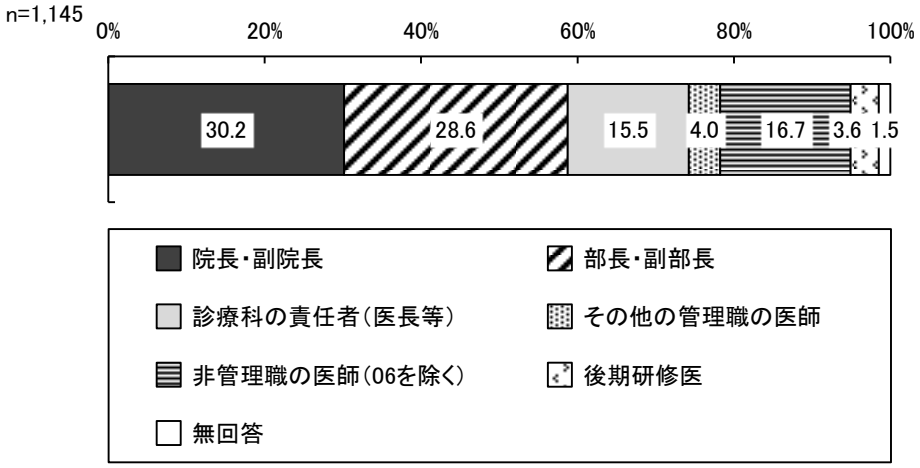


⑦役職等

役職等で最も多かったものは「院長・副院長」(30.2%)、次に多かったものは「部長・副部長」(28.6%) であった。

なお、「その他の管理職の医師」の回答には、「診療部長」、「病棟医長」、「理事、理事長」、「医局長」等があった。

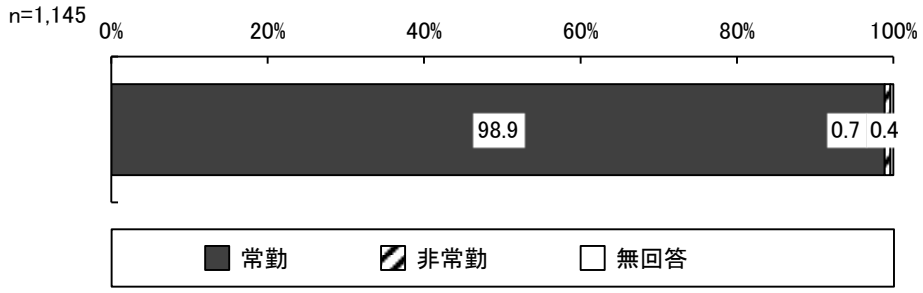
図表 3 - 10　役職



⑧ 勤務形態

勤務形態で最も多かったものは「常勤」(98.9%) であった。

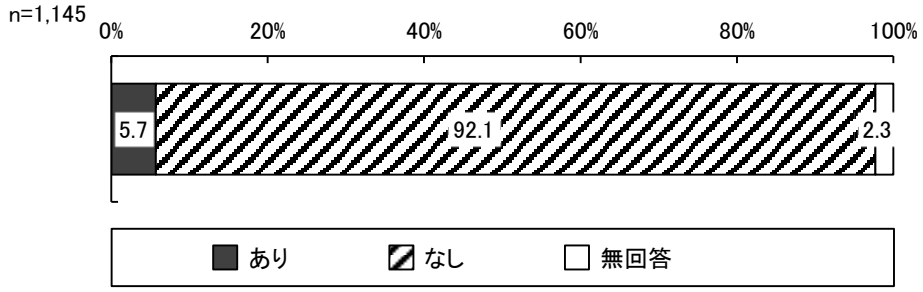
図表 3 - 11　勤務形態



⑨ 短時間勤務制度の利用状況

短時間勤務制度の利用状況で最も多かったものは「なし」(92.1%) であった。

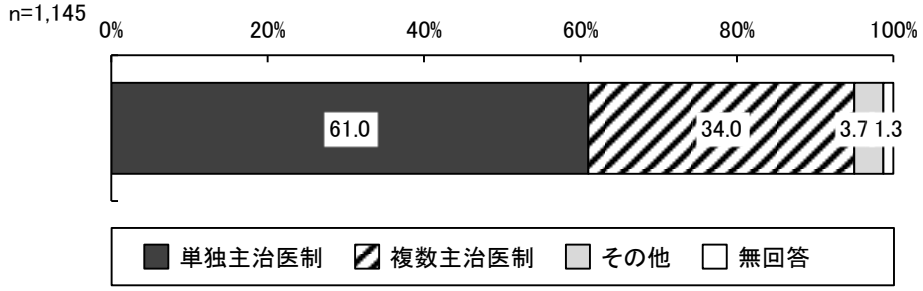
図表 3 - 12　短時間勤務制度の利用状況



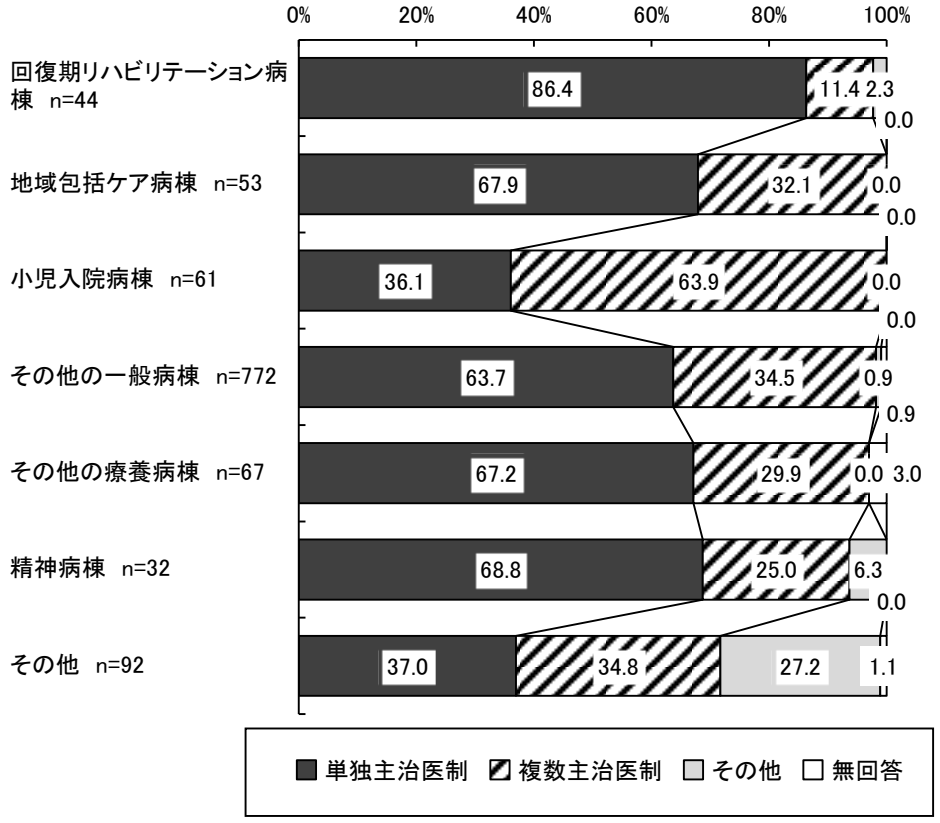
⑩ 主治医制の状況

主治医制の状況をみると、「単独主治医制」(61.0%)、「複数主治医制」(34.0%)、「その他」(3.7%) であった。

図表 3 - 13　主治医制の状況

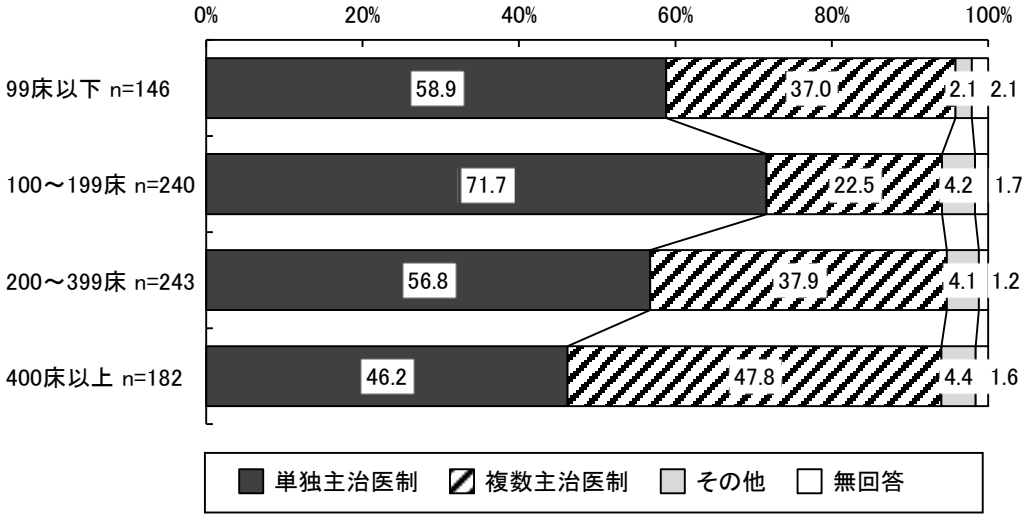


図表 3 - 14　主治医制の状況（病棟種類別）

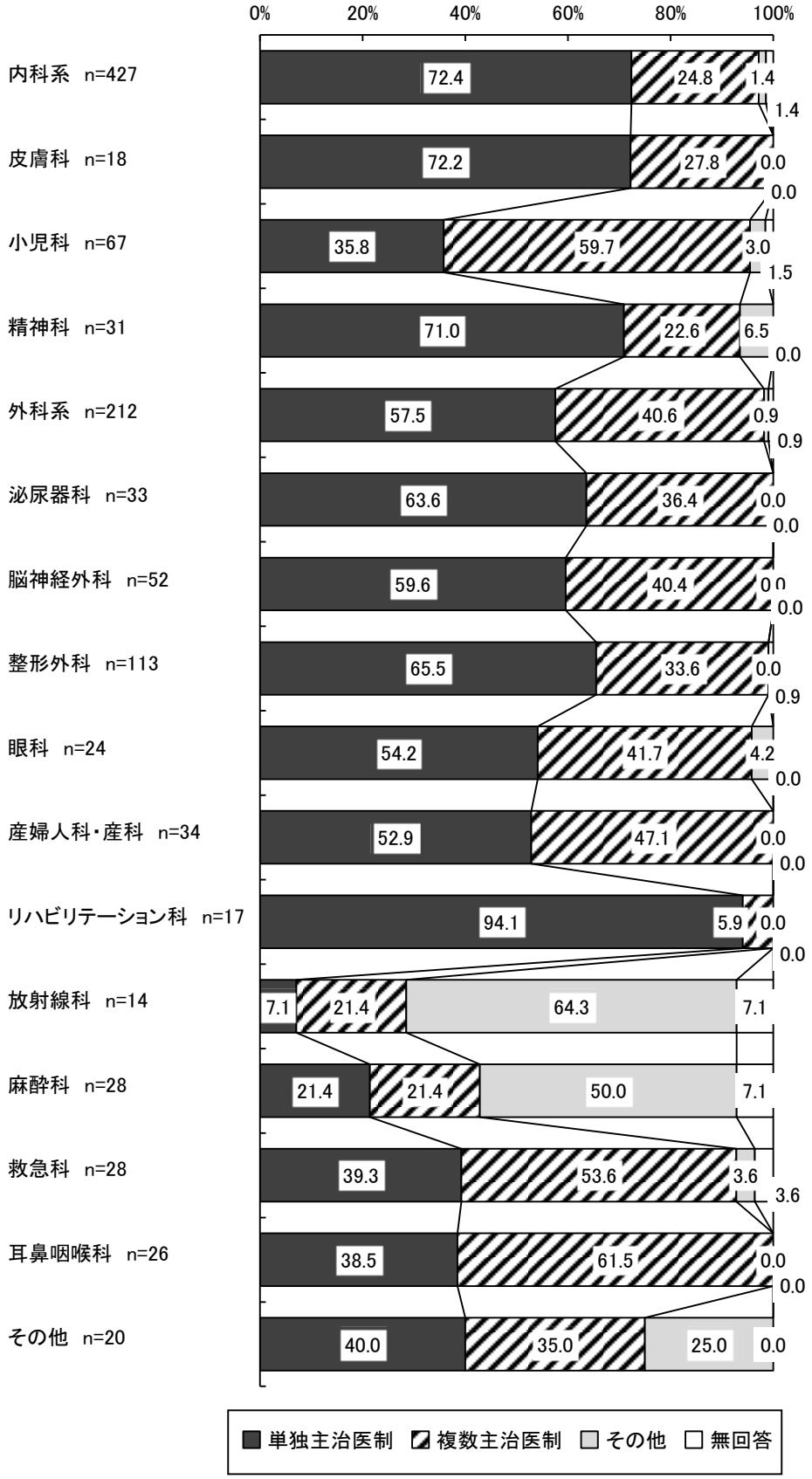


注：単独主治医制：１人の患者につき１人の主治医が担当する場合
　　複数主治医制：１人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

図表 3 - 15　主治医制の状況（病床規模別）



図表 3 - 16　主治医制の状況；主たる診療科別（無回答除く）



（２）医師の勤務状況等

① 勤務状況

1）１週間の勤務時間

1）１週間の勤務時間は、以下のとおりであった。

図表３-17　１週間の勤務時間等（令和２年１０月１日から１０月７日）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
１週間の勤務時間（時間）	n=1,124	48.0	16.1	46.0

図表３-18　１週間の勤務時間等（令和２年１０月１日から１０月７日）
（病床規模・地域医療体制確保加算の有無別）

99床以下	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=5	51.8	21.8	60.0
届出ていない	n=137	44.0	15.4	40.0

100 ～199 床	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=21	48.6	12.3	50.0
届出ていない	n=216	45.3	16.3	42.0

200 ～399 床	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=192	50.7	16.2	50.0
届出ていない	n=47	39.2	11.9	40.0

400 床以上	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出ている	n=171	51.5	16.9	50.0
届出ていない	n=4	39.1	1.5	40.0

図表３-19　１週間の勤務時間等（令和２年１０月１日から１０月７日）
（病床規模・医師事務作業補助体制加算の有無別）

99床以下	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出をしている	n=66	43.6	14.4	41.8
届出をしていない	n=76	44.8	16.7	40.0

100 ～199 床	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出をしている	n=171	46.9	13.9	45.0
届出をしていない	n=63	42.3	20.4	40.0

200 ～399 床	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出をしている	n=204	49.8	15.9	50.0
届出をしていない	n=26	38.9	13.3	40.0

400 床以上	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出をしている	n=164	52.2	16.5	50.0
届出をしていない	n=4	39.1	1.5	40.0

図表 3 - 20　１週間の勤務時間等（令和２年１０月１日から１０月７日）
【医師事務作業補助体制加算の届出あり】

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出をしている	n=628	49.0	15.7	48.0

図表 3 - 21　１週間の勤務時間等（令和２年１０月１日から１０月７日）
【医師事務作業補助体制加算の届出なし】

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
届出をしていない	n=171	43.0	17.7	40.0

図表 3 - 22　１週間の勤務時間等（令和２年１０月１日から１０月７日）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=254	51.2	16.7	50.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=170	46.6	13.8	46.0
その他	n=214	45.2	16.6	40.0

図表３－23　１週間の勤務時間（令和２年１０月１日から１０月７日）；性別

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
男性	n=983	48.5	15.7	47.0
女性	n=122	43.2	16.8	41.6

図表３－24　１週間の勤務時間（令和２年１０月１日から１０月７日）；年齢区分別

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
29歳以下	n=32	49.4	19.9	52.5
30～39歳	n=155	48.9	17.1	47.5
40～49歳	n=266	48.9	15.5	48.0
50～59歳	n=385	48.8	16.8	47.0
60歳以上	n=275	45.2	12.8	44.0

図表３－25　１週間の勤務時間（令和２年１０月１日から１０月７日）；役職別

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
院長・副院長	n=342	48.0	17.3	45.0
部長・副部長	n=320	49.0	13.3	48.8
診療科の責任者（医長等）	n=172	48.6	17.6	46.0
その他の管理職の医師	n=46	45.9	13.1	45.0
非管理職の医師（06を除く）	n=189	45.8	15.9	42.0
後期研修医	n=41	53.6	20.9	55.0

図表３－26　１週間の勤務時間（令和２年１０月１日から１０月７日）；担当する主な病棟別

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
回復期リハビリテーション病棟	n=44	44.9	16.1	40.0
地域包括ケア病棟	n=52	46.2	11.5	45.0
小児入院病棟	n=60	50.5	14.2	50.0
その他の一般病棟	n=756	49.8	15.8	50.0
その他の療養病棟	n=67	41.4	16.5	40.0
精神病棟	n=32	40.1	24.6	40.0
その他	n=90	43.0	15.0	41.5

図表３－27　１週間の勤務時間（令和２年１０月１日から１０月７日）；主たる所属診療科別

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
内科系	n=419	48.1	16.1	46.0
皮膚科	n=18	44.4	20.6	41.8
小児科	n=67	50.1	14.7	50.0
精神科	n=31	40.4	25.0	40.0
外科系	n=207	50.0	15.3	50.0
泌尿器科	n=31	49.3	13.2	50.0
脳神経外科	n=51	48.9	12.9	46.5
整形外科	n=110	48.3	15.9	48.0
眼科	n=24	43.1	9.8	41.5
産婦人科・産科	n=34	55.1	18.6	49.0
リハビリテーション科	n=17	46.2	9.8	45.0
放射線科	n=14	38.7	14.4	42.4
麻酔科	n=27	46.3	11.5	44.0
救急科	n=28	45.8	18.5	50.0
耳鼻咽喉科	n=26	47.3	11.8	45.0
その他	n=19	38.7	18.2	40.0

2）1 週間の診療時間

1 週間の診療時間は、以下のとおりであった。

図表 3 - 28　１週間の診療時間（令和２年１０月１日から１０月７日）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=249	37.9	17.3	40.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=167	33.7	14.0	35.0
その他	n=209	33.4	14.4	32.5

3）1 週間の診療時間のうち事務処理に係る時間

1 週間の診療時間のうち事務処理に係る時間は、以下のとおりであった。

図表 3 - 29　１週間の診療時間のうち事務処理に係る時間（令和２年１０月１日から１０月７日）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=243	8.5	8.2	5.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=153	7.4	6.7	5.0
その他	n=191	6.9	7.0	5.0

4）1 か月間の当直担当回数と連続当直回数

1 か月間の当直担当回数と連続当直回数は、以下のとおりであった。

図表 3 - 30　１か月間の当直回数（令和２年 10 月１か月間）

（回）

調査数	平均値	標準偏差	中央値
n=1,134	2.0	2.4	2.0

図表 3 - 31　１か月間の当直回数（令和２年 10 月１か月間）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（回）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=258	1.8	2.0	1.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=171	1.6	1.8	1.0
その他	n=215	2.3	2.9	1.0

図表 3 - 32　１か月間の連続当直回数（令和２年 10 月１か月間）

（回）

調査数	平均値	標準偏差	中央値
n=1043	0.1	1.1	0.0

図表 3 - 33　１か月間の連続当直回数（令和２年 10 月１か月間）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（回）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=245	0.1	0.4	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=149	0.0	0.1	0.0
その他	n=189	0.2	0.8	0.0

5）1か月間のオンコール・当直担当回数

1か月間のオンコール・当直担当回数は、以下のとおりであった。

図表 3 - 34　1か月間のオンコール担当回数（令和２年 10 月１か月間）

（回）

調査数	平均値	標準偏差	中央値
n=1,126	5.2	7.8	2.0

図表 3 - 35　1か月間のオンコール担当回数（令和２年 10 月１か月間）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（回）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=259	4.9	5.6	4.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=168	5.1	7.2	2.0
その他	n=211	3.4	6.6	0.0

図表 3 - 36　うち、呼び出しで実際に病院に出勤した回数（令和２年 10 月１か月間）

（回）

調査数	平均値	標準偏差	中央値
n=1047	1.0	1.8	0.0

図表 3 - 37　うち、呼び出しで実際に病院に出勤した回数（令和２年 10 月１か月間）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

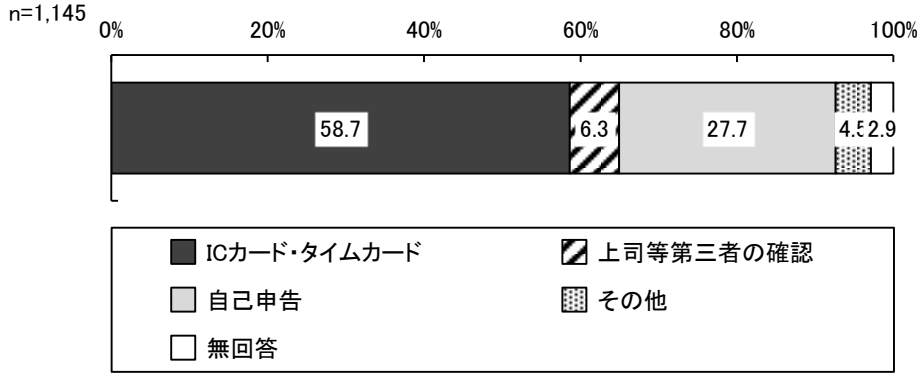
（回）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=248	1.31	1.74	1.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=154	1.4	2.2	0.0
その他	n=188	0.49	0.99	0.0

② 勤務時間の勤務先への申告

勤務時間の勤務先への申告で最も多かったものは「IC カード・タイムカード」(58.7%)であった。

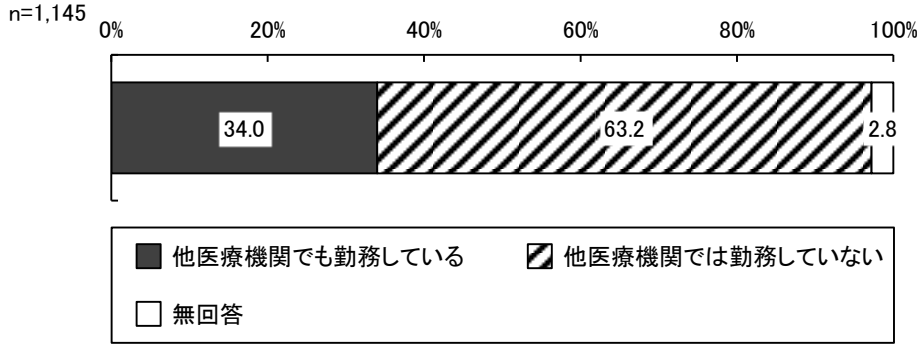
図表 3 - 38　勤務時間の勤務先への申告方法



③ 対象施設以外の病院での勤務状況

対象施設以外の病院での勤務状況で最も多かったものは「他医療機関では勤務していない」(63.2%) であった。

図表 3 - 39　対象施設以外の病院での勤務状況



③-1 1)対象施設以外の勤務施設数

対象施設以外の勤務施設数は、以下のとおりであった。

図表 3 - 40　対象施設以外に勤務している医療機関数
（令和２年 10 月、他病院でも勤務している医師）

（機関）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
他に勤務している医療機関数	n=388	1.4	0.8	1.0

図表 3 - 41　対象施設以外に勤務している医療機関数
（令和２年 10 月、他病院でも勤務している医師）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（機関）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=91	1.6	0.8	1.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=57	1.3	0.6	1.0
その他	n=71	1.3	0.7	1.0

③-1 2） 対象施設以外での勤務時間

対象施設以外での勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 3 - 42　対象施設以外の病院での勤務時間
（令和２年 10 月、他病院でも勤務している医師）

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
他に勤務している医療機関数	n=382	22.0	23.4	16.0

図表 3 - 43　対象施設以外の病院での勤務時間
（令和２年 10 月、他病院でも勤務している医師）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（時間）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=90	20.2	14.5	16.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=54	20.2	28.5	12.0
その他	n=70	21.2	25.4	12.0

③-1 3） 対象施設以外での当直回数と連続当直回数

対象施設以外での当直回数と連続当直回数は、以下のとおりであった。

図表 3 - 44　対象施設以外の病院での当直回数と連続当直回数
（令和２年 10 月、他病院でも勤務している医師）

（回）

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間の当直回数	n=388	0.7	1.7	0.0

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間の当直回数うち連続当直回数	n=372	0.1	0.3	0.0

図表 3 - 45　対象施設以外の病院での当直回数と連続当直回数
（令和２年 10 月、他病院でも勤務している医師）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（回）

当直回数

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=91	0.6	1.1	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=57	0.5	1.8	0.0
その他	n=71	0.7	2.4	0.0

（回）

連続当直回数

	調査数	平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=89	0.1	0.3	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=55	0.0	0.0	0.0
その他	n=68	0.1	0.4	0.0

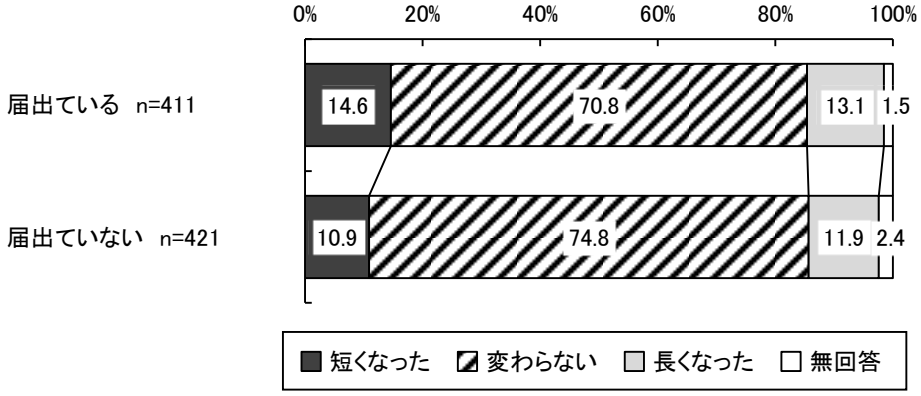
④１年前と比較した勤務状況の変化

1）勤務時間の変化

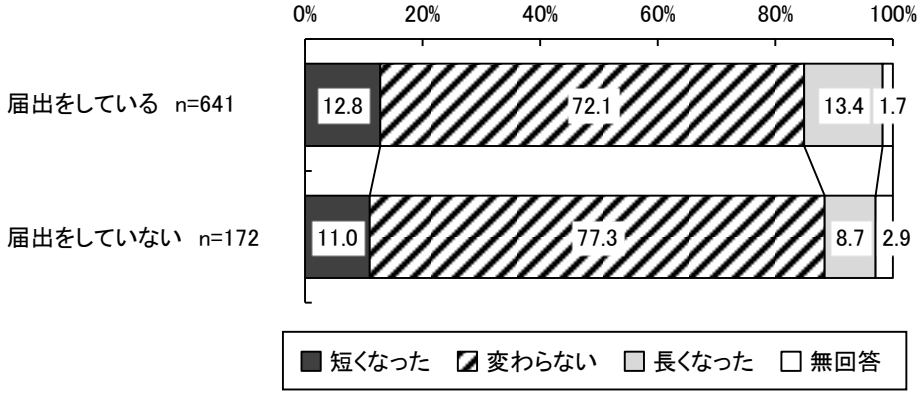
勤務時間の変化について、「地域医療体制確保加算」の届出の有無別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」74.8%、「届出ている」70.8%であった。

また、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」77.3%、「届出ている」72.1%であった。

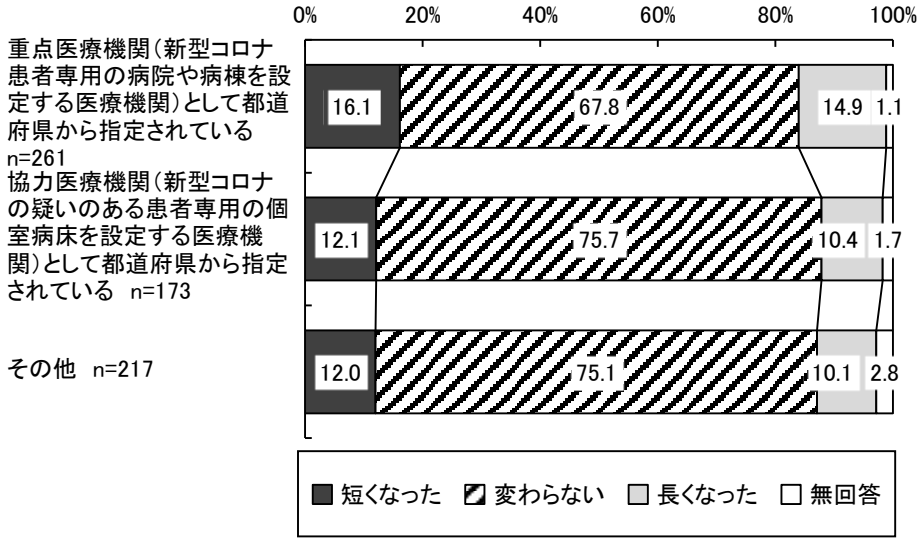
図表 3 - 46　勤務時間の変化
（地域医療体制確保加算の有無別）



図表 3 - 47　勤務時間の変化
（医師事務作業補助体制加算の有無別）



図表 3 - 48　勤務時間の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

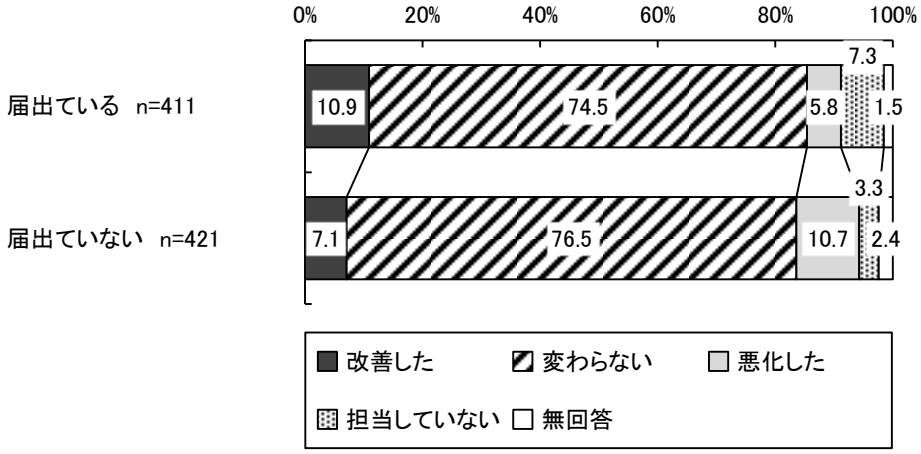


2）病棟の勤務状況の変化

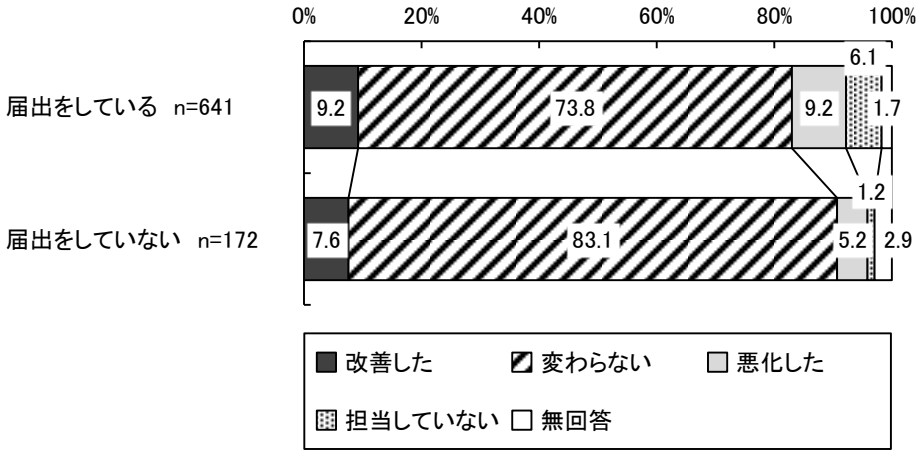
病棟の勤務状況の変化について、「地域医療体制確保加算」の届出の有無別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」76.5%、「届出ている」74.5%であった。

また、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」83.1%、「届出ている」73.8%であった。

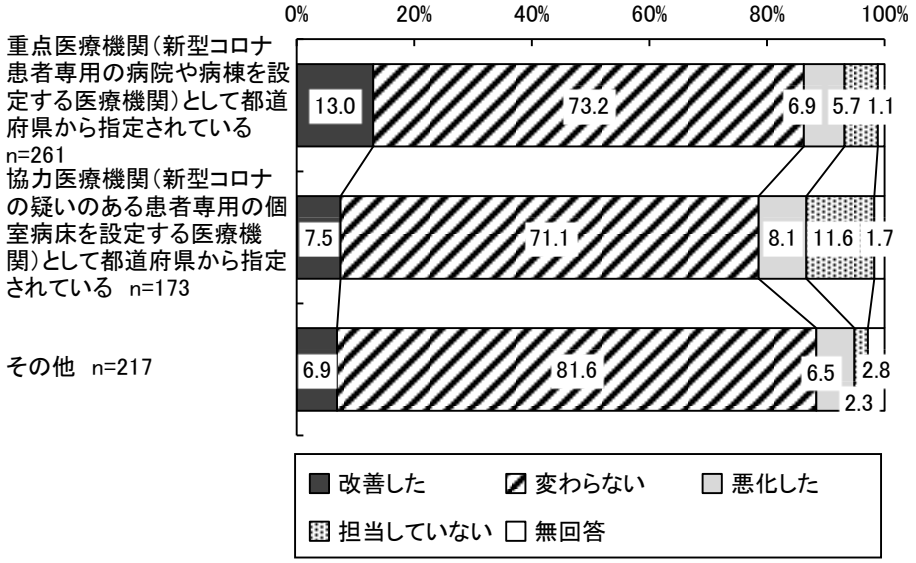
図表 3 - 49　病棟の勤務状況の変化；地域医療体制確保加算の届出有無別



図表 3 - 50　病棟の勤務状況の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



図表 3 - 51　病棟の勤務状況の変化；新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別

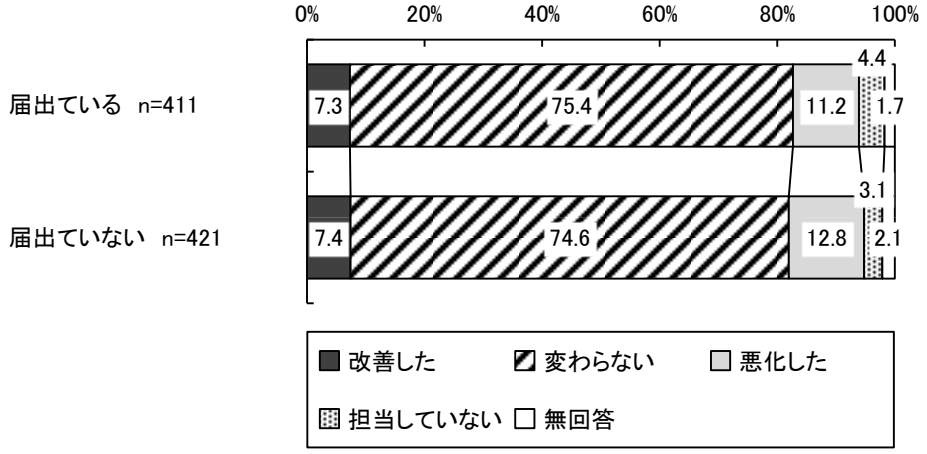


3）外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化

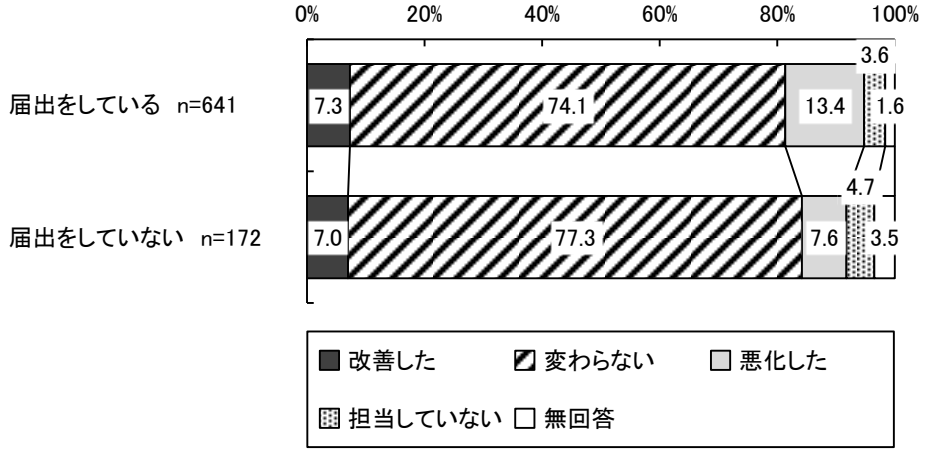
外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化について、「地域医療体制確保加算」の届出の有無別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」74.6%、「届出ている」75.4%であった。

また、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」77.3%、「届出ている」74.1%であった。

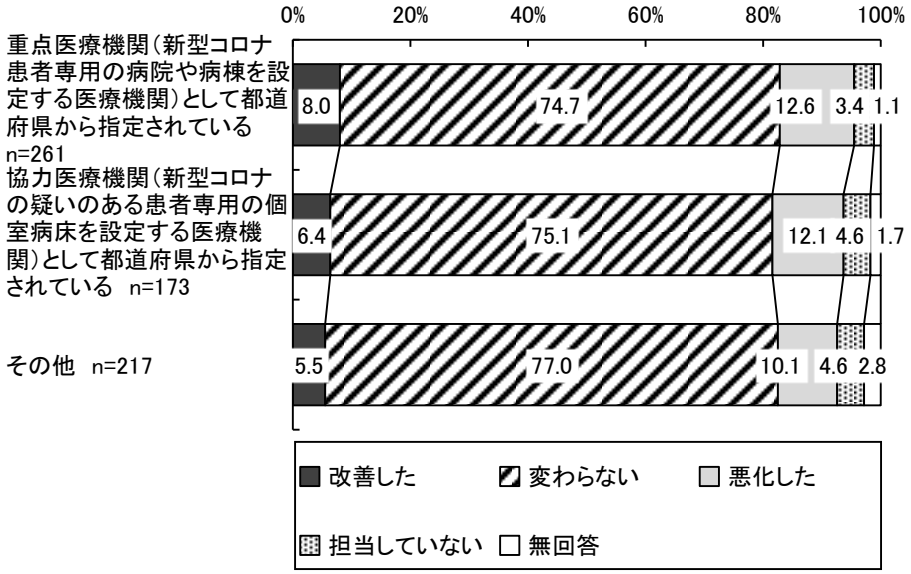
図表 3 - 52　外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化；地域医療体制確保加算の届出有無別



図表 3 - 53　外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



図表 3 - 54　外来の勤務状況（標榜診療時間内）の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

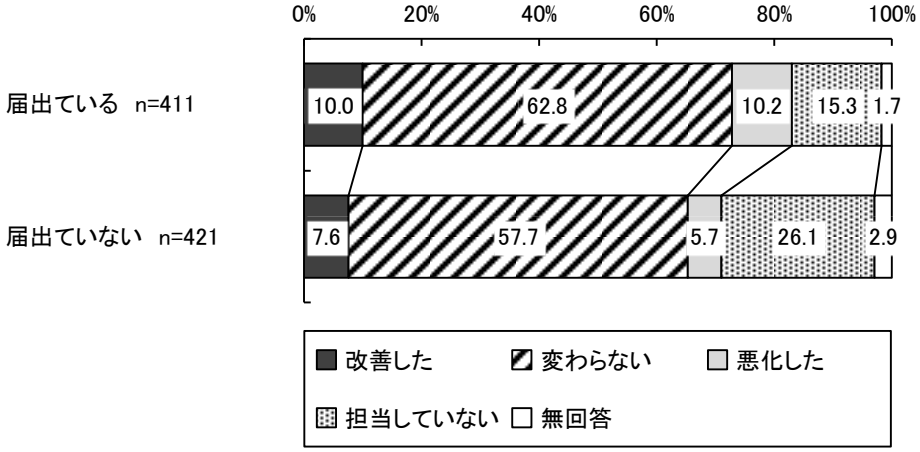


4）救急外来の勤務状況（標榜診療時間外）の変化

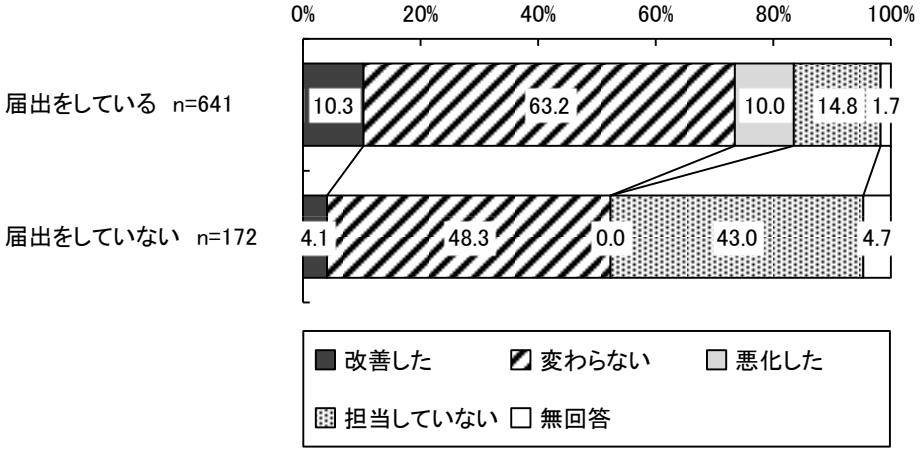
救急外来の勤務状況（標榜診療時間外）の変化について、「地域医療体制確保加算」の届出の有無別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」57.7%、「届出ている」62.8%であった。

また、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」48.3%、「届出ている」63.2%であった。

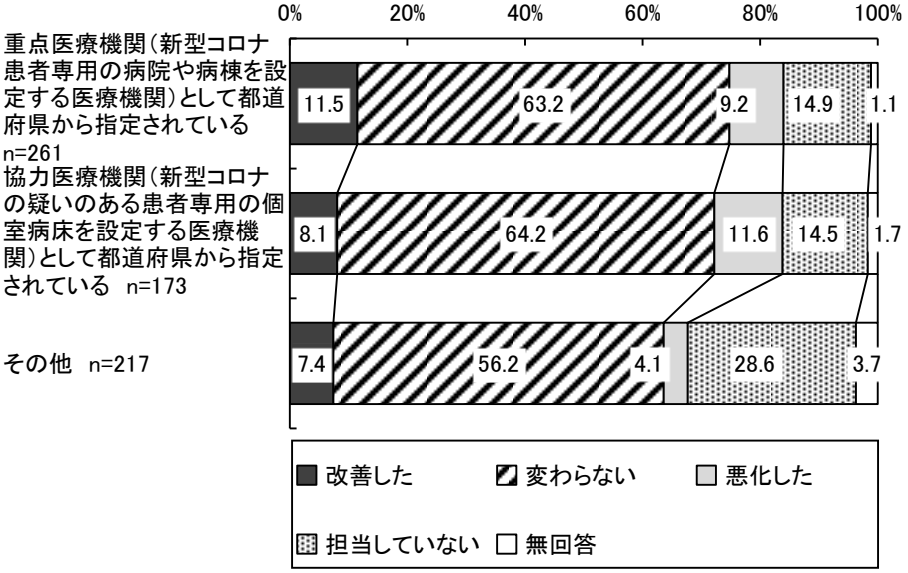
図表 3 - 55　救急外来の勤務状況（診療時間外）の変化
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 3 - 56　救急外来の勤務状況（診療時間外）の変化
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



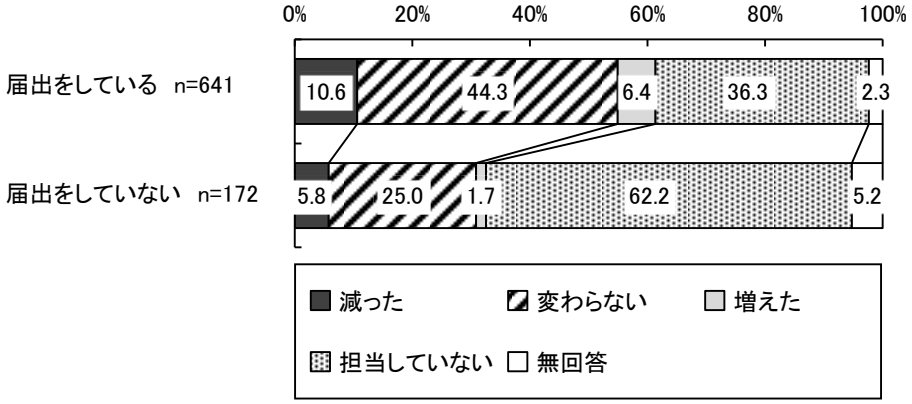
図表 3 - 57　救急外来の勤務状況（診療時間外）の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



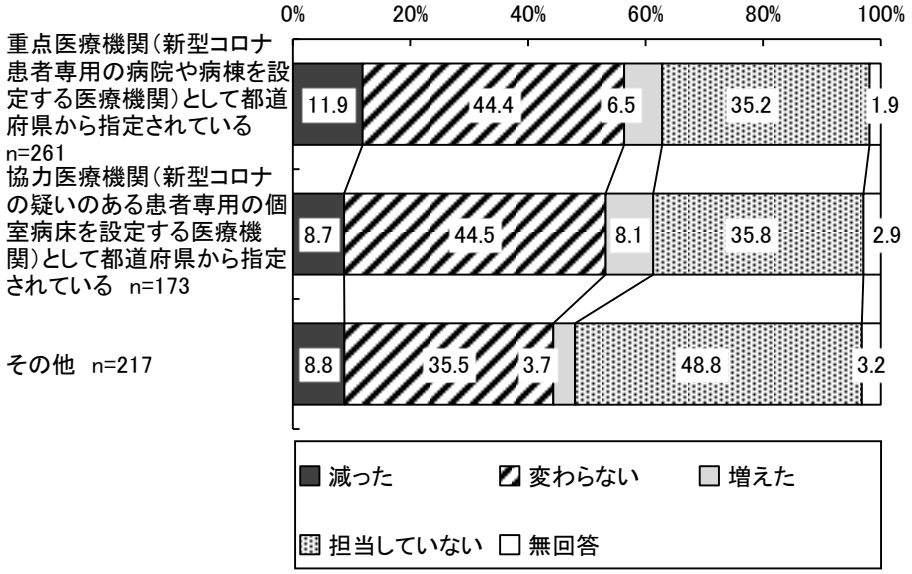
5）診療時間外における手術回数の変化

診療時間外における手術回数の変化について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」25.0%、「届出ている」44.3%であった。

図表 3 - 58　診療時間外における手術回数の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



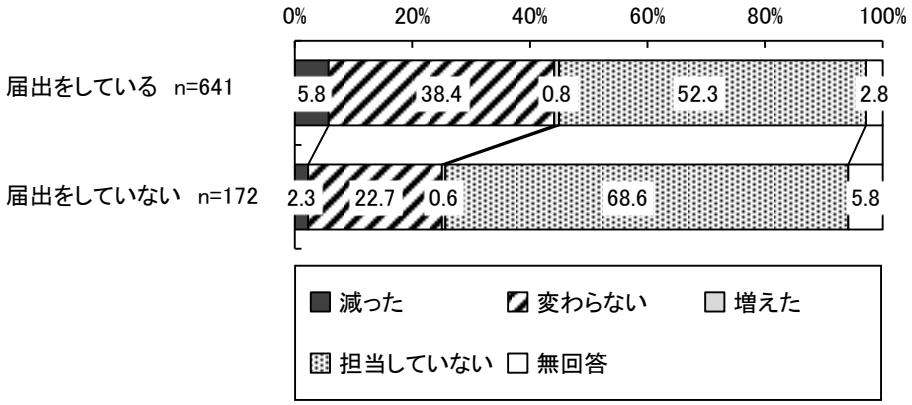
図表 3 - 59　診療時間外における手術回数の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



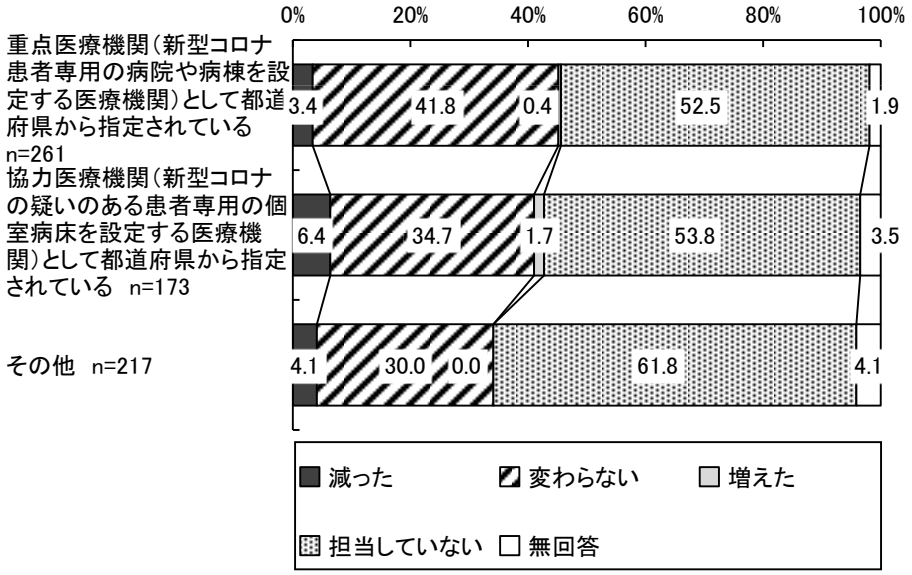
6）手術前日の当直回数の変化

手術前日の当直回数の変化について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」22.7%、「届出ている」38.4%であった。

図表 3 - 60　手術前日の当直回数の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



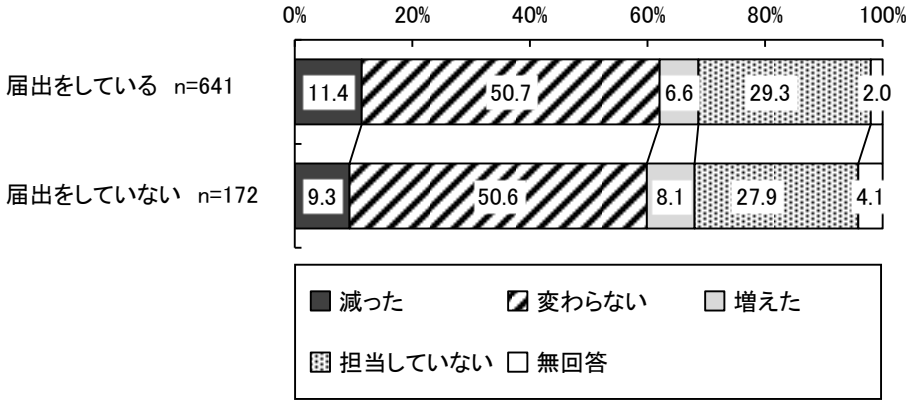
図表 3 - 61　手術前日の当直回数の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



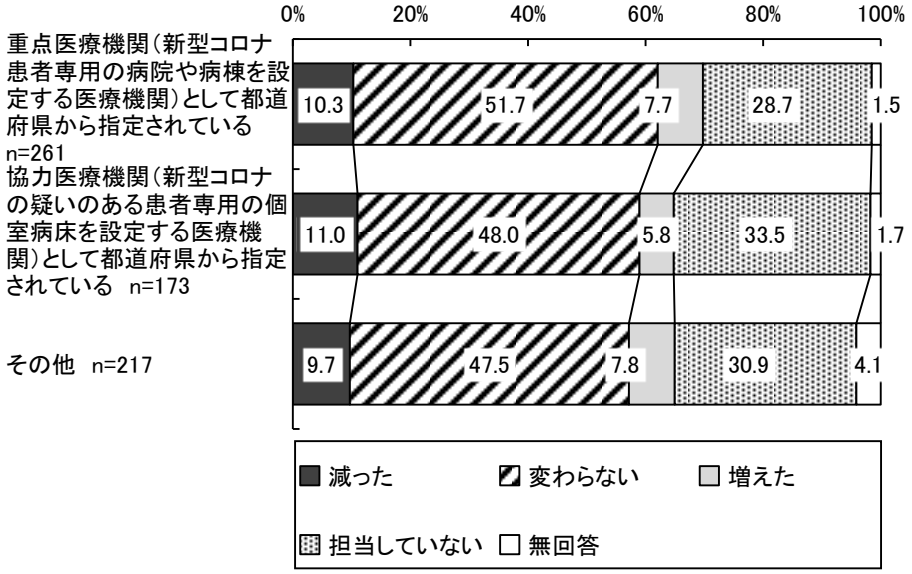
7）当直の回数の変化

当直の回数の変化について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」50.6%、「届出ている」50.7%であった。

図表 3 - 62　当直の回数の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



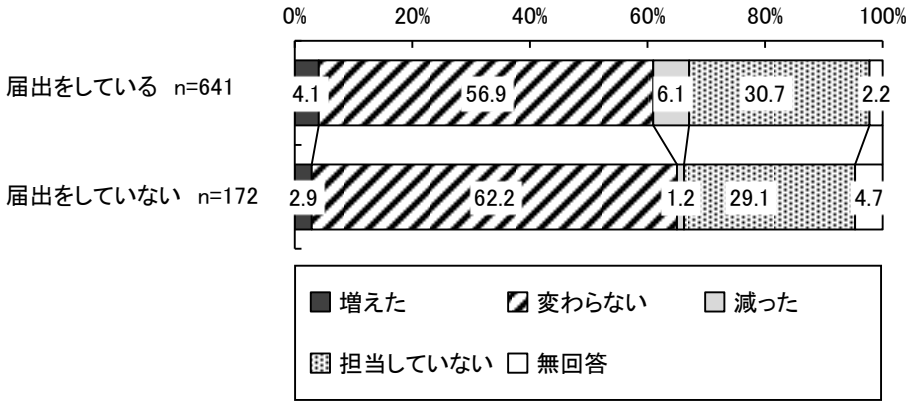
図表 3 - 63　当直の回数の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



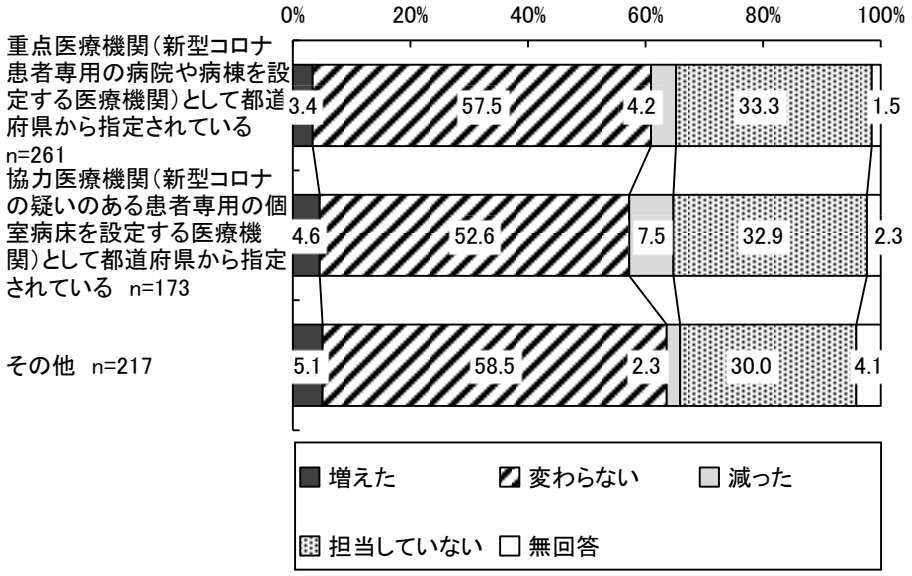
8）当直時の平均睡眠時間の変化

当直時の平均睡眠時間の変化で、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」62.2%、「届出ている」56.9%であった。

図表 3 - 64　当直時の平均睡眠時間の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



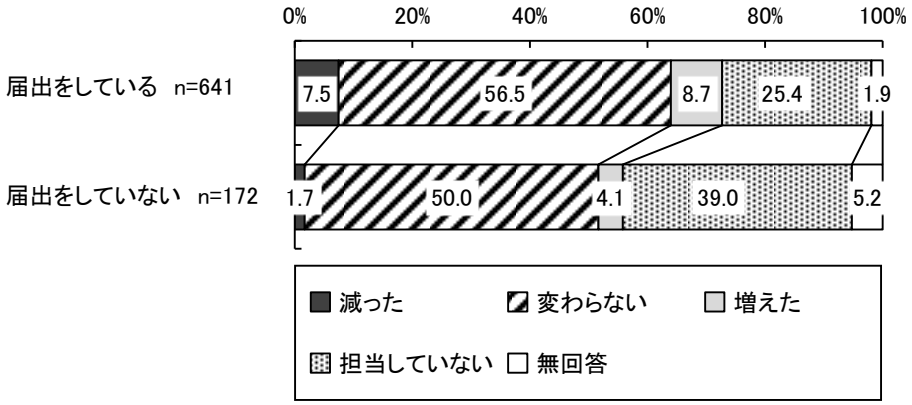
図表 3 - 65　当直時の平均睡眠時間の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



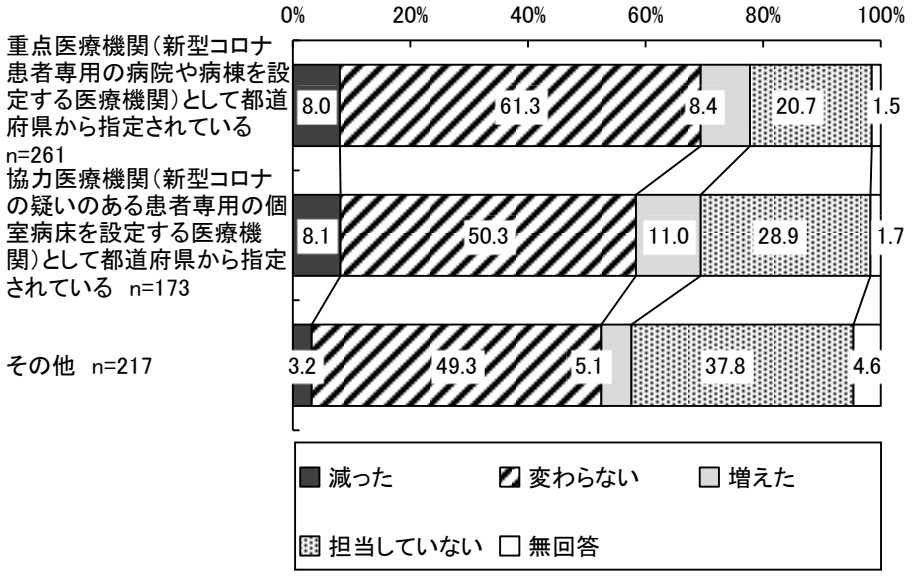
9）オンコール担当回数の変化

オンコール担当回数の変化について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」50.0%、「届出ている」56.5%であった。

図表 3 - 66　オンコール担当回数の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



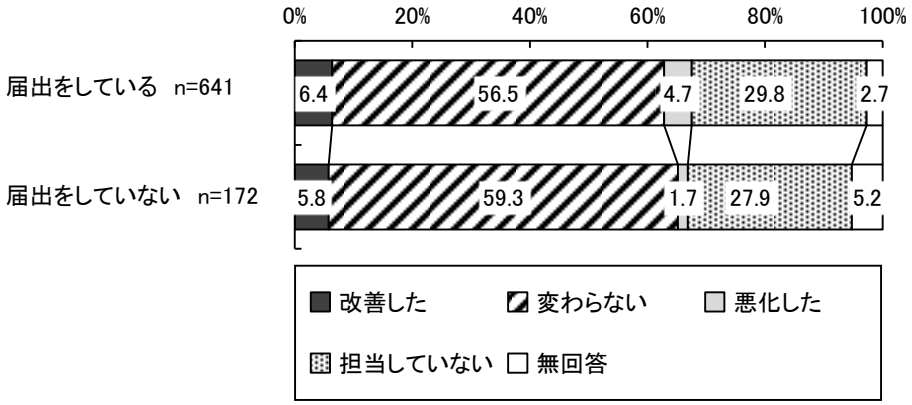
図表 3 - 67　オンコール担当回数の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



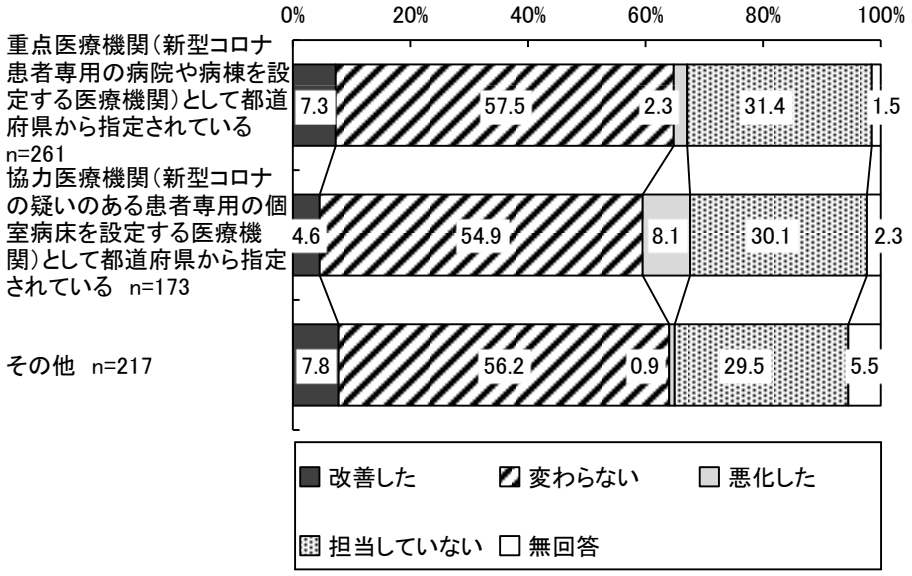
10）当直翌日の勤務状況の変化

当直翌日の勤務状況の変化について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」59.3%、「届出ている」56.5%であった。

図表 3 - 68　当直翌日の勤務状況の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



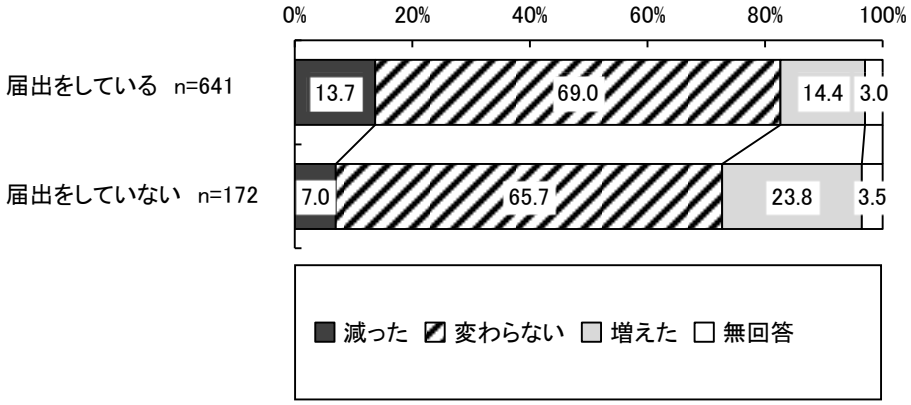
図表 3 - 69　当直翌日の勤務状況の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



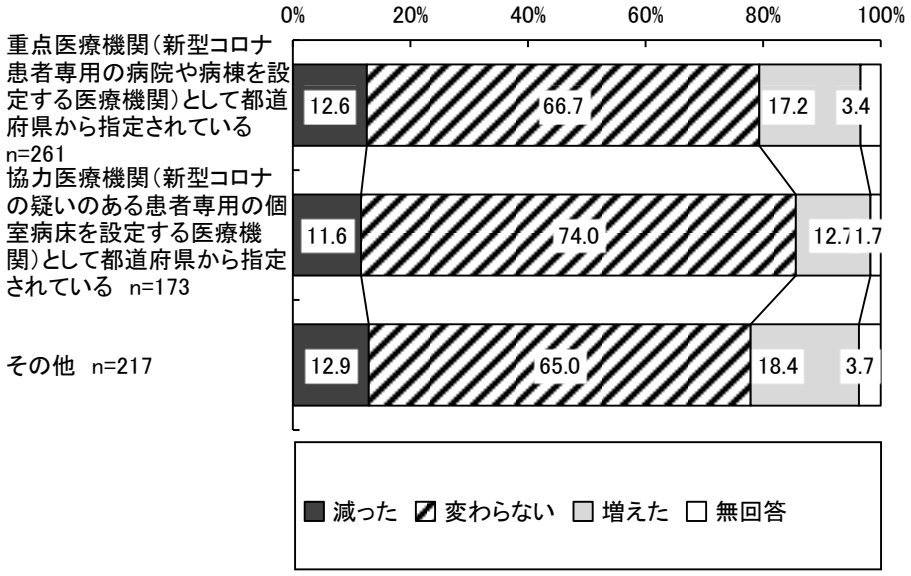
11）書類作成時の事務作業の変化

書類作成時の事務作業の変化について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」65.7%、「届出ている」69.0%であった。

図表 3 - 70　書類作成時の事務作業の変化；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



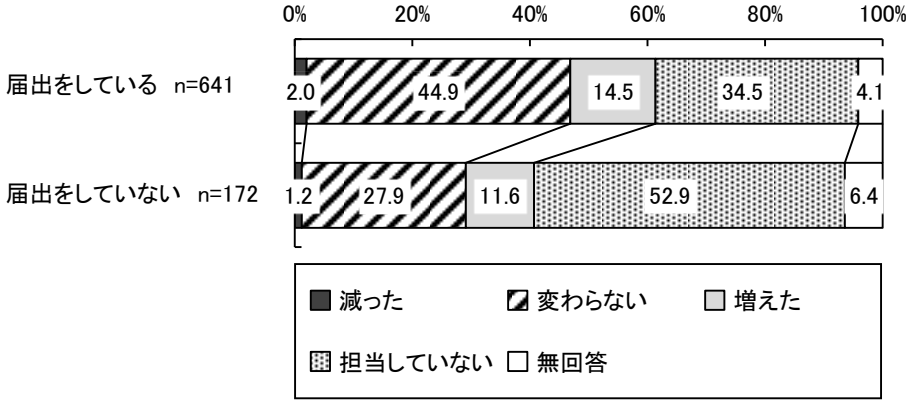
図表 3 - 71　書類作成時の事務作業の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



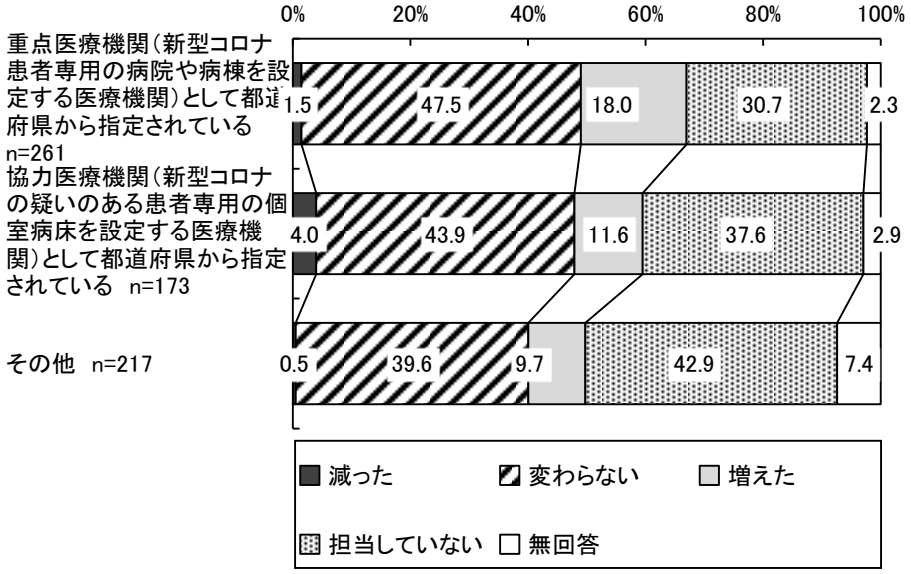
12）ICT を用いたカンファレンスの実施状況

ICT を用いたカンファレンスの実施状況について、「医師事務差作業補助体制加算」の届出別に「変わらない」の割合をみると、「届出ていない」27.9%、「届出ている」44.9%であった。

図表 3 - 72　ICT を用いたカンファレンスの実施状況；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



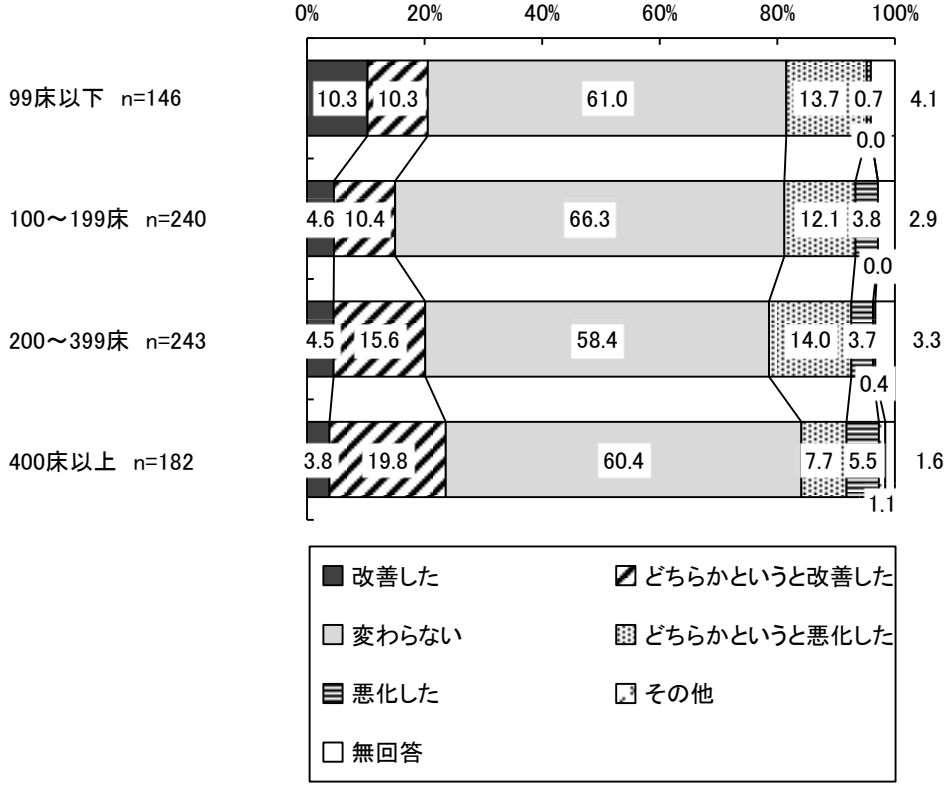
図表 3 - 73　ICT を用いたカンファレンスの実施状況
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



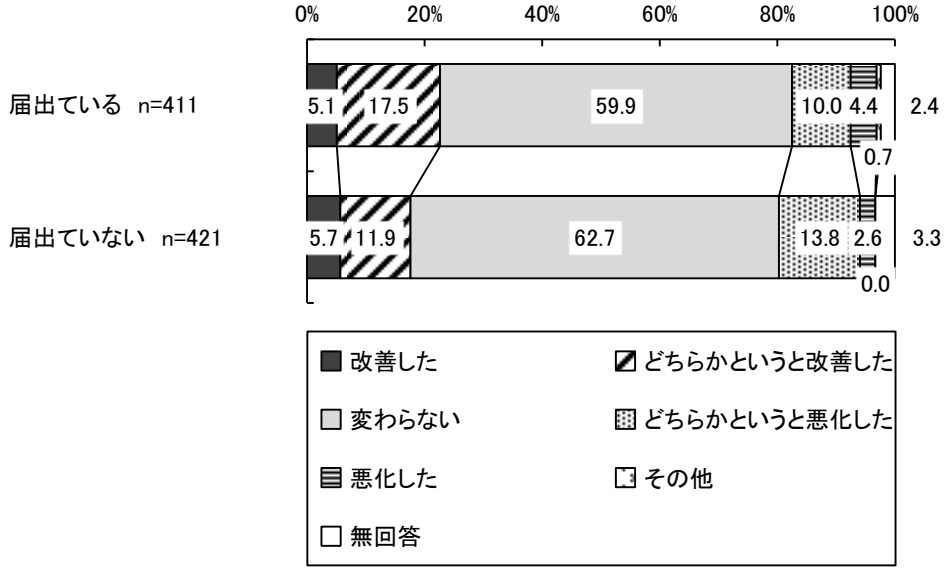
13）総合的にみた勤務状況の変化

総合的にみた勤務状況の変化について、病床別に「変わらない」の割合をみると、「99床以下」(61.0%)、「100～199床」(66.3%)、「200～399床」(58.4%)「400床以上」(60.4%)であった。

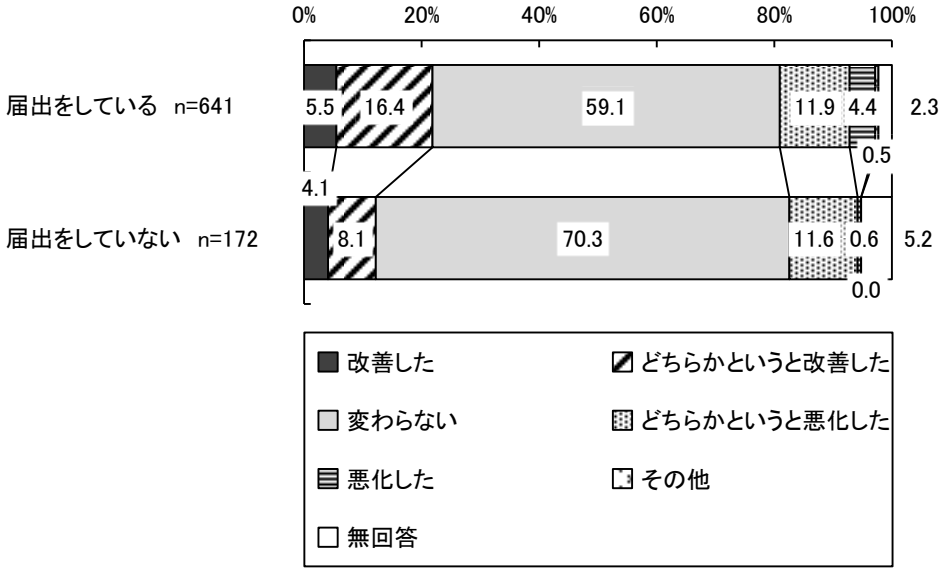
図表 3 - 74　総合的にみた勤務状況の変化
（病床規模別）



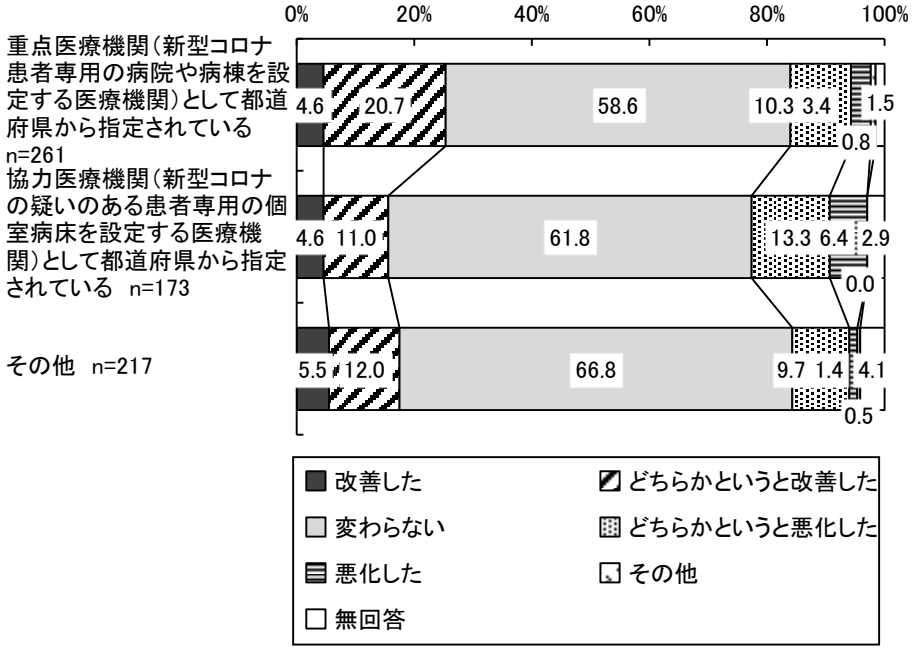
図表 3 - 75　総合的にみた勤務状況の変化
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表 3 - 76　総合的にみた勤務状況の変化
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



図表 3 - 77　総合的にみた勤務状況の変化
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



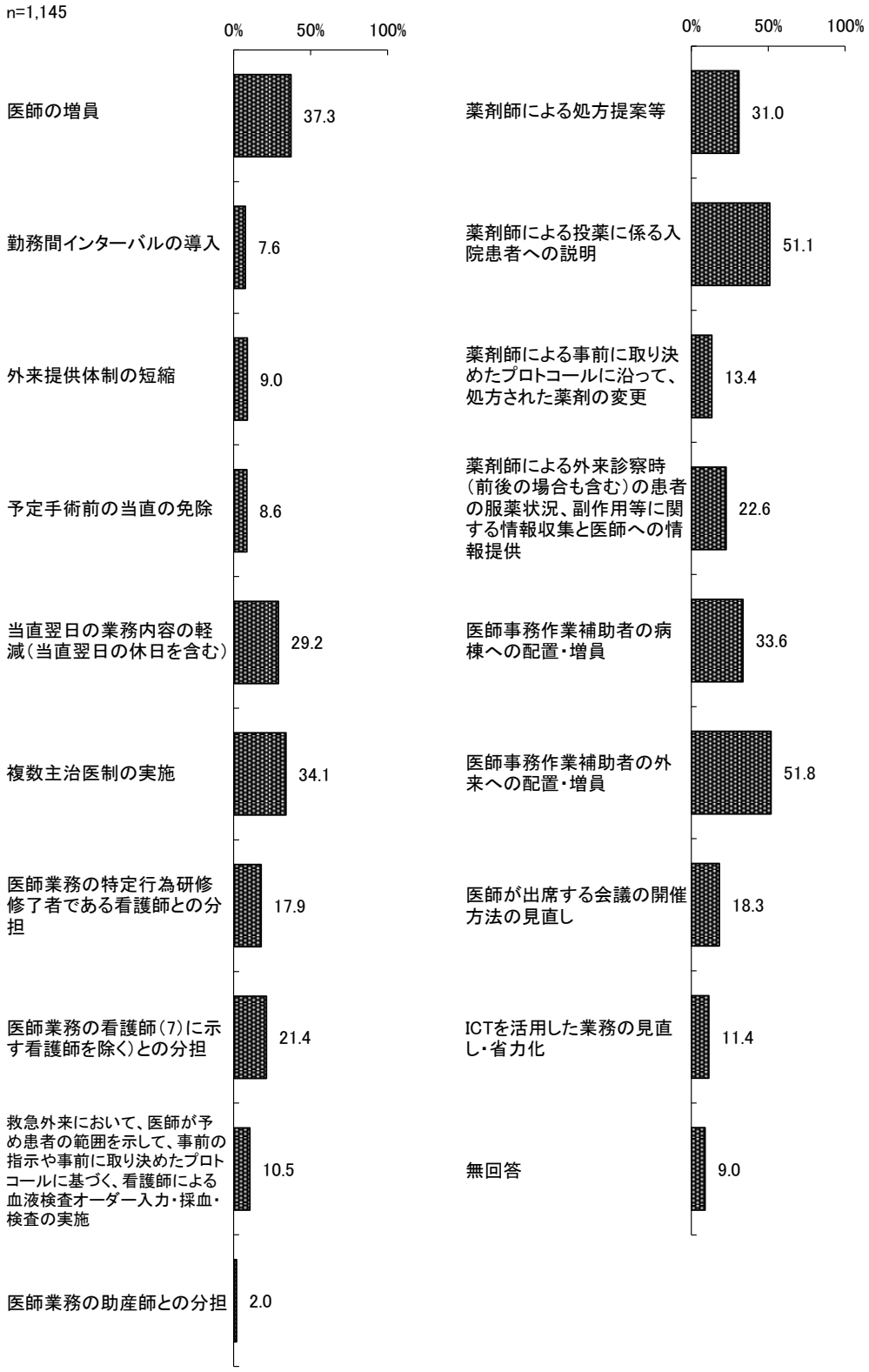
（３） 実施業務と負担感

① 診療科で実施している勤務医の負担軽減策とその効果

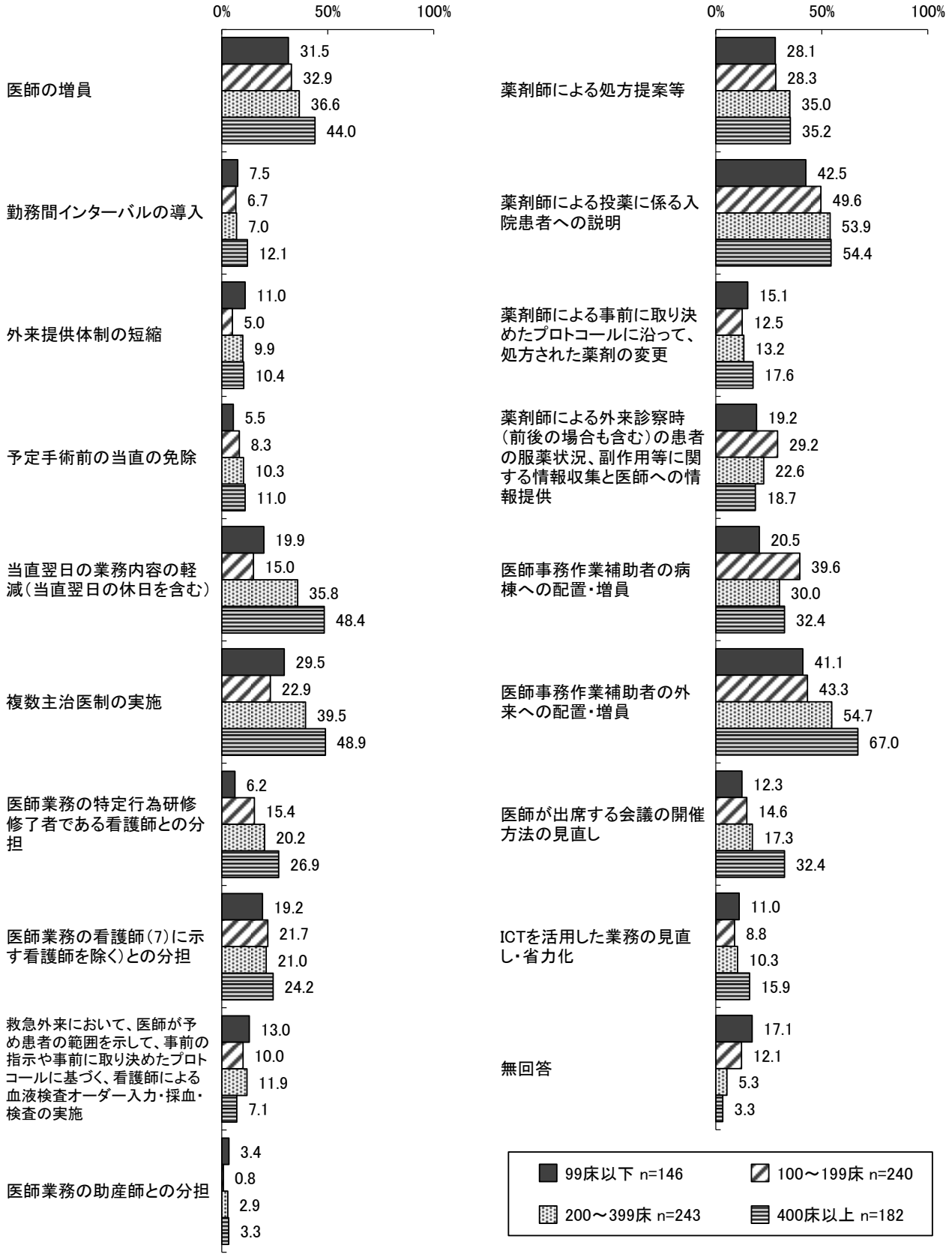
【実施されている負担軽減策】

実施されている負担軽減策で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」(51.8%)、次に多かったものは「薬剤師による投薬に係る入院患者への説明」(51.1%)であった。また、地域医療体制確保加算を届出ている施設において、「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」が 64.5%で実施されていた。

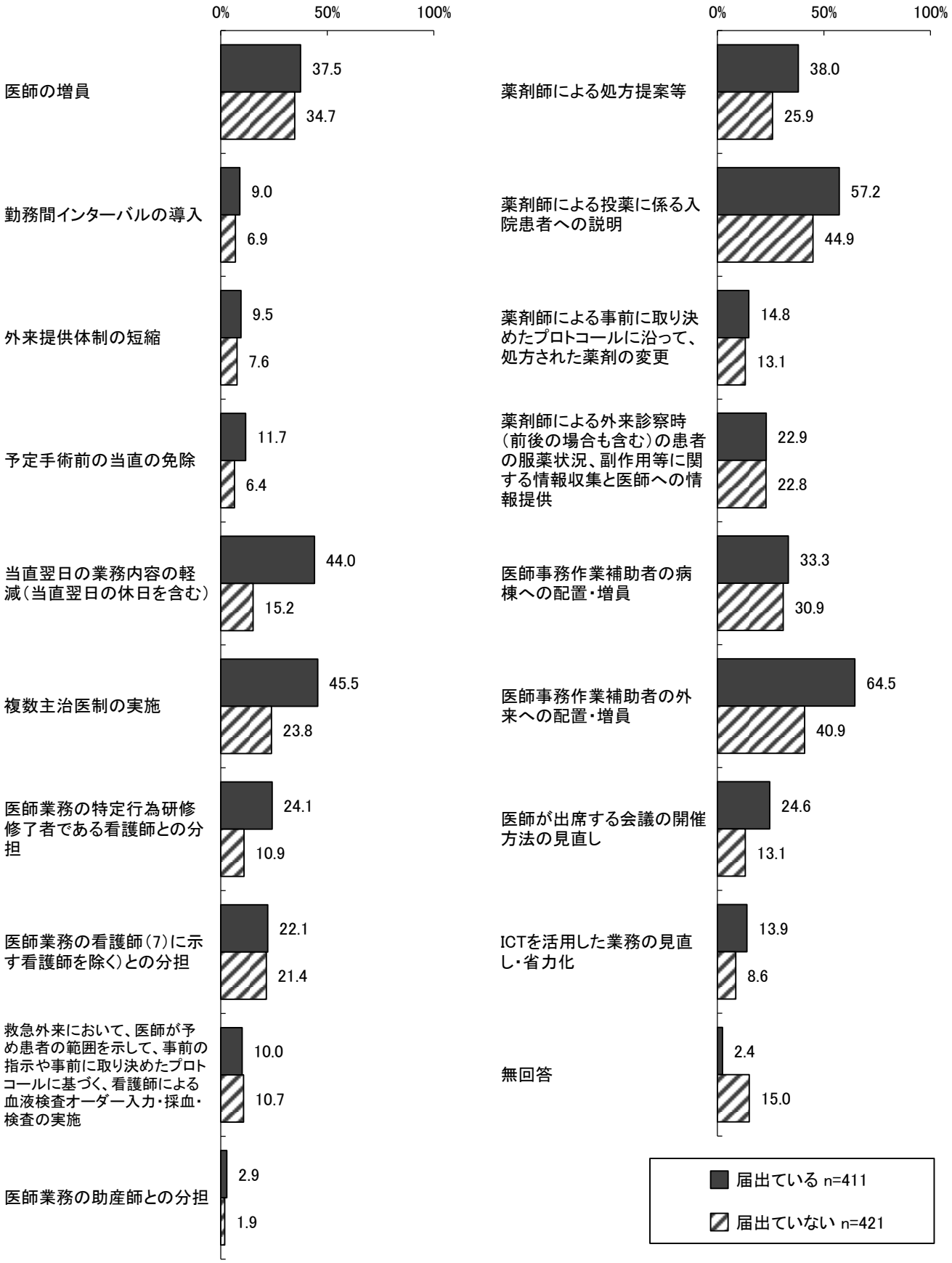
図表 3 - 78　診療科で実施している勤務医の負担軽減策（複数回答）



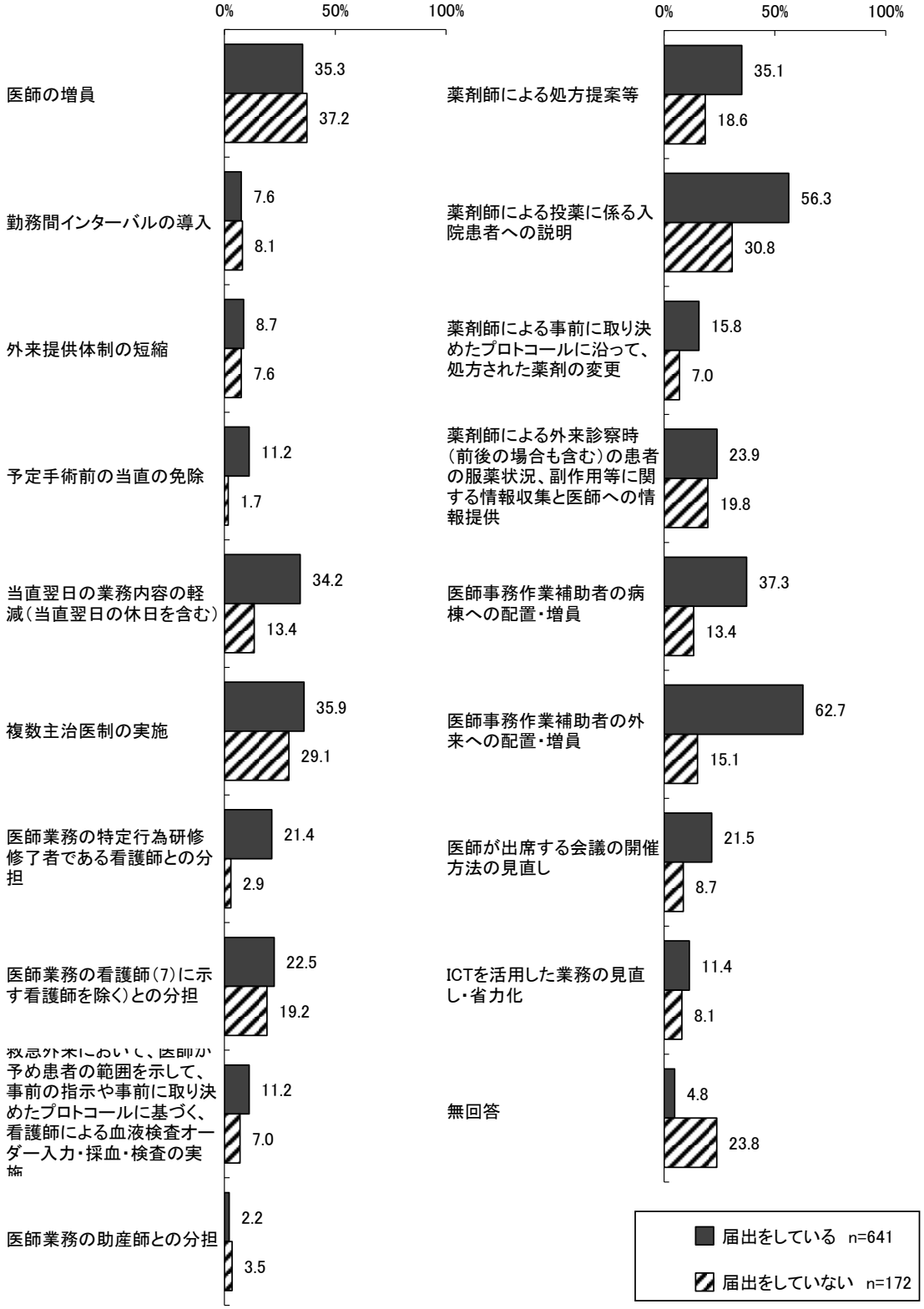
図表 3 - 79　医師の負担軽減策として実施されている取組（複数回答）（病床規模別）



図表 3 - 80　医師の負担軽減策として実施されている取組（複数回答）
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



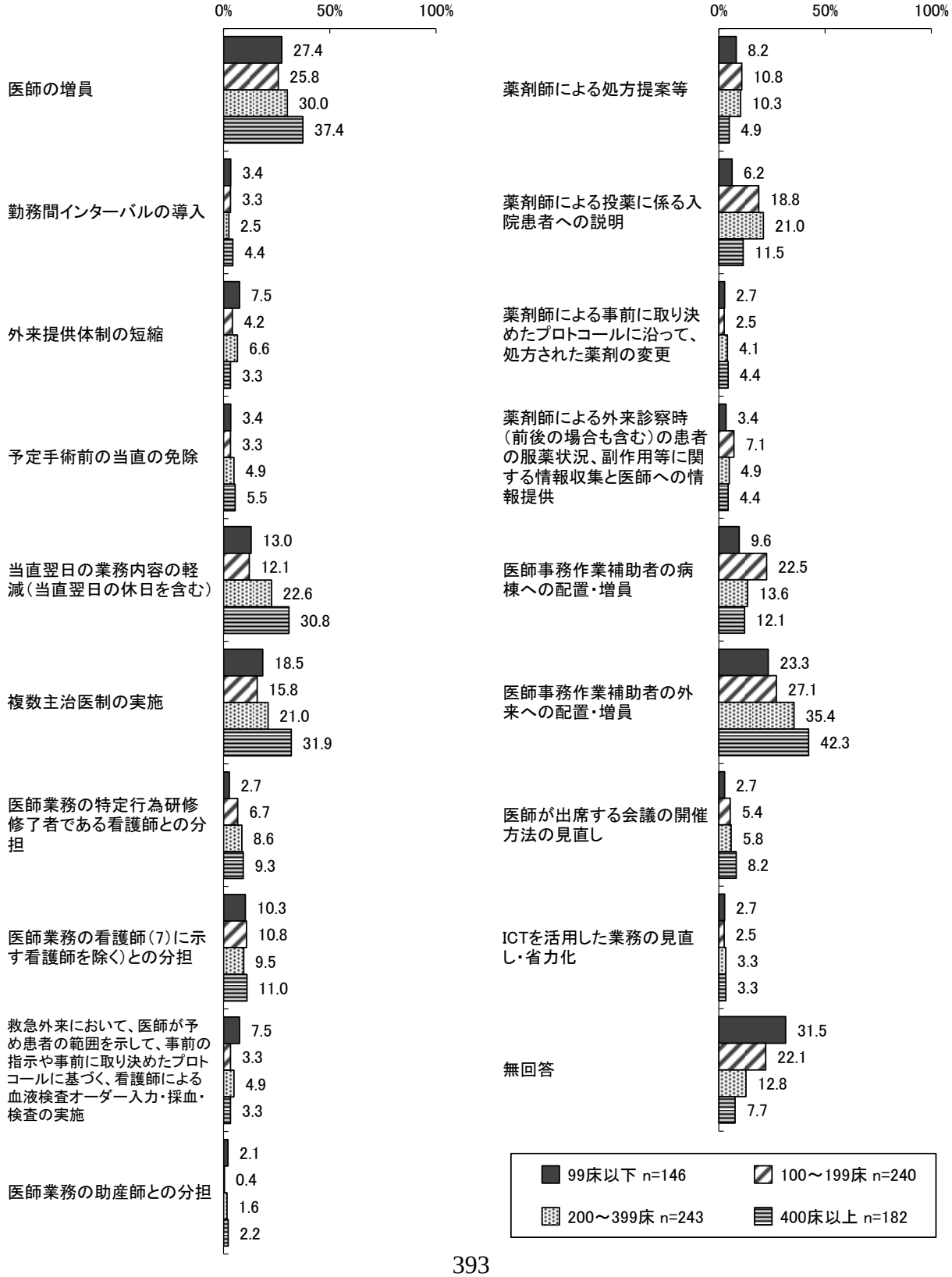
図表 3 - 81　医師の負担軽減策として実施されている取組（複数回答）
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）



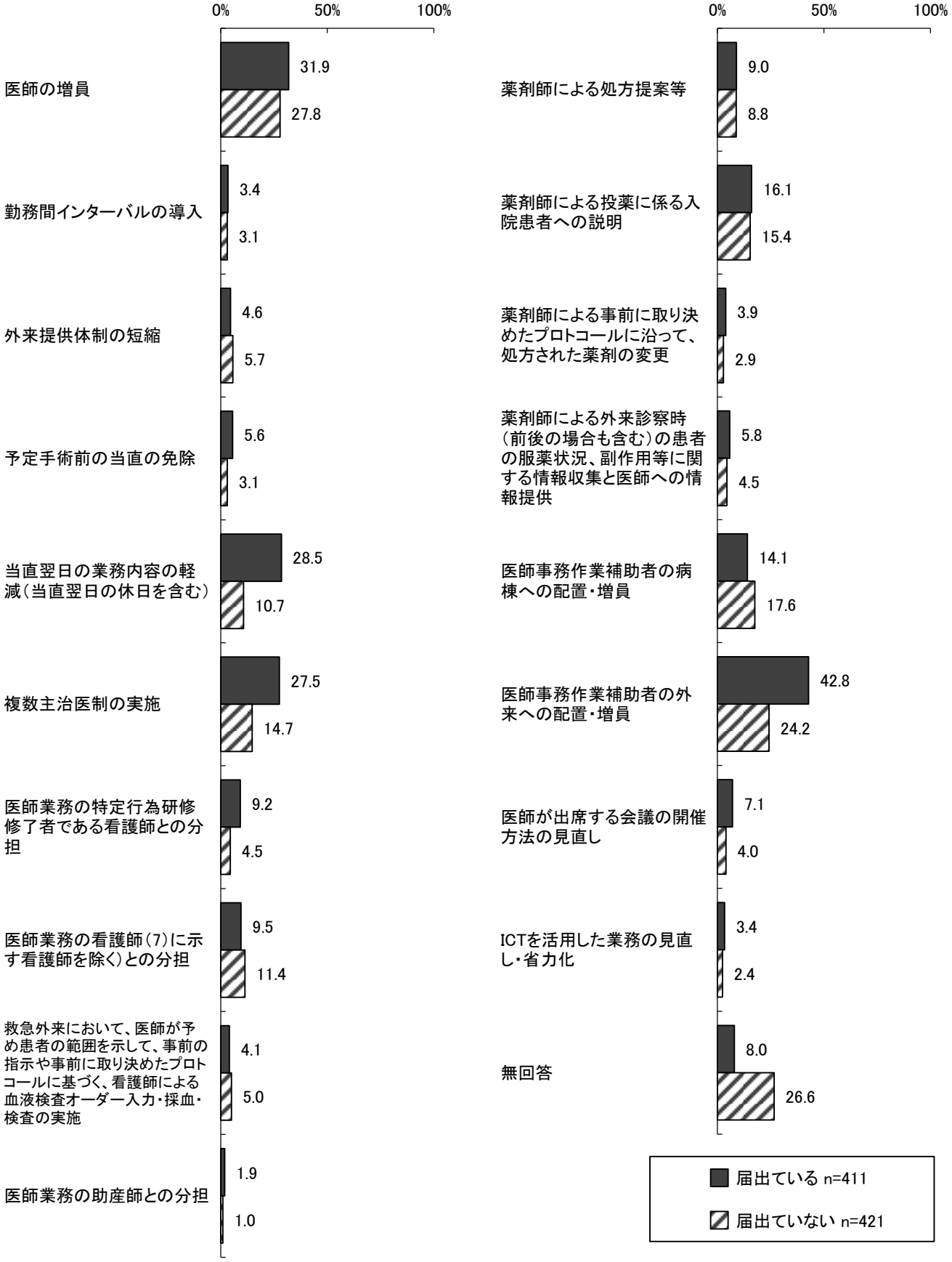
【特に効果のある取組】

特に効果のある取組についてみると、「99 床以下」で最も多かったものは「医師の増員」(27.4%)、100 床以上の病棟で最も多かったものは「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」で、「100～199 床」(27.1%)、「200～399 床」(35.4%)「400 床以上」(42.3%)であった。また、地域医療体制確保加算を届出ている施設において、「医師事務作業補助者の外来への配置・増員」が 42.8%で、「医師の増員」が 31.9%で挙げられていた。

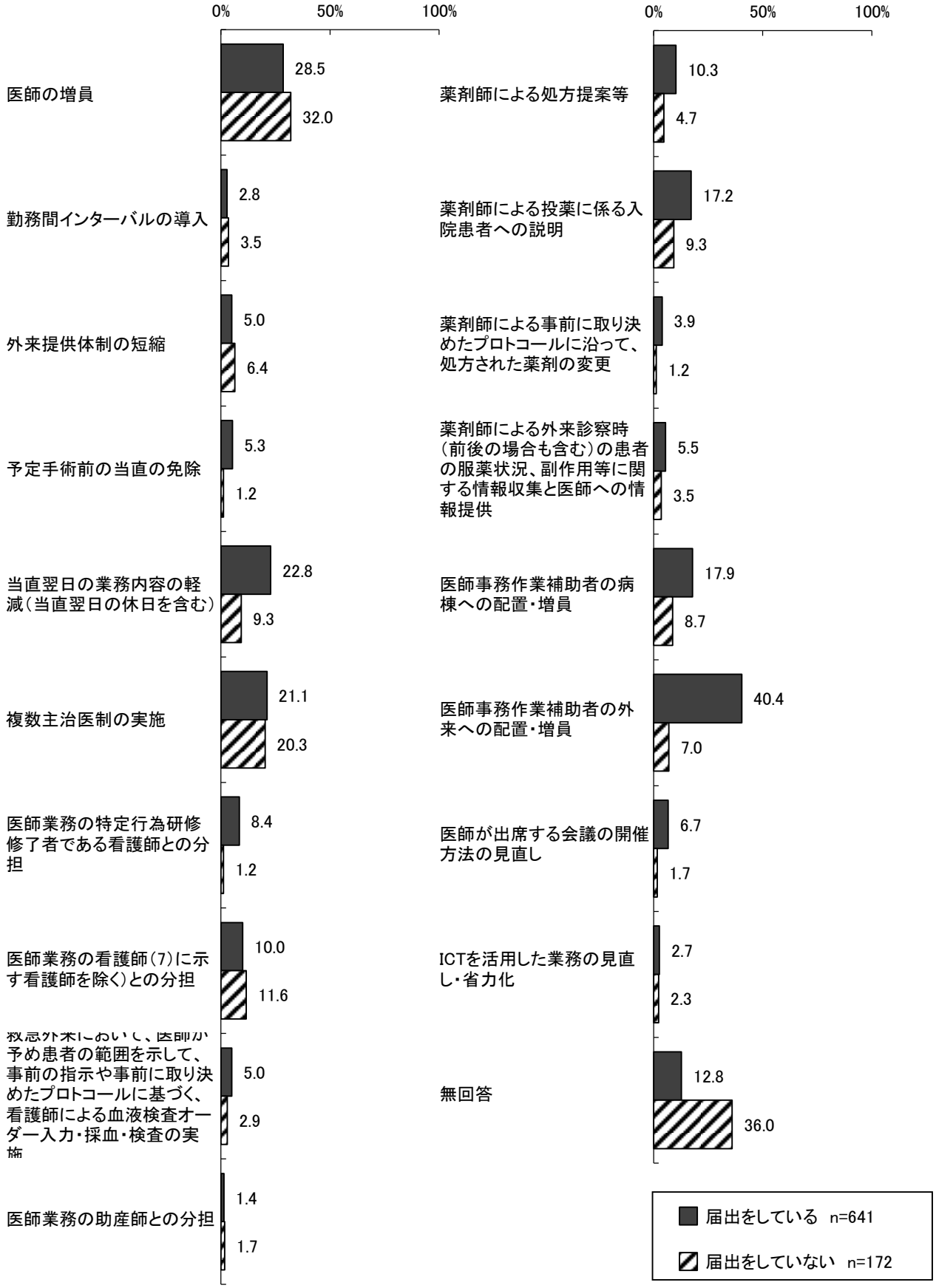
図表 3 - 82　医師の負担軽減策として実施されている取組について特に効果のある取組（３つまで）（病床規模別）



図表３－83　医師の負担軽減策として実施されている取組について特に効果のある取組（３つまで）
（地域医療体制確保加算の届出有無別）



図表３－84　医師の負担軽減策として実施されている取組について特に効果のある取組（３つまで）
（医師事務作業補助体制加算の届出有無別）

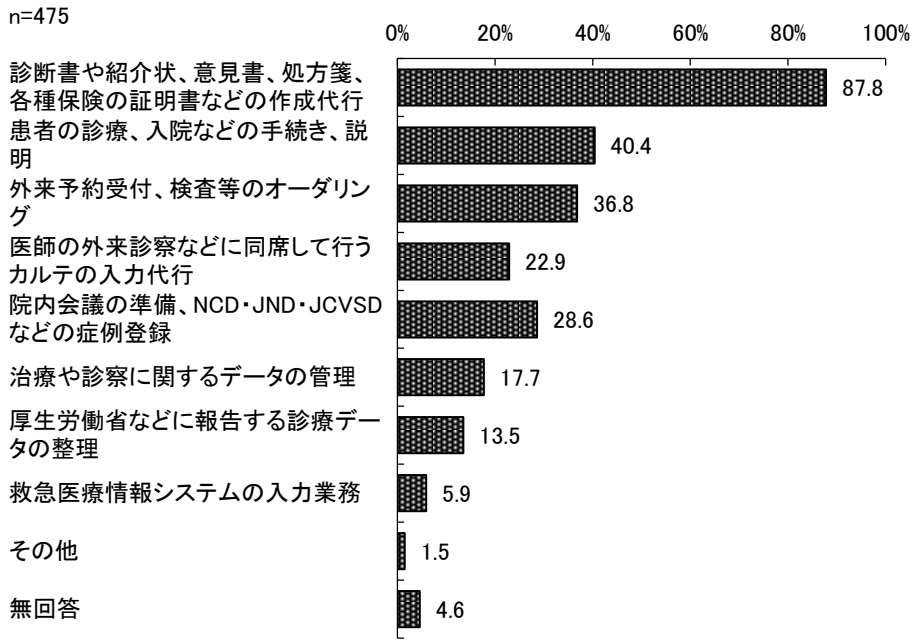


② 医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務内容

医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務内容で最も多かったものは「診断書や紹介状、意見書、処方箋、各種保険の証明書などの作成代行」（87.8%）であった。

なお、「その他」の回答には、「治験データ管理等」、「処方箋入力しやすいよう、マスターデータシート作成」、「医師が書いた紹介書、返書などの送信」、「学会や講演資料の下準備、学会参加申請の代行」等があった。

図表 3 - 85　医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務内容（複数回答）



改善された月当たりの時間数は、以下のとおりであった。

図表 3 - 86　改善された月当たりの時間数（月間）

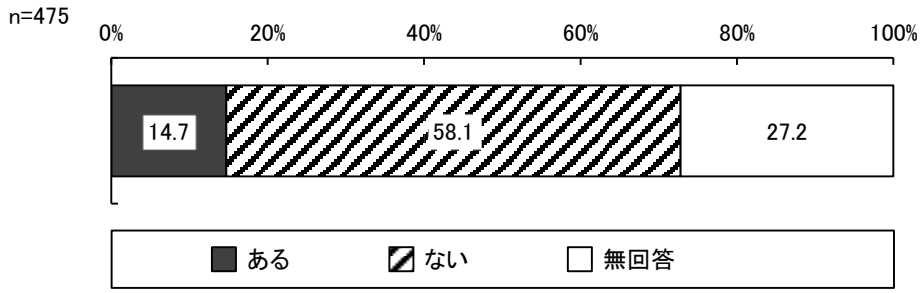
	調査数	平均値	標準偏差	中央値
診断書や紹介状、意見書、処方箋、各種保険の証明書などの作成代行	n=396	5.8	6.5	4.0
患者の診療、入院などの手続き、説明	n=181	4.8	6.0	2.0
外来予約受付、検査等のオーダリング	n=169	5.0	6.2	2.0
医師の外来診察などに同席して行うカルテの入力代行	n=105	8.0	11.6	3.0
院内会議の準備、NCD・JND・JCVSDなどの症例登録	n=130	5.1	5.9	3.0
治療や診察に関するデータの管理	n=80	4.3	5.7	2.0
厚生労働省などに報告する診療データの整理	n=59	4.4	5.9	2.0
救急医療情報システムの入力業務	n=26	2.6	3.0	1.0
その他	n=6	3.4	1.6	3.5

②-1　医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）

医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療で最も多かったものは「ない」（58.1%）であった。

なお、「拡充が可能となった医療（サービス）」の具体例としては、「外来での病状説明時間をとれるようになった、診療に集中できるようになった」、「手術や処置に時間をとれる」、「手術件数の増加」、「臨床研究・治験、新しい手術・治療の導入」、「救急搬送受け入れ時の複数患者対応」等の回答があった。

図表 3 - 87　医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）

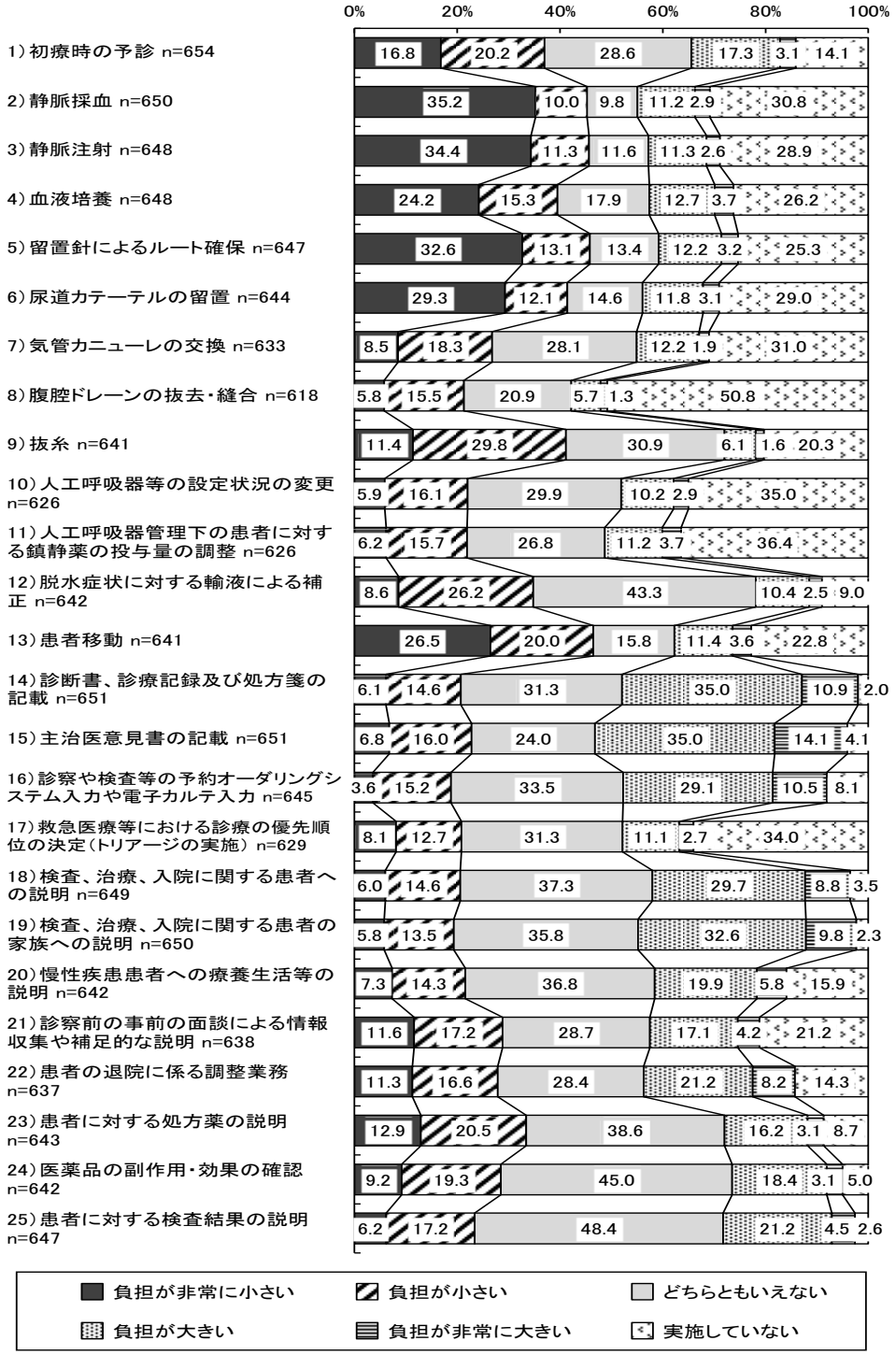


③各業務の負担感と業務分担の状況等

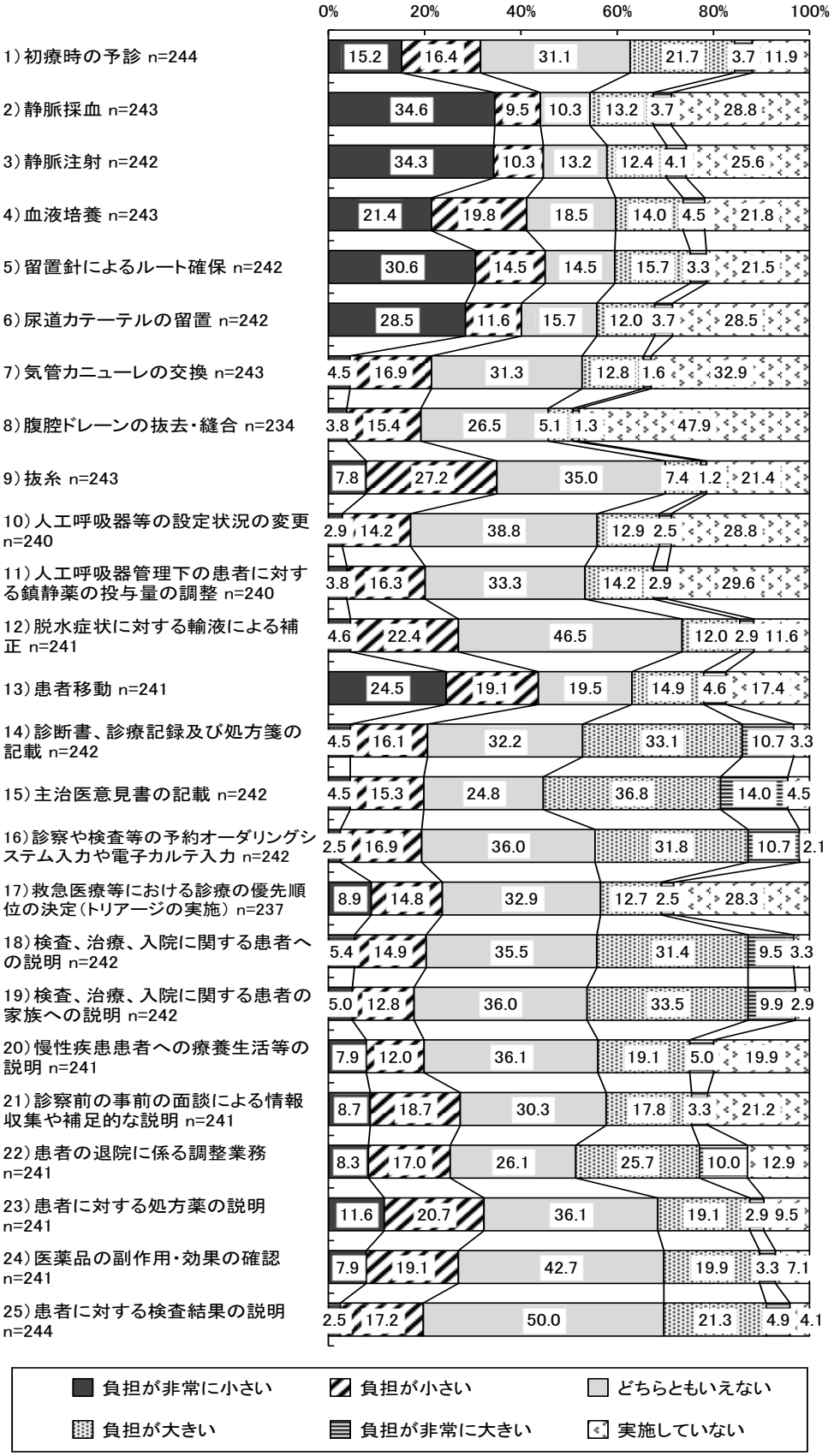
1）各業務負担感

各業務負担感で「負担が非常に小さい」と回答した業務で最も多かったものは「静脈採血」(35.2%) で、「負担が大きい」と回答した業務で最も多かったものは「診断書、診療記録及び処方箋の記載」「主治医意見書の記載」（ともに 35.0%）であった。地域医療体制確保加算の届出施設においては、「主治医意見書の記載」について、14.0%の回答者が「負担が非常に大きい」と回答していた。

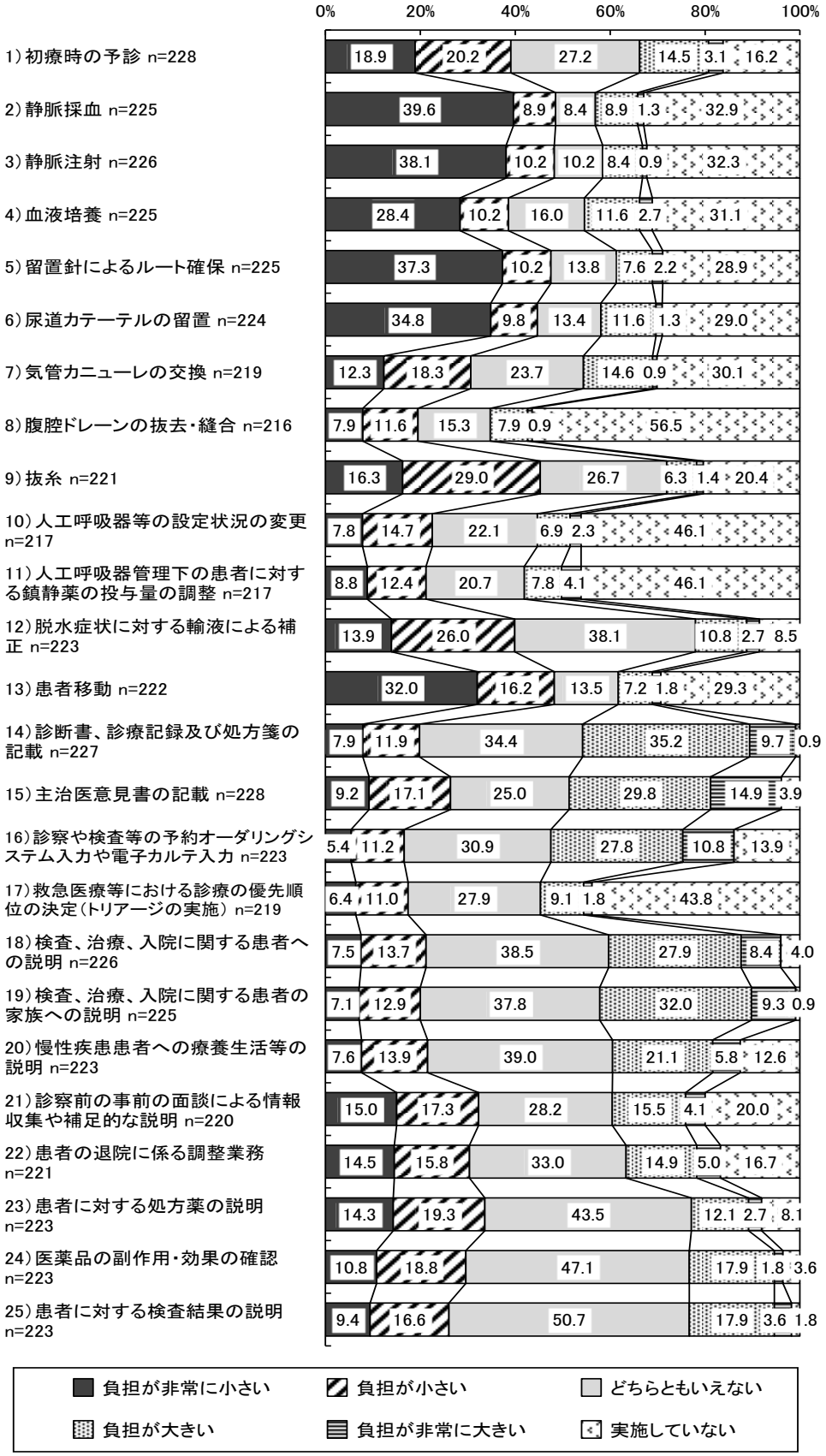
図表 3 - 88　各業務の負担感



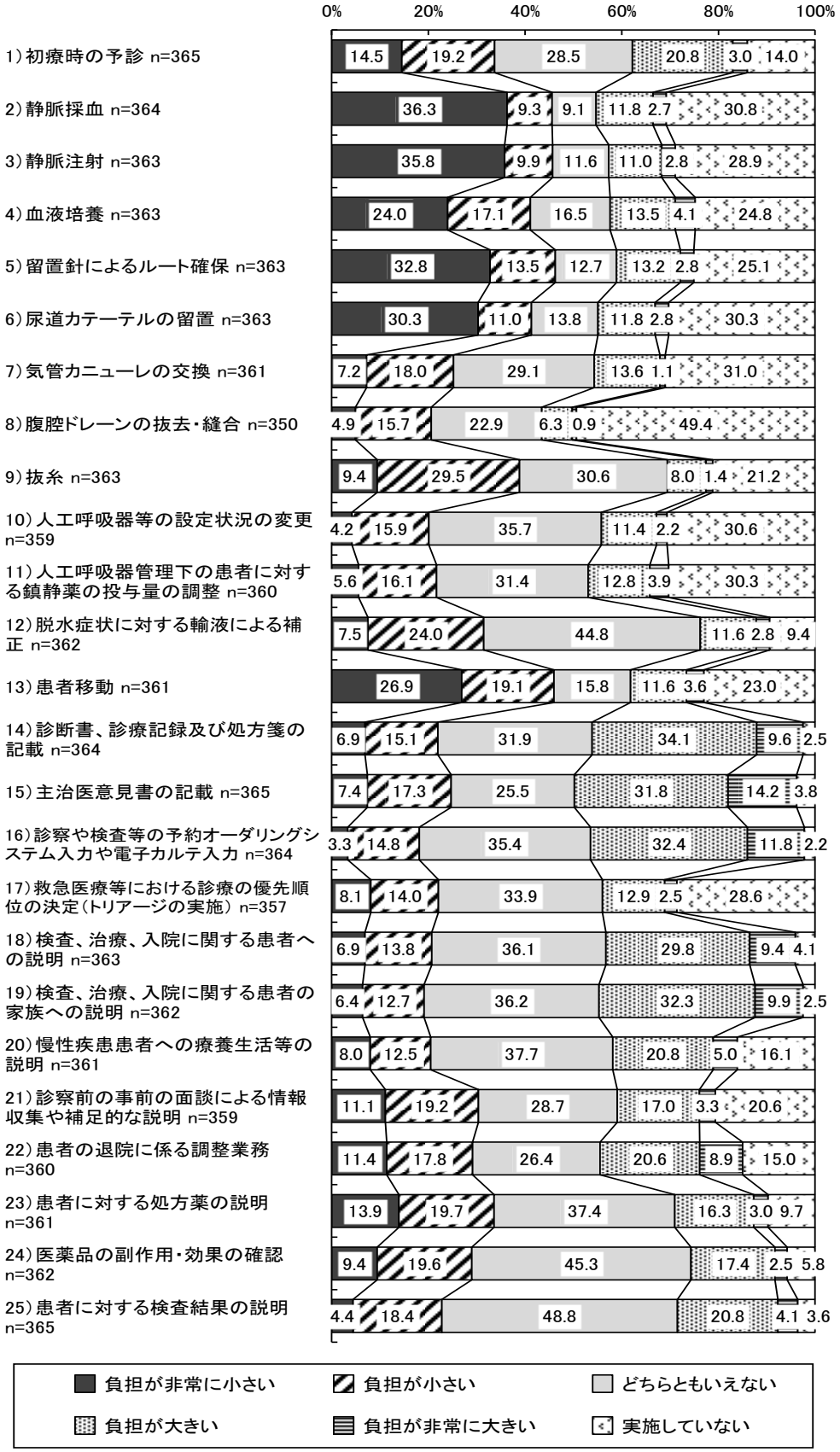
図表 3 - 89　各業務の負担感
（地域医療体制確保加算の届出施設）



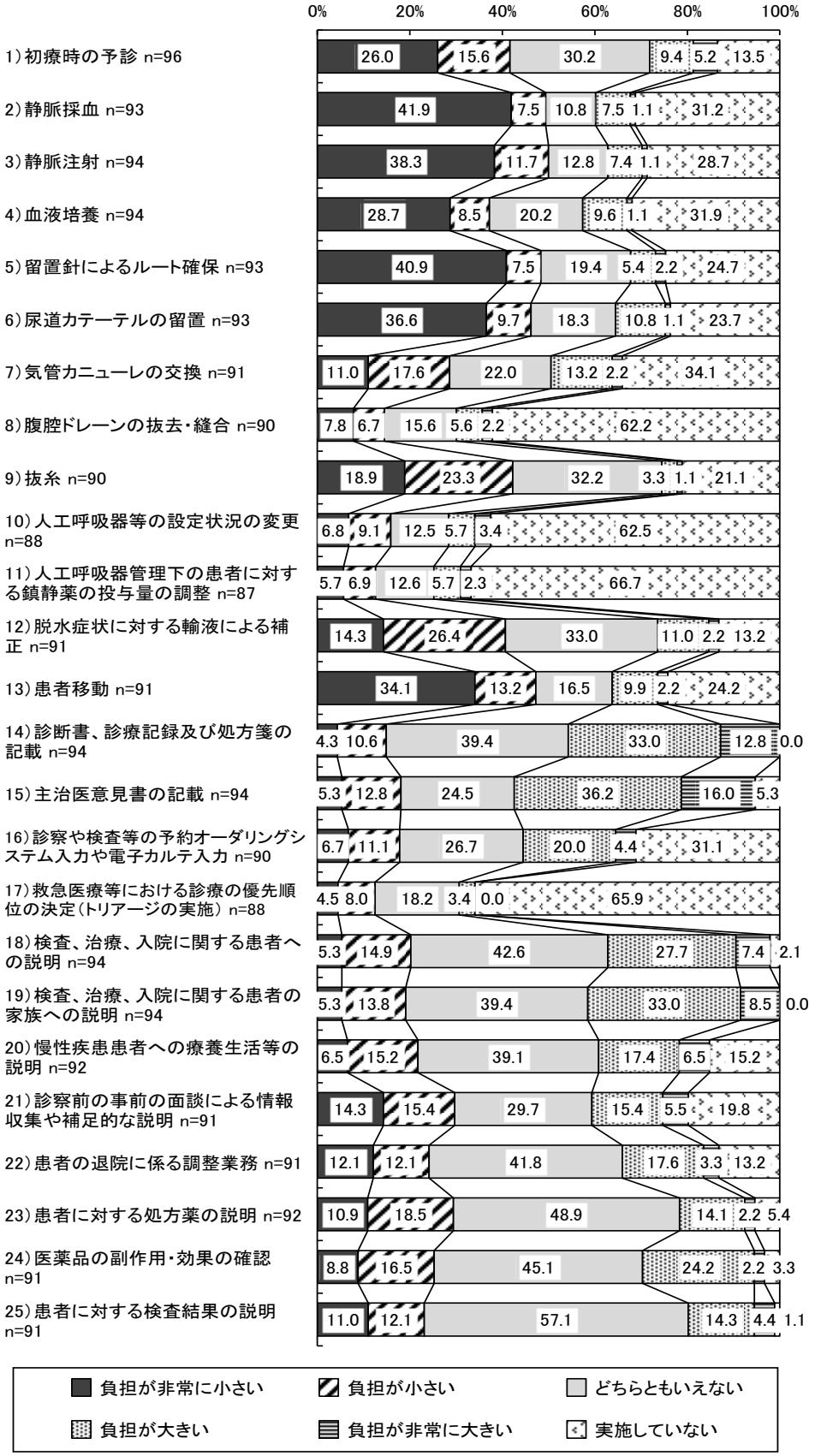
図表 3 - 90　各業務の負担感
（地域医療体制確保加算の未届出施設）



図表 3 - 91　各業務の負担感
（医師事務作業補助体制加算の届出施設）



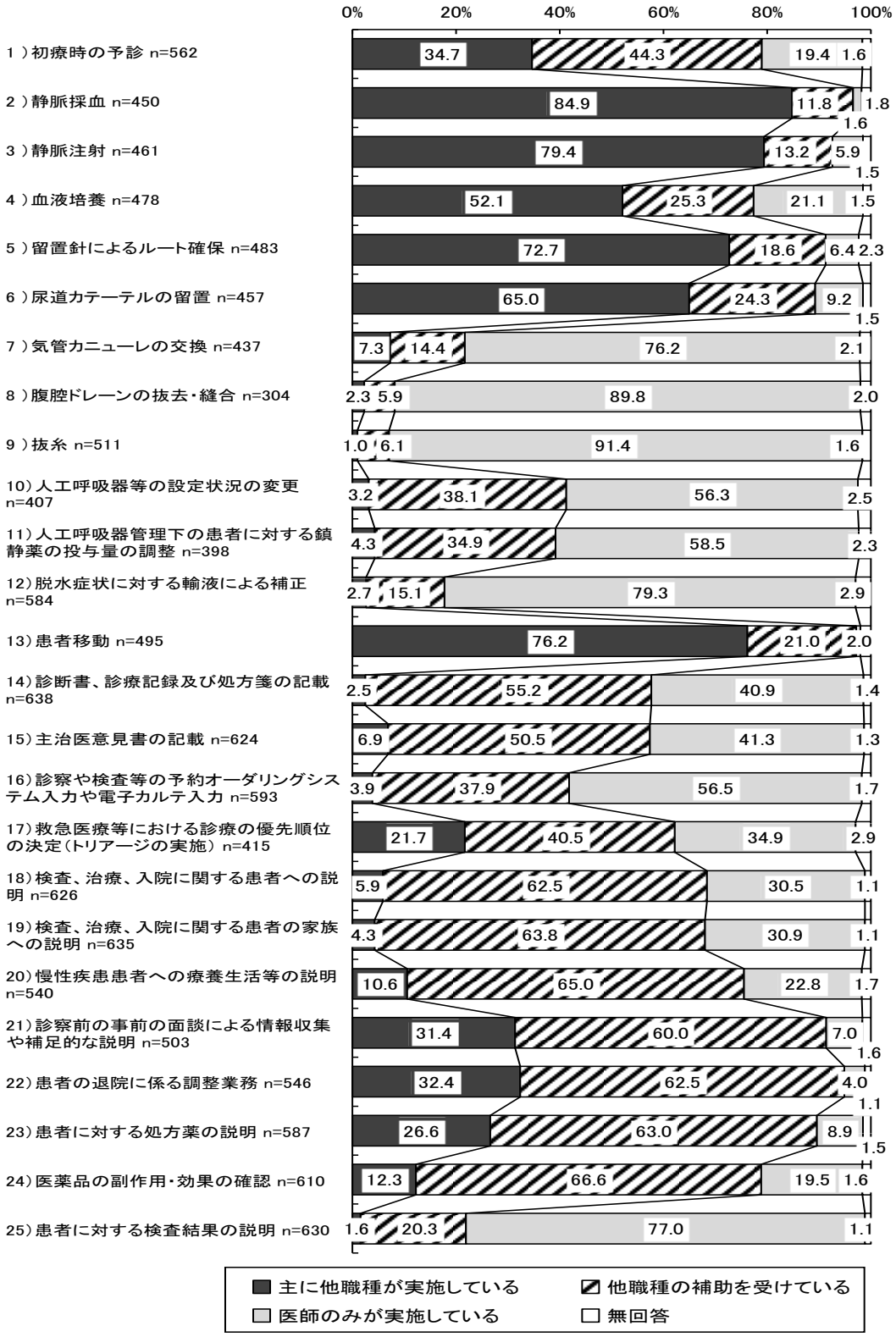
図表 3 - 92　各業務の負担感
（医師事務作業補助体制加算の未届出施設）



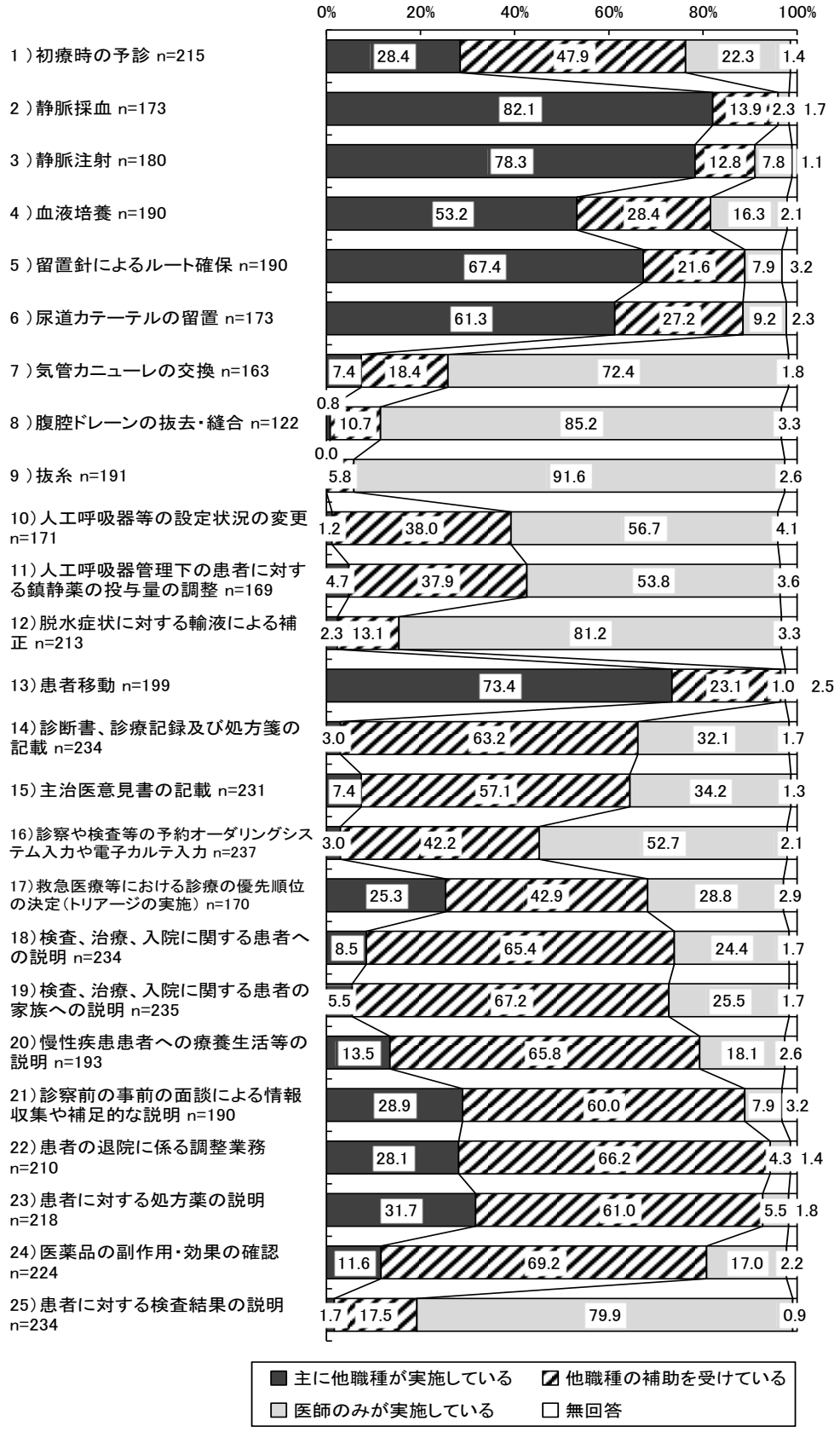
2）各業務の他職種との業務分担の取組状況

各業務の他職種との業務分担の取組状況で「主に他職種が実施している」もので最も多かった業務は「静脈採血」(84.9%) で、「他職種の補助を受けている」もので最も多かった業務は「医薬品の副作用・効果の確認」(66.6%) であった。

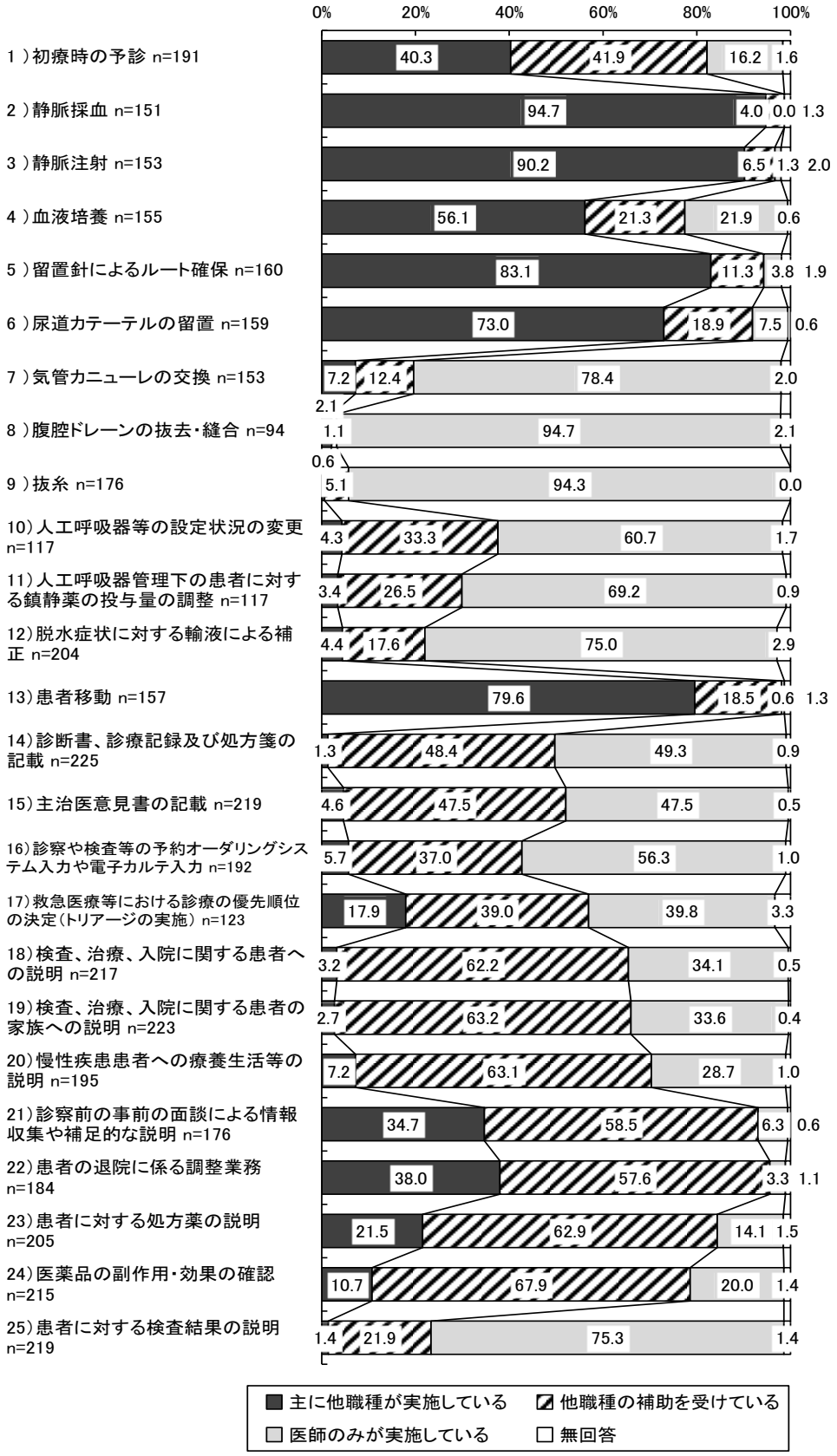
図表 3 - 93　各業務の他職種との業務分担の取組状況



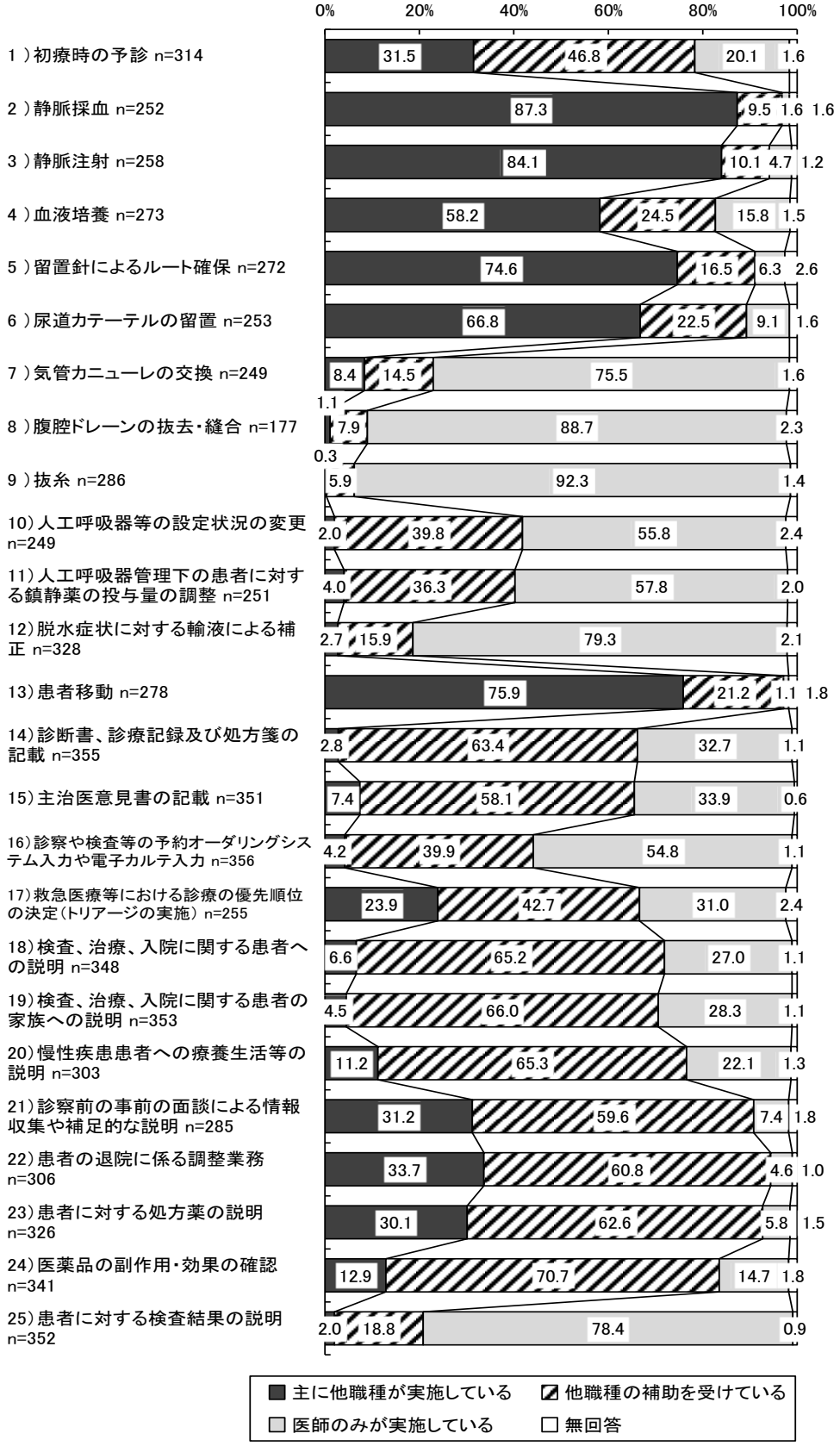
図表 3 - 94　各業務の他職種との業務分担の取組状況
（地域医療体制確保加算の届出施設）



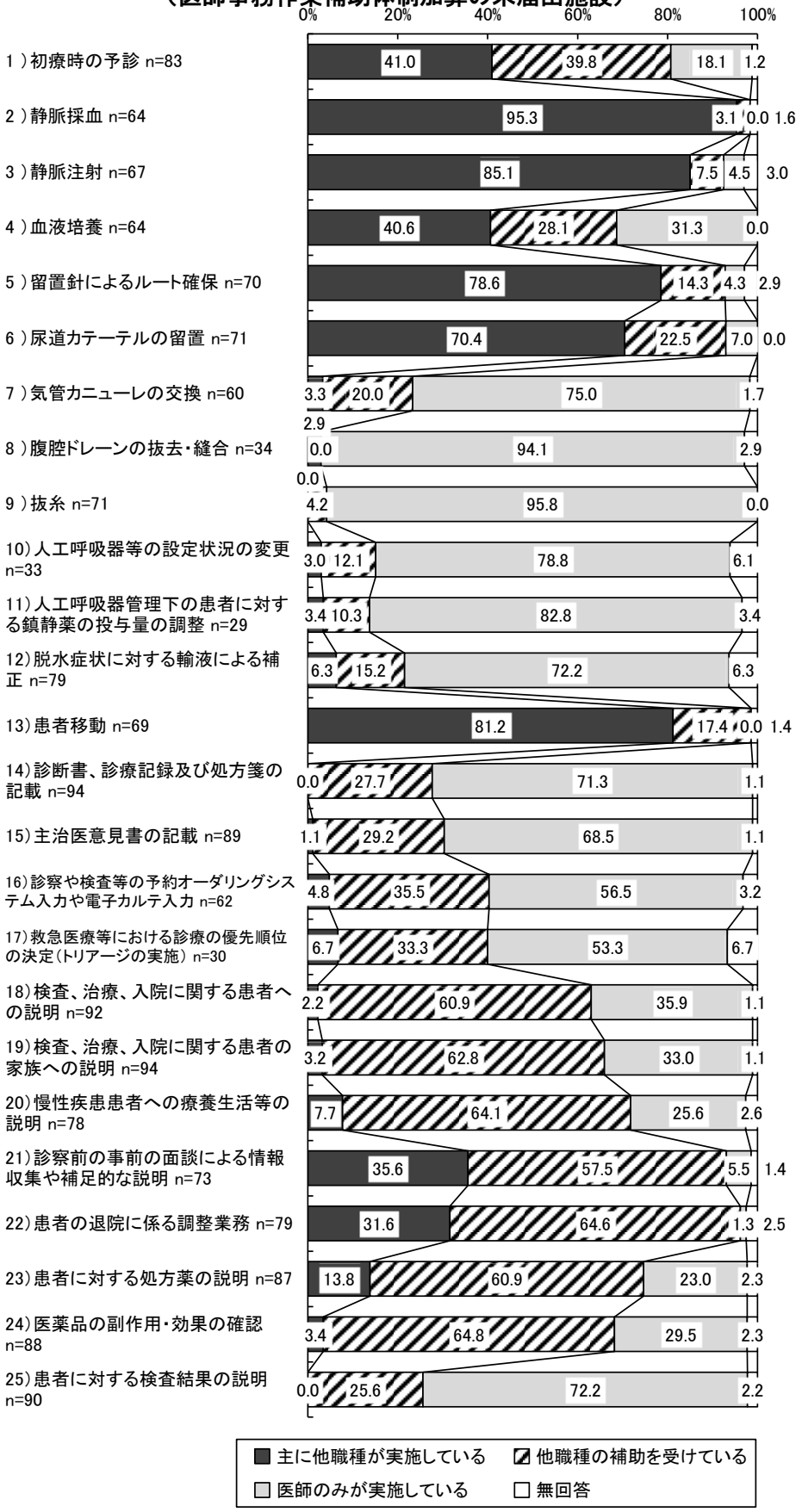
図表 3 - 95　各業務の他職種との業務分担の取組状況
（地域医療体制確保加算の未届出施設）



図表 3 - 96　各業務の他職種との業務分担の取組状況
（医師事務作業補助体制加算の届出施設）



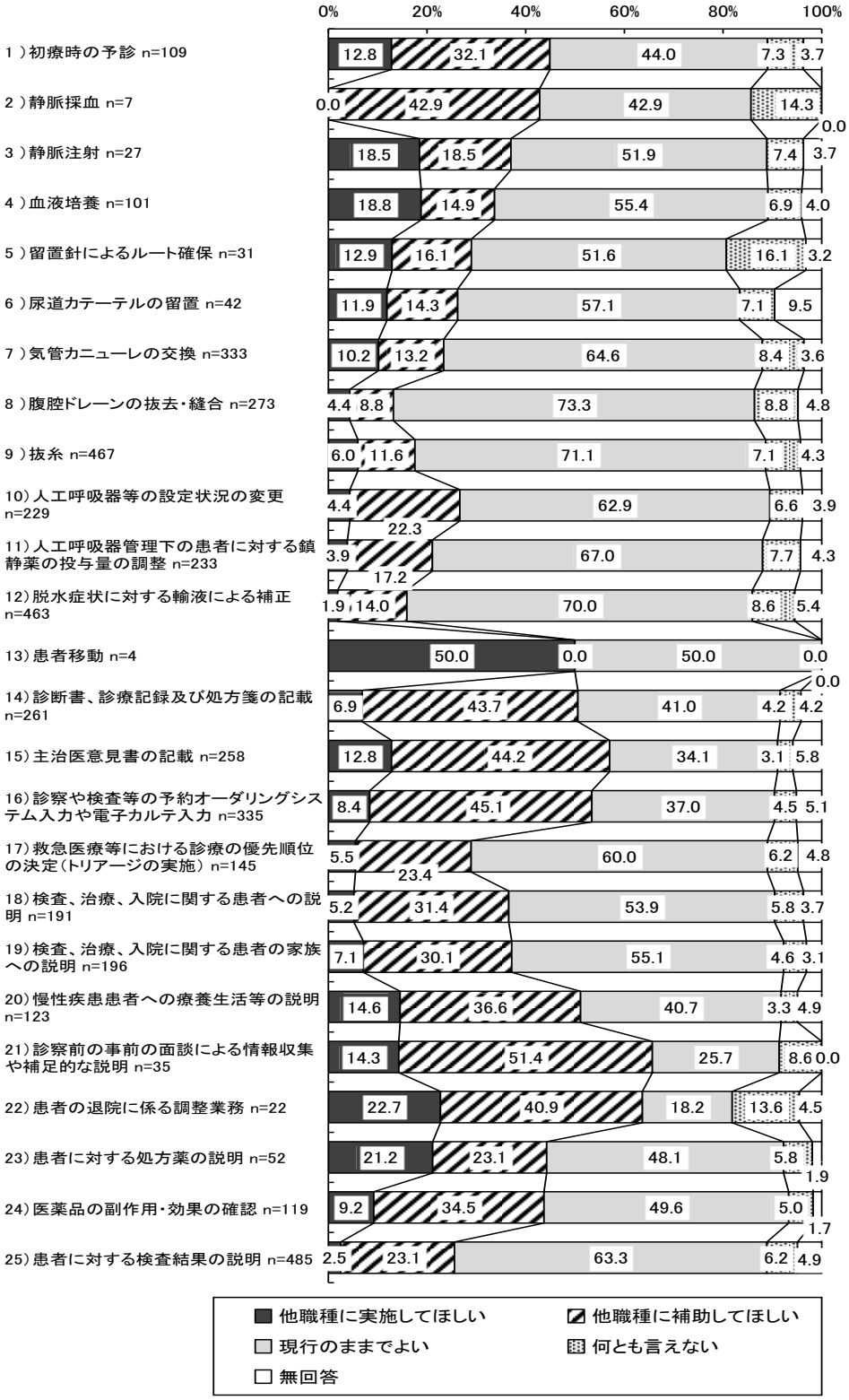
図表 3 - 97　各業務の他職種との業務分担の取組状況
（医師事務作業補助体制加算の未届出施設）



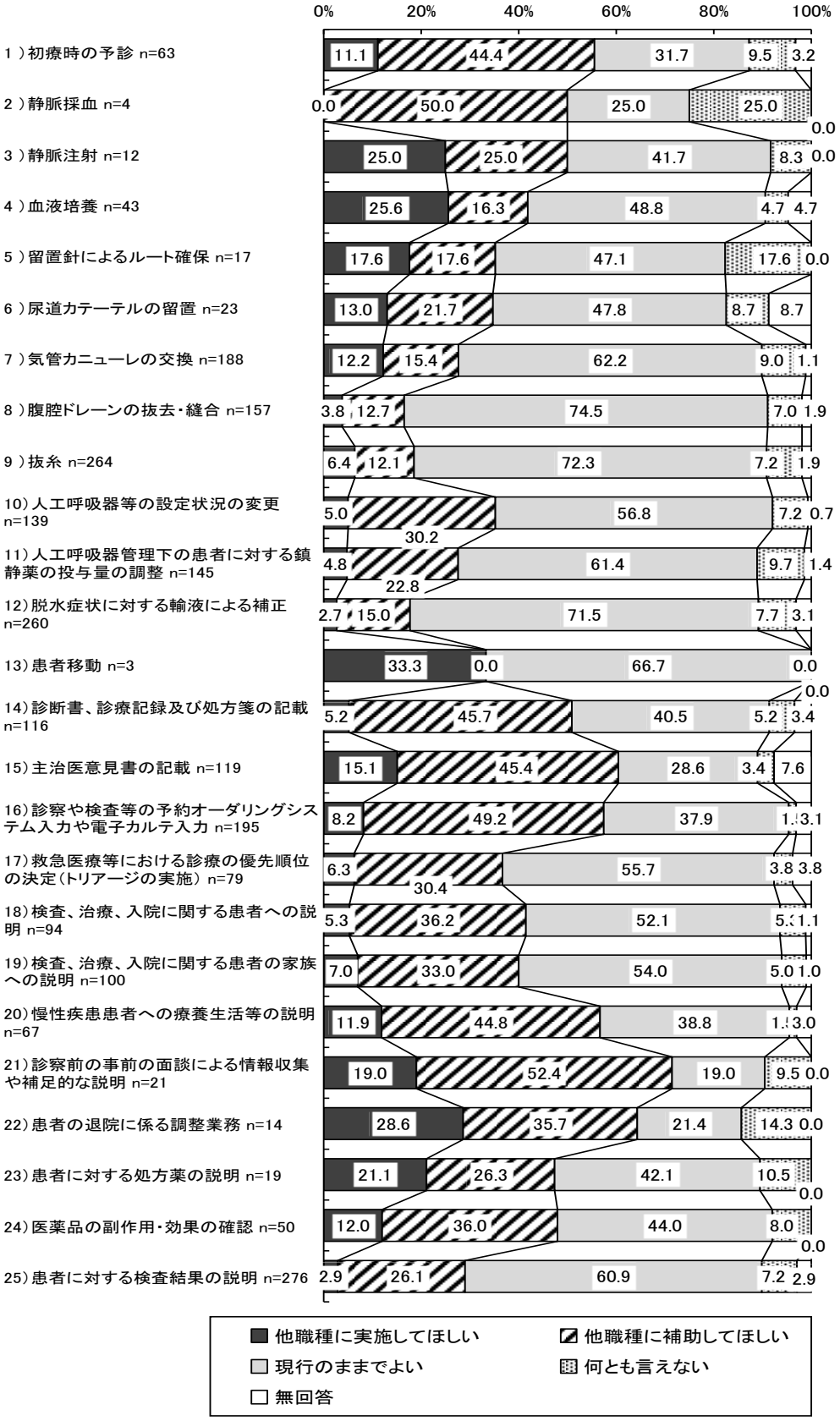
3）他職種への期待

他職種への期待について、「他職種に実施してほしい」もので最も多かった業務は「患者移動(50.0%)で、「他職種に補助してほしい」もので最も多かった業務は「診察前の事前の面談による情報収集や補足的な説明」(51.4%)であった。

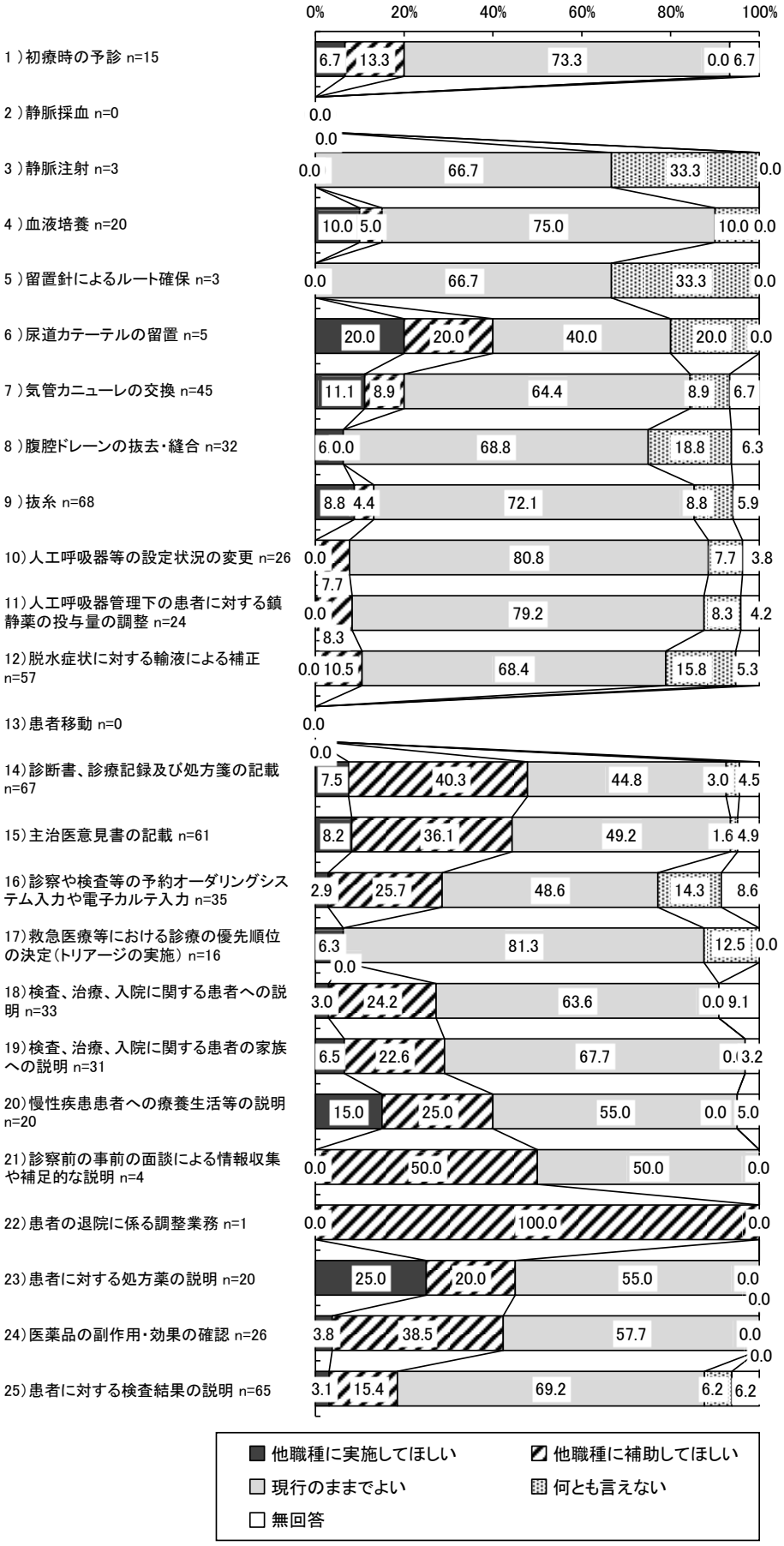
図表 3 - 98　各業務に関する他職種への期待（医師のみが実施している場合）



図表 3 - 99　各業務に関する他職種への期待（医師のみが実施している場合）
【医師事務作業補助体制加算の届出施設】



図表 3 - 100　各業務に関する他職種への期待（医師のみが実施している場合）
【医師事務作業補助体制加算の未届出施設】



4）現在負担に感じている業務で他職種と役割分担できる業務

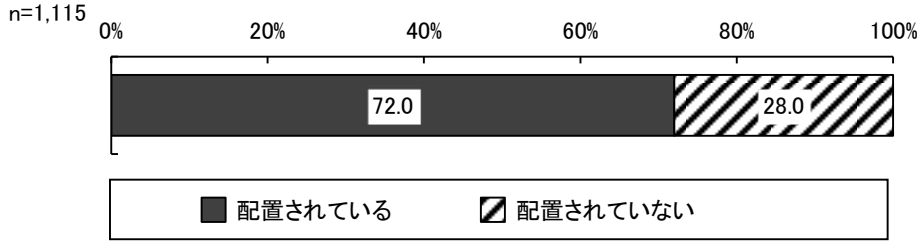
・時間・空間的な制約が大きい診断書、逆紹介状、紹介状返信等、行政書類の下書きの書類作成
・検査、入院や手術、診察の予約などのオーダリング入力、主治医意見書の下書き
・レセプトの記載、毎月定型的な文書を書いている。特殊な例は少数
・電子カルテの入力
・退院・転院調整、資料作成業務
・患者への栄養指導、運動指導等
・薬剤師による持参薬の正確な情報の把握や処方・院内にない薬剤の対応等
・学会活動の資料作成
・院内の会議．院外への広報活動、委員会業務、治験の実施
・一部検査、検体採取や処置の多職種への分担
・救急搬送受け入れ時の救急隊との電話対応等で役割分担ができる救命士の資格をもつ看護師の確保
・様々なアンケート調査の記入　等

（４）病棟薬剤師による業務負担軽減等

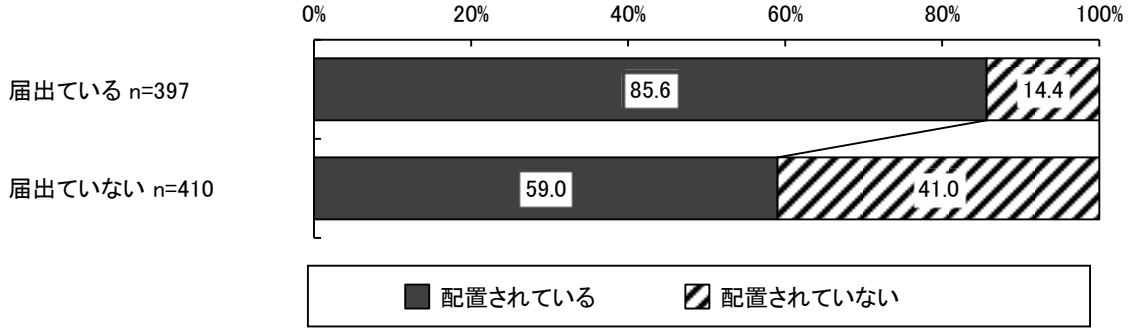
①病棟における薬剤師の配置状況

病棟における薬剤師の配置状況についてみると、「配置されている」が 72.0%、「配置されていない」が 28.0%であった。

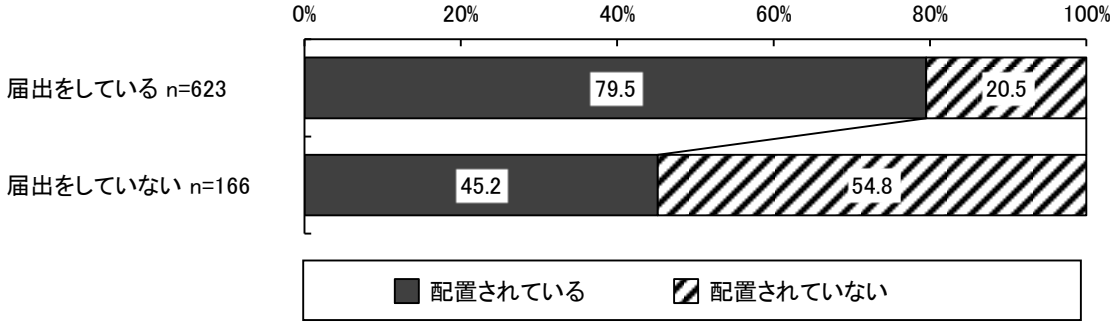
図表 3 - 101　病棟における薬剤師の配置状況（病棟種別）



図表 3 - 102　病棟における薬剤師の配置状況；地域医療体制確保加算の届出有無別



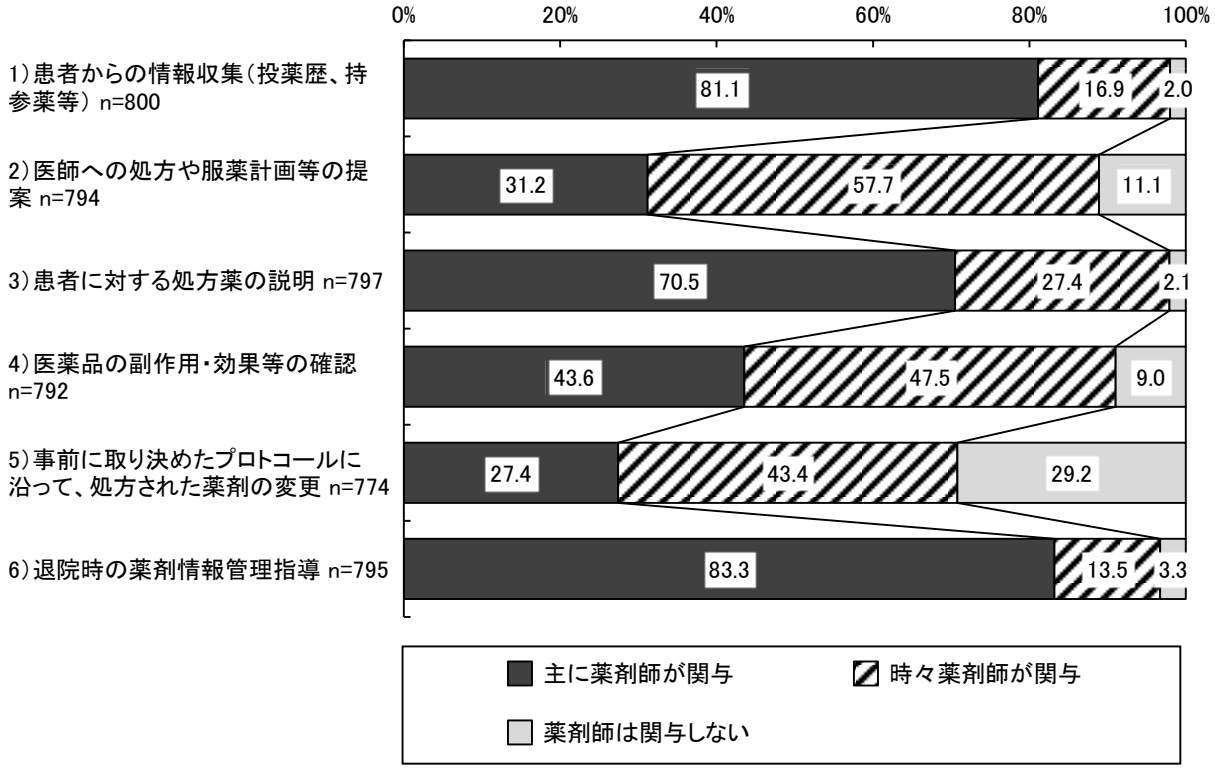
図表 3 - 103　病棟における薬剤師の配置状況；医師事務作業補助体制加算の届出有無別



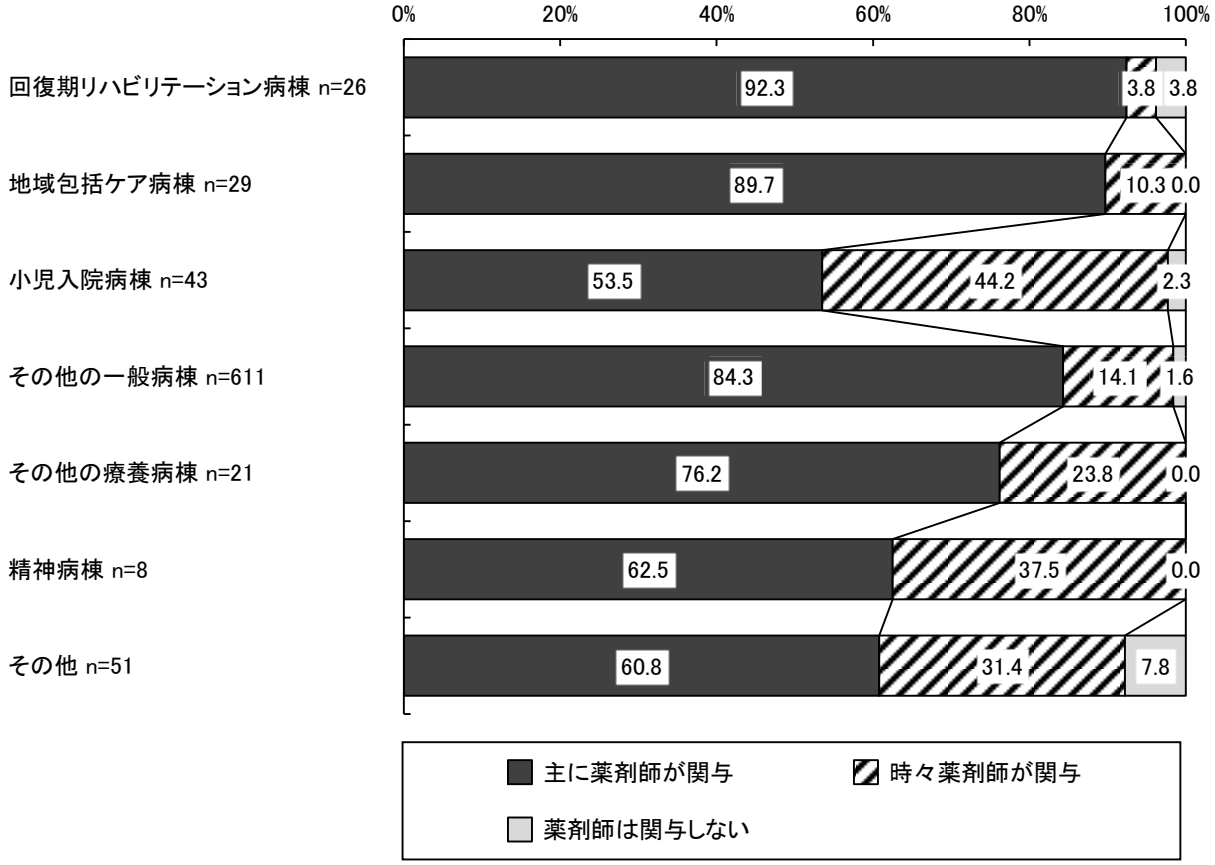
②病棟における薬剤師の関与の状況

薬剤師が配置されている病棟に勤務している医師に病棟における薬剤師の関与の状況を尋ねたところ「主に薬剤師が関与」として最も多かった業務は「退院時の薬剤情報管理指導」(83.3%)で、次に多かったものは「患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）」(81.1%)であった。

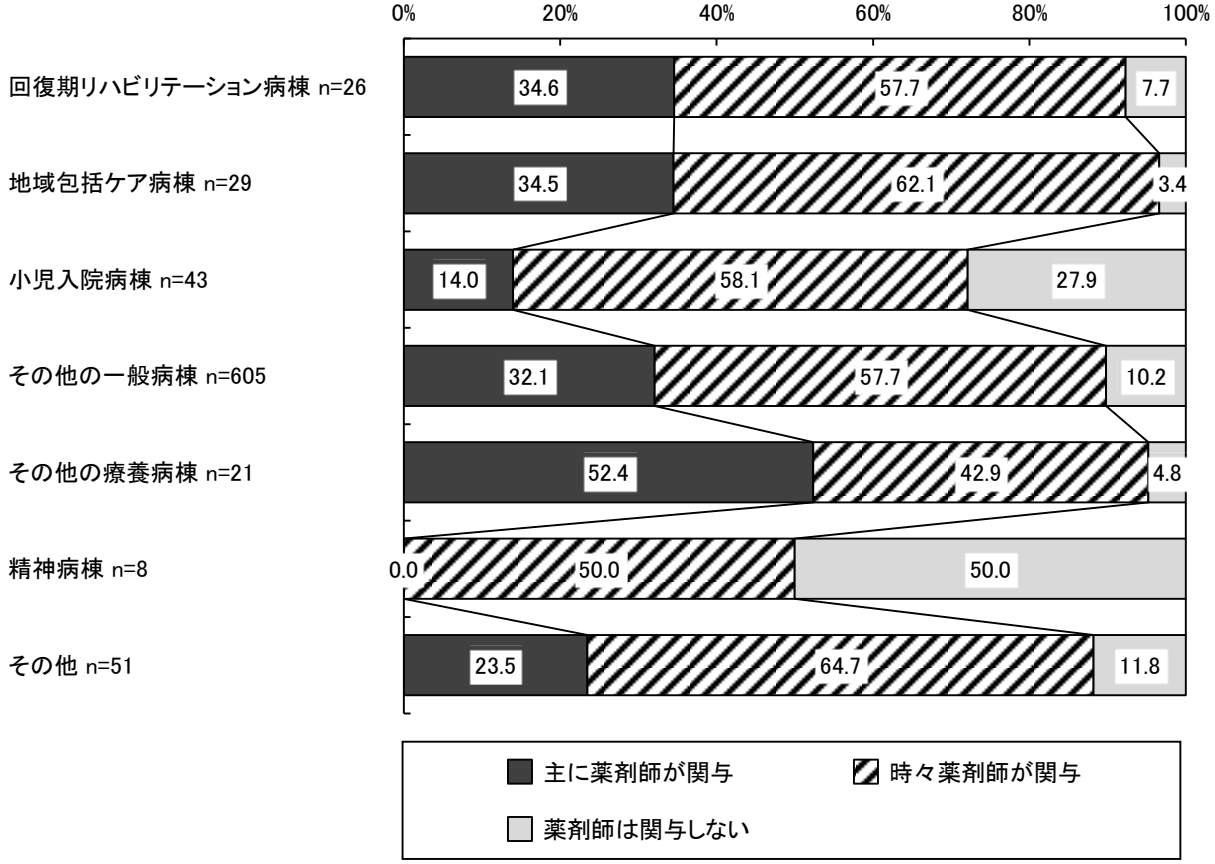
図表 3 - 104　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）



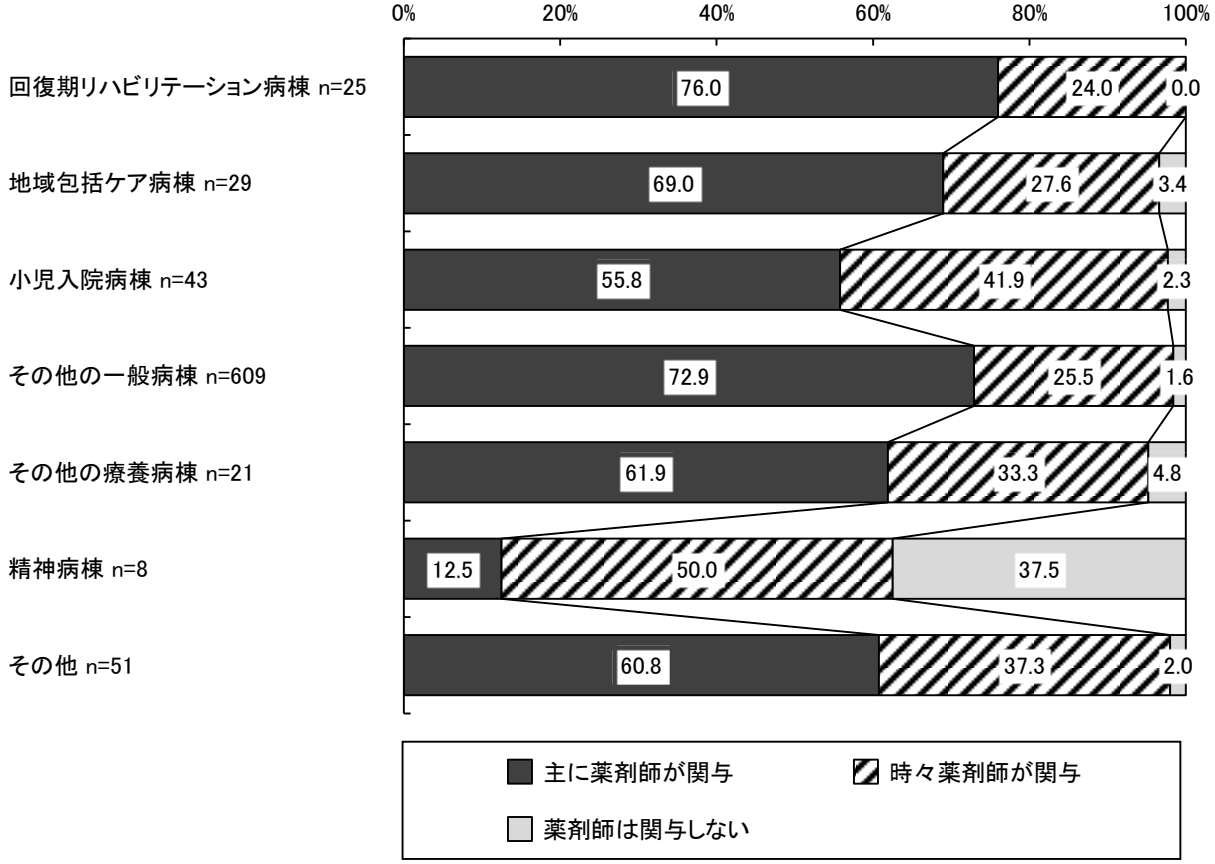
図表 3 - 105　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）
患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）；担当する主たる病床別



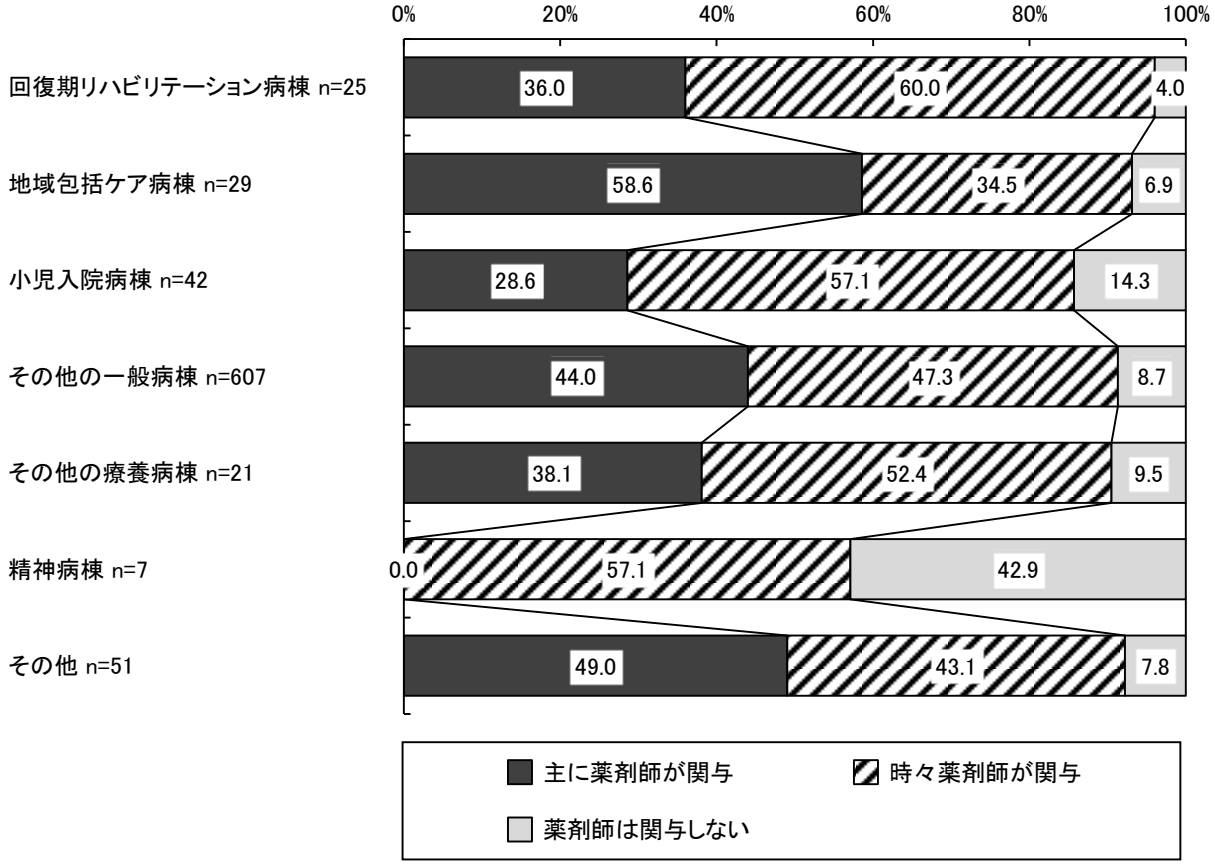
図表 3 - 106　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）
医師への処方や服薬計画等の提案；担当する主たる病床別



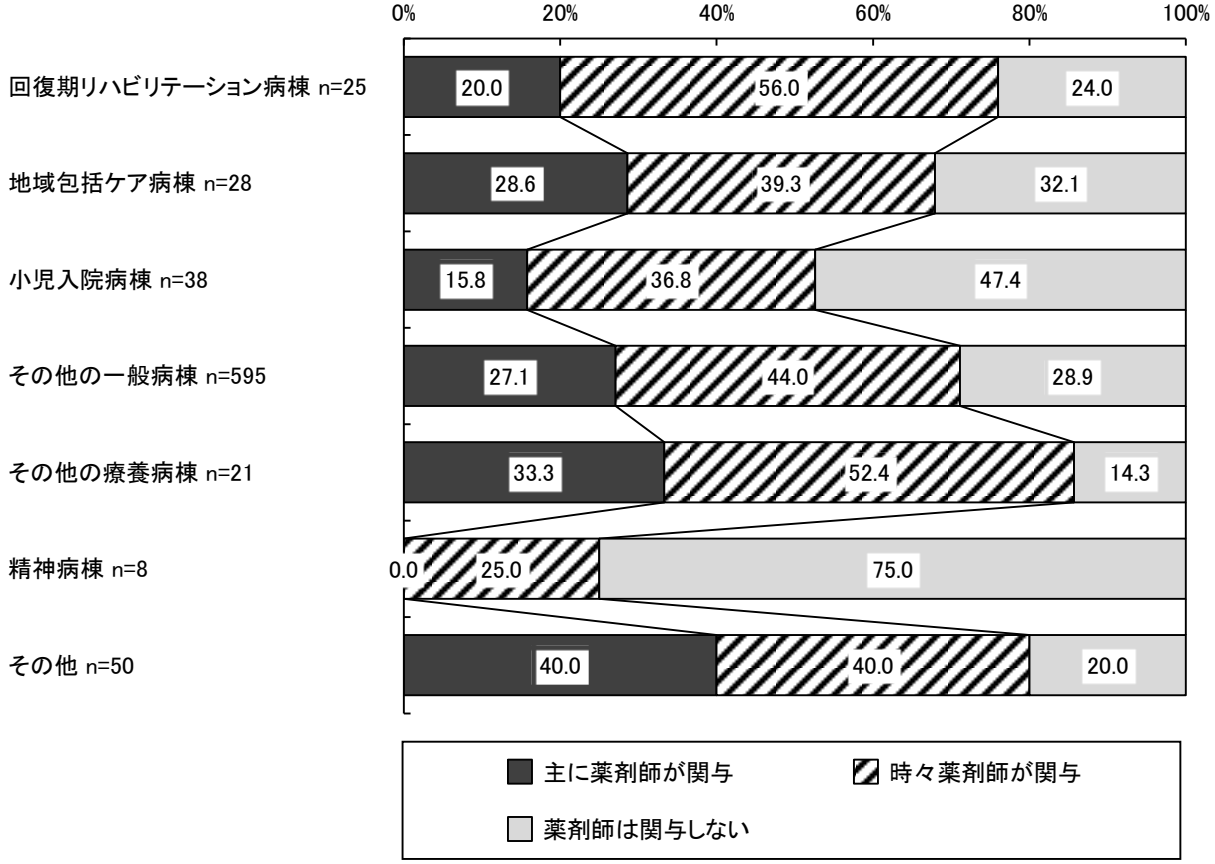
図表 3 - 107　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）
患者に対する処方薬の説明；担当する主たる病床別



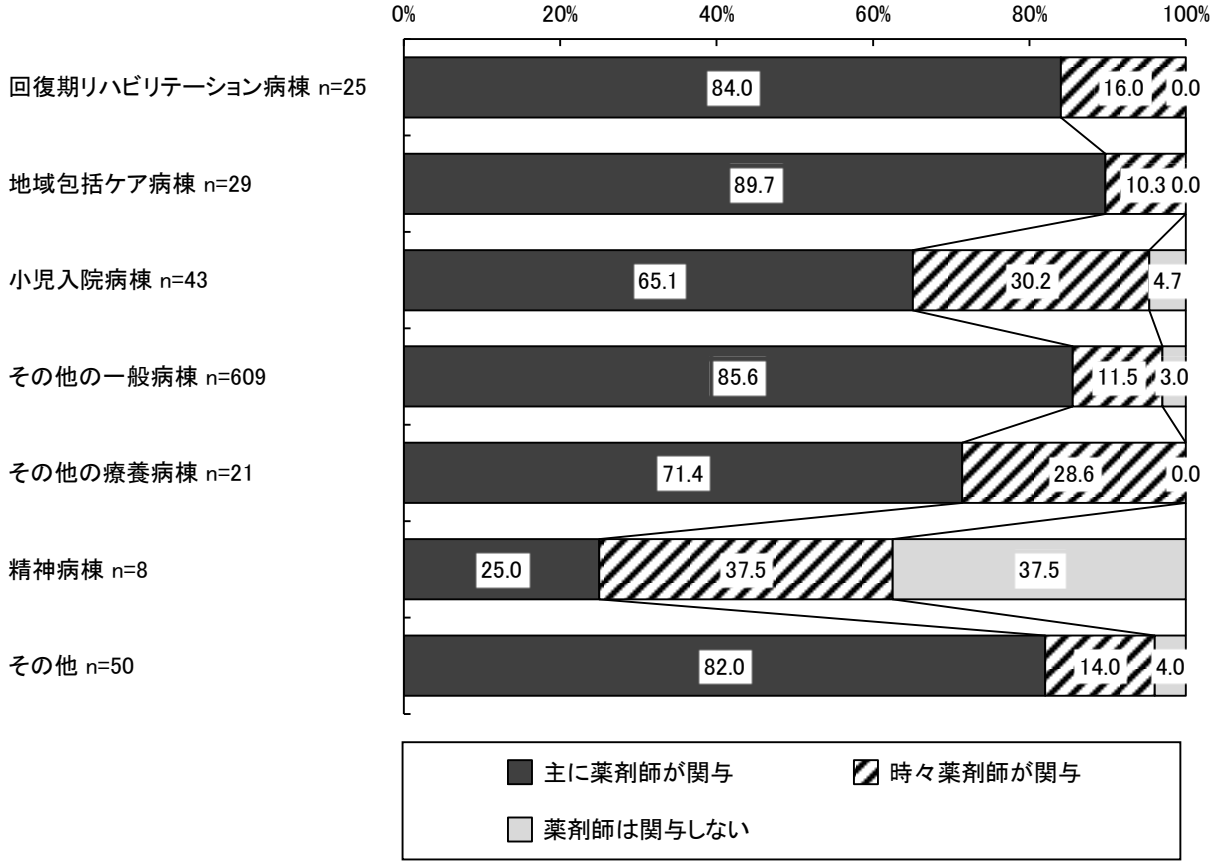
図表 3 - 108　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）
医薬品の副作用・効果等の確認；担当する主たる病床別



図表 3 - 109　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）
事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更；担当する主たる病床別



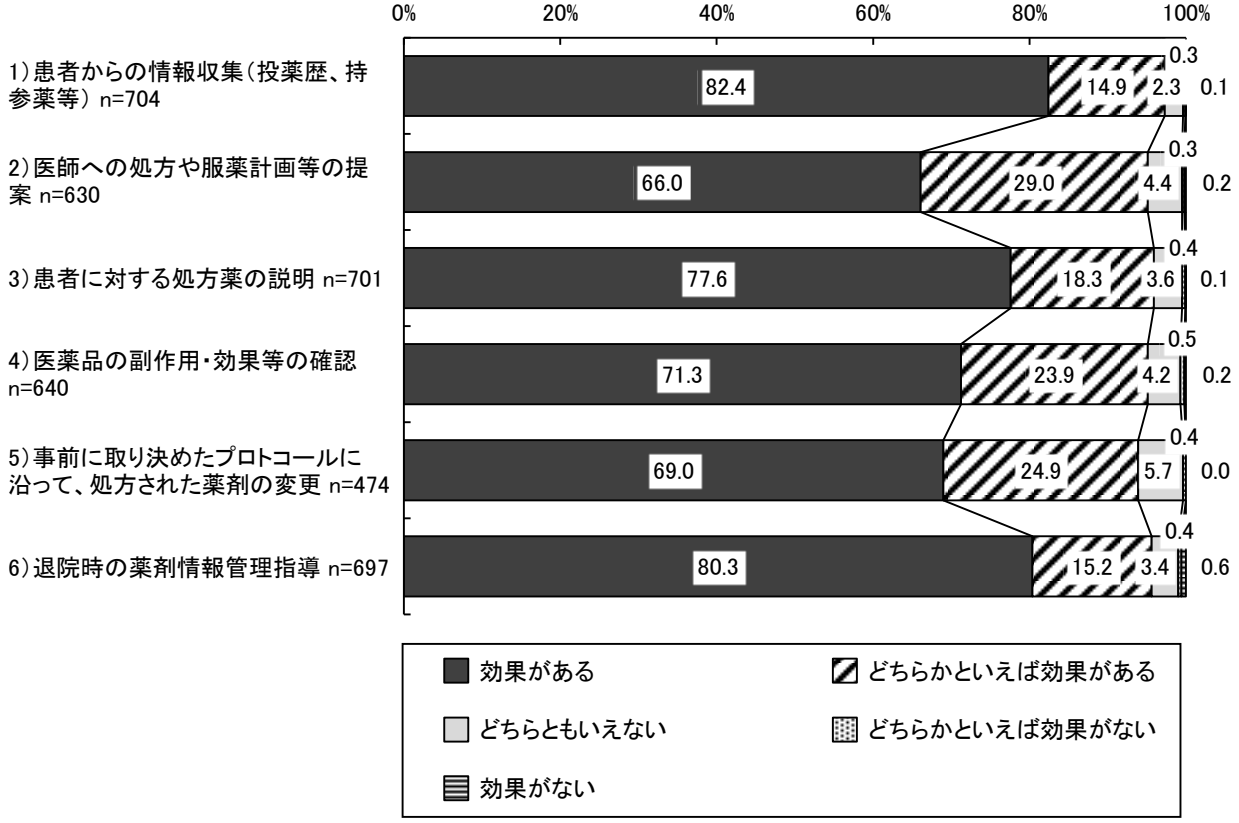
図表 3 - 110　病棟における薬剤師の関与の状況（病棟に薬剤師が配置されている医師）
退院時の薬剤情報管理指導；担当する主たる病床別



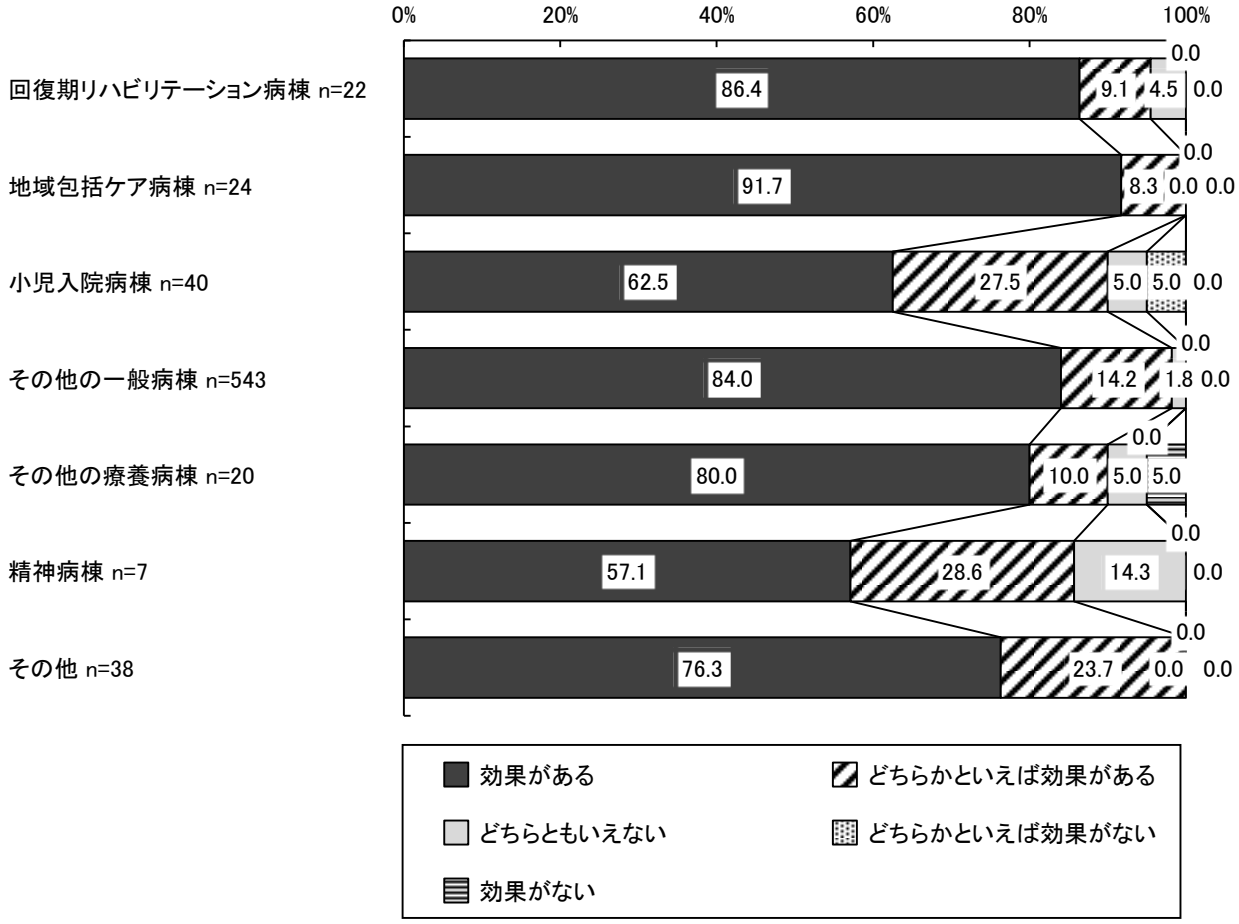
③病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果

病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果で、「効果がある」として最も多かった業務は「患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）」(82.4%)で、次に多かったものは「退院時の薬剤情報管理指導」（80.3%)であった。

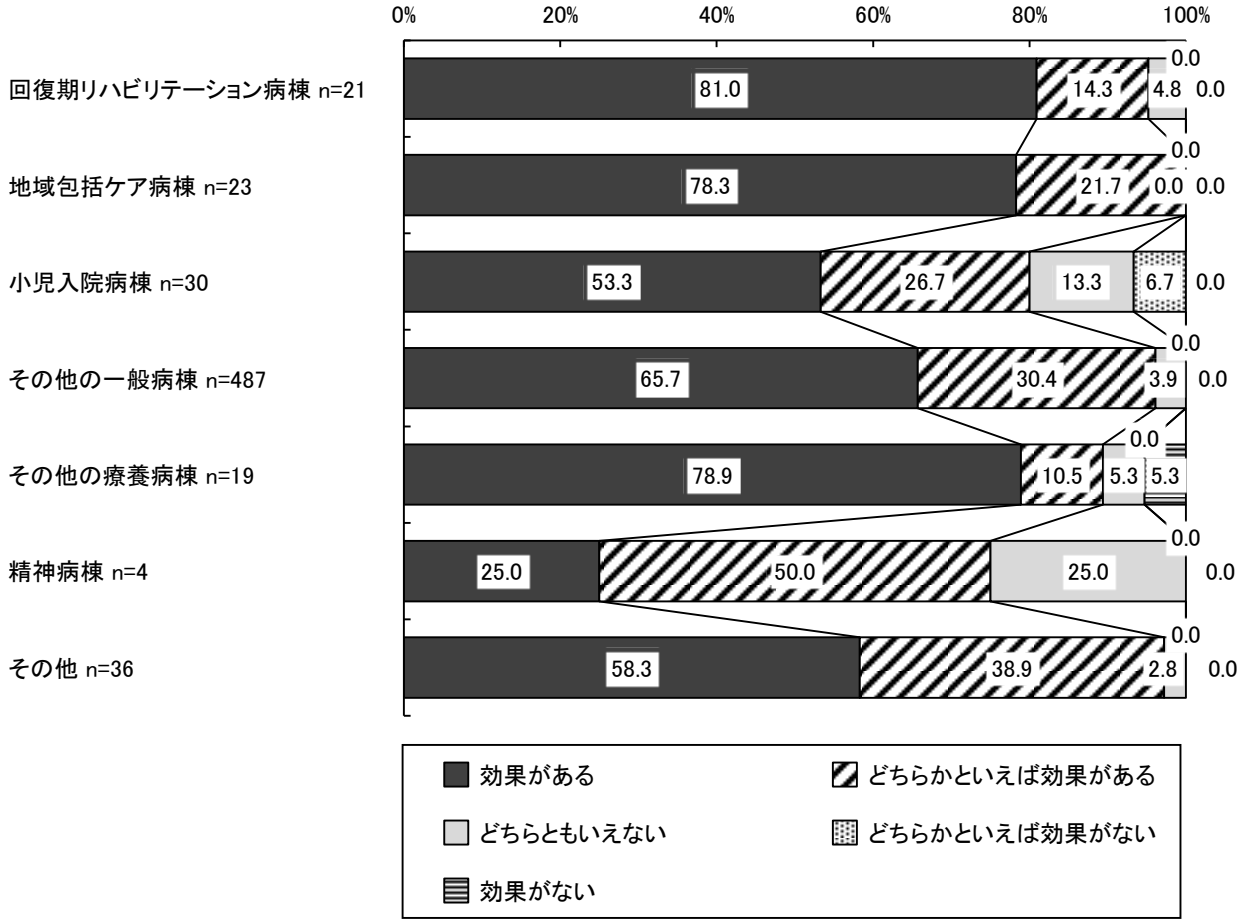
図表 3 - 111　病棟薬剤師の配置による医師の負担軽減及び医療の質向上への効果



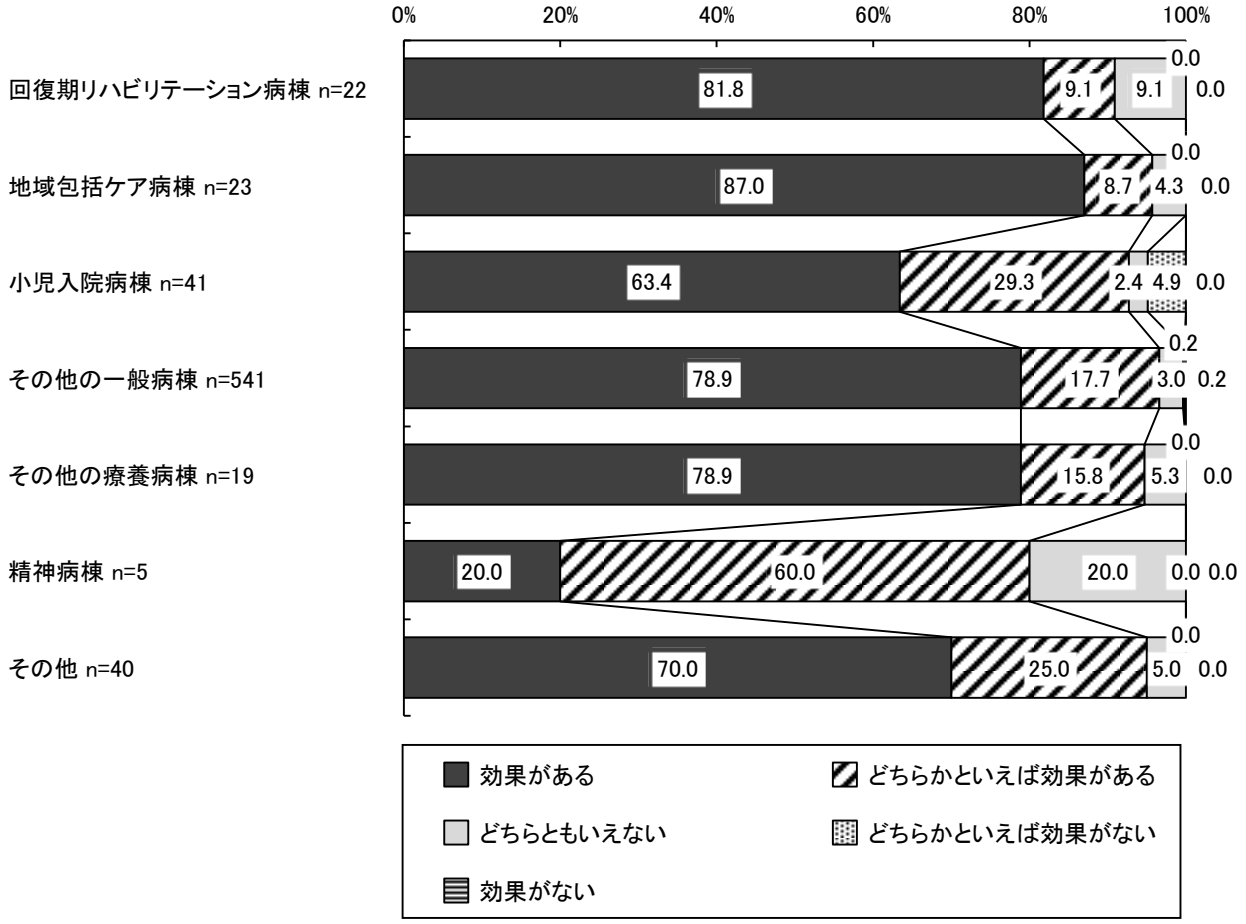
図表 3 - 112　患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）に関する効果；担当する主たる病床別



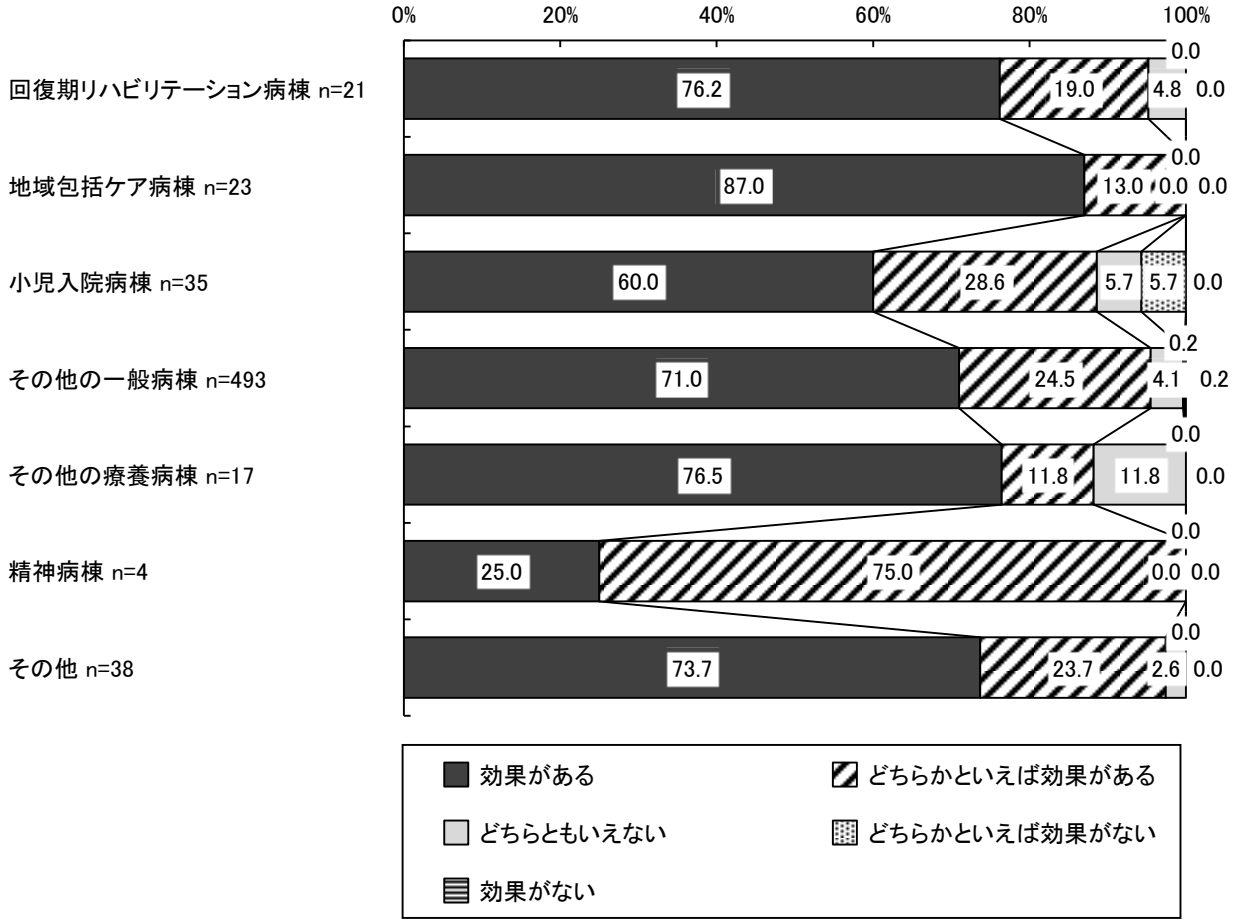
図表 3 - 113　医師への処方や服薬計画等の提案に関する効果；担当する主たる病床別



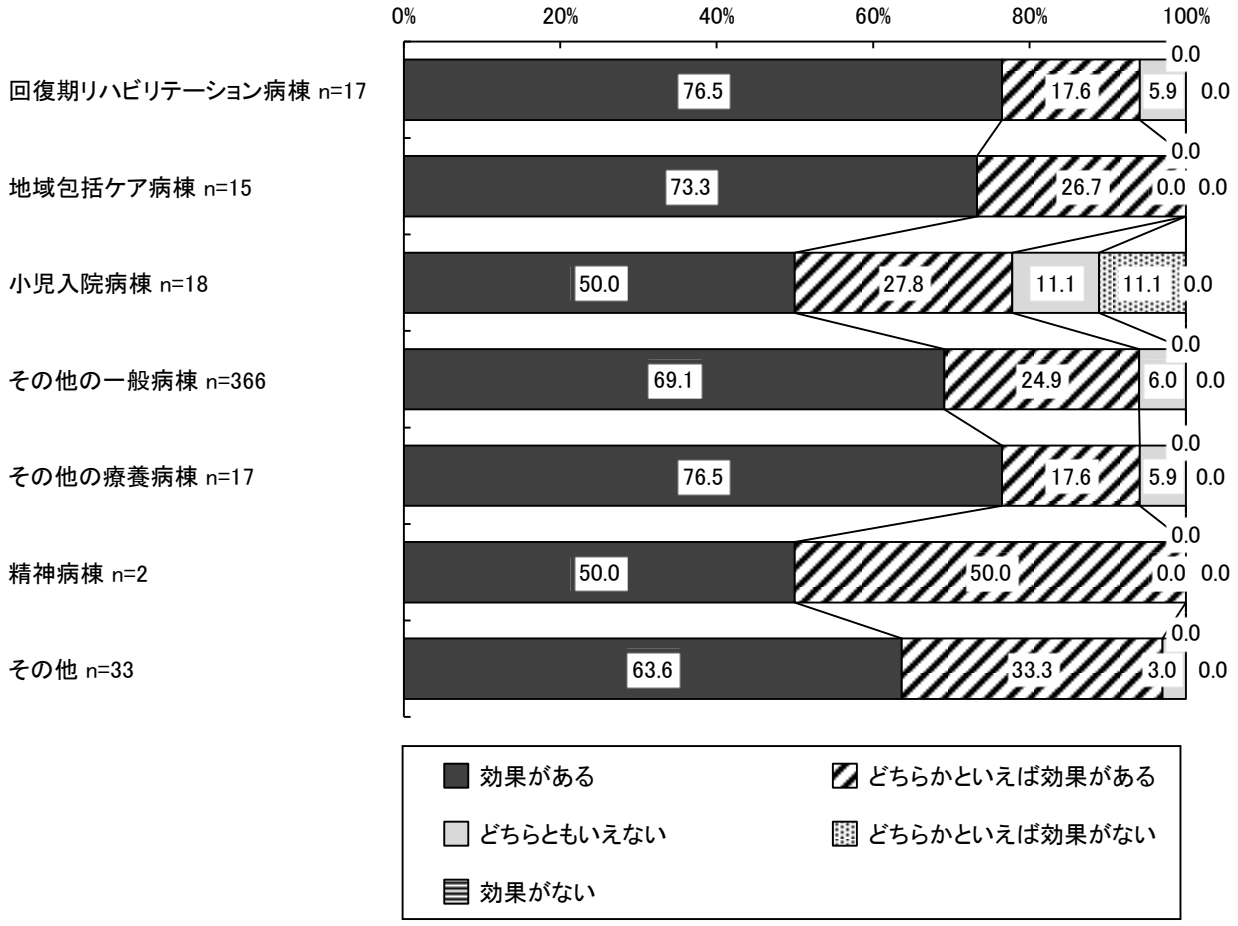
図表 3 - 114　患者に対する処方薬の説明に関する効果；担当する主たる病床別



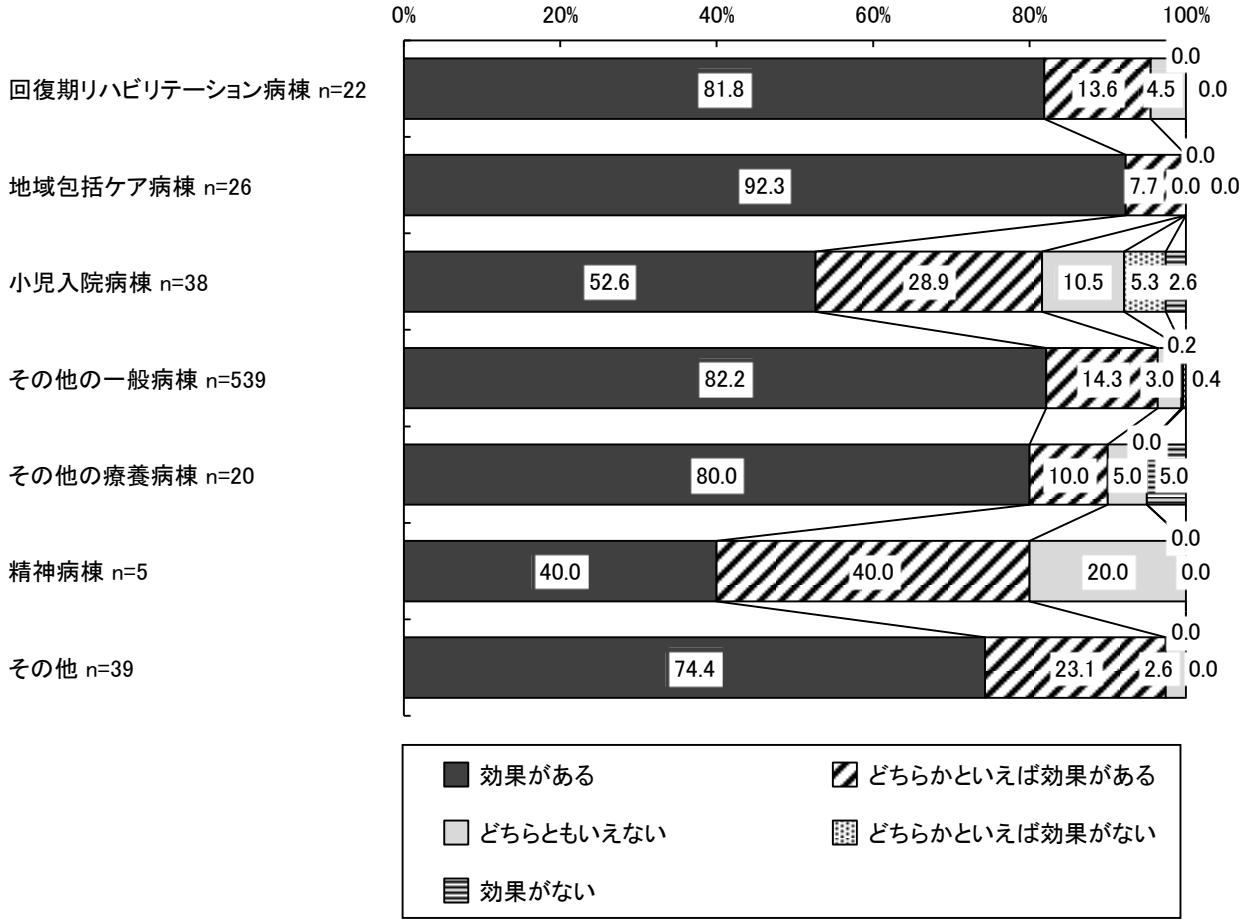
図表 3 - 115　医薬品の副作用・効果等の確認に関する効果；担当する主たる病床別



図表 3 - 116　事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更に関する効果
；担当する主たる病床別



図表 3 - 117　退院時の薬剤情報管理指導に関する効果；担当する主たる病床別

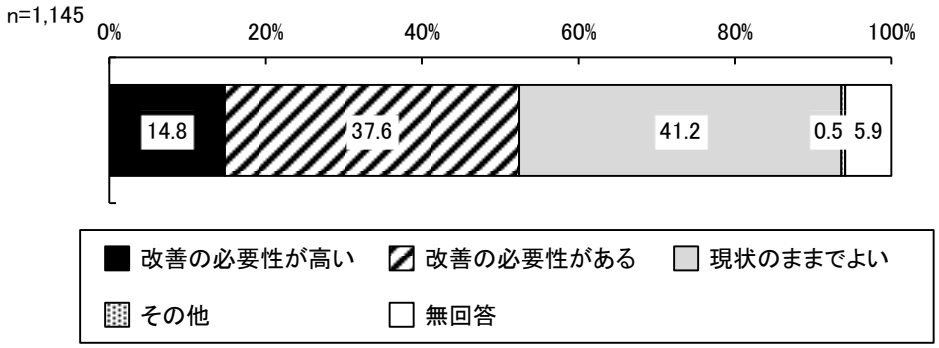


（５）勤務状況に関するご意見等

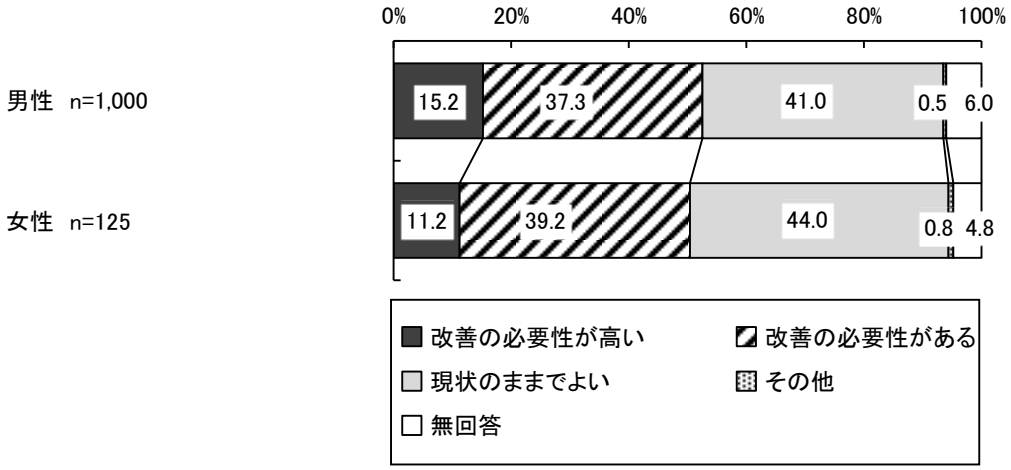
①現在の勤務状況

現在の勤務状況として最も多かったものは「現状のままでよい」(41.2%)で、次に多かったものは「改善の必要性がある」(37.6%)であった。

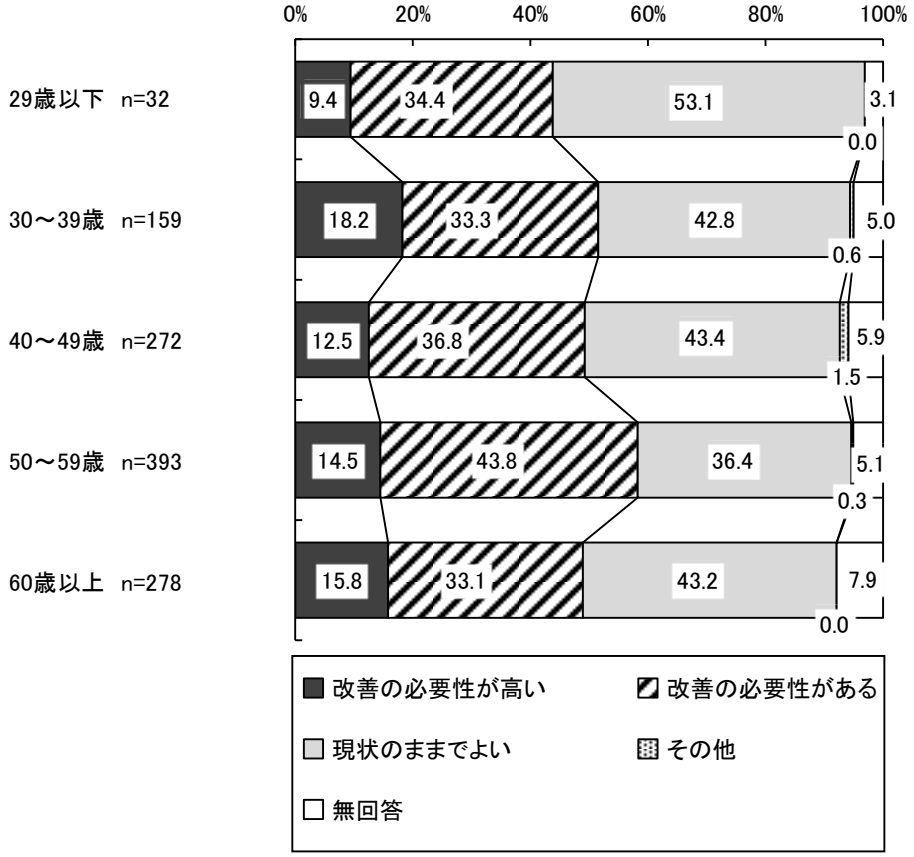
図表 3 - 118　現在の勤務状況



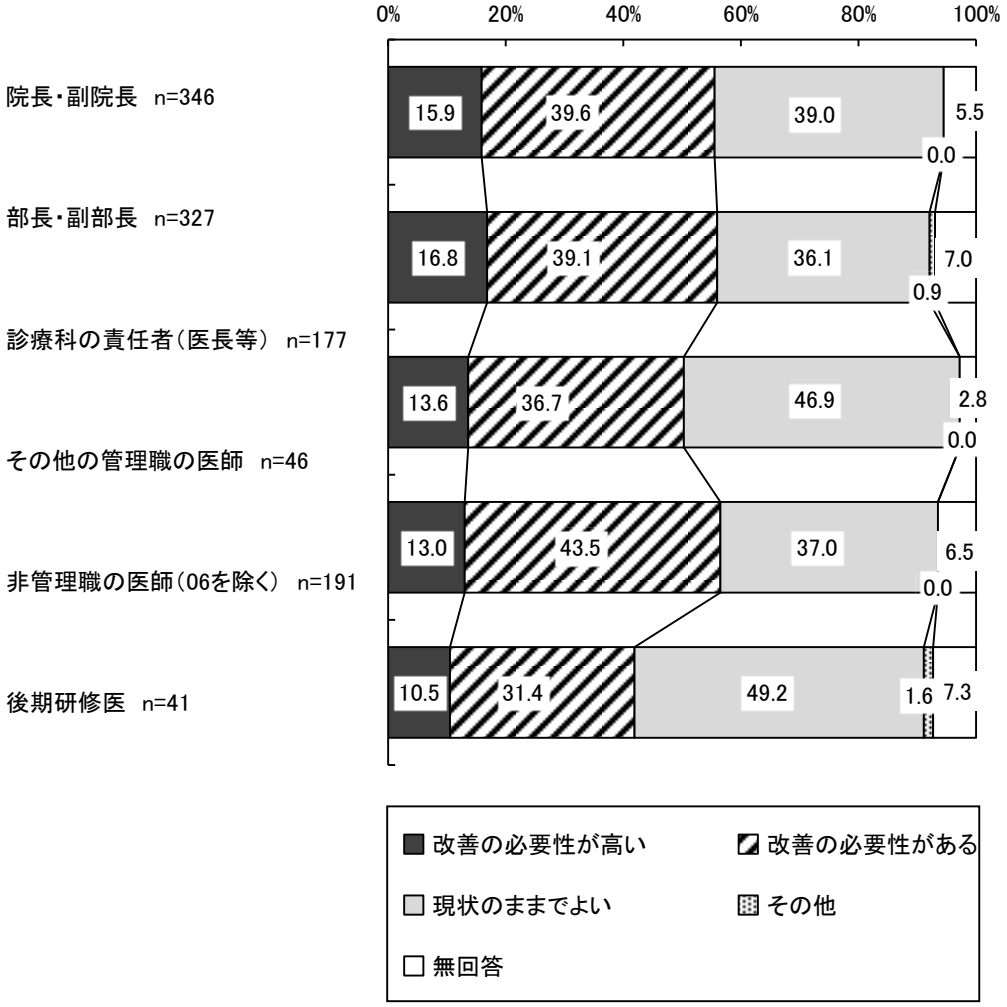
図表 3 - 119　現在の勤務状況；性別



図表 3 - 120　現在の勤務状況；年齢区分別



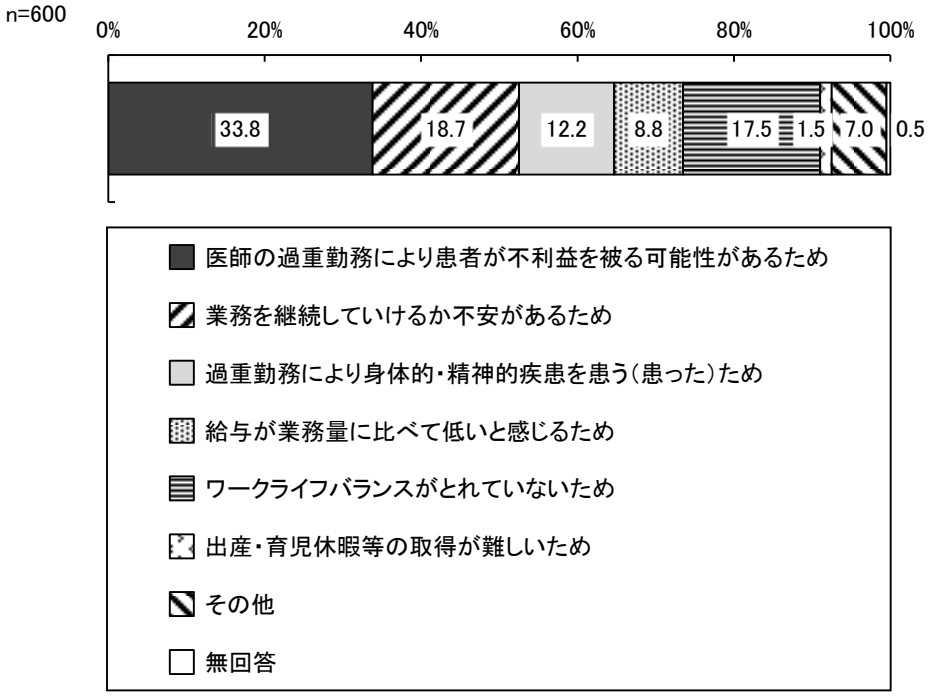
図表 3 - 121　現在の勤務状況；役職別



①-1 「改善の必要性が高い」、「改善の必要性がある」と回答した最大の理由

「改善の必要性が高い」、「改善の必要性がある」と回答した最大の理由で最も多かったものは、「医師の過重勤務により患者が不利益を被る可能性があるため」（33.8%）であった。なお、「その他」の回答には、「より良い医療を提供するため」、「医療安全、チェックのため」、「患者・家人の薬剤に対する理解を深めるため」等があった。

図表 3 - 122　「改善の必要性が高い」、「改善の必要性がある」と回答した最大の理由



②医師の負担軽減に資すると考えられる病院の取組

・時間外労働、勤務時間記録簿の記載の徹底、健全な労働時間の中での役割分担。
・当直等の時間的・精神的拘束の緩和（免除）。手術前日の当直撤廃や当直回数の削減等。仕事とそれ以外のオン・オフが非常にあいまい。もしくはないことが一番の問題。オンコールは本人だけでなく家族にも影響がある。
・診療以外の業務が多い。事務書類の削減(厚労省が指定した書類等)。医師は医師でなくてはできない業務（特殊業務、手術、外来など）を行い、看護師や医療補助業務の適応を拡大するべき。
・電子カルテの導入などデジタルへの移行。
・医師(特に若い医師)、看護師、医師事務作業補助者等の医療スタッフ、事務員の増員（専門的な検査が出来る検査職、カルテ代行記載の出来る事務職などがいると医師負担が軽減される)。
・医師以外の専門職、特定行為研修終了者の増員。
・常勤者に対してフレキシブルな働き方を導入すること。
・複数主治医制、他職種のタスクシェアについて患者の理解を得ること。主治医性からチーム制への移行。
・病棟１つに対して、専任の薬剤師、理学療法師、管理栄養士、事務、ソーシャルワーカーを設置。
・診療科の勤務時間を平均化するための、総合病院内での診療料ごとの対象疾患の見直し(例えば「髄膜炎」は脳外科から内科、「心療性塞栓症」脳外科から循環器内科等)、コメディカルを増やす。
・都市部に集中した各専門医師の偏在化を是正。
・国や自治体による国民への適切な医療機関へのかかり方の教育。

４． 看護師長票

【調査対象等】

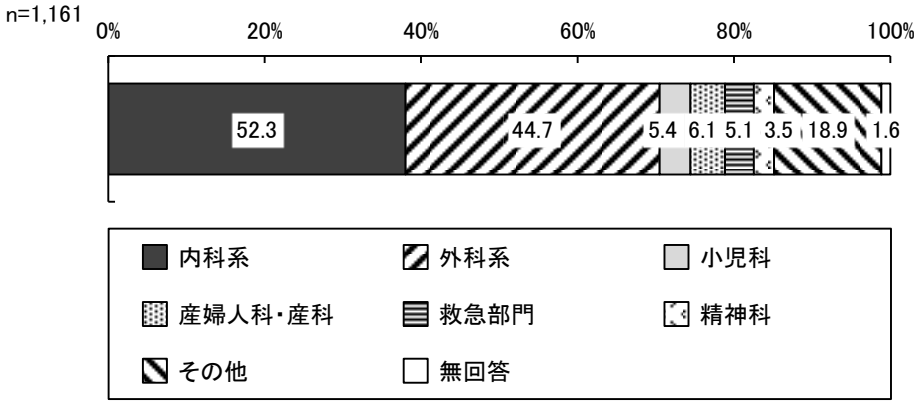
調査対象：施設票の対象となった医療施設に勤務する看護師長1施設につき5名。（調査対象病院の病棟の中から選定した病棟に１年以上勤務する看護師長（病棟：一般病棟2名、療養病棟1名、精神病棟1名、特定入院料1名）を対象）。
回答数：1,161名
回答者：看護師長

（１）管理している病棟の概要

① 病棟の主たる診療科

病棟の主たる診療科で最も多かったものは「内科系」（52.3%）であった。
なお、「その他」には、「回復期リハビリテーション病棟」、「ICU、NICU、HCU、集中治療室」、「地域包括ケア病床」、「緩和ケア病棟」、「療養病棟」、「泌尿器科」、「眼科」、「整形外科」、「耳鼻咽喉科」、「皮膚科」、「歯科」等の回答があった。

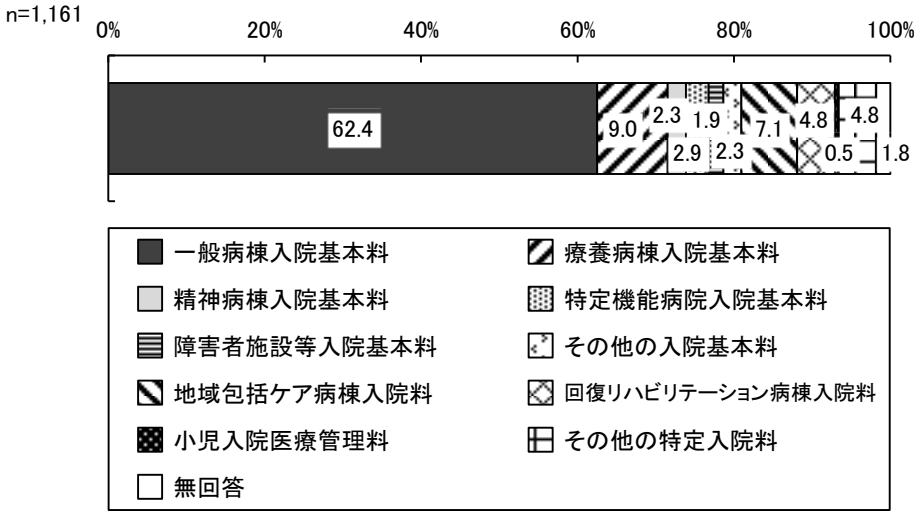
図表４－１ 主たる診療科（複数回答）



② 診療報酬上の病棟の種別

診療報酬上の病棟の種別で最も多かったものは、「一般病棟入院基本料」（62.4%）であった。

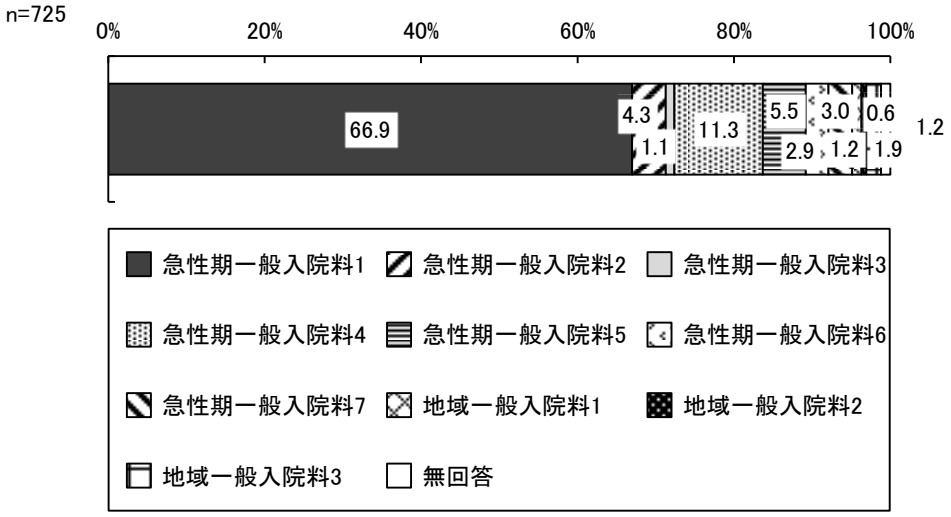
図表４－２ 診療報酬上の病棟の種別



【一般病棟入院基本料を選択した場合】

一般病棟入院基本料を選択した場合で最も多かったものは「急性期一般入院料１」(66.9%)であった。

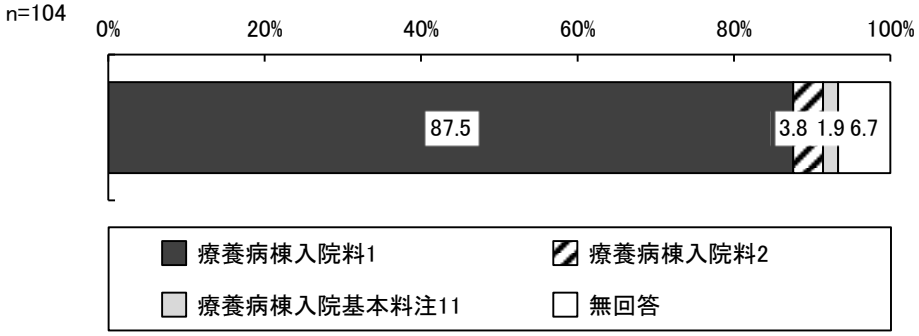
図表４－３　一般病棟入院基本料の詳細



【療養病棟入院基本料を選択した場合】

療養病棟入院基本料を選択した場合で最も多かったものは「療養病棟入院料１」(87.5%)であった。

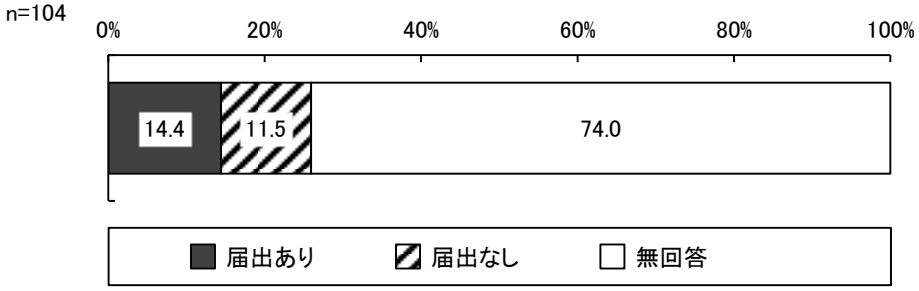
図表４－４　療養病棟入院基本料の詳細



【夜間看護加算の届出の有無】

療養病棟入院基本料を選択した場合の夜間看護加算の届出については、「届出あり」が14.4%、「届出なし」が11.5%であった。

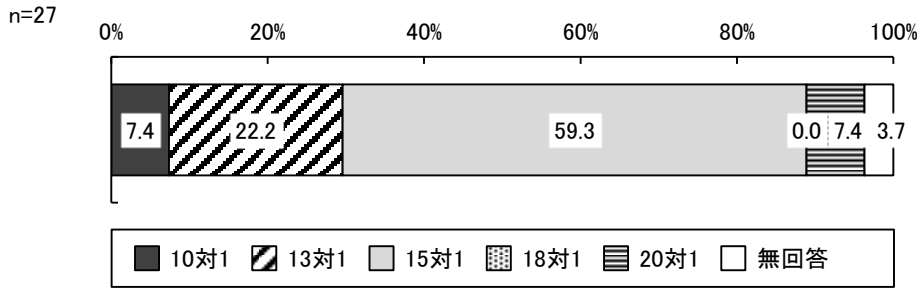
図表４－５　夜間看護加算の届出の有無



【精神病棟入院基本料を選択した場合】

精神病棟入院基本料を選択した場合で最も多かったものは、「15 対 1」(59.3%)であった。

図表 4 - 6　精神病棟入院基本料の詳細

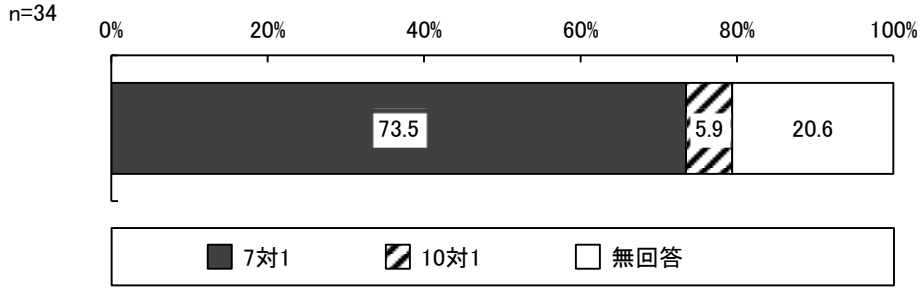


【特定機能病院入院基本料を選択した場合】

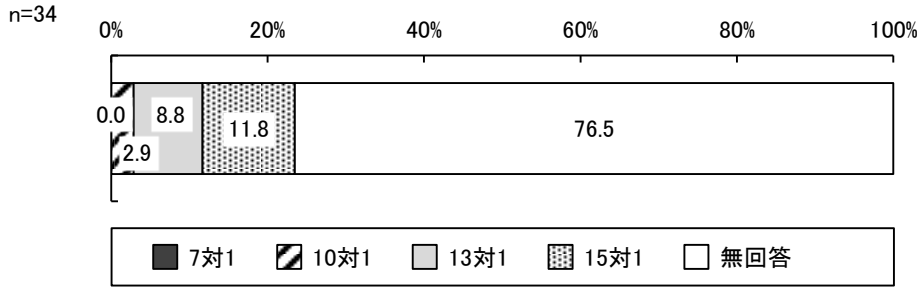
特定機能病院入院基本料を選択した場合で最も多かったものは、「一般病棟」で「7 対 1」(73.5%)、「精神病棟」で「15 対 1」(11.8%) であった。

図表 4 - 7　特定機能病院入院基本料の詳細

【一般病棟】



【精神病棟】

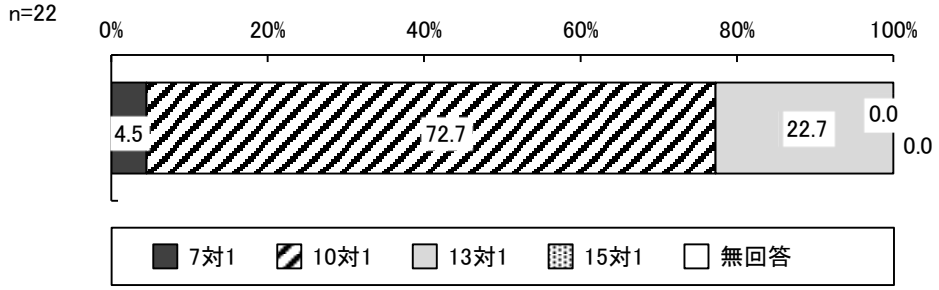


【障害者施設等入院基本料を選択した場合】

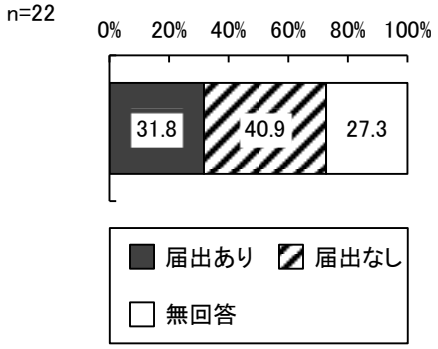
障害者施設等入院基本料を選択した場合の障害者施設等入院基本料の詳細で最も多かったものは「10 対 1」（72.7%）であった。

看護補助加算の届出については「届出あり」が 31.8%、「届出なし」が 40.9%、夜間看護体制加算の届出については「届出あり」が 18.2%、「届出なし」が 40.9%であった。

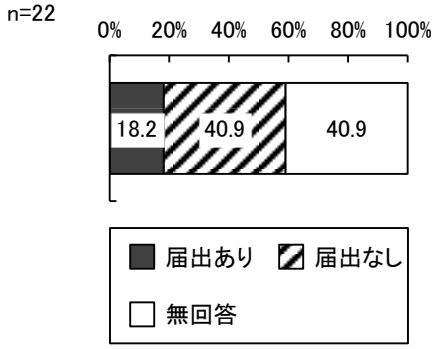
図表 4 - 8　障害者施設等入院基本料の詳細



【看護補助加算の届出の有無】



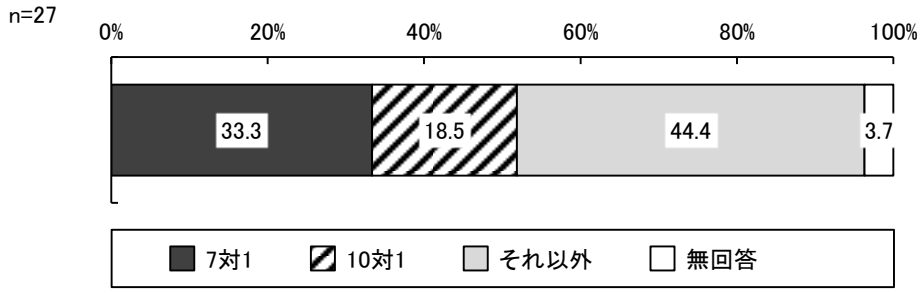
【夜間看護体制加算の届出の有無】



【その他の入院基本料を選択した場合】

その他の入院基本料を選択した場合で最も多かったものは、「それ以外」（44.4%）であった。

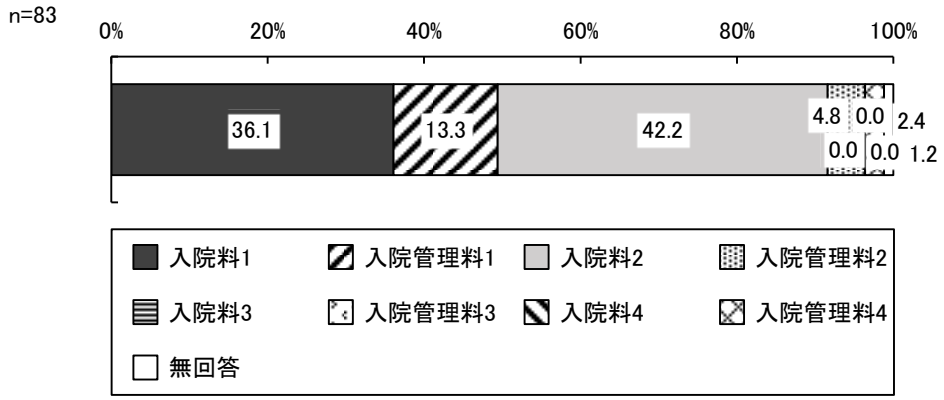
図表 4 - 9　その他の入院基本料の詳細



【特定入院料：地域包括ケア病棟入院料を選択した場合】

特定入院料：地域包括ケア病棟入院料を選択した場合で最も多かったものは、「入院料 2」（42.2%）であった。

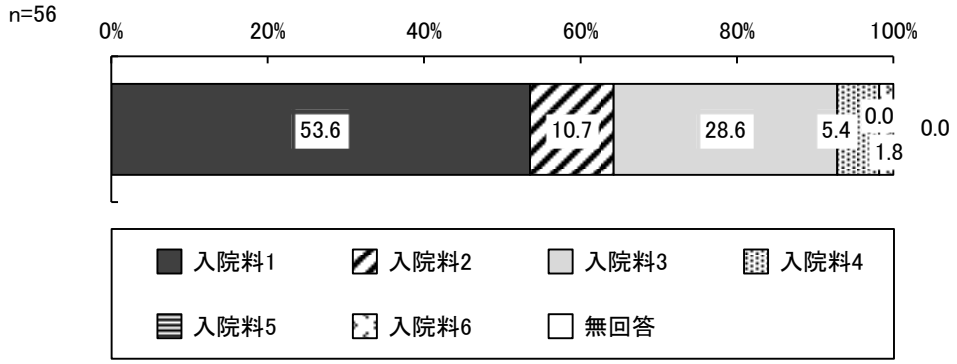
図表 4 - 10　地域包括ケア病棟入院料の詳細



【特定入院料：回復期リハビリテーション病棟入院料を選択した場合】

特定入院料：回復期リハビリテーション病棟入院料を選択した場合で最も多かったものは、「入院料 1」（53.6%）であった。

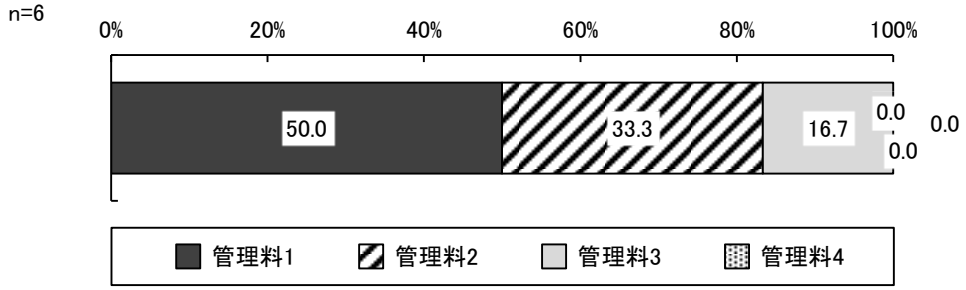
図表 4 - 11　回復期リハビリテーション病棟入院料の詳細



【特定入院料:小児入院医療管理料を選択した場合】

特定入院料：小児入院医療管理料を選択した場合で最も多かったものは、「管理料 1」（50.0%）であった。

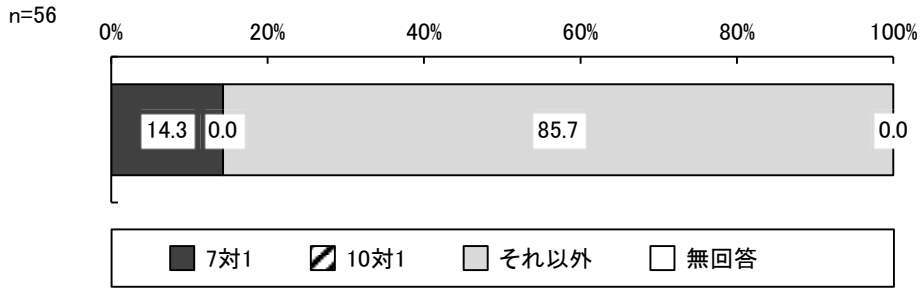
図表 4 - 12　小児入院医療管理料の詳細



【特定入院料:その他の特定入院料を選択した場合】

特定入院料：その他の特定入院料を選択した場合で最も多かったものは、「それ以外」（85.7%）であった。

図表 4 - 13　その他の特定入院料の詳細



③ 病床数と病床利用率

1)病床数

病床数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 14　病床数

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
病床数	n=1,111	45.5	21.2	46.0

図表 4 - 15　担当病棟の病床数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:床）

		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=270	41.8	17.7	46.0
協力医療機関(新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=160	46.5	19.5	48.0
その他	n=189	46.1	18.8	45.0

2) 病床利用率

病床利用率は、以下のとおりであった。

図表 4 - 16　病床利用率

（単位:%）

		平均値	標準偏差	中央値
病床利用率	n=1,012	78.4	14.7	81.0

図表 4 - 17　病床利用率
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:%）

		平均値	標準偏差
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=256	79.1	14.5
協力医療機関(新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=146	74.5	14.8
その他	n=169	79.0	13.8

3) 新規入院患者数（令和 2 年 10 月 1 か月間）

新規入院患者数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 18　新規入院患者数

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
令和2 年10月1 か月間の新入院患者数	n=1,057	66.6	58.0	60.0

図表 4 - 19　新規入院患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=260	88.9	58.1	85.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=154	70.8	53.6	67.0
その他	n=181	50.3	58.3	43.0

4) 退院患者数（令和 2 年 10 月 1 か月間）

退院患者数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 20　退院患者数

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
令和2 年10月1 か月間の退院患者数	n=1,060	66.4	56.0	59.5

図表 4 - 21　退院患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=260	90.7	60.5	90.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=153	70.8	52.1	62.0
その他	n=181	52.1	58.5	41.0

5) 平均在院日数（令和 2 年 10 月 1 か月間）

平均在院日数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 22　平均在院日数

（単位：日）

		平均値	標準偏差	中央値
平均在院日数	n=1,018	41.8	90.1	14.2

図表 4 - 23　平均在院日数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：日）

		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=256	13.8	11.4	11.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=151	28.9	57.7	14.0
その他	n=171	75.6	137.4	18.5

6)　手術を受けた患者数（令和 2 年 10 月 1 か月間）

手術を受けた患者数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 24　手術を受けた患者数

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
令和2 年10月1 か月間の手術を受けた患者数	n=960	23.4	30.7	11.0

図表 4 - 25　手術を受けた患者数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

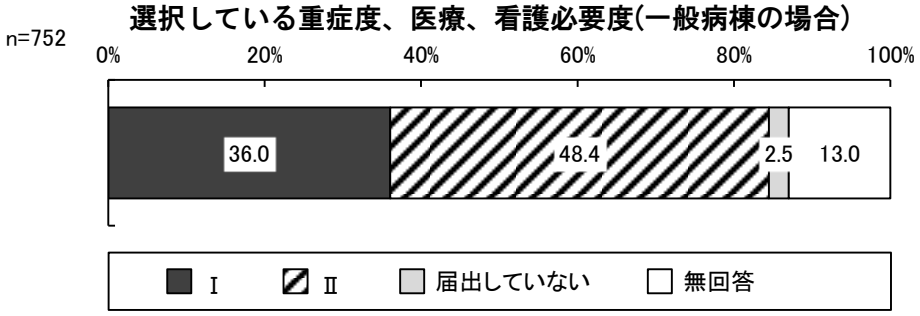
（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=226	33.7	32.5	22.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=146	26.3	31.4	15.5
その他	n=176	15.4	25.7	3.0

7) 自施設の施設基準届出に当たり選択している重症度、医療・看護必要度

自施設の施設基準届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度で最も多かったものは「Ⅱ」（48.4%）であった。

図表 4 - 26　自施設の施設基準届出にあたり
選択している重症度、医療、看護必要度(一般病棟の場合)

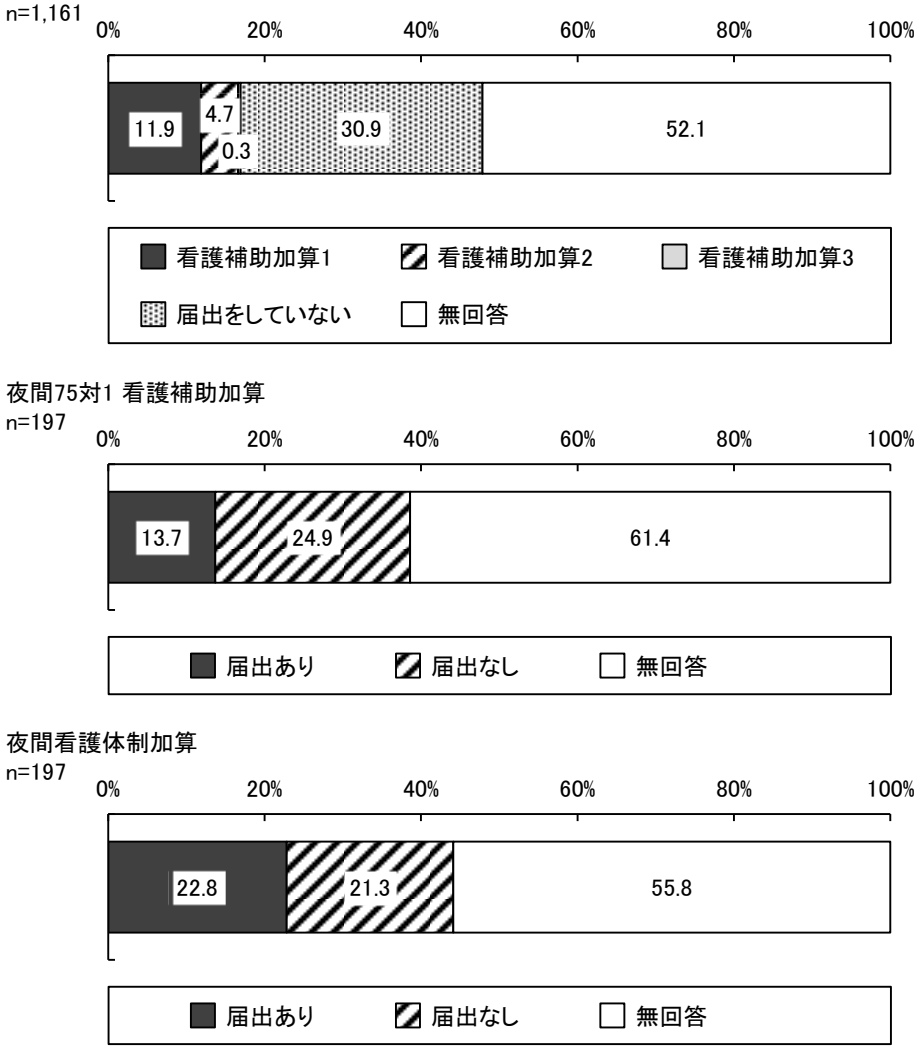


④　看護補助加算の届出状況

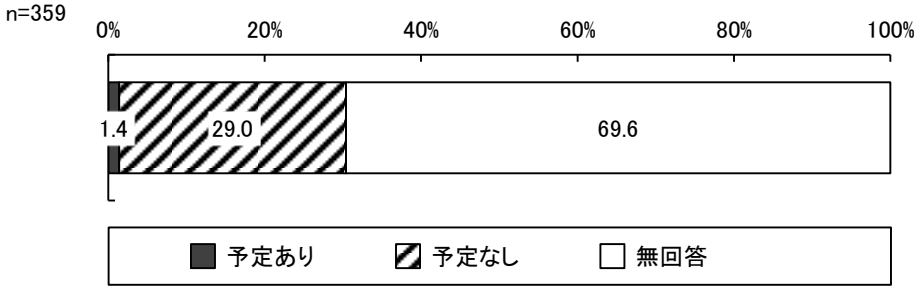
看護補助加算の届出状況及び予定で最も多かったものは「届出をしていない」(30.9%)であった。

【看護補助加算の届出状況】

図表 4 - 27　看護補助加算の届出状況



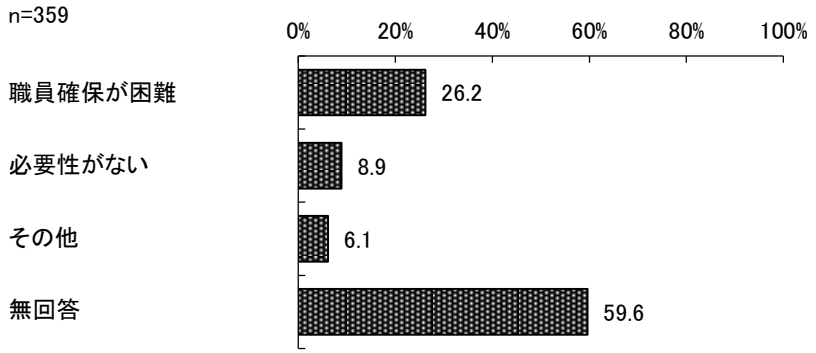
図表 4 - 28　看護補助加算の届出の予定



【届出をしていない場合:その理由】

届出をしていない場合の理由で最も多かったものは、「職員確保が困難」(26.2%)であった。

図表 4 - 29　届出をしていない理由（複数回答）

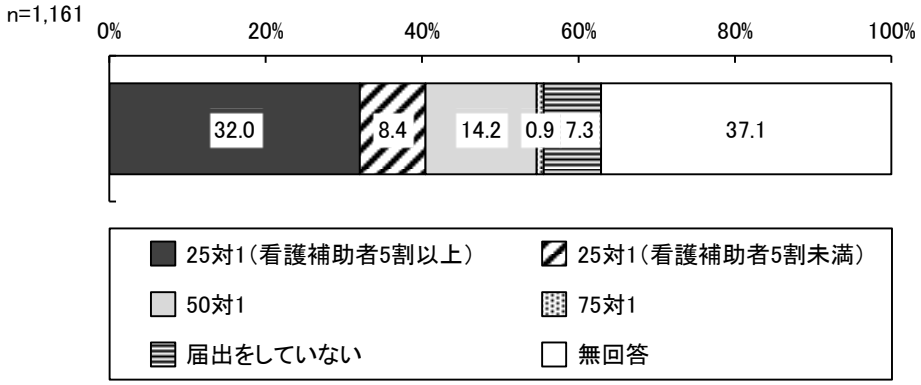


⑤ 急性期看護補助体制加算の状況

【急性期看護補助体制加算の届出状況】

急性期看護補助体制加算の届出状況で最も多かったものは「25 対１」(32.0%)であった。

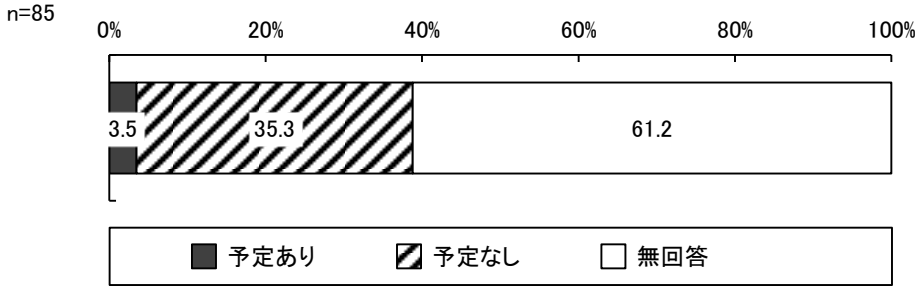
図表 4 - 30　急性期看護補助体制加算の状況



【届出をしていない場合:急性期看護補助体制加算の届出の予定】

届出をしていない場合の急性期看護補助体制加算の届出の予定で最も多かったものは「予定なし」(35.3%)であった。

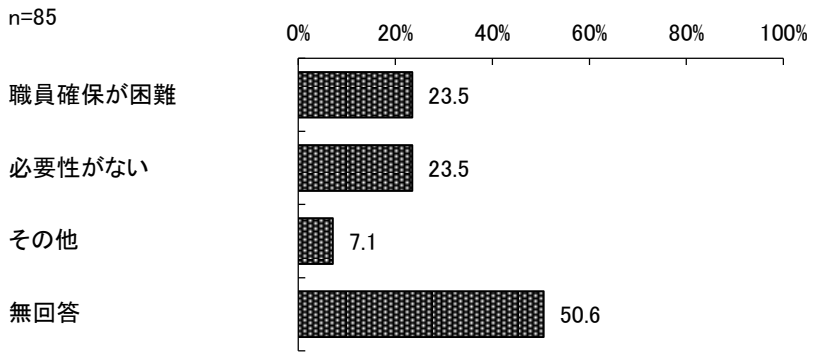
図表 4 - 31　急性期看護補助体制加算の届出の予定



【届出をしていない場合:その理由】

届出をしていない場合の理由で最も多かったものは、同率で「職員確保が困難」「必要性がない」（いずれも 23.5%）であった。

図表 4 - 32　届出をしていない理由（複数回答）

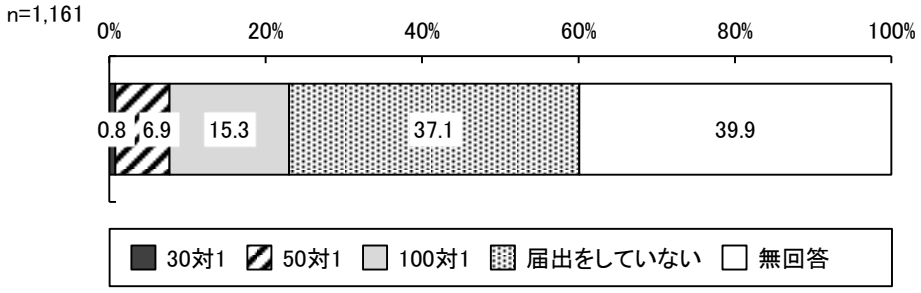


⑥ 夜間急性期看護補助体制加算の状況

【夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定】

夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定で最も多かったものは「100 対 1」（37.1%）であった。

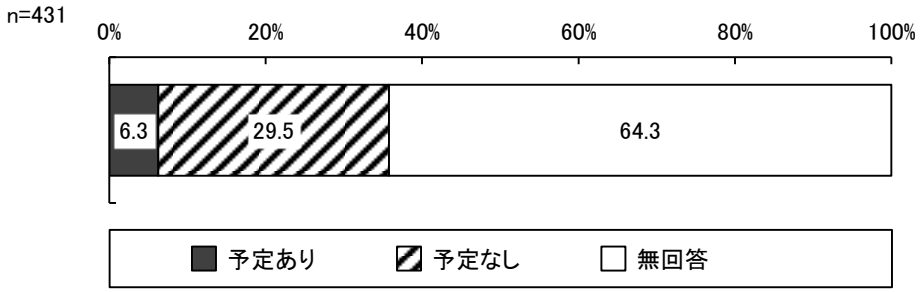
図表 4 - 33　夜間急性期看護補助体制加算の状況



【届出をしていない場合:届出の予定】

夜間急性期看護補助体制加算の届出をしていない場合の届出の予定については「予定あり」が 6.3%、「予定なし」が 29.5%であった。

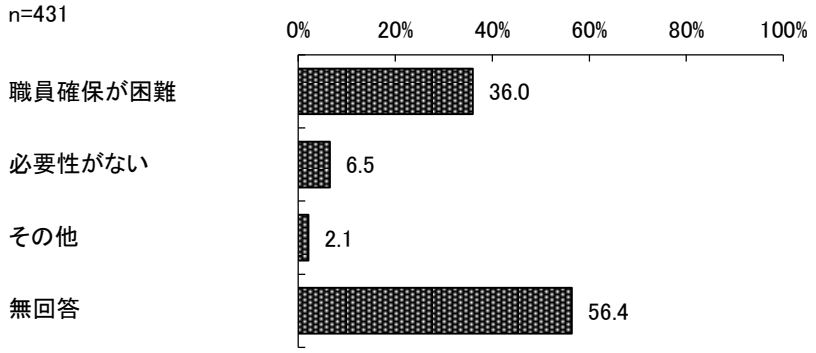
図表 4 - 34　夜間急性期看護補助体制加算の届出の予定



【届出をしていない場合:その理由】

届出をしていない場合の理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(36.0%)であった。

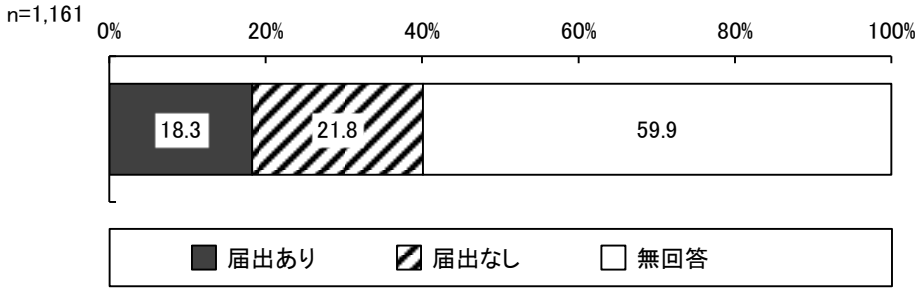
図表 4 - 35　届出をしていない理由（複数回答）



⑦ 夜間看護体制加算の状況

夜間看護体制加算の届出状況につては、「届出あり」が 18.3%、「届出なし」が 21.8%であった。

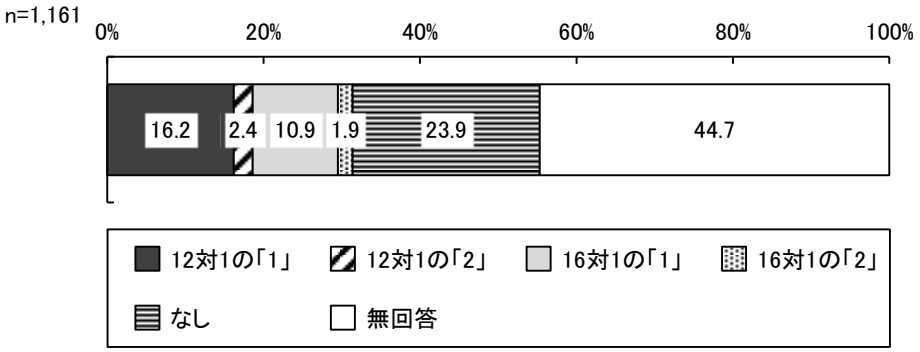
図表 4 - 36　夜間看護体制加算の状況



⑧ 看護職員夜間配置加算の状況

看護職員夜間配置加算の状況で最も多かったものは「なし」(23.9%)であった。

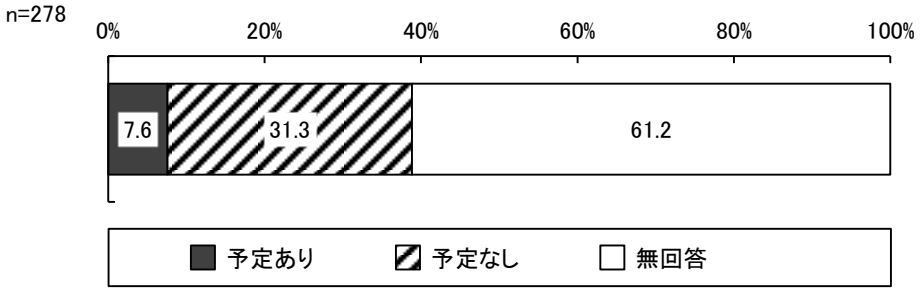
図表 4 - 37　看護職員夜間配置加算の状況



【届出をしていない場合:届出の予定】

看護職員夜間配置加算の届出をしていない場合の届出の予定については「予定あり」が 7.6%、「予定なし」が 31.3%であった。

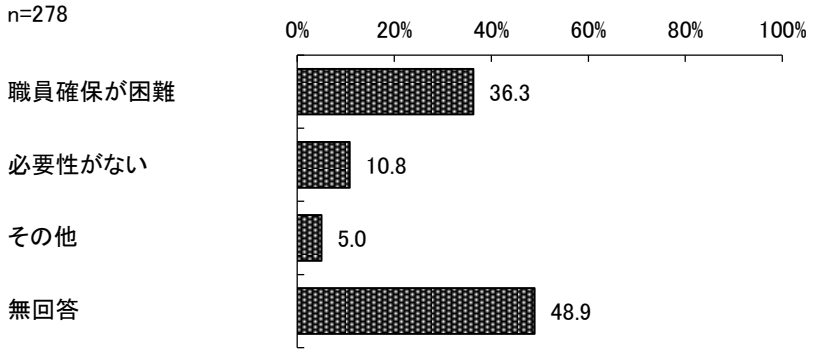
図表 4 - 38　看護職員夜間配置加算の届出の予定



【届出をしていない場合:その理由】

届出をしていない場合の理由で最も多かったものは「職員確保が困難」(36.3%) であった。

図表 4 - 39　届出をしていない理由（複数回答）



（２） 看護職員・看護補助者の勤務状況等

A. 職員数

① 病棟の看護職員数（夜勤専従者は除く）

病棟の看護職員数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 40　病棟の職員数（夜勤専従者は除く）（令和 2 年 10 月末）

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=1,101	22.9	10.2	23.0	n=866	1.4	2.1	1.0
2 ）准看護師数	n=1,035	1.2	2.0	0.0	n=789	0.3	0.6	0.0
3 ）看護補助者数	n=1,028	4.1	3.5	4.0	n=850	1.8	2.1	1.0

図表 4 - 41　病棟の職員数（夜勤専従者は除く）（令和 2 年 10 月末）（病棟種別）

（単位：人）

一般病棟入院基本料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=679	25.7	9.4	26.0	n=543	1.3	2.1	0.8
2 ）准看護師数	n=646	0.8	1.5	0.0	n=484	0.2	0.5	0.0
3 ）看護補助者数	n=637	3.4	2.8	3.0	n=531	1.8	1.9	1.0

療養病棟入院基本料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=100	11.4	5.2	10.0	n=83	1.7	1.8	1.0
2 ）准看護師数	n=91	3.6	2.7	3.0	n=77	0.8	0.9	0.7
3 ）看護補助者数	n=93	8.5	3.9	8.0	n=84	2.4	2.5	2.0

精神病棟入院基本料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=27	14.4	6.8	15.0	n=23	1.8	2.2	2.0
2 ）准看護師数	n=25	3.5	2.9	3.0	n=23	0.5	0.7	0.0
3 ）看護補助者数	n=25	4.2	4.2	3.0	n=22	1.6	1.5	1.2

特定機能病院入院基本料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=32	26.0	10.3	26.0	n=15	0.5	0.7	0.0
2 ）准看護師数	n=30	0.7	2.1	0.0	n=20	0.2	0.5	0.0
3 ）看護補助者数	n=33	3.2	2.5	3.0	n=16	1.2	1.6	0.5

障害者施設等入院基本料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=22	23.4	9.8	20.0	n=18	2.0	2.9	0.9
2 ）准看護師数	n=20	1.9	2.0	1.0	n=12	0.1	0.4	0.0
3 ）看護補助者数	n=18	4.1	3.4	4.0	n=15	1.5	2.2	1.0

その他の入院基本料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=26	20.9	8.5	21.5	n=17	1.7	1.8	1.0
2 ）准看護師数	n=24	1.0	1.5	0.0	n=17	0.4	0.8	0.0
3 ）看護補助者数	n=24	3.8	3.4	3.0	n=18	1.4	2.5	0.8

（単位：人）

地域包括ケア病棟入院料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=80	19.2	5.5	19.0	n=63	1.9	2.5	1.0
2 ）准看護師数	n=74	1.3	1.5	1.0	n=61	0.3	0.5	0.0
3 ）看護補助者数	n=76	5.7	3.8	6.0	n=64	2.3	2.6	1.0

回復リハビリテーション病棟入院料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=55	15.3	4.9	15.0	n=49	1.5	1.5	1.0
2 ）准看護師数	n=53	1.8	1.7	1.0	n=44	0.5	0.6	0.0
3 ）看護補助者数	n=53	6.0	3.0	6.0	n=46	1.8	2.1	1.0

小児入院医療管理料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=6	28.0	5.2	29.0	n=5	0.4	0.6	0.0
2 ）准看護師数	n=5	0.0	0.0	0.0	n=5	0.0	0.0	0.0
3 ）看護補助者数	n=5	0.4	0.8	0.0	n=6	2.8	2.4	2.1

その他の特定入院料	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1 ）看護師数	n=54	25.9	13.4	22.0	n=36	0.5	1.3	0.0
2 ）准看護師数	n=51	0.2	1.0	0.0	n=34	0.1	0.5	0.0
3 ）看護補助者数	n=49	1.2	1.9	0.0	n=37	0.9	1.3	0.0

図表 4 - 42　特定行為研修を修了した看護師数

（単位：人）

常勤				非常勤（常勤換算）			
	平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
n=1,003	0.1	0.2	0.0	n=774	0.0	0.0	0.0

図表 4 - 43　特定行為研修を修了した看護師数（病棟種別）

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
一般病棟入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=635	0.1	0.2	0.0	n=488	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
療養病棟入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=85	0.0	0.0	0.0	n=73	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
精神病棟入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=21	0.0	0.0	0.0	n=18	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
特定機能病院入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=31	0.0	0.0	0.0	n=16	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
障害者施設等入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=20	0.1	0.3	0.0	n=16	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
その他の入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=25	0.2	0.5	0.0	n=16	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
地域包括ケア病棟入院料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=71	0.1	0.3	0.0	n=58	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
回復リハビリテーション病棟入院料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=46	0.0	0.2	0.0	n=42	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
小児入院医療管理料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=5	0.0	0.0	0.0	n=5	0.0	0.0	0.0

	常勤				非常勤（常勤換算）			
その他の特定入院料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=50	0.1	0.2	0.0	n=34	0.0	0.0	0.0

図表 4 - 44　看護師数のうち短時間勤務又は夜勤免除の看護師数

（単位：人）

常勤				非常勤（常勤換算）			
	平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
n=930	1.6	1.7	1.0	n=684	0.5	1.0	0.0

図表 4 - 45　看護師数のうち短時間勤務又は夜勤免除の看護師数（病棟種別）

（単位：人）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
一般病棟入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=590	1.6	1.7	1.0	n=428	0.5	1.0	0.0
療養病棟入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=78	1.7	1.7	1.0	n=66	0.8	1.4	0.0
精神病棟入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=21	1.1	1.6	0.0	n=18	0.1	0.5	0.0
特定機能病院入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=29	1.2	1.4	1.0	n=15	0.2	0.4	0.0
障害者施設等入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=17	2.1	2.4	1.0	n=13	0.6	0.8	0.0
その他の入院基本料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=24	1.4	1.6	0.5	n=14	0.6	1.0	0.0
地域包括ケア病棟入院料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=64	1.5	1.9	1.0	n=51	0.7	1.1	0.0
回復リハビリテーション病棟入院料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=42	1.5	1.9	1.0	n=36	0.6	1.2	0.0
小児入院医療管理料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=6	2.3	1.7	3.0	n=5	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
	n=46	1.5	1.5	1.0	n=31	0.1	0.4	0.0

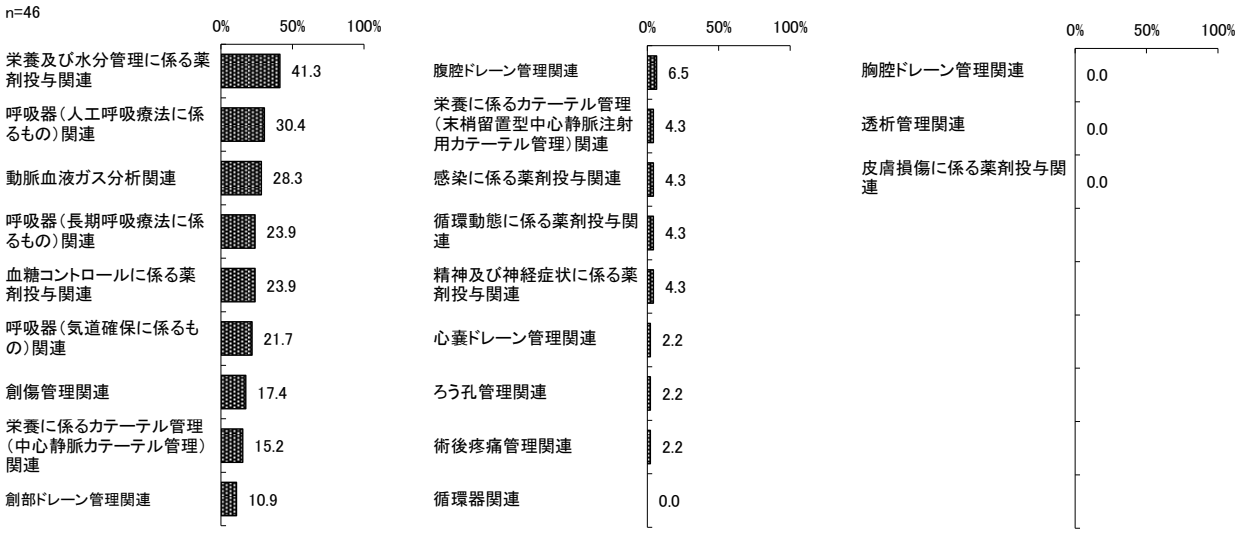
①-1 特定行為研修を修了した看護師の該当する特定行為区分

特定行為研修を修了した看護師の該当する特定行為区分で最も多かったものは「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」（41.3%）であった。

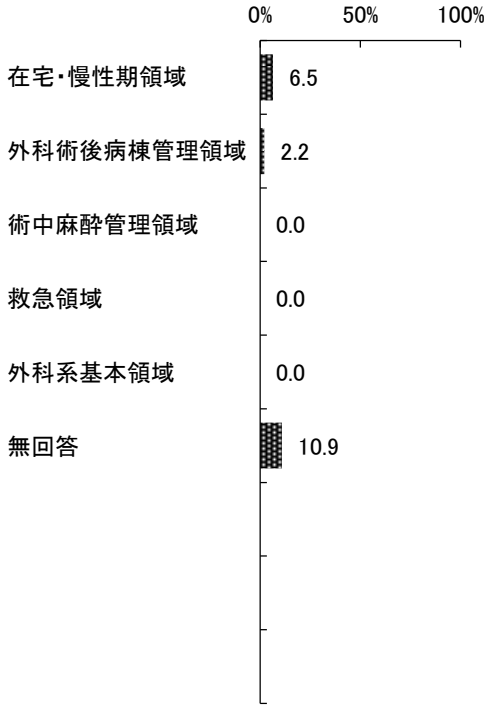
領域で最も多かったものは「外科術後病棟管理領域」（6.5%）であった。

図表 4 - 46　特定行為研修を修了した看護師の該当する特定行為区分（複数回答）

○特定行為区分



○領域



② 看護職員の勤務時間

1）1人当たり月平均勤務時間

1人当たり月平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 4 - 47　看護職員 1 人当たり月平均勤務時間（病棟種別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=617	152.7	43.0	161.8	n=382	72.0	63.3	79.0
療養病棟入院基本料	n=90	156.0	35.0	164.0	n=61	87.8	51.7	104.0
精神病棟入院基本料	n=21	154.0	18.5	158.0	n=13	101.7	58.6	131.5
特定機能病院入院基本料	n=29	158.8	29.2	161.0	n=12	73.2	59.3	80.0
障害者施設等入院基本料	n=21	156.3	23.1	159.3	n=16	91.8	47.5	111.3
その他の入院基本料	n=24	151.6	46.4	160.2	n=13	101.0	52.2	102.0
地域包括ケア病棟入院料	n=77	148.2	44.6	159.4	n=59	87.6	57.1	112.0
回復リハビリテーション病棟入院料	n=49	156.0	37.2	165.6	n=38	95.1	62.9	121.5
小児入院医療管理料	n=5	145.1	37.2	165.0	n=3	24.6	34.7	0.0
その他の特定入院料	n=50	153.0	47.0	157.7	n=22	34.4	57.6	0.0

図表 4 - 48　看護職員 1 人当たり月平均勤務時間
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=255	151.7	38.8	161.4	n=166	63.0	62.6	64.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=149	158.1	35.6	164.9	n=100	80.5	64.8	96.0
その他	n=170	154.2	43.1	161.0	n=109	75.7	57.2	94.0

2）1人当たり月平均夜勤時間

1人当たり月平均夜勤時間は、以下のとおりであった。

図表 4 - 49　看護職員 1 人当たり月平均夜勤時間（病棟種別）

（単位：%）

	常勤						
		50時間未満	50時間以上100時間未満	100時間以上150時間未満	150時間以上200時間未満	200時間以上	無回答
一般病棟入院基本料	n=725	8.4	76.6	1.4	0.1	0.4	13.1
療養病棟入院基本料	n=104	11.5	71.2	3.8	0.0	0.0	13.5
精神病棟入院基本料	n=27	14.8	55.6	3.7	0.0	3.7	22.2
特定機能病院入院基本料	n=34	11.8	79.4	0.0	0.0	0.0	8.8
障害者施設等入院基本料	n=22	9.1	81.8	0.0	0.0	0.0	9.1
その他の入院基本料	n=27	3.7	74.1	7.4	0.0	0.0	14.8
地域包括ケア病棟入院料	n=83	8.4	85.5	1.2	0.0	0.0	4.8
回復リハビリテーション病棟入院料	n=56	5.4	82.1	1.8	0.0	0.0	10.7
小児入院医療管理料	n=6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=56	14.3	62.5	12.5	1.8	0.0	8.9
	非常勤（常勤換算）						
		50時間未満	50時間以上100時間未満	100時間以上150時間未満	150時間以上200時間未満	200時間以上	無回答
一般病棟入院基本料	n=725	44.6	3.3	0.6	0.0	0.0	51.6
療養病棟入院基本料	n=104	42.3	3.8	1.0	0.0	0.0	52.9
精神病棟入院基本料	n=27	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6
特定機能病院入院基本料	n=34	26.5	2.9	0.0	0.0	0.0	70.6
障害者施設等入院基本料	n=22	54.5	4.5	0.0	0.0	0.0	40.9
その他の入院基本料	n=27	25.9	14.8	0.0	0.0	0.0	59.3
地域包括ケア病棟入院料	n=83	55.4	7.2	0.0	0.0	0.0	37.3
回復リハビリテーション病棟入院料	n=56	48.2	14.3	5.4	0.0	1.8	30.4
小児入院医療管理料	n=6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他の特定入院料	n=56	32.1	5.4	0.0	0.0	0.0	62.5

図表 4 - 50　看護職員 1 人当たり月平均夜勤時間（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：%）

	常勤						
		50時間未満	50時間以上100時間未満	100時間以上150時間未満	150時間以上200時間未満	200時間以上	無回答
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=293	8.5	79.9	1.0	0.0	0.3	10.2
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=163	8.6	79.8	1.8	0.0	0.0	9.8
その他	n=194	12.9	70.1	4.1	0.0	0.5	12.4
	非常勤（常勤換算）						
		50時間未満	50時間以上100時間未満	100時間以上150時間未満	150時間以上200時間未満	200時間以上	無回答
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=293	47.8	4.4	0.7	0.0	0.0	47.1
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=163	50.9	4.9	0.6	0.0	0.0	43.6
その他	n=194	44.3	2.6	0.5	0.0	0.0	52.6

1）月夜勤時間（最小値）

月夜勤時間（最小値）は、以下のとおりであった。

図表 4 - 51　看護職員の月夜勤時間（最小値）（病棟種別）

（単位：時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=618	29.3	19.0	27.9	n=339	7.8	22.5	0.0
療養病棟入院基本料	n=92	39.5	24.9	32.0	n=47	5.3	16.2	0.0
精神病棟入院基本料	n=18	36.4	18.3	34.4	n=11	17.0	23.5	0.0
特定機能病院入院基本料	n=32	31.0	26.3	24.0	n=9	9.1	25.1	0.0
障害者施設等入院基本料	n=20	34.9	19.2	31.0	n=13	5.3	14.4	0.0
その他の入院基本料	n=23	36.1	24.6	37.7	n=11	25.5	38.0	0.0
地域包括ケア病棟入院料	n=77	33.8	19.1	32.0	n=50	9.0	18.5	0.0
回復リハビリテーション病棟入院料	n=48	31.9	18.3	32.0	n=37	18.0	34.5	0.0
小児入院医療管理料	n=5	21.6	16.4	16.0	n=3	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=51	30.6	17.5	29.8	n=21	9.0	19.3	0.0

図表 4 - 52　看護職員の月夜勤時間（最小値）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=257	30.5	16.9	30.0	n=148	9.8	25.7	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=147	29.3	17.1	29.1	n=91	9.7	23.3	0.0
その他	n=168	31.9	25.4	30.0	n=92	9.2	23.7	0.0

4）月最大夜勤時間

月夜勤時間（最大値）は、以下のとおりであった。

図表 4 - 53　看護職員の月夜勤時間（最大）（病棟種別）

（単位：時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=618	90.8	29.7	88.5	n=339	10.8	26.6	0.0
療養病棟入院基本料	n=92	94.9	28.8	96.0	n=47	14.4	30.0	0.0
精神病棟入院基本料	n=18	81.4	23.5	80.0	n=11	37.4	45.3	0.0
特定機能病院入院基本料	n=32	92.2	31.5	88.9	n=9	14.4	27.6	0.0
障害者施設等入院基本料	n=20	88.6	24.6	80.0	n=13	9.3	21.9	0.0
その他の入院基本料	n=23	92.0	38.4	96.0	n=11	34.8	41.8	0.0
地域包括ケア病棟入院料	n=77	85.5	32.1	87.2	n=50	14.3	24.6	0.0
回復リハビリテーション病棟入院料	n=48	102.9	33.8	98.0	n=37	27.6	42.8	0.0
小児入院医療管理料	n=5	102.3	13.9	104.0	n=3	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=51	90.2	32.7	89.0	n=21	12.9	26.5	0.0

図表 4 - 54　看護職員の月夜勤時間（最大値）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=257	85.0	25.5	82.6	n=148	11.9	28.8	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=147	90.3	29.5	93.2	n=91	13.2	28.3	0.0
その他	n=168	94.3	32.0	96.0	n=92	13.0	28.5	0.0

5）1 人当たり月平均勤務日数

1 人当たり月平均勤務日数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 55　看護職員 1 人当たり月平均勤務日数（病棟種別）

（単位:1 人当たり・日／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=617	19.5	3.3	20.0	n=358	10.4	8.6	12.2
療養病棟入院基本料	n=92	19.8	3.2	20.6	n=59	14.9	5.7	16.3
精神病棟入院基本料	n=19	20.0	1.8	20.0	n=11	12.4	7.8	16.0
特定機能病院入院基本料	n=31	19.6	2.4	20.0	n=11	9.2	7.9	8.5
障害者施設等入院基本料	n=20	20.1	0.9	20.0	n=16	13.9	7.0	16.0
その他の入院基本料	n=22	19.4	3.4	20.0	n=12	13.1	8.2	17.8
地域包括ケア病棟入院料	n=72	19.6	2.8	20.0	n=53	11.6	8.0	16.0
回復リハビリテーション病棟入院料	n=48	20.1	2.0	20.6	n=37	13.3	7.9	16.0
小児入院医療管理料	n=5	20.0	0.2	20.0	n=3	4.2	5.9	0.0
その他の特定入院料	n=49	19.8	3.0	20.0	n=20	7.2	9.8	0.0

図表 4 - 56　看護職員 1 人当たり月平均勤務日数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:1 人当たり・日／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=255	19.8	2.4	20.0	n=157	9.5	8.7	11.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=148	19.3	3.8	20.0	n=94	10.7	9.2	13.0
その他	n=169	19.7	2.9	20.0	n=102	11.7	7.5	14.5

③ 看護補助者 1 人当たり月平均勤務時間

看護補助者 1 人当たり月平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 4 - 57　看護補助者 1 人当たり月平均勤務時間

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤（常勤換算）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
1人当たりの平均勤務時間／月	n=890	130.2	64.5	159.0	n=685	81.8	65.1	94.3

④ 令和 2 年度診療報酬改定により、看護職員の常勤配置又は専従配置要件が緩和されたことで満たすことができた施設基準（自由記載）

令和 2 年度診療報酬改定により、看護職員の常勤配置又は専従配置要件が緩和されたことで満たすことができた施設基準について自由回答を求めたところ、以下のような回答があった。

- ウイルス疾患指導料
- 栄養サポートチーム加算
- 入退院支援加算３

⑤ 看護職員の常勤配置又は専従配置要件緩和を希望する診療報酬項目（自由記載）

看護職員の常勤配置又は専従配置要件の緩和を希望する診療報酬項目につき、自由回答を求めたところ、以下のような回答があった。

- 認知症看護認定看護師・認知症ケア加算（専従がいなくても、認知症ケア加算１が算定できることを希望する）。
- 外来放射線照射診療科。
- 退院前後訪問指導等の対象者の要件緩和が必要。
- 退院支援ナースの専従を緩和して欲しい。
- 早期離床・リハビリテーション加算（集中治療を必要とする患者の看護に関わる適切な研修を修了した専任看護師の要件緩和（研修だけでなく、経験、学会参加等も条件に追加して欲しい））。
- 夜間急性期看護補助体制加算。
- 小児入院医療管理料でも、看護補助者を配置していれば補助加算が追加で算定できることを希望する。その理由は、核家族が多い中で、母子分離、入院対応を重症心身障害や急性期病院７対１の中で実施することが厳しいと感じる。
- 緩和ケア病棟入院料１取得の緩和（緩和ケアチームが設置されていなくても算定できる等）。
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算。等

⑥ 病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数

病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数は、以下のとおりであった。

図表 4 - 58　病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数（病棟種別）

（単位：人）

1）看護師数

	常勤				非常勤（実人数）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=642	1.7	5.6	0.0	n=493	0.2	0.7	0.0
療養病棟入院基本料	n=81	0.6	1.8	0.0	n=70	0.3	0.7	0.0
精神病棟入院基本料	n=24	0.8	2.4	0.0	n=22	0.2	0.7	0.0
特定機能病院入院基本料	n=32	1.0	4.2	0.0	n=20	0.3	0.8	0.0
障害者施設等入院基本料	n=18	0.4	0.9	0.0	n=16	0.1	0.2	0.0
その他の入院基本料	n=25	1.7	5.2	0.0	n=17	0.1	0.2	0.0
地域包括ケア病棟入院料	n=73	1.2	4.3	0.0	n=60	0.2	0.6	0.0
回復リハビリテーション病棟入院料	n=45	1.1	4.2	0.0	n=43	0.3	0.5	0.0
小児入院医療管理料	n=6	0.3	0.5	0.0	n=5	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=49	0.4	0.9	0.0	n=42	0.1	0.5	0.0

2）准看護師数

（単位：人）

	常勤				非常勤（実人数）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=599	0.1	0.6	0.0	n=481	0.0	0.2	0.0
療養病棟入院基本料	n=80	0.3	0.7	0.0	n=68	0.1	0.4	0.0
精神病棟入院基本料	n=25	0.6	1.8	0.0	n=22	0.1	0.2	0.0
特定機能病院入院基本料	n=32	0.0	0.2	0.0	n=19	0.0	0.0	0.0
障害者施設等入院基本料	n=18	0.1	0.3	0.0	n=15	0.0	0.0	0.0
その他の入院基本料	n=25	0.1	0.4	0.0	n=17	0.2	0.4	0.0
地域包括ケア病棟入院料	n=68	0.1	0.6	0.0	n=56	0.0	0.1	0.0
回復リハビリテーション病棟入院料	n=42	0.1	0.2	0.0	n=39	0.0	0.2	0.0
小児入院医療管理料	n=5	0.0	0.0	0.0	n=5	0.0	0.0	0.0
その他の特定入院料	n=46	0.0	0.2	0.0	n=37	0.0	0.0	0.0

図表 4 - 59　病棟に配置されている看護職員の夜勤専従者数（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：人）

1）看護師数

	常勤				非常勤（実人数）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=258	1.8	6.3	0.0	n=199	0.1	0.4	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=147	0.8	2.9	0.0	n=121	0.2	0.5	0.0
その他	n=165	1.0	3.4	0.0	n=139	0.3	0.8	0.0

2）准看護師数

	常勤				非常勤（実人数）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=243	0.0	0.2	0.0	n=192	0.0	0.2	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=139	0.0	0.2	0.0	n=119	0.0	0.2	0.0
その他	n=157	0.2	1.1	0.0	n=135	0.0	0.2	0.0

⑦ 病棟に配置されている夜勤専従者数の勤務時間

1）１人当たり月平均勤務時間

１人当たり月平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表 4 - 60　病棟に配置されている夜勤専従者数の１人当たり月平均勤務時間（病棟種別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=141	141.0	30.5	144.0	n=34	85.4	45.3	93.9
療養病棟入院基本料	n=19	157.8	18.9	160.0	n=11	103.0	35.3	120.0
精神病棟入院基本料	n=-	-	-	-	n=1	64.0	0.0	64.0
特定機能病院入院基本料	n=4	161.0	15.9	155.8	n=2	121.5	57.5	121.5
障害者施設等入院基本料	n=4	150.3	13.2	156.5	n=-	-	-	-
その他の入院基本料	n=3	99.7	59.9	140.0	n=1	133.9	0.0	133.9
地域包括ケア病棟入院料	n=12	142.9	18.6	144.0	n=7	113.9	41.5	127.5
回復リハビリテーション病棟入院料	n=7	146.9	32.7	160.0	n=7	124.4	75.0	112.0
小児入院医療管理料	n=1	128.0	0.0	128.0	n=-	-	-	-
その他の特定入院料	n=5	130.5	33.2	136.0	n=4	94.8	85.4	71.5

図表 4 - 61　病棟に配置されている夜勤専従者の１人当たり月平均勤務時間
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=35	138.4	33.0	144.0	n=11	103.0	46.4	119.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=33	143.4	26.9	144.0	n=9	106.2	24.6	97.0
その他	n=41	149.8	14.9	148.0	n=14	85.7	50.1	93.2

2）１人当たり月平均夜勤時間

１人当たり月平均夜勤時間は、以下のとおりであった。

図表 4 - 62　病棟に配置されている夜勤専従者の１人当たり月平均夜勤時間（病棟種別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=142	129.0	39.2	144.0	n=34	79.4	42.9	71.4
療養病棟入院基本料	n=19	139.0	41.9	150.0	n=13	97.3	41.5	120.0
精神病棟入院基本料	n=-	-	-	-	n=1	64.0	0.0	64.0
特定機能病院入院基本料	n=4	135.8	29.2	148.5	n=1	64.0	0.0	64.0
障害者施設等入院基本料	n=4	150.3	13.2	156.5	n=-	-	-	-
その他の入院基本料	n=3	77.8	52.9	75.0	n=1	133.9	0.0	133.9
地域包括ケア病棟入院料	n=12	133.3	27.6	144.0	n=8	100.4	49.3	114.5
回復リハビリテーション病棟入院料	n=7	136.2	35.6	156.6	n=6	121.0	80.7	108.5
小児入院医療管理料	n=1	128.0	0.0	128.0	n=-	-	-	-
その他の特定入院料	n=8	124.8	30.3	134.3	n=3	49.0	49.5	16.0

図表 4 - 63　病棟に配置されている夜勤専従者の 1 人当たり月平均夜勤時間（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=37	119.5	45.6	140.5	n=10	95.4	41.6	110.3
協力医療機関(新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=33	124.4	43.8	143.8	n=8	80.0	38.6	84.8
その他	n=43	137.0	36.3	144.0	n=14	78.9	43.6	68.2

3) 月夜勤時間(最小値)

月夜勤時間（最小値）は、以下のとおりであった。

図表 4 - 64　病棟に配置されている夜勤専従者の月夜勤時間（最小値）（病棟種別）

（単位:時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=131	128.4	37.6	139.5	n=34	74.0	47.5	64.0
療養病棟入院基本料	n=16	143.0	37.4	150.5	n=12	98.4	29.9	96.0
精神病棟入院基本料	n=-	-	-	-	n=1	64.0	0.0	64.0
特定機能病院入院基本料	n=3	107.2	64.7	145.5	n=1	64.0	0.0	64.0
障害者施設等入院基本料	n=4	120.0	33.0	136.0	n=-	-	-	-
その他の入院基本料	n=2	87.0	57.0	87.0	n=1	133.9	0.0	133.9
地域包括ケア病棟入院料	n=10	122.1	36.8	136.4	n=7	92.7	53.1	101.5
回復リハビリテーション病棟入院料	n=7	97.9	65.8	135.0	n=5	105.8	97.2	80.0
小児入院医療管理料	n=1	128.0	0.0	128.0	n=-	-	-	-
その他の特定入院料	n=7	121.9	32.4	136.0	n=4	41.8	45.0	20.0

図表 4 - 65　病棟に配置されている夜勤専従者の月夜勤時間（最小値）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=34	132.4	33.6	139.5	n=11	87.9	43.0	101.5
協力医療機関(新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=28	121.7	42.7	140.5	n=8	75.7	38.2	81.0
その他	n=38	129.1	43.5	144.0	n=14	68.5	48.0	72.0

4) 月夜勤時間(最大値)

月夜勤時間（最大値）は、以下のとおりであった。

図表 4 - 66　病棟に配置されている夜勤専従者の月間最大夜勤時間（病棟種別）

（単位:時間／月）

	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料	n=137	139.8	31.3	144.0	n=34	106.3	41.8	123.5
療養病棟入院基本料	n=17	147.8	37.8	157.2	n=13	127.4	26.6	139.5
精神病棟入院基本料	n=-	-	-	-	n=1	64.0	0.0	64.0
特定機能病院入院基本料	n=4	148.4	13.2	152.8	n=1	64.0	0.0	64.0
障害者施設等入院基本料	n=4	152.0	13.9	160.0	n=-	-	-	-
その他の入院基本料	n=2	139.5	4.5	139.5	n=1	133.9	0.0	133.9
地域包括ケア病棟入院料	n=10	133.8	28.9	144.0	n=8	109.8	43.2	127.8
回復リハビリテーション病棟入院料	n=7	124.6	50.8	136.0	n=5	121.8	97.2	128.0
小児入院医療管理料	n=1	128.0	0.0	128.0	n=-	-	-	-
その他の特定入院料	n=7	137.3	29.0	142.0	n=4	47.8	41.5	28.0

図表 4 - 67　病棟に配置されている夜勤専従者の月間最大夜勤時間
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:時間／月）

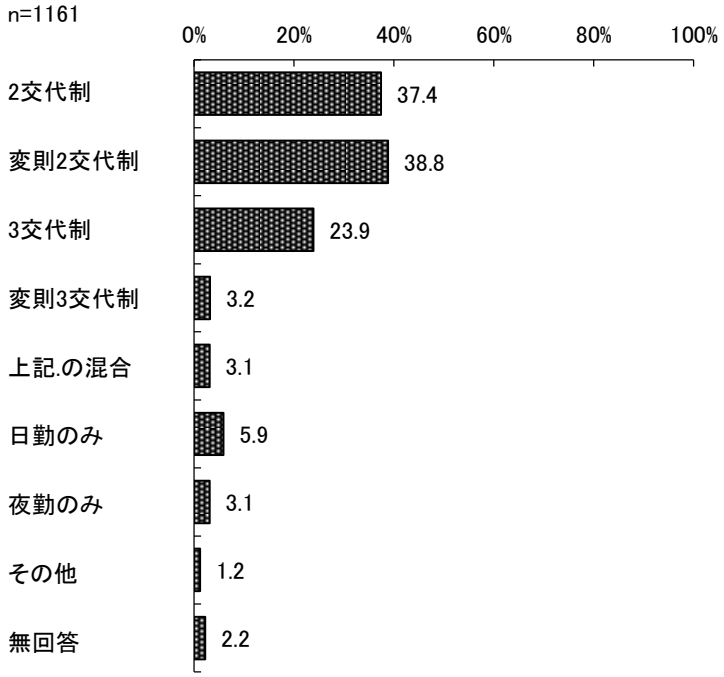
	常勤				非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関(新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=35	141.4	24.3	144.0	n=11	103.9	35.3	112.0
協力医療機関(新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関)として都道府県から指定されている	n=31	134.2	35.6	144.0	n=8	85.4	40.0	91.8
その他	n=41	138.7	39.9	144.0	n=14	103.0	48.3	128.0

B.　夜勤体制等

①看護職員の勤務形態

看護職員の勤務形態で最も多かったものは「変則 2 交代制」(38.8%) であった。

図表 4 - 68　看護職員の勤務形態(複数回答)

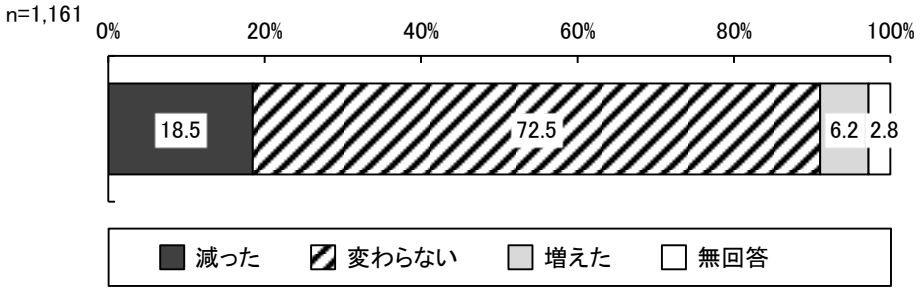


②令和 2 年度診療報酬改定前後での看護職員数や夜勤に関する状況の変化

1) 看護師数

看護師数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(72.5%) であった。

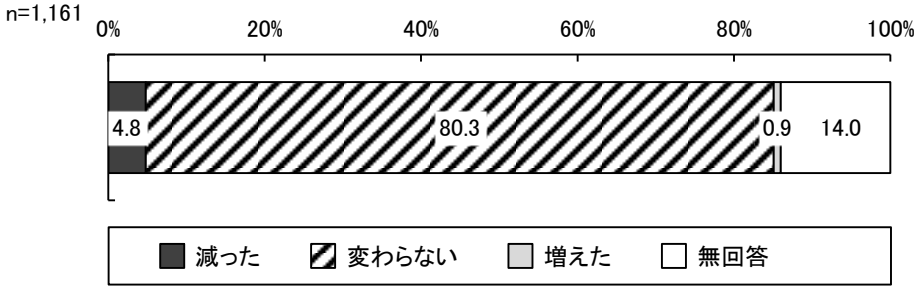
図表 4 - 69　看護師数



2）准看護師数

准看護師数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(80.3%) であった。

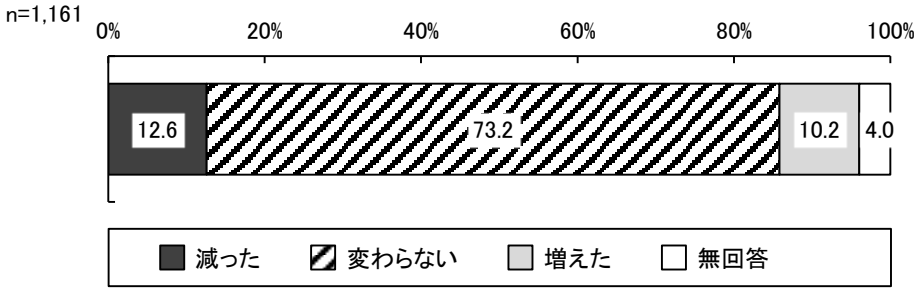
図表 4 - 70　准看護師数



3）看護補助者数

看護補助者数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(73.2%) であった。

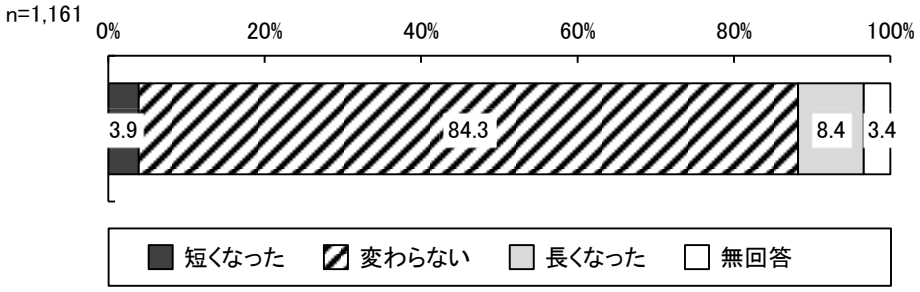
図表 4 - 71　看護補助者数



4）実際の夜勤の長さ(残業等含む)

実際の夜勤の長さに関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(84.3%) であった。

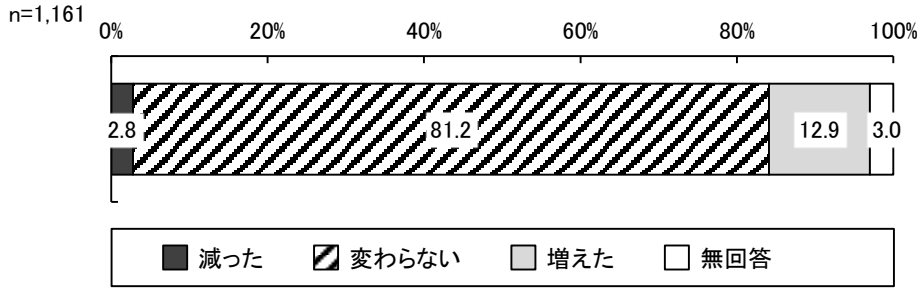
図表 4 - 72　実際の夜勤の長さ（残業等含む）



5）夜勤の回数

夜勤の回数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(81.2%) であった。

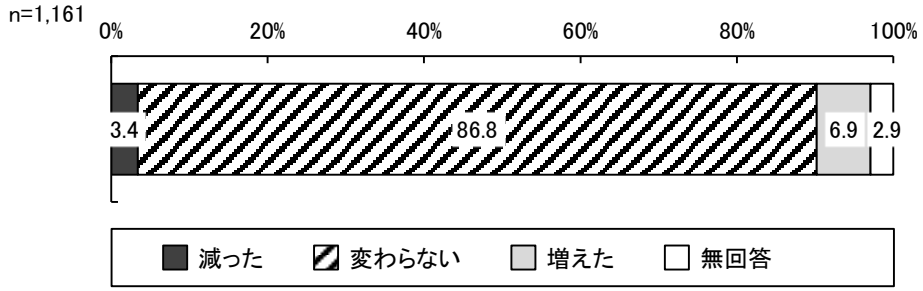
図表 4 - 73　夜勤の回数



6）夜勤時の受け持ち患者数

夜勤時の受け持ち患者数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(86.8%) であった。

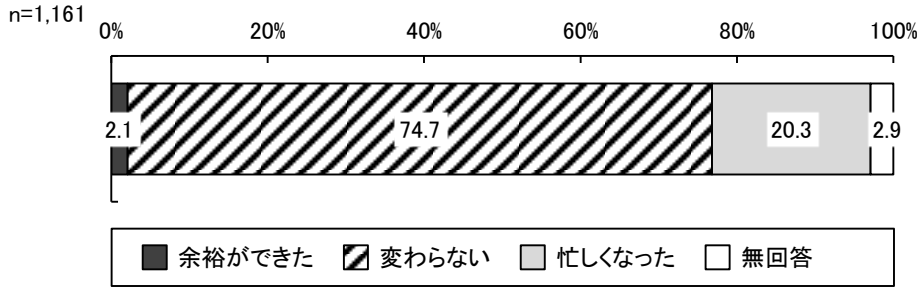
図表 4 - 74　夜勤時の受け持ち患者数



7）夜勤時の繁忙度

夜勤時の繁忙度に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(74.7%) であった。

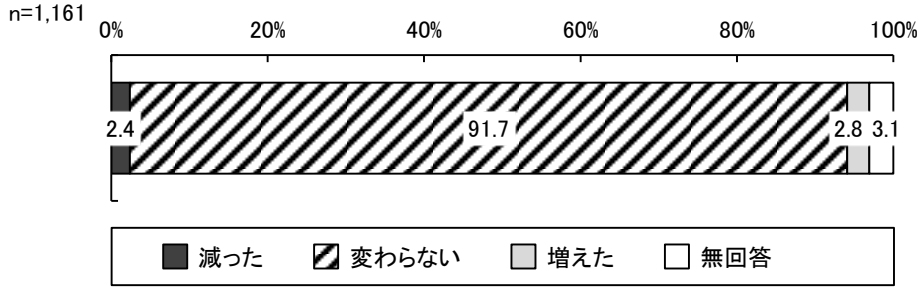
図表 4 - 75　夜勤時の繁忙度



8）夜勤の看護職員配置数

夜勤の看護職員配置数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(91.7%)であった。

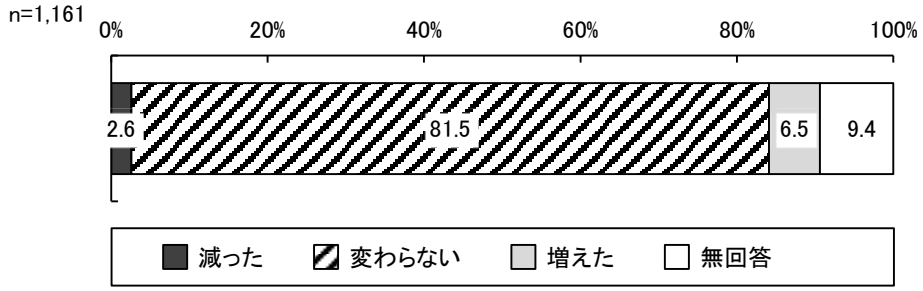
図表 4 - 76　夜勤の看護職員配置数



9）夜勤の看護補助者配置数

夜勤の看護補助者配置数に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(81.5%）であった。

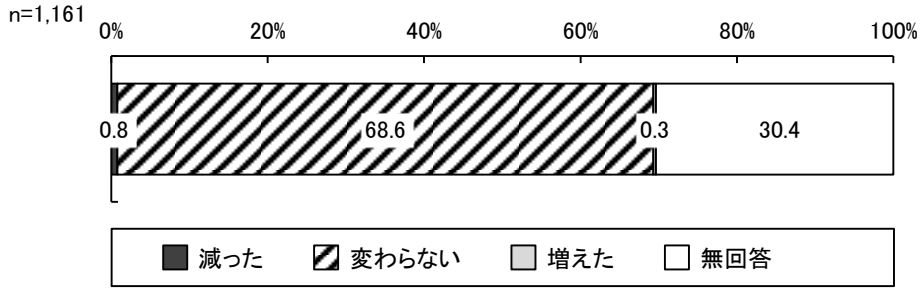
図表 4 - 77　夜勤の看護補助者配置数



10）夜勤をする理学療法士等(看護要員以外)の配置数

夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）に関する配置数の状況の変化で最も多かったものは「変わらない」(68.6%）であった。

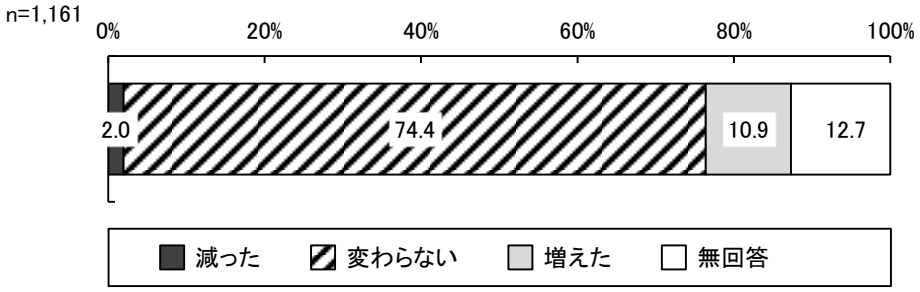
図表 4 - 78　夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）の配置数



11） 一部の者への夜勤の負担

一部の者への夜勤の負担に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」（74.4%）であった。

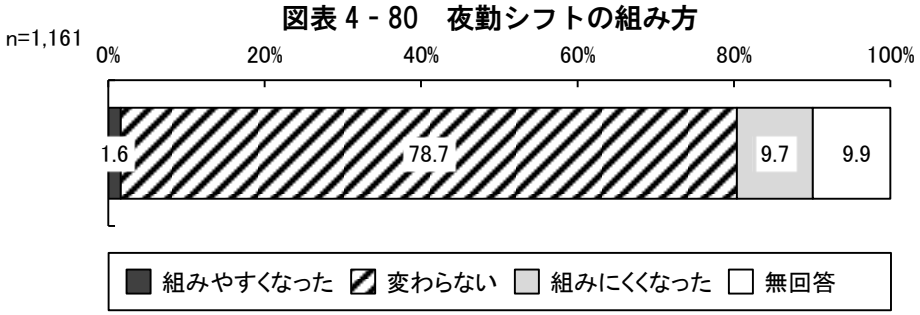
図表 4 - 79　一部の者への夜勤の負担



12）夜勤シフトの組み方

夜勤シフトの組み方に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」（78.7%）であった。

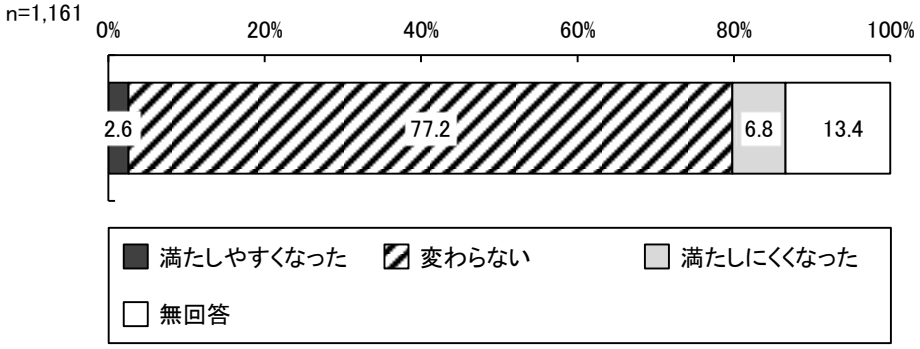
図表 4 - 80　夜勤シフトの組み方



13）夜勤の 72 時間要件

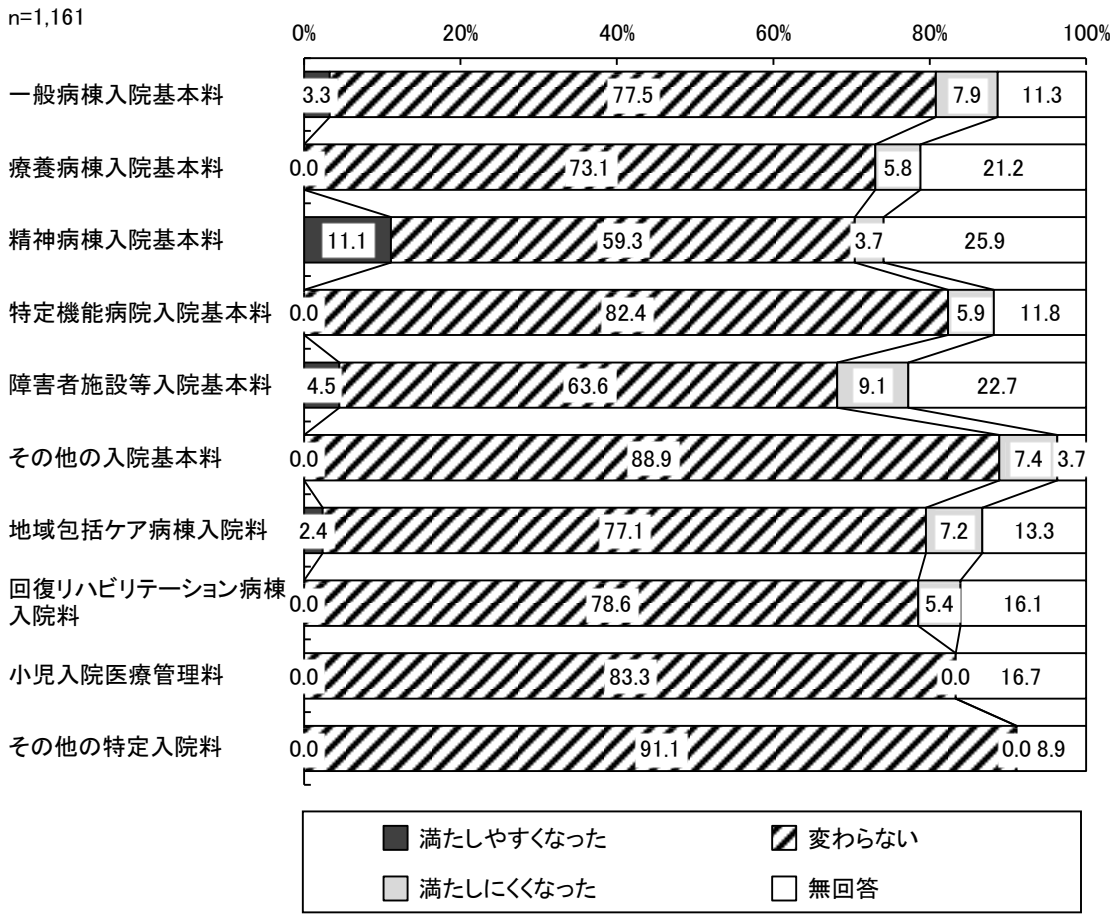
夜勤の 72 時間要件に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」（77.2%）であった。

図表 4 - 81　夜勤の 72 時間要件



入院基本料別の夜勤の 72 時間要件に関する状況の変化は、いずれの病棟種別においても「変わらない」が最も多かった。

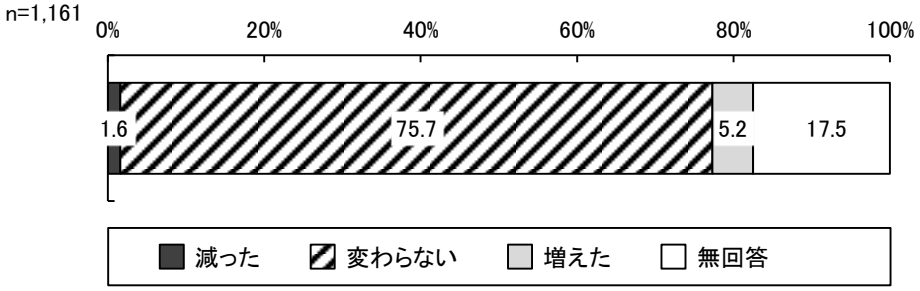
図表 4 - 82　夜勤の 72 時間要件（入院基本料別）



14）他部署との兼務

他部署との兼務に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」（75.7%）であった。

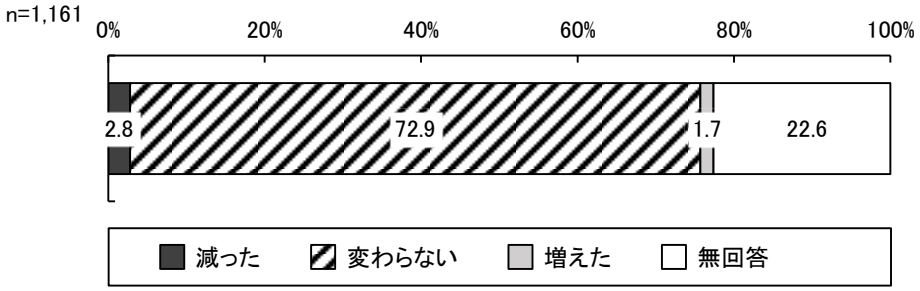
図表 4 - 83　他部署との兼務



15）短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者

短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者に関する状況の変化で最も多かったものは「変わらない」（72.9%）であった。

図表 4 - 84　短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者

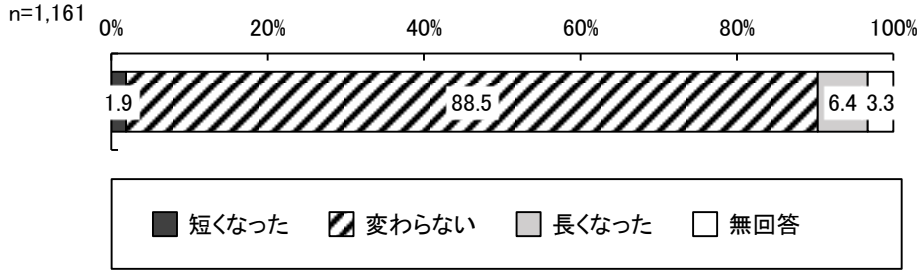


③令和 2 年度診療報酬報酬改定により変化した病棟における看護職員の勤務状況

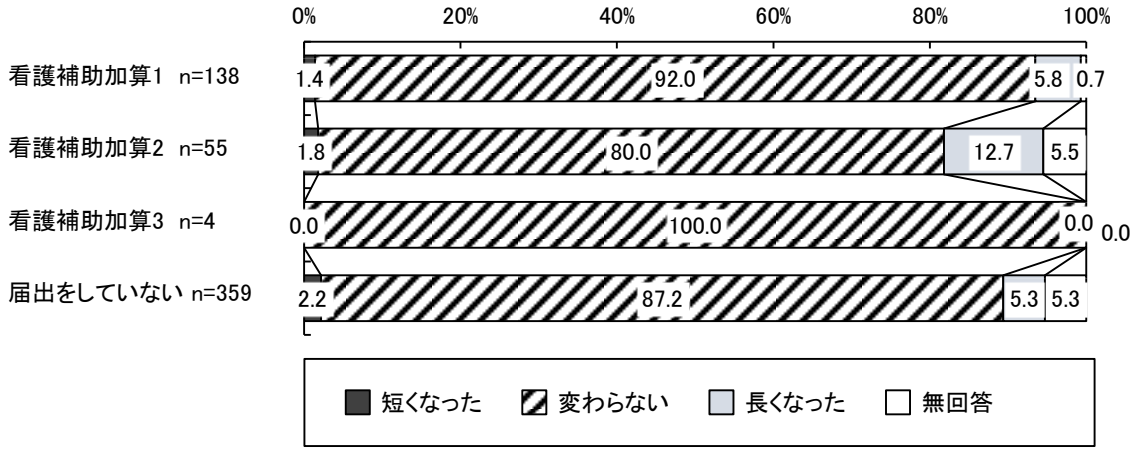
1）勤務時間

令和 2 年度診療報酬報酬改定により変化した看護職員の勤務時間で最も多かったものは「変わらない」（88.5%）であった。

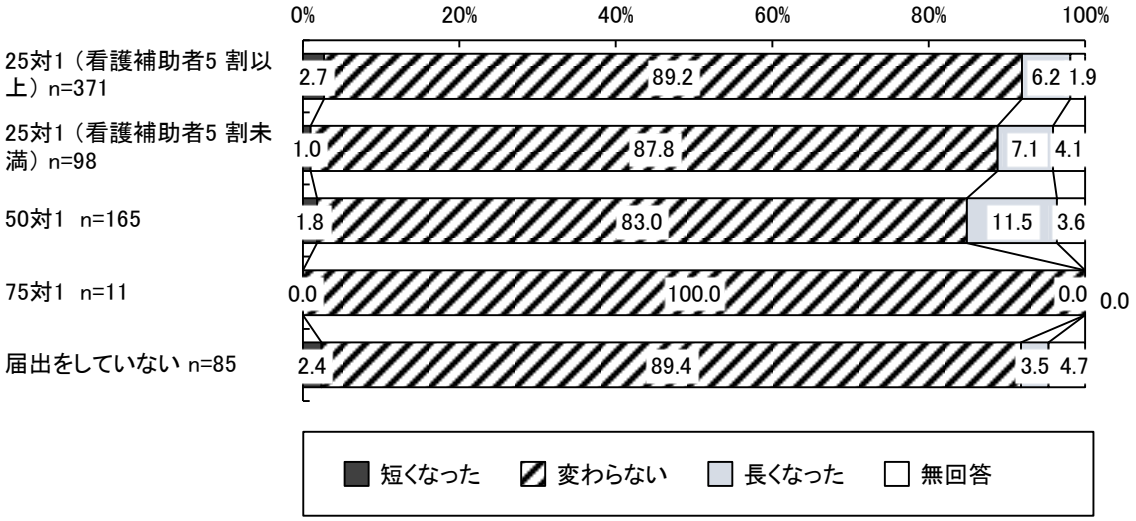
図表 4 - 85　勤務時間



図表 4 - 86　勤務時間（看護補助加算の届出の有無別）



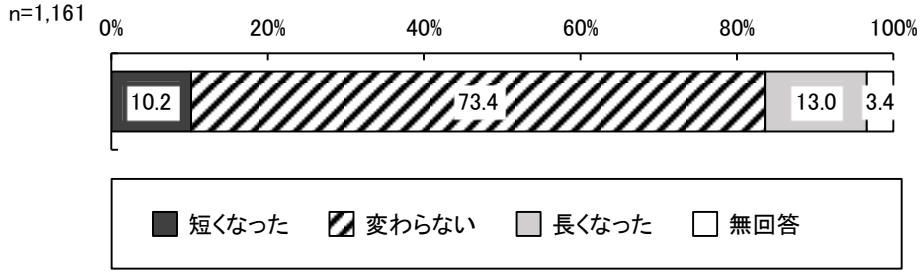
図表 4 - 87　勤務時間（急性期看護補助体制加算の届出の有無別）



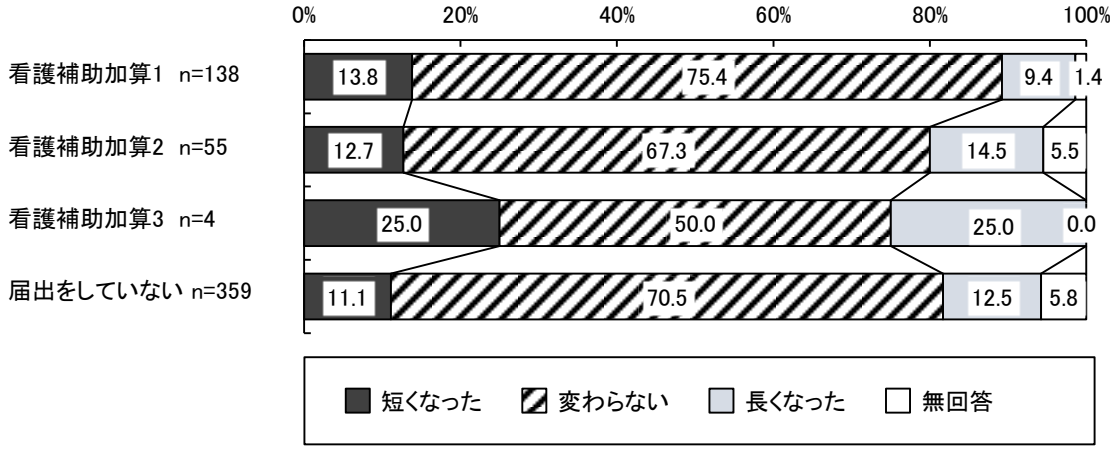
2）残業時間

令和２年度診療報酬報酬改定により変化した看護職員の残業時間で最も多いものは「変わらない」（73.4%）であった。

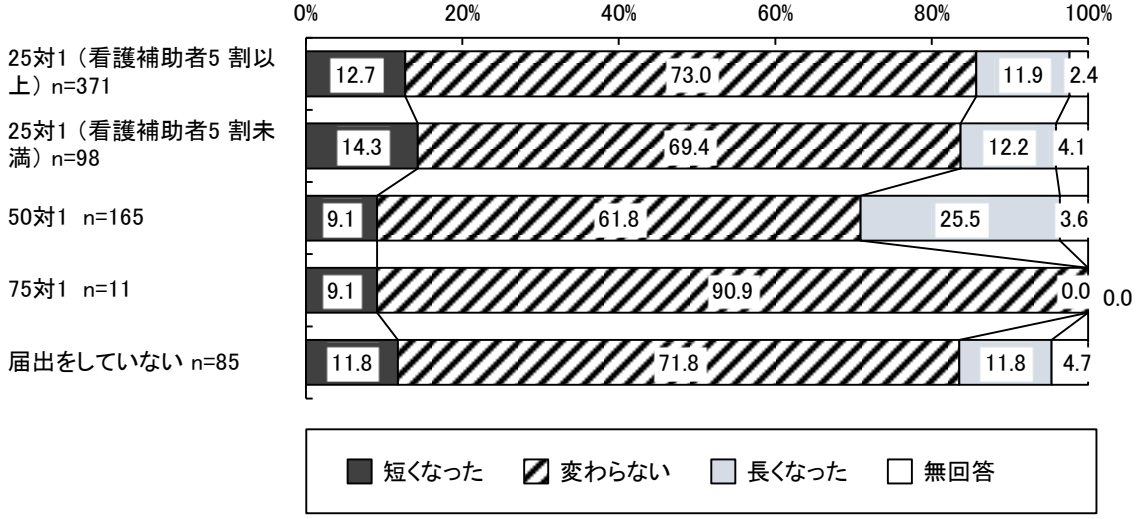
図表 4 - 88　残業時間



図表 4 - 89　残業時間（看護補助加算の届出の有無別）



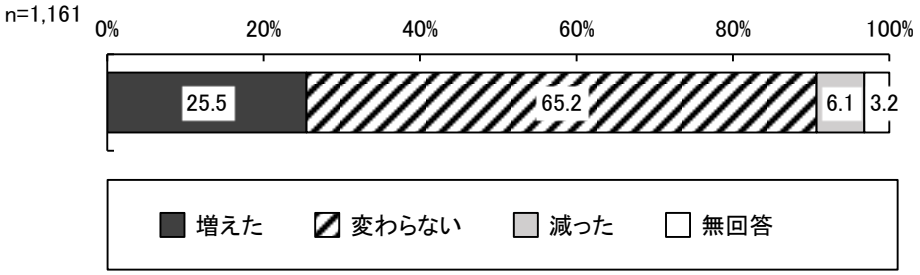
図表 4 - 90　残業時間（急性期看護補助体制加算の届出の有無別）



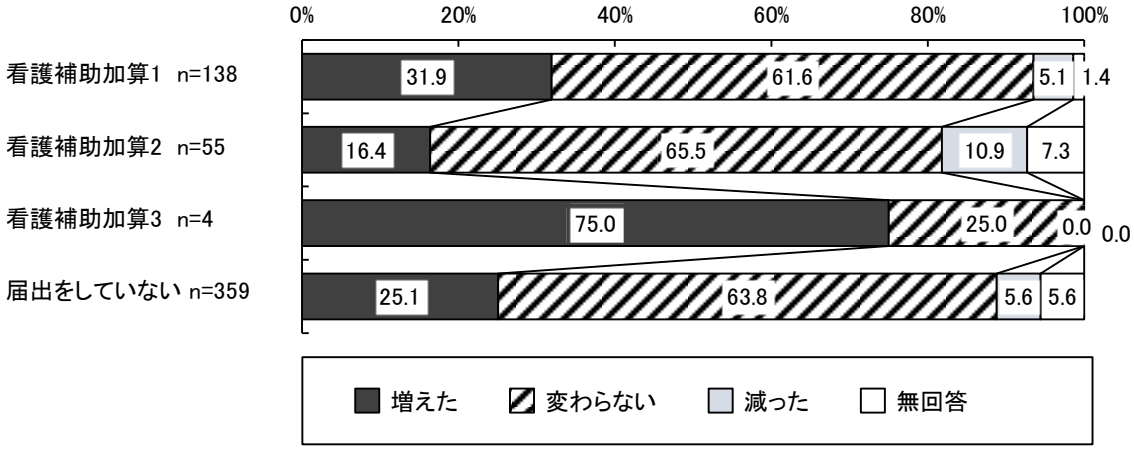
3）有給休暇の取得状況

令和２年度診療報酬報酬改定により変化した看護職員の有給休暇の取得状況で最も多かったものは「変わらない」（65.2%）であった。

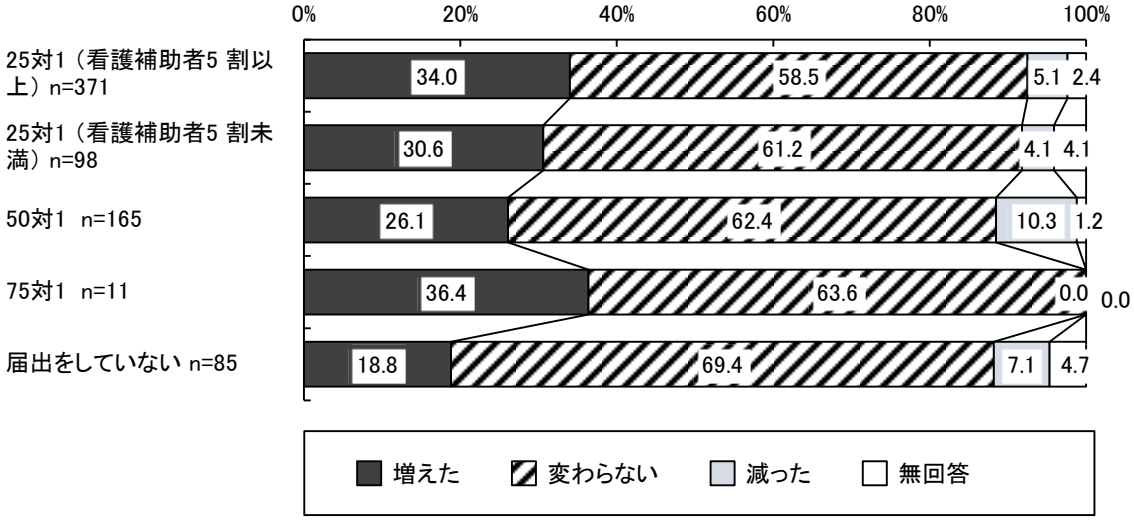
図表 4 - 91　有給休暇の取得状況



図表 4 - 92　有給休暇の取得状況（看護補助加算の届出の有無別）



図表 4 - 93　有給休暇の取得状況（急性期看護補助体制加算の届出の有無別）

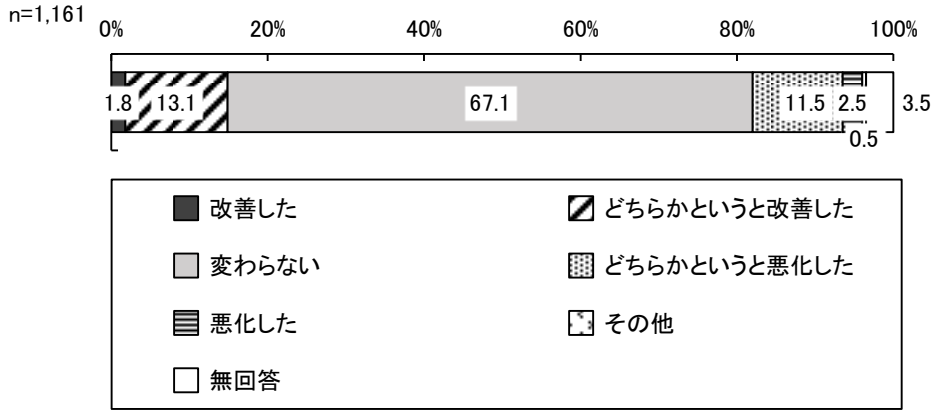


4）総合的にみた勤務状況の変化

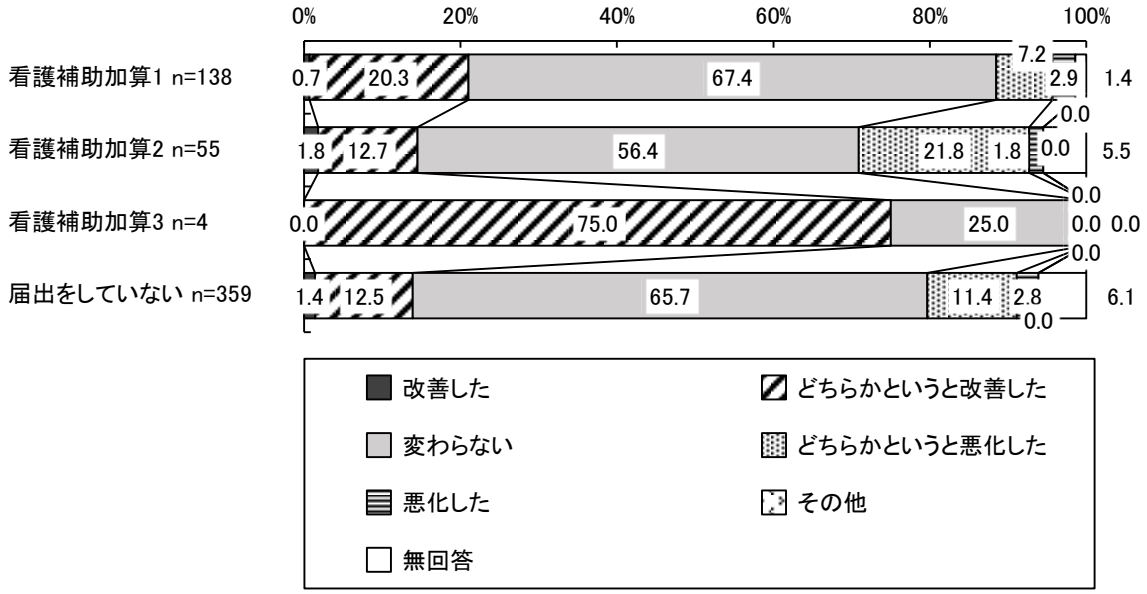
令和２年度診療報酬報酬改定により変化した看護職員の総合的な勤務状況の変化で最も多かったものは「変わらない」（67.1%）であった。

なお、「その他」には、「コロナの影響で忙しくなり悪化」、「コロナの影響もあり評価しにくい状況」、「病休や産休の補充がないなど、欠員が多い」等の回答があった。

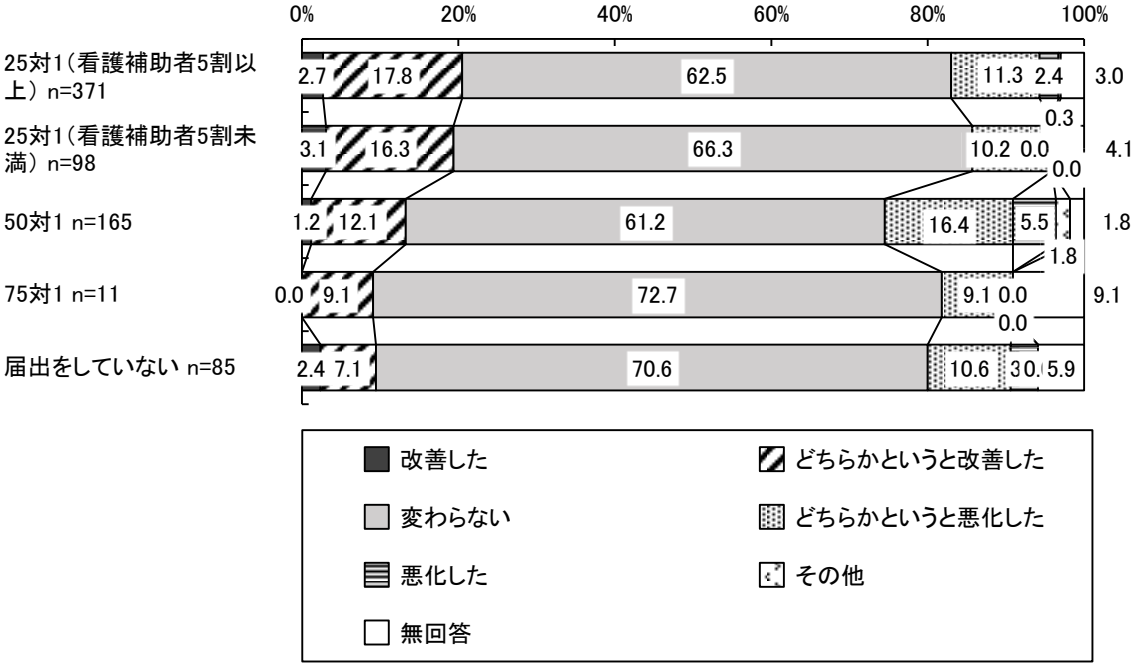
図表 4 - 94　総合的にみた勤務状況



図表 4 - 95　総合的にみた勤務状況（看護補助加算の届出の有無別）



図表 4 - 96　総合的にみた勤務状況（急性期看護補助体制加算の届出の有無別）

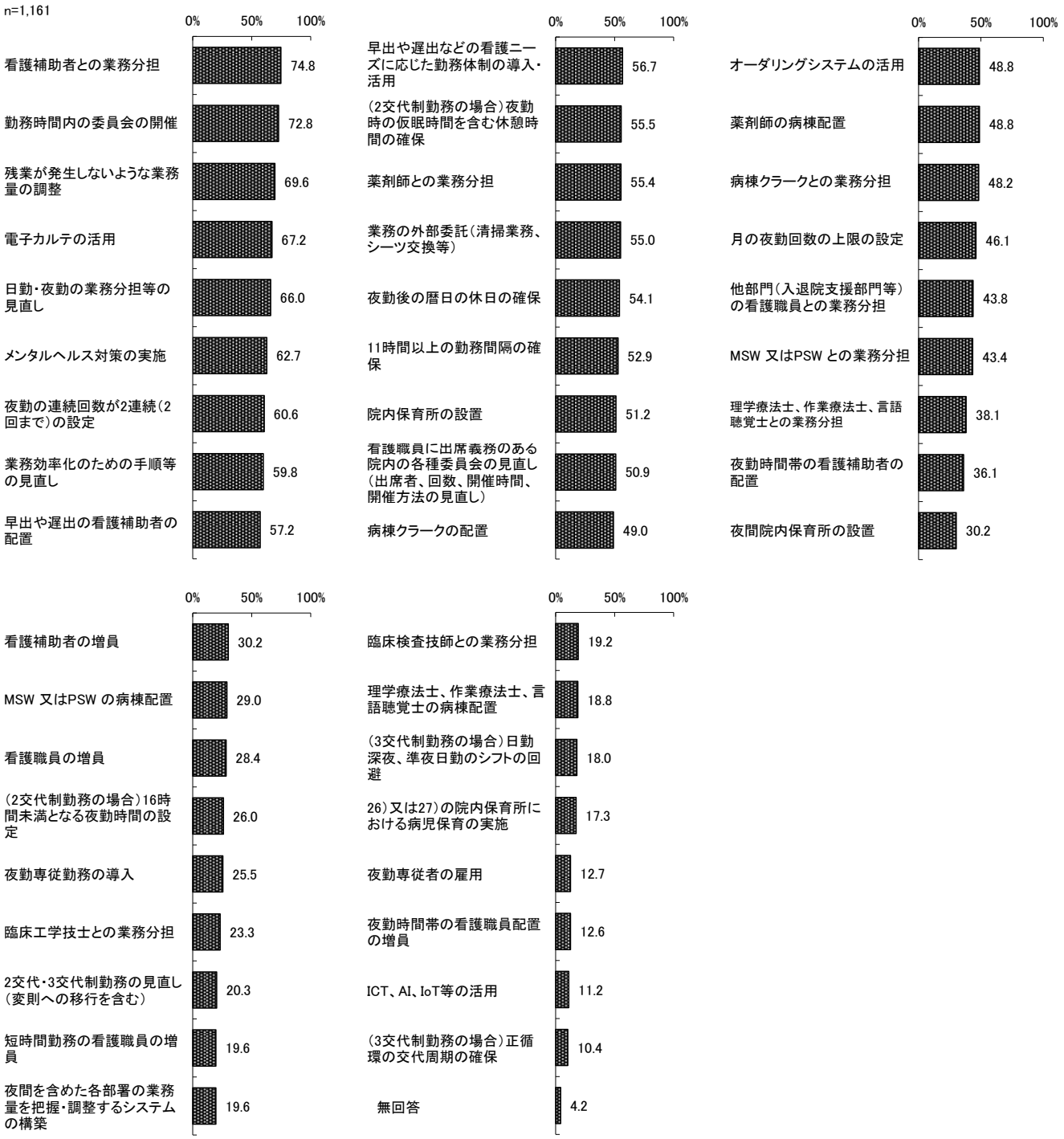


（３）看護職員の負担軽減策の取組状況

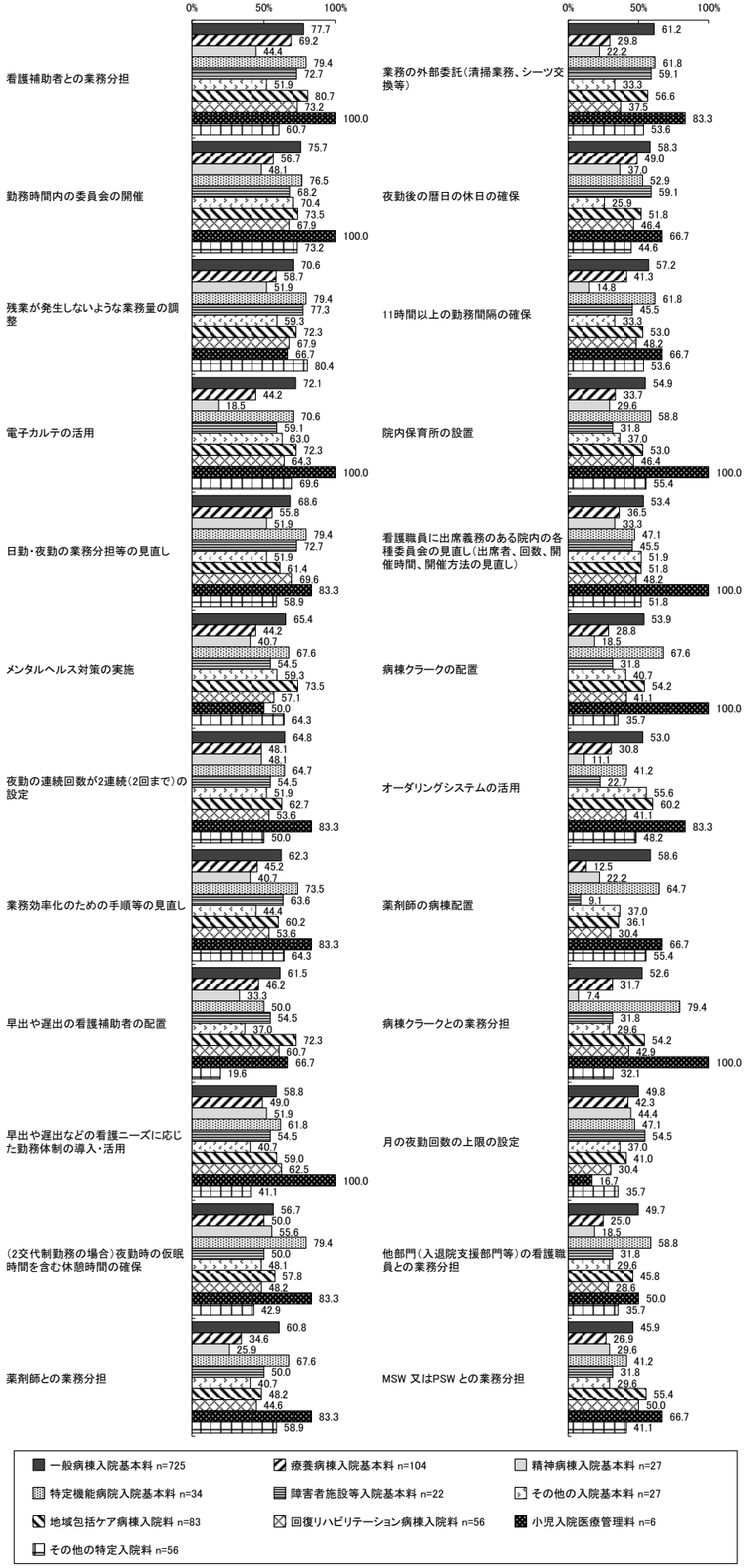
①－１　看護職員の負担軽減策として実施している取組

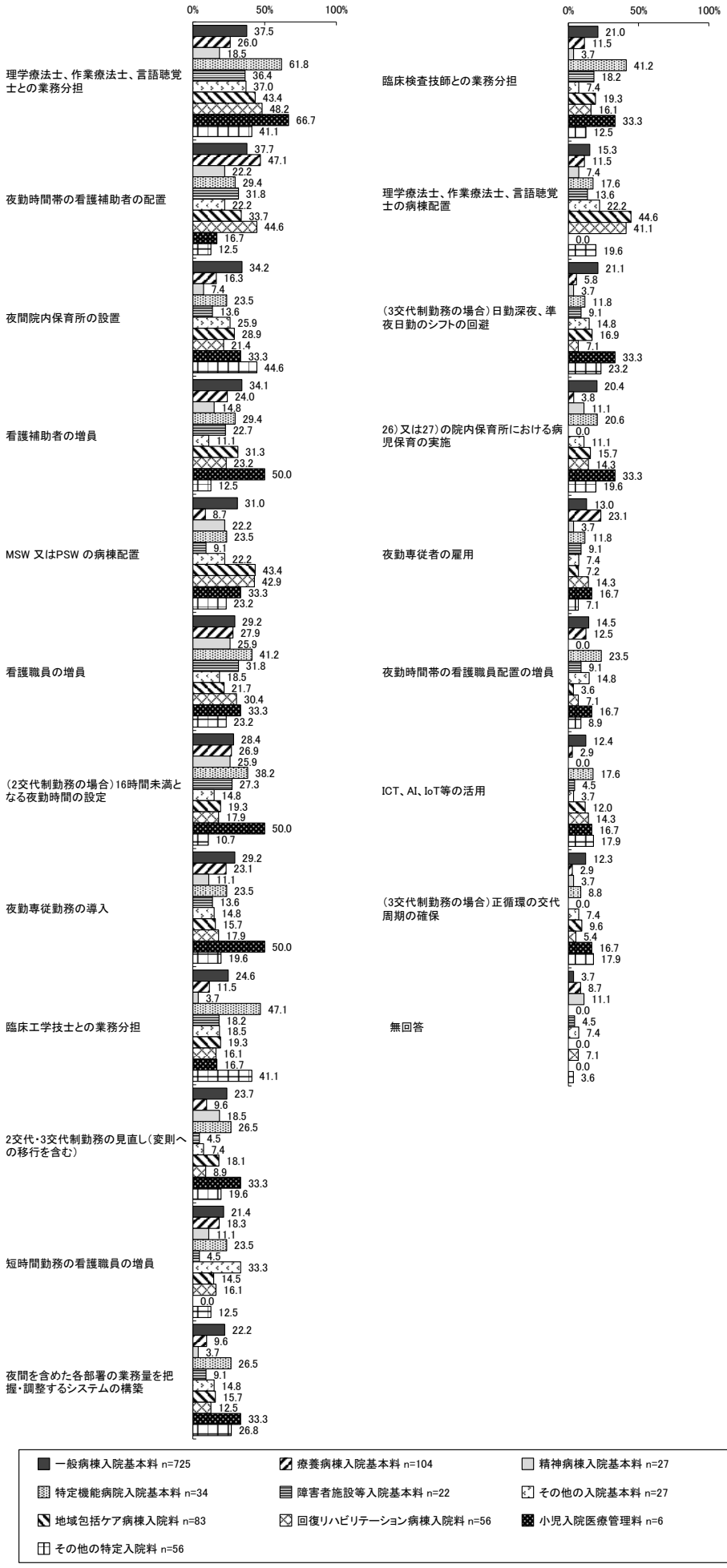
看護職員の負担軽減策として実施している取組についてみると、「看護補助者との業務分担」が最も多く、次いで、「勤務時間内の委員会の開催」や「残業が発生しないような業務量の調整」等が多く実施されていた。

図表４－97　看護職員の負担軽減策として実施している取組（複数回答）



図表 4 - 98　看護職員の負担軽減策として実施している取組（複数回答）（入院基本料別）

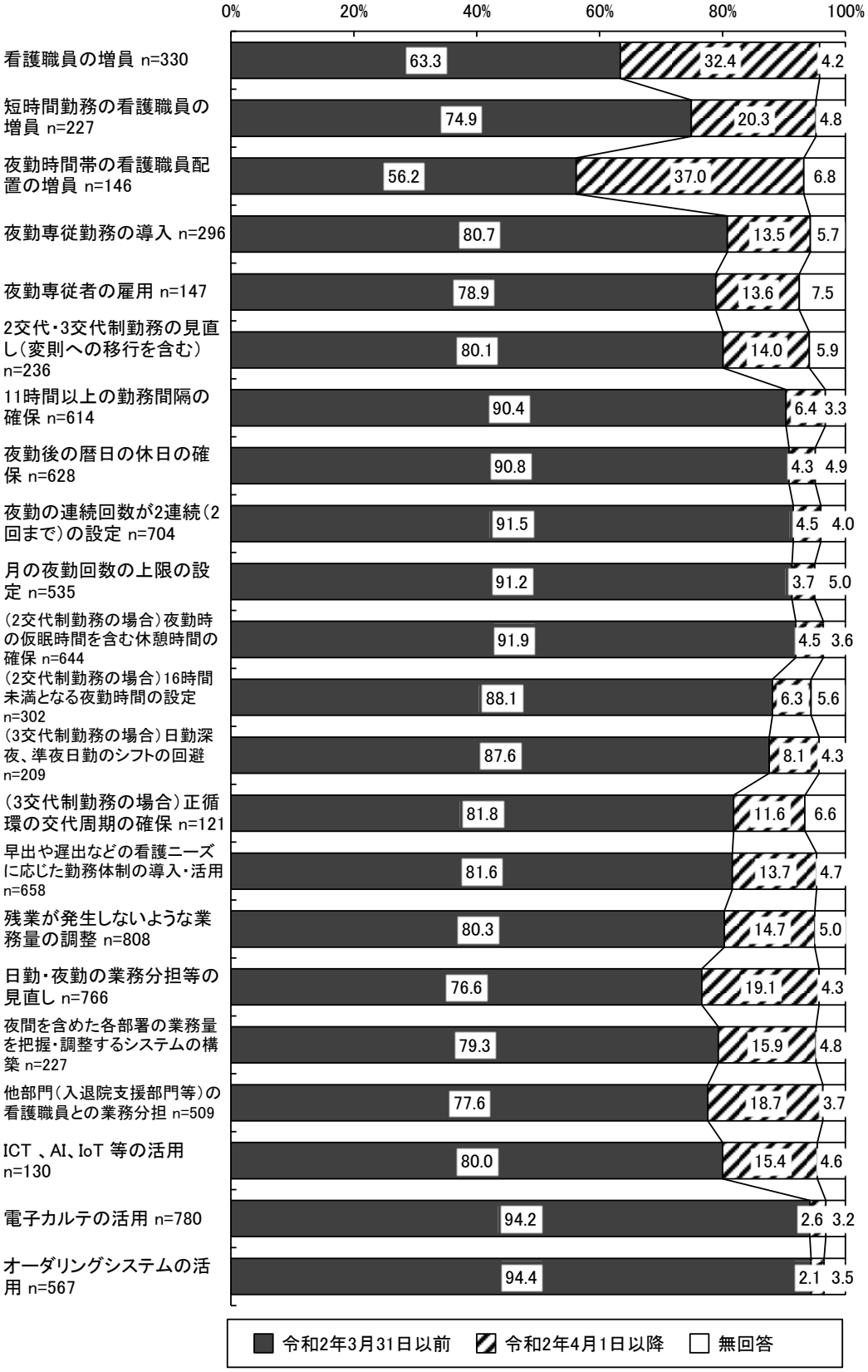


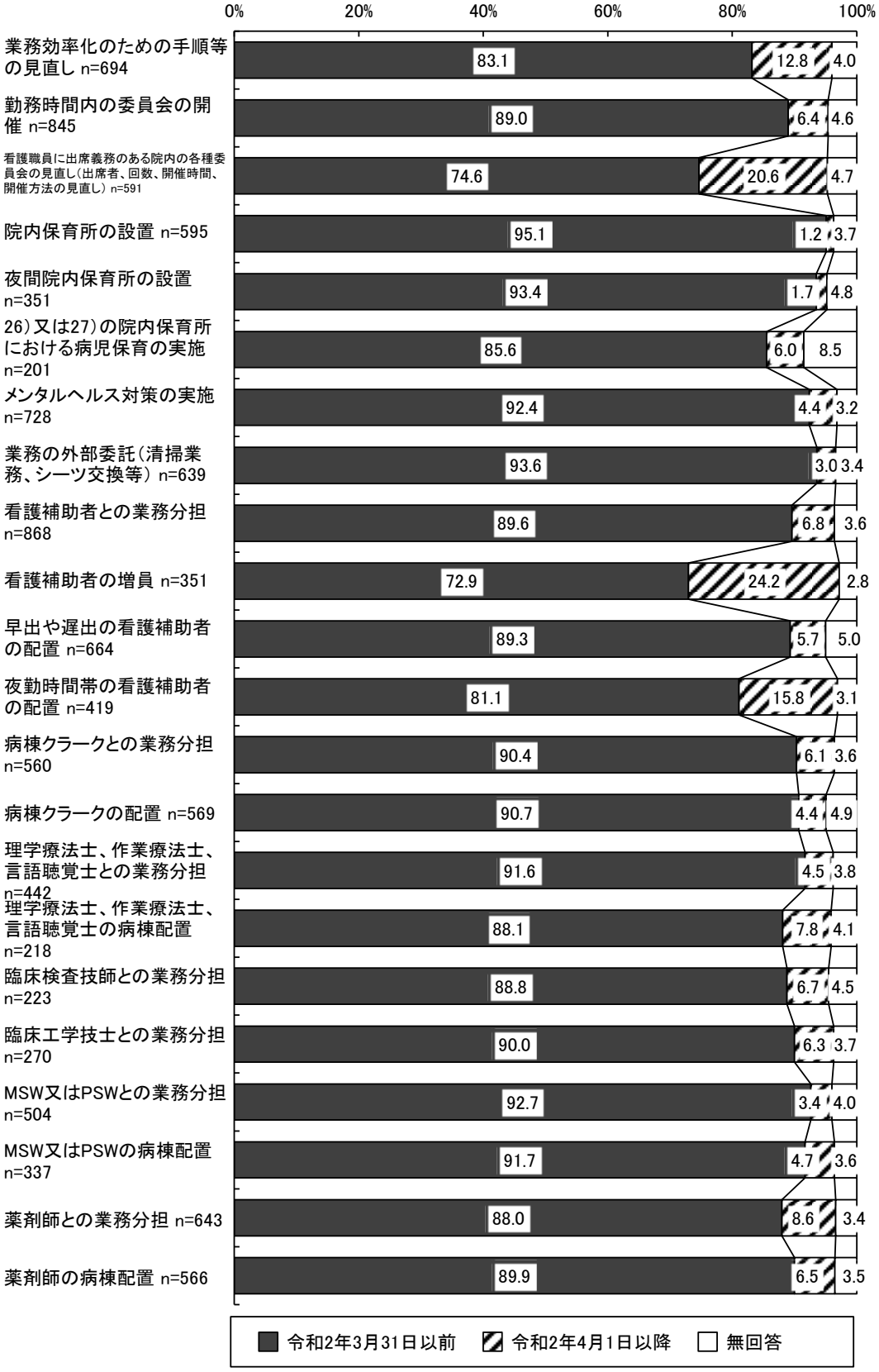

0%
50%
100%
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との業務分担
37.5
26.0
18.5
61.8
36.4
37.0
43.4
48.2
66.7
41.1
夜勤時間帯の看護補助者の配置
37.7
47.1
22.2
29.4
31.8
22.2
33.7
44.6
16.7
12.5
夜間院内保育所の設置
34.2
16.3
7.4
23.5
13.6
25.9
28.9
21.4
33.3
44.6
看護補助者の増員
34.1
24.0
14.8
29.4
22.7
11.1
31.3
23.2
50.0
12.5
MSW 又はPSW の病棟配置
31.0
8.7
22.2
23.5
9.1
22.2
43.4
42.9
33.3
23.2
看護職員の増員
29.2
27.9
25.9
41.2
31.8
18.5
21.7
30.4
33.3
23.2
(2交代制勤務の場合)16時間未満となる夜勤時間の設定
28.4
26.9
25.9
38.2
27.3
14.8
19.3
17.9
50.0
10.7
夜勤専従勤務の導入
29.2
23.1
11.1
23.5
13.6
14.8
15.7
17.9
50.0
19.6
臨床工学技士との業務分担
24.6
11.5
3.7
47.1
18.2
18.5
19.3
16.1
16.7
41.1
2交代・3交代制勤務の見直し(変則への移行を含む)
23.7
9.6
18.5
26.5
4.5
7.4
18.1
8.9
33.3
19.6
短時間勤務の看護職員の増員
21.4
18.3
11.1
23.5
4.5
33.3
14.5
16.1
0.0
12.5
夜間を含めた各部署の業務量を把握・調整するシステムの構築
22.2
9.6
3.7
26.5
9.1
14.8
15.7
12.5
33.3
26.8
臨床検査技師との業務分担
21.0
11.5
3.7
41.2
18.2
7.4
19.3
16.1
33.3
12.5
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の病棟配置
15.3
11.5
7.4
17.6
13.6
22.2
44.6
41.1
0.0
19.6
(3交代制勤務の場合)日勤深夜、準夜日勤のシフトの回避
21.1
5.8
3.7
11.8
9.1
14.8
16.9
7.1
33.3
23.2
26)又は27)の院内保育所における病児保育の実施
20.4
3.8
11.1
20.6
0.0
11.1
15.7
14.3
33.3
19.6
夜勤専従者の雇用
13.0
23.1
3.7
11.8
9.1
7.4
7.2
14.3
16.7
7.1
夜勤時間帯の看護職員配置の増員
14.5
12.5
0.0
23.5
9.1
14.8
3.6
7.1
16.7
8.9
ICT、AI、IoT等の活用
12.4
2.9
0.0
17.6
4.5
3.7
12.0
14.3
16.7
17.9
(3交代制勤務の場合)正循環の交代周期の確保
12.3
2.9
3.7
8.8
0.0
7.4
9.6
5.4
16.7
17.9
無回答
3.7
8.7
11.1
0.0
4.5
7.4
0.0
7.1
0.0
3.6
一般病棟入院基本料 n=725
療養病棟入院基本料 n=104
精神病棟入院基本料 n=27
特定機能病院入院基本料 n=34
障害者施設等入院基本料 n=22
その他の入院基本料 n=27
地域包括ケア病棟入院料 n=83
回復リハビリテーション病棟入院料 n=56
小児入院医療管理料 n=6
その他の特定入院料 n=56

①－2 看護職員の負担軽減策の取組開始時期

看護職員の負担軽減策の取組開始時期は、いずれの負担軽減策においても令和２年３月31日以前が最も多かった。

図表４－99 看護職員の負担軽減策の取組開始時期

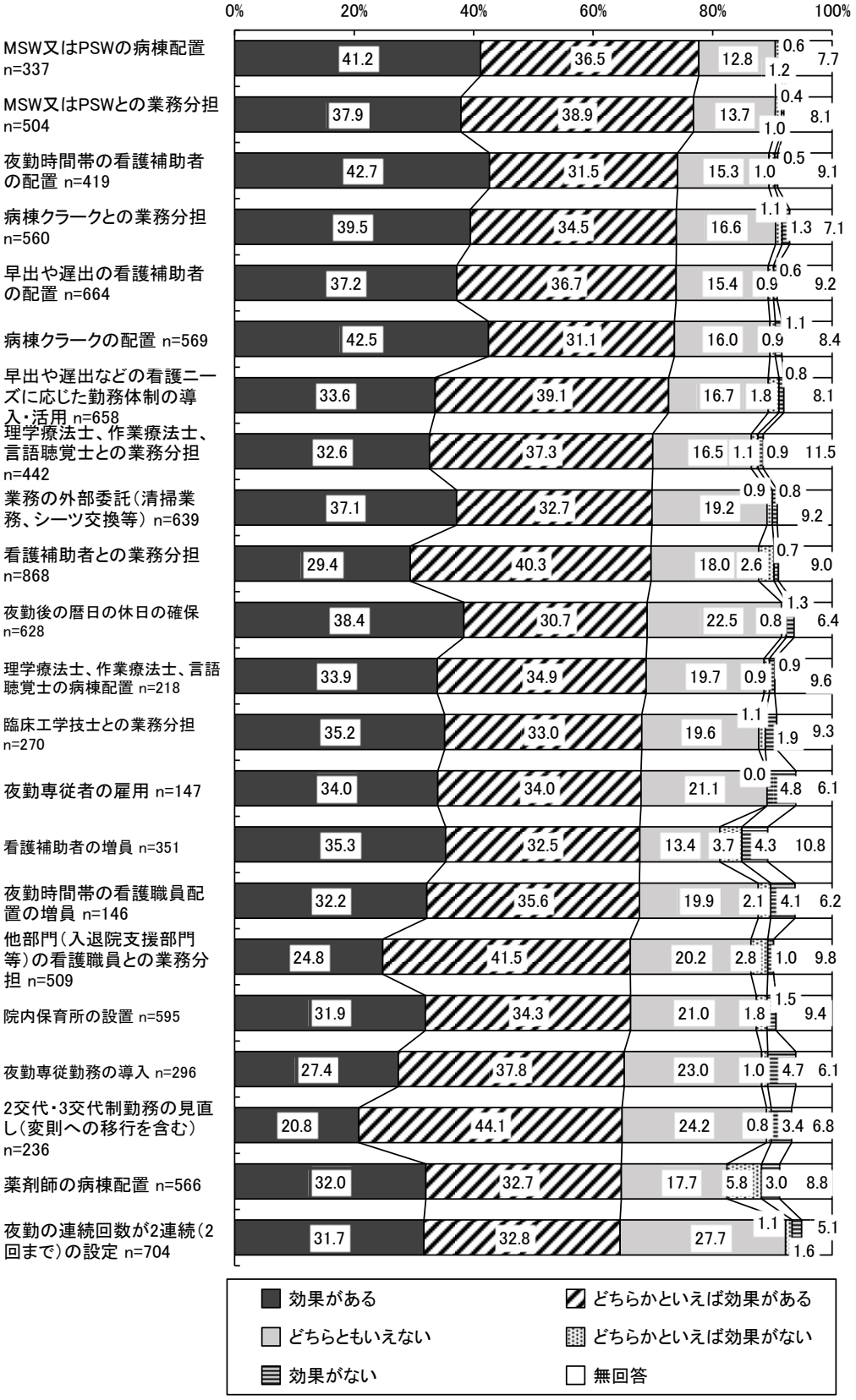


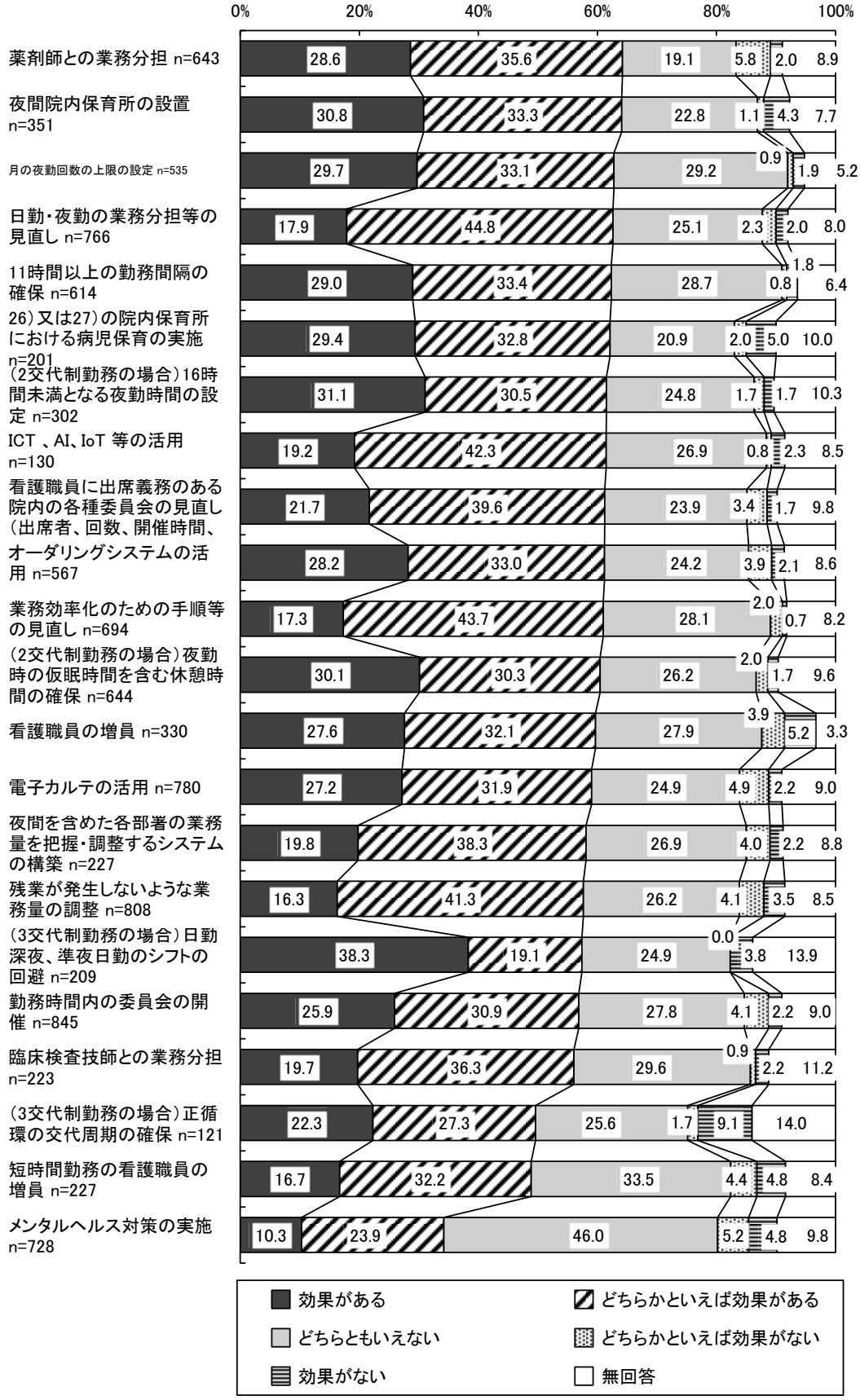

0%
20%
40%
60%
80%
100%
業務効率化のための手順等の見直し n=694
83.1
12.8
4.0
勤務時間内の委員会の開催 n=845
89.0
6.4
4.6
看護職員に出席義務のある院内の各種委員会の見直し（出席者、回数、開催時間、開催方法の見直し） n=591
74.6
20.6
4.7
院内保育所の設置 n=595
95.1
1.2
3.7
夜間院内保育所の設置 n=351
93.4
1.7
4.8
26）又は27）の院内保育所における病児保育の実施 n=201
85.6
6.0
8.5
メンタルヘルス対策の実施 n=728
92.4
4.4
3.2
業務の外部委託（清掃業務、シーツ交換等） n=639
93.6
3.0
3.4
看護補助者との業務分担 n=868
89.6
6.8
3.6
看護補助者の増員 n=351
72.9
24.2
2.8
早出や遅出の看護補助者の配置 n=664
89.3
5.7
5.0
夜勤時間帯の看護補助者の配置 n=419
81.1
15.8
3.1
病棟クラークとの業務分担 n=560
90.4
6.1
3.6
病棟クラークの配置 n=569
90.7
4.4
4.9
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との業務分担 n=442
91.6
4.5
3.8
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の病棟配置 n=218
88.1
7.8
4.1
臨床検査技師との業務分担 n=223
88.8
6.7
4.5
臨床工学技士との業務分担 n=270
90.0
6.3
3.7
MSW又はPSWとの業務分担 n=504
92.7
3.4
4.0
MSW又はPSWの病棟配置 n=337
91.7
4.7
3.6
薬剤師との業務分担 n=643
88.0
8.6
3.4
薬剤師の病棟配置 n=566
89.9
6.5
3.5
令和2年3月31日以前
令和2年4月1日以降
無回答

①－3 看護職員の負担軽減の効果

看護職員の負担軽減の効果のうち、特に、「早出や遅出などの看護ニーズに応じた勤務体制の導入・活用」や「MSW 又は PSW との業務分担、病棟配置」が、「効果がある」・「どちらかといえば効果がある」との回答が多かった。

図表 4 - 100　　看護職員の負担軽減の効果（当該負担軽減策を実施している病棟）

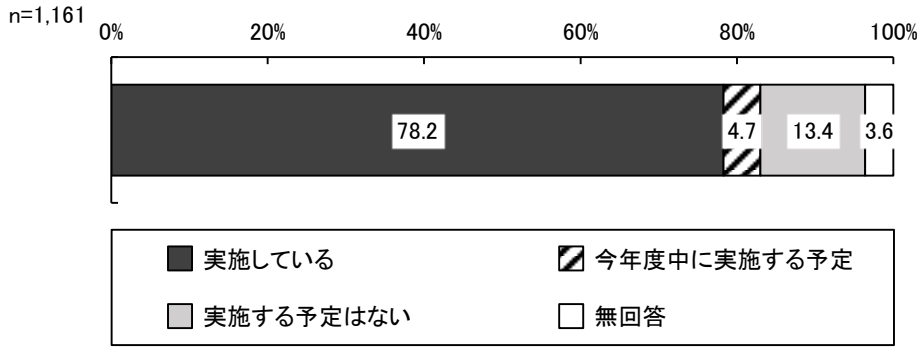



0%
20%
40%
60%
80%
100%
薬剤師との業務分担 n=643
28.6
35.6
19.1
5.8
2.0
8.9
夜間院内保育所の設置 n=351
30.8
33.3
22.8
1.1
4.3
7.7
月の夜勤回数の上限の設定 n=535
29.7
33.1
29.2
0.9
1.9
5.2
日勤・夜勤の業務分担等の見直し n=766
17.9
44.8
25.1
2.3
2.0
8.0
11時間以上の勤務間隔の確保 n=614
29.0
33.4
28.7
0.8
1.8
6.4
26）又は27）の院内保育所における病児保育の実施 n=201
29.4
32.8
20.9
2.0
5.0
10.0
（2交代制勤務の場合）16時間未満となる夜勤時間の設定 n=302
31.1
30.5
24.8
1.7
1.7
10.3
ICT 、AI、IoT 等の活用 n=130
19.2
42.3
26.9
0.8
2.3
8.5
看護職員に出席義務のある院内の各種委員会の見直し（出席者、回数、開催時間、
21.7
39.6
23.9
3.4
1.7
9.8
オーダリングシステムの活用 n=567
28.2
33.0
24.2
3.9
2.1
8.6
業務効率化のための手順等の見直し n=694
17.3
43.7
28.1
2.0
0.7
8.2
（2交代制勤務の場合）夜勤時の仮眠時間を含む休憩時間の確保 n=644
30.1
30.3
26.2
2.0
1.7
9.6
看護職員の増員 n=330
27.6
32.1
27.9
3.9
5.2
3.3
電子カルテの活用 n=780
27.2
31.9
24.9
4.9
2.2
9.0
夜間を含めた各部署の業務量を把握・調整するシステムの構築 n=227
19.8
38.3
26.9
4.0
2.2
8.8
残業が発生しないような業務量の調整 n=808
16.3
41.3
26.2
4.1
3.5
8.5
（3交代制勤務の場合）日勤深夜、準夜日勤のシフトの回避 n=209
38.3
19.1
24.9
0.0
3.8
13.9
勤務時間内の委員会の開催 n=845
25.9
30.9
27.8
4.1
2.2
9.0
臨床検査技師との業務分担 n=223
19.7
36.3
29.6
0.9
2.2
11.2
（3交代制勤務の場合）正循環の交代周期の確保 n=121
22.3
27.3
25.6
1.7
9.1
14.0
短時間勤務の看護職員の増員 n=227
16.7
32.2
33.5
4.4
4.8
8.4
メンタルヘルス対策の実施 n=728
10.3
23.9
46.0
5.2
4.8
9.8
効果がある
どちらかといえば効果がある
どちらともいえない
どちらかといえば効果がない
効果がない
無回答

①－4　看護記録に係る負担軽減のための取組の実施状況

看護記録に係る負担軽減のための取組については、「実施している」（78.2%）が最も多かった。

図表 4 - 101　看護記録に係る負担軽減のための取組の実施状況

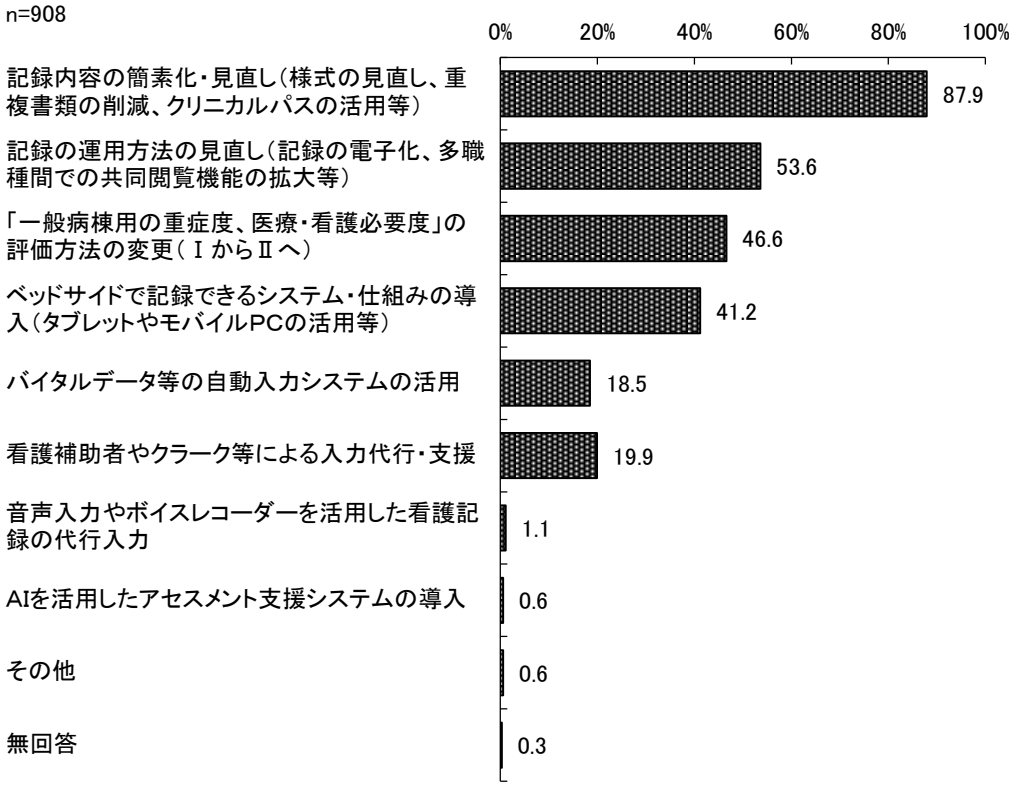


①－5　看護記録に係る負担軽減の取組を実施していると回答した場合の実施している取組

実施している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」（87.9%）であった。

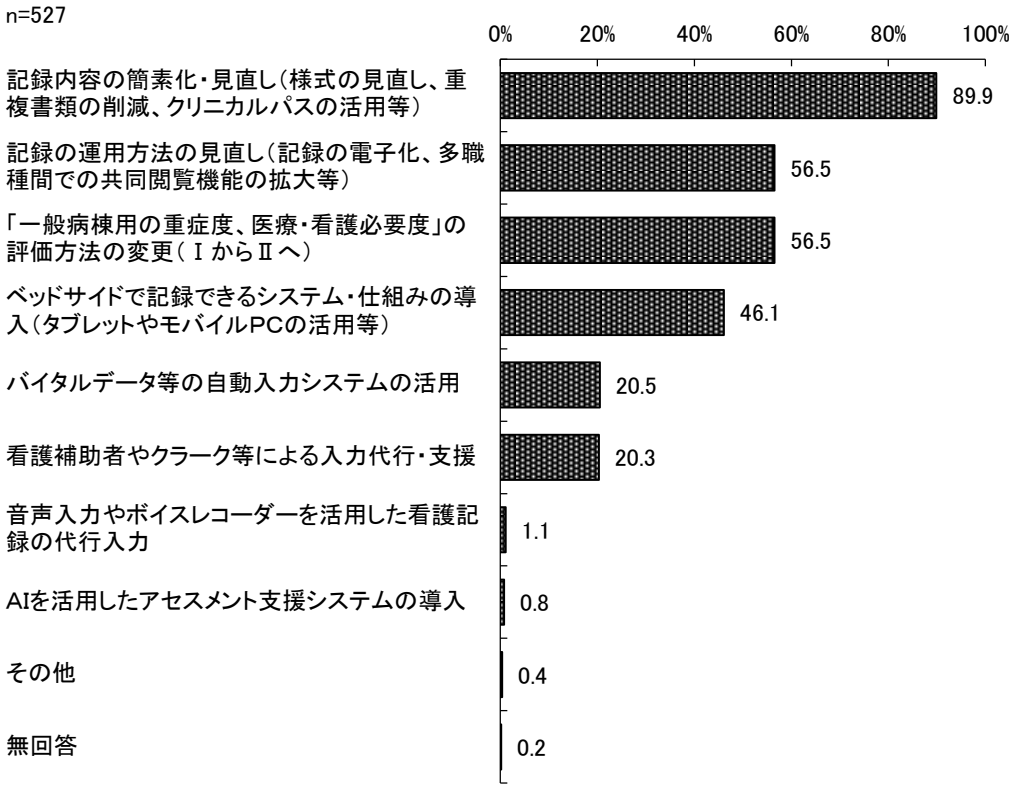
なお、「その他」の回答には、「ひな型作成」、「血糖値自動入力」、「電子カルテ入力の単純化」等があった。

図表 4 - 102　看護記録に係る負担軽減のため実施している取組（複数回答）



重症度、医療・看護必要度Ⅰもしくは Ⅱが施設基準となっている入院料の病棟で、看護記録に係る負担軽減のために実施している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」（89.9%）であった。

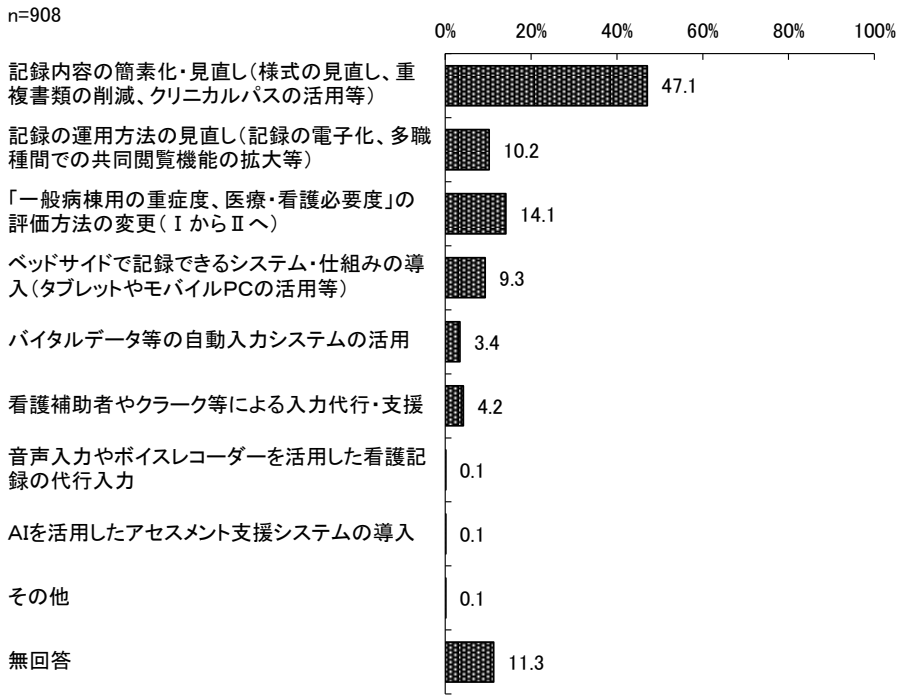
図表 4 - 103　看護記録に係る負担軽減のため実施している取組（複数回答）
（重症度、医療・看護必要度Ⅰもしくは Ⅱが施設基準となっている入院料の病棟）



①－６ 実施している取組のうち、看護記録に係る負担軽減に最も寄与している取組

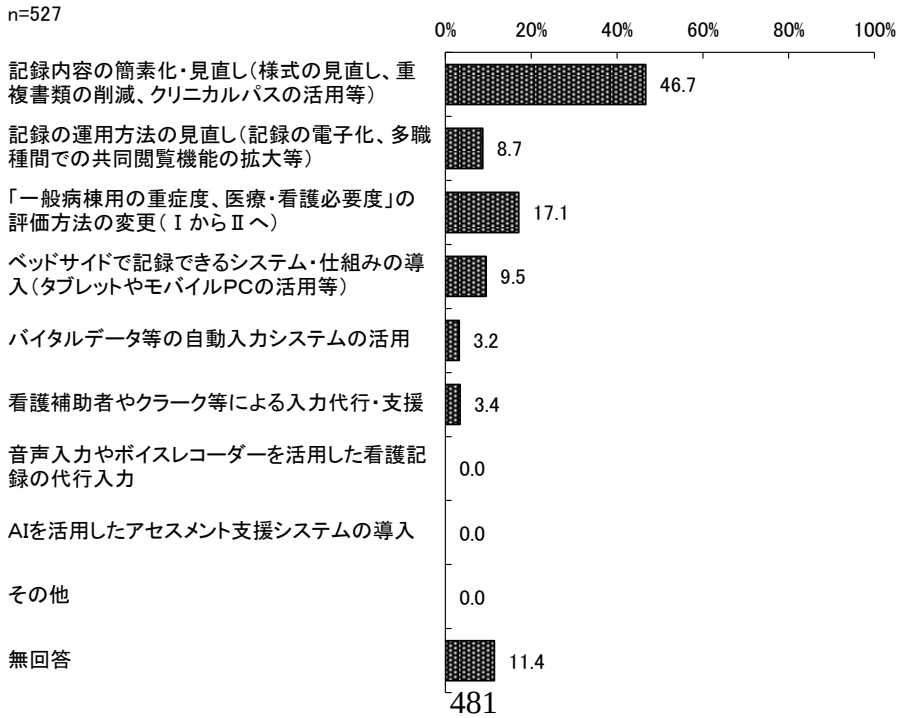
実施している取組のうち、看護記録に係る負担軽減に最も寄与している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」（47.1%）であった。

図表 4 - 104　実施している取組のうち、看護記録に係る最も負担軽減に寄与している取組



重症度、医療・看護必要度Ⅰもしくは Ⅱが施設基準となっている入院料の病棟で実施している取組のうち、看護記録に係る最も負担軽減に寄与している取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」（46.7%）であった。

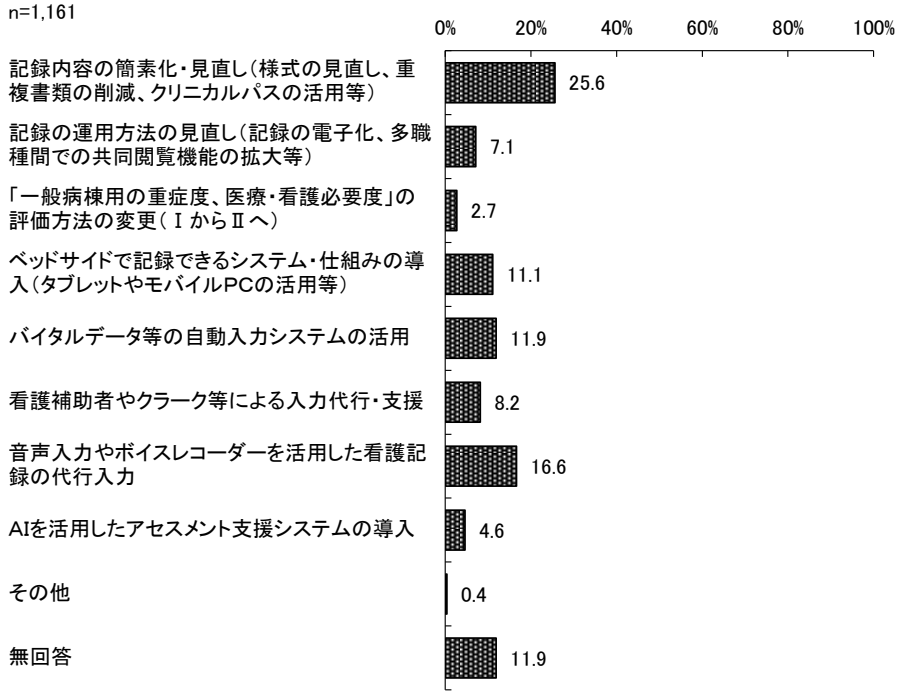
図表 4 - 105　実施している取組のうち、看護記録に係る最も負担軽減に寄与している取組
（重症度、医療・看護必要度Ⅰもしくは Ⅱが施設基準となっている入院料の病棟）



①－7　実施の有無に関わらず、看護記録に係る負担軽減に最も寄与すると思われる取組

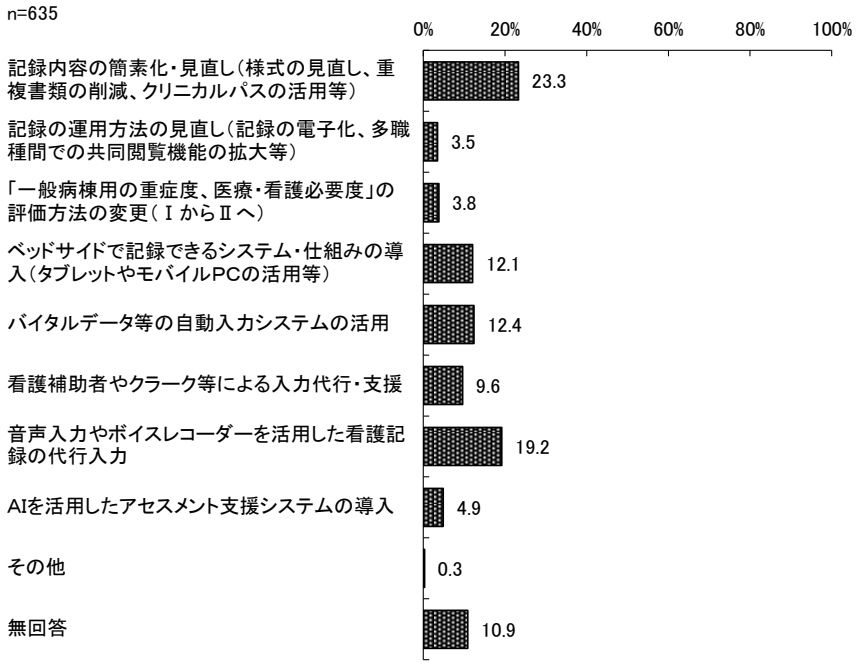
実施の有無に関わらず、看護記録に係る負担軽減に最も寄与すると思われる取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」（25.6%）であった。

図表 4 - 106　実施の有無に関わらず、看護記録に係る負担軽減に最も寄与すると思われる取組



重症度、医療・看護必要度ⅠもしくはⅡが施設基準となっている入院料の病棟で、看護記録に係る負担軽減に最も寄与すると思われる取組で最も多かったものは「記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）」（23.3%）であった。

図表 4 - 107　実施の有無に関わらず、看護記録に係る負担軽減に最も寄与すると思われる取組（重症度、医療・看護必要度ⅠもしくはⅡが施設基準となっている入院料の病棟）



② その他、看護職員の負担軽減に効果のある取組

その他、看護職員の負担軽減に効果のある取組として、次のような回答があった。

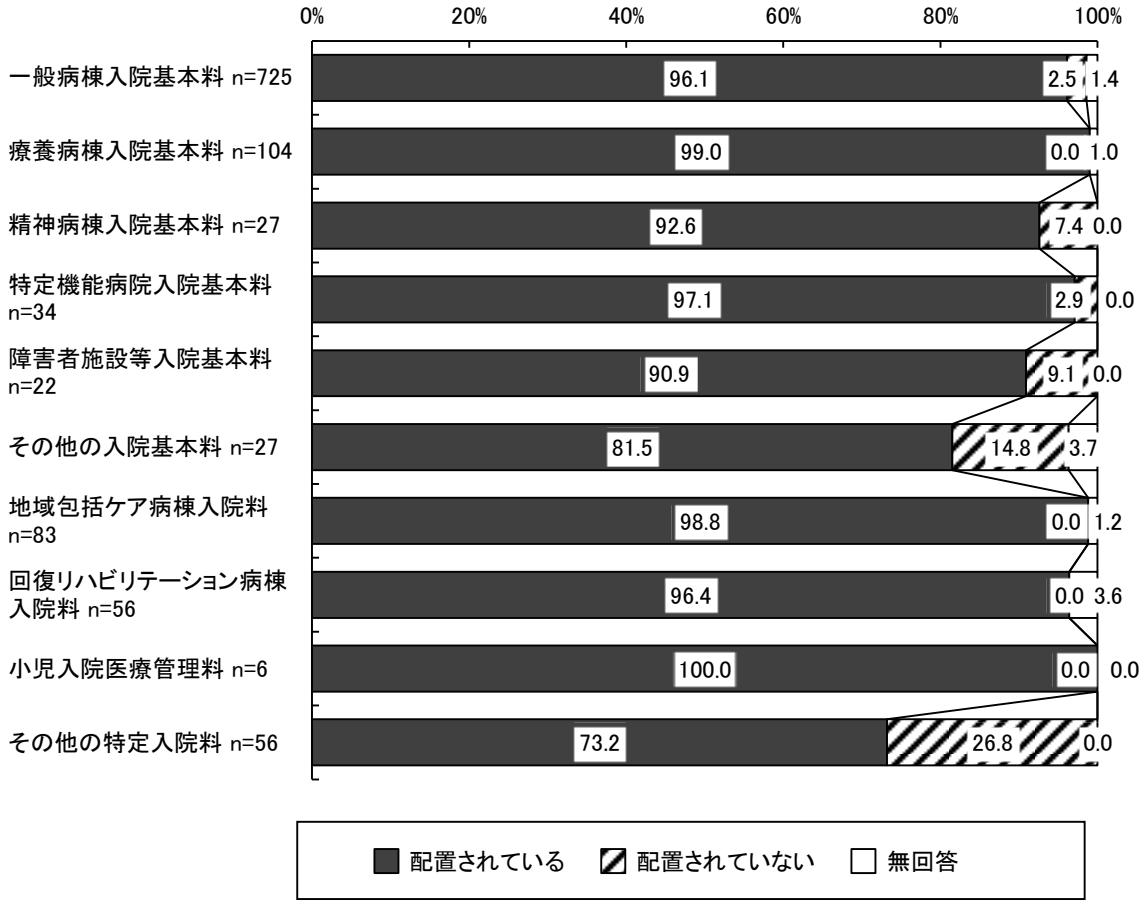
- 看護補助者やクラーク等による入力代行、支援。
- 音声入力や自動入力設備の改善。
- 電子カルテの改良（全国的に統一された電子カルテの開発、多職種間での入力データの共有、必要度データの入力が日々の記録と連動できる機能、ＡＩ活用等）。
- オーダリングシステムの活用、ドクタークラークの増員、医師の増員、欠員の早期補充、他部門との協力体制。
- リモート面会の完全導入。
- 入院時の書類の削減、看護師以外の方が関われる体制。
- 認知症寝たきりの患者のケアの負担軽減。
- 診療報酬、加算に関係する記録や書類入力の簡素化
- 看護補助者による認知症患者の見守り、ケア（レクリエーション）。
- 日常生活介助に理学療法士の介入。
- 薬剤師の病棟専従化（病棟における持参薬や処方薬作成について薬剤師が行うことの制度化、病棟配置が行われていても、実状は常時おらず看護師が作成し業務を圧迫している）。
- 看護職員の増員、介護職員の採用。
- 薬剤業務に関する薬剤師の担当業務の分担（準備、確認、配薬）。
- 特定行為研修修了者の増員。
- 多様な働き方の推進（勤務時間、勤務内容等）。

（４） 多職種との連携の状況等

（ア） 病棟における看護補助者の配置状況

病棟における看護補助者の配置状況については、「配置されている」がどの入院基本料においても最も多く 70%を超えていた。

図表 4 - 108　病棟における看護補助者の配置状況（入院基本料別）

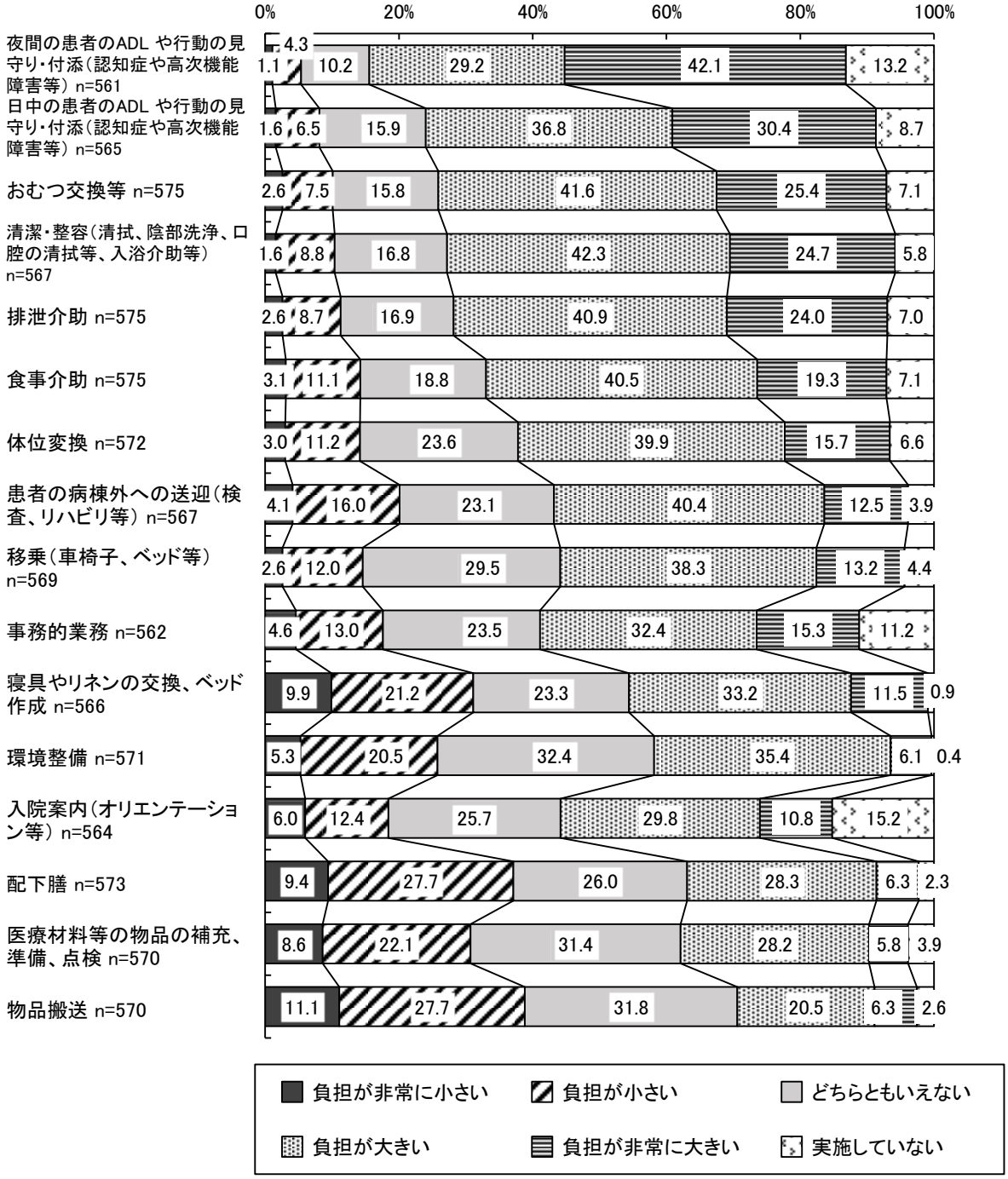


①－1 病棟における各業務の状況

1）業務負担感

業務負担感については、負担が非常に小さいのは「物品搬送」（11.1%）が最も多く、負担が非常に大きいのは「夜間の患者の ADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等）」（42.1%）であった。

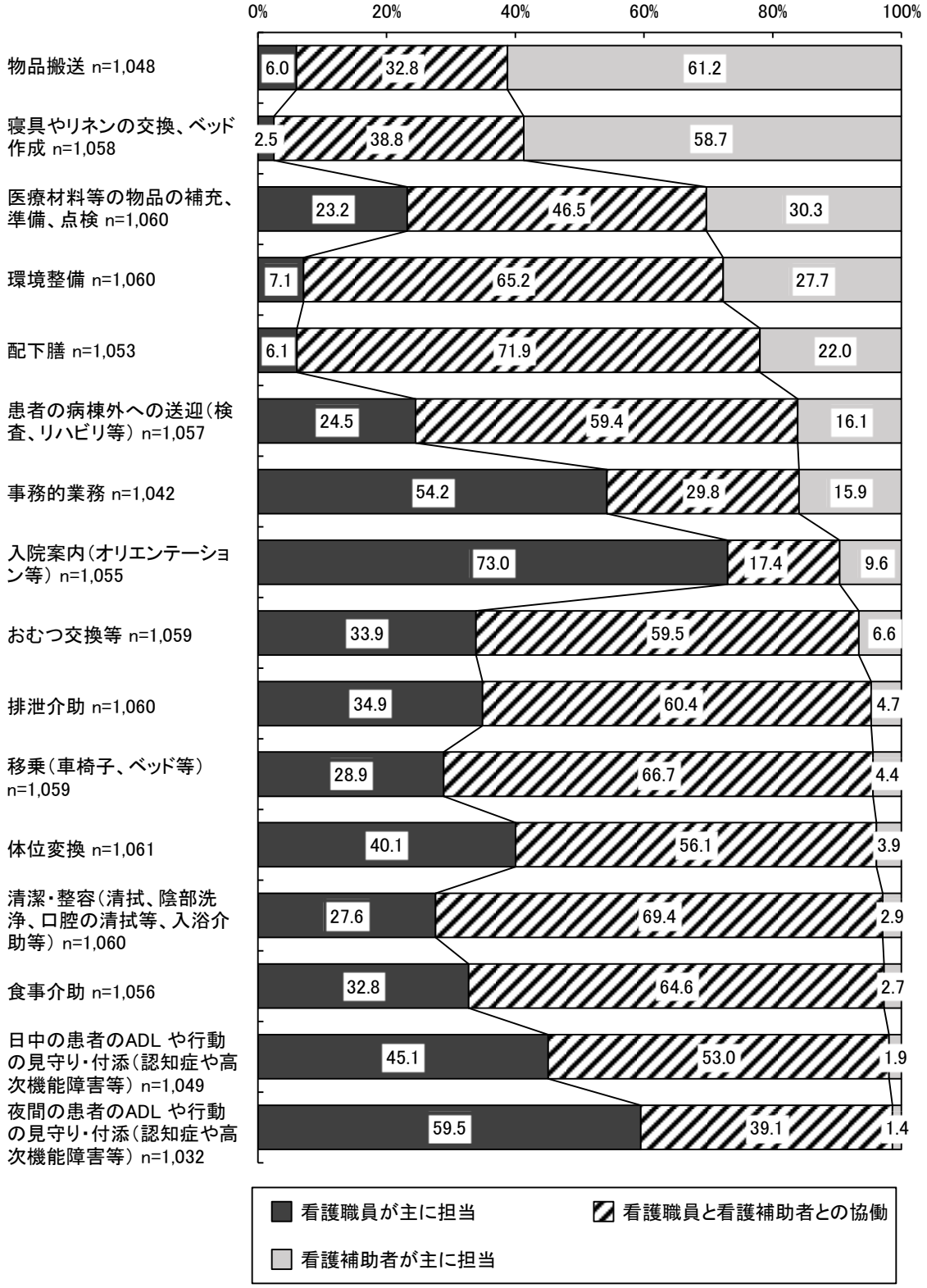
図表 4 - 109　業務負担感（看護補助者が配置されている病棟）（無回答を除く）



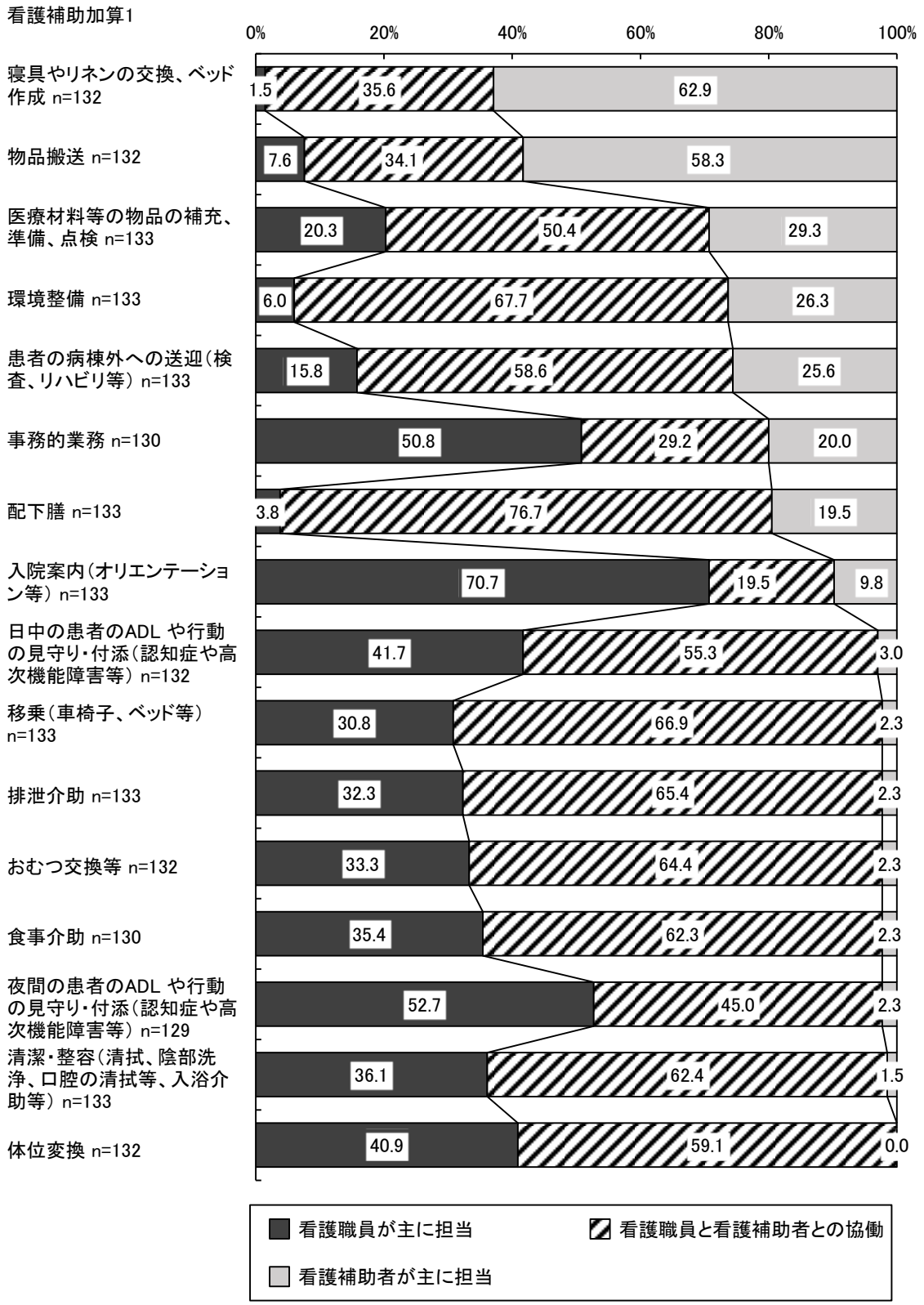
2）看護補助者との業務分担状況

看護補助者との業務分担状況については、看護職員が主に担当している業務で最も多かったのは「入院案内（オリエンテーション等）」(73.0%)、看護職員と看護補助者との協働で最も多かったのは「配下膳」(71.9%)、看護補助者が主に担当している業務で最も多かったのは「物品搬送」(61.2%)、「寝具やリネンの交換、ベッド作成」(58.7%）であった。

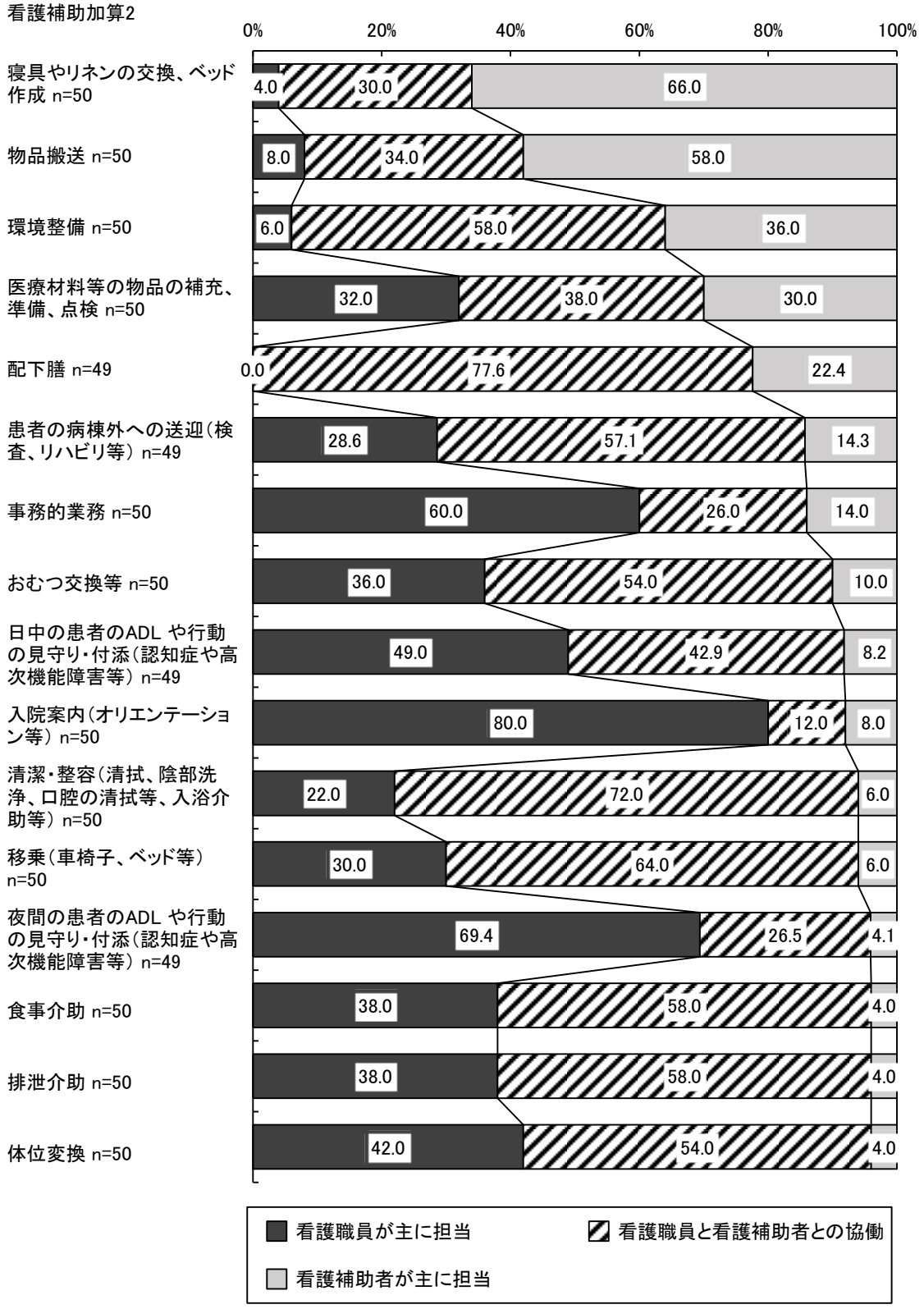
図表 4 - 110　看護補助者との業務分担状況（看護補助者が配置されている病棟）（無回答を除く）



図表 4 - 111　看護補助者との業務分担状況（看護補助者が配置されている病棟）（無回答を除く）（看護補助加算の届出の有無別）

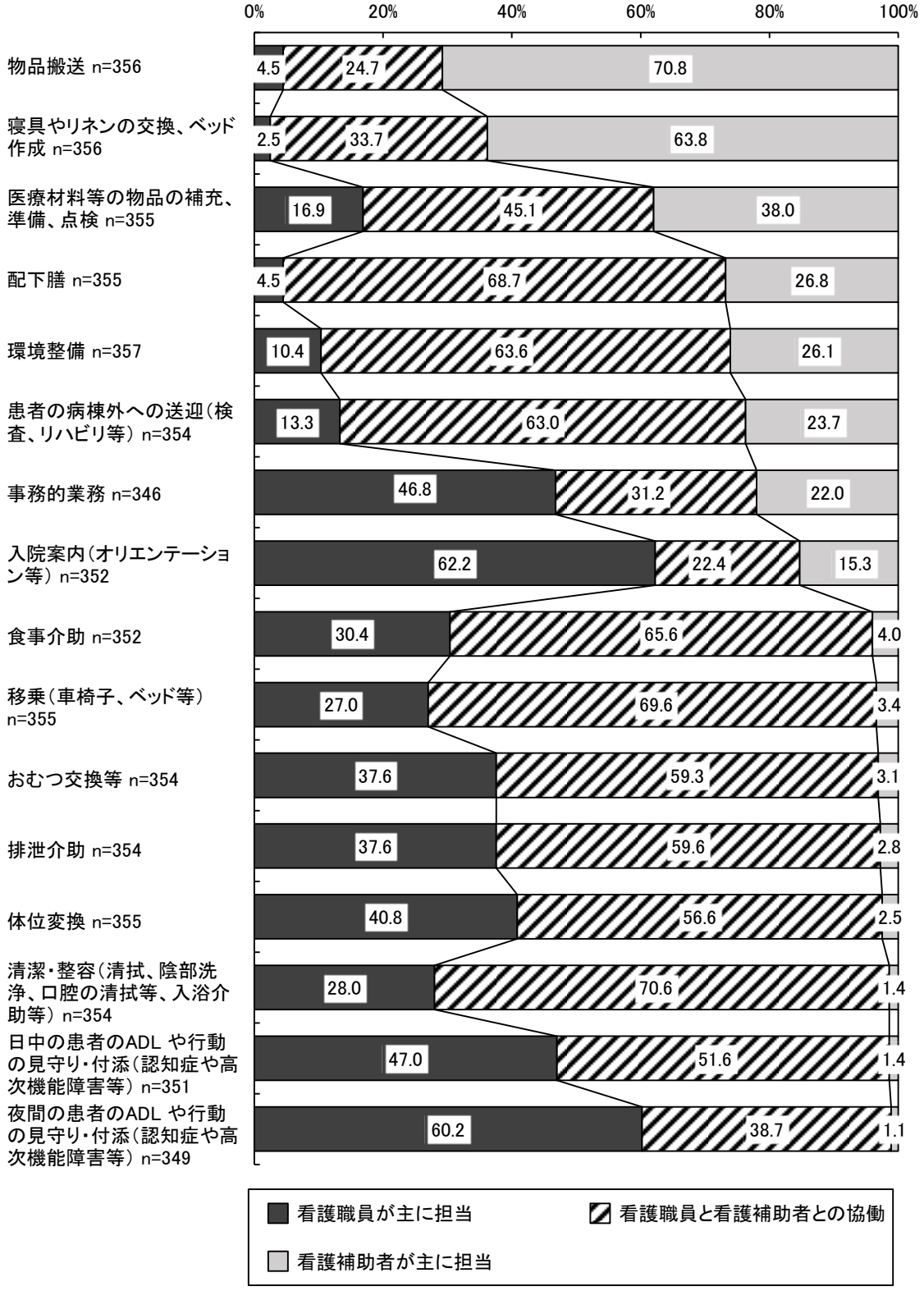


看護補助加算2

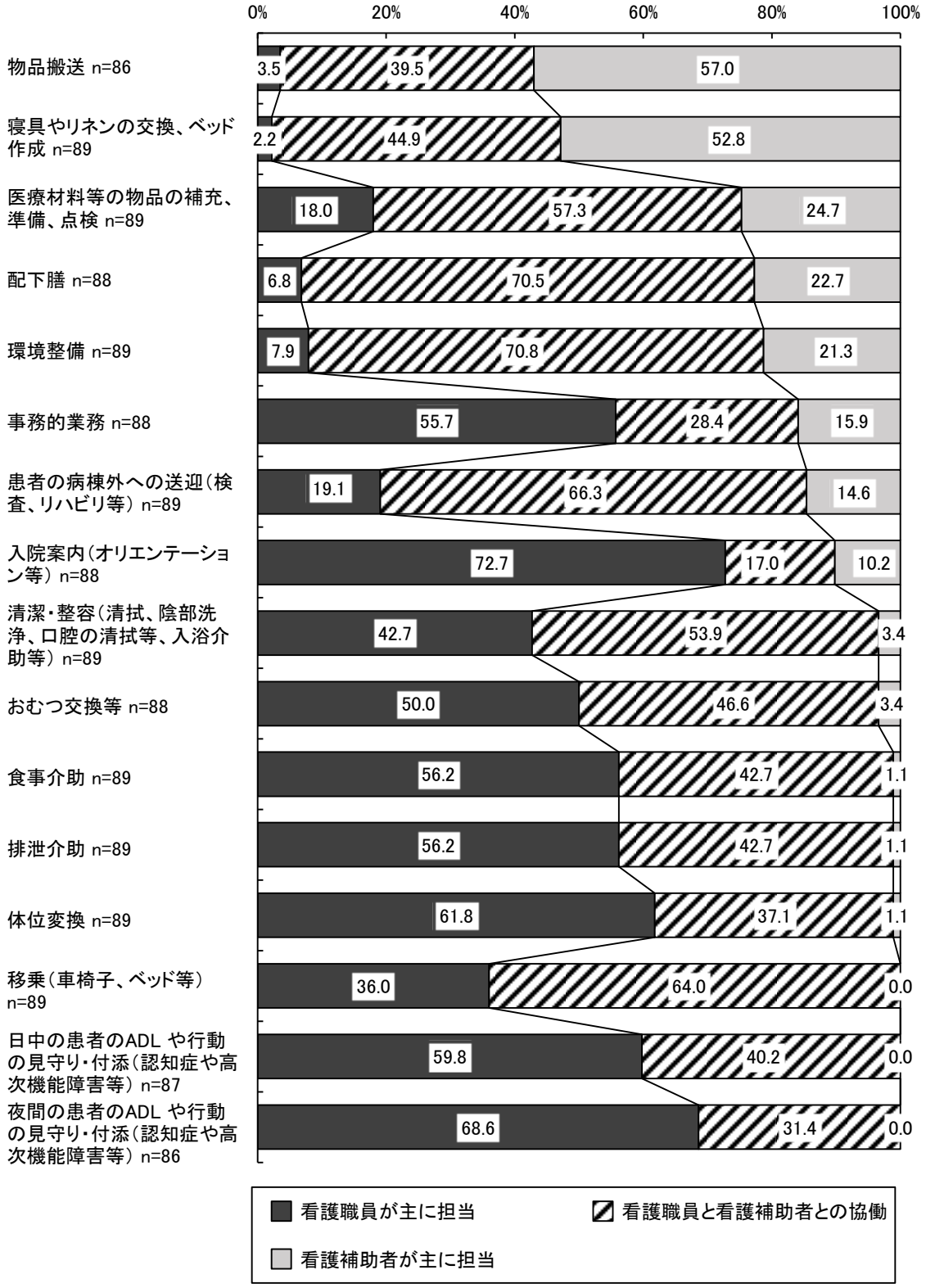

0%
20%
40%
60%
80%
100%
寝具やリネンの交換、ベッド作成 n=50
4.0
30.0
66.0
物品搬送 n=50
8.0
34.0
58.0
環境整備 n=50
6.0
58.0
36.0
医療材料等の物品の補充、準備、点検 n=50
32.0
38.0
30.0
配下膳 n=49
0.0
77.6
22.4
患者の病棟外への送迎（検査、リハビリ等） n=49
28.6
57.1
14.3
事務的業務 n=50
60.0
26.0
14.0
おむつ交換等 n=50
36.0
54.0
10.0
日中の患者のADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等） n=49
49.0
42.9
8.2
入院案内（オリエンテーション等） n=50
80.0
12.0
8.0
清潔・整容（清拭、陰部洗浄、口腔の清拭等、入浴介助等） n=50
22.0
72.0
6.0
移乗（車椅子、ベッド等） n=50
30.0
64.0
6.0
夜間の患者のADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等） n=49
69.4
26.5
4.1
食事介助 n=50
38.0
58.0
4.0
排泄介助 n=50
38.0
58.0
4.0
体位変換 n=50
42.0
54.0
4.0
看護職員が主に担当
看護職員と看護補助者との協働
看護補助者が主に担当

図表 4 - 112　看護補助者との業務分担状況（看護補助者が配置されている病棟）（無回答を除く）（急性期補助体制加算の届出の有無別）

25対1（看護補助者5 割以上）



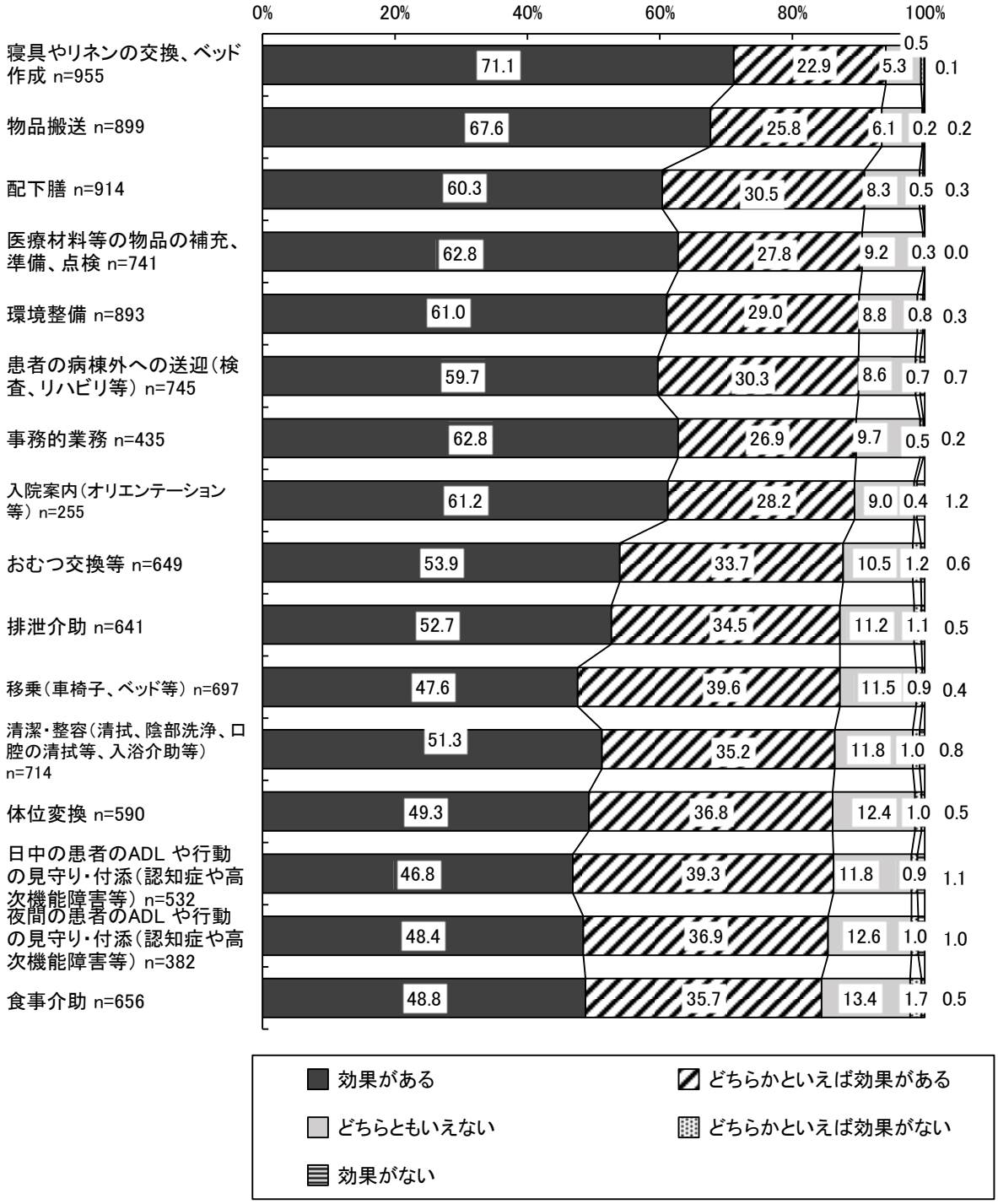
25対1（看護補助者5 割未満）



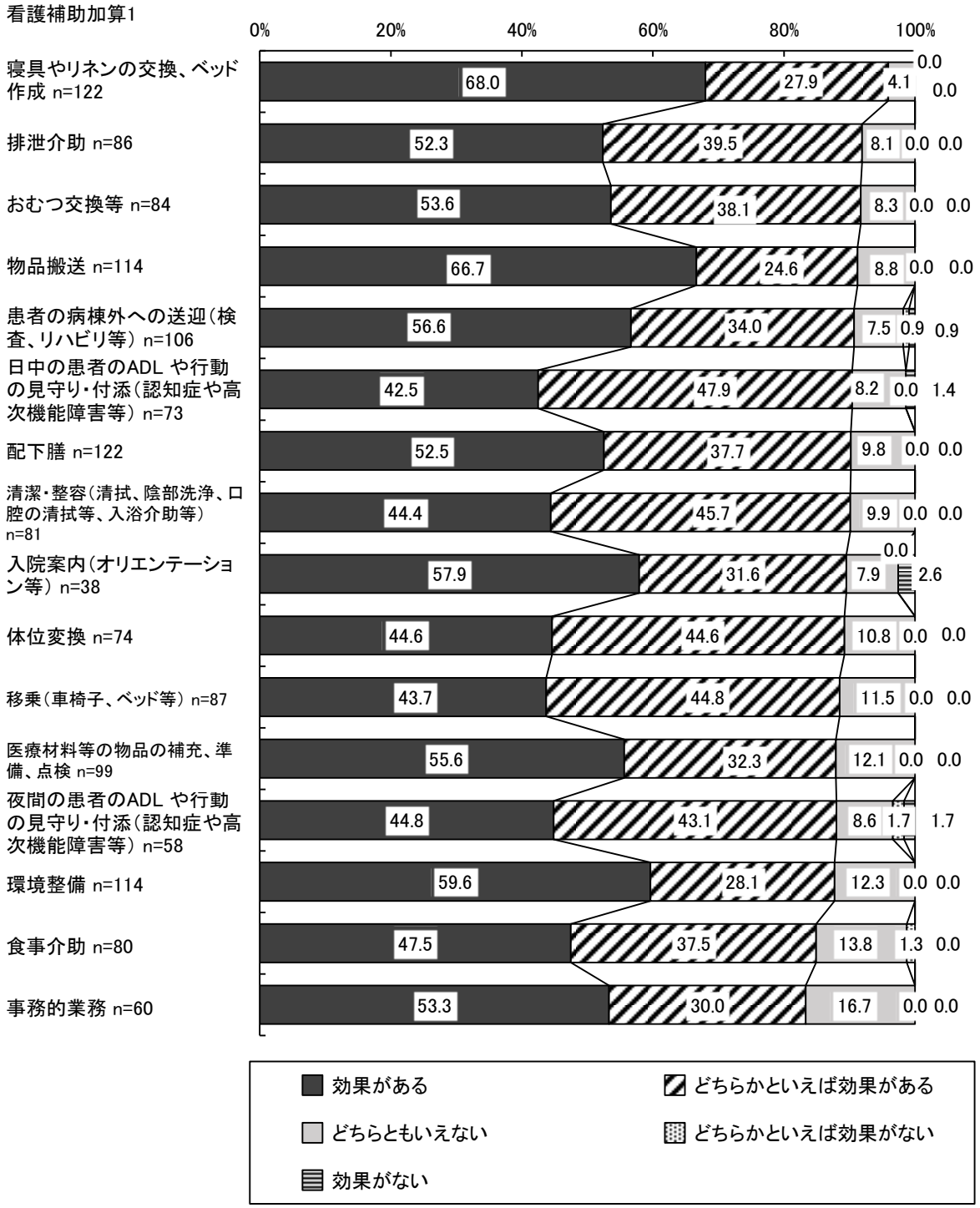
3）看護職員の負担軽減の効果
（2）において看護職員と看護補助者との協働もしくは看護補助者が主に担当する業務について）

看護職員の負担軽減の効果については、「効果がある」で最も多かったのは「寝具やリネンの交換、ベッド作成」（71.1%）であった。

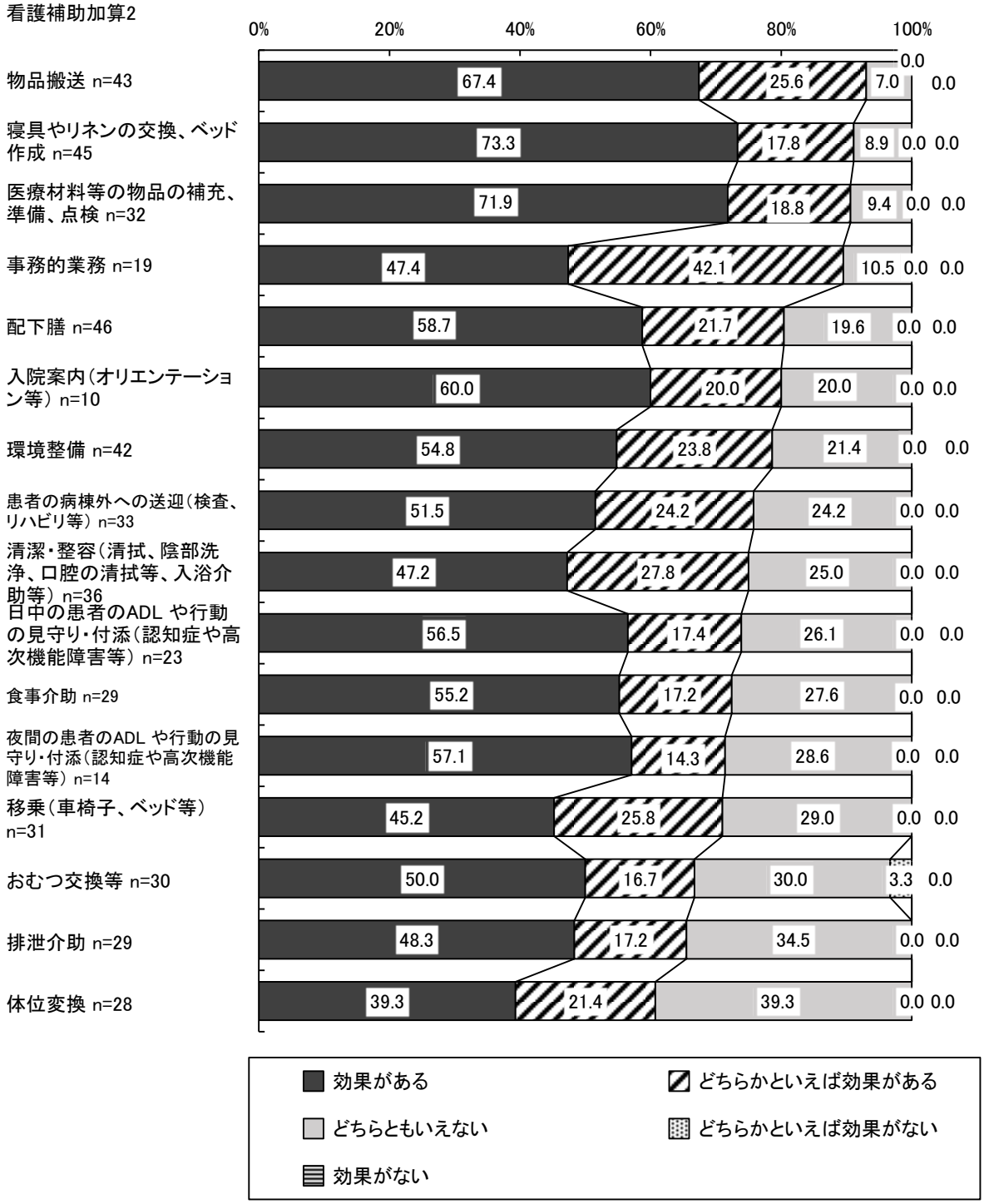
図表 4 - 113　看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果
（看護補助者が配置されている病棟）
（無回答を除く）



図表 4 - 114　看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果
（看護補助者が配置されている病棟）
（無回答を除く）（看護補助加算の届出の有無別）

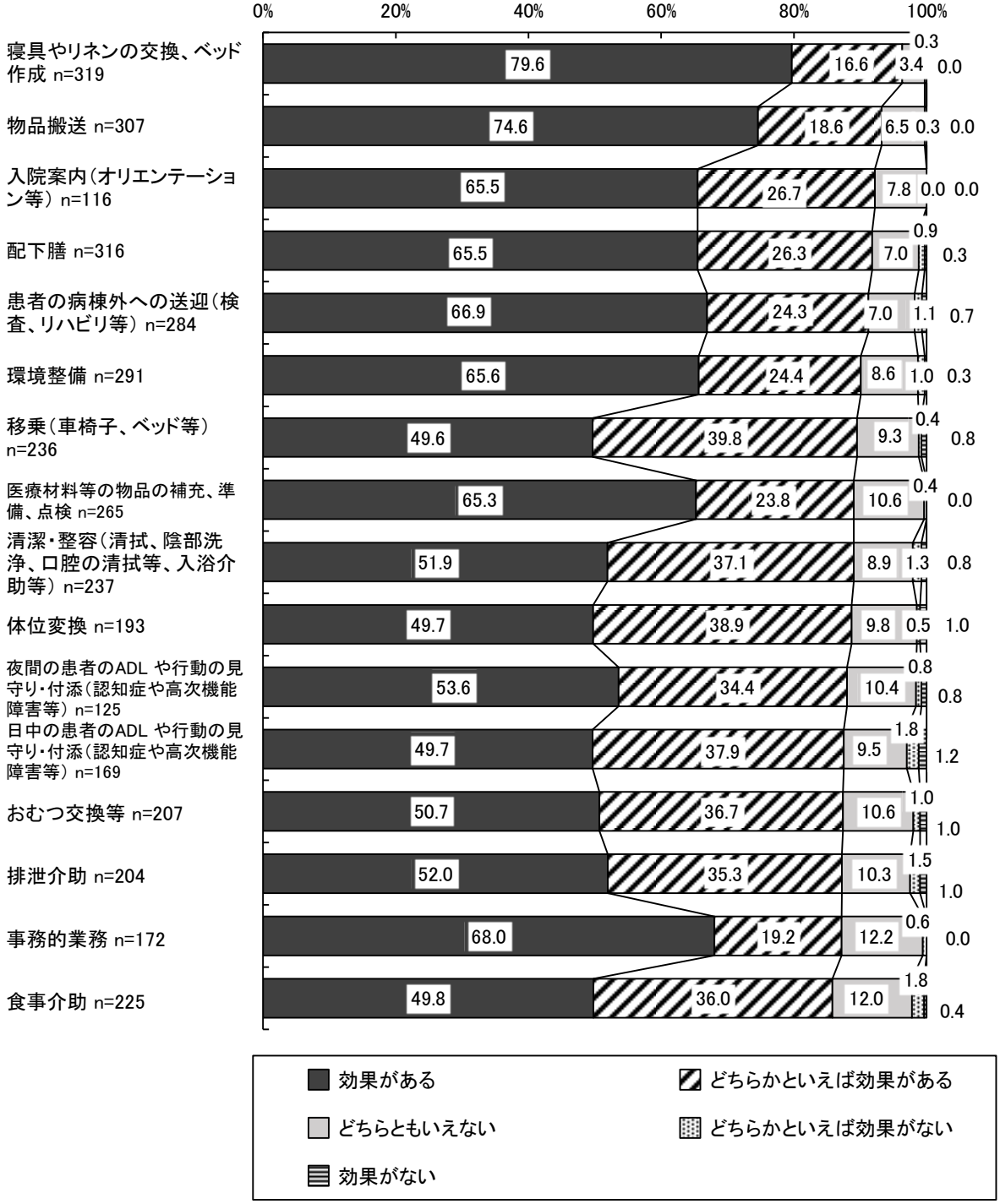


看護補助加算2

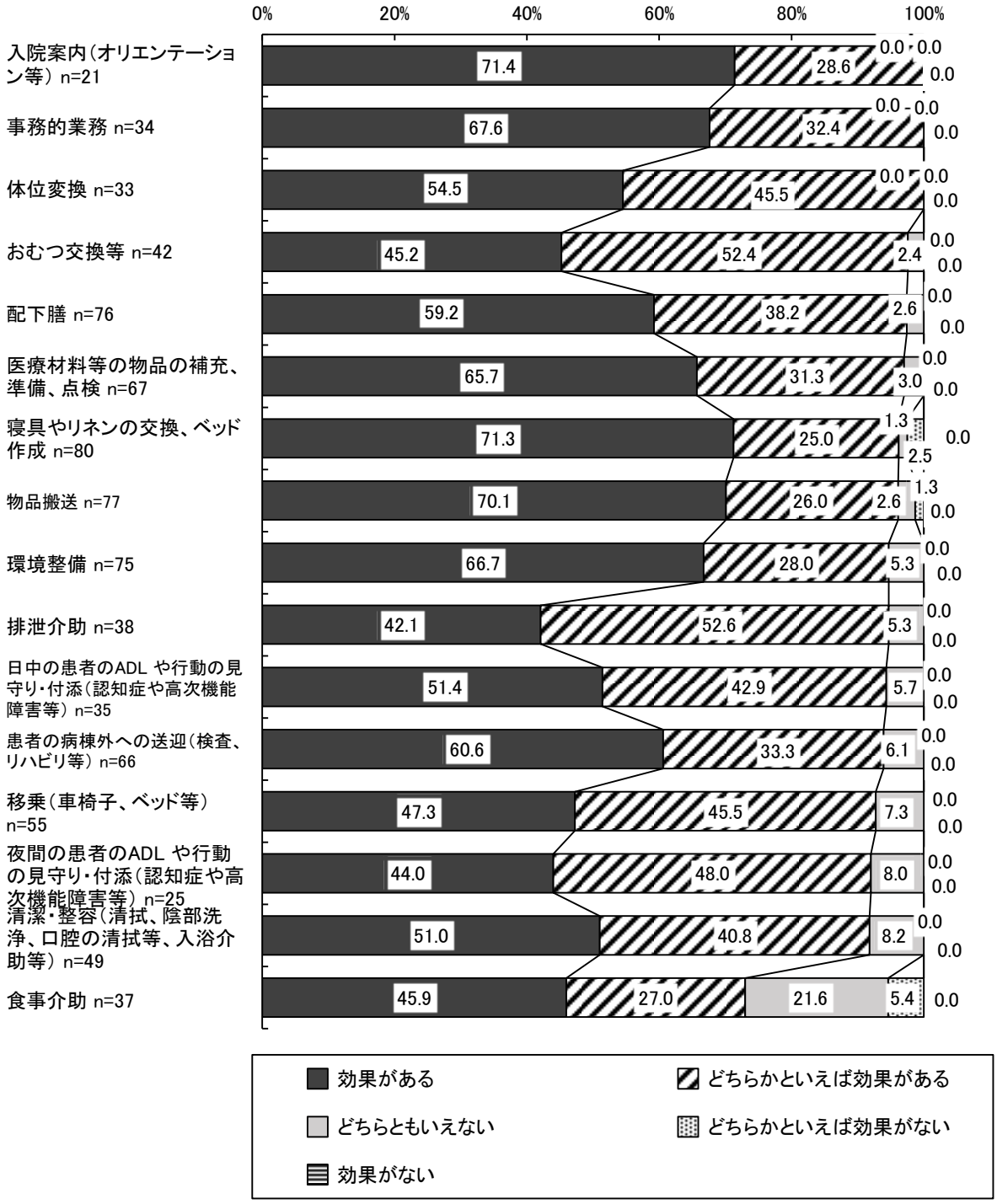

0%
20%
40%
60%
80%
100%
物品搬送 n=43
67.4
25.6
7.0
0.0
0.0
寝具やリネンの交換、ベッド作成 n=45
73.3
17.8
8.9
0.0
0.0
医療材料等の物品の補充、準備、点検 n=32
71.9
18.8
9.4
0.0
0.0
事務的業務 n=19
47.4
42.1
10.5
0.0
0.0
配下膳 n=46
58.7
21.7
19.6
0.0
0.0
入院案内（オリエンテーション等） n=10
60.0
20.0
20.0
0.0
0.0
環境整備 n=42
54.8
23.8
21.4
0.0
0.0
患者の病棟外への送迎（検査、リハビリ等） n=33
51.5
24.2
24.2
0.0
0.0
清潔・整容（清拭、陰部洗浄、口腔の清拭等、入浴介助等） n=36
47.2
27.8
25.0
0.0
0.0
日中の患者のADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等） n=23
56.5
17.4
26.1
0.0
0.0
食事介助 n=29
55.2
17.2
27.6
0.0
0.0
夜間の患者のADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等） n=14
57.1
14.3
28.6
0.0
0.0
移乗（車椅子、ベッド等） n=31
45.2
25.8
29.0
0.0
0.0
おむつ交換等 n=30
50.0
16.7
30.0
3.3
0.0
排泄介助 n=29
48.3
17.2
34.5
0.0
0.0
体位変換 n=28
39.3
21.4
39.3
0.0
0.0
効果がある
どちらかといえば効果がある
どちらともいえない
どちらかといえば効果がない
効果がない

図表 4 - 115　看護補助者が業務を実施する場合の負担軽減効果
（看護補助者が配置されている病棟）
（無回答を除く）（急性期補助体制加算の届出の有無別）

25対1（看護補助者5 割以上）



25対1（看護補助者5 割未満）

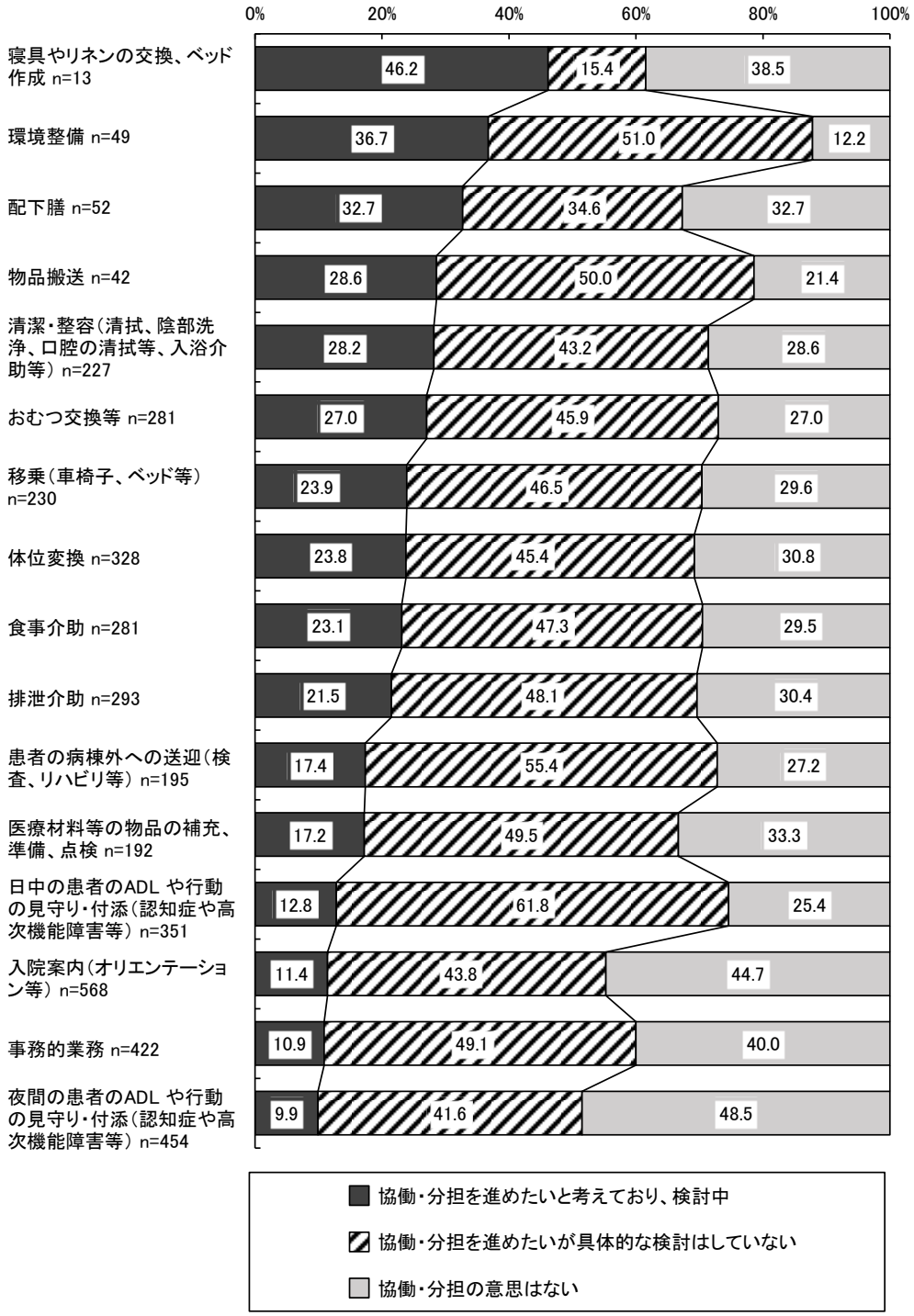


4）今後の協働・分担に関する意向・予定

(2)において看護職員が主に担当している業務について

今後の協働・分担に関する意向・予定については、「協働・分担を進めたいと考えており、検討中」で最も多かったのは「寝具やリネンの交換、ベッド作成」(46.2%)、「協働・分担を進めたいが具体的な検討はしていない」で最も多かったのは「日中の患者の ADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等)」(61.8%)、「協働・分担の意思はない」で最も多かったのは「夜間の患者の ADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等)」(48.5%）であった。

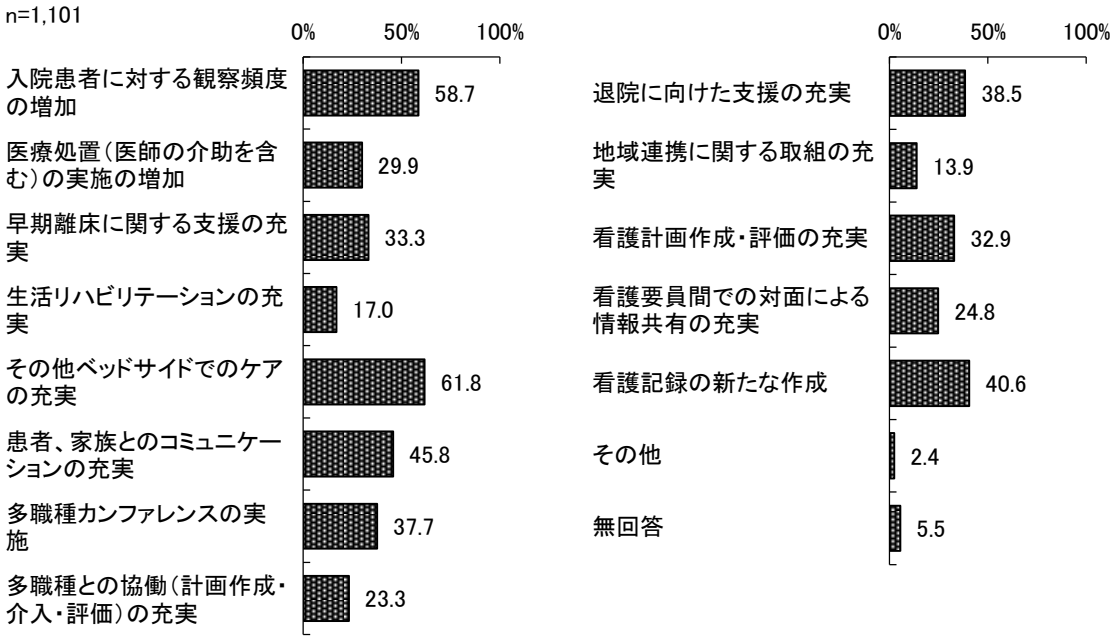
図表 4 - 116　今後の協働・分担に関する意向・予定
（看護補助者が配置されている病棟）（無回答を除く）



①－2 看護補助者に業務を委譲（完全・部分）したことで、業務時間を増やすことができた看護職員の業務

看護補助者に業務を委譲（完全・部分）したことで、業務時間を増やすことができた看護職員の業務で最も多かったものは「その他ベッドサイドでのケアの充実」（61.8%）であった。「その他」には、「人材育成、教育、研修の充実」、「看護要員間での対面による情報共有の充実」等の回答があった。

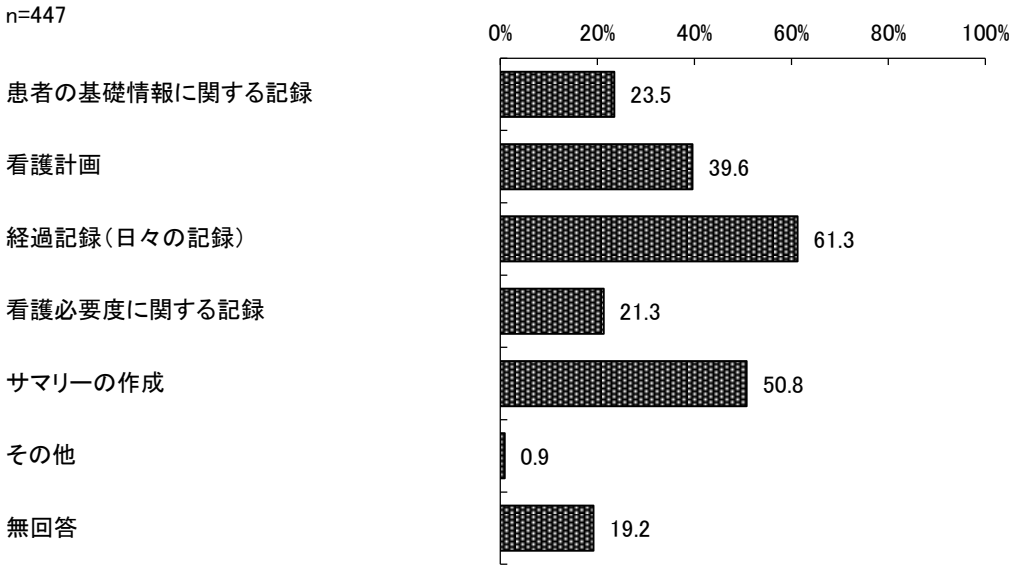
図表 4 - 117　看護補助者に業務を委譲したことで、業務時間を増やすことができた看護職員の業務（複数回答）



【「看護記録の新たな作成」を選択した場合の具体的内容】

「看護記録の新たな作成」を選択した場合の具体的内容で最も多かったものは「経過記録（日々の記録）」（61.3%）であった。

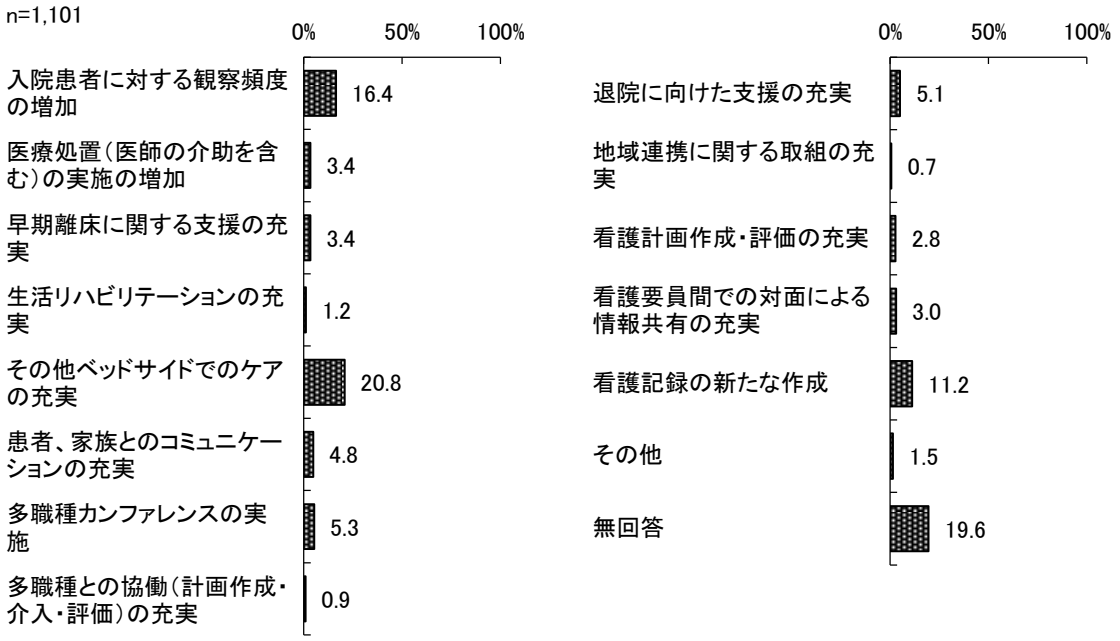
図表 4 - 118　「看護記録の新たな作成」の具体的内容（複数回答）



①－3 看護補助者に業務を委譲したことで、最も業務時間を増やすことができた看護職員の業務

看護補助者に業務を委譲したことで、最も業務時間を増やすことができた看護職員の業務で最も多かったものは「その他ベッドサイドでのケアの充実」（20.8%）であった。

図表 4 - 119 看護補助者に業務を委譲したことで、最も業務時間を増やすことができた看護職員の業務

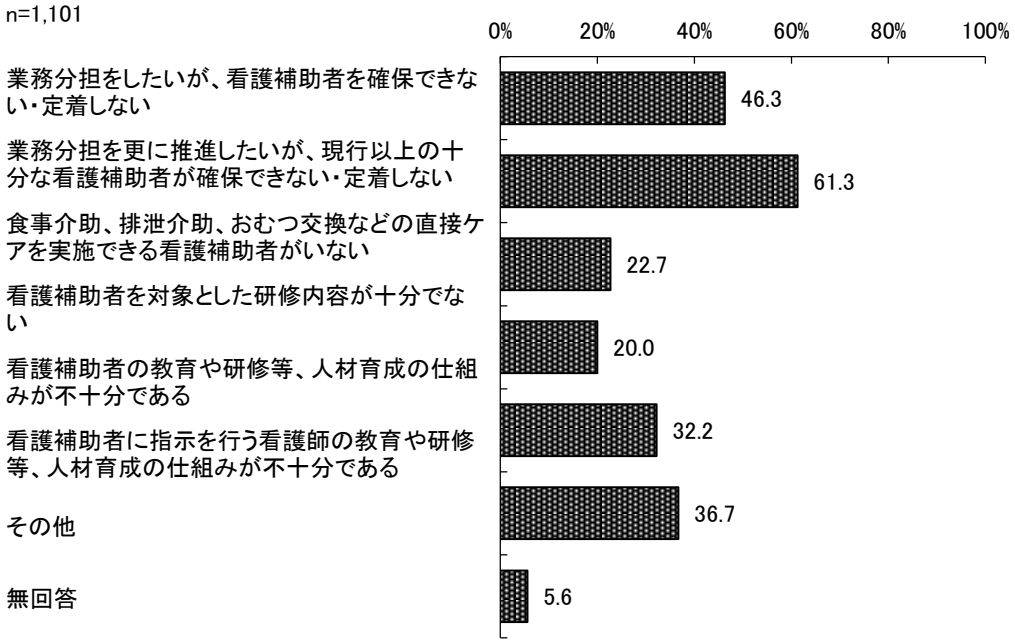


①－4 看護職員と看護補助者との業務分担の課題

看護職員と看護補助者との業務分担の課題で最も多かったものは「業務分担を更に推進したいが、現行以上の十分な看護補助者が確保できない・定着しない」（61.3%）であった。

なお、「その他」回答には、「補助者がいない、また年齢層が高く身体的負担が大きく、また IT スキルの支援が必要である」、「看護補助者の多くで早朝・夜勤などの勤務時間の延長が難しい」、「研修時間の不足。日本語に課題がある」、「補助者の採用を行っても確保困難、定着しない(低賃金、非正規のため)」、「看護補助者としては、新たな業務増に対する不安感がある」等が挙げられた。

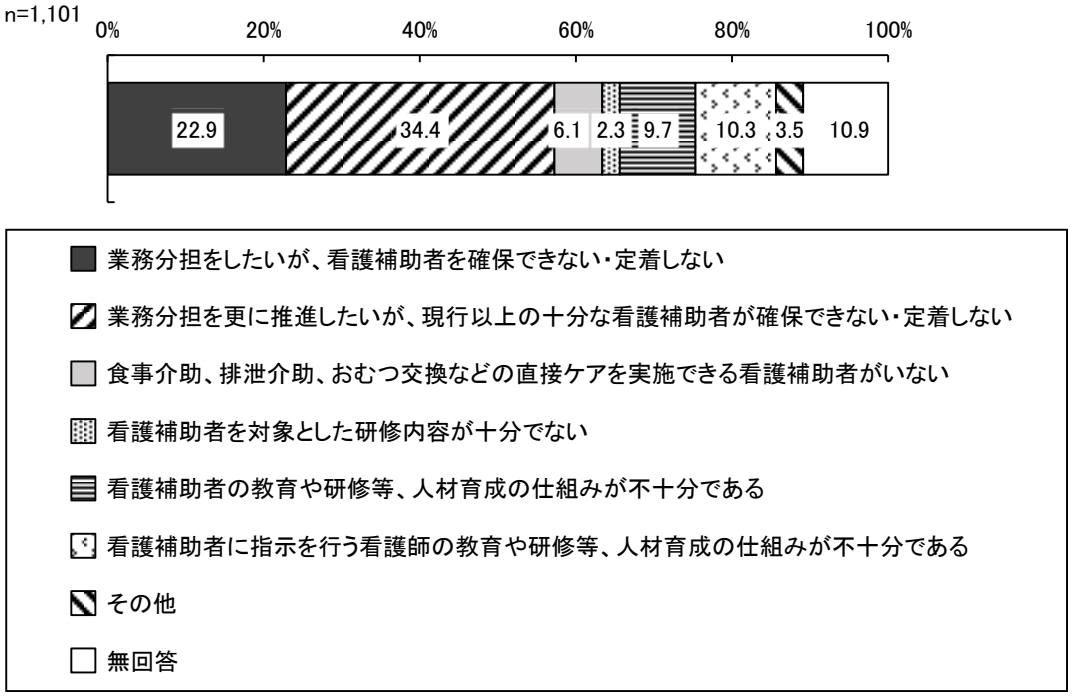
図表 4 - 120　看護職員と看護補助者との業務分担の課題（複数回答）



①－5 看護職員と看護補助者との業務分担の課題（最も課題であると考えるもの）

看護職員と看護補助者との業務分担の課題で最も多かったものは「業務分担を更に推進したいが、現行以上の十分な看護補助者が確保できない・定着しない」（34.4%）であった。

図表 4 - 121　看護職員と看護補助者との業務分担の課題のうち、最も課題であると考える項目

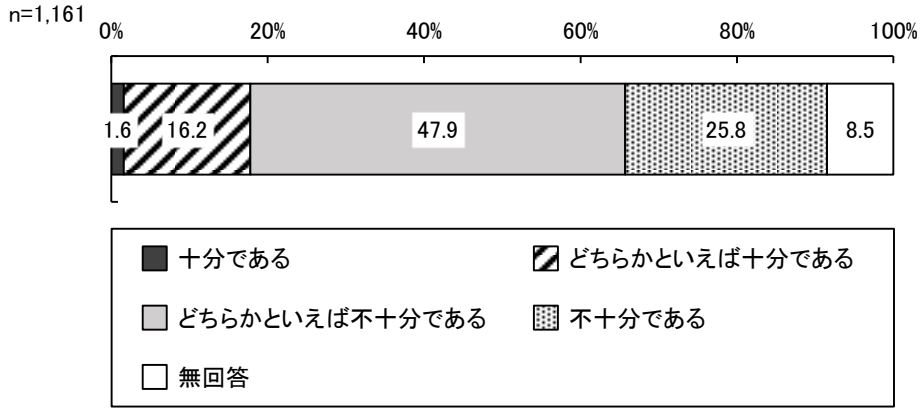


（５）看護職員の負担軽減策に関する意見

① 看護職員の負担軽減に関する現在の取組への評価

看護職員の負担軽減に関する現在の取組への評価で最も多かったものは「どちらと言えば不十分である」（47.9%）であった。

図表 4 - 122　看護職員の負担軽減に関する現在の取組への評価



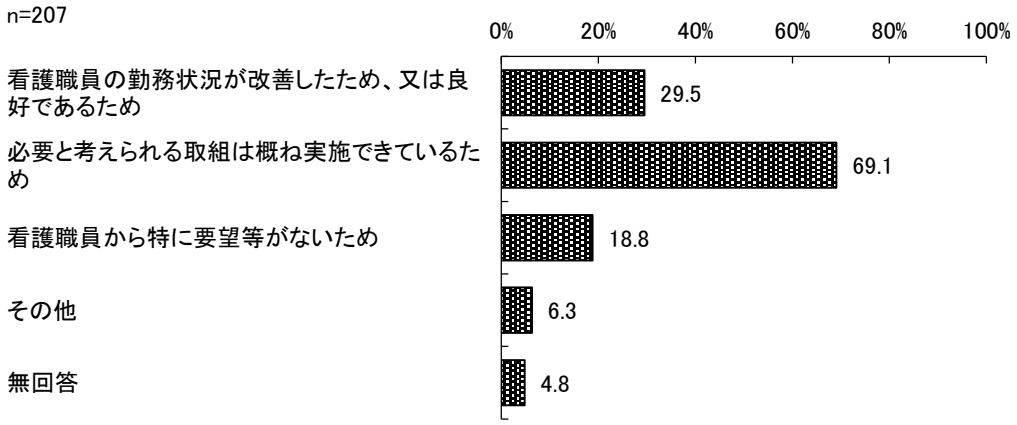
①－1 看護職員の負担軽減に関する取組が十分であると評価する理由

【①で「十分である」または「どちらかといえば十分である」と回答した場合】

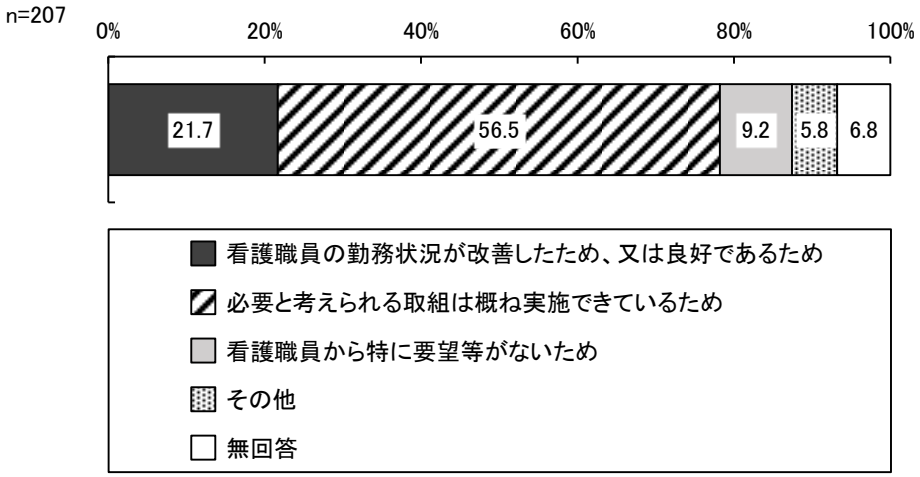
看護職員の負担軽減に関する取組が十分であると評価する理由で最も多かったものは「必要と考えられる取組は概ね実施できているため」（69.1%）であった。

うち最も当てはまるものは「必要と考えられる取組は概ね実施できているため」（56.5%）であった。

図表 4 - 123　看護職員の負担軽減に関する現在の取組が十分であると評価する理由（複数回答）



図表 4 - 124　看護職員の負担軽減に関する現在の取組が
十分であると評価する理由のうち
最も当てはまるもの



①－2 看護職員の負担軽減に関する取組が不十分であると評価する理由

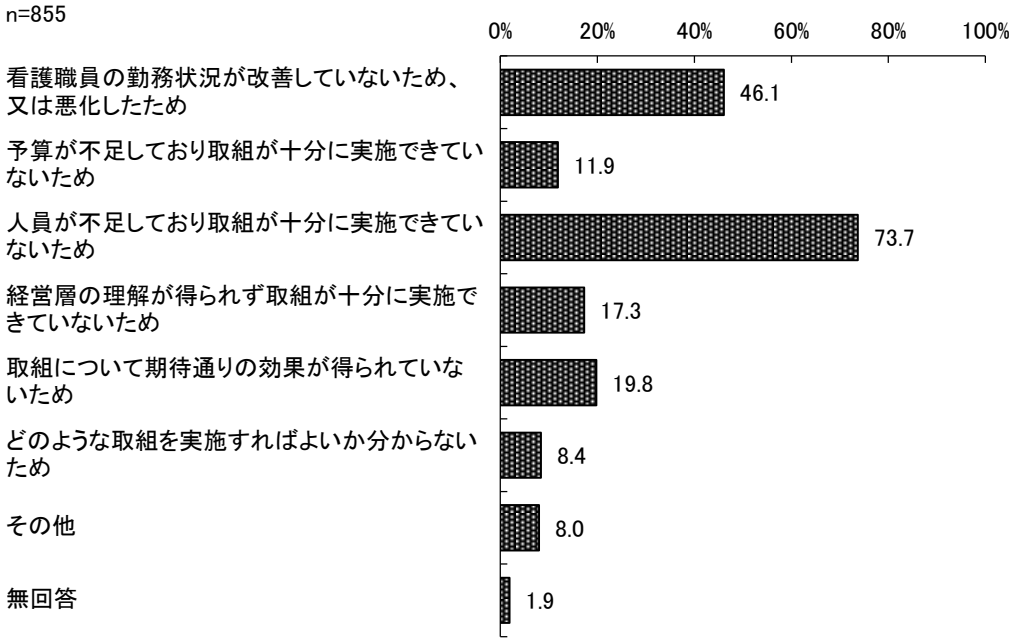
【①で「どちらかといえば不十分である」または「不十分である」と回答した場合】

看護職員の負担軽減に関する取組が不十分であると評価する理由で最も多かったものは「人員が不足しており取組が十分に実施できていないため」（73.7%）であった。

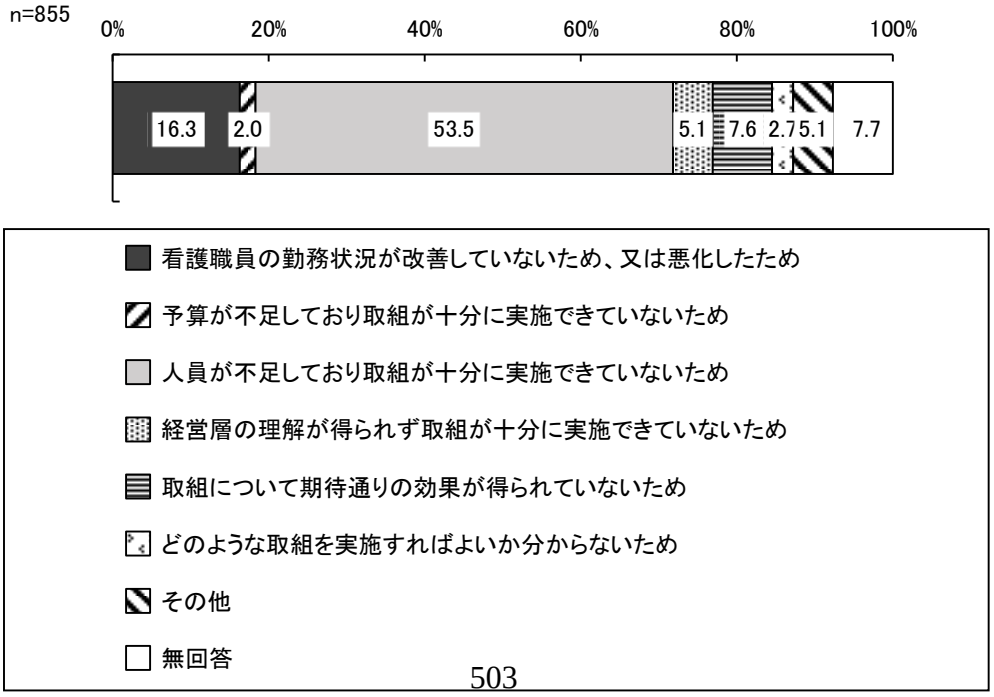
うち最も当てはまるものは「人員が不足しており取組が十分に実施でいていないため」（53.5%）であった。

なお、「その他」には、「薬剤師との業務分担が課題である」、「育児時間取得者の増加に伴う常勤者への業務負担」、「職員が定着しない」、「コロナウイルス感染の感染予防対策に時間を要する」等の回答があった。

図表 4 - 125　看護職員の負担軽減に関する現在の取組が不十分であると評価する理由（複数回答）



図表 4 - 126　看護職員の負担軽減に関する現在の取組が不十分であると評価する理由のうち最も当てはまるもの

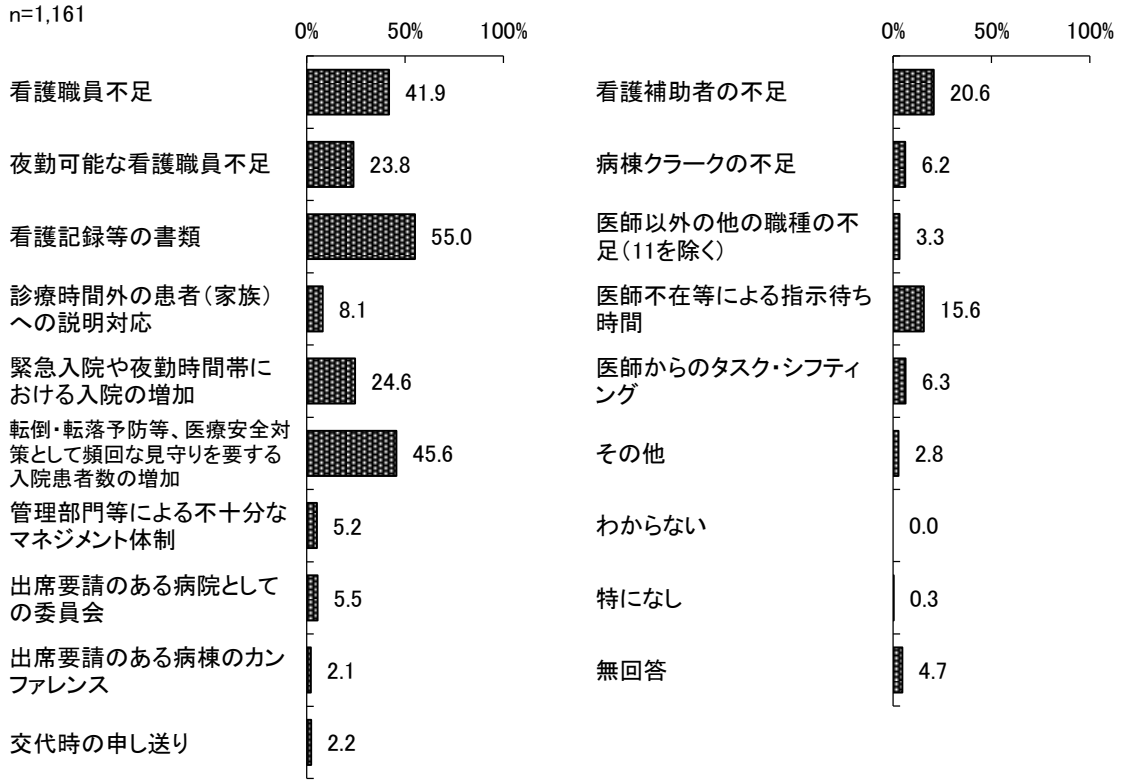


② 看護職員の業務負担の要因

看護職員の業務負担の要因で最も多かったものは「看護記録等の書類」(55.0%) であった。

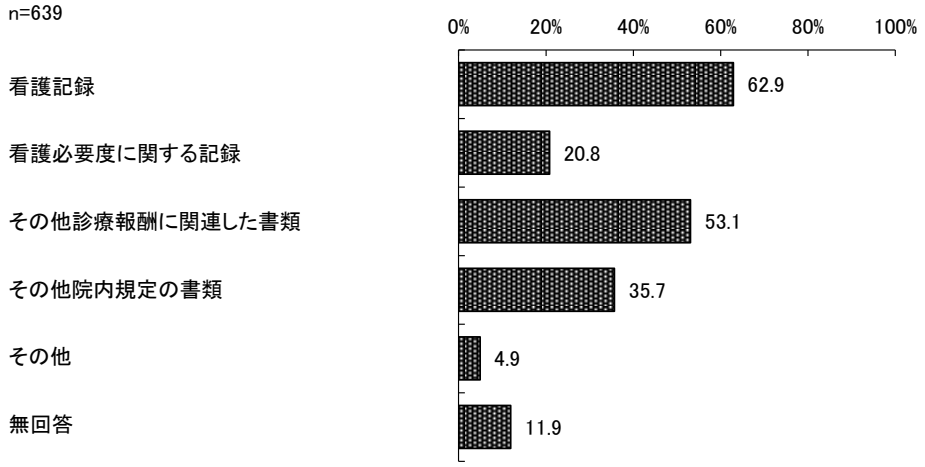
なお、「その他」には「持参薬の調査、事務的処理、配薬や各種の説明など他職種の業務を看護師が負担しているため」、「医師からの指示（薬、検体)、オーダー入力の時間帯が遅くなるため」等の回答があった。

図表 4 - 127　看護職員の業務負担の要因（回答は３つまで）

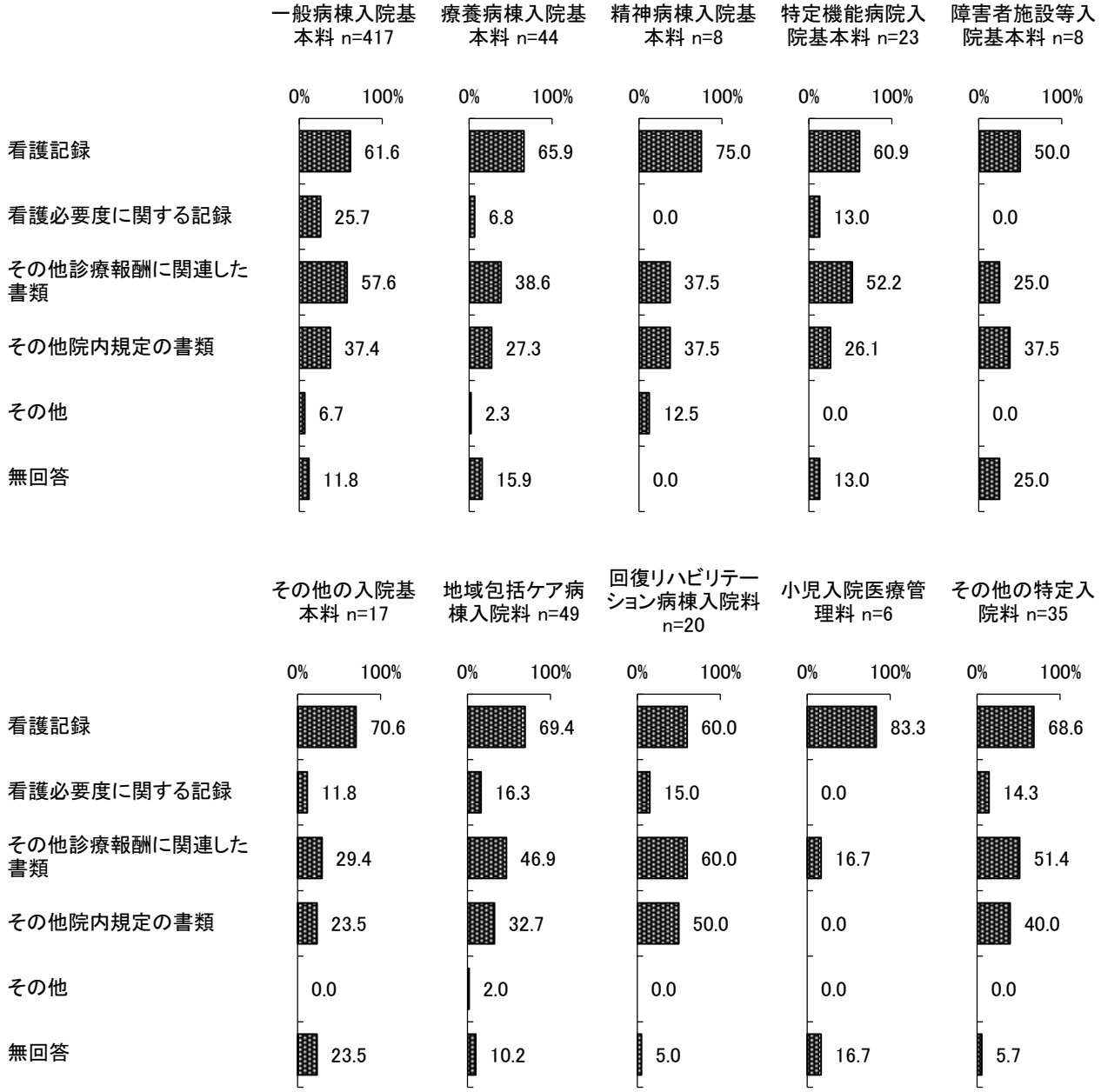


看護記録等の書類のうち最も負担となっているものは「看護記録」(62.9%) であった。

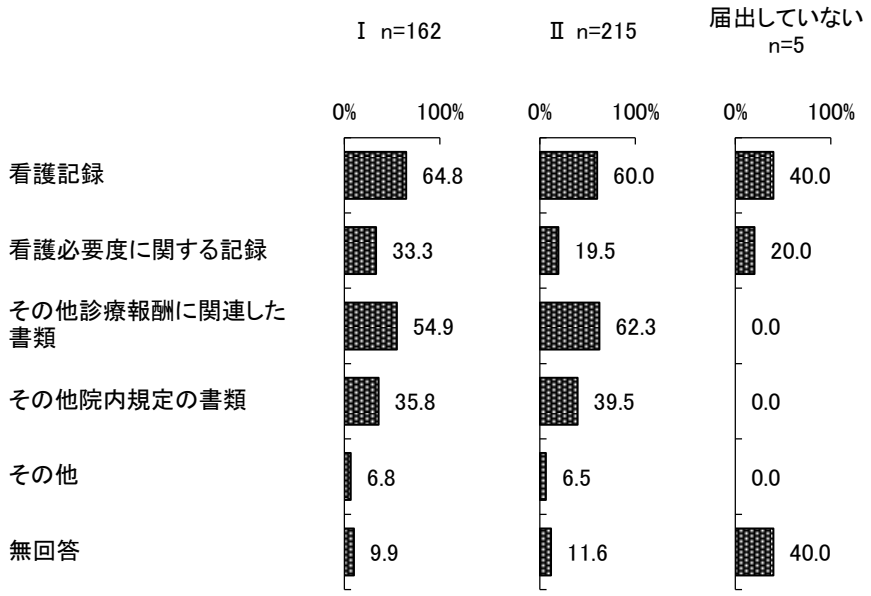
図表 4 - 128　看護記録等の書類のうち負担となっている書類の具体的内容（複数回答）



図表 4 - 129　看護記録等の書類のうち負担となっている書類の具体的内容（複数回答）（入院基本料別）



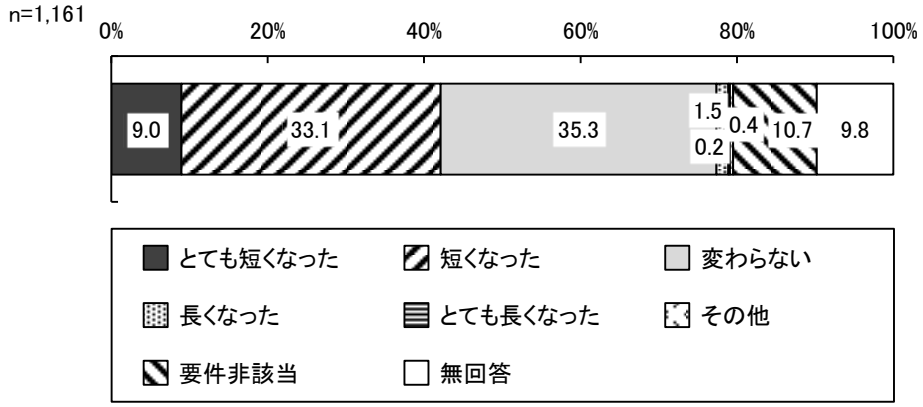
図表 4 - 130　看護記録等の書類のうち負担となっている書類の具体的内容（複数回答）
（重症度、医療・看護必要度の施設基準別）



③ 令和 2 年度診療報酬改定において重症度、医療・看護必要度の B 項目に関し「根拠となる記録」の記載が不要となったことによる、看護必要度に係る看護職員の記録時間・業務負担の変化

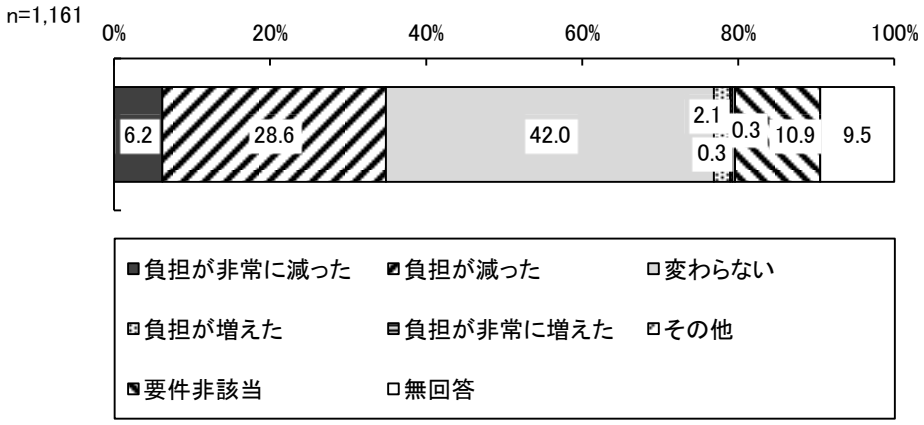
看護必要度に係る看護職員の記録時間の変化で最も多かったものは「変わらない」(35.3%)、次いで「短くなった」(33.1%) であった。

図表 4 - 131　看護必要度に係る看護職員の記録時間の変化



看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化で最も多かったものは「変わらない」(42.0%)、次いで「負担が減った」(28.6%) であった。

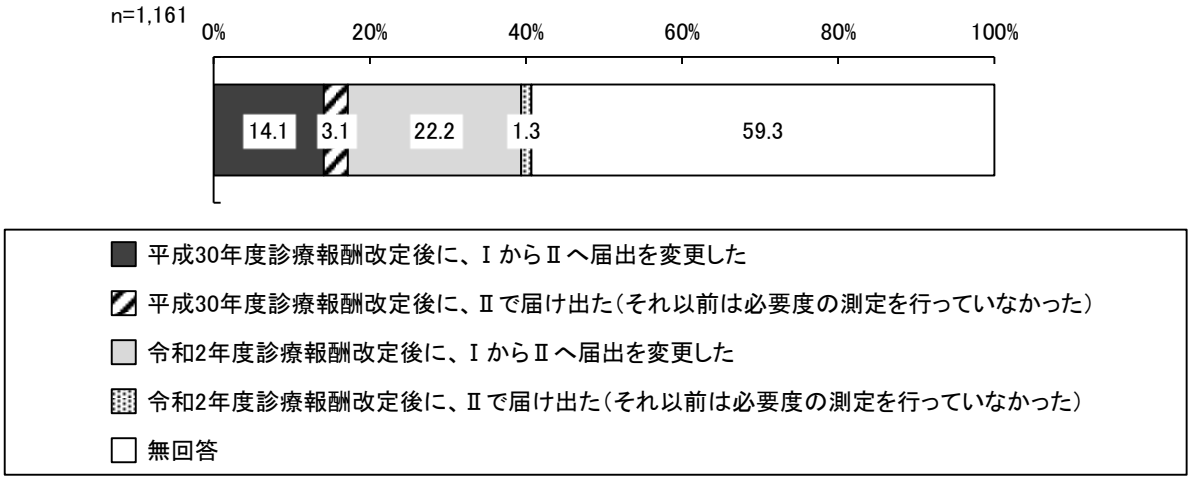
図表 4 - 132　看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化



④ 重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出時期

重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出時期で最も多かったものは「令和 2 年度診療報酬改定後に、Ⅰ からⅡへ届出を変更した」(22.2%) であった。

図表 4 - 133　重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出時期（令和 2 年度 10 月 1 日現在）

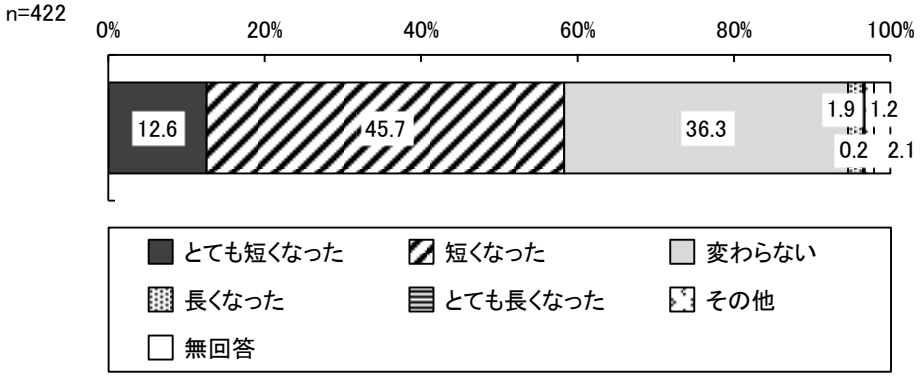


④－1 看護必要度Ⅱに変更したことによる記録時間の変化

【④で平成 30 年度もしくは令和 2 年度に医療・看護必要度ⅠからⅡに届出を変更した場合】

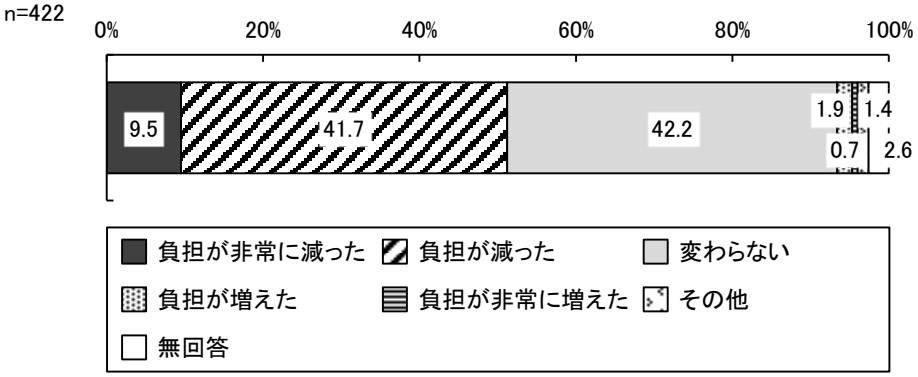
看護必要度Ⅱに変更したことによる記録時間の変化で最も多かったものは「短くなった」(45.7%)、次いで「変わらない」(36.3%) であった。

図表 4 - 134　看護必要度に係る看護職員の記録時間の変化



看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化状況で最も多かったものは「変わらない」(42.2%)、次いで「負担が減った」(41.7%) であった。

図表 4 - 135　看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化状況

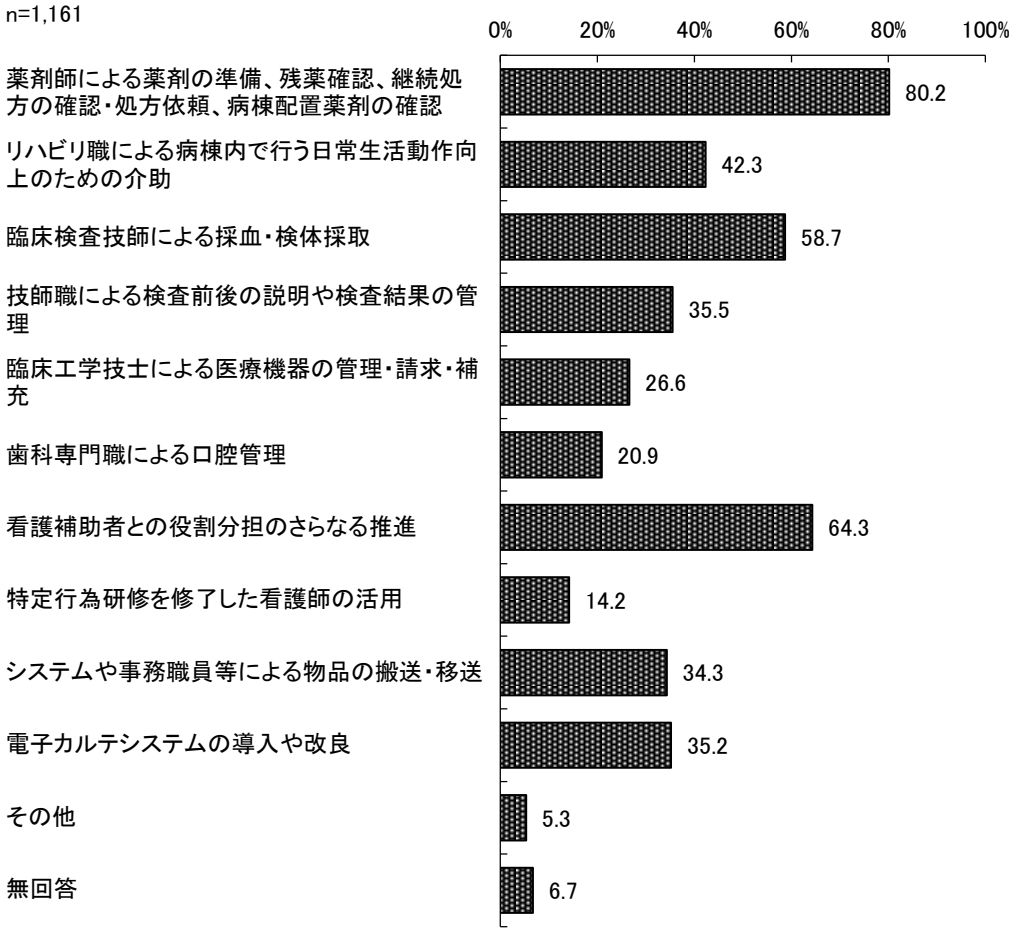


⑤ 看護職員の業務負担の軽減が図られると考える方策

看護職員の業務負担の軽減が図られると考えられる方策で最も多かったものは「薬剤師による薬剤の準備、残薬確認、継続処方の確認・処方依頼、病棟配置薬剤の確認」(80.2%) であった。

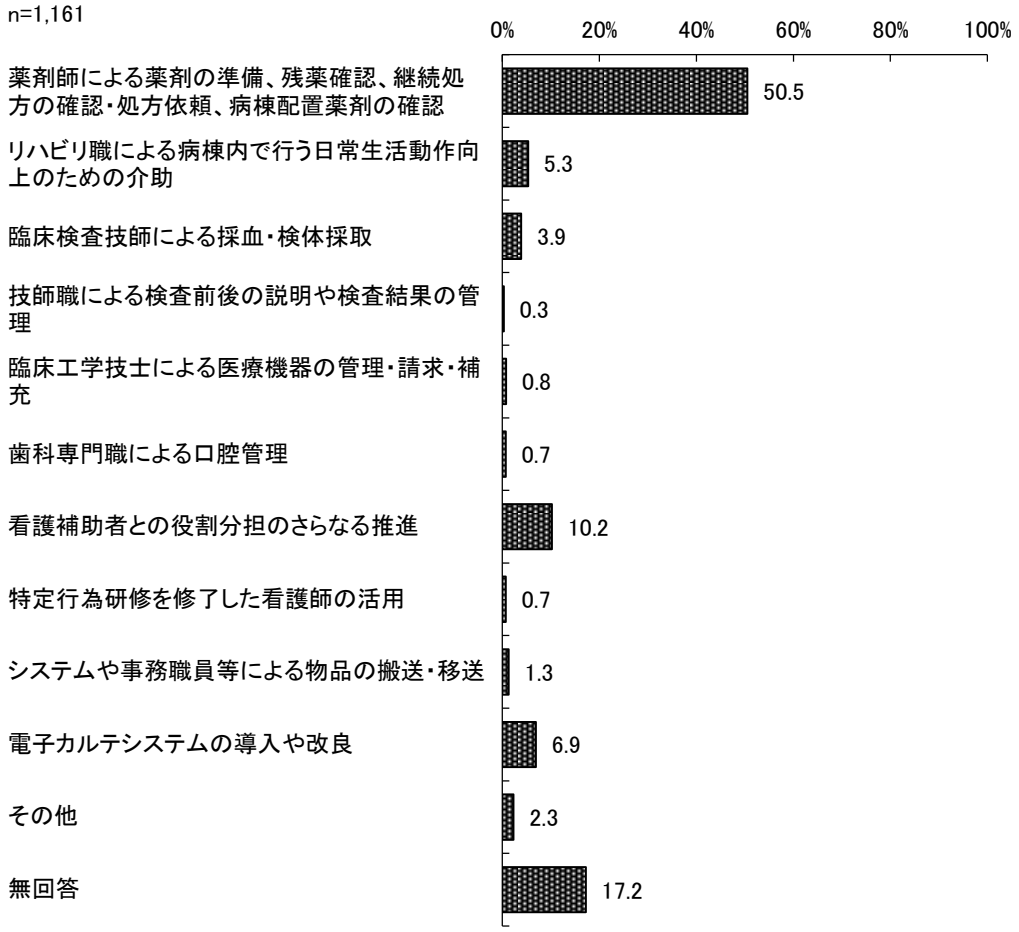
なお、「その他」には「看護職員の補充、特に夜勤可能、休日勤務可能な職員」、「看護師の事務作業を補助するクラークの確保」等の回答があった。

図表 4 - 136　看護職員の業務負担の軽減が図られると考えられる方策（複数回答）



看護職員の業務負担の軽減に最も効果があると考えられる取組で最も多かったものは「薬剤師による薬剤の準備、残薬確認、継続処方の確認・処方依頼、病棟配置薬剤の確認」（50.5%）であった。

図表 4 － 137　看護職員の業務負担の軽減に最も効果があると考えられる取組



⑥ 看護職員の勤務状況や負担軽減に関する今後の課題（自由記載）

・高齢の入院患者が増えている点から、看護補助者の確保増員が課題である。交通の便、人口減少地域では確保が難しい実態にある。
・病棟内の配薬、入院時の持ち込み薬の管理、退院指導等において薬剤師と業務分担することで、看護師の負担軽減が図られると考える。
・常勤時短勤務者やパート職員が増加している。会議や委員会、研修会も勤務時間内で実施することはよい傾向であるが、長時間の会議は、対応できる限られたスタッフでやりくりを求められる傾向にある。そのため、会議内容、時間の見直しが必要である。
・記録にかかる時間がかかっている。加算の算定に伴い指定される記録が多く、また業務量も増えているため改善していく必要がある。
・入退院の頻度が高く、また、時間外にかかることが多い実態にある。そのため、入退院支援センター部門を設置していくことが必要であると考える。

５．薬剤部責任者票

【調査対象等】

調査対象：施設票の対象となった医療施設に勤務する薬剤部責任者１施設につき１名。
回答数：　462 件
回答者：　薬剤部門責任者

（１）　施設の概要等

① 施設の薬剤師数（薬剤部以外に所属する薬剤師も含めた全体の人数）

施設の薬剤師数は、以下のとおりであった。

図表５－１　施設の薬剤師数

（単位：人）

		平均値	標準偏差	中央値
常勤薬剤師	n=462	11.7	12.8	6.0
非常勤薬剤師実人数	n=388	1.3	2.1	1.0
非常勤薬剤師常勤換算人数	n=371	0.7	1.1	0.4

② 薬剤部門に所属する薬剤師及びその他の職員数

薬剤部門に所属する薬剤師及びその他の職員数は、以下のとおりであった。

図表５－２　薬剤部門の薬剤師数

（単位：人）

		常勤			
			平均値	標準偏差	中央値
１）薬剤師		n=461	11.6	12.4	6.0
２）その他の職員	①事務補助者	n=380	1.2	1.7	1.0
	②その他	n=295	0.5	1.8	0.0

		非常勤実人数				非常勤常勤換算人数			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
１）薬剤師		n=378	1.2	1.6	1.0	n=363	0.7	1.0	0.4
２）その他の職員	①事務補助者	n=330	1.1	1.9	0.0	n=319	0.8	1.8	0.0
	②その他	n=273	0.7	1.8	0.0	n=273	0.5	1.6	0.0

③ 常勤薬剤師の勤務状況等

1） 1人あたりの月間平均勤務時間

常勤薬剤師１人あたりの月間平均勤務時間は、以下のとおりであった。

図表５－３　常勤薬剤師１人あたりの月間平均勤務時間

（単位:1 人当たり・時間／月）

1 人あたりの平均勤務時間（時間）令和元年10月				1 人あたりの平均勤務時間（時間）令和2 年10月			
	平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
n=216	176.2	17.6	176.0	n=219	178.5	16.6	178.0

図表５－４　常勤薬剤師１人あたりの月間平均勤務時間
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:1 人当たり・時間／月）

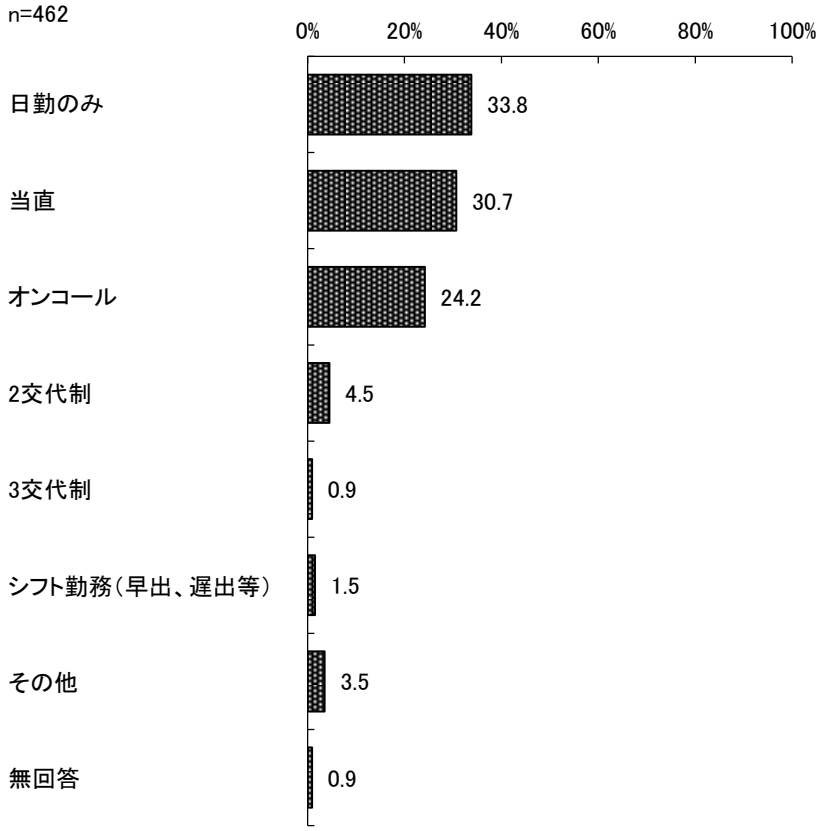
	1 人あたりの平均勤務時間（時間）令和元年10月				1 人あたりの平均勤務時間（時間）令和2 年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=45	177.6	14.5	178.6	n=45	178.8	15.2	179.8
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=33	180.5	14.8	177.6	n=34	180.6	14.0	183.1
その他	n=45	171.8	18.3	172.0	n=44	176.1	18.1	176.0

2）夜間勤務体制

夜間勤務体制について最も多かったものは、「日勤のみ」（33.8%）、次に多かったものは「当直」（30.7%）であった。

なお、「その他」には、「土日のみ当直」、「休日のみオンコール」、「隔日勤務」等の回答があった。

図表 5 - 5　常勤薬剤師の夜間勤務体制



3) 当直･オンコールを担当する薬剤師数

当直・オンコールを担当する薬剤師数は、以下のとおりであった。

図表 5 - 6　当直・オンコールを担当する薬剤師数

（単位：人）

	当直、オンコールを担当する薬剤師数 常勤				当直、オンコールを担当する薬剤師数 非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
当直	n=141	11.7	10.3	12.0	n=115	0.2	1.1	0.0
オンコール	n=112	3.8	3.1	3.0	n=76	0.1	0.6	0.0

図表 5 - 7　当直・オンコールを担当する薬剤師数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：人）

当直	当直、オンコールを担当する薬剤師数 常勤				当直、オンコールを担当する薬剤師数 非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=61	11.2	9.7	12.0	n=45	0.2	0.9	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=21	11.3	6.9	12.0	n=18	0.0	0.0	0.0
その他	n=9	11.0	6.4	13.0	n=9	1.0	2.8	0.0

オンコール	当直、オンコールを担当する薬剤師数 常勤				当直、オンコールを担当する薬剤師数 非常勤			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=10	5.3	4.4	4.0	n=8	0.0	0.0	0.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=19	4.5	2.4	5.0	n=15	0.4	1.3	0.0
その他	n=25	3.5	2.9	3.0	n=15	0.0	0.0	0.0

4）１人あたりの月間当直･オンコール担当平均回数

１人あたりの月間当直・オンコール担当平均回数は、以下のとおりであった。

図表５－８　１人あたりの月間当直・オンコール担当平均回数
（夜間勤務体制別）

（単位:1 人当たり･回／月）

	1人あたり当直、オンコール担当平均回数（令和元年10月）				1人あたり当直、オンコール担当平均回数（令和2年10月）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
当直	n=140	2.8	2.6	2.3	n=138	2.5	2.0	2.2
オンコール	n=103	3.7	3.9	2.5	n=100	3.7	4.5	2.5

図表５－９　１人あたりの当直・オンコール担当平均回数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位:1 人当たり･回／月）

当直	1人あたり当直、オンコール担当平均回数（令和元年10月）				1人あたり当直、オンコール担当平均回数（令和2年10月）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=61	2.5	1.3	2.2	n=61	2.3	0.9	2.1
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=21	2.8	0.7	2.7	n=21	2.7	0.7	2.8
その他	n=9	5.3	8.9	2.0	n=9	4.0	6.8	2.0

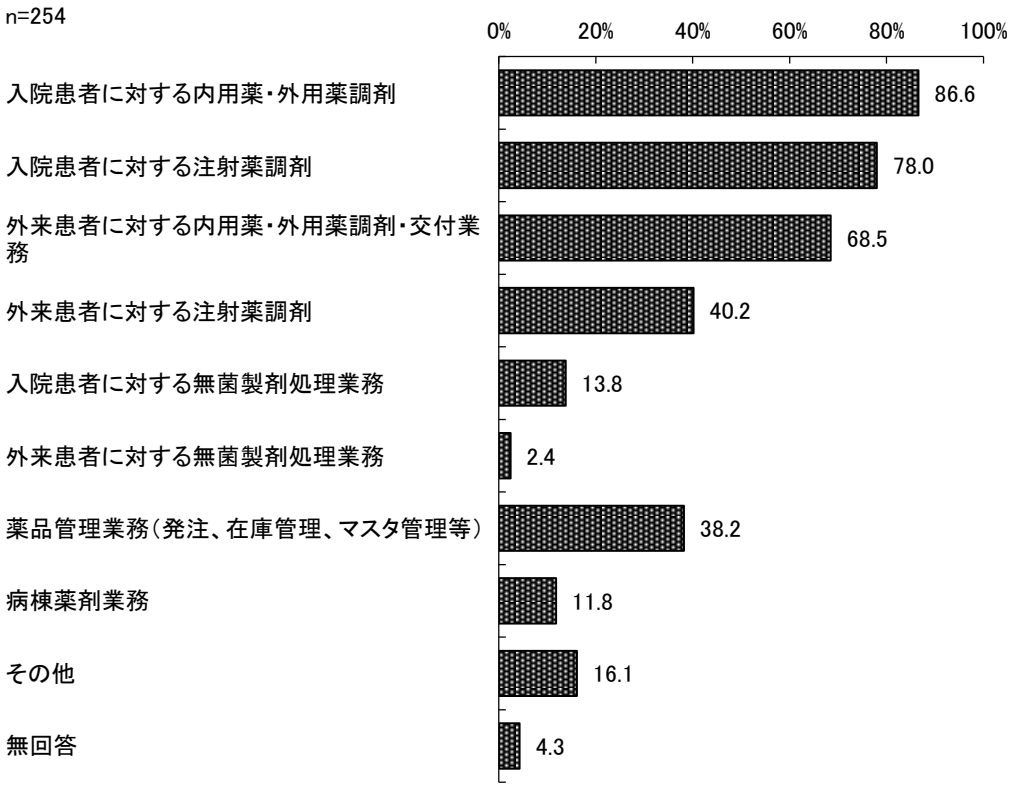
オンコール	当直、オンコール担当平均回数（令和元年10月）				当直、オンコール担当平均回数（令和2年10月）			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=10	3.3	2.1	2.7	n=9	3.5	2.1	3.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=16	4.9	4.1	3.8	n=18	4.3	3.4	3.5
その他	n=25	3.9	4.4	3.0	n=22	4.3	4.6	3.1

5）当直･オンコール時の業務内容

当直・オンコール時の業務内容で最も多かったものは「入院患者に対する内用薬・外用薬調剤」（86.6%）、次に多かったものは「入院患者に対する注射薬調剤」（78.0%）であった。

なお、「その他」には、「麻薬・毒薬・向精神薬などの管理薬品の対応」、「不足薬品の補充、発注業務」、「持参薬鑑別」、「医師、看護師からの相談応需等 DI 業務」等の回答があった。

図表 5 - 10　当直・オンコール時の業務内容（複数回答）

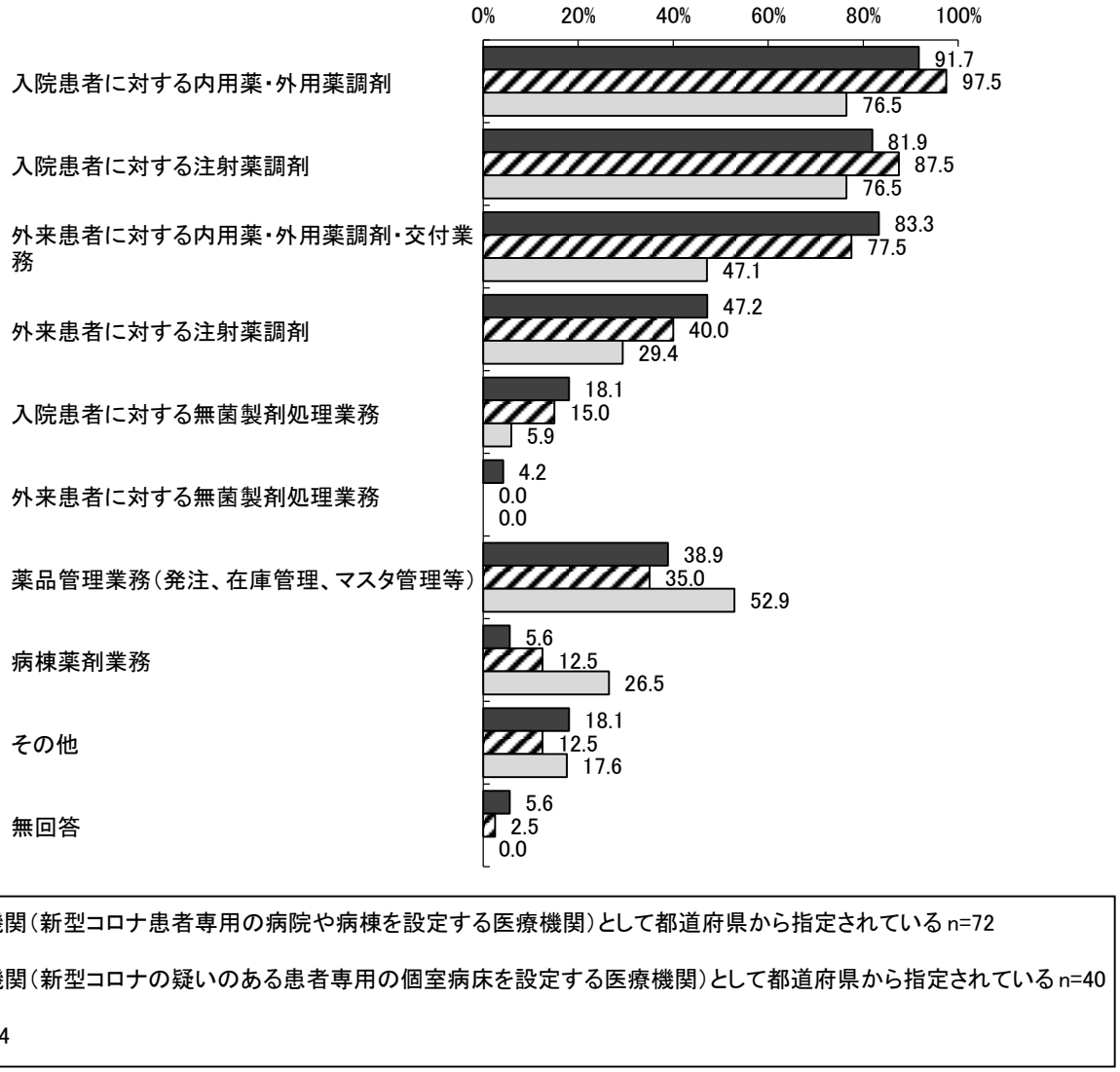


新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別でみると、「重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている」では、「入院患者に対する内用薬・外用薬調剤」(91.7%)、「外来患者に対する内用薬・外用薬調剤・交付業務」(83.3%)、「入院患者に対する注射薬調剤」(81.9%)が多くなっていた。

「協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている」においても、「入院患者に対する内用薬・外用薬調剤」(97.5%)、「入院患者に対する注射薬調剤」(87.5%)、「外来患者に対する内用薬・外用薬調剤・交付業務」(77.5%)、が多くなっていた。

「その他」では、「入院患者に対する内用薬・外用薬調剤」、「入院患者に対する注射薬調剤」(いずれも 76.5%)、「薬品管理業務（発注、在庫管理、マスタ管理等）(52.9%) が多くなっていた。

図表 5 - 11　当直・オンコール時の業務内容
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）



6）当直･オンコール１回あたりの処方箋平均枚数

当直・オンコール１回あたりの処方箋平均枚数は、以下のとおりであった。

図表５－12　当直・オンコール１回あたりの処方箋平均枚数

（単位：枚）

当直･オンコール1 回当たり処方箋 平均枚数　令和元年10月				当直･オンコール1 回当たり処方箋 平均枚数　令和2 年10月			
	平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
n=221	44.2	170.3	12.5	n=227	39.6	145.8	12.0

図表５－13　当直・オンコール１回あたりの処方箋平均枚数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：枚）

	当直･オンコール1 回当たり処方箋 平均枚数　令和元年10月				当直･オンコール1 回当たり処方箋 平均枚数　令和2 年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=65	64.8	124.8	40.0	n=66	57.6	104.4	31.0
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=36	21.3	24.9	11.8	n=39	17.8	22.2	8.0
その他	n=30	19.1	37.2	1.0	n=31	16.8	32.9	1.0

④ 処方箋枚数

処方箋枚数は、以下のとおりであった。

図表 5 - 14　1 か月間の処方箋枚数

（単位：枚）

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
外来患者の院外処方箋	n=409	4254.8	4080.5	3314.0	n=410	3980.3	3786.4	3106.0
外来患者の院内処方箋	n=420	1039.2	2532.2	260.0	n=420	946.1	2373.4	240.0
入院患者の処方箋	n=422	3696.8	5420.9	2033.0	n=423	3603.7	5142.1	2007.0

図表 5 - 15　1 か月間の処方箋枚数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：枚）

外来患者の院外処方箋	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=83	6830.5	4111.9	6988.0	n=84	6365.7	3880.0	6340.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=52	5093.1	3266.5	4930.5	n=52	4704.4	3024.2	4695.0
その他	n=76	2475.3	3077.6	1651.5	n=76	2321.9	2846.7	1531.5

外来患者の院内処方箋	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=83	1790.4	3064.4	646.0	n=84	1566.3	2716.8	483.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=54	1217.4	2090.4	385.0	n=54	1107.6	1947.7	322.0
その他	n=81	659.7	1916.8	94.0	n=81	613.1	1835.7	92.0

入院患者の処方箋	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=83	5958.7	4478.3	4789.0	n=84	5865.1	4526.9	4488.5
協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている	n=54	3636.6	2927.8	3402.0	n=54	3569.7	2951.0	3098.0
その他	n=81	1914.6	1886.8	1272.0	n=81	1889.1	1851.6	1280.0

⑤ 薬剤師が配置されている病棟数

薬剤師が配置されている病棟数は、以下のとおりであった。

図表 5 - 16　薬剤師が配置されている病棟数

（単位：病棟）

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数	n=432	6.2	5.1	5.0	n=430	6.1	5.0	4.5
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=272	6.8	5.0	6.0	n=273	6.8	5.1	6.0
療養病棟・精神病棟の病棟数	n=139	1.7	1.3	1.0	n=139	2.2	6.6	1.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=47	1.2	0.4	1.0	n=48	1.2	0.4	1.0
集中治療室等の病棟数	n=168	2.0	1.5	1.0	n=165	2.1	1.6	2.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=97	2.0	1.3	2.0	n=102	2.0	1.3	2.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

図表 5 - 17　薬剤師が配置されている病棟数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：病棟）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数	n=81	9.9	4.7	9.0	n=80	9.9	4.7	9.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=75	8.8	4.4	8.0	n=74	8.9	4.7	8.0
療養病棟・精神病棟の病棟数	n=11	1.3	0.5	1.0	n=11	1.2	0.4	1.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=5	1.4	0.5	1.0	n=7	1.3	0.5	1.0
集中治療室等の病棟数	n=59	2.4	1.7	2.0	n=58	2.5	1.7	2.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=36	2.2	1.5	2.0	n=38	2.2	1.4	2.0

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数	n=57	6.1	3.6	5.0	n=57	6.1	3.6	5.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=39	6.2	3.8	6.0	n=40	6.1	3.8	5.5
療養病棟・精神病棟の病棟数	n=20	1.3	0.5	1.0	n=19	1.3	0.6	1.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=10	1.2	0.4	1.0	n=10	1.2	0.4	1.0
集中治療室等の病棟数	n=24	1.3	0.6	1.0	n=24	1.3	0.6	1.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=14	1.5	0.6	1.0	n=15	1.5	0.6	1.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

その他

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数	n=86	3.9	3.6	3.0	n=86	3.9	3.6	3.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=37	4.9	4.3	4.0	n=38	4.8	4.6	3.5
療養病棟・精神病棟の病棟数	n=36	1.8	1.2	2.0	n=36	1.8	1.2	2.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=6	1.0	0.0	1.0	n=6	1.0	0.0	1.0
集中治療室等の病棟数	n=17	1.5	1.2	1.0	n=17	1.5	1.2	1.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=7	1.9	1.7	1.0	n=8	1.8	1.6	1.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

図表 5 - 18　薬剤師が配置されている病棟数
（全ての項目に回答のあった施設を対象に集計（0 を含む））

（単位：病棟）

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数	n=317	6.4	5.2	5.0	n=317	6.4	5.2	5.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=317	4.5	5.4	3.0	n=317	4.5	5.5	3.0
療養病棟・精神病棟の病棟数	n=317	0.6	1.2	0.0	n=317	0.6	1.1	0.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=317	0.2	0.4	0.0	n=317	0.2	0.4	0.0
集中治療室等の病棟数	n=317	0.9	1.4	0.0	n=317	0.9	1.4	0.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=317	0.5	1.1	0.0	n=317	0.5	1.1	0.0

図表 5 - 19　薬剤師が配置されている病棟数
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
（全ての項目に回答のあった施設を対象に集計（0 を含む））

（単位：病棟）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数	n=61	10.2	5.2	9.0	n=61	10.2	5.2	9.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=61	8.5	5.2	8.0	n=61	8.6	5.4	7.0
療養病棟・精神病棟の病棟数	n=61	0.2	0.5	0.0	n=61	0.2	0.5	0.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=61	0.1	0.4	0.0	n=61	0.2	0.4	0.0
集中治療室等の病棟数	n=61	1.8	1.7	1.0	n=61	1.8	1.7	1.0
うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=61	1.2	1.6	0.0	n=61	1.2	1.6	1.0

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数		n=47	6.0	3.5	5.0	n=47	6.0	3.6	5.0
	うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=47	4.1	4.2	3.0	n=47	4.2	4.2	3.0
療養病棟・精神病棟の病棟数		n=47	0.5	0.7	0.0	n=47	0.4	0.7	0.0
	うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=47	0.3	0.5	0.0	n=47	0.3	0.5	0.0
集中治療室等の病棟数		n=47	0.6	0.8	0.0	n=47	0.6	0.8	0.0
	うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=47	0.4	0.7	0.0	n=47	0.4	0.7	0.0

その他

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
貴施設における全病棟数		n=58	3.9	2.9	3.0	n=58	3.9	2.9	3.0
	うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=58	2.1	3.2	0.0	n=58	2.1	3.1	0.0
療養病棟・精神病棟の病棟数		n=58	0.8	1.1	0.0	n=58	0.8	1.1	0.0
	うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=58	0.1	0.3	0.0	n=58	0.1	0.3	0.0
集中治療室等の病棟数		n=58	0.3	0.6	0.0	n=58	0.3	0.6	0.0
	うち病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	n=58	0.1	0.3	0.0	n=58	0.1	0.4	0.0

⑥ 病棟に配置されている薬剤師数

病棟に配置されている薬剤師数は、以下のとおりであった。

図表 5 - 20　病棟に配置されている薬剤師数（常勤）

（単位：人）

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数	n=274	8.5	7.3	7.0	n=279	8.6	7.6	7.0
うち病棟専任の薬剤師数	n=227	7.7	6.7	6.0	n=233	7.7	6.8	6.0
うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=42	1.5	1.0	1.0	n=44	1.5	1.0	1.0
うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=77	2.1	1.8	2.0	n=82	2.2	1.7	2.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

図表 5 - 21　病棟に配置されている薬剤師数（常勤）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：人）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数	n=72	11.4	7.0	10.0	n=73	11.9	7.4	10.0
うち病棟専任の薬剤師数	n=65	10.5	6.8	9.0	n=66	10.7	7.1	9.0
うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=4	1.0	0.0	1.0	n=6	1.0	0.0	1.0
うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=30	2.5	2.1	2.0	n=32	2.5	2.1	2.0

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数	n=41	8.2	5.8	7.0	n=42	7.9	5.7	6.0
うち病棟専任の薬剤師数	n=35	7.2	5.1	6.0	n=36	6.9	5.0	6.0
うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=9	1.6	1.0	1.0	n=9	1.7	0.9	1.0
うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=11	1.6	0.7	1.0	n=12	1.5	0.7	1.0

その他

	令和元年10月				令和2年10月			
		平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数	n=42	4.5	4.6	3.0	n=43	4.5	4.7	3.0
うち病棟専任の薬剤師数	n=26	5.0	4.5	4.0	n=27	5.0	4.8	4.0
うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=5	1.2	0.4	1.0	n=5	1.2	0.4	1.0
うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=5	1.4	0.5	1.0	n=5	1.4	0.5	1.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

図表 5 - 22　病棟に配置されている薬剤師数（常勤と非常勤（常勤換算人数）の合計）

（単位：人）

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=277	8.6	7.4	7.0	n=282	8.7	7.6	7.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=230	7.8	6.8	6.0	n=236	7.7	6.9	6.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=43	1.5	1.0	1.0	n=45	1.6	1.0	1.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=77	2.1	1.8	2.0	n=82	2.2	1.7	2.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

図表 5 - 23　病棟に配置されている薬剤師数（常勤と非常勤（常勤換算人数）の合計）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）

（単位：人）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=72	11.7	7.1	10.0	n=73	12.2	7.5	10.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=66	10.5	7.0	9.0	n=67	10.7	7.3	9.8
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=4	1.2	0.4	1.0	n=6	1.1	0.3	1.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=30	2.5	2.1	2.0	n=32	2.5	2.1	2.0

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=41	8.4	5.8	7.0	n=42	8.1	5.8	6.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=35	7.3	5.0	6.0	n=36	7.1	5.0	6.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=9	1.7	0.9	1.0	n=9	1.8	0.9	2.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=11	1.6	0.7	1.0	n=12	1.5	0.7	1.0

その他

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=43	4.6	4.7	3.0	n=44	4.5	4.8	2.5
	うち病棟専任の薬剤師数	n=26	5.3	4.8	4.0	n=27	5.3	5.0	4.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=5	1.2	0.4	1.0	n=5	1.2	0.4	1.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=5	1.4	0.5	1.0	n=5	1.4	0.5	1.0

注：本集計は、各項目について、1 以上の回答があった施設を対象に集計している。そのため、うち数が外数を上回る場合がある。

図表 5 - 24　病棟に配置されている薬剤師数（常勤）
（全ての項目に回答のあった施設を対象に集計（0 を含む））

（単位：人）

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=207	6.4	7.3	4.0	n=207	6.5	7.4	3.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=207	4.7	6.2	2.0	n=207	4.8	6.3	2.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=207	0.2	0.6	0.0	n=207	0.2	0.6	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=207	0.4	1.1	0.0	n=207	0.5	1.1	0.0

図表 5 - 25　病棟に配置されている薬剤師数（常勤）
（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）
（全ての項目に回答のあった施設を対象に集計（0 を含む））

（単位：人）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=44	10.8	7.1	9.0	n=44	11.1	7.2	10.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=44	9.0	7.5	7.5	n=44	9.1	7.6	8.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=44	0.1	0.3	0.0	n=44	0.1	0.3	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=44	1.1	1.8	0.0	n=44	1.1	1.8	0.0

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=30	6.2	6.8	3.0	n=30	6.1	6.6	3.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=30	5.0	6.0	3.0	n=30	5.1	5.9	3.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=30	0.4	0.9	0.0	n=30	0.4	0.9	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=30	0.3	0.8	0.0	n=30	0.3	0.8	0.0

その他

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=30	2.7	3.7	1.5	n=30	2.7	3.7	1.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=30	1.4	2.3	0.0	n=30	1.5	2.5	0.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=30	0.0	0.2	0.0	n=30	0.0	0.2	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=30	0.0	0.2	0.0	n=30	0.0	0.2	0.0

図表 5 - 26　病棟に配置されている薬剤師数（常勤と非常勤（常勤換算人数）の合計）（全ての項目に回答のあった施設を対象に集計（0 を含む））

（単位：人）

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=207	6.6	7.4	4.0	n=207	6.7	7.6	4.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=207	4.8	6.3	2.0	n=207	4.9	6.4	2.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=207	0.2	0.6	0.0	n=207	0.2	0.7	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=207	0.4	1.1	0.0	n=207	0.5	1.1	0.0

図表 5 - 27　病棟に配置されている薬剤師数（常勤と非常勤（常勤換算人数）の合計）（新型コロナウイルス感染の重点医療機関の指定の有無別）（全ての項目に回答のあった施設を対象に集計（0 を含む））

（単位：人）

重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=44	11.2	7.3	9.4	n=44	11.6	7.4	10.0
	うち病棟専任の薬剤師数	n=44	9.3	7.8	7.5	n=44	9.3	7.8	8.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=44	0.1	0.4	0.0	n=44	0.1	0.4	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=44	1.1	1.8	0.0	n=44	1.1	1.8	0.0

協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている

		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=30	6.4	6.9	3.5	n=30	6.4	6.7	4.7
	うち病棟専任の薬剤師数	n=30	5.2	6.0	3.0	n=30	5.3	6.0	3.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=30	0.4	0.9	0.0	n=30	0.4	0.9	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=30	0.3	0.8	0.0	n=30	0.3	0.8	0.0

その他

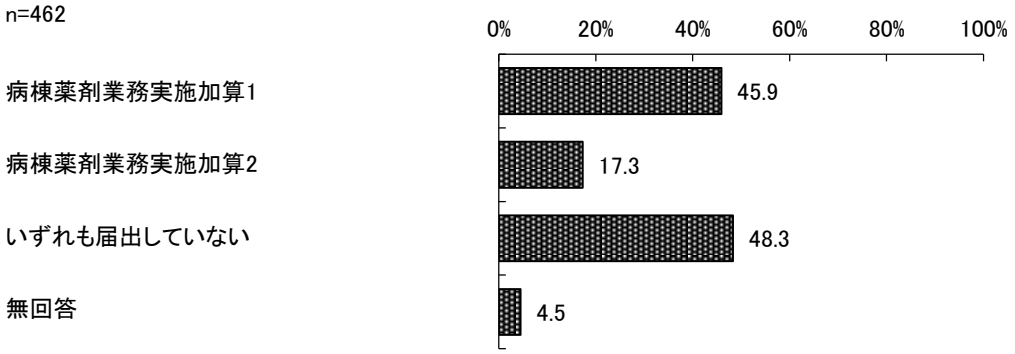
		令和元年10月				令和2年10月			
			平均値	標準偏差	中央値		平均値	標準偏差	中央値
各病棟に配置されている薬剤師数		n=30	2.7	3.8	1.5	n=30	2.7	3.7	1.1
	うち病棟専任の薬剤師数	n=30	1.5	2.4	0.0	n=30	1.5	2.5	0.0
	うち療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	n=30	0.0	0.2	0.0	n=30	0.0	0.2	0.0
	うち集中治療室等に配置されている薬剤師数	n=30	0.0	0.2	0.0	n=30	0.0	0.2	0.0

（２） 薬剤師の病棟業務等

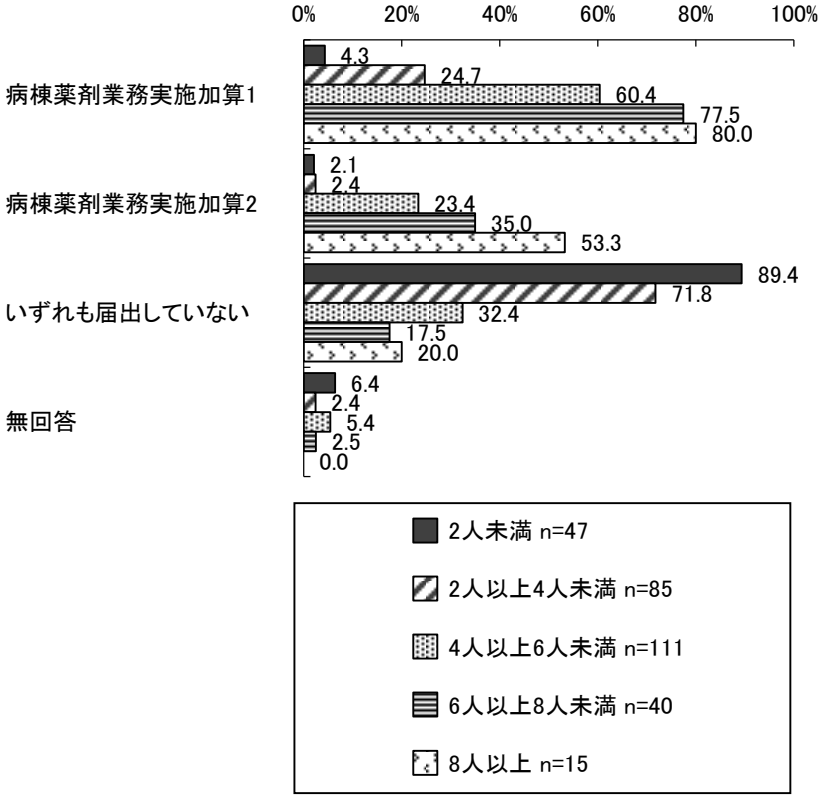
① 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況

病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況についてみてみると、「病棟薬剤業務実施加算１」（45.9%）、「病棟薬剤業務実施加算 2」（17.3%）、「いずれも届出していない」（48.3%）であった。

図表 5 - 28　病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況（複数回答）



図表 5 - 29　病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出状況（複数回答）
（100 床あたりの薬剤師数別）

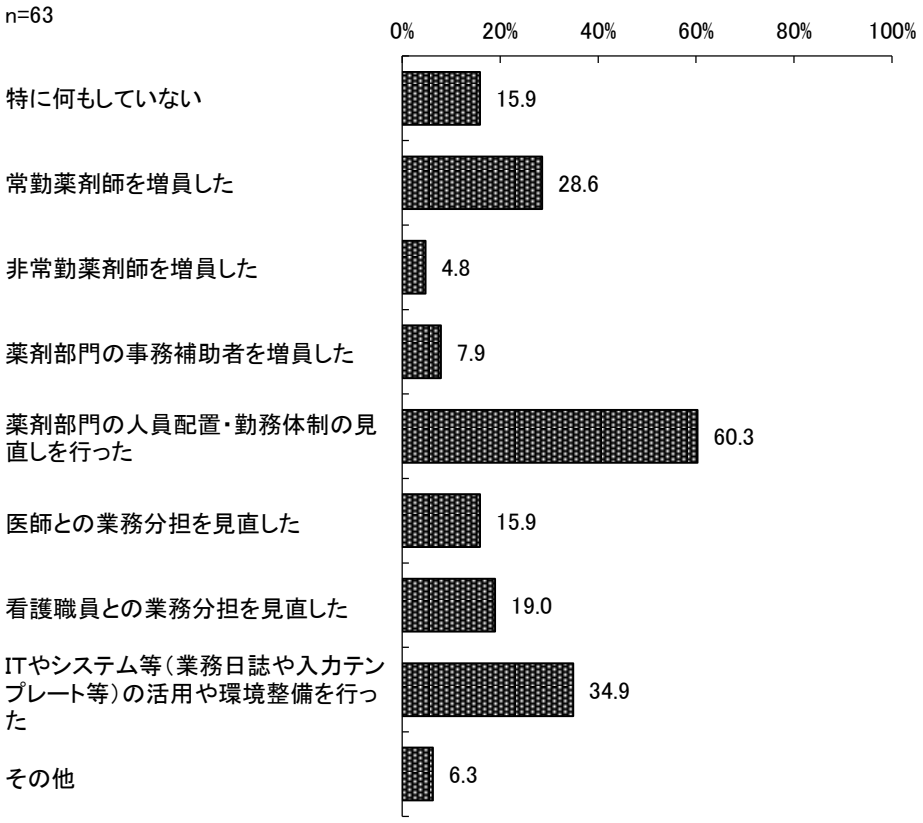


①-1 病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出のために行った対応

【令和 2 年 4 月～令和 2 年 9 月の期間に病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をした施設が回答】

病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出のために行った対応で最も多かったものは「薬剤部門の人員配置・勤務体制の見直しを行った」（60.3%）であった。

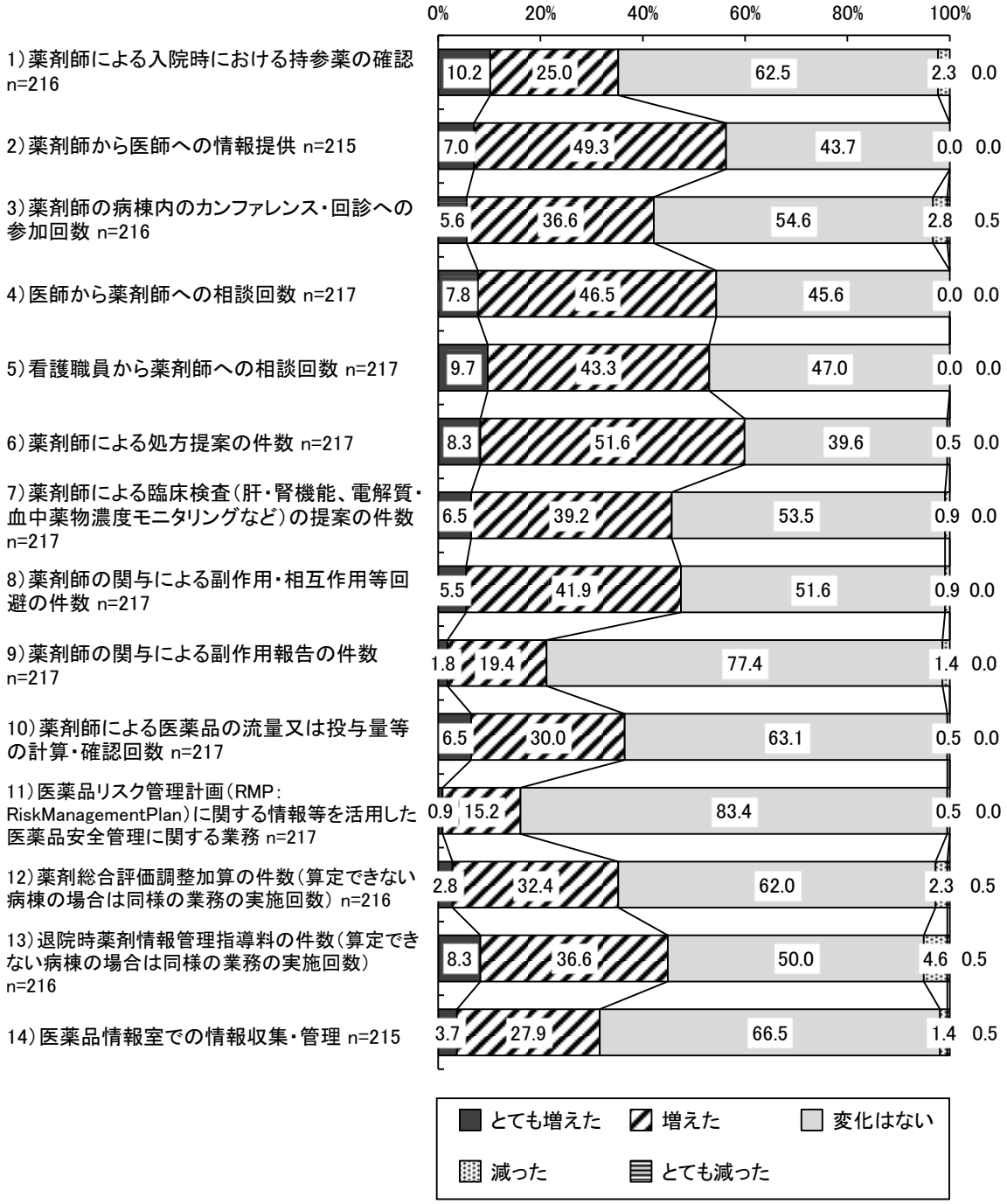
図表 5 - 30　病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出のために行った対応（複数回答）



①-2 薬剤師の業務について１年前との変化
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）

薬剤師の業務について１年前との変化は以下のとおりであった。

図表５－31　薬剤師の業務について１年前との変化
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）



①-3 薬剤師が配置されている病棟別の入院料の種類と 1 病棟当たり病棟薬剤業務の延べ実施時間／週
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）

薬剤師が配置されている病棟別の入院料の種類と 1 病棟当たり病棟薬剤業務の延べ実施時間／週は以下のとおりであった。

図表 5 - 32　病棟別の入院料の種類と 1 病棟当たり病棟薬剤業務の延べ実施時間／週（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）

（単位：1 病棟当たり・時間／週）

		平均値	標準偏差	中央値
一般病棟入院基本料急性期一般入院料1	n=801	27.7	12.9	25.0
一般病棟入院基本料急性期一般入院料2	n=20	26.9	5.5	27.0
一般病棟入院基本料急性期一般入院料3	n=1	8.0	0.0	8.0
一般病棟入院基本料急性期一般入院料4	n=73	28.2	20.4	22.6
一般病棟入院基本料急性期一般入院料5	n=6	17.9	5.7	18.3
一般病棟入院基本料急性期一般入院料6	n=3	21.0	1.4	20.0
一般病棟入院基本料急性期一般入院料7	n=3	29.8	6.7	30.0
一般病棟入院基本料地域一般入院料1	n=3	19.2	15.6	15.0
一般病棟入院基本料地域一般入院料2	n=5	20.2	9.8	23.0
一般病棟入院基本料地域一般入院料3	n=2	31.0	9.0	31.0

		平均値	標準偏差	中央値
療養病棟入院基本料療養病棟入院料1	n=17	23.4	7.6	21.0
療養病棟入院基本料療養病棟入院料2	n=4	20.1	0.2	20.0
療養病棟入院基本料療養病棟入院基本料注11	n=-	-	-	-

		平均値	標準偏差	中央値
結核病棟入院基本料7対1	n=1	20.0	0.0	20.0
結核病棟入院基本料10対1	n=-	-	-	-
結核病棟入院基本料13対1	n=-	-	-	-
結核病棟入院基本料15対1	n=-	-	-	-
結核病棟入院基本料18対1	n=-	-	-	-
結核病棟入院基本料20対1	n=-	-	-	-

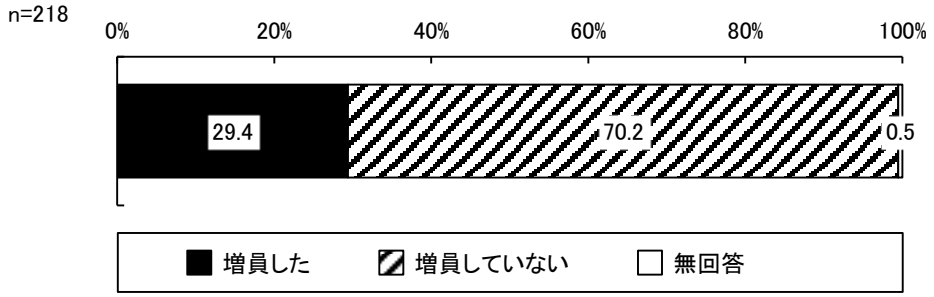
		平均値	標準偏差	中央値
精神病棟入院基本料10対1	n=1	22.5	0.0	22.5
精神病棟入院基本料13対1	n=-	-	-	-
精神病棟入院基本料15対1	n=-	-	-	-
精神病棟入院基本料18対1	n=-	-	-	-
精神病棟入院基本料20対1	n=-	-	-	-

		平均値	標準偏差	中央値
特定機能病院入院基本料一般病棟7対1	n=32	30.8	6.9	30.5
特定機能病院入院基本料一般病棟10対1	n=-	-	-	-
特定機能病院入院基本料結核病棟7対1	n=-	-	-	-
特定機能病院入院基本料結核病棟10対1	n=-	-	-	-
特定機能病院入院基本料結核病棟13対1	n=-	-	-	-
特定機能病院入院基本料結核病棟15対1	n=-	-	-	-
特定機能病院入院基本料精神病棟7対1	n=1	20.0	0.0	20.0
特定機能病院入院基本料精神病棟10対1	n=-	-	-	-
特定機能病院入院基本料精神病棟13対1	n=1	21.0	0.0	21.0
特定機能病院入院基本料精神病棟15対1	n=-	-	-	-

①-4 令和２年４月以降の薬剤師増員の有無
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）

令和 2 年 4 月以降の薬剤師増員の有無は「増員した」(29.4%)、「増員していない」(70.2%) であった。

図表５－33　令和２年４月以降の薬剤師増員の有無
（病棟薬剤業務実施加算１又は２の届出をしている施設）



増員した薬剤師数（常勤）			
	平均値	標準偏差	中央値
n=61	2.1	1.8	2.0

増員した薬剤師数（非常勤）　実人数			
	平均値	標準偏差	中央値
n=38	0.6	1.1	0.0

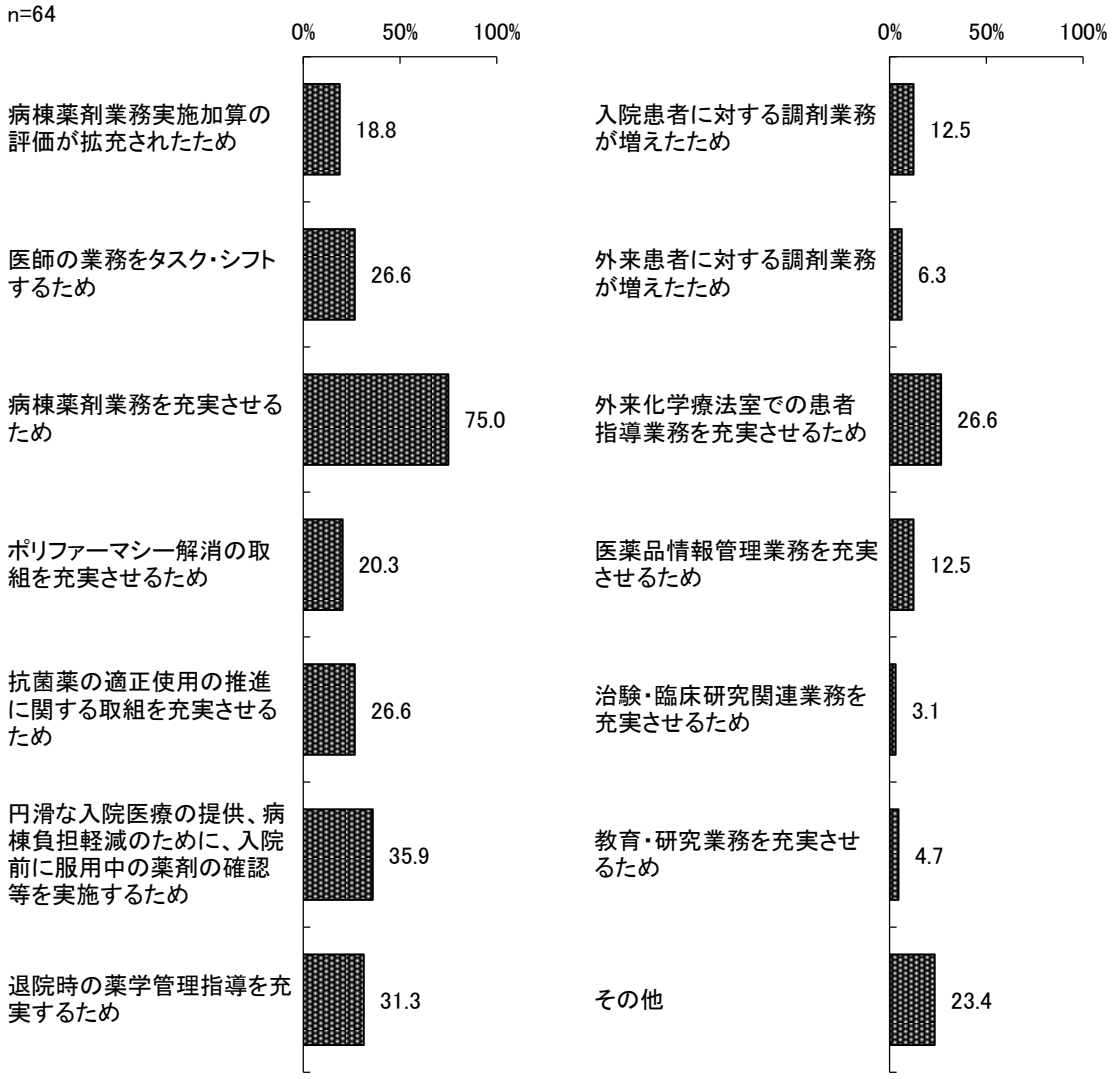
増員した薬剤師数（非常勤）　常勤換			
	平均値	標準偏差	中央値
n=30	0.2	0.4	0.0

①-5 増員した理由・目的（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）

増員した理由・目的で最も多かったものは「病棟薬剤業務を充実させるため」（75.0%）であった。

なお、「その他」の回答には、「回復期リハ病棟での薬剤業務充実のため」、「欠員補充のため」、「二交替制への移行」、「医療安全向上のため」、「病棟薬剤業務実施加等を算定するため」等の回答があった。

図表 5 - 34　増員した理由・目的（複数回答）
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしている施設）

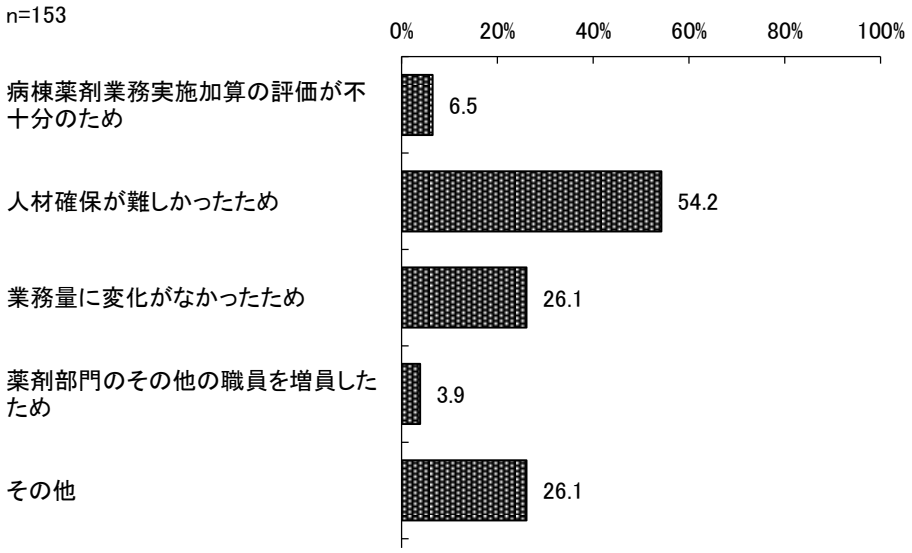


①-6 増員しなかった理由

増員しなかった理由で最も多かったものは「人材確保が難しかったため」（54.2%）であった。

なお、「その他」の回答には、「薬剤補助を外部に委託したから」、「病院の経営的な観点から困難」、「採用活動を行ったが希望者が来ない」、「増員が認められない」等があった。

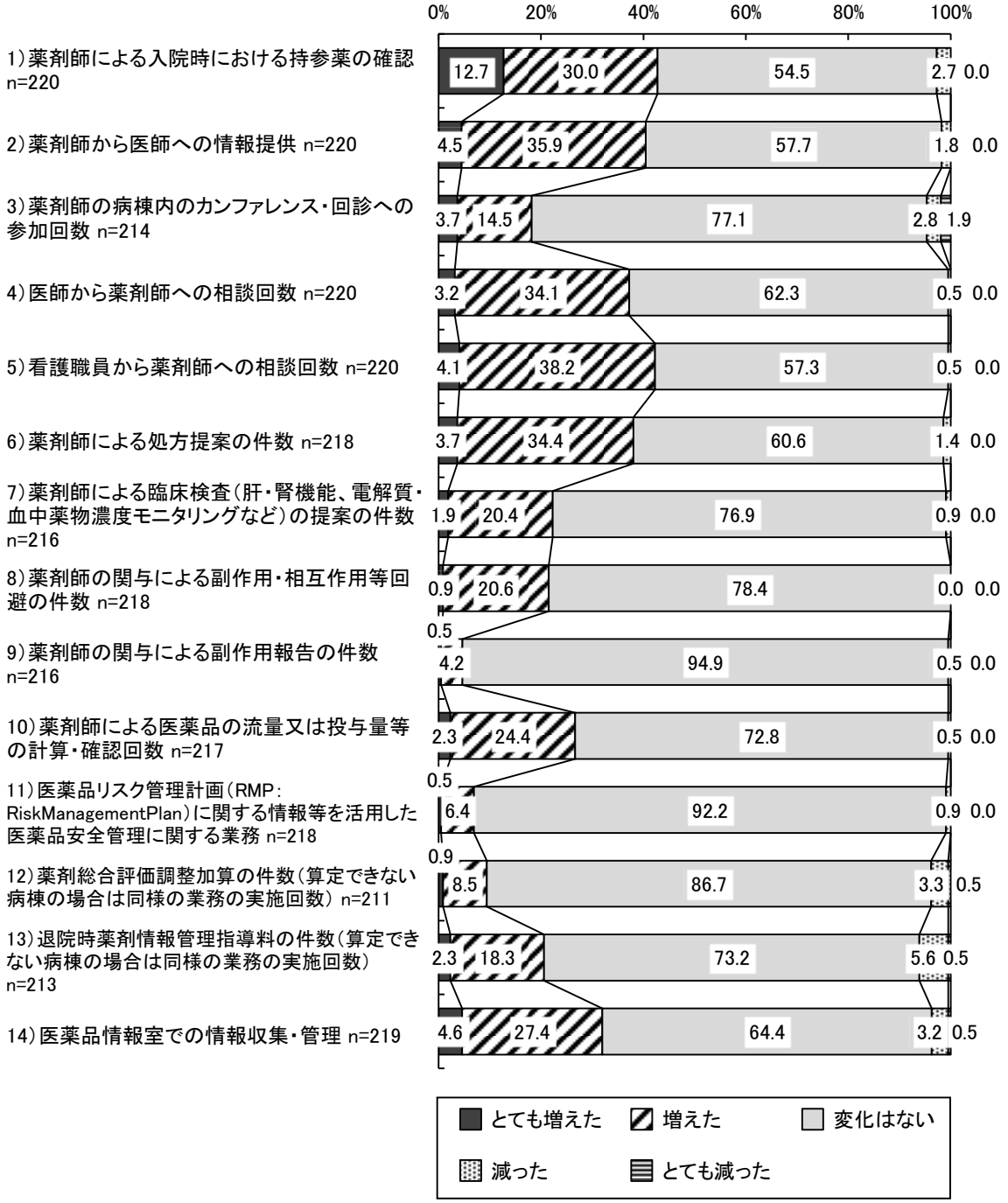
図表 5 - 35　増員しなかった理由（複数回答）



①-7　薬剤師の業務について１年前との変化
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしていない施設）

薬剤師の業務について１年前との変化は以下のとおりであった。

図表５－36　薬剤師の業務について１年前との変化
（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしていない施設）

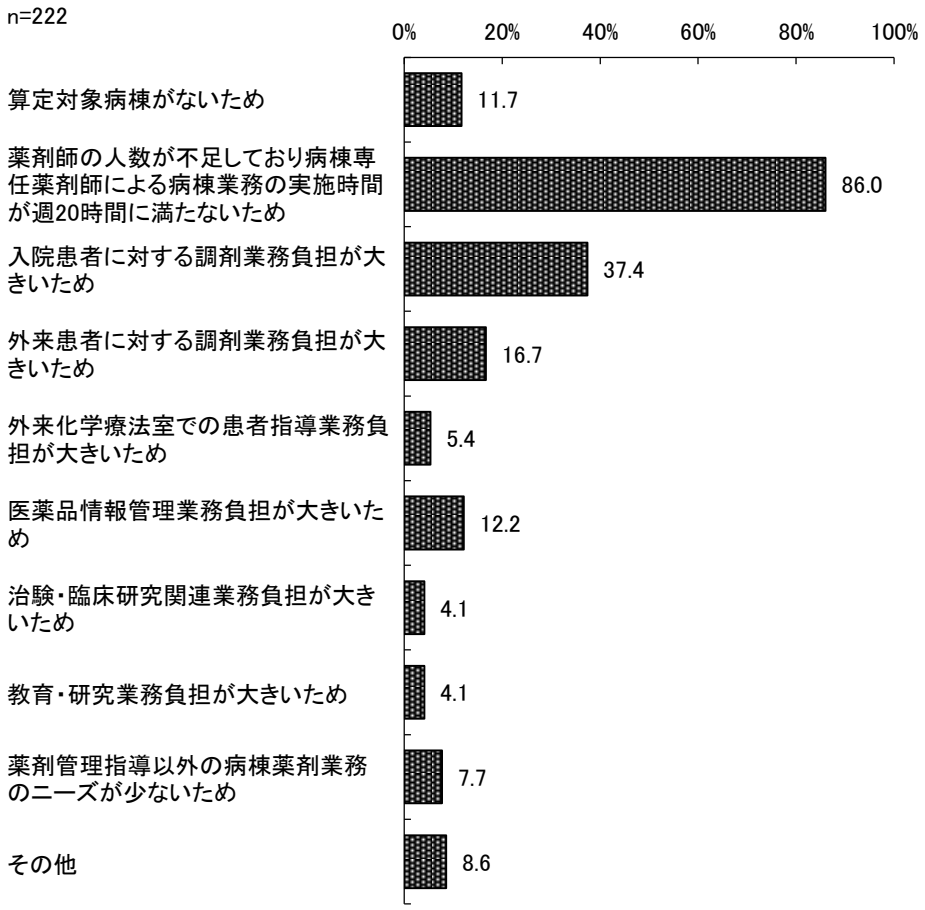


①-8 届出をしていない理由（病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしていない施設）

届出をしていない理由で最も多かったものは「薬剤師の人数が不足しており病棟専任薬剤師による病棟業務の実施時間が週 20 時間に満たないため」（86.0%）であった。

なお、「その他」の理由として、「算定対象病棟が少ないため」、「院内調剤を行っており余裕がない」、「入院前の持参薬鑑別業務の負担が大きいため」、「マンパワー不足で専任化出来ない」等の回答があった。

図表 5 - 37　病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出をしていない理由（複数回答）



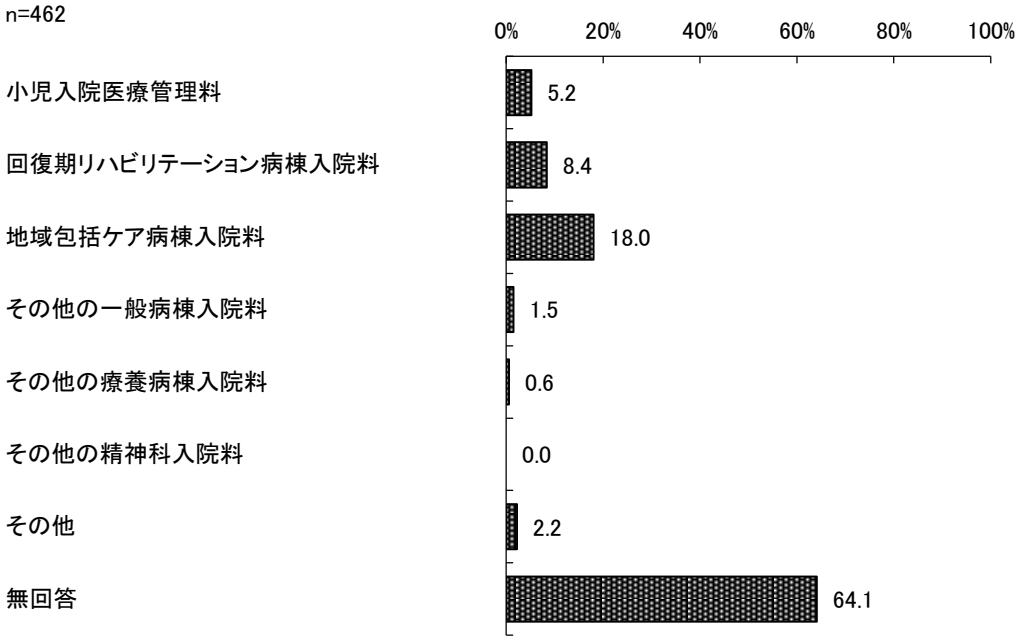
② 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で算定している入院料

【病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟において、病棟薬剤業務を実施している施設が回答】

病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で、病棟薬剤業務を実施している施設において算定している入院料は「地域包括ケア病棟入院料」(18.0%)、「回復期リハビリテーション病棟入院料」(8.4%)、「小児入院医療管理料」(5.2%) であった。

なお、「その他の一般病棟入院料」として「緩和ケア病棟入院料」、「急性期一般入院料」、また、「その他」算定している入院料として「緩和ケア病棟入院基本料」等の回答があった。

図表 5 - 38　病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務を実施している施設において算定している入院料（最も多いもの）



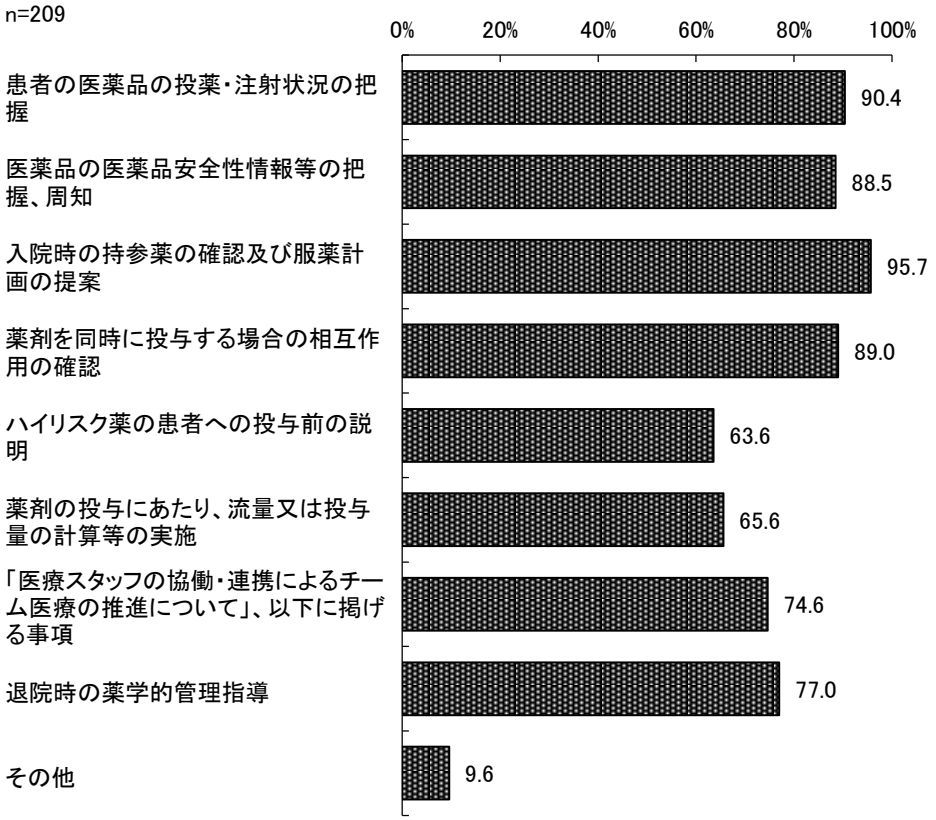
③ 病棟薬剤業務として実施していること

病棟薬剤業務として実施していることで最も多かったものは「入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案」(95.7%)、次に多かったものは「患者の医薬品の投薬・注射状況の把握」(90.4%) であった。

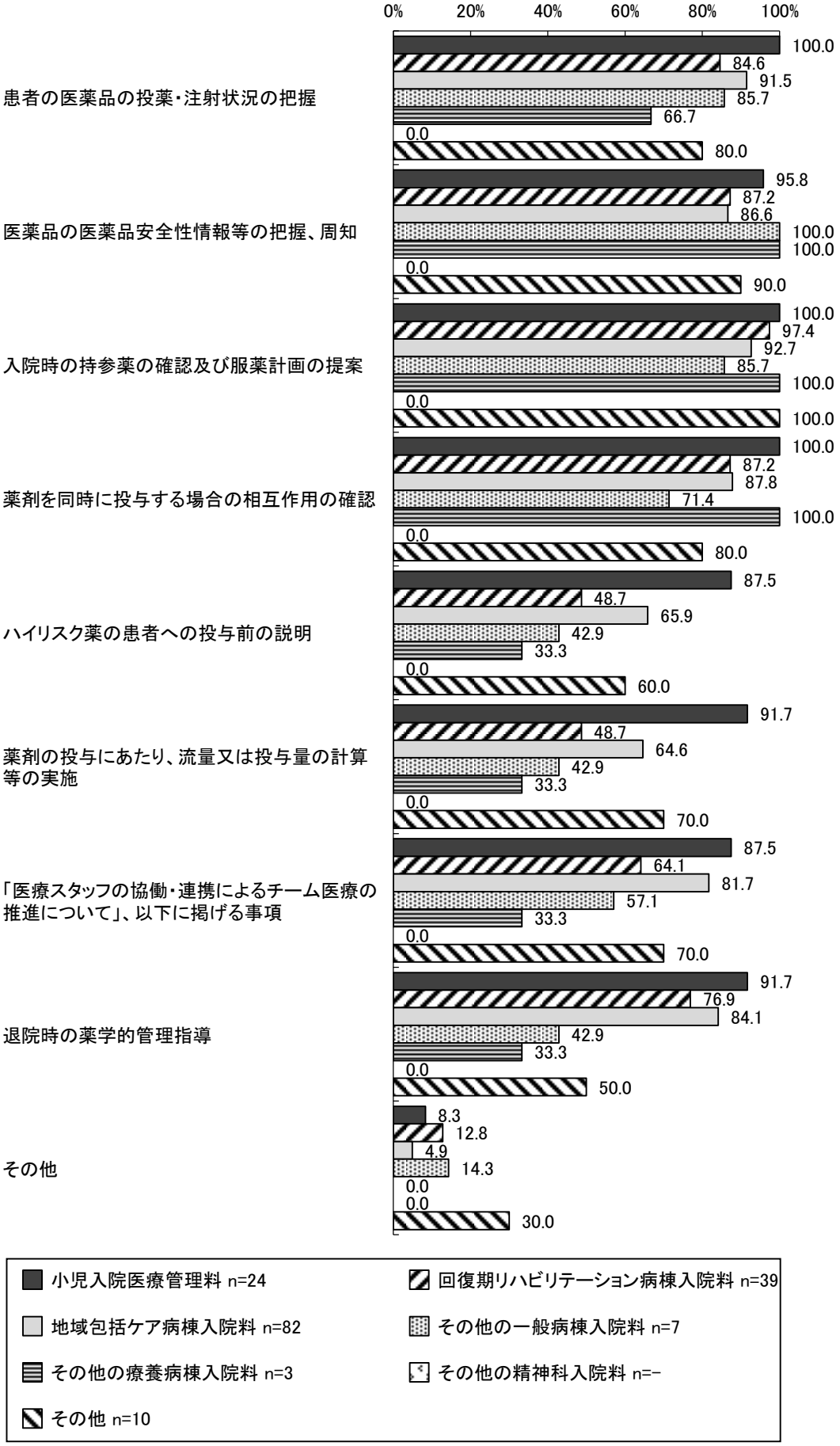
「その他」の回答には、「退院時の対応（在宅療養に向けた服薬支援や薬剤サマリー等の院外への情報共、訪問薬剤管理指導、自己管理指導等)」、「処方の中止、変更、持参薬切り替え等の代行入力」、「配薬のチェック、使用期限や保管状況の確認、定数薬のチェック」等があった。

入院基本料、特定入院料等別の病棟薬剤業務として実施していることは、以下のとおりであった。

図表 5 - 39　病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務として実施していること（複数回答）



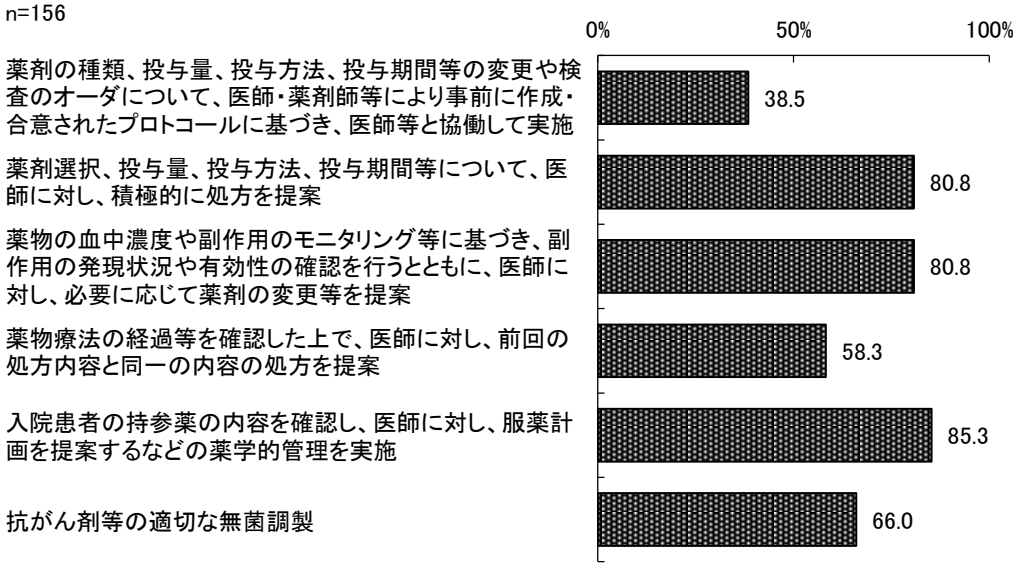
図表 5 - 40　病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務として実施していること（複数回答）
【入院基本料、特定入院料等別】



【前問で「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を選択した場合の実施内容】

前問で「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を選択した場合の実施内容で最も多かったものは「入院患者の持参薬の内容を確認し、医師に対し、服薬計画を提案するなど薬学的管理を実施」(85.3%)、次に多かったものは「薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方を提案」「薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、積極的に処方を提案」(いずれも 80.8%) であった。

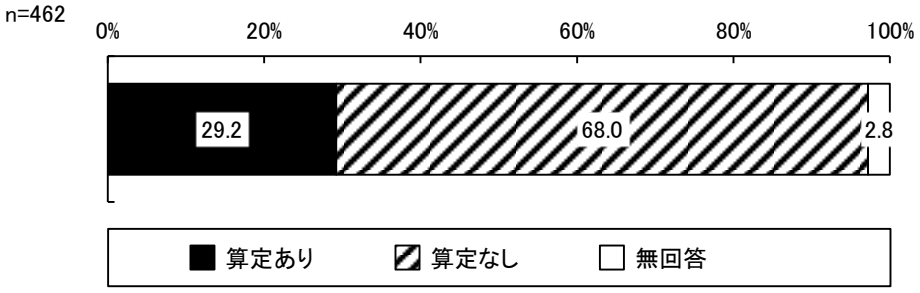
図表 5 - 41　病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務として実施していること「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」に関する具体的実施内容（複数回答）



④ 薬剤総合評価調整加算の算定の有無(令和 2 年 4 月～9 月)

令和 2 年 4 月から 9 月における、薬剤総合評価調整加算の算定の有無は「算定あり」(29.2%)、「算定なし」(68.0%) であった。

図表 5 - 42　薬剤総合評価調整加算の算定の有無



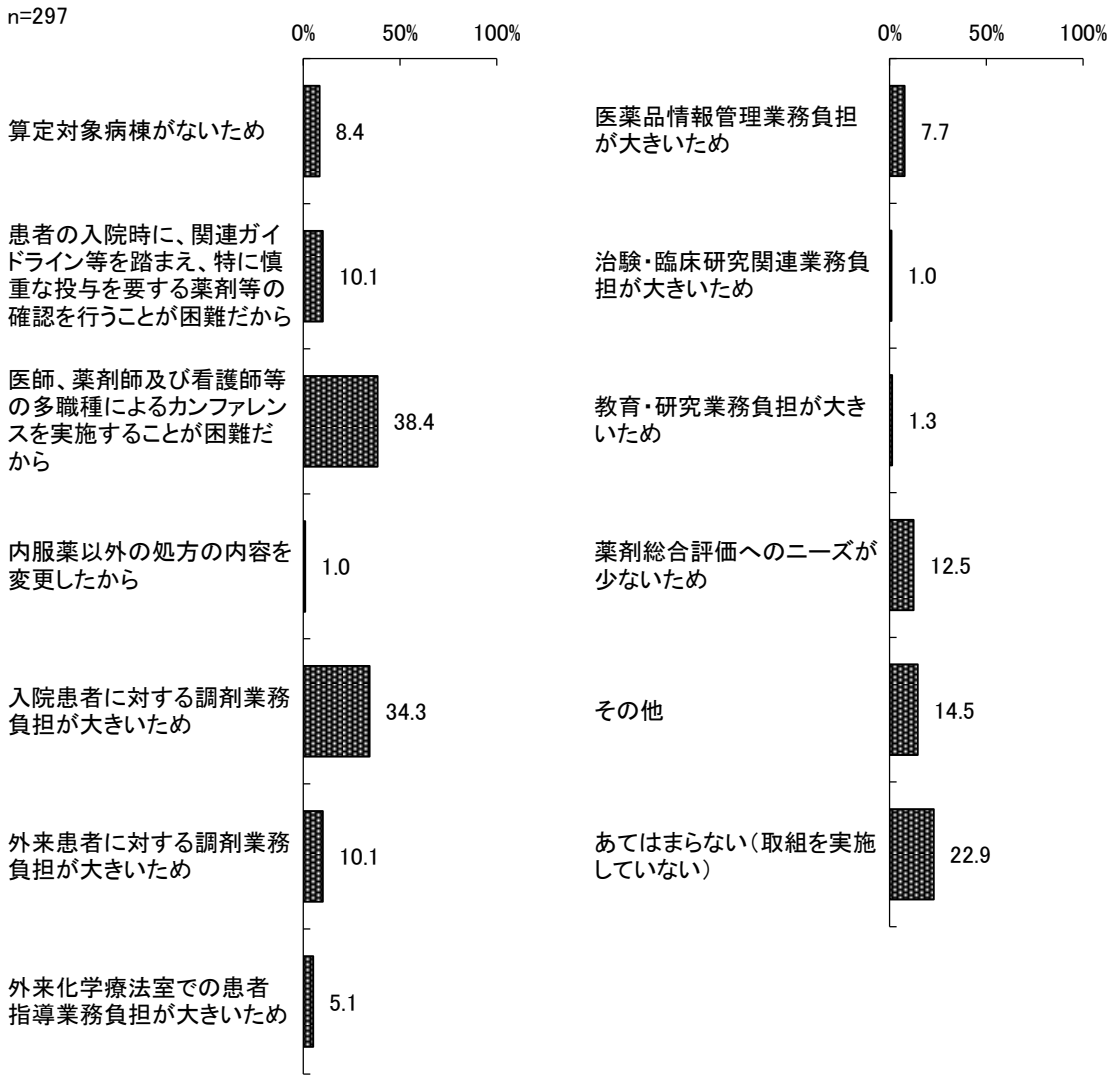
④-1 薬剤総合評価調整加算の算定ができなかった理由
【薬剤総合評価調整加算の算定なしの場合回答】

薬剤総合評価調整加算の算定なしであり、かつ、処方内容を総合的に評価した上で処方の内容を変更する取組を実施したが算定できなかった場合の理由について尋ねた。

「医師、薬剤師及び看護師等の多職種によるカンファンレンスを実施することが困難だから」(38.4%)、「入院患者に対する調剤業務負担が大きいため」(34.3%) の順に多かった。

なお、「その他」の回答には、「算定するための業務過多」、「薬剤師不足のため、病棟業務にかかる人手が足りない」等があった。

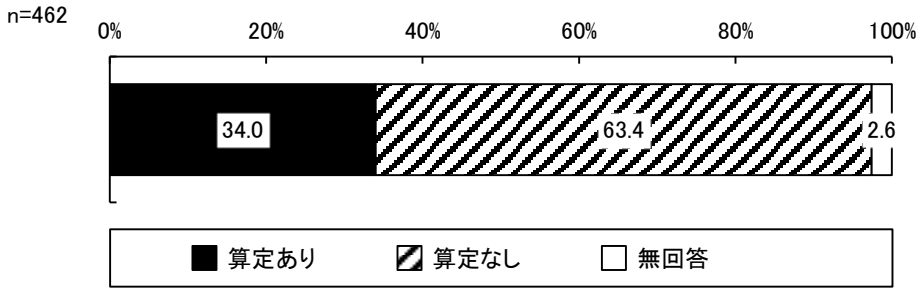
図表 5 - 43　薬剤総合評価調整加算の算定ができなかった理由（複数回答）



⑤ 退院時薬剤情報連携加算の算定の有無

退院時薬剤情報連携加算の算定の有無は「算定あり」(34.0%)、「算定なし」(63.4%)であった。

図表 5 - 44　退院時薬剤情報連携加算の算定の有無



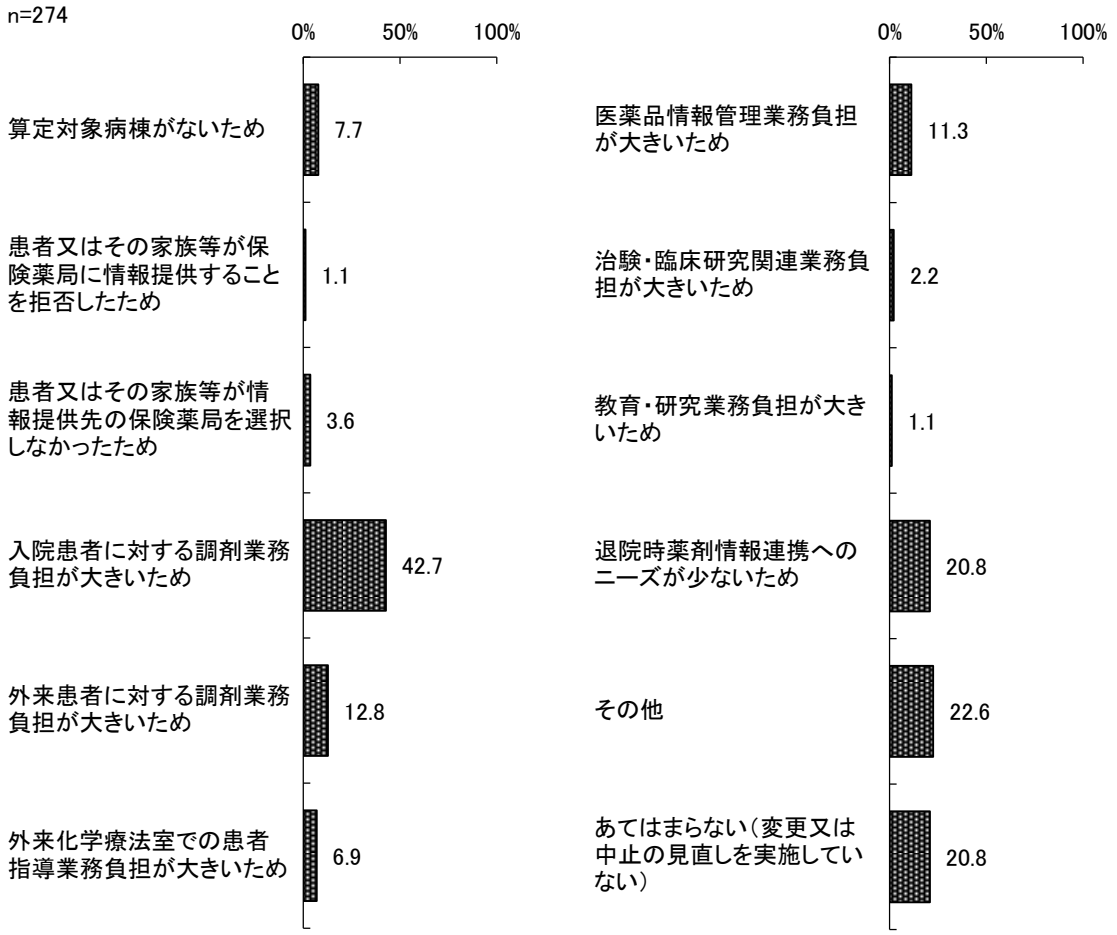
⑤-1 退院時薬剤情報連携加算の算定ができなかった理由
【退院時薬剤情報連携加算の算定なしの場合回答】

退院時薬剤情報連携加算の算定無しであり、かつ、入院前の処方薬の内容に変更又は中止の見直しを実施したが算定できなかった場合に、その理由について尋ねた。

最も多かったものは「入院患者に対する調剤業務負担が大きいため」（42.7%）であった。

なお、「その他」の回答として、「他の病棟業務の対応があるため」、「薬剤師不足」、「病棟専任薬剤師の労務負担が大きいため」、「お薬手帳に記する内容と重なり別途情報提供書を作成する時間がない」、「保険薬局への情報提供文書の作成等が業務負担」、「情報提供システムが未完成」等があった。

図表 5 - 45　退院時薬剤情報連携加算の算定ができなかった理由（複数回答）

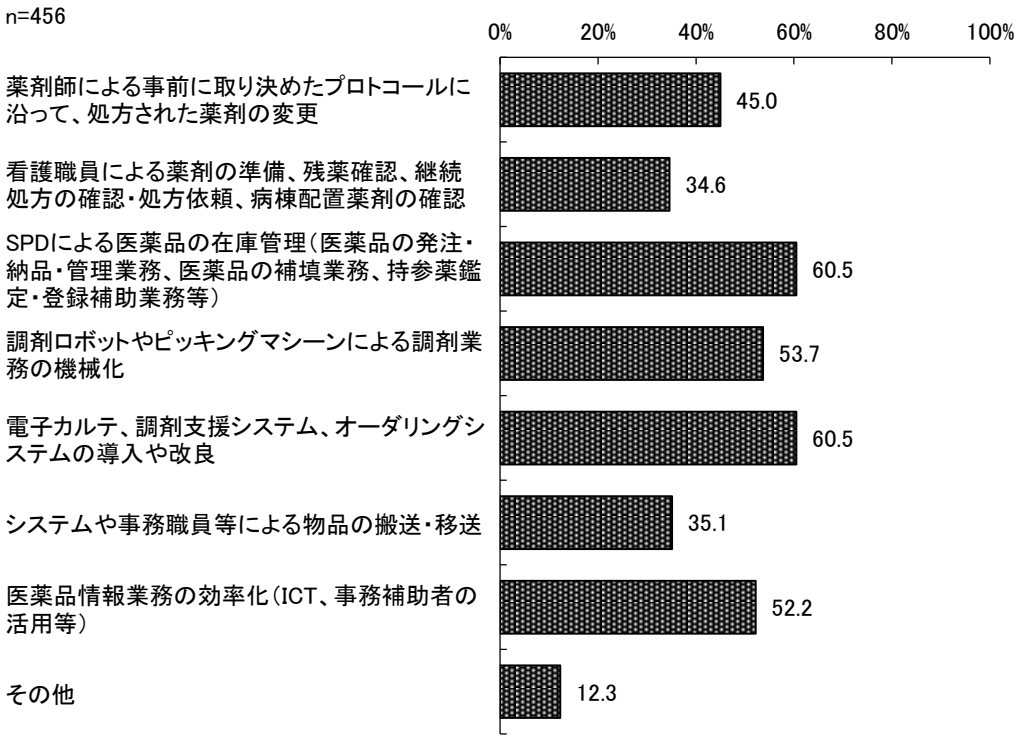


⑥ 薬剤師の負担を軽減することができると思う取組

どのような取組が病院で行われれば、薬剤師の負担を軽減することができるかをみると、最も多かったものは「SPD による医薬品の在庫管理（医薬品の発注・納品・管理業務、医薬品の補填業務、持参薬鑑定・登録補助業務等）」「電子カルテ、調剤支援システム、オーダリングシステムの導入や改良」（いずれも 60.5%）であった。

なお、「その他」の回答として「薬剤師の定員数の増員」、「調剤・監査の最終的な責任が薬剤師にある以上、薬剤師の負担軽減のためには増員が不可欠」、「持参薬鑑定のための処方箋の電子化」、「医薬分業の推進」等があった。

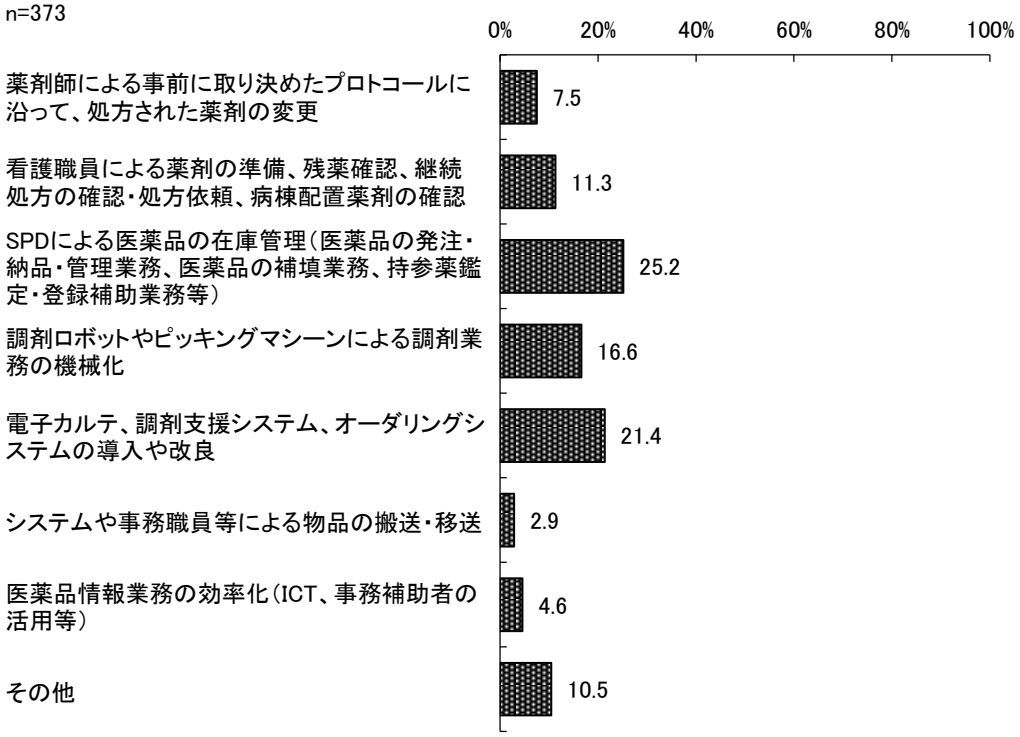
図表 5 - 46　薬剤師の負担を軽減することができると思う取組（複数回答）



⑥-1 薬剤師の負担を軽減するための最も効果があると思う取組

薬剤師の負担軽減のために最も効果がある取組で最も多かったものは「SPD による医薬品の在庫管理（医薬品の発注・納品・管理業務、医薬品の補填業務、持参薬鑑定・登録補助業務等）」（25.2%）、次に多かったものは「電子カルテ、調剤支援システム、オーダリングシステムの導入や改良」（21.4%）であった。

図表 5 - 47　薬剤師の負担を軽減することができると思う取組（最も効果があるもの）

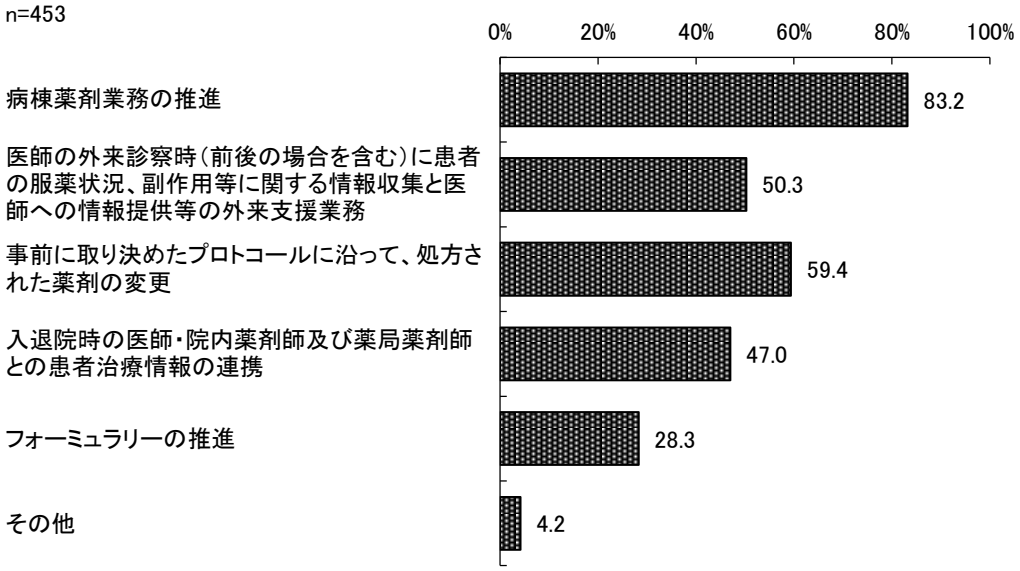


⑦ 病院薬剤師が分担することで、病院全体の働き方改革に貢献できると思われる業務

病院薬剤師が分担することで、病院全体の働き方改革に貢献できると思われる業務で最も多かったものは「病棟薬剤業務の推進」（83.2%）であった。

なお、「その他」として、「一定の処方権限の薬剤師へのタスクシフト」、「薬剤師配置数の抜本的見直し」、「医師の教育（薬物治療、チーム医療、専門性、責任感）」、「より現場に則した薬剤師の育成」等の回答があった。

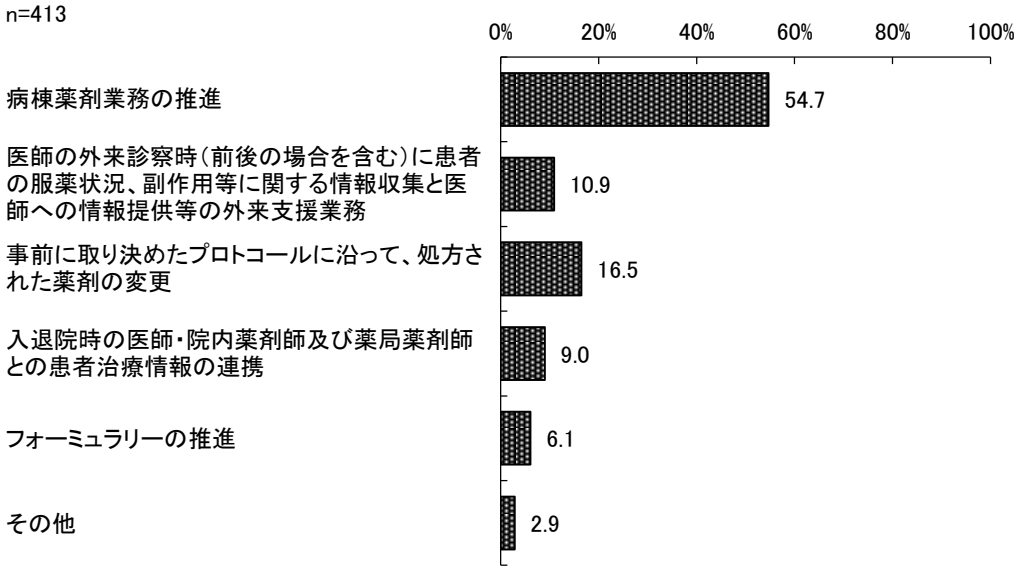
図表 5 - 48　病院薬剤師が分担することで病院全体の働き方改革に貢献できると思われる業務（複数回答）



⑦-1 病院薬剤師が分担することで、病院全体の働き方改革に最も貢献できると思われる業務

病院薬剤師が分担することで、病院全体の働き方改革に最も貢献できると思われる業務で最も多かったものは「病棟薬剤業務の推進」（54.7%）であった。

図表 5 - 49　病院薬剤師が分担することで病院全体の働き方改革に最も貢献できると思われる業務（最も効果があるもの）



NDB データを用いた集計（令和２年度　働き方）

●地域医療体制確保加算の算定状況（令和２年５月診療分）

	地域医療体制確保加算
算定医療機関数	902
算定件数	20,315
算定回数	20,366

※　DPC 対象病院における算定医療機関数、算定件数及び算定回数は、
884、438,177 及び 438,204　（出典：DPC データ）

●医師事務作業補助体制加算の算定状況（令和元年５月診療分）

	医師事務作業補助体制加算１							
	１５対１補助体制加算	２０対１補助体制加算	２５対１補助体制加算	３０対１補助体制加算	４０対１補助体制加算	５０対１補助体制加算	７５対１補助体制加算	１００対１補助体制加算
算定医療機関数	372	453	279	166	190	268	156	42
算定件数	11,486	23,242	14,049	6,875	11,626	12,753	9,774	2,789
算定回数	11,564	23,340	14,112	6,905	11,654	12,808	9,811	2,802

	医師事務作業補助体制加算２							
	１５対１補助体制加算	２０対１補助体制加算	２５対１補助体制加算	３０対１補助体制加算	４０対１補助体制加算	５０対１補助体制加算	７５対１補助体制加算	１００対１補助体制加算
算定医療機関数	94	134	139	105	133	155	127	45
算定件数	2,755	4,837	8,575	5,337	8,071	8,325	7,894	2,768
算定回数	2,763	4,853	8,611	5,358	8,100	8,352	7,929	2,776

●医師事務作業補助体制加算の算定状況（令和２年５月診療分）

	医師事務作業補助体制加算１							
	１５対１補助体制加算	２０対１補助体制加算	２５対１補助体制加算	３０対１補助体制加算	４０対１補助体制加算	５０対１補助体制加算	７５対１補助体制加算	１００対１補助体制加算
算定医療機関数	414	474	288	181	189	282	158	43
算定件数	9,771	19,042	12,044	6,551	8,797	9,775	7,937	1,932
算定回数	9,810	19,105	12,107	6,563	8,819	9,802	7,962	1,938

	医師事務作業補助体制加算２							
	１５対１補助体制加算	２０対１補助体制加算	２５対１補助体制加算	３０対１補助体制加算	４０対１補助体制加算	５０対１補助体制加算	７５対１補助体制加算	１００対１補助体制加算
算定医療機関数	89	129	129	91	124	158	130	42
算定件数	2,302	4,199	6,381	4,052	5,509	6,706	6,067	2,103
算定回数	2,305	4,212	6,411	4,061	5,543	6,720	6,084	2,107

●総合入院体制加算の算定状況（令和元年５月診療分）

	総合入院体制加算１	総合入院体制加算２	総合入院体制加算３
算定医療機関数	41	166	152
算定件数	1,326	4,373	2,696
算定回数	7,924	24,641	14,108

●総合入院体制加算の算定状況（令和２年５月診療分）

	総合入院体制加算１	総合入院体制加算２	総合入院体制加算３
算定医療機関数	43	183	146
算定件数	1,056	3,604	2,030
算定回数	6,476	20,192	10,611

●急性期看護補助体制加算、看護補助加算等の算定状況（令和元年５月診療分、令和２年５月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数の順で掲載。

※算定医療機関数が３未満又は算定件数が 10 件未満の場合は「*」として掲載。

急性期看護補助体制加算	令和元年５月診療分											
	25 対１急性期看護補助体制加算（看護補助者５割以上）			25 対１急性期看護補助体制加算（看護補助者５割未満）			50 対１急性期看護補助体制加算			75 対１急性期看護補助体制加算		
急性期一般入院料１	687	23,414	144,413	98	1,932	11,131	526	14,306	86,842	36	1,578	10,575
急性期一般入院料２	44	3,318	22,023	18	1,255	9,103	15	542	3,799	－	－	－
急性期一般入院料３	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	－	－	－	－	－
急性期一般入院料４	367	27,635	200,141	36	3,569	26,802	130	9,756	72,707	5	411	3,066
急性期一般入院料５	254	21,170	154,807	42	2,676	20,168	98	8,356	61,219	4	311	2,319
急性期一般入院料６	112	9,152	67,450	13	895	6,893	60	5,393	40,617	＊	＊	＊
急性期一般入院料７	22	1,581	11,893	＊	＊	＊	15	923	6,874	4	327	2,336
特定機能病院入院基本料（一般７対１）	22	1,434	8,889	18	971	6,128	44	2,271	14,718	＊	＊	＊
特定機能病院入院基本料（一般 10 対１）	－	－	－	－	－	－	＊	＊	＊	－	－	－
専門病院入院基本料（７対１）	3	109	741	4	96	539	5	155	1,150	＊	＊	＊
専門病院入院基本料（10 対１）	－	－	－	3	122	843	3	317	2,158	－	－	－

急性期看護補助体制加算	令和２年５月診療分											
	25 対１急性期看護補助体制加算（看護補助者５割以上）			25 対１急性期看護補助体制加算（看護補助者５割未満）			50 対１急性期看護補助体制加算			75 対１急性期看護補助体制加算		
急性期一般入院料１	707	18,513	118,884	102	1,954	11,959	473	9,355	56,641	29	972	6,066
急性期一般入院料２	66	2,805	19,173	19	1,046	8,002	17	723	5,396	＊	＊	＊
急性期一般入院料３	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性期一般入院料４	414	24,795	187,885	46	3,474	26,808	138	8,090	62,453	4	218	1,726
急性期一般入院料５	231	15,785	120,724	29	1,068	8,248	81	5,960	46,420	＊	＊	＊
急性期一般入院料６	87	5,905	46,027	11	554	4,124	56	4,065	31,889	－	－	－
急性期一般入院料７	17	1,036	8,401	4	124	1,017	8	483	3,764	5	386	2,932
特定機能病院入院基本料（一般７対１）	22	1,110	7,004	24	979	6,409	38	1,537	10,200	＊	＊	＊
特定機能病院入院基本料（一般 10 対１）	－	－	－	－	－	－	＊	＊	＊	－	－	－
専門病院入院基本料（７対１）	4	119	666	3	119	788	5	131	939	＊	＊	＊
専門病院入院基本料（10 対１）	－	－	－	3	86	621	＊	＊	＊	－	－	－

看護補助加算	令和元年５月診療分								
	看護補助加算１			看護補助加算２			看護補助加算３		
地域一般入院料１	187	13,422	172,518	79	4,612	59,010	3	177	2,333
地域一般入院料２	7	357	4,398	109	7,084	88,613	3	132	1,524
地域一般入院料３	517	27,860	484,585	119	5,996	98,332	13	853	12,507
結核病棟 13 対１入院基本料	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊
結核病棟 15 対１入院基本料	4	124	2,656	＊	＊	＊	－	－	－
精神病棟 13 対１入院基本料	7	133	2,523	72	3,721	78,698	4	196	4,022
精神病棟 15 対１入院基本料	668	55,352	1,519,939	439	42,338	1,182,585	62	4,807	131,959
精神病棟 18 対１入院基本料	4	235	6,687	15	2,178	62,988	3	308	9,104
精神病棟 20 対１入院基本料	3	226	6,173	4	464	12,999	＊	＊	＊
特定機能病院入院基本料（精神 13 対１）	－	－	－	35	1,325	27,078	－	－	－
特定機能病院入院基本料（精神 15 対１）	3	99	2,190	－	－	－	＊	＊	＊
障害者施設等 13 対１入院基本料	22	475	11,563	119	6,692	167,777	－	－	－
障害者施設等 15 対１入院基本料	39	1,931	48,353	5	172	4,111	－	－	－

看護補助加算	令和２年５月診療分								
	看護補助加算１			看護補助加算２			看護補助加算３		
地域一般入院料１	197	11,127	149,981	76	3,550	45,011	3	127	1,773
地域一般入院料２	5	247	3,238	100	5,247	67,916	3	114	1,258
地域一般入院料３	492	23,020	421,728	123	5,048	88,547	14	702	11,227
結核病棟 13 対１入院基本料	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	－	－
結核病棟 15 対１入院基本料	4	109	2,583	＊	＊	＊	－	－	－
精神病棟 13 対１入院基本料	6	129	2,752	65	2,992	63,907	3	163	3,585
精神病棟 15 対１入院基本料	669	52,642	1,477,331	429	40,956	1,168,215	61	4,357	122,276
精神病棟 18 対１入院基本料	4	190	5,240	15	2,151	63,261	＊	＊	＊
精神病棟 20 対１入院基本料	3	222	6,227	4	443	12,828	3	358	10,759
特定機能病院入院基本料（精神 13 対１）	＊	＊	＊	36	976	19,093	－	－	－
特定機能病院入院基本料（精神 15 対１）	＊	＊	＊	＊	＊	＊	－	－	－
障害者施設等 13 対１入院基本料	27	647	15,531	119	6,192	161,784	－	－	－
障害者施設等 15 対１入院基本料	31	1,407	37,436	8	348	9,144	－	－	－

看護補助加算（障害者施設等入院基本料）	令和元年５月診療分					
	看護補助加算（14 日以内）			看護補助加算（15 日以上 30 日以内）		
障害者施設等７対１入院基本料	13	259	1,922	11	189	1,579
障害者施設等 10 対１入院基本料	185	3,104	23,771	194	2,762	23,441

看護補助加算（障害者施設等入院基本料）	令和２年５月診療分					
	看護補助加算（14 日以内）			看護補助加算（15 日以上 30 日以内）		
障害者施設等７対１入院基本料	13	176	1,389	13	140	1,289
障害者施設等 10 対１入院基本料	176	2,338	19,695	184	2,229	20,518

看護補助者配置加算 （地域包括ケア病棟入院料）	令和元年５月診療分			令和２年５月診療分		
	看護補助者配置加算			看護補助者配置加算		
地域包括ケア病棟入院料１	313	20,460	301,738	413	23,371	354,601
地域包括ケア病棟入院医療管理料１	273	10,083	148,486	305	10,021	154,348
地域包括ケア病棟入院料２	463	33,025	458,574	442	24,389	341,049
地域包括ケア病棟入院医療管理料２	192	4,856	69,979	179	3,750	53,385
地域包括ケア病棟入院料３	11	475	7,977	13	493	8,702
地域包括ケア病棟入院医療管理料３	14	320	5,338	18	489	8,222
地域包括ケア病棟入院料４	21	828	12,133	19	479	7,340
地域包括ケア病棟入院医療管理料４	26	516	8,175	18	328	4,938

※生活療養を受ける場合についての算定は除く

●看護職員夜間配置加算の算定状況（令和元年５月診療分、令和２年５月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数の順で掲載。

※算定医療機関数が３未満又は算定件数が 10 件未満の場合は「*」として掲載。

看護職員夜間配置加算	令和元年５月診療分											
	看護職員夜間 12 対１配置加算１			看護職員夜間 12 対１配置加算２			看護職員夜間 16 対１配置加算１			看護職員夜間 16 対１配置加算２		
急性期一般入院料１	318	8,096	46,908	102	2,632	16,484	330	8,451	51,643	*	*	*
急性期一般入院料２	4	158	1,216	3	15	83	9	481	3,575	9	651	4,360
急性期一般入院料３	－	－	－	*	*	*	－	－	－	－	－	－
急性期一般入院料４	7	271	1,741	3	126	879	44	2,556	18,846	24	2,199	16,337
急性期一般入院料５	5	276	1,643	*	*	*	33	2,756	19,543	19	1,331	9,753
急性期一般入院料６	*	*	*	－	－	－	6	355	2,455	5	418	2,810
急性期一般入院料７	－	－	－	－	－	－	3	277	1,780	－	－	－
特定機能病院入院基本料（一般７対１）	47	2,742	17,172	28	1,303	8,291	9	548	3,592	－	－	－
専門病院入院基本料（７対１）	－	－	－	*	*	*	*	*	*	－	－	－

看護職員夜間配置加算	令和２年５月診療分											
	看護職員夜間 12 対１配置加算１			看護職員夜間 12 対１配置加算２			看護職員夜間 16 対１配置加算１			看護職員夜間 16 対１配置加算２		
急性期一般入院料１	377	7,122	41,887	83	1,559	10,157	346	7,255	45,530	*	*	*
急性期一般入院料２	4	125	1,008	3	94	756	16	251	1,691	10	352	2,431
急性期一般入院料３	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
急性期一般入院料４	11	513	3,714	3	172	1,167	63	2,964	22,627	25	2,083	15,774
急性期一般入院料５	3	303	1,671	3	117	800	23	1,259	9,010	18	1,165	9,242
急性期一般入院料６	*	*	*	－	－	－	10	550	4,133	5	263	2,059
急性期一般入院料７	*	*	*	－	－	－	3	239	1,975	－	－	－
特定機能病院入院基本料（一般７対１）	55	2,434	15,695	22	814	5,314	7	373	2,545	－	－	－
専門病院入院基本料（７対１）	－	－	－	*	*	*	*	*	*	－	－	－

看護職員夜間配置加算（各入院料の注加算）	令和元年５月診療分			令和２年５月診療分		
	看護職員夜間配置加算			看護職員夜間配置加算		
地域包括ケア病棟入院料１	39	3,047	42,578	65	3,962	59,254
地域包括ケア病棟入院医療管理料１	23	815	12,564	25	908	13,871
地域包括ケア病棟入院料２	68	5,598	70,427	79	4,884	62,926
地域包括ケア病棟入院医療管理料２	7	185	2,602	9	202	2,849
地域包括ケア病棟入院料３	－	－	－	*	*	*
地域包括ケア病棟入院医療管理料３	3	42	518	*	*	*
地域包括ケア病棟入院料４	3	156	1,881	*	*	*
地域包括ケア病棟入院医療管理料４	4	27	383	3	16	135
精神科救急入院料１（30 日以内）	60	2,641	34,480	74	2,954	39,574
精神科救急入院料１（31 日以上）	60	1,016	14,681	74	1,069	16,109
精神科救急入院料２（30 日以内）	*	*	*	－	－	－
精神科救急入院料２（31 日以上）	*	*	*	－	－	－
精神科救急・合併症入院料（30 日以内）	9	229	2,985	9	185	2,494
精神科救急・合併症入院料（31 日以上）	9	73	1,011	9	67	1,102

※地域包括ケア病棟入院料について、生活療養を受ける場合についての算定は除く

●夜間看護体制加算の算定状況（令和元年５月診療分、令和２年５月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数の順で掲載。

※算定医療機関数が３未満又は算定件数が 10 件未満の場合は「*」として掲載。

夜間看護体制加算	令和元年５月診療分								
	夜間看護体制加算（急性期看護補助体制加算）			夜間看護体制加算（看護補助加算）			夜間看護体制加算（各入院料の注加算）		
急性期一般入院料１	273	8,595	53,994						
急性期一般入院料２	9	869	6,324						
急性期一般入院料３	－	－	－						
急性期一般入院料４	141	11,580	84,649						
急性期一般入院料５	79	7,134	52,875						
急性期一般入院料６	38	3,255	23,527						
急性期一般入院料７	5	437	3,378						
特定機能病院入院基本料（一般７対１）	＊	＊	＊						
専門病院入院基本料（７対１）	＊	＊	＊						
地域一般入院料１				67	2,817	2,831			
地域一般入院料２				12	533	535			
地域一般入院料３				72	1,726	1,731			
精神病棟 13 対１入院基本料				6	73	73			
精神病棟 15 対１入院基本料				44	317	317			
精神病棟 18 対１入院基本料				＊	＊	＊			
障害者施設等７対１入院基本料							5	33	33
障害者施設等 10 対１入院基本料							139	1,625	1,628
障害者施設等 13 対１入院基本料				17	193	193			
障害者施設等 15 対１入院基本料				5	52	52			

夜間看護体制加算	令和２年５月診療分								
	夜間看護体制加算（急性期看護補助体制加算）			夜間看護体制加算（看護補助加算）			夜間看護体制加算（各入院料の注加算）		
急性期一般入院料１	315	7,203	46,735						
急性期一般入院料２	23	828	5,817						
急性期一般入院料３	－	－	－						
急性期一般入院料４	174	11,444	86,890						
急性期一般入院料５	72	5,892	45,332						
急性期一般入院料６	31	2,093	16,171						
急性期一般入院料７	7	440	3,626						
特定機能病院入院基本料（一般７対１）	10	497	3,223						
専門病院入院基本料（７対１）	＊	＊	＊						
地域一般入院料１				74	2,517	2,526			
地域一般入院料２				5	192	193			
地域一般入院料３				77	1,354	1,360			
精神病棟 13 対１入院基本料				7	76	76			
精神病棟 15 対１入院基本料				43	230	230			
精神病棟 18 対１入院基本料				＊	＊	＊			
障害者施設等７対１入院基本料							4	38	38
障害者施設等 10 対１入院基本料							127	1,221	1,224
障害者施設等 13 対１入院基本料				23	212	212			
障害者施設等 15 対１入院基本料				＊	＊	＊			

●救急搬送看護体制加算の算定状況（令和元年５月診療分、令和２年５月診療分）

※各項目左から、算定医療機関数、算定件数、算定回数の順で掲載。

※算定医療機関数が３未満又は算定件数が 10 件未満の場合は「*」として掲載。

	令和元年５月診療分			令和２年５月診療分					
	救急搬送看護体制加算			救急搬送看護体制加算１			救急搬送看護体制加算２		
病院	1,594	62,779	62,788	893	38,373	38,386	829	10,721	10,722
診療所	11	175	175	＊	＊	＊	12	128	128

●病棟薬剤業務実施加算の算定状況

	令和元年５月診療分		
	算定医療機関数	算定件数	算定回数
病棟薬剤業務実施加算１	1,607	108,927	234,632
病棟薬剤業務実施加算２	359	34,822	128,983

	令和２年５月診療分		
	算定医療機関数	算定件数	算定回数
病棟薬剤業務実施加算１	1,696	93,804	212,974
病棟薬剤業務実施加算２	430	35,624	133,556

●薬剤総合評価調整加算の算定状況（令和２年５月診療分）

	算定医療機関数	算定件数	算定回数
薬剤総合評価調整加算	1,016	5,479	5,485

●薬剤調整加算の算定状況（令和２年５月診療分）

	算定医療機関数	算定件数	算定回数
薬剤調整加算	729	2,248	2,249

●退院時薬剤情報管理指導料の算定状況（令和２年５月診療分）

	算定医療機関数	算定件数	算定回数
退院時薬剤情報管理指導料	4,411	195,679	197,241

●退院時薬剤情報連携加算の算定状況（令和２年５月診療分）

	算定医療機関数	算定件数	算定回数
退院時薬剤情報連携加算	631	6,469	6,537

ID

施設票

令和２年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和２年度調査）

医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

※ この施設票は、医療機関の開設者・管理者の方に、貴施設におけるチーム医療の実施状況や、医療従事者の負担軽減に関する取組とその効果、今後の課題等についてお伺いするものです。

※ ご回答の際は、あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。また、（　）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。（　）内に数値を記入する設問で、**該当なしは「０（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。**

※ 特に断りのない質問については、令和2年10月末時点の状況についてご記入ください。

※ 「令和元年10月」と記載の質問については令和元年10月1か月間の状況を、「令和2年10月」と記載の質問については令和2年10月1か月間の状況をご記入ください。

※ 災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

１．貴施設の概要についてお伺いします。

①開設者 （○は1つ）	01. 国　02. 公立　03. 公的　04. 社会保険関係団体 05. 医療法人（社会医療法人除く）　06. 会社　07. その他の法人　08. 個人 ※国：国、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構 公立：都道府県、市町村、地方独立行政法人 公的：日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会 社会保険関係：健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合 医療法人：医療法人 会社：株式会社等 その他の法人：社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人
②承認等の状況 （あてはまる番号すべてに○）	01. 高度救命救急センター　02. 救命救急センター 03. 災害拠点病院　04. へき地医療拠点病院 05. 総合周産期母子医療センター　06. 地域周産期母子医療センター 07. 小児救急医療拠点病院　08. 特定機能病院 09. 地域医療支援病院 10. 二次救急医療機関 **※以下は、「10」を選んだ施設がお答えください。** **→二次救急医療体制**：（01.病院群輪番制　02.拠点型　03.共同利用型） **→（病院群輪番制の場合）当番となる頻度**： （01.月に１回未満　02.月に1～4回　03.月に5～8回　04.月に9～12回　05.月に13回以上） ※病院群輪番制：地域内の病院群が共同連帯して、輪番方式により救急患者の受入態勢を整えている場合をいう。 拠点型：病院群輪番制の一つで、365日に入院を要する救急患者の受入体制を整えている場合をいう（いわゆる「固定輪番制」や「固定通年制」等も含む）。 共同利用型：医師会立病院等が休日夜間に病院の一部を開放し、地域医師会の協力により実施するものをいう。 11. 専門病院（主として悪性腫瘍、循環器疾患等の患者を入院させる保険医療機関であって高度かつ専門的な医療を行っているものとして地方厚生（支）局長に届け出たもの） 12. 上記のいずれも該当しない

③標榜診療科[注1] （あてはまる番号すべてに○）	01. 内科系	02. 皮膚科	03. 小児科	04. 精神科
	05. 外科系	06. 泌尿器科	07. 脳神経外科	08. 整形外科
	09. 眼科	10. 産婦人科・産科	11. ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	12. 放射線科
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 耳鼻咽喉科	
	16. 歯科・歯科口腔外科		17. その他	

④DPC 対応状況 （○は1つ）	01. DPC対象病院	02. DPC準備病院	03. DPC対象病院・準備病院以外

⑤貴施設における、令和2年10月の**紹介率、逆紹介率**[注2]をご記入ください。

1）紹介率	％	2）逆紹介率	％

注1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等
外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等
注2. 紹介率：（紹介患者数＋救急患者数）÷ 初診の患者数×100
逆紹介率：逆紹介患者数÷初診の患者数×100
※初診の患者数、紹介患者数、逆紹介患者数、救急患者数の定義については初診料及び外来診療料に係る診療報酬上の定義に従ってください。一般病床が 200 床未満の病院の場合も地域医療支援病院で用いられる定義に従ってください。

⑥貴施設において届出を行っている**入院基本料**[注3]は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 一般病棟入院基本料 →	01. 急性期一般入院料１	02. 急性期一般入院料２		
	03. 急性期一般入院料３	04. 急性期一般入院料４		
	05. 急性期一般入院料５	06. 急性期一般入院料６		
	07. 急性期一般入院料７	08. 地域一般入院料１		
	09. 地域一般入院料２	10. 地域一般入院料３		
02. 療養病棟入院基本料 →	01. 療養病棟入院料１	02. 療養病棟入院料２		
	03. 療養病棟入院基本料注11 ※1			
	夜間看護加算（01. 届出あり	02. 届出なし）		
03. 結核病棟入院基本料 →	01. ７対１	02. １０対１	03. １３対１	04. １５対１
	05. １８対１	06. ２０対１		
04. 精神病棟入院基本料 →	01. １０対１	02. １３対１	03. １５対１	04. １８対１
	05. ２０対１			
05. 特定機能病院入院基本料 →	一般病棟	（ 01. ７対１	02. １０対１ ）	
	結核病棟	01. ７対１	02. １０対１	03. １３対１
		04. １５対１		
	精神病棟	01. ７対１	02. １０対１	03. １３対１
		04. １５対１		
06. その他の入院基本料 →	（ 01. ７対１	02. １０対１	03. それ以外 ）	

注3. 専門病院入院基本料、障害者施設等入院基本料については、その他の入院基本料としてご回答ください。
※1 看護職員配置が２０対１未満または医療区分２・３の患者割合５０％未満の場合

⑥-1 上記⑥で、**以下の入院基本料のいずれかを選んだ施設**にお伺いします。
- 「01. 一般病棟入院基本料」の01～07
- 「05. 特定機能病院入院基本料」の「一般病棟」の01又は02
- 「06. その他の入院基本料」の01又は02

(1) **届出を行っている重症度、医療・看護必要度の種別**（令和2年10月1日時点）	01. 重症度、医療・看護必要度Ⅰ 02. 重症度、医療・看護必要度Ⅱ
(2) **重症度、医療・看護必要度に係る基準を満たす患者の割合**[注4] ※Ⅰ又はⅡどちらも算出している場合は両方お答えください。	重症度、医療・看護必要度Ⅰ （ ）％ 重症度、医療・看護必要度Ⅱ （ ）％ ※令和2年8月～令和2年10月（3か月間の平均）

注4.「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」のモニタリング及び処置等に係る得点（A得点）2点以上かつ患者の状況等に係る得点（B得点）3点以上、A得点3点以上又は手術等の医学的状況に係る得点（C得点）が1点以上を満たす患者割合。小数点以下第2位を切り捨てし、小数点第1位までご記入ください。

⑦貴施設において届出を行っている**特定入院料等**として該当するものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 救命救急入院料	02. 特定集中治療室管理料	03. ﾊｲｹｱﾕﾆｯﾄ入院医療管理料
04. 脳卒中ｹｱﾕﾆｯﾄ入院医療管理料	05. 小児特定集中治療室管理料	06. 新生児特定集中治療室管理料
07. 総合周産期特定集中治療室管理料	08. 新生児治療回復室入院医療管理料	
09. 小児入院医療管理料	10. 回復期ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病棟入院料	11. 地域包括ｹｱ病棟入院料
12. 地域包括ｹｱ入院医療管理料	13. 特殊疾患病棟入院料	14. 緩和ｹｱ病棟入院料
15. 精神科救急入院料	16. 精神科急性期治療病棟入院料	17. 精神科救急・合併症入院料
18. 児童・思春期精神科入院医療管理料	19. 精神療養病棟入院料	
20. 認知症治療病棟入院料	21. 地域移行機能強化病棟入院料	22. 短期滞在手術等基本料

⑧貴施設における許可病床数[注5]をご記入ください。「療養病床」には介護療養病床も含めてください。

1）一般病床	2）療養病床	3）精神病床	4）結核病床	5）感染症病床	6）病院全体
床	床	床	床	床	床

注5. 医療法に基づく病床数

⑨令和2年10月末時点に、貴施設で従事している医療従事者等の常勤・非常勤（常勤換算）別の職員数[注6]をご記入ください。

	常勤	非常勤（常勤換算）[注7]
1） 医師	人	人
2） 歯科医師	人	人
3） 保健師・助産師・看護師	人	人
3)-1 うち特定行為研修修了者である看護師	人	人
4） 准看護師	人	人
5） 看護補助者	人	人
6） 歯科衛生士	人	人
7） 薬剤師	人	人
8） 臨床検査技師	人	人
9） 管理栄養士	人	人
10） 理学療法士	人	人
11） 作業療法士	人	人
12） 言語聴覚士	人	人
13） 医師事務作業補助者	人	人
14） ＭＳＷ（社会福祉士等）	人	人
15） その他	人	人
16） 合計	人	人

注6. 全ての職種について産休中や育児休職中等の職員は含めないでください。

注7. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、**小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第1位まで**お答えください。

■1週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の1週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間）

■1か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の1か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4）

⑩令和元年および令和2年の4～10月の各1か月間における貴施設の**入院延べ患者数、外来延べ患者数、分娩件数、全身麻酔による手術件数**について、それぞれ該当する人数または件数をご記入ください。

	令和元年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
(1) 入院延べ患者数[注8]	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(1)-1) うち一般病棟（特定入院料を除く）における入院延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(1)-2) うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(1)-3) うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(2) 外来延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(2)-1) うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(2)-2) うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件
(3) 分娩件数	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件
(4) 全身麻酔による手術件数	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件

注8. 入院延べ患者数：毎日24時現在の在院患者数（即日退院患者数を含む）を30日分合計した患者数

	令和２年						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
(1) 入院延べ患者数[注8]	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(1)-1) うち一般病棟（特定入院料を除く）における入院延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(1)-2) うち時間外・休日・深夜に入院した延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(1)-3) うち救急搬送により緊急入院した延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(2) 外来延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(2)-1) うち緊急自動車等により搬送された延べ患者数	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人	延べ＿＿人
(2)-2) うち時間外・休日・深夜加算の算定件数	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件
(3) 分娩件数	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件
(4) 全身麻酔による手術件数	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件	＿＿件

注8. 入院延べ患者数：毎日24時現在の在院患者数（即日退院患者数を含む）を30日分合計した患者数

２．新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的取扱い等についてお伺いします。

①令和2年3月以降の受診者や体制の動向等　（○はそれぞれひとつ）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
a. 新型コロナウイルス感染疑い※1の外来患者受入の有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
b. 新型コロナウイルス感染患者の入院患者※2の受入の有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
C. 新型コロナウイルス感染症の院内感染の有無※3	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し

②令和2年3月以降の、「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い」の対象となる保険医療機関等の該当状況※4　（○はそれぞれひとつ）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ア 新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
イ アに該当する医療機関等に職員を派遣した保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
ウ 学校等の臨時休業に伴い、職員の勤務が困難となった保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
エ 新型コロナウイルス感染症に感染し又は濃厚接触者となり出勤ができない職員が在籍する保険医療機関等の該当有無	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し
オ 新型コロナウイルス感染症が疑われる患者に対し、院内トリアージ実施料※5を算定する保険医療機関	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し	01. 有り 02. 無し

※１．新型コロナウイルス感染症の検査の対象となった患者を指す（結果的に新型コロナ感染症と診断されなかった患者も含む。）。
※２．新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された患者を含む。
※３．１）医療機関において患者が原疾患とは別に新たにり患した感染症、２）医療従事者等が医療機関内において感染した感染症のいずれかがあった場合に、有りとします。
※４．本設問におけるア～エの項目は、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その26）」（令和２年８月31日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）１（２）①で示されたア～エの「対象医療機関等」とそれぞれ対応している。
※５．「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その９）」（令和２年４月８日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）１で示された院内トリアージ料を指す。

③新型コロナウイルス感染の重点医療機関等の指定の有無（令和2年11月1日時点）（○は1つ）

01. 重点医療機関（新型コロナ患者専用の病院や病棟を設定する医療機関）として都道府県から指定されている
02. 協力医療機関（新型コロナの疑いのある患者専用の個室病床を設定する医療機関）として都道府県から指定されている
03. その他（具体的に：　　）

※④はすべての施設の方がお答えください。

④「新型コロナウイルス感染症患者等を受け入れた保険医療機関等における施設基準等の臨時的な取扱い※1」に関連し、貴施設が届け出ている診療報酬の施設基準等で求められている各種の配置要件や診療実績への影響の状況（令和2年4月以降）についてお伺いします。貴施設の施設基準等の要件となっていない項目については「03 要件非該当」を選択してください。（**○はそれぞれ１つ**）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月
a. 定数超過入院の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
b. 月平均夜勤時間数について、１割以上の一時的な変動の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
c. 看護要員※2の数、看護要員の数と入院患者の比率並びに看護師及び准看護師の数に対する看護師の比率について１割以上の一時的な変動の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
d. 「ＤＰＣ対象病院への参加基準を満たさなくなった場合」※3の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
e. 平均在院日数について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
f. 重症度、医療・看護必要度への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
g. 在宅復帰率への影響について、施設基準等通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当
h. 医療区分２又は３の患者割合への影響について、施設基準通知における当該要件を満たさなくなった場合の発生有無	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当	01. 有り 02. 無し 03. 要件非該当

※１．「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その26）」（令和２年８月31日付厚生労働省保険局医療課事務連絡）１（１）①～⑤で示された施設基準等に係る臨時的な取扱いを指す。
※２．看護要員とは、看護師及び准看護師又は看護補助者を指す。
※３．「ＤＰＣ制度への参加等の手続きについて」（令和２年３月 27 日保医発 0327 第６号）の第１の４（２）②に規定する場合を言う。

※⑤～⑥はすべての施設の方がお答えください。

⑤次に挙げる各項目について、令和２年４月から11月1日までの間に一度でも、医療提供状況に変化があったか、ご回答ください。（○はそれぞれ１つ）

a. 外来（平日）	01. 通常	02. 制限	03. 停止	
b. 外来（土日）	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
c. 入院	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
d. 救急	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
e. 化学療法	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
f. 手術	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし
g. 緊急手術	01. 通常	02. 制限	03. 停止	04. 従来から実施なし

⑥ 緊急事態宣言の発出があった月から解除された月（令和2年4月1日～5月31日）において、貴施設が患者の受療行動の変化に際して行った対応と、患者の健康影響等についてお伺いします。

１）貴施設が行った対応および各対応を行った患者数について ※イ～への各対応についてあてはまるものすべてに○ ※イ～へに該当するものが１つもない場合はトに○ ※あてはまる場合は、01～05の中から１つに○		【1)のイ~への01～04に○をつけた施設の方】 【2)で01～03に○をつけた施設の方】 ３）患者の健康影響の内容について、A～Eのうち、あてはまるものに○、最もあてはまるものに◎を記入 （○、◎それぞれ１つ） 注：総合的な影響度合いを踏まえ評価してください				
		２）各対応を行った患者がいる場合、患者の健康影響がありましたか（○は１つ）	A. 救急外来を受診した	B. 入院加療が必要となった	C. 重篤な疾患の発見が遅れた	D. 通常以上の運動機能の低下がみられた	E. 通常以上の認知機能の低下がみられた
イ. 患者の希望があり受診間隔を伸ばした 01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった 05.いなかった ⇒05以外		01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
		04. ほとんどなかった					
ロ. 検査・処置を中断・延期した 01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった 05.いなかった ⇒05以外		01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
		04. ほとんどなかった					
ハ. 通常の対応から変更し、日時を指定した完全予約制による対面での診療を実施した 01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった 05.いなかった ⇒05以外		01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
		04. ほとんどなかった					
ニ. 患者の希望に応じて電話・ICTを用いた診察を実施した 01. かなりいた 02. 多少いた 03. あまりいなかった 04. ほとんどいなかった 05.いなかった ⇒05以外		01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
		04. ほとんどなかった					

１）貴施設が行った対応 および各対応を行った患者数について ※イ～への各対応についてあてはまるものすべてに○ ※イ～へに該当するものが１つもない場合はトに○ ※あてはまる場合は、01～05の中から１つに○		【1)のイ~への01～04に○をつけた施設の方】 【2)で01～03に○をつけた施設の方】 ３）患者の健康影響[注]の内容について、A～Eのうち、 あてはまるものに○、最もあてはまるものに◎を記入 （○、◎それぞれ１つ） 注：総合的な影響度合いを踏まえ評価してください				
	２） 各対応を行った患者がいる場合、患者の健康影響がありましたか （○は１つ）	A. 救急外来を受診した	B. 入院加療が必要となった	C. 重篤な疾患の発見が遅れた	D. 通常以上の運動機能の低下がみられた	E. 通常以上の認知機能の低下がみられた
ホ. 処方を長期化した 01. かなりいた　02. 多少いた 03. あまりいなかった　04. ほとんどいなかった 05.いなかった　05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
	04. ほとんどなかった					
へ. その他　具体的に： 01. かなりいた　02. 多少いた 03. あまりいなかった　04. ほとんどいなかった 05.いなかった　05以外⇒	01. かなりあった 02. 多少あった 03. あまりなかった	11	12	13	14	15
	04. ほとんどなかった					
ト. 特に対応は取らなかった						

※⑦はすべての施設の方がお答えください。

⑦その他、新型コロナウイルス感染症や緊急事態宣言に伴う受療行動の変化や患者への健康影響等について、ご意見がある場合は自由に記載してください。

＜オンライン診療等の定義について＞
本調査では、各用語を下記のように定義します。
【オンライン診療】
オンライン診療料等の算定対象となる診療を指す。
【情報通信機器を用いた診療】
オンライン診療料、オンライン在宅管理料、精神科オンライン在宅管理料及び個別の医学管理料の算定有無にかかわらず、医師―患者間でのビデオ通話により実施する診療を指す。

※すべての施設の方がお答えください。

⑧新型コロナウイルス感染症患者の増加に際しての電話・情報通信機器を用いた診療の実施状況についてお伺いします。

		令和元年		令和2年	
		5月中	9月中	5月中	9月中
1）電話等初診料※1（214点）の算定回数	電　話（音声通話のみ）			（　　）回 ※1回以上 ⑧－1へ	（　　）回
	情報通信機器（ビデオ通話）			（　　）回 ※1回以上 ⑧－1へ	（　　）回
2）電話等再診料（73点）の算定回数	電　話（音声通話のみ）	（　　）回	（　　）回	（　　）回 ※1回以上 ⑧－1へ	（　　）回
	情報通信機器（ビデオ通話）	（　　）回	（　　）回	（　　）回 ※1回以上 ⑧－1へ	（　　）回
2）－1（うち）診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診料※2（73点）の算定回数	電　話（音声通話のみ）	※2）と区別して把握していない場合は「×回」と記入		（　　）回	（　　）回
	情報通信機器（ビデオ通話）			（　　）回	（　　）回
2）－1－1（うち）2）－1の算定を行う前はオンライン診療料を算定していた診療を置き換えた回数	電　話（音声通話のみ）	※2）―1と区別して把握していない場合は「×回」と記入		（　　）回	（　　）回
	情報通信機器（ビデオ通話）			（　　）回	（　　）回
2）－2 診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際の**管理料**※3（147点）の算定回数	電　話（音声通話のみ）			（　　）回	（　　）回
	情報通信機器（ビデオ通話）			（　　）回	（　　）回
3）オンライン診療料の算定回数（71点）**（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）**	情報通信機器（ビデオ通話）	（　　）回	（　　）回	（　　）回 ※1回以上 ⑧－1へ	（　　）回
3）－1 個別の医学管理料における情報通信機器を用いて行った場合の評価※4（100点）の算定回数 **（新型コロナウイルス感染症の影響に関係なく実施しているものも含む）**	情報通信機器（ビデオ通話）	（　　）回	（　　）回	（　　）回	（　　）回

※１　新型コロナウイルスの感染が拡大し、医療機関の受診が困難になりつつあることに鑑みた対応として「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和２年４月10日事務連絡）１．（１）に規定する初診から電話や情報通信機器を用いた診療により診断や処方を行う場合で、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その10）」（令和２年４月10日事務連絡）に基づいてA000初診料の注２に規定する214点を算定する診療を指す。

※２　新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、慢性疾患等を有する定期受診患者等について、既に診断されている慢性疾患等の診療または発症が容易に予測される症状の変化の診療を行い、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その10）」（令和２年４月10日事務連絡）に基づいてA001再診料の注７に規定する電話等再診料73点を算定する診療を指す。

※３　新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、以前から対面診療において診療計画等に基づき療養上の管理を行い、「情報通信機器を用いた場合」が注に規定されている管理料等を算定していた患者に対して診療報酬上の臨時的な取扱いに係る電話等を用いた再診を行った際に、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その10）」（令和２年４月10日事務連絡）に基づいて算定する147点を指す。

※４　令和元年時点においては「オンライン医学管理料」を指す。

※令和２年５月に電話または情報通信機器を用いた診療（ビデオ通話）を行い、「⑧１）電話等初診料※1」または「⑧２）電話等再診料」もしくは「⑧３）オンライン診療料」を１回以上算定した施設がお答えください。

⑧－１令和２年５月に電話または情報通信機器を用いた診療を実施した理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに〇）		
01. 新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮したため		01
【「01」を選んだ場合】詳しい理由をご回答ください。		
11. 院内感染予防のために実施すべきと考えたため		11
12. 外出自粛等の患者の受療行動の変化に鑑みて実施すべきと考えたため		12
13. 患者から実施の要望があったため		13
02. 新型コロナウイルス感染症の拡大にかかわらず、新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、情報通信機器を用いた診療を活用（又は活用を検討）していたため		02
【02を選んだ場合】 新型コロナウイルス感染症の拡大以前から、オンライン診療料の算定をしていましたか。 （算定していた場合は右欄の「20」に〇）		20
【02を選んだ場合】 具体的にどのような診療に対して活用（又は活用を検討）していましたか。		
21. 身体機能・認知機能等の低下により頻繁な通院が困難な患者に対する診療		21
22. 仕事や家庭の事情等により頻繁な通院が困難な患者に対する診療		22
23. 住まいが遠方で頻繁な通院が困難な患者に対する診療		23
24. 予約システムを導入するなど、より効率の高い診療		24
25. 患者の自宅や職場の環境を把握するなど、よりきめ細やかな診療		25
26. その他の活用方法	具体的に：	26
03.その他の理由	具体的に：	03

※⑨はすべての施設の方がお答えください。

⑨情報通信機器・電話を用いた診療以外で、貴施設の患者に対するICTの活用方法のうち該当するもの（あてはまる番号すべてに〇）
01. 患者の自宅における生体情報（血圧・血糖値等）や生活情報（食事・運動等）の把握に用いている 02. 患者への診療情報の共有（結果説明等）に用いている 03. オンライン受診勧奨や健康相談に用いている 04. 服薬指導や薬学管理に用いている 05. 他の医療機関等との診療情報の連携に用いている 06. その他（具体的に：　　）

３．各診療報酬項目の施設基準の届出状況等についてお伺いします。

①「地域医療体制確保加算」の届出状況をお選びください。（○は1つ）

01. 届出ている　→②へ　　02. 届出ていない　→①-1へ

※以下の設問①-1は、①で「02」を選んだ施設がお答えください。

①-1 救急用自動車・救急医療用ヘリによる搬送受け入れ件数についてあてはまる項目をお選び下さい。

01. 年間2,000件以上　　02. 年間1,000件以上1,999件以下　　03. 年間999以下

※以下の設問①-2は、①-1で「02」または「03」を選んだ施設がお答えください。

①-2　貴施設は**「地域医療介護総合確保基金」の対象**となっていますか。（○は1つ）

01. なっている　　02. なっていない

※以下の設問①-1は、①で「02」を選んだ施設がお答えください。

①-3　地域医療体制確保加算に関する施設基準として、**満たすことが困難な要件**は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 病院勤務医の負担軽減・処遇改善のため、勤務医の勤務状況把握とその改善の必要性等を提言するための責任者配置
02. 病院勤務医の勤務時間および当直を含む夜間の勤務状況把握
03. 院内に多職種からなる役割分担推進委員会・会議を設置し、「病院勤務医の負担軽減・処遇に資する計画」を作成。当該委員会等は、計画の達成状況の評価を行う際、その他適宜必要に応じて開催
04. 計画は、現状の勤務状況等を把握し、問題点を抽出した上で、具体的な取り組み内容と目標達成年次等を含めた病院勤務医の負担軽減・処遇改善に資するものとし、定期的な評価・見直しを行う
05. 計画には、以下の項目を踏まえ検討した上で、必要な事項を記載する

※以下は、「05」を選んだ施設がお答えください。

該当するものをご記入ください。（51～57のあてはまる番号すべてに○）

51.医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容（初診時の予診の実施、静脈採血等の実施、入院の説明の実施、検査手順の説明の実施、服薬指導など）
52.勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
53.前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間休息の確保（勤務間インターバル）
54.予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮
55.当直翌日の業務内容に対する配慮
56.交替勤務制・複数主治医制の実施
57.育児・介護休業法を活用した短時間正規雇用医師の活用

06. 病院勤務医の負担軽減・処遇改善に関する取り組み事項を院内掲示等の方法で公表する
07. 01～06の対応が困難であったのは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものであった

※②はすべての施設の方がお答えください。

②「総合入院体制加算」の届出状況として該当するものをお選びください。（○は1つ）

01. 総合入院体制加算１を届出ている　→②-2へ
02. 総合入院体制加算２を届出ている
03. 総合入院体制加算３を届出ている
　　} ②-1、②-2へ
04. 総合入院体制加算を届出ていない　→②-1へ

※②で、「02」～「04」のいずれかを選んだ施設にお伺いします。

②-1　総合入院体制加算１について、**満たすことが困難な要件**は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 年間の手術等の件数
※「01」を選んだ施設がお答えください。※11～17のあてはまる番号すべてに○
- 11.　全身麻酔による手術の件数が 年間800件以上
- 12.　人工心肺を用いた手術の件数が 年間40件以上
- 13.　悪性腫瘍手術の件数が 年間400件以上
- 14.　腹腔鏡下手術の件数が 年間100件以上
- 15.　放射線治療（体外照射法）の件数が 年間4,000件以上
- 16.　化学療法の件数が 年間1,000件以上
- 17.　分娩の件数が 年間100件以上

02. 救急自動車等による搬送件数が 年間2,000件以上
03. 精神科について、24時間対応できる体制を確保している
04. 精神病床を有しており、精神病棟入院基本料等を届出て、現に精神疾患患者の入院を受入れている
05. 「精神科リエゾンチーム加算」または「認知症ケア加算１」の届出を行っている
06. 「精神疾患診療体制加算２」の算定件数又は救急患者の入院３日以内における「入院精神療法」もしくは「救命救急入院料の注２の加算」の算定件数が合計で 年間20件以上
07. 療養病棟入院基本料 または 地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を届出ていない
08. 画像診断 及び 検査を、24時間実施できる体制を確保している
09. 薬剤師が夜間当直を行うことにより、調剤を24時間実施できる体制を確保している
10. 総退院患者のうち、診療情報提供に係る加算を算定する患者及び治癒し通院不要な患者が4割以上である
11. 内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、及び産科（産婦人科）を標榜し、入院医療を提供している
12. 連携医療機関への転院を円滑にするための地域連携室の設置
13. 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する体制の整備
14. 貴施設の敷地内が禁煙であること（緩和ケア病棟等の一部の病棟では分煙可）
15. 分煙を行う場合は、非喫煙場所にタバコの煙が流れないようにし、適切な受動喫煙防止措置を講ずること
16. 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰの該当患者割合が ３割５分以上、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱの該当患者割合が ３割３分以上（総合入院体制加算３は、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰの該当患者割合が ３割２分以上、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱの該当患者割合が３割以上）
17. 同一建物内に特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院又は介護療養型医療施設を設置していない
18. その他（具体的に　　）

※②で、「01」～「03」のいずれかを選んだ施設にお伺いします。

②-2　**医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の具体的な取組内容**について、該当するものすべてをお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

01. 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取組
02. 院内保育所の設置
03. 医師事務作業補助者の配置による病院勤務医の事務作業の負担軽減
04. 病院勤務医の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善
05. 特定行為研修修了者である看護師の複数名配置及び活用による医師の負担軽減
06. 院内助産又は助産師外来の開設による医師の負担軽減
07. 看護補助者の配置による看護職員の負担軽減
08.「役割分担推進のための委員会」への年に１回の管理者の出席
09. 複数主治医制の導入

※③はすべての施設がお答えください。

③非常勤職員の配置についてお伺いします。
（1）以下の各職種について、**非常勤職員を常勤換算して配置**することで施設基準を満たしている診療報酬項目があるか、それぞれご回答ください。　（それぞれ○は1つ）
（2）上記(1)で「01(有)」を選択した場合、**当該診療報酬項目の番号を下記の選択肢から選んでご記入ください。**

	(1)非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目の有無		(2) 非常勤職員を常勤換算して配置することで施設基準を満たしている診療報酬項目（あてはまる番号をすべて記入）	
	有	無		
1) 医師	01	02		具体的に：
2) 看護職員	01	02		具体的に：
3) 薬剤師	01	02		具体的に：
4) 理学療法士	01	02		具体的に：
5) 作業療法士	01	02		具体的に：
6) その他	01	02		具体的に：

※「12.その他」を選択した場合は、1)～6)のそれぞれのセルに具体的内容をご記載下さい。

01. 緩和ケア診療加算	02. 重度アルコール依存症入院医療管理加算
03. 摂食障害入院医療管理加算	04. 栄養サポートチーム加算
05. 感染防止対策加算	06. 抗菌薬適正使用支援加算
07. ハイリスク分娩管理加算	08. 病棟薬剤業務実施加算
09. 入退院支援加算	10. 認知症ケア加算
11. 小児入院医療管理料	12. その他（具体的に：　　）

※以下の③-1は、③をご回答いただいた施設の方がお答えください。

③-1　非常勤職員の配置を行ったことによる影響についてお伺いします。あてはまる選択肢をお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

01. 常勤職員の負担が軽減された。
02. 非常勤職員を雇用しやすくなった。
03. 非常勤職員を活用できる場が増えた。
04. 医師の責任の所在があいまいになった。
05. 非常勤医師間の連携不足により患者の診療や病棟業務等に支障が出た。
06. 非常勤医師と看護師等の他職種との連携不足による患者の診療や病棟業務等に支障が出た。
07. 患者から不満等が出た。
08. その他（具体的に：　　）

上記でご選択頂いた番号のうち、最もあてはまる番号を記入してください。　（番号は1つ）	

※④はすべての施設がお答えください。

④**常勤配置や専従配置について、常勤職員や専従職員でなくても機能を果たすことができるため、要件の緩和を希望する診療報酬項目**はありますか。あれば当該診療報酬項目を具体的にご記入ください。

1) 常勤配置	
2) 専従配置	

※⑤はすべての施設がお答えください。

⑤令和元年10月末、令和 2 年10月末時点における、**医師事務作業補助体制加算**の届出状況としてあてはまるものに〇をつけてください。（〇はそれぞれ1つずつ）	
1）令和元年 10月末	01. 届出をしていない 02. 医師事務作業補助体制加算１　　03. 医師事務作業補助体制加算２ →届出している場合の内訳 01. １００対１　02. ７５対１　03. ５０対１　04. ４０対１ 05. ３０対１　06. ２５対１　07. ２０対１　08. １５対１
2）令和2年 10月末	01. 届出をしていない　→⑤-1へ 02. 医師事務作業補助体制加算１　　03. 医師事務作業補助体制加算２ →届出している場合の内訳 01. １００対１　02. ７５対１　03. ５０対１　04. ４０対１ 05. ３０対１　06. ２５対１　07. ２０対１　08. １５対１

※⑤の「2)令和2年10月末」時点において、「01.届出をしていない」と回答した施設がお答えください

⑤-1　届出をしていない理由は何ですか。　（あてはまる番号すべてに〇）
01. 施設基準を満たすことが難しいため →満たすことが難しい基準の内訳：※11～13あてはまる番号すべてに〇 11. 病院機能に関する基準 （例：15対1の場合は第三次救急医療機関、小児救急医療拠点病院、総合周産期医療センターのいずれかであること等） 12. 年間の緊急入院患者数に関する基準（例：15対1の場合は年間800名以上であること等） 13. 全身麻酔による手術件数に関する基準 （例：20対1～40対1の場合は年間800件以上であること（但し年間の緊急入院患者数が200名以上の場合は届出可）） 02. 医師事務作業補助者の確保が難しいため 03. 加算の要件に沿った医師事務作業補助者の配置のメリットが少ないため 04. その他（具体的に　　）

※⑤の2)令和2年10月末時点において、「02」「03」と回答した施設がお答えください。

⑤-2　現在の体制の**届出時期**はいつですか。	
西暦（　　）年（　　）月	

⑤-3 ⑤の2)令和2年10月末時点において、「02」「03」と回答した施設にお伺いします。 **医師事務作業補助者の配置人数（常勤換算）**を配置場所別にご記入ください。※令和2年10月末時点 ※複数か所で勤務している場合、勤務時間で人数を按分してそれぞれに記入してください。		
	1）外来	人
	2）病棟	人
	3）医局・事務室等	人
	4）合計	人

⑤-4 令和元年10月末時点及び令和2年10月末時点の、**各病棟における医師事務作業補助者の常勤・非常勤別の職員数（実人数）、及び常勤換算した非常勤の職員数**をご記入ください。

	令和元年10月末			令和2年10月末		
	常 勤	非常勤（実人数）	非常勤（常勤換算注9）	常 勤	非常勤（実人数）	非常勤（常勤換算注9）
1）一般病棟	人	人	人	人	人	人
2）精神病棟	人	人	人	人	人	人
3）療養病棟	人	人	人	人	人	人
4）その他	人	人	人	人	人	人
5）全病棟	人	人	人	人	人	人

注9. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点第2位以下を切り捨て、小数点以下第 1 位までお答えください。

■ 1 週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間）

■ 1 か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間×4）

4．医師の勤務状況等についてお伺いします。

①貴施設の**医師の勤務形態**として該当するものをお選びください。（**主にあてはまる番号1つに○**）

01. 単独主治医制[注10]　　02. 複数主治医制[注11]

注10. 単独主治医制：１人の患者につき１人の主治医が担当する場合。

注11. 複数主治医制：１人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

②貴施設における令和元年10月、令和2年10月の**医師**1人あたりの**平均勤務時間**（1か月間）、1人あたりの**平均当直回数**（1か月間）、**連続当直を行った医師数**をご記入ください。**※小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第1位まで**

常勤の医師	令和元年10月	令和2年10月
1）（実績）1人あたり平均**勤務時間**[注12]／月	．　時間	．　時間
2）（実績）1人あたりの平均**当直回数**／月	．　回	．　回
3）（実績）**連続当直を行った医師数**／月	人	人
非常勤の医師	令和元年10月	令和2年10月
4）（実績）1人あたり平均**勤務時間**[注12]／月	．　時間	．　時間
5）（実績）1人あたりの平均**当直回数**／月	．　回	．　回
6）（実績）**連続当直を行った医師数**／月	人	人

注12. 勤務時間：所定労働時間の他、残業時間も含みます。

③労働基準法の36（サブロク）協定の締結状況として該当するものをお選びください。（**○は1つ**）

01. 締結している　　02. 未締結であるため、今後締結を予定している

03. 未締結であるが、今後も締結の予定はない

④夜間医師が従事する業務に係る労働基準監督署の宿日直許可について該当するものをお選びください。（**○は1つ**）

01. 全ての業務について許可を受けている　　02. 許可を受けている業務と受けていない業務がある

03. 許可を受けている業務はない

5．医師の負担軽減策に関する取組状況等についてお伺いします。

①貴施設の**医師の労働時間の把握方法**として該当するものをお選びください。（**主な番号1つに○**）

01. ICカード・タイムカード　　02. 上司等第三者の確認　　03. 自己申告に基づき把握

04. その他（具体的に　　）　　05. 把握していない

②貴施設における**長時間労働者に対する、医師による面接指導の実施状況**として該当するものをお選びください。（**○は1つ**）

01. 実施している　　02. 実施していないが、今後実施を予定している

03. 実施しておらず、今後も実施する予定はない　　04. 長時間労働者はいない

③貴施設の医師について、**労働時間以外の勤務状況として把握している内容**をお選びください。（**あてはまる番号すべてに○**）

01. 年次有給休暇取得率　　02. 育児休業の取得率　　03. 介護休業の取得率

04. 代休取得率　　05. その他（具体的に　　）

06. 把握していない

④医師の負担軽減策について、**医療勤務環境改善支援センター**に相談しましたか。（**○は1つ**）

01. 既に相談した　　02. 今後相談する予定　　03. 相談していない（相談の予定なし）

⑤貴施設における医師の負担軽減策についてお伺いします。

（1）貴施設で**医師の負担軽減策として実施されている取組**としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）

（2）上記（1）で○をつけた取組について、**特に医師の負担軽減効果のある取組**としてあてはまる番号に３つまで○をつけてください。（○は3つまで）

	(1) 実施されている取組に○（あてはまる番号すべてに○）		(2) 特に医師の負担軽減効果のある番号に○（○は3つまで）
1）医師の増員	01	→	01
2）外来提供体制の縮小	02	→	02
3）初診時選定療養費の導入	03	→	03
4）適正受診に関する患者・住民への周知・啓発	04	→	04
5）複数主治医制の導入	05	→	05
6）勤務間インターバルの導入	06	→	06
7）当直翌日の業務内容の軽減（当直翌日の休日を含む）	07	→	07
8）時間外・休日・深夜に特定の医師に負担が集中しないような体制の整備	08	→	08
9）患者・家族への病状説明を診療時間内に限定（緊急時を除く）	09	→	09
10）予定手術前日の当直の免除	10	→	10
11）医師業務の特定行為研修修了者である看護師との分担	11	→	11
12）医師業務の看護師（「11）」に示す看護師を除く）との分担	12	→	12
13）救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく、看護師による血液検査オーダー入力・採血・検査の実施	13	→	13
14）医師業務の助産師との分担	14	→	14
15）薬剤師による事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更[注13]	15	→	15
16）薬剤師による外来診察時（前後の場合も含む）の患者の服薬状況、副作用等に関する情報収集と医師への情報提供	16	→	16
17）医師事務作業補助者の病棟への配置	17	→	17
18）医師事務作業補助者の外来への配置	18	→	18
19）ICTを活用した業務の見直し・省力化	19	→	19
20）医師が出席する会議の開催回数の削減	20	→	20
21）医師が出席する会議の所定就業時間内での開催（開始時刻の前倒し等）	21	→	21
22）院内保育所の設置	22	→	22
23）院内助産又は助産師外来の開設	23	→	23
24）「役割分担推進のための委員会」への年に１回の管理者の出席	24	→	24

注13. 投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

⑥上記⑤以外の取組で、貴施設で実施している勤務医負担軽減策で、効果のある取組があれば、具体的にご記入ください。

⑦貴施設では、**多職種からなる役割分担の推進のための委員会又は会議**を開催していますか。開催している場合は、年間の開催回数もご記入ください。（○は1つ）

01. 開催している→年間（　　）回　　02. 開催していない

６．看護職員や 看護補助者の配置等についてお伺いします。

Ａ．看護職員や看護補助者の配置等

①救急搬送看護体制加算　（○は１つ）	01. 加算１の届出あり →①-1、①-3・4へ 02. 加算２の届出あり →①-2、①-3・4へ 03. 届出なし→②

①-1　救急搬送看護体制加算1の算定件数（令和2年10月1か月）		（　　）件
①-2　救急搬送看護体制加算2の算定件数（令和2年10月1か月）		（　　）件
①-3　救急用の自動車又は救急医療用ヘリコプターによる **年間の搬送件数**（○は１つ）	01. 200～399件 03. 600～799件 05. 1,000～1,499件 07. 2,000件以上	02. 400～599件 04. 800～999件 06. 1,500～1,999件
①-4　救急患者の受入への対応に係る専任の看護師の配置人数		（　　）人
うち、院内トリアージ実施料に係る専任の看護師と兼ねている人数		（　　）人

※②は①で「03」と回答した施設にがお答えください。

②看護補助加算 （○は１つ） ※地域一般入院基本料または１３対１、１５対１、１８対１、２０対１入院基本料を算定する病院のみ	01. 看護補助加算１　02. 看護補助加算２　03. 看護補助加算３ → a）夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）（11. 届出あり　12. 届出なし） 届出の予定（21. 予定あり　22. 予定なし） 届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○）（31. 職員確保が困難　32. 必要性がない　33. その他（具体的に　）） b）夜間看護体制加算（165点）（11. 届出あり　12. 届出なし） 届出の予定（21. 予定あり　22. 予定なし） 届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○）（31. 職員確保が困難　32. 必要性がない　33. その他（具体的に　）） 04. 届出をしていない →届出の予定（11. 予定あり　12. 予定なし） →届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○）（21. 職員確保が困難　22. 必要性がない　23. その他（具体的に　））

※③～⑥は一般病棟のある施設のみご回答ください。それ以外の方は　６．Bへお進みください。

③急性期看護補助体制加算[注14] （○は１つ）	01. ２５対１（看護補助者５割以上）　02. ２５対１（看護補助者５割未満） 03. ５０対１　04. ７５対１ 05. 届出をしていない →届出の予定（11. 予定あり　12. 予定なし） →届出をしていない理由 ※あてはまる番号すべてに○（21. 職員確保が困難　22. 必要性がない　23. その他（具体的に　））
④夜間急性期看護補助体制加算[注15] （○は１つ）	01. ３０対１　02. ５０対１　03. １００対１ 04. 届出をしていない →届出の予定（11. 予定あり　12. 予定なし） →届出をしていない理由 ※あてはまる番号すべてに○（21. 職員確保が困難　22. 必要性がない　23. その他（具体的に　））
⑤夜間看護体制加算[注15]（○は１つ）	01. 届出あり　02. 届出なし

※⑥は一般病棟のある施設のみご回答ください。

⑥看護職員夜間配置加算[注14] （○は１つ）	01. １２対１の「１」　02. １２対１の「２」　03. １６対１の「１」 04. １６対１の「２」 05. 届出をしていない　→届出の予定（11. 予定あり　12. 予定なし） →届出をしていない理由 ※あてはまる番号すべてに○ （21. 職員確保が困難　22. 必要性がない 23. その他（具体的に　））

注14. こちらは、急性期一般入院基本料または特定機能病院入院基本料、もしくは専門病院入院基本料の７対１もしくは１０対１入院基本料を届け出ている場合のみご回答ください。
注15. こちらは、急性期看護補助体制加算を届け出ている場合のみご回答ください。

B．看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に係る取組

※以下の質問①～②は、急性期看護補助体制加算、看護職員夜間配置加算、看護補助加算、療養病棟入院基本料注１２（夜間看護加算）のいずれかについて届出をしている施設のみご回答ください。それ以外の方は 7．①へお進みください。

①看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する具体的な取組として実施しているものをお選びください。
（あてはまる番号すべてに○）

01. 業務量の調整（時間外労働が発生しないような業務量の調整）
02. 看護職員と他職種との業務分担
→業務分担をしている職種：（11. 薬剤師　12. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士　13. 臨床検査技師　14. 臨床工学技士　15. 看護補助者　16.その他（具体的に　））
03. 看護補助者の配置・増員
→具体的内容：（11. 主として直接ケアを行う看護補助者の新たな配置　12. 主として直接ケアを行う看護補助者の増員　13. 主として事務的作業を行う看護補助者の新たな配置　14. 主として事務的作業を行う看護補助者の増員　15. 夜間の看護補助者の新たな配置　16. 夜間の看護補助者の増員　17. その他（具体的に　））
04. 短時間正規雇用の看護職員の活用
05. 多様な勤務形態の導入
06. 妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮
→具体的内容：（11. 院内保育所　12. 夜間保育の実施　13. 夜勤の減免措置　14. 休日勤務の制限制度　15. 半日・時間単位休暇制度　16. 所定労働時間の短縮　17. 他部署等への配置転換）
07. 夜勤負担の軽減
→具体的内容：（11. 夜勤従事者の増員　12. 月の夜勤回数の上限設定）
08. 夜勤に係る配慮
→具体的内容：２交代の夜勤を実施している場合：
（11. 勤務後の暦日の休日の確保　12. 仮眠２時間を含む休憩時間の確保　13. 16時間未満となる夜勤時間の設定　14. 仮眠が取れる環境・体制の整備（仮眠室等）　15. その他（具体的に　））
３交代の夜勤を実施している場合：
（11. 夜勤後の暦日の休日の確保　12. 勤務間インターバルの確保　13. その他（具体的に　））
09. その他（上記01～08以外）（具体的に　）

②看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画の達成状況について、最も近い選択肢の番号をお選びください。　（○はひとつ）

01. 達成が困難である →②-1へ
02. 達成はやや困難である →②-1へ
03. 概ね達成可能である →7へ
04. ほぼ達成可能である →7へ
05. 評価時期に達していない →7へ

※②で「01.達成が困難である」又は「02.達成はやや困難である」を選んだ施設がお答えください。

②-1 **①で選択した項目のうち、達成が困難である項目**は何ですか。達成が困難な項目に〇をつけた上で、**達成が困難である理由**を具体的にご記入ください。

「P.18 6.B①」で〇をつけた項目のうち、達成が困難な項目に〇			達成が困難である理由（自由記載）
01	業務量の調整	→	
02	看護職員と他職種との業務分担	→	
03	看護補助者の配置・増員	→	
04	短時間正規雇用の看護職員の活用	→	
05	多様な勤務形態の導入	→	
06	妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	→	
07	夜勤負担の軽減	→	
08	夜勤に係る配慮	→	
09	その他	→	

7．医療従事者の勤務環境改善マネジメントについてお伺いします。

※以下の質問①～③は、総合入院体制加算を届出ていない施設のみご回答ください。
それ以外の方は 8．①へお進みください。
※「勤務環境改善マネジメント」とは、「医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み」を指します。

①貴施設では、**勤務環境改善マネジメントシステム**を推進するチームがありますか。（〇は1つ）

01. チームがある　02.チームはないが、今後設置予定　03. チームはなく、今後設置予定もない

②貴施設では、勤務環境改善の取組として、**勤務環境の現状に関する実態把握や分析**を行っていますか。（〇は1つ）

01. 行っている →②-1へ
02. 行っていないが、今後実施予定 →③へ
03. 行っておらず、今後実施予定もない →③へ

※上記②で、「01」を選んだ施設がお答えください。

②-1 どの程度の**頻度**で**実態把握や分析**を行っていますか。（〇は1つ）

01. 数か月に１度行っている
02. １年に１度行っている
03. ２～３年に１度行っている
04. 定期的な実態把握や分析は行っていない

※上記②で、「02」「03」を選んだ施設がお答えください。

③貴施設では、**勤務環境改善の取組について、計画を策定**していますか。（〇は1つ）

01. 策定している →③-1へ
02. 策定していないが、今後策定予定
03. 策定しておらず、今後策定予定もない

※上記③で、「01」を選んだ施設がお答えください。

③-1 どの程度の**頻度**で**計画の見直し**を行っていますか。（〇は1つ）

01. 数か月に１度行っている
02. １年に１度行っている
03. ２～３年に１度行っている
04. ４年以上見直しをしていない

８．記録や会議に係る負担軽減に関する取組状況等についてお伺いします。

①貴施設では、**入院部門**で**電子カルテ**を導入していますか。 （○は1つ）

01. 導入している
02. 導入していないが、導入を検討中
03. 導入しておらず、導入予定もない
04. その他（具体的に　　）

②貴施設では、**ICTを活用した業務の見直し・省力化**として、どのような取組をしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

01. タブレットの活用
02. 音声入力システムの活用
03. ビデオ通話による会議の実施
04. 遠隔画像診断の実施
05. 遠隔病理診断の実施
06. 紹介状や診断書の入力支援ソフトの活用
07. その他（具体的に　　）
08. 特になし

※②で「08」を選んだ施設がお答えください。

②-1　ICTを活用していない理由はなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

01.　ICTの導入にコストがかかるから
02.　ICTの維持・管理にコストがかかるから
03.　ICTの導入にあたって教育や人材育成に時間やコストがかかるから
04.　ICTを使いこなせない職員がいる（または多い）から
05.　現場のオペレーションを変更する事務的負担が大きいから
06.　現場の賛同が得られないから
07.　故障時などに現場が混乱することを避けたいから
08.　その他（具体的に　　）

※③はすべての施設の方がお答えください。

③**院内の会議に関する負担軽減**のために、どのような取組をしていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

01. 必要性の低い会議の廃止
02. 医師の出席義務の取りやめ
03. 会議の開催回数の削減
04. 会議の開催時間の短縮
05. ビデオ通話による会議の実施
06. 会議での紙資料の配付の中止
07. その他（具体的に　　）
08. 特になし

※上記の③で「05」を選んだ施設がお答えください。

④ビデオ通話を活用しているのは、具体的にはどのような場面でしょうか。

※⑤～⑥はすべての施設の方がお答えください。

⑤**医師の書類作成に関する負担軽減**のために、どのような取組をしていますか。 （あてはまる番号すべてに○）

01. 必要性の低い書類の廃止
02. 書類の記載項目の簡素化
03. 医師事務作業補助者による下書きの作成
04. 電子カルテシステム等を活用した入力の簡易化
05. その他（具体的に　　）
06. 特になし

⑥貴施設において、**他の医療機関や訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携**を行うために、**ICT（情報通信技術）**を活用していますか。また、活用している場合、どのようなICTを用いていますか。（あてはまる番号すべてに○）

01. ICTを活用している
02. ICTは活用していない

→活用しているICT：
11.メール
12.電子掲示板
13.グループチャット
14.ビデオ通話（オンライン会議システムを含む）
15.その他（具体的に　　）

※⑥-1は、⑥「02」を選んだ施設がお答えください。

⑥-1　ICTを活用していない理由はなぜですか。 **（あてはまる番号すべてに○）**
01.　ICTの導入にコストがかかるから
02.　ICTの維持・管理にコストがかかるから
03.　ICTの導入にあたって教育や人材育成に時間やコストがかかるから
04.　ICTを使いこなせない職員がいる（または多い）から
05.　現場のオペレーションを変更する負担が大きいから
06.　故障時などに現場が混乱することを避けたいから
07.　その他（具体的に　　）

9．新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ・貴施設における影響等

①貴施設において、新型コロナウイルス感染症拡大により医療従事者の働き方に影響を及ぼしたことについて、働き方にとって「良い影響」と「悪い影響」のどちらにあたるか、**あてはまるものにそれぞれ○をご記入ください**。　**（それぞれ１つに○）**

※	該当あり（働き方への**良い影響**）	該当あり（働き方への**悪い影響**）	該当なし
1)　患者数が減った	01	02	03
2)　手術等の件数が減った	01	02	03
3)　対面によるカンファレンスや会議等が減った	01	02	03
4)　ICT の活用が進んだ	01	02	03
5)　出勤できない職員が発生した		02	03
6)　メンタルヘルスに支障をきたす職員が発生した		02	03
7)　職員の勤務体制を変更する必要が生じた （変更した職種：　　）	01	02	03
8)　職員を増員した （増員した職種：　　）	01	02	03
9)　残業時間が減った。 （減った職種：　　）			03
10)　残業時間が増えた （増えた職種：　　）			03
11)　院内保育施設が確保された	01	02	03
12)　その他（具体的に：　　）	01	02	

①-1 上記で**「良い影響」**と回答したもののうち、**最もあてはまる番号**（※の「1）」～「12)」から）をご記入下さい。**（番号は1つだけ記入）**	
①-2 上記で**「悪い影響」**と回答したもののうち、**最もあてはまる番号**（※の「1）」～「12)」から）をご記入下さい。**（番号は1つだけ記入）**	

10. 医師の働き方改革に関する取組み等について

①医師の働き方改革に関する検討会に基づく、現時点の貴施設の水準※1　（○は1つ）	01. A水準　02. B水準　03. C水準		
②現時点で、貴施設の勤務医のうち、A水準、B水準、C水準に該当する医師の有無とその人数をご記入ください。	A 水準	01. いる　02. いない	※「01.いる」場合の人数（　　）人
	B 水準	01. いる　02. いない	※「01.いる」場合の人数（　　）人
	C 水準	01. いる　02. いない	※「01.いる」場合の人数（　　）人
③2024年4月の労働時間上限規制の適用後に、予定している貴施設の水準	01. A水準　02. B水準　03. C水準		

※ A水準＝すべての診療勤務従事医に適用される。原則、上限年960時間／月100時間
B水準＝「3次救急病院」や「年間に救急車1000台以上を受け入れる2次救急病院」などに対する地域医療暫定特例水準。
原則、上限年間1,860時間／年960時間／月100時間
C水準＝初期研修医や新専門医資格取得を目指す専攻医について、集中的に多くの症例を経験させる必要のある医療機関が対象の集中的技能向上水準。原則、上限年間1,860時間／年960時間／月100時間

④最後に、医師、看護職員等の医療従事者の負担軽減策、チーム医療の推進等についてご意見等ございましたらご自由にご記入ください。

施設票の質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

令和２年１２月２８日（月）までに

実施要綱に記載された方法に従ってご提出ください。

ID

医師票

令和２年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和２年度調査）
医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

●特に指定がある場合を除いて、令和２年１０月末現在の状況についてお答えください。
●ご回答の際は、該当する番号を○（マル）で囲んでください。また、（　）内には具体的な数値等をご記入ください。
（　）内に数値を記入する設問で、**該当なしは「０（ゼロ）」**を、**わからない場合は「－」**をご記入ください。

１．あなたご自身のことについてお伺いします。

① 性別	01. 男性　02. 女性		② 年齢	（　　）歳
③ 医師経験年数	（　　）年（　　）か月		④ 貴施設での勤続年数	（　　）年（　　）か月
⑤ 主たる所属診療科[注1] （○は１つ）	01. 内科系 05. 外科系 09. 眼科 13. 麻酔科	02. 皮膚科 06. 泌尿器科 10. 産婦人科・産科 14. 救急科	03. 小児科 07. 脳神経外科 11. ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科 15. 耳鼻咽喉科	04. 精神科 08. 整形外科 12. 放射線科 16. その他
⑥ 担当する主な病棟 （○は１つ）	01. 回復期リハビリテーション病棟 03. 小児入院病棟 05. その他の療養病棟 07. その他（具体的に　　）		02. 地域包括ケア病棟 04. その他の一般病棟 06. 精神病棟	
⑦ 役職等 （○は１つ）	01. 院長・副院長 04. その他の管理職の医師（具体的に　　） 05. 非管理職の医師（06 を除く）	02. 部長・副部長	03. 診療科の責任者（医長等） 06. 後期研修医	
⑧ 勤務形態	01. 常勤	02. 非常勤		
⑨ 短時間勤務制度の利用	01. あり	02. なし		
⑩ 主治医制の状況[注2]	01. 単独主治医制	02. 複数主治医制	03. その他	

注1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科等
外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等
注2. 単独主治医制：１人の患者につき１人の主治医が担当する場合
複数主治医制：１人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

２．あなたの勤務状況等についてお伺いします。

① 貴施設（この調査票を受けとった病院）における、<u>各設問で指定する期間における</u>あなたの**勤務時間、診療時間、当直回数及びオンコール回数等**についてご記入ください。

1）１週間の勤務時間[注3]（令和２年 10 月１日（木）～10 月７日（水））	約（　　）時間（　　）分
2）上記 1）のうち、診療時間[注4]（令和２年 10 月１日（木）～10 月７日（水））	約（　　）時間（　　）分
3）上記 2）のうち、事務処理に係る時間（令和２年 10 月１日（木）～10 月７日（水））	約（　　）時間（　　）分
4）１か月間の当直回数[注5]（令和２年 10 月１月間）	（　　）回
5）上記 4）のうち、連続当直回数[注5]（令和２年 10 月１か月間）	（　　）回
6）１か月間のオンコール担当回数[注6]（令和２年 10 月１か月間）	（　　）回
7）上記 6）のうち、呼出で実際に病院に出勤した回数（令和２年 10 月１か月間）	（　　）回

注3. 所定労働時間に残業時間を加えた時間
注4. 患者の診療、手術のために勤務した時間
注5. 土曜日・日曜日の日直は１回として数えてください。なお、連続当直回数とは当直翌日に当直が入っている日数を指します。
注6. 病院、診療科、診療科内のチーム等の組織において「オンコール担当」として当番となった回数

② **勤務時間をどのように勤務先に申告していますか。**　（○は１つ）

01. IC ｶｰﾄﾞ・ﾀｲﾑｶｰﾄﾞ　02. 上司等第三者の確認　03. 自己申告　04. その他

③ 現在、**この調査票を受け取った医療機関以外での勤務**がありますか。　（○は１つ）

01. 他医療機関でも勤務している（⇒ ③-1 へ）　　02. 他医療機関では勤務していない（⇒ ④へ）

【上記③で「01. 他医療機関でも勤務している」と回答した方のみお答えください。】

③-1 この調査票を受け取った医療機関以外での、あなたの、令和 2 年 10 月 1 か月間の**勤務時間、当直回数等**についてご記入ください。

1）他に勤務している医療機関数	（　　）施設
2）１か月間の勤務時間	約（　　）時間（　　）分
3）１か月間の当直回数[注7]	（　　）回　　うち、連続当直回数（　　）回

注7. 調査票を受け取った医療機関と他の医療機関で連続して当直した場合もその回数をご記入ください。

④ **１年前と比較してあなたの勤務状況はどのように変化**しましたか。この調査票を受け取った医療機関での勤務状況についてご回答ください。　（○はそれぞれ１つ）

1）勤務時間	01. 短くなった　02. 変わらない　03. 長くなった
2）病棟の勤務状況	01. 改善した　02. 変わらない　03. 悪化した　04. 担当していない
3）外来の勤務状況（標榜診療時間内）	01. 改善した　02. 変わらない　03. 悪化した　04. 担当していない
4）救急外来の勤務状況（標榜診療時間外）	01. 改善した　02. 変わらない　03. 悪化した　04. 担当していない
5）標榜診療時間外における手術回数	01. 減った　02. 変わらない　03. 増えた　04. 担当していない
6）手術前日の当直回数	01. 減った　02. 変わらない　03. 増えた　04. 担当していない
7）当直の回数	01. 減った　02. 変わらない　03. 増えた　04. 担当していない
8）当直時の平均睡眠時間	01. 増えた　02. 変わらない　03. 減った　04. 担当していない
9）オンコール担当回数[注8]	01. 減った　02. 変わらない　03. 増えた　04. 担当していない
10）当直翌日の勤務状況	01. 改善した　02. 変わらない　03. 悪化した　04. 担当していない
11）書類作成等の事務作業	01. 減った　02. 変わらない　03. 増えた
12）ＩＣＴを用いたカンファレンスの実施状況	01. 減った　02. 変わらない　03. 増えた　04. 実施していない
13）総合的にみた勤務状況	01. 改善した　02. どちらかというと改善した 03. 変わらない　04. どちらかというと悪化した 05. 悪化した　06. その他（具体的に　　）

注8. 病院、診療科、診療科内のチーム等の組織において「オンコール担当」として当番となった回数

３．あなたの行っている業務とその負担感等についてお伺いします。

① 貴診療科（あなたの所属する診療科）における**医師の負担軽減策**についてお伺いします。

（1）貴診療科で医師の負担軽減策として**実施されている取組**としてあてはまる番号全てに○をつけてください。

（2）上記（1）で○をつけた取組について、**特に医師の負担軽減効果のある取組**としてあてはまる番号に３つまで○をつけてください。

	(1) 実施されている取組に○（あてはまる番号すべてに○）		(2) 特に医師の負担軽減効果のある番号に○（○は３つまで）
1）医師の増員	1	→	1
2）勤務間インターバルの導入	2	→	2
3）外来提供体制の短縮	3	→	3
4）予定手術前の当直の免除	4	→	4
5）当直翌日の業務内容の軽減（当直翌日の休日を含む）	5	→	5
6）複数主治医制[注9]の実施	6	→	6

注9. １人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含む。

①（続き）	(1) 実施されている取組に○（あてはまる番号すべてに○）		(2) 特に医師の負担軽減効果のある番号に○（○は3つまで）
7）医師業務の特定行為研修修了者である看護師との分担	7	→	7
8）医師業務の看護師（ 7）に示す看護師を除く）との分担	8	→	8
9）救急外来において、医師が予め患者の範囲を示して、事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく、看護師による血液検査オーダー入力・採血・検査の実施	9	→	9
10）医師業務の助産師との分担	10	→	10
11）薬剤師による処方提案等	11	→	11
12）薬剤師による投薬に係る入院患者への説明	12	→	12
13）薬剤師による事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更[注10]	13	→	13
14）薬剤師による外来診察時（前後の場合も含む）の患者の服薬状況、副作用等に関する情報収集と医師への情報提供	14	→	14
15）医師事務作業補助者の病棟への配置・増員	15	→	15
16）医師事務作業補助者の外来への配置・増員	16	→	16
17）医師が出席する会議の開催方法の見直し	17	→	17
18）ICT を活用した業務の見直し・省力化	18	→	18

注 10. 投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

※【②は、①の「（２）特に医師の負担軽減効果のあるものに○」で「15」、「16」に○をつけた方にお伺いします。】

②医師事務作業補助者の導入により改善・軽減が見られた医師業務の具体的な内容についてお答えください。			
あてはまる番号すべてに○	改善された月当たりの時間数（月間）		
1）診断書などの文書作成	01	診断書や紹介状、意見書、処方箋、各種保険の証明書などの作成代行	約　　／時間
	02	患者の診療、入院などの手続き、説明	約　　／時間
	03	外来予約受付、検査等のオーダリング	約　　／時間
2）診療記録の入力	04	医師の外来診察などに同席して行うカルテの入力代行	約　　／時間
3）医療の質の向上に資する事務作業	05	院内会議の準備、NCD・JND・ JCVSDなどの症例登録	約　　／時間
	06	治療や診察に関するデータの管理	約　　／時間
4）行政上の業務	07	厚生労働省などに報告する診療データの整理	約　　／時間
	08	救急医療情報システムの入力業務	約　　／時間
5）その他	09	具体的に：	約　　／時間
②-1 医師業務の改善・軽減により拡充が可能となった医療（サービス）	01. ある（具体的に：　　） 02. ない		

③ 貴診療科における、あなたの**業務負担感**と**業務分担の状況等**についてお伺いします。

（1）各業務の**業務負担感**について、あてはまる番号をご記入ください。

（2）各業務の**他職種との業務分担の取組状況**についてあてはまる番号に〇をつけてください。

（3）医師のみが実施している各業務（上記（2）で「3」に〇がついた場合）について、**今後、他職種への分担をどのように考えていますか**。あてはまる番号に〇をつけてください。

※（2）、（3）のいずれについても、それぞれ〇は１つずつ

【選択肢】該当番号記入
1：負担が非常に小さい
2：負担が小さい
3：どちらともいえない
4：負担が大きい
5：負担が非常に大きい
6：実施していない

	(1)業務負担感	(2)分担取組状況			→	(3)他職種への期待			
		主に他職種が実施している	他職種の補助を受けている	医師のみが実施している	3と回答した業務	他職種に実施してほしい	他職種に補助してほしい	現行のままでよい	何とも言えない
1）初療時の予診		1	2	3	→	1	2	3	4
2）静脈採血		1	2	3	→	1	2	3	4
3）静脈注射		1	2	3	→	1	2	3	4
4）血液培養		1	2	3	→	1	2	3	4
5）留置針によるルート確保		1	2	3	→	1	2	3	4
6）尿道カテーテルの留置		1	2	3	→	1	2	3	4
7）気管カニューレの交換		1	2	3	→	1	2	3	4
8）腹腔ドレーンの抜去・縫合		1	2	3	→	1	2	3	4
9）抜糸		1	2	3	→	1	2	3	4
10）人工呼吸器等の設定条件の変更		1	2	3	→	1	2	3	4
11）人工呼吸器管理下の患者に対する鎮静薬の投与量の調整		1	2	3	→	1	2	3	4
12）脱水症状に対する輸液による補正		1	2	3	→	1	2	3	4
13）患者移動		1	2	3	→	1	2	3	4
14）診断書、診療記録及び処方箋の記載		1	2	3	→	1	2	3	4
15）主治医意見書の記載		1	2	3	→	1	2	3	4
16）診察や検査等の予約ｵｰﾀﾞﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑ入力や電子カルテ入力		1	2	3	→	1	2	3	4
17）救急医療等における診療の優先順位の決定（トリアージの実施）		1	2	3	→	1	2	3	4
18）検査、治療、入院に関する患者への説明		1	2	3	→	1	2	3	4
19）検査、治療、入院に関する患者の家族への説明		1	2	3	→	1	2	3	4
20）慢性疾患患者への療養生活等の説明		1	2	3	→	1	2	3	4
21）診察前の事前の面談による情報収集や補足的な説明		1	2	3	→	1	2	3	4
22）患者の退院に係る調整業務		1	2	3	→	1	2	3	4
23）患者に対する処方薬の説明		1	2	3	→	1	2	3	4
24）医薬品の副作用・効果の確認		1	2	3	→	1	2	3	4
25）患者に対する検査結果の説明		1	2	3	→	1	2	3	4

④ 上記③の業務の他に、**あなたが負担に感じている業務で、医師以外の職員と役割分担ができる業務**がありましたら、具体的にご記入ください。

4．病棟薬剤師による、あなたの業務の負担軽減等についてお伺いします。

① あなたが主に勤務する病棟では、**薬剤師が病棟に配置**されていますか。 （○は１つ）

01. 配置されている（⇒ ①-1 へ）　　02. 配置されていない（⇒ 5. へ）

※①で「01」を選んだ施設がお答えください。

①-1 配置されている場合の状況	(1) 病棟における薬剤師の関与の状況			(2) 医師の負担軽減及び医療の質の向上への効果（薬剤師が関与している場合のみお答えください）				
	主に薬剤師が関与	時々薬剤師が関与	薬剤師は関与しない	効果がある	どちらかといえば効果がある	どちらともいえない	どちらかといえば効果がない	効果がない
1）患者からの情報収集（投薬歴、持参薬等）	1	2	3	1	2	3	4	5
2）医師への処方や服薬計画等の提案	1	2	3	1	2	3	4	5
3）患者に対する処方薬の説明	1	2	3	1	2	3	4	5
4）医薬品の副作用・効果等の確認	1	2	3	1	2	3	4	5
5）事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更[注11]	1	2	3	1	2	3	4	5
6）退院時の薬剤情報管理指導	1	2	3	1	2	3	4	5

注 11. 投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

5．あなたの勤務状況に関するご意見等をお伺いします。

① あなたの**現在の勤務状況**についてどのようにお考えですか。 （○は１つ）

01. 改善の必要性が高い（⇒ ①-1 へ）　　02. 改善の必要性がある（⇒ ①-1 へ）
03. 現状のままでよい（⇒ ②へ）　　04. その他（具体的に:　　）（⇒ ②へ）

※【上記①で「01.改善の必要性が高い」「02.改善の必要性がある」と回答した方のみお答えください】

①-1 勤務状況について「01. 改善の必要性が高い」または「02. 改善の必要性がある」と回答した**最大の理由**は何ですか。 （○は１つ）

01. 医師の過重勤務により患者が不利益を被る可能性があるため
02. 業務を継続していけるか不安があるため
03. 過重勤務により身体的・精神的疾患を患う（患った）ため
04. 給与が業務量に比べて低いと感じるため
05. ワークライフバランスがとれていないため
06. 出産・育児休暇等の取得が難しいため
07. その他（具体的に:　　）

② **どのような取組が病院で行われれば、医師の負担を軽減することができると思いますか**。具体的にご記入ください。

医師票の質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

令和２年１２月２８日（月）までに

返信用封筒（切手不要）に封入のうえ、ご投函ください。

ID

看護師長票

令和 2年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和2年度調査）

医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

※特に指定がある場合を除いて、令和2年10月末現在の状況についてお答えください。
※数値を記入する設問で、**該当するものがない場合は「0」（ゼロ）**をご記入ください。**わからない場合は「－」**をご記入ください。

1．あなたが管理する病棟の概要についてお伺いします。

①病棟の**主たる診療科**をお選びください。（あてはまる番号すべてに○）

01. 内科系[注1]	02. 外科系[注2]	03. 小児科	04. 産婦人科・産科
05. 救急部門	06. 精神科	07. その他（　　）	

注1. 内科系：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科
注2. 外科系：外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科等

②診療報酬上の**病棟種別**をお選びください。
※あなたが診療報酬上、複数の病棟種別の入院料を管理している場合、最も病床数の多い入院料を1つお選びください。

＜入院基本料＞

01. 一般病棟入院基本料→（01. 急性期一般入院料１　02. 急性期一般入院料２　03. 急性期一般入院料３　04. 急性期一般入院料４　05. 急性期一般入院料５　06. 急性期一般入院料６　07. 急性期一般入院料７　08. 地域一般入院料１　09. 地域一般入院料２　10. 地域一般入院料３）

02. 療養病棟入院基本料→（01. 療養病棟入院料１　02. 療養病棟入院料２　03. 療養病棟入院基本料 注11[※1]）
夜間看護加算（01. 届出あり　02. 届出なし）

03. 精神病棟入院基本料→（01. １０対１　02. １３対１　03. １５対１　04. １８対１　05. ２０対１）

04. 特定機能病院入院基本料→
一般病棟（01. ７対１　02. １０対１）
精神病棟（01. ７対１　02. １０対１　03. １３対１　04. １５対１）

05. 障害者施設等入院基本料→（01. ７対１　02. １０対１　03. １３対１　04. １５対１）
看護補助加算（01. 届出あり　02. 届出なし）
夜間看護体制加算（01. 届出あり　02. 届出なし）

06. その他の入院基本料 →（01. ７対１　02. １０対１　03. それ以外）

＜特定入院料＞

07. 地域包括ケア病棟入院料→（01.入院料１　02.入院管理料１　03.入院料２　04.入院管理料２　05.入院料３　06.入院管理料３　07.入院料４　08.入院管理料４）

08. 回復期リハビリテーション病棟入院料→（01.入院料１　02.入院料２　03.入院料３　04.入院料４　05.入院料５　06.入院料６）

09. 小児入院医療管理料→（01.管理料１　02.管理料２　03.管理料３　04.管理料４　05.管理料５）

10. その他の特定入院料　01. ７対１　02. １０対１　03. それ以外

※1　看護職員配置が２０対１未満または医療区分２・３の患者割合５０％未満の場合

③貴病棟の**病床数、病床利用率**をご記入ください。	
1）病床数	床
2）病床利用率[注3]	％
3）令和2年10月1か月間の新入院患者数	人
4）令和2年10月1か月間の退院患者数	人
5）平均在院日数[注4]	日
6）令和2年10月1か月間の手術を受けた患者数[注5]（緊急・予定手術を問わない）	件
7）（一般病棟の場合）貴医療機関の施設基準の届出にあたり選択している重症度、医療・看護必要度	01. Ⅰ　02. Ⅱ 03. 届出していない

注3. 病床利用率：以下の式により算出し、小数点以下第２位を切り捨て、小数点以下第１位までご記入ください。

$$病床利用率＝\frac{8月～10月の在院患者延べ数}{（月間日数×月末許可病床数）の8月～10月の合計}\times 100$$

注4. 平均在院日数：以下の式により算出し、小数点以下第１位まで（小数点以下第２位を切り捨て）ご記入ください。

$$平均在院日数＝\frac{8月～10月の在院患者延べ日数}{（8月～10月の新入院患者数＋8月～10月の新退院患者数）\times 0.5}$$

注5. 手術後に直接、当該病棟に帰棟（帰室）した患者数をご記入ください。

④看護補助加算 （○は１つ） ※地域一般入院基本料または１３対１、１５対１、１８対１、２０対１入院基本料を算定する病院のみ	01. 看護補助加算１　02. 看護補助加算２　03. 看護補助加算３ → a）夜間 75 対 1 看護補助加算（50 点）（01. 届出あり　02. 届出なし） b）夜間看護体制加算（165点）（01. 届出あり　02. 届出なし） 04. 届出をしていない → a）届出の予定（01. 予定あり　02. 予定なし） b）届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○） （01. 職員確保が困難　02. 必要性がない　03. その他（　　））

※以下の質問⑤～⑧は一般病棟の方のみご回答ください。それ以外の病棟の方は２．Ａ①へお進みください。

⑤急性期看護補助体制加算 （○は１つ） ※急性期一般入院基本料または特定機能病院入院基本料、もしくは専門病院入院基本料の7対1もしくは10対1入院基本料を届け出ている場合のみ	01. ２５対１（看護補助者５割以上）　02. ２５対１（看護補助者５割未満） 03. ５０対１　04. ７５対１ 05. 届出をしていない → a）届出の予定（01. 予定あり　02. 予定なし） b）届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○） （01. 職員確保が困難　02. 必要性がない　03. その他（　　））
⑥夜間急性期看護補助体制加算 （○は１つ） ※急性期看護補助体制加算を届け出ている場合のみ	01. ３０対１　02. ５０対１　03. １００対１ 04. 届出をしていない → a）届出の予定（01. 予定あり　02. 予定なし） b）届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○） （01. 職員確保が困難　02. 必要性がない　03. その他（　　））
⑦夜間看護体制加算（○は１つ） ※急性期看護補助体制加算を届け出ている場合のみ	01. 届出あり　02. 届出なし
⑧看護職員夜間配置加算 （○は１つ） ※急性期一般入院基本料または特定機能病院入院基本料、もしくは専門病院入院基本料の７対１もしくは１０対１入院基本料を届け出ている場合のみ	01. １２対１の「１」　02. １２対１の「２」　03. １６対１の「１」 04. １６対１の「２」 05. なし → a）届出の予定（01. 予定あり　02. 予定なし） b）届出をしていない理由（あてはまる番号すべてに○） （01. 職員確保が困難　02. 必要性がない　03. その他（　　））

２．貴病棟における看護職員・看護補助者の勤務状況等についてお伺いします。

A．職員数　※以下の質問は令和2年10月末時点の実績をご記入ください。

①貴病棟に配置されている職員数（夜勤専従者は除く）	常勤	非常勤（常勤換算注6）
1）看護師数	人	人
1)のうち、特定行為研修を修了した看護師数	人	人
1)のうち、短時間勤務又は夜勤免除の看護師数	人	人
2）准看護師数	人	人
3）看護補助者数	人	人

注6. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第１位までお答えください。

■１週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の１週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の１週間の勤務時間）

■１か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の１か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の１週間の勤務時間×4）

①-1　特定行為研修を修了した看護師がいる場合、該当する**特定行為区分**をお選びください。
（あてはまる番号すべてに〇）　※領域別パッケージ研修を修了している場合は、該当する領域をお選びください。

＜特定行為区分＞

01. 呼吸器（気道確保に係るもの）関連
02. 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
03. 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
04. 循環器関連
05. 心嚢ドレーン管理関連
06. 胸腔ドレーン管理関連
07. 腹腔ドレーン管理関連
08. ろう孔管理関連
09. 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
10. 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
11. 創傷管理関連
12. 創部ドレーン管理関連
13. 動脈血液ガス分析関連
14. 透析管理関連
15. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
16. 感染に係る薬剤投与関連
17. 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
18. 術後疼痛管理関連
19. 循環動態に係る薬剤投与関連
20. 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
21. 皮膚損傷に係る薬剤投与関連

＜領域＞

22. 在宅・慢性期領域
23. 外科術後病棟管理領域
24. 術中麻酔管理領域
25. 救急領域
26. 外科系基本領域

②看護職員注7の勤務時間等（夜勤専従者は除く）（令和2年10月）	常勤	非常勤（常勤換算注8）
1）１人当たり平均勤務時間注9／月	時間/月	時間/月
2）１人当たり平均夜勤時間注10／月	時間/月	時間/月
3）（最小値注11）夜勤時間／月	時間/月	時間/月
4）（最大値注11）夜勤時間／月	時間/月	時間/月
5）１人当たり平均勤務日数注12／月	日/月	日/月
③看護補助者の勤務時間	**常勤**	**非常勤（常勤換算注8）**
1）１人当たり平均勤務時間注13／月	時間/月	時間/月

注7. 看護職員：保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

注8. 常勤換算：貴施設の１週間の所定勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第１位まで（第2位を切り捨て）ご記入ください。

例：1週間の所定勤務時間が40時間の病院で、週4日（各日5時間）勤務の看護職員が1人いる場合：（4日×5時間×1人）÷40時間

注9. 平均勤務時間：実際に勤務した時間です。残業時間も含みます。

注10. 平均夜勤時間：延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数（※夜勤従事者は夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内（病棟＋病棟外）で勤務する時間）。なお、次の該当者は計算から除外してください。ａ）夜勤専従者（専ら夜勤時間帯に従事する者）、ｂ）急性期一入院基本料、7対1入院基本料病棟及び10対1入院基本料の病棟の場合は月夜勤時間数が16時間未満及び短時間制職員で月夜勤時間数が12時間未満の者、ｃ）急性期一般入院基本料、7対1入院基本料病棟及び10対1入院基本料の病棟以外の病棟の場合は、月夜勤時間数が8時間未満の者。

注11.（最小値）夜勤時間／月：貴病棟で１か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤時間をご記入ください。夜勤に従事していない人は除いてください。
（最大値）夜勤時間／月：貴病棟で１か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤時間をご記入ください。
注12. 平均勤務日数：所定休日や休暇を除いた勤務日数の1人当たり平均値をご記入ください。
注13. 平均勤務時間：実際に勤務した時間です。残業時間も含みます。

④令和2年度診療報酬改定により、看護職員の常勤配置又は専従配置の要件が緩和されたことで施設基準を満たすことができた項目がある場合、以下に具体的な項目をご記入下さい。

⑤看護職員の常勤配置又は専従配置の要件の緩和を希望する診療報酬項目はありますか。ある場合、以下に具体的な項目をご記入ください。

⑥貴病棟に配置されている看護職員[注7]の夜勤専従者数（実人数）	常勤	非常勤（実人数）
1）看護師数	人	人
2）准看護師数	人	人

⑦看護職員[注7]の夜勤専従者の勤務時間等	常勤	非常勤
1）１人当たり**平均勤務時間**[注9]／月	時間/月	時間/月
2）１人当たり**平均夜勤時間**[注14]／月	時間/月	時間/月
3）（最小値[注15]）**夜勤時間**／月	時間/月	時間/月
4）（最大値[注15]）**夜勤時間**／月	時間/月	時間/月

注14. 夜勤時間：夜勤専従者について、延べ夜勤時間数÷夜勤従事者の合計数（※夜勤従事者=夜勤時間帯に病棟で勤務する時間÷夜勤時間帯に病院内（病棟＋病棟外）で勤務する時間）。
注15.（最小値）夜勤時間／月：貴病棟で1か月の夜勤時間が最も短かった看護職員の夜勤専従者の夜勤時間をご記入ください。
（最大値）夜勤時間／月：貴病棟で1か月の夜勤時間が最も長かった看護職員の夜勤専従者の夜勤時間をご記入ください。

B．夜勤体制等

①貴病棟における看護職員の勤務形態（あてはまる番号すべてに○）			
	01. ２交代制[注16]	02. 変則２交代制[注17]	03. ３交代制[注18]
	04. 変則３交代制[注19]	05. 上記 01.～04.の混合	06. 日勤のみ
	07. 夜勤のみ	08. その他（具体的に　　）	

注 16. ２交代制：日勤・夜勤が 12 時間ずつ等といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが同じになる交代勤務。
注 17. 変則２交代制：日勤 8 時間、夜勤 16 時間といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務。
注 18. ３交代制：日勤・準夜勤・深夜勤が 8 時間ずつの交代勤務。
注 19. 変則３交代制：日勤 9 時間、準夜勤 7 時間、深夜勤 8 時間といった日勤・準夜勤・深夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが異なる交代勤務

②令和 2 年度診療報酬改定の結果、**貴病棟における看護職員数や夜勤に関する状況**は**改定前と比較**して、どのようになりましたか。（それぞれ○は１つ）			
1）看護師数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
2）准看護師数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
3）看護補助者数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
4）実際の夜勤時間の長さ（残業等含む）	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
5）夜勤の回数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
6）夜勤時の受け持ち患者数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
7）夜勤時の繁忙度	01. 余裕ができた	02. 変わらない	03. 忙しくなった
8）夜勤の看護職員配置数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
9）夜勤の看護補助者配置数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた

10）夜勤をする理学療法士等（看護要員以外）の配置数	01. 減った	02. 変わらない	03. 増えた
11）一部の者への夜勤の負担	01.減った	02.変わらない	03.増えた
12）夜勤シフトの組み方	01.組みやすくなった	02.変わらない	03.組みにくくなった
13）夜勤の 72 時間要件	01.満たしやすくなった	02.変わらない	03.満たしにくくなった
14）他部署との兼務	01.減った	02.変わらない	03.増えた
15）短時間勤務者で夜勤時間帯に勤務する者	01.増えた	02.変わらない	03.減った

③令和 2 年度診療報酬改定の結果、**改定前と比較**して、**貴病棟の看護職員の勤務状況**はどのように変化しましたか。（それぞれ○は 1 つ）

1）勤務時間	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
2）残業時間	01. 短くなった	02. 変わらない	03. 長くなった
3）有給休暇の取得状況	01. 増えた	02. 変わらない	03. 減った
4）総合的にみた勤務状況	01. 改善した 03. 変わらない 05. 悪化した	02. どちらかというと改善した 04. どちらかというと悪化した 06. その他（　　）	

3．貴病棟における看護職員の負担軽減策の取組状況についてお伺いします。

①貴病棟における**看護職員の負担軽減策**についてお伺いします。
（1）貴病棟で**看護職員の負担軽減策として実施している取組**に○をつけてください。（あてはまる番号すべてに○）
（2）上記（1）で○をつけた取組について、**取組を開始した時期**としてあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）
（3）上記（1）で○をつけた取組について、**看護職員の負担軽減の効果**としてあてはまる番号に○をつけてください。（それぞれ○は1つ）

	（1）実施されている取組に○		（2）取組を開始した時期		（3）負担軽減効果				
			令和2年3月31日以前	令和2年4月1日以降	効果がある	どちらかといえば効果がある	どちらともいえない	どちらかといえば効果がない	効果がない
(記入例)4)夜勤専従者の雇用	④	→	①	2	1	②	3	4	5
1．看護職員の配置・勤務シフト等									
1）看護職員の増員	1	→	1	2	1	2	3	4	5
2）短時間勤務の看護職員の増員	2	→	1	2	1	2	3	4	5
3）夜勤時間帯の看護職員配置の増員	3	→	1	2	1	2	3	4	5
4）夜勤専従勤務の導入	4	→	1	2	1	2	3	4	5
5）夜勤専従者の雇用	5	→	1	2	1	2	3	4	5
6）2交代・3交代制勤務の見直し（変則への移行を含む）	6	→	1	2	1	2	3	4	5
7）11 時間以上の勤務間隔の確保	7	→	1	2	1	2	3	4	5
8）夜勤後の暦日の休日の確保	8	→	1	2	1	2	3	4	5
9）夜勤の連続回数が2連続（2回まで）の設定	9	→	1	2	1	2	3	4	5
10）月の夜勤回数の上限の設定	10	→	1	2	1	2	3	4	5

11）（2交代制勤務の場合）夜勤時の仮眠時間を含む休憩時間の確保	11	→	1	2	1	2	3	4	5
12）（2交代制勤務の場合）16時間未満となる夜勤時間の設定	12	→	1	2	1	2	3	4	5
13）（3交代制勤務の場合）日勤深夜、準夜日勤のシフトの回避	13	→	1	2	1	2	3	4	5
14）（3交代制勤務の場合）正循環の交代周期の確保	14	→	1	2	1	2	3	4	5
15）早出や遅出などの看護ニーズに応じた勤務体制の導入・活用	15	→	1	2	1	2	3	4	5
16）残業が発生しないような業務量の調整	16	→	1	2	1	2	3	4	5
17）日勤・夜勤の業務分担等の見直し	17	→	1	2	1	2	3	4	5
18）夜間を含めた各部署の業務量を把握・調整するシステムの構築	18	→	1	2	1	2	3	4	5
19）他部門（入退院支援部門等）の看護職員との業務分担	19	→	1	2	1	2	3	4	5
20）ICT、AI、IoT等の活用[注20]	20	→	1	2	1	2	3	4	5
21）電子カルテの活用	21	→	1	2	1	2	3	4	5
22）オーダリングシステムの活用	22	→	1	2	1	2	3	4	5
23）業務効率化のための手順等の見直し	23	→	1	2	1	2	3	4	5
24）勤務時間内の委員会[注21]の開催	24	→	1	2	1	2	3	4	5
25）看護職員に出席義務のある院内の各種委員会の見直し（出席者、回数、開催時間、開催方法の見直し）	25	→	1	2	1	2	3	4	5
26）院内保育所の設置[注22]	26	→	1	2	1	2	3	4	5
27）夜間院内保育所の設置[注22]	27	→	1	2	1	2	3	4	5
28）　26）又は27）の院内保育所における病児保育の実施	28		1	2	1	2	3	4	5
29）メンタルヘルス対策の実施	29	→	1	2	1	2	3	4	5
30）業務の外部委託（清掃業務、シーツ交換等）	30		1	2	1	2	3	4	5
2．看護補助者の病棟配置等									
31）看護補助者との業務分担	31	→	1	2	1	2	3	4	5
32）看護補助者の増員	32	→	1	2	1	2	3	4	5
33）早出や遅出の看護補助者の配置	33	→	1	2	1	2	3	4	5
34）夜勤時間帯の看護補助者の配置	34	→	1	2	1	2	3	4	5
35）病棟クラークとの業務分担	35	→	1	2	1	2	3	4	5
36）病棟クラークの配置	36	→	1	2	1	2	3	4	5
3．他職種との業務分担等									
37）理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との業務分担	37	→	1	2	1	2	3	4	5
38）理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の病棟配置	38	→	1	2	1	2	3	4	5
39）臨床検査技師との業務分担	39	→	1	2	1	2	3	4	5
40）臨床工学技士との業務分担	40		1	2	1	2	3	4	5
41）MSW又はPSWとの業務分担	41	→	1	2	1	2	3	4	5
42）MSW又はPSWの病棟配置	42	→	1	2	1	2	3	4	5

43）薬剤師との業務分担	43	→	1	2	1	2	3	4	5
44）薬剤師の病棟配置	44	→	1	2	1	2	3	4	5

注20. 当該項目に係る疑義解釈（令和２年３月31日事務連絡 問14）で示すような、看護記録の音声入力、ＡＩを活用したリスクアセスメント、ウェアラブルセンサ等を用いたバイタルサインの自動入力等の活用を想定しており、単にナースコール、心電図又はSp02モニター、電子カルテ等を用いていること等は含まない。

注21. 入院基本料の施設基準の「院内感染防止対策に関する基準」「医療安全管理体制に関する基準」「褥瘡対策の基準」を満たすための委員会は除きます。

注22. 病院として院内保育所または夜間院内保育所を設置している場合、それぞれ「(1)実施されている取組」欄に〇をご記入いただき、(2)、(3)にご回答ください。

※すべての施設の方がお答えください。

①-1 **看護記録に係る負担軽減**のための取組を実施していますか。（あてはまる番号1つに〇）

01. 実施している　→①-2へ
02. 今年度中に実施する予定　→①-4へ
03. 実施する予定はない　→①-4へ

※上記①－1で「01．実施している」と回答した施設がお答えください。

①-2 **看護記録に係る負担軽減**のため、どのような取組を実施していますか。（あてはまる番号すべてに〇）

01. 記録内容の簡素化・見直し（様式の見直し、重複書類の削減、クリニカルパスの活用等）
02. 記録の運用方法の見直し（記録の電子化、多職種間での共同閲覧機能の拡大等）
03.「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」の評価方法の変更（ＩからⅡへ）
04. ベッドサイドで記録できるシステム・仕組みの導入（タブレットやモバイルＰＣの活用等）
05. バイタルデータ等の自動入力システムの活用
06. 看護補助者やクラーク等による入力代行・支援
07. 音声入力やボイスレコーダーを活用した看護記録の代行入力
08. ＡＩ[注23]を活用したアセスメント支援システムの導入
09. その他（具体的に：　　）

①-3 上記①-2で選択した取組のうち、**最も負担軽減に寄与している取組**の番号をご記入ください。（番号は1つ）

注23. AI：artificial intelligenceの略称。人工知能。

※すべての施設の方がお答えください。

①-4 **最も負担軽減に寄与すると思われる**取組の番号を①-2の選択肢から1つご記入ください。（上記①-2での選択の有無とは関わりなく、回答してください）

②上記①や①-2以外の取組で看護職員の負担軽減に効果のある取組をご記入ください。

4．あなたの勤務する病棟での看護補助者との連携状況等についてお伺いします。

①あなたが勤務する病棟に**看護補助者**が配置されていますか。（○は１つ）

01. 配置されている　→①-1～①-5へ　　02. 配置されていない　→５へ

①-1 以下の各業務について、貴病棟の状況をそれぞれご回答ください。

【選択肢】
1 ：負担が非常に小さい
2 ：負担が小さい
3 ：どちらともいえない
4 ：負担が大きい
5 ：負担が非常に大きい
6 ：実施していない

	（1）業務負担感	（2）看護補助者との業務分担状況（それぞれ最も近いもの1つに○）			（3）【看護補助者が各業務を実施する場合（完全委譲・部分委譲・協働も含む）】看護職員の負担軽減の効果（それぞれ最も近いもの1つに○）※既に看護補助者が実施している場合もお答えください。					（4）【看護職員が主に担当している場合】今後の協働・分担に関する意向・予定（○は1つ）		
	該当番号を記入	看護職員が主に担当	看護職員と看護補助者との協働	看護補助者が主に担当	効果がある	どちらかといえば効果がある	どちらともいえない	どちらかといえば効果がない	効果がない	協働・分担を進めたいと考えており、検討中	協働・分担を進めたいが具体的な検討はしていない	協働・分担の意向はない
1）食事介助		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
2）配下膳		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
3）排泄介助		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
4）おむつ交換等		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
5）体位変換		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
6）移乗（車椅子、ベッド等）		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
7）寝具やリネンの交換、ベッド作成		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
8）清潔・整容（清拭、陰部洗浄、口腔の清拭等、入浴介助等）		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
9）患者の病棟外への送迎（検査、リハビリ等）		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
10）入院案内（オリエンテーション等）		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
11）日中の患者の ADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等）		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
12）夜間の患者の ADL や行動の見守り・付添（認知症や高次機能障害等）		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
13）事務的業務[注24]		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
14）物品搬送		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
15）医療材料等の物品の補充、準備、点検		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3
16）環境整備		1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3

注24. 事務的業務：カルテ整理、書類の取扱い、検査処置伝票の取扱い、レントゲンフィルムの整理、案内電話対応、コンピュータ入力等。

①-2　看護補助者に業務を委譲（完全・部分）したことで、看護職員は**どのような業務の時間を増やすこと**ができましたか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 入院患者に対する観察頻度の増加
02. 医療処置（医師の介助を含む）の実施の増加
03. 早期離床に関する支援の充実
04. 生活リハビリテーションの充実
05. その他ベッドサイドでのケアの充実
06. 患者、家族とのコミュニケーションの充実
07. 多職種カンファレンスの実施
08. 多職種との協働（計画作成・介入・評価）の充実
09. 退院に向けた支援の充実
10. 地域連携に関する取組の充実
11. 看護計画作成・評価の充実
12. 看護要員間での対面による情報共有の充実
13. 看護記録の新たな作成
　→内訳：（01. 患者の基礎情報に関する記録　02. 看護計画　03. 経過記録（日々の記録）　04. 看護必要度に関する記録　05. サマリーの作成　06. その他（　））
14. その他（具体的に：　）

①-3　上記で選択した項目のうち、**最も時間を増やすことができた項目**の番号1つをご記入ください。　［　］

①-4 **看護職員と看護補助者との業務分担**に当たり、どのような**課題**がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 業務分担をしたいが、看護補助者を確保できない・定着しない
02. 業務分担を更に推進したいが、現行以上の十分な看護補助者が確保できない・定着しない
03. 食事介助、排泄介助、おむつ交換などの直接ケアを実施できる看護補助者がいない
04. 看護補助者を対象とした研修内容が十分でない
05. 看護補助者の教育や研修等、人材育成の仕組みが不十分である
06. 看護補助者に指示を行う看護師の教育や研修等、人材育成の仕組みが不十分である
07. その他（具体的に　）

①-5　上記で選択した項目のうち、**最も課題であると考える項目**の番号1つをご記入ください。　［　］

5．看護職員の負担軽減策に関するご意見についてお伺いします。

①貴病棟における、**看護職員の負担軽減に関する現在の取組**についてどのように評価していますか。（○は1つ）

01. 十分である　→①-1へ
02. どちらかといえば十分である　→①-1へ
03. どちらかといえば不十分である　→①-2へ
04. 不十分である　→①-2へ

※上記①で「01.十分である」又は「02.どちらかといえば十分である」と回答した施設がお答えください。

①-1 **理由**は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 看護職員の勤務状況が改善したため、又は良好であるため
02. 必要と考えられる取組は概ね実施できているため
03. 看護職員から特に要望等がないため
04. その他（具体的に　）

①-1-1　上記で選択した項目のうち、**理由として最も当てはまる項目**の番号1つをご記入ください。　［　］

※上記①で「03.どちらかといえば不十分である」又は「04.不十分である」と回答した施設がお答えください。

①-2　**理由**は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

01. 看護職員の勤務状況が改善していないため、又は悪化したため
02. 予算が不足しており取組が十分に実施できていないため
03. 人員が不足しており取組が十分に実施できていないため
04. 経営層の理解が得られず取組が十分に実施できていないため
05. 取組について期待通りの効果が得られていないため
06. どのような取組を実施すればよいか分からないため
07. その他（具体的に　）

①-2-1　上記で選択した項目のうち、**理由として最も当てはまる項目**の番号1つをご記入ください。　［　］

②貴病棟における、**看護職員の業務負担の要因**として、どのようなものがありますか。
主なものを3つまでお選びください。（○は3つ）

01. 看護職員不足
02. 夜勤可能な看護職員不足
03. 看護記録等の書類
→**負担となっている記録の内訳**（あてはまる番号すべてに○）：
1. 看護記録　2. 看護必要度に関する記録　3. その他診療報酬に関連した書類
4. その他院内規定の書類　5. その他（　　）
04. 診療時間外の患者（家族）への説明対応
05. 緊急入院や夜勤時間帯における入院の増加
06. 転倒・転落予防等、医療安全対策として頻回な見守りを要する入院患者数の増加
07. 管理部門等による不十分なマネジメント体制（例：日々の患者の重症度等に応じた看護職員配置の調整の不足など）
08. 出席要請のある病院としての委員会
09. 出席要請のある病棟のカンファレンス
10. 交代時の申し送り
11. 看護補助者の不足
12. 病棟クラークの不足
13. 医師以外の他の職種の不足（11を除く）
14. 医師不在等による指示待ち時間
15. 医師からのタスク・シフティング
16. その他（具体的に　　）
17. わからない
18. 特になし

③令和2年度診療報酬改定において、重症度、医療・看護必要度のB項目に関して「根拠となる記録」の記載が不要となったことについて、あてはまる番号に○をつけてください。
※重症度、医療・看護必要度が入院料の要件となっていない場合は、「07.要件非該当」を選択してください。

1）看護必要度に係る看護職員の記録時間の変化について	01. とても短くなった 02. 短くなった 03. 変わらない 04. 長くなった 05. とても長くなった 06. その他 （具体的に：　　） 07. 要件非該当
2）看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化について	01. 負担が非常に減った 02. 負担が減った 03. 変わらない 04. 負担が増えた 05. 負担が非常に増えた 06. その他 （具体的に：　　） 07. 要件非該当

④令和2年10月1日現在、重症度、医療・看護必要度Ⅱを届け出ている施設にお伺いします。いつから必要度Ⅱで届け出ていますか。（○は1つ）

01. 平成30年度診療報酬改定後に、ⅠからⅡへ届出を変更した　→④-1へ
02. 平成30年度診療報酬改定後に、Ⅱで届け出た（それ以前は必要度の測定を行っていなかった）→⑤へ
03. 令和２年度診療報酬改定後に、ⅠからⅡへ届出を変更した　→④-1へ
04. 令和２年度診療報酬改定後に、Ⅱで届け出た（それ以前は必要度の測定を行っていなかった）→⑤へ

④-1　④で「01」又は「03」とご回答した施設に伺います。看護必要度Ⅱに変更したことで、あてはまる番号に〇をつけてください。（〇は1つ）	
1）看護必要度に係る看護職員の記録時間の変化について	01. とても短くなった 02. 短くなった 03. 変わらない 04. 長くなった 05. とても長くなった 06. その他 （自由回答：　　）
2）看護必要度に係る看護職員の業務負担の変化について	01. 負担が非常に減った 02. 負担が減った 03. 変わらない 04. 負担が増えた 05. 負担が非常に増えた 06. その他 （自由回答：　　）

⑤今後、どのような取組をすれば、**看護職員の業務負担の軽減**が図られると思いますか。（あてはまる番号すべてに〇）

01.薬剤師による薬剤の準備、残薬確認、継続処方の確認・処方依頼、病棟配置薬剤の確認
02.リハビリ職による病棟内で行う日常生活動作向上のための介助
03.臨床検査技師による採血・検体採取
04.技師職による検査前後の説明や検査結果の管理
05.臨床工学技士による医療機器の管理・請求・補充
06.歯科専門職による口腔管理
07.看護補助者との役割分担のさらなる推進
08.特定行為研修を修了した看護師の活用（例：医師不在等による指示待ち時間の減少など）
09.システムや事務職員等による物品の搬送・移送
10.電子カルテシステムの導入や改良
11.その他（具体的に　　）

⑤-1　上記で選択した取組のうち、**看護職員の業務負担軽減に最も効果があると考えられる取組の番号1つをご記入ください。（番号は1つ）**	

⑥貴病棟における看護職員の勤務状況や負担軽減に関する今後の課題等があればご記入ください。

看護師長票の質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

令和２年１２月２８日（月）までに

返信用封筒（切手不要）に封入のうえ、ご投函ください。

ID

薬剤部責任者票

令和２年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和２年度調査）
医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査

●特に指定がある場合を除いて、令和２年 10 月末現在の状況についてお答えください。
●ご回答の際は、**該当する番号を○（マル）**で囲んでください。また、（　）内には具体的な数値等をご記入ください。
（　）内に数値を記入する設問で、**該当なしは「0（ゼロ）」**を、**わからない場合は「－」**をご記入ください。

１．貴施設の概要等についてお伺いします。

① 貴施設の**薬剤師数（薬剤部以外に所属する薬剤師も含めた全体の人数）**を常勤、非常勤別にご記入ください。

	常　勤	非常勤	
		実人数	常勤換算人数[注1]
薬剤師	（　　）人	（　　）人	（　　）人

注1. 常勤換算については以下の方法で算出してください。常勤換算後の職員数は、小数点以下第2位を切り捨てし、小数点以下第 1 位までお答えください。以下、常勤換算数をたずねる設問については同じ方法で算出してください。
■ 1 週間に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 週間の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間）
■ 1 か月に数回勤務の場合：（非常勤職員の 1 か月の勤務時間）÷（貴施設が定めている常勤職員の 1 週間の勤務時間×4）

② 貴施設薬剤部門に所属する**薬剤師数及びその他の職員**を常勤、非常勤別にご記入ください。

		常　勤	非常勤	
			実人数	常勤換算人数[注1]
1）薬剤師		（　　）人	（　　）人	（　　）人
2）その他の職員	① 事務補助者	（　　）人	（　　）人	（　　）人
	② その他	（　　）人	（　　）人	（　　）人

③ 貴施設における、令和元年 10 月及び令和 2 年 10 月 1 か月間における**常勤薬剤師 1 人あたりの平均勤務時間、平均当直回数、平均オンコール担当回数等**についてご記入ください。

	令和元年 10 月	令和 2 年 10 月
1）1 人あたりの平均勤務時間[注2]	約（　　）時間（　　）分	約（　　）時間（　　）分

2）夜間勤務体制（○は１つ）

01. 日勤のみ　02. 当直[注3]　03. オンコール[注4]
04. ２交代制[注5]　05. ３交代制[注6]　06. シフト勤務[注7]（早出、遅出等）
07. その他（具体的に：　　）

注2. 所定労働時間に残業時間を加えた時間
注3. 薬剤師が夜間勤務している体制をとっていること
注4. 自宅待機等で必要時に呼び出しを受けて対応できる体制をとっていること
注5. 日勤・夜勤が 12 時間ずつ等といった日勤・夜勤の各時間帯の勤務時間の長さが同じになる交代勤務
注6. 日勤・準夜勤・深夜勤が 8 時間ずつの交代勤務
注7. 早出、遅出等の時間差勤務体制をとっていること

※以下の設問3）～6）は、2)で「02.当直」あるいは「03.オンコール」を選んだ施設がお答えください。

3）当直、オンコールを担当する薬剤師数	常勤	非常勤
	（　　）人	（　　）人
4）1 人あたりの当直・オンコール担当平均回数[注8]	令和元年 10 月	令和 2 年 10 月
	（　　）回	（　　）回

5）当直・オンコール時の業務内容について　（あてはまる番号すべてに○）

01. 入院患者に対する内用薬・外用薬調剤
02. 入院患者に対する注射薬調剤
03. 外来患者に対する内用薬・外用薬調剤・交付業務
04. 外来患者に対する注射薬調剤
05. 入院患者に対する無菌製剤処理業務
06. 外来患者に対する無菌製剤処理業務
07. 薬品管理業務（発注、在庫管理、マスタ管理等）
08. 病棟薬剤業務
09. その他（具体的に　　）

注8. 土曜日・日曜日の日直はそれぞれ 1 回として数える

	令和元年 10 月	令和 2 年 10 月
6）当直・オンコール 1 回当たり処方箋平均枚数	（　　）枚/回	（　　）枚/回

④ 貴施設における、令和元年 10 月及び令和 2 年 10 月 1 か月間における**処方箋枚数**についてご記入ください。

	令和元年 10 月	令和 2 年 10 月
1）外来患者の院外処方箋	（　　）枚	（　　）枚
2）外来患者の院内処方箋	（　　）枚	（　　）枚
3）入院患者の処方箋	（　　）枚	（　　）枚

⑤ 貴施設における **1）病棟数、2）薬剤師が配置されている病棟数**についてご記入ください。
※病棟薬剤業務実施加算を算定していない場合もすべて含めて記入してください。

	令和元年 10 月	令和 2 年 10 月
1）貴施設における全病棟数	（　　）病棟	（　　）病棟
2）上記 1）のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	（　　）病棟	（　　）病棟
3）療養病棟・精神病棟の病棟数	（　　）病棟	（　　）病棟
4）上記 3）のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	（　　）病棟	（　　）病棟
5）集中治療室等[注9]の病棟数	（　　）病棟	（　　）病棟
6）上記 5）のうち、病棟専任の薬剤師が配置されている病棟数	（　　）病棟	（　　）病棟

注9.救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、又は総合周産期特定集中治療室管理料のいずれかを算定している病棟

⑥ **各病棟に配置されている薬剤師数**を常勤、非常勤別にご記入ください。

	令和元年 10 月			令和 2 年 10 月		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算人数		実人数	常勤換算人数
1）各病棟に配置されている薬剤師数	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人
2）上記 1）のうち、病棟専任の薬剤師数	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人
3）上記 2）のうち、療養病棟・精神病棟に配置されている薬剤師数	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人
4）上記 2）のうち、集中治療室等[注9]に配置されている薬剤師数	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人	（　）人

2．薬剤師の病棟業務等についてお伺いします。

① 貴施設では、**病棟薬剤業務実施加算の施設基準の届出**をしていますか。　（あてはまる番号すべてに○）

01. 病棟薬剤業務実施加算１（⇒①-1 へ）
02. 病棟薬剤業務実施加算２（⇒①-1 へ）
03. いずれも届出していない（⇒①-7、①-8 へ）

※①-1 は、上記①で「01.病棟薬剤業務実施加算１」又は「02.病棟薬剤業務実施加算２」を選んだ施設の方で、令和 2 年 4 月～令和 2 年 9 月の期間に届出した施設がお答えください。

①-1 **届出を行うためにどのような対応**を行いましたか。　（あてはまる番号すべてに○）

01. 特に何もしていない
02. 常勤薬剤師を増員した
03. 非常勤薬剤師を増員した
04. 薬剤部門の事務補助者を増員した
05. 薬剤部門の人員配置・勤務体制の見直しを行った
06. 医師との業務分担を見直した
07. 看護職員との業務分担を見直した
08. ＩＴやシステム等（業務日誌や入力テンプレート等）の活用や環境整備を行った
09. その他（具体的に　　）

※①-2～①-3 は、上記①で「01.病棟薬剤業務実施加算１」又は「02.病棟薬剤業務実施加算２」を選んだ施設がお答えください。

①-2 薬剤師の業務について、**１年前と比較してどのように変わりましたか。** （○はそれぞれ１つ）

	とても増えた	増えた	変化はない	減った	とても減った
1）薬剤師による入院時における持参薬の確認	1	2	3	4	5
2）薬剤師から医師への情報提供	1	2	3	4	5
3）薬剤師の病棟内のカンファレンス・回診への参加回数	1	2	3	4	5
4）医師から薬剤師への相談回数	1	2	3	4	5
5）看護職員から薬剤師への相談回数	1	2	3	4	5
6）薬剤師による処方提案の件数	1	2	3	4	5
7）薬剤師による臨床検査（肝・腎機能、電解質・血中薬物濃度モニタリングなど）の提案の件数	1	2	3	4	5
8）薬剤師の関与による副作用・相互作用等回避の件数	1	2	3	4	5
9）薬剤師の関与による副作用報告の件数	1	2	3	4	5
10）薬剤師による医薬品の流量又は投与量等の計算・確認回数	1	2	3	4	5
11）医薬品リスク管理計画（ＲＭＰ：Risk Management Plan）に関する情報等を活用した医薬品安全管理に関する業務	1	2	3	4	5
12）薬剤総合評価調整加算の件数（算定できない病棟の場合は同様の業務の実施回数）	1	2	3	4	5
13）退院時薬剤情報管理指導料の件数（算定できない病棟の場合は同様の業務の実施回数）	1	2	3	4	5
14）医薬品情報室での情報収集・管理	1	2	3	4	5

①-3 薬剤師が配置されている病棟別に入院料の種類と１病棟当たり病棟薬剤業務の延べ実施時間／週をご記入ください。

	入院料の種類 ※選択肢の番号を記入	１病棟当たり 病棟薬剤業務の延べ実施時間／週
薬剤師が配置されている病棟 1	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 2	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 3	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 4	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 5	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 6	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 7	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 8	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 9	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週
薬剤師が配置されている病棟 10	（　　）－（　　）	延べ（　　）時間／週

【選択肢：入院料の種類】

01. 一般病棟入院基本料	01. 急性期一般入院料１	02. 急性期一般入院料２	03. 急性期一般入院料３
	04. 急性期一般入院料４	05. 急性期一般入院料５	06. 急性期一般入院料６
	07. 急性期一般入院料７	08. 地域一般入院料１	09. 地域一般入院料２
	10. 地域一般入院料３		
02. 療養病棟入院基本料	01. 療養病棟入院料１	02. 療養病棟入院料２	
	03. 療養病棟入院基本料注11 注10		
03. 結核病棟入院基本料	01. ７対１	02. １０対１	03. １３対１
	04. １５対１	05. １８対１	06. ２０対１
04. 精神病棟入院基本料	01. １０対１	02. １３対１	03. １５対１
	04. １８対１	05. ２０対１	
05. 特定機能病院入院基本料	01.一般病棟　７対１	02.一般病棟　１０対１	
	03.結核病棟　７対１	04.結核病棟　１０対１	05.結核病棟　１３対１
	06.結核病棟　１５対１		
	07.精神病棟　７対１	08.精神病棟　１０対１	09.精神病棟　１３対１
	10.精神病棟　１５対１		

注10. 看護職員配置が２０対1未満または医療区分2・3の患者割合５０％未満の場合

※①-4～①-5 は、上記①で「01.病棟薬剤業務実施加算１」又は「02.病棟薬剤業務実施加算２」を選んだ施設がお答えください。

①-4 令和 2 年 4 月以降、薬剤師の増員をしましたか。　（○は１つ）

01. 増員した（⇒①-5 へ）

→「01.」を選択した場合、人数をご記入ください。			
増員した薬剤師数（常勤）	（　　）人	増員した薬剤師数（非常勤）	実人数　（　　）人 常勤換算（　　）人

02. 増員していない（⇒①-6 へ）

①-5 どのような理由・目的で増員しましたか。　（あてはまる番号すべてに○）

01. 病棟薬剤業務実施加算の評価が拡充されたため
02. 医師の業務をタスク・シフトするため
03. 病棟薬剤業務を充実させるため
04. ﾎﾟﾘﾌｧｰﾏｼｰ解消の取組を充実させるため
05. 抗菌薬の適正使用の推進に関する取組を充実させるため
06. 円滑な入院医療の提供、病棟負担軽減のために、入院前に服用中の薬剤の確認等を実施するため
07. 退院時の薬学管理指導を充実するため
08. 入院患者に対する調剤業務が増えたため
09. 外来患者に対する調剤業務が増えたため
10. 外来化学療法室での患者指導業務を充実させるため
11. 医薬品情報管理業務を充実させるため
12. 治験・臨床研究関連業務を充実させるため
13. 教育・研究業務を充実させるため
14. その他（具体的に：　　）

※①-6 は、上記①-4 で「02. 増員していない」を選んだ施設がお答えください。

①-6 増員しなかった理由をお選び下さい。　（あてはまる番号すべてに○）

01. 病棟薬剤業務実施加算の評価が不十分のため
02. 人材確保が難しかったため
03. 業務量に変化がなかったため
04. 薬剤部門のその他の職員を増員したため
05. その他（具体的に：　　）

※①-7 は、上記①で「03.いずれも届出していない」を選択した施設がお答えください。

①-7 薬剤師の業務について、**<u>１年前と比較して</u>**どのように変わりましたか。　（○はそれぞれ１つ）

	とても増えた	増えた	変化はない	減った	とても減った
1）薬剤師による入院時における持参薬の確認	1	2	3	4	5
2）薬剤師から医師への情報提供	1	2	3	4	5
3）薬剤師の病棟内のカンファレンス・回診への参加回数	1	2	3	4	5
4）医師から薬剤師への相談回数	1	2	3	4	5
5）看護職員から薬剤師への相談回数	1	2	3	4	5
6）薬剤師による処方提案の件数	1	2	3	4	5
7）薬剤師による臨床検査（肝・腎機能、電解質・血中薬物濃度モニタリングなど）の提案の件数	1	2	3	4	5
8）薬剤師の関与による副作用・相互作用等回避の件数	1	2	3	4	5
9）薬剤師の関与による副作用報告の件数	1	2	3	4	5
10）薬剤師による医薬品の流量又は投与量等の計算・確認回数	1	2	3	4	5
11）医薬品リスク管理計画（ＲＭＰ：Risk Management Plan）に関する情報等を活用した医薬品安全管理に関する業務	1	2	3	4	5
12）薬剤総合評価調整加算の件数（算定できない病棟の場合は同様の業務の実施回数）	1	2	3	4	5
13）退院時薬剤情報管理指導料の件数（算定できない病棟の場合は同様の業務の実施回数）	1	2	3	4	5
14）医薬品情報室での情報収集・管理	1	2	3	4	5

※①-8 は、上記①で「03.いずれも届出していない」を選択した施設の方がお答えください。

①-8 病棟薬剤業務実施加算１の施設基準の届出をしていないのはなぜですか。 （あてはまる番号すべてに○）
01. 算定対象病棟がないため
02. 薬剤師の人数が不足しており病棟専任薬剤師による病棟業務の実施時間が週 20 時間に満たないため
03. 入院患者に対する調剤業務負担が大きいため
04. 外来患者に対する調剤業務負担が大きいため
05. 外来化学療法室での患者指導業務負担が大きいため
06. 医薬品情報管理業務負担が大きいため
07. 治験・臨床研究関連業務負担が大きいため
08. 教育・研究業務負担が大きいため
09. 薬剤管理指導以外の病棟薬剤業務のニーズが少ないため
10. その他（具体的に：　　）

※②～③は、病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で病棟薬剤業務を実施している施設がお答えください。

② 病棟薬剤業務実施加算を別途算定することができない患者のみが入院している病棟で算定している入院料（入院基本料、特定入院料等）のうち最も多いものを１つお選び下さい。 （○は１つ）	
01. 小児入院医療管理料	02. 回復期リハビリテーション病棟入院料
03. 地域包括ケア病棟入院料	04. その他の一般病棟入院料（具体的に：　　）
05. その他の療養病棟入院料（具体的に：　　）	06. その他の精神科入院料（具体的に：　　）
07. その他（具体的に：　　）	

③ 病棟薬剤業務として実施していることをお選びください。 （あてはまる番号すべてに○）
01. 患者の医薬品の投薬・注射状況の把握
02. 医薬品の医薬品安全性情報等の把握、周知
03. 入院時の持参薬の確認及び服薬計画の提案
04. 薬剤を同時に投与する場合の相互作用の確認
05. ハイリスク薬の患者への投与前の説明
06. 薬剤の投与にあたり、流量又は投与量の計算等の実施
07. 「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」、以下に掲げる事項
※「07」を選んだ施設がお答えください。 （あてはまる番号すべてに○）
71. 薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコールに基づき、医師等と協働して実施
72. 薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方を提案
73. 薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案
74. 薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案
75. 入院患者の持参薬の内容を確認し、医師に対し、服薬計画を提案するなどの薬学的管理を実施
76. 抗がん剤等の適切な無菌調製
08. 退院時の薬学的管理指導
09. その他（具体的に：　　）

※④は、すべての施設がお答えください。

④ **薬剤総合評価調整加算**（期間：令和 2 年 4 月～9 月）は算定なさいましたか。　（○は 1 つ）	
01. 算定あり→⑤へ	02.算定なし→④-1 へ

※④-1 は、上記④で「02.算定なし」を選んだ施設がお答えください

④-1 処方の内容を総合的に評価した上で処方の内容を変更[注11]する取組を実施したが算定できなかった場合は、その理由としてあてはまる番号をお選びください。　（あてはまる番号すべてに○）
01. 算定対象病棟がないため
02. 患者の入院時に、関連ガイドライン等を踏まえ、特に慎重な投与を要する薬剤等の確認を行うことが困難だから
03. 医師、薬剤師及び看護師等の多職種によるカンファレンスを実施することが困難だから
04. 内服薬以外の処方の内容を変更したから
05. 入院患者に対する調剤業務負担が大きいため
06. 外来患者に対する調剤業務負担が大きいため
07. 外来化学療法室での患者指導業務負担が大きいため
08. 医薬品情報管理業務負担が大きいため
09. 治験・臨床研究関連業務負担が大きいため
10. 教育・研究業務負担が大きいため
11. 薬剤総合評価[注12]へのニーズが少ないため
12. その他（具体的に：　　）
13. あてはまらない（取組を実施していない）

注 11. 内服薬の種類数の変更、内服薬の削減又は追加、内服薬の用量の変更、作用機序が異なる同一効能効果の内服薬への変更
注 12. 薬物有害事象の存在や服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等のおそれのある患者に対して、処方の内容を総合的に評価した上で、当該処方の内容を変更し、当該患者に対して療養上必要な指導等を行うこと

※⑤は、すべての施設がお答えください。

⑤ **退院時薬剤情報連携加算**は算定なさいましたか。　（○は 1 つ）	
01. 算定あり→⑥へ	02. 算定なし→⑤-1 へ

※⑤-1 は、上記⑤で「02.算定なし」を選んだ施設がお答えください。

⑤-1 入院前の処方薬の内容に変更又は中止の見直しを実施したが算定できなかった場合は、その理由としてあてはまる番号をお選びください。　（あてはまる番号すべてに○）
01. 算定対象病棟がないため
02. 患者又はその家族等が保険薬局に情報提供することを拒否したため
03. 患者又はその家族等が情報提供先の保険薬局を選択しなかったため
04. 入院患者に対する調剤業務負担が大きいため
05. 外来患者に対する調剤業務負担が大きいため
06. 外来化学療法室での患者指導業務負担が大きいため
07. 医薬品情報管理業務負担が大きいため
08. 治験・臨床研究関連業務負担が大きいため
09. 教育・研究業務負担が大きいため
10. 退院時薬剤情報連携[注13]へのニーズが少ないため
11. その他（具体的に：　　）
12. あてはまらない（変更又は中止の見直しを実施していない）

注 13. 地域における継続的な薬学的管理指導を支援するため、医療機関から薬局に対して、患者の入院前の処方薬の変更又は中止に関する情報や変更又は中止後の患者の状態等に関する情報を提供すること

※⑥～⑦は、すべての施設がお答えください。

⑥ どのような取組が病院で行われれば、薬剤師の負担を軽減することができると思いますか。 あてはまる番号すべてに○をご記入ください。　（あてはまる番号すべてに○）	
01. 薬剤師による事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更[注14] 02. 看護職員による薬剤の準備、残薬確認、継続処方の確認・処方依頼、病棟配置薬剤の確認 03. SPD による医薬品の在庫管理（医薬品の発注・納品・管理業務、医薬品の補填業務、持参薬鑑定・登録補助業務等） 04. 調剤ロボットやピッキングマシーンによる調剤業務の機械化 05. 電子カルテ、調剤支援システム、オーダリングシステムの導入や改良 06. システムや事務職員等による物品の搬送・移送 07. 医薬品情報業務の効率化（ICT、事務補助者の活用等） 08. その他（具体的に：　　）	
⑥-1 上記のうち、最も効果があると思う取組（番号を１つご記入ください）	

注 14.　投与量・投与方法・投与期間・剤形・含有規格変更等。

⑦ 病院薬剤師がどのような業務を分担すれば、病院全体の働き方改革に貢献できると思いますか。あてはまる番号をすべてお選びください。　（あてはまる番号すべてに○）
01. 病棟薬剤業務の推進 02. 医師の外来診察時（前後の場合を含む）に患者の服薬状況、副作用等に関する情報収集と医師への情報提供等の外来支援業務 03. 事前に取り決めたプロトコールに沿って、処方された薬剤の変更 04. 入退院時の医師・院内薬剤師及び薬局薬剤師との患者治療情報の連携 05. フォーミュラリーの推進 06. その他（具体的に：　　）
⑦-1 上記のうち、最も効果があると思う取組の番号を１つご記入ください。

薬剤部責任者票の質問は以上です。ご協力いただきましてありがとうございました。

令和２年１２月２８日（月）までに

返信用封筒（切手不要）に封入のうえ、ご投函ください。